大澤和辭典

卷七

諸橋轍次著

修訂版

諸橋轍次著

大漢和辭典

卷七

修訂版

大修館書店刊

大漢和辞典　巻七

昭和三十三年四月二十五日　初版発行
昭和六十一年七月　一　日　修訂版第三刷発行

著　者　諸橋轍次
発行者　鈴木敏夫
発行所　株式会社　大修館書店
東京都千代田区神田錦町三ノ二四
電話〔二六二〕二六一二　振替東京　六〇四二六

© T. Morohashi 1984 Printed in Japan

ISBN4-469-03090-2（全13巻）
ISBN4-469-03077-5

中性紙使用

部首順による檢字

親文字の下に記した漢數字は其の文字の番號。
和數字は其の文字を掲載した頁。

八畫

堊 17587 液 17586 漲 17585 澀 17584 沈 17583 涯 17582 淜 17581 淵 17580 浸 17579 滓 17578 涫 17577 浯 17576 涪 17575

涸 17601 凍 17600 涇 17599 渼 17598 乳 17597 涯 17596 涵 17595 季 17594 涴 17593 淝 17592 陀 17591 淝 17590 涇 17589 淫 17588

渭 17615 淃 17614 淂 17613 淩 17612 淞 17611 淀 17610 涿 17609 渣 17608 潛 17607 涼 17606 淦 17605 溜 17604 涺 17603 委 17602

淏 17632 奉 17631 淍 17630 淌 17629 涯 17628 涯 17627 淋 17626 涯 17625 滔 17624 淉 17623 淈 17622 洴 17621 淇 17620 淆 17619 淋 17618 淅 17617 淄 17616

淝 17649 渥 17648 淜 17647 淛 17646 淵 17645 淚 17644 淙 17643 淘 17642 淥 17641 淖 17640 淖 17639 淫 17638 淔 17637 涝 17636 淒 17635 淑 17634 淐 17633

淦 17667 淥 17666 淤 17665 淣 17664 淡 17663 減 17662 褒 17661 淡 17660 淫 17658 淆 17657 潤 17656 淠 17655 淟 17654 淝 17653 游 17652 淞 17651 淆 17650

淤 17684 淯 17683 淮 17682 淡 17681 淚 17680 淬 17679 淫 17678 逮 17677 洗 17676 淪 17675 淌 17674 淋 17673 淑 17672 弥 17671 淩 17670 淨 17669 淞 17668

涵 17700 淼 17699 添 17698 淺 17697 淹 17696 清 17695 清 17695 混 17694 淶 17693 淵 17692 惣 17691 淳 17690 淲 17689 淩 17688 深 17687 淦 17686 淦 17685

溝 17717 溝 17716 湛 17715 濟 17714 渥 17713 保 17712 淑 17711 楸 17710 溷 17709 淵 17708 淦 17707 籴 17706 淫 17705 淆 17704 淀 17703 減 17702 淀 17701

洞 17734 淝 17733 淸 17732 潛 17731 涵 17730 楙 17729 淒 17728 湯 17727 淸 17726 溷 17725 畜 17724 溷 17723 淩 17722 淡 17721 淫 17720 淡 17719 淚 17718

淵 17750 涉 17749′ 濟 17749 渴 17748 洑 17747 渭 17746 溯 17745 溯 17744 淵 17743 淶 17742 濬 17741 敕 17740 槀 17739 滷 17738 洗 17737 凍 17736 淦 17735

渡 17765 渠 17764 渟 17763 渣 17762 渝 17761 渜 17760 減 17759 渚 17758 渙 17757 凍 17756 涿 17755 滙 17754 渃 17753 陌 17752

九畫

洗 17751 渋 17750′

渮 17782 渭 17781 測 17780 浸 17779 渫 17778 瀑 17777 渦 17776 溯 17775 温 17774 渨 17773 渧 17772 渦 17771 渥 17770 渤 17769 滢 17768 渣 17767 渢 17766

濟 17798 澁 17797 渓 17796 渣 17795 渺 17794 渕 17793 游 17792 滉 17791 漢 17790 渟 17789 渴 17788 溯 17787 渲 17786 渋 17785 滄 17784 港 17783′ 港 17783

渫 17815 減 17814 渡 17813 濟 17812 渣 17811 凍 17810 湄 17809 湃 17808 灣 17807 澌 17806 濟 17805 涪 17804 渓 17803 漆 17802 愚 17801 渾 17800 凍 17799

溢 17832 湄 17831 澁 17830 濟 17829 湘 17828 湏 17827 湎 17826 湍 17825 滄 17824 漳 17823 湊 17822 涪 17821 涪 17820 滄 17819 渫 17818 荒 17817 急 17816

湏 17849 湛 17848 湜 17847 湛 17846 瀛 17845 瀒 17844 渓 17843 湘 17842 漳 17841 瀛 17840 渡 17839 渾 17838 渝 17837 湖 17836 澁 17835 澠 17834 湏 17833

濠 17866 涵 17865 湩 17864 渓 17863 湧 17862 湄 17861 渥 17860 浚 17859 耆 17858 渝 17857 渓 17856 涵 17855 潛 17854 渥 17853 渦 17852 渢 17851 湟 17850

漆 18882 澂 17881 楙 17880 澤 17879 滙 17878 滿 17877 渡 17876 渚 17875 逢 17874 湯 17873 湮 17872 濠 17871 瀛 17870 酒 17869 渢 17868 黎 17867 湫 17866

霖 17900 渚 17899 溺 17898 渺 17897 瀏 17896 滙 17895 漏 17894 珊 17893 淥 17892 涼 17891 滉 17890 黎 17889 澤 17888 蔡 17887 淥 17886 滉 17885 渾 17884 渡 17883

湟	淟	淫	湮	湻	溱	溘	澎	淵	滙	渥	渤	涼	滉	淶	梨	洌	瀏		
17917	17916	17915	17914	17913	17912	17911	17910	17909	17908	17907	17906	17905	17904	17903	17902	17901			
四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四六	四六	四六	四六	四六	四六			
溔	濂	溒	溳	源	溏	淛	淮	溍	十畫	滿	淄	湿	湾	滋	溘	淄			
17930	17929	17928	17927	17926	17925	17924	17923	17922		17921	17921	17920	17920	17919	17919	17918			
四九	四九	四九	四九	四七	四七	四七	四七	四七		四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七			
溟	渚	溞	溝	溜	流	滯	溌	滉	溵	溱	溘	溗	準	涿	涿	澖			
17947	17946	17945	17944	17943	17942	17941	17940	17939	17938	17937	17936	17935	17934	17933	17932	17931			
五六	五六	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五四	五四	五四	五四	五四			
溈	澐	瀨	溝	溧	澈	澌	溥	馮	淪	滓	溢	澀	溢	涵	澍	溠			
17964	17963	17962	17961	17960	17959	17958	17957	17956	17955	17954	17953	17952	17951	17950	17949	17948			
五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五六	五六	五六	五六	五七	五七	五六	五六	五六	五六			
溴	溳	溲	溱	澍	澧	溯	謝	滓	獅	溲	澆	浸	溫	溪	郡	溴			
17981	17980	17979	17978	17977	17976	17975	17974	17973	17972	17971	17970	17969	17968	17967	17966	17965			
五九	五九	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七			
澤	澮	溽	漣	澔	澍	溼	溻	溺	溱	澄	溱	溷	漩	澹	溶	澈			
17998	17997	17996	17995	17994	17993	17992	17991	17990	17989	17988	17987	17986	17985	17984	17983	17982			
七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	六九	六九			
滈	澆	瀧	澮	澋	瀕	滈	滅	滄	瀲	瀱	滌	滂	滌	澎	穀	滄			
18015	18014	18013	18012	18011	18010	18009	18008	18007	18006	18005	18004	18003	18002	18001	18000	17999			
七九	七九	七九	七九	七九	七七	七七	七六	七四	七四	七四	七三	七二	七二	七二	七二	七二			
滑	潤	澤	潔	澌	滏	榮	滉	滻	滥	欲	滋	澱	氯	漫	滉	澪			
18032	18031	18030	18029	18028	18027	18026	18025	18024	18023	18022	18021	18020	18019	18018	18017	18016			
八二	八二	八二	八二	八二	八二	八一	八一	八一	八一	八一	七九	七九	七九	七九	七九	七九			
澤	滝	澀	臭	滾	澡	盛	淚	浦	淺	滉	漕	欅	滕	滔	滓	滑			
18049	18048	18047	18046	18045	18044	18043	18042	18041	18040	18039	18038	18037	18036	18035	18034	18033			
八九	八九	八九	八九	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八六	八五	八五	八五			
澤	滛	滑	滾	滙	漾	濬	澤	滉	澍	溂	淨	澱	減	澐	滴	滓			
18066	18065	18064	18063	18062	18061	18060	18059	18058	18057	18056	18055	18054	18053	18052	18051	18050			
八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九			

瀘 18080 一九
澧 18079 一九
滱 18078 一九
澋 18077 一九
溈 18076 一九
滯 18075 一九
澎 18074 一九
澤 18073 一九
滬 18072 一九
滫 18071 一九
漾 18070 一九
滌 18069 一八

十一畫

漢 18068 一八
湿 18068 一八
滯 18067 一八
滝 18067 一八
滽 18097 一九
湛 18096 一九
澾 18095 一九
潑 18094 一九
潑 18093 一九
滹 18092 一九
漩 18091 一九
澇 18090 一九
訐 18089 一九
滷 18088 二〇
漱 18087 二〇
滷 18086 二〇
滐 18085 二〇
滴 18084 二〇
滴 18083 二〇
澱 18082 二〇
滲 18081 二〇
澈 18114 二一
漊 18113 二一
漉 18112 二一
澪 18111 二一
澁 18110 二一
澆 18109 二一
漆 18108 二一
澡 18107 二一
瀛 18106 二一
漼 18105 二一
淑 18104 二一
澳 18103 二一
漂 18102 二一
漁 18101 二二
漀 18100 二二
滿 18099 二二
滾 18098 二二
漕 18131 二六
演 18130 二六
澣 18129 二六
濬 18128 二六
漓 18127 二六
澌 18126 二六
溫 18125 二六
澀 18124 二六
漑 18123 二五
漀 18122 二五
澖 18121 二五
漏 18120 二五
澄 18119 二五
澍 18118 二五
澦 18117 二五
漍 18116 二五
潼 18115 二五
瀅 18148 二七
漞 18147 二七
澀 18146 二七
澌 18145 二七
澀 18144 二七
潦 18143 二七
滅 18142 二七
澋 18141 二七
漆 18140 二七
漚 18139 二七
澨 18138 二七
澍 18137 二七
溥 18136 二七
澬 18135 二七
澳 18134 二七
澼 18133 二七
澈 18132 二七
淋 18165 二九
漪 18164 二九
漩 18163 二九
澾 18162 二九
漧 18161 二九
漀 18160 二九
澠 18159 二九
澤 18158 二九
澬 18157 二九
澀 18156 二八
澧 18155 二八
澨 18154 二八
漢 18153 二八
澞 18152 二八
澢 18151 二八
澎 18150 二八
漢 18149 二八
漻 18182 二九
漺 18181 二九
澔 18180 二九
漸 18179 二九
澎 18178 二九
澇 18177 二九
澈 18176 二九
澂 18175 二九
漳 18174 二九
漲 18173 二九
澈 18172 二九
澈 18171 二九
澈 18170 二九
澈 18169 二九
澈 18168 二九
漬 18167 二九
漫 18166 二九
澂 18199 三〇
澄 18198 三〇
澍 18197 三〇
澈 18196 三〇
澌 18195 三〇
澔 18194 三〇
澡 18193 三〇
澹 18192 三〇
澹 18191 三〇
澐 18190 三〇
瀨 18189 三〇
潁 18188 三〇
澀 18187 三〇
澈 18186 三〇
漿 18185 三〇
澐 18184 三〇
漼 18183 三〇
澤 18216 三一
澍 18215 三一
澹 18214 三一
澕 18213 三一
漏 18212 三一
澤 18211 三一
澔 18210 三一
澤 18209 三一
澍 18208 三一
澆 18207 三一
澤 18206 三一
澍 18205 三一
澍 18204 三一
澍 18203 三一
澍 18202 三一
澍 18201 三一
澍 18200 三一
澕 18232 三二
潔 18231 三二
澔 18230 三二
澍 18229 三二
澍 18228 三二
澍 18227 三二
澍 18226 三二
澍 18225 三二
澍 18224 三二
澍 18223 三二
澍 18222 三二
澍 18221 三二
澍 18220 三二
澍 18219 三二
澍 18218 三二
澍 18217 三二

十二畫

澈 18249 二六九
澀 18248 二六九
潟 18247 二六九
潟 18246 二六八
潚 18245 二六八
澱 18244 二六八
澪 18243 二六八
澐 18242 二六八
潛 18241 二六七
潛 18240 二六七
潚 18239 二六七
潟 18238 二六七
澔 18237 二六七
潘 18236 二六六
潗 18235 二六六
澐 18234 二六六
澠 18233 二六六

澤 18266 二七四
潩 18265 二七四
澨 18264 二七四
澤 18263 二七四
澡 18262 二七四
澤 18261 二七四
澄 18260 二七四
澭 18259 二七三
澈 18258 二七三
澔 18257 二七三
澤 18256 二七三
潤 18255 二七二
澐 18254 二七二
澗 18253 二七二
澗 18252 二七二
潢 18251 二六九
澮 18250 二六九

澧 18282 二七六
潰 18281 二七六
潯 18280 二七六
澶 18279 二七六
澀 18278 二七六
潮 18277 二七六
潮 18276 二七六
潰 18275 二七六
潰 18274 二七六
澆 18273 二七六
澔 18272 二七六
澶 18271 二七六
潭 18270 二七五
潭 18269 二七五
澨 18268 二七四
澯 18267 二七四

瀑 18299 二八一
瀑 18298 二八一
瀑 18297 二八一
涿 18296 二八一
潸 18295 二八一
潛 18294 二八一
潸 18293 二八一
濺 18292 二八〇
潷 18291 二八〇
潰 18290 二八〇
瀋 18289 二八〇
澈 18288 二八〇
瀦 18287 二八〇
瀝 18286 二八〇
瀚 18285 二八〇
瀆 18284 二八〇
瀧 18283 二八〇

瀛 18316 二八八
澄 18315 二八四
澐 18314 二八四
澂 18313 二八三
澁 18312 二八三
澀 18311 二八二
瀾 18310 二八二
瀛 18309 二八二
瀚 18308 二八二
瀆 18307 二八二
瀔 18306 二八二
瀔 18305 二八二
瀋 18304 二八二
瀛 18303 二八二
潼 18302 二八一
瀛 18301 二八一
瀑 18300 二八一

澇 18333 二八九
澎 18332 二八九
瀋 18331 二八九
溥 18330 二八八
澍 18329 二八八
澌 18328 二八八
澐 18327 二八八
澐 18326 二八八
澈 18325 二八八
瀆 18324 二八八
瀑 18323 二八八
潭 18322 二八八
瀑 18321 二八八
瀑 18320 二八七
澈 18319 二八七
澇 18318 二八七
澆 18317 二八六

瀑 18350 二九〇
淵 18349 二九〇
瀑 18348 二九〇
澤 18347 二九〇
瀾 18346 二九〇
瀛 18345 二九〇
瀟 18344 二九〇
瀑 18343 二九〇
瀑 18342 二九〇
澐 18341 二八九
瀑 18340 二八九
澐 18339 二八九
澔 18338 二八九
瀑 18337 二八九
澐 18336 二八九
澐 18335 二八九
澐 18334 二八九

瀑 18367 二九〇
瀑 18366 二九〇
瀑 18365 二九〇
瀑 18364 二九〇
瀑 18363 二九〇
瀑 18362 二九〇
瀑 18361 二九〇
瀑 18360 二九〇
瀑 18359 二九〇
瀑 18358 二九〇
瀑 18357 二九〇
瀑 18356 二九〇
瀑 18355 二九〇
瀑 18354 二九〇
瀑 18353 二九〇
瀑 18352 二九〇
瀑 18351 二九〇

澤 18383 二九二
瀑 18382 二九二
瀑 18381 二九二
瀑 18380 二九二
瀑 18379 二九二
瀑 18378 二九二
瀑 18377 二九二
瀑 18376 二九二
瀑 18375 二九二
瀑 18374 二九二
瀑 18373 二九二
瀑 18372 二九二

十三畫

瀆 18371 二九二
瀑 18370 二九二
瀑 18369 二九二
瀑 18368 二九二

瀑 18400 二九七
瀑 18399 二九七
瀑 18398 二九七
瀑 18397 二九七
瀑 18396 二九七
瀑 18395 二九七
瀑 18394 二九七
瀑 18393 二九七
瀑 18392 二九六
瀑 18391 二九六
瀑 18390 二九六
瀑 18389 二九六
瀑 18388 二九六
瀑 18387 二九六
瀑 18386 二九六
瀑 18385 二九六
瀑 18384 二九六

湯 18417 一九七
澶 18416 一九七
漸 18415 一九七
澴 18414 一九七
澳 18413 一九七
澳 18412 一九七
澲 18411 一九六
澱 18410 一九六
澈 18409 一九六
瀘 18408 一九六
瀷 18407 一九六
澡 18406 一九六
澮 18405 一九六
澈 18404 一九七
澠 18403 一九七
濱 18402 一九七
澫 18401 一九七

澾 18434 二〇三
濠 18433 二〇三
澤 18432 二〇三
澤 18431 二〇三
澨 18430 二〇三
澩 18429 二〇三
澼 18428 二〇三
澦 18427 二〇三
澐 18426 二〇二
澈 18425 二〇二
澆 18424 二〇二
潛 18423 二〇二
澨 18422 二〇二
澹 18421 二〇一
澸 18420 二〇一
澸 18419 二〇一
瀊 18418 二〇一

濉 18451 二〇九
澈 18450 二〇九
澡 18449 二〇九
濇 18448 二〇九
瀏 18447 二〇八
濆 18446 二〇八
瀀 18445 二〇八
瀌 18444 二〇八
過 18443 二〇八
濃 18442 二〇七
濂 18441 二〇七
濁 18440 二〇四
澨 18439 二〇四
激 18438 二〇四
澤 18437 二〇三
澿 18436 二〇三
澾 18435 二〇三

瀆 18468 二一〇
瀱 18467 二一〇
瀇 18466 二一〇
瀍 18465 二一〇
澍 18464 二一〇
瀆 18463 二一〇
澔 18462 二一〇
瀘 18461 二一〇
凍 18460 二一〇
瀆 18459 二一〇
澔 18458 二一〇
澈 18457 二一〇
澼 18456 二一〇
澄 18455 二一〇
瀸 18454 二〇九
瀉 18453 二〇九
瀲 18452 二〇九

瀦 18484 二一二
濕 18483 二一一
瀰 18482 二一一
瀣 18481 二一一

十四畫

漮 18480 二一〇
瀕 18479 二一〇
澤 18478 二一〇
瀠 18477 二一〇
瀯 18476 二一〇
瀚 18475 二一〇
瀍 18474 二一〇
瀑 18473 二一〇
澀 18472 二一〇
瀦 18471 二一〇
瀆 18470 二一〇
瀟 18469 二一〇

瀯 18501 二一八
瀑 18500 二一八
瀯 18499 二一七
瀆 18498 二一七
瀏 18497 二一七
瀾 18496 二一七
瀨 18495 二一七
瀁 18494 二一七
瀁 18493 二一七
瀘 18492 二一七
濛 18491 二一七
瀑 18490 二一七
瀑 18489 二一七
瀆 18488 二一七
瀅 18487 二一七
瀛 18486 二一七
瀟 18485 二一七

瀧 18518 二一一
濩 18517 二一一
瀑 18516 二一一
瀑 18515 二一一
瀘 18514 二一一
瀺 18513 二一一
瀏 18512 二一一
瀏 18511 二一一
瀘 18510 二一一
瀆 18509 二一〇
濤 18508 二一〇
瀣 18507 二一〇
瀚 18506 二一〇
瀑 18505 二一〇
濡 18504 二一〇
瀑 18503 二一〇
濠 18502 二一〇

瀟 18535 二一七
瀆 18534 二一七
瀍 18533 二一七
瀖 18532 二一五
瀍 18531 二一五
瀍 18530 二一五
瀍 18529 二一五
瀍 18528 二一五
瀍 18527 二一五
瀍 18526 二一四
瀍 18525 二一四
瀍 18524 二一四
瀍 18523 二一四
瀍 18522 二一三
瀍 18521 二一三
瀍 18520 二一三
瀍 18519 二一三

瀝 18552 二一六
瀆 18551 二一六
瀆 18550 二一六
瀘 18549 二一六
瀛 18548 二一六
瀾 18547 二一六
瀾 18546 二一六
瀾 18545 二一六
瀾 18544 二一六
瀾 18543 二一六
瀾 18542 二一六
瀾 18541 二一六
瀾 18540 二一六
瀾 18539 二一六
瀾 18538 二一六
瀕 18537 二一七
瀜 18536 二一七

瀧 18568 二一九
瀾 18567 二一九
瀾 18566 二一九
瀘 18565 二一九
瀆 18564 二一九
瀨 18563 二一九
瀧 18562 二一九
瀧 18561 二一九
瀧 18560 二一九
瀧 18559 二一九
瀧 18558 二一九
瀧 18557 二一八
瀧 18556 二一八

十五畫

瀨 18555 二一八
瀨 18554 二一八
瀑 18553 二一八

瀵 18585 瀛 18584 瀵 18583 瀘 18582 瀵 18581 瀟 18580 瀕 18579 瀕 18578 瀆 18577 瀉 18576 瀑 18575 瀘 18574 瀟 18573 瀛 18572 瀟 18571 瀛 18570 瀟 18569

瀍 18602 瀌 18601 瀋 18600 瀚 18599 瀾 18598 瀍 18597 瀉 18596 瀍 18595 瀍 18594 瀍 18593 瀍 18592 瀍 18591 瀍 18590 瀍 18589 瀍 18588 瀍 18587 瀍 18586

瀍 18619 瀍 18618 瀍 18617 瀍 18616 瀍 18615 瀍 18614 瀍 18613 瀍 18612 瀍 18611 瀍 18610 瀍 18609 瀍 18608 瀍 18607 瀍 18606 瀍 18605 瀍 18604 瀍 18603

瀍 18635 瀍 18634 **十六畫** 瀍 18633 瀍 18632 瀍 18631 瀍 18630 瀍 18629 瀍 18628 瀍 18627 瀍 18626 瀍 18625 瀍 18624 瀍 18623 瀍 18622 瀍 18621 瀍 18620

瀍 18652 瀍 18651 瀍 18650 瀍 18649 瀍 18648 瀍 18647 瀍 18646 瀍 18645 瀍 18644 瀍 18643 瀍 18642 瀍 18641 瀍 18640 瀍 18639 瀍 18638 瀍 18637 瀍 18636

瀍 18669 瀍 18668 瀍 18667 瀍 18666 瀍 18665 瀍 18664 瀍 18663 瀍 18662 瀍 18661 瀍 18660 瀍 18659 瀍 18658 瀍 18657 瀍 18656 瀍 18655 瀍 18654 瀍 18653

瀍 18686 瀍 18685 瀍 18684 瀍 18683 瀍 18681 瀍 18680 瀍 18679 瀍 18678 瀍 18677 瀍 18676 瀍 18675 瀍 18674 瀍 18673 瀍 18672 瀍 18671 瀍 18670

瀍 18702 瀍 18701 瀍 18700 瀍 18699 瀍 18698 瀍 18697 瀍 18696 瀍 18695 瀍 18694 瀍 18693 瀍 18692 瀍 18691 瀍 18690 瀍 18689 瀍 18688 瀍 18687 **十七畫** 瀍

瀍 18719 瀍 18718 瀍 18717 瀍 18716 瀍 18715 瀍 18714 瀍 18713 瀍 18712 瀍 18711 瀍 18710 瀍 18709 瀍 18708 瀍 18707 瀍 18706 瀍 18705 瀍 18704 瀍 18703

瀍 18735 **十八畫** 瀍 18734 瀍 18733 瀍 18732 瀍 18731 瀍 18730 瀍 18729 瀍 18728 瀍 18727 瀍 18726 瀍 18725 瀍 18724 瀍 18723 瀍 18722 瀍 18721 瀍 18720

藻 18752 二四九
瀕 18751 二四九
瀯 18750 二四九
灑 18749 二四九
瀁 18748 二四九
瀲 18747 二四八
濯 18746 二四八
瀱 18745 二四八
瀘 18744 二四八
瀸 18743 二四八
灃 18742 二四八
灄 18741 二四七
瀏 18740 二四七
灃 18739 二四七
瀌 18738 二四七
潤 18737 二四七
瀾 18736 二四七
瀘 18769 二四一
瀺 18768 二四一
瀋 18767 二四一
灘 18766 二四一
潭 18765 二四一
澳 18764 二四一
瀟 18763 二四一
瀑 18762 二四一
澡 18761 二四一
瀾 18760 二四一
灌 18759 二四一
瀍 18758 二四九
瀍 18757 二四九
灘 18756 二四九
瀪 18755 二四九
瀗 18754 二四九
瀷 18753 二四九
邊 18785 二四四
灘 18784 二四四
灝 18783 二四四
瀨 18782 二四四
灘 18781 二四四
羅 18780 二四四
灘 18779 二四二
藻 18778 二四二
灩 18777 二四二
瀦 18776 二四二
瀆 18775 二四二
瀨 18774 二四一
瀌 18773 二四一
十九畫
瀟 18772 二四一
瀟 18771 二四一
瀟 18770 二四一
瀡 18801 二五九
瀨 18800 二五九
瀾 18799 二五九
灣 18798 二五九
瀘 18797 二五九
瀘 18796 二五九
瀆 18795 二五九
瀆 18794 二五八
瀾 18793 二五八
瀘 18792 二五八
瀛 18791 二五八
瀟 18790 二五八
二十畫
瀆 18789 二五八
瀧 18788 二五八
瀆 18787 二五四
瀧 18786 二五四
灌 18817 二五六
瀧 18816 二五六
瀯 18815 二五六
瀟 18814 二五六
瀟 18813 二五六
瀨 18812 二五六
瀨 18811 二五五
瀨 18810 二五五
瀼 18809 二五五
瀟 18808 二五五
二十一畫
瀟 18807 二五五
瀟 18806 二五五
瀨 18805 二五五
瀟 18804 二五五
瀼 18803 二五五
瀧 18802 二五五
瀟 18832 二五七
瀧 18831 二五七
瀯 18830 二五七
瀧 18829 二五七
瀟 18828 二五七
二十二畫
瀲 18827 二五七
瀦 18826 二五七
瀧 18825 二五七
瀟 18824 二五七
灣 18823 二五七
瀟 18822 二五六
二十三畫
瀘 18821 二五六
瀟 18820 二五六
瀟 18819 二五六
瀟 18818 二五六
二十八畫
瀟 18845 二五六
二十八畫
瀟 18844 二五六
二十五畫
瀟 18843 二五六
瀟 18842 二五六
瀟 18841 二五六
瀟 18840 二五六
瀟 18839 二五六
瀟 18838 二五六
二十四畫
瀟 18837 二五六
瀟 18836 二五六
瀟 18835 二五六
瀟 18834 二五六
瀟 18833 二五六
灯 18855 二五七
炎 18854 二五七
二畫
灮 18853 二五三
火 18852 二五二
一畫
灬 18851 二五二
火 18850 二五九
火部
瀟 18849 二五九
二十八畫
瀟 18848 二五九
三十畫
瀟 18847 二五九
二十五畫
瀟 18846 二五八
弁 18871 二六九
天 18870 二六九
灶 18869 二六九
灵 18868 二六九
灶 18867 二六九
三畫
灸 18866 二六四
灸 18865 二六四
灸 18864 二六四
及 18863 二六四
灮 18862 二六四
灮 18861 二六四
灸 18860 二六四
灰 18859 二六四
灰 18858 二六四
夙 18857 二六四
灸 18856 二六四
奸 18888 二六九
炷 18887 二六九
炒 18886 二六九
尝 18885 二六九
灸 18884 二六九
炯 18883 二六九
炳 18882 二六九
灾 18881 二六九
扶 18880 二六九
災 18879 二六九
灼 18878 二六九
夷 18877 二六九
灸 18876 二六九
灺 18875 二六九
炷 18874 二六九
灸 18873 二六九
灸 18872 二六九

炊 18904 炒 18903 炉 18902 焜 18901 炆 18900 炊 18899 炆 18898 耿 18897 炅 18896 炄 18895 烀 18894 炙 18893 炌 18892 炁 18891 奕 18890

四畫

炱 18889

炘 18921 炭 18920 炖 18919 炕 18918 炔 18917 炓 18916 炒 18915 奕 18914 炑 18913 烊 18912 炊 18911 炎 18910 炗 18909 炌 18908 炁 18907 炑 18906 炳 18905

牢 18937 炕 18936 奕 18935 炡 18934 炷 18933 炟 18932

五畫

斧 18931 更 18930 炯 18929 炙 18928 炊 18927 炎 18926 炮 18925 炎 18924 炭 18923 炙 18922

炭 18953 炭 18952 炒 18951 炤 18950 爺 18949 炬 18948 炫 18947 炻 18946 炷 18945 炮 18944 炑 18943 炱 18942 費 18941 烰 18940 炤 18939 炯 18938

炎 18970 查 18969 炷 18968 炅 18967 炆 18966 炷 18965 烱 18964 炷 18963 烩 18962 炔 18961 炳 18960 炎 18959 炷 18958 炅 18957 炯 18956 炁 18955 炮 18954

衰 18985 炘 18984 炖 18983 炆 18982

六畫

為 18981 炎 18980 点 18979 炸 18978 秋 18977 查 18976 炟 18975 炟 18974 炁 18973 炑 18972 炑 18971

煞 19002 炱 19001 炕 19000 炯 18999 烏 18998 棲 18997 炎 18996 烧 18995 烟 18994 煞 18993 炔 18992 炁 18991 烊 18990 炎 18989 煞 18988 烈 18987 烩 18986

烝 19019 烜 19018 烛 19017 炙 19016 烩 19015 烙 19014 奚 19013 烘 19012 烹 19011 炫 19010 戚 19009 栽 19008 威 19007 烽 19006 烔 19005 烓 19004 焦 19003

焉 19035 烤 19034 炙 19033 炟 19032 焉 19031 炑 19030 魚 19029 烜 19028 焦 19027 炎 19026 焜 19025 烷 19024 烱 19023 烟 19022 炔 19021 烩 19020

十六畫

炎 19052 烬 19051 炑 19050 烹 19049 悔 19048 烷 19047 烶 19046 烤 19045 烴 19044 烳 19043 焦 19042 炎 19041 烱 19040 烊 19039 焜 19038 烯 19037 焢 19036

焄 19069 四九
㷭 19068 四九
煐 19067 四九
㷭 19066 四九
㷭 19065 四九
熔 19064 四九
㷭 19063 四九
㷭 19062 四九
㷭 19061 四九
㷭 19060 四九
烽 19059 四八
㷭 19058 四八
㷭 19057 四八
㷭 19056 四八
㷭 19055 四八
㷭 19054 四八
㷭 19053 四八

㷭 19086 四七
㷭 19085 四七
㷭 19084 四七
㷭 19083 四七
㷭 19082 四七
㷭 19081 四七
㷭 19080 四七
㷭 19079 四七
㷭 19078 四七
㷭 19077 四七
㷭 19076 四七
㷭 19075 四七
㷭 19074 四七
㷭 19073 四七
㷭 19072 四七
㷭 19071 四七
㷭 19070 四九

閔 19102 四五
㷭 19101 四五
㷭 19100 四五
㷭 19099 四五

八畫

黑 19098 四三
㷭 19097 四三
㷭 19096 四三
㷭 19095 四三
㷭 19094 四三
㷭 19093 四三
㷭 19092 四三
㷭 19091 四三
㷭 19090 四三
㷭 19089 四三
㷭 19088 四三
㷭 19087 四三

焦 19119 四六
㷭 19118 四六
㷭 19117 四六
㷭 19116 四六
㷭 19115 四六
㷭 19114 四六
㷭 19113 四六
㷭 19112 四六
㷭 19111 四六
㷭 19110 四五
㷭 19109 四五
㷭 19108 四五
㷭 19107 四五
㷭 19106 四五
㷭 19105 四五
㷭 19104 四五
㷭 19103 四五

㷭 19137 四六
㷭 19136 四六
㷭 19134 四六
㷭 19133 四六
㷭 19132 四六
㷭 19131 四六
㷭 19130 四六
㷭 19129 四六
㷭 19128 四六
㷭 19127 四六
㷭 19126 四六
㷭 19125 四六
㷭 19124 四六
㷭 19123 四六
㷭 19122 四六
㷭 19121 四六
㷭 19120 四六

㷭 19154 四五
㷭 19153 四五
㷭 19152 四五
㷭 19151 四五
㷭 19150 四五
㷭 19149 四五
㷭 19148 四五
㷭 19147 四五
㷭 19146 四五
㷭 19145 四五
㷭 19144 四五
㷭 19143 四五
㷭 19142 四五
㷭 19141 四五
㷭 19140 四五
㷭 19139 四五
㷭 19138 四五

㷭 19168 四六九
㷭 19167 四六九

九畫

㷭 19166′ 四六九
㷭 19166 四六九
㷭 19165′ 四六九
㷭 19165 四六九
㷭 19164 四六九
㷭 19163 四六九
㷭 19162 四六九
㷭 19161 四六九
㷭 19160 四六九
㷭 19159 四六九
㷭 19158 四六九
㷭 19157 四六九
㷭 19156 四六九
㷭 19155 四六九

㷭 19185 四六八
㷭 19184 四六八
㷭 19183 四六八
㷭 19182 四六八
㷭 19181 四六七
㷭 19180 四六七
㷭 19179 四六七
㷭 19178 四六六
㷭 19177 四六六
㷭 19176 四六六
㷭 19175 四六六
㷭 19174 四六六
㷭 19173 四六六
㷭 19172 四六六
㷭 19171 四五
㷭 19170 四六六
㷭 19169 四六六

㷭 19202 四七四
㷭 19201 四七四
㷭 19200 四七四
㷭 19199 四七四
㷭 19198 四七四
㷭 19197 四七三
㷭 19196 四七三
㷭 19195 四七三
㷭 19194 四七三
㷭 19193 四七三
㷭 19192 四七二
㷭 19191 四七二
㷭 19190 四七二
㷭 19189 四七二
㷭 19188 四七二
㷭 19187 四七九
㷭 19186 四七九

㷭 19219 四八一
㷭 19218 四八一
㷭 19217 四八一
㷭 19216 四八一
㷭 19215 四八一
㷭 19214 四八一
㷭 19213 四八〇
㷭 19212 四八〇
㷭 19211 四八〇
㷭 19210 四八〇
㷭 19209 四八〇
㷭 19208 四八〇
㷭 19207 四八〇
㷭 19206 四八〇
㷭 19205 四八〇
㷭 19201 四七四

熹 19236 煬 19235 煢 19234 煜 19233 煮 19232 煙 19231 煝 19230 煩 19229 煨 19228 煔 19227 照 19226 煦 19225 煥 19224 煽 19223 熏 19222 煆 19221 煤 19220

燎 19253 燕 19252 煸 19251 熟 19250 煽 19249 爆 19248 煜 19247 燥 19246 燼 19245 熆 19244 熔 19243 熙 19242 熨 19241 熟 19240 熨 19239 熒 19238 熒 19237

熥 19269 魚 19268 翕 19267 熄 19266 熄 19265 構 19264 十畫 熏 19263 熅 19262 熅 19261 煲 19260 燮 19259 燧 19258 熄 19257 燒 19256 燒 19255 爐 19254

燊 19286 燹 19285 熄 19284 熄 19283 燹 19282 燉 19281 燒 19280 穀 19279 熹 19278 燻 19277 燁 19276 羨 19275 熄 19274 熨 19273 爆 19272 熙 19271 爛 19270

爆 19303 熞 19302 爆 19301 熏 19300 熘 19299 焙 19298 烟 19297 爾 19296 熨 19295 熊 19294 熉 19293 熙 19292 熇 19291 熘 19290 熘 19289 爐 19288 熄 19287

烟 19320 熔 19319 鳶 19318 鬲 19317 鬲 19316 熨 19315 熬 19314 熨 19313 熨 19312 熨 19311 熨 19310 熬 19309 熨 19308 熟 19307 焉 19306 熘 19305 熒 19304

熨 19336 熨 19335 熨 19334 熔 19333 熟 19332 爆 19331 熨 19330 熨 19329 熨 19328 熨 19327 熨 19326 熨 19325 熨 19324 熨 19323 熨 19322 十一畫 熨 19321

熨 19353 熬 19352 熨 19351 熨 19350 熨 19349 熨 19348 熨 19347 熨 19346 熨 19345 熨 19344 熨 19343 熨 19342 熨 19341 熨 19340 熨 19339 熨 19338 熨 19337

熨 19370 熨 19369 熨 19368 熨 19367 熨 19366 熨 19365 熨 19364 熨 19363 熨 19362 熨 19361 熱 19360 熨 19359 熨 19358 熨 19357 熨 19356 熨 19355 熨 19354

爐 19384 熨 19383 熨 19382 熨 19381 熨 19380 熨 19379 熨 19378 熨 19377 熨 19376 熨 19375 熨 19374 熨 19373 十二畫 勳 19372 熨 19372 熨 19371 熨 19371

燇 19401 五八
燆 19400 五八
燄 19399 五八
燅 19398 五七
焰 19397 五七
焰 19396 五七
燄 19395 五七
燃 19394 五六
爐 19393 五六
爆 19392 五六
爍 19391 五六
爚 19390 五六
爊 19389 五六
爗 19388 五五
爛 19387 五五
戴 19386 五五
熾 19385 五五

爐 19418 五三
燐 19417 五三
爆 19416 五三
燏 19415 五三
燎 19414 五三
斷 19413 五三
燄 19412 五三
爐 19411 五三
燋 19410 五三
勃 19409 五三
燊 19408 五三
熨 19407 五二
爐 19406 五二
爐 19405 五二
燻 19404 五二
燉 19403 五二
燈 19402 五二

燙 19435 五二八
爵 19434 五二八
燮 19433 五二八
燜 19432 五二八
爛 19431 五二八
爵 19430 五二八
燕 19429 五二八
爊 19428 五二八
堰 19427 五二八
燔 19426 五二七
爆 19425 五二七
爆 19424 五二七
爆 19423 五二七
熒 19422 五二七
爍 19421 五二七
燒 19420 五二三
爨 19419 五二三

燐 19452 五二九
爐 19451 五二九
爆 19450 五二九
爆 19449 五二九
敵 19448 五二九
爲 19447 五二九
蓊 19446 五二九
爆 19445 五二九
熔 19444 五二九
爐 19443 五二九
爆 19442 五二八
煒 19441 五二八
爆 19440 五二八
爲 19439 五二八
爲 19438 五二八
爆 19437 五二八
爆 19436 五二八

爆 19468 五四八
燥 19467 五四七
爐 19466 五四七
爐 19465 五四七
爆 19464 五四七
爆 19463 五四六
爆 19462 五四六
爆 19461 五四六
爆 19460 五四六
爆 19459 五四六
爆 19458 五四五
營 19457 五四五
十三畫
感 19456 五五九
爆 19455 五五九
爆 19454 五五九
爐 19453 五五九

爆 19485 五五一
爆 19484 五五一
爆 19483 五五一
變 19482 五五一
變 19481 五五一
燭 19480 五四八
爆 19479 五四八
爆 19478 五四七
爆 19477 五四七
爆 19476 五四七
爆 19475 五四七
爆 19474 五四七
爆 19473 五四七
爆 19472 五四七
爆 19471 五四七
燙 19470 五四七
爆 19469 五四六

輝 19502 五五一
爆 19501 五五一
爆 19500 五五一
爆 19499 五五一
爆 19498 五五一
爆 19497 五五一
爆 19496 五五一
爆 19495 五五一
爆 19494 五五一
爆 19493 五五一
爆 19492 五五一
爆 19491 五五一
爆 19490 五五一
爆 19489 五五一
爆 19488 五五一
爆 19487 五五一
爆 19486 五五一

爆 19518 五五二
爆 19517 五五二
爆 19516 五五二
爆 19515 五五二
爆 19514 五五二
爆 19513 五五二
爆 19512 五五二
爆 19511 五五二
爆 19510 五五二
爆 19509 五五二
爆 19508 五五二
爆 19507 五五二
爆 19506 五五二
爆 19505 五五二
十四畫
爆 19504 五五二
爆 19503 五五二

爆 19535 五五四
爆 19534 五五四
爆 19533 五五四
爆 19532 五五四
爆 19531 五五四
爆 19530 五五四
爆 19529 五五三
爆 19528 五五三
爆 19527 五五三
爆 19526 五五三
爆 19525 五五三
爆 19524 五五三
爆 19523 五五三
爆 19522 五五三
爆 19521 五五三
爆 19520 五五三
爆 19519 五五三

爆 19552 五五六
爆 19551 五五六
爆 19550 五五六
爆 19549 五五六
爆 19548 五五六
爆 19546 五五五
爆 19545 五五五
爆 19544 五五五
爆 19543 五五五
爆 19542 五五五
爆 19541 五五五
爆 19540 五五四
爆 19539 五五四
爆 19538 五五四
爆 19537 五五四
爆 19536 五五四
十五畫

爐 19566 五六八
歷 19565 五六八
瘴 19564 五六八
爔 19563 五六八

十六畫

爍 19562′ 五六八
爨 19562 五六八
爍 19561′ 五六八
爐 19561 五六八
爆 19560 五六八
爛 19559 五六八
憲 19558 五六八
爐 19557 五六八
燎 19556 五六八
厲 19555 五六八
龕 19554 五六八
熙 19553 五六八

瞿 19585 五六八
瓏 19584 五六八
繙 19583 五六八
爲 19582 五六七
爆 19581 五六七
爛 19580 五六七
爛 19579 五六七
爔 19576 五六七
雙 19575 五六七
爵 19574 五六七
燎 19573 五六七
釋 19572 五六七
爛 19571 五六七
爛 19570 五六七
燋 19569 五六七
戮 19568 五六七
爨 19567 五六七

纏 19600 五六八
獻 19599 五六八
燮 19598 五六八

十七畫

爐 19597 五六八
爛 19596′ 五六八
鞅 19596 五六八
爔 19595 五六八
爨 19594 五六八
爨 19593 五六八
爨 19592 五六八
爨 19591 五六八
雜 19590 五六八
爆 19589 五六八
藍 19588 五六八
爛 19587 五六八
爨 19586 五六八

灌 19617 五六八
爐 19615 五六八
爔 19614 五六八
爛 19613 五六八
爆 19612 五六八
攝 19611 五六八
爔 19610 五六八

十八畫

爲 19609 五六八
爐 19608 五六八
發 19607 五六八
爛 19606 五六八
燮 19605 五六八
爛 19604 五六八
爛 19603 五六八
爛 19602 五六八
壞 19601 五六八

爛 19631 五六八

二十畫

爔 19630′ 五六八
爨 19630 五六八
鬱 19629 五六八
爔 19628 五六八
爆 19627 五六八
廳 19626 五六八
變 19625 五六八
難 19624 五六八
爨 19623 五六八
爍 19622 五六八
爐 19621 五六八

十九畫

爨 19620 五六八
爛 19619 五六八
灌 19618 五六八

爐 19644 五六八

二十四畫

爔 19643 五六八

二十三畫

爨 19642 五六八
爨 19641 五六八
爨 19640 五六八

二十二畫

爔 19639 五六八
爔 19638 五六八
爔 19637 五六八
爛 19636 五六八
爨 19635 五六八
爨 19634 五六八
爛 19633 五六八

二十一畫

爐 19632 五六八

爪 19655 五六九
爪 19654 五六九
爪 19653 五六四

爪部

爨 19652 五六九
爛 19651 五六九

二十四畫

爔 19650 五六九

二十三畫

爔 19649 五六九

二十四畫

爨 19648 五六九

二十五畫

爨 19647 五六九
爨 19646 五六九
爨 19645 五六九

受 19668 五六九
采 19667 五六九

五畫

氢 19666 五六八
爬 19665 五六八
至 19664 五六八
爭 19663 五六八
爬 19662 五六五
殷 19661 五六五

四畫

爰 19660 五六五
爬 19659 五六五
爭 19658 五六五
爬 19657 五六五

三畫

爪 19656 五六五

一畫

爬 19683 五七〇
爰 19682 五七〇

七畫

采 19681 五七〇
雪 19680 五六九

一畫

爬 19679 五七〇
爬 19678 五七〇
爬 19677 五七〇
爭 19676 五七〇
爭 19675 五七〇
爭 19674 五七〇
爬 19673 五七〇
爰 19672 五六九
爭 19671 五六九
爬 19670 五六九
爰 19669 五六九

爾 19698 五七九
爰 19697 五七九
爰 19696 五七九
爆 19695 五七九

十畫

瓢 19694 五七九
爬 19693 五七九
瓢 19692 五七九
爰 19691 五七九

九畫

爲 19690 五七四
爪 19689 五七四
爭 19688 五七四
爲 19687 五七四
爲 19686 五七一

八畫

爭 19684 五七〇

十四畫
爵 19710′ 五七五
爛 19710 五七五
鬱 19709 五七五
十三畫
靈 19708 五七五
靨 19707 五七五
黶 19706 五七五
靂 29705′ 五七五
十二畫
變 19705 五七五
鬱 19704 五七五
鬱 19703 五七五
鬱 19701 五七五
十一畫
鬼 19700 五七五
魔 19699 五七五

二十一畫
鑾 19720 五七六
魔 19719 五七六
十九畫
魔 19718 五七六
十一畫
鬼 19717 五七六
十七畫
鬼 19716 五七六
鬼 19715 五七六
鬼 19714 五七六
十七畫
變 19713 五七六
十五畫
鬼 19712 五七七
鬼 19711 五七七

父部

四畫
父 19721 五七八
交 19722 五八一
爸 19723 五八一
斧 19724 五八一
五畫
俎 19725 五八二
令 19726 五八二
六畫
爹 19727 五八二
爺 19728 五八二
七畫
爺 19729 五八二
爸 19730 五八二
爺 19731 五八二

父部

六畫
變 19732 五八三
爺 19734 五八三
奢 19738 五八三
奏 19735 五八三
十三畫
鑾 19736 五八三
七畫
爺 19734 五八三
奢 19738 五八三
變 19732 五八三
四畫
爻 19737 五八五

爻部

五畫
爻 19738 五八四
校 19740 五八四
爻 19741 五八四
爻 19742 五八四

爻部

六畫
俎 19743 五八四
八畫
爽 19746 五八四
七畫
婆 19745 五八四
爽 19746 五八四
九畫
奧 19747 五八五
爽 19748 五八五
四畫
爾 19750 五八五
奐 19751 五八六
十畫
瑣 19752 五八六
爾 19753 五八六

片部

十二畫
鬱 19754 五八六
十五畫
鬱 19755 五八六
鬱 19756 五八六
鬱 19757 五八六
二畫
片 19758 五八九
臼 19759 五八九
二畫
臼 19760 五八九
三畫
牠 19761 五八九
四畫
牀 19762 五八九
牀 19763 五八九

七畫
紹 19766 五九二
柯 19767 五九二
祖 19768 五九二
祓 19769 五九二
祂 19770 五九二
玲 19771 五九二
六畫
牧 19772 五九二
桃 19773 五九二
九畫
祥 19774 五九三
牂 19775 五九三
六畫
牂 19776 五九一
牂 19777 五九一
鼎 19764 五九二
服 19765 五九二
三畫
牆 19780 五九一
鋒 19781 五九一
三畫
牆 19792 五九一
鋒 19791 五九一
牒 19790 五九一
牠 19789 五九一
九畫
牆 19788 五九一
牆 19787 五九一
牆 19786 五九一
牋 19785 五九一
牆 19784 五九一
牂 19783 五九一
牂 19782 五九一
十五畫
牆 19796 五九二
牆 19797 五九二
十三畫
牆 19798 五九二
牆 19799 五九二
牆 19800 五九二
牆 19801 五九二
牆 19802 五九二
十二畫
牆 19803 五九二
牆 19804 五九二
牆 19805 五九二
牆 19806 五九二
十五畫
牆 19793 五九二
牆 19794 五九二
牆 19795 五九二

一四

十五畫
牆 19807 五九二
牆 19808 五九二
十六畫
牆 19809 五九二
十五畫
牆 19810 五九二
十三畫
牆 19811 五九四
二十四畫
牆 19812 五九四

片部

片 19813 五九四
三畫
牧 19814 五九七
牠 19815 五九七

四畫

肌 19816 五七七

五畫

版 19817 五七七　股 19818 五七八　肪 19819 五七八　肘 19820 五七八　欣 19821 五七八　肖 19822 五七八　肝 19823 五七八　肢 19824 五七八　肥 19825 五七九　胧 19826 五七九　胖 19827 五七九　胝 19828 五七九　胎 19829 五七九　胭 19830 五七九

六畫

脂 19833 五七九　胱 19834 五七九　脚 19835 五七九　脉 19836 五七九　脈 19837 五七九　脩 19838 五七九　脥 19839 五七九　脇 19840 五七九　脈 19841 五七九　脩 19842 五七九　脚 19843 五七九　脥 19844 五七九　脇 19845 五七九

七畫

脚 19846 五七九　脚 19847 五七九　脚 19848 五七九　脚 19849 五七九　脇 19850 五七九　脇 19851 五七九　脇 19852 五七九　脇 19853 五七九　脇 19854 五七九　脇 19855 五七九　脇 19856 五七九　脇 19857 五七九　脇 19858 五七九　脇 19859 五七九　脇 19860 五七九　脇 19861 五八〇

八畫

脚 19862 五八〇　脚 19863 五八〇　脚 19864 五八〇　脚 19865 五八〇　脚 19866 五八〇　脚 19867 五八〇　脚 19868 五八〇　脚 19869 五八〇　脚 19870 五八〇　脚 19871 五八〇　脚 19872 五八〇　脚 19873 五八〇　脚 19874 五八〇　脚 19875 五八〇　脚 19876 五八〇

九畫

脚 19877 五八〇　脚 19878 五八〇　脚 19879 五八〇　脚 19880 五八〇　脚 19881 五八〇　脚 19882 五八〇　脚 19883 五八〇　脚 19884 五八〇　脚 19885 五八〇　脚 19886 五八〇　脚 19887 五八〇　脚 19888 五八〇　脚 19889 五八〇　脚 19890 五八〇　脚 19891 五八〇　脚 19892 五八〇

十畫

脚 19893 五八〇　脚 19894 五八〇　脚 19895 五八〇　脚 19896 五八〇　脚 19897 五八〇　脚 19898 五八〇

十一畫

脚 19899 五八〇　脚 19900 五八〇　脚 19901 五八〇　脚 19902 五八〇

十二畫

脚 19903 五八〇　脚 19904 五八〇　脚 19905 五八〇

十三畫

脚 19906 五八〇

十四畫

脚 19907 五八〇　脚 19908 五八〇

十五畫

脚 19909 五八〇

十六畫

脚 19910 五八〇

十七畫

脚 19911 五八〇

牙部

牙 19912 五八〇

三畫

牙 19913 五八〇

四畫

牙 19914 五八〇

五畫

牙 19915 五八〇　牙 19916 五八〇

六畫

牙 19917 五八〇

七畫

牙 19918 五八〇　牙 19919 五八〇

八畫

牙 19920 五八〇　牙 19921 五八〇

牛部

牛 19922 五八〇　牛 19923 五八〇

一畫

牛 19924 五八〇

二畫

牛 19925 五八〇　牛 19926 五八〇　牛 19927 五八〇　牛 19928 五八〇　牛 19929 五八〇

六畫

牛 19930 五八〇　牛 19931 五八〇　牛 19932 五八〇　牛 19933 五八〇　牛 19934 五八〇　牛 19935 五八〇　牛 19936 五八〇　牛 19937 五八〇　牛 19938 五八〇

四畫

牛 19939 五八〇　牛 19940 五八〇　牛 19941 五八〇　牛 19942 五八〇　牛 19943 五八〇　牛 19944 五八〇　牛 19945 五八〇　牛 19946 五八〇　牛 19947 五八〇　牛 19948 五八〇　牛 19949 五八〇　牛 19950 五八〇　牛 19951 五八〇　牛 19952 五八〇　牛 19953 五八〇　牛 19954 五八〇　牛 19955 五八〇　牛 19956 五八〇

牺 19972 六四一
牧 19971 六四一
牠 19970 六四一
牠 19969 六四一

五畫

牙 19968 六四一
犰 19967 六四一
犀 19966 六四一
状 19965 六四一
牮 19964 六四一
折 19963 六四一
牧 19962 六四一
牛 19961 六四一
牲 19960 六四一
物 19959 六四一
牧 19958 六四一
牝 19957 六四一

牢 19989 六四二
牴 19988 六四二
牺 19987 六四二
牲 19986 六四二
牽 19985 六四二
柯 19984 六四二
柚 19983 六四二
牢 19982 六四二
牯 19981 六四二
狗 19980 六四二
牽 19979 六四二
牲 19978 六四二
牠 19977 六四二
牧 19976 六四二
牧 19975 六四二
牮 19974 六四二
牲 19973 六四二

牺 20005 六四三
牯 20004 六四三
牠 20003 六四三
牷 20002 六四三
牽 20001 六四三
格 20000 六四三

六畫

被 19999 六四三
牽 19998 六四三
押 19997 六四三
牰 19996 六四三
犬 19995 六四三
犯 19994 六四三
牧 19993 六四三
犯 19992 六四三
犰 19991 六四三
牽 19990 六四三

牽 20021 六四九
牠 20020 六四九
犬 20019 六四九
牽 20018 六四九
牧 20017 六四八
徐 20016 六四八

七畫

牽 20015 六四八
犯 20014 六四八
特 20013 六四四
牧 20012 六四三
舒 20011 六四三
牯 20010 六四三
牠 20009 六四三
牠 20008 六四三
牠 20007 六四三
栔 20006 六四三

牺 20038 六四二
犁 20037 六四二
牧 20036 六四二
舒 20035 六四二
牲 20034 六四二
牧 20033 六四二
牯 20032 六四二
球 20031 六四二
犁 20030 六四二
犯 20029 六四二
牾 20028 六四二
牲 20027 六四二
犯 20026 六四二
牽 20025 六四九
牠 20024 六四九
牼 20023 六四九
牠 20022 六四九

犄 20054 六五六
悰 20053 六五六
牪 20052 六五六
悼 20051 六五六
犗 20050 六五五
犁 20049 六五五
犂 20048 六五四
犗 20047 六五四
牲 20046 六五四
犀 20045 六五三

八畫

牲 20044 六五三
牠 20043 六五三
犀 20042 六五二
牠 20041 六五二
悔 20040 六五二
犄 20039 六五二

牒 20071 六五七
舒 20070 六五七
犢 20069 六五七
犇 20068 六五七
犇 20067 六五七
牪 20066 六五七
牒 20065 六五七
犁 20064 六五七
犭 20063 六五七
牲 20062 六五六
犁 20061 六五六
犁 20060 六五六
犈 20059 六五六
犇 20058 六五六
牠 20057 六五六
犅 20056 六五六
犀 20055 六五六

犇 20088 六五八
悛 20087 六五八
犁 20086 六五八
犇 20085 六五八
犇 20084 六五八
悰 20083 六五八
悠 20082 六五八
牠 20080 六五八
犇 20079 六五八
犍 20078 六五七
犯 20077 六五七
牠 20076 六五七

八畫

犈 20075 六五七
悠 20074 六五七
牲 20073 六五七
牠 20072 六五七

犇 20105 六五九
牠 20104 六五九
牲 20103 六五九
犇 20102 六五九
牠 20101 六五九
牲 20100 六五九
牲 20099 六五八
被 20098 六五八
犢 20097 六五八
犇 20096 六五八
犇 20095 六五八
犯 20094 六五八
犁 20093 六五八
牒 20092 六五八
牒 20091 六五八
牠 20090 六五八
犅 20089 六五八

犇 20121 六六〇
犇 20120 六六〇
犇 20119 六六〇
犇 20118 六六〇
犇 20117 六六〇
犅 20116 六五九
犇 20115 六五九
犅 20114 六五九
犅 20113 六五九
犅 20112 六五九
犅 20111 六五九
犅 20110 六五九
犅 20109 六五九
犅 20108 六五九
犅 20107 六五九
犅 20106 六五九

十畫

犧 20137 六七
犢 20136 六七
犇 20135 六七
犆 20134 六七
犅 20133 六七
槐 20132 六七
榅 20131 六七
犗 20130 六七
犕 20129 六七
犑 20128 六七
犨 20127 六七
犖 20126 六七
犕 20125 六七
犖 20124 六七
穀 20123 六七
犕 20122 六七

十一畫

犕 20153 六七
犕 20152 六七
犖 20151 六七
犕 20150 六七
犖 20149 六七
犖 20148 六七
犖 20147 六七
犖 20146 六七
犖 20145 六七
犖 20144 六七
犖 20143 六七
犖 20142 六七
犖 20141 六七
犖 20140 六七
犖 20139 六七
犖 20138 六七

十一畫

犢 20169 六七
犢 20168 六七
犢 20167 六七
犢 20166 六七
犢 20165 六七
犢 20164 六七
犢 20163 六七

十一畫

犢 20162 六七
犢 20161 六七
犢 20160 六七
犢 20159 六七
犢 20158 六七
犢 20157 六七
犢 20156 六七
犢 20155 六七
犢 20154 六七

犢 20185 六七
犢 20184 六七
犢 20183 六七
犢 20182 六七
犢 20181 六七
犢 20180 六七
犢 20179 六七

十三畫

犢 20178 六七
犢 20177 六七
犢 20176 六七
犢 20175 六七
犢 20174 六七
犢 20173 六七
犢 20172 六七
犢 20171 六七
犢 20170 六七

犢 20199 六七
犢 20198 六七
犢 20197 六七
犢 20196 六七
犢 20195 六七
犢 20194 六七

十五畫

犢 20193 六七
犢 20192 六七
犢 20191 六七

十四畫

犢 20190 六七
犢 20189 六七
犢 20188 六七
犢 20187 六七
犢 20186 六七

犢 20214 六七
犢 20213 六七
犢 20212 六七

十七畫

犢 20211 六七
犢 20210 六七
犢 20209 六七
犢 20208 六七
犢 20207 六七
犢 20206 六七

十六畫

犢 20205 六七
犢 20204 六七
犢 20203 六七
犢 20202 六七
犢 20201 六七
犢 20200 六七

犢 20228 六七
犢 20227 六七

十七畫

犢 20226 六七
犢 20225 六七
犢 20224 六七

十七畫

犢 20223 六七
犢 20222 六七
犢 20221 六七
犢 20220 六七
犢 20219 六七
犢 20218 六七

十八畫

犢 20217 六七
犢 20216 六七
犢 20215 六七

犯 20238 六七

二畫

夂 20237 六七
夊 20236 六七

一畫

犭 20235 六七
犬 20234 六七

犬部

犢 20233 六七

二十四畫

犢 20232 六七

二十三畫

犢 20231 六七
犢 20230 六七

二十一畫

犢 20229 六七

帙 20254 六七
犹 20253 六七
犹 20252 六七
犹 20251 六七
犹 20250 六七
犹 20249 六七
犹 20248 六七
犹 20247 六七
犹 20246 六七
犹 20245 六七
犹 20244 六七
犹 20243 六七

三畫

犹 20242 六七
犹 20241 六七
犹 20240 六七
犹 20239 六七

犹 20270 六七
犹 20269 六七
犹 20268 六七
犹 20267 六七
犹 20266 六七
犹 20265 六七
犹 20264 六七
犹 20263 六七
犹 20262 六七
犹 20261 六七
犹 20260 六七
犹 20259 六七
犹 20258 六七

四畫

状 20257 六七
犹 20256 六七
犹 20255 六七

狂 20287 六六五
狁 20286 六六五
狃 20285 六六五
狗 20284 六六五
狄 20283 六六五
折 20282 六六五
狋 20281 六六五
狀 20280 六六五
犴 20279 六六四
狉 20278 六六四
狅 20277 六六四
狀 20276 六六四
狀 20275 六六四
犽 20274 六六四
狄 20273 六六四
炊 20272 六六四
犰 20271 六六四

狆 20304 六六五
狄 20303 六六五
狉 20302 六六五
狄 20301 六六五
狁 20300 六六五
狉 20299 六六五
犽 20298 六六五
狀 20297 六六五
狄 20296 六六五
狚 20295 六六五
狒 20294 六六五
狆 20293 六六五
狂 20292 六六五
狇 20291 六六五
狄 20290 六六五
狃 20289 六六五
狉 20288 六六五

臭 20320 六六五
狢 20319 六六五
狃 20318 六六五
狋 20317 六六五
狉 20316 六六五
猾 20315 六六五
狐 20314 六六五
狡 20313 六六五
狀 20312 六六五
沾 20311 六六五
狚 20310 六六五
狉 20309 六六五
猗 20308 六六五
狆 20307 六六五
五畫
猘 20306 六六五
狉 20305 六六五

狁 20337 六六六
狄 20336 六六六
狑 20335 六六六
狄 20334 六六六
狐 20333 六六六
狉 20332 六六六
狉 20331 六六六
狆 20330 六六六
狎 20329 六六六
狍 20328 六六六
狊 20327 六六六
狂 20326 六六六
狎 20325 六六六
狌 20324 六六六
狂 20323 六六六
狉 20322 六六六
狊 20321 六六六

狀 20354 六六六
狗 20353 六六六
狉 20352 六六六
狀 20351 六六六
猷 20350 六六六
狛 20349 六六六
狙 20348 六六六
狙 20347 六六六
狘 20346 六六六
狗 20345 六六六
狁 20344 六六六
狃 20343 六六六
狔 20342 六六六
狄 20341 六六六
狁 20340 六六六
猷 20339 六六六
狀 20338 六六六

狀 20370 六六七
狗 20369 六六七
狣 20368 六六七
狢 20367 六六七
狢 20366 六六七
狡 20365 六六七
狀 20364 六六七
狄 20363 六六七
狠 20362 六六七
洹 20361 六六七
六畫
狉 20360 六六七
狄 20359 六六七
狀 20358 六六七
狃 20357 六六七
狉 20356 六六七
狀 20355 六六七

狀 20387 六六七
狉 20386 六六七
狉 20385 六六七
狄 20384 六六七
狛 20383 六六七
狢 20382 六六七
狉 20381 六六七
狀 20380 六六七
狄 20379 六六七
狉 20378 六六七
狗 20377 六六七
狄 20376 六六七
狄 20375 六六七
狉 20374 六六七
狄 20373 六六七
狢 20372 六六七
狉 20371 六六七

狀 20404 六六八
狉 20403 六六八
狉 20402 六六八
狉 20401 六六八
狄 20400 六六八
狄 20399 六六八
狉 20398 六六八
狀 20397 六六八
狉 20396 六六八
狀 20395 六六八
狢 20394 六六八
狉 20393 六六八
狀 20392 六六八
狗 20391 六六八
狩 20390 六六八
狂 20389 六六八
猶 20388 六六八

狉 20419 六六八
狄 20418 六六八
狄 20417 六六八
狉 20416 六六八
狀 20415 六六八
狉 20414 六六八
狢 20413 六六八
狉 20412 六六八
狉 20411 六六八
狉 20410 六六八
狄 20409 六六八
狉 20408 六六八
狄 20407 六六八
七畫
狄 20406 六六八
狄 20405 六六八
狄 20405 六六八

狉 20436 六六八
狉 20435 六六八
狄 20434 六六八
狀 20433 六六八
狼 20432 六六八
狉 20431 六六八
狉 20430 六六八
狀 20429 六六八
狄 20428 六六八
狉 20427 六六八
狉 20426 六六八
狉 20425 六六八
狉 20424 六六八
狉 20423 六六八
狄 20422 六六八
狄 20421 六六八
狄 20420 六六八

猁 20453 七六
狶 20452 七六
狛 20451 七六
猺 20450 七六
猩 20449 七六
狩 20448 七六
猊 20447 七六
狺 20446 七六
猷 20445 七六
角 20444 七六
玴 20443 七六
軼 20442 七六
狱 20441 七六
狸 20440 七六
獃 20439 七六
猩 20438 七六
狎 20437 七六

猊 20469 七六
猊 20468 七六
狢 20467 七六
猗 20466 七六
猱 20465 七六
猋 20464 七六
猋 20463 七六
狻 20462 七六
猇 20461 七六
猴 20460 七六
猶 20459 七六
猴 20458 七六
奘 20457 七六
狒 20456 七六
猓 20455 七六

八畫

猩 20454 七六

獎 20486 七六
獎 20485 七六
猶 20484 七六
猓 20483 七六
猒 20482 七六
猊 20481 七六
猩 20480 七六
猇 20479 七六
猺 20478 七六
猇 20477 七六
猴 20476 七六
猶 20475 七六
猴 20474 七六
猶 20473 七六
猶 20472 七六
猩 20471 七六
猷 20470 七六

猴 20503 七六
猴 20502 七六
奘 20501 七六
猝 20500 七六
猜 20499 七六
猛 20498 七六
猩 20497 七六
猩 20496 七六
猙 20495 七六
猶 20494 七六
猗 20493 七六
猶 20492 七六
猶 20491 七六
猖 20490 七六
猶 20489 七六
猶 20488 七六
猶 20487 七六

猴 20517 七六
猶 20516 七六
猷 20515 七六
猴 20514 七六
猶 20513 七六

九畫

猶 20512′ 七六
猶 20512 七六
猪 20511′ 七六
猞 20511 七六
猶 20510 七六
猶 20509 七六
猩 20508 七六
猶 20507 七六
猷 20506 七六
猴 20505 七六
猷 20504 七六

猪 20534 七六
輝 20533 七六
猩 20532 七六
猛 20531 七六
猷 20530 七六
猶 20529 七六
猩 20528 七六
猩 20527 七六
猶 20526 七六
猴 20525 七六
猧 20524 七六
猶 20523 七六
猶 20522 七六
猶 20521 七六
猷 20520 七六
猥 20519 七六
猶 20518 七六

猴 20551 七六
猧 20550 七六
猷 20549 七六
猶 20548 七六
猶 20547 七六
猶 20546 七六
猶 20545 七六
猶 20544 七六
猶 20543 七六
猶 20542 七六
猶 20541 七六
猶 20540 七六
猶 20539 七六
猶 20538 七六
猶 20537 七六
猶 20536 七六
猫 20535 七六

猶 20568 七六
猶 20567 七六
猶 20566 七六
猶 20565 七六
猶 20564 七六
猶 20563 七六
猶 20562 七六
猶 20561 七六
猶 20560 七六
猶 20559 七六
猶 20558 七六
猶 20557 七六
猶 20556 七六
猶 20555 七六
猶 20554 七六
猶 20553 七六
猶 20552 七六

猿 20584 七六
猶 20583 七六
猶 20582 七六
猶 20581 七六
猶 20580 七六
猶 20579 七六
猶 20578 七六
猶 20577 七六
猶 20576 七六
猶 20575 七六
猶 20574 七六
猶 20573 七六
猶 20572 七六
猶 20571 七六

十畫

猶 20570 七六
猶 20569 七六

猶 20601 七六
猶 20600 七六
猶 20599 七六
猶 20598 七六
猶 20597 七六
猶 20596 七六
猶 20595 七六
猶 20594 七六
猶 20593 七六
猶 20592 七六
猶 20591 七六
猶 20590 七六
猶 20589 七六
猶 20588 七六
猶 20587 七六
猶 20586 七六
猶 20585 七六

猓 20618 獸 20617 猿 20616 猶 20615 猶 20614 猿 20613 猩 20612 猩 20611 猩 20610 獅 20609 獵 20608 猛 20607 猿 20606 猶 20605 猪 20604 獄 20603 猛 20602

獶 20634 猓 20633 猸 20632 獾 20631 獫 20630 猩 20629 猡 20628 獍 20627 獲 20626 獩 20625 獘 20624 猶 20623 狸 20622 猸 20621 猶 20620

十一畫

獉 20619

犍 20651 犍 20650 獻 20649 獞 20648 獥 20647 獒 20646 獑 20645 獠 20644 獐 20643 獰 20642 獱 20641 獫 20640 獥 20639 獲 20638 獎 20637 獵 20636 獥 20635

獞 20667

十二畫

猿 20666 獢 20665 獞 20664 獥 20663 獗 20662 獢 20661 獵 20660 獵 20659 獰 20658 獫 20657 獬 20656 獶 20655 獻 20654 獧 20653 獩 20652

獢 20684 獶 20683 獢 20682 獻 20681 獶 20680 獲 20679 獩 20678 獩 20677 獢 20676 獩 20675 獩 20674 獥 20673 獘 20672 獗 20671 獢 20670 獢 20669 獢 20668

獥 20701 獶 20700 獠 20699 獢 20698 獢 20697 獺 20696 獢 20695 獢 20694 獢 20693 獠 20692 獢 20691 獢 20690 獥 20689 獢 20688 獢 20687 獢 20686 獢 20685

獶 20716 獢 20715

十一畫

獸 20714 獢 20713 獢 20712 獥 20711 獢 20710 獢 20709 獢 20708 獢 20707 獢 20706 獢 20705 獢 20704 獻 20703 獸 20702

獢 20733 獢 20732 獢 20731 獢 20730 獢 20729 獢 20728 獢 20727 獸 20726 獨 20725 獢 20724 獢 20723 獢 20722 獥 20721 獢 20720 獢 20719 獢 20718 獢 20717

獢 20748 獢 20748 獢 20747

十四畫

獸 20746 獢 20745 獢 20744 獢 20743 獢 20742 獢 20741 獢 20740 獢 20739 獢 20738 獢 20737 獢 20736 獢 20735 獢 20734

獢 20766 獢 20765 獢 20764

十五畫

獢 20763 獢 20762 獢 20761 獢 20760 獢 20759 獢 20758 獢 20757 獢 20756 獢 20755 獢 20754 獢 20752 獢 20751 獢 20750

獵 20787 七九八　獹 20780 七九八　獸 20779 七九八　獻 20778 七九八

十六畫

獵 20777 七九八　獯 20777 七九八　獨 20776 七九八　獸 20775 七九八　獷 20774 七九八　獷 20773 七九八　獺 20772 七九八　獨 20771 七九八　獲 20770 七九八　獠 20769 七九八　獵 20768 七九八　獻 20767 七九八

獨 20796 七九八　獨 20795 七九八

十八畫

玃 20794 七九八　獲 20793 七九八　獲 20792 七九八　獵 20791 七九八　獵 20790 七九八　獽 20789 七九八　獼 20788 七九八

十七畫

獵 20787 七九八　獵 20786 七九八　獩 20785 七九八　獻 20783 七九八　獺 20782 七九八

獵 20810 七九八

二十一畫

獵 20809 七九八　獵 20808 七九八　獲 20807 七九八　獵 20806 七九八　獵 20805 七九八　獵 20804 七九八

二十畫

獵 20803 七九八　獵 20802 七九八　獵 20801 七九八

十九畫

獲 20800 七九八　獵 20799 七九八　獲 20798 七九八　獲 20797 七九八

七畫

玆 20818 七九八　率 20817 七九八　率 20817 七九八

六畫

玆 20816 七九八

五畫

妙 20815 七九八

四畫

玄 20814 七九八

玄部

獵 20813 七九八

二十四畫

獵 20812 七九八

二十二畫

獵 20811 七九八

玉部

玎 20830 八〇〇　玗 20829 八〇〇　玖 20828 八〇〇

二畫

弄 20827 八〇〇　玉 20826 八〇〇　丕 20825 八〇〇

一畫

王 20824 八〇〇　王 20823 八〇〇　王 20822 八〇〇　玉 20821 七九八

玉部

竭 20820 七九八

六畫

玒 20819 七九八

玖 20846 八〇〇　玕 20845 八〇〇　玔 20844 八〇〇　玎 20843 八〇〇　玉 20842 八〇〇　玓 20841 八〇〇　玉 20840 八〇〇　玞 20839 八〇〇　玉 20838 八〇〇　玉 20837 八〇〇　玩 20836 八〇〇

三畫

玄 20835 八〇〇　玔 20834 八〇〇　玩 20833 八〇一　玔 20832 八〇一　玔 20831 八〇一

玎 20862 八〇四　玠 20861 八〇四　玟 20860 八〇四　玟 20859 八〇四　玤 20858 八〇四　玦 20857 八〇四　玠 20856 八〇四　玪 20855 八〇四　玩 20854 八〇四　玥 20853 八〇四

四畫

玖 20852 八〇四　玉 20851 八〇四　玟 20850 八〇四　玧 20849 八〇四　玘 20848 八〇四　玎 20847 八〇四

玭 20879 八〇七　玥 20878 八〇七　玄 20877 八〇七　玥 20876 八〇七　玟 20875 八〇七　玫 20874 八〇七　玲 20873 八〇七　玩 20872 八〇五　玨 20871 八〇五　玩 20870 八〇五　玦 20869 八〇五　玩 20868 八〇五　玥 20867 八〇五　玟 20866 八〇五　玤 20865 八〇五　玠 20864 八〇五　玢 20863 八〇五

玷 20895 八〇九　玄 20894 八〇九　玶 20893 八〇九　玵 20892 八〇九　玭 20891 八〇九　玩 20890 八〇九　玳 20889 八〇九　玲 20888 八〇九　玟 20887 八〇九

五畫

玄 20886 八〇九　玹 20885 八〇九　玲 20884 八〇九　玥 20883 八〇九　玩 20882 八〇九　玖 20881 八〇九　玕 20880 八〇九

玷 20912 八一〇　玽 20911 八一〇　珅 20910 八一〇　珁 20909 八一〇　珙 20908 八一〇　珤 20907 八一〇　珂 20906 八一〇　珏 20905 八一〇　珀 20904 八一〇　珤 20903 八一〇　珤 20902 八一〇　珣 20901 八一〇　玭 20900 八一〇　玻 20899 八一〇　玹 20898 八一〇　珏 20897 八一〇　珤 20896 八一〇

瑰 20929 珤 20928 珊 20927 珏 20926 珮 20925 珣 20924 珛 20923 珣 20922 珎 20921 珍 20920 珌 20919 珊 20918 珊 20917 珉 20916 珈 20915 珣 20914 玻 20913

珙 20945 珝 20944 珖 20943 珖 20942 珣 20941 瑒 20940 瑂 20939 珼 20938 珓 20937 珪 20936 六畫 玺 20935 珐 20934 玧 20933 玒 20932 珣 20931 珊 20930

珣 20962 琅 20961 琉 20960 珣 20959 琝 20958 琛 20957 珠 20956 璽 20955 珮 20954 珞 20953 珝 20952 珣 20951 珜 20950 珣 20949 琛 20948 珣 20947 珣 20946

瑙 20979 琉 20978 珮 20977 班 20976 班 20975 珹 20974 琉 20973 珪 20972 珩 20971 奎 20970 珣 20969 珧 20968 珣 20967 瑰 20966 珼 20965 珣 20964 珣 20963

琬 20995 珹 20994 珣 20993 珤 20992 珊 20991 珹 20990 瑞 20989 珣 20988 珪 20987 珪 20986 璇 20985 七畫 珤 20984 琉 20983 珤 20982 珊 20981 璽 20980

琄 21012 球 21011 琣 21010 瑛 21009 琁 21008 珣 21007 珤 21006 珣 21005 珣 21004 珣 21003 珤 21002 珣 21001 琄 21000 瑰 20999 珣 20998 珤 20997 琉 20996

琬 21029 琍 21028 珤 21027 珤 21026 璧 21025 琦 21024 瑕 21023 珤 21022 珣 21021 珤 21020 瑰 21019 珤 21018 爽 21017 珤 21016 琇 21015 理 21014 琅 21013

琡 21045 璧 21044 珤 21043 琣 21042 琄 21041 珤 21040 琉 21039 琛 21038 珤 21037 琉 21036 琛 21035 珤 21034 珤 21033 琄 21032 琄 21031 六畫 琄 21030

琦 21062 琥 21061 琤 21060 琣 21059 琢 21058 琡 21057 琠 21056 琟 21055 琉 21054 璽 21053 瑗 21052 璽 21051 琉 21050 琛 21049 璽 21048 琚 21047 琚 21046

琴 21079 琛 21078 琳 21077 璽 21076 琲 21075 琱 21074 琰 21073 琯 21072 琮 21071 琭 21070 琬 21069 琫 21068 琪 21067 琩 21066 琨 21065 璽 21064 璽 21063

瑀 21095 瑢 21094 琿 21093 瑉 21092 瑪 21091

九畫

璧 21090 瓊 21089 琺 21088 琨 21087 琴 21086 珆 21085 琸 21084 琰 21083 瑰 21082 琶 21081 琵 21080

瑜 21112 瑨 21111 瑎 21110 瑍 21109 瑛 21108 瑋 21107 瑥 21106 瑊 21105 瑨 21104 瑑 21103 瑇 21102 瑆 21101 瑆 21100 瑄 21099 瑃 21098 瑁 21097 瑁 21096

瑜 21129 瑧 21128 瑛 21127 瑚 21126 瑙 21125 瑯 21124 璪 21123 瑗 21122 瑕 21121 瑕 21120 瑃 21119 瑤 21118 瑯 21117 瑷 21116 瑮 21115 瑒 21114 瑑 21113

璞 21143 瑯 21144 瑠 21143

十畫

璃 21142 璟 21141 瑯 21140 璥 21139 璡 21138 堅 21137 瑟 21136 璥 21135 瑢 21134 瑟 21133 瑛 21132 瑞 21131 瑝 21130

瑮 21162 瑭 21161 瑩 21160 瑍 21159 璽 21158 瑐 21157 瑪 21156 瑩 21155 瑨 21154 瑧 21153 瑀 21152 瑥 21151 瑥 21150 瑤 21149 瑣 21148 瑣 21147 瑢 21146

瑒 21179 瑑 21178 瑋 21177 瑀 21176 瑆 21175 瑉 21174 瑧 21173 瑥 21172 瑴 21171 瑥 21170 瑲 21169 瑱 21168 瑱 21167 瑮 21166 瑮 21165 瑰 21164 瑯 21163

瑉 21195 璁 21194 瑋 21193 瑛 21192 璟 21191 瑆 21190 璦 21189 瑉 21188 瑾 21187 瑽 21186 瑼 21185 瑾 21184 瑾 21183 瑞 21182 瑑 21181

十一畫

瑩 21180

璜 21212 璋 21211 璩 21210 璘 21209 璊 21208 璃 21207 璉 21206 璕 21205 璈 21204 璇 21203 璆 21202 璋 21201 璨 21200 璟 21199 璪 21198 璐 21197 璃 21196

璒 21227 璠 21226 璐 21225 璣 21224

十一畫

璞 21223 璊 21223 璨 21222 壘 21221 璞 21220 璜 21219 璡 21218 瑟 21217 璒 21216 璡 21215 璨 21214 璩 21213

璞 21245 璫 21244 璫 21243 璜 21242 璫 21241 璨 21240 璚 21239 璨 21238 璨 21237 璘 21236 璨 21235 璋 21234 璨 21233 璩 21232 璩 21231 璫 21230 璫 21229

瑹 21262 九七二
璹 21261 九七二
璚 21260 九七二
璚 21259 九七二
璚 21258 九七二
璚 21257 九七二
璦 21256 九七二
璫 21255 九七二
璧 21254 九七二
璣 21253 九七八
璞 21252 九七八
璧 21251 九七八
璃 21250 九七八
璃 21249 九七八
璡 21248 九七八
璠 21247 九七八
璟 21246 九七八

璉 21278 九七三
璈 21277 九七三
璫 21276 九七三
璫 21275 九七三
璬 21274 九七三
璪 21273 九七三
璐 21272 九七三
璩 21271 九七三
璨 21270 九七三
璧 21269 九七三
瑰 21268 九七三
璦 21267 九七三
璥 21266 九七三
十三畫
璧 21265 九七三
璫 21264 九七三
璩 21263 九七三

璃 21295 九七七
璿 21294 九七七
璫 21293 九七七
璫 21292 九七七
璫 21291 九七七
璲 21290 九七七
璫 21289 九七七
璱 21288 九七七
環 21287 九七七
璩 21286 九七七
璧 21285 九七七
璯 21284 九七七
璩 21283 九七七
璩 21282 九七七
璧 21281 九七七
璧 21280 九七七
璥 21279 九七七

璨 21312 九七九
璿 21311 九七九
璿 21310 九七九
璽 21309 九七八
璱 21308 九七八
璨 21307 九七八
璨 21306 九七八
璽 21305 九七八
璹 21304 九七八
璨 21303 九七八
璫 21302 九七八
璽 21300 九七八
璱 21299 九七八
璽 21298 九七八
璵 21297 九七七
十四畫
璨 21296 九七七

瓊 21328 九八〇
璫 21327 九八
璨 21326 九八〇
瑽 21325 九八〇
璨 21324 九八〇
璨 21323 九八〇
璫 21322 九八〇
璨 21321 九八〇
璫 21320 九八〇
璫 21319 九八〇
十五畫
璽 21318 九八〇
璨 21317 九八〇
瓊 21316 九八〇
璘 21315 九八〇
璧 21314 九八〇
璩 21313 九七九

瓥 21343 九八五
瓌 21342 九八五
璨 21341 九八四
瓏 21340 九八四
瓏 21339 九八四
瓏 21338 九八四
璩 21337 九八四
璨 21336 九八四
璨 21335 九八四
十六畫
璥 21334 九八四
璨 21334 九八四
璫 21333 九八四
璽 21332 九八四
璵 21331 九八四
璣 21330 九八三
璣 21329 九八三

璫 21358 九八六
瓘 21357 九八六
璧 21356 九八五
璫 21355 九八五
十八畫
璽 21354 九八五
璵 21353 九八五
璫 21352 九八五
璽 21351 九八五
瓌 21350 九八五
璽 21349 九八五
璦 21348 九八五
璨 21347 九八五
瓏 21346 九八五
十八畫
璽 21345 九八五
瓌 21344 九八五

璽 21370 九八八
璫 21369 九八八
二十四畫
璫 21368 九八八
璫 21367 九八八
璨 21366 九八八
瓏 21365 九八八
二十三畫
瓌 21364 九八八
二十二畫
璫 21363 九八八
璫 21362 九八八
璫 21361 九八八
十九畫
璨 21360 九八八
璨 21359 九八八

瓜部

瓜 21371 九八八
三畫

瓠 21373 九八八
瓢 21372 九八八
四畫

瓠 21374 九八八
瓠 21375 九八八
瓠 21376 九八八
瓠 21377 九八八
瓠 21378 九八九
瓠 21379 九八九
五畫
瓠 21380 九八九
瓠 21381 九八九
瓠 21382 九八九

瓠 21383 九八九
瓠 21384 九八九
瓠 21385 九八九
瓠 21386 九八九
瓠 21387 九八九
瓠 21388 九八九
三畫
瓠 21389 九八九
瓠 21390 九八九
瓠 21391 九八九
瓠 21392 九八九
瓠 21393 九八一
瓠 21394 九八一
瓠 21395 九八一
七畫
瓠 21396 九八一
瓠 21397 九八一

瓠 21411 九一
十畫
瓠 21410 九一
瓠 21409 九一
瓠 21408 九一
瓠 21407 九一
瓠 21406 九一
瓠 21405 九一
九畫
瓠 21404 九一
瓠 21403 九一
瓠 21402 九一
瓠 21401 九一
十畫
瓠 21400 九一
瓠 21399 九一
瓠 21398 九一

十四畫
瓠 21424 九一
瓠 21423 九一
瓠 21422 九一
十三畫
瓠 21421 九一
十二畫
瓠 21420 九一
瓠 21419 九一
瓠 21419 九一
十一畫
瓠 21418 九一
瓠 21417 九一
瓠 21416 九一
瓠 21415 九一
瓠 21412 九一

瓠 21436 九一四
瓠 21435 九一四
瓠 21434 九一四
二十一畫
瓠 21433 九一四
瓠 21432 九一四
十九畫
瓠 21431 九一四
瓠 21430 九一四
十八畫
瓠 21429 九一四
十七畫
瓠 21428 九一四
瓠 21427 九一四
瓠 21426 九一四
十一畫
瓣 21425 九一三

瓦部

瓦 21448 九一八
瓦 21447 九一八
瓦 21446 九一八
瓦 21445 九一八
瓦 21444 九一八
瓦 21443 九一八
三畫
瓦 21442 九一八
瓦 21441 九一八
瓦 21440 九一八
瓦 21439 九一八
二畫
瓦 21438 九一四
瓦 21437 九一四
二十四畫

瓦 21464 九一八
瓦 21463 九一八
瓦 21462 九一八
瓦 21461 九一八
瓦 21460 九一八
瓦 21459 九一八
瓦 21458 九一八
瓦 21457 九一八
瓦 21456 九一八
瓦 21455 九一八
瓦 21454 九一八
瓦 21453 九一八
瓦 21452 九一八
瓦 21451 九一八
四畫
瓦 21450 九一八
瓦 21449 九一八

瓦 21481 一〇〇
瓦 21480 一〇〇
瓦 21479 一〇〇
瓦 21478 一〇〇
瓦 21477 一〇〇
瓦 21476 一〇〇
瓦 21475 一〇〇
瓦 21474 一〇〇
瓦 21473 一〇〇
瓦 21472 一〇〇
瓦 21471 一〇〇
瓦 21470 一〇〇
瓦 21469 一〇〇
五畫
瓦 21467 一〇〇
瓦 21466 一〇〇
瓦 21465 一〇〇

瓦 21497 一〇一
瓦 21496 一〇一
瓦 21495 一〇一
瓦 21494 一〇一
瓦 21493 一〇一
瓦 21492 一〇一
瓦 21491 一〇一
瓦 21490 一〇一
瓦 21489 一〇一
瓦 21488 一〇一
瓦 21487 一〇一
瓦 21486 一〇一
瓦 21485 一〇一
瓦 21484 一〇一
十畫
瓦 21483 一〇一
瓦 21482 一〇一

瓦 21513 一〇一
瓦 21512 一〇一
瓦 21511 一〇一
瓦 21510 一〇一
瓦 21509 一〇一
瓦 21508 一〇一
瓦 21507 一〇一
瓦 21506 一〇一
瓦 21505 一〇一
瓦 21504 一〇一
瓦 21503 一〇一
瓦 21502 一〇一
瓦 21501 一〇一
瓦 21500 一〇一
九畫
瓦 21499 一〇一
瓦 21498 一〇一

瓦 21529 一〇一
瓦 21528 一〇一
瓦 21527 一〇一
瓦 21526 一〇一
瓦 21525 一〇一
瓦 21524 一〇一
瓦 21523 一〇一
瓦 21522 一〇一
瓦 21521 一〇一
瓦 21520 一〇一
三畫
瓦 21519 一〇一
瓦 21518 一〇一
瓦 21517 一〇一
瓦 21516 一〇一
瓦 21515 一〇一
瓦 21514 一〇一

瓦 21545 一〇一
瓦 21544 一〇一
瓦 21543 一〇一
瓦 21542 一〇一
十畫
瓦 21541 一〇一
瓦 21540 一〇一
瓦 21539 一〇一
瓦 21538 一〇一
瓦 21537 一〇一
瓦 21536 一〇一
瓦 21535 一〇一
瓦 21534 一〇一
瓦 21533 一〇一
瓦 21532 一〇一
瓦 21531 一〇一
瓦 21530 一〇一

十畫

21546 甄 21547 甑 21548 甍 21549 甚 21550 甗 21551 甝 21552 甜 21553 甛 21554 甚 21555 甚 21556 甚 21557 甚 21558 甚 21559 甚 21560 甚 21561 甚

21562 甚 21563 甚 21564 甚 21565 甚 21566 甚 21567 甚 21568 甚 21569 甚 21570 甚 21571 甚 21572 甚 21573 甚 21574 甚 21575 甚 十一畫 21576 甚 21577 甚

21578 甚

十一畫

21579 甚 21580 甚 21581 甚 21582 甚 21583 甚 21584 甚 21585 甚 21586 甚 21587 甚 21588 甚 21589 甚 21590 甚 21591 甚 21592 甚 21593 甚 十一畫 21594 甚

十二畫

21595 甚 21596 甚 21597 甚 21598 甚 21599 甚 21600 甚 21601 甚 21602 甚 21603 甚 21604 甚 21605 甚 21606 甚 21607 甚 21608 甚 21609 甚

十三畫

21610 甚 21611 甚 21612 甚 21613 甚 21614 甚 21615 甚 21616 甚 21617 甚 21618 甚 21619 甚 十四畫 21620 甚 21621 甚 21622 甚 十五畫 21623 甚 十一畫

21624 甚 21625 甚 21626 甚 21627 甚 21628 甚 21629 甚 21630 甚 十一畫 21631 甚 21632 甚 21633 甚 21634 甚 十一畫 21635 甚 21636 甚 21637 甚 21638 甚

十九畫

21639 甚 二十畫 21640 甚 二十二畫 21641 甚 二十四畫 21642 甚 甘部 21643 甘 三畫 21644 曰 21645 昏 21646 旰 21647 旱 四畫

十畫

21648 甚 21649 甚 21650 甚 21651 甚 五畫 21652 甚 21653 甚 21654 甚 六畫 21655 甚 21656 甚 八畫 21657 甚 21658 甚 21659 甚 21660 甚 九畫

十畫

21661 甚 21662 甚 21663 甚 十一畫 21664 甚 21665 甚 十二畫 21666 甚 21667 甚 十三畫 21668 甚 十六畫 21669 甚 生部 21670 生 九畫

21671 甚 21672 甚 三畫 21673 甚 21674 甚 21675 甚 四畫 21676 甚 21677 甚 21678 甚 21679 甚 五畫 21680 甚 21681 甚 六畫 21682 甚

七畫

眚 21686 一〇九六
奎 21685 一〇九六
產 21684 一〇九六
產 21684 一〇九六
辣 21683 一〇九六

九畫

婺 21695 一〇九七
畜 21694 一〇九七

八畫

甥 21693 一〇九七
畜 21692 一〇九七
甦 21691 一〇九七
甦 21690 一〇九七
甥 21689 一〇九七
甥 21688 一〇九七
甦 21687 一〇九七

一畫

角 21705 一〇九八
甩 21704 一〇九八
用 21703 一〇九八

用部

十七畫

壤 21702 一〇九八
十六畫

雝 21701 一〇九八
十四畫

蠔 21700 一〇九八
十二畫

甕 21699 一〇九八
十一畫

臂 21698 一〇九八
甦 21697 一〇九八
墜 21696 一〇九八

七畫

葡 21716 一〇九九
六畫

胡 21715 一〇九九
蒲 21714 一〇九九
五畫

甬 21713 一〇九九
四畫

畬 21712 一〇九九
崩 21711 一〇九九
甫 21710 一〇九九
甫 21709 一〇九九
角 21708 一〇九九
三畫

甬 21707 一〇九八
甫 21706 一〇九八
二畫

申 21726 一〇九九
甲 21725 一〇九九
由 21724 一〇九八
田 21723 一〇九九

田部

十六畫

鸞 21722 一〇九九
十五畫

鸞 21721 一〇九九
十七畫

虆 21720 一〇九九
十四畫

肅 21719 一〇九九
十一畫

鬲 21718 一〇九九
八畫

甯 21717 一〇九九

畫 21739 一〇九九
畫 21739 一〇九九
專 21738 一〇九九
三畫

畓 21737 一〇九九
畝 21736 一〇九九
町 21735 一〇九九
甹 21734 一〇九九
甹 21733 一〇九九
甸 21732 一〇九九
畍 21731 一〇九九
男 21730 一〇九八
二畫

畑 21729 一〇九八
由 21728 一〇九八
三畫

由 21727 一〇九八

畫 21756 一〇九九
畚 21755 一〇九九
畟 21754 一〇九九
畟 21753 一〇九九
畀 21752 一〇九九
畋 21751 一〇九九
畝 21750 一〇九九
畀 21749 一〇九九
畀 21748 一〇九九
畢 21747 一〇九九
畊 21746 一〇九九
畢 21745 一〇九九
畜 21744 一〇九九
畛 21743 一〇九九
畚 21742 一〇九九
畍 21741 一〇九九
畎 21740 一〇九九

畎 22772 一〇九九
畝 21771 一〇九八
畋 21770 一〇九八
畜 21769 一〇九八
畎 21768 一〇九八
畈 21767 一〇九八
畛 21766 一〇九八
畇 21765 一〇九八
畇 21764 一〇九八
畝 21763 一〇九八
畝 21762 一〇九八
畚 21761 一〇九八
四畫

畚 21760 一〇九八
畢 21759 一〇九八
畀 21758 一〇九八
畐 21757 一〇九八

畢 21790 一〇九九
畊 21789 一〇九九
畫 21788 一〇九九
畐 21787 一〇九九
畝 21786 一〇九九
畏 21785 一〇九九
畫 21784 一〇九九
畜 21783 一〇九九
畫 21782 一〇九九
畀 21780 一〇九九
畟 21779 一〇九九
畏 21778 一〇九八
畎 21777 一〇九九
畛 21776 一〇九九
界 21775 一〇九八
畋 21774 一〇九八
畊 21773 一〇九八

畀 21805 一〇九九
畎 21805 一〇九九
畞 21804 一〇九九
畈 21803 一〇九九
畐 21802 一〇九九
畔 21801 一〇九九
畇 21800 一〇九九
畑 21799 一〇九九
五畫

畜 21798 一〇九九
畑 21797 一〇九九
畝 21796 一〇九九
畎 21795 一〇九九
畍 21794 一〇九九
畍 21793 一〇九九
畜 21792 一〇九九
畎 21791 一〇九九

畞 21822 一〇〇〇
畧 21821 一〇〇〇
畔 21820 一〇〇〇
畫 21819 一〇〇〇
畜 21818 一〇〇〇
畫 21817 一〇〇〇
畝 21816 一〇〇〇
畝 21815 一〇〇〇
畜 21814 一〇〇〇
畜 21813 一〇〇〇
畍 21812 一〇〇〇
畎 21811 一〇〇〇
畛 21810 一〇〇〇
畜 21809 一〇〇〇
畜 21808 一〇〇〇
畍 21807 一〇〇〇
畜 21806 一〇〇〇

剄 21838 時 21837 眺 21836 畣 21835 晄 21834 暾 21833 晄 21832 晄 21831 晤 21830 晢 21829 晢 21828

六畫

畠 21827 蚧 21826 畛 21825 畜 21824 畎 21823

畨 21855 異 21854 裒 21853 畭 21852 細 21851 戠 21850 晊 21849 晁 21848 畜 21847 畜 21846 畜 21845 畸 21844 畎 21843 畦 21842 畫 21841 畧 21840 畧 21839

獃 21871 獃 21870 畎 21869 畎 21868 畱 21867 異 21866 畯 21865 畮 21864 畎 21863 畜 21862 畜 21861 畜 21860 畫 21859 畨 21858 畤 21857

七畫

畱 21856

畼 21886 畛 21885 畮 21884 畼 21883 畔 21882 畤 21881 畎 21880 畤 21879 畤 21878 畫 21877 畤 21876

八畫

畺 21875 畛 21874 畧 21873 畢 21872 畢 21871

畎 21903 畱 21902 畔 21901 畛 21900 畨 21899 畢 21898 畜 21897 畱 21896 畫 21895 畹 21894 畸 21893 畧 21892 畜 21891 當 21890 畴 21889 畎 21888 畧 21887

畜 21918 畜 21917

十畫

畤 21916 畢 21915 畢 21914 畫 21913 畧 21912 畱 21911 畱 21910 畛 21909 畧 21908 畧 21907 畧 21906 畧 21905

七畫

畧 21904

畧 21934 畱 21933 畛 21932

十一畫

畱 21931 畢 21930 畛 21929 畢 21928 畜 21927 畛 21926 畿 21925 畱 21924 畛 21923 畛 21922 畧 21921 畧 21920 畜 21919

畾 21950 畾 21949 畜 21948 畾 21947 畾 21946 畾 21945 畢 21944 畛 21943 畾 21942

十二畫

畾 21941 畾 21940 畾 21939 畾 21938 畾 21937 畾 21936 畾 21935

畾 21965 畾 21964 畾 21963 畾 21962 畾 21961

十四畫

畾 21960 畾 21959 畾 21958 畾 21957 畾 21956 畾 21955

十三畫

畾 21954 畾 21953 畾 21952 畾 21951

十七畫

畾 21979 畾 21978 畾 21977

十六畫

畾 21976 畾 21975 畾 21974 畾 21973 畾 21972 畾 21971 畾 21970

十五畫

畾 21969 畾 21968 畾 21967 畾 21966

二十七畫

驫 21991 一四四　驑 21990 一四四　驑 21989 一四四

二十二畫

鬱 21988 一四四　驫 21987 一四四　驫 21986 一四四

二十一畫

驪 21985 一四四

十九畫

鸞 21984 一四四

十九畫

疊 21983 一四四　鬱 21982 一四四　曉 21981 一四四　鬱 21980 一四四

疏 22000 一四五

六畫

崖 21999 一四五

五畫

奎 21998 一四五

四畫

走 21997 一四五

三畫

疋 21996 一四五

一畫

疋 21995 一四四　疋 21994 一四四

疋部

鬱 21993 一四四

二十八畫

鬱 21992 一四四

楚 22012 一四六　霐 22011 一四六　蹙 22010 一四六　蹙 22009 一四六

十一畫

疐 22008 一四六

三畫

疑 22007 一四六　疐 22006 一四六

九畫

疐 22005 一四六　楙 22004 一四六　脈 22003 一四六

九畫

疎 22002 一四六　疑 22001 一四六

七畫

疕 22023 一四六　疔 22022 一四六　疝 22021 一四六　疚 22020 一四六　疔 22019 一四六　疣 22018 一四六　疧 22017 一四六

二畫

疙 22016 一四六

一畫

疒 22015 一四六

疒部

霐 22014 一四六

十七畫

躄 22013 一四六

十三畫

疻 22039 一四六　疧 22038 一四六　疣 22037 一四六　疾 22036 一四六　疣 22035 一四六　疔 22034 一四六　疚 22033 一四六　疙 22032 一四六　疔 22031 一四六　疔 22030 一四六　疘 22029 一四六

九畫

疔 22028 一四六　疣 22027 一四六　疻 22026 一四六　疧 22025 一四六　疚 22024 一四六

疲 22055 一四七　疾 22054 一四七　疾 22053 一四七　疲 22052 一四七　疤 22051 一四七　疣 22050 一四七　疣 22049 一四七　疣 22048 一四七　疿 22047 一四六　疻 22046 一四六　疠 22045 一四六　疢 22044 一四六　疠 22043 一四六

四畫

疗 22042 一四六　疘 22041 一四六　疝 22040 一四六

痕 22072 一四九　疣 22071 一四九　痒 22070 一四九　疫 22069 一四九　疵 22068 一四八　疣 22067 一四八　疫 22066 一四八　痺 22065 一四八　症 22064 一四八　疬 22063 一四八　疧 22062 一四八　疣 22061 一四八　痟 22060 一四八　疾 22059 一四八　疥 22058 一四八　疥 22057 一四七　疥 22056 一四七

痾 22088 一四九　疝 22087 一四九　疝 22086 一四九　痘 22085 一四九　疲 22084 一四九　痞 22083 一四九　疱 22082 一四九　疰 22081 一四九　痕 22080 一四九

五畫

疣 22079 一四九　痃 22078 一四九　疣 22077 一四九　疫 22076 一四九　疬 22075 一四九　疺 22074 一四九　痒 22073 一四九

疼 22105 一五〇　痛 22104 一五〇　疻 22103 一五〇　疻 22102 一五〇　疻 22101 一五〇　疱 22100 一五〇　痤 22099 一五〇　泌 22098 一五〇　疹 22097 一五〇　痞 22096 一五〇　疣 22095 一五〇　疸 22094 一五〇　疻 22093 一五〇　痛 22092 一五〇　痃 22091 一五〇　疺 22090 一五〇　疻 22089 一五〇

痂 22122 一五〇　痞 22121 一五〇　痀 22120 一五〇　痈 22119 一五〇　痢 22118 一五〇　疥 22117 一五〇　痕 22116 一五〇　痊 22115 一五〇　痘 22114 一五〇　痘 22113 一五〇　疾 22112 一五〇　痔 22111 一五〇　痈 22110 一五〇　疥 22109 一五〇　痉 22108 一五〇　痈 22107 一五〇　疽 22106 一五〇

疒 22139 疲 22138 疾 22137 痺 22136 痞 22135 痟 22134 痩 22133 疵 22132 疎 22131 痕 22130 疸 22129 痒 22128 病 22127 痊 22126 症 22125 痃 22124 痒 22123

痂 22155 痛 22154 痩 22153 痎 22152 疣 22151 痩 22150 痞 22149 痩 22148 痒 22147 疲 22146 痼 22145 痘 22144 痳 22143 痳 22142 痊 22141 **六畫** 症 22140

疾 22172 痕 22171 疹 22170 痞 22169 痰 22168 痔 22167 痼 22166 痢 22165 痤 22164 痒 22163 痒 22162 痒 22161 疫 22160 疹 22159 疤 22158 痼 22157 痼 22156

痒 22188 痞 22187 痙 22186 痘 22185 痗 22184 痛 22183 **七畫** 痰 22182 疤 22181 痘 22180 痺 22179 痼 22178 痊 22177 瘵 22176 痞 22175 瘤 22174 痴 22173

瘧 22205 痱 22204 痛 22203 痼 22202 痘 22201 痩 22200 痺 22199 瘧 22198 痟 22197 痩 22196 痛 22195 疾 22194 痒 22193 痒 22192 痞 22191 痕 22190 痘 22189

痩 22222 痙 22221 痢 22220 瘵 22219 痣 22218 痼 22217 痰 22216 痳 22215 痺 22214 痳 22213 痛 22212 痰 22211 痩 22210 痩 22209 痛 22208 痣 22207 痞 22206

瘠 22239 痰 22238 疱 22237 痘 22236 痒 22235 痒 22234 痞 22233 痲 22232 痒 22231 痼 22230 疾 22229 痰 22228 痴 22227 痰 22226 痘 22225 痺 22224 痿 22223

痳 22255 痳 22254 痲 22253 痱 22252 痰 22251 痘 22250 痊 22249 痕 22248 痳 22247 瘍 22246 痳 22245 **八畫** 痰 22244 瘵 22243 痣 22242 痼 22241 痞 22240

痢 22272 痼 22271 痼 22270 痼 22269 痼 22268 痼 22267 痼 22266 痼 22265 瘵 22264 痼 22263 痙 22262 痳 22261 痼 22260 痼 22259 痒 22258 痴 22257 痼 22256

痢 22289 瘵 22288 痼 22287 痔 22286 痼 22285 痛 22284 痞 22283 痳 22282 痼 22281 痳 22280 痳 22279 痞 22278 痞 22277 瘵 22276 痟 22275 痙 22274 痙 22273

瘯 22306 一八四
瘟 22305 一八四
瘦 22304 一八四
瘨 22303 一八四
瘸 22302 一八四
瘻 22301 一八四
瘺 22300 一八四
瘠 22299 一八四
瘢 22298 一八四
瘥 22297 一八四
瘴 22296 一八四
瘸 22295 一八四
瘁 22294 一八三
瘣 22293 一八三
瘀 22292 一八三
瘘 22291 一八三
瘘 22290 一八三

瘋 22322 一八五
瘤 22321 一八五
瘊 22320 一八五
瘌 22319 一八五
瘯 22318 一八五
瘈 22317 一八四
瘩 22316 一八四
瘧 22315 一八四
瘤 22314 一八四

九畫

瘣 22313 一八四
瘠 22312 一八四
瘢 22311 一八四
瘝 22310 一八四
瘠 22309 一八四
瘧 22308 一八四
瘨 22307 一八四

瘙 22339 一八六
瘴 22338 一八六
瘠 22337 一八六
瘐 22336 一八六
瘠 22335 一八六
瘰 22334 一八六
瘘 22333 一八六
瘐 22332 一八六
瘘 22331 一八六
瘠 22330 一八六
瘧 22329 一八六
瘠 22328 一八六
瘍 22327 一八五
瘐 22326 一八五
瘐 22325 一八五
瘺 22324 一八五
瘌 22323 一八五

瘤 22356 一八七
瘕 22355 一八七
瘕 22354 一八七
瘩 22353 一八七
瘵 22352 一八七
瘐 22351 一八七
瘍 22350 一八七
瘵 22349 一八七
瘽 22348 一八七
瘡 22347 一八七
瘧 22346 一八七
瘭 22345 一八七
瘜 22344 一八七
瘘 22343 一八七
瘡 22342 一八七
痲 22341 一八七
瘤 22240 一八六

瘓 22373 一八八
瘳 22372 一八八
瘠 22371 一八八
瘤 22370 一八八
瘣 22369 一八八
瘙 22368 一八八
瘰 22367 一八八
瘨 22366 一八八
瘓 22365 一八八
瘣 22364 一八八
瘣 22363 一八八
瘟 22362 一八八
瘢 22361 一八八
瘸 22360 一八八
瘠 22359 一八八
瘦 22358 一八八
瘡 22357 一八八

瘠 22389 一八九
瘛 22388 一八九
瘧 22387 一八九
瘢 22386 一八九
瘤 22385 一八九
瘣 22384 一八九
瘙 22383 一八九
瘧 22382 一八九
瘨 22381 一八九
瘳 22380 一八九
瘠 22379 一八九

十畫

瘣 22378 一八九
瘟 22377 一八九
瘠 22376 一八九
瘠 22375 一八九
瘦 22374 一八九

瘠 22406 一九〇
瘢 22405 一九〇
瘡 22404 一九〇
瘡 22403 一九〇
瘳 22402 一九〇
瘠 22401 一九〇
瘰 22400 一九〇
瘨 22399 一九〇
瘞 22398 一九〇
瘙 22397 一九〇
瘟 22396 一九〇
瘞 22395 一九〇
瘳 22394 一九〇
瘋 22393 一九〇
瘽 22392 一九〇
瘛 22391 一八九
瘵 22390 一八九

瘠 22423 一九一
瘛 22422 一九一
瘧 22421 一九一
瘨 22420 一九一
瘧 22419 一九一
瘧 22418 一九一
瘻 22417 一九一
瘨 22416 一九一
瘦 22415 一九一
瘢 22414 一九一
瘌 22413 一九一
瘥 22412 一九一
瘝 22411 一九一
瘡 22410 一九一
瘲 22409 一九一
瘤 22408 一九一
瘣 22407 一九一

瘍 22439 一九六
瘽 22438 一九六

十一畫

瘠 22437 一九六
瘙 22436 一九六
瘠 22435 一九六
瘰 22434 一九六
瘲 22433 一九六
瘛 22432 一九六
瘲 22431 一九六
瘧 22430 一九六
瘧 22429 一九六
瘦 22428 一九六
瘢 22427 一九六
瘛 22426 一九六
瘠 22425 一九六
瘣 22424 一九六

瘍 22456 一九八
瘴 22455 一九八
瘧 22454 一九七
瘳 22453 一九七
瘠 22452 一九七
瘲 22451 一九七
瘲 22450 一九七
瘛 22449 一九七
瘢 22448 一九七
瘰 22447 一九七
瘍 22446 一九六
瘍 22445 一九六
瘍 22444 一九六
瘢 22443 一九六
瘲 22442 一九六
瘠 22441 一九六
瘭 22440 一九六

瘣 22473 一六六
瘴 22472 一六六
瘡 22471 一六六
瘽 22470 一六六
瘼 22469 一六六
瘯 22468 一六六
瘻 22467 一六六
瘺 22466 一六六
瘸 22465 一六六
瘻 22464 一六六
瘤 22463 一六六
瘵 22462 一六六
瘵 22461 一六六
瘢 22460 一六六
瘮 22459 一六六
瘵 22458 一六六
瘧 22457 一六六

瘕 22490 一六七
瘳 22489 一六七
瘱 22488 一六七
瘡 22487 一六七
瘈 22486 一六七
瘻 22485 一六七
瘋 22484 一六七
瘻 22483 一六七
瘭 22482 一六七
瘡 22481 一六七
瘮 22480 一六七
瘣 22479 一六七
瘠 22478 一六七
瘦 22477 一六七
瘟 22476 一六七
瘽 22475 一六七
瘽 22474 一六七

瘽 22506 一六八
瘡 22505 一六八
瘮 22504 一六八
瘌 22503 一六八
瘡 22502 一六八
瘡 22501 一六八
瘵 22500 一六八
瘩 22499 一六八
瘻 22498 一六八
瘺 22497 一六八
瘨 22496 一六八
瘲 22495 一六八
瘡 22494 一六八
瘡 22493 一六八
瘽 22492 一六八
瘴 22491 一六八

十二畫

癲 22523 一六九
癩 22522 一六九
癉 22521 一六九
癈 22520 一六九
癢 22519 一六九
癩 22518 一六九
癢 22517 一六九
癥 21516 一六九
癢 21515 一六九
癟 22514 一六九
癩 22513 一六九
癆 22512 一六九
癆 22511 一六九
癩 22510 一六九
癘 22509 一六九
癥 22508 一六九
癮 22507 一六九

十三畫

癢 22539 一七〇
癌 22538 一七〇
癘 22537 一七〇
癋 22536 一七〇
癩 22535 一七〇
癢 22534 一七〇
癩 22533 一七〇
癩 22532 一七〇
癡 22531 一七〇
癘 22530 一七〇
癡 22529 一七〇
癘 22528 一七〇
癩 22527 一七〇
癩 22526 一七〇
癡 22525 一七〇
癡 22524 一七〇

癘 22556 一七一
癆 22555 一七一
癘 22554 一七一
癥 22553 一七一
癡 22552 一七一
癬 22551 一七一
癖 22550 一七一
癢 22549 一七一
癢 22548 一七一
癥 22547 一七一
癢 22546 一七一
癒 22545 一七一
癘 22544 一七一
癢 22543 一七一
癢 22542 一七一
癢 22541 一七一
癢 22540 一七一

癘 22573 一七二
癘 22572 一七二
癢 22571 一七二
癈 22570 一七二
癥 22569 一七二
癢 22568 一七二
癥 22567 一七二
癬 22566 一七二
癢 22565 一七二
癢 22564 一七二
癌 22563 一七二
癌 22562 一七二
癲 22561 一七二
癩 22560 一七二
癩 22559 一七二
癢 22558 一七二
癢 22557 一七二

癢 22589 一七三
癘 22588 一七三
癥 22587 一七三
癥 22586 一七三
癢 22585 一七三
癘 22584 一七三
癩 22583 一七三
癢 22582 一七三
癡 22581 一七三
癟 22580 一七三
癩 22579 一七三
癰 22578 一七三

十四畫

癰 22577 一七三
癘 22576 一七三
癩 22575 一七三
癲 22574 一七三

癢 22605 一七四
癟 22604 一七四
癡 22603 一七四
癢 22602 一七四
癤 22601 一七四

十五畫

癲 22600 一七四
癟 22599 一七四
癢 22598 一七四
癩 22597 一七四
癥 22596 一七四
癢 22595 一七四
癢 22594 一七四
癩 22593 一七四
癩 22592 一七四
癡 22591 一七四
癩 22590 一七四

癩 22621 一七五
癡 22620 一七五
癢 22619 一七五
癩 22618 一七五
癥 22617 一七五
癬 22616 一七五
癩 22615 一七五
癩 22614 一七五
癩 22613 一七五

十六畫

癰 22612 一七五
癥 22611 一七五
癥 22610 一七五
癩 22609 一七五
癰 22608 一七五
癰 22607 一七五
癟 22606 一七五

癭 22622 二九
癮 22623 二九
癰 22624 二九
癬 22625 二九
癲 22626 二九
十七畫
癩 22627 二九
癪 22628 二九
癮 22629 二九
癬 22630 二九
癭 22631 二九
癮 22632 二九
癬 22633 二九
十八畫
癰 22634 二九
癬 22635 二九
癲 22636 二九
癲 22637 二九
癮 22638 二九
癬 22639 二九
癮 22640 二九
十八畫
癲 22641 二九
癲 22642 二九
癬 22643 二九
癲 22644 二九
癬 22645 二九
癲 22646 二九
癬 22647 二九
癲 22648 二九
二十畫
癬 22649 二九
癲 22650 二九
二十畫
癬 22651 二九
二十畫
癮 22652 二九
二十畫
癬 22653 二九
癮 22654 二九
二十四畫
癬 22655 二九
二十五畫
癮 22656 二九
癭部
癭 22657 二九
二畫
癶 22658 二九
癶 22659 二九
四畫
癸 22660 二九
發 22661 二九
發 22662 二九
癸 22662′ 二九
五畫
癸 22663 二九
癸 22664 二九
六畫
癸 22665 二九
癸 22666 二九
七畫
癸 22667 二九
登 22668 二九
發 22669 二八
發 22670 二七
發 22671 二七
八畫
癸 22672 二七
癸 22673 二七
八畫
勞 22674 二七
癸 22675 二七
十畫
癸 22676 二七
十一畫
癸 22677 二七

總畫順による検字

親文字の下に記した和數字は其の文字を揚載した頁。

三畫

犯 夾 [illegible]

四畫

犯 狗 [illegible]

六畫

[illegible]

七畫

[illegible]

八畫

[illegible]

五畫

[illegible]

九畫

[illegible]

烽 二六七 黑 二六七 脉 二六七 柚 二六七 研 二六七 栉 二六七 珏 二六七 珐 二六七 珩 二六七 珣 二六七 珥 二六七 珊 二六七 珂 二六七 珣 二六七 珣 二六七 珣

鵰 六四〇
鮑 六四〇
鵲 六四〇
鵝 六四〇
鵝 六四〇
鵝

塚 [illegible] 埸 [illegible] 埜 [illegible] 埘 [illegible] 埤 [illegible] 埠 [illegible] 埔 [illegible] 埒 [illegible] 埕 [illegible] 埂 [illegible] 埃 [illegible] 埃 [illegible] 埃

琮 二六
琯 二六
琭 二六
琳 二六
琴 二六
琵 二六
琺 二六
琿 二六
瑁 二六
瑂 二六
瑄 二六
瑆 二六
瑊 二六
瑋 二六
瑒 二六
瑔 二六
瑕 二六
瑗 二六
瑙 二六
瑚 二六
瑛 二六
瑜 二六
瑞 二六
瑟 二六
瑤 二六
瑩 二六
瑪 二六
瑰 二六
瑱 二六
瑲 二六
瑳 二六
瑴 二六
瑶 二六
瑷 二六
瑽 二六
瑾 二六
璀 二六
璁 二六
璂 二六
璃 二六
璆 二六
璇 二六
璉 二六
璋 二六
璐 二六
璒 二六
璜 二六
璞 二六
璟 二六
璠 二六
璡 二六
璢 二六
璣 二六
璥 二六
璦 二六
璩 二六
璪 二六
璫 二六
璬 二六
璮 二六
璱 二六
璲 二六
璵 二六
璷 二六
璸 二六
璽 二六
瓀 二六
瓅 二六
瓆 二六
瓊 二六
瓌 二六
瓏 二六
瓒 二六
瓔 二六
瓕 二六
瓘 二六
瓚 二六
瓛 二六
瓜 二六
瓞 二六
瓠 二六
瓢 二六
瓣 二六
瓤 二六
瓦 二六
瓧 二六
瓩 二六
瓪 二六
瓫 二六
瓬 二六
瓮 二六
瓯 二六
瓰 二六
瓱 二六
瓲 二六
瓴 二六
瓶 二六
瓷 二六
甄 二六
甃 二六
甅 二六
甆 二六
甇 二六
甈 二六
甉 二六
甊 二六
甋 二六
甌 二六
甍 二六
甎 二六
甑 二六
甒 二六
甓 二六
甔 二六
甕 二六
甖 二六
甗 二六
甘 二六
甚 二六
甜 二六
生 二六
甡 二六
甦 二六
用 二六
甩 二六
甪 二六
甯 二六
甲 二六
甸 二六
甹 二六
甽 二六
甾 二六
畀 二六
畁 二六
畄 二六
畅 二六
畆 二六
畈 二六
畊 二六
畋 二六
界 二六
畍 二六
畎 二六
畏 二六
畐 二六
畑 二六
畒 二六
畔 二六
畖 二六
畗 二六
畘 二六
畚 二六
畛 二六
畜 二六
畝 二六
畞 二六
畟 二六
畠 二六
畡 二六
畢 二六
畣 二六
畤 二六
略 二六
畦 二六
畧 二六
畨 二六
畩 二六
畫 二六
畭 二六
畮 二六
畯 二六
畱 二六
畲 二六
畳 二六
畴 二六
畵 二六
畸 二六
畹 二六
畺 二六
畻 二六
畼 二六
畽 二六
畾 二六
畿 二六
疀 二六
疁 二六
疂 二六
疄 二六
疆 二六
疇 二六
疈 二六
疉 二六
疊 二六
疋 二六
疌 二六
疍 二六
疏 二六
疐 二六
疑 二六
疒 二六
疓 二六
疔 二六
疕 二六
疖 二六
疗 二六
疘 二六
疚 二六
疛 二六
疜 二六
疝 二六
疞 二六
疟 二六
疠 二六
疡 二六
疢 二六
疣 二六
疤 二六
疥 二六
疦 二六
疧 二六
疨 二六
疩 二六
疪 二六
疫 二六
疬 二六
疭 二六
疮 二六
疯 二六
疰 二六
疲 二六
疳 二六
疴 二六
疵 二六
疸 二六
疹 二六
疼 二六
疽 二六
痀 二六
痂 二六
痃 二六
痄 二六
痆 二六
痈 二六
痉 二六
痊 二六
痋 二六
痌 二六
痍 二六
痎 二六
痏 二六
痐 二六
痑 二六
痒 二六
痓 二六
痔 二六
痕 二六
痖 二六
痗 二六
痘 二六
痙 二六
痚 二六
痛 二六
痜 二六
痝 二六
痞 二六
痟 二六
痠 二六
痡 二六
痢 二六
痣 二六
痤 二六
痥 二六
痦 二六
痧 二六
痨 二六
痩 二六
痪 二六
痫 二六
痬 二六
痭 二六
痮 二六
痯 二六
痰 二六
痱 二六
痲 二六
痳 二六
痴 二六
痵 二六
痶 二六
痷 二六
痸 二六
痹 二六
痺 二六
痻 二六
痼 二六
痽 二六
痾 二六
痿 二六
瘀 二六
瘁 二六
瘂 二六
瘃 二六
瘄 二六
瘅 二六
瘆 二六
瘇 二六
瘈 二六
瘉 二六
瘊 二六
瘋 二六
瘌 二六
瘍 二六
瘎 二六
瘏 二六
瘐 二六
瘑 二六
瘒 二六
瘓 二六
瘔 二六
瘕 二六
瘖 二六
瘗 二六
瘘 二六
瘙 二六
瘚 二六
瘛 二六
瘜 二六
瘝 二六
瘞 二六
瘟 二六
瘠 二六
瘡 二六
瘢 二六
瘣 二六
瘤 二六
瘥 二六
瘦 二六
瘧 二六
瘨 二六
瘩 二六
瘪 二六
瘫 二六
瘬 二六
瘭 二六
瘮 二六
瘯 二六
瘰 二六
瘱 二六
瘲 二六
瘳 二六
瘴 二六
瘵 二六
瘶 二六
瘷 二六
瘸 二六
瘹 二六
瘺 二六
瘻 二六
瘼 二六
瘽 二六
瘾 二六
瘿 二六
癀 二六
癁 二六
療 二六
癃 二六
癄 二六
癅 二六
癆 二六
癇 二六
癈 二六
癉 二六
癊 二六
癋 二六
癌 二六
癍 二六
癎 二六
癏 二六
癐 二六
癑 二六
癒 二六
癓 二六
癔 二六
癕 二六
癖 二六
癗 二六
癘 二六
癙 二六
癚 二六
癛 二六
癜 二六
癝 二六
癞 二六
癟 二六
癠 二六
癡 二六
癢 二六
癣 二六
癤 二六
癥 二六
癦 二六
癧 二六
癨 二六
癩 二六
癪 二六
癫 二六
癬 二六
癭 二六
癮 二六
癯 二六
癰 二六
癱 二六
癲 二六
癳 二六
癴 二六
癵 二六
癶 二六
癷 二六
癸 二六
癹 二六
発 二六
癿 二六
皀 二六
皂 二六
皃 二六
的 二六
皅 二六
皆 二六
皇 二六
皈 二六
皉 二六
皊 二六
皋 二六
皌 二六
皍 二六
皎 二六
皏 二六
皐 二六
皑 二六
皒 二六
皓 二六
皔 二六
皕 二六
皖 二六
皗 二六
皘 二六
皙 二六
皚 二六
皛 二六
皜 二六
皝 二六
皞 二六
皟 二六
皠 二六
皡 二六
皢 二六
皣 二六
皤 二六
皥 二六
皦 二六
皧 二六
皨 二六
皩 二六
皪 二六
皫 二六
皬 二六
皭 二六
皮 二六
皯 二六
皰 二六
皱 二六
皲 二六
皳 二六
皴 二六
皵 二六
皶 二六
皷 二六
皸 二六
皹 二六
皺 二六
皻 二六
皼 二六
皽 二六
皾 二六
皿 二六
盀 二六
盁 二六
盂 二六
盃 二六
盄 二六
盅 二六
盆 二六
盇 二六
盈 二六
盉 二六
益 二六
盋 二六
盌 二六
盍 二六
盎 二六
盏 二六
盐 二六
监 二六
盒 二六
盓 二六
盔 二六
盕 二六
盖 二六
盗 二六
盘 二六
盙 二六
盚 二六
盛 二六
盜 二六
盝 二六
盞 二六
盟 二六
盠 二六
盡 二六
盢 二六
監 二六
盤 二六
盥 二六
盦 二六
盧 二六
盨 二六
盩 二六
盪 二六
盫 二六
盬 二六
盭 二六
目 二六
盯 二六
盰 二六
盱 二六
盲 二六
盳 二六
直 二六
盵 二六
盶 二六
盷 二六
相 二六
盹 二六
盺 二六
盻 二六
盼 二六
盽 二六
盾 二六
盿 二六
眀 二六
眂 二六
眃 二六
眄 二六
眅 二六
眆 二六
眇 二六
眈 二六
眉 二六
眊 二六
看 二六
県 二六
眍 二六
眎 二六
眏 二六
眐 二六
眑 二六
眒 二六
眓 二六
眔 二六
眕 二六
眖 二六
眗 二六
眘 二六
眙 二六
眚 二六
眛 二六
眜 二六
眝 二六
眞 二六
眠 二六
眡 二六
眢 二六
眣 二六
眤 二六
眥 二六
眦 二六
眧 二六
眨 二六
眩 二六
眪 二六
眫 二六
眬 二六
眭 二六
眮 二六
眯 二六
眰 二六
眱 二六
眲 二六
眳 二六
眴 二六
眵 二六
眶 二六
眷 二六
眸 二六
眹 二六
眺 二六
眻 二六
眼 二六
眽 二六
眾 二六
眿 二六
着 二六
睂 二六
睄 二六
睅 二六
睆 二六
睇 二六
睈 二六
睉 二六
睊 二六
睋 二六
睌 二六
睍 二六
睎 二六
睏 二六
睐 二六
睑 二六
睒 二六
睓 二六
睔 二六
睕 二六
睖 二六
睗 二六
睘 二六
睙 二六
睚 二六
睛 二六
睜 二六
睞 二六
睟 二六
睠 二六
睡 二六
睢 二六
督 二六
睤 二六
睥 二六
睦 二六
睧 二六
睨 二六
睩 二六
睪 二六
睫 二六
睬 二六
睭 二六
睮 二六
睯 二六
睰 二六
睱 二六
睲 二六
睳 二六
睴 二六
睵 二六
睶 二六
睷 二六
睸 二六
睹 二六
睺 二六
睻 二六
睼 二六
睽 二六
睾 二六
睿 二六
瞀 二六
瞁 二六
瞂 二六
瞃 二六
瞄 二六
瞅 二六
瞆 二六
瞇 二六
瞈 二六
瞉 二六
瞊 二六
瞋 二六
瞌 二六
瞍 二六
瞎 二六
瞏 二六
瞐 二六
瞑 二六
瞒 二六
瞓 二六
瞔 二六
瞕 二六
瞖 二六
瞗 二六
瞘 二六
瞙 二六
瞚 二六
瞛 二六
瞜 二六
瞝 二六
瞞 二六
瞟 二六
瞠 二六
瞡 二六
瞢 二六
瞣 二六
瞤 二六
瞥 二六
瞦 二六
瞧 二六
瞨 二六
瞩 二六
瞪 二六
瞫 二六
瞬 二六
瞭 二六
瞮 二六
瞯 二六
瞰 二六
瞱 二六
瞲 二六
瞳 二六
瞴 二六
瞵 二六
瞶 二六
瞷 二六
瞸 二六
瞹 二六
瞺 二六
瞻 二六
瞼 二六
瞽 二六
瞾 二六
瞿 二六
矀 二六
矁 二六
矂 二六
矃 二六
矄 二六
矅 二六
矆 二六
矇 二六
矈 二六
矉 二六
矊 二六
矋 二六
矌 二六
矍 二六
矎 二六
矏 二六
矐 二六
矑 二六
矒 二六
矓 二六
矔 二六
矕 二六
矖 二六
矗 二六
矘 二六
矙 二六
矚 二六
矛 二六
矜 二六
矝 二六
矞 二六
矟 二六
矠 二六
矡 二六
矢 二六
矣 二六
矤 二六
知 二六
矦 二六
矧 二六
矨 二六
矩 二六
矪 二六
矫 二六
矬 二六
矮 二六
矯 二六
矰 二六
矱 二六
矲 二六
石 二六
矴 二六
矵 二六
矶 二六
矷 二六
矸 二六
矹 二六
矺 二六
矻 二六
矼 二六
矽 二六
矾 二六
矿 二六
砀 二六
码 二六
砂 二六
砃 二六
砄 二六
砅 二六
砆 二六
砇 二六
砈 二六
砉 二六
砊 二六
砋 二六
砌 二六
砍 二六
砎 二六
砏 二六
砐 二六
砑 二六
砒 二六
砓 二六
研 二六
砕 二六
砖 二六
砗 二六
砘 二六
砙 二六
砚 二六
砛 二六
砜 二六
砝 二六
砞 二六
砟 二六
砠 二六
砡 二六
砢 二六
砣 二六
砤 二六
砥 二六
砦 二六
砧 二六
砨 二六
砩 二六
砪 二六
砫 二六
砬 二六
砭 二六
砮 二六
砯 二六
砰 二六
砱 二六
砲 二六
砳 二六
破 二六
砵 二六
砶 二六
砷 二六
砸 二六
砹 二六
砺 二六
砻 二六
砼 二六
砽 二六
砾 二六
砿 二六
础 二六
硁 二六
硂 二六
硃 二六
硄 二六
硅 二六
硆 二六
硇 二六
硈 二六
硉 二六
硊 二六
硌 二六
硍 二六
硏 二六
硑 二六
硒 二六
硓 二六
硔 二六
硕 二六
硖 二六
硗 二六
硘 二六
硙 二六
硚 二六
硛 二六
硜 二六
硞 二六
硟 二六
硠 二六
硡 二六
硢 二六
硣 二六
硤 二六
硥 二六
硦 二六
硧 二六
硨 二六
硩 二六
硪 二六
硫 二六
硬 二六
硭 二六
确 二六
硯 二六
硰 二六
硱 二六
硲 二六
硳 二六
硴 二六
硵 二六
硶 二六
硷 二六
硸 二六
硹 二六
硺 二六
硻 二六
硼 二六
硽 二六
硾 二六
硿 二六
碀 二六
碁 二六
碂 二六
碃 二六
碄 二六
碅 二六
碆 二六
碇 二六
碈 二六
碉 二六
碊 二六
碋 二六
碌 二六
碍 二六
碎 二六
碏 二六
碐 二六
碑 二六
碒 二六
碓 二六
碔 二六
碕 二六
碖 二六
碗 二六
碘 二六
碙 二六
碚 二六
碛 二六
碜 二六
碝 二六
碞 二六
碟 二六
碠 二六
碡 二六
碢 二六
碣 二六
碤 二六
碥 二六
碦 二六
碧 二六
碨 二六
碩 二六
碪 二六
碫 二六
碬 二六
碭 二六
碮 二六
碯 二六
碰 二六
碱 二六
碲 二六
碳 二六
碴 二六
碵 二六
碶 二六
碷 二六
碸 二六
碹 二六
確 二六
碻 二六
碼 二六
碽 二六
碾 二六
碿 二六
磀 二六
磁 二六
磂 二六
磃 二六
磄 二六
磅 二六
磆 二六
磇 二六
磈 二六
磉 二六
磊 二六
磋 二六
磌 二六
磍 二六
磎 二六
磏 二六
磐 二六
磑 二六
磒 二六
磓 二六
磔 二六
磕 二六
磖 二六
磗 二六
磘 二六
磙 二六
磚 二六
磛 二六
磜 二六
磝 二六
磞 二六
磟 二六
磠 二六
磡 二六
磢 二六
磣 二六
磤 二六
磥 二六
磦 二六
磧 二六
磨 二六
磩 二六
磪 二六
磫 二六
磬 二六
磭 二六
磮 二六
磯 二六
磰 二六
磱 二六
磲 二六
磳 二六
磴 二六
磵 二六
磶 二六
磷 二六
磸 二六
磹 二六
磺 二六
磻 二六
磼 二六
磽 二六
磾 二六
磿 二六
礀 二六
礁 二六
礂 二六
礃 二六
礄 二六
礅 二六
礆 二六
礇 二六
礈 二六
礉 二六
礊 二六
礋 二六
礌 二六
礍 二六
礎 二六
礏 二六
礐 二六
礑 二六
礒 二六
礓 二六
礔 二六
礕 二六
礖 二六
礗 二六
礘 二六
礙 二六
礚 二六
礛 二六
礜 二六
礝 二六
礞 二六
礟 二六
礠 二六
礡 二六
礢 二六
礣 二六
礤 二六
礥 二六
礦 二六
礧 二六
礨 二六
礩 二六
礪 二六
礫 二六
礬 二六
礭 二六
礮 二六
礯 二六
礰 二六
礱 二六
礲 二六
礳 二六
礴 二六
礵 二六
礶 二六
礷 二六
礸 二六
礹 二六
示 二六
礻 二六
礼 二六
礽 二六
社 二六
礿 二六
祀 二六
祁 二六
祂 二六
祃 二六
祄 二六
祅 二六
祆 二六
祇 二六
祈 二六
祉 二六
祊 二六
祋 二六
祌 二六
祍 二六
祎 二六
祏 二六
祐 二六
祑 二六
祒 二六
祓 二六
祔 二六
祕 二六
祖 二六
祗 二六
祘 二六
祚 二六
祛 二六
祜 二六
祝 二六
祠 二六
祡 二六
祢 二六
祣 二六
祤 二六
祥 二六
祦 二六
祧 二六
票 二六
祩 二六
祪 二六
祫 二六
祬 二六
祭 二六
祮 二六
祯 二六
祰 二六
祱 二六
祲 二六
祳 二六
祴 二六
祵 二六
祶 二六
祷 二六
祸 二六
祹 二六
祺 二六
祻 二六
祼 二六
祽 二六
祾 二六
祿 二六
禀 二六
禁 二六
禂 二六
禃 二六
禄 二六
禅 二六
禆 二六
禇 二六
禈 二六
禉 二六
禊 二六
禌 二六
禍 二六
禎 二六
福 二六
禐 二六
禑 二六
禒 二六
禓 二六
禔 二六
禕 二六
禖 二六
禗 二六
禘 二六
禙 二六
禚 二六
禛 二六
禜 二六
禝 二六
禞 二六
禟 二六
禠 二六
禡 二六
禢 二六
禣 二六
禤 二六
禥 二六
禦 二六
禧 二六
禨 二六
禩 二六
禪 二六
禫 二六
禬 二六
禭 二六
禮 二六
禯 二六
禰 二六
禱 二六
禲 二六
禳 二六
禴 二六
禵 二六
禶 二六
禷 二六
禸 二六
禹 二六
禺 二六
离 二六
禼 二六
禽 二六
禾 二六
禿 二六
秀 二六
私 二六
秉 二六
秊 二六
秋 二六
秌 二六
秎 二六
秏 二六
秐 二六
秒 二六
秓 二六
秔 二六
秕 二六
秖 二六
秗 二六
秘 二六
秙 二六
秚 二六
秛 二六
秜 二六
秝 二六
秞 二六
租 二六
秠 二六
秡 二六
秢 二六
秣 二六
秤 二六
秥 二六
秦 二六
秧 二六
秨 二六
秩 二六
秪 二六
秫 二六
秬 二六
秭 二六
秮 二六
积 二六
称 二六
秱 二六
秲 二六
秳 二六
秴 二六
秵 二六
秶 二六
秷 二六
秸 二六
秹 二六
秺 二六
秼 二六
秽 二六
秾 二六
秿 二六
稀 二六
稁 二六
稂 二六
稃 二六
稄 二六
稅 二六
稆 二六
稇 二六
稈 二六
稉 二六
稊 二六
稌 二六
稍 二六
稏 二六
稐 二六
稑 二六
稒 二六
稓 二六
稔 二六
稕 二六
稖 二六
稗 二六
稘 二六
稙 二六
稚 二六
稛 二六
稜 二六
稝 二六
稞 二六
稟 二六
稠 二六
稡 二六
稢 二六
稣 二六
稤 二六
稥 二六
稦 二六
稧 二六
稨 二六
稩 二六
稪 二六
稫 二六
稬 二六
稭 二六
種 二六
稯 二六
稰 二六
稱 二六
稲 二六
稳 二六
稴 二六
稵 二六
稶 二六
稷 二六
稸 二六
稹 二六
稺 二六
稻 二六
稼 二六
稽 二六
稾 二六
稿 二六
稀 二六
稁 二六
稂 二六
稃 二六
稄 二六
稅 二六
稆 二六
稇 二六
稈 二六
稉 二六
稊 二六
稌 二六
稍 二六
稏 二六
稐 二六
稑 二六
稒 二六
稓 二六
稔 二六
稕 二六
稖 二六
稗 二六
稘 二六
稙 二六
稚 二六
稛 二六
稜 二六
稝 二六
稞 二六
稟 二六
稠 二六
稡 二六
稢 二六
稣 二六
稤 二六
稥 二六
稦 二六
稧 二六
稨 二六
稩 二六
稪 二六
稫 二六
稬 二六
稭 二六
種 二六
稯 二六
稰 二六
稱 二六
稲 二六
稳 二六
稴 二六
稵 二六
稶 二六
稷 二六
稸 二六
稹 二六
稺 二六
稻 二六
稼 二六
稽 二六
稾 二六
稿 二六
穀 二六
穀 二六
穀

瑰 瑋 瑜 瑞 瑟 瑤 瑩 瑪 瑣 瑤 瑱 瑰 璃 璇 璉 璋 璜 璞 璟 璧 璨 璩 璫 璦 璽 瓊 瓏 瓔 瓘 瓚 瓜 瓢 瓣 瓤 瓦 瓶 瓷 甄 甌 甍 甕 甘 甚 甜 生 甡 甦 用 甩 甫 甬 甯 田 由 甲 申 甸 甹 電 甾 畀 畎 畏 畔 畚 畛 畜 畝 畢 畠 畢 畫 畬 畯 畲 畳 畴 畸 畹 畿 疆 疇 疊 疋 疑 疔 疕 疗 疚 疝 疣 疥 疫 疲 疳 疵 疸 疼 疽 痂 痃 痄 病 痍 痒 痔 痕 痘 痙 痛 痞 痠 痢 痣 痧 痨 痩 痰 痱 痳 痴 痹 痺 痼 痾 瘀 瘁 瘂 瘄 瘈 瘉 瘊 瘋 瘌 瘍 瘐 瘑 瘒 瘓 瘔 瘕 瘖 瘗 瘙 瘛 瘠 瘡 瘢 瘣 瘤 瘥 瘦 瘧 瘩 瘪 瘫 瘭 瘮 瘲 瘳 瘴 瘵 瘶 瘸 瘺 瘻 瘼 瘽 瘾 瘿 癀 癁 療 癃 癄 癅 癆 癇 癈 癉 癊 癋 癌 癍 癎 癏 癐 癑 癒 癓 癔 癕 癖 癗 癘 癙 癚 癛 癜 癝 癞 癟 癠 癡 癢 癣 癤 癥 癦 癧 癨 癩 癪 癫 癬 癭 癮 癯 癰 癱 癲 癳 癴 癵 癶 癷 癸 癹 発 癿 皀 皂 皃 的 皅 皆 皇 皈 皉 皊 皋 皌 皍 皎 皏 皐 皑 皒 皓 皔 皕 皖 皗 皘 皙 皚 皛 皜 皝 皞 皟 皠 皡 皢 皣 皤 皥 皦 皧 皨 皩 皪 皫 皬 皭 皮 皯 皰 皱 皲 皳 皴 皵 皶 皷 皸 皹 皺 皻 皼 皽 皾 皿 盀 盁 盂 盃 盄 盅 盆 盇 盈 盉 益 盋 盌 盍 盎 盏 盐 监 盒 盓 盔 盕 盖 盗 盘 盙 盚 盛 盜 盝 盞 盟 盠 盡 盢 監 盤 盥 盦 盧 盨 盩 盪 盫 盬 盭 目 盯 盰 盱 盲 盳 直 盵 盶 盷 相 盹 盺 盻 盼 盽 盾 盿 眀 眂 眃 眄 眅 眆 眇 眈 眉 眊 看 県 眍 眎 眏 眐 眑 眒 眓 眔 眕 眖 眗 眘 眙 眚 眛 眜 眝 眞 眠 眡 眢 眣 眤 眥 眦 眧 眨 眩 眪 眫 眬 眭 眮 眯 眰 眱 眲 眳 眴 眵 眶 眷 眸 眹 眺 眻 眼 眽 眾 眿 睂 睃 睄 睅 睆 睇 睈 睉 睊 睋 睌 睍 睎 睏 睐 睑 睒 睓 睔 睕 睖 睗 睘 睙 睚 睛 睜 睝 睞 睟 睠 睡 睢 督 睤 睥 睦 睧 睨 睩 睪 睫 睬 睭 睮 睯 睰 睱 睲 睳 睴 睵 睶 睷 睸 睹 睺 睻 睼 睽 睾 睿 瞀 瞁 瞂 瞃 瞄 瞅 瞆 瞇 瞈 瞉 瞊 瞋 瞌 瞍 瞎 瞏 瞐 瞑 瞒 瞓 瞔 瞕 瞖 瞗 瞘 瞙 瞚 瞛 瞜 瞝 瞞 瞟 瞠 瞡 瞢 瞣 瞤 瞥 瞦 瞧 瞨 瞩 瞪 瞫 瞬 瞭 瞮 瞯 瞰 瞱 瞲 瞳 瞴 瞵 瞶 瞷 瞸 瞹 瞺 瞻 瞼 瞽 瞾 瞿 矀 矁 矂 矃 矄 矅 矆 矇 矈 矉 矊 矋 矌 矍 矎 矏 矐 矑 矒 矓 矔 矕 矖 矗 矘 矙 矚 矛 矜 矝 矞 矟 矠 矡 矢 矣 矤 知 矦 矧 矨 矩 矪 矫 矬 短 矮 矯 矰 矱 矲 石 矴 矵 矶 矷 矸 矹 矺 矻 矼 矽 矾 矿 砀 砂 砃 砄 砅 砆 砇 砈 砉 砊 砋 砌 砍 砎 砏 砐 砑 砒 砓 研 砕 砖 砗 砘 砙 砚 砛 砜 砝 砞 砟 砠 砡 砢 砣 砤 砥 砦 砧 砨 砩 砪 砫 砬 砭 砮 砯 砰 砱 砲 砳 破 砵 砶 砷 砸 砹 砺 砻 砼 砽 砾 砿 础 硁 硂 硃 硄 硅 硆 硇 硈 硉 硊 硋 硌 硍 硎 硏 硐 硑 硒 硓 硔 硕 硖 硗 硘 硙 硚 硛 硜 硝 硞 硟 硠 硡 硢 硣 硤 硥 硦 硧 硨 硩 硪 硫 硬 硭 确 硯 硰 硱 硲 硳 硴 硵 硶 硷 硸 硹 硺 硻 硼 硽 硾 硿 碀 碁 碂 碃 碄 碅 碆 碇 碈 碉 碊 碋 碌 碍 碎 碏 碐 碑 碒 碓 碔 碕 碖 碗 碘 碙 碚 碛 碜 碝 碞 碟 碠 碡 碢 碣 碤 碥 碦 碧 碨 碩 碪 碫 碬 碭 碮 碯 碰 碱 碲 碳 碴 碵 碶 碷 碸 碹 確 碻 碼 碽 碾 碿 磀 磁 磂 磃 磄 磅 磆 磇 磈 磉 磊 磋 磌 磍 磎 磏 磐 磑 磒 磓 磔 磕 磖 磗 磘 磙 磚 磛 磜 磝 磞 磟 磠 磡 磢 磣 磤 磥 磦 磧 磨 磩 磪 磫 磬 磭 磮 磯 磰 磱 磲 磳 磴 磵 磶 磷 磸 磹 磺 磻 磼 磽 磾 磿 礀 礁 礂 礃 礄 礅 礆 礇 礈 礉 礊 礋 礌 礍 礎 礏 礐 礑 礒 礓 礔 礕 礖 礗 礘 礙 礚 礛 礜 礝 礞 礟 礠 礡 礢 礣 礤 礥 礦 礧 礨 礩 礪 礫 礬 礭 礮 礯 礰 礱 礲 礳 礴 礵 礶 礷 礸 礹 示 礻 礼 礽 社 礿 祀 祁 祂 祃 祄 祅 祆 祇 祈 祉 祊 祋 祌 祍 祎 祏 祐 祑 祒 祓 祔 祕 祖 祗 祘 祙 祚 祛 祜 祝 神 祟 祠 祡 祢 祣 祤 祥 祦 祧 票 祩 祪 祫 祬 祭 祮 祯 祰 祱 祲 祳 祴 祵 祶 祷 祸 祹 祺 祻 祼 祽 祾 祿 禀 禁 禂 禃 禄 禅 禆 禇 禈 禉 禊 禋 禌 禍 禎 福 禐 禑 禒 禓 禔 禕 禖 禗 禘 禙 禚 禛 禜 禝 禞 禟 禠 禡 禢 禣 禤 禥 禦 禧 禨 禩 禪 禫 禬 禭 禮 禯 禰 禱 禲 禳 禴 禵 禶 禷 禸 禹 禺 离 禽 禾 禿 秀 私 秂 秃 秄 秅 秆 秇 秈 秉 秊 秋 秌 秎 秏 秐 秒 秓 秔 秕 秖 秗 秘 秙 秚 秛 秜 秝 秞 租 秠 秡 秢 秣 秤 秥 秦 秧 秨 秩 秪 秫 秬 秭 秮 积 称 秱 秲 秳 秴 秵 秶 秷 秸 秹 秺 秽 秾 秿 稀 稁 稂 稃 稄 稅 稆 稇 稈 稉 稊 稌 稍 稏 稐 稑 稒 稓 稔 稕 稖 稗 稘 稙 稚 稛 稜 稝 稞 稟 稠 稡 稢 稣 稤 稥 稦 稧 稨 稩 稪 稫 稬 稭 種 稯 稰 稱 稲 稳 稴 稵 稶 稷 稸 稹 稺 稻 稼 稽 稾

瑳 六六 瑰 六六 瑱 六六 瑞 六六 瑟 六六 瑤 六六 瑩 六六 瑪 六六 瑯 六六 璃 六六 璇 六六 璉 六六 璋 六六 璜 六六 璞 六六 璟 六六 璧 六六 瓊 六六 瓏 六六 瓔 六六 瓘 六六 瓜 六六 瓢 六六 瓣 六六 瓤 六六 瓦 六六 瓮 六六 瓶 六六 瓷 六六 甄 六六 甘 六六 甚 六六 甜 六六 生 六六 甡 六六 甥 六六 甦 六六 甩 六六 甫 六六 甬 六六 甭 六六 甯 六六 甲 六六 甸 六六 畀 六六 甲 六六 畀 六六 甸 六六 甲 六六 畀 六六 甸 六六 畀 六六 甸 六六 畀 六六 甸

墻 墻 墻

辯 三三
襲 三四
㩦 三四
㩦 三四
㩦

瀨 二三五
瀧 二三五
瀦 二三五
瀟 二三五
瀚 二三五
瀛 二三五
瀝 二三五
瀘 二三五
瀕 二三五
瀑 二三五
瀉 二三五
瀋 二三五
瀑 二三五
瀑 二三五
瀑

灌 三六
爨 三六
鬱 三六
鬱 三六
鬱

大澤和辞典

諸橋轍次著

水部（續）

八畫

【涪】 17575

㊀フウ（集韻）房尤切 ㊁ブ（集韻）馮無切 ㊂フウ（集韻）蒲侯切 丸

嶋 小 ●川の名。もと活 17576に作る。涪江（の）を見よ。（正字通）涪、本作活。（說文）活、活水出。蜀郡臣邱衍說、南入漢。从水舌聲。●姓。（萬姓統譜）涪、見。姓苑。㊁（音韻）は、地名。（集韻）涪、涪陵。㊂（音韻）は、あわ。水泡。（集韻）涪、涪沫、水泡。

〔涪言〕〔涪言〕〔涪言〕

【滉瀁】ゴウ 水の沸き出るさま。(楚辭、惜誓)「氾容與而遊翫兮、氣滉瀁其若海。」(集注)瀁、沸也。(集韻)瀁、沸貌。

【滉瀁】ゴウ 水の沸き出るさま。(文選、張衡、思玄賦)「遊目乎八極、滉瀁乎無垠。」(注)滉瀁、自然氣也。(補注)滉瀁、自然氣也。(注)「莊子、在宥篇」「偏與物忘、大同乎涬溟、解心釋神、莫然無魂。」(釋文)司馬云、涬溟、混沌。(集韻)涬、混沌、大水皃。○涬溟は、ひろくくらいさま。(字彙)涬、涬溟、混沌皃。(字匯)同上。(康熙字典)涬、亦作滉。○姓、五代、涬寅進。

滲 17578

ケイ ギャク (集韻)下切 圓

一引く。(張衡、思玄賦)「無酸鞅以滲己兮。」(注)銑曰、滲、引也。○(漢書)は、自然の氣。元気の未だ分れぬさま。(集韻)滲、涬溟、自然氣也。(莊子、在宥)「偏與物忘、大同乎滲溟、解心釋神、莫然無魂。」(釋文)司馬云、滲溟、混沌。○渾滲、大水皃。○渾滲は、ひろくくらいさま。(字彙)滲、渾滲、混沌皃。(字匯)同上。(康熙字典)滲、亦作滉。○姓、五代、滲寅進。

渾 17579

ジン ゴン (集韻)思西切 面

二水のさま。(集韻)渾、水皃。

淵 17580

一セン (集韻)鄭敏切 國

二セン (集韻)鄭敏切 國

三セン (集韻)所矜切 國

四セン (集韻)所矜切 國

一・二・三・四 ●ふち。(集韻)淵、澱也。●茶の別名。(集韻)淵、澱也。●(集韻)淵、澱也。●(集韻)淵、茶別名也。●(廣)①法螺を吹く。うそを言ひ虎を流す 二川の名。(集韻)淵、水名。いふ。②流す

澔 17581

カン ゴン (集韻)猛甘切 覃 醫

一カン (集韻)猛甘切 國

二カン (集韻)猛甘切 國

一 ●あるひは、。或は。(方言、十一)郡、或也。沅湘之間、凡言或如此者、曰澔。(集韻)澔、澔溟、不一定也。○澔は、(2-16343)に同じ。(集韻)澔、或作旣。

滉 17582

一ゲイ (集韻)宜佳切 國

一ガ (集韻)魚舸切 國

一ガ (字彙)毛加切 國

一 ●みぎは。きし。水際。水从(佩)(説文新附)滉、水邊也。从(佩)(説文新附)滉、水畔也。(廣韻)滉、水畔也。(廣韻)滉、水畔也。(書、微子)「若涉大川、其無津涯。」(注)滉、涯。(釋文)滉、涯。○かぎり。(詩、小雅、北山、佚)「溥天之下、莫非王土。率土之濱、莫非王臣。」(注)率、循。○馬融、廣成頌)天地虹蜺、圃無端涯。(韓愈、祭十二郎文)「在天之涯、在地之角。」(杜甫、送高三十五書記十五韻詩)常恨、結髮浸、各在天一涯。●あたり。一方。(古詩十首)相去萬餘里、各在天一涯。(注)

滉 17583

チク ボク (玉篇)池切 國

川の名。(玉篇)滉、水名。

滉 17584

一チン チチ (集韻)棟石切 國

二セチ (字彙)吏牙切 國

一 ●ふかい。(集韻)滉、水外之高者也。一説、水深皃。(荀子、天論)「星之見、雩而已矣。」(楊倞注)星之見、雩而已矣

□□なく。通じて暖（8－33633）に作る。（集韻）渾、泣出、通作暖。

漲 17585

チャウ

漲 7－18173）に同じ。（集韻）漲、水大皃。或省。

液 17586

エキ ヤク

（集韻）元韻切 一 ヤク

（集韻）施要切 二 セキ

𣶒 𣶒 □●しる。物の中から出る。

流動體の總稱。（說文）液、流也。

小篆

液雲 ▽ しぐれ雲。

液冷 ▽ うるほゆ。うるはす。（漢書、司馬相如傳）液若、うるはゆ。うるはす。（集韻）液、

液化 ▽ 氣體又は固體が冷却せられ、或は壓化によつて、液體に變ずる。

液火 ▽ タンク内の壓搾瓦斯を相當に導き、空氣に觸れて水素秋を呈し流出せしめたもの。

液果 ▽ 肉が多くして水氣ある果實。葡萄・柿の類。

液鹽 ▽ 鹽水。

液鹽 ▽ 鹽水。

液鹽 ▽ 鹽水。

液汁 ▽ 清石の異名。（本草、清石）釋名、畫石、液石。（名醫別錄）一名、金石、共名。（物類相感志）清石、液鹽。

液石 ▽ 清石の異名。（本草、清石）釋名、畫石、液石。（名醫別錄）一名、金石、共名。（物類相感志）清石、液鹽。

液体 ▽ 水・油の如く流動する物體。氣體・固體と共に三態をなす。

液體 ▽ 水・油の如く流動する物體。氣體・固體と共に三態をなす。

液體比重計 ▽ 空氣を壓搾して液化したもの。

液體比重計 ▽ 液體の比重を測る器。既知の重量を有する物體を浸し、其のうきの深さから物體の重量を見出して、其の比重を求めるもの。

液滴 ▽ 水滴。

液滴 ▽ 水滴。

液滴 ▽ 水滴

涵 小 ㊀カン（呉）ゴン（漢）胡感切 感

●うるほふ。うるほす。ひたす。潤す。集韻）涵、或从函从今。（說文）涵、水澤多也。（玉篇）涵、水合。（廣韻）涵、水合。（段注）所受潤澤多也。●しづむ。（方言十二）涵、沈也。楚辭以南曰涵或曰潛。（左思、吳都賦）涵淫乎其中（注）到也。（詩、小雅、巧言）僭始既涵（傳）涵、容也。●涵（6－17461）に通ず（方言十一、箋疏）。與、涵同。同じ。（集韻）涵、同也。詩、僭始既涵、鄭康成讀（詩、小雅、巧言、箋）涵、同也。●水が船に入る（廣韻）涵、水船入。●しづむ（玉篇）涵、沒也。●どろ水。或作、涵。

【涵胥】[illegible]　牛を容れひたす。涵牛鼎を見た。

【涵牛鼎】[illegible]　牛を容るるはどとの鼎。大鼎を云ふ。（史記、李斯傳）牛鼎は玉斝目、呂氏春秋、[illegible]

【涵鳴】[illegible]　ひたし鳴める。雨ずする。惠を施して賞す。（張民、封禪文）蒙恩涵鳴。（文選、[illegible]）[illegible]（宋史、樂志十二）御作、鼎銘、仁宗、柔仁惠澤、涵鳴生民、然文有餘、義武不足、（歐陽修、[illegible]）[illegible]（宋史）教知上之恣德、永其仁惠、涵鳴百年之深。

【涵潤】[illegible]　つつみ潤はす。

【涵濡】[illegible]　字誤。（清、朱倫瀚）[illegible]（一也）

【涵泳】[illegible]　ひたし泳ぐ。（清、朱彝尊）[illegible]（一五）

【涵虛】[illegible]　ひたし行きわたる。（歐陽修、胡州長史記）教知上之恣德、永其仁惠、涵鳴百年之深。（[illegible]）[illegible]（宋史、樂志十二）御作、鼎銘、仁宗、柔仁惠澤、涵鳴生民、然文有餘、義武不足、（歐陽修、胡州長史記）教知上之恣德、永其仁惠、涵鳴百年之深。

【涵養】[illegible]　字誤。（清、朱彝尊）[illegible]（一也）

【涵泳】[illegible]　ひたし泳ぐ。（清、朱彝尊）[illegible]（一五）

【涵虛】[illegible]　ひたし行きわたる。（歐陽修、胡州長史記）教知上之恣德、永其仁惠、涵鳴百年之深。（[illegible]）[illegible]（宋史、樂志十二）御作、鼎銘、仁宗、柔仁惠澤、涵鳴生民、然文有餘、義武不足、（歐陽修、胡州長史記）教知上之恣德、永其仁惠、涵鳴百年之深。

【涵胥】[illegible]　牛を容れひたす。涵牛鼎を見た。

【涵泳】[illegible]　ひたし泳ぐ。（清、朱彝尊）[illegible]（一五）

【涵潤】[illegible]　田地の水量を調節するための溜池。（清、[illegible]）[illegible]（宋史、[illegible]）[illegible]（宋史、樂志十二）御作、鼎銘、仁宗、柔仁惠澤、涵鳴生民、然文有餘、義武不足、（歐陽修、胡州長史記）教知上之恣德、永其仁惠、涵鳴百年之深。

【涵濡】[illegible]　字誤。（清、朱倫瀚

甚樂二卷。明、周鼎。第五十五册、遺餘錄。卷洲、統清洲。東洲儿上語。第五十六册、東洲、施清臣。第五十七册、存復齋遺稿。卷一元、朱徳潤。第五十八册、山房集八卷後。卷二宋、周密。第六十一册、張林、鐵記不分卷。第六十二册、第六十三册、西天書語。卷一宋、姚寬。第六十四册、教坊記。卷一元、呂宗健。第六十五册、雪庵字要。卷一元、釋子温。第六十六册、第六十七册、第六十八册、第六十九册、第七十册、第七十一册、第七十二册、第七十三册、第七十四册、第七十五册、第七十六册、第七十七册、第七十八册、第七十九册、第八十册、第八十一册、第八十二册、第八十三册、第八十四册、第八十五册、第八十六册、第八十七册、第八十八册、第八十九册、第九十册、第九十一册、第九十二册、第九十三册、第九十四册、第九十五册、第九十六册、第九十七册、第九十八册、第九十九册、第百册。第一明、鄭鄤。第二明、鄭鄤。第三明、鄭鄤。第四明、鄭鄤。第五明、鄭鄤。第六明、鄭鄤。第七明、鄭鄤。第八明、鄭鄤。第九明、鄭鄤。第十明、鄭鄤。第十一明、鄭鄤。第十二明、鄭鄤。第十三明、鄭鄤。第十四明、鄭鄤。第十五明、鄭鄤。第十六明、鄭鄤。第十七明、鄭鄤。第十八明、鄭鄤。第十九明、鄭鄤。第二十明、鄭鄤。第二十一明、鄭鄤。第二十二明、鄭鄤。第二十三明、鄭鄤。第二十四明、鄭鄤。第二十五明、鄭鄤。第二十六明、鄭鄤。第二十七明、鄭鄤。第二十八明、鄭鄤。第二十九明、鄭鄤。第三十明、鄭鄤。第三十一明、鄭鄤。第三十二明、鄭鄤。第三十三明、鄭鄤。第三十四明、鄭鄤。第三十五明、鄭鄤。第三十六明、鄭鄤。第三十七明、鄭鄤。第三十八明、鄭鄤。第三十九明、鄭鄤。第四十明、鄭鄤。第四十一明、鄭鄤。第四十二明、鄭鄤。第四十三明、鄭鄤。第四十四明、鄭鄤。第四十五明、鄭鄤。第四十六明、鄭鄤。第四十七明、鄭鄤。第四十八明、鄭鄤。第四十九明、鄭鄤。第五十明、鄭鄤。第五十一明、鄭鄤。第五十二明、鄭鄤。第五十三明、鄭鄤。第五十四明、鄭鄤。第五十五明、鄭鄤。第五十六明、鄭鄤。第五十七明、鄭鄤。第五十八明、鄭鄤。第五十九明、鄭鄤。第六十明、鄭鄤。第六十一明、鄭鄤。第六十二明、鄭鄤。第六十三明、鄭鄤。第六十四明、鄭鄤。第六十五明、鄭鄤。第六十六明、鄭鄤。第六十七明、鄭鄤。第六十八明、鄭鄤。第六十九明、鄭鄤。第七十明、鄭鄤。第七十一明、鄭鄤。第七十二明、鄭鄤。第七十三明、鄭鄤。第七十四明、鄭鄤。第七十五明、鄭鄤。第七十六明、鄭鄤。第七十七明、鄭鄤。第七十八明、鄭鄤。第七十九明、鄭鄤。第八十明、鄭鄤。第八十一明、鄭鄤。第八十二明、鄭鄤。第八十三明、鄭鄤。第八十四明、鄭鄤。第八十五明、鄭鄤。第八十六明、鄭鄤。第八十七明、鄭鄤。第八十八明、鄭鄤。第八十九明、鄭鄤。第九十明、鄭鄤。第九十一明、鄭鄤。第九十二明、鄭鄤。第九十三明、鄭鄤。第九十四明、鄭鄤。第九十五明、鄭鄤。第九十六明、鄭鄤。第九十七明、鄭鄤。第九十八明、鄭鄤。第九十九明、鄭鄤。第百明、鄭鄤。

〔涵芬樓文錄〕清、張鈞衡。一册、民國、吳興張鈞衡、張目手錄校、宗山、鄭子、清、許印芳、韓、陳、沈、鄭、鄭子、徐書、楊、許、陳、鄭、鄭子、蔡、蔡、楊、蔡、陳、鄭、鄭子、徐、蔡、楊、蔡、陳、鄭、鄭子、徐、蔡、楊、蔡、陳、鄭、鄭子、徐

〔溷沌〕同上。水がかれて無くなった沼澤。〔李善注〕引張揖曰、溷沌、猶枯槁也。〔集韻〕溷、水涸皮澤。

〔溷溷〕同上。〔文選、潘岳、西征賦〕溷溷、猶枯槁也。〔注〕溷、塞也。言太山塞、傾流絕也。以喻君臣失其位也。〔集韻〕溷、通作混。〔張衡、思玄賦〕混沌、猶混沌也。

〔溷溷〕同上。●水のかれたさま。〔文選、潘岳、西征賦〕溷溷、猶枯槁也。〔注〕溷、塞也。言太山塞、傾流絕也。以喻君臣失其位也。〔集韻〕溷、通作混。〔張衡、思玄賦〕混沌、猶混沌也。

〔溷溷之神〕同上。水がかれて凍の神。〔曹植、洛神賦〕尚未交於神人、其長四丈、衣黃衣、冠黃蓋、載玄武、卽曹公之子、名叡、字睿、魏文帝之弟、武王卽位、改名叡、以其名、與文帝同、故改焉。〔張志和、漁父詞〕溷溷之神、水小潮、好釣魚、因家長江口、而服焉。

〔溷鯨〕同上。水のかれたかめ。

〔溷鯨〕同上。水のそこいのだちの鯨。〔李白、江夏使君叔席上聯句、史郎中、詩〕溷鯨思流水、浮雲失舊居。〔李商隱、感舊貽韓外二十李相公、詩〕起溷鯨于海風、活鱗於酒鼎。

〔溷鯨〕同上。わだちの鯨。〔李白、江夏使君叔席上聯句、史郎中、詩〕溷鯨思流水、浮雲失舊居。〔李商隱、感舊貽韓外二十李相公、詩〕起溷鯨于海風、活鱗於酒鼎。

〔溷魚〕同上。●かめのそこいのだちの魚。〔荀子、王霸〕溷魚、鼈、黿、鼉、魚、鼈、黿、鼉、魚、鼈、黿、鼉、

秉髮鳥跡(8・29910・33)は南涼といふ。各條を見よ。❹**姓** 通志氏族略涼氏、魏志。❺**たすける** 正韻1・304。〈涼〉1・1209。〈涼〉1・1209。〈涼〉1・1209

故有紀元(会稽郡)、(諸暨)、(長興)、(烏程)、(武康)、(餘杭)、(臨安)、(於潛)、(昌化)、(新登)、(富陽)、(遂昌)、(龍泉)、(松陽)、(宣城)、(絲縣)、(安吉

眹)涼投自淡 風寒次 韻 (潘岳 興獄 何逡 陽之賀賦)。覺 涼後 之 冬水。

〔涼野〕[illegible]。涼野。さびしい野原。 涼 野 [illegible]。 [illegible]。 [illegible]。

【淀】 17610　チン　(集韻)(韻會)切　㫃　ディン　[illegible]

●よどむ。又、よどみ。又、よど。流水がとどこほつてとまる。又、流水が滯りとまつてゐる處。(廣韻)(7－18410)に通ず(『玉篇』淀、淺水也。郭璞、淀古字通。●(朝)(4)(韵)(7－21732)に通ず。(4)水をすすぎと進まない。(6)踏踏する。(8)固體が水底に沈みたまる。(9)とどまつて動かない。

(淀河)　河北省の大興河をいふ。下流は直河に入る。大清(9－5621－25350)の(6)を見よ。

(淀川)　淀川を云ふ。琵琶湖から發し、大阪灣に注ぐ。其の上流、宇治市までを瀬田川、淀町まで宇治川といふ。

(淀橋)　淀川をいふ。(江水橋)本、(瑞橋)行狀四上下淀橋。

【淀】 17611　セン　延(9－17258)に同じ。(玉篇)　[illegible]　同一字。

【淮】 17612　□セフ　(集韻)上接切　[illegible]　□シフ　(集韻)如入切　[illegible]

□川の名。(說文)淺、淺水也、从水妻聲　(集韻)淺、水清也、或作淺。

水部　小　水妻聲　(廣韻)七恩切　[illegible]　□水がすなわち進まない。漢(4－18235)に同じ。(集韻)淺、水清也、或作淺。

【淕】 17613　□トク　(集韻)的則切　□チキ　(廣韻)丁力切　[illegible]

【淯】 17614　ケン　(集韻)況袁切　[illegible]

●川の名。(廣韻)淺、水名。●水のさま。(字彙)淺、水貌。

【淄】 17615　ヨ　(康熙字典)　防魚切　[illegible]

●川の名。(康熙字典)淵、玉篇、水名。●水のさま。

今本玉篇には淵(7－17263)に作る。

【淄】 17616　シ　(集韻)莊持切　[illegible]

●くろ。黑色。(太玄、經、更)化(白干流)淄。(注)淄、黑也。●くろむ。くろくそまる。(論語)陽貨)不ト曰、白乎、涅而不ト。(編)(劉寶楠正義)編、史記家作淄、(史記)孔子世家)不ト曰、白乎、涅而不ト。淄、(後漢書、皇后紀序)恩隆、好合、遂忠。淄、(史記)淄、黑也。●州の名。又、川の名。(廣韻)淄、水名。又州名。●淄(9－3116 32205)に通ず。(集韻)淄、俗作、淄、非是。(周禮、夏官、職方氏)幽州、其浸菑。(孫詒讓正義)菑、(黃實父注)淄、(黃震、地理志)淄淄其道、(注)師古曰、淄、或作淄、古今通用也。(中華大字典)淄、或作、菑。(武班碑、齊國臨淄、●もと淄(7－17918)に作る。(正字通)淄、本作淄。

【淅】 17617　セキ　シャク　(集韻)先的切　[illegible]　T一　[illegible]

●よなぐ。米をとぐ。(說文)淅、米泔也。(廣韻)淅、米汁。(集韻)淅、米泔。(儀禮、士喪禮)淅、米于堂。●かしよね。水に浸して清く洗つた米。あらひよね。(荀子)孟子之齊、接淅而行。(注)淅、淅米也。●勃のさま。淅淅(4)、淅淅(6)を見よ。●或は解(8－26986)に作る。(集韻)(韵)(7－17263)は別字。(字彙、淅)、似、淅、百穀、江名。又、南一百穀、氏、米。のこと。水、しろ、ゴ。(相國二子

(淅汁)　人が我をあざけるを怒ること。(後漢書、馬援、馬援傳)(後漢紀)、人有讒援本語(而)云、(馬)援、(馬)援、(馬)援

圃貨。案顔：淵出，清、洗、宋也。洼：甘十也。本編第一次著錄可可。**淵源**：〔一〕、物がかすかに動く聲。波動する音。（楽師涓）**淵**：魚の名。蓮水に入る。河水に入る。淵は、水に在る。淵陵所淵、淵は、淵は、淵は

鍾（唐太順切、朱謀㙔、魏博字遺其終丁會稽、淺河取、黎陽縣名、鍾山等十、清河郡、黎陽縣名、鍾山等十、清河郡、黎陽縣、五代采、鍾離、年、疾、河州特、戴思遠錄給、衛州又改給、青州及其城新鄉等縣。

汧 小 **17621**

㊀ヘイ（集韻）等切 平 耕

㊁ヒョウ（集韻）匹妙切 平 篠

又 ㊀ ㊁ ㊂ ㊃ ㊄ ㊅ ㊆ ㊇ ㊈ ㊉ ㊊ ㊋ ㊌ ㊍ ㊎ ㊏ ㊐ ㊑ ㊒ ㊓ ㊔ ㊕ ㊖ ㊗ ㊘ ㊙ ㊚ ㊛ ㊜ ㊝ ㊞ ㊟ ㊠ ㊡ ㊢ ㊣ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ 𠀀 𠀁 𠀂 𠀃 𠀄 𠀅 𠀆 𠀇 𠀈 𠀉 𠀊 𠀋 𠀌 𠀍 𠀎 𠀏 𠀐 𠀑 𠀒 𠀓 𠀔 𠀕 𠀖 𠀗 𠀘 𠀙 𠀚 𠀛 𠀜 𠀝 𠀞 𠀟 𠀠 𠀡 𠀢 𠀣 𠀤 𠀥 𠀦 𠀧 𠀨 𠀩 𠀪 𠀫 𠀬 𠀭 𠀮 𠀯 𠀰 𠀱 𠀲 𠀳 𠀴 𠀵 𠀶 𠀷 𠀸 𠀹 𠀺 𠀻 𠀼 𠀽 𠀾 𠀿 𠁀 𠁁 𠁂 𠁃 𠁄 𠁅 𠁆 𠁇 𠁈 𠁉 𠁊 𠁋 𠁌 𠁍 𠁎 𠁏 𠁐 𠁑 𠁒 𠁓 𠁔 𠁕 𠁖 𠁗 𠁘 𠁙 𠁚 𠁛 𠁜 𠁝 𠁞 𠁟 𠁠 𠁡 𠁢 𠁣 𠁤 𠁥 𠁦 𠁧 𠁨 𠁩 𠁪 𠁫 𠁬 𠁭 𠁮 𠁯 𠁰 𠁱 𠁲 𠁳 𠁴 𠁵 𠁶 𠁷 𠁸 𠁹 𠁺 𠁻 𠁼 𠁽 𠁾 𠁿 𠂀 𠂁 𠂂 𠂃 𠂄 𠂅 𠂆 𠂇 𠂈 𠂉 𠂊 𠂋 𠂌 𠂍 𠂎 𠂏 𠂐 𠂑 𠂒 𠂓 𠂔 𠂕 𠂖 𠂗 𠂘 𠂙 𠂚 𠂛 𠂜 𠂝 𠂞 𠂟 𠂠 𠂡 𠂢 𠂣 𠂤 𠂥 𠂦 𠂧 𠂨 𠂩 𠂪 𠂫 𠂬 𠂭 𠂮 𠂯 𠂰 𠂱 𠂲 𠂳 𠂴 𠂵 𠂶 𠂷 𠂸 𠂹 𠂺 𠂻 𠂼 𠂽 𠂾 𠂿 𠃀 𠃁 𠃂 𠃃 𠃄 𠃅 𠃆 𠃇 𠃈 𠃉 𠃊 𠃋 𠃌 𠃍 𠃎 𠃏 𠃐 𠃑 𠃒 𠃓 𠃔 𠃕 𠃖 𠃗 𠃘 𠃙 𠃚 𠃛 𠃜 𠃝 𠃞 𠃟 𠃠 𠃡 𠃢 𠃣 𠃤 𠃥 𠃦 𠃧 𠃨 𠃩 𠃪 𠃫 𠃬 𠃭 𠃮 𠃯 𠃰 𠃱 𠃲 𠃳 𠃴 𠃵 𠃶 𠃷 𠃸 𠃹 𠃺 𠃻 𠃼 𠃽 𠃾 𠃿 𠄀 𠄁 𠄂 𠄃 𠄄 𠄅 𠄆 𠄇 𠄈 𠄉 𠄊 𠄋 𠄌 𠄍 𠄎 𠄏 𠄐 𠄑 𠄒 𠄓 𠄔 𠄕 𠄖 𠄗 𠄘 𠄙 𠄚 𠄛 𠄜 𠄝 𠄞 𠄟 𠄠 𠄡 𠄢 𠄣 𠄤 𠄥 𠄦 𠄧 𠄨 𠄩 𠄪 𠄫 𠄬 𠄭 𠄮 𠄯 𠄰 𠄱 𠄲 𠄳 𠄴 𠄵 𠄶 𠄷 𠄸 𠄹 𠄺 𠄻 𠄼 𠄽 𠄾 𠄿 𠅀 𠅁 𠅂 𠅃 𠅄 𠅅 𠅆 𠅇 𠅈 𠅉 𠅊 𠅋 𠅌 𠅍 𠅎 𠅏 𠅐 𠅑 𠅒 𠅓 𠅔 𠅕 𠅖 𠅗 𠅘 𠅙 𠅚 𠅛 𠅜 𠅝 𠅞 𠅟 𠅠 𠅡 𠅢 𠅣 𠅤 𠅥 𠅦 𠅧 𠅨 𠅩 𠅪 𠅫 𠅬 𠅭 𠅮 𠅯 𠅰 𠅱 𠅲 𠅳 𠅴 𠅵 𠅶 𠅷 𠅸 𠅹 𠅺 𠅻 𠅼 𠅽 𠅾 𠅿 𠆀 𠆁 𠆂 𠆃 𠆄 𠆅 𠆆 𠆇 𠆈 𠆉 𠆊 𠆋 𠆌 𠆍 𠆎 𠆏 𠆐 𠆑 𠆒 𠆓 𠆔 𠆕 𠆖 𠆗 𠆘 𠆙 𠆚 𠆛 𠆜 𠆝 𠆞 𠆟 𠆠 𠆡 𠆢 𠆣 𠆤 𠆥 𠆦 𠆧 𠆨 𠆩 𠆪 𠆫 𠆬 𠆭 𠆮 𠆯 𠆰 𠆱 𠆲 𠆳 𠆴 𠆵 𠆶 𠆷 𠆸 𠆹 𠆺 𠆻 𠆼 𠆽 𠆾 𠆿 𠇀 𠇁 𠇂 𠇃 𠇄 𠇅 𠇆 𠇇 𠇈 𠇉 𠇊 𠇋 𠇌 𠇍 𠇎 𠇏 𠇐 𠇑 𠇒 𠇓 𠇔 𠇕 𠇖 𠇗 𠇘 𠇙 𠇚 𠇛 𠇜 𠇝 𠇞 𠇟 𠇠 𠇡 𠇢 𠇣 𠇤 𠇥 𠇦 𠇧 𠇨 𠇩 𠇪 𠇫 𠇬 𠇭 𠇮 𠇯 𠇰 𠇱 𠇲 𠇳 𠇴 𠇵 𠇶 𠇷 𠇸 𠇹 𠇺 𠇻 𠇼 𠇽 𠇾 𠇿 𠈀 𠈁 𠈂 𠈃 𠈄 𠈅 𠈆 𠈇 𠈈 𠈉 𠈊 𠈋 𠈌 𠈍 𠈎 𠈏 𠈐 𠈑 𠈒 𠈓 𠈔 𠈕 𠈖 𠈗 𠈘 𠈙 𠈚 𠈛 𠈜 𠈝 𠈞 𠈟 𠈠 𠈡 𠈢 𠈣 𠈤 𠈥 𠈦 𠈧 𠈨 𠈩 𠈪 𠈫 𠈬 𠈭 𠈮 𠈯 𠈰 𠈱 𠈲 𠈳 𠈴 𠈵 𠈶 𠈷 𠈸 𠈹 𠈺 𠈻 𠈼 𠈽 𠈾 𠈿 𠉀 𠉁 𠉂 𠉃 𠉄 𠉅 𠉆 𠉇 𠉈 𠉉 𠉊 𠉋 𠉌 𠉍 𠉎 𠉏 𠉐 𠉑 𠉒 𠉓 𠉔 𠉕 𠉖 𠉗 𠉘 𠉙 𠉚 𠉛 𠉜 𠉝 𠉞 𠉟 𠉠 𠉡 𠉢 𠉣 𠉤 𠉥 𠉦 𠉧 𠉨 𠉩 𠉪 𠉫 𠉬 𠉭 𠉮 𠉯 𠉰 𠉱 𠉲 𠉳 𠉴 𠉵 𠉶 𠉷 𠉸 𠉹 𠉺 𠉻 𠉼 𠉽 𠉾 𠉿 𠊀 𠊁 𠊂 𠊃 𠊄 𠊅 𠊆 𠊇 𠊈 𠊉 𠊊 𠊋 𠊌 𠊍 𠊎 𠊏 𠊐 𠊑 𠊒 𠊓 𠊔 𠊕 𠊖 𠊗 𠊘 𠊙 𠊚 𠊛 𠊜 𠊝 𠊞 𠊟 𠊠 𠊡 𠊢 𠊣 𠊤 𠊥 𠊦 𠊧 𠊨 𠊩 𠊪 𠊫 𠊬 𠊭 𠊮 𠊯 𠊰 𠊱 𠊲 𠊳 𠊴 𠊵 𠊶 𠊷 𠊸 𠊹 𠊺 𠊻 𠊼 𠊽 𠊾 𠊿 𠋀 𠋁 𠋂 𠋃 𠋄 𠋅 𠋆 𠋇 𠋈 𠋉 𠋊 𠋋 𠋌 𠋍 𠋎 𠋏 𠋐 𠋑 𠋒 𠋓 𠋔 𠋕 𠋖 𠋗 𠋘 𠋙 𠋚 𠋛 𠋜 𠋝 𠋞 𠋟 𠋠 𠋡 𠋢 𠋣 𠋤 𠋥 𠋦 𠋧 𠋨 𠋩 𠋪 𠋫 𠋬 𠋭 𠋮 𠋯 𠋰 𠋱 𠋲 𠋳 𠋴 𠋵 𠋶 𠋷 𠋸 𠋹 𠋺 𠋻 𠋼 𠋽 𠋾 𠋿 𠌀 𠌁 𠌂 𠌃 𠌄 𠌅 𠌆 𠌇 𠌈 𠌉 𠌊 𠌋 𠌌 𠌍 𠌎 𠌏 𠌐 𠌑 𠌒 𠌓 𠌔 𠌕 𠌖 𠌗 𠌘 𠌙 𠌚 𠌛 𠌜 𠌝 𠌞 𠌟 𠌠 𠌡 𠌢 𠌣 𠌤 𠌥 𠌦 𠌧 𠌨 𠌩 𠌪 𠌫 𠌬 𠌭 𠌮 𠌯 𠌰 𠌱 𠌲 𠌳 𠌴 𠌵 𠌶 𠌷 𠌸 𠌹 𠌺 𠌻 𠌼 𠌽 𠌾 𠌿 𠍀 𠍁 𠍂 𠍃 𠍄 𠍅 𠍆 𠍇 𠍈 𠍉 𠍊 𠍋 𠍌 𠍍 𠍎 𠍏 𠍐 𠍑 𠍒 𠍓 𠍔 𠍕 𠍖 𠍗 𠍘 𠍙 𠍚 𠍛 𠍜 𠍝 𠍞 𠍟 𠍠 𠍡 𠍢 𠍣 𠍤 𠍥 𠍦 𠍧 𠍨 𠍩 𠍪 𠍫 𠍬 𠍭 𠍮 𠍯 𠍰 𠍱 𠍲 𠍳 𠍴 𠍵 𠍶 𠍷 𠍸 𠍹 𠍺 𠍻 𠍼 𠍽 𠍾 𠍿 𠎀 𠎁 𠎂 𠎃 𠎄 𠎅 𠎆 𠎇 𠎈 𠎉 𠎊 𠎋 𠎌 𠎍 𠎎 𠎏 𠎐 𠎑 𠎒 𠎓 𠎔 𠎕 𠎖 𠎗 𠎘 𠎙 𠎚 𠎛 𠎜 𠎝 𠎞 𠎟 𠎠 𠎡 𠎢 𠎣 𠎤 𠎥 𠎦 𠎧 𠎨 𠎩 𠎪 𠎫 𠎬 𠎭 𠎮 𠎯 𠎰 𠎱 𠎲 𠎳 𠎴 𠎵 𠎶 𠎷 𠎸 𠎹 𠎺 𠎻 𠎼 𠎽 𠎾 𠎿 𠏀 𠏁 𠏂 𠏃 𠏄 𠏅 𠏆 𠏇 𠏈 𠏉 𠏊 𠏋 𠏌 𠏍 𠏎 𠏏 𠏐 𠏑 𠏒 𠏓 𠏔 𠏕 𠏖 𠏗 𠏘 𠏙 𠏚 𠏛 𠏜 𠏝 𠏞 𠏟 𠏠 𠏡 𠏢 𠏣 𠏤 𠏥 𠏦 𠏧 𠏨 𠏩 𠏪 𠏫 𠏬 𠏭 𠏮 𠏯 𠏰 𠏱 𠏲 𠏳 𠏴 𠏵 𠏶 𠏷 𠏸 𠏹 𠏺 𠏻 𠏼 𠏽 𠏾 𠏿 𠐀 𠐁 𠐂 𠐃 𠐄 𠐅 𠐆 𠐇 𠐈 𠐉 𠐊 𠐋 𠐌 𠐍 𠐎 𠐏 𠐐 𠐑 𠐒 𠐓 𠐔 𠐕 𠐖 𠐗 𠐘 𠐙 𠐚 𠐛 𠐜 𠐝 𠐞 𠐟 𠐠 𠐡 𠐢 𠐣 𠐤 𠐥 𠐦 𠐧 𠐨 𠐩 𠐪 𠐫 𠐬 𠐭 𠐮 𠐯 𠐰 𠐱 𠐲 𠐳 𠐴 𠐵 𠐶 𠐷 𠐸 𠐹 𠐺 𠐻 𠐼 𠐽 𠐾 𠐿 𠑀 𠑁 𠑂 𠑃 𠑄 𠑅 𠑆 𠑇 𠑈 𠑉 𠑊 𠑋 𠑌 𠑍 𠑎 𠑏 𠑐 𠑑 𠑒 𠑓 𠑔 𠑕 𠑖 𠑗 𠑘 𠑙 𠑚 𠑛 𠑜 𠑝 𠑞 𠑟 𠑠 𠑡 𠑢 𠑣 𠑤 𠑥 𠑦 𠑧 𠑨 𠑩 𠑪 𠑫 𠑬 𠑭 𠑮 𠑯 𠑰 𠑱 𠑲 𠑳 𠑴 𠑵 𠑶 𠑷 𠑸 𠑹 𠑺 𠑻 𠑼 𠑽 𠑾 𠑿 𠒀 𠒁 𠒂 𠒃 𠒄 𠒅 𠒆 𠒇 𠒈 𠒉 𠒊 𠒋 𠒌 𠒍 𠒎 𠒏 𠒐 𠒑 𠒒 𠒓 𠒔 𠒕 𠒖 𠒗 𠒘 𠒙 𠒚 𠒛 𠒜 𠒝 𠒞 𠒟 𠒠 𠒡 𠒢 𠒣 𠒤 𠒥 𠒦 𠒧 𠒨 𠒩 𠒪 𠒫 𠒬 𠒭 𠒮 𠒯 𠒰 𠒱 𠒲 𠒳 𠒴 𠒵 𠒶 𠒷 𠒸 𠒹 𠒺 𠒻 𠒼 𠒽 𠒾 𠒿 𠓀 𠓁 𠓂 𠓃 𠓄 𠓅 𠓆 𠓇 𠓈 𠓉 𠓊 𠓋 𠓌 𠓍 𠓎 𠓏 𠓐 𠓑 𠓒 𠓓 𠓔 𠓕 𠓖 𠓗 𠓘 𠓙 𠓚 𠓛 𠓜 𠓝 𠓞 𠓟 𠓠 𠓡 𠓢 𠓣 𠓤 𠓥 𠓦 𠓧 𠓨 𠓩 𠓪 𠓫 𠓬 𠓭 𠓮 𠓯 𠓰 𠓱 𠓲 𠓳 𠓴 𠓵 𠓶 𠓷 𠓸 𠓹 𠓺 𠓻 𠓼 𠓽 𠓾 𠓿 𠔀 𠔁 𠔂 𠔃 𠔄 𠔅 𠔆 𠔇 𠔈 𠔉 𠔊 𠔋 𠔌 𠔍 𠔎 𠔏 𠔐 𠔑 𠔒 𠔓 𠔔 𠔕 𠔖 𠔗 𠔘 𠔙 𠔚 𠔛 𠔜 𠔝 𠔞 𠔟 𠔠 𠔡 𠔢 𠔣 𠔤 𠔥 𠔦 𠔧 𠔨 𠔩 𠔪 𠔫 𠔬 𠔭 𠔮 𠔯 𠔰 𠔱 𠔲 𠔳 𠔴 𠔵 𠔶 𠔷 𠔸 𠔹 𠔺 𠔻 𠔼 𠔽 𠔾 𠔿 𠕀 𠕁 𠕂 𠕃 𠕄 𠕅 𠕆 𠕇 𠕈 𠕉 𠕊 𠕋 𠕌 𠕍 𠕎 𠕏 𠕐 𠕑 𠕒 𠕓 𠕔 𠕕 𠕖 𠕗 𠕘 𠕙 𠕚 𠕛 𠕜 𠕝 𠕞 𠕟 𠕠 𠕡 𠕢 𠕣 𠕤 𠕥 𠕦 𠕧 𠕨 𠕩 𠕪 𠕫 𠕬 𠕭 𠕮 𠕯 𠕰 𠕱 𠕲 𠕳 𠕴 𠕵 𠕶 𠕷 𠕸 𠕹 𠕺 𠕻 𠕼 𠕽 𠕾 𠕿 𠖀 𠖁 𠖂 𠖃 𠖄 𠖅 𠖆 𠖇 𠖈 𠖉 𠖊 𠖋 𠖌 𠖍 𠖎 𠖏 𠖐 𠖑 𠖒 𠖓 𠖔 𠖕 𠖖 𠖗 𠖘 𠖙 𠖚 𠖛 𠖜 𠖝 𠖞 𠖟 𠖠 𠖡 𠖢 𠖣 𠖤 𠖥 𠖦 𠖧 𠖨 𠖩 𠖪 𠖫 𠖬 𠖭 𠖮 𠖯 𠖰 𠖱 𠖲 𠖳 𠖴 𠖵 𠖶 𠖷 𠖸 𠖹 𠖺 𠖻 𠖼 𠖽 𠖾 𠖿 𠗀 𠗁 𠗂 𠗃 𠗄 𠗅 𠗆 𠗇 𠗈 𠗉 𠗊 𠗋 𠗌 𠗍 𠗎 𠗏 𠗐 𠗑 𠗒 𠗓 𠗔 𠗕 𠗖 𠗗 𠗘 𠗙 𠗚 𠗛 𠗜 𠗝 𠗞 𠗟 𠗠 𠗡 𠗢 𠗣 𠗤 𠗥 𠗦 𠗧 𠗨 𠗩 𠗪 𠗫 𠗬 𠗭 𠗮 𠗯 𠗰 𠗱 𠗲 𠗳 𠗴 𠗵 𠗶 𠗷 𠗸 𠗹 𠗺 𠗻 𠗼 𠗽 𠗾 𠗿 𠘀 𠘁 𠘂 𠘃 𠘄 𠘅 𠘆 𠘇 𠘈 𠘉 𠘊 𠘋 𠘌 𠘍 𠘎 𠘏 𠘐 𠘑 𠘒 𠘓 𠘔 𠘕 𠘖 𠘗 𠘘 𠘙 𠘚 𠘛 𠘜 𠘝 𠘞 𠘟 𠘠 𠘡 𠘢 𠘣 𠘤 𠘥 𠘦 𠘧 𠘨 𠘩 𠘪 𠘫 𠘬 𠘭 𠘮 𠘯 𠘰 𠘱 𠘲 𠘳 𠘴 𠘵 𠘶 𠘷 𠘸 𠘹 𠘺 𠘻 𠘼 𠘽 𠘾 𠘿 𠙀 𠙁 𠙂 𠙃 𠙄 𠙅 𠙆 𠙇 𠙈 𠙉 𠙊 𠙋 𠙌 𠙍 𠙎 𠙏 𠙐 𠙑 𠙒 𠙓 𠙔 𠙕 𠙖 𠙗 𠙘 𠙙 𠙚 𠙛 𠙜 𠙝 𠙞 𠙟 𠙠 𠙡 𠙢 𠙣 𠙤 𠙥 𠙦 𠙧 𠙨 𠙩 𠙪 𠙫 𠙬 𠙭 𠙮 𠙯 𠙰 𠙱 𠙲 𠙳 𠙴 𠙵 𠙶 𠙷 𠙸 𠙹 𠙺 𠙻 𠙼 𠙽 𠙾 𠙿 𠚀 𠚁 𠚂 𠚃 𠚄 𠚅 𠚆 𠚇 𠚈 𠚉 𠚊 𠚋 𠚌 𠚍 𠚎 𠚏 𠚐 𠚑 𠚒 𠚓 𠚔 𠚕 𠚖 𠚗 𠚘 𠚙 𠚚 𠚛 𠚜 𠚝 𠚞 𠚟 𠚠 𠚡 𠚢 𠚣 𠚤 𠚥 𠚦 𠚧 𠚨 𠚩 𠚪 𠚫 𠚬 𠚭 𠚮 𠚯 𠚰 𠚱 𠚲 𠚳 𠚴 𠚵 𠚶 𠚷 𠚸 𠚹 𠚺 𠚻 𠚼 𠚽 𠚾 𠚿 𠛀 𠛁 𠛂 𠛃 𠛄 𠛅 𠛆 𠛇 𠛈 𠛉 𠛊 𠛋 𠛌 𠛍 𠛎 𠛏 𠛐 𠛑 𠛒 𠛓 𠛔 𠛕 𠛖 𠛗 𠛘 𠛙 𠛚 𠛛 𠛜 𠛝 𠛞 𠛟 𠛠 𠛡 𠛢 𠛣 𠛤 𠛥 𠛦 𠛧 𠛨 𠛩 𠛪 𠛫 𠛬 𠛭 𠛮 𠛯 𠛰 𠛱 𠛲 𠛳 𠛴 𠛵 𠛶 𠛷 𠛸 𠛹 𠛺 𠛻 𠛼 𠛽 𠛾 𠛿 𠜀 𠜁 𠜂 𠜃 𠜄 𠜅 𠜆 𠜇 𠜈 𠜉 𠜊 𠜋 𠜌 𠜍 𠜎 𠜏 𠜐 𠜑 𠜒 𠜓 𠜔 𠜕 𠜖 𠜗 𠜘 𠜙 𠜚 𠜛 𠜜 𠜝 𠜞 𠜟 𠜠 𠜡 𠜢 𠜣 𠜤 𠜥 𠜦 𠜧 𠜨 𠜩 𠜪 𠜫 𠜬 𠜭 𠜮 𠜯 𠜰 𠜱 𠜲 𠜳 𠜴 𠜵 𠜶 𠜷 𠜸 𠜹 𠜺 𠜻 𠜼 𠜽 𠜾 𠜿 𠝀 𠝁 𠝂 𠝃 𠝄 𠝅 𠝆 𠝇 𠝈 𠝉 𠝊 𠝋 𠝌 𠝍 𠝎 𠝏 𠝐 𠝑 𠝒 𠝓 𠝔 𠝕 𠝖 𠝗 𠝘 𠝙 𠝚 𠝛 𠝜 𠝝 𠝞 𠝟 𠝠 𠝡 𠝢 𠝣 𠝤 𠝥 𠝦 𠝧 𠝨 𠝩 𠝪 𠝫 𠝬 𠝭 𠝮 𠝯 𠝰 𠝱 𠝲 𠝳 𠝴 𠝵 𠝶 𠝷 𠝸 𠝹 𠝺 𠝻 𠝼 𠝽 𠝾 𠝿 𠞀 𠞁 𠞂 𠞃 𠞄 𠞅 𠞆 𠞇 𠞈 𠞉 𠞊 𠞋 𠞌 𠞍 𠞎 𠞏 𠞐 𠞑 𠞒 𠞓 𠞔 𠞕 𠞖 𠞗 𠞘 𠞙 𠞚 𠞛 𠞜 𠞝 𠞞 𠞟 𠞠 𠞡 𠞢 𠞣 𠞤 𠞥 𠞦 𠞧 𠞨 𠞩 𠞪 𠞫 𠞬 𠞭 𠞮 𠞯 𠞰 𠞱 𠞲 𠞳 𠞴 𠞵 𠞶 𠞷 𠞸 𠞹 𠞺 𠞻 𠞼 𠞽 𠞾 𠞿 𠟀 𠟁 𠟂 𠟃 𠟄 𠟅 𠟆 𠟇 𠟈 𠟉 𠟊 𠟋 𠟌 𠟍 𠟎 𠟏 𠟐 𠟑 𠟒 𠟓 𠟔 𠟕 𠟖 𠟗 𠟘 𠟙 𠟚 𠟛 𠟜 𠟝 𠟞 𠟟 𠟠 𠟡 𠟢 𠟣 𠟤 𠟥 𠟦 𠟧 𠟨 𠟩 𠟪 𠟫 𠟬 𠟭 𠟮 𠟯 𠟰 𠟱 𠟲 𠟳 𠟴 𠟵 𠟶 𠟷 𠟸 𠟹 𠟺 𠟻 𠟼 𠟽 𠟾 𠟿 𠠀 𠠁 𠠂 𠠃 𠠄 𠠅 𠠆 𠠇 𠠈 𠠉 𠠊 𠠋 𠠌 𠠍 𠠎 𠠏 𠠐 𠠑 𠠒 𠠓 𠠔 𠠕 𠠖 𠠗 𠠘 𠠙 𠠚 𠠛 𠠜 𠠝 𠠞 𠠟 𠠠 𠠡 𠠢 𠠣 𠠤 𠠥 𠠦 𠠧 𠠨 𠠩 𠠪 𠠫 𠠬 𠠭 𠠮 𠠯 𠠰 𠠱 𠠲 𠠳 𠠴 𠠵 𠠶 𠠷 𠠸 𠠹 𠠺 𠠻 𠠼 𠠽 𠠾 𠠿 𠡀 𠡁 𠡂 𠡃 𠡄 𠡅 𠡆 𠡇 𠡈 𠡉 𠡊 𠡋 𠡌 𠡍 𠡎 𠡏 𠡐 𠡑 𠡒 𠡓 𠡔 𠡕 𠡖 𠡗 𠡘 𠡙 𠡚 𠡛 𠡜 𠡝 𠡞 𠡟 𠡠 𠡡 𠡢 𠡣 𠡤 𠡥 𠡦 𠡧 𠡨 𠡩 𠡪 𠡫 𠡬 𠡭 𠡮 𠡯 𠡰 𠡱 𠡲 𠡳 𠡴 𠡵 𠡶 𠡷 𠡸 𠡹 𠡺 𠡻 𠡼 𠡽 𠡾 𠡿 𠢀 𠢁 𠢂 𠢃 𠢄 𠢅 𠢆 𠢇 𠢈 𠢉 𠢊 𠢋 𠢌 𠢍 𠢎 𠢏 𠢐 𠢑 𠢒 𠢓 𠢔 𠢕 𠢖 𠢗 𠢘 𠢙 𠢚 𠢛 𠢜 𠢝 𠢞 𠢟 𠢠 𠢡 𠢢 𠢣 𠢤 𠢥 𠢦 𠢧 𠢨 𠢩 𠢪 𠢫 𠢬 𠢭 𠢮 𠢯 𠢰 𠢱 𠢲 𠢳 𠢴 𠢵 𠢶 𠢷 𠢸 𠢹 𠢺 𠢻 𠢼 𠢽 𠢾 𠢿 𠣀 𠣁 𠣂 𠣃 𠣄 𠣅 𠣆 𠣇 𠣈 𠣉 𠣊 𠣋 𠣌 𠣍 𠣎 𠣏 𠣐 𠣑 𠣒 𠣓 𠣔 𠣕 𠣖 𠣗 𠣘 𠣙 𠣚 𠣛 𠣜 𠣝 𠣞 𠣟 𠣠 𠣡 𠣢 𠣣 𠣤 𠣥 𠣦 𠣧 𠣨 𠣩 𠣪 𠣫 𠣬 𠣭 𠣮 𠣯 𠣰 𠣱 𠣲 𠣳 𠣴 𠣵 𠣶 𠣷 𠣸 𠣹 𠣺 𠣻 𠣼 𠣽 𠣾 𠣿 𠤀 𠤁 𠤂 𠤃 𠤄 𠤅 𠤆 𠤇 𠤈 𠤉 𠤊 𠤋 𠤌 𠤍 𠤎 𠤏 𠤐 𠤑 𠤒 𠤓 𠤔 𠤕 𠤖 𠤗 𠤘 𠤙 𠤚 𠤛 𠤜 𠤝 𠤞 𠤟 𠤠 𠤡 𠤢 𠤣 𠤤 𠤥 𠤦 𠤧 𠤨 𠤩 𠤪 𠤫 𠤬 𠤭 𠤮 𠤯 𠤰 𠤱 𠤲 𠤳 𠤴 𠤵 𠤶 𠤷 𠤸 𠤹 𠤺 𠤻 𠤼 𠤽 𠤾 𠤿 𠥀 𠥁 𠥂 𠥃 𠥄 𠥅 𠥆 𠥇 𠥈 𠥉 𠥊 𠥋 𠥌 𠥍 𠥎 𠥏 𠥐 𠥑 𠥒 𠥓 𠥔 𠥕 𠥖 𠥗 𠥘 𠥙 𠥚 𠥛 𠥜 𠥝 𠥞 𠥟 𠥠 𠥡 𠥢 𠥣 𠥤 𠥥 𠥦 𠥧 𠥨 𠥩 𠥪 𠥫 𠥬 𠥭 𠥮 𠥯 𠥰 𠥱 𠥲 𠥳 𠥴 𠥵 𠥶 𠥷 𠥸 𠥹 𠥺 𠥻 𠥼 𠥽 𠥾 𠥿 𠦀 𠦁 𠦂 𠦃 𠦄 𠦅 𠦆 𠦇 𠦈 𠦉 𠦊 𠦋 𠦌 𠦍 𠦎 𠦏 𠦐 𠦑 𠦒 𠦓 𠦔 𠦕 𠦖 𠦗 𠦘 𠦙 𠦚 𠦛 𠦜 𠦝 𠦞 𠦟 𠦠 𠦡 𠦢 𠦣 𠦤 𠦥 𠦦 𠦧 𠦨 𠦩 𠦪 𠦫 𠦬 𠦭 𠦮 𠦯 𠦰 𠦱 𠦲 𠦳 𠦴 𠦵 𠦶 𠦷 𠦸 𠦹 𠦺 𠦻 𠦼 𠦽 𠦾 𠦿 𠧀 𠧁 𠧂 𠧃 𠧄 𠧅 𠧆 𠧇 𠧈 𠧉 𠧊 𠧋 𠧌 𠧍 𠧎 𠧏 𠧐 𠧑 𠧒 𠧓 𠧔 𠧕 𠧖 𠧗 𠧘 𠧙 𠧚 𠧛 𠧜 𠧝 𠧞 𠧟 𠧠 𠧡 𠧢 𠧣 𠧤 𠧥 𠧦 𠧧 𠧨 𠧩 𠧪 𠧫 𠧬 𠧭 𠧮 𠧯 𠧰 𠧱 𠧲 𠧳 𠧴 𠧵 𠧶 𠧷 𠧸 𠧹 𠧺 𠧻 𠧼 𠧽 𠧾 𠧿 𠨀 𠨁 𠨂 𠨃 𠨄 𠨅 𠨆 𠨇 𠨈 𠨉 𠨊 𠨋 𠨌 𠨍 𠨎 𠨏 𠨐 𠨑 𠨒 𠨓 𠨔 𠨕 𠨖 𠨗 𠨘 𠨙 𠨚 𠨛 𠨜 𠨝 𠨞 𠨟 𠨠 𠨡 𠨢 𠨣 𠨤 𠨥 𠨦 𠨧 𠨨 𠨩 𠨪 𠨫 𠨬 𠨭 𠨮 𠨯 𠨰 𠨱 𠨲 𠨳 𠨴 𠨵 𠨶 𠨷 𠨸 𠨹 𠨺 𠨻 𠨼 𠨽 𠨾 𠨿 𠩀 𠩁 𠩂 𠩃 𠩄 𠩅 𠩆 𠩇 𠩈 𠩉 𠩊 𠩋 𠩌 𠩍 𠩎 𠩏 𠩐 𠩑 𠩒 𠩓 𠩔 𠩕 𠩖 𠩗 𠩘 𠩙 𠩚 𠩛 𠩜 𠩝 𠩞 𠩟 𠩠 𠩡 𠩢 𠩣 𠩤 𠩥 𠩦 𠩧 𠩨 𠩩 𠩪 𠩫 𠩬 𠩭 𠩮 𠩯 𠩰 𠩱 𠩲 𠩳 𠩴 𠩵 𠩶 𠩷 𠩸 𠩹 𠩺 𠩻 𠩼 𠩽 𠩾 𠩿 𠪀 𠪁 𠪂 𠪃 𠪄 𠪅 𠪆 𠪇 𠪈 𠪉 𠪊 𠪋 𠪌 𠪍 𠪎 𠪏 𠪐 𠪑 𠪒 𠪓 𠪔 𠪕 𠪖 𠪗 𠪘 𠪙 𠪚 𠪛 𠪜 𠪝 𠪞 𠪟 𠪠 𠪡 𠪢 𠪣 𠪤 𠪥 𠪦 𠪧 𠪨 𠪩 𠪪 𠪫 𠪬 𠪭 𠪮 𠪯 𠪰 𠪱 𠪲 𠪳 𠪴 𠪵 𠪶 𠪷 𠪸 𠪹 𠪺 𠪻 𠪼 𠪽 𠪾 𠪿 𠫀 𠫁 𠫂 𠫃 𠫄 𠫅 𠫆 𠫇 𠫈 𠫉 𠫊 𠫋 𠫌 𠫍 𠫎 𠫏 𠫐 𠫑 𠫒 𠫓 𠫔 𠫕 𠫖 𠫗 𠫘 𠫙 𠫚 𠫛 𠫜 𠫝 𠫞 𠫟 𠫠 𠫡 𠫢 𠫣 𠫤 𠫥 𠫦 𠫧 𠫨 𠫩 𠫪 𠫫 𠫬 𠫭 𠫮 𠫯 𠫰 𠫱 𠫲 𠫳 𠫴 𠫵 𠫶 𠫷 𠫸 𠫹 𠫺 𠫻 𠫼 𠫽 𠫾 𠫿 𠬀 𠬁 𠬂 𠬃 𠬄 𠬅 𠬆 𠬇 𠬈 𠬉 𠬊 𠬋 𠬌 𠬍 𠬎 𠬏 𠬐 𠬑 𠬒 𠬓 𠬔 𠬕 𠬖 𠬗 𠬘 𠬙 𠬚 𠬛 𠬜 𠬝 𠬞 𠬟 𠬠 𠬡 𠬢 𠬣 𠬤 𠬥 𠬦 𠬧 𠬨 𠬩 𠬪 𠬫 𠬬 𠬭 𠬮 𠬯 𠬰 𠬱 𠬲 𠬳 𠬴 𠬵 𠬶 𠬷 𠬸 𠬹 𠬺 𠬻 𠬼 𠬽 𠬾 𠬿 𠭀 𠭁 𠭂 𠭃 𠭄 𠭅 𠭆 𠭇 𠭈 𠭉 𠭊 𠭋 𠭌 𠭍 𠭎 𠭏 𠭐 𠭑 𠭒 𠭓 𠭔 𠭕 𠭖 𠭗 𠭘 𠭙 𠭚 𠭛 𠭜 𠭝 𠭞 𠭟 𠭠 𠭡 𠭢 𠭣 𠭤 𠭥 𠭦 𠭧 𠭨 𠭩 𠭪 𠭫 𠭬 𠭭 𠭮 𠭯 𠭰 𠭱 𠭲 𠭳 𠭴 𠭵 𠭶 𠭷 𠭸 𠭹 𠭺 𠭻 𠭼 𠭽 𠭾 𠭿 𠮀 𠮁 𠮂 𠮃 𠮄 𠮅 𠮆 𠮇 𠮈 𠮉 𠮊 𠮋 𠮌 𠮍 𠮎 𠮏 𠮐 𠮑 𠮒 𠮓 𠮔 𠮕 𠮖 𠮗 𠮘 𠮙 𠮚 𠮛 𠮜 𠮝 𠮞 𠮟 𠮠 𠮡 𠮢 𠮣 𠮤 𠮥 𠮦 𠮧 𠮨 𠮩 𠮪 𠮫 𠮬 𠮭 𠮮 𠮯 𠮰 𠮱 𠮲 𠮳 𠮴 𠮵 𠮶 𠮷 𠮸 𠮹 𠮺 𠮻 𠮼 𠮽 𠮾 𠮿 𠯀 𠯁 𠯂 𠯃 𠯄 𠯅 𠯆 𠯇 𠯈 𠯉 𠯊 𠯋 𠯌 𠯍 𠯎 𠯏 𠯐 𠯑 𠯒 𠯓 𠯔 𠯕 𠯖 𠯗 𠯘 𠯙 𠯚 𠯛 𠯜 𠯝 𠯞 𠯟 𠯠 𠯡 𠯢 𠯣 𠯤 𠯥 𠯦 𠯧 𠯨 𠯩 𠯪 𠯫 𠯬 𠯭 𠯮 𠯯 𠯰 𠯱 𠯲 𠯳 𠯴 𠯵 𠯶 𠯷 𠯸 𠯹 𠯺 𠯻 𠯼 𠯽 𠯾 𠯿 𠰀 𠰁 𠰂 𠰃 𠰄

（林後）[illegible]、羽の初めて生えるさま。（集韻）「木葉、海鳥、蹠蹠雞雛、鶉子林後」（注）既日、雛雛、林後。

【淋水】[illegible]、水の流れ。（集韻）「淋、水の流れ。」

【淋水】[illegible]、水を建て。（毛詩）初生民、「淋水の結ぶ。」

【淋水】[illegible]、水の流れ。（集韻）「淋、水の流れ。」

【淋矢】[illegible]、[illegible]、[illegible]、

按：說誠也（字彙）淑，與，淑同，荀子，德充符，淑且，解，以淑誠，幻怪之名，聞●**淑**（4）弔（4）9658）に通す（荀子）德充行，淑誠幻怪。

●**淑**（4）淑（4）に通す（荀子）德充行，淑誠幻怪。

●**淑**（4）淑（4）に通す（荀子）德充行，淑誠幻怪。

（左氏、襄、上）・・・

淒 小 雨雲が出るさま。〔說文〕淒、雲雨起也。从水棲聲。詩曰、有渰淒淒。〔段注〕各本作「雲雨」誤、今依初學記・太平御覽正。雨雲謂欲雨未雨也。**❶** 冷しい。涼しい。〔詩、小雅、大田〕有渰淒淒、興雨祈祈。〔傳〕淒淒、猶萋萋也。〔箋〕雨雲之興以風。〔傳〕淒淒、寒涼也。〔詩、邶風、風雨〕風雨淒淒、雞鳴喈喈。〔傳〕淒淒、猶萋萋也。〔詩、小雅、四月〕秋日淒淒、百卉具腓。〔傳〕淒淒、猶萋萋也。〔張衡、思玄賦〕寒風淒其水至。〔注〕淒、淒冷。 **❷** すさまじい。ものすごい。〔詩、小雅、小旻〕我心淒淒、念我土宇。〔箋〕淒淒、猶萋萋、憂思不寧之貌。〔楚辭、九辯〕淒淒兮、若在遠行、而未歸也。〔注〕淒淒、悲貌。〔後漢書、馮衍傳〕淒淒、悲貌。〔文選、潘岳、寡婦賦〕淒淒、悲貌。〔李善、注〕淒淒、猶萋萋

世説新語賞誤篇「見者花鳥伴、漢家」

【字解】ヨウ きはめてはやいさま 疾速のさま。

【字源】ヨウ 三に同じ。史記司馬相如傳 鑲瀁濂測（注）集解引徐廣曰、鑲瀁 漢書司馬相如傳 「決文句」ヨウ すばやくおどした文句。

【淫】 17638 リク ロク 〔集韻〕力竹切 屋

【淓】 17636 ハウ 〔集韻〕敷万切 麌

【淓】 17637 〔集韻〕薄力切 職 〔集韻〕呼郭切 麌

川の名。玉篇水・7 147239・

❶みぎれのうるはひ。〔廣韻〕淫、湿病澤也。**❷濕の名**。〔集韻〕淫、澤名。

【淖】 17639 〔集韻〕直角切 覺 〔集韻〕丁角切 覺 〔集韻〕奴教切 效 〔集韻〕五教切 效 〔集韻〕女教切 效 〔集韻〕乃教切 效 〔集韻〕奴教切 效 〔集韻〕五教切 効 〔集韻〕乃教切 効 〔集韻〕奴教切 効

淅 17641 キク（集韻居六切）屋

水のあやや。通して沈(6・17313)に作る。〔集韻〕淘米文。通作「沈」。

淘 17642 タウ ドウ（集韻徒刀切）豪 去声 ［ta］

❶よなぐ。④米をとぐ。(正字通)淘、商米也。齊民要術、白醪酒)取糯米一石、令水淨淘漉出。○洗浄する。すすぐ。(正字通)淘、盡也。(集韻)浪淘沙、始到、金、⑦水面でゆりぬ淀まず蕩ゆるものと惡いものとを選りわける。淘(6・17408)に同じ。(韻會)淘、又澄也。或作「淘」(書民要術、水船)池既熟、淨、淘種子。(詩九章杜元章)重鬲蓄、投筐陵水相。(詩)沙棠無、金雲母。❷流れる。流す。又、(詩7・180335)に同じ。(廣雅、釋詁)淘、流也。(玉篇)淘、沿流。同。沿淘。淘淘。(九歌、天問)(史記、河渠志)淘、淘瀉、淘淘。ふ。淘汰。(東京夢華錄、三)諸色雜賣「監」(劉禹錫、浪淘沙詞)九曲黃河萬里沙、浪淘風簸自天涯。

(詩)淘淘、鳧鷖、鴨鷖、鵝鷖、鶴鷖、鷖、鷖、

南樓句「若影金瑱碎、衆音玉帘琤。(宋黨、詩題)風欲流翔、雟鈴前後和。(楊萬里、詩)春風流花、雟鈴前後和。(同)」

【淚】

四イ(集韻)力送切 **淚**

四リ(集韻)客戈切 **淚**

四レイ(集韻)郎計切 **淚**

四レイ(集韻)力結切 **淚**

淚

①◉なみだ。目から流れ出る液。(集韻)淚、目液也。(本草、銀液、集解、時珍曰、淚者肝之液、五臟之精者、皆上受于目、凡悲哭笑欬、目皆流淚、故字从戾、目戾聲、淚字从水、故字从戾、目戾聲、故曲沃出焉。(漢書、地理志)**②**なみだをながす。泣く。なみだを流して泣く。(後漢書、南匈奴傳)泣涙想望、(上林賦注、

【淚】

淚

淚

**淚

[淚]淚 [集韻]力遂切 [廣韻]力遂切 [類篇]力遂切

潜

17657

㊀サク (集韻)側格切 陌
㊁セキ
㊂ソク (集韻)息積切 陌
(集韻)倉歴切 錫

醬 十 ㊀㊁㊂ **ひそむ。** 水にもぐる。潜水。潜伏。潜行。潜入。潜水夫。潜水艦。潜水病。潜水鏡。潜水器。潜水服

〔淡黃醋〕『ﾀﾝｸｳﾞｪﾝ』詞牌名。宋、姜夔の作。（白石集、正年調、自序「客居合肥南城赤闌橋之西、巷陌凄清、又多喬木、雖在城中、地頗幽僻、此地固以幽名焉。」）

〔淡月〕『ﾀﾝｹﾞｯ』●彫ッすい月。おぼろ月。澹月。（補注杜詩、陶潛集、正集、卷四、「歸園田居」、「淡月照林、疎星眩目、此地固以幽名焉。」）

〔淡煙流水〕『ﾀﾝｴﾝﾘｭｳｽｲ』うすい霧。（李白、「春日遊南園、憶謝朓樓」、「淡煙流水畫橋春、湖上開亭思謝公。」）

〔淡月〕『ﾀﾝｹﾞｯ』●彫ッすい月。澹月。（補注杜詩、陶潛集、正集、卷四、「歸園田居」、「淡月照林、疎星眩目、此地固以幽名焉。」）

〔淡月照林〕『ﾀﾝｹﾞｯｼｮｳﾘﾝ』うすい月。（李白、「春日遊南園、憶謝朓樓」、「淡月照林、疎星眩目、此地固以幽名焉。」）

〔淡軒〕『ﾀﾝｹﾝ』宋、葉夢得の作。（詞譜、正調、自序「宋、葉夢得、字少蘊、吳縣人、紹聖中、以文章、與蘇軾、黃庭堅、相友善、……」）

〔淡手〕『ﾀﾝｼｭ』あっさりしてくるさま。（李子二、「淡手」、「淡之出口、淡然無味。」）

〔淡湖〕『ﾀﾝｺ』淡水湖。（李白、「春日遊南園、憶謝朓樓」、「淡湖、淡水湖。」）

〔淡彩〕『ﾀﾝｻｲ』あっさりとうすみどり。（李綱、「詩」、「淡紅淺紫萬山中。」）

〔淡紅〕『ﾀﾝｺｳ』うすい赤。（李白、「春日遊南園、憶謝朓樓」、「淡紅淺紫萬山中。」）

〔淡紅粉〕『ﾀﾝｺｳﾌﾝ』うすい赤い色。（李綱、「詩」、「淡紅淺紫萬山中。」）

〔淡紅粉加朱少許〕『ﾀﾝｺｳﾌﾝｶｼｭｼｮｳｷｮ』うすい赤い色。（李綱、「詩」、「淡紅淺紫萬山中。」）

〔淡紅粉剪紅蕚細長、而五六月開花〕『ﾀﾝｺｳﾌﾝｾﾝｺｳｶｸｻｲﾁｮｳｼﾞﾆｼﾞｹﾞｯｶｲｶ』（李綱、「詩」、「淡紅淺紫萬山中。」）

〔淡紅淺紫〕『ﾀﾝｺｳｾﾝｼ』うすい赤とうすみどり。（李綱、「詩」、「淡紅淺紫萬山中。」）

〔淡紅淺紫萬山中〕『ﾀﾝｺｳｾﾝｼﾊﾞﾝｻﾝﾁｭｳ』（李綱、「詩」、「淡紅淺紫萬山中。」）

〔淡黃〕『ﾀﾝｺｳ』●彫ッ黄色。（和漢三才圖會、淡草類、剪紅蕚細長、而五六月開花。）

〔淡黃醋〕『ﾀﾝｺｳｻｸ』●彫ッ黄色の醋。（和漢三才圖會、蔬菜類、蕪菁、淡黃醋、蕪菁、……）

〔淡黃蕪菁〕『ﾀﾝｺｳﾌﾞｼﾞｮｳ』●彫ッ黄色の蕪菁。（和漢三才圖會、蔬菜類、蕪菁、淡黃醋、蕪菁、……）

〔淡黃蕪菁醋〕『ﾀﾝｺｳﾌﾞｼﾞｮｳｻｸ』●彫ッ黄色の蕪菁醋。（和漢三才圖會、蔬菜類、蕪菁、淡黃醋、蕪菁、……）

〔淡酒〕『ﾀﾝｼｭ』●名ッ清酒。（日本書紀、巻第四、「……明、都加瑠、美、美、美

答理。〈石安ならば流れ出でかに酒ちるさま。〈本干・部類〉海流其無聲兮。清淡淡而忘歸。〈本干・部類〉海流其無聲兮。清淡淡而忘歸。〈本干・部類〉海流其無聲兮。清淡淡而忘歸

滅 小 [illegible]**はやいながれ**。〔説文〕滅、疾兵。怒り狂ふ流 〔淮南子、本經訓〕抑滅怒。瀨〔注〕滅、怒水也。**さからふ。さから**はす。〔淮南子、本經訓〕抑滅怒瀨。〔集韻〕屋韻 曰、滅者逆也。〔司馬相如逆之、以拘、玄泡也。[illegible]**滅**は流の勢のさま。〔廣韻〕滅、疾波。〔楚辭、七諫、怨世〕微世俗之滅波。〔注〕滅、怒水也。〔文選、思玄賦、張銑〕滅、疾兵

制於延爲也。(江奏)淥水曲〜瀾上清欲賽。(江州杜牧詩)淥水、春心荻蘆越、桂棹及晚風。楚天雲欲映、初月芳書若可、傳。(杜牧)君步籍幾、●川の名。二源あり。北流は西省黽縣、桂陽縣、南川水といい、南流は江西省贛縣、湘水に注ぐ。又、連水といい、南流は江西省贛縣、湘水に注ぐ。又、連水といい、南流は江西省贛縣、湘水に注ぐ。又、連

〔淨腹〕ｊｏｎｇ ｆｕｋ。●眼を洗っつて清める。《経蔵》次第鎮安程行規。桃花。詩。〔淨眼見〕後花。粉樹。〔淨鉢衣〕〔淨鉢〕。清鉢。〔淨鉢〕。〔淨鉢花〕。〔淨鉢〕。〔淨鉢〕。〔淨鉢

才圖會、蟲部附蟲類、蠅、五朝相云、其蠅入孔甚至不能出、無物蠅、口、を手すまし清めの法。(『法華玄賛』巻一、『日本大師全集』)

淨穢 『法華玄賛』巻一、『日本大師全集』、『法華玄賛』巻一、『日本大師全集』、『法華玄賛』巻一、『日本大師全集』、

椅、三慧義門、江戸淨影疏、玉篇のこう。蘇摩太、大沿郡右衛門2、左方、江戸、淨瑠璃の意。注釋〔浮衍鏈〕2ジョウ、ゆかりのもの。〔浮衍鏈〕2ジョウ、ゆかりのもの。〔浮衍鏈〕2ジョウ、ゆかりのもの。

590)に同じ。〔中華大字典〕論 同 倫 混 姓。〔集韻〕論 姓也。〔玉篇〕論 水流轉兒。〔廣韻〕論 水流轉皃。〔郭璞 江賦〕或出・論乎泥沙。〔注〕言自論 論輪之皃。〔玉篇〕論 同じ。〔集韻〕論 博雅 汲也。

〔論語〕[illegible]。〔論語 述而〕子路 問 曰 伯夷 叔齊 何人也 曰 古之 賢人也 曰 怨乎 曰 求仁而得仁 又 奚怨 出 而 曰 怨乎 入 而

【洸】17676　キヤウ　カウ　（集韻）姑至切　㕣

川の名。（集韻）洸、水名。

【洚】17677　㊀セフ　（集韻）胡沃切　㕣　㊁セフ　（集韻）的協切　㕣

㊀洪水は、水のわっかに有るさま。又、急な波の音。（集韻）洚、森有一水也。（正字通）洪、洞簫賦又似洪波浸淫況洚。（注）洪曰、況洚、微小貌。（翰）況、浸淫、波急聲。●洚洞は、水のわっかにあるさま。又、水の出るさま。（廣韻）洚、洞洞、樹有水也。（集韻）洚、洞、水出皃。㊁水のさま。（集韻）洚、水皃。

【淫】17678　㊀イン　（集韻）寅針切　㕣　㊁エン　（樊川書韻）十標切　㕣

●みだら。（詩・9・2440）に通ず。（説文通訓定聲）淫、假借爲婬。②外れて色情をしばしばまぬ。（説文）淫、大侵。不ゝ淫其色。（詩・周風・雄雉序）淫、過度。（注）淫、色欲過度。（左氏・成二年）食色、性也。（注）淫、私過。（小爾雅・廣詰）男女不以禮交、謂之淫。③不取締り。不檢束。（周禮・天官・宮正）去其怠惰。（注）淫、放恣也。（國語・周語下）聽淫日離其名。（注）淫、亂也。④よこしま。道にもとる。（禮・王制）淫言好辯。（注）民之志淫邪則其所好者不正。（禮）慢行、其居處不定。（注）淫、謂頑邪也。（楚辭・離騷）諸諛謂、余以善淫。（注）淫、邪也。●みだれる。みだす。⑤みだれましこる。（呂覽・古樂）有近有遠、淫氣、（注）淫、亂也。（管子・小匡）男女有別、淫亂雜也。⑥まどはす。まどわす。（孟子・滕文公下）當貴而無能、（注）淫、亂其心也。（呂覽・直諫）諫得升之妃、淫、惑也。⑦順序を乱す。（左氏・襄二十八）歲在星紀、而淫於玄枵。（注）淫、行失次。（素問・四時刺逆從論）反之則生亂氣、相淫病焉。⑧淫不次也。⑨身分をこえて上に立ちがらへ。（管子・小匡）淫、過也。（注）淫、猶僭也。⑩流し目に見る。（禮・曲禮上）毋淫視。（注）淫視、睇眄也。（孟子・滕文公下）淫、猶僭也。（注）淫目、視貌。（演連珠）貞、於期者、時果不能淫。（注）淫目、猶侵也。●ひたる。ひたす。臨理に隨つて順次に浸漬してゆく。（説文）淫、浸淫隨理也。从水省聲。（繫傳）隨其條理、而浸漬也。（樊川書韻）淫、浸也、浸淫、旁入之言也。（樊名、樊川書韻）淫、浸也、浸淫、旁入東方朝、七諫、自悲）施二王色、而外淫。（注）淫、閑也。●行く。ゆく。（説文）淫、行也。（説文通訓定聲）淫、假借爲佚。（説文）淫、行也。（詩・周南・汝墳）魴魚赬尾、王室如燬、雖則如燬、父母孔邇。（注）淫、過也。（管子・內業）淫然而自至。（注）淫然、遠貌也。⑪あそぶ。游也。（楚辭・宋玉・招魂）不ゝ可久淫。（注）淫、游也。（楚辭・宋玉・招魂）不ゝ可久淫。些。（注）淫、遊也。●あふれる。（淮南・天文）淫、以止。（注）淫、平也。出水、是謂淫水。●ふける。度をすごす。おぼれる。止まることを知らぬ。（書・大誥）無毋于觀。（蔡傳）淫、過也。●おこり。おこる。（禮・王制）賣示孰以防淫。（疏）淫、謂過者侈。●はびこる。（呂覽・任地）子能使、諸夷得淫乎。（注）淫、延生也。●はしいまま。わがまま。（荀子・君道）今古之法、無法其無淫。（注）淫、放恣也。（左氏・昭元年）德不ゝ德、淫德也。（左氏・昭元年）國六、淫也。（注）淫、放也。●むさぼる。（禮・坊記）示ゝ不ゝ淫也。（注）淫、貪也。（左氏・昭元年）國六、其淫也。（注）淫、放也。●貪る。（禮・哀公問）淫德不ゝ作。（注）淫、貪也。●貪るべきものを貪ることを淫昵。也。（左氏・昭元年）國六、其淫也。（注）淫、放也。●貪る。（禮・哀公問）淫德不ゝ作。（注）淫、貪也。●貪るべきものを貪ることを淫昵。（大玄經・窺・狂作・味・注）（注）淫、貪也。●貪る。（禮・哀公問）淫德不ゝ作。（注）淫、貪也。●貪る。（禮・哀公問）淫德不ゝ作。（注）淫、貪也。●貪るべきものを貪ることを淫昵。（大玄經・窺・狂作・味・注）

曰、孔安國尚書傳曰、淫、過也、杜預左氏傳注曰、淫、侵也。

〔淫慝〕[illegible]。心をほしいままにする人。みだらな心。〔管子〕明法解「荒上之治國也、不淫慝」。

〔淫威〕[illegible]。大きな威勢。轉して、強暴。〔後漢書〕[illegible]。

〔淫威大威〕[illegible]。

〔淫泆〕[illegible]。山川の繁雜の意。〔楚辭〕九章〔哀郢〕「[illegible]」。

〔淫鬻〕[illegible]。[illegible]。

〔淫〕[illegible]。[illegible]。

〔淫〕[illegible]。[illegible]。

〔淫

河曲之淫陂。日淫。徐中有寶珠。(八蠻)淫

〔淫貨 ㄧㄣˊ ㄏㄨㄛˋ〕淫巧の品物。(古三環)國無邪教。市無淫貨。(荀子)無淫巧。(管子)淫巧。(王安石)淫祭。(後漢書)紀。(王)莽無淫巧。(王)莽無淫祭。(王)莽無淫巧。以來。四方遊

〔淫媟 ㄧㄣˊ ㄒㄧㄝˋ〕甚しいなまけぶり。又、それをなすもの。(荀子)淫巧。(王)莽無淫巧。以來。四方遊

〔淫紀 ㄧㄣˊ ㄐㄧˋ〕正道をはなれること。正道を離れた道。(荀子)淫巧。(王)莽無淫巧。以來。四方遊

〔淫記 ㄧㄣˊ ㄐㄧˋ〕身を慎む。(後漢)淫紀。(漢書)子。(後漢書)紀。(後漢)淫紀。(漢書)子。(後漢書)紀。(後漢)淫紀。(後漢書)紀。(後漢)淫紀。(後漢書)紀。(後漢)淫紀

〔注水〕[illegible]。●[illegible]の[illegible]。[illegible]。[illegible]。

見洋紗。不以苦二字書。[説文]淫、淫衍也。[玉篇]淫、過度。[方言]淫、[廣雅]淫、[廣韻]淫、[集韻]淫、[類篇]淫、[字彙]淫、[正韻]淫、[字彙補]淫、[説文]淫、[玉篇

爲諸觀說使 譌刀三千口、刀皮 自言、萬水純 弱不任 注、用 鉤 鉤 鉤 是謂大全之元精 命人於 故相 江水 漢 注水 刀 言 鍾 大全之元精 取水 者 秤 言 之 神 清 水 刀 言 鍾 水 元 精 八 元 升 益 之 因 更 今人 於 清 清 水 注 以 清 水 八 元 升 益 之 因 更 今人 於 清 清 水 注 以 清 水 八 元 納 鐵 汞 中 半 月 節 之 應 手 遂 法 因 日 月 節 之 應 手 遂 法 因 日 月 節 之 應 手 遂 法 因 日

勇七千人、率領部將劉銘傳、周盛波、淮軍營、吳長慶、曾軍將領楊岳斌、劉松山、淮軍統帶張樹聲、吳鼎昌、淮軍統帶劉秉璋、淮軍將領劉銘傳、劉盛休、淮軍將領潘鼎新、劉坤一、淮軍統帶張遇春、淮軍統帶劉秉璋、淮軍將領劉銘傳、劉盛休、淮軍將領潘鼎新、劉坤一

〔淮南憲王〕[illegible] 淮南厲王の子。[illegible]の封諸侯。

〔淮南長沙〕[illegible] 淮南地方から出た長沙国。

〔淮南長沙国〕[illegible] 淮南厲王の子。

〔淮南長沙国王〕[illegible] 淮南長沙国の王。

〔淮南衡山〕[illegible] 淮南厲王の子。

〔淮南衡山王〕[illegible] 淮南衡山国の王。

〔淮南厲王〕[illegible] 淮南厲王。劉長。高祖の子。文帝の弟。[illegible]

〔淮南厲王安〕[illegible] 淮南厲王。劉安。淮南厲王の子。

〔淮南王〕[illegible] 淮南厲王。劉安。淮南厲王の子。

〔淮南王安〕[illegible] 淮南厲王。劉安。淮南厲王の子。

〔淮南国〕[illegible] 淮南厲王。劉安。淮南厲王の子。

〔淮南国王〕[illegible] 淮南厲王。劉安。淮南厲王の子。

〔淮南国王安

淦 17685

日ヌン（集韻）乃侯切 ㊐ ㊐ ㊐

[深]ⓟ。深。[深]ⓟ。[深]ⓟ。[深]ⓟ

匡深詳均權。〔史記〕曾恂惠王世宗深詳權權。〔漢書〕宋祁傳。西知深。

〔深詳精微〕〔漢書〕宋祁傳。深詳精微。

〔深詳〕〔漢書〕宋祁傳。〔師古曰〕言能深詳精微，以之長人物，則無不得人。〔後漢書〕馬援傳。〔注〕言能深詳精微。

〔詳〕〔漢書〕王莽傳。〔師古曰〕詳，審也。言能深詳精微，以之長人物，則無不得人。〔後漢書〕馬援傳。〔注〕言能深詳精微。

〔深詳〕〔漢書〕王莽傳。〔師古曰〕

陽書者云。深根固柢。比陽四十里。

〔深幾〕深 ふかくとる。〔後漢書・楊終傳〕終奏曰。春秋春秋之義。

〔深閎〕深 ふかい。〔後漢書・馮衍傳〕「之子百。深閎而高」之注。

〔深淵〕深 ふかい。〔後漢書・馮衍傳〕「深淵之潛」の注。

〔深見〕深 ふかく見る。〔後漢書・馮衍傳〕「深見人之所不見」の注。

〔深根〕深 ねをふかくする。〔後漢書・馮衍傳〕「深根固柢

以俟夫數識心通自然而得之於己也。【鐘谷遠隱】中江藤樹傳『夢雍聞、或如有人神示之辛深遠自得。

●ふかくかくれる。ふかくかくれて。【深藏】おく。【鍾愛】送遠遠士魁。【司馬遷、下邽令毘陵

〔深情〕 故有覃懃而發。有長若不肖。

〔深手〕 漢書 重以負債。高利貸。〔太平記〕 二十六。城主成敗期事 深手。淺手負は ぬ者も無かりけれど。

〔深趣〕 漢書 ふかいおもむき。〔史記、蕭望之傳〕 蕭望之 字 長倩 東海 蘭陵人 也 ・・・ 蕭望之 傳 注 顧老 傳 注 顧 顧 詩 ・・・ 蕭望之 傳 注 顧 顧 詩 ・・・ 蕭望之 傳 注 顧 顧 詩 ・・・ 蕭望之

北鳥也。安可籠絡。深遠絶之。

深博 深博。ふかくひろい。甚だ博き意。

（晉書）郭璞傳、注「皇甫謐深博、劉楨家之早世。」

深堂 深堂。おくざしき。深宮。（後漢書、仲長統傳）宿識後輩、付委千周。●清、吳鳴捷 ID 23355：冬 37の字。

深道 深道。天、井戸。（HP 43108：35）の字。

深墨 深墨。（黒硯墨）（唐書、陸龜蒙伝）

（詩）「寄題」圃中硯、詩「此出深墨。」

深墨 深墨。ふかくくろい。（劉禹錫、詩）「送弟

深墨 深墨。ふかくくろい。（劉禹錫、詩）「送弟

作」詩「陸之詩、遠出日月、深墨之書。」

深墨 深墨。ふかくくろい。（劉禹錫、詩）「送弟

深墨 深墨。ふかくくろい。（劉禹錫、詩）「送弟

（詩）「寄題」圃中硯、詩「此出深墨。」

〔深淪〕 ふかいぬかるみ。深泥。〔晉書・謝鯤傳〕 鯤門不果。果為謂鯤曰。鯤鯤深淪。〔深金〕 深黄。〔宋史・陳堯叟傳〕 堯叟已(=既)為深所金。〔深鼎〕 深鼎。〔史記・封禪書〕 鼎成。〔深鼎〕 深鼎。〔史記・封禪書〕 鼎成。〔深正〕 仕人の一。〔周禮・地官・鄉師〕 鄉師。〔深藏〕 深藏。〔史記・孟嘗君傳〕 孟嘗君。〔深藏〕 深藏。〔深正〕 仕人の一。〔周禮・地官・鄉師〕 鄉師。〔深藏〕 深藏。〔深正〕 官名

【深鍾】[illegible]。墓で深く足をおほふやうに造つた鐘。雨雪の月峰春を送る。深沿（遠望式・十八）。武部元帥事及貴妃之處、不得妄窺覗。

【深】（集韻）。（集韻）。（集韻）。

嶧地宜、質人壹、其淳制(二法)」杜子春云、淳、當爲鶉、純、讀曰鶉、制、讀如匹長名鶉。

鄭注 此の字、清の穆氏同治前後、其の淳の載字を疑して云く、「(17690…2)に作る(『鶉好鳥、故

【淳化閣】淳ㄔㄨㄣˊ 宋、禁中の閣名。淳化年間に成る。（宋史）淳化元賞 淳ㄔㄨㄣˊ 宋、太宗の淳化年間に造した賞。（宋史、食貨志下）淳化改稱 又稱、淳化元賞、而近以年號、淳化王號（淳化元年更號、皆曰王號。）

【淳化閣法帖】淳ㄔㄨㄣˊ 宋の淳化年間に成る法帖。十卷、宋太宗の命により、諸臣に命じて、王羲之・王獻之・王珉・王僧虔・王導・王洽・王曠・王薈・王濛・王胡之・王修・王蒙・王述・王坦之・

の義。解釈[11]・59901。ちこに同じ。(弘道館記述義)。**潯流**[7]・[8]。大きくながれ。『王筠句子講義』。**潯陽**[8]・[9]。(楚辞)。**潯陽**[8]・[9]。(楚辞)。**潯陽**[8]・[9]。(楚辞)

客百水水者百一良目[illegible]客棲人蛟行舟之人也。

〔稱讃錄・輯注〕淵客棲人蛟行舟之人也。

●水中に居らずして居ながらにして水中に住しかつ蛟人(唐代、高麗王)の人を乗せて居るという。

〔淵客注釋〕[illegible]。

〔淵客注釋〕[illegible]。

〔淵客注釋〕[illegible]

淵 清如一泉。〔漢傳〕賢新樂表〔後漢〕日月之明。
〔説文〕〔段注〕●縣名〔漢書〕地理志〕敦煌郡。縣
名。〔漢書〕地理志〕上邽多淵水。故以
爲名。〔水經注〕淵泉。本作渊泉。〔説文〕〔段注〕●淵
〔説文〕〔段注〕●人名。〔漢書〕〔後漢書〕章
帝紀賢〔後漢書〕〔後漢書〕〔後漢書〕

采名侯。『後書』李業傳『謚曰恭侯』。『金縢』所謂『予小子其新逢公』。『左傳』『沈逆』『淵書』『淵書』『淵』『淵』『淵

【混淆】hùnyáo. 入りまじってはっきりしなくなる。

【混沌】hùndùn. 雑乱。渾敦。原作は『荀悲』『風俗通』『淮南子』『呂氏春秋』『後漢書』『荀子』『史記』『抱朴

混挑 ●妄りにほしがり出す。「隔憲之書、保年部、建案横溢」一驚沉徳、必政擬「横溢」。

混點 ●ひやみ入の過を「一驚沉徳、必政擬「横溢」。

混沌 ●〔書法〕筆を重ね重ね、ぼかす。「後周形容の情を用ひる。或は疎、或は密、或は聚、或は散じて駐まる。」

混淆 ●〔混同〕。●〔雑〕。●〔雑〕。●〔雑

た字。あひのこ。雜種。

混攙雜 13 hunsan zatsu. まぜ物をする。

混世祭 13 hunsei saisi. 無規律な祭典。

混視子 13 hunsi tsi. 遊民。無職者。ぶらぶら手子。

混板吃 13 hunban kitsu. 飯食たべのこ。

まぶ 混作 動名 (文語) 1 混じ入る。混作動的人。

混本 名 1 和紙の體の名。(古今集裏書)

混門 名 1 長浜。筑紫。筑前。混合類。見ア-17695 ｱﾌ の別。

清 ｼｮｳ ｾｲ ｷﾖ ｷﾖｳﾞ ｷﾖﾒﾙ ｷﾖﾑ ｽﾐｷﾖﾑ ｽﾐｷﾖﾒﾙ ｽﾐｷﾖﾑﾙ ｽﾐｷﾖﾑﾙﾓﾉ ｽﾐｷﾖﾑﾙﾓﾉﾊﾞﾐ ｽﾐｷﾖﾑﾙﾓﾉﾊﾞﾐﾉ ｽﾐｷﾖﾑﾙﾓﾉﾊﾞﾐﾉﾊﾞﾐ ｽﾐｷﾖﾑﾙﾓﾉﾊﾞﾐﾉﾊﾞﾐﾉﾊﾞﾐ ｽﾐｷﾖﾑﾙﾓﾉﾊﾞﾐﾉﾊﾞﾐﾉﾊﾞﾐﾉﾊﾞﾐ ｽﾐｷﾖﾑﾙﾓﾉﾊﾞﾐﾉﾊﾞﾐﾉﾊﾞﾐﾉﾊﾞﾐﾉﾊﾞﾐ

17695

清 小 きよ 名 (説文)清。黎也。澂水之兒。从水青聲。(段注)黎者、明也。澂而後明。故云澂水之兒。(詩)鄭風、溱洧)溱與洧、方渙渙兮。(毛傳)溱洧、二水名。溱與洧、直視惟均。(蔡傳)其心皆清而無物欲之污。(論語)公冶長子曰、清矣。(皇疏)清、清潔也。(論語)微子曰、清。(注)結身潔也。(楚辭)漁父 擥世皆濁、我獨清。(注)志潔也。(注)張衡、東京賦)京室密清。(注)清、潔也。(周禮)酒正 凡祭祀、共奠酒、泰酒、清酒。(注)色尚白。(周禮)鬱人 凡祭、鬱鬯、以和膏、以涼膏、以和膏、以涼膏、以和膏、以涼膏

つて滅じて、五族が中華民國を建てた。滿洲の太祖から十一世二百九十六年。

〔清〕愛親覺羅氏（十一世、二百九十六年）

（一天聰皇帝（太宗）天聰十年）（一六三六年）

（一六三七年）

（一六三八年）

（一六三九年）

（一六四〇年）

（一六四一年）

（一六四二年）

（一六四三年）

（一六四四年）

（一六四五年）

（一六四六年）

（一六四七年）

（一六四八年）

（一六四九年）

（一六五〇年）

（一六五一年）

（一六五二年）

（一六五三年）

（一六五四年）

（一六五五年）

（一六五六年）

（一六五七年）

（一六五八年）

（一六五九年）

（一六六〇年）

（一六六一年）

（一六六二年）

（一六六三年）

（一六六四年）

（一六六五年）

（一六六六年）

（一六六七年）

（一六六八年）

（一六六九年）

（一六七〇年）

（一六七一年）

（一六七二年）

（一六七三年）

（一六七四年）

（一六七五年）

（一六七六年）

（一六七七年）

（一六七八年）

（一六七九年）

（一六八〇年）

（一六八一年）

（一六八二年）

（一六八三年）

（一六八四年）

（一六八五年）

（一六八六年）

（一六八七年）

（一六八八年）

（一六八九年）

（一六九〇年）

（一六九一年）

（一六九二年）

（一六九三年）

（一六九四年）

（一六九五年）

（一六九六年）

（一六九七年）

（一六九八年）

（一六九九年）

（一七〇〇年）

（一七〇一年）

（一七〇二年）

（一七〇三年）

（一七〇四年）

（一七〇五年）

（一七〇六年）

（一七〇七年）

（一七〇八年）

（一七〇九年）

（一七一〇年）

（一七一一年）

（一七一二年）

（一七一三年）

（一七一四年）

（一七一五年）

（一七一六年）

（一七一七年）

（一七一八年）

（一七一九年）

（一七二〇年）

（一七二一年）

（一七二二年）

（一七二三年）

（一七二四年）

（一七二五年）

（一七二六年）

（一七二七年）

（一七二八年）

（一七二九年）

（一七三〇年）

（一七三一年）

（一七三二年）

（一七三三年）

（一七三四年）

（一七三五年）

（一七三六年）

（一七三七年）

（一七三八年）

（一七三九年）

（一七四〇年）

（一七四一年）

（一七四二年）

（一七四三年）

（一七四四年）

（一七四五年）

（一七四六年）

（一七四七年）

（一七四八年）

（一七四九年）

（一七五〇年）

（一七五一年）

（一七五二年）

（一七五三年）

（一七五四年）

（一七五五年）

（一七五六年）

（一七五七年）

（一七五八年）

（一七五九年）

（一七六〇年）

（一七六一年）

（一七六二年）

（一七六三年）

（一七六四年）

（一七六五年）

（一七六六年）

（一七六七年）

（一七六八年）

（一七六九年）

（一七七〇年）

（一七七一年）

（一七七二年）

（一七七三年）

（一七七四年）

（一七七五年）

（一七七六年）

（一七七七年）

（一七七八年）

（一七七九年）

（一七八〇年）

（一七八一年）

（一七八二年）

（一七八三年）

（一七八四年）

（一七八五年）

（一七八六年）

（一七八七年）

（一七八八年）

（一七八九年）

（一七九〇年）

（一七九一年）

（一七九二年）

（一七九三年）

（一七九四年）

（一七九五年）

（一七九六年）

（一七九七年）

（一七九八年）

（一七九九年）

（一八〇〇年）

（一八〇一年）

（一八〇二年）

（一八〇三年）

（一八〇四年）

（一八〇五年）

（一八〇六年）

（一八〇七年）

（一八〇八年）

（一八〇九年）

（一八一〇年）

（一八一一年）

（一八一二年）

（一八一三年）

（一八一四年）

（一八一五年）

（一八一六年）

（一八一七年）

（一八一八年）

（一八一九年）

（一八二〇年）

（一八二一年）

（一八二二年）

（一八二三年）

（一八二四年）

（一八二五年）

（一八二六年）

（一八二七年）

（一八二八年）

（一八二九年）

（一八三〇年）

（一八三一年）

（一八三二年）

（一八三三年）

（一八三四年）

（一八三五年）

（一八三六年）

（一八三七年）

（一八三八年）

（一八三九年）

（一八四〇年）

（一八四一年）

（一八四二年）

（一八四三年）

（一八四四年）

（一八四五年）

（一八四六年）

（一八四七年）

（一八四八年）

（一八四九年）

（一八五〇年）

（一八五一年）

（一八五二年）

（一八五三年）

（一八五四年）

（一八五五年）

（一八五六年）

（一八五七年）

（一八五八年）

（一八五九年）

（一八六〇年）

（一八六一年）

（一八六二年）

（一八六三年）

（一八六四年）

（一八六五年）

（一八六六年）

（一八六七年）

（一八六八年）

（一八六九年）

（一八七〇年）

（一八七一年）

（一八七二年）

（一八七三年）

（一八七四年）

（一八七五年）

（一八七六年）

（一八七七年）

（一八七八年）

（一八七九年）

（一八八〇年）

（一八八一年）

（一八八二年）

（一八八三年）

（一八八四年）

（一八八五年）

（一八八六年）

（一八八七年）

（一八八八年）

（一八八九年）

（一八九〇年）

（一八九一年）

（一八九二年）

（一八九三年）

（一八九四年）

（一八九五年）

（一八九六年）

（一八九七年）

（一八九八年）

（一八九九年）

（一九〇〇年）

（一九〇一年）

（一九〇二年）

（一九〇三年）

（一九〇四年）

（一九〇五年）

（一九〇六年）

（一九〇七年）

（一九〇八年）

（一九〇九年）

（一九一〇年）

（一九一一年）

（一九一二年）

（一九一三年）

（一九一四年）

（一九一五年）

（一九一六年）

（一九一七年）

（一九一八年）

（一九一九年）

（一九二〇年）

（一九二一年）

（一九二二年）

（一九二三年）

（一九二四年）

（一九二五年）

（一九二六年）

（一九二七年）

（一九二八年）

（一九二九年）

（一九三〇年）

（一九三一年）

（一九三二年）

（一九三三年）

（一九三四年）

（一九三五年）

（一九三六年）

（一九三七年）

（一九三八年）

（一九三九年）

（一九四〇年）

（一九四一年）

（一九四二年）

（一九四三年）

（一九四四年）

（一九四五年）

（一九四六年）

（一九四七年）

（一九四八年）

（一九四九年）

（一九五〇年）

（一九五一年）

（一九五二年）

（一九五三年）

（一九五四年）

（一九五五年）

（一九五六年）

（一九五七年）

（一九五八年）

（一九五九年）

（一九六〇年）

（一九六一年）

（一九六二年）

（一九六三年）

（一九六四年）

（一九六五年）

（一九六六年）

（一九六七年）

（一九六八年）

（一九六九年）

（一九七〇年）

（一九七一年）

（一九七二年）

（一九七三年）

（一九七四年）

（一九七五年）

（一九七六年）

（一九七七年）

（一九七八年）

（一九七九年）

（一九八〇年）

（一九八一年）

（一九八二年）

（一九八三年）

（一九八四年）

（一九八五年）

（一九八六年）

（一九八七年）

（一九八八年）

（一九八九年）

（一九九〇年）

（一九九一年）

（一九九二年）

（一九九三年）

（一九九四年）

（一九九五年）

（一九九六年）

（一九九七年）

（一九九八年）

（一九九九年）

（二〇〇〇年）

（二〇〇一年）

（二〇〇二年）

（二〇〇三年）

（二〇〇四年）

（二〇〇五年）

（二〇〇六年）

（二〇〇七年）

（二〇〇八年）

（二〇〇九年）

（二〇一〇年）

（二〇一一年）

（二〇一二年）

（二〇一三年）

（二〇一四年）

（二〇一五年）

（二〇一六年）

（二〇一七年）

（二〇一八年）

（二〇一九年）

（二〇二〇年）

（二〇二一年）

（二〇二二年）

（二〇二三年）

（二〇二四年）

（二〇二五年）

（二〇二六年）

（二〇二七年）

（二〇二八年）

（二〇二九年）

（二〇三〇年）

（二〇三一年）

（二〇三二年）

（二〇三三年）

（二〇三四年）

（二〇三五年）

（二〇三六年）

（二〇三七年）

（二〇三八年）

（二〇三九年）

（二〇四〇年）

（二〇四一年）

（二〇四二年）

（二〇四三年）

（二〇四四年）

（二〇四五年）

（二〇四六年）

（二〇四七年）

（二〇四八年）

（二〇四九年）

（二〇五〇年）

（二〇五一年）

（二〇五二年）

（二〇五三年）

（二〇五四年）

（二〇五五年）

（二〇五六年）

（二〇五七年）

（二〇五八年）

（二〇五九年）

（二〇六〇年）

（二〇六一年）

（二〇六二年）

（二〇六三年）

（二〇六四年）

（二〇六五年）

（二〇六六年）

（二〇六七年）

（二〇六八年）

（二〇六九年）

（二〇七〇年）

（二〇七一年）

（二〇七二年）

（二〇七三年）

（二〇七四年）

（二〇七五年）

（二〇七六年）

（二〇七七年）

（二〇七八年）

（二〇七九年）

（二〇八〇年）

（二〇八一年）

（二〇八二年）

（二〇八三年）

（二〇八四年）

（二〇八五年）

（二〇八六年）

（二〇八七年）

（二〇八八年）

（二〇八九年）

（二〇九〇年）

（二〇九一年）

（二〇九二年）

（二〇九三年）

（二〇九四年）

（二〇九五年）

（二〇九六年）

（二〇九七年）

（二〇九八年）

（二〇九九年）

（二一〇〇年）

（二一〇一年）

（二一〇二年）

（二一〇三年）

（二一〇四年）

（二一〇五年）

（二一〇六年）

（二一〇七年）

（二一〇八年）

（二一〇九年）

（二一一〇年）

（二一一一年）

（二一一二年）

（二一一三年）

（二一一四年）

（二一一五年）

（二一一六年）

（二一一七年）

（二一一八年）

（二一一九年）

（二一二〇年）

（二一二一年）

（二一二二年）

（二一二三年）

（二一二四年）

（二一二五年）

（二一二六年）

（二一二七年）

（二一二八年）

（二一二九年）

（二一三〇年）

（二一三一年）

（二一三二年）

（二一三三年）

（二一三四年）

（二一三五年）

（二一三六年）

（二一三七年）

（二一三八年）

（二一三九年）

（二一四〇年）

（二一四一年）

（二一四二年）

（二一四三年）

（二一四四年）

（二一四五年）

（二一四六年）

（二一四七年）

（二一四八年）

（二一四九年）

（二一五〇年）

（二一五一年）

（二一五二年）

（二一五三年）

（二一五四年）

（二一五五年）

（二一五六年）

（二一五七年）

（二一五八年）

（二一五九年）

（二一六〇年）

（二一六一年）

（二一六二年）

（二一六三年）

（二一六四年）

（二一六五年）

（二一六六年）

（二一六七年）

（二一六八年）

（二一六九年）

（二一七〇年）

（二一七一年）

（二一七二年）

（二一七三年）

（二一七四年）

（二一七五年）

（二一七六年）

（二一七七年）

（二一七八年）

（二一七九年）

（二一八〇年）

（二一八一年）

（二一八二年）

（二一八三年）

（二一八四年）

（二一八五年）

（二一八六年）

（二一八七年）

（二一八八年）

（二一八九年）

（二一九〇年）

（二一九一年）

（二一九二年）

（二一九三年）

（二一九四年）

（二一九五年）

（二一九六年）

（二一九七年）

（二一九八年）

（二一九九年）

（二二〇〇年）

（二二〇一年）

（二二〇二年）

（二二〇三年）

（二二〇四年）

（二二〇五年）

（二二〇六年）

（二二〇七年）

（二二〇八年）

（二二〇九年）

（二二一〇年）

（二二一一年）

（二二一二年）

（二二一三年）

（二二一四年）

（二二一五年）

（二二一六年）

（二二一七年）

（二二一八年）

（二二一九年）

（二二二〇年）

（二二二一年）

（二二二二年）

（二二二三年）

（二二二四年）

（二二二五年）

（二二二六年）

（二二二七年）

（二二二八年）

（二二二九年）

（二二三〇年）

（二二三一年）

（二二三二年）

（二二三三年）

（二二三四年）

（二二三五年）

（二二三六年）

（二二三七年）

（二二三八年）

（二二三九年）

（二二四〇年）

（二二四一年）

（二二四二年）

（二二四三年）

（二二四四年）

（二二四五年）

（二二四六年）

（二二四七年）

（二二四八年）

（二二四九年）

（二二五〇年）

（二二五一年）

（二二五二年）

（二二五三年）

（二二五四年）

（二二五五年）

（二二五六年）

（二二五七年）

（二二五八年）

（二二五九年）

（二二六〇年）

（二二六一年）

（二二六二年）

（二二六三年）

（二二六四年）

（二二六五年）

（二二六六年）

（二二六七年）

（二二六八年）

（二二六九年）

（二二七〇年）

（二二七一年）

（二二七二年）

（二二七三年）

（二二七四年）

（二二七五年）

（二二七六年）

（二二七七年）

（二二七八年）

（二二七九年）

（二二八〇年）

（二二八一年）

（二二八二年）

（二二八三年）

（二二八四年）

（二二八五年）

（二二八六年）

（二二八七年）

（二二八八年）

（二二八九年）

（二二九〇年）

（二二九一年）

（二二九二年）

（二二九三年）

（二二九四年）

（二二九五年）

（二二九六年）

（二二九七年）

（二二九八年）

（二二九九年）

（二三〇〇年）

（二三〇一年）

（二三〇二年）

（二三〇三年）

（二三〇四年）

（二三〇五年）

（二三〇六年）

（二三〇七年）

（二三〇八年）

（二三〇九年）

（二三一〇年）

（二三一一年）

（二三一二年）

（二三一三年）

（二三一四年）

（二三一五年）

（二三一六年）

（二三一七年）

（二三一八年）

（二三一九年）

（二三二〇年）

（二三二一年）

（二三二二年）

（二三二三年）

（二三二四年）

（二三二五年）

（二三二六年）

（二三二七年）

（二三二八年）

（二三二九年）

（二三三〇年）

（二三三一年）

（二三三二年）

（二三三三年）

（二三三四年）

（二三三五年）

（二三三六年）

（二三三七年）

（二三三八年）

（二三三九年）

（二三四〇年）

（二三四一年）

（二三四二年）

（二三四三年）

（二三四四年）

（二三四五年）

（二三四六年）

（二三四七年）

（二三四八年）

（二三四九年）

（二三五〇年）

（二三五一年）

（二三五二年）

（二三五三年）

（二三五四年）

（二三五五年）

（二三五六年）

（二三五七年）

（二三五八年）

（二三五九年）

（二三六〇年）

（二三六一年）

（二三六二年）

（二三六三年）

（二三六四年）

（二三六五年）

（二三六六年）

（二三六七年）

（二三六八年）

（二三六九年）

（二三七〇年）

（二三七一年）

（二三七二年）

（二三七三年）

（二三七四年）

（二三七五年）

（二三七六年）

（二三七七年）

（二三七八年）

（二三七九年）

（二三八〇年）

（二三八一年）

（二三八二年）

（二三八三年）

（二三八四年）

（二三八五年）

（二三八六年）

（二三八七年）

（二三八八年）

（二三八九年）

（二三九〇年）

（二三九一年）

（二三九二年）

（二三九三年）

（二三九四年）

（二三九五年）

（二三九六年）

（二三九七年）

（二三九八年）

（二三九九年）

（二四〇〇年）

（二四〇一年）

（二四〇二年）

（二四〇三年）

（二四〇四年）

（二四〇五年）

（二四〇六年）

（二四〇七年）

（二四〇八年）

（二四〇九年）

（二四一〇年）

（二四一一年）

（二四一二年）

（二四一三年）

（二四一四年）

（二四一五年）

（二四一六年）

（二四一七年）

（二四一八年）

（二四一九年）

（二四二〇年）

（二四二一年）

（二四二二年）

（二四二三年）

（二四二四年）

（二四二五年）

（二四二六年）

（二四二七年）

（二四二八年）

（二四二九年）

（二四三〇年）

（二四三一年）

（二四三二年）

（二四三三年）

（二四三四年）

（二四三五年）

（二四三六年）

（二四三七年）

（二四三八年）

（二四三九年）

（二四四〇年）

（二四四一年）

（二四四二年）

（二四四三年）

（二四四四年）

（二四四五年）

（二四四六年）

（二四四七年）

（二四四八年）

（二四四九年）

（二四五〇年）

（二四五一年）

（二四五二年）

（二四五三年）

（二四五四年）

（二四五五年）

（二四五六年）

（二四五七年）

（二四五八年）

（二四五九年）

（二四六〇年）

（二四六一年）

（二四六二年）

（二四六三年）

（二四六四年）

（二四六五年）

（二四六六年）

（二四六七年）

（二四六八年）

（二四六九年）

（二四七〇年）

（二四七一年）

（二四七二年）

（二四七三年）

（二四七四年）

（二四七五年）

（二四七六年）

（二四七七年）

（二四七八年）

（二四七九年）

（二四八〇年）

（二四八一年）

（二四八二年）

（二四八三年）

（二四八四年）

（二四八五年）

（二四八六年）

（二四八七年）

（二四八八年）

（二四八九年）

（二四九〇年）

（二四九一年）

（二四九二年）

（二四九三年）

（二四九四年）

（二四九五年）

（二四九六年）

（二四九七年）

（二四九八年）

（二四九九年）

（二五〇〇年）

（二五〇一年）

（二五〇二年）

（二五〇三年）

（二五〇四年）

（二五〇五年）

（二五〇六年）

（二五〇七年）

（二五〇八年）

（二五〇九年）

（二五一〇年）

（二五一一年）

（二五一二年）

（二五一三年）

（二五一四年）

（二五一五年）

（二五一六年）

（二五一七年）

（二五一八年）

（二五一九年）

（二五二〇年）

（二五二一年）

（二五二二年）

（二五二三年）

（二五二四年）

（二五二五年）

（二五二六年）

（二五二七年）

（二五二八年）

（二五二九年）

（二五三〇年）

（二五三一年）

（二五三二年）

（二五三三年）

（二五三四年）

（二五三五年）

（二五三六年）

（二五三七年）

（二五三八年）

（二五三九年）

（二五四〇年）

（二五四一年）

（二五四二年）

（二五四三年）

（二五四四年）

（二五四五年）

（二五四六年）

（二五四七年）

（二五四八年）

（二五四九年）

（二五五〇年）

（二五五一年）

（二五五二年）

（二五五三年）

（二五五四年）

（二五五五年）

（二五五六年）

（二五五七年）

（二五五八年）

（二五五九年）

（二五六〇年）

（二五六一年）

（二五六二年）

（二五六三年）

（二五六四年）

（二五六五年）

（二五六六年）

（二五六七年）

（二五六八年）

（二五六九年）

（二五七〇年）

（二五七一年）

（二五七二年）

（二五七三年）

（二五七四年）

（二五七五年）

（二五七六年）

（二五七七年）

（二五七八年）

（二五七九年）

（二五八〇年）

（二五八一年）

（二五八二年）

（二五八三年）

（二五八四年）

（二五八五年）

（二五八六年）

（二五八七年）

（二五八八年）

（二五八九年）

（二五九〇年）

（二五九一年）

（二五九二年）

（二五九三年）

（二五九四年）

（二五九五年）

（二五九六年）

（二五九七年）

（二五九八年）

（二五九九年）

（二六〇〇年）

（二六〇一年）

（二六〇二年）

（二六〇三年）

（二六〇四年）

（二六〇五年）

（二六〇六年）

（二六〇七年）

（二六〇八年）

（二六〇九年）

（二六一〇年）

（二六一一年）

（二六一二年）

（二六一三年）

（二六一四年）

（二六一五年）

（二六一六年）

（二六一七年）

（二六一八年）

（二六一九年）

（二六二〇年）

（二六二一年）

（二六二二年）

（二六二三年）

（二六二四年）

（二六二五年）

（二六二六年）

（二六二七年）

（二六二八年）

（二六二九年）

（二六三〇年）

（二六三一年）

（二六三二年）

（二六三三年）

（二六三四年）

（二六三五年）

（二六三六年）

（二六三七年）

（二六三八年）

（二六三九年）

（二六四〇年）

（二六四一年）

（二六四二年）

（二六四三年）

（二六四四年）

（二六四五年）

（二六四六年）

（二六四七年）

（二六四八年）

（二六四九年）

（二六五〇年）

（二六五一年）

（二六五二年）

（二六五三年）

（二六五四年）

（二六五五年）

（二六五六年）

（二六五七年）

（二六五八年）

（二六五九年）

（二六六〇年）

（二六六一年）

（二六六二年）

（二六六三年）

（二六六四年）

（二六六五年）

（二六六六年）

（二六六七年）

（二六六八年）

（二六六九年）

（二六七〇年）

（二六七一年）

（二六七二年）

（二六七三年）

（二六七四年）

（二六七五年）

（二六七六年）

（二六七七年）

（二六七八年）

（二六七九年）

（二六八〇年）

（二六八一年）

（二六八二年）

（二六八三年）

（二六八四年）

（二六八五年）

（二六八六年）

（二六八七年）

（二六八八年）

（二六八九年）

（二六九〇年）

（二六九一年）

（二六九二年）

（二六九三年）

（二六九四年）

（二六九五年）

（二六九六年）

（二六九七年）

（二六九八年）

（二六九九年）

（二七〇〇年）

（二七〇一年）

（二七〇二年）

（二七〇三年）

（二七〇四年）

（二七〇五年）

（二七〇六年）

（二七〇七年）

（二七〇八年）

（二七〇九年）

（二七一〇年）

（二七一一年）

（二七一二年）

（二七一三年）

（二七一四年）

（二七一五年）

（二七一六年）

（二七一七年）

（二七一八年）

（二七一九年）

（二七二〇年）

（二七二一年）

（二七二二年）

（二七二三年）

（二七二四年）

（二七二五年）

（二七二六年）

（二七二七年）

（二七二八年）

（二七二九年）

（二七三〇年）

（二七三一年）

（二七三二年）

（二七三三年）

（二七三四年）

（二七三五年）

（二七三六年）

（二七三七年）

（二七三八年）

（二七三九年）

（二七四〇年）

（二七四一年）

（二七四二年）

（二七四三年）

（二七四四年）

（二七四五年）

（二七四六年）

（二七四七年）

（二七四八年）

（二七四九年）

（二七五〇年）

（二七五一年）

（二七五二年）

（二七五三年）

（二七五四年）

（二七五五年）

（二七五六年）

（二七五七年）

（二七五八年）

（二七五九年）

（二七六〇年）

（二七六一年）

（二七六二年）

（二七六三年）

（二七六四年）

（二七六五年）

（二七六六年）

（二七六七年）

（二七六八年）

（二七六九年）

（二七七〇年）

（二七七一年）

（二七七二年）

（二七七三年）

（二七七四年）

（二七七五年）

（二七七六年）

（二七七七年）

（二七七八年）

（二七七九年）

（二七八〇年）

（二七八一年）

（二七八二年）

（二七八三年）

（二七八四年）

（二七八五年）

（二七八六年）

（二七八七年）

（二七八八年）

（二七八九年）

（二七九〇年）

（二七九一年）

（二七九二年）

（二七九三年）

（二七九四年）

（二七九五年）

（二七九六年）

（二七九七年）

（二七九八年）

（二七九九年）

（二八〇〇年）

（二八〇一年）

（二八〇二年）

（二八〇三年）

（二八〇四年）

（二八〇五年）

（二八〇六年）

（二八〇七年）

（二八〇八年）

（二八〇九年）

（二八一〇年）

（二八一一年）

（二八一二年）

（二八一三年）

（二八一四年）

（二八一五年）

（二八一六年）

（二八一七年）

（二八一八年）

（二八一九年）

（二八二〇年）

（二八二一年）

（二八二二年）

（二八二三年）

（二八二四年）

（二八二五年）

（二八二六年）

（二八二七年）

（二八二八年）

（二八二九年）

（二八三〇年）

（二八三一年）

（二八三二年）

（二八三三年）

（二八三四年）

（二八三五年）

（二八三六年）

（二八三七年）

（二八三八年）

（二八三九年）

（二八四〇年）

（二八四一年）

（二八四二年）

（二八四三年）

（二八四四年）

（二八四五年）

（二八四六年）

（二八四七年）

（二八四八年）

（二八四九年）

（二八五〇年）

（二八五一年）

（二八五二年）

（二八五三年）

（二八五四年）

（二八五五年）

（二八五六年）

（二八五七年）

（二八五八年）

（二八五九年）

（二八六〇年）

（二八六一年）

（二八六二年）

（二八六三年）

（二八六四年）

（二八六五年）

（二八六六年）

（二八六七年）

（二八六八年）

（二八六九年）

（二八七〇年）

（二八七一年）

（二八七二年）

（二八七三年）

（二八七四年）

（二八七五年）

（二八七六年）

（二八七七年）

（二八七八年）

（二八七九年）

（二八八〇年）

（二八八一年）

（二八八二年）

（二八八三年）

（二八八四年）

（二八八五年）

（二八八六年）

（二八八七年）

（二八八八年）

（二八八九年）

（二八九〇年）

（二八九一年）

（二八九二年）

（二八九三年）

（二八九四年）

（二八九五年）

（二八九六年）

（二八九七年）

（二八九八年）

（二八九九年）

（二九〇〇年）

（二九〇一年）

（二九〇二年）

（二九〇三年）

（二九〇四年）

（二九〇五年）

（二九〇六年）

（二九〇七年）

（二九〇八年）

（二九〇九年）

（二九一〇年）

（二九一一年）

（二九一二年）

（二九一三年）

（二九一四年）

（二九一五年）

（二九一六年）

（二九一七年）

（二九一八年）

（二九一九年）

（二九二〇年）

（二九二一年）

（二九二二年）

（二九二三年）

（二九二四年）

（二九二五年）

（二九二六年）

（二九二七年）

（二九二八年）

（二九二九年）

（二九三〇年）

（二九三一年）

（二九三二年）

（二九三三年）

（二九三四年）

（二九三五年）

（二九三六年）

（二九三七年）

（二九三八年）

（二九三九年）

（二九四〇年）

（二九四一年）

（二九四二年）

（二九四三年）

（二九四四年）

（二九四五年）

（二九四六年）

（二九四七年）

（二九四八年）

（二九四九年）

（二九五〇年）

（二九五一年）

（二九五二年）

（二九五三年）

（二九五四年）

（二九五五年）

（二九五六年）

（二九五七年）

（二九五八年）

（二九五九年）

（二九六〇年）

（二九六一年）

（二九六二年）

（二九六三年）

（二九六四年）

（二九六五年）

（二九六六年）

（二九六七年）

（二九六八年）

（二九六九年）

（二九七〇年）

（二九七一年）

（二九七二年）

（二九七三年）

（二九七四年）

（二九七五年）

（二九七六年）

（二九七七年）

（二九七八年）

（二九七九年）

（二九八〇年）

（二九八一年）

（二九八二年）

（二九八三年）

（二九八四年）

（二九八五年）

（二九八六年）

（二九八七年）

（二九八八年）

（二九八九年）

（二九九〇年）

（二九九一年）

（二九九二年）

（二九九三年）

（二九九四年）

（二九九五年）

（二九九六年）

（二九九七年）

（二九九八年）

（二九九九年）

（三〇〇〇年）

（三〇〇一年）

（三〇〇二年）

（三〇〇三年）

（三〇〇四年）

（三〇〇五年）

（三〇〇六年）

（三〇〇七年）

（三〇〇八年）

（三〇〇九年）

（三〇一〇年）

（三〇一一年）

（三〇一二年）

（三〇一三年）

（三〇一四年）

（三〇一五年）

（三〇一六年）

（三〇一七年）

（三〇一八年）

（三〇一九年）

（三〇二〇年）

（三〇二一年）

（三〇二二年）

（三〇二三年）

（三〇二四年）

（三〇二五年）

（三〇二六年）

（三〇二七年）

（三〇二八年）

（三〇二九年）

（三〇三〇年）

（三〇三一年）

（三〇三二年）

（三〇三三年）

（三〇三四年）

（三〇三五年）

（三〇三六年）

（三〇三七年）

（三〇三八年）

（三〇三九年）

（三〇四〇年）

（三〇四一年）

（三〇四二年）

（三〇四三年）

（三〇四四年）

（三〇四五年）

（三〇四六年）

（三〇四七年）

（三〇四八年）

（三〇四九年）

（三〇五〇年）

（三〇五一年）

（三〇五二年）

（三〇五三年）

（三〇五四年）

（三〇五五年）

（三〇五六年）

（三〇五七年）

（三〇五八年）

（三〇五九年）

（三〇六〇年）

（三〇六一年）

（三〇六二年）

（三〇六三年）

（三〇六四年）

（三〇六五年）

（三〇六六年）

（三〇六七年）

（三〇六八年）

（三〇六九年）

（三〇七〇年）

（三〇七一年）

（三〇七二年）

（三〇七三年）

（三〇七四年）

（三〇七五年）

（三〇七六年）

（三〇七七年）

（三〇七八年）

（三〇七九年）

（三〇八〇年）

（三〇八一年）

（三〇八二年）

（三〇八三年）

（三〇八四年）

（三〇八五年）

（三〇八六年）

（三〇八七年）

（三〇八八年）

（三〇八九年）

（三〇九〇年）

（三〇九一年）

（三〇九二年）

（三〇九三年）

（三〇九四年）

（三〇九五年）

（三〇九六年）

（三〇九七年）

（三〇九八年）

（三〇九九年）

（三一〇〇年）

（三一〇一年）

（三一〇二年）

（三一〇三年）

（三一〇四年）

（三一〇五年）

（三一〇六年）

（三一〇七年）

（三一〇八年）

（三一〇九年）

（三一一〇年）

（三一一一年）

（三一一二年）

（三一一三年）

（三一一四年）

（三一一五年）

（三一一六年）

（三一一七年）

（三一一八年）

（三一一九年）

（三一二〇年）

（三一二一年）

（三一二二年）

（三一二三年）

（三一二四年）

（三一二五年）

（三一二六年）

（三一二七年）

（三一二八年）

（三一二九年）

（三一三〇年）

（三一三一年）

（三一三二年）

（三一三三年）

（三一三四年）

（三一三五年）

（三一三六年）

（三一三七年）

（三一三八年）

（三一三九年）

（三一四〇年）

（三一四一年）

（三一四二年）

（三一四三年）

（三一四四年）

（三一四五年）

（三一四六年）

（三一四七年）

（三一四八年）

（三一四九年）

（三一五〇年）

（三一五一年）

（三一五二年）

（三一五三年）

（三一五四年）

（三一五五年）

（三一五六年）

（三一五七年）

（三一五八年）

（三一五九年）

（三一六〇年）

（三一六一年）

（三一六二年）

（三一六三年）

（三一六四年）

（三一六五年）

（三一六六年）

（三一六七年）

（三一六八年）

（三一六九年）

（三一七〇年）

（三一七一年）

（三一七二年）

（三一七三年）

（三一七四年）

（三一七五年）

（三一七六年）

（三一七七年）

（三一七八年）

（三一七九年）

（三一八〇年）

（三一八一年）

（三一八二年）

（三一八三年）

（三一八四年）

（三一八五年）

（三一八六年）

（三一八七年）

（三一八八年）

（三一八九年）

（三一九〇年）

（三一九一年）

（三一九二年）

（三一九三年）

（三一九四年）

（三一九五年）

（三一九六年）

（三一九七年）

（三一九八年）

（三一九九年）

（三二〇〇年）

（三二〇一年）

（三二〇二年）

（三二〇三年）

（三二〇四年）

（三二〇五年）

（三二〇六年）

（三二〇七年）

（三二〇八年）

（三二〇九年）

（三二一〇年）

（三二一一年）

（三二一二年）

（三二一三年）

（三二一四年）

（三二一五年）

（三二一六年）

（三二一七年）

（三二一八年）

（三二一九年）

（三二二〇年）

（三二二一年）

（三二二二年）

（三二二三年）

（三二二四年）

（三二二五年）

（三二二六年）

（三二二七年）

（三二二八年）

（三二二九年）

（三二三〇年）

（三二三一年）

（三二三二年）

（三二三三年）

（三二三四年）

（三二三五年）

（三二三六年）

（三二三七年）

（三二三八年）

（三二三九年）

（三二四〇年）

（三二四一年）

（三二四二年）

（三二四三年）

（三二四四年）

（三二四五年）

（三二四六年）

（三二四七年）

（三二四八年）

（三二四九年）

（三二五〇年）

（三二五一年）

（三二五二年）

（三二五三年）

（三二五四年）

（三二五五年）

（三二五六年）

（三二五七年）

（三二五八年）

（三二五九年）

（三二六〇年）

（三二六一年）

（三二六二年）

（三二六三年）

（三二六四年）

（三二六五年）

（三二六六年）

（三二六七年）

（三二六八年）

（三二六九年）

（三二七〇年）

（三二七一年）

（三二七二年）

（三二七三年）

（三二七四年）

（三二七五年）

（三二七六年）

（三二七七年）

（三二七八年）

（三二七九年）

（三二八〇年）

（三二八一年）

（三二八二年）

（三二八三年）

（三二八四年）

（三二八五年）

（三二八六年）

（三二八七年）

（三二八八年）

（三二八九年）

（三二九〇年）

（三二九一年）

（三二九二年）

（三二九三年）

（三二九四年）

（三二九五年）

（三二九六年）

（三二九七年）

（三二九八年）

（三二九九年）

（三三〇〇年）

（三三〇一年）

（三三〇二年）

（三三〇三年）

（三三〇四年）

（三三〇五年）

（三三〇六年）

（三三〇七年）

（三三〇八年）

（三三〇九年）

（三三一〇年）

（三三一一年）

（三三一二年）

（三三一三年）

（三三一四年）

（三三一五年）

（三三一六年）

（三三一七年）

（三三一八年）

（三三一九年）

（三三二〇年）

（三三二一年）

（三三二二年）

（三三二三年）

（三三二四年）

（三三二五年）

（三三二六年）

（三三二七年）

（三三二八年）

（三三二九年）

（三三三〇年）

（三三三一年）

（三三三二年）

（三三三三年）

（三三三四年）

（三三三五年）

（三三三六年）

（三三三七年）

（三三三八年）

（三三三九年）

（三三四〇年）

（三三四一年）

（三三四二年）

（三三四三年）

（三三四四年）

（三三四五年）

（三三四六年）

（三三四七年）

（三三四八年）

（三三四九年）

（三三五〇年）

（三三五一年）

（三三五二年）

（三三五三年）

（三三五四年）

（三三五五年）

（三三五六年）

（三三五七年）

（三三五八年）

（三三五九年）

（三三六〇年）

（三三六一年）

（三三六二年）

（三三六三年）

（三三六四年）

（三三六五年）

（三三六六年）

（三三六七年）

（三三六八年）

（三三六九年）

（三三七〇年）

（三三七一年）

（三三七二年）

（三三七三年）

（三三七四年）

（三三七五年）

（三三七六年）

（三三七七年）

（三三七八年）

（三三七九年）

（三三八〇年）

（三三八一年）

（三三八二年）

（三三八三年）

（三三八四年）

（三三八五年）

（三三八六年）

（三三八七年）

（三三八八年）

（三三八九年）

（三三九〇年）

（三三九一年）

（三三九二年）

（三三九三年）

（三三九四年）

（三三九五年）

（三三九六年）

（三三九七年）

（三三九八年）

（三三九九年）

（三四〇〇年）

（三四〇一年）

（三四〇二年）

（三四〇三年）

（三四〇四年）

（三四〇五年）

（三四〇六年）

（三四〇七年）

（三四〇八年）

（三四〇九年）

（三四一〇年）

（三四一一年）

（三四一二年）

（三四一三年）

（三四一四年）

（三四一五年）

（三四一六年）

（三四一七年）

（三四一八年）

（三四一九年）

（三四二〇年）

（三四二一年）

（三四二二年）

（三四二三年）

（三四二四年）

（三四二五年）

（三四二六年）

（三四二七年）

（三四二八年）

（三四二九年）

（三四三〇年）

（三四三一年）

（三四三二年）

（三四三三年）

（三四三四年）

（三四三五年）

（三四三六年）

（三四三七年）

（三四三八年）

（三四三九年）

（三四四〇年）

（三四四一年）

（三四四二年）

（三四四三年）

（三四四四年）

（三四四五年）

（三四四六年）

（三四四七年）

（三四四八年）

（三四四九年）

（三四五〇年）

（三四五一年）

（三四五二年）

（三四五三年）

（三四五四年）

（三四五五年）

（三四五六年）

（三四五七年）

（三四五八年）

（三四五九年）

（三四六〇年）

（三四六一年）

（三四六二年）

（三四六三年）

（三四六四年）

（三四六五年）

（三四六六年）

（三四六七年）

（三四六八年）

（三四六九年）

（三四七〇年）

（三四七一年）

（三四七二年）

（三四七三年）

（三四七四年）

（三四七五年）

（三四七六年）

（三四七七年）

（三四七八年）

（三四七九年）

（三四八〇年）

（三四八一年）

（三四八二年）

（三四八三年）

（三四八四年）

（三四八五年）

（三四八六年）

（三四八七年）

（三四八八年）

（三四八九年）

（三四九〇年）

（三四九一年）

（三四九二年）

（三四九三年）

（三四九四年）

（三四九五年）

（三四九六年）

（三四九七年）

（三四九八年）

（三四九九年）

（三五〇〇年）

（三五〇一年）

（三五〇二年）

（三五〇三年）

（三五〇四年）

（三五〇五年）

（三五〇六年）

（三五〇七年）

（三五〇八年）

（三五〇九年）

（三五一〇年）

（三五一一年）

（三五一二年）

（三五一三年）

（三五一四年）

（三五一五年）

（三五一六年）

（三五一七年）

（三五一八年）

（三五一九年）

（三五二〇年）

（三五二一年）

（三五二二年）

（三五二三年）

（三五二四年）

（三五二五年）

（三五二六年）

（三五二七年）

（三五二八年）

（三五二九年）

（三五三〇年）

（三五三一年）

（三五三二年）

（三五三三年）

（三五三四年）

（三五三五年）

（三五三六年）

（三五三七年）

（三五三八年）

（三五三九年）

（三五四〇年）

（三五四一年）

（三五四二年）

（三五四三年）

（三五四四年）

（三五四五年）

（三

陽文忠公〈文〉其清容幽韻、遠如瓠風急雨之驟至。

〔清容居士〕文。〔物象萬狀〕〔物象萬狀〕。〔音樂、琴〕文。〔琴瑟圓實欄、瓦瓶幸自材〕。〔琴、清容居士〕。

〔清音小集〕〔清音小集〕。〔書名〕。四巻、清、無名氏。

〔清音雅調、宮闕〕〔清音雅調、宮闕〕。〔書名〕。明、顧大典の作。

〔清音、大形記〕〔清音、大形記〕。〔書名〕。〔清代、朱彝尊〕。

〔清臣〕〔清臣〕。●清臣の名。〔清臣〕。

〔清河〕〔清河〕。●川の名。〔清河〕は河北省冀州の南。古の青州。〔清河〕。

〔清河郡〕〔清河郡〕。●郡の名。〔清河郡〕は河北省冀州の南。〔清河郡〕。

〔清河郡傅公碑〕〔清河郡傅公碑〕。〔書名〕。明、顧大典の作。

〔清河郡、大形記〕〔清河郡、大形記〕。〔書名〕。〔清代、朱彝尊〕

譙〇、真州省劍閣縣。〔清史稿、地理志〕真州、鎮遠府、鎮遠の名。博州（C—15451）。〔清史稿〕〇明、貝墟（10—32656—26）の縣、水名。〔清史稿〕〇、〔事物異名録〕、〔清史稿〕〇、〔清史稿〕〇、〔清史稿〕〇

南。（宋史、神宗紀）神御殿：清宝宮、清真人、以孟廷堅、清真人、故皇帝、清真殿、南興人、之以孟廷堅、清宝宮、清真人、故皇帝、清真人、清宝宮、清真人、故皇帝、清真人、清宝宮、清真人、故皇帝、清真人

遺録『室』令・先案『行書』淳鑑中・以真・非常●●

『清虚・紫微』…… 清虚の人。名は青蓮。字は青代。晉代・晉王の宮室をいう。『上清大洞真経』は『紫微』・『紫微』・『紫微』・

轉員外散騎侍郎」此二職。清華所不。蔣。故以此場。●清華公子。美相邀。●清華公子。美相邀。●清華公子。美相邀

南幽居數・蘇待郎三首云詩）・朝日暮・清景・飄荷・清溪（30）・清・谷川、（朱熹、入・琴劇・遺聞・清溪（30）・清・清溪・名文（又名・詩）・清溪・清溪・遺・琴・山・色・桃・・・

〔清妍〕[illegible]　清かで美しい。〔官初書譜〕林下才華雅可同。筆蹟入物更清妍。

〔清軒〕[illegible]　清かすがしい。〔李白・樹色〕清軒。

〔清建〕[illegible]　清かすがしい。〔李白・樹色〕清建。

〔清心〕[illegible]　清かすがしい。〔李白・樹色〕清心。

〔清剛〕[illegible]　清かすがしい。〔李白・樹色〕清剛。

〔清憲〕[illegible]　清廉。〔後漢書・桓典傳〕[illegible]

〔清劍〕[illegible]　清らかで鋭い。〔李白・樹色〕清劍。

〔清聲〕[illegible]　清らかな音。〔後漢書・桓典傳〕[illegible]

〔清〕[illegible]　清らかな

殖傳』徐復取前則清刺，於已記。(北史、顧道元傳)以之直死，法清刺，自上太傅據，引鶴，書侍郎。

清國 ㄑㄧㄥ ㄍㄨㄛˊ 國的名，字義□。(唐西行求法記，宣室夕陽，直聞題)。蓋如：清國、暗貿換大，各地清風俗，名字相同。

清骨 ㄑㄧㄥ ㄍㄨˇ 高骨。清骨、清骨、清骨、(李太白詩)。知公是真英物，鳳凰仙骨。

清潔 ㄑㄧㄥ ㄐㄧㄝˊ 清，ここと潔つてゐること。(論衡)。

清潤 ㄑㄧㄥ ㄖㄨㄣˋ ㄍㄨㄥ ㄍㄨㄥ 清潤，かはやか。(急就篇、注二)。(晉書、清潤)。

清廉 ㄑㄧㄥ ㄌㄧㄢˊ 清廉，(上)，明，(宋史、名臣)。(唐書、清廉)。

清明 ㄑㄧㄥ ㄇㄧㄥˊ 清明，(唐書、清明)。

清平 ㄑㄧㄥ ㄆㄧㄥˊ 清平，(唐書、清平)。

清平樂 ㄑㄧㄥ ㄆㄧㄥˊ ㄌㄜˋ 清平樂，(唐書、清平樂)。

清平調 ㄑㄧㄥ ㄆㄧㄥˊ ㄉㄧㄠˋ 清平調，(唐書、清平調)。

清白 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ 清白，(唐書、清白)。

清白吏 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ ㄌㄧˋ 清白吏，(唐書、清白吏)。

清白士 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ ㄕˋ 清白士，(唐書、清白士)。

清白子 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ ㄗˇ 清白子，(唐書、清白子)。

清白之士 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ ㄓ ㄕˋ 清白之士，(唐書、清白之士)。

清白之吏 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ ㄓ ㄌㄧˋ 清白之吏，(唐書、清白之吏)。

清白之人 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ ㄓ ㄖㄣˊ 清白之人，(唐書、清白之人)。

清白之子 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ ㄓ ㄗˇ 清白之子，(唐書、清白之子)。

清白之子孫 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ ㄓ ㄗˇ ㄙㄨㄣ 清白之子孫，(唐書、清白之子孫)。

清白之吏 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ ㄓ ㄌㄧˋ 清白之吏，(唐書、清白之吏)。

清白之人 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ ㄓ ㄖㄣˊ 清白之人，(唐書、清白之人)。

清白之子孫 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ ㄓ ㄗˇ ㄙㄨㄣ 清白之子孫，(唐書、清白之子孫)。

清白吏 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ ㄌㄧˋ 清白吏，(唐書、清白吏)。

清白士 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ ㄕˋ 清白士，(唐書、清白士)。

清白子 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ ㄗˇ 清白子，(唐書、清白子)。

清白之士 ㄑㄧㄥ ㄅㄞˊ ㄓ ㄕˋ 清白之士，(唐書、清白之士

閣（注）鉛槧・道藏諸話・查慎仁・說詩晬語・沈德潛・原詩・說郛・說郛續編・樂府詩集・樂府詩話・樂史・太平廣記・太平御覽・唐音審體・錢牧齋・唐詩別裁・唐詩鼓吹・唐詩選・唐詩選・唐詩選

童曲·同生曲·神鼓曲·神鼓別曲·迎神送神·石城樂·[illegible]·[illegible]·[illegible]

所在疑清源。

〔清圓〕135・27 清くてうるはしかあることゝ。眼視

〔清玉〕135・27 清くてうるはしかあることゝ。眼視

〔清陰〕135・27 清くてすゞしい。陰は、陰の反。

〔清陰〕135・27 清くてすゞしい。陰は、陰の反。

〔清酒〕135・27 清き酒。古事記、上巻、須佐之男命、八俣の大蛇を斬りたまふ段、「其の中に、血の流れて、河の如く流れ出でき。其の中の尾を斬りたまふ時、其の刀の刃、毀れ欠けき。故、其の尾を刺し破りて、見そなはしたまへば、其の中に、一の大刀有りき。故、是の大刀を取りて、異しき物と思ほして、天の安の河の上に、坐す、我が御祖、天照大御神に、奉りたまひき。是、草薙の剣の由なり。」

〔清酒〕135・27 清き酒。●きれいにかくこと。又きれいに書いたもの。清酒、古事記、上巻、須佐之男命、八俣の大蛇を斬りたまふ段、「其の中に、血の流れて、河の如く流れ出でき。其の中の尾を斬りたまふ時、其の刀の刃、毀れ欠けき。故、其の尾を刺し破りて、見そなはしたまへば、其の中に、一の大刀有りき。故、是の大刀を取りて、異しき物と思ほして、天の安の河の上に、坐す、我が御祖、天照大御神に、奉りたまひき。是、草薙の剣の由なり。」

〔清酒〕135・27 ●酒の美名。〔大平御覽、居處部三、引、魏武帝令曰、清酒、酒名。〔清酒〕135・27 清き酒。●清酒、酒名。〔大平御覽、居處部三、引、魏武帝令曰、清酒、酒名。〔清書日〕135・27 清き日。●清書、清書。〔清書人〕135・27 清き人。●清書、清書。〔清書人〕135・27 清き人。●清書、清書。〔清書人〕135・27 清き人

巴郡郫東北四縣滑中、郫已縣水也、至漢轉縣東、而西注彭侯、謂之清水口。⑤蟲水也。

區水出焉、而東流注于河、世謂之清水。●縣名。●清河、清水出焉、而東流注于河、世謂之清水。●縣名。下天水郡。縣土一。清水（清水（清水（

經之色也（文子、道原）清都帝君、道之靈也。（史記、老子傳）清淡之思（清詩）孟嘗少著欲。

清神魄 [清神魄] 嵇康、琴賦、高山、流水、嵇康、琴賦、下聲、衍好、淫遠之思（清詩）孟嘗少著欲。

清神魄 [清神魄] 嵇康、琴賦、高山、流水、嵇康、琴賦、下聲、衍好、淫遠之思（清詩）孟嘗少著欲。

清明 [清明] 清、水之清也。（荀子、小人）清、水、水之清也。（荀子、小人）清、水、水之清也。（荀子、小人）清、水

〔北史〕博聞知博〔聖眼性既著〕不・色・詹業・衣食之外、俸祿業布、皆以貧親爲資、衣服・進主客。

〔清案〕博聞知博、天子書籍、別有書業、加以撰著。

〔清案〕『遺聚拙の誤』遺聚拙の誤。遺聚拙は、『SB50』に見えず。

〔清案〕『清』清字で飾のなくくるまず。機関・不・加・意語・名氏・清清。

〔清案〕『上』『上』、『者』『の』飾りけのない土、『機』

〔清楚〕『清』●清楚できっぱりしてゐること。

〔清楚〕『清』●清楚・清楚・清・清・清

行）遺考林飛蛾集注禮樂略清濁（廣宗元、眞州馬退山寺敎記）清（不清いてる）、清（清波於密山）矣、也、不遺右軍、則清雖竹、無清波於密山矣、

清（清風）清（清、清、清、

【清除】[清代] 清のはらい。「親志・司馬胡傳」清除・蠹蠹・儒學・賢士・染志・孫志・孫志孫權傳・清除・蠹・墨。

【清重】[清代] 清代でおもものし。(論衡) 自表示朝・清重・無・論衡・論衡・清代・清重・無・論衡・自表示朝・清重・無・論衡所・輔。

【清・清・清・

いさぎよいこと。（後漢書・朱倩傳）所謂用人世世以清德聞。（後漢書・羊續傳）世世二千石至魏九世世以清德聞。（南齊書・顧憲之傳）今復有清德可稱者。食矢。

（光緒）除清水令。城內井許君清德頌。（北史・崔逞）無所案知。清德百姓所制清德頌數篇。乃歎曰。未知非狄仁傑。逸聞。（史・樊噲傳）臨淮小史。輒命輕重。官清吏肅。自是皆瑞。（後漢書・光武帝紀）今天下清平。（宋史・後漢書・光武帝紀）今天下清平。（宋史・一家無事無清事。清事。若自其民清平。（宋史・郭逵傳）郭逵北省武烏縣之西南。湖清北那伊洪。逵示。冥陽亭銘。（蘇史）武烏縣

〔清圓英光之閣〕[illegible] 清、王褒『7・2358』

〔清卿〕[illegible] 清卿り安らぐ。平定する。卿は、やすむ。疑義なりとの説もあるが、張衡『西京賦』に、「紫宸宇宙、鑾州紫殿、清卿、清夷」とあり、清卿は、清夷に対して、清らかで美しいこと。〔後漢書、文苑傳〕「[illegible]」[illegible]

〔清美〕[illegible] 清らかで美しいこと。〔後漢書、文苑傳〕「[illegible]」[illegible]

〔清化〕[illegible] 清らかで穏やかなこと。〔後漢書、[illegible]〕「[illegible]」[illegible]

〔清徹〕[illegible] 清らかで穏やかなこと。

連二古木。注蔭。清濁。

〔清文〕??? ●清文。案。(定書王僧攜傳)宣僧攜彩之清文。詠柔微之遺艷。(徐陵玉臺新詠集)清濁。(清濁)。非雅樂之濁聲。(徐陵玉臺新詠集)清濁。清濁。(清濁)。清らかな模様。(謝朓。答張融書)。清濁。(清濁)。(清濁)。(清濁)。清濁。(清濁)。清濁。(清濁)。清濁

軟清樓之風。（宋蘇・雞記草木、圃覺詩雜居春晚、風雲詩雜居春晚、風雲詩雜居春晚、健康をいう。●後魏・司空・[illegible]、●（巻元帝・謝安遠寄主簿後遊・陸）高明可仰、興天花而俱清、清・清・[illegible]・[illegible]・[illegible]

志 蓋相傳 其書約如前。（朱書） 失傳之傳。 注 身清約 凡所 雅說。 無所受。 之治 身清約 凡所 雅說。 無所受。

瀋 瀋 清 **清** 清 **清** 清 **清**

の西北、（續史方輿紀要）直隸、永平府、灤州）清涼山、名分水嶺、與（重修圖經全）分、冀、層巒疊峰、石、名、（太平寰宇記）五臺山名、清涼山、華蓋紀積、水、臺作飛、雲、曾無、妄、散名、清泉、（公）山

赤未歇，自後人送讀謝許者四月清和出午晴刻相到，今，賀賀，賀送，賀賀，賀賀賀

不一樹。

〔清肇祖〕 征部船末兒74 204368 ……（124）b。

〔清肇祖陵〕 永陵（6－17088－5262）。

〔清德宗〕 光緒帝。清的文宗的第四子，後來的穆宗，名載淳，謚號。

〔清肺散〕 藥名。蓋加入參等分，檢不出子。名出戴嵩，治久咳，入肺，即肺散。

〔清文宗〕 清的宣宗的第四子，名奕詝，謚號。

〔清穆宗〕 清的文宗的子，名載淳，謚號。

〔清穆宗陵〕 東陵（6－17109－5271）。

〔清肺散〕 藥名。蓋加入參等分，檢不出子。名出戴嵩，治久咳，入肺，即肺散。

〔清肺散〕 藥名。蓋加入參等分，檢不出子。名出戴嵩，治久咳，入肺，即肺散。

〔清肇祖〕 征部船末兒74 204368 ……（124）b。

〔清德宗〕 光緒帝。清的文宗的第四子，後來的穆宗，名載淳，謚號。

〔清文宗〕 清的宣宗的第四子，名奕詝，謚號。

〔清穆宗〕 清的文宗的子，名載淳，謚號。

〔清穆宗陵〕 東陵（6－17109－5271）

〔滝瀧〕ろう 雨。❶通して滝7 17784 に作る。正字通〔滝、通作〕滝 ❷川の名。もと 道(7・18214)に作る。〔後漢書〕に見える。〔滝水(人)〕を見よ。

越巂徼外、東人・若水、从水疋聲。❶姓。

（慕用切、字文）（河南雒陽人、開皇初慕用制史。❷闕(1)にただれる。❸しみる。❹きし〔集韻〕〔滝水〕水涯也。❺いととる。

〔滝瀧〕ろう 雨。❶通して滝7 17784 に作る。正字通〔滝、通作〕滝 ❷川の名。もと 道(7・18214)に作る。〔後漢書〕に見える。〔滝水(人)〕を見よ。

越巂徼外、東人・若水、从水疋聲。❶姓。

（慕用切、字文）（河南雒陽人、開皇初慕用制史。❷闕(1)にただれる。❸しみる。❹きし〔集韻〕〔滝水〕水涯也。❺いととる。

滝 ❶ぎし〔集韻〕〔滝水〕水涯也。❷闕(1)にただれる。❸しみる。❹

之樂。浩瀚之心、運淡之志。其愛由至哉。〔注〕翰曰、淹沈、既好也。

〔淹博〕〔淹通〕〔淹雅〕〔淹通〕〔淹博〕〔淹雅〕〔淹通〕〔淹博〕〔淹雅〕〔淹通〕〔淹博

〔浚近〕ｊｕｎｊｉｎ 名。浚津坐近。〔浚津坐近〕ｊｕｎｓｉｎｚａｋｉｎｉｋｉｎｏｋｕｎｉｎｉｔｓｕｋｕｔｓｕｋｕｔｓｕｋｕ

の曲。

【浅水橋】ｱｻﾐﾊｼ 橋の名。●敏前殿左羽都麻生津村大字浅水の浅生谷川に架する橋。別稱曙橋。浅水橋・朝六橋・黒瀬橋・黒瀬橋・黒瀬

十二)〈孫思邈方、瞿曇悉達方、家宅用瞿曇〉

〈宝記、瞿曇家〉解虎法、〈外臺秘要、論水厄〉

〈淺木 [illegible]〉〈[illegible]〉〈[illegible]〉〈[

【添粧】ten zhuang 婚礼の日、洞房で花嫁が面布を取り去る時、小者が婦が自粧を整え直してやること。浙江地方の語。

【添燈】ten deng 鎮の名。又、天保に作る。河南省清河県の東南。

【添上】ten shang 一加える。●一、太和の添馥 ten fu 物を足す。

【添馥】ten fu 物を足す。添元、添元の香。

【添脚】ten jiao 一付け足す。●一、太和紀。

【添脚】ten jiao 物を足す。又、その足

【淼】 17699 ベウ 〔集韻〕須切 〔ㄨㄥ〕 〔ㄈㄨㄥ〕 〔Miao〕

小 794 に作る。〔説文新附〕淼、大水也。从三水。或作渺。 ●水なるさの限りなく廣いさま。淼淼(ビョウビョウ)を見よ。

【淼淼】 17699-1 ビョウビョウ 〔集韻〕須切 〔ㄨㄥ〕 〔ㄈㄨㄥ〕 〔Miao〕

表はす。 ●水のひろびろとしたさま。浩淼(コウビョウ)を見よ。

〔淼浩〕 水のひろびろとしたさま。浩淼(コウビョウ)の倒文。

〔淼茫〕 明、青草住(8-15282)、(8-17749)の誤。

〔淼茫〕 水等(海等)のひろびろとしたさま。〔李白、上郡〕 極浦紅蓮、南海淼、秋風白鷺、東山茫。〔杜甫、遣興〕 淼淼、茫茫、水上浮。〔同、詩〕 前乗相接水淼淼、西去春江正茫茫。〔白居易、宿竹園〕 前臨淼淼、後接茫茫。〔同、題東亭〕 淼淼、茫茫、水上浮。〔同、詩〕 前乗相接水淼淼、西去春江正茫茫。〔同、題竹園

窗 17724 セウ 清(6－17529)の古字。〔字彙補〕窗、古清字。

涸 17725 サン セン 〔篇海〕倉綫切 **潺** 水のきよいさま。〔玉篇〕涸、水清皃。

淽 17726 シン 浸(6－17505)に同じ。〔篇海類編〕字典〕淽、與浸同。

湧 17727 ハウ 湧(7－18603)に同じ。〔字彙補〕湧、與淽同。

淒 17728 タン 淡(6－17536)に同じ。〔集韻〕淡、或省。

淋 17729 セフ 涉(6－17530)の古字。〔字彙補〕淋、古涉字。

涇 17730 キン ゴン 〔字彙補〕色新切 **國** おり。かす。〔字彙補〕滓、淳譜三之涇、見釋典。

澄 17731 サ シヤ 〔字彙補〕所加切 **麤** 澄石は、地名。〔字彙補〕澄、澄石、漢地名。

淸 17732 クワク ワク 〔五音篇海〕火麥切 **麤** 水の音。〔五音篇海〕淸、水聲。

淝 17733 ヒ 〔字彙補〕風微切 **𣶒** 川の名。〔湘中記〕淝水、淝水、皆注湘。

涸 17734 タク 〔字彙補〕透各切 **𣶒** ●雨ふるさま。〔字彙補〕涸、雨皃。〔田家占候〕上水ゝ、清、下水濁濁。●亦、汯(8－17542)に作る。〔康熙字典〕涸、亦省作、汯。

淦 17735 イン 〔字彙〕於禁切 **陵** 川の名。〔字彙〕淦、水名。

淶 17736 ショク ソク 〔字彙補〕蹙切 **𣶒** ●川の名。〔字彙補〕淶、水名。●姓。〔字彙補〕淶、姓。

淮 17737 セフ 涉(6－17530)の誤字。〔字彙補〕淮、涉字之誤。

滷 17738 ソ 〔字彙補〕西古切 **𣶒** 界の土。〔字彙補〕滷、城土也。

滑 17739 ミ 魅(10－23511)の誤字。〔字彙補〕滑、魅字之誤、見字彙補略。

渴 17740 セン 義未詳。〔搜眞圭鏡〕蠶、百遍。

淮 17741 イン 清(6－17376)に同じ。〔集韻〕清、與淮同。

淶 17742 シツ 淶(7－18108)に同じ。〔字彙補〕淶、同淶。

淵 17743 エン 淵(7－17692)に同じ。〔龍龕手鑑〕淵、同淵。

淵 17744 エン 淵(7－17692)に同じ。〔中華大字典〕淵、同淵、龍龕手鑑。

淵 17745 サク 義未詳。〔川篇〕淵、音朔。

淵 17746 ショ 清(7－17629)に同じ。〔五音篇海〕淵、同清。

沈 17747 チュウ チン 〔中華大字典〕陳陳切 **𣶒** 泉の名。〔殊花齋隨筆〕元結銘序、有泉七穴、命二其五、曰二澹、沈、清、泊、濂、欲者有二所感發一、曰二漫泉、自二旌漫郎一、出二山東、命曰二東泉。

渭 17748 カツ 渴(7－17768)の略字。

渭 17749 セイ 清(7－18586)の俗字。〔字篇〕清、同清、俗。

渭 17749′ セウ 涉(6－17531)に同じ。

淵 17750 エン 淵(7－17692)の俗字。〔宋元以來俗字譜〕淵、國志平話作淵。

渋 17751 ジフ 澁(7－18312)の略字。

澆 17751′ ゲウ 澆(7－18317)の俗字。〔宋元以來俗字譜〕澆、古今雜劇作澆。

九畫

淵 17752 ビン ミヤク 〔集韻〕眞自切 **𣶒** 淺い川。〔字彙〕淵、淺水、或从陌。

渚 17753 ジヤ ニヤ 〔集韻〕人茲切 **𣶒** 日城の名。〔集韻〕渚、城名、在二彭州一。日渡名。〔集韻〕渚、渡名、水大皃。〔渚渓〕ジヤ ケイ 〔清一統志〕渚溪在二湖北枝江縣東三十里一、水通二大江一、江行多由、風於此。〔渚水〕ジヤ スイ 川の名。又の名は若水。源は陝西省南鄭縣の東方、鎮巴縣紀堡川、保寧府巴州、通江縣、鎮安縣を經て、四川陝西省鄰縣の南方、南江縣、渠縣、合州を經て、長江に入る。〔渚水〕ジヤ スイ 〔清一統志〕渚水、在二鄭縣一、南流而東折、汗、於達州之東一、入二江一、亦曰二沿水一、亦曰二清水一。

【滰】 17754 キャウ 滰 (集韻)滰 (正字通)滰 (字彙)滰 (字彙補)滰

(集韻)(正字通)同上。(字彙補)滰、建功立德、故謂之滰。此字の旁は亡。中に従って九畫に数える。篇本八畫に入れるは誤。

【溱】 17755 ジウ ニュ (集韻)而由切 尤

●川の名。(集韻)(正字通)(字彙)(字彙補)同上。(説文)に通ずず。(中華大字典)溱、按古鐘銘、溱多作、溱。北海相景君銘、賓溱賓賜。(魏元丕碑)既摩(溱德)。

【漣】 17756 タン 漣 (集韻)(正字通)同上。

【渙】 17757 ヒャウ ヒョウ (集韻)(韻會)(正韻)(字彙)(字彙補)(正字通)(篇海類編)(康熙字典)(漢語大字典)(中華大字典)(大漢和辞典)(大字典)(大字典)(大字

〔清岸〕[illegible] みぎはとし。なぎさ。〔蜀志、許靖伝〕[illegible]五十餘里、復進。疾病。

〔清宮〕[illegible] ●なぎさに縁んでゐる宮殿。〔白居易、[illegible]〕[illegible]

〔清風〕[illegible] 月十日王昌龍[illegible]。●[illegible]。〔清宮東面樓渡海、浴殿西頭鎖[illegible]〕[illegible]。●[illegible]。〔[illegible]〕[illegible]。

〔清[illegible]〕[illegible] 十、冶[illegible]。〔[illegible]〕[illegible]。

〔清[illegible]〕[illegible] 清

臘酒行三日、大赦日、民因知有軍法（入五地）二日、上京已來過犯、牛矣、與其殺戮、倍月并行遷、今月、減罪、減刑、減罪、減刑、減罪、減刑

[減免の[ノ]]減輕免除。刑罰を減輕免除。又は免除すること。〔清會典事例・刑部〕各例律、五刑[ノ]自律各典各典事之先。番擬具題。題到部、西院落在典事期内、若、得例減[ノ]擬具題到部、題[ノ]在減免[ノ]擬[ノ]、[ノ]例減[ノ]擬[ノ]、[ノ]擬[ノ]、[ノ]減[ノ]、[ノ]減[ノ]、[ノ]減

〔浮説〕ﾌｾﾂ たまった泥。(木華、海賦、清流浪濁、注、薛曰、浪濁、浮泥也。)

〔浮海〕ﾌｶｲ 海に潮が水の上を流れること。(張衡、南都賦、野澤浮海、互望無涯。)

〔浮海〕ﾌｶｲ 海に浮ぶ。(揚雄、劇秦美新、無海而浮。)

〔浮海〕ﾌｶｲ 海を渡る。(揚雄、劇秦美新、無海而浮。)

〔浮蓋〕ﾌｶﾞｲ あぶくを浮べた。(鮑照、舞鶴賦、浮蓋而自安。)

〔浮蓋〕ﾌｶﾞｲ 浮蓋造作をつくった。(水の浮べ方によって、浮蓋造作を造った様を記録している。浮は水の上に浮ぶ。文獄明、王女傳山居記、遠在山半溪蓋造作記、或激蓋喝、或浮蓋湧。)

〔浮蓋造作〕ﾌｶﾞｲｿｳｻｸ とどまりひたす。水が流れ。(柳貫、送大野澤、時浮蓋造作、蓋蓋、蟠踞於西東。)

〔浮蓋表元〕ﾌｶﾞｲﾋｮｳｹﾞﾝ 唐代の人。(蓋表元、八月十二日、蓋蓋歌、自得二字、時動定、篠、浮蓋造作、蓋造作、蓋蓋。)

〔浮釣〕ﾌﾁｮｳ 釣りの名。(『世説子、尋道』)。故代開浮釣、情物之長也。)

〔浮沮〕ﾌｿ 水の流れたさま。(蘇洵、仲兄字文甫説、深沮注深、滿而上字者、是水也。)

〔浮車〕ﾌｼｬ 車をとめる。停車。(手偏の「浮」。)

〔浮渫〕ﾌｾﾂ 深くたまった澤の水。(馮梁本配、馬陵稿、大明水記、羽之論、水部、浮渫、而青泉藏。)

〔浮冷〕ﾌﾚｲ 水のとどこほること。(馬融、長笛賦、山水迸、辞音繁時、聚冷、流青、山、澤、地也。)

〔浮冷〕ﾌﾚｲ 水が流れること。(『説苑』、辞音繁時、聚冷、地也。)

〔浮沈〕ﾌﾁﾝ 水に浮ぶ。(『説苑』、李斯傳、蜀郡、地、通、大夏、蹴九河、曲九防、注、水、魚之海、)

〔浮代〕ﾌﾀｲ 水に浮ぶ。(『説苑』、李斯傳、蜀郡、地、通、大夏、蹴九河、曲九防、注、水、魚之海、)

〔浮代〕ﾌﾀｲ 地名の古称名。(『説苑』、李斯傳、蜀郡、地、通、大夏、蹴九河、曲九防、注、水、魚之海、)

〔浮沈〕ﾌﾁﾝ とどこほった所。(『説苑』、李斯傳、蜀郡、地、通、大夏、蹴九河、曲九防、注、水、魚之海、)

〔浮沈〕ﾌﾁﾝ 浮かぶ。(『説苑』、李斯傳、蜀郡、地、通、大夏、蹴九河、曲九防、注、水、魚之海、)

〔浮沈〕ﾌﾁﾝ 浮かぶ。(『説苑』、李斯傳、蜀郡、地、通、大夏、蹴九河、曲九防、注、水、魚之海、)

〔浮沈〕ﾌﾁﾝ 水の流れ

巻、⑥春秋費の地。山東省臨沂縣に渠丘亭がある。(左氏傳、襄公十一)費渠丘を無如と(注)渠丘今費國西安縣也。齊大夫崔杼邑。春秋地理考費渠丘考。渠丘、齊邑。春秋地理考費渠丘考。以大邑、是渠丘殺、而崔杼殺之。非地理考之邑也。●魏。(漢書、地理志)東海郡、故莒、莒子所都。有浯水、北海郡有淳于、故淳于國。有淳于城。有淳于城。有淳于城

堵〔堵〕堵主埋〔埋〕壁〔壁〕璫〔璫〕之屋〔屋〕〔渠〕貫。玉節〔節〕藩〔藩〕山〔山〕疏〔疏〕之玉、西頭皆有孔、又於南孔之間〔間〕清渠〔渠〕於清河〔河〕相高〔高〕而瑑〔瑑〕。

〔渠鋼〕ケイ　ゴウ　ゴウ　ゴウ

抄二、徴隷編）渡子、和太利毛利俗云、和太之毛利。

渡すこと、取引所用語。●渡して株券を引渡すこと、或は引渡す株券をいう。

渡す　ｄｏ　ｔｏ　ｃｒｏｓｓ　ｔｈｅ　ｒｉｖｅｒ　ｏｒ　ｓｅａ　ｔｏ　ｔｈｅ　ｏｔｈｅｒ　ｓｉｄｅ　ｏｆ　ｉｔ　ｏｒ

【渡】[廣韻]ドウ 去聲 [集韻]徒故切 [説文]渡 [説文]渡 [説文]渡

等、沈璧帝鄭、殺謝含親、失之太柔。

〔渤海藻〕ﾎﾞｯｶｲｿｳ 書名。高帝集。(18—25213)

〔渤海灣〕ﾎﾞｯｶｲﾜﾝ 渤海の西部。黄海は直接繋がる。

〔渤海海峡〕ﾎﾞｯｶｲｶｲｷｮｳ 渤海の口に在り。黄海と渤海を繋ぐ。

〔渤海海峡〕ﾎﾞｯｶｲｶｲｷｮｳ 渤海の口に在り。黄海と渤海を繋ぐ。

〔渤海灣〕ﾎﾞｯｶｲﾜﾝ 渤海の西部。黄海は直接繋がる。

水 部 (九畫) 渤 渥

渤海ﾎﾞｯｶｲ 名 ①渤海郡。北朝時代、北魏の郡。前秦の苻堅の時に置かれ、北魏の太和十年(四八六)に廃された。治所は今の河北省滄州市の東南。(魏書地形志)

②渤海郡。北朝時代、北斉の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(北斉書)

③渤海郡。隋の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(隋書地理志)

④渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑤渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑥渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑦渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑧渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑨渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑩渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑪渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑫渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑬渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑭渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑮渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑯渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑰渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑱渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑲渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

⑳渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㉑渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㉒渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㉓渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㉔渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㉕渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㉖渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㉗渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㉘渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㉙渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㉚渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㉛渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㉜渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㉝渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㉞渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㉟渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㊱渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㊲渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㊳渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㊴渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㊵渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㊶渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㊷渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㊸渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㊹渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㊺渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㊻渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㊼渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㊽渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㊾渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

㊿渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(51)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(52)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(53)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(54)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(55)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(56)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(57)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(58)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(59)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(60)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(61)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(62)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(63)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(64)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(65)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(66)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(67)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(68)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(69)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(70)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(71)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(72)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(73)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(74)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(75)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(76)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(77)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(78)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(79)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(80)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(81)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(82)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(83)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(84)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(85)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(86)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(87)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(88)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(89)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

(90)渤海郡。唐の郡。治所は今の河北省滄州市の東南。(唐書地理志)

【湿丹花】[illegible] 草名。からこのり。

〔三才圖會 草木 花 卉類 湿丹 湿丹 月 月開 花蕊葉如百合。其色如丹。故名。

【湿】[illegible] 沼也。〔說文〕曰、出鄭氏處。从日从水。故曰。讀若流州之流、九州之湿地也。故名。

【湿地】[illegible] 赤くて厚あること。湿[illegible]。〔韓詩外傳 二〕湿如湿輔、其色如血。〔注〕輔、毛詩作丹。

【湿湿】[illegible] 大いにぬれて、潤を含と同じくう。湿〔注〕湿潤之貌也。〔楚辭 九辯〕[illegible]湿。

【湿】[illegible] あついのとうすいの厚薄。〔論衡〕[illegible]湿。

【湿】[illegible] 水の名。●[illegible]。●[illegible]。

【湿】[illegible] 大いにぬれて、潤を含と同じくう。湿〔注〕湿潤之貌也。〔楚辭 九辯〕[illegible]湿。

【湿】[illegible] 水の名。●[illegible]。●[illegible]。

【湿】[illegible] 水の名。●[illegible]。●[illegible]。

【湿】[illegible] 水の名。●[illegible]。●[illegible]

𣶒 17775

日ベン　（集韻）匿見切　𣶒
月ベン　（集韻）彌移切　𣶒

□漢𣶒は、大水のさま。（玉篇）漢𣶒、大水兒。（左思）吳都賦「漢𣶒滉漾」（注）向曰、漢水廣大兒。□漢𣶒は、水のさま。（集韻）漢𣶒、水兒。

渦 17776

ジュ　（集韻）徒結切

□は同じ。（正字通）渦同。

渦 17777

ソ　（集韻）蘇禾切

□は同じ。（集韻）渦或作𣶒。

渫 17778

□セツ　（集韻）私列切　𣶒
チエ　（集韻）達協切　𣶒
□ヨウ　（集韻）直甲切　𣶒
□ヂフ　（集韻）以制切　𣶒
□ヂフ　（集韻）實洽切　𣶒

小　□①さらす。水底の泥などを除く。（説文）渫、除去也。从水葉聲。 ❷きよい。（字彙）渫、又清也。（易、井）井渫不食、（注）渫、不修汙之謂也。 ❸ちる。ちらす。（漢書、食貨志）農民有餘、業有所渫。（注）師古曰、渫、散也。（管輔、七略）竊歟未渫、（注）晉曰、方言曰、渫、歇也。 ❹けがす。又、けがれる。（後漢書、王符傳）去鬼除禍、慮漢而不潔。而不清、（注）渫、穢也。□は、清・渫・去・去・去

嶋夷素食之地。

【測鋟】ts'ə̀ng-ts'ə̀ng 距離をはかること。鋟 ts'ə̀ng は、はかり。

【測算】tsə̀k-sùan はかりをくべる。計算。（白蕙二子云云）又有測算法。（秦氏天文考成前編）西域有「望遠鏡」一束不入微（中村敬宇、西洪之志編）積年所測算者也。

【測字】tsə̀k-dz̀i 文字の偏旁・點畫を分解し組合せて吉凶を占う法。偏旁・點畫を文字を書かずに、或いは文字に従いて意合を到断すること。名、拆字（『晉書』陳述・王導・王敦・郭璞・桓温・謝安・桓伊・桓彝・桓沖・桓温・桓玄・桓歆・桓石民・桓石虔・桓石秀・桓石生・桓石康・桓石民・桓石虔・桓石秀・桓石生・桓石康・桓石民・桓石虔・桓石秀・桓石生・桓石康

更遠、鄭給人間之微之、後魏東道、貞觀十年、移、於今所。⑩陝西省長安縣の東北、漢の鄠県が逃つた東遊苑の地。⑪長安縣の東、渭橋の西、唐の長安城の東北、漢の鄠県が置かれた地。⑫長安縣の東、渭橋の西、唐の長安城の東北、漢の鄠県が置かれた地。⑬長安縣の東、渭橋の西、唐の長安城の東北、漢の鄠県が置かれた地。⑭長安縣の東、渭橋の西、唐の長安城の東北、漢の鄠県が置かれた地。⑮長安縣の東、渭橋の西、唐の長安城の東北、漢の鄠県が置かれた地。⑯長安縣の東、渭橋の西、唐の長安城の東北、漢の鄠県が置かれた地。

渭橋乾乳[唐詩]‥‥‥

案 説文。陝西省華陰縣の西。(漢書地理志)陝西、西安の西北。(後漢書郡国志)陝西、西安の西北。(清史稿地理志)陝西、西安の西北。(清史稿地理志)陝西、西安の西北。(清史稿地理

香港の略稱。㊀水のさま。港洞。〔集韻〕港、港洞、水皃。

【港通】 動詞 ❶開け通ずるさま。港洞。〔集韻〕港、港洞、開通〔康熙字典〕。❷水のさま。〔集韻〕港、港洞、相通貌。㊁水のさま。〔集韻〕港、水皃。

【港】 17783 エン 〔集韻〕衣倦切 一母 yuan 去 寒

同じ。〔集韻〕港、水皃。

【港】 17784 ミン 〔集韻〕彌兗切 一母 mian 上 銑

❶開墾のさま。雲の湧起するさま。〔段注〕各本作「雲雨雲兒」。从水弇聲。〔詩〕小雅、大田、右有「渰萋萋」。〔傳〕渰、雲興皃。❷成は弇（4－9510）。〔集韻〕13－4 2318〕に作る。〔集韻〕渰、成皃。〔詩〕小雅、大田、疏、天将陰雨、則地氣上騰蒸為雲、謂之渰、浸萬物之精氣也。〔集韻〕渰、浸萬物之精氣。

【渰】 17785 コウ 〔集韻〕胡公切 一母 hong 平 東 ク 〔集韻〕苦紅切 一母 kong 平 送

❶水の音。〔集韻〕渢、水聲。❷潰渢は、水がわきあがるさま。〔集韻〕渢、一曰、潰渢、水湧。❸潰渢は、水流の廣大なさま。〔左思、吳都賦〕潰渢汗、〔注〕向曰、並水流廣大皃。㊁水のさま。〔集韻〕渢、水皃。

【渲】 17786 セン 〔集韻〕須絹切 一母 xuan 去 霰

❶小さい流。〔集韻〕渲、小水。❷くまどり。畫法の名。うすい墨でぼかして畫き、遠近・高低等を表はす法。渲染。〔林泉高致〕搨以水墨、再三而淋之、謂之渲。〔宣和〕畫譜、三、李成は、きは、畫しが成墨を用ゐ、皴染は、搨以水墨、再三而淋之、謂之渲。〔林泉高致〕搨以水墨、再三而淋之、謂之渲。〔宣和〕畫譜、三、李成は、きは、畫しが成墨を用ゐ、皴染は、搨以水墨、再三而淋之、謂之渲。〔畫法〕すべて、畫法の方法。〔依田利隆〕『宋代世所珍異』。

【渴】 17788 カツ 〔集韻〕古末切 一母 kuo 入 曷 ケツ 〔集韻〕苦葛切 一母 ke 入 曷 カイ 〔集韻〕丘葛切 一母 kai 入 曷

❶かわく。歇（7－18404）に通ず。「說文通訓定聲」渴、假借為歇。❷のどがかわく。咽喉が熱して飲を欲する。〔玉篇〕渴、飲也。〔字彙〕渴、俗又作口。乾欲飲之義。〔詩、小雅、采薇〕載渴載飢。〔疏〕飢料がなくて苦しむ。〔晉書、苻天載記〕掌其水、彼既窮渴、自然投之。❸かわき。咽喉のかわくこと。〔詩、小雅、采薇〕載渴載飢。〔疏〕渴、水性。〔傳〕渴、竭也。❹いそぐ。いそぎ歩む。又、そのこと。〔傳名〕尋爽別、百月未滿而歸日。渴、歩也。〔注〕渴、喰急也。〔楚辭、九辯〕愁而不寧兮、長長而遠行。❺水が反り流れる。〔柳宗元、夜坐〕月高、渴水反流。〔柳宗元、流光〕渴、反也。〔集韻〕渴、流也。〔文選〕、古詩（6－14142）に作る。〔五音篇海〕渴、古文渴字。❻姓。〔萬姓統譜〕渴、見姓苑。❼つまる。かれる。水が涸れる。〔集韻〕渴、水竭聲。〔字彙〕渴、水涸也。〔周禮、地官、草人〕瘠土宜糞種、渴澤用麋。〔疏〕故時作、水、今乃渴也。❽竭。〔詩、小雅、巷伯〕渴、竭也。〔傳〕渴、竭也。〔疏〕故時作、〔方言〕、〔注〕杜子春讀渴為歇。〔疏〕歇、通作渴、亦作渴。〔疏〕以死者人所惡、故以和也、浴尸。便之者也。

【渴】 17788 ケツ 〔集韻〕古末切 一母 ke 入 曷

〔渴海〕すべて、川の名。源は吉林の源縣、一名、西流河。〔渴鹿〕〔素南山川志〕西流河、古渴水也、一名渴海。

【渴】 17788 カツ 〔集韻〕古末切 一母 kuo 入 曷

❶のむ。〔說文〕渴、飲歇也。从水渴聲。❷水のさま。〔廣韻〕渴、水皃。❸尸を洗ひきよめる。〔集韻〕渴、周禮、大祝、請浴尸也、一曰尸を洗ひ、和也を以て尸をあらひ清める。〔周禮、春官、小宗伯〕王葬、大肆、以和也、渴。〔注、杜子春讀渴為歇、以和也、浴尸。〔疏〕以死者人所惡、故以和也、浴尸。便之者也。

【渴】 17788 ケツ 〔集韻〕苦葛切 一母 ke 去 曷

〔渴海〕すべて、川の名。源は吉林の源縣、一名、西流河。〔渴鹿〕〔素南山川志〕西流河、古渴水也、一名渴海。

【渴】 17788 カイ 〔集韻〕丘葛切 一母 kai 去 曷

❶かわき。〔集韻〕渴、竭也。❷成は渴（4－9510）。〔集韻〕13－4 2318〕に作る。〔集韻〕渴、成皃。〔詩、小雅、大田、疏、天将陰雨、則地氣上騰蒸為雲、謂之渴、浸萬物之精氣也。〔集韻〕渴、浸萬物之精氣。

【渴】 17788 ケツ 〔集韻〕古末切 一母 ke 入 曷

同じ。〔集韻〕渴、水皃。

【渴】 17788 カツ 〔集韻〕古末切 一母 kuo 入 曷

同じ。〔集韻〕渴、水皃。

【渴】 17788 カイ 〔集韻〕丘葛切 一母 kai 入 曷

同じ。〔集韻〕渴、竭也。

【渴】 17788 ケツ 〔集韻〕苦葛切 一母 ke 去 曷

同じ。〔集韻〕渴、竭也。

【渴】 17788 ケツ 〔集韻〕苦葛切 一母 ke 去 曷

同じ。〔集韻〕渴、竭也。

【渴】 17788 カツ 〔集韻〕古末切 一母 kuo 入 曷

同じ。〔集韻〕渴、竭也。

【渴】 17788 カイ 〔集韻〕丘葛切 一母 kai 入

〔渴渴〕[illegible] のどが乾いた貌。〔渴驥奔泉〕泉を見よ。

〔渴驥奔泉〕[illegible] のどが乾いた貌馬が泉に向って走る。勢の甚だしい貌。〔渴渴〕[illegible] 〔渴渴〕書舟、四十二韻鏡、六韻鏡傳、神珠七、七、世宗石詩、[illegible]、[illegible]、[illegible]

淄 17789 ビウ ミウ

大水のさま。(集韻)漢交切 **眇**

漢 17790 エイ ヤウ

(集韻)於驕切 **匽**

川の名。(集韻)漢、水名。出青丘。

游 17791 エン

(集韻)洗切 **洗**

流 17792

㊀イウ (集韻)居切 **尤**

㊁ル (集韻)力求切 **虯**

㊂ジュ (集韻)在由切 **无**

游 17792

㊀**あそぶ**。①行く。歩む。(論語)述而:游于藝。(孟子)梁惠王上:吾未之聞也。是故明君制民之産、仰以事父母、俯以畜妻子、樂歲終身飽、凶年免於死亡。(荀子)王霸:故人主之道、明在於上、而下明在於下。(呂氏春秋)慎人:子路入見孔子、曰、……(史記)荀卿傳:游、學於齊。②ぶらぶら歩きまはる。さまよひ楽しむ。(荘子)人間世:吾未聞以己出游者也。(列子)楊朱:如三代之君、……(史記)荀卿傳:游、學於齊。③他郷に行く。他国に行って仕へる。(戰國策)秦策:聞吳人之游楚者。(注)游、仕。④交際する。つきあひ。(論語)季氏:益者三友、……損者三友、……。⑤遊説する。(史記)蘇秦傳:蘇秦、……。⑥他郷に行く。(論語)衛靈公:……。⑦遊説する。(戰國策)秦策:……。⑧遊説する。(戰國策)秦策:……。⑨遊説する。(戰國策)秦策:……。⑩遊説する。(戰國策)秦策:……。⑪遊説する。(戰國策)秦策:……。⑫遊説する。(戰國策)秦策:……。⑬遊説する。(戰國策)秦策:……。⑭遊説する。(戰國策)秦策:……。⑮遊説する。(戰國策)秦策:……。⑯遊説する。(戰國策)秦策:……。⑰遊説する。(戰國策)秦策:……。⑱遊説する。(戰國策)秦策:……。⑲遊説する。(戰國策)秦策:……。⑳遊説する。(戰國策)秦策:……。㉑遊説する。(戰國策)秦策:……。㉒遊説する。(戰國策)秦策:……。㉓遊説する。(戰國策)秦策:……。㉔遊説する。(戰國策)秦策:……。㉕遊説する。(戰國策)秦策:……。㉖遊説する。(戰國策)秦策:……。㉗遊説する。(戰國策)秦策:……。㉘遊説する。(戰國策)秦策:……。㉙遊説する。(戰國策)秦策:……。㉚遊説する。(戰國策)秦策:……。㉛遊説する。(戰國策)秦策:……。㉜遊説する。(戰國策)秦策:……。㉝遊説する。(戰國策)秦策:……。㉞遊説する。(戰國策)秦策:……。㉟遊説する。(戰國策)秦策:……。㊱遊説する。(戰國策)秦策:……。㊲遊説する。(戰國策)秦策:……。㊳遊説する。(戰國策)秦策:……。㊴遊説する。(戰國策)秦策:……。㊵遊説する。(戰國策)秦策:……。㊶遊説する。(戰國策)秦策:……。㊷遊説する。(戰國策)秦策:……。㊸遊説する。(戰國策)秦策:……。㊹遊説する。(戰國策)秦策:……。㊺遊説する。(戰國策)秦策:……。㊻遊説する。(戰國策)秦策:……。㊼遊説する。(戰國策)秦策:……。㊽遊説する。(戰國策)秦策:……。㊾遊説する。(戰國策)秦策:……。㊿遊説する。(戰國策)秦策:……。

水部 (九畫) 淄 漢 游 流 游

游。㉑楽しむ。心にかなふ。(正字通)游、自適也。㉒楽しむ。心にかなふ。(正字通)游者、玩物適情之謂。(司馬相如封禪文)厥壤可游。(注)游、遊也。㉓無游(相)。(荀子)成相:……。㉔あそばせる。使用する。仕事をしない。(荀子)成相:……。㉕あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㉖あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㉗あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㉘あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㉙あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㉚あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㉛あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㉜あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㉝あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㉞あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㉟あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㊱あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㊲あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㊳あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㊴あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㊵あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㊶あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㊷あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㊸あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㊹あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㊺あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㊻あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㊼あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㊽あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㊾あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。㊿あそばせる。使用する。(荀子)成相:……。

流 17793

流れる。①流れる。(荀子)王霸:……。②流れる。(荀子)王霸:……。③流れる。(荀子)王霸:……。④流れる。(荀子)王霸:……。⑤流れる。(荀子)王霸:……。⑥流れる。(荀子)王霸:……。⑦流れる。(荀子)王霸:……。⑧流れる。(荀子)王霸:……。⑨流れる。(荀子)王霸:……。⑩流れる。(荀子)王霸:……。⑪流れる。(荀子)王霸:……。⑫流れる。(荀子)王霸:……。⑬流れる。(荀子)王霸:……。⑭流れる。(荀子)王霸:……。⑮流れる。(荀子)王霸:……。⑯流れる。(荀子)王霸:……。⑰流れる。(荀子)王霸:……。⑱流れる。(荀子)王霸:……。⑲流れる。(荀子)王霸:……。⑳流れる。(荀子)王霸:……。㉑流れる。(荀子)王霸:……。㉒流れる。(荀子)王霸:……。㉓流れる。(荀子)王霸:……。㉔流れる。(荀子)王霸:……。㉕流れる。(荀子)王霸:……。㉖流れる。(荀子)王霸:……。㉗流れる。(荀子)王霸:……。㉘流れる。(荀子)王霸:……。㉙流れる。(荀子)王霸:……。㉚流れる。(荀子)王霸:……。㉛流れる。(荀子)王霸:……。㉜流れる。(荀子)王霸:……。㉝流れる。(荀子)王霸:……。㉞流れる。(荀子)王霸:……。㉟流れる。(荀子)王霸:……。㊱流れる。(荀子)王霸:……。㊲流れる。(荀子)王霸:……。㊳流れる。(荀子)王霸:……。㊴流れる。(荀子)王霸:……。㊵流れる。(荀子)王霸:……。㊶流れる。(荀子)王霸:……。㊷流れる。(荀子)王霸:……。㊸流れる。(荀子)王霸:……。㊹流れる。(荀子)王霸:……。㊺流れる。(荀子)王霸:……。㊻流れる。(荀子)王霸:……。㊼流れる。(荀子)王霸:……。㊽流れる。(荀子)王霸:……。㊾流れる。(荀子)王霸:……。㊿流れる。(荀子)王霸:……。

〔游役〕ｊｉｕ ｙｉ 使人に行くこと。（漢書・武帝紀）注師古曰、「游、謂行也」。

〔游宴〕ｙｏｕ ｙａｎ ●船遊び。●船遊びをしながらの宴。●水上で花火・市場・仮装・仮面・人形・歌舞・弟子・楽・酒・肴・菓・茶・煙草・水・火・木・金・土・日・月・星・辰・時・年・歴・暦・天・地・人・物・事・理・法・道・徳・仁・義・礼・智・信・孝・悌・忠・恕・愛・敬・誠・実・勇・剛・柔・温・良・恭・倹・譲・貞・潔・清・廉・正・直・公・平・明・暗・強・弱・大・小・高・低・長・短・広・狭・厚・薄・重・軽・速・遅・新・古・美・醜・善・悪・吉・凶・禍・福・生・死・苦・楽・喜・怒・哀・悲・愛・憎・恋・慕・嫉・妬・怨・恨・恥・辱・誉・貶・褒・毀・称・賞・罰・賞・罰・賞・罰

志)九月穀蔵天、日月夫色)(呉越春秋、夫差内伳、留(無)遊(補)鉄語)。游泉(孫綽、天台、三月三日、于会稽内、清流激湍、引流曲水、以祓除不祥。)(孫綽、游天台山賦)。蓼花(李白、秋日、于宣城、見二千石之政、)。蓼(孫綽、遊天台山賦)。蓼花(李白、秋日、于宣城、見二千石之政、)。

水部

游 【17792・54】 **游**。

游 【17792・55】 **游**。

游 【17792・56】 **游**。

游 【17792・57】 **游**。

游 【17792・58】 **游**。

游 【17792・59】 **游**。

游 【17792・60】 **游**。

游 【17792・61】 **游**。

游 【17792・62】 **游**。

游 【17792・63】 **游**。

游 【17792・64】 **游**。

游 【17792・65】 **游**。

游 【17792・66】 **游**。

游 【17792・67】 **游**。

游 【17792・68】 **游**。

游 【17792・69】 **游**。

游 【17792・70】 **游**。

游 【17792・71】 **游**。

游 【17792・72】 **游**。

游 【17792・73】 **游**。

游 【17792・74】 **游**。

游 【17792・75】 **游**。

游 【17792・76】 **游**。

游 【17792・77】 **游**。

游 【17792・78】 **游**。

游 【17792・79】 **游**。

游 【17792・80】 **游**。

游 【17792・81】 **游**。

游 【17792・82】 **游**。

游 【17792・83】 **游**。

游 【17792・84】 **游**。

游 【17792・85】 **游**。

游 【17792・86】 **游**。

游 【17792・87】 **游**。

游 【17792・88】 **游**。

游 【17792・89】 **游**。

游 【17792・90】 **游**。

游 【17792・91】 **游**。

游 【17792・92】 **游**。

游 【17792・93】 **游**。

に環は所解馬の背に游在し所解馬が外方に廻くの心を制する用なり。(詩〈案〉、小雅、菁莪篇、「泛泛楊舟、載沈載浮」)。游在、游環、輪環也。以上所以御馬也。案傳、游環、輪環也。以上所以御馬也。案傳、游環、輪環也。以上所以御馬也。案傳

修文〔宋朝修撰〕・紀聞資逸

〔游説〕四 ・あそびたのしむ。〔蜀図経歌詩五嫁行編〕至二百所好・游説。〔後漢書・明帝紀〕宜二自・省。〔後漢書・安帝紀〕・遊・嬉。〔説苑・中山篇〕・遊・食・〔後漢書・皇后紀〕・賓・客。〔張華・答何劉・詩〕・百・日・明・游・説。〔後漢書・郭政傳〕・ふりつ・こと。〔後漢書・郭政傳・皆乞・敵行・善・理。〔説苑・指武篇〕・遊・説・

〔游乞〕四 ・ふりつ・こと。〔後漢書・郭政傳・皆乞・敵行・善・理。

〔游説〕四 ・遊・説。〔説苑・指武篇〕・遊・説・

連綿語。疑即此字也。

【游鱗】『説文』『玄』『玉』『篇』『韻』『集』『字』『類』『廣』『韻』『集』『字』『類』『廣』『韻』『集』『字』『類』『廣

地矣。長以十九年而刃若新發於硎。

〔游水〕〔ユウスイ〕水に泳ぐ。「曾子、輕重篇中」答曰、能游者釣之子矣、未能用也。●泳・游同。「呂氏春秋、不苟論、離俗覽」●魚性、〔萬物性類〕游水類根・武帝傳〕

〔游水類〕〔ユウスイルイ〕動物分類術用語。「名、鮫類、水生、游生、鱗者」「後漢書、曹節傳」「太平御覽」

〔游生〕〔ユウセイ〕遊字の省字。「後漢書、曹節傳」「太平御覽」

〔游星〕〔ユウセイ〕太陽の別名。「太平御覽」

〔游星〕〔ユウセイ〕「魏略の社の鳴聲」「初學記、獸部」

〔游何法〕〔ユウかほう〕「初學記、獸部」

〔游社〕〔ユウシャ〕「魏略の社の鳴聲」「初學記、獸部」

〔游精〕〔ユウセイ〕「後漢書、曹節傳」「太平御覽」

〔游精子〕〔ユウセイシ〕遊字の省字。「後漢書、曹節傳」「太平御覽」

〔游星〕〔ユウセイ〕太陽の別名。「太平御覽」

〔游星〕〔ユウセイ〕「魏略の社の鳴聲」「初學記、獸部」

〔游何法〕〔ユウかほう〕「初學記、獸部」

〔游社〕〔ユウシャ〕「魏略の社の鳴聲」「初學記、獸部」

〔游精〕〔ユウセイ〕「後漢書、曹節傳」「太平御覽」

〔游精子〕〔ユウセイシ〕遊字の省字。「後漢書、曹節傳」「太平御覽」

〔游精子〕〔ユウセイシ〕

室名。

〔游隨〕 ㊀ 人名。游行の見師。(孔穎達、北山移文)

〔游說〕 ㊀ 遊説。説客。(孟子、滕文公下)

〔游歌〕 ㊀ 共に遊んだ日を思起してなげく。(李白、懷古遊荊門)

〔游歌〕 ㊀ 遊説。西漢末、蜀人嚴君平の字。(漢書、王莽傳)

〔游歌〕 ㊀ 歌を楽しむ人。樂人。伶人。(李白、懷古遊荊門)

〔游騎〕 ㊀ 騎使。行方定まらぬ騎兵。(漢書、李廣蘇建傳)

〔游騎〕 ㊀ ●遊説の君主に説きまはること。(荀子、堯問)

〔游騎〕 ㊀ ●遊説の君主に説きまはることから出たかせを言ひ、でたらめのことを言ひ、又、其の言説。でたらめ。(後漢書、馮衍傳)

〔游騎〕 ㊀ ●遊説の士のことを言ひ、又、でたらめのことを言ひ、又、其の言説。でたらめ。(後漢書、馮衍傳)

〔游騎〕 ㊀ ●遊説の士

島、送霜雪上人詩）遍參雲霧而游久、名譽益聞、此公、（傳燈錄入法章）遊游方、遇師澤師、示無念宗、後住京師、見道。

游放 ▽ 放、縱也。●游放之民、（孔子家語）孔子適衛、遭顏濁鄒、顏濁鄒曰、善哉、子之言、吾聞之、子之言、吾聞之、子之言、吾聞之

〔游擢 ㄧㄡˊ ㄓㄨㄛˊ〕●帝王の游幸。〔孟子、梁惠王下〕「夏諺曰、吾王不豫、我何以游。吾王不豫、吾何以擢。」〔呂氏春秋、諭樂〕「王之遊時、諸侯慎度（法）」●王室巡狩。民、其行從容若、游若擢。●魏志、費禕伝「魏氏、無有遠略、游擢之事」。

〔遊戯 ㄧㄡˊ ㄒㄧˋ〕●遊び。●遊び戯れること。〔孟子、離婁上〕「無禮義、則上下亂、是猶無工匠之器也。……為政者、……遊戯而已矣。」●遊び戯れるもの。〔後漢書、馬援伝〕「……為人……遊戯……

〔蘭臺法曹錄、二〕本朝分省人物攷、六十二〕

〔游師雄、八〕字は景仁、張敞の弟子。進士。吐番を破り、丸泰を擒にす。累官して、龍圖閣直学士、機密直学士に進む。著書、百三十二〔宋史新編、百十二〕、東都事略、九百三十二〔宋史新編、百十二〕、東都事略、九〕

〔游次公、八〕字は子正、号は子明。范成大は其を「大も可に足る時、隱逸に学ぶ。唱和の詩を作る。」と言う。明、著用人、字は學齋、嘉靖の進士。官は南京刑部尚書。著書は詩編龍山集。

〔游定夫、八〕字は仲平、号は龜山。諡は文靖。著書は龜山集、百一十七〕

〔四庫提要、百一十七〕

〔游酢、八〕字は子正、諡は定。孝和雄逸なるも、早世。著書は游定夫集、百一十八〕

〔四庫提要、百一十八〕

〔游師雄、八〕字は仲平、号は龜山。諡は文靖。著書は龜山集、百一十七〕

〔四庫提要、百一十七〕

〔游酢、八〕字は子正、諡は定。孝和雄逸なるも、早世。著書は游定夫集、百一十八〕

〔四庫提要、百一十八〕

〔游中行、八〕宋、南宋の人。字は直卿。隆興の進士。官は刑部尚書。著書は龍川集、十二〕

〔游次公、八〕宋、南宋の人。字は子正。諡は定。著書は游定夫集、百一十八〕

〔四庫提要、百一十八〕

〔游酢、八〕宋、南宋の人。字は子正。諡は定。孝和雄逸なるも、早世。著書は游定夫集、百一十八〕

〔四庫提要、百一十八〕

〔游師雄、八〕字は仲平、号は龜山。諡は文靖。著書は龜山集、百一十七〕

〔四庫提要、百一十七〕

〔游酢、八〕字は子正、諡は定。孝和雄逸なるも、早世。著書は游定夫集、百一十八〕

〔四庫提要、百一十八〕

〔游中行、八〕宋、南宋の人。字は直卿。隆興の進士。官は刑部尚書。著書は龍川集、十二〕

〔游次公、八〕宋、南宋の人。字は子正。諡は定。著書は游定夫集、百一十八〕

〔四庫提要、百一十八〕

〔游酢、八〕宋、南宋の人。字は子正。諡は定。孝和雄逸なるも、早世

𣶒 小 ※ **①はぶく。**へす。誠省。省(8・23・179)・諸(8・6489)に同じ。(説文)省、少減也。从小从目。(段注)今減省之字、當作𣶒。古今字也。女部又曰、諸者減也。諸・𣶒音義皆同。**②門。**門。(説文)𣶒、水門也。**③水門。**ひ。(説文)𣶒、水門也。**④丘の一。**前に用の名。(玉篇)𣶒、丘名。**⑤丘の一。**前に用の名。(玉篇)𣶒、丘名。又水出丘前。請之𣶒丘。(廣韻)𣶒、一曰、水名。**⑥姓。**姓氏書辯通)左傳舜大夫𣶒蔑之後。**⑦**或は𣶒(7・18038)に作る。(集韻)𣶒、或作𣶒。

渼 17796 ビ (集韻)武尾切 [紙] mei.

①波。又、波のあや。(集韻)渼、水波。(類篇)渼、水波文也。**②川の名。**(集韻)渼、水名。在京兆。**③池の名。**(集韻)渼、杜陵、李參軍に贈答の詩がある。(水經・渭水注)渼陂水出宣春觀北、東北流注。湧水。(十道志)水五味、陂在鄠縣西四五里。周十四里、渼陂在鄠縣西四五里。**④姓。**(萬姓統譜)渼、見。姓苑。(渼陂統譜)渼、見。姓苑。

滅 17797 サイ (集韻)蒲米切 [霽]

①川の名。今の大渡河、或は、沒(6・1275)に作り、誤って復(6・175338)に作る。(集韻)滅、水名、或作沒。(段注本、說文)沒、出蜀宜汶徼外、東南入江、从水蔑聲。(段注)各本篆作滅、誤解作我聲。音五何切、字之誤也、今更正。**②**蔑(7・1298)の略。(篇海類編、高麗本)蔑字及案隴武切。**③姓。**(通志、氏族略)、以名爲氏。(漢氏、左傳、鄭大夫滅字、衛滅臣大、又唐表氏、氏族略氏改爲、又唐表氏、出自、匈奴(漢書王二、陳、初、疏氏、(注)南匈奴、因以爲氏、**④**まとも。(廣韻)滅、匠別がない、分ねぬまま。(漢書、劉向傳)賢不肖滅殺。(注)滅、不、殺之殺。**⑤**ひとしい。(廣韻)滅、(注)滅、不、殺之殺。(韓子、二柱)滅人我、同天地。(孫綽、遊天台山賦)滅萬象、以笑觀。(注)善曰、滅、齊萬物。**⑥**滅、まったく。(漢書、郊祀志)滅、完全である。(元史、歷志二)天體圓、**⑦**すべて。まったく。(杜甫、春望詩)滅、不、勝簪。**⑧**大きい。(班固、幽通賦)滅元運之物、流不、處兮。(注)善曰、曹大家曰、滅、大也。**⑨**さかんなようす。(方言二)滅、盛也。(注)所謂滅、肥滅也。**⑩**おちる。**⑪**おちさせる。(附雅、釋詁)滅、墜也。(注)沈、滅、墜落貌。**⑫**水のゆたかに流れるさま。(説文)滅、大水流皃、或作、混、滅。**⑬**滅は、おろか、劣に、(7・1298)に通ず。(集韻)滅、劣低、不、慧也。(漢書、揚雄傳)、滅、(注)滅、不、慧也。

渭 小 ※ **①**にごる。にごす。(廣韻)渭、濁(老子、十五)渭兮其若濁。(新論、防欲)水之性清、所以濁者、土渭、之也。**②水のおと。**③水の亂れ流れる音。水の集まり流れる音。(段注)渭、混雜聲也、从水車聲。(段注)渭、混雜聲也。**④**水の湧出る音。(玉篇)渭、水湧清之聲也。**⑤あつまる。**(廣韻)渭、集也。(説文)渭、水湧清之聲也。(玉篇)渭、水湧清之聲也。**⑥**水の流れる音。(玉篇)渭、流音。(説文)渭、水流聲也。**⑦**ひとしい。(廣韻)渭、同也。(説文)渭、水流聲也。**⑧**水のゆたかに流れるさま。(説文)渭、混、流、或作、混、渭。**⑨**水の流れる音。(説文)渭、水流聲也。(廣韻)渭、水流聲也。(説文)渭、水流聲也。(廣韻)渭、水流聲也。(説文)渭、水流聲也。(廣韻)渭、水流聲也

淵澤・潭潭獄・潭潭・鼎錄・鼎錄獄・〔袁機〕・蕃之奏事兄南録・録造・〔三録〕・三録・〔三録〕・三録・〔三録〕・三録

(17800··55)——(17800··84)

言：『其體渾涵說，也，則時人有：此語，可知：三國志，子建見：郎顗傳，杜鵑相根，正相類，渾說也。●舞之名（『舞序者，舞序，中宗歌舞，近臣及伶人學士，與之宴集，云云，時作大樂宗曾，開舞序，宗曾，舞序，舞序，古文苑事實天生，何必要，公羊大夢，渾說舞，（『東洛通鑑，唐紀）（中宗，景龍二年，時作大樂，舞序，舞渾說，（注）長孫無忌，以烏羊毛，爲，渾說，舞，鞋，人多效之，謂之，渾說，鞋，（唐書，五行志，（長孫無忌，作，之，羊毛，爲，渾說，舞，鞋，人多效之，謂之，渾說，鞋，●多效之，謂之，渾說，（『晉鄭，『晉書，『晉書，『晉書

身家是憑。明時所用書籍。蔡鎮。

【潭精之】ﾀﾝ 唐、廣州の人。精子あり。明太守聞一村は常州郡に至る。聞は開元間二司戦の結果武に殺す。『唐書』、百九十五、『舊唐書』、百九十三。

【潭合吉】ﾀﾝｶｳｷﾁ 明、巴蜀醫師。合吉(❹-9745-1)。

【潭不似】ﾀﾝﾌｼﾞ 紫色の名。其の形、琵琶に似てみる。馬の王昭君の顔に似たので、胡人にこれを似せて作らせたが、昭君之を見て大不悪といった。境現代酔編、巻三十六に見ゆ。(長安客話)『元朝名臣事実』、巻十五に見ゆ。『潭平話』、『潭平話』、『潭平話』、

澧澧縣。州北百里。本漢州之苦竹縣。三里三峰地。基壘。縣。二十七郷。隰者以水溜罩。隰除要。統於郡。郡於州。州領郡。郡領縣。縣領郷。郷領郷。郷領郷。郷

調)丞世淫溪學。(注)溪、趨也。(太玄經、玄攡)攡溪窮數。(注)溪、ふむ。❸むく。向ふ。(體、檀弓上、伯母以端長六尺、注)以端、端溪也。(礼記、檀弓上)❹はだのきめ。亦、膝(溪也、一26270)に作る。(文心雕龍、養氣)通流潛轉、字亦作膝。(文心雕龍、神思)神無滯、思入神表。(8-1931)に作る。(集韻)溪、或作〻奚。❺圓冷笑する。ひやかす。

〔溪巧〕ケイ kei, kei-ru, kei-ri 拒媚(家の)淫巧。(詩見媚)。

〔溪巧事〕ケイ kei, kei-ru, kei-ri 都合よく。(桃花扇、清明)。

〔溪巧事〕ケイ kei, kei-ru, kei-ri 都合のよいこと。(紅樓夢、十二回)事例溪巧、正有個美缺。

〔溪江〕ケイ kei 港に進なつた人江。(古今和歌集、雜上、序)江のまに過ぎやぬ溪江の。

〔溪學〕ケイ kei 學におりむく。(淮南子、精神訓)

〔溪合〕ケイ kei, kei-ru 一致に合せる。やりくり。(清會)。❷あつまる。あつまる。やりくり。❸近寄る。❹あつまる。(論語、力行)御

〔溪會〕ケイ kei, kei-ru 一致に合せて集。(陶宏景、陶隱居集、序)。

〔溪九〕ケイ kei 姓氏。(新唐書、宰相世系表)

〔溪紙〕ケイ kei 宿紙。(枯木な紙、和泉國泉村で製したかないふ。(紀色、代男、二)みなと紙の

〔溪集〕ケイ kei 溪紙(一26)に同じ。(清會典事例、戶部、課稅、茶奴逃亡、亦有隨地溪集之給)

〔溪自行〕ケイ kei 自行。(西鶴、男一、書簿手の)。

〔溪手〕ケイ kei, kei-ru 手に入れる。手にはいる。❷ふるはせる。ふるはす。

〔溪地〕ケイ kei 多人數集つて色々な面白いことをする。ふざける。

〔溪面〕ケイ kei, kei-ru 面白可笑しくする。ふざける。

〔溪梁〕ケイ kei, kei-ru あつまる。よる。輻湊。(杜樓夢、三十三)無然起來、溪梁在一處。

〔溪出〕ケイ kei, kei-ru あつまつてあらはれ出る。(張敞、勇智、自紀樓書)。

〔溪出〕ケイ kei, kei-ru 一度に出る。(張敞、勇智、自紀樓書)。

〔溪鴻〕ケイ kei 水が多くあつまる。(淮南子、說山訓)。

〔溪鴻氣〕ケイ kei, shin 善い品のうちに惡い品を挿入する。

〔溪飾〕ケイ kei, shin 善い品のうちに惡い品を挿入する。

〔溪成〕ケイ kei, ka-ru ❶すべて集め上げる。(紅樓夢、四十回)賞賜溪成(二部選、五台)。❷一所にあつめる。(福惠全書、刑名部、人命)。(鮑令輝、刑)

〔溪會〕ケイ kei, kai-ru 一所にあつまること。(溪會、清進志)。水行、地上、溪請上敷、民則病、溪鴻氣。

〔溪物〕ケイ kei, mono 善い品のうちに惡い品を挿入する。

〔溪物〕ケイ kei, mono 所要の數を集める。

〔溪物〕ケイ kei, mono 所要の數を集める。

〔溪物〕ケイ kei, mono 所要の數を集める

稔白見。候命既来。若鄭仍進。村種。外久之邪生万至時。清江縣北。湍流之自。鍵。劇風。錦。清差。中使。送上表陟。水神湍陽之途。皆。

夫曩聲蒸之鍵。

【湍】[1]①[2]①[3]①[4]①[5]①[6]①[7]①[8]①[9]①[10]①[11]①[12]①[13]①[14]①[15]①[16]①[17]①[18]①[19]①[20]①[21]①[22]①[23]①[24]①[25]①[26]①[27]①[28]①[29]①[30]①[31]①[32]①[33]①[34]①[35]①[36]①[37]①[38]①[39]①[40]①[41]①[42]①[43]①[44]①[45]①[46]①[47]①[48]①[49]①[50]①[51]①[52]①[53]①[54]①[55]①[56]①[57]①[58]①[59]①[60]①[61]①[62]①[63]①[64]①[65]①[66]①[67]①[68]①[69]①[70]①[71]①[72]①[73]①[74]①[75]①[76]①[77]①[78]①[79]①[80]①[81]①[82]①[83]①[84]①[85]①[86]①[87]①[88]①[89]①[90]①[91]①[92]①[93]①[94]①[95]①[96]①[97]①[98]①[99]①[100]①[101]①[102]①[103]①[104]①[105]①[106]①[107]①[108]①[109]①[110]①[111]①[112]①[113]①[114]①[115]①[116]①[117]①[118]①[119]①[120]①[121]①[122]①[123]①[124]①[125]①[126]①[127]①[128]①[129]①[130]①[131]①[132]①[133]①[134]①[135]①[136]①[137]①[138]①[139]①[140]①[141]①[142]①[143]①[144]①[145]①[146]①[147]①[148]①[149]①[150]①[151]①[152]①[153]①[154]①[155]①[156]①[157]①[158]①[159]①[160]①[161]①[162]①[163]①[164]①[165]①[166]①[167]①[168]①[169]①[170]①[171]①[172]①[173]①[174]①[175]①[176]①[177]①[178]①[179]①[180]①[181]①[182]①[183]①[184]①[185]①[186]①[187]①[188]①[189]①[190]①[191]①[192]①[193]①[194]①[195]①[196]①[197]①[198]①[199]①[200]①[201]①[202]①[203]①[204]①[205]①[206]①[207]①[208]①[209]①[210]①[211]①[212]①[213]①[214]①[215]①[216]①[217]①[218]①[219]①[220]①[221]①[222]①[223]①[224]①[225]①[226]①[227]①[228]①[229]①[230]①[231]①[232]①[233]①[234]①[235]①[236]①[237]①[238]①[239]①[240]①[241]①[242]①[243]①[244]①[245]①[246]①[247]①[248]①[249]①[250]①[251]①[252]①[253]①[254]①[255]①[256]①[257]①[258]①[259]①[260]①[261]①[262]①[263]①[264]①[265]①[266]①[267]①[268]①[269]①[270]①[271]①[272]①[273]①[274]①[275]①[276]①[277]①[278]①[279]①[280]①[281]①[282]①[283]①[284]①[285]①[286]①[287]①[288]①[289]①[290]①[291]①[292]①[293]①[294]①[295]①[296]①[297]①[298]①[299]①[300]①[301]①[302]①[303]①[304]①[305]①[306]①[307]①[308]①[309]①[310]①[311]①[312]①[313]①[314]①[315]①[316]①[317]①[318]①[319]①[320]①[321]①[322]①[323]①[324]①[325]①[326]①[327]①[328]①[329]①[330]①[331]①[332]①[333]①[334]①[335]①[336]①[337]①[338]①[339]①[340]①[341]①[342]①[343]①[344]①[345]①[346]①[347]①[348]①[349]①[350]①[351]①[352]①[353]①[354]①[355]①[356]①[357]①[358]①[359]①[360]①[361]①[362]①[363]①[364]①[365]①[366]①[367]①[368]①[369]①[370]①[371]①[372]①[373]①[374]①[375]①[376]①[377]①[378]①[379]①[380]①[381]①[382]①[383]①[384]①[385]①[386]①[387]①[388]①[389]①[390]①[391]①[392]①[393]①[394]①[395]①[396]①[397]①[398]①[399]①[400]①[401]①[402]①[403]①[404]①[405]①[406]①[407]①[408]①[409]①[410]①[411]①[412]①[413]①[414]①[415]①[416]①[417]①[418]①[419]①[420]①[421]①[422]①[423]①[424]①[425]①[426]①[427]①[428]①[429]①[430]①[431]①[432]①[433]①[434]①[435]①[436]①[437]①[438]①[439]①[440]①[441]①[442]①[443]①[444]①[445]①[446]①[447]①[448]①[449]①[450]①[451]①[452]①[453]①[454]①[455]①[456]①[457]①[458]①[459]①[460]①[461]①[462]①[463]①[464]①[465]①[466]①[467]①[468]①[469]①[470]①[471]①[472]①[473]①[474]①[475]①[476]①[477]①[478]①[479]①[480]①[481]①[482]①[483]①[484]①[485]①[486]①[487]①[488]①[489]①[490]①[491]①[492]①[493]①[494]①[495]①[496]①[497]①[498]①[499]①[500]①[501]①[502]①[503]①[504]①[505]①[506]①[507]①[508]①[509]①[510]①[511]①[512]①[513]①[514]①[515]①[516]①[517]①[518]①[519]①[520]①[521]①[522]①[523]①[524]①[525]①[526]①[527]①[528]①[529]①[530]①[531]①[532]①[533]①[534]①[535]①[536]①[537]①[538]①[539]①[540]①[541]①[542]①[543]①[544]①[545]①[546]①[547]①[548]①[549]①[550]①[551]①[552]①[553]①[554]①[555]①[556]①[557]①[558]①[559]①[560]①[561]①[562]①[563]①[564]①[565]①[566]①[567]①[568]①[569]①[570]①[571]①[572]①[573]①[574]①[575]①[576]①[577]①[578]①[579]①[580]①[581]①[582]①[583]①[584]①[585]①[586]①[587]①[588]①[589]①[590]①[591]①[592]①[593]①[594]①[595]①[596]①[597]①[598]①[599]①[600]①[601]①[602]①[603]①[604]①[605]①[606]①[607]①[608]①[609]①[610]①[611]①[612]①[613]①[614]①[615]①[616]①[617]①[618]①[619]①[620]①[621]①[622]①[623]①[624]①[625]①[626]①[627]①[628]①[629]①[630]①[631]①[632]①[633]①[634]①[635]①[636]①[637]①[638]①[639]①[640]①[641]①[642]①[643]①[644]①[645]①[646]①[647]①[648]①[649]①[650]①[651]①[652]①[653]①[654]①[655]①[656]①[657]①[658]①[659]①[660]①[661]①[662]①[663]①[664]①[665]①[666]①[667]①[668]①[669]①[670]①[671]①[672]①[673]①[674]①[675]①[676]①[677]①[678]①[679]①[680]①[681]①[682]①[683]①[684]①[685]①[686]①[687]①[688]①[689]①[690]①[691]①[692]①[693]①[694]①[695]①[696]①[697]①[698]①[699]①[700]①[701]①[702]①[703]①[704]①[705]①[706]①[707]①[708]①[709]①[710]①[711]①[712]①[713]①[714]①[715]①[716]①[717]①[718]①[719]①[720]①[721]①[722]①[723]①[724]①[725]①[726]①[727]①[728]①[729]①[730]①[731]①[732]①[733]①[734]①[735]①[736]①[737]①[738]①[739]①[740]①[741]①[742]①[743]①[744]①[745]①[746]①[747]①[748]①[749]①[750]①[751]①[752]①[753]①[754]①[755]①[756]①[757]①[758]①[759]①[760]①[761]①[762]①[763]①[764]①[765]①[766]①[767]①[768]①[769]①[770]①[771]①[772]①[773]①[774]①[775]①[776]①[777]①[778]①[779]①[780]①[781]①[782]①[783]①[784]①[785]①[786]①[787]①[788]①[789]①[790]①[791]①[792]①[793]①[794]①[795]①[796]①[797]①[798]①[799]①[800]①[801]①[802]①[803]①[804]①[805]①[806]①[807]①[808]①[809]①[810]①[811]①[812]①[813]①[814]①[815]①[816]①[817]①[818]①[819]①[820]①[821]①[822]①[823]①[824]①[825]①[826]①[827]①[828]①[829]①[830]①[831]①[832]①[833]①[834]①[835]①[836]①[837]①[838]①[839]①[840]①[841]①[842]①[843]①[844]①[845]①[846]①[847]①[848]①[849]①[850]①[851]①[852]①[853]①[854]①[855]①[856]①[857]①[858]①[859]①[860]①[861]①[862]①[863]①[864]①[865]①[866]①[867]①[868]①[869]①[870]①[871]①[872]①[873]①[874]①[875]①[876]①[877]①[878]①[879]①[880]①[881]①[882]①[883]①[884]①[885]①[886]①[887]①[888]①[889]①[890]①[891]①[892]①[893]①[894]①[895]①[896]①[897]①[898]①[899]①[900]①[901]①[902]①[903]①[904]①[905]①[906]①[907]①[908]①[909]①[910]①[911]①[912]①[913]①[914]①[915]①[916]①[917]①[918]①[919]①[920]①[921]①[922]①[923]①[924]①[925]①[926]①[927]①[928]①[929]①[930]①[931]①[932]①[933]①[934]①[935]①[936]①[937]①[938]①[939]①[940]①[941]①[942]①[943]①[944]①[945]①[946]①[947]①[948]①[949]①[950]①[951]①[952]①[953]①[954]①[955]①[956]①[957]①[958]①[959]①[960]①[961]①[962]①[963]①[964]①[965]①[966]①[967]①[968]①[969]①[970]①[971]①[972]①[973]①[974]①[975]①[976]①[977]①[978]①[979]①[980]①[981]①[982]①[983]①[984]①[985]①[986]①[987]①[988]①[989]①[990]①[991]①[992]①[993]①[994]①[995]①[996]①[997]①[998]①[999]①[1000]①[1001]①[1002]①[1003]①[1004]①[1005]①[1006]①[1007]①[1008]①[1009]①[1010]①[1011]①[1012]①[1013]①[1014]①[1015]①[1016]①[1017]①[1018]①[1019]①[1020]①[1021]①[1022]①[1023]①[1024]①[1025]①[1026]①[1027]①[1028]①[1029]①[1030]①[1031]①[1032]①[1033]①[1034]①[1035]①[1036]①[1037]①[1038]①[1039]①[1040]①[1041]①[1042]①[1043]①[1044]①[1045]①[1046]①[1047]①[1048]①[1049]①[1050]①[1051]①[1052]①[1053]①[1054]①[1055]①[1056]①[1057]①[1058]①[1059]①[1060]①[1061]①[1062]①[1063]①[1064]①[1065]①[1066]①[1067]①[1068]①[1069]①[1070]①[1071]①[1072]①[1073]①[1074]①[1075]①[1076]①[1077]①[1078]①[1079]①[1080]①[1081]①[1082]①[1083]①[1084]①[1085]①[1086]①[1087]①[1088]①[1089]①[1090]①[1091]①[1092]①[1093]①[1094]①[1095]①[1096]①[1097]①[1098]①[1099]①[1100]①[1101]①[1102]①[1103]①[1104]①[1105]①[1106]①[1107]①[1108]①[1109]①[1110]①[1111]①[1112]①[1113]①[1114]①[1115]①[1116]①[1117]①[1118]①[1119]①[1120]①[1121]①[1122]①[1123]①[1124]①[1125]①[1126]①[1127]①[1128]①[1129]①[1130]①[1131]①[1132]①[1133]①[1134]①[1135]①[1136]①[1137]①[1138]①[1139]①[1140]①[1141]①[1142]①[1143]①[1144]①[1145]①[1146]①[1147]①[1148]①[1149]①[1150]①[1151]①[1152]①[1153]①[1154]①[1155]①[1156]①[1157]①[1158]①[1159]①[1160]①[1161]①[1162]①[1163]①[1164]①[1165]①[1166]①[1167]①[1168]①[1169]①[1170]①[1171]①[1172]①[1173]①[1174]①[1175]①[1176]①[1177]①[1178]①[1179]①[1180]①[1181]①[1182]①[1183]①[1184]①[1185]①[1186]①[1187]①[1188]①[1189]①[1190]①[1191]①[1192]①[1193]①[1194]①[1195]①[1196]①[1197]①[1198]①[1199]①[1200]①[1201]①[1202]①[1203]①[1204]①[1205]①[1206]①[1207]①[1208]①[1209]①[1210]①[1211]①[1212]①[1213]①[1214]①[1215]①[1216]①[1217]①[1218]①[1219]①[1220]①[1221]①[1222]①[1223]①[1224]①[1225]①[1226]①[1227]①[1228]①[1229]①[1230]①[1231]①[1232]①[1233]①[1234]①[1235]①[1236]①[1237]①[1238]①[1239]①[1240]①[1241]①[1242]①[1243]①[1244]①[1245]①[1246]①[1247]①[1248]①[1249]①[1250]①[1251]①[1252]①[1253]①[1254]①[1255]①[1256]①[1257]①[1258]①[1259]①[1260]①[1261]①[1262]①[1263]①[1264]①[1265]①[1266]①[1267]①[1268]①[1269]①[1270]①[1271]①[1272]①[1273]①[1274]①[1275]①[1276]①[1277]①[1278]①[1279]①[1280]①[1281]①[1282]①[1283]①[1284]①[1285]①[1286]①[1287]①[1288]①[1289]①[1290]①[1291]①[1292]①[1293]①[1294]①[1295]①[1296]①[1297]①[1298]①[1299]①[1300]①[1301]①[1302]①[1303]①[1304]①[1305]①[1306]①[1307]①[1308]①[1309]①[1310]①[1311]①[1312]①[1313]①[1314]①[1315]①[1316]①[1317]①[1318]①[1319]①[1320]①[1321]①[1322]①[1323]①[1324]①[1325]①[1326]①[1327]①[1328]①[1329]①[1330]①[1331]①[1332]①[1333]①[1334]①[1335]①[1336]①[1337]①[1338]①[1339]①[1340]①[1341]①[1342]①[1343]①[1344]①[1345]①[1346]①[1347]①[1348]①[1349]①[1350]①[1351]①[1352]①[1353]①[1354]①[1355]①[1356]①[1357]①[1358]①[1359]①[1360]①[1361]①[1362]①[1363]①[1364]①[1365]①[1366]①[1367]①[1368]①[1369]①[1370]①[1371]①[1372]①[1373]①[1374]①[1375]①[1376]①[1377]①[1378]①[1379]①[1380]①[1381]①[1382]①[1383]①[1384]①[1385]①[1386]①[1387]①[1388]①[1389]①[1390]①[1391]①[1392]①[1393]①[1394]①[1395]①[1396]①[1397]①[1398]①[1399]①[1400]①[1401]①[1402]①[1403]①[1404]①[1405]①[1406]①[1407]①[1408]①[1409]①[1410]①[1411]①[1412]①[1413]①[1414]①[1415]①[1416]①[1417]①[1418]①[1419]①[1420]①[1421]①[1422]①[1423]①[1424]①[1425]①[1426]①[1427]①[1428]①[1429]①[1430]①[1431]①[1432]①[1433]①[1434]①[1435]①[1436]①[1437]①[1438]①[1439]①[1440]①[1441]①[1442]①[1443]①[1444]①[1445]①[1446]①[1447]①[1448]①[1449]①[1450]①[1451]①[1452]①[1453]①[1454]①[1455]①[1456]①[1457]①[1458]①[1459]①[1460]①[1461]①[1462]①[1463]①[1464]①[1465]①[1466]①[1467]①[1468]①[1469]①[1470]①[1471]①[1472]①[1473]①[1474]①[1475]①[1476]①[1477]①[1478]①[1479]①[1480]①[1481]①[1482]①[1483]①[1484]①[1485]①[1486]①[1487]①[1488]①[1489]①[1490]①[1491]①[1492]①[1493]①[1494]①[1495]①[1496]①[1497]①[1498]①[1499]①[1500]①[1501]①[1502]①[1503]①[1504]①[1505]①[1506]①[1507]①[1508]①[1509]①[1510]①[1511]①[1512]①[1513]①[1514]①[1515]①[1516]①[1517]①[1518]①[1519]①[1520]①[1521]①[1522]①[1523]①[1524]①[1525]①[1526]①[1527]①[1528]①[1529]①[1530]①[1531]①[1532]①[1533]①[1534]①[1535]①[1536]①[1537]①[1538]①[1539]①[1540]①[1541]①[1542]①[1543]①[1544]①[1545]①[1546]①[1547]①[1548]①[1549]①[1550]①[1551]①[1552]①[1553]①[1554]①[1555]①[1556]①[1557]①[1558]①[1559]①[1560]①[1561]①[1562]①[1563]①[1564]①[1565]①[1566]①[1567]①[1568]①[1569]①[1570]①[1571]①[1572]①[1573]①[1574]①[1575]①[1576]①[1577]①[1578]①[1579]①[1580]①[1581]①[1582]①[1583]①[1584]①[1585]①[1586]①[1587]①[1588]①[1589]①[1590]①[1591]①[1592]①[1593]①[1594]①[1595]①[1596]①[1597]①[1598]①[1599]①[1600]①[1601]①[1602]①[1603]①[1604]①[1605]①[1606]①[1607]①[1608]①[1609]①[1610]①[1611]①[1612]①[1613]①[1614]①[1615]①[1616]①[1617]①[1618]①[1619]①[1620]①[1621]①[1622]①[1623]①[1624]①[1625]①[1626]①[1627]①[1628]①[1629]①[1630]①[1631]①[1632]①[1633]①[1634]①[1635]①[1636]①[1637]①[1638]①[1639]①[1640]①[1641]①[1642]①[1643]①[1644]①[1645]①[1646]①[1647]①[1648]①[1649]①[1650]①[1651]①[1652]①[1653]①[1654]①[1655]①[1656]①[1657]①[1658]①[1659]①[1660]①[1661]①[1662]①[1663]①[1664]①[1665]①[1666]①[1667]①[1668]①[1669]①[1670]①[1671]①[1672]①[1673]①[1674]①[1675]①[1676]①[1677]①[1678]①[1679]①[1680]①[1681]①[1682]①[1683]①[1684]①[1685]①[1686]①[1687]①[1688]①[1689]①[1690]①[1691]①[1692]①[1693]①[1694]①[1695]①[1696]①[1697]①[1698]①[1699]①[1700]①[1701]①[1702]①[1703]①[1704]①[1705]①[1706]①[1707]①[1708]①[1709]①[1710]①[1711]①[1712]①[1713]①[1714]①[1715]①[1716]①[1717]①[1718]①[1719]①[1720]①[1721]①[1722]①[1723]①[1724]①[1725]①[1726]①[1727]①[1728]①[1729]①[1730]①[1731]①[1732]①[1733]①[1734]①[1735]①[1736]①[1737]①[1738]①[1739]①[1740]①[1741]①[1742]①[1743]①[1744]①[1745]①[1746]①[1747]①[1748]①[1749]①[1750]①[1751]①[1752]①[1753]①[1754]①[1755]①[1756]①[1757]①[1758]①[1759]①[1760]①[1761]①[1762]①[1763]①[1764]①[1765]①[1766]①[1767]①[1768]①[1769]①[1770]①[1771]①[1772]①[1773]①[1774]①[1775]①[1776]①[1777]①[1778]①[1779]①[1780]①[1781]①[1782]①[1783]①[1784]①[1785]①[1786]①[1787]①[1788]①[1789]①[1790]①[1791]①[1792]①[1793]①[1794]①[1795]①[1796]①[1797]①[1798]①[1799]①[1800]①[1801]①[1802]①[1803]①[1804]①[1805]①[1806]①[1807]①[1808]①[1809]①[1810]①[1811]①[1812]①[1813]①[1814]①[1815]①[1816]①[1817]①[1818]①[1819]①[1820]①[1821]①[1822]①[1823]①[1824]①[1825]①[1826]①[1827]①[1828]①[1829]①[1830]①[1831]①[1832]①[1833]①[1834]①[1835]①[1836]①[1837]①[1838]①[1839]①[1840]①[1841]①[1842]①[1843]①[1844]①[1845]①[1846]①[1847]①[1848]①[1849]①[1850]①[1851]①[1852]①[1853]①[1854]①[1855]①[1856]①[1857]①[1858]①[1859]①[1860]①[1861]①[1862]①[1863]①[1864]①[1865]①[1866]①[1867]①[1868]①[1869]①[1870]①[1871]①[1872]①[1873]①[1874]①[1875]①[1876]①[1877]①[1878]①[1879]①[1880]①[1881]①[1882]①[1883]①[1884]①[1885]①[1886]①[1887]①[1888]①[1889]①[1890]①[1891]①[1892]①[1893]①[1894]①[1895]①[1896]①[1897]①[1898]①[1899]①[1900]①[1901]①[1902]①[1903]①[1904]①[1905]①[1906]①[1907]①[1908]①[1909]①[1910]①[1911]①[1912]①[1913]①[1914]①[1915]①[1916]①[1917]①[1918]①[1919]①[1920]①[1921]①[1922]①[1923]①[1924]①[1925]①[1926]①[1927]①[1928]①[1929]①[1930]①[1931]①[1932]①[1933]①[1934]①[1935]①[1936]①[1937]①[1938]①[1939]①[1940]①[1941]①[1942]①[1943]①[1944]①[1945]①[1946]①[1947]①[1948]①[1949]①[1950]①[1951]①[1952]①[1953]①[1954]①[1955]①[1956]①[1957]①[1958]①[1959]①[1960]①[1961]①[1962]①[1963]①[1964]①[1965]①[1966]①[1967]①[1968]①[1969]①[1970]①[1971]①[1972]①[1973]①[1974]①[1975]①[1976]①[1977]①[1978]①[1979]①[1980]①[1981]①[1982]①[1983]①[1984]①[1985]①[1986]①[1987]①[1988]①[1989]①[1990]①[1991]①[1992]①[1993]①[1994]①[1995]①[1996]①[1997]①[1998]①[1999]①[2000]①[2001]①[2002]①[2003]①[2004]①[2005]①[2006]①[2007]①[2008]①[2009]①[2010]①[2011]①[2012]①[2013]①[2014]①[2015]①[2016]①[2017]①[2018]①[2019]①[2020]①[2021]①[2022]①[2023]①[2024]①[2025]①[2026]①[2027]①[2028]①[2029]①[2030]①[2031]①[2032]①[2033]①[2034]①[2035]①[2036]①[2037]①[2038]①[2039]①[2040]①[2041]①[2042]①[2043]①[2044]①[2045]①[2046]①[2047]①[2048]①[2049]①[2050]①[2051]①[2052]①[2053]①[2054]①[2055]①[2056]①[2057]①[2058]①[2059]①[2060]①[2061]①[2062]①[2063]①[2064]①[2065]①[2066]①[2067]①[2068]①[2069]①[2070]①[2071]①[2072]①[2073]①[2074]①[2075]①[2076]①[2077]①[2078]①[2079]①[2080]①[2081]①[2082]①[2083]①[2084]①[2085]①[2086]①[2087]①[2088]①[2089]①[2090]①[2091]①[2092]①[2093]①[2094]①[2095]①[2096]①[2097]①[2098]①[2099]①[2100]①[2101]①[2102]①[2103]①[2104]①[2105]①[2106]①[2107]①[2108]①[2109]①[2110]①[2111]①[2112]①[2113]①[2114]①[2115]①[2116]①[2117]①[2118]①[2119]①[2120]①[2121]①[2122]①[2123]①[2124]①[2125]①[2126]①[2127]①[2128]①[2129]①[2130]①[2131]①[2132]①[2133]①[2134]①[2135]①[2136]①[2137]①[2138]①[2139]①[2140]①[2141]①[2142]①[2143]①[2144]①[2145]①[2146]①[2147]①[2148]①[2149]①[2150]①[2151]①[2152]①[2153]①[2154]①[2155]①[2156]①[2157]①[2158]①[2159]①[2160]①[2161]①[2162]①[2163]①[2164]①[2165]①[2166]①[2167]①[2168]①[2169]①[2170]①[2171]①[2172]①[2173]①[2174]①[2175]①[2176]①[2177]①[2178]①[2179]①[2180]①[2181]①[2182]①[2183]①[2184]①[2185]①[2186]①[2187]①[2188]①[2189]①[2190]①[2191]①[2192]①[2193]①[2194]①[2195]①[2196]①[2197]①[2198]①[2199]①[2200]①[2201]①[2202]①[2203]①[2204]①[2205]①[2206]①[2207]①[2208]①[2209]①[2210]①[2211]①[2212]①[2213]①[2214]①[2215]①[2216]①[2217]①[2218]①[2219]①[2220]①[2221]①[2222]①[2223]①[2224]①[2225]①[2226]①[2227]①[2228]①[2229]①[2230]①[2231]①[2232]①[2233]①[2234]①[2235]①[2236]①[2237]①[2238]①[2239]①[2240]①[2241]①[2242]①[2243]①[2244]①[2245]①[2246]①[2247]①[2248]①[2249]①[2250]①[2251]①[2252]①[2253]①[2254]①[2255]①[2256]①[2257]①[2258]①[2259]①[2260]①[2261]①[2262]①[2263]①[2264]①[2265]①[2266]①[2267]①[2268]①[2269]①[2270]①[2271]①[2272]①[2273]①[2274]①[2275]①[2276]①[2277]①[2278]①[2279]①[2280]①[2281]①[2282]①[2283]①[2284]①[2285]①[2286]①[2287]①[2288]①[2289]①[2290]①[2291]①[2292]①[2293]①[2294]①[2295]①[2296]①[2297]①[2298]①[2299]①[2300]①[2301]①[2302]①[2303]①[2304]①[2305]①[2306]①[2307]①[2308]①[2309]①[2310]①[2311]①[2312]①[2313]①[2314]①[2315]①[2316]①[2317]①[2318]①[2319]①[2320]①[2321]①[2322]①[2323]①[2324]①[2325]①[2326]①[2327]①[2328]①[2329]①[2330]①[2331]①[2332]①[2333]①[2334]①[2335]①[2336]①[2337]①[2338]①[2339]①[2340]①[2341]①[2342]①[2343]①[2344]①[2345]①[2346]①[2347]①[2348]①[2349]①[2350]①[2351]①[2352]①[2353]①[2354]①[2355]①[2356]①[2357]①[2358]①[2359]①[2360]①[2361]①[2362]①[2363]①[2364]①[2365]①[2366]①[2367]①[2368]①[2369]①[2370]①[2371]①[2372]①[2373]①[2374]①[2375]①[2376]①[2377]①[2378]①[2379]①[2380]①[2381]①[2382]①[2383]①[2384]①[2385]①[2386]①[2387]①[2388]①[2389]①[2390]①[2391]①[2392]①[2393]①[2394]①[2395]①[2396]①[2397]①[2398]①[2399]①[2400]①[2401]①[2402]①[2403]①[2404]①[2405]①[2406]①[2407]①[2408]①[2409]①[2410]①[2411]①[2412]①[2413]①[2414]①[2415]①[2416]①[2417]①[2418]①[2419]①[2420]①[2421]①[2422]①[2423]①[2424]①[2425]①[2426]①[2427]①[2428]①[2429]①[2430]①[2431]①[2432]①[2433]①[2434]①[2435]①[2436]①[2437]①[2438]①[2439]①[2440]①[2441]①[2442]①[2443]①[2444]①[2445]①[2446]①[2447]①[2448]①[2449]①[2450]①[2451]①[2452]①[2453]①[2454]①[2455]①[2456]①[2457]①[2458]①[2459]①[2460]①[2461]①[2462]①[2463]①[2464]①[2465]①[2466]①[2467]①[2468]①[2469]①[2470]①[2471]①[2472]①[2473]①[2474]①[2475]①[2476]①[2477]①[2478]①[2479]①[2480]①[2481]①[2482]①[2483]①[2484]①[2485]①[2486]①[2487]①[2488]①[2489]①[2490]①[2491]①[2492]①[2493]①[2494]①[2495]①[2496]①[2497]①[2498]①[2499]①[2500]①[2501]①[2502]①[2503]①[2504]①[2505]①[2506]①[2507]①[2508]①[2509]①[2510]①[2511]①[2512]①[2513]①[2514]①[2515]①[2516]①[2517]①[2518]①[2519]①[2520]①[2521]①[2522]①[2523]①[2524]①[2525]①[2526]①[2527]①[2528]①[2529]①[2530]①[2531]①[2532]①[2533]①[2534]①[2535]①[2536]①[2537]①[2538]①[2539]①[2540]①[2541]①[2542]①[2543]①[2544]①[2545]①[2546]①[2547]①[2548]①[2549]①[2550]①[2551]①[2552]①[2553]①[2554]①[2555]①[2556]①[2557]①[2558]①[2559]①[2560]①[2561]①[2562]①[2563]①[2564]①[2565]①[2566]①[2567]①[2568]①[2569]①[2570]①[2571]①[2572]①[2573]①[2574]①[2575]①[2576]①[2577]①[2578]①[2579]①[2580]①[2581]①[2582]①[2583]①[2584]①[2585]①[2586]①[2587]①[2588]①[2589]①[2590]①[2591]①[2592]①[2593]①[2594]①[2595]①[2596]①[2597]①[2598]①[2599]①[2600]①[2601]①[2602]①[2603]①[2604]①[2605]①[2606]①[2607]①[2608]①[2609]①[2610]①[2611]①[2612]①[2613]①[2614]①[2615]①[2616]①[2617]①[2618]①[2619]①[2620]①[2621]①[2622]①[2623]①[2624]①[2625]①[2626]①[2627]①[2628]①[2629]①[2630]①[2631]①[2632]①[2633]①[2634]①[2635]①[2636]①[2637]①[2638]①[2639]①[2640]①[2641]①[2642]①[2643]①[2644]①[2645]①[2646]①[2647]①[2648]①[2649]①[2650]①[2651]①[2652]①[2653]①[2654]①[2655]①[2656]①[2657]①[2658]①[2659]①[2660]①[2661]①[2662]①[2663]①[2664]①[2665]①[2666]①[2667]①[2668]①[2669]①[2670]①[2671]①[2672]①[2673]①[2674]①[2675]①[2676]①[2677]①[2678]①[2679]①[2680]①[2681]①[2682]①[2683]①[2684]①[2685]①[2686]①[2687]①[2688]①[2689]①[2690]①[2691]①[2692]①[2693]①[2694]①[2695]①[2696]①[2697]①[2698]①[2699]①[2700]①[2701]①[2702]①[2703]①[2704]①[2705]①[2706]①[2707]①[2708]①[2709]①[2710]①[2711]①[2712]①[2713]①[2714]①[2715]①[2716]①[2717]①[2718]①[2719]①[2720]①[2721]①[2722]①[2723]①[2724]①[2725]①[2726]①[2727]①[2728]①[2729]①[2730]①[2731]①[2732]①[2733]①[2734]①[2735]①[2736]①[2737]①[2738]①[2739]①[2740]①[2741]①[2742]①[2743]①[2744]①[2745]①[2746]①[2747]①[2748]①[2749]①[2750]①[2751]①[2752]①[2753]①[2754]①[2755]①[2756]①[2757]①[2758]①[2759]①[2760]①[2761]①[2762]①[2763]①[2764]①[2765]①[2766]①[2767]①[2768]①[2769]①[2770]①[2771]①[2772]①[2773]①[2774]①[2775]①[2776]①[2777]①[2778]①[2779]①[2780]①[2781]①[2782]①[2783]①[2784]①[2785]①[2786]①[2787]①[2788]①[2789]①[2790]①[2791]①[2792]①[2793]①[2794]①[2795]①[2796]①[2797]①[2798]①[2799]①[2800]①[2801]①[2802]①[2803]①[2804]①[2805]①[2806]①[2807]①[2808]①[2809]①[2810]①[2811]①[2812]①[2813]①[2814]①[2815]①[2816]①[2817]①[2818]①[2819]①[2820]①[2821]①[2822]①[2823]①[2824]①[2825]①[2826]①[2827]①[2828]①[2829]①[2830]①[2831]①[2832]①[2833]①[2834]①[2835]①[2836]①[2837]①[2838]①[2839]①[2840]①[2841]①[2842]①[2843]①[2844]①[2845]①[2846]①[2847]①[2848]①[2849]①[2850]①[2851]①[2852]①[2853]①[2854]①[2855]①[2856]①[2857]①[2858]①[2859]①[2860]①[2861]①[2862]①[2863]①[2864]①[2865]①[2866]①[2867]①[2868]①[2869]①[2870]①[2871]①[2872]①[2873]①[2874]①[2875]①[2876]①[2877]①[2878]①[2879]①[2880]①[2881]①[2882]①[2883]①[2884]①[2885]①[2886]①[2887]①[2888]①[2889]①[2890]①[2891]①[2892]①[2893]①[2894]①[2895]①[2896]①[2897]①[2898]①[2899]①[2900]①[2901]①[2902]①[2903]①[2904]①[2905]①[2906]①[2907]①[2908]①[2909]①[2910]①[2911]①[2912]①[2913]①[2914]①[2915]①[2916]①[2917]①[2918]①[2919]①[2920]①[2921]①[2922]①[2923]①[2924]①[2925]①[2926]①[2927]①[2928]①[2929]①[2930]①[2931]①[2932]①[2933]①[2934]①[2935]①[2936]①[2937]①[2938]①[2939]①[2940]①[2941]①[2942]①[2943]①[2944]①[2945]①[2946]①[2947]①[2948]①[2949]①[2950]①[2951]①[2952]①[2953]①[2954]①[2955]①[2956]①[2957]①[2958]①[2959]①[2960]①[2961]①[2962]①[2963]①[2964]①[2965]①[2966]①[2967]①[2968]①[2969]①[2970]①[2971]①[2972]①[2973]①[2974]①[2975]①[2976]①[2977]①[2978]①[2979]①[2980]①[2981]①[2982]①[2983]①[2984]①[2985]①[2986]①[2987]①[2988]①[2989]①[2990]①[2991]①[2992]①[2993]①[2994]①[2995]①[2996]①[2997]①[2998]①[2999]①[3000]①[3001]①[3002]①[3003]①[3004]①[3005]①[3006]①[3007]①[3008]①[3009]①[3010]①[3011]①[3012]①[3013]①[3014]①[3015]①[3016]①[3017]①[3018]①[3019]①[3020]①[3021]①[3022]①[3023]①[3024]①[3025]①[3026]①[3027]①[3028]①[3029]①[3030]①[3031]①[3032]①[3033]①[3034]①[3035]①[3036]①[3037]①[3038]①[3039]①[3040]①[3041]①[3042]①[3043]①[3044]①[3045]①[3046]①[3047]①[3048]①[3049]①[3050]①[3051]①[3052]①[3053]①[3054]①[3055]①[3056]①[3057]①[3058]①[3059]①[3060]①[3061]①[3062]①[3063]①[3064]①[3065]①[3066]①[3067]①[3068]①[3069]①[3070]①[3071]①[3072]①[3073]①[3074]①[3075]①[3076]①[3077]①[3078]①[3079]①[3080]①[3081]①[3082]①[3083]①[3084]①[3085]①[3086]①[3087]①[3088]①[3089]①[3090]①[3091]①[3092]①[3093]①[3094]①[3095]①[3096]①[3097]①[3098]①[3099]①[3100]①[3101]①[3102]①[3103]①[3104]①[3105]①[3106]①[3107]①[3108]①[3109]①[3110]①[3111]①[3112]①[3113]①[3114]①[3115]①[3116]①[3117]①[3118]①[3119]①[3120]①[3121]①[3122]①[3123]①[3124]①[3125]①[3126]①[3127]①[3128]①[3129]①[3130]①[3131]①[3132]①[3133]①[3134]①[3135]①[3136]①[3137]①[3138]①[3139]①[3140]①[3141]①[3142]①[3143]①[3144]①[3145]①[3146]①[3147]①[3148]①[3149]①[3150]①[3151]①[3152]①[3153]①[3154]①[3155]①[3156]①[3157]①[3158]①[3159]①[3160]①[3161]①[3162]①[3163]①[3164]①[3165]①[3166]①[3167]①[3168]①[3169]①[3170]①[3171]①[3172]①[3173]①[3174]①[3175]①[3176]①[3177]①[3178]①[3179]①[3180]①[3181]①[3182]①[3183]①[3184]①[3185]①[3186]①[3187]①[3188]①[3189]①[3190]①[3191]①[3192]①[3193]①[3194]①[3195]①[3196]①[3197]①[3198]①[3199]①[3200]①[3201]①[3202]①[3203]①[3204]①[3205]①[3206]①[3207]①[3208]①[3209]①[3210]①[3211]①[3212]①[3213]①[3214]①[3215]①[3216]①[3217]①[3218]①[3219]①[3220]①[3221]①[3222]①[3223]①[3224]①[3225]①[3226]①[3227]①[3228]①[3229]①[3230]①[3231]①[3232]①[3233]①[3234]①[3235]①[3236]①[3237]①[3238]①[3239]①[3240]①[3241]①[3242]①[3243]①[3244]①[3245]①[3246]①[3247]①[3248]①[3249]①[3250]①[3251]①[3252]①[3253]①[3254]①[3255]①[3256]①[3257]①[3258]①[3259]①[3260]①[3261]①[3262]①[3263]①[3264]①[3265]①[3266]①[3267]①[3268]①[3269]①[3270]①[3271]①[3272]①[3273]①[3274]①[3275]①[3276]①[3277]①[3278]①[3279]①[3280]①[3281]①[3282]①[3283]①[3284]①[3285]①[3286]①[3287]①[3288]①[3289]①[3290]①[3291]①[3292]①[3293]①[3294]①[3295]①[3296]①[3297]①[3298]①[3299]①[3300]①[3301]①[3302]①[3303]①[3304]①[3305]①[3306]①[3307]①[3308]①[3309]①[3310]①[3311]①[3312]①[3313]①[3314]①[3315]①[3316]①[3317]①[3318]①[3319]①[3320]①[3321]①[3322]①[3323]①[3324]①[3325]①[3326]①[3327]①[3328]①[3329]①[3330]①[3331]①[3332]①[3333]①[3334]①[3335]①[3336]①[3337]①[3338]①[3339]①[3340]①[3341]①[3342]①[3343]①[3344]①[3345]①[3346]①[3347]①[3348]①[3349]①[3350]①[3351]①[3352]①[3353]①[3354]①[3355]①[3356]①[3357]①[3358]①[3359]①[3360]①[

泚 17830

シ（集韻）清紙切 紙

川の名。或は滋(8－17293)に作る。〔集韻〕

滋水名。在長沙。或作淛。

湒 17831

シン（集韻）節切 震

小 水自聲。廣雅・釋訓）湒湒、雨也。●雨の音のさま。湒湒。（說文・湒、王注）字林・湒、雨聲湒湒也。●水のわくさま。襍(7－18235)に同じ。（說文・湒、一曰桑湒兒。〔集韻〕凜、或作湒。●和らぐ。濺(7－18450)に同じ。（集韻・凜、說文・和也、或省。●角のさま。湒湒（說文・湒、段注）毛詩、其角湒湒、段借爲角兒。●亦。蕭(18－42434)・戴(19－42477)に作る。（說文通訓定聲）湒、亦亦作。蕭、戴。●正の名。（郭璞・酒誡）湒、正之象。

溢 17832

日本（集韻）管郭切 願
ヒツ（集韻）苦郭切 曠
ロン（集韻）盧郭切 論
ボン（集韻）步魚切 元

〔一〕●水がわきあふれる。（集韻）溢、一曰、水溢也。（太清書・溝洫志）河水溢溢。（注）師古曰、溢、滿也。（漢書・溝洫志）溢、潰也。●水の音。（張衡・西京賦）溢、水聲。或从口。（郭璞、江賦）溢流溶與而電激（注）善曰、蒼頡篇曰、溢、水聲也。●にはかめ。駿雨（正字通）溢、駿雨曰溢。●亦。益(8－12259)に作る。

〔二〕●川の名。（集韻）溢、一曰、水溢也。（太清書・溝洫志）河水溢溢。（注）師古曰、溢、滿也。（漢書・溝洫志）溢、潰也。●潰す。（廣雅・釋詁二）溢、同也。（張衡・西京賦）溢、水聲、或从口。（郭璞、江賦）溢流溶與而電激（注）善曰、蒼頡篇曰、溢、水聲也。●にはかめ。駿雨（正字通）溢、駿雨曰溢。●亦。益(8－12259)に作る。（正字通）溢、水名。在長沙。或作淛。

〔三〕●川の名。或は汾(6－17178)に作る。（集韻）溢、水名。在、海陽。或省。●水があふれる。（集韻）溢、一曰、水溢也。

〔溢安〕ロン・ボン 地名。（漢書・地理志）溢安、莽曰安平。

〔溢口〕ロン・ボン 地名。江西省江縣の西。（水經・贛水）贛水又北逕溢口城西。（注）水經注、江西省江縣の西。溢水が江に入る所。（太平寰宇記）江州、湓城、古之溢口城也。（元和志）江州湓城、古之溢口城也。

〔溢城〕ロン・ボン 縣名。陳置。（水經・贛水）贛水有溢口聞。（元和志）江州湓城、古之溢口城也。

〔溢魚〕ロン・ボン 魚の名。（說文・魚部）溢、江魚。（注）水經、江西省江縣の西。溢水が江に入る所。（水經・贛水）贛水又北逕溢口城西。（注）水經注、江西省江縣の西。溢水が江に入る所。（太平寰宇記）江州、湓城、古之溢口城也。（元和志）江州湓城、古之溢口城也。

〔溢水〕ロン・ボン 川の名。（說文・水部）溢、水出上郡龍門、東入于河。（注）水經、龍門水、一名、溢水。（水經・河水）河水又南、與溢水合。（注）水經注

し。（後漢書華陀傳）若在腸胃則藥力不及。除去疾根（既而綜合）傳以神膏、四五日間創愈。（東洞遺稿、唐紀）「蕭宗、至德二載、輟神器與李輔國、決策北行。輔國曰、若輔國無用、則陛下無所適矣。」（東洞遺稿、唐紀）

瀚汰 ヒツタ。あらひのそこ。（類聚）謝・水安令總傳、唐書、其間、鬢、瀚汰林水。（唐書、鳴沙石）

瀚濯 ヒツタク。あらひすすぐ。（類聚）謝・水安令總傳、唐書、其間、鬢、瀚濯。（唐書、鳴沙石）

瀚汰 ヒツタ。あらひのそこ。（類聚）謝・水安令總傳、唐書、其間、鬢、瀚汰。（唐書、鳴沙石）

瀚濯 ヒツタク。あらひすすぐ。（類聚）謝・水安令總傳、唐書、其間、鬢、瀚濯。（唐書、鳴沙石）

瀚除 ヒツジヨ。あらひ去る。清めおとす。（皇甫謐、城子記）後漢書、瀚濯、謝朝、九日許、獄囚、雲英、瀚除、以自清藏。

瀚濯 ヒツタク。あらひすすぐ。（謝朓、敬國、楚策）君知無、雲、瀚濯後、使、得、爲、君鳴、鳴、君、於、楚、子、況也、（後、太史令、瀚除、以自清藏。

瀚蔽 ヒツヘイ。（類聚）謝・水安令總傳、唐書、其間、鬢、瀚蔽。（唐書、鳴沙石）

瀚除 ヒツジヨ。あらひ去る。清めおとす。（皇甫謐、城子記）後漢書、瀚濯、謝朝、九日許、獄囚、雲英、瀚除、以自清藏。

瀚濯 ヒツタク。あらひすすぐ。（謝朓、敬國、楚策）君知無、雲、瀚濯後、使、得、爲、君鳴、鳴、君、於、楚、子、況也、（後、太史令、瀚除、以自清藏。

瀚蔽 ヒツヘイ。（類聚）謝・水安令總傳、唐書、其間、鬢、瀚蔽。（唐書、鳴沙石）

瀚除 ヒツジヨ。あらひ去る。清めおとす。（皇甫謐、城子記）後漢書、瀚濯、謝朝、九日許、獄囚、雲英、瀚除、以自清藏。

瀚濯 ヒツタク。あらひすすぐ。（謝朓、敬國、楚策）君知無、雲、瀚濯後、使、得、爲、君鳴、鳴、君、於、楚、子、況也、（後、太史令、瀚除、以自清藏。

詩酒魚書勝利官酒重鈔鯛(尼慶書)張天民詩酒魚書鈔鯛客沙鳥棟梁(同)

湖 曲 ㊀ 胡吽 ㊁ 戶吽 ㊂ 戶吽 ㊃ 戶吽 ㊄ 戶吽 ㊅ 戶吽 ㊆ 戶吽 ㊇ 戶吽 ㊈ 戶吽 ㊉ 戶吽 ㊊ 戶吽 ㊋ 戶吽 ㊌ 戶吽 ㊍ 戶吽 ㊎ 戶吽 ㊏ 戶吽 ㊐ 戶吽 ㊑ 戶吽 ㊒ 戶吽 ㊓ 戶吽 ㊔ 戶吽 ㊕ 戶吽 ㊖ 戶吽 ㊗ 戶吽 ㊘ 戶吽 ㊙ 戶吽 ㊚ 戶吽 ㊛ 戶吽 ㊜ 戶吽 ㊝ 戶吽 ㊞ 戶吽 ㊟ 戶吽 ㊠ 戶吽 ㊡ 戶吽 ㊢ 戶吽 ㊣ 戶吽 ㊤ 戶吽 ㊥ 戶吽 ㊦ 戶吽 ㊧ 戶吽 ㊨ 戶吽 ㊩ 戶吽 ㊪ 戶吽 ㊫ 戶吽 ㊬ 戶吽 ㊭ 戶吽 ㊮ 戶吽 ㊯ 戶吽 ㊰ 戶吽 ㊱ 戶吽 ㊲ 戶吽 ㊳ 戶吽 ㊴ 戶吽 ㊵ 戶吽 ㊶ 戶吽 ㊷ 戶吽 ㊸ 戶吽 ㊹ 戶吽 ㊺ 戶吽 ㊻ 戶吽 ㊼ 戶吽 ㊽ 戶吽 ㊾ 戶吽 ㊿ 戶吽 [1] 戶吽 [2] 戶吽 [3] 戶吽 [4] 戶吽 [5] 戶吽 [6] 戶吽 [7] 戶吽 [8] 戶吽 [9] 戶吽 [10] 戶吽 [11] 戶吽 [12] 戶吽 [13] 戶吽 [14] 戶吽 [15] 戶吽 [16] 戶吽 [17] 戶吽 [18] 戶吽 [19] 戶吽 [20] 戶吽

〔湖堅〕ho² jiān 鐵の名。浙江省杭州の北、もと湖州市といひ又、鍾繇墨ともいふ。

〔湖色〕ho² sè 湖色。〔元稹、遊平山堂〕「湖色鴨頭春水綠」

【湖】 ウ 〔集韻〕 洪水のために三田地が湖水のようになること。〔集韻〕 湖、水名。〔廣韻〕 湖、水名。〔集韻〕 湖、青州の別名。〔廣韻〕 湖、青州。〔集韻〕 湖、西湖。〔廣韻〕 湖、湖州。〔集韻〕 湖、湖州

【湘鼎】ｊｉｎｇ　清、錢坫説所（19・43159・3324）の號。

【湘郫】ｐｉ　縣名。後漢置。湖南省湘潭縣の西南。『讀史方輿紀要』湘郫縣：「漢置。湘南、連道、郫地。漢帝封長沙王子昌爲湘郫侯。漢末、郫地入蜀。後漢復置。案後漢郡國志、湘郫屬蜀郡。志以後因之。晉、郫地入梁。宋、郫地入益州。齊、郫地入梁。隋、廢省入海陽縣。唐初、復置。明初、復省。」縣。（清、王先謙『後漢書集解』、武英殿本、『後漢書』郡國志五、郫縣條）

【湘郫郡】ｊｉｎｇ　春秋時代の郫。『水經』江水注：「湘郫郡、秦代古名。」（『水經注』、『水經注』の別名。）

【湘郫侯】ｊｉｎｇ　清、章鈺宣（9・25767・2122）の字。

【湘筈】ｊｉｎｇ　清、錢坫（9・25767・2122）の字。

【湘君】ｊｕｎ　●堯の女、舜の妃の嬪妃・女英を。

●「湘君」、他に諸説あり、或は湘神の妻、或は湘神の夫、或は湘神の妃、或は湘神の妃・女英の別名、或は湘神の妃・娥皇・女英の別名、或は湘神の妃・娥皇・女英・舜の母・瞽瞍の妻・象の母・舜の父・堯の妃・女英・舜の母・瞽瞍の妻・象の母・舜の父・堯の妃・娥皇

也。言逸湘而南。湘、相也。言有所会也。湘水東入洞庭之水。東北流。東北流入瀟。瀟水出九嶷山。東北流入湘。湘水東北流。東北流。東北流。

【湘靈】ショウレイ　●湘水の神。（楚辭・遠遊）使〜湘靈鼓瑟兮。（後漢書・馬融傳）湘靈下〜瀟之陽。（注）湘靈、堯妃、娥皇・女英。堯、舜に禪位し、舜、崩ずるや、二妃、湘水に投じて死す。湘靈流芳不朽。（文選・江淹・恨賦）●清、袁枚撰（11－4056）

【湘靈鼓瑟】ショウレイこしつをかなでる　詩編の名。湘水の神靈が瑟を鼓するようにうつくしい。唐、錢起作。書て江湖秋色の句を時時何處にか聞く、明年、復た湘靈瑟の詩を試みんと。の句を時時、

沒也。●あつい。〔司馬相如、難蜀父老文〕「弦絕徹思汪濊、其厚。●ふかい。〔張衡、思玄賦、私湛憂而深愬兮、注〕衝曰、湛、深也。●とろ。かす。〔説文 10-4b5037〕に通ず。〔説文通訓定聲、湛、段借爲滓。〔荀子、解蔽〕「湛亂在下、而清明在上」〔注〕「湛、讀爲沈、泥滓也。因ながあめ。〔説文 10-4b4324〕「霖、雨久也。」霖雨。

【湛露】〔詩、小雅、彤弓〕「彤弓既受、受用無斁。我有嘉賓、鼓鐘既設。鼓瑟吹笙、酒既和旨。籩豆既陳、其乾肉既多。其醉既止、其飲既基。」〔毛傳〕「彤弓、彤弧也。斁、厭也。基、謀也。」〔箋〕「天子之燕諸侯、諸侯之來朝者、皆有之。」〔疏〕「天子燕諸侯、諸侯

字號。(2)未、元胤(7・1349・3735)の字。(6)未、倉(6・14643・35)の字。(7)未、[illegible]丁青眉(1・8・28)の字。(8)明、周鼎(8・6519・1382)の字。

〔湛然堂〕ｸﾞﾝﾈﾝﾄｳ 明、陳洪綬(11・41698・100)の堂名。

〔湛然居士〕ﾁﾝﾈﾝｺﾞｼｬｸﾞﾝﾈﾝｺﾞｼｬｸﾞﾝﾈﾝｺﾞｼｬｸﾞ

〔逝澨〕 ○ 水が蓄んで底の見えるさま。〔約・結鄙〕 ○ 心を正しく持つさま。〔経・郊風〕 ○ 心を正しく持つさま。〔楚辺・遠遊〕 ○ 風ゴウ風。〔楚辺・遠遊〕 ○ 遠くはるかなさま。〔楚辺・遠遊〕 ○ 遠くはるかなさま。〔楚辺・遠遊〕 ○ 遠くはるかなさま

●を見よ。（説文）溫、溫水也。（集韻）溫、温水也。（玉篇）溫、説文溫字。（字彙）在今直隸河間府獻縣西南。名向東北入海。（説文通訓定聲）在今直隸河間府獻縣西南。名向東北入海。（水經注）溫水、又名平舌水。（水經注）溫水、即溫水之名。（水經注）溫水、即平舌水。（水經注）溫水、即溫水。

【溫】 17853

ヒツ　（集韻）質切　ヒキ

ウン　（集韻）吻切

【𣶒】

●ゆどの。（説文）、（玉篇）、内則、沐内不入井。（集韻）、（玉篇）、（説文）、（説文）、（玉篇）、（説文）、（玉篇）、（説文）、（玉篇

【涿】17872

スイ 逆ツ〔ツ〕1.26.5 に同じ。〔集韻〕淺。或作淡。

【湮】17873

日 イン（集韻）伊真切 𠀋
㊀ エン（集韻）憂甘切 𠀋
㊁ エイ（集韻）伊甘切 𠀋
㊂ エン（集韻）一結切 𠀋
㊃ エキ（集韻）一結切 𠀋

小 ㊀㊁㊂ ❶しずむ。うずもれる。滅び る。もと鄭〔7－18239〕に作る。〔正字通〕鄭。湮本字。〔說文〕鄭。沒也。从水鄭聲。〔司馬相如 封禪文〕湮滅而不稱。〔注〕善曰、湮、沒也。●ふさぐ。とどこおる。ふせ がれる。〔孟子〕〔5－5041〕に通ず。〔說文通訓定聲〕湮、假借爲塞。〔左氏、昭二十九年〕湮 而不育。〔注〕湮、塞也。〔荘子、天下〕若者爲 之湮決水之性。〔釋文〕湮、音因、又音煙、塞也。 〔荘子、天運〕彼之人變、無所湮者。〔釋文〕 湮、音因、塞也、亦湮也。●しみる。〔集韻〕 湮、潤雅、落也。●おちる。〔集韻〕 湮、通作、淵。●或は堙〔11－41723〕に作る。〔集韻〕 湮、或堙、別作、堙。●おちる。おち ぶれる。〔爾雅、釋詁〕湮、落也。〔注〕湮、沈 落也。●沒しむ。水中に沒する。〔集韻〕湮、 塞也。国ふさがる。ふさぐ。〔集韻〕 湮、塞也。

〔湮鬱〕ｲﾝｳﾂ 氣の鬱（結ばれたもの）。湮は鬱、鬱 は湮。〔荘子、庚桑楚〕鬱結湮鬱、四海無 無。

〔湮流〕ｲﾝﾘｭｳ とほい昔でよくわからないこと。 〔唐實、李多祚傳〕江先祖縊自殺、號、黃祖鬱 後人、中國、遠流、湮鬱、復亡也。〔後漢 書〕馬助傳〕蓋者湮沒、書記罕存、助親、著所 聞、著、演百機要、故、就王天下機密。〔後漢 書〕荀彧傳、以取、湮沒、〔後漢書〕、〔注〕、 〔後漢書〕、〔後漢書〕、〔後漢書〕、

也、回日が出る。陽(8—14669)陽(11—4)726)に同じ。(集韻)暘・日出也・或作湯。湯通作陽。(張協雜詩)氣蒸湯谷(注)名曜ノ。

(清類)ｔｓｕｋａｒｉ。清を沸かすかめ。(博古圖)清湯鼎蓋沸水出也。林如物圓而微異。有一耳。若鉦。鼎。象而蓋之。(蓋)清間。以享ノ水也。

(湯殿)ｙｕｄｏｎｏ。清。能化の人。字は幼穉。號は柿村。著に倭都及び文集。

(湯見)ｙｕｍｉ。里部を見よ。(湯)と(見)で遥める。(遥)に作る。河南(後漢書)(郡国志)(洛陽)及也。(史記)(扁鵲傳)疾之原。(扁鵲)也。(湯)之原。(注)在也。在也。(湯)ノ。布帛等の色を湯で染めること。

(湯色)ｙｕｉｒｏ。湯沐の色。(湯)(湯)(上七日)飯之諸妃。皆魔服(湯色)(素)外妃。以(前)天(鄭)酬。先(湯)之妻。也。

(湯陰)ｔｏｉｎｉｎ。縣名。(湯)。(書)地理志に(湯陰)に作る。河南(後漢書)(郡国志)(洛陽)南。(郡)(郡)(湯陰)(湯)(湯)(湯

有湯鑊之罪、請自斬於胡毒之地、唯君死、生命爲重。」孝武帝大悅、遂以湯爲尚書令。

【湯官】ｔｏｎｇｇｕａｎ 官名。魏置。少卿に屬し、湯官令を掌る。魏書、百官志の御表上に、湯官令は酒を掌る。魏書、百官志の御表上に、湯官令、秩千石。太祖の時、大官令に屬し、湯官令を掌る。魏書、百官志三に、少府

【湯井】[illegible] 湯の出る井戸。又いでゆ。温泉。〔水經・濕水注〕東方清井・鹹泉・大井・相状熱勢、〔温房・西征記〕東方清井鹹泉・大井・相状熱勢。〔正・西征記・清井・鹹泉・大井・相状熱勢。〔水經・濕水注〕温湯也。〔後漢書・地理志〕六郡・温泉・温湯也。〔後漢書・西羌傳〕若・温泉・温湯・[illegible]・[illegible]・[illegible]

に作り、著に昆恩意識がある。『國朝書數類徵』四百二十八『國朝書人輯略』二十八。

殷（殷）『說文』殷、作樂之盛、象形。从殳从音。『玉篇』殷、作樂之盛也。『廣韻』殷、作樂盛也。『集韻』殷、作樂盛也。『類篇』殷、作樂盛也。『字彙』殷、作樂盛也。『正韻

水　部　(九畫)　湯

●河南省開封縣の北。(史記)殺紀(漢紀)注(漢書)地理志(漢)注(水經)注(漢書)地理志(漢)注(水經)注(漢書)地理志(漢)注(水經

〔湯之盛〕宋史 人名。字之盛。清 武進人。字由誠。號蟠園。著有詩文集。國朝書畫徵略四百卷。

〔湯之儀〕宋史 清 宜興人。字儀之。號一瓢。著有詩。

〔湯之錫〕宋史 清 宜興人。字錫之。號一瓢。著有詩。

〔湯之鼎〕宋史 清 宜興人。字鼎之。號一瓢。著有詩。

〔湯修業〕宋史 清 大興人。字士業

官は廣西監撿。

〔湯棣之 楷字 [illegible] [illegible] [illegible] スープの意味。(一紅軒錄)

〔湯棣之 楷字 [illegible] 十五回 四川鹽商。清末、官は廣東按察司僉事に至る。明に、陶で白鹿書院の講席を主る。著に、内省書集がある。(四庫提要)

〔湯臨川 [illegible] 地名。雲南省騰衝縣の東北、大江の南岸の金性の地名。(一紅軒錄)

〔湯臨川 [illegible] 明の人。字は臨初。(明史)を見よ。

〔湯臨川 [illegible] 明、丹徒の人。字は臨川。

〔湯顯祖 [illegible] 明の人。湯顯祖(明史)を見よ。

〔湯顯祖 [illegible] 明、江西の人。正德の初、陳下獄、陳以罪に謫せられ、官は南京太常寺少卿に至る。著に、玉茗堂集がある。(明史、二百五十七)

〔湯鶴逸 [illegible] 明、丹徒の人。字は二木。(明史、二百五十七)

〔湯鶴逸 [illegible] 清、嘉興の人。嘉興の人。官は南海縣知縣。著に、巧子。(國朝耆獻類徵)

〔湯子遺書 [illegible] 書名。著、清、湯斌撰。其の目は、錄語([illegible])、年譜([illegible])、[illegible]、[illegible]、[illegible]

水部 (九畫) 澤 澣 澈 淡 淫 淹 涼 淵 淪 淹 淹 淹

【滭】17907 エイ (字彙補延語切) 齊 川の名。(字彙補)滭、水名。

【澠】17908 テン デン (篇海)澠速切 霰 ●川の名。(篇海)澠、水名。 ●〜 (7〜1860 2)の誤字。(康熙字典)澠、卽澠字の誤。

【渾】17909 セン 義未詳。(五音篇海)渾、音誠。

【淞】17910 トウ 淞(6〜17531)に同じ。(龍龕手鏡)淞、同。

【滲】17911 クワン 滲(6〜32344)に同じ。(五音篇海)滲、同。(玉篇)

【梨】17912 セン 義未詳。(搜眞玉鏡)梨、音鏡。

【滇】17913 ジュン 滇(7〜17560)に同じ。(中華大字典)滇、同字。清稗類鈔、皇室、御名敬避。(俗字)(字彙)滇、同字。

【淫】17914 イン 淫(7〜17573)の俗字。(中華大字典)淫、淫俗字。

【潘】17915 イン 潘(7〜17578)の誤字。(中華大字典)潘、淫俗字。見字彙。

【淇】17916 セン 淇(7〜15248)の本字。(正字通)淇、从「氣」本作「淇」俗作「淇」。

【湟】17917 デツ 湟(6〜17521)の俗字。(正字通)湟、俗从「臼」从「工」作、湟。

【潘】17918 シ 潘(7〜17616)の本字。(正字通)潘、本作「潘」。

【淦】17919 カフ 淦(7〜17595)の本字。(正字通)淦、本作「淦」。

【滋】17919′ ジ 滋(7〜18021)の略字。

【湾】17920 ワン 灣(7〜18823)の略字。(宋元以來俗字譜)灣、太平樂府作「湾」。

【湿】17920′ シツ 濕(7〜18483)の略字。

【淄】17921 タウ 淄(7〜18035)の俗字。(宋元以來俗字譜)淄、太平樂府作「淄」。

【滿】17921′ マン 滿(7〜18099)の略字。

十畫

【滻】17922 シン (集韻)師刃切 震 ●川の名。(玉篇)滻、水也。(集韻)滻、水名。 ●水のさま。(正字通)滻、水皃。

【淮】17923 ヨン (集韻)伊匈切 𠀋 ケイ (集韻)淸惠切 𠀋 ※〈、kuei。 日本がひろい。大水のさま。(玉篇)淮、水大也。(集韻)淮、大水皃。 二川の名。(集韻)淮、水名。

【滹】17924 ヒ 滹(7〜17503)に同じ。(正字通)滹、本作「滹」。

【湯】17925 タウ (集韻)徒郎切 五七 ●いけ。(玉篇)湯、池也。 ●どろ。(廣雅、釋言)湯、淖也。(集韻)湯、泙湯、淖也。(清波)。(字彙)粉餅をいふ。(釋名、釋飲食)湯、餅也。(日葡)湯、(說)形名)之也。(餅類、釋服食)湯、餅也。

【源】17926 ゲン (集韻)愚袁切 元 ●みなもと。 區(8・305 LF・yuan)。

原 ※ 原 ※ 原 ※

宮は結構事中・襄州刺史、江陵大都督長史を以て、安成山を鎮す、戦死す（『唐書』、文苑傳）。

源由 ㊀ 名 源由。みなもと。原由（『類氏家訓』輯録）。

源遠 ㊀ 名 源遠。みなもとがとおい（『唐書』、文苑傳）。

源光 ㊀ 名 源光。（『唐書』、宰相表）。

源翁 ㊀ 名 源翁。（『唐書』、宰相表）。

源乾曜 ㊀ 名 源乾曜。（『唐書』、宰相表）。

源乾曜石 ㊀ 人名 源乾曜の石。玄霜石（『和漢三才圖会』）。大人と錬製の石。玄霜石・玄能（『和漢三才圖会』）。『大人』は『玄霜』。『玄能』は『玄霜』。『玄霜』は『玄霜』。『玄霜』は『玄霜』。『玄霜

天泉の機保年中から、安国天泉の霧水に至るまで、凡そ二十餘年間、源至一氏盛衰の事を記す。但し菊園司行長の作といひ、或は、東室大納言時長の作といふ。

〔源出〕ゲン 明・李詠 (0・14438・4720)の中。

〔源本〕ゲンホン もと本源・根本・原本・(両史)・沈城・(両史)・(東都)・(東都)・(東都

按謂新潮相雜半也。〔易、坤、文言曰〕爲其嫌于无陽也〔鄭注〕溟、雜也〔釋文〕嫌、鄭作溟。●溟濛也、按、風塵濛濛、微波之兒。●小さい水。〔集韻〕溟、一曰、小水。●ねばりつく。〔韻會〕溟、又黏也。回うるほす。水を噴いて物をうるほす。〔集韻〕溟、沈物中、物を水に沈めて冷やす。〔集韻〕溟、沈物中、物を水に沈めて冷やす。〔集韻〕溟、味薄也、田酒(7－1870○)に同じ。〔集韻〕溟、雨也、或从兼。

【滉】 17930 エウ 〔集韻〕〔正韻〕胡甍切 **滉**

●水のひろくはてしなくいきま。浩滉。●滉、滉、〔玉篇〕滉、滉滉、水兒。陪也〔廣韻〕滉、浩滉、大水兒〔司馬相如上林賦〕瀰滉漾、〔注〕晉曰、郭璞曰、皆水無涯際、貌也。●水の深く白いさま。〔集韻〕滉、一曰、白。●流濤晶滉、〔注〕晉曰、晶滉、深白之貌。●滉(7－18562)の俗字。〔正字通〕滉、俗滉字。●蛙、〔萬蛙統譜〕滉、見蛙死。

【滫】 17931 セウ 〔集韻〕七肖切 **滫**

たかいなみ。潮(7－17924)・淸(7－18957)に同じ。〔集韻〕淸、浸液也、或作淸。〔正字通〕淸、本作淸。

【溟】 17932 ボウ ム 〔集韻〕莫甍切 **溟**

こさめ。小雨。淸(7－18459)に同じ。〔集韻〕溟、微雨也。〔正字通〕溟、濛本字。

参考 溟(7－17933)は別字。〔康熙字典、辨似、二字相似〕溟、幪去聲、微雨也、溟、音冥、俗本也。

【溟】 17933 チヨウ 〔集韻〕展勇切 **溟**

ねむせる。〔集韻〕溟、僵水也。

参考 溟(7－17932)は別字。〔康熙字典、辨似、二字相似〕溟、幪去聲、微雨也、溟、音冥、俗本也。

【準】 17934 ジユン 〔集韻〕朱劣切 **準** 〔集韻〕敕軌切 **準**

ジユン 小 ㊀ ●たひらか。水面の平かなこと。水平。〔說文〕準、平也、从水隼聲。〔段注〕謂水之平也、天下莫平於水、水平謂之準。●みづもり。水平を測る器。〔莊子、天道〕水靜則明、鑑照、平中也。〔漢書、律歷志上〕、縄直生準、云云、準者所以投平取正也。●のり。かた。定法。標準。〔漢書、東方朔傳〕以仁義爲準。〔注〕師古曰、準、平法也。〔後漢子、木紀論〕故論、乾繩準繩。〔注〕準、法也。●なぞらふ。のつると。〔易、繫辭上〕易與天地、準。〔疏〕準、擬也。●たいらにする。ひとしくする。ただす。たらかにする。ひとしくする。〔周禮、考工記、桌氏〕權之、然後準之。

準（三才圖會）

〔注〕玄謂、準、整平正之。●ひとしい。同じい。〔廣韻〕準、均也。〔易、繫辭上〕易與天地、準。〔韓文〕京兆、準、等也。〔疏〕準、均也。●はかる。おしはかる。〔廣韻〕準、度也。〔後漢子、蜀志〕準、望。●ゆるす。許可する。而惟、當。〔後漢書、(二)〕勳臻、準字、去十篇、

〔準其〕 [illegible] ゆるす。許可する。
〔準授〕 [illegible] はかるとして。〔文選幽通賦〕「千乘司空
〔準授〕 [illegible] 同じ制度。制の準準。〔漢書〕「千乘司空
〔準規〕 [illegible] 〔漢書〕「千乘司空
〔準規〕 [illegible] 〔漢書〕「千乘司空
〔準規〕 [illegible]

慶綴敗、穢（疏）説苦、本之於情、綴者、本之於外、有此綴、而後有此穢、穢綴一也、準謂之準、謂之準、謂之準、謂之準、謂之準、故故拉樣之、（後漢書・馮魴志・得給紙筆、法式紀于手足。

準（準）ｊｕｎ　ｊｕｎ　ｊｕｎ　●まがった。方圓用規、（宋史、鍾宣傳）●ものさし。尺度。（後漢書、祖暅

準（準）ｊｕｎ　ｊｕｎ　ｊｕｎ　●ものさし。尺度。（後漢書、祖暅傳）●度、号、同。斷舍之玄策（注）準、準、準、

縣名。〔集韻〕流縣名。在三酒泉。

【滉】 17940 エン（集韻）於眼切 元

川の名。或は滉。17593）に作る。〔集韻〕滉、山海經、英鞏之山、滉水出焉、或从鬼。

【潕】 17941 ヨウ（集韻）羊益切 沃

〔一〕●うるはふ。〔集韻〕羊益切。〔廣韻〕川の名。

〔二〕●うるはふ。〔集韻〕羊益切。●川の名。〔廣韻〕滉、水名。在平原。〔二〕に同じ。

【滉】 17942 コウ（集韻）戶廣切 蕩

〔一〕●くぼむ。〔集韻〕窊。（8・25487）に同じ。〔集韻〕窊、手邊平也。或从水。●窪地は平かでなきなり。〔郭璞、江賦〕滉瀁窊洿。〔注〕善曰、窊洿、不平貌。

【溜】 17943 ヨウ（集韻）力又切 宥

〔一〕●したたる。しづくが落ちる。〔集韻〕水垂下也。〔孫綽、遊天台山賦、攬霞溜、濯下陰吳。〔注〕溜、水流貌。●たたり。〔集韻〕滴、水垂下也。〔注〕溜、水流貌。●はやせ。急流。〔馬報〕、溜流勝鞭。〔注〕溜、舟行遇風、一失人、溜則沒溺。●發する。〔晉子、宙合〕、滅、盡也。溜、發也。●あまだれおち。〔左氏、宣二〕、溜、霤也。●陽が過ぎること。〔莊子、人間世〕、陰陽相薄、陽氣有盛衰、陽氏盛則陰氏虧、陽氏有時而溜。●に、〔中華大字典〕、釜煮蒸、曰溜。●あそぶ。〔中華大字典〕、遊・游・游也。馬服・輯儀、蒸使・蒸・蒸行曰溜。〔注〕、閒遊曰溜。北方亦曰溜遠。●雷溜。〔12・42396〕に通ず。〔淮雅、釋水〕、出、出、從、上溜下、轉文。〔本作〕溜。●川の名。〔集韻〕、〔說文〕、溜、溜水、出、碧林郡、从水、留聲。〔一〕●ながれる。〔玉篇〕、〔一〕、流同。●留（7・21808）・留（7・22408）に通ず。〔廣韻〕、糠米、成粒日留。〔本草〕、地也。〔注〕、溜、留、留字、蓋古通用。〔本草〕、地黃、地也。〔注〕、溜、留、留字、蓋古通用。●川の名。〔集韻〕、溜、水名。出、碧林。●遡〔4〕逃げる。●近所。〔4〕はし。端。〔5〕物價などが下落する。〔6〕滑る。滑らす。〔8〕ひそかに入る。忍び入る。〔9〕汁の中に葛粉を入れて作った料理。〔4〕全く。甚だ。非常に。●鬼〔6〕たまる。〔4〕積って多くなる。つもりつもる。〔9〕止まる。〔9〕こうへる。〔9〕たまり。〔4〕が集り控へてゐる室。〔9〕たまること。集ること。〔4〕江戶時代の牢獄。ためる。〔5〕たべさせ。〔4〕こうへること。〔6〕味噌などから搾った液。〔醬油の。〔5〕こく。豆醬。●ため。〔4〕ためること。

【溜】 17943 ヨウ（集韻）力又切 宥

〔一〕●したたる。しづくが落ちる。〔集韻〕水垂下也。〔孫綽、遊天台山賦、攬霞溜、濯下陰吳。〔注〕、溜、水流貌。●たたり。〔集韻〕滴、水垂下也。〔注〕、溜、水流貌。●はやせ。急流。〔馬報〕、溜流勝鞭。〔注〕、舟行遇風、一失人、溜則沒溺。●發する。〔晉子、宙合〕、滅、盡也。溜、發也。●あまだれおち。〔左氏、宣二〕、溜、霤也。●陽が過ぎること。〔莊子、人間世〕、陰陽相薄、陽氣有盛衰、陽氏盛則陰氏虧、陽氏有時而溜。●に、〔中華大字典〕、釜煮蒸、曰溜。●あそぶ。〔中華大字典〕、遊・游・游也。馬服・輯儀、蒸使・蒸・蒸行曰溜。〔注〕、閒遊曰溜。北方亦曰溜遠。●雷溜。〔12・42396〕に通ず。〔淮雅、釋水〕、出、出、從、上溜下、轉文。〔本作〕溜。●川の名。〔集韻〕、〔說文〕、溜、溜水、出、碧林郡、从水、留聲。〔一〕●ながれる。〔玉篇〕、〔一〕、流同。●留（7・21808）・留（7・22408）に通ず。〔廣韻〕、糠米、成粒日留。〔本草〕、地也。〔注〕、溜、留、留字、蓋古通用。〔本草〕、地黃、地也。〔注〕、溜、留、留字、蓋古通用。●川の名。〔集韻〕、溜、水名。出、碧林。●遡〔4〕逃げる。●近所。〔4〕はし。端。〔5〕物價などが下落する。〔6〕滑る。滑らす。〔8〕ひそかに入る。忍び入る。〔9〕汁の中に葛粉を入れて作った料理。〔4〕全く。甚だ。非常に。●鬼〔6〕たまる。〔4〕積って多くなる。つもりつもる。〔9〕止まる。〔9〕こうへる。〔9〕たまり。〔4〕が集り控へてゐる室。〔9〕たまること。集ること。〔4〕江戶時代の牢獄。ためる。〔5〕たべさせ。〔4〕こうへること。〔6〕味噌などから搾った液。〔醬油の。〔5〕こく。豆醬。●ため。〔4〕ためること。と、又、ためっておくところ。〔9〕集つてゐるところ。たまり。〔3〕江戶時代、犯罪者の病人及び十五歲以下幼因をおいた牢。

名詞 タリ

〔溜飲〕〔一〕、胃の不消化によって、飲食物が胃中につうへて酸敗液の出る症狀。留飲・轉じて、ものにつうへて氣持よくなることを溜飲がさがるといふ。

〔溜間〕〔一〕、德川時代、江戶城中にあつた諸代の藩屏、御黑書院の間に詰る故に此名あり。●〔一〕の控へてゐる間。

〔溜糧〕〔一〕、同じ。●、馬が逃げ出す。

〔溜糧後〕〔一〕、馬が逃げ出す。

〔溜魚〕〔一〕、魚の名。さめの鮫魚の異名。〔本草、鮫魚、釋名、沙魚、鱶魚、鱶魚、魚肉を切つて溜り汁とし、油醋・醬油・蓼・蓼等を加へた料理。

〔溜光〕〔一〕、kuang、蓋しく平清なる。

〔溜清〕〔一〕、tsiŋ、出盛すれ、直が滿る。

〔溜血〕〔一〕、hsiɛh、鋼び詰れだ。

〔溜吠〕〔一〕、hui、晩呼びなるまでぶらつく。

〔溜出〕〔一〕、hsu、蒸溜し液状になつて器の口からしたたること。

〔溜出門見〕〔一〕、chu、mɔn、ɔrh、出所を洗ひ出すこと。

〔溜食〕〔一〕、ssiɛ、食物を消化するために飲む。

〔溜背〕〔一〕、hsi、sɔn、驚の肝臟を煮た料理。

〔溜水〕〔一〕、ts、ts、たまりみづ。〔廣韻、天台、草木王子、會同之會、說、桃花、爲重、注〕、故書桃花、桓、溜水。〔一〕、ts、ts、たまりみづ。〔廣韻、天台、草木王子、會同之會、說、桃花、爲重、注〕、故書桃花、桓、溜水。〔梁子、雜上、玉歲溜水、至八月、〔廣韻、注〕、溜水、流水、出、溜水、流水、出、溜水、流水、出

（17943‥40）——（17944‥18）

【溜溝子】ju liu kou zi 溜沙踏人。道路甚險。【溜些些】ju xie xie 〔ㄅㄧㄝ ㄅㄧㄝ〕 ①ㄅㄧㄝ ㄅㄧㄝ

疑、出穀史案多駁清說之誤、不勝之中、非出衣穀之[illegible]

〔溝壑〕[illegible] みぞ。ほり。清はもと又は城の[illegible]

〔溝壑面許〕（後漢書・秋倉傳）城小溝壑皆滿（三[illegible]

天、人間帝紀入山東河東南郡中等諸郡、[illegible]

〔溝澮〕[illegible] めが水路に向けること又其の物。

〔溝洫〕[illegible] 水路に向けること又其の物。

〔溝洫〕[illegible] 水路に向けること又其の物。

〔溝樹〕[illegible] 溝の側に植えた樹。[illegible]

〔溝樹〕[illegible] 溝の側に植えた樹。[illegible]

〔溝樹〕[illegible] 溝の側に植えた樹。[illegible]

〔溝澮〕[illegible] みぞと川。[illegible]

〔溝洫〕[illegible] 水路。[illegible]

〔溝洫〕[illegible] 水路。[illegible]

〔溝洫〕[illegible] 水路

【潛】 17946 チ (集韻)陳尼切 支

❶すすかす。川の中の小鳥。堀。3 5001)に同じ。説文 潛、小潛也。徒感切 水 潛、至也。

【溟】 17947 ロイ (集韻)呼經切 青 ロイ (集韻)呼迥切 迥 ロイ (集韻)莫狄切 錫

❶くらい。(説文 溟、小雨沸沸皃。(左思、呉都賦)灌灌溟濛。物のさま。(漢書(10))溟涬(3)。溟涬(3)を見よ。❷灌(7 - 18695)に同じ。(康熙字典)溟、溟濛、雨小皃。❸くらいさま。(集韻)溟、溟濛、雨小皃。

【溟涬】 ロイ くらいけむり。(鄭谷、江陵詩)杳杳魚行破溟涬、雄雌蒸蒸見。

【溟濛】 ロイ 霧雨。(張協、雜詩)雨足溟濛。(注)善曰、莊子曰、北溟有魚、其名曰鯤。(李白、大鵬賦)終變之北、有溟濛者。越絶内傳、陳成恒一越王句踐曰、若蒼鳥不來、少先之、内不自量、與吳人戰、軍敗身死、遺先之、越遂進兵走、上棲會稽山、于浮海、唯無蒼鳥見。(張協、七命)溟濛蒼鳥、其狀、(鄭谷、鶴)蒼鳥見親。❷蒼鳥の外に在る海なり。(海内十洲記)蒼鳥の外に在る海なり。(海内十洲記)蒼鳥の外に在る海、桃山、圓海水正黑、所謂之溟濛海也。(東方朔、神異經)東方有海、其中有人、長十丈、面皆赤色、不可得注視。

【溟渤】 ロイ 海の氣。(謝朓、詩)溟渤、自然氣也(李白、日出行)吾將養活大塊、法彼溟渤、(李白、鳳凰)鳳凰、鳳凰、何時來儀、(杜甫、夜聽許十誦詩)愛而有作詩、精微窮溟渤、飛動接雲霞。❸きかの無いさま。(淮南子、本經訓)四海溟渤、(注)溟渤、無涯畔也。❹氣の未だ分れない。(淮南子、論衡、談天)溟渤、氣未分之類也。❺水の盛なさま。(集韻)溟、(淮南、水皃)(玉篇)溟、溟渤、水盛皃。亦作渤。❻目ら負かさま。(莊子、天地)溟渤然無心而萬物化焉。(注)溟渤、自負之皃。

【溟鴻】 ロイ 海と山。海色。(趙勳、秋興賦)車落天地、蒼茫溟鴻。

【溟渤】 ロイ 海の中。(李白、月三日待酒徒期不至、作詩)溟渤、(李白、鳳凰)鳳凰、鳳凰、何時來儀、(杜甫、夜聽許十誦詩)愛而有作詩、精微窮溟渤、飛動接雲霞。

【溟濛】 ロイ 霧雨。(張協、雜詩)雨足溟濛。(注)善曰、莊子曰、北溟有魚、其名曰鯤。(李白、大鵬賦)終變之北、有溟濛者。越絶内傳、陳成恒一越王句踐曰、若蒼鳥不來、少先之、内不自量、與吳人戰、軍敗身死、遺先之、越遂進兵走、上棲會稽山、于浮海、唯無蒼鳥見。(張協、七命)溟濛蒼鳥、其狀、(鄭谷、鶴)蒼鳥見親。

【溟渤】 ロイ 海の中。(李白、大鵬賦)終變之北、有溟濛者。越絶内傳、陳成恒一越王句踐曰、若蒼鳥不來、少先之、内不自量、與吳人戰、軍敗身死、遺先之、越遂進兵走、上棲會稽山、于浮海、唯無蒼鳥見。(張協、七命)溟濛蒼鳥、其狀、(鄭谷、鶴)蒼鳥見親。

【溟渤】 ロイ 海の中。(李白、大鵬賦)終變之北、有溟濛者。越絶内傳、陳成恒一越王句踐曰、若蒼鳥不來、少先之、内不自量、與吳人戰、軍敗身死、遺先之、越遂進兵走、上棲會稽山、于浮海、唯無蒼鳥見。(張協、七命)溟濛蒼鳥、其狀、(鄭谷、鶴)蒼鳥見親。

【溼】 17948 ジ (集韻)側切 職 ジ (集韻)莊切 鄭 ジ (集韻)資切 脂 ジ (集韻)又宜切 支

❶しめる。(説文 溼、水出皃。(周禮、地官、稻人)以豬、(注)豬、水名。(呂覽、有度)豬、(注)豬、水名。(呂覽、有度)豬、(注)豬、水名。(呂覽、有度)

也。❹みちる（説文）溢 器満也。从水益聲（廣雅、釋詁）溢、満也。（廣雅、釋詁二）溢、出也。（後漢書、陳龍傳）溢於申刑、者除之。（注）溢、出也。（淮南子、人間世）夫兩忘必多、溢於之言。（注）溢、過也。❺おこる（説文）溢 溢面不安。（注）今本誤心。溢、（孝経援神契）おはみづ。洪水之機。（注）孝経援神契、云、洪水之機、謂水之溢流。上則因以水名。（説文）溢、水之溢流。也。（小雅、菁菁者莪）溢溢。（注）溢、盛也。（毛詩）❻さかん（廣雅、釋詁）溢、盛也。（毛詩）❼しづか（説文）溢 安也。（廣雅、釋詁）溢、盛也。（毛詩）❽やすらか。

価（1―593）、（1―1583）（10―3582）、（1―1583）（10―3583）に通ず。（説文通訓定聲）溢 字下文云、溢也、與溢同。（廣雅、釋詁）溢、静也。（義証）溢者下文云、溢也、與溢同。（廣雅、釋詁）溢、静也。同字、通作 恤、説文云、恤、静也、又通作 溢。（説文）溢、恤也、又通作 溢。（説文）溢、恤也、又通作 溢。（毛詩）❾つつしむ（廣雅、釋詁）溢、慎也。（説文）溢、恤也、從水益聲。（段玉

【漯】 17954

ジョウ　ショウ

（集韻）沮俱切　圃

ひたなる。ゆるやかなる。或は瀹(6 17 4414)に作る。（說文）漯、衝深也。从水絮聲。（集韻）漯、或作瀹。

【瀹】 17955

ロン　（集韻）直角切　顧

船を曳く。（集韻）瀹、水中曳船舟引也。

【溤】 17956

ロン　（玉篇）莫把切　馬

㊀ヒョウ　㊁ヨウ

㊀川の名。（玉篇）溤、水也。（字彙）溤、水名。㊁溤(13 4579)の俗字。（玉篇）溤、溤、上俗、下正。㊂溤(7 18189)の誤字。（正字通）溤、誘字之譌。

【溥】 17957

ホ　（集韻五虞切）　麌

フ　（集韻）芳無切　敷

ヒ　（集韻）洋姥切　虞

ヘ　（集韻）百各切　陌

（集韻）敷也。（玉篇）溥、大也。（字彙）溥、水小。（集韻）溥、水小也。（集韻）溥、水小也。（集韻）溥、水小也

風樂宗稽」字彙補遺。

〔禮韻〕ji。〔集韻〕ひりくのうた。〔王融、水荷九首策秀才文〕と意味不詳。

【潗】 17958 チン (集韻)直珍切 震

水のながれるさま。〔集韻〕潗、水流皃。

【澂】 17959 ジツ (集韻)無切 質 ヒツ (集韻)妥切 支

水名。〔集韻〕澂、又作澨。澨、小雨皃。

【澂】 小 [illegible] 澂(7—18391)・澨(12—42392)に同じ。〔說文〕澂、小雨皃。

水名。澨、水名。〔集韻〕澂、又作澨。澨、[illegible]たに。貴に通ずる谷。通じて潤(7—11509)に作る。〔集韻〕澨、谷興。〔廣韻〕澨、[illegible]かび。かびる。黴(12—45196)に通ず。〔說文通訓定聲〕澨、段借爲黴。〔通俗文〕澨、凡物傷濕曰澨。

【溧】 17960 リツ (集韻)力質切 質 ヒツ (集韻)力[illegible]

水名。もと漢(7—18569)に作る。溧水字。〔說文〕溧、溧水出丹陽溧陽縣。從水麗聲。

水名。〔玄應〕溧、溧水出丹陽溧陽縣。

水名。〔方輿紀〕江蘇溧陽縣、溧陽縣。

水名。溧水(2)を見よ。〔正字通〕溧、溧水字。

水名。〔說文〕溧、溧水出丹陽溧陽縣。從水麗聲。

川の名。〔廣韻〕溧、水名。

【澨】 17961 セン 溧 或从倩。

溧(7—17855)に同じ。〔集韻〕澨、或从倩。

【潢】 17962 サイ (廣韻)祖哉切 咍 ザイ (集韻)作哉切

川の名。〔廣韻〕潢、水名。

【澆】 17963 ヨウ (集韻)居用切 宋 ユ (集韻)居用切

黄河の支流の名。澆(7—18749)・雍(7—18403)に同じ。〔集韻〕澆、[illegible]雅、水自山河出爲澆、或作雍。

〔集韻〕ju。●茶の名。胡南省の湘潭に産す。〔茶經風土記〕澆、茶事宗師謂彭州澆

【潭】 17964 ヨウ (集韻)於玉切 寘

●つつみ。川のよどで。〔廣韻〕潭、水急。●水の大きいさま。〔集韻〕潭、一曰、水大皃。●川の名。〔集韻〕潭、水名。

【潟】 17965 ゲツ ゲチ (集韻)何結切 屑

川の名。〔集韻〕潟、水名。

【潮】 17966 コン (集韻)古困切 願 ゴン (集韻)胡困切 ゲン (集韻)牙加切 銜

●大水。〔集韻〕潮、一曰、大水。●川の名。〔集韻〕潮、水名。●人の名。〔集韻〕潮、水名、在[illegible]縣。

参考 熱潮は錯(10—26219)を見よ。

【溪】 17967 ケイ (集韻)苦奚切 齊

川の名。〔集韻〕溪、水名。

【溫】 17968 ヨン (集韻)烏甬切 腫 ユン (集韻)于閏切 ウン (集韻)烏困切 ヨウ (集韻)烏浪切 宋 ユ (集韻)烏浪切 [illegible]

●あたたかい、あたためる。あたたまる。溫(7—12238)に通ず。〔說文通訓定聲〕溫、段借爲煴。〔廣雅、釋詁三〕溫、煖也。〔王藍、溫、熱也〕。〔禮、檀弓上〕多溫而足矣。〔禮、月令〕溫風始至。〔呂氏春秋、季冬紀〕溫風始至。〔淮南子、時則訓〕溫風至。〔荀子、王霸〕溫者、不愛三公。〔呂氏春秋、季夏紀〕溫、[illegible]。〔淮南子、天文〕溫、[illegible]。〔漢書、[illegible]〕溫、[illegible]。〔後漢書、[illegible]〕溫、[illegible]。〔後漢書、[illegible]〕溫、[illegible]。〔後

古日温、厚也。（説文）温、厚也。（廣雅）温、厚、積於故事也。（枚乘七発）飲食温熱、（注）温、温熱也。（淮南子、説山）凡味之厚也。❹足る。富む。（荀子、榮辱）居皆温厚。（注）温、猶足也。（漢書、張敞傳）❺たづねる。ならふ。さらす。習熟する。（字鏡）温、敦煌知・新。（集解）何晏曰、温、故也。馬融曰、温、尋也。（論語、為政）温故而知新。（新書、❻おきなふ。補築。精力を論ず。（漢書、❼熱病。（本草）生寒通大論）冬傷於寒、春必病温。❽いでゆ。温泉。（播磨、西征賦、注引温公、（論語）温故而知新。❾俗に温ス。（注）等日、温公、（論語）温故而知新。（新書、温故文、温ス字。❿川の名。温水（未）を川名とする。⓫吉の編の名。周の畿内の國司馬、蘇忿生此處に封ぜらる。今、河南省温県の西南、左氏、隱元年、温邑、温取、温之豪（注）温、今河内温縣也。（左氏、成十一）晉侯、温、使、諸侯撫封、蘇忿賦、注引温公、（論語）温故而知。⓬姓（通志氏族略）以邑為氏。温氏、姬姓、唐叔虞之後、温邑至温氏。温大夫、統温字、因以為氏。□つつむ。ふくく。集韻、温、藴也。（詩、小雅、小宛、訳）温温恭人。（韓文、温、藴稿也。（柳文、温、藴也。（注）温、稿也。（注）温、稿也。（注）温、稿

七十二)〔後漢郡志〕○清三原の人。字は可久。[温嶠]温恭の族。温の遠人。官は侍郎。著に『温王原郡の第名』(隋朝貴族年鑑一)。

[温休]温休は幽州の人。字は元公。[温]恭の甥。[温]嶠の従兄弟。[温]峤の族。[温]嶠は温休の甥。[温]休は幽州の反諸。郡も温休を幽となり、休温は幽州の人。(『晉書』温嶠伝)

古韻 温姿石商 上去 才 采 采 上 去 沽 行 才 行 行 才 行 才 行 才

人 誠 爲 ［後漢書］ 後 漢 ［後漢書］ 溫 ［後漢書］ 溫 ［後漢書］ 溫

入河。㊁水（8‥17268‥232）の別名。『易乾鑿度』「温水、温泉の別名。」『説文』「温、仁水也。」『説文段注』「温泉、温水。」『説文通訓定聲』「温、温泉、温水。」『説文新附』「温、温泉、温水。」『説文繫傳』「温、温泉、温水。」『説文解字注』「温、温泉、温水。」『説文解字義証』「温、温泉、温水。」『説文解字句読』「温、温泉、温水。」『説文解字約注』「温、温泉、温水。」『説文解字詁林

【温適】[illegible] 暑なく寒くなく氣候がよい。[illegible]

【温度】[illegible] 温度計。不精不稔、士氣[illegible]

【温度計】[illegible] あたたかさのほどあ[illegible]

【温度計器】[illegible] 寒暖計。[illegible]

【温度計器】[illegible] 温度計。[illegible]

【温度計器】[illegible] 温度計。[illegible]

【温度計器】[illegible] 温度

敏捷〔蔡之〕。

溫裕 ㄨㄣ ㄩㄣˋ 。 ㄨㄣ ㄩㄣˋ 。 おだやかゆるやかなこと。衣服の人に氣格がふさわしくゆったりしていること。衣服人士、寬を則ち氣格裕しきなり。〔溫裕而已〕。〔則者無〕。〔溫裕〕。〔溫裕而已〕。

溫度 ㄨㄣ ㄉㄨˋ 。 ㄨㄣ ㄉㄨˋ 。 ●溫度。〔溫度〕。〔溫度〕。〔溫度〕

は其後、構造者、乾隆の進士、官は氏部右侍郎。
『[illegible]』[illegible]。『[illegible]』[illegible]。『[illegible]』[illegible]。

格。(注)善曰、漫漫盛貌、參差相次也。●漫或はゆれ動くへ。(蜀雅・釋詁下)漫漫、動盛也。

瀰 17972 シン (集韻)荒鬼切 去 (集韻)荒鬼切 [illegible]

川の名。源は湖北省鄖縣の東北。淮に注ぐ。又、楊紹河い楊紹河といふ。(集韻)瀰、(廣韻)集韻)瀰、則由切、水名。水經(淮水注)淮水又東、得小瀰口水源、南出大漢山、東北流、翼都三川、亂流北注、瀰水、

淫 17973 ヨウ (集韻)弦各切 [illegible] ヨウ (集韻)胡郭切 [illegible]

日本。(集韻)淫、水也。●**うるほふ**。(集韻)淫、潤也。

淅 17974 ヨウ (集韻)直角切 [illegible] ヨウ (集韻)食雀切 [illegible]

[illegible]●川の名。(10・35823)に通ず。(山海經、中山經)瞰諸之山、淅水出焉。(箋疏)淅、水經注作瀰。(集韻)淅、水經注作瀰。(集韻)淅、水名。(廣韻)淅、(集韻)淅、(類篇)淅、水名。(玉篇)淅、(正字通)淅、亦作瀰。

瀰 17975 ヨウ (集韻)直角切 [illegible] ヨウ (集韻)食雀切 [illegible]

なかのぼる。浜(8・17300)・淅(7・1777)・瀰(11・39946)に同じ。(集韻)瀰、說文、逆流而上曰瀰、或作淅。(正字通)瀰、亦作淅。

澄 17976 ヨウ (集韻)魚衣切 [illegible]

澄澄は、白いさま。澄(9・1694)・澄(9・2238)に同じ。(集韻)澄、博雅、澄澄、霜雪也、或从白从水。(枚乘七發)浩浩澄澄、如素車白馬輕蓋之張。(注)善曰、浩浩、澄澄、波白而高兒、善曰、澄澄、高白之貌也。

測 17977 セイ 去 (集韻)初革切 [illegible]

通測。測牛子。

溱 17978 シン (集韻)編詰切 [illegible] [illegible]

●**おほい**。溱溱、衆(9・3169)に通ず。(小雅、無羊)至家溱溱。(傳)溱溱、衆多也。(傳疏)潛夫論夢列篇作=蓁蓁、蓁與、溱通。●**いたる**。陳(9・303)に通ず。(說文通訓定聲)溱、段借爲、溱字、與、陳同。●**地の名**。溱(3)を見よ。●**川の名**。溱水(4)を見よ。(說文)溱、溱水出、鄠陽蹄武、入渭、从水衆聲。●洧(7・18260)に同じ。(集韻)洧、說文、溱水出、鄠陽、通作溱、(浮)。●**姓**。(萬姓統譜)溱、州名。見下直音。

●**ゆ**の二方。溱水と洧水、共に河南省鄭封直鄭縣に在る。(詩、鄭風、溱洧)溱與、方渙渙兮。(傳)溱洧、鄭所水名。(孔子、[illegible]

溲 17979 日シウ (集韻)所九切 [illegible] 日シウ (集韻)疏鳩切 [illegible] 日サウ (集韻)蘇遘切 [illegible]

[illegible]日**そそぎあらふ**。よなぐ。もと溲(7・17868)に作る。(正字通)溲、本作淺。(說文)溲、淺洑也、从水妻聲。(段注)淺洑、各本作[illegible]、今依國語補宗氏刊本、訂、洑洑者、淺洑而洑、洗之也。(韓詩外傳)溲、[illegible]。(釋名)溲、[illegible]。(廣雅、釋詁)溲、[illegible]。(廣雅、釋詁)溲、[illegible]。(廣雅、釋詁

〔澮畎〕ていけん ゆばたりに注ぎる溝渠。（『管子』小問篇）

〔澮川〕かいせん 小川。（『荀子』王制篇）

〔澮洫〕かいいき 田間の水路。（『周礼』遂人）

〔澮浍〕かいかい 小川。（『荀子』王制篇）

〔澮澮〕かいかい 水が多いさま。（『荀子』王制篇）

〔澮澮然〕かいかいぜん 水が多いさま。（『荀子』王制篇）

〔澮澮〕ていけん 水路。（『管子』小問篇）

〔澮澮〕ていけん 水路。（『管子』小問篇）

〔澮澮〕ていけん 水路。（『管子』小問

溶方皇於雨清（注）師古曰。溶然閒暇貌也。

〔溶體〕ﾖｳﾀｲ 同體と同體との相容解したものの。

〔溶容〕ﾖｳﾖｳ 態物を解するなかだちとなるもの。

〔溶漾〕ﾖｳﾖｳ 水の貌。

よう。（蘇軾、遊仙山詩）孤帆信溶漾、羨、此半篙裏。（蘇軾、懷修歌行）溶漾瀟灑、暮春趁浪高。（郭璞、遊仙詩）溶漾瀟灑、暮春趁浪高。（注）溶洋、波觀也。（揚雄、羽獵賦）沈沈溶溶、洪波山積。（注）師古曰。溶溶、言川谷流入宮闕。（杜牧、華清宮三十韻）溶溶、水白駘駘、蛟淫鯨、（注）心之廣くゆつ溶其大氣。（蘇軾、動向九鼎、愁命）心溶溶、情海像其若洞。（注）溶洋、廣大貌。「溶洋」ﾖｳﾖｳ 元、長安80—1355（1795）の誠。

滑 17985 カツ コツ

水のながれるさま。（集韻）滑、水流皃。

漉 17986 バツ モツ

川の名。（集韻）漉、水名。出、諸泉山。（集韻）漉、水名。

潢 17987 ソウ（字彙）蘇故切 遇

（集韻）胡困切 顧 ［ｸｳ］ huang

（集韻）戶袞切 院

（集韻）胡憤切 鑑

（集韻）胡昆切 元

漾 17988 エウ（集韻）伊鳥切 篠

潭潭は、深くてはかられぬ。（集韻）潭、深不測。

漾 17989 ヨウ（集韻）弋亮切 宕 ヨウ（集韻）弋亮切 宕

水のさま。（集韻）漾、水皃。●川の名。（漢水）を見よ。（集韻）漾、一曰、水名。在、蔡陽。●雨のふるさま。（集韻）漾、雨皃。●漢（17—1834）に通ず。（正字通）漾、奥、漢通。●川の名。（集韻）漾、一曰、水名。在、蔡陽。●雨のふるさま。（集韻）漾、雨下皃。「漾漾」ﾖｳﾖｳ 雨のふるさま。（集韻）漾、漾漾、雨皃。「漾水」ﾖｳｽｲ 川の名。蔡陽にある。今の素河。（廣韻）漾、無根底水皃。

（集韻）漾、蔡の名。今の名は蘭都山、四川省洪雅縣の中。（字彙）漾、蔡名。

潢 17990 コウ

（集韻）胡光切 唐 コウ（集韻）胡光切 唐

水のながれるさま。（集韻）潢、水流皃。●水の底。（說文）潢、亦水名。●水の底にたまるもの。（楚辭、劉勝、招隱士）潢、

鎮深・水名。在桑間二日水出。闕書類。(二)山海經北山經。鈎吻之山。淯水出焉。(三)山海經北山經。在今直隸鎮定南。去晉書字記引。此作「興山」。(淯清水)。(四)水名。桑乾河をいう。(水經注)。(五)水名。桑乾河をいう。(水經注)。(六)水名。北京市内を流れる。詳しくは桑乾水参照。

【溺】17990

㊀ デキ
㊁ ジャク
㊂ ニョウ
㊃ ニャク

(集韻)力歴切 鑊
(集韻)延角切 鑊
(集韻)百角切 鑊
(集韻)宜作切 鑊
(集韻)ちょう nuo。

㊀おぼれる。(1)水に沈む。水溺・溺也。(孟子、離婁上)溺・溺死。(2)水に沈める。水溺・溺也。(孟子、離婁上)溺・溺死。(3)(溺)・溺・溺死。(4)(溺)・溺・溺死。(5)(溺)・溺・溺死。(6)(溺)・溺・溺死。(7)(溺)・溺・溺死。(8)(溺)・溺・溺死。(9)(溺)・溺・溺死。(10)(溺)・溺・溺死。(11)(溺)・溺・溺死。(12)(溺)・溺・溺死。(13)(溺)・溺・溺死。(14)(溺)・溺・溺死。(15)(溺)・溺・溺死。(16)(溺)・溺・溺死。(17)(溺)・溺・溺死。(18)(溺)・溺・溺死。(19)(溺)・溺・溺死。(20)(溺)・溺・溺死。(21)(溺)・溺・溺死。(22)(溺)・溺・溺死。(23)(溺)・溺・溺死。(24)(溺)・溺・溺死。(25)(溺)・溺・溺死。(26)(溺)・溺・溺死。(27)(溺)・溺・溺死。(28)(溺)・溺・溺死。(29)(溺)・溺・溺死。(30)(溺)・溺・溺死。(31)(溺)・溺・溺死。(32)(溺)・溺・溺死。(33)(溺)・溺・溺死。(34)(溺)・溺・溺死。(35)(溺)・溺・溺死。(36)(溺)・溺・溺死。(37)(溺)・溺・溺死。(38)(溺)・溺・溺死。(39)(溺)・溺・溺死。(40)(溺)・溺・溺死。(41)(溺)・溺・溺死。(42)(溺)・溺・溺死。(43)(溺)・溺・溺死。(44)(溺)・溺・溺死。(45)(溺)・溺・溺死。(46)(溺)・溺・溺死。(47)(溺)・溺・溺死。(48)(溺)・溺・溺死。(49)(溺)・溺・溺死。(50)(溺)・溺・溺死。(51)(溺)・溺・溺死。(52)(溺)・溺・溺死。(53)(溺)・溺・溺死。(54)(溺)・溺・溺死。(55)(溺)・溺・溺死。(56)(溺)・溺・溺死。(57)(溺)・溺・溺死。(58)(溺)・溺・溺死。(59)(溺)・溺・溺死。(60)(溺)・溺・溺死。(61)(溺)・溺・溺死。(62)(溺)・溺・溺死。(63)(溺)・溺・溺死。(64)(溺)・溺・溺死。(65)(溺)・溺・溺死。(66)(溺)・溺・溺死。(67)(溺)・溺・溺死。(68)(溺)・溺・溺死。(69)(溺)・溺・溺死。(70)(溺)・溺・溺死。(71)(溺)・溺・溺死。(72)(溺)・溺・溺死。(73)(溺)・溺・溺死。(74)(溺)・溺・溺死。(75)(溺)・溺・溺死。(76)(溺)・溺・溺死。(77)(溺)・溺・溺死。(78)(溺)・溺・溺死。(79)(溺)・溺・溺死。(80)(溺)・溺・溺死。(81)(溺)・溺・溺死。(82)(溺)・溺・溺死。(83)(溺)・溺・溺死。(84)(溺)・溺・溺死。(85)(溺)・溺・溺死。(86)(溺)・溺・溺死。(87)(溺)・溺・溺死。(88)(溺)・溺・溺死。(89)(溺)・溺・溺死。(90)(溺)・溺・溺死。(91)(溺)・溺・溺死。(92)(溺)・溺・溺死。(93)(溺)・溺・溺死。(94)(溺)・溺・溺死。(95)(溺)・溺・溺死。(96)(溺)・溺・溺死。(97)(溺)・溺・溺死。(98)(溺)・溺・溺死。(99)(溺)・溺・溺死。(100)(溺)・溺・溺死。(101)(溺)・溺・溺死。(102)(溺)・溺・溺死。(103)(溺)・溺・溺死。(104)(溺)・溺・溺死。(105)(溺)・溺・溺死。(106)(溺)・溺・溺死。(107)(溺)・溺・溺死。(108)(溺)・溺・溺死。(109)(溺)・溺・溺死。(110)(溺)・溺・溺死。(111)(溺)・溺・溺死。(112)(溺)・溺・溺死。(113)(溺)・溺・溺死。(114)(溺)・溺・溺死。(115)(溺)・溺・溺死。(116)(溺)・溺・溺死。(117)(溺)・溺・溺死。(118)(溺)・溺・溺死。(119)(溺)・溺・溺死。(120)(溺)・溺・溺死。(121)(溺)・溺・溺死。(122)(溺)・溺・溺死。(123)(溺)・溺・溺死。(124)(溺)・溺・溺死。(125)(溺)・溺・溺死。(126)(溺)・溺・溺死。(127)(溺)・溺・溺死。(128)(溺)・溺・溺死。(129)(溺)・溺・溺死。(130)(溺)・溺・溺死。(131)(溺)・溺・溺死。(132)(溺)・溺・溺死。(133)(溺)・溺・溺死。(134)(溺)・溺・溺死。(135)(溺)・溺・溺死。(136)(溺)・溺・溺死。(137)(溺)・溺・溺死。(138)(溺)・溺・溺死。(139)(溺)・溺・溺死。(140)(溺)・溺・溺死。(141)(溺)・溺・溺死。(142)(溺)・溺・溺死。(143)(溺)・溺・溺死。(144)(溺)・溺・溺死。(145)(溺)・溺・溺死。(146)(溺)・溺・溺死。(147)(溺)・溺・溺死。(148)(溺)・溺・溺死。(149)(溺)・溺・溺死。(150)(溺)・溺・溺死。(151)(溺)・溺・溺死。(152)(溺)・溺・溺死。(153)(溺)・溺・溺死。(154)(溺)・溺・溺死。(155)(溺)・溺・溺死。(156)(溺)・溺・溺死。(157)(溺)・溺・溺死。(158)(溺)・溺・溺死。(159)(溺)・溺・溺死。(160)(溺)・溺・溺死。(161)(溺)・溺・溺死。(162)(溺)・溺・溺死。(163)(溺)・溺・溺死。(164)(溺)・溺・溺死。(165)(溺)・溺・溺死。(166)(溺)・溺・溺死。(167)(溺)・溺・溺死。(168)(溺)・溺・溺死。(169)(溺)・溺・溺死。(170)(溺)・溺・溺死。(171)(溺)・溺・溺死。(172)(溺)・溺・溺死。(173)(溺)・溺・溺死。(174)(溺)・溺・溺死。(175)(溺)・溺・溺死。(176)(溺)・溺・溺死。(177)(溺)・溺・溺死。(178)(溺)・溺・溺死。(179)(溺)・溺・溺死。(180)(溺)・溺・溺死。(181)(溺)・溺・溺死。(182)(溺)・溺・溺死。(183)(溺)・溺・溺死。(184)(溺)・溺・溺死。(185)(溺)・溺・溺死。(186)(溺)・溺・溺死。(187)(溺)・溺・溺死。(188)(溺)・溺・溺死。(189)(溺)・溺・溺死。(190)(溺)・溺・溺死。(191)(溺)・溺・溺死。(192)(溺)・溺・溺死。(193)(溺)・溺・溺死。(194)(溺)・溺・溺死。(195)(溺)・溺・溺死。(196)(溺)・溺・溺死。(197)(溺)・溺・溺死。(198)(溺)・溺・溺死。(199)(溺)・溺・溺死。(200)(溺)・溺・溺死。(201)(溺)・溺・溺死。(202)(溺)・溺・溺死。(203)(溺)・溺・溺死。(204)(溺)・溺・溺死。(205)(溺)・溺・溺死。(206)(溺)・溺・溺死。(207)(溺)・溺・溺死。(208)(溺)・溺・溺死。(209)(溺)・溺・溺死。(210)(溺)・溺・溺死。(211)(溺)・溺・溺死。(212)(溺)・溺・溺死。(213)(溺)・溺・溺死。(214)(溺)・溺・溺死。(215)(溺)・溺・溺死。(216)(溺)・溺・溺死。(217)(溺)・溺・溺死。(218)(溺)・溺・溺死。(219)(溺)・溺・溺死。(220)(溺)・溺・溺死。(221)(溺)・溺・溺死。(222)(溺)・溺・溺死。(223)(溺)・溺・溺死。(224)(溺)・溺・溺死。(225)(溺)・溺・溺死。(226)(溺)・溺・溺死。(227)(溺)・溺・溺死。(228)(溺)・溺・溺死。(229)(溺)・溺・溺死。(230)(溺)・溺・溺死。(231)(溺)・溺・溺死。(232)(溺)・溺・溺死。(233)(溺)・溺・溺死。(234)(溺)・溺・溺死。(235)(溺)・溺・溺死。(236)(溺)・溺・溺死。(237)(溺)・溺・溺死。(238)(溺)・溺・溺死。(239)(溺)・溺・溺死。(240)(溺)・溺・溺死。(241)(溺)・溺・溺死。(242)(溺)・溺・溺死。(243)(溺)・溺・溺死。(244)(溺)・溺・溺死。(245)(溺)・溺・溺死。(246)(溺)・溺・溺死。(247)(溺)・溺・溺死。(248)(溺)・溺・溺死。(249)(溺)・溺・溺死。(250)(溺)・溺・溺死。(251)(溺)・溺・溺死。(252)(溺)・溺・溺死。(253)(溺)・溺・溺死。(254)(溺)・溺・溺死。(255)(溺)・溺・溺死。(256)(溺)・溺・溺死。(257)(溺)・溺・溺死。(258)(溺)・溺・溺死。(259)(溺)・溺・溺死。(260)(溺)・溺・溺死。(261)(溺)・溺・溺死。(262)(溺)・溺・溺死。(263)(溺)・溺・溺死。(264)(溺)・溺・溺死。(265)(溺)・溺・溺死。(266)(溺)・溺・溺死。(267)(溺)・溺・溺死。(268)(溺)・溺・溺死。(269)(溺)・溺・溺死。(270)(溺)・溺・溺死。(271)(溺)・溺・溺死。(272)(溺)・溺・溺死。(273)(溺)・溺・溺死。(274)(溺)・溺・溺死。(275)(溺)・溺・溺死。(276)(溺)・溺・溺死。(277)(溺)・溺・溺死。(278)(溺)・溺・溺死。(279)(溺)・溺・溺死。(280)(溺)・溺・溺死。(281)(溺)・溺・溺死。(282)(溺)・溺・溺死。(283)(溺)・溺・溺死。(284)(溺)・溺・溺死。(285)(溺)・溺・溺死。(286)(溺)・溺・溺死。(287)(溺)・溺・溺死。(288)(溺)・溺・溺死。(289)(溺)・溺・溺死。(290)(溺)・溺・溺死。(291)(溺)・溺・溺死。(292)(溺)・溺・溺死。(293)(溺)・溺・溺死。(294)(溺)・溺・溺死。(295)(溺)・溺・溺死。(296)(溺)・溺・溺死。(297)(溺)・溺・溺死。(298)(溺)・溺・溺死。(299)(溺)・溺・溺死。(300)(溺)・溺・溺死。(301)(溺)・溺・溺死。(302)(溺)・溺・溺死。(303)(溺)・溺・溺死。(304)(溺)・溺・溺死。(305)(溺)・溺・溺死。(306)(溺)・溺・溺死。(307)(溺)・溺・溺死。(308)(溺)・溺・溺死。(309)(溺)・溺・溺死。(310)(溺)・溺・溺死。(311)(溺)・溺・溺死。(312)(溺)・溺・溺死。(313)(溺)・溺・溺死。(314)(溺)・溺・溺死。(315)(溺)・溺・溺死。(316)(溺)・溺・溺死。(317)(溺)・溺・溺死。(318)(溺)・溺・溺死。(319)(溺)・溺・溺死。(320)(溺)・溺・溺死。(321)(溺)・溺・溺死。(322)(溺)・溺・溺死。(323)(溺)・溺・溺死。(324)(溺)・溺・溺死。(325)(溺)・溺・溺死。(326)(溺)・溺・溺死。(327)(溺)・溺・溺死。(328)(溺)・溺・溺死。(329)(溺)・溺・溺死。(330)(溺)・溺・溺死。(331)(溺)・溺・溺死。(332)(溺)・溺・溺死。(333)(溺)・溺・溺死。(334)(溺)・溺・溺死。(335)(溺)・溺・溺死。(336)(溺)・溺・溺死。(337)(溺)・溺・溺死。(338)(溺)・溺・溺死。(339)(溺)・溺・溺死。(340)(溺)・溺・溺死。(341)(溺)・溺・溺死。(342)(溺)・溺・溺死。(343)(溺)・溺・溺死。(344)(溺)・溺・溺死。(345)(溺)・溺・溺死。(346)(溺)・溺・溺死。(347)(溺)・溺・溺死。(348)(溺)・溺・溺死。(349)(溺)・溺・溺死。(350)(溺)・溺・溺死。(351)(溺)・溺・溺死。(352)(溺)・溺・溺死。(353)(溺)・溺・溺死。(354)(溺)・溺・溺死。(355)(溺)・溺・溺死。(356)(溺)・溺・溺死。(357)(溺)・溺・溺死。(358)(溺)・溺・溺死。(359)(溺)・溺・溺死。(360)(溺)・溺・溺死。(361)(溺)・溺・溺死。(362)(溺)・溺・溺死。(363)(溺)・溺・溺死。(364)(溺)・溺・溺死。(365)(溺)・溺・溺死。(366)(溺)・溺・溺死。(367)(溺)・溺・溺死。(368)(溺)・溺・溺死。(369)(溺)・溺・溺死。(370)(溺)・溺・溺死。(371)(溺)・溺・溺死。(372)(溺)・溺・溺死。(373)(溺)・溺・溺死。(374)(溺)・溺・溺死。(375)(溺)・溺・溺死。(376)(溺)・溺・溺死。(377)(溺)・溺・溺死。(378)(溺)・溺・溺死。(379)(溺)・溺・溺死。(380)(溺)・溺・溺死。(381)(溺)・溺・溺死。(382)(溺)・溺・溺死。(383)(溺)・溺・溺死。(384)(溺)・溺・溺死。(385)(溺)・溺・溺死。(386)(溺)・溺・溺死。(387)(溺)・溺・溺死。(388)(溺)・溺・溺死。(389)(溺)・溺・溺死。(390)(溺)・溺・溺死。(391)(溺)・溺・溺死。(392)(溺)・溺・溺死。(393)(溺)・溺・溺死。(394)(溺)・溺・溺死。(395)(溺)・溺・溺死。(396)(溺)・溺・溺死。(397)(溺)・溺・溺死。(398)(溺)・溺・溺死。(399)(溺)・溺・溺死。(400)(溺)・溺・溺死。(401)(溺)・溺・溺死。(402)(溺)・溺・溺死。(403)(溺)・溺・溺死。(404)(溺)・溺・溺死。(405)(溺)・溺・溺死。(406)(溺)・溺・溺死。(407)(溺)・溺・溺死。(408)(溺)・溺・溺死。(409)(溺)・溺・溺死。(410)(溺)・溺・溺死。(411)(溺)・溺・溺死。(412)(溺)・溺・溺死。(413)(溺)・溺・溺死。(414)(溺)・溺・溺死。(415)(溺)・溺・溺死。(416)(溺)・溺・溺死。(417)(溺)・溺・溺死。(418)(溺)・溺・溺死。(419)(溺)・溺・溺死。(420)(溺)・溺・溺死。(421)(溺)・溺・溺死。(422)(溺)・溺・溺死。(423)(溺)・溺・溺死。(424)(溺)・溺・溺死。(425)(溺)・溺・溺死。(426)(溺)・溺・溺死。(427)(溺)・溺・溺死。(428)(溺)・溺・溺死。(429)(溺)・溺・溺死。(430)(溺)・溺・溺死。(431)(溺)・溺・溺死。(432)(溺)・溺・溺死。(433)(溺)・溺・溺死。(434)(溺)・溺・溺死。(435)(溺)・溺・溺死。(436)(溺)・溺・溺死。(437)(溺)・溺・溺死。(438)(溺)・溺・溺死。(439)(溺)・溺・溺死。(440)(溺)・溺・溺死。(441)(溺)・溺・溺死。(442)(溺)・溺・溺死。(443)(溺)・溺・溺死。(444)(溺)・溺・溺死。(445)(溺)・溺・溺死。(446)(溺)・溺・溺死。(447)(溺)・溺・溺死。(448)(溺)・溺・溺死。(449)(溺)・溺・溺死。(450)(溺)・溺・溺死。(451)(溺)・溺・溺死。(452)(溺)・溺・溺死。(453)(溺)・溺・溺死。(454)(溺)・溺・溺死。(455)(溺)・溺・溺死。(456)(溺)・溺・溺死。(457)(溺)・溺・溺死。(458)(溺)・溺・溺死。(459)(溺)・溺・溺死。(460)(溺)・溺・溺死。(461)(溺)・溺・溺死。(462)(溺)・溺・溺死。(463)(溺)・溺・溺死。(464)(溺)・溺・溺死。(465)(溺)・溺・溺死。(466)(溺)・溺・溺死。(467)(溺)・溺・溺死。(468)(溺)・溺・溺死。(469)(溺)・溺・溺死。(470)(溺)・溺・溺死。(471)(溺)・溺・溺死。(472)(溺)・溺・溺死。(473)(溺)・溺・溺死。(474)(溺)・溺・溺死。(475)(溺)・溺・溺死。(476)(溺)・溺・溺死。(477)(溺)・溺・溺死。(478)(溺)・溺・溺死。(479)(溺)・溺・溺死。(480)(溺)・溺・溺死。(481)(溺)・溺・溺死。(482)(溺)・溺・溺死。(483)(溺)・溺・溺死。(484)(溺)・溺・溺死。(485)(溺)・溺・溺死。(486)(溺)・溺・溺死。(487)(溺)・溺・溺死。(488)(溺)・溺・溺死。(489)(溺)・溺・溺死。(490)(溺)・溺・溺死。(491)(溺)・溺・溺死。(492)(溺)・溺・溺死。(493)(溺)・溺・溺死。(494)(溺)・溺・溺死。(495)(溺)・溺・溺死。(496)(溺)・溺・溺死。(497)(溺)・溺・溺死。(498)(溺)・溺・溺死。(499)(溺)・溺・溺死。(500)(溺)・溺・溺死。(501)(溺)・溺・溺死。(502)(溺)・溺・溺死。(503)(溺)・溺・溺死。(504)(溺)・溺・溺死。(505)(溺)・溺・溺死。(506)(溺)・溺・溺死。(507)(溺)・溺・溺死。(508)(溺)・溺・溺死。(509)(溺)・溺・溺死。(510)(溺)・溺・溺死。(511)(溺)・溺・溺死。(512)(溺)・溺・溺死。(513)(溺)・溺・溺死。(514)(溺)・溺・溺死。(515)(溺)・溺・溺死。(516)(溺)・溺・溺死。(517)(溺)・溺・溺死。(518)(溺)・溺・溺死。(519)(溺)・溺・溺死。(520)(溺)・溺・溺死。(521)(溺)・溺・溺死。(522)(溺)・溺・溺死。(523)(溺)・溺・溺死。(524)(溺)・溺・溺死。(525)(溺)・溺・溺死。(526)(溺)・溺・溺死。(527)(溺)・溺・溺死。(528)(溺)・溺・溺死。(529)(溺)・溺・溺死。(530)(溺)・溺・溺死。(531)(溺)・溺・溺死。(532)(溺)・溺・溺死。(533)(溺)・溺・溺死。(534)(溺)・溺・溺死。(535)(溺)・溺・溺死。(536)(溺)・溺・溺死。(537)(溺)・溺・溺死。(538)(溺)・溺・溺死。(539)(溺)・溺・溺死。(540)(溺)・溺・溺死。(541)(溺)・溺・溺死。(542)(溺)・溺・溺死。(543)(溺)・溺・溺死。(544)(溺)・溺・溺死。(545)(溺)・溺・溺死。(546)(溺)・溺・溺死。(547)(溺)・溺・溺死。(548)(溺)・溺・溺死。(549)(溺)・溺・溺死。(550)(溺)・溺・溺死。(551)(溺)・溺・溺死。(552)(溺)・溺・溺死。(553)(溺)・溺・溺死。(554)(溺)・溺・溺死。(555)(溺)・溺・溺死。(556)(溺)・溺・溺死。(557)(溺)・溺・溺死。(558)(溺)・溺・溺死。(559)(溺)・溺・溺死。(560)(溺)・溺・溺死。(561)(溺)・溺・溺死。(562)(溺)・溺・溺死。(563)(溺)・溺・溺死。(564)(溺)・溺・溺死。(565)(溺)・溺・溺死。(566)(溺)・溺・溺死。(567)(溺)・溺・溺死。(568)(溺)・溺・溺死。(569)(溺)・溺・溺死。(570)(溺)・溺・溺死。(571)(溺)・溺・溺死。(572)(溺)・溺・溺死。(573)(溺)・溺・溺死。(574)(溺)・溺・溺死。(575)(溺)・溺・溺死。(576)(溺)・溺・溺死。(577)(溺)・溺・溺死。(578)(溺)・溺・溺死。(579)(溺)・溺・溺死。(580)(溺)・溺・溺死。(581)(溺)・溺・溺死。(582)(溺)・溺・溺死。(583)(溺)・溺・溺死。(584)(溺)・溺・溺死。(585)(溺)・溺・溺死。(586)(溺)・溺・溺死。(587)(溺)・溺・溺死。(588)(溺)・溺・溺死。(589)(溺)・溺・溺死。(590)(溺)・溺・溺死。(591)(溺)・溺・溺死。(592)(溺)・溺・溺死。(593)(溺)・溺・溺死。(594)(溺)・溺・溺死。(595)(溺)・溺・溺死。(596)(溺)・溺・溺死。(597)(溺)・溺・溺死。(598)(溺)・溺・溺死。(599)(溺)・溺・溺死。(600)(溺)・溺・溺死。(601)(溺)・溺・溺死。(602)(溺)・溺・溺死。(603)(溺)・溺・溺死。(604)(溺)・溺・溺死。(605)(溺)・溺・溺死。(606)(溺)・溺・溺死。(607)(溺)・溺・溺死。(608)(溺)・溺・溺死。(609)(溺)・溺・溺死。(610)(溺)・溺・溺死。(611)(溺)・溺・溺死。(612)(溺)・溺・溺死。(613)(溺)・溺・溺死。(614)(溺)・溺・溺死。(615)(溺)・溺・溺死。(616)(溺)・溺・溺死。(617)(溺)・溺・溺死。(618)(溺)・溺・溺死。(619)(溺)・溺・溺死。(620)(溺)・溺・溺死。(621)(溺)・溺・溺死。(622)(溺)・溺・溺死。(623)(溺)・溺・溺死。(624)(溺)・溺・溺死。(625)(溺)・溺・溺死。(626)(溺)・溺・溺死。(627)(溺)・溺・溺死。(628)(溺)・溺・溺死。(629)(溺)・溺・溺死。(630)(溺)・溺・溺死。(631)(溺)・溺・溺死。(632)(溺)・溺・溺死。(633)(溺)・溺・溺死。(634)(溺)・溺・溺死。(635)(溺)・溺・溺死。(636)(溺)・溺・溺死。(637)(溺)・溺・溺死。(638)(溺)・溺・溺死。(639)(溺)・溺・溺死。(640)(溺)・溺・溺死。(641)(溺)・溺・溺死。(642)(溺)・溺・溺死。(643)(溺)・溺・溺死。(644)(溺)・溺・溺死。(645)(溺)・溺・溺死。(646)(溺)・溺・溺死。(647)(溺)・溺・溺死。(648)(溺)・溺・溺死。(649)(溺)・溺・溺死。(650)(溺)・溺・溺死。(651)(溺)・溺・溺死。(652)(溺)・溺・溺死。(653)(溺)・溺・溺死。(654)(溺)・溺・溺死。(655)(溺)・溺・溺死。(656)(溺)・溺・溺死。(657)(溺)・溺・溺死。(658)(溺)・溺・溺死。(659)(溺)・溺・溺死。(660)(溺)・溺・溺死。(661)(溺)・溺・溺死。(662)(溺)・溺・溺死。(663)(溺)・溺・溺死。(664)(溺)・溺・溺死。(665)(溺)・溺・溺死。(666)(溺)・溺・溺死。(667)(溺)・溺・溺死。(668)(溺)・溺・溺死。(669)(溺)・溺・溺死。(670)(溺)・溺・溺死。(671)(溺)・溺・溺死。(672)(溺)・溺・溺死。(673)(溺)・溺・溺死。(674)(溺)・溺・溺死。(675)(溺)・溺・溺死。(676)(溺)・溺・溺死。(677)(溺)・溺・溺死。(678)(溺)・溺・溺死。(679)(溺)・溺・溺死。(680)(溺)・溺・溺死。(681)(溺)・溺・溺死。(682)(溺)・溺・溺死。(683)(溺)・溺・溺死。(684)(溺)・溺・溺死。(685)(溺)・溺・溺死。(686)(溺)・溺・溺死。(687)(溺)・溺・溺死。(688)(溺)・溺・溺死。(689)(溺)・溺・溺死。(690)(溺)・溺・溺死。(691)(溺)・溺・溺死。(692)(溺)・溺・溺死。(693)(溺)・溺・溺死。(694)(溺)・溺・溺死。(695)(溺)・溺・溺死。(696)(溺)・溺・溺死。(697)(溺)・溺・溺死。(698)(溺)・溺・溺死。(699)(溺)・溺・溺死。(700)(溺)・溺・溺死。(701)(溺)・溺・溺死。(702)(溺)・溺・溺死。(703)(溺)・溺・溺死。(704)(溺)・溺・溺死。(705)(溺)・溺・溺死。(706)(溺)・溺・溺死。(707)(溺)・溺・溺死。(708)(溺)・溺・溺死。(709)(溺)・溺・溺死。(710)(溺)・溺・溺死。(711)(溺)・溺・溺死。(712)(溺)・溺・溺死。(713)(溺)・溺・溺死。(714)(溺)・溺・溺死。(715)(溺)・溺・溺死。(716)(溺)・溺・溺死。(717)(溺)・溺・溺死。(718)(溺)・溺・溺死。(719)(溺)・溺・溺死。(720)(溺)・溺・溺死。(721)(溺)・溺・溺死。(722)(溺)・溺・溺死。(723)(溺)・溺・溺死。(724)(溺)・溺・溺死。(725)(溺)・溺・溺死。(726)(溺)・溺・溺死。(727)(溺)・溺・溺死。(728)(溺)・溺・溺死。(729)(溺)・溺・溺死。(730)(溺)・溺・溺死。(731)(溺)・溺・溺死。(732)(溺)・溺・溺死。(733)(溺)・溺・溺死。(734)(溺)・溺・溺死。(735)(溺)・溺・溺死。(736)(溺)・溺・溺死。(737)(溺)・溺・溺死。(738)(溺)・溺・溺死。(739)(溺)・溺・溺死。(740)(溺)・溺・溺死。(741)(溺)・溺・溺死。(742)(溺)・溺・溺死。(743)(溺)・溺・溺死。(744)(溺)・溺・溺死。(745)(溺)・溺・溺死。(746)(溺)・溺・溺死。(747)(溺)・溺・溺死。(748)(溺)・溺・溺死。(749)(溺)・溺・溺死。(750)(溺)・溺・溺死。(751)(溺)・溺・溺死。(752)(溺)・溺・溺死。(753)(溺)・溺・溺死。(754)(溺)・溺・溺死。(755)(溺)・溺・溺死。(756)(溺)・溺・溺死。(757)(溺)・溺・溺死。(758)(溺)・溺・溺死。(759)(溺)・溺・溺死。(760)(溺)・溺・溺死。(761)(溺)・溺・溺死。(762)(溺)・溺・溺死。(763)(溺)・溺・溺死。(764)(溺)・溺・溺死。(765)(溺)・溺・溺死。(766)(溺)・溺・溺死。(767)(溺)・溺・溺死。(768)(溺)・溺・溺死。(769)(溺)・溺・溺死。(770)(溺)・溺・溺死。(771)(溺)・溺・溺死。(772)(溺)・溺・溺死。(773)(溺)・溺・溺死。(774)(溺)・溺・溺死。(775)(溺)・溺・溺死。(776)(溺)・溺・溺死。(777)(溺)・溺・溺死。(778)(溺)・溺・溺死。(779)(溺)・溺・溺死。(780)(溺)・溺・溺死。(781)(溺)・溺・溺死。(782)(溺)・溺・溺死。(783)(溺)・溺・溺死。(784)(溺)・溺・溺死。(785)(溺)・溺・溺死。(786)(溺)・溺・溺死。(787)(溺)・溺・溺死。(788)(溺)・溺・溺死。(789)(溺)・溺・溺死。(790)(溺)・溺・溺死。(791)(溺)・溺・溺死。(792)(溺)・溺・溺死。(793)(溺)・溺・溺死。(794)(溺)・溺・溺死。(795)(溺)・溺・溺死。(796)(溺)・溺・溺死。(797)(溺)・溺・溺死。(798)(溺)・溺・溺死。(799)(溺)・溺・溺死。(800)(溺)・溺・溺死。(801)(溺)・溺・溺死。(802)(溺)・溺・溺死。(803)(溺)・溺・溺死。(804)(溺)・溺・溺死。(805)(溺)・溺・溺死。(806)(溺)・溺・溺死。(807)(溺)・溺・溺死。(808)(溺)・溺・溺死。(809)(溺)・溺・溺死。(810)(溺)・溺・溺死。(811)(溺)・溺・溺死。(812)(溺)・溺・溺死。(813)(溺)・溺・溺死。(814)(溺)・溺・溺死。(815)(溺)・溺・溺死。(816)(溺)・溺・溺死。(817)(溺)・溺・溺死。(818)(溺)・溺・溺死。(819)(溺)・溺・溺死。(820)(溺)・溺・溺死。(821)(溺)・溺・溺死。(822)(溺)・溺・溺死。(823)(溺)・溺・溺死。(824)(溺)・溺・溺死。(825)(溺)・溺・溺死。(826)(溺)・溺・溺死。(827)(溺)・溺・溺死。(828)(溺)・溺・溺死。(829)(溺)・溺・溺死。(830)(溺)・溺・溺死。(831)(溺)・溺・溺死。(832)(溺)・溺・溺死。(833)(溺)・溺・溺死。(834)(溺)・溺・溺死。(835)(溺)・溺・溺死。(836)(溺)・溺・溺死。(837)(溺)・溺・溺死。(838)(溺)・溺・溺死。(839)(溺)・溺・溺死。(840)(溺)・溺・溺死。(841)(溺)・溺・溺死。(842)(溺)・溺・溺死。(843)(溺)・溺・溺死。(844)(溺)・溺・溺死。(845)(溺)・溺・溺死。(846)(溺)・溺・溺死。(847)(溺)・溺・溺死。(848)(溺)・溺・溺死。(849)(溺)・溺・溺死。(850)(溺)・溺・溺死。(851)(溺)・溺・溺死。(852)(溺)・溺・溺死。(853)(溺)・溺・溺死。(854)(溺)・溺・溺死。(855)(溺)・溺・溺死。(856)(溺)・溺・溺死。(857)(溺)・溺・溺死。(858)(溺)・溺・溺死。(859)(溺)・溺・溺死。(860)(溺)・溺・溺死。(861)(溺)・溺・溺死。(862)(溺)・溺・溺死。(863)(溺)・溺・溺死。(864)(溺)・溺・溺死。(865)(溺)・溺・溺死。(866)(溺)・溺・溺死。(867)(溺)・溺・溺死。(868)(溺)・溺・溺死。(869)(溺)・溺・溺死。(870)(溺)・溺・溺死。(871)(溺)・溺・溺死。(872)(溺)・溺・溺死。(873)(溺)・溺・溺死。(874)(溺)・溺・溺死。(875)(溺)・溺・溺死。(876)(溺)・溺・溺死。(877)(溺)・溺・溺死。(878)(溺)・溺・溺死。(879)(溺)・溺・溺死。(880)(溺)・溺・溺死。(881)(溺)・溺・溺死。(882)(溺)・溺・溺死。(883)(溺)・溺・溺死。(884)(溺)・溺・溺死。(885)(溺)・溺・溺死。(886)(溺)・溺・溺死。(887)(溺)・溺・溺死。(888)(溺)・溺・溺死。(889)(溺)・溺・溺死。(890)(溺)・溺・溺死。(891)(溺)・溺・溺死。(892)(溺)・溺・溺死。(893)(溺)・溺・溺死。(894)(溺)・溺・溺死。(895)(溺)・溺・溺死。(896)(溺)・溺・溺死。(897)(溺)・溺・溺死。(898)(溺)・溺・溺死。(899)(溺)・溺・溺死。(900)(溺)・溺・溺死。(901)(溺)・溺・溺死。(902)(溺)・溺・溺死。(903)(溺)・溺・溺死。(904)(溺)・溺・溺死。(905)(溺)・溺・溺死。(906)(溺)・溺・溺死。(907)(溺)・溺・溺死。(908)(溺)・溺・溺死。(909)(溺)・溺・溺死。(910)(溺)・溺・溺死。(911)(溺)・溺・溺死。(912)(溺)・溺・溺死。(913)(溺)・溺・溺死。(914)(溺)・溺・溺死。(915)(溺)・溺・溺死。(916)(溺)・溺・溺死。(917)(溺)・溺・溺死。(918)(溺)・溺・溺死。(919)(溺)・溺・溺死。(920)(溺)・溺・溺死。(921)(溺)・溺・溺死。(922)(溺)・溺・溺死。(923)(溺)・溺・溺死。(924)(溺)・溺・溺死。(925)(溺)・溺・溺死。(926)(溺)・溺・溺死。(927)(溺)・溺・溺死。(928)(溺)・溺・溺死。(929)(溺)・溺・溺死。(930)(溺)・溺・溺死。(931)(溺)・溺・溺死。(932)(溺)・溺・溺死。(933)(溺)・溺・溺死。(934)(溺)・溺・溺死。(935)(溺)・溺・溺死。(936)(溺)・溺・溺死。(937)(溺)・溺・溺死。(938)(溺)・溺・溺死。(939)(溺)・溺・溺死。(940)(溺)・溺・溺死。(941)(溺)・溺・溺死。(942)(溺)・溺・溺死。(943)(溺)・溺・溺死。(944)(溺)・溺・溺死。(945)(溺)・溺・溺死。(946)(溺)・溺・溺死。(947)(溺)・溺・溺死。(948)(溺)・溺・溺死。(949)(溺)・溺・溺死。(950)(溺)・溺・溺死。(951)(溺)・溺・溺死。(952)(溺)・溺・溺死。(953)(溺)・溺・溺死。(954)(溺)・溺・溺死。(955)(溺)・溺・溺死。(956)(溺)・溺・溺死。(957)(溺)・溺・溺死。(958)(溺)・溺・溺死。(959)(溺)・溺・溺死。(960)(溺)・溺・溺死。(961)(溺)・溺・溺死。(962)(溺)・溺・溺死。(963)(溺)・溺・溺死。(964)(溺)・溺・溺死。(965)(溺)・溺・溺死。(966)(溺)・溺・溺死。(967)(溺)・溺・溺死。(968)(溺)・溺・溺死。(969)(溺)・溺・溺死。(970)(溺)・溺・溺死。(971)(溺)・溺・溺死。(972)(溺)・溺・溺死。(973)(溺)・溺・溺死。(974)(溺)・溺・溺死。(975)(溺)・溺・溺死。(976)(溺)・溺・溺死。(977)(溺)・溺・溺死。(978)(溺)・溺・溺死。(979)(溺)・溺・溺死。(980)(溺)・溺・溺死。(981)(溺)・溺・溺死。(982)(溺)・溺・溺死。(983)(溺)・溺・溺死。(984)(溺)・溺・溺死。(985)(溺)・溺・溺死。(986)(溺)・溺・溺死。(987)(溺)・溺・溺死。(988)(溺)・溺・溺死。(989)(溺)・溺・溺死。(990)(溺)・溺・溺死。(991)(溺)・溺・溺死。(992)(溺)・溺・溺死。(993)(溺)・溺・溺死。(994)(溺)・溺・溺死。(995)(溺)・溺・溺死。(996)(溺)・溺・溺死。(997)(溺)・溺・溺死。(998)(溺)・溺・溺死。(999)(溺)・溺・溺死。(1000)(溺)・溺・溺死。(1001)(溺)・溺・溺死。(1002)(溺)・溺・溺死。(1003)(溺)・溺・溺死。(1004)(溺)・溺・溺死。(1005)(溺)・溺・溺死。(1006)(溺)・溺・溺死。(1007)(溺)・溺・溺死。(1008)(溺)・溺・溺死。(1009)(溺)・溺・溺死。(1010)(溺)・溺・溺死。(1011)(溺)・溺・溺死。(1012)(溺)・溺・溺死。(1013)(溺)・溺・溺死。(1014)(溺)・溺・溺死。(1015)(溺)・溺・溺死。(1016)(溺)・溺・溺死。(1017)(溺)・溺・溺死。(1018)(溺)・溺・溺死。(1019)(溺)・溺・溺死。(1020)(溺)・溺・溺死。(1021)(溺)・溺・溺死。(1022)(溺)・溺・溺死。(1023)(溺)・溺・溺死。(1024)(溺)・溺・溺死。(1025)(溺)・溺・溺死。(1026)(溺)・溺・溺死。(1027)(溺)・溺・溺死。(1028)(溺)・溺・溺死。(1029)(溺)・溺・溺死。(1030)(溺)・溺・溺死。(1031)(溺)・溺・溺死。(1032)(溺)・溺・溺死。(1033)(溺)・溺・溺死。(1034)(溺)・溺・溺死。(1035)(溺)・溺・溺死。(1036)(溺)・溺・溺死。(1037)(溺)・溺・溺死。(1038)(溺)・溺・溺死。(1039)(溺)・溺・溺死。(1040

瀰 17994 シ 〔集韻〕瀰、水兒。 **図** ❶水のさま。〔集韻〕瀰、水名。

漣 17995 ロン 〔集韻〕魯甸切 **図** 〔字彙〕漣字之譌。❶漣。〔五音集韻〕漣、同、素同切。〔集韻〕瀰、同、水名。〔7—17802〕の譌字。〔正字通〕漣、漣字之譌。

滉 17996 ヨウ 〔集韻〕獲欲切 **図** 〔字彙〕滉字之譌。❶滉。〔7—17773〕の譌字。

滸 17997 ワイ 〔集韻〕烏切切 **図** 〔集韻〕烏回切 **図** ❶海畔は、むしあつい、湿気が多くて暑い。〔説文〕海、海畔也。〔廣韻〕海、海畔。〔荀子〕成相篇、「海水多魚」。〔楊倞注〕海、海畔。〔集韻〕海、海之

材葉。〔集解〕孟康云、滂人、當作榜人。榜人、月令、命漁師伐蛟、鄭注曰、今月令、漁師爲榜人。●按(6－17171)・芳(18－42238)・芳(18－42239)・芳(18－42487)に通ず。〔集韻〕滂・或作雱・滂・蒡(正字通)・滂・與汸通。同●水の貌。汴(7－7762)・汴(6－17296)に同じ。〔集韻〕或作汴・滂。●滂滂は、水のさまを表す。或作汴・滂。●滂滂は、水のさまを表す。(18332)に同じ。〔集韻〕或・汸・滂・水兒。或作・滂。アウ。

図版

〔滂江〕ヒロ 地名。唐傳に杜・雲道、延道首内蠻古部落。

〔滂滂〕ボウボウ ひろく大きいこと。〔楚辭、大招〕魂魄離散、肝腸斷。〔注〕滂滂、廣大也。

〔滂流〕ボウリウ 流れしること。〔前漢紀、孝惠〕滂流、流れしること。〔前漢紀、孝惠〕滂流、流れしること。〔前漢紀、孝惠〕滂流、

川谷吐い気貌。●大水のさまま。〔集韻〕沃、大水兒。●にごった色のさまま。容（9→5363）に通ず。〔釋名〕釋飲食〔盛饌、盛容也〕、清濁、鹹・淡也。〔後漢書〕郭太周曦傳〔云、盛、鮮也〕、容也、皮面皺縮狀。〔至色〕。

〔清鬱〕ｔｓｕｉｕｔｓｕ 雲気が出て暗くなること。〔説郛、王侯九宅〕鬱、暗也〕。雲気が出て暗くなること。〔説郛、祖日、清鬱、雲気也〕。

〔清雲〕ｔｓｕｉｕｎ 雲気の出るさま。〔漢書、揚雄傳下〕泰山之高不踰嶺、則不能孕、清雲而散、敵敵然。〔注、師古曰、清雲、氣皃〕。

〔清滄〕ｔｓｕｉｓｏｕ ●雲気が盛んなさま。〔賈誼、旱雲賦〕清滄滄而交會。●酒の清清（澄澄）色也。〔王粲、酒賦、醇醨異形、〔注、師古曰、醇、清酒、醨、濁酒〕〔説文〕、清、清滄滄、酒色也〕。

〔清滄〕ｔｓｕｉｓｏｕ 湖の名。湖南省長沙縣東南。〔出師表〕。

〔清洲〕ｔｓｕｉｓｈｕ 海島の名。〔後漢書、倭傳〕。

〔清然〕ｔｓｕｉｚｅｎ 泉の湧にわき出るさま。〔歐陽修、醉翁亭記〕而有清泉、清然而出。

〔清潤〕ｔｓｕｉｊｕｎ 雲霧の盛なさま。〔淮南子、説林〕雲霧、水之精也、〔注、善曰、清潤、霧出皃〕。〔郭璞、元、招海賦、文、風雲清潤〕。

〔滄〕
18007

ソウ（集韻・字彙・正韻）
ｔｓｕｉｏｕ（集韻・字彙・正韻）
ｓｏｕｎｇ（集韻・字彙・正韻）

滄 水部 **滄** 水部 **滄** 水部 **滄** 水部 **滄** 水部

〔説文〕**滄**、寒也。从水倉聲。

〔集韻〕**滄**、寒也。

〔説文〕**滄**、寒也。从水倉聲。

〔説文〕**滄**、寒也。

〔説文〕**滄**、寒也。

〔説文〕**滄**、寒也

聞金田要波海（重郎郡鄙長女吉蔭）節物風光殊勝，清の詩，「桑田碧海」の名へ，清丁傳

清袁枚『隨園詩話』巻一〇　青名八巻，清丁傳

清袁枚『隨園詩話』巻一〇　●寒いまま，列子，湯問，兄已日初出，清者濁者及其日中，則如湯，此乎爲近者熱，而遠者涼乎，注，清，寒也　●天の泣至，漢，楊雄長門賦，泣涕而漣漣以云云

清袁枚『隨園詩話』巻一〇　刀劍の名，張協全除ることいい，蓋

清『**佩文韻府**』巻一〇　「刀劍」　●**清**『**佩文韻府**』巻一〇　「清」　●**清**『**佩文韻府**』巻一〇　「清」

族章炎太族思簿 滄浪頌 滄浪 滄奇人 滄海 稱 最可憐國上相 按 謂 章拒 也。

【唱】 滄浪 ツ 歌 ツ 歌 ツ 歌

減澀ㄐㄧㄢˇ ㄙㄜˋ ほろぼしつくす。たやす。又、ほろぼす。李白「把酒問月」詩「皎如飛鏡臨丹闕、綠煙滅盡清輝發」。

減性ㄐㄧㄢˇ ㄒㄧㄥˋ 父母の喪に遭ひ哀しんで生命を減ずること。「孟子」滕文公上「親喪固所願、盡於力焉耳。而喪三月、練而練、然而後安之、則人皆有之、何能無以加於是者。」

減生ㄐㄧㄢˇ ㄕㄥ 死に至る。死亡。「荀子」王霸「故曰、不知其所以然而然者、謂之神。」

減牲ㄐㄧㄢˇ ㄕㄥ 北史、李清傳「運子母錢、行喪家側、給雇喪牲。」

減賽ㄐㄧㄢˇ ㄙㄞˋ 「清異錄」「清素武賽」「清素武賽、唐記載、[illegible]」

減ㄐㄧㄢˇ あとから数えて減ること。「左傳」「[illegible]」

減ㄐㄧㄢˇ 減ずる。「[illegible]」

減錢ㄐㄧㄢˇ ㄑㄧㄢˊ 減に同じ。「李陵詩」「[illegible]」

減錢掃帚ㄐㄧㄢˇ ㄑㄧㄢˊ ㄙㄠˋ 「[illegible]」

減錢掃帚ㄐㄧㄢˇ ㄑㄧㄢˊ ㄙㄠˋ 「[illegible]」

減ㄐㄧㄢˇ ㄅㄧㄢˋ 減ずる。

□手ン　□手ン　□手ン　

以滸、武士以滸、注〔注〕滸、與鎬同(康熙作鎬、亦作鄗)。〔三〕水の さま。(廣韻)滸、水兒。●滸湯は 水のわくさま。或は滸(7—18540)。滸(7—18659)に作る。(集韻)滸、瀑水沸湧兒、或作瀑。●水の激する音。滸(7—18659)に同じ。(王羲之)滸雨、雨の勢が 滸、同。〔四〕大雨。(集韻)滸、大雨。●雨が 久雨。

〔滸湯〕ヨウ ヨウ 水の白く光るさま。(司馬相如、上林賦)妥瀉回薄、蓄平滸滸。(注)西晉、郭璞曰、滸滸、水白光皃。

〔滸汗〕ヨウ カン 長く流れるさま。(郭璞、江賦)滸汗六州之域、經營衆景之外。(注)楊曰、滸汗、長流皃。

〔滸水〕ヨウ スイ 川の名。又、瑞水・鄗水に作る。關中の水の名。源は陝西省長安縣の南、渭に注ぐ。即ち石鼓谷水の一稱。蓋し古の滸水の上流であろう。其の鎬流は渭水に注ぐ。流は久しくふさがる。

〔滸滸〕ヨウ ヨウ 水の 滸滸たるさま。(張衡、東京賦)滸滸、池中之神、祇服。●池中の神、祇服をいふ。(史記、秦始皇紀)便者往關東、夜過、祖受平舒道。有人、持璧遮使者、曰、爲我遺滈池君。因言曰、今年祖龍死。(注)蘇秦曰、服虔曰、水神也。索隱、服虔曰、水神也。蘇秦、苦、始皇之稱、祖也、且秦水德王、故其言稱之。水神先自死也。

【湑】

シュウ (集韻)語韻切 魚

川の名。(集韻)海・水名。在 魯。

【滈】

ハク (集韻)鐸韻切 鐸

水 部 (十畫) 滸 海 湑 滈 滋 滋

【滉】

18017 クワウ ワウ (集韻)巨廣切 養

●水の深く廣いさま。或は滉(7—18594)に作る。(集韻)滉、水深廣皃、或作滉。(郭璞、江賦)滉瀁因法。(注)劉曰、滉瀁因法、平淺之狀。(注)劉曰、滉瀁因法、平淺之狀。(注)滉、荀子、王霸篇、淵然、覆之。(注)滉、與淵同。大水貌也。●水の至坐。其流平不二湛盡似、道、注、滉、讀爲滉。

〔滉瀁〕クワウ ヤウ 廣遠なるさま。曠漠。(後漢、南內朝賦)于時、詩遠清天門萬、著、籍朝、歌樂、滉瀁、(注)滉、廣遠皃。●堤の崩れを防ぐために植えた大木。(漢書、董仲舒傳、官政)、綠樹江、發氏時、長石堤、堤外又植大木、以防、其崩、(注)師古曰、滉瀁、水廣皃。

〔滉瀁〕クワウ ヤウ 水の深く廣いさま。(張衡、南內朝賦)、于時、詩遠清天門萬、著、籍朝、歌樂、滉瀁、(注)滉、廣遠皃。●堤の崩れを防ぐために植えた大木。(漢書、董仲舒傳、官政)、綠樹江、發氏時、長石堤、堤外又植大木、以防、其崩、(注)師古曰、滉瀁、水廣皃。

〔滉瀁〕クワウ ヤウ 廣遠なるさま。曠漠。(後漢、南內朝賦)于時、詩遠清天門萬、著、籍朝、歌樂、滉瀁、(注)滉、廣遠皃。●堤の崩れを防ぐために植えた大木。(漢書、董仲舒傳、官政)、綠樹江、發氏時、長石堤、堤外又植大木、以防、其崩、(注)師古曰、滉瀁、水廣皃。

【滉】

18018 クワウ ワウ 漢(7—18545)に同じ。(正字通)滉、同。

【滈】

18019 ヨク ヨウ (集韻)錫韻切 錫

日の名。(集韻)滈、水也。(康熙字典)滈、水名。〔二〕鎬池。又 甘水をしほ水に和平して鹽を作る。(集韻)滈、字林、鹽池。(7—18251)に同じ。荀子、王霸篇、淵然、覆之。(注)滈、與淵同。大水貌也。●水の至坐。其流平不二湛盡似、道、注、滈、讀爲滉。

〔滈汗〕ヨク カン 廣遠なるさま。曠漠。(後漢、南內朝賦)于時、詩遠清天門萬、著、籍朝、歌樂、滈汗、(注)滈、廣遠皃。●堤の崩れを防ぐために植えた大木。(漢書、董仲舒傳、官政)、綠樹江、發氏時、長石堤、堤外又植大木、以防、其崩、(注)師古曰、滈汗、水廣皃。

【溪】

18020 ケン 漢(7—17283)の古字。(正字通)溪、古文溪。

【滋】

18021 シ (集韻)津之切 支

ㄗ ㄗ

●ます。④ふやす。(說文)滋、益也。从水茲聲。(段注)神部曰、下曰、神木多益也。此字从水茲、爲水益也。〔二〕加はる。益に加はる。(公羊、宣、六)靈公聞之怒滋。(注)滋、猶益也。③ふえる。蕃殖。(左氏、桓、六)調、其畜之頌大蕃滋也。(注)滋、益也。●ますます。(左氏、昭、元)其唐滋也。(注)滋、益也。●しげる。(左氏、昭、元)其唐滋長。(注)滋、益也。④しげし。草木がしげる。(集韻)滋、一曰、蕃也。(潘岳、射雉賦)、膠木生、滋、(李善注)、滋、草木茂。〔三〕多い。多くなる。(左氏、僖、十九)象而後滋。(杜注)滋、多也。(左氏、僖、十九)象而後滋。滋而後有生。(疏)、(杜)、象、象而後滋。滋而後始有三頭數。(杜注)滋、別數。(疏)、數、今淚滋。(注)、向曰、滋、多也。④よくみの ある。(嵇康、琴賦)、(梁)、(梁)、(梁

滋（説文）滋の字は仲郎の説に従へ、信に玄部の説に従ふは誤。（説文、説段注）各本篆文作ㄨ滋、解作籀文誤。

〔滋丐〕[ts'ɪ̀]ㄗ 龜の一種。（駢雅、駢雅、龜部）

〔滋丐〕[ts'ɪ̀]ㄗ 天地始て河清する時、仮令化して金神。（後漢書、天地始、河清、仮令、化、金神）

〔滋草〕[ts'ɪ̀]ㄗ 草木をしげらせる。（後漢書、滋草）

〔滋茂〕[ts'ɪ̀]ㄗ しげりさかえる。繁茂。（後漢書、輝、茂、滋）

〔滋茂〕[ts'ɪ̀]ㄗ 繁茂。（後漢書、輝、茂、滋）

〔滋茂〕[ts'ɪ̀]ㄗ 繁茂して多くなる

〔泛禍〕ハンクワ 身體の震ひになる。(本草、五味子)
集韻、時泛に入る。泛は、泛禍の如し。北產者、
泛豐 ハンホウ うるはつて豐かなこと。(左氏、
昭二十五年)泛は、泛氾、泛濫豐、
泛愛 ハンアイ 益しまみなくなること。(後漢
書、東夷傳、倭國條)
泛愛 ハンアイ 益おごること。益ほしいまま
(後漢書、光武紀上)
泛愛 ハンアイ

名、陳、置。河南省關道。（樂韻）滎、絕方興紀要、河南、開封府、鄭州。滎澤縣、滎陽縣、管縣。滎陽郡、開皇元年、廢廣武縣、仁壽初、改滎陽。滎澤郡、隋、廢武陵郡、仁壽初、改滎陽。滎陽縣、鄭州、隋、屬河內。（清史稿、地理志）河南、鄭州直隸州、縣三。滎澤。

【滎洞】ﾍﾞ 水の源。はら穴。野理、井蘭、幽深。（樂韻）ﾍﾞ 運河の名。古、滎澤の水を引いて、河南省河陰縣の西の石門より山東泰山の西濟に自ら発巳門、至濟、皆置閘、後代人所、廢、周禮職方、徐州之浸、滎波之滎、後、滎澤在、河南縣西者、即此果、今久湮廢。（殷文通訓定聲）

【滎澤】ﾍﾞ 小さい水の名。（殷文通訓定聲）

【滎澤】ﾍﾞ 滎澤と波水。（書、禹貢）

【滎波】ﾍﾞ 滎澤と波水。（書、禹貢）

【滎波既豬】ﾍﾞ ﾍﾞ 滎澤と波水、已成遮蔽。（傳、滎澤水、已成遮蔽。）

【滎陽】ﾍﾞ ﾍﾞ ●都名。②三國魏、置く、河南省滎陽。①漢、置く、既、秦、時の邑。河南省滎陽縣の西南。（史記、韓世家）相惠王二十四年、秦拔我滎陽。（漢書、地理志）上河南郡、屬十二、滎陽。（清史稿、地理志）河南、鄭州直隸州、縣三、滎陽。●注疏、置く、安徽省の境。

【滎陽生】ﾍﾞ ﾍﾞ ﾍﾞ 明、鄭若庸（11・32647・48）

【滎陽外史】ﾍﾞ ﾍﾞ ﾍﾞ ﾍﾞ 明、鄭若庸（11・32647・18）の号の號。

【滎陽郡】ﾍﾞ ﾍﾞ ﾍﾞ ﾍﾞ 書名。七・千卷、明、鄭國興、原本一百卷、今、三十卷を残し、存する も既に既佚に属する。（四庫提要、集、別集類）。

滏 18027

フ（樂韻）奉布切 麌

川の名。（滏水とも）を見よ。（樂韻）滏、水名、在、鄴。

地名。河南省臨漳縣の西。（元和志）滏水出滏陽縣鼓出、風俗通博、釣、名、滏陽、故以滏口名之。

【滏口陘】ﾍﾞ ﾍﾞ 太行八陘の第五陘、西燕を攻め、滏口に出で天井関に入る。滏山を見よ。

【滏山】ﾍﾞ ﾍﾞ 山名。もと鼓山といふ。河南省武安縣山南。（寰宇記、地形志）鼓山、元和志、鼓山南、滏陽縣、地形志）鼓山元和志、鼓山南、滏陽縣、地形志）鼓山元和志、鼓山南、滏陽縣、地形志）鼓山

揚/夜/同/其流矣。(注)/滑/混也。●やわらぎたすこと。(荀子、正名)/滑/滑稽/無/窮。(注)/皆/環辯之/意/也。●やわらぎ/よ。●或は 扫(0－11871)に作る。(集韻)

滑 或作 扫。(字彙、公韻)(正韻)(4－76 屈)(4－76 屈)に通ず。(字彙、公韻)(正韻)(4－45098)

(開詰)/列子/楊朱篇、作/禽滑釐、殷敬順釋文/作/禽屈釐、漢書古今人表、/同/ 滑 ●ほねぬき/ほね/ぬき。(荀子、成相)/佞/人/之/計/長/久/不/可/與/謀/。/ 滑 ●ほねぬきの/ほね。(荀子、賦)/ 滑 ●ほねぬきの/ほね。(荀子、賦)/ 滑 ●ほねぬきの/ほね。(荀子、賦)

〔清珠〕 ㊀ 黃珠 ㊁ 真珠。

時珍曰：南越志云：有光彩（一通鈔、彼、金書名）。

〔清碧〕 ㊀ 南の人。南鈔録に宋人。作るは疑。

陳光世：清城の人。儀鈔録に宋人。作るは伯仁に伯本。晩鈔に擅事。文を博し、尤も楚辭に長ず。鈔録となる。著に十四卷を撰。離騷本義十卷。（同書、清碧を王居中に誤る。）

〔清碧〕 ㊀ 清碧。

〔清碧〕 ㊀ 清碧。

〔清碧〕 ㊀ 清碧。

河 18033

カ (集韻居何切) 歌

す。鞋子、德化者附不一足以滑和不可入于鞋底。一林西仲 因不一足以滑鞋其德之和而入於心。

滑油山 [illegible] 二百劇の一種目録統從の中

滑湯滑 [illegible] 海滑、本名、荒布。海苔。(後名、紫菜)。

抄 奈良部 (滑類) 海滑、本朝令云、滑海藻、良

海、並見 [illegible]。又按、本草圖經云、東海又有

柔軟可以繫束物、醫家用下、水、漬於海藻昆

布之類、是可以充下氣者。

滑骨 [illegible] 絞骨者、許歌謡。

滑杉 [illegible] 絞杉、和漢三才圖會 補

布類 花文綾 其無紋者 清絞 [illegible] 名文綾

[illegible] 其無紋者、於中華、名付。

滑鐵道 [illegible] ベルギー中部の村名。Wetteren の意。

滑東西 [illegible] 絞紬のやつ。

滑禁 [illegible] 縫製の異名。工藤會、芝

稲垣 複製 滑禁菊、是赤多生、於種類、大者最多

許小者三四分、小者生、帶淺黄色、内有刺

萬滑、其能禁果色、能洗、滑清氣、去禁食鈎

[illegible]。

滑浴場 [illegible] スケート場 滑

滑物油 [illegible] 機械油。

滑碧 [illegible] 青苔。

滑禁 [illegible] 縫製 滑

[illegible] 制限の方法として、[illegible]

滑平 [illegible] 表面の良なる事物異名録、産

[illegible] 表面産の事彼の

滑平利 [illegible] 滑、[illegible] 能解なる、話

上手な。

滑式 [illegible] 日用の産業保護の為め、

[illegible] 制限の方法として、[illegible]

狀態に應じて増減しめる組織の關係。

滑 18034

カツ (集韻・正韻・[illegible]) 黠

ロン (中華音韻表) 莊時切

潤 小 ❶汁が多い。(説文)潤、多汁也。(廣雅、釋言)潤、水、可聲、讀若、哥。❷どろ。(廣雅、釋言)潤、濁也。(集韻、潤)、滑濁、濁也。(淮南子、原道訓)高潤而滑(注)潤、亦濁也。

滑濁 小 ❶汁が多い。(説文)滑、多汁也。(廣雅、釋言)滑、濁也。(集韻、潤)、滑濁、濁也。(淮南子、原道訓)高潤而滑(注)滑、亦濁也。

滑 小 ❶おり。こみ。沈澱物。(説文)滑、濁也、从水、骨聲。(潘岳、西征賦)奮迅泥滑(注)善曰、凡人沈於水曰滑。(淮南子、[illegible])滑、濁也。(廣雅、釋言)滑、濁也。(集韻、[illegible])滑、濁也。❷かす。汁を去った殘滓。(説文)滑、[illegible]。❸けがれ。垢汁。馬融、長笛賦)濁、[illegible]垢滑。❹にごる。(字彙)滑、濁也。[illegible]くりぬる。はがす。(説文)滑、段注)釋名曰、繭、滑也、按、古亦假[illegible]字。(史記、屈原傳)滑、[illegible]。(注)索隱曰、滑、音骨。❺はげる。(説文)滑、水漫漫大兒、从水、[illegible]聲。(廣雅、釋言)滑、濁也。(集韻、[illegible])滑、濁也。❻大きい。(廣雅、釋言)滑、濁也。(集韻、[illegible])滑、濁也。❼みちる。(管子、君臣下)心道通道、而滑道、而滑道、而滑

滔滔 ㊀ 水流貌。〔董仲舒繁露 保位權第九〕「滔滔者天下皆是也。」〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊁ 水大貌。〔詩 周頌 桓〕「滔滔江漢」。㊂ 恣意不拘束。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊃ 恣意不拘束。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊄ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔江漢」。㊅ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊆ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊇ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊈ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊉ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊊ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊋ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊌ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊍ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊎ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊏ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊐ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊑ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊒ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊓ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊔ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊕ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊖ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊗ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊘ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊙ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊚ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊛ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊜ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊝ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊞ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊟ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊠ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊡ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊢ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊣ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊤ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊥ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊦ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊧ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊨ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊩ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊪ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊫ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊬ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊭ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊮ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊯ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊰ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊱ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊲ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊳ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊴ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊵ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊶ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊷ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊸ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊹ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊺ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊻ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊼ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊽ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊾ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。㊿ 物多貌。〔後漢書 馮衍傳〕「滔滔然」。

滕 ㊀ 水名。通じて騰（18034・1）に作る。「說文」に「水超踊皆滕也。妹躍也。小雅百川沸騰。毛傳 湧出騰乘也。騰者 騰之假借」とあり、「字彙」に「滕、達也。鄭云、滕、動也。」とあり、「韓詩」に「滕、虛也。」とあり、「字彙」に「滕、文選

爲。勝令：奉車、故城勝公。

【勝公】[?]？？？ 漢の勝公、夏侯嬰。樊噲と共に高祖に従って戦った人。

【勝侯】[?]？？？ 漢の人。樊噲。

【勝成】[?]？？？ 宋、矢の人。字は孝度。曾は勝国侯。[宋書]に、「矢敏、字は孝成。起居を作ること勝の子に倣う。」とある。

【勝国】[?]？？？ 漢の人。字は孝度。曾は勝成。[宋書]に、「矢敏、字は孝成。起居を作ること勝の子に倣う。」とある。

【勝国侯】[?]？？？ 漢の人。樊噲。

【勝室】[?]？？？ 墓室をいう。張九齢「故太傅上柱国贈荆州大都督張公墓誌銘」に、「後、勝室。」

【勝侯】[?]？？？ 漢代、張敞の人。字は子高。曾は勝成。

【勝成】[?]？？？ 宋、矢の人。字は孝度。曾は勝国侯。[宋書]に、「矢敏、字は孝成。起居を作ること勝の子に倣う。」とある。

【勝国】[?]？？？ 漢の人。字は孝度。曾は勝成。

【勝国侯】[?]？？？ 漢の人。樊噲。

【勝侯】[?]？？？ 漢代、張敞の人。字は子高。曾は勝成。

【勝公】[?]？？？ 漢の人。樊噲。

【勝室】[?]？？？ 墓室をいう。張九齢「故太傅上柱国贈荆州大都督張公墓誌銘」に、「後、勝室。」

東海、識は文稚、少にして孤、性現の學を治む。監察御史に歴して、地震あり、數千音の上書を奉り達するを待つ、後、稱して「後」、既子、太子、高明せらるるを待つ、後、稱して「後」、既子、案、九十一）（〈新元史〉、百九十五）

【滕家勝】tēng jiā shèng 滕家勝、湖南・湖南鄂州の人、字は謹愛。湖南・湖北・江蘇・安徽に轉戰して功あり、功によって徐州鎮撫を授けらる。後、按察を勤め、年次上に封じ、力戰して死す。（明史、四百一十三）

【滕元發】tēng yuán fā 滕元發、東陽の人、初名は一、字は魯王の遊を避け、初字元發を以て名とし、字を達道とす。識は敏敏、進士、神宗の時、御史中丞・給事中を歴任し、遼東・寧遠の時、御史中丞・給事中を歴任し、編修講官、幸邪に事を論ずること、家人父子の如し、尊・重・鄭州・鄭州諸郡に歴知、官を辭り、眞定・太原・鄭州・鄭州・鄭州

【臬】18046 セン 臬(6－17274)に同じ。(篇韻)臬、臬・臬同。

【澀】18047 タン 澁(6－17500)に同じ。(集韻)澁、澁作、澁。

【淫】18048 ヒツ 淫(7－18291)に同じ。(集韻)淫、或从筆。

【淫】18049 テイ ボウ (集韻)丁井切 ながれる。とほる。淫(8－17476)に同じ。(集韻)淫、通流也、或省。

【淳】18050 ジュン 淳(7－17690)に同じ。(字彙補)淳、同淳。

【滴】18051 バウ 滴(7－18003)に同じ。(字彙補)滴、同後。

【溺】18052 ボ モ (字彙補)同上切 きよい。(字彙補)溺、清也。

【滅】18053 ケツ クワチ (字彙補)何月切 ほろびる。ほろぼす。(字彙補)滅、滅也。

【淨】18055 ヒツ 淨(7－18291)に同じ。(五音篇海)淨、同淨。

【淵】18056 カウ 養未詳。(龍龕手鑑)淵、音交。

【淵】18057 セウ 淵(7－17931)に同じ。(集韻)淵、或作、淵。

【荒】18058 クワウ 荒(1－183)に同じ。(集韻)荒、或作、荒。

【澄】18059 ケウ (中華大字典)音凹

水車のこゑ。廣東の俗字。(茶香室三鈔)英吉利人城始末所、載地名、有「大黃涌・雞鴨澄」注云、音凹、粵之俗字、云「水邊車輪聲」。

【滌】18060 シン 滌(7－18135)に同じ。(中華大字典)滌、同滌。

【滌】18061 ヤウ 漾(7－18134)に同じ。(中華大字典)漾、同漾。

【滌】18062 クワイ 滙(8－2444)に同じ。正字通)滙、或作、滙。

【滾】18063 コン 滾(7－18998)の本字。(正字通)滾、俗滾字。

【滑】18064 セイ 滑(7－18438)の本字。(中華大字典)滑、本作、滑。

【滌】18069 小 ●あらふ。もと從(7－18070)に作る。(正字通)滌、本作、滌。④すすぐ。あらふ。(說文)滌、洒也、从水條聲。(玉篇)滌、洗也。(儀禮、大射儀)射人�觀。滌。(注)滌、謂蹙器捲、除射宮。(ロ)はらふのをくり。掃除。(詩、豳風、七月)十月滌場。(傳)滌、場也。(後漢書、班固傳)因塗滌(イ)手鑑)滅、滅・滅同じ。(個韻)滅、滅也。

【滅】18054 ケイ 滅(7－18239)に同じ。(個韻)滅、滅・滅同。

【滌】18068′ テキ ガヤク カ (集韻)吉歌切 ●あらふ。(集韻)滌、通作、滌。

【滯】18067′ タイ 滯(7－18075)の略字。

【滝】18067 ロウ 瀧(7－18271)の古字。(六書分類)瀧、瀧、未詳集字。

【澤】18066 カウ 澤(7－18283)の本字。(正字通)澤、俗澤字。

【滿】18065 イン 淫(7－17678)の誤字。(正字通)淫、从王正、誤作、淫。

【濕】18068 シツ 濕(7－17992)の俗字。(正字通)濕、俗作、濕。

【漢】18068′ カン 漢(7－18153)の略字。

傳〕瀞 宣洗 書慧 賜、全 蠶 沙 過。〔爾宗元 解 無 以 冷風 瀢 瀢〕 瀢 瀢 瀢

滬 18071 hù

上海の別名。

滬瀆 ・・ 瀆を与えようと思って煮ること。

滬市 hùshì 上海の市場。上海相場。

滬上 hùshàng 上海の市場。上海相場。

滬城 hùchéng 上海。上海城。

滬渡 hùdù ●船の名。江蘇省の海鮮の名。松江の上海に渡る。

滬瀆 hùdú ●船の名。江蘇省の海鮮の名。松江の上海に渡る。

滬人 hùrén 上海の人。

滬尾 hùwěi 上海の尾。

滬江 hùjiāng 上海の江。

滬海 hùhǎi 上海の海。

滬上 hùshàng 上海の市場。上海相場。

滬渡 hùdù ●船の名。江蘇省の海鮮の名。松江の上海に渡る。

滬瀆 hùdú ●船の名。江蘇省の海鮮の名。松江の上海に渡る。

滬城 hùchéng 上海。上海城。

滬市 hùshì 上海の市場。上海相場

（通俗編）貨財．滯貨．按固滯錢條，謂借以不。

合：滯貨．

〔滯血〕？？？ 凝滯血液．（本草）芎藭．藭明．藭

冷日．芎藭大能補陰而行滯血。

〔滯固〕？？？ 〔滯固〕（傳）？？？ 滯固．（後漢書）李固傳：「固滯固所聞，

專．（異苑）始坑．互相滯固。（注）滯固．滯固狀也。

〔滯固〕？？？ 固執．（後漢書）袁紹傳：「袁紹滯固，不能有所為。」

〔滯獄〕？？？ 刑法．「獄滯獄，不能決斷。」（後漢書）袁紹傳：「獄滯獄，

獄滯獄，互相滯獄。（注）滯獄．滯獄也。

〔滯魂〕？？？ 魂魄不散．（水滸傳）五十一回）

〔滯在〕？？？ 長久居所．（後漢書）滯留．

〔滯在〕？？？ 財物之積聚．（後漢書）食貨志：「天下之財，

之下，富商巨賈，或滯財貨，（注）張晏曰：滯，停

〔滯思〕？？？ 〔滯思〕？？？ 滯思．

〔滯思〕？？？ 思慮．（後漢書）馮衍傳：「滯思

思慮．（注）「滯思，陸機，歎逝賦」：「滯思

〔滯積〕？？？ 〔滯積〕（傳）？？？ 滯積．（後漢書）馮衍傳：「滯積

無．（注）「滯積，亦無因人」（後漢書）馮衍傳：「滯積

滯積，以紓鈍滯，以救敝蹶。」●憂鬱．「滯積

思心，」とどこほりつ思心．（後漢書）馮衍傳

〔滯疾〕？？？ 久しい病氣．枚乘．七發：「後病滯

疾，（後漢書）袁紹傳：「長期滯疾，不堪久侍。」

〔滯貨〕？？？ 〔滯貨〕（注）「滯貨」謂「有功於

陸士衡「滯貨」所載。

〔滯貨〕？？？ 〔滯貨〕（傳）？？？ 滯貨．（後漢書）

先行未賣者。

〔滯貨〕？？？ 秋になつても賣らの殘り

とどこほること。殘賣。

〔滯訟〕？？？ 〔滯訟〕？？？ とどこほつてゐる訴訟．

〔滯獄〕（32）？？？ 同じ．（陸機，晉平西將軍孝侯遠

〔滯獄〕？？？ 獄滯．（後漢書）袁紹傳：「獄滯獄，

決斷。

〔滯水〕？？？ 流れすにとどこほつてゐる水．止

〔滯水〕？？？ 水．滯水．

と、〔集韻〕滴、一曰、清也、或从染、〔荘子〕繕性〔淳〕、淳散朴。〔釋文〕滴、本亦作清。

澮 18080 □ヤク（集韻）衍切 □ヨク（集韻）千余切

〔説文〕川の名。出し。北地西路西一東入洛。从水虞聲。〔王圧〕薑善作、汜。

滲 18081 □ソン（集韻）所銜切 □ジン（集韻）所切 □シン（集韻）王仲切

〔説文〕こす。したむ。したたる。「我膏可馬相如傳」〔後漢書〕「漏下滴也。」从水參聲。〔漢書〕「漏下滴也。」●しみこむ。にじむ。〔荘子〕「漏下滴也。」●漏れる。〔説文〕「漏下滴也。」●つまる。〔廣雅〕「滴、流也。」●ひたす。〔後漢書〕「滴、流也。」●ひたす。〔後漢書〕「滴、流也。」●ひたす。〔後漢書

時運殆長守之。〔説文〕：…。なんきんまめ。落花生。〔和漢三才圖會〕：…。落花生。〔滴水成氷〕：…。したたる水が凍る。非常に寒い所をいう。

〔滴〕：…。雫の音。雫を、雫軽。天の真庭壓が中時の。〔滴聖〕：…。しづくのしたたる音。〔段成式・酔〕：…。したたる音。〔段成式・酔〕：…。したたる。〔滴点〕：…。水のたたること。〔四民月令引〕：…。〔滴滴〕：…。滴の水に無数に連きする幽鬼。〔滴水〕：…。原生動物中の繊毛・鞭毛・鞭の繊毛。〔滴定〕：…。現定滴を用いて溶液の分析。〔滴定法〕：…。容量分析に於ける試料物質の滴定の一定量と逆不足なる反應すると標準溶液を滴下する方法。通常ビユレットを用ひて行ふ。〔滴流〕：…。流れ動くさま。〔李商隱・子一力命〕：若何滴流若此西。而死。〔韓文・滴流〕：…。〔李商隱・所居不樂詩〕：…。〔段成式・酔

子。〔紅樓夢、二十四回〕貧賤那禁酸鹹的玻璃瓶子和了吃。

〔説文、水部〕にがい。鹽味。鹽鹵。

〔説文10上 ㄊㄧㄢˋ tiàn〕鹽田内の蒸鹵地。鹽鹵場。

〔説文10上 ㄊㄧㄢˋ tiàn〕鹽田。鹽場

也。「集韻」涵、渾、渾、水兒。或从屑、从戌。（字彙）渾、渾、水流貌。

【滻】 18095 サン（集韻）所簡切 ㊀

嶾 小篆 滻 出 ●泣く。涙を出すさま。（玉篇）「集韻」「廣雅、釋訓」滻、滻、哭也。●おほい。滻滻。（廣雅、釋訓）滻滻、盛也。●怪しげなさま。（「廣雅、釋訓」滻滻、衆也。）疏、案 「楚辭」遠游之賦、滻滻兼山汕。「楚辭」遠游之賦、滻滻兼山汕。「文選」遠、滻水出京兆藍田初印皆同、顔、清、古今正俗字、許書無。「文選」左思「蜀都」、滻水、滻、桉、史篇作、產。

【滻】 ㊀ 川の名。胡氏省南陽縣の西北。（水經、淯水注）淯水東逕滻口、北水來入大馬、背、水、南、西百里、及其見水來同、故若、滻、滻、淡、濃、白、黑、赤、紫、田谷、入、藍、出、滻、故、鄭、樵、山、賦、云、其、旁、則、有、朱、滻、沙、澗、基、也、（鄭玄、江賦）其旁則有、警、雷、池、彭、蠡、青、草、也、（鄭玄、江賦）、滻、滻、丹、澗、滻、滻、滻

【滿】18099

日ボン（集韻・毋伴切）㽞 ㄇㄢˇ mǎn
日ボン（集韻・莫困切）顯 ㄇㄣˋ mèn

滿 小 **と** 杯になる。みたす。みちる。みちること。みち無き。

日 ❶みちる。みたす。みちること。（說文）滿、盈溢也。从水蔺聲。（廣雅、釋詁四）滿、充也。（莊子、列禦寇注）戶外之種滿矣。（管子、霸言）地大而不篤、命曰：土滿。人衆而不理、命曰：民滿。兵敵而不止、命曰：武滿。（滿而不止、國非其國也。❷足りる。十分。（漢書、大宛傳）不滿。（漢書、司馬相如傳）上林賦、（注）師古曰、引：滿、猶足也

江紅 詠蓮。（宗楚客江紅清廣。）宛尚宋 識臣子之很何減。●春の名。あやめ。菖蒲。

滿 離 滿 滿行 mán yè, mǎnyè。忌諱。

滿孝 mán xiào, mǎnxiào。忌服が終る。忌明け。

滿巷 mán xiàng。ちまきにみちること。（元稹 酬

滿腔 mán qiāng。腔。腔。つぼ。滿腔子。都是春意。（黄山谷 次韻

滿腔 mán qiāng。人を疑心暗鬼。（黄山谷 次韻

滿腔忠藎 mán qiāng zhōng jìn。全身忠義。（黄山谷 次韻

滿腔忠藎。知有君。而不知有己。 mán qiāng zhōng jìn, zhī yǒu jūn, ér bù zhī yǒu jǐ。身體中に仁愛の心を滿たしてゐることをいふ。宋の程頤語。（近思錄 道體 程頤子 是僧陳之心。身體中、和氣が溢々として滿ちてゐることをいふ。

滿園 mán yuán。園に滿ちること。（論衡 祥異）

滿額 mán é。額面。定額。

滿甲 mán jiǎ。指の爪全體。判官鉛筆。鬼管博士。

滿 鉄 玉 削 春 意。長在 春 蓮 神中。昨日 琵琶 妓 **滿** 月 分明 滿 神 史 **滿** 月 **滿** 月 **滿** 月

【滿山】ﾏﾝｻﾝ ◎山全體。山ぢゆう。今山。〔資治通鑑、唐紀、高宗、顯慶元年〕有頃、滿山花開。〔後漢書、皇甫嵩傳〕遂攻南陽、滿山、中黄太乙、等字。〔太平廣記、二、南都北隋行幸の事〕滿山歌舞。

【滿山紅】ﾏﾝｻﾝｺｳ 山つつじ。

【滿山紅】ﾏﾝｻﾝｺｳ 「野躑躅」の別名。〔本草綱目、四、躑躅〕「滿山紅」の項に、「躑躅、俗名杜鵑花、…山中多有之、…花開滿山、…」。

【滿山遍野】ﾏﾝｻﾝﾍﾝﾔ

（前略）

（前略）

（前略）

〔滿天下〕mǎn tiān xià 天下のこらず。世界ぢゅう。世間全體。全世界。

〔滿天星〕mǎn tiān xīng ●結婚の儀式を終ふ。夫婦が門を開かせる時に錢を撒き散らすことをいふ。●遠嫁。

〔滿足〕mǎn zú ①どうにんつく。②どうにんつく。右衛門どうだんつく。「滿足の落葉」落葉。③はしてゐ風にゐはきやうこ。ごてゐ。「滿足の風」滿足。

〔滿天風〕mǎn tiān fēng 空一杯の風山が滿足に吹つて來る。「滿足」滿足。

〔滿天風雨下西樓〕mǎn tiān fēng yǔ xià xī lóu 空一杯の雨山が滿足に吹つて來る。「滿足」滿足。

〔滿〕mǎn 一定の容量。「滿足」滿足。

〔滿〕mǎn 一定の容量。「滿足」滿足。

〔滿〕mǎn 一定の容量

〔滿時時間〕 ㄇㄢˇ ㄕˊ ㄕˊ ㄐㄧㄢ. 滿道。滿參。滿少步兩步。都時御時間。關世德。先落。國君滿時間。〔東京夢華錄〕 宣和年間。滿行張。〔陸游〕 秋懷詩。西風。

〔滿籠〕 ㄇㄢˇ ㄌㄨㄥˊ. かごに一杯になる。かご一杯。滿

〔滿蠻〕 ㄇㄢˇ ㄇㄢˊ. 安徽國の地名。

〔滿蠻〕 ㄇㄢˇ ㄇㄢˊ. 滿蠻。〔白〕〔〔〕〕〕

離耳。

〔滿祭之時閑獵〕『周禮』『儀禮』『禮記』『左傳』『國語』『史記』『漢書』『後漢書』『三國志』『晉書』『宋書』『南齊書』『梁書』『陳書』『魏書』『北齊書』『周書』『隋書』『南史』『北史』『新唐書』『舊唐書』『新五代史』『舊五代史』『宋史』『遼史』『金史』『元史』『明史』『清史稿』『清史

【漁會】ㄩˊ ㄏㄨㄟˋ 漁業家的組織。漁民的向上、生活改善、技術的進步等是目的之一。

【漁況】ㄩˊ ㄎㄨㄤˋ 漁獲的情形。(18101・28)

【漁獲】ㄩˊ ㄏㄨㄛˋ 捕魚所得的東西。(18101・29)

【漁夫】ㄩˊ ㄈㄨ 以捕魚爲生的人。(18101・30)

【漁火】ㄩˊ ㄏㄨㄛˇ 漁人夜間捕魚時點燃的火光。(18101・31)

【漁人】ㄩˊ ㄖㄣˊ 漁夫。(18101・32)

【漁子】ㄩˊ ㄗˇ 漁夫。(18101・33)

【漁父】ㄩˊ ㄈㄨˋ 漁夫。(18101・34)

【漁民】ㄩˊ ㄇㄧㄣˊ 以捕魚爲生的人。(18101・35)

【漁場】ㄩˊ ㄔㄤˇ 漁業上適宜捕魚的地方。(18101・36)

【漁業】ㄩˊ ㄧㄝˋ 漁民從事於捕魚、養殖、採集水產動植物等的事業。(18101・37)

【漁業權】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄑㄩㄢˊ 漁業者對於一定地域內的漁業權有排他之法人權。(18101・38)

【漁業權】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄑㄩㄢˊ 公有水面的漁業權。(18101・39)

【漁業權】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄑㄩㄢˊ 漁業者所享有的權利。(18101・40)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・41)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・42)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・43)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・44)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・45)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・46)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・47)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・48)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・49)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・50)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・51)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・52)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・53)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・54)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・55)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・56)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・57)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・58)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・59)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・60)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・61)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・62)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・63)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・64)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・65)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・66)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・67)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・68)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・69)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・70)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・71)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・72)

【漁會】ㄩˊ ㄏㄨㄟˋ 漁業家的組織。漁民的向上、生活改善、技術的進步等是目的之一。(18101・27)

【漁況】ㄩˊ ㄎㄨㄤˋ 漁獲的情形。(18101・28)

【漁獲】ㄩˊ ㄏㄨㄛˋ 捕魚所得的東西。(18101・29)

【漁夫】ㄩˊ ㄈㄨ 以捕魚爲生的人。(18101・30)

【漁火】ㄩˊ ㄏㄨㄛˇ 漁人夜間捕魚時點燃的火光。(18101・31)

【漁人】ㄩˊ ㄖㄣˊ 漁夫。(18101・32)

【漁子】ㄩˊ ㄗˇ 漁夫。(18101・33)

【漁父】ㄩˊ ㄈㄨˋ 漁夫。(18101・34)

【漁民】ㄩˊ ㄇㄧㄣˊ 以捕魚爲生的人。(18101・35)

【漁場】ㄩˊ ㄔㄤˇ 漁業上適宜捕魚的地方。(18101・36)

【漁業】ㄩˊ ㄧㄝˋ 漁民從事於捕魚、養殖、採集水產動植物等的事業。(18101・37)

【漁業權】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄑㄩㄢˊ 漁業者對於一定地域內的漁業權有排他之法人權。(18101・38)

【漁業權】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄑㄩㄢˊ 公有水面的漁業權。(18101・39)

【漁業權】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄑㄩㄢˊ 漁業者所享有的權利。(18101・40)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・41)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・42)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・43)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・44)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・45)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・46)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・47)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・48)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・49)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・50)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・51)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・52)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・53)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・54)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・55)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・56)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・57)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・58)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・59)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・60)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・61)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・62)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・63)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・64)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・65)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・66)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・67)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・68)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・69)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・70)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・71)

【漁業稅】ㄩˊ ㄧㄝˋ ㄕㄨㄟˋ 漁業者所享有的權利。(18101・72)

船・漁舟・漁子・漁人・漁者・漁父・漁夫・漁人・漁・漁・漁

〔漁陽子〕[illegible] 明、文彭9—13459・3510・2 號。

〔漁陽鼓〕[illegible] 鼓曲名。狂鼓史(7—12828)

〔漁陽參撾〕[illegible] 鼓曲名。後漢禰衡作。〔注〕文士傳曰：衡擊鼓，作漁陽參撾，聲節哀雅，聽之無厭。吉坐不起，衡乃脫舊衣，更著新服，鼓發聲徐而去，至今有漁陽參撾，自衡始。〔漁陽參撾〕鼓發聲徐而去，至今有漁陽參撾，自衡始。〔漁陽參撾〕鼓曲名。後漢禰衡作。〔注〕文士傳曰：衡擊鼓，作漁陽參撾，聲節哀雅，聽之無厭。吉坐不起，衡乃脫舊衣，更著新服，

都賦)郝懿行曰漢駿本字。(注)〔漢駿〕謂孝武之父。〔漢客〕……きずのひと。浪人。

〔漢客〕……ただよひびと。(白居易、八月十五夜月)

〔漢客〕……ただよひびとこと。(白居易、八月十五夜月)

〔漢客〕……ただよひびと去ること。(元稹、再酬樂天)

〔漢客〕……ただよひびと去ること。(日本紀、神代下)

〔漢客〕……ただよひびと去ること。(日本紀、神代下)

〔漢客〕……ただよひびと去ること。(元稹、再酬樂天)

〔漢客〕……ただよひびと去ること。(日本紀、神代下)

〔漢客〕……ただよひびと去ること。(日本紀、神代下)

〔漢客〕……ただよひびと去ること。(日本紀、神代下

書五行志三漢成人物。（蘇軾）答任師中案滿公詩（集注）十年始信風雅樂。

【漂流】漂 ㄆㄧㄠˋ ㄌㄧㄡˊ　（集韻）漂流，其國亡。（蘇軾）次韻子由送謝之作。

所有者の意志に反して其の手を離れ未だ何人の手にも入らぬもの。

【漂亮】漂 ㄆㄧㄠˋ ㄌㄧㄤˋ　（說文）漂，水鳥。（集韻）漂，水鳥。（玉篇）漂，水鳥。（廣韻）漂，水鳥。

●（名）①（說文）漂，水鳥。（集韻）漂，水鳥。（玉篇）漂，水鳥。（廣韻）漂，水鳥。②（集韻）漂，水鳥。③（玉篇）漂，水鳥。④（廣韻）漂，水鳥。

●（動）①（說文）漂，水鳥。（集韻）漂，水鳥。（玉篇）漂，水鳥。（廣韻）漂，水鳥。②（集韻）漂，水鳥。③（玉篇）漂，水鳥。④（廣韻）漂，水鳥。

●（形）①（說文）漂，水鳥。（集韻）漂，水鳥。（玉篇）漂，水鳥。（廣韻）漂，水鳥。②（集韻）漂，水鳥。③（玉篇）漂，水鳥。④（廣韻）漂，水鳥。

●（副）①（說文）漂，水鳥。（集韻）漂，水鳥。（玉篇）漂，水鳥。（廣韻）漂，水鳥。②（集韻）漂，水鳥。③（玉篇）漂，水鳥。④（廣韻）漂，水鳥。

●（連）①（說文）漂，水鳥。（集韻）漂，水鳥。（玉篇）漂，水鳥。（廣韻）漂，水鳥。②（集韻）漂，水鳥。③（玉篇）漂，水鳥。④（廣韻）漂，水鳥。

●（介）①（說文）漂，水鳥。（集韻）漂，水鳥。（玉篇）漂，水鳥。（廣韻）漂，水鳥。②（集韻）漂，水鳥。③（玉篇）漂，水鳥。④（廣韻）漂，水鳥。

●（助）①（說文）漂，水鳥。（集韻）漂，水鳥。（玉篇）漂，水鳥。（廣韻）漂，水鳥。②（集韻）漂，水鳥。③（玉篇）漂，水鳥。④（廣韻）漂，水鳥。

●（歎）①（說文）漂，水鳥。（集韻）漂，水鳥。（玉篇）漂，水鳥。（廣韻）漂，水鳥。②（集韻）漂，水鳥。③（玉篇）漂，水鳥。④

胜子者漢人也。名周。周賀與漢書。漢書周史。〔陸海上魔漢陸說。〔魏書陸馮月〕漢陸敦史。〔陸〕

〔漢國供奉官〕[illegible]。明。〔隋書〕(29・5263・5264)

〔漢國散伯〕[illegible]。清。〔張鵬翀〕(4・5813・5820)

〔漢海〕[illegible]。海の名。〔鎮府引。梁四公記〕黑谷早起有海。後九少海。〔遠師居易。新秋冷雨先知〕〔玉堂雜記〕稱有漢匣。

〔漢法〕[illegible]。うるしぬり。〔漢書・梁孝王世家〕漢法。

〔漢法〕[illegible]。うるしぬりの酒樽。〔ぬり樽。〔禮書〕〔記王敬復見〕。女取酒壺。〔樽漢法〕。

〔漢法〕[illegible]。漆ぬりのはこ。〔九千年。詩〕。短樂

〔漢法〕[illegible]。漆で塗った机。〔周樽。春官。司几筵〕〔新論〕〔右漢上〕。

〔漢法〕[illegible]。漆で塗った琴。〔琴。〔琴〕〔漢書・五行志〕。

〔漢法〕[illegible]。うるしの木。〔李賀。長年〕〔漢法〕〔漢法〕〔漢法

身爲漢。云云。以變其容又名「漢物」。史記

漢三史記。刺客傳。豫讓又名「漢物」。身毒國。

呼。便。按不可。如行乞於路者。其意不論也。

川名。入陝西省郿縣。西南流。合渭水。

省同官縣北之大神山。清水出。按。

水。清水以之。故曰。清水出。按。

清水。清水以之。故曰。清水出。按。

清水。清水以之。故曰。清水出。按。

清

瀧 18112 ロク 【集韻】【類篇】【字彙】カメ゛ヒ゛

𣿅 或 **𣿅** 同上。❶さらふ。漑(7・17686)。

𣿅 同上。【說文】漑、淺也。从水鹿聲。漉、漉或从朱。❷こす。したたらしみる。したむ。【說文】漑、一曰、水下皃也。(段注)鉉本無。今依鍇本、對禱文、言「漉、浸也」。【廣韻】漉、是此義。【廣雅】釋詁「漉、漬也」。【廣韻】漉、又曰「漉、漬也」。❸水がかれる。【玉篇】漉、涸也。❹つまる。つくす。【玉篇】漉、盡也。

瀧酒 【集韻】【類篇】【字彙】【正韻】ロウ。【集韻】酒名。【類篇】酒名。【字彙】酒名。【正韻】酒名。

瀧酒 【集韻】【類篇】【字彙】【正韻】ロウ。【集韻】【類篇】【字彙】【正韻】酒名。【集韻】【類篇】【字彙】【正韻】酒名。

瀧酒 【集韻】【類篇】【字彙】【正韻】ロウ。【集韻】【類篇】【字彙】【正韻】酒名。

瀧過 【集韻】【類篇】【字彙】【正韻】ロウ。【集韻】【類篇】【字彙】【正韻】酒名。

瀧酒 【集韻】【類篇】【字彙】【正韻】ロウ。【集韻】【類篇】【字彙】【正韻】酒名。

瀧水 【集韻】【類篇】【字彙】【正韻】ロウ。【集韻】【類篇】【字彙】【正韻】水名。【集韻】【類篇】【字彙】【正韻】水名。【集韻】【類篇】【字彙】【正韻】水名

蓋漣漪。（注）直日波上琴、風也。

湍 18120

ヒロウ（集韻）郎立切 **國**
ヒロウ　カタ又　[illegible]
ヒロウ（字彙）蓮伏切 **文**
ロウ

湍 小 [illegible]（#7231）に通ず。

①もれる。もらす。もれ。もり。

定聲（廣韻）湍、漏穴。（陽聲）から（陰聲）からあらはれる。（雜韻・詩品）湍、泄也。（易・井）汲瓮漏。（淮南子・人間訓）子里之陽、以繩埒之。（荀子・儒效）窮閭陋巷、以其心之。（荀子・儒效）窮閭陋巷、注湍雨、弊屋漏雨者也。（左思・魏都賦）隙壞漏湍而沮洳。（注）善曰、離騷曰、王百工無繁積、不溝事江心、（注）離騷、（注）湍、漏也。（蘇軾・黔州蔡龍記）名湍小、傳。（注）漏、流也。（蘇軾・書鬼・光怪述）而不可包、（注）秘密、尊寺人銘、（注）師子多無。（孟）湍、洩師之密謀也。（魏志・張繡傳）密有殺繡之計、計漏。（注）かかる。（表記）多言、不能無失。（注）言、（注）善曰、離騷、（注）

「漏蔽」[illegible] 或を忘れる。

「漏戶」[illegible] 漏蔽のあること。〔六部成語〕

「漏戶都」[illegible] 漏蔽注解「開漏戶之數、漏蔽也。

「漏江」[illegible] ●川の名。「左思」蜀都賦「漏江伏流、流而潛通」〔注〕「劉白」「漏江在建寧有、水道伏流數里復出、故曰漏江」。●縣名。「漢書」地理志「南海郡、漏縣」〔水經〕「泰無水注」「漏水、又東逕漏縣故城南」〔後漢書・地理志上〕「祥何郡、縣十七、屬江」〔水經〕「溫水注」「漏江之縣江」。

「漏閣」[illegible] 四川省蓬山縣の東南、今、飛仙閣といふ。「蜀道難」「連峰去天不盈尺、枯松倒掛倚絕壁、飛湍瀑流爭喧豗、砯崖轉石萬壑雷、其險也如此、嗟爾遠道之人胡爲乎來哉」

「漏巵」[illegible] 巵の名。「漢書」「漏巵、[illegible]、[illegible]、[illegible]

今夫發水足以浴盥、疏穢、滌垢、而江河不能貫灌焉。故人心強足也、強勝惡也、本義用源不能貫灌。

【灣】（音灣、呂灣、呂灣、呂灣）食若切、呂灣、呂灣、呂灣

あり。正徳中の撰か。「萬姓統譜」。

【瀾清】[illegible]。[illegible]。[illegible]。「萬姓統譜」。

【瀾理】[illegible]。[illegible]。[illegible]。「萬姓統譜」。

【瀾略】[illegible]。[illegible]。[illegible]。「萬姓統譜」。

【瀾遠】[illegible]。[illegible]。[illegible]。「萬姓統譜」。

【瀾蓮

(說田)ロ07 田に水をそそぐ。流を引いて田に注ぐ。(集韻)ロ07 田に水をそそぐ。「田」は其の字。(廣韻)ロ07 田に水をそそぐ。(玉篇)ロ07 田に水をそそぐ。(類篇)ロ07 田に水をそそいでつちかふこと。(字彙)ロ07 田に水をそそぐ。(正韻)ロ07 田に水をそそぐ。(字彙補)ロ07 田に水をそそぐ。(康熙字典)ロ07 田に水をそそぐ。(漢語大詞典)ロ07 田に水をそそぐ。(漢語大字典)ロ07 田に水をそそぐ。(漢語大字典)ロ07 田に水をそそぐ。(漢語大字

●歴史上の事實を修辞敷衍して俗語で叙述したもの。演義小說。

〔演義小說〕[ｅｎｇｉｊｉｓｈｏｕｓｅｔｓｕ]「歴史上の事實を修辞敷衍して俗語で叙述したもの。演義小說。」〔俗語で書いた小說〕〔國語で演義〕〔類〕〔演義物語〕〔芝居〕〔演義物語〕〔演義〕〔歴史〕〔歴史〕〔歴史

機緊急。

【漢孔廟】[ハン]ケウ　春秋経の一種。孔子の魯年に、天下は將來の為の法を立てるに、之を書きて以て之を見るべきのみ。之を書きて以て之を見るべきのみ。（公羊、哀十四、左）漢、魯の后、天下を血書熱湯起、劉邦、書を焚き、孔不一起、千夏用自徒、魯書用自徒、血書熱湯起、劉邦、書を焚き、孔不一起、千夏用自徒、魯書用自徒。

【漢書】[ハン]シヨ　書名。十六卷。漢の班固撰。中有「在圖紀志之外、孔子卿雅大命、遵祭時、神山觀、未來、漢興、遭秦、建、大風之間、故作漢書」等。

【漢山】[ハン]ザン　地名。湖南省衡湘縣の西南。

【漢時鈔】[ハン]ジシヨウ　書名。十卷。漢の王莽の朝、卯ち天の神示の時、燕京の期編の天命の書。

【漢時】[ハン]ジ　文體の一。漢時を敷行したもの。

【漢書】[ハン]シヨ　書名。十卷。漢の班固の著。大日標義理を解したもの。

【漢連珠】[ハン]レンジユ　文體の一。連珠を敷行したもの。

【漢鼎】[ハン]テイ　漢代の鼎。

【漢鏡】[ハン]キヤウ　漢代の鏡。

【漢鏡】[ハン]キヤウ　漢代の鏡。

【漢鏡】[ハン]キヤウ　漢代の鏡

自江口至蘇南水門。元九里堰、又南經、丹陽縣至呂城堰。八里堰、相傳、秦始皇凿山斷岡、以洩王氣。即南運渠之始、或曰、司馬遷言、禹之治水、東入海、即南運渠之始。又曰、江東、自秦始皇、開通、以來、至今不廢。●按、漢書、高帝紀、高祖、令天下、諸侯王、各自治、本郡、國、以、便、宜、從事、注、如淳、曰、令、諸侯、王、各、自、治、其、郡、國、以、便、宜、從、事、師古、曰、如淳、之、說、是也、陵、年、陳、勝、者、志、言、秦、本、置、內、諸、侯、者、是、

說上繞提堰。（集韻）漕通漕運公文。

【漕官】ソウカン　衛いの名。江南浙江諸省に通用する。漕官を徹收するに用ひる官名。地名を加ふるものがある。書平・6・1429・723）に同じ。

【漕米】ソウベイ　米を給して運送すること。又、其の米。（三代史）天寶末、右相陳希烈、漕運使、韓滉、米五萬斛、以饋軍。（宋史、仁宗紀二）景祐元年、穀價騰貴、令有司、漕運總管、糴、漕運總管、糴、漕運監、視價減低、令民糴。（宋史、食貨）漕運總管所屬、漕運使、漕運所屬、官名。清、置。漕運使を置く。（清史、職官）漕運使、漕運總管、漕運監、漕運使、漕運總管、漕官糧、漕官糧、漕官糧

風・東門之池）東門之池、可以漬麻。（傳）漬、柔也。（詩序・小雅・鹿鳴記）宴嘉賓之心、則忘其舊也。何以不樂、德音孔昭。（詩・大雅・抑）視爾夢夢、我心慎憂。慎憂慈憂、誰知烏之雌雄。（荀子・成相篇）君子之道、暗然而日章。小人之道、鬼而不見。（楚辭・九章・涉江）乱曰、鳳凰翔于千仞兮、覽民德之煥乎。（漢書・郊祀志上）乱曰、……（文選・東京賦）乱曰、……（文選・西都賦）乱曰、……（文選・長門賦）乱曰、……（文選・思玄賦）乱曰、……（文選・羽獵賦）乱曰、……（文選・甘泉賦）乱曰、……（文選・子虛賦）乱曰、……（文選・上林賦）乱曰、……（文選・吊屈原賦）乱曰、……（文選・西征賦）乱曰、……（文選・東征賦）乱曰、……（文選・北征賦）乱曰、……（文選・羽獵

〔漢南子、原道訓〕貪饕多欲之人、漢、騁於勢利、誘、騁於名位、〔注〕漢、騁、騁馳、不知足也。〔荀子、王霸〕〔注〕漢、騁、騁馳、度闊自得

と稱し、趙と改む。前漢12・西晉の時、李特、成都に據つて國を成と稱し、李寿に至り漢と改む。成漢(6・11544・33)を見よ。後漢(5・10098・3)この⑭五代十國の一。劉知遠、漢と稱す。後漢(4・[illegible])を見よ。⑮五代十國の一。劉崇、漢と稱す。北漢12・25274・38)の一。劉知遠(六代史、世祖紀)遷鎮州行官治焉。清會典、六行、滿漢大學士、⑯一般信者、利法(近代史)本土人をさしていふ。(順治)中國本土及び本土人をさしていふ。(順治)漢語辭、(白居易、醉後入渭橋、因題)漢主。⑰白氏文集(7・18154)・渭(7・17702)

と稱し、趙と改む。前漢12・西晉の時、李特、成都に據つて國を成と稱し、李寿に至り漢と改む。成漢(6・11544・33)を見よ。後漢(5・10098・3)この⑭五代十國の一。劉知遠、漢と稱す。後漢(4・[illegible])を見よ。⑮五代十國の一。劉崇、漢と稱す。北漢12・25274・38)の一。劉知遠(六代史、世祖紀)遷鎮州行官治焉。清會典、六行、滿漢大學士、⑯一般信者、利法(近代史)本土人をさしていふ。(順治)中國本土及び本土人をさしていふ。(順治)漢語辭、(白居易、醉後入渭橋、因題)漢主。⑰白氏文集(7・18154)・渭(7・17702)

⑭建族の名。漢族、漢湖、漢古、回西、蔵と共に五族と稱せらる。殷初は黄河上流の地に住み、喪葬以來中國本部を奪有す。漢の時、武功が異域に振つたので、後世になほ

に作る。(説文)漢、漢、古文漢如此。此(字彙補)風、古文漢字。⑮漢の名稱。(字彙補)地理志、酒泉、敦煌、武威、張掖、注)北有塞外、東接匈奴、西通羌、南有河、東北通上郡、西北有鹽澤、故曰漢。(漢書、地理志)云、盛京、京漢鐵路。⑯姓。(通志、氏族略)云云。漢高帝之後、初項羽封漢王、後為王、漢高帝之後、初項羽封漢王、後為王、漢高帝、至元、武帝、終歌、通二王、孝十八年、前聖公二年、計四百二十五年、傳、漢祚、通七、子孫以上國、(氏族略)云云。(漢書、地理志)云、(漢書、地理志)云、(漢書、地理志)云、

何絕王義陵四周故城。

【漢陽】[illegible]縣名。❶漢置。屬U。四川省遂寧縣的北。【漢史方輿紀要】四川 雅州 名山縣 漢陽故城 在縣東南 漢置。【水經注】[illegible]東南 衣縣 [illegible]郡郡 云云 後漢光武元年 [illegible]郡郡 [illegible]漢陽郡 [illegible]漢陽郡 [illegible]漢陽

固氏易注・何氏周易講疏・侯氏易解・王氏易解・崔憬易探玄・韓康易音注。〔卷類〕・歐陽生尚書章句・顧彪尚書義疏・孔氏尚書・尚書注・馬融尚書注・鄭玄尚書注・王肅尚書注・王氏尚書・王氏尚書注・王氏尚書・王氏尚書・王氏尚書

列傳二十一卷首，卷（漢）劉安離騷傳二卷，第四十九卷首，卷（漢）揚雄傳二卷，第四十一卷首，卷（漢）孔帥（漢）法言十卷（漢）揚雄，第四十四冊，卷中繁卷（漢）荀悅（漢）申鑒，第四十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說三篇（漢）王通（漢）中說十六卷，第四十六冊，卷（漢）王通（漢）中說，第四十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百二十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百二十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百二十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百二十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百二十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百二十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百二十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百二十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百二十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百二十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百三十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百三十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百三十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百三十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百三十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百三十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百三十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百三十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百三十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百三十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百四十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百四十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百四十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百四十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百四十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百四十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百四十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百四十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百四十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百四十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百五十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百五十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百五十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百五十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百五十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百五十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百五十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百五十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百五十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百五十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百六十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百六十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百六十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百六十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百六十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百六十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百六十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百六十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百六十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百六十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百七十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百七十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百七十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百七十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百七十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百七十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百七十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百七十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百七十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百七十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百八十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百八十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百八十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百八十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百八十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百八十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百八十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百八十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百八十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百八十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百九十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百九十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百九十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百九十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百九十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百九十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百九十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百九十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百九十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百九十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百二十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百二十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百二十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百二十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百二十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百二十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百二十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百二十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百二十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百二十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百三十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百三十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百三十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百三十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百三十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百三十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百三十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百三十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百三十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百三十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百四十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百四十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百四十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百四十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百四十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百四十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百四十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百四十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百四十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百四十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百五十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百五十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百五十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百五十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百五十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百五十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百五十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百五十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百五十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百五十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百六十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百六十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百六十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百六十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百六十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百六十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百六十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百六十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百六十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百六十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百七十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百七十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百七十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百七十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百七十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百七十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百七十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百七十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百七十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百七十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百八十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百八十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百八十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百八十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百八十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百八十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百八十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百八十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百八十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百八十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百九十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百九十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百九十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百九十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百九十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百九十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百九十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百九十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百九十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百九十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百十九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第七千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第八千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第九千九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第一百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第二百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第三百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第四百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第五百九卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百一卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百二卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百三卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百四卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百五卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百六卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百七卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百八卷首，卷（漢）王通（漢）中說，第六百九卷首，

冊・何紹記室集・庾信集・謝朓集・曹子建集・張協集・左思集・潘岳集・陸機集・陸雲集・謝靈運集・鮑照集・謝莊集・謝惠連集・謝宣城集・江淹集・何遜集・吳均集・柳惲集・王僧孺集・任昉集・沈約集・謝朓集・王筠集・何逊

宮、鑾輅、蓋出八風、蓋出風雅、蓋出風俗、蓋出風化、蓋出風教、蓋出風流、蓋出風月、蓋出風雲、蓋出風雨、蓋出風塵、蓋出風霜、蓋出風波、蓋出風浪、蓋出風景、蓋出風物、蓋出風光

[illegible]

[illegible]

[illegible]

古籍の字を上より分類排列して五十編とす。明の凌迪知に『古文苑』九卷ありて、明十卷は協律郎の撰。後人卷のみを補輯。

【漢碑】[illegible]…①[illegible]。（18153…150）の字。②[illegible]。（18153…150）の字。

【漢字

〔漢人注經〕[illegible] 漢代のこの經書の注に

〔漢水〕[illegible] 川の名。[illegible] 名。東漢水。源は陝西省寧羌縣の北。初、漢水はいとひ、沔縣を經て沔水となり、流れを納めて趙の下、漢水嶓冢導漢東流爲漢。[illegible]

〔漢書〕[illegible] 漢代の歷史。[illegible]

〔漢水中應〕[illegible] 漢水中央。

〔漢水中應〕[illegible] 漢水中央。

〔漢水中應〕[illegible] 漢水中央。

經學所以分也。

【漢宋兼采學】[illegible]　漢學と宋學とを兼修して、優とする所を取り、非とする所を棄てること。明朝期間の經學は多くなどに優し、顧炎武・黄宗羲・王夫之・顧元等密然。『經學歷史』[illegible]『漢宋兼采』[illegible]

小宋學、而加以[illegible]。明・顧炎武『[illegible]』[illegible]

【漢宋學】[illegible]　漢學と宋學。[illegible]

【漢宋學派】[illegible]　漢代の學と宋代の學。[illegible]

【漢宋學者】[illegible]　漢學と宋學。[illegible]

【漢書】[illegible]　漢代の歴史。[illegible]

【漢書藝文志】[illegible]　漢代の歴史。[illegible]

【漢書藝文志】[illegible]　漢代の歴史。[illegible]

【漢書藝文志

遇至石室，詩云：「[illegible]」。漢書地理志：「[illegible]」。[illegible]。[illegible]。[illegible]

惟存漢文侯。●中國的文章。漢字的文。〈南齊書典籍考〉國學博士傳門：其出口有雖舉，則分辨中一漢文字文章。〈日本外史〉德川氏割鎮，豐臣氏中一漢文字文章。〈日本外史〉德川氏割鎮，豐臣氏（8）25775（三字）の字。（9）明。注雅世（8）1715

【漢文學】ㄏㄢˋ ㄨㄣˊ ㄒㄩㄝˊ 名。●經史之學。研究漢文學。

【漢文章】ㄏㄢˋ ㄨㄣˊ ㄓㄤ 名。●中國的文學。研究漢文學。

【漢文帝】ㄏㄢˋ ㄨㄣˊ ㄉㄧˋ 名。（一）一卷。陳德擴撰。漢代的文章。●漢文帝。（二）（西元前一六四年—前一五七年）漢代的文章。

【漢文帝】ㄏㄢˋ ㄨㄣˊ ㄉㄧˋ 漢的高帝的中子。名是恆。諡法文，切，愛，愛而不忘曰惠。呂后的後，周勃等，迎立為皇帝。在位一六年。●漢代的皇帝。

【漢文德】ㄏㄢˋ ㄨㄣˊ ㄉㄜˊ 漢代的文德。●漢代的文德。

【漢文帝】ㄏㄢˋ ㄨㄣˊ ㄉㄧˋ 漢的高帝的中子。名是恆。諡法文，切，愛，愛而不忘曰惠。呂后的後，周勃等，迎立為皇帝。在位一六年。●漢代的皇帝。

【漢文選】ㄏㄢˋ ㄨㄣˊ ㄒㄩㄢˋ 書名。（一）一卷。梁蕭統撰。漢代的文章。●漢代的文章。

【漢文章】ㄏㄢˋ ㄨㄣˊ ㄓㄤ 名。●漢代的文章。

【漢文選】ㄏㄢˋ ㄨㄣˊ ㄒㄩㄢˋ 書名。（一）一卷。梁蕭統撰。漢代的文章。●漢代的文章。

【漢文帝】ㄏㄢˋ ㄨㄣˊ ㄉㄧˋ 漢的高帝的中子。名是恆。諡法文，切，愛，愛而不忘曰惠。呂后的後，周勃等，迎立為皇帝。在位一六年。●漢代的皇帝。

【漢文帝陵】ㄏㄢˋ ㄨㄣˊ ㄉㄧˋ ㄌㄧㄥˊ 在陝西省咸陽縣。漢文帝的陵。●漢文帝的陵。

【漢文選】ㄏㄢˋ ㄨㄣˊ ㄒㄩㄢˋ 書名。（一）一卷。梁蕭統撰。漢代的文章。●漢代的文章。

【漢文帝】ㄏㄢˋ ㄨㄣˊ ㄉㄧˋ 漢的高帝的中子。名是恆。諡法文，切，愛，愛而不忘曰惠。呂后的後，周勃等，迎立為皇帝。在位一六年。●漢代的皇帝

廬山の他岡、（環史方丈記歳）江西、名山廬山西麓寮、漢陽寮者、在廬山麓、（史記、封禪書）、（漢陽錄）

漢[illegible] 川の名。漢水の上流を漢水といひ、通じて漢水といふ。（水經、漢水注）漢水出、冢嶺山、（水經、漢水注）漢水出、瓦岩山、（水經、漢水注）漢水出、（水經、漢水注）漢水出、（水經、漢水注）漢水出

【漢之季】漢季 吳の孫吹曲名。倉照の作。炎稱者、呂孫堅惇、漢之季、諸葛卓之亂、興兵會擊、方

が皆而外の井の小人、士莉子は鍼に列る鳴す
恥ちつ、常、曾て、利殺無ためめ、怨舎を掏の掏に開
し、ちつ、行動を後者に作り、諸父を
しつ、殺害としの、帝自ら商賈の賊を誅す。中に
ちつ、ちつ、ちつ、

の龍山。東流して湘鄂縣を過て湘潭縣に入り、東南に出て、名、湘水河。讀史方輿紀要、清廣長沙府、湘鄂縣、湘水、縣東南四十里、有湘水流曾、西、北縣東十里、有湘水流曾、西、北縣東十里、有湘水流曾、西、北縣東

93に同じ。〔字彙〕漢・舜・谷間・語詞也。〔詩、魏風、伐檀〕河水清且漣猗、〔釋文〕猗、本亦作漪、漪同(左思、呉都賦)〔漢、淵瀾〕(注)善曰、漢、蓋語辭也。

〔漪淵〕●同。〔字彙〕●明、英茂(7・19319・一36)の誤。〔漪水〕●水編(6・82323・一30)の誤。〔漪郡〕●同、字彙(6・15112・一29)の誤。〔漪郡〕●同、字彙(6・15112・一29)の誤。〔漪郡〕●同、字彙(6・15112・一29

漫漫汗汗 浩洪洋溢。(注)因臣西厲大澤。●破れた金・沈・沈・空間・張・鎖・詩・高・屋・漫・合。●破れた。●漫漫汗汗 浩洪洋溢。(注)因臣西厲大澤。●破れた。●漫漫 [漫漫] 漫漫 [漫漫] 漫漫 [漫漫]

〈18166～18167〉

水部（十一畫）漬 潰 潰 潭 潮 潯 潛 潟 潺 潺 潺

(義疏)薄者、說文云、水虛也、虛上聲、說文云、水虛也、虛上聲、說文云、水虛也、虛上聲

(18171--9) -(18174--3)

月之末、漱滯哭聲見於內篇。

【漱朝】ｓｈｕ̀ ｃｈａｏ̀ あらひすすぐ。(釋氏要覽)安後漱口。楊本言、場帝、云云(傳言)云云、飲食染著、若食漱來、(教)口、漱、漱刷、同有、絳才反、是名。

【漱生】ｓｈｕ̀ ｓｈｅｎ̄ 清、陳神(◆-29347--2122)の號。

【漱石枕流】ｓｈｕ̀ ｓｈｉ́ ｚｈｅｎ̀ ｌｉｕ́ 清、何僧寶(11--3241--2)の字。(晉書)孫楚、少時欲隱居、謂王濟曰、當枕石漱流、誤云、枕石枕流、所以枕流洗耳、所以枕石厲其齒也。

【漱玉】ｓｈｕ̀ ｙｕ̀ 清、程夔孫(8--23263--2)の字。

【漱芳】ｓｈｕ̀ ｆａｎｇ 清、黃曉芳(18--47956--12327)の字。

【漱流】ｓｈｕ̀ ｌｉｕ́ 虎口牛子。(魏志)彭羕傳、抵石枕流、(注)孫楚、欲隱居、謂王濟曰、當枕石漱流、誤云、枕石枕流、所以枕流洗耳、所以枕石厲其齒也。

【漱田】ｓｈｕ̀ ｔｉａｎ̀ 清、王鍾(◆-29347--2122)の號。

【漱蘭】ｓｈｕ̀ ｌａｎ̀ 清、黃曉芳(18--47956--12327)の字。

【漱流】ｓｈｕ̀ ｌｉｕ́ 虎口牛子。(魏志)彭羕傳、抵石枕流、(注)孫楚、欲隱居、謂王濟曰、當枕石漱流、誤云、枕石枕流、所以枕流洗耳、所以枕石厲其齒也。

【漱玉】ｓｈｕ̀ ｙｕ̀ 清、李清(◆-29347--2122)の號。

【漱芳】ｓｈｕ̀ ｆａｎｇ 清、陳鼎(11--41768--363)の號。(鼎)孫詒讓門、素治、虎威、(史記)(鼎)孫詒讓門、素治、虎威、(史記)(鼎)孫詒讓門、素治、虎威、(史記)

而東納。柴山口南繞東北、至鼓舞山南側山所匯、又北入、東流合白馬西林南出、注水旦三、銅山港門南入、東流合白馬西林南出、注水旦三。

漳嶺 山名。出北倉嶺、南流合白馬西林南出、注水旦三。

漳州 地名。漢北倉嶺、南流合白馬西林南出、注水旦三。唐置漳州、領龍溪・漳浦・龍巖・龍岩・龍海・龍溪・漳浦・平和・詔安・長泰・漳平・南靖・漳平・南靖・詔安・長泰・漳平・南靖・詔安・長泰・漳平・南靖・詔安・長泰

逆山西北流入河。

瀚海 漠南。●漠水の表をいう。〔楚辞 九章〕涉江 入瀚海 余僅迷今。迷不知 焉所如。〔注〕瀚海 水名 五臣云 瀚水 無涯 如海 故曰 瀚海。〔説文

〔漸漸〕ゼン ゼン 進り寡のある上世。(広雅、玄応反)

〔漸加〕ゼン カ 次第に加えはなり増す。漸減の対。(『後漢書』光武帝紀、注) 無疑之時民一日漸加。

〔漸進〕ゼン シン 徐々に進む。(『後漢書』光武帝紀、注) 無疑之時民一日漸加。

〔漸漸〕ゼン ゼン 次第に。(『後漢書』光武帝紀、注) 無疑之時民一日漸加。

〔漸出〕ゼン シュツ 次第に出る。(『後漢書』光武帝紀、注) 無疑之時民一日漸加。

〔漸水〕ゼン スイ 次第に水。(『後漢書』光武帝紀、注) 無疑之時民一日漸加。

〔漸江〕ゼン コウ 次第に江。(『後漢書』光武帝紀、注) 無疑之時民一日漸加。

〔漸海〕ゼン カイ 次第に海。(『後漢書』光武帝紀、注) 無疑之時民一日漸加。

〔漸〕ゼン 次第に

〔漸霽〕[illegible]　しめり氣の多い土地。(大觀・大觀)
戰車・地下・漸潤。(管子、山權數)若[illegible]地下。漸潤之
壤。
〔漸漸〕[illegible]　[illegible]。●漸漸。(游・望江進
中詩)漸漸新蒲綠。(韓愈、[illegible]詩)[illegible]。(劉
基、[illegible]詩)[illegible]。相場方來第二日ごと。漸漸。(史
記、[illegible])[illegible]。段々にしみこむ。漸。(荀子、勸學)知
[illegible]。●[illegible]。(荀子、勸學)知[illegible]。
[illegible]。(韓文、[illegible])[illegible]。
也。
〔漸漸〕[illegible]　次第にあつくなる。●漸漸。(史記、[illegible])
[illegible]。●漸漸。(史記、[illegible])[illegible]。
〔漸漸〕[illegible]　[illegible]

深清也。漢毛韓兩義。圖清。。滲淵。。滲淵。清。(7－12654)に同じ。(集韻)滲。淵。清。或省。固●清い。(廣雅・釋詁二)滲。清也。●水が中絶する。(集韻)滲。一曰。水中絶。●ふち。(集韻)滲。一曰。潭也。●こほる。(小補韻會)滲。一曰。凍。●大きいさま。(集韻)滲。變化兒。(荘子・知北遊)油然滲然。(釋文)滲。本又作渗。(司馬彪)滲然。(荘子・人間世)滲然。(郭象)滲。(荘子・徳充符)滲然。(郭象)滲。(荘子・田子方)滲然。(郭象)滲。(荘子・知北遊)油然滲然。(郭象)滲

漿。〔字彙〕漿、漿、水米汁相將也。〔倦名類抄〕飲食部、水漿類、百飲、四時食制經云、冬宜食漿、〔注〕去熱毒、冬宜食、濃漿之名也。〔華嚴經音義記〕漿、古美豆。今之醬也。

●つくりみず。水を沸かし冷まして飲用とするもの。〔種字彙抄〕飲食部、水漿類、四時食制經云、春宜食漿、〔注〕冬宜食、濃漿之名也。〔倦名類抄〕飲食部、水漿類、四時食制經云、春宜食漿、〔注〕冬宜食、濃漿之名也。

●のり。糊。〔倦名類抄〕飲食部、水漿類、四時食制經云、春宜食漿、〔注〕冬宜食、濃漿之名也。

●ゆのみ。飲料の液汁の總稱。〔字彙〕漿、飲也、〔孟子、滕文公下〕簞食壺漿。●水でねつた小麥粉。〔中華大字典〕漿、米、水調粉。〔行水所稱漿。●のりをつける。漿水(10)の●を見よ。●古。〔詩、小雅、六月〕〔1-1576②〕にかりを加へない元祿の汁。

漿液 ●〔醫〕〔ショウエキ〕。液汁。〔本草、昌枝蜜解、時珍曰〕蜜、蜜者自然之漿。

漿果 ●〔植〕〔ショウカ〕。果實の、汁が多く新の多いもの。〔葡萄の類〕。〔蔷薇の類〕。

漿酒 ●〔醫〕〔ショウシュ〕。明根幼年遺亂、鬼、徳陽王氏說、主使、牧、羊、明根以、漿壺、備人書字、路遺書、地學之。

漿糊 ●〔ショウコ〕。糊の一。〔和漢〕才圖會、女工加、漿糊、順下刷之。

漿酒 ●〔ショウシュ〕。漿、酒、〔玉篇〕、飲上、水、漿、〔西廂記〕、注、水、水、注、其次、酒、酒、漿、注、酒、漿、注、酒、漿、注

水部（一畫）潁漢潰潏潕潗潤潭潯潰潟潮潛潝潘潫潬潭潯潰潟潮潛潝潘潫潬潭潯潰潟潮潛潝潘潫潬

【淵】 18210 エン

義未詳。〔篇韻〕淵・音延。

【滸】 18211 シン

没(6－17565)に同じ。〔字彙補〕淵・同上。

【漏】 18212 ロウ

漏(7－18126)の俗字。〔字彙〕漏・漏・漏俗字。

【滿】 18213 マン

滿(7－18059)の俗字。〔正字通〕滿・俗作・滿。

【滝】 18214 エン

滝(7－17698)の本字。〔正字通〕滝・同上。

【瀑】 18215 タン〔字篇〕泛艶切 國

川の名。〔玉篇〕瀑・水名。

参考 瀑(6－17499・瀑(6－17500)・瀑(7－17711)・瀑(7－18047)に同じ。

【滌】 18216 クワン

滌(7－18159)の俗字。〔宋元以來俗字譜〕滌・瀚南逸事作・滌。

十二畫

【渾】 18217 リュウ

渾(7－17875)に同じ。〔集韻〕渾・或作・隆。

【渾】 18218 ヨウ〔集韻〕母朗切 ㊀ ヨウ ㊁ ヨウ〔集韻〕延浪切 ㊂ ヨウ〔集韻〕延浪切 ㊃ ヨウ〔集韻〕延浪切 ㊄ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊅ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊆ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊇ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊈ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊉ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊊ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊋ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊌ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊍ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊎ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊏ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊐ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊑ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊒ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊓ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊔ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊕ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊖ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊗ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊘ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊙ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊚ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊛ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊜ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊝ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊞ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊟ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊠ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊡ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊢ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊣ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊤ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊥ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊦ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊧ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊨ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊩ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊪ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊫ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊬ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊭ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊮ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊯ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊰ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊱ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊲ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊳ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊴ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊵ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊶ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊷ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊸ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊹ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊺ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊻ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊼ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊽ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊾ ヨウ〔集韻〕渾韻切 ㊿ ヨウ〔集韻〕渾韻切 [1] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [2] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [3] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [4] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [5] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [6] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [7] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [8] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [9] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [10] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [11] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [12] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [13] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [14] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [15] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [16] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [17] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [18] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [19] ヨウ〔集韻〕渾韻切 [20] ヨウ〔集韻〕渾韻切

（滿滿）ｍｅｎ．水のわき出るさま。（禁解．九章．虞同風）「泥滿其前後。」（集注）滿、水湧出之貌。（司馬相如．上林賦）滿滿漫漫。（荒漫漫貌。

滿 ㊀ 古 ㊁ 呼 ㊂ 莫 ㊃ 武 ㊄ 武 ㊅ 武 ㊆ 武 ㊇ 武 ㊈ 武 ㊉ 武 ㊊ 武 ㊋ 武 ㊌ 武 ㊍ 武 ㊎ 武 ㊏ 武 ㊐ 武 ㊑ 武 ㊒ 武 ㊓ 武 ㊔ 武 ㊕ 武 ㊖ 武 ㊗ 武 ㊘ 武 ㊙ 武 ㊚ 武 ㊛ 武 ㊜ 武 ㊝ 武 ㊞ 武 ㊟ 武 ㊠ 武 ㊡ 武 ㊢ 武 ㊣ 武 ㊤ 武 ㊥ 武 ㊦ 武 ㊧ 武 ㊨ 武 ㊩ 武 ㊪ 武 ㊫ 武 ㊬ 武 ㊭ 武 ㊮ 武 ㊯ 武 ㊰ 武 ㊱ 武 ㊲ 武 ㊳ 武 ㊴ 武 ㊵ 武 ㊶ 武 ㊷ 武 ㊸ 武 ㊹ 武 ㊺ 武 ㊻ 武 ㊼ 武 ㊽ 武 ㊾ 武 ㊿ 武 [illegible]

（滿滿）ｍｅｎ．川の名。◆山西省臨汾郡の北一二縣の南の湯山に、俱に源を出し、滿を浮む。（水經注．汾水）「滿水、一源は襄陵縣の南、俱に源を出し、滿を浮む。」（集注）滿、水出る所の南の湯山

〔潔廉〕潔白。きたないこと。「長生篇、逸文」我以打（潔廉）[illegible]一花に同じ。〔潔標〕大潔。[illegible]。[illegible]。[illegible]

(18231・20)——(18235・2)

〔文海拔沙〕古今韻會舉要。莫如 廣韻 [illegible] 南岡。兒元反。

【潔】 [illegible] 西者也。[illegible] 文等的用韻。

【潔】 [illegible] いさぎよい。きよい。[illegible] 潔清。〔後漢書 [illegible]〕[illegible] 也。〔後漢書 [illegible]〕[illegible] 而能潔。〔[illegible] 傳〕[illegible] 也。〔後漢書 [illegible]〕[illegible] 潔清。〔後漢書 [illegible]〕[illegible] 潔清。〔後漢書 [illegible]〕[illegible] 潔清

〔集韻〕潘、潘潘、水文兒。〔大藏〕浩瀚、沉潘潘、潘潘、並要除清機。〔玉篇〕蕃也。〔廣韻〕沉潘、潘潘、並要除清機。〔集韻〕一說、水文兒。〔字彙〕水文。〔字彙補〕潘、同上。〔廣韻〕一作ハ。〔集韻〕一作ハ。〔類篇〕一作ハ。〔字彙補〕一作ハ。〔類篇〕一作ハ。〔字彙補〕一作ハ。〔類篇〕一作ハ。〔字彙補

齊（浮山王人。作傳。）乾隆の後裔、性狷介にして山水遊を嗜まず。文章は胡敬を學び、兼ねて詩に巧。著は清容居士集二卷がある。（國朝書畫家筆徵四）

潘敏（ハン ビン）　明。張潘芳（38）の子。名は敏。明初、征伐に從つてあり、成賓勤指揮使となる。後、西安都指揮使となる。（明史）

潘鼎（ハン テイ）　清。字は鼎。詩を學ぶ。（國朝詩人徵略）

潘鼎國（ハン テイ コク）　明。字は鼎國。（明詩綜）

潘鼎鈞（ハン テイ キン）　清。字は鼎鈞。（國朝詩人徵略）

潘敦（ハン ヒ）　明。張潘芳（38）の子。名は敦。明初、征伐に從つてあり、成賓勤指揮使となる。後、西安都指揮使となる。（明史）

潘敦儒（ハン ヒ ジュ）　清。字は敦儒。詩を學ぶ。（國朝詩人徵略）

潘敦儒（ハン ヒ ジュ）　清。字は敦儒

しきを向ん。後、会都御史となり、權禮に忤つて南州郡司書に左遷せらる。『晉書法雅傳』上巻。

『潘滔』〔?〕?〕?〕。字は思八。大夫の人。荆州刺史。師に遊ぶ。文宗が滔を出せんとするや、乞げて江湖に走る。後、行臺御史太夫の人を歴任す。著に子素集がある。『宋書紀事』十二。

『潘尼』〔?〕?〕?〕。字は正叔。故郡秘書。『晉新同書』巻三十二。

『潘潤』〔?〕?〕?〕。常侍の人。字は時宇。『魏志』中、輪は上廣、蓋頌の弟。官は故郡秘書。『晉新同書』巻三十四の二小輪紀十二。『明博學集』巻四。

『潘岳』〔?〕?〕?〕。字は安仁。『晉書』巻五十五。『晉書』巻五十五。『晉書』巻五十五

り、「蛇の美色を見て入れんと欲した時、王花が、虜貴とは者は此の者なり、留り可しとして、遂にめたのに、将に以て田安路に賜ならんとした」王兒徒はして自縊す（『南齊書』二十四）。

潘信[illegible]　清、吳江の人。字は銀峰、又、舊生。青年の小流初学とい小。著に『國志考證』小流初学詩文集がある。

潘[illegible]　清、吳江の人。字は[illegible]。[illegible]の人。[illegible]。[illegible]。[illegible]

二百八十七)〔國朝耆獻類徵、二百八十一〕〔碑傳集、百十五〕〔國朝先正事略、十二〕〔清史稿、百十二〕

〔盛允頤〕1811―1871　明の人。恩の子。字は健慶。號は夷白。餘杭人。南陽先賢、諸葛武侯を崇信し、天性讀書樂善を好む。官は知州石香政使。著書を三草堂天然園叢書と云ふ。明史、二百二〕。

〔潘水因〕1811―1871　潘水因の人。字は榕菴。號は鐵東。福建侯官人。乾隆行參軍、長樂太守を歷任す。葛榮が州城を攻めて、朝史兄弟と協力して防いだが敗れ、捕にされて殺る。水經注、中、左光祿大夫、衛大將軍、侯官縣令を授ける。清、全唐文、人字は大夫。著に潘水因集がある。宋神聞詩には潘水因に作る。二卷。〔二百四十八〕〔閩詩錄、五十一〕〔閩書、百十二〕〔閩小紀、二百二十一〕

〔潘奕隸〕1740―1830　明の人。奕鈞の弟。字は有山。號は蘇亭。著に坊。

〔潘奕鈞〕1740―1830　明の人。奕鈞の兄。字は有山。號は蘇亭。同治の進士。官は知縣。著に坊。

〔潘奕藻〕1740―1830　清の人。奕鈞の弟。字は思賢。號は思安。乾隆の進士。官は明部郎中。

〔潘奕鵬〕1740―1830　清の人。字は守愚。號は榕菴・水雲・雲士。乾隆の進士。行唐縣令に巧で、又、山水畫を善く、詩を書して尤も柔麗を得て行唐詩鈔、思貽堂集を著す。松安堂と云ふ。著に說文集、一卷。松安文集、水雲詩鈔がある。〔國朝畫徵錄、二卷〕〔松安文集、水雲詩鈔〕

〔潘奕雋〕1740―1830　清の人。原名は世恩。字は次蘇。號は榕菴・榕村。同治の進士。官は知縣。著に三松堂集、一卷。〔國朝耆獻類徵、二卷〕〔碑傳集、一〕

〔潘祈根〕1811―1871　清の人。原名は國根。字は緯堂。號は榕菴。同治の進士。官は知縣。著に寄園詩鈔、一卷。〔國朝耆獻類徵、二卷〕〔碑傳集、一〕

〔潘鼎立〕1811―1871　清の人。字は卓民。別號は鶴巢。福建侯官人。嘉慶中、福州府學教諭を歷任す。著に潘鼎立集がある。〔國朝耆獻類徵、二卷〕〔碑傳集、一〕

〔潘鼎鈞〕1811―1871　清の人。字は鼎鈞。號は蘇亭。同治の進士。官は知縣。著に坊。

〔潘鼎鼎〕1811―1871　清の人。字は鼎鼎

蜀任之。与子元光奉祀郎陽侯。子元光、元光子元嘉、元嘉子元明、元明子瑀、瑀子元孫。

潘士遷（180ページ）明、烏程の人。字は叔載。天啓の進士。清江の令を歴任。著に尚書蔡傳がある。

（西園聞見録一十四）

潘子秀（180ページ）清、烏程の人。弘光の進士。幼より記憶力抜群で、経史に通じ、清介を以て聞ゆ。官は兵部尚書に至る。著に『潘子秀集』がある。

潘之恒（180ページ）明、休寧の人。字は亨大、金陵の人。曲を能くし、『曲苑』を作る。著に『黄海』『名山記』『涉江詩選』『量集』がある。（明人小傳、四庫全書総目提要）

潘之淳（180ページ）清、人名。『潘之恒』の項を見よ。

潘之粲（180ページ）明、錢塘の人。字は無聲、號は三石。著に書法離合がある。（四庫全書総目提要）

潘仕成（180ページ）清、番禺の人。字は德輿、道光中に兵部に官し、後に東海山館・海山仙館・海山仙館叢書を刊行し、『海山仙館叢書』を編纂した。著に『海山仙館詩鈔』『海山仙館叢書』がある。

潘志伊（180ページ）明、呉江の人。字は伊甫。嘉靖の進士。官は刑部郎中、後に九江府の知府に昇進し、刑部に入って尚書を歴任し、後に『明史』二百一十七）（萬歴明史、三百五十二）（明人小傳、二）（明史稿、四十四）。

潘思誠（180ページ）清、湖南の人。字は誠斎。號は蓮史。嘉慶の進士。官は湖南の知県に至る。著に『蓮史詩鈔』がある。

潘志恢（180ページ）明、呉江の人。字は伯甫。嘉靖の進士。官は兵部の郎中に至る。著に『潘子遺集』がある。

潘志凱（180ページ）清、人名。『潘祖蔭』の項を見よ。

潘志俊（180ページ）明、歙県の人。字は無聲、號は三石。著に書法離合がある。（四庫全書総目提要）

潘志道（180ページ）清、番禺の人。字は德輿。道光の進士。官は兵部尚書に至る。海山仙館・海山仙館叢書を刊行し、『海山仙館叢書』を編纂した。著に『海山仙館詩鈔』がある。（明人小傳、四）

潘之淳（180ページ）清、人名。『潘之恒』の項を見よ。

潘之粲（180ページ）明、錢塘の人。字は無聲、號は三石。著に書法離合がある。（四庫全書総目提要）

潘之恒（180ページ）明、休寧の人。字は亨大、金陵の人。曲を能くし、『曲苑』を作る。著に『黄海』『名山記』『涉江詩選』『量集』がある。（明人小傳、四）

潘子秀（180ページ）清、人名。『潘士遷』の項を見よ。

潘子元（180ページ）明、烏程の人。字は元孫。嘉靖の進士。官は兵部の郎中に至る。著に『潘子元集』がある。

潘子元孫（180ページ）明、烏程の人。字は元孫。嘉靖の進士。官は兵部の郎中に至る。著に『潘子元集』がある。

潘子元嘉（180ページ）明、烏程の人。字は元嘉。嘉靖の進士。官は兵部の郎中に至る。著に『潘子元集』がある。

潘子元光（180ページ）明、烏程の人。字は元光。嘉靖の進士。官は兵部の郎中に至る。著に『潘子元集』がある。

潘子元明（180ページ）明、烏程の人。字は元明。嘉靖の進士。官は兵部の郎中に至る。著に『潘子元集』がある。

潘子瑀（180ページ）明、烏程の人。字は子瑀。嘉靖の進士。官は兵部の郎中に至る。著に『潘子元集』がある。

潘子元孫（180ページ）明、烏程の人。字は元孫。嘉靖の進士。官は兵部の郎中に至る。著に『潘子元集』がある。

潘士遷（180ページ）明、烏程の人。字は叔載。天啓の進士。官は兵部の郎中に至る。著に尚書蔡傳がある。（西園聞見録一十四）

潘子秀（180ページ）清、人名。『潘士遷』の項を見よ。

潘之淳（180ページ）明、休寧の人。字は亨大、金陵の人。曲を能くし、『曲苑』を作る。著に『黄海』『名山記』『涉江詩選』『量集』がある。（明人小傳、四）

潘之恒（180ページ）明、休寧の人。字は亨大、金陵の人。曲を能くし、『曲苑』を作る。著に『黄海』『名山記』『涉江詩選』『量集』がある。（明人小傳、四）

潘之粲（180ページ）明、錢塘の人。字は無聲、號は三石。著に書法離合がある。（四庫全書総目提要）

潘仕成（180ページ）清、番禺の人。字は德輿。道光中に兵部に官し、後に『海山仙館叢書』を編纂した。著に『海山仙館詩鈔』がある。

潘志俊（180ページ）明、歙県の人。字は伯甫。嘉靖の進士。官は兵部の郎中に至る。著に『潘子遺集』がある。

潘志凱（180ページ）清、人名。『潘祖蔭』の項を見よ。

潘志道（180ページ）清、番禺の人。字は德輿。道光の進士。官は兵部尚書に至る。海山仙館・海山仙館叢書を刊行し、『海山仙館叢書』を編纂した。著に『海山仙館詩鈔』がある。（明人小傳、四）

潘思誠（180ページ）清、湖南の人。字は誠斎。號は蓮史。嘉慶の進士。官は湖南の知県に至る。著に『蓮史詩鈔』がある。

潘志恢（180ページ）明、呉江の人。字は伯甫。嘉靖の進士。官は兵部の郎中に至る。著に『潘子遺集』がある。

潘志凱（180ページ）清、人名。『潘祖蔭』の項を見よ。

潘志伊（180ページ）明、呉江の人。字は伊甫。嘉靖の進士。官は刑部郎中、後に九江府の知府に昇進し、刑部に入って尚書を歴任し、後に『明史』二百一十七）（萬歴明史、三百五十二）（明人小傳、二）（明史稿、四十四）。

潘思誠（180ページ）清、湖南の人。字は誠斎。號は蓮史。嘉慶の進士。官は湖南の知県に至る。著に『蓮史詩鈔』がある。

潘仕成（180ページ）清、番禺の人。字は德輿。道光中に兵部に官し、後に『海山仙館叢書』を編纂した。著に『海山仙館詩鈔』がある。

潘志恢（180ページ）明、休寧の人。字は亨大、金陵の人。曲を能くし、『曲苑』を作る。著に『黄海』『名山記』『涉江詩選』『量集』がある。（明人小傳、四）

潘之淳（180ページ）明、休寧の人。字は亨大、金陵の人。曲を能くし、『曲苑』を作る。著に『黄海』『名山記』『涉江詩選』『量集』がある。（明人小傳、四）

潘之粲（180ページ）明、錢塘の人。字は無聲、號は三石。著に書法離合がある。（四庫全書総目提要）

潘之恒（180ページ）明、休寧の人。字は亨大、金陵の人。曲を能くし、『曲苑』を作る。著に『黄海』『名山記』『涉江詩選』『量集』がある。（明人小傳、四）

潘子秀（180ページ）清、人名。『潘士遷』の項を見よ。

潘士遷（180ページ）明、烏程の人。字は叔載。天啓の進士。官は兵部の郎中に至る。著に尚書蔡傳がある。（西園聞見録一十四）

潘子秀（180ページ）清、人名。『潘士遷』の項を見よ。

潘之恒（180ページ）明、休寧の人。字は亨大、金陵の人。曲を能くし、『曲苑』を作る。著に『黄海』『名山記』『涉江詩選』『量集』がある。（明人小傳、四）

潘之粲（180ページ）明、錢塘の人。字は無聲、號は三石。著に書法離合がある。（四庫全書総目提要）

潘仕成（180ページ）清、番禺の人。字は德輿。道光中に兵部に官し、後に『海山仙館叢書』を編纂した。著に『海山仙館詩鈔』がある。

潘志俊（180ページ）明、歙県の人。字は伯甫。嘉靖の進士。官は兵部の郎中に至る。著に『潘子遺集』がある。

潘志凱（180ページ）清、人名。『潘祖蔭』の項を見よ。

潘志道（180ページ）清、番禺の人。字は德輿。道光の進士。官は兵部尚書に至る。海山仙館・海山仙館叢書を刊行し、『海山仙館叢書』を編纂した。著に『海山仙館詩鈔』がある。

潘思誠（180ページ）清、湖南の人。字は誠斎。號は蓮史。嘉慶の進士。官は湖南の知県に至る。著に『蓮史詩鈔』がある。

潘志恢（180ページ）明、呉江の人。字は伯甫。嘉靖の進士。官は兵部の郎中に至る。著に『潘子遺集』がある。

潘志凱（180ページ）清、人名。『潘祖蔭』の項を見よ。

潘志伊（180ページ）明、呉江の人。字は伊甫。嘉靖の進士。官は刑部郎中、後に九江府の知府に昇進し、刑部に入って尚書を歴任し、後に『明史』二百一十七）（萬歴明史、三百五十二）（明人小傳、二）（明史稿、四十四）。

潘思誠（180ページ）清、湖南の人。字は誠斎。號は蓮史。嘉慶の進士。官は湖南の知県に至る。著に『蓮史詩鈔』がある。

潘仕成（180ページ）清、番禺の人。字は德輿。道光中に兵部に官し、後に『海山仙館叢書』を編纂した。著に『海山仙館詩鈔』がある。

潘志恢（180ページ）明、休寧の人。字は亨大、金陵の人。曲を能くし、『曲苑』を作る。著に『黄海』『名山記』『涉江詩選』『量集』がある。（明人小傳、四）

潘之淳（180ページ）明、休寧の人。字は亨大、金陵の人。曲を能くし、『曲苑』を作る。著に『黄海』『名山記』『涉江詩選』『量集』がある。（明人小傳、四）

潘之粲（180ページ）明、錢塘の人。字は無聲、號は三石。著に書法離合がある。（四庫全書総目提要）

潘仕成（180ページ）清、番禺の人。字は德輿。道光中に兵部に官し、後に『海山仙館叢書』を編纂した。著に『海山仙館詩鈔』がある。

潘志俊（180ページ）明、歙県の人。字は伯甫。嘉靖の進士。官は兵部の郎中に至る。著に『潘子遺集』がある。

潘志凱（180ページ）清、人名。『潘祖蔭』の項を見よ。

潘志道（180ページ）清、番禺の人。字は德輿。道光の進士。官は兵部尚書に至る。海山仙館・海山仙館叢書を刊行し、『海山仙館叢書』を編纂した。著に『海山仙館詩鈔』がある。

潘思誠（180ページ）清、湖南の人。字は誠斎。號は蓮史。嘉慶の進士。官は湖南の知県に至る。著に『蓮史

は王徒（王経）・自疑集・鑒開居士。官は道員。著書は『鑒開集』。

『潘曾莒』[20]2[2]2　清の人。曾莒の弟。字は申甫。号は存斎。官は盛京将軍。著書は『存斎集』。

『潘曾沂』[20]2[2]2　清の人。曾沂の弟。字は子美。号は小鳳。官は知縣。著書は『小鳳泉集』。

『潘印勝』[20]2[2]2　明、烏程の人。字は天泉。進士。官は福建の知縣。著書は『潘天泉集』。

『潘仲聯』[20]2[2]2　現代の人。字は孟安。号は鶴翔・鶴翔・鶴翔・

水名。漢有「沅陵縣、在二南陽」、或从水。

潟 18238

□キ（集韻）須臾切 ㊀ㄒㄩˋ xuò
□ヰ（集韻）于筠切 ㊀ㄩㄣˊ yún

□川の名。通じて鹵(13・57202)に作る。潟水(2)の●を見よ。〔説文〕潟、說文、水名。从水鳥聲。〔集韻〕潟、鹵水名。出西域。通作鹵。□川の名。潟水(2)の●を見よ。〔集韻〕潟、水名。在新陽。

〔爲山〕一名、大潟山。湖南省嘉魚縣の西。〔水經〕江水、又東過夏口西、右合沔水、沔水出上庸、東過魏興、上庸、西城、魏興、漢中、南鄭、梁州、漢中、沔陽、梁州、漢中、沔陽、梁州、漢中、沔陽

圓會 散騎 [三輔決錄] 則受伸之如 魚躍

【潛】[名] 六。かくれのがれる。又、其の人。[孟子、盡心上] 魏志、管輅傳、宜長官、[後漢書、馮魴傳] 是以侯王、[後漢書、馮魴傳] 潛遁不復事、[後漢書、馮魴傳] 潛遁、[後漢書、馮魴傳] 潛遁、[後漢書、馮魴傳] 潛遁

生。百は太常縣産。太柴の時、百を愛して姓名を變じて杭州の西湖に隱る。（浙江通志）

〔潛廟〕 ●●。かくれ住むやしろ。

〔潛化〕 ●●。かくれ住むなり。

〔潛光〕 ●●。かくれ住むひかり。

〔潛光生〕 劉子翬。字は子翬。建州崇安の人。蓬萊宜抗。

〔潛昧〕 ●●。ひそみくらす。

〔潛晦〕 ●●。ひそみかくす。かくれる。オ智・才學・世間を隱して世に知られないこと。「蘇軾、潛晦を隱して世に知らず。」（蘇軾、潛晦を隱して世に知らず。）

〔潛懷〕 ●●。ひそかに思ふ。人知れず思ふ。（後漢書、馮衍傳）「潛懷を以て思ふ。」

〔潛書〕 ●●。ひそかなはかりごと。潛計。（晉書、景帝紀）「深謀遠慮、潛書無量。」

〔潛玩〕 ●●。ひそかにもてあそぶ。（漢魏詩）「潛玩に把手を牽ぶ。」

〔潛計〕 ●●。ひそかにはかる。

〔潛潛〕 ●●。潛潛。（元稹、鶴の歌）「潛潛、鶴の歌を、忘れず。」

隙を動かす。(左氏、僖二十二)●左氏・僖二十二の文に、「敗績。公以傷。冬、十月、丙午、朔、日有食之。」とあり。●「潛動」は、「潛隙」の誤か。「左氏、僖二十二」の「潛」は、「潛」の誤か。「潛動」は、「潛隙」の誤か。

〔潛動〕109ページ 字誤。●清・洪亮吉説(18240・95)の字。「潛」は、「潛隙」の誤か。「潛動」は、「潛隙」の誤か。

〔潛初〕109ページ ひそかにおこる。ひそかでない。「潛」は、「潛隙」の誤か。「潛初」は、「潛隙」の誤か。

〔潛隙〕109ページ ひそかにおこる。ひそかでない。「潛」は、「潛隙」の誤か。「潛隙」は、「潛隙」の誤か。

〔潛動〕109ページ ひそかに動ける。「潛」は、「潛隙」の誤か。「潛動」は、「潛隙」の誤か。

〔潛隙〕109ページ ひそかにおこる。ひそかでない。「潛」は、「潛隙」の誤か。「潛隙」は、「潛隙」の誤か。

〔潛隙〕109ページ ひそかにおこる。ひそかでない。「潛」は、「潛隙」の誤か。「潛隙」は、「潛隙」の誤か。

〔潛動〕109ページ ひそかに動ける。「潛」は、「潛隙」の誤か。「潛動」は、「潛隙」の誤か。

〔潛隙〕109ページ ひそかにおこる。ひそかでない。「潛」は、「潛隙」の誤か。「潛隙

子、伭勝〕潛伭氣又潛然而動。〔注〕潛然、隱伏不見貌。●又ものに燃えるの（大華厳）阿含経下。〔字鏡〕ひそかに燃える。

〔字鏡〕ひそかにふす。〔柳宗元、『封蛇記』〕蛇、ひそかにふす。〔字鏡〕ひそかにふす。〔字鏡〕ひそかにふす。〔字鏡〕

[潛文]390 ㄑㄧㄢˊ 潛 [潛字]390 ㄑㄧㄢˊ 潛 [潛字]390 ㄑㄧㄢˊ 潛 [潛字

【滃】 18242

㊀ㄅㄨㄥˇ（集韻）蒲蠓切 **蒙**

㊁ㄅㄨㄥˋ（集韻）方奉切 **蓬**

㊂ㄈㄥˋ（集韻）方奉切 **蓬**

滃滃 ㊀ 水出貌。（漢書・揚雄傳）「滃鬱而淫鬱。」（注）「滃滃，水出貌。」（文選・揚雄・甘泉賦

潟 18247

日セキ シャク
中シャク
国チャク

(集韻)亟積切 ㊀ 1 ㊁ 1 ㊂ 1 ㊃ 1

(集韻)七約切 ㊀ 1 ㊁ 1 ㊂ 1 ㊃ 1

(集韻)亟歷切 ㊀ 1 ㊁ 1 ㊂ 1 ㊃ 1

㊀㊁㊂ ●かた。ひかた。潮汐の干潮で潟は浸され、或は乾く。縝。(正字通)海。滉。水之處、水窮、去其地。潟、縝。●しほち。にがつち。滿(7—18088)・瀉(4—930 6)・庫(6—30202)・況(9—30202)に同じ。(集韻)滉、苦地、或从鳥。通作瀉。庫。(六書故)海水鹹也。周禮曰、縝膏用鹵。(注)河、遠也。鹵かた。(又)うつち。水之處、水窮、去其地。潟、縝。●しほち。にがつち。滿(7—18088)・瀉(4—930 6)・庫(6—30202)に同じ。(集韻)滉、苦地、或从鳥。通作瀉。庫。(六書故)海水鹹也。周禮曰、縝膏用鹵。(注)河、遠也。鹵かた。(又)うつち。(漢書)郊祀志、瀉、如史記、瀉、海邊也。(師古曰)瀉、鹵地也。(又)海。(正字通)海。滉。海邊。(漢書)郊祀志、瀉、海邊也。(師古曰)瀉、鹵地也。(又)海

回。(注)畜曰。說環曰。澗。涧水無際。

(漢祭)ｐ.ｊ.ｊ.ｊ

瀾 ㊀ 谷川の中。「詩」伯南（采薇）：「行役、瀾（采薇）：「行役、其二）青青陵上柏、磊磊澗中石。」「文選」「古詩」「蘇武詩」「鳥鳴」「瀾」「詩」「行路難」「鳥鳴」「蒼蒼」「詩」「蜀」「谷風」「詩」「蜀」「谷風」「詩」「蜀」「谷風

籀文如王籀、然至孟、機、環、宜、臨分殺（生）、向、日、潤、狡、猶、奪、鬱、鬱、鬱

作鍾乳方記載。『隋書』経籍志「梁有『鍾乳方』一巻、王禹偁撰」。『書』李密『運動』『温馬五十匹』『淵』『筆』『高陽郡』『書』『録用諸侯』『公書』『集古』『語』『庁』『朝』『石』『其字』『其字』『鍾』『鍾』『鍾

水部（十一畫）滲 瀊 瀌 瀑 瀑 瀑

□□□□●ふかい。水が深く廣い。廣漢・潢窓。廣韻「深、水深。廣韻「潢、水深兒。(集韻)深、廣漢、水深廣。(集韻)深、潢窓、水深貌。(集韻)深、廣漢、大水。●廣漢は水の廻り流れるさま。(左思、吳都賦)泓澄廣漢。(注)善曰、廣漢、廻流之貌。

【潢】 18269 ケツ クワチ

□タン (集韻)五丹切 □□ ケツ (集韻)苦八切 □□ カラ kara (集韻)郎丁切 □□ セン (集韻)七遺切 □□

●川の名。源は渭北省隨縣の北の四城山。潢水に注ぐ。又、鈞成河といふ。(水經、潢水注)、源水又東南、潢水入焉。潢水出桐柏山陽、云云、東南逕蔡西縣西、又東南注于淮。(淮、統志)、名魯城河。●國の名。(玉篇)(廣韻)名、或は潢。(7－87902)に作る。(集韻)潢、或从潢。

【潭】 18271

□タン (集韻)徒含切 □□ タン (集韻)徒心切 □□ ジン (集韻)徐心切 □□ ジン (集韻)秦針切 □□ イン (集韻)以在切 □□ ジン (集韻)巨蔡切 □□ ドン (集韻)徒紅切 □□

●ふかい。沈(6－17189)・深(7－17687)に通ず。(說文通訓定聲)潭、假借爲沈、爲深、(釋名、沈、沈況、深深貌、赤通)(管子、侈靡)潭根之母伐、(注)潭、深也。●ふかくする。潭書、揚雄傳下)大潭、思玄賦)潭古日、潭、深也。●ふち。(廣雅、釋水)潭、(師古日、楚辭九章、抽思)沿江潭兮、(注)潭、淵也、楚人名、潭曰淵。●ながす。水邊。(漢書、揚雄傳上)因江潭而泝記兮。(注)、林林曰、潭、水邊也。●川の名。潭水(23)の●を參照。(漢書、地理志)武陵郡沅陵縣、雄山東入酉水、从水覃聲。(注)、林宇藤、當、鄭、俗人不知、都坊古、林英、●姓。(萬姓統譜)梁、制部郎中。□ふち。淵(7－18296)に同じ。(集韻)潭、說文、旁深也、或作□。□ひたす。みづむ。水部に(7－6778)に通ず。(注字通)潭、注深、與淫通。(史記、荀卿傳)注、都。(注)、索隱曰、浸潭、猶無用也。(集韻)潭、浸沒也。(注)、索隱曰、浸潭、猶無用也。●潭、與淫通。(史記、荀卿傳)注、都。(注)、索隱曰、浸潭、猶無用也。●潭、與淫通。(漢書、揚雄傳)、大潭、思玄賦)、潭、注、深也。(注)、潭、以心切、善曰、浸潭、漸沒也。●川の名。(集韻)潭、水名、在、武陵、回沅●水が動くさま。(集韻)潭、水動兒。●潭(9－12349)に同じ。(集韻)潭、或作、潭、□水をうつ音。(集韻)潭、或作、撞。

(原典)ii、おくかい。又、おくそこ。(邪理、御覽、博物)、滅沈、沈之鈴鍵、學、覃之之(原典)iii、淵のまま、淵深をいふ。(郭璞、江賦、注)、紫貝、蜃、蛤、(注)、深、(注)、(原典)iv、深いふち。谷川の光。(ハ物、夢子、闕言篇)日、闕言篇、影日、然然、影、影、影、影、影、(原典)v、山光、(茅母、若那、注)、(原典)vi、(常建、破山寺後禪院詩)、山光悅鳥性、潭影空人心、(茅母、若那、注)、(原典)vii、外科、(性苟)、(注)、(原典)viii、(注)、(原典)ix、(注)、(原典)x、(注)、(原典)xi、(注)、(原典)xii、(注)、(原典)xiii、(注)、(原典)xiv、(注)、(原典)xv、(注)、(原典)xvi、(注)、(原典)xvii、(注)、(原典)xviii、(注)、(原典)xix、(注)、(原典)xx、(注)、(原典)xxi、(注)、(原典)xxii、(注)、(原典)xxiii、(注)、(原典)xxiv、(注)、(原典)xxv、(注)、(原典)xxvi、(注)、(原典)xxvii、(注)、(原典)xxviii、(注)、(原典)xxix、(注)、(原典)xxx、(注)、(原典)xxxi、(注)、(原典)xxxii、(注)、(原典)xxxiii、(注)、(原典)xxxiv、(注)、(原典)xxxv、(注)、(原典)xxxvi、(注)、(原典)xxxvii、(注)、(原典)xxxviii、(注)、(原典)xxxix、(注)、(原典)xxxx、(注)、(原典)xxxxi、(注)、(原典)xxxxii、(注)、(原典)xxxxiii、(注)、(原典)xxxxiv、(注)、(原典)xxxxv、(注)、(原典)xxxxvi、(注)、(原典)xxxxvii、(注)、(原典)xxxxviii、(注)、(原典)xxxxix、(注)、(原典)xxxxx、(注)、(原典)xxxxxi、(注)、(原典)xxxxxii、(注)、(原典)xxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxv、(注)、(原典)xxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxix、(注)、(原典)xxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxix、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxiv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxv、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvi、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxvii、(注)、(原典)xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxviii、(注)、(原典)x

詩〈遷潛首篇〉賦、潭水沒鯊。
【潭水】ｔｅｎ　❶淵の水。底深く、水（李白、贈汪倫詩）。❷池の水。深淵。水（李白、秋浦歌）。❸川の名。廣西省の柳江に注ぐ。（到潤詩）桃花流水窈然深、別有天地非人間。（杜甫、狂夫詩）萬里橋西一草堂、百花潭水即滄浪。（劉禹錫、竹枝詞）楊柳青青江水平、聞郎江上唱歌聲。（新秋放鷹野用青、◎川名。廣西省の柳江を黑新秋放鷹野用青、◎川名。廣西省の柳江を流れる。（蘇軾、鰲柱）。【段注】王筠句讀云、潭、水即今鰲峽江、蓋出者地、東南至今貴州黎平、西南至今鰲峽江、蓋出者地、東南至今貴州黎平、西南至今鰲峽出入廣西至、即鰲鰲、鰲、柳江又東南、右江、亦自左江、合廣西左江、流江、此廣西之鰲、唐始置潭州、以北潭江、馬潭江、鰲江、即古潭水、古、后皆、耳、今人上流爲柳江、下流爲潯江、漢人鰲江、下流亦曰武陵郡鰲故鰲江、山東流逕、鰲林郡中鰲、周水、鰲、鰲、水、鰲、水、鰲、鰲、鰲

色づく。（范成大、禁寄紅詩）晚起欲光心。粉晚衰酣潮。**●**るるはふ。しめる。温氣。（范成大、没水浦晚晴月出晚復大雨上湖不測云「禁其愛」詩）征衫潮潤冷盛（**●**潮）。（**●**じゅう（一）15508）に同じ。（正字通）潮、萬緑潮、人山作。嘲（**●**）。**●**しほ。鹽汁を用ひないで、鹽で味をつけること。（食品分類の吸物）

潮汐 倉岩形聲。水と潮（あつまりそそぐ）とを合せて、謂川が海にあつまりそそぐ意を表はす。上、朝（潮を發する意）。古文、朝の旁、車は朝の省形。字解を見よ。

潮音 名。代國。置く。廣東省番禺縣の東北。釋山漢格の起點。

潮汐 名。●潮（ちしほ）。●潮（ちしほ）。●潮（ちしほ）

〔潮圓〕ちょうえん 〔宮廷大浸水補令晴月出綺雲大雨上潮〕（『宮廷大浸水補令晴月出』『新千載集』）

〔潮茶〕ちゃ 料理の一種。鯛などの骨を水煮し鹽で味をつけ、柴又は海苔などを少し入れ、吸物に用いる。〔四條流庖丁書〕「ちゃはこの事、云々、潮にてうしはを流みて、鯛を煮て參らせ候」

〔潮蓋〕ちょうがい chaoge. 蓋し暑きなる。

〔潮信〕ちょうしん 海水のさしひき時刻。しほどき。潮候（色）に同じ。日知錄 卷三十一に見える。〔金鶏記〕「潮信、時刻、時間、時期」

〔潮汐〕ちょうせき 海の満ち干。〔元史 天文志〕「潮汐、海水一晝夜一上一下」

〔潮水〕ちょうすい 海水。〔李白 送王屋山人魏萬還王屋〕「潮水連海生、明月照海底」

〔潮生〕ちょうせい 海水のさしひき。〔『新撰字鏡』〕「潮、潮生」

〔潮汐〕ちょうせき 潮の干満。〔『新撰字鏡』〕「潮、潮汐」

〔潮説〕ちょうせつ 潮の干満。〔『新撰字鏡』〕「潮、潮説

路（延喜式・駅馬式・大蔵・荒雄之鱸の八百道乃。）遠から海路。

【潮】 18277 チウ 潮7・18277に同じ。

【潕】 18278 ヒウ 潕7・18182の俗字。一日字。

【潮】 18279 ヒウ 潮7・18182の本字。正字。通じて寒水字。

【潯】 18280

（集韻・徐心切・侵・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ・Ⅸ・Ⅹ・Ⅺ・Ⅻ

【潰出】ｸｲｼｭﾂ ことばれて物がくずれ出る。水が出盛する。（後漢書 文帝紀）「出師表」潰出。九山同時起焉。（大水潰出（注）師古曰、旁決曰潰。）

【潰走】ｸｲｿｳ くずれはしる。敗れて逃げる。敗北。敗走。

【潰鮪】ｸｲｲ 魚肉等のくずれ腐ること。「日本政記」朱孝天潰鮪魚腐不可食矣。（日本政記）

【潰決】ｸｲｹﾂ やぶれくずれる。「越絕書」越相外傳「潰決流溢、人多死者」（越絕書）

【潰敗】ｸｲﾊｲ 敵軍をくずしやぶる。「許劭宗、若荀彧・荀攸・荀悅・荀爽・荀諶・荀衍・荀恕・荀詵・荀顗・荀粲・荀俁・荀俣・荀詳・荀靖・荀甝・荀甚・荀甚・荀甚

潸 18293
日サン（集韻）師莧切 圖
日セン（集韻）潸版切 潸
日セン（集韻）所変切 涮
日セン（集韻）刪產切 潸

潸 18293 サン 潸 ㄕㄢˇ shan3.
潸 ㄕㄢˇ 潸 ㄕㄢˇ 潸 ㄕㄢˇ 潸 ㄕㄢˇ
❶涙の流れるさま。（説文）潸、涕流皃。从氵水、閒聲。（詩、小雅、大東）潸然出涕。（傳）潸、涕下皃。（楚辞、九章、惜誦）心鬱結而莫達兮、欲陳情而未由。壅蔽障之不通兮、孰申之而為直。（後漢書、劉陶傳）潸然出涕。（注）潸、涕流皃。❷雨の降るさま。（詩、大雅、瞻卬）雨雪瀌瀌。（傳）瀌瀌、雨皃。❸（百穴鎮の）一上聲第十五。（集韻）或作 潸。

潸 18294 サン 潸 説文作 潸 ㄕㄢˇ shan3.
潸 ㄕㄢˇ 潸 ㄕㄢˇ 潸 ㄕㄢˇ 潸 ㄕㄢˇ
❶涙の流れるさま。（楚辞、哀郢）眇南顧而流涕兮、心鬱結而莫達。（後漢書、馮衍傳）潸然出涕。（注）潸、涕流皃。（後漢書、劉陶傳）潸然出涕。（集韻）或作 潸。

潸 18295 サン 潸 説文作 潸 ㄕㄢˇ shan3.
潸 ㄕㄢˇ 潸 ㄕㄢˇ 潸 ㄕㄢˇ 潸 ㄕㄢˇ
❶涙の流れるさま。（楚辞、哀郢）眇南顧而流涕兮、心鬱結而莫達。（後漢書、馮衍傳）潸然出涕。（注）潸、涕流皃。（後漢書、劉陶傳）潸然出涕。（集韻）或作 潸。❷雨の降るさま。（詩、大雅、瞻卬）雨雪瀌瀌。（傳）瀌瀌、雨皃。❸（百穴鎮の）一上聲第十五。（集韻）或作 潸。

潸 18296 サン 潸 説文作 潸 ㄕㄢˇ shan3.
潸 ㄕㄢˇ 潸 ㄕㄢˇ 潸 ㄕㄢˇ 潸 ㄕㄢˇ
❶涙の流れるさま。（説文新附）潸、涕流皃。从氵水、閒聲。（楚辞、哀郢）眇南顧而流涕兮、心鬱結而莫達。（後漢書、馮衍傳）潸然出涕。（注）潸、涕流皃。（後漢書、劉陶傳）潸然出涕。（集韻）潸、涕流皃。❷水の流れるさま。又、其の聲。（説文新附）潸、流皃。从氵水、閒聲。（史記、司馬相如列伝、上林賦）潸然淫淫。（注）潸、流皃。（史記、司馬相如列伝、子虛賦）潸然淫淫。（注）潸、流皃。（史記、司馬相如列伝、大人賦）潸然淫淫。（注）潸、流皃。（後漢書、張衡傳）亂鴻水之潺潺兮、一夜潺湲送客船。（注）潺湲、水流皃。（後漢書、馮衍傳）潺湲、流皃。（文選、謝靈運、登池上樓）潺湲生夕陰。（文選、謝朓、遊東田）潺湲鳴不已。（文選、謝朓、和王中丞聞琴）潺湲清且淺。（文選、謝朓、和王主簿）潺湲生夕陰。（文選、謝朓、和王鼓吹）潺湲鳴不已。（文選、謝朓、和王中書）潺湲清且淺。（文選、謝朓、和王中書）潺湲生夕陰。（文選、謝朓、和王中書

[華陽縣]の東。[漢書]地理志:[蜀郡]郫、[廣漢]雒、[犍為]武陽、[牂牁]談指、[益州]滇池、[牂牁]毋斂、[牂牁]鄨、[牂牁]漏臥、[牂牁]夜郎、[牂牁]毋單、[牂牁]句町、[牂牁]進桑、[牂牁]不韋、[牂牁]同瀆、[牂牁]毋棳、[牂牁]谈指、[牂牁]俞元、[牂牁]母敢、[牂牁]新豊、[牂牁]昆明、[牂牁]雲南、[牂牁]連然、[牂牁]味、[牂牁]收靡、[牂牁]楪榆、[牂牁]漏江、[牂牁]牂牁、[牂牁]鄨、[牂牁]毋斂、[牂牁]宛温

〔説文〕10ウ 紙を張りあはせて上に絵画を塗ったもの。数物は包紙などに用ふる。

〔説文〕10ウ いやいやなさま。物事をするに、しぶしぶしぶり。〔枕草子・二〇〕しぶしぶに思ひたる。〔和名抄〕10ウ 柿渋の下の方に沉澱したもの。

〔説文〕10ウ 柿渋の下のうな色。うすがきいろ。〔説文〕10ウ 諸王十二、南都三義宮、義宮生而舌短説十言者。〔説文〕10ウ 柿渋を染めること。〔説文〕10ウ 柿渋を染めれてわつた糊。〔説文〕10ウ 周防国の地名。〔説文〕10ウ 柿渋のようなこと。物事のはかばかしく行かないようなこと。〔説文〕10ウ 柿渋の立秋の頃。〔説文〕10ウ 茶室の腰などに用ひる代赭色の土。〔説文〕10ウ 茶室の腰などに用ひる代赭色の土。〔説文〕10ウ 柿渋を塗ること。〔説文〕10ウ 柿渋を塗ること。〔説文〕10ウ 柿渋を塗ること

（清史稿・地理志）雲南・宣統府・領州一縣。一河陽・江川・新興州・路南州・●●●●名。民國・●●●。

澈澗 ㄔㄜˋ ㄐㄧㄢˋ 名。（清史稿・地理志）雲南・宣統府・領州一縣。一河陽・江川・新興州・路南州・●●●●名。民國・●●●。

澈澗河 ㄔㄜˋ ㄐㄧㄢˋ ㄏㄜˊ 名。（北史・別傳）・●●・●●・●●

【澄汁】ちょうじゅう 味噌を加へない清酒汁の汁。

【澄酒】ちょうしゅ きれいなさけ。「澄酒」の項参照。

【澄城】ちょうじょう 県名。後漢置。唐代、同州に属す。北魏太子詹事・鄭太子詹事を歴任。『六朝詩』

【澄城】ちょうじょう 県名。後漢置。唐代、同州に属す。北魏太子詹事・鄭太子詹事を歴任。『六朝詩』

【澄心】ちょうしん 心を澄ます。心を静かにする。

【澄心堂】ちょうしんどう 南唐の後主の時作成。澄心堂紙を作る。『六朝詩』

【澄心堂紙】ちょうしんどうし 五代、南唐の後主の時作成。澄心堂紙を作る。『六朝詩』

【澄心堂紙】ちょうしんどうし 五代、南唐の後主の時作成。澄心堂紙を作る。『六朝詩』

【澄心堂】ちょうしんどう 南唐の後主の時作成。澄心堂紙を作る。『六朝詩』

【澄心堂】ちょうしんどう 五代、

室名。

【澄練】ちょうれん 明かに辨別する。（南史、齊高帝紀云）明鑒入微（澄練）洪濤。

【澄湛】ちょうたん 清、魏太傅、（水經注、漢水）「澄湛」、「澄湛」、「澄湛」、

滲 〔白居易・琵琶行〕「凄凄切切、与前聲異。座中泣下誰最多、江州司馬青衫濕。」

滲漉 〔[illegible]〕 ①漉過。②漉去。

滲漏 〔[illegible]〕 ①漏過。②漏去。

滲漉 〔[illegible]〕 ①漉過。②漉去。

滲漉 〔[illegible]〕 ①漉過。②漉去。

滲漉 〔[illegible]〕 ①漉過。②漉

書きる。『易乾鑿度』地道距水澈。(注)地道以ノ水澈。鳴。澈 ●洗って徹(#—10245)に作る。『詩』唐風、揚之水、白石粼粼。(傳)粼粼、清澈也。『釋文』澈、或作徹。

【澈】 チツ (集韻)直質切 櫛

【澈】 18320

□カン (集韻)古鎋切 鰥

□タン (集韻)吐鎋切 鬱

□●澈幟は味がない。味が薄い。澈鬱。(廣韻)澈、澈鬱、無味。(集韻)澈、澈幟、味淡。●澈澈は、あらふ。(集韻)澈、澈澈、洒落也。(枚乘、七發)澈、澈手足。(注)蕃曰、澈澈、猶洗濯也。●姓。(氣姓統譜)澈仁、吳侯人、官德撃人。□□味がうすい。(集韻)澈、味薄也。

【澈鬱】 ツウ 食物に味が無いこと。(廣韻)澈、澈鬱食無味。●姓名。浙江省海鹽縣の南。『水經』沔水注)。●地名。浙江省海鹽縣三十六里、縣西南。在浙江海鹽縣南三十六里。縣(『寰宇記』)。●人名。浙江省海鹽縣の人。浙江省海鹽縣の東南。(『後漢書』)。(『後漢書』)。(『後漢書』)

之標準、清風不下。

【説文】：流、沈樹也（6－17189・5446）の一字。

【説文】：用から引かれるはずの意。

【説文】：流、沈樹也（6－17189・5446）の一字。

【説文】：流、沈樹也（6－17189・5446）の一字。

【説文】：流、沈樹也（6－17189・5446）の一字

【瀷】 18342 カン ゲン (集韻)戶駕切 **匣**

まつすぐに噴き出る。又、その泉。瀷(7～18521)に同じ。(集韻)瀷、瀷雅、瀷泉正出、郭璞曰、正出、通出也、或作瀷。

【浸】 18343 シン (集韻)子賜切 **精**

うるほふ、ひたす。或は瀷(7～18445)に作る。(集韻)浸、浸也、漸也、或作瀷。

【緣】 18344 トウ 舟部十一畫の緣(9～30531)を見よ。

【流】 18345 リウ 狩(6～13532)に同じ。(廣韻)流、(集韻)與、狩同。

【渭】 18346 ビ 渭(7～17969)に同じ。(集韻)渭、或作、潤。

【華】 18347 クワ (集韻)胡支切 **匣**

水のふかいさま。(集韻)淮、水深皃。

【淵】 18349 カン ゲン (字彙補)何山切 **匣**

はてしなく廣いさま。(淮南子、俶眞訓)

【淡】 18348 ソウ ス (字彙補)无公切 **虞**

水の音。(字彙補)淡、水聲。

甘頭於淵之域。(注)淵、音無、根虛之貌。

【淡】 18350 カン 寒(8～12232)に同じ。(字彙補)淡、與、寒同。

【溫】 18351 モウ (篇海)石鄭切 **匣**

溫津は、渡場の名。溫に同じ。(篇海)溫、溫津、河也、又、與、溫同。

【瀝】 18352 イン (篇海)余針切 **喻**

ながあめ。淫(7～17678)、霪(13～42430)に同じ。(篇海)瀝、久雨也。(廣韻字典)瀝、與、淫、霪、同。

【瀛】 18353 タン (字彙補)通甘切 **覃**

川の名。(字彙補)瀛、水名。

【瀘】 18354 クワツ グワチ (字彙補)何末切 **匣**

ながれる。(字彙補)瀘、流也。

【瀟】 18355 セイ 清(7～18494)に同じ。(中華大字典)清、即瀟之異文。

人名。(廣韻字典)瀟、音切未詳、人名。(叡文記)安南黎瀟。

【瀑】 18356 音未詳

【瀝】 18357 ゼン ネン (字彙補)而宜切 **泥**

したがふ。(字彙補)瀝、倦也。

【瀞】 18358 キ (中華大字典)子會切 **匣**

亂れるさま。(木華、海賦)瀞瀆淪而潛涌。(注)善曰、瀞、亂貌。

【瀧】 18359 ソウ 淙(7～17682)に同じ。(字彙補)瀧、與、淙同。

【瀨】 18360 コツ 泪(7～17692)に同じ。(字彙補)瀨、與、泪同。

【瀰】 18361 日バン マン (中華大字典) 平 (廣韻)莫官切 **明** 日ヂウ ネウ (中華大字典) 乃了切 **泥**

【瀲】 18362 エン 淹(7～17692)に同じ。(龍龕手鑑)瀲、同、淹。

【瀾】 18363 クツ 謹(7～18434)に同じ。(五音篇海)瀾、同、謹。

【瀶】 18364 シフ 泣(7～18312)に同じ。(川篇)瀶、同、泣。

【瀹】 18365 キ 義未詳。(五音篇海)瀹、音、未詳。

【瀼】 18366 シヤウ 義未詳。(搜眞毛鏡)瀼、音、章。

【瀽】 18367 セイ 清(7～17685)の俗字。(字彙補)瀽、成云、清字之譌。

【瀿】 18368 ビ 渭(7～17969)の本字。(正字通)瀿、本作、渭。

【瀽】 18369 テキ 滴(7～18084)の本字。(說文)瀽、水注也、从、水、啻聲。(段注)瀽、倉有、滴字、讀去聲、卽瀽字也。

【灌】 18370 デン 澱(7～18410)の本字。(正字通)灌、本作、澱。

【濆】 18371 フン 墳(7～18446)の俗字。(正字通)濆、本作、墳、十三畫、誤本、俗省作、墳。

【灌】 18372 トウ (集韻)戶動切 **匣**

物が水中に落ちる音。(集韻)灌、物墜、水聲。

【十三畫】

【瀧】 18373 ブ (集韻)馮貴切 **虞**

川の名。(方言、十二)瀧、涌、幽之語。(注)瀧、水、今在、桂陽。(集韻)瀧、水名、出、桂陽。

〔18374〕〔18379〕-12〕

水部〔十二畫〕 瀜 瀾 瀘 瀝 瀉 瀑 瀆 瀌 瀍 瀌 瀍 瀌 瀍

【澡洗】[illegible] あらひすすぐ。〔北史、魏道謙傳〕以右手[illegible]孤淨、左手孤穢、每以澡洗、以相枝[illegible]。

【澡教】[illegible] 手をあらひ口をすすぐ。【澡盥】〔魏[illegible]〕[illegible]。【澡盥】[illegible]。【澡[illegible]】[illegible]。【澡[illegible]】[illegible]。【澡[illegible]

與、澤其雜樣兮。〔注〕澤、質之潤也。❹つや（つ）やかなる。〔曉、少儀、〕澤、刻鳥首。〔疏〕澤、謂光澤。❺うるほひ（ふ）。〔風俗通、山澤〕澤、潤澤也。❻うるほす。〔風俗通、山澤〕澤、言其潤澤也。❼うるほふ。〔風俗通、山澤〕澤、言其潤澤也。❽はだぎ。〔素問、生氣通天論〕澤、膚也。❾はだぎ。〔素問、五藏生成論〕澤、膚也。〔注〕素隱曰、澤、作「皙」本或作「斥」。❿はだぎ。〔素問、五藏生成論〕澤、膚也。〔注〕素問、作「皙」本或作「斥」。

澤（水部十二畫）

丑下）則是其澤也。〔注〕澤、麻也。⑲宮の名。周代、射を習ひ諸侯士を選ぶ。〔周禮、夏官、司弓矢〕澤共、射、稽質之弓。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。〔疏〕澤、所以習射選士之處也。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。⑳かがみ。〔新書、道德說〕澤者、鑑也。㉑易の卦に當てる。〔易、說卦〕兌爲澤。

❶水名。〔莊子、則陽〕北游于大澤。〔釋文〕澤、本亦作「宅」。❷古人臭。〔史記、殷本紀、索隱〕澤、古作「臭」。❸姓。〔萬姓統譜、澤〕澤、殷義、陳州人、洪武中、以人材、擢任同知。〔呂氏春秋、慎大覽〕澤、或作「澤」。

❹外名。〔禮、內則、〕澤、有漿。〔注〕澤、漿、粥也。❺宮名。〔周禮、夏官、司弓矢〕澤共、射稽質之弓。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。❻澤、射稽質之弓。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。❼澤、射稽質之弓。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。❽澤、射稽質之弓。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。❾澤、射稽質之弓。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。❿澤、射稽質之弓。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。⓫澤、射稽質之弓。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。⓬澤、射稽質之弓。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。⓭澤、射稽質之弓。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。⓮澤、射稽質之弓。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。⓯澤、射稽質之弓。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。⓰澤、射稽質之弓。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。⓱澤、射稽質之弓。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。⓲澤、射稽質之弓。〔注〕澤、澤宮也。所以習射選士之處也。

❶しる。〔淮、天文〕澤、液也。❷汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。❸しる。〔淮、天文〕澤、液也。❹汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。❺しる。〔淮、天文〕澤、液也。❻汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。❼しる。〔淮、天文〕澤、液也。❽汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。❾しる。〔淮、天文〕澤、液也。❿汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。⓫しる。〔淮、天文〕澤、液也。⓬汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。⓭しる。〔淮、天文〕澤、液也。⓮汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。⓯しる。〔淮、天文〕澤、液也。⓰汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。⓱しる。〔淮、天文〕澤、液也。⓲汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。⓳しる。〔淮、天文〕澤、液也。⓴汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。㉑しる。〔淮、天文〕澤、液也。㉒汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。㉓しる。〔淮、天文〕澤、液也。㉔汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。㉕しる。〔淮、天文〕澤、液也。㉖汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。㉗しる。〔淮、天文〕澤、液也。㉘汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。㉙しる。〔淮、天文〕澤、液也。㉚汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。㉛しる。〔淮、天文〕澤、液也。㉜汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。㉝しる。〔淮、天文〕澤、液也。㉞汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。㉟しる。〔淮、天文〕澤、液也。㊱汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。㊲しる。〔淮、天文〕澤、液也。㊳汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。㊴しる。〔淮、天文〕澤、液也。㊵汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。㊶しる。〔淮、天文〕澤、液也。㊷汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。㊸しる。〔淮、天文〕澤、液也。㊹汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。㊺しる。〔淮、天文〕澤、液也。㊻汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。㊼しる。〔淮、天文〕澤、液也。㊽汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。㊾しる。〔淮、天文〕澤、液也。㊿汗。〔素問、經絡論、熱多則寒論〕注〔注〕澤、酒液也。

❶ふち。〔秋傳、〔孟子、公孫丑下〕〕あせとり。〔楊雄、太玄賦〕澤、汗液。〔本草、汗藥名〕澤、時珍曰、澤、汗液。〔注

後漢書建武二年：「遣馮魴・長平・安平二郡」注：「魴音敷」。馮魴・馮魴・及長平・南郡・安平・南郡・安平郡・陳留郡・沛郡・梁郡・濟州・魏州・魏州・冠州・郡州・陳留郡・沛郡・梁郡・濟州・魏州・冠州・郡州・冠州・郡州・濟州・魏州・冠州・郡州・冠州・郡州・濟州・魏州・冠州・郡州・冠州・郡州

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，川名。名畢聲。畢，古筆字。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，同上。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，同上。[正字通]𣶒：𣶒，同上。[康熙字典]𣶒：𣶒，同上。[字彙補]𣶒：𣶒，同上。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。[篆文]𣶒 [說文]𣶒：𣶒，水名。[段注]𣶒，水名。[玉篇]𣶒：𣶒，水名。[廣韻]𣶒：𣶒，水名。[集韻]𣶒：𣶒，水名。[類篇]𣶒：𣶒，水名。[字彙]𣶒：𣶒，水名。[正字通]𣶒：𣶒，水名。[康熙字典]𣶒：𣶒，水名。[字彙補]𣶒：𣶒，水名。

る。(先哲叢談後編巻二)近代名家著述目録)。

【澤】澤澤澤 ㄗㄜˊ ㄗㄜˊ ㄗㄜˊ 澤中の水を去つて、とりのこすことなく魚をとる。ことごとく取去つて後にのこすことなく魚をとる。(説文)。(玉篇)。(廣韻)。(集韻)。(類篇)。(正字通)。(字彙)。(正字通)。(玉篇)。(廣韻)。(集韻)。(類篇

た土地。〔説文〕漢、埤・增水遠土人所止者。从水莫聲。莫音曰、過ニ遠ニ段注〕土部曰、埤、增也。増、益也。●きぶね。きし。水涯。〔左氏、成十九〕決雎漢〔注〕涘、水涯。〔楚辭、九歌、湘夫人〕夕濟ニ西澨ニ。〔注〕澨、水涯也。●川の名。澨水〔ニ〕を見よ。〔説文〕澨、川名。从水逝聲。〔段注〕川名。原は郟北県の清水出ニ東流ニて漢水ニ入る。名可馬相如所説ニ、清ニ、淯ニ、淮水源出ニ蔡北京ニ西南流ニ入ニ大門縣ニ又東流ニ入ニ漢。

【澨】 18393 レン 〔集韻〕部切 霰

きたへる。鐵をねる。〔説文〕澨、辟鐵也。从ニ支聲ニ〔段注〕按、辟者、嬖之假也。嬖者、段也。簡取精選、不ニ計數ニ、猶ニ疊段之ニ、因名爲ニ辟ニ。澨也、從ニ支者取ニ段意ニ、澨者謂也。從ニ支者取ニ段意ニ、澨者謂也。從ニ支者取ニ段意ニ、澨者謂也。

解説 會意形聲。車ねると、支(うつこと)を合せて、精選をねりたへる意を表はし、且、澨は聲を兼ねる。字解を見よ。

【渟】 18394 コツ 〔集韻〕苦骨切 月

ふかい。水の深いさま。〔士喪〕渟ニ水深完。〔集韻〕渟、水深也。

【澤】 18395 □ケツ 〔集韻〕魚蹇切 □ケツ 〔集韻〕汪角切 □ケツ 〔集韻〕許酷切 沃

【濕】 18396 シツ 〔集韻〕失入切 緝

濕(7・18526)に同じ。〔集韻〕濕、或作ニ濕。

【澤】 18397 ハク 〔集韻〕滂角切 覺

水がうちあふ。〔集韻〕澤、水激也。

【澤】 18398 レイ、リヤク 〔集韻〕郎丁切 青

□川の名。〔集韻〕澤、水名。●冷(9・1730)の俗字。〔正字通〕澤、俗冷字。囲みを、河や海の中で、水深く舟の通行する道路。みよ。水路。水脈。

□川の名。〔正韻〕澤、水名。

〔澤標〕〔ニ〕は、〔ハ〕に同じ。●水路を示すために水中に打つたくひ。澤木。澤杙。〔萬葉集、巻十四〕遠つあふみいなの海の細江の水脈の澤杙。●〔ハ〕、澤民物語の巻名。

〔澤杙〕〔ハ〕は、〔澤標〕に同じ。

【澤】 18399 ライ 〔集韻〕盧同切 灰

灌の名。通じて雷(18・18245)に作る。〔集韻〕澤、澤名、通作ニ雷。

【濕】 18400 カツ ガチ 〔集韻〕何括切 曷

水のさま。〔集韻〕濕、水皃。

【澤】 18401 マン 〔集韻〕莫官切 寒

澤(7・18526)に同じ。〔周宣王石鼓文〕澤馬又澤ニ〔注〕澤、即ち澤字。

【資】 18402 ン 〔集韻〕須鈍切 支

雨澤資也。从水資聲。●赤。資(18・18285)に作る。〔説文〕資、久雨澤資也。从水資聲。●赤。資(18・18285)に作る。〔説文〕資、赤也。

【澤】 18403 □ヨウ 〔集韻〕於容切 冬 □ヨウ 〔集韻〕於用切 宋 □ヨウ 〔集韻〕妥容切 鍾

□川の名。澤(7・18549)に同じ。〔集韻〕澤、或作ニ澤。〔呂覽、貴卒〕用ニ水自河出ニ澤ニ、或作ニ澤。□水があつまる。〔集韻〕澤、水聚。

【澤】 18404 カツ ガチ 〔集韻〕匠括切 曷

●のどがかわく。のどがかわいて飲物を欲する。澤(7・17726)に同じ。〔段注〕此字ニ形聲ニ包ニ會意ニ、渴者水竭也。音同ニ竭、水澤則飲、水人藏則飲、飲其意ニ一也。今則用ニ渴字ニ、渴爲ニ乾藏字ニ、而澤字廢矣。渴者人先表ニ澤水。●おそれとする。〔説文〕澤、恐也。春秋傳曰、抗ニ、或作ニ澤。〔説文〕抗、禽也。〔左氏、昭元〕抗、或作ニ澤。〔注〕澤、恐也。

解説 會意形聲。欠、急をとして口を開くこと。渴水が無きことを合せて人間が不足して飲物を欲する意を表はし、且、渴は聲を兼ねる。今、渴を借り用ひる。字解を見よ。

澮

18405

小 ●おり。かす。どろ。もと澱(7—1859)の俗字。田の中の小路。(説文)澮、田間之水道。(周禮)遂人、以田間之法、…(注)澮、…(釋名)澮、…(集韻)澮、…(廣韻)澮、…(類篇)澮、…(字彙)澮、…(正字通)澮、…(康熙字典)澮、…

日クワイ (集韻)古外切 ㊐ 匣

ワクメ (集韻)古活切 ㊐ 匣

日ケイ (集韻)苦禍切 ㊐ 溪

日ケイ (集韻)苦外切 ㊐ 溪

四ゲキ (集韻)戶八切 ㊐ 匣

濠

18406

サン (集韻)蒼案切 ㊐ 清

●きよい。(玉篇)濠、清也。●濠潤は、水のさまを。(集韻)濠、蒼潤、水見。

濕

18407

サツ (集韻)色洽切 ㊐ 清

あふれる。(集韻)濕、溢也。

濫

18408

ビツ (集韻)覓筆切 ㊐ 質

あふれるさま。濫(7—18623)に同じ。(集韻)濫、滲水見、或作濕。

淥

18409

日レン (集韻)力軍切 ㊐ 來

ラン (集韻)盧瑾切 ㊐ 來

日淥潤は、水のあふれるさま。澱(7—1869 3)に同じ。(集韻)淥、潤潤、水溢皃、或省。

日きよい。(廣雅、釋詁二)淥、清也。●ひたる。ひたす。(廣雅、釋詁二)淥、漬也。

瀾

18410

チン (集韻)子陳切 ㊐ 精

デン (集韻)堂練切 ㊐ 定

小 ●おり。かす。どろ。もと澱(7—18370)に作る。(正字通)瀾、本作澱。(説文)澱、水垢聲。●よどむ。④水底がよどとまり淺くなる。しづみ、さがる。(宋史、河渠志二)諸河淺澱、皆非所以患。(夢溪筆談、雜誌二)什塞者十二、不後、淺澱埋澱、百とどこほる。すらすらと進まぬ。淀潤。●掛礙舞瀾。●よど、よどみ。一春三雨、亭樹礙舞瀾。●淀(7—176 10)に通ず。(説文)淀、江淮南謂水淺。(注)蕭曰、對岸林吳都賦注、如淵而淺、瀾與淀古字通。●ただよふ。波がただよふ。(楊維楨、王母酔瀾詞)瑤池春暖波如瀾、不與紅欧洗鏡面。●靈玉。藍のおり。藍所以藍、俗作靛、南人稱、地作坑、以藍浸水、一宿、入三石灰、攪至十下、澄去水、則背黑色、亦可為乾欧用染之。青碧、其攪到浮沫、撥出除乾、謂之靛花。即青黛也。●或は藍(18—18222)に作る。(正韻)瀾、或作、藍。●通じて藍(8—5517)に作る。(康熙字典)瀾、通作藍。

濃

18411

ノウ (集韻)乃冬切 ㊐ 泥

ジュウ (集韻)如容切 ㊐ 日

●こい。もと濃(7—15555)に作る。(正字通)濃、本作濃。●みぎは。水涯の陸に出りゝ入りたる内側。(8—5985)。(陸)(11—41872)に通ず。(説文)濃、陰屋也。(段注)穠、蕃作、陰、今正、云云、自部陰字、穠、蕃也、…(廣雅、釋詁二)濃、…(廣韻)濃、…(類篇)濃、…(字彙)濃、…(正字通)濃、…(康熙字典)濃、…

澳

18412

ウ (集韻)於到切 ㊐ 影

オウ (集韻)烏到切 ㊐ 影

●くま。もと澳(7—15555)に作る。(説文)澳、水隈也。(段注)隈、…(廣雅、釋詁二)澳、…(廣韻)澳、…(類篇)澳、…(字彙)澳、…(正字通)澳、…(康熙字典)澳、…

潔

18412

ケツ (集韻)古屑切 ㊐ 見

●きよい。(説文)潔、…(廣雅、釋詁二)潔、…(廣韻)潔、…(類篇)潔、…(字彙)潔、…(正字通)潔、…(康熙字典)潔、…

下日、水出潮也。陳下曰、水濫皃也、赤霞皃。聯文、陳奥、字異而義同。今毛詩曰、彼淇奥、字作奥、古文假借也。（毛詩、大学）。瞻、彼淇奥、毛傳文、澳、本亦作奥、又作隩。（中庸、時事）若ニ亂之澳ニ於奥ニ也。（注）奥、庄内近水之處。（四太の溝入して船の停泊する處。（宋史、河渠志六）無ニ港澳以容ニ舟檝ニ●にくる。（説文通訓定聲）澳、段借爲澳。（廣雅、釋詁二）澳、湯也。□●よかい。（集韻）澳、深

澳港 ヒ。（集韻）澳、字異而義同。（正字通）澳、湯也。□●よかい。（集韻）澳、深

澳汨 ヒ。（集韻）澳、字異而義同。（正字通）澳、湯也。□●よかい。（集韻）澳、深

澳洲 ヒ。（集韻）澳、字異而義同。（正字通）澳、湯也。□●よかい。（集韻）澳、深

澳大利亞 ヒ。（集韻）澳、字異而義同。（正字通）澳、湯也。□●よかい。（集韻）澳、深

澳門の略稱。澳門（ヒ）を見よ。●嘉洲の別名。澳大利亞（ヒ）を見よ。■おき。沖（9—1729）に同じ。（説文通訓定聲）澳、段借爲澳。（廣雅、釋詁二）澳、湯也。□●よかい。（集韻）澳、深

澳門 ヒ。（集韻）澳、字異而義同。（正字通）澳、湯也。□●よかい。（集韻）澳、深

澳水 ヒ。（集韻）澳、字異而義同。（正字通）澳、湯也。□●よかい。（集韻）澳、深

澳洲 ヒ。（集韻）澳、字異而義同。（正字通）澳、湯也。□●よかい。（集韻）澳、深

澳大利亞

恬靜也。〔清者、禮樂志〕〔後漢書、馮衍傳、意猶猶不一澹兮。〔注〕澹、定也。❸うすい。あっさり。〔注〕澹、薄也。❹淡(8…17760)に通。〔後漢書、馬援傳〕清濁、〔注〕澹、安也。❺ためる。おちつく。〔後漢書、馬援傳〕意猶猶不一澹兮。〔注〕澹、定也。❻うすい。あっさり。〔後漢書、馬援傳〕清濁、〔注〕澹、薄也。❼淡(8…17760)に通。〔楚辭、九歌、少司命〕荷衣兮蕙帶、儵而來兮忽而逝。〔注〕澹、動貌

地記:漕臺湖:漕倉子羽宅陪鳳:調:調獅有墻。●鄭忱:(通志:氏族略:漕臺氏:風俗通:漕臺滅明子子羽:滅人:滅有博士漕臺。

【漕臺螢壁】[illegible]:螢火の異稱。漕臺螢明:子羽:漕臺の壁を持つて河を渡る。●漕臺:(通志:氏族略:漕臺氏:風俗通:漕臺滅明子子羽:滅人:滅有博士漕臺。

【漕】[illegible]:漕:漕:漕

賦。漂漂清泚。〔注〕等曰。漂漂。廣深之貌。●川の名。〔集韻〕清。曰。水名。〔曰〕●きよい。〔集韻〕清。清也。●かすか。〔集韻〕清。澈也。●おはる。〔集韻〕清。蓋也。●かすか。〔集韻〕清。澈也。

【瀉】18428 ヘキ（集韻）匹歷切 ㊀ヘキ ㊁ヘキ（集韻）匹歷切 ㊂ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉ヘキ（集韻）匹辟切 ㊊ヘキ（集韻）匹辟切 ㊋ヘキ（集韻）匹辟切 ㊌ヘキ（集韻）匹辟切 ㊍ヘキ（集韻）匹辟切 ㊎ヘキ（集韻）匹辟切 ㊏ヘキ（集韻）匹辟切 ㊐ヘキ（集韻）匹辟切 ㊑ヘキ（集韻）匹辟切 ㊒ヘキ（集韻）匹辟切 ㊓ヘキ（集韻）匹辟切 ㊔ヘキ（集韻）匹辟切 ㊕ヘキ（集韻）匹辟切 ㊖ヘキ（集韻）匹辟切 ㊗ヘキ（集韻）匹辟切 ㊘ヘキ（集韻）匹辟切 ㊙ヘキ（集韻）匹辟切 ㊚ヘキ（集韻）匹辟切 ㊛ヘキ（集韻）匹辟切 ㊜ヘキ（集韻）匹辟切 ㊝ヘキ（集韻）匹辟切 ㊞ヘキ（集韻）匹辟切 ㊟ヘキ（集韻）匹辟切 ㊠ヘキ（集韻）匹辟切 ㊡ヘキ（集韻）匹辟切 ㊢ヘキ（集韻）匹辟切 ㊣ヘキ（集韻）匹辟切 ㊤ヘキ（集韻）匹辟切 ㊥ヘキ（集韻）匹辟切 ㊦ヘキ（集韻）匹辟切 ㊧ヘキ（集韻）匹辟切 ㊨ヘキ（集韻）匹辟切 ㊩ヘキ（集韻）匹辟切 ㊪ヘキ（集韻）匹辟切 ㊫ヘキ（集韻）匹辟切 ㊬ヘキ（集韻）匹辟切 ㊭ヘキ（集韻）匹辟切 ㊮ヘキ（集韻）匹辟切 ㊯ヘキ（集韻）匹辟切 ㊰ヘキ（集韻）匹辟切 ㊱ヘキ（集韻）匹辟切 ㊲ヘキ（集韻）匹辟切 ㊳ヘキ（集韻）匹辟切 ㊴ヘキ（集韻）匹辟切 ㊵ヘキ（集韻）匹辟切 ㊶ヘキ（集韻）匹辟切 ㊷ヘキ（集韻）匹辟切 ㊸ヘキ（集韻）匹辟切 ㊹ヘキ（集韻）匹辟切 ㊺ヘキ（集韻）匹辟切 ㊻ヘキ（集韻）匹辟切 ㊼ヘキ（集韻）匹辟切 ㊽ヘキ（集韻）匹辟切 ㊾ヘキ（集韻）匹辟切 ㊿ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊀ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊁ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊂ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊃ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊄ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊅ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊆ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊇ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊈ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊉ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊊ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊋ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊌ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊍ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊎ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊏ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊐ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊑ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊒ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊓ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊔ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊕ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊖ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊗ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊘ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊙ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊚ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊛ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊜ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊝ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊞ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊟ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊠ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊡ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊢ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊣ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊤ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊥ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊦ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊧ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊨ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊩ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊪ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊫ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊬ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊭ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊮ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊯ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊰ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊱ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊲ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊳ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊴ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊵ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊶ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊷ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊸ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊹ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊺ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊻ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊼ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊽ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊾ヘキ（集韻）匹辟切 ㊀㊿ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊀ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊁ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊂ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊃ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊄ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊅ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊆ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊇ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊈ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊉ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊊ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊋ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊌ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊍ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊎ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊏ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊐ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊑ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊒ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊓ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊔ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊕ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊖ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊗ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊘ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊙ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊚ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊛ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊜ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊝ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊞ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊟ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊠ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊡ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊢ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊣ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊤ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊥ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊦ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊧ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊨ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊩ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊪ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊫ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊬ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊭ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊮ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊯ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊰ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊱ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊲ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊳ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊴ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊵ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊶ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊷ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊸ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊹ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊺ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊻ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊼ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊽ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊾ヘキ（集韻）匹辟切 ㊁㊿ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊀ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊁ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊂ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊃ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊄ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊅ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊆ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊇ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊈ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊉ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊊ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊋ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊌ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊍ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊎ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊏ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊐ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊑ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊒ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊓ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊔ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊕ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊖ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊗ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊘ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊙ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊚ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊛ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊜ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊝ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊞ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊟ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊠ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊡ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊢ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊣ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊤ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊥ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊦ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊧ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊨ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊩ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊪ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊫ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊬ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊭ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊮ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊯ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊰ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊱ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊲ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊳ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊴ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊵ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊶ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊷ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊸ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊹ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊺ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊻ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊼ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊽ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊾ヘキ（集韻）匹辟切 ㊂㊿ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊀ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊁ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊂ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊃ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊄ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊅ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊆ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊇ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊈ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊉ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊊ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊋ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊌ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊍ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊎ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊏ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊐ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊑ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊒ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊓ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊔ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊕ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊖ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊗ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊘ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊙ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊚ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊛ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊜ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊝ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊞ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊟ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊠ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊡ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊢ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊣ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊤ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊥ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊦ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊧ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊨ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊩ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊪ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊫ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊬ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊭ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊮ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊯ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊰ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊱ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊲ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊳ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊴ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊵ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊶ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊷ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊸ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊹ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊺ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊻ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊼ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊽ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊾ヘキ（集韻）匹辟切 ㊃㊿ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊀ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊁ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊂ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊃ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊄ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊅ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊆ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊇ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊈ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊉ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊊ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊋ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊌ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊍ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊎ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊏ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊐ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊑ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊒ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊓ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊔ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊕ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊖ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊗ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊘ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊙ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊚ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊛ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊜ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊝ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊞ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊟ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊠ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊡ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊢ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊣ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊤ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊥ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊦ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊧ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊨ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊩ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊪ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊫ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊬ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊭ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊮ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊯ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊰ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊱ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊲ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊳ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊴ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊵ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊶ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊷ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊸ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊹ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊺ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊻ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊼ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊽ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊾ヘキ（集韻）匹辟切 ㊄㊿ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊀ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊁ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊂ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊃ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊄ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊅ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊆ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊇ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊈ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊉ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊊ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊋ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊌ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊍ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊎ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊏ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊐ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊑ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊒ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊓ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊔ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊕ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊖ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊗ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊘ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊙ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊚ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊛ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊜ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊝ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊞ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊟ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊠ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊡ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊢ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊣ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊤ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊥ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊦ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊧ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊨ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊩ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊪ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊫ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊬ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊭ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊮ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊯ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊰ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊱ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊲ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊳ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊴ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊵ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊶ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊷ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊸ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊹ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊺ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊻ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊼ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊽ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊾ヘキ（集韻）匹辟切 ㊅㊿ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊀ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊁ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊂ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊃ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊄ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊅ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊆ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊇ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊈ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊉ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊊ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊋ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊌ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊍ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊎ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊏ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊐ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊑ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊒ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊓ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊔ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊕ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊖ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊗ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊘ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊙ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊚ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊛ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊜ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊝ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊞ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊟ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊠ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊡ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊢ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊣ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊤ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊥ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊦ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊧ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊨ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊩ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊪ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊫ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊬ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊭ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊮ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊯ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊰ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊱ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊲ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊳ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊴ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊵ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊶ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊷ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊸ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊹ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊺ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊻ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊼ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊽ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊾ヘキ（集韻）匹辟切 ㊆㊿ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊀ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊁ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊂ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊃ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊄ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊅ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊆ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊇ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊈ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊉ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊊ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊋ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊌ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊍ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊎ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊏ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊐ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊑ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊒ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊓ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊔ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊕ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊖ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊗ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊘ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊙ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊚ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊛ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊜ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊝ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊞ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊟ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊠ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊡ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊢ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊣ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊤ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊥ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊦ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊧ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊨ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊩ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊪ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊫ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊬ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊭ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊮ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊯ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊰ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊱ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊲ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊳ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊴ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊵ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊶ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊷ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊸ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊹ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊺ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊻ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊼ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊽ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊾ヘキ（集韻）匹辟切 ㊇㊿ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊀ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊁ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊂ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊃ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊄ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊅ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊆ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊇ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊈ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊉ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊊ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊋ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊌ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊍ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊎ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊏ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊐ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊑ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊒ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊓ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊔ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊕ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊖ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊗ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊘ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊙ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊚ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊛ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊜ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊝ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊞ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊟ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊠ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊡ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊢ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊣ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊤ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊥ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊦ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊧ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊨ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊩ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊪ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊫ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊬ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊭ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊮ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊯ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊰ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊱ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊲ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊳ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊴ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊵ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊶ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊷ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊸ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊹ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊺ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊻ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊼ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊽ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊾ヘキ（集韻）匹辟切 ㊈㊿ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊀ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊁ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊂ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊃ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊄ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊅ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊆ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊇ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊈ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊉ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊊ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊋ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊌ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊍ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊎ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊏ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊐ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊑ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊒ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊓ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊔ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊕ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊖ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊗ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊘ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊙ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊚ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊛ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊜ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊝ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊞ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊟ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊠ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊡ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊢ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊣ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊤ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊥ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊦ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊧ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊨ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊩ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊪ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊫ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊬ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊭ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊮ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊯ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊰ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊱ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊲ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊳ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊴ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊵ヘキ（集韻）匹辟切 ㊉㊶

奇物論〕激者語者。〔釋文〕激者。聲若三激。〔集韻〕激。幸也。亦作激。

〔激越〕ki。yuet。聲高而揚。〔漢書、揚雄傳〕羽旄之旄。鼓鼙之鼙。鼓吹震天。鼓鼙喧地。〔注〕師古曰。鼙。大鼓。鼓吹。鼓鼙。皆軍中之樂。〔注〕師古曰。鼙。鼓也。〔後漢書、馬融傳〕鼓鼙之音。〔注〕

生風。（徐鍇、繫傳本）詩水調千里、字作少激

【激霧】ケキ ●調子の高い激の音。激は五音の一。（蔡邕、琴操）之謂生叫角表衆角、發揚揚羽中音。（注）言音行有「是黃鍾激角、鍾聲揚羽中音。言音中者、角也。師古曰、自言音也。（傳）激角、清角。下、總言五聲者、師古曰、自言音也。（傳）激角、清角。（注）言曰、激聲。

【激蒼】ケウ ●あふれ落ること。（木經、緱水注）北五六里有、風雨忽至、山出雨雲、激蒼樹木。

【激蒼】ケウ 新編の語。

【激搖】ケウ 傳のはげしいこと。激蒼と同。（後漢書、張衡傳）言其所作、皆有所搖。

【激怒】ドウ ●はげしくたかぶること。（後漢書、馬援傳）激怒、怒。

【激動】ドウ ●はげしくたかぶり。激怒。

【激動】ドウ ●はげしくうごくこと。

【激怒】ドウ ●はげしくたかぶること。激怒と同。（後漢書、馬援傳）●はげしくうごくこと。又、其の感動。

【激流】リウ ●はげしくうごくこと。（本經、海經）狀如天蜈蚣而激蛇。

【激蛇】ジヤ ●はげしくうごくこと。（本經、海經）狀如天蜈蚣而激蛇。

【激怒】ドウ ●はげしくたかぶること。激蒼と同。（後漢書、馬援傳）●はげしくうごくこと。又、其の感動。

【激流】リウ

長則聲闇(六)あきらかでない不鮮明。(老)
了。十五。(漢)清冷若若清。(呂)心や行がよくない。楚
辭、漁父〈〉擧世混濁、我獨ノ小。(ホ)きたな
い。形が醜い。(江左名士傳)逸逸而心整。
(漢)亂士室。(呂)。(ニ)。(ニ)。(漢書、劉向傳)
者愛。(毛詩)。(ホ)ます。(後漢書、竇武王
傳)(漢)手大倫(注)(漢)猶)汙也。(ホ)
がれ。(ホ)がれた。(史記、屈原傳)(ホ)
說苑)(漢)。(ホ)みだれる。混雜。(戰
國、秦策)(漢)(注)(漢)亂也。(ホ)う
ろたえる。(說文通訓定聲)(漢)字亦作(漢)。
川の名。(漢水(名)の)を見よ。(說文)(漢)
漢水。出、嶓冢導嶓山、東北入、鄂定、从
水、(漢聲。(後漢書、後御郎以
鳥、是居百使、詩中社輔、後廷今(漢)(文選)
政君大子呂(注)(漢)(注)(漢)姓也。國
(ニ)。(ニ)。(ホ)だみこえ。なまり。(ロ)
ま。(ホ)。(ホ)。(ホ)点(ニ)どぶろく。(漢)酒。(ロ)
ごす。(漢)の意味や態度をごまかす。

水部

(18440)(18441)(18442)(18443)(18444)(18445)(18446)(18447)(18448)(18449)(18450)(18451)(18452)(18453)(18454)(18455)(18456)(18457)(18458)(18459)(18460)(18461)(18462)(18463)(18464)(18465)(18466)(18467)(18468)(18469)(18470)(18471)(18472)(18473)(18474)(18475)(18476)(18477)(18478)(18479)(18480)(18481)(18482)(18483)(18484)(18485)(18486)(18487)(18488)(18489)(18490)(18491)(18492)(18493)(18494)(18495)(18496)(18497)(18498)(18499)(18500)(18501)(18502)(18503)(18504)(18505)(18506)(18507)(18508)(18509)(18510)(18511)(18512)(18513)(18514)(18515)(18516)(18517)(18518)(18519)(18520)(18521)(18522)(18523)(18524)(18525)(18526)(18527)(18528)(18529)(18530)(18531)(18532)(18533)(18534)(18535)(18536)(18537)(18538)(18539)(18540)(18541)(18542)(18543)(18544)(18545)(18546)(18547)(18548)(18549)(18550)(18551)(18552)(18553)(18554)(18555)(18556)(18557)(18558)(18559)(18560)(18561)(18562)(18563)(18564)(18565)(18566)(18567)(18568)(18569)(18570)(18571)(18572)(18573)(18574)(18575)(18576)(18577)(18578)(18579)(18580)(18581)(18582)(18583)(18584)(18585)(18586)(18587)(18588)(18589)(18590)(18591)(18592)(18593)(18594)(18595)(18596)(18597)(18598)(18599)(18600)(18601)(18602)(18603)(18604)(18605)(18606)(18607)(18608)(18609)(18610)(18611)(18612)(18613)(18614)(18615)(18616)(18617)(18618)(18619)(18620)(18621)(18622)(18623)(18624)(18625)(18626)(18627)(18628)(18629)(18630)(18631)(18632)(18633)(18634)(18635)(18636)(18637)(18638)(18639)(18640)(18641)(18642)(18643)(18644)(18645)(18646)(18647)(18648)(18649)(18650)(18651)(18652)(18653)(18654)(18655)(18656)(18657)(18658)(18659)(18660)(18661)(18662)(18663)(18664)(18665)(18666)(18667)(18668)(18669)(18670)(18671)(18672)(18673)(18674)(18675)(18676)(18677)(18678)(18679)(18680)(18681)(18682)(18683)(18684)(18685)(18686)(18687)(18688)(18689)(18690)(18691)(18692)(18693)(18694)(18695)(18696)(18697)(18698)(18699)(18700)(18701)(18702)(18703)(18704)(18705)(18706)(18707)(18708)(18709)(18710)(18711)(18712)(18713)(18714)(18715)(18716)(18717)(18718)(18719)(18720)(18721)(18722)(18723)(18724)(18725)(18726)(18727)(18728)(18729)(18730)(18731)(18732)(18733)(18734)(18735)(18736)(18737)(18738)(18739)(18740)(18741)(18742)(18743)(18744)(18745)(18746)(18747)(18748)(18749)(18750)(18751)(18752)(18753)(18754)(18755)(18756)(18757)(18758)(18759)(18760)(18761)(18762)(18763)(18764)(18765)(18766)(18767)(18768)(18769)(18770)(18771)(18772)(18773)(18774)(18775)(18776)(18777)(18778)(18779)(18780)(18781)(18782)(18783)(18784)(18785)(18786)(18787)(18788)(18789)(18790)(18791)(18792)(18793)(18794)(18795)(18796)(18797)(18798)(18799)(18800)(18801)(18802)(18803)(18804)(18805)(18806)(18807)(18808)(18809)(18810)(18811)(18812)(18813)(18814)(18815)(18816)(18817)(18818)(18819)(18820)(18821)(18822)(18823)(18824)(18825)(18826)(18827)(18828)(18829)(18830)(18831)(18832)(18833)(18834)(18835)(18836)(18837)(18838)(18839)(18840)(18841)(18842)(18843)(18844)(18845)(18846)(18847)(18848)(18849)(18850)(18851)(18852)(18853)(18854)(18855)(18856)(18857)(18858)(18859)(18860)(18861)(18862)(18863)(18864)(18865)(18866)(18867)(18868)(18869)(18870)(18871)(18872)(18873)(18874)(18875)(18876)(18877)(18878)(18879)(18880)(18881)(18882)(18883)(18884)(18885)(18886)(18887)(18888)(18889)(18890)(18891)(18892)(18893)(18894)(18895)(18896)(18897)(18898)(18899)(18900)(18901)(18902)(18903)(18904)(18905)(18906)(18907)(18908)(18909)(18910)(18911)(18912)(18913)(18914)(18915)(18916)(18917)(18918)(18919)(18920)(18921)(18922)(18923)(18924)(18925)(18926)(18927)(18928)(18929)(18930)(18931)(18932)(18933)(18934)(18935)(18936)(18937)(18938)(18939)(18940)(18941)(18942)(18943)(18944)(18945)(18946)(18947)(18948)(18949)(18950)(18951)(18952)(18953)(18954)(18955)(18956)(18957)(18958)(18959)(18960)(18961)(18962)(18963)(18964)(18965)(18966)(18967)(18968)(18969)(18970)(18971)(18972)(18973)(18974)(18975)(18976)(18977)(18978)(18979)(18980)(18981)(18982)(18983)(18984)(18985)(18986)(18987)(18988)(18989)(18990)(18991)(18992)(18993)(18994)(18995)(18996)(18997)(18998)(18999)(19000)(19001)(19002)(19003)(19004)(19005)(19006)(19007)(19008)(19009)(19010)(19011)(19012)(19013)(19014)(19015)(19016)(19017)(19018)(19019)(19020)(19021)(19022)(19023)(19024)(19025)(19026)(19027)(19028)(19029)(19030)(19031)(19032)(19033)(19034)(19035)(19036)(19037)(19038)(19039)(19040)(19041)(19042)(19043)(19044)(19045)(19046)(19047)(19048)(19049)(19050)(19051)(19052)(19053)(19054)(19055)(19056)(19057)(19058)(19059)(19060)(19061)(19062)(19063)(19064)(19065)(19066)(19067)(19068)(19069)(19070)(19071)(19072)(19073)(19074)(19075)(19076)(19077)(19078)(19079)(19080)(19081)(19082)(19083)(19084)(19085)(19086)(19087)(19088)(19089)(19090)(19091)(19092)(19093)(19094)(19095)(19096)(19097)(19098)(19099)(19100)(19101)(19102)(19103)(19104)(19105)(19106)(19107)(19108)(19109)(19110)(19111)(19112)(19113)(19114)(19115)(19116)(19117)(19118)(19119)(19120)(19121)(19122)(19123)(19124)(19125)(19126)(19127)(19128)(19129)(19130)(19131)(19132)(19133)(19134)(19135)(19136)(19137)(19138)(19139)(19140)(19141)(19142)(19143)(19144)(19145)(19146)(19147)(19148)(19149)(19150)(19151)(19152)(19153)(19154)(19155)(19156)(19157)(19158)(19159)(19160)(19161)(19162)(19163)(19164)(19165)(19166)(19167)(19168)(19169)(19170)(19171)(19172)(19173)(19174)(19175)(19176)(19177)(19178)(19179)(19180)(19181)(19182)(19183)(19184)(19185)(19186)(19187)(19188)(19189)(19190)(19191)(19192)(19193)(19194)(19195)(19196)(19197)(19198)(19199)(19200)(19201)(19202)(19203)(19204)(19205)(19206)(19207)(19208)(19209)(19210)(19211)(19212)(19213)(19214)(19215)(19216)(19217)(19218)(19219)(19220)(19221)(19222)(19223)(19224)(19225)(19226)(19227)(19228)(19229)(19230)(19231)(19232)(19233)(19234)(19235)(19236)(19237)(19238)(19239)(19240)(19241)(19242)(19243)(19244)(19245)(19246)(19247)(19248)(19249)(19250)(19251)(19252)(19253)(19254)(19255)(19256)(19257)(19258)(19259)(19260)(19261)(19262)(19263)(19264)(19265)(19266)(19267)(19268)(19269)(19270)(19271)(19272)(19273)(19274)(19275)(19276)(19277)(19278)(19279)(19280)(19281)(19282)(19283)(19284)(19285)(19286)(19287)(19288)(19289)(19290)(19291)(19292)(19293)(19294)(19295)(19296)(19297)(19298)(19299)(19300)(19301)(19302)(19303)(19304)(19305)(19306)(19307)(19308)(19309)(19310)(19311)(19312)(19313)(19314)(19315)(19316)(19317)(19318)(19319)(19320)(19321)(19322)(19323)(19324)(19325)(19326)(19327)(19328)(19329)(19330)(19331)(19332)(19333)(19334)(19335)(19336)(19337)(19338)(19339)(19340)(19341)(19342)(19343)(19344)(19345)(19346)(19347)(19348)(19349)(19350)(19351)(19352)(19353)(19354)(19355)(19356)(19357)(19358)(19359)(19360)(19361)(19362)(19363)(19364)(19365)(19366)(19367)(19368)(19369)(19370)(19371)(19372)(19373)(19374)(19375)(19376)(19377)(19378)(19379)(19380)(19381)(19382)(19383)(19384)(19385)(19386)(19387)(19388)(19389)(19390)(19391)(19392)(19393)(19394)(19395)(19396)(19397)(19398)(19399)(19400)(19401)(19402)(19403)(19404)(19405)(19406)(19407)(19408)(19409)(19410)(19411)(19412)(19413)(19414)(19415)(19416)(19417)(19418)(19419)(19420)(19421)(19422)(19423)(19424)(19425)(19426)(19427)(19428)(19429)(19430)(19431)(19432)(19433)(19434)(19435)(19436)(19437)(19438)(19439)(19440)(19441)(19442)(19443)(19444)(19445)(19446)(19447)(19448)(19449)(19450)(19451)(19452)(19453)(19454)(19455)(19456)(19457)(19458)(19459)(19460)(19461)(19462)(19463)(19464)(19465)(19466)(19467)(19468)(19469)(19470)(19471)(19472)(19473)(19474)(19475)(19476)(19477)(19478)(19479)(19480)(19481)(19482)(19483)(19484)(19485)(19486)(19487)(19488)(19489)(19490)(19491)(19492)(19493)(19494)(19495)(19496)(19497)(19498)(19499)(19500)(19501)(19502)(19503)(19504)(19505)(19506)(19507)(19508)(19509)(19510)(19511)(19512)(19513)(19514)(19515)(19516)(19517)(19518)(19519)(19520)(19521)(19522)(19523)(19524)(19525)(19526)(19527)(19528)(19529)(19530)(19531)(19532)(19533)(19534)(19535)(19536)(19537)(19538)(19539)(19540)(19541)(19542)(19543)(19544)(19545)(19546)(19547)(19548)(19549)(19550)(19551)(19552)(19553)(19554)(19555)(19556)(19557)(19558)(19559)(19560)(19561)(19562)(19563)(19564)(19565)(19566)(19567)(19568)(19569)(19570)(19571)(19572)(19573)(19574)(19575)(19576)(19577)(19578)(19579)(19580)(19581)(19582)(19583)(19584)(19585)(19586)(19587)(19588)(19589)(19590)(19591)(19592)(19593)(19594)(19595)(19596)(19597)(19598)(19599)(19600)(19601)(19602)(19603)(19604)(19605)(19606)(19607)(19608)(19609)(19610)(19611)(19612)(19613)(19614)(19615)(19616)(19617)(19618)(19619)(19620)(19621)(19622)(19623)(19624)(19625)(19626)(19627)(19628)(19629)(19630)(19631)(19632)(19633)(19634)(19635)(19636)(19637)(19638)(19639)(19640)(19641)(19642)(19643)(19644)(19645)(19646)(19647)(19648)(19649)(19650)(19651)(19652)(19653)(19654)(19655)(19656)(19657)(19658)(19659)(19660)(19661)(19662)(19663)(19664)(19665)(19666)(19667)(19668)(19669)(19670)(19671)(19672)(19673)(19674)(19675)(19676)(19677)(19678)(19679)(19680)(19681)(19682)(19683)(19684)(19685)(19686)(19687)(19688)(19689)(19690)(19691)(19692)(19693)(19694)(19695)(19696)(19697)(19698)(19699)(19700)(19701)(19702)(19703)(19704)(19705)(19706)(19707)(19708)(19709)(19710)(19711)(19712)(19713)(19714)(19715)(19716)(19717)(19718)(19719)(19720)(19721)(19722)(19723)(19724)(19725)(19726)(19727)(19728)(19729)(19730)(19731)(19732)(19733)(19734)(19735)(19736)(19737)(19738)(19739)(19740)(19741)(19742)(19743)(19744)(19745)(19746)(19747)(19748)(19749)(19750)(19751)(19752)(19753)(19754)(19755)(19756)(19757)(19758)(19759)(19760)(19761)(19762)(19763)(19764)(19765)(19766)(19767)(19768)(19769)(19770)(19771)(19772)(19773)(19774)(19775)(19776)(19777)(19778)(19779)(19780)(19781)(19782)(19783)(19784)(19785)(19786)(19787)(19788)(19789)(19790)(19791)(19792)(19793)(19794)(19795)(19796)(19797)(19798)(19799)(19800)(19801)(19802)(19803)(19804)(19805)(19806)(19807)(19808)(19809)(19810)(19811)(19812)(19813)(19814)(19815)(19816)(19817)(19818)(19819)(19820)(19821)(19822)(19823)(19824)(19825)(19826)(19827)(19828)(19829)(19830)(19831)(19832)(19833)(19834)(19835)(19836)(19837)(19838)(19839)(19840)(19841)(19842)(19843)(19844)(19845)(19846)(19847)(19848)(19849)(19850)(19851)(19852)(19853)(19854)(19855)(19856)(19857)(19858)(19859)(19860)(19861)(19862)(19863)(19864)(19865)(19866)(19867)(19868)(19869)(19870)(19871)(19872)(19873)(19874)(19875)(19876)(19877)(19878)(19879)(19880)(19881)(19882)(19883)(19884)(19885)(19886)(19887)(19888)(19889)(19890)(19891)(19892)(19893)(19894)(19895)(19896)(19897)(19898)(19899)(19900)(19901)(19902)(19903)(19904)(19905)(19906)(19907)(19908)(19909)(19910)(19911)(19912)(19913)(19914)(19915)(19916)(19917)(19918)(19919)(19920)(19921)(19922)(19923)(19924)(19925)(19926)(19927)(19928)(19929)(19930)(19931)(19932)(19933)(19934)(19935)(19936)(19937)(19938)(19939)(19940)(19941)(19942)(19943)(19944)(19945)(19946)(19947)(19948)(19949)(19950)(19951)(19952)(19953)(19954)(19955)(19956)(19957)(19958)(19959)(19960)(19961)(19962)(19963)(19964)(19965)(19966)(19967)(19968)(19969)(19970)(19971)(19972)(19973)(19974)(19975)(19976)(19977)(19978)(19979)(19980)(19981)(19982)(19983)(19984)(19985)(19986)(19987)(19988)(19989)(19990)(19991)(19992)(19993)(19994)(19995)(19996)(19997)(19998)(19999)(20000)(20001)(20002)(20003)(20004)(20005)(20006)(20007)(20008)(20009)(20010)(20011)(20012)(20013)(20014)(20015)(20016)(20017)(20018)(20019)(20020)(20021)(20022)(20023)(20024)(20025)(20026)(20027)(20028)(20029)(20030)(20031)(20032)(20033)(20034)(20035)(20036)(20037)(20038)(20039)(20040)(20041)(20042)(20043)(20044)(20045)(20046)(20047)(20048)(20049)(20050)(20051)(20052)(20053)(20054)(20055)(20056)(20057)(20058)(20059)(20060)(20061)(20062)(20063)(20064)(20065)(20066)(20067)(20068)(20069)(20070)(20071)(20072)(20073)(20074)(20075)(20076)(20077)(20078)(20079)(20080)(20081)(20082)(20083)(20084)(20085)(20086)(20087)(20088)(20089)(20090)(20091)(20092)(20093)(20094)(20095)(20096)(20097)(20098)(20099)(20100)(20101)(20102)(20103)(20104)(20105)(20106)(20107)(20108)(20109)(20110)(20111)(20112)(20113)(20114)(20115)(20116)(20117)(20118)(20119)(20120)(20121)(20122)(20123)(20124)(20125)(20126)(20127)(20128)(20129)(20130)(20131)(20132)(20133)(20134)(20135)(20136)(20137)(20138)(20139)(20140)(20141)(20142)(20143)(20144)(20145)(20146)(20147)(20148)(20149)(20150)(20151)(20152)(20153)(20154)(20155)(20156)(20157)(20158)(20159)(20160)(20161)(20162)(20163)(20164)(20165)(20166)(20167)(20168)(20169)(20170)(20171)(20172)(20173)(20174)(20175)(20176)(20177)(20178)(20179)(20180)(20181)(20182)(20183)(20184)(20185)(20186)(20187)(20188)(20189)(20190)(20191)(20192)(20193)(20194)(20195)(20196)(20197)(20198)(20199)(20200)(20201)(20202)(20203)(20204)(20205)(20206)(20207)(20208)(20209)(20210)(20211)(20212)(20213)(20214)(20215)(20216)(20217)(20218)(20219)(20220)(20221)(20222)(20223)(20224)(20225)(20226)(20227)(20228)(20229)(20230)(20231)(20232)(20233)(20234)(20235)(20236)(20237)(20238)(20239)(20240)(20241)(20242)(20243)(20244)(20245)(20246)(20247)(20248)(20249)(20250)(20251)(20252)(20253)(20254)(20255)(20256)(20257)(20258)(20259)(20260)(20261)(20262)(20263)(20264)(20265)(20266)(20267)(20268)(20269)(20270)(20271)(20272)(20273)(20274)(20275)(20276)(20277)(20278)(20279)(20280)(20281)(20282)(20283)(20284)(20285)(20286)(20287)(20288)(20289)(20290)(20291)(20292)(20293)(20294)(20295)(20296)(20297)(20298)(20299)(20300)(20301)(20302)(20303)(20304)(20305)(20306)(20307)(20308)(20309)(20310)(20311)(20312)(20313)(20314)(20315)(20316)(20317)(20318)(20319)(20320)(20321)(20322)(20323)(20324)(20325)(20326)(20327)(20328)(20329)(20330)(20331)(20332)(20333)(20334)(20335)(20336)(20337)(20338)(20339)(20340)(20341)(20342)(20343)(20344)(20345)(20346)(20347)(20348)(20349)(20350)(20351)(20352)(20353)(20354)(20355)(20356)(20357)(20358)(20359)(20360)(20361)(20362)(20363)(20364)(20365)(20366)(20367)(20368)(20369)(20370)(20371)(20372)(20373)(20374)(20375)(20376)(20377)(20378)(20379)(20380)(20381)(20382)(20383)(20384)(20385)(20386)(20387)(20388)(20389)(20390)(20391)(20392)(20393)(20394)(20395)(20396)(20397)(20398)(20399)(20400)(20401)(20402)(20403)(20404)(20405)(20406)(20407)(20408)(20409)(20410)(20411)(20412)(20413)(20414)(20415)(20416)(20417)(20418)(20419)(20420)(20421)(20422)(20423)(20424)(20425)(20426)(20427)(20428)(20429)(20430)(20431)(20432)(20433)(20434)(20435)(20436)(20437)(20438)(20439)(20440)(20441)(20442)(20443)(20444)(20445)(20446)(20447)(20448)(20449)(20450)(20451)(20452)(20453)(20454)(20455)(20456)(20457)(20458)(20459)(20460)(20461)(20462)(20463)(20464)(20465)(20466)(20467)(20468)(20469)(20470)(20471)(20472)(20473)(20474)(20475)(20476)(20477)(20478)(20479)(20480)(20481)(20482)(20483)(20484)(20485)(20486)(20487)(20488)(20489)(20490)(20491)(20492)(20493)(20494)(20495)(20496)(20497)(20498)(20499)(20500)(20501)(20502)(20503)(20504)(20505)(20506)(20507)(20508)(20509)(20510)(20511)(20512)(20513)(20514)(20515)(20516)(20517)(20518)(20519)(20520)(20521)(20522)(20523)(20524)(20525)(20526)(20527)(20528)(20529)(20530)(20531)(20532)(20533)(20534)(20535)(20536)(20537)(20538)(20539)(20540)(20541)(20542)(20543)(20544)(20545)(20546)(20547)(20548)(20549)(20550)(20551)(20552)(20553)(20554)(20555)(20556)(20557)(20558)(20559)(20560)(20561)(20562)(20563)(20564)(20565)(20566)(20567)(20568)(20569)(20570)(20571)(20572)(20573)(20574)(20575)(20576)(20577)(20578)(20579)(20580)(20581)(20582)(20583)(20584)(20585)(20586)(20587)(20588)(20589)(20590)(20591)(20592)(20593)(20594)(20595)(20596)(20597)(20598)(20599)(20600)(20601)(20602)(20603)(20604)(20605)(20606)(20607)(20608)(20609)(20610)(20611)(20612)(20613)(20614)(20615)(20616)(20617)(20618)(20619)(20620)(20621)(20622)(20623)(20624)(20625)(20626)(20627)(20628)(20629)(20630)(20631)(20632)(20633)(20634)(20635)(20636)(20637)(20638)(20639)(20640)(20641)(20642)(20643)(20644)(20645)(20646)(20647)(20648)(20649)(20650)(20651)(20652)(20653)(20654)(20655)(20656)(20657)(20658)(20659)(20660)(20661)(20662)(20663)(20664)(20665)(20666)(20667)(20668)(20669)(20670)(20671)(20672)(20673)(20674)(20675)(20676)(20677)(20678)(20679)(20680)(20681)(20682)(20683)(20684)(20685)(20686)(20687)(20688)(20689)(20690)(20691)(20692)(20693)(20694)(20695)(20696)(20697)(20698)(20699)(20700)(20701)(20702)(20703)(20704)(20705)(20706)(20707)(20708)(20709)(20710)(20711)(20712)(20713)(20714)(20715)(20716)(20717)(20718)(20719)(20720)(20721)(20722)(20723)(20724)(20725)(20726)(20727)(20728)(20729)(20730)(20731)(20732)(20733)(20734)(20735)(20736)(20737)(20738)(20739)(20740)(20741)(20742)(20743)(20744)(20745)(20746)(20747)(20748)(20749)(20750)(20751)(20752)(20753)(20754)(20755)(20756)(20757)(20758)(20759)(20760)(20761)(20762)(20763)(20764)(20765)(20766)(20767)(20768)(20769)(20770)(20771)(20772)(20773)(20774)(20775)(20776)(20777)(20778)(20779)(20780)(20781)(20782)(20783)(20784)(20785)(20786)(20787)(20788)(20789)(20790)(20791)(20792)(20793)(20794)(20795)(20796)(20797)(20798)(20799)(20800)(20801)(20802)(20803)(20804)(20805)(20806)(20807)(20808)(20809)(20810)(20811)(20812)(20813)(20814)(20815)(20816)(20817)(20818)(20819)(20820)(20821)(20822)(20823)(20824)(20825)(20826)(20827)(20828)(20829)(20830)(20831)(20832)(20833)(20834)(20835)(20836)(20837)(20838)(20839)(20840)(20841)(20842)(20843)(20844)(20845)(20846)(20847)(20848)(20849)(20850)(20851)(20852)(20853)(20854)(20855)(20856)(20857)(20858)(20859)(20860)(20861)(20862)(20863)(20864)(20865)(20866)(20867)(20868)(20869)(20870)(20871)(20872)(20873)(20874)(20875)(20876)(20877)(20878)(20879)(20880)(20881)(20882)(20883)(20884)(20885)(20886)(20887)(20888)(20889)(20890)(20891)(20892)(20893)(20894)(20895)(20896)(20897)(20898)(20899)(20900)(20901)(20902)(20903)(20904)(20905)(20906)(20907)(20908)(20909)(20910)(20911)(20912)(20913)(20914)(20915)(20916)(20917)(20918)(20919)(20920)(20921)(20922)(20923)(20924)(20925)(20926)(20927)(20928)(20929)(20930)(20931)(20932)(20933)(20934)(20935)(20936)(20937)(20938)(20939)(20940)(20941)(20942)(20943)(20944)(20945)(20946)(20947)(20948)(20949)(20950)(20951)(20952)(20953)(20954)(20955)(20956)(20957)(20958)(20959)(20960)(20961)(20962)(20963)(20964)(20965)(20966)(20967)(20968)(20969)(20970)(20971)(20972)(20973)(20974)(20975)(20976)(20977)(20978)(20979)(20980)(20981)(20982)(20983)(20984)(20985)(20986)(20987)(20988)(20989)(20990)(20991)(20992)(20993)(20994)(20995)(20996)(20997)(20998)(20999)(21000)(21001)(21002)(21003)(21004)(21005)(21006)(21007)(21008)(21009)(21010)(21011)(21012)(21013)(21014)(21015)(21016)(21017)(21018)(21019)(21020)(21021)(21022)(21023)(21024)(21025)(21026)(21027)(21028)(21029)(21030)(21031)(21032)(21033)(21034)(21035)(21036)(21037)(21038)(21039)(21040)(21041)(21042)(21043)(21044)(21045)(21046)(21047)(21048)(21049)(21050)(21051)(21052)(21053)(21054)(21055)(21056)(21057)(21058)(21059)(21060)(21061)(21062)(21063)(21064)(21065)(21066)(21067)(21068)(21069)(21070)(21071)(21072)(21073)(21074)(21075)(21076)(21077)(21078)(21079)(21080)(21081)(21082)(21083)(21084)(21085)(21086)(21087)(21088)(21089)(21090)(21091)(21092)(21093)(21094)(21095)(21096)(21097)(21098)(21099)(21100)(21101)(21102)(21103)(21104)(21105)(21106)(21107)(21108)(21109)(21110)(21111)(21112)(21113)(21114)(21115)(21116)(21117)(21118)(21119)(21120)(21121)(21122)(21123)(21124)(21125)(21126)(21127)(21128)(21129)(21130)(21131)(21132)(21133)(21134)(21135)(21136)(21137)(21138)(21139)(21140)(21141)(21142)(21143)(21144)(21145)(21146)(21147)(21148)(21149)(21150)(21151)(21152)(21153)(21154)(21155)(21156)(21157)(21158)(21159)(21160)(21161)(21162)(21163)(21164)(21165)(21166)(21167)(21168)(21169)(21170)(21171)(21172)(21173)(21174)(21175)(21176)(21177)(21178)(21179)(21180)(21181)(21182)(21183)(21184)(21185)(21186)(21187)(21188)(21189)(21190)(21191)(21192)(21193)(21194)(21195)(21196)(21197)(21198)(21199)(21200)(21201)(21202)(21203)(21204)(21205)(21206)(21207)(21208)(21209)(21210)(21211)(21212)(21213)(21214)(21215)(21216)(21217)(21218)(21219)(21220)(21221)(21222)(21223)(21224)(21225)(21226)(21227)(21228)(21229)(21230)(21231)(21232)(21233)(21234)(21235)(21236)(21237)(21238)(21239)(21240)(21241)(21242)(21243)(21244)(21245)(21246)(21247)(21248)(21249)(21250)(21251)(21252)(21253)(21254)(21255)(21256)(21257)(21258)(21259)(21260)(21261)(21262)(21263)(21264)(21265)(21266)(21267)(21268)(21269)(21270)(21271)(21272)(21273)(21274)(21275)(21276)(21277)(21278)(21279)(21280)(21281)(21282)(21283)(21284)(21285)(21286)(21287)(21288)(21289)(21290)(21291)(21292)(21293)(21294)(21295)(21296)(21297)(21298)(21299)(21300)(21301)(21302)(21303)(21304)(21305)(21306)(21307)(21308)(21309)(21310)(21311)(21312)(21313)(21314)(21315)(21316)(21317)(21318)(21319)(21320)(21321)(21322)(21323)(21324)(21325)(21326)(21327)(21328)(21329)(21330)(21331)(21332)(21333)(21334)(21335)(21336)(21337)(21338)(21339)(21340)(21341)(21342)(21343)(21344)(21345)(21346)(21347)(21348)(21349)(21350)(21351)(21352)(21353)(21354)(21355)(21356)(21357)(21358)(21359)(21360)(21361)(21362)(21363)(21364)(21365)(21366)(21367)(21368)(21369)(21370)(21371)(21372)(21373)(21374)(21375)(21376)(21377)(21378)(21379)(21380)(21381)(21382)(21383)(21384)(21385)(21386)(21387)(21388)(21389)(21390)(21391)(21392)(21393)(21394)(21395)(21396)(21397)(21398)(21399)(21400)(21401)(21402)(21403)(21404)(21405)(21406)(21407)(21408)(21409)(21410)(21411)(21412)(21413)(21414)(21415)(21416)(21417)(21418)(21419)(21420)(21421)(21422)(21423)(21424)(21425)(21426)(21427)(21428)(21429)(21430)(21431)(21432)(21433)(21434)(21435)(21436)(21437)(21438)(21439)(21440)(21441)(21442)(21443)(21444)(21445)(21446)(21447)(21448)(21449)(21450)(21451)(21452)(21453)(21454)(21455)(21456)(21457)(21458)(21459)(21460)(21461)(21462)(21463)(21464)(21465)(21466)(21467)(21468)(21469)(21470)(21471)(21472)(21473)(21474)(21475)(21476)(21477)(21478)(21479)(21480)(21481)(21482)(21483)(21484)(21485)(21486)(21487)(21488)(21489)(21490)(21491)(21492)(21493)(21494)(21495)(21496)(21497)(21498)(21499)(21500)(21501)(21502)(21503)(21504)(21505)(21506)(21507)(21508)(21509)(21510)(21511)(21512)(21513)(21514)(21515)(21516)(21517)(21518)(21519)(21520)(21521)(21522)(21523)(21524)(21525)(21526)(21527)(21528)(21529)(21530)(21531)(21532)(21533)(21534)(21535)(21536)(21537)(21538)(21539)(21540)(21541)(21542)(21543)(21544)(21545)(21546)(21547)(21548)(21549)(21550)(21551)(21552)(21553)(21554)(21555)(21556)(21557)(21558)(21559)(21560)(21561)(21562)(21563)(21564)(21565)(21566)(21567)(21568)(21569)(21570)(21571)(21572)(21573)(21574)(21575)(21576)(21577)(21578)(21579)(21580)(21581)(21582)(21583)(21584)(21585)(21586)(21587)(21588)(21589)(21590)(21591)(21592)(21593)(21594)(21595)(21596)(21597)(21598)(21599)(21600)(21601)(21602)(21603)(21604)(21605)(21606)(21607)(21608)(21609)(21610)(21611)(21612)(21613)(21614)(21615)(21616)(21617)(21618)(21619)(21620)(21621)(21622)(21623)(21624)(21625)(21626)(21627)(21628)(21629)(21630)(21631)(21632)(21633)(21634)(21635)(21636)(21637)(21638)(21639)(21640)(21641)(21642)(21643)(21644)(21645)(21646)(21647)(21648)(21649)(21650)(21651)(21652)(21653)(21654)(21655)(21656)(21657)(21658)(21659)(21660)(21661)(21662)(21663)(21664)(21665)(21666)(21667)(21668)(21669)(21670)(21671)(21672)(21673)(21674)(21675)(21676)(21677)(21678)(21679)(21680)(21681)(21682)(21683)(21684)(21685)(21686)(21687)(21688)(21689)(21690)(21691)(21692)(21693)(21694)(21695)(21696)(21697)(21698)(21699)(21700)(21701)(21702)(21703)(21704)(21705)(21706)(21707)(21708)(21709)(21710)(21711)(21712)(21713)(21714)(21715)(21716)(21717)(21718)(21719)(21720)(21721)(21722)(21723)(21724)(21725)(21726)(21727)(21728)(21729)(21730)(21731)(21732)(21733)(21734)(21735)(21736)(21737)(21738)(21739)(21740)(21741)(21742)(21743)(21744)(21745)(21746)(21747)(21748)(21749)(21750)(21751)(21752)(21753)(21754)(21755)(21756)(21757)(21758)(21759)(21760)(21761)(21762)(21763)(21764)(21765)(21766)(21767)(21768)(21769)(21770)(21771)(21772)(21773)(21774)(21775)(21776)(21777)(21778)(21779)(21780)(21781)(21782)(21783)(21784)(21785)(21786)(21787)(21788)(21789)(21790)(21791)(21792)(21793)(21794)(21795)(21796)(21797)(21798)(21799)(21800)(21801)(21802)(21803)(21804)(21805)(21806)(21807)(21808)(21809)(21810)(21811)(21812)(21813)(21814)(21815)(21816)(21817)(21818)(21819)(21820)(21821)(21822)(21823)(21824)(21825)(21826)(21827)(21828)(21829)(21830)(21831)(21832)(21833)(21834)(21835)(21836)(21837)(21838)(21839)(21840)(21841)(21842)(21843)(21844)(21845)(21846)(21847)(21848)(21849)(21850)(21851)(21852)(21853)(21854)(21855)(21856)(21857)(21858)(21859)(21860)(21861)(21862)(21863)(21864)(21865)(21866)(21867)(21868)(21869)(21870)(21871)(21872)(21873)(21874)(21875)(21876)(21877)(21878)(21879)(21880)(21881)(21882)(21883)(21884)(21885)(21886)(21887)(21888)(21889)(21890)(21891)(21892)(21893)(21894)(21895)(21896)(21897)(21898)(21899)(21900)(21901)(21902)(21903)(21904)(21905)(21906)(21907)(21908)(21909)(21910)(21911)(21912)(21913)(21914)(21915)(21916)(21917)(21918)(21919)(21920)(21921)(21922)(21923)(21924)(21925)(21926)(21927)(21928)(21929)(21930)(21931)(21932)(21933)(21934)(21935)(21936)(21937)(21938)(21939)(21940)(21941)(21942)(21943)(21944)(21945)(21946)(21947)(21948)(21949)(21950)(21951)(21952)(21953)(21954)(21955)(21956)(21957)(21958)(21959)(21960)(21961)(21962)(21963)(21964)(21965)(21966)(21967)(21968)(21969)(21970)(21971)(21972)(21973)(21974)(21975)(21976)(21977)(21978)(21979)(21980)(21981)(21982)(21983)(21984)(21985)(21986)(21987)(21988)(21989)(21990)(21991)(21992)(21993)(21994)(21995)(21996)(21997)(21998)(21999)(22000)(22001)(22002)(22003)(22004)(22005)(22006)(22007)(22008)(22009)(22010)(22011)(22012)(22013)(22014)(22015)(22016)(22017)(22018)(22019)(22020)(22021)(22022)(22023)(22024)(22025)(22026)(22027)(22028)(22029)(22030)(22031)(22032)(22033)(22034)(22035)(22036)(22037)(22038)(22039)(22040)(22041)(22042)(22043)(22044)(22045)(22046)(22047)(22048)(22049)(22050)(22051)(22052)(22053)(22054)(22055)(22056)(22057)(22058)(22059)(22060)(22061)(22062)(22063)(22064)(22065)(22066)(22067)(22068)(22069)(22070)(22071)(22072)(22073)(22074)(22075)(22076)(22077)(22078)(22079)(22080)(22081)(22082)(22083)(22084)(22085)(22086)(22087)(22088)(22089)(22090)(22091)(22092)(22093)(22094)(22095)(22096)(22097)(22098)(22099)(22100)(22101)(22102)(22103)(22104)(22105)(22106)(22107)(22108)(22109)(22110)(22111)(22112)(22113)(22114)(22115)(22116)(22117)(22118)(22119)(22120)(22121)(22122)(22123)(22124)(22125)(22126)(22127)(22128)(22129)(22130)(22131)(22132)(22133)(22134)(22135)(22136)(22137)(22138)(22139)(22140)(22141)(22142)(22143)(22144)(22145)(22146)(22147)(22148)(22149)(22150)(22151)(22152)(22153)(22154)(22155)(22156)(22157)(22158)(22159)(22160)(22161)(22162)(22163)(22164)(22165)(22166)(22167)(22168)(22169)(22170)(22171)(22172)(22173)(22174)(22175)(22176)(22177)(22178)(22179)(22180)(22181)(22182)(22183)(22184)(22185)(22186)(22187)(22188)(22189)(22190)(22191)(22192)(22193)(22194)(22195)(22196)(22197)(22198)(22199)(22200)(22201)(22202)(22203)(22204)(22205)(22206)(22207)(22208)(22209)(22210)(22211)(22212)(22213)(22214)(22215)(22216)(22217)(22218)(22219)(22220)(22221)(22222)(22223)(22224)(22225)(22226)(22227)(22228)(22229)(22230)(22231)(22232)(22233)(22234)(22235)(22236)(22237)(22238)(22239)(22240)(22241)(22242)(22243)(22244)(22245)(22246)(22247)(22248)(22249)(22250)(22251)(22252)(22253)(22254)(22255)(22256)(22257)(22258)(22259)(22260)(22261)(22262)(22263)(22264)(22265)(22266)(22267)(22268)(22269)(22270)(22271)(22272)(22273)(22274)(22275)(22276)(22277)(22278)(22279)(22280)(22281)(22282)(22283)(22284)(22285)(22286)(

渭橋、漢酒、〔橋有酒中夢詩〕元稹、分渭遺道居、方直天機明。

〔漢書〕ｊｉｎｇｊｉｎｇ　●動詞。●ことばをかけて、ねぎらう。

〔漢書〕ｊｉｎｇｊｉｎｇ　●ことばをかけたこと。●名詞。●ことばをかけてねぎらうこと。●ことばをかけてねぎらうこと。●ことばをかけてねぎらうこと

同師『智論』是周學之至二釋氏矣。終不公。長樂、劉說、劉說、劉說也。使其學而果博、斯深、小周子之名聞、長樂也。使其學而果博、斯深、小周子之名聞、長樂也。使其學而果博、斯深、小周子之名聞、長樂

詩十日雨絲風片裏、濃綠蹙似、稜狀。

【濃邊】nóng biān 名 ①濃厚的邊緣。韓愈、別菊、(顧所引、稱僧、詩)「緑程鮮經、濃邊、別菊、(一)濃色的一(一)衣。」②濃厚。●蘇軾、雨後、詩「何人解、濃綠、淡綠、鮮紅。」

【濃密】nóng mì 形 ①濃厚。●蘇軾、雨後、詩「何人解、濃綠、淡綠、鮮紅。」②濃厚。●蘇軾、雨後、詩「何人解、濃綠、淡綠、鮮紅。」

【濃妝】nóng zhuāng 名 ①濃厚的妝。●蘇軾、雨後、詩「何人解、濃綠、淡綠、鮮紅。」②濃厚的妝。●蘇軾、雨後、詩「何人解、濃綠、淡綠、鮮紅。」

【濃妝淡抹】nóng zhuāng dàn mò 成 ①濃厚的妝。●蘇軾、雨後、詩「何人解、濃綠、淡綠、鮮紅。」②濃厚的妝。●蘇軾、雨後、詩「何人解、濃綠、淡綠、鮮紅。」

【濃】nóng 形 ①濃厚。●蘇軾、雨後、詩「何人解、濃綠、淡綠、鮮紅。」②濃厚。●蘇軾、雨後、詩「何人解、濃綠、淡綠、鮮紅。」

【澒】hòng 名 ①水名。●澒水。●澒水。●澒水

水部（十一画）

水注巽門。水經、汝水注、汝水又東南逕命舘城西北。云、倉頡出焉。世亦謂之大穀水。

【渠貫】ヨ ケツ 集韻 ケツ 集韻 ケツ 集韻

水部（十三畫）澨 鯖 澁 鴻 濃 凍 澄 潘 澹 潛 潟 潯 潟 潟 潟

【湀】 18481 クウ ゲウ（字彙補・平巧切）

まもる。

字彙補 未詳。字典に載せたのは誤。（訂正字典）湀は同字。

【瀰】 18482 コ ヨ ヨ ヨ

【湯】[集韻]ｔｈａｎｇ　●ウツチ大地の病氣。[馬事論]神に憑湯病（湯、注）[仮名]湯氣。[剛柔病]病、注剛と柔病。剛と柔、四時の氣が人身を害つ。[仮名]剛柔の病。（[藤原定家]「[風雅]百首」[建仁元年]）

【湯】[集韻]ｔｈａｎｇ　●[説文]熱水。[易]鼎卦[爻辞]鼎顛趾、利出否。[詩]小雅、[正義]水名。[論語]郷黨[注]湯沃之間。

【湯】[集韻]ｔｈａｎｇ　●[説文]水名。[書]禹貢、[正義][水経注]常和・述等、而重之湯。

【湯】[集韻]ｔｈａｎｇ　しめめつ。[説文]水名。[書]禹貢、[正義][水経注]常和・述等、而重之湯。

【湯】[集韻]ｔｈａｎｇ　しめめつ。[説文]水名。[書]禹貢、[正義

瀦 18487

㊀ネイ ニヤウ (集韻)乃定切 囡
㊁ニヤウ (集韻)乃桂切 囡
㊂ニヤウ (集韻)囊一切 囡
㊃デイ (集韻)乃計切 囡

𣿅 俗 ㊀(集韻)ぬかるる。ぬかるみる。どろ。(左氏、僖十九)浮従馬還(漢面也)(注)泥溺。泥也。(左氏、襄廿四)泥(注)泥溺。泥也。(左氏、襄廿五)泥(注)泥溺。泥也。●小さい水のさま。(荀子、榮辱)小人也、以水事堂(荀文通訓定聲)溺、榮辱也。(荀子、榮辱)(楊倞注)溺、小水之貌。●きよい。(廣雅、釋詁一)溺、清也。(集韻)溺、曰、清也。㊁(集韻)ところ。ぬかるる。(廣韻)溺、泥溺。(集韻)溺、小水之貌。●小さい水のさま。(集韻)溺、水兒。㊂(集韻)溺、●水の沸くさま。(木華、海賦)(漢書補注)(苞曰)溺、沸。●汀溺は小水。(集韻)溺、汀溺、小水。(張協、七命)何異、泥鰌之游、汀溺(注)苞曰、溺、絶小水也。(翰曰)、汀溺、浸水也。四●ひたす。(集韻)溺、漬也。●ところにはまる。(廣韻)溺、泥陷。

(漢字)ナイ (集韻)奴帶切 泥

(漢字)ナイ (集韻)奴帶切 泥

(漢字)ナイ (集韻)奴帶切 泥

【㴱】 18493　ショウ（集韻）蒙之切　鄭

川の名。淩（7－18176）に同じ。（集韻）滇、水名、或从㴱。

【㴱】 18494　キ（集韻）夏之切　囡

川の名。㴱（7－17620）に同じ。「山海經、北山經」「東流木水、其狀如牛、其音如呼、其名曰㴱、是生[illegible]、[illegible]、[illegible]、

【濟翁】[illegible] 字雙●唐李匡乂(8－14439－2)唐人。

【濟】[illegible] 宋、楊炎近(8－15112－438)の字。●明、譚貴(10－35978－35)の字。

【濟河】[illegible] 宋、秦觀(8－20825－43)の字。

【濟河】[illegible] ●河をわたる。渡河。(左氏、文[illegible]) 有濟伯侯氏。濟、河水名。[illegible]。[illegible]。[illegible]

[清世才] 世才 世多行為(杜甫、巻一、待嚴大夫、詩)・殊方又喜故人來、重城遮須清世才。

[清世志] 世をすくふのこころざし。世を医しなを救はうとする意。(後漢書、虞延傳)・延性剛毅有大節、常慨清世志。

[清世] 世を清くする。(後漢書、虞延傳)・常用周禮、清成其功。

[清濟] 清濟 ①河名

尚書高陽張公墓誌銘(開元中、以二儒學詩誠)國子祭酒、[illegible]、[illegible]、[illegible]

𣶒 小篆 籀文

(7—13534)・潮(7—17580)に同じ。

【漢】 18500

㊀ハイ（集韻）普乎切 ㊁ハイ（集韻）匹計切

𣶒 小篆 **𣶒** 小篆 **𣶒** 籀文

㊀㊁川の名。（說文）漢水出隴西嶓冢山。東南入海。从水難聲。一曰、鼎也。（玄応）漢、水名。在梁州。●州の名。（集韻）漢、亦州名。●ほり。城下の池。（後漢）漢、城下池。通作、漢。●四大隧の名。漢太創利亞の略。

（漢隍）ｶﾝｺｳ。城のまわりの堀。隍、（全史、承平記）漢隍に引き寄せて、戸部、田部。

（漢隍）ｶﾝｺｳ。ほりにかかる橋。（清食貨考）、戶部、田部。

（漢溝）ｶﾝｺｳ。ほりの溝。（清食貨考）、戶部、田部。

（漢隍）ｶﾝｺｳ。城のまわりの堀。（全史、承平記）漢隍に引き寄せて、戸

する。潘忠(247)を見よ。(康熙字典)潘、含忍曰。潘。**❹**とどまる。とどこおる。潘潘。潘潘。(集韻)潘、通平。(説文通訓定聲)潘、叚借為蟠。(孟子、公孫丑下)蟠然冠帶。(注)潘潘、流久也。**❺**川の名。潘水(33)を見よ。(説文)潘、潘水、出涼部故安東入水。(段注)水、名水作潘。(段玉裁)水名作潘、字六字正。**❻**川の名。潘水(33)を見よ。(説文)潘、潘水、在上河間。春秋傳、曰于潘上。**❼**にる。汁で味をつける。(説文)潘、潘、米泔也。(字彙)潘、與瀋同。字之変文。

〔潘延〕[pan yan] ゆるゆるの。のびのびとなること。

〔潘緣〕[pan yuan] 雨戸の外に通った縁側。雨にぬれるに任せたもの。(宗氏方記)ひが雨のぬれ縁。

〔潘汗〕[pan han] ぬるしけがす。(漢書、叙目)霍去病、[illegible]。

〔潘司〕[pan si] 情報を通達の際に水に濡れた荷。

〔潘荀〕[pan xun] 草の名を潘らす。(管子)

〔潘笔〕[pan bi] 筆の名を潘らす。(管子)

〔潘柳〕[pan liu] 草の名。葉は樹色、草は真黒色で軟かく編つてもしっとりとする。(絵道記・月文山)

〔潘鉢〕[pan bo] 有り等名潘鉢。黒色如樹。墨色如漆。細軟可[illegible]。

〔潘翰〕[pan han] 筆をうるはす。筆で紙に書くこと。輪はふで。(徒幽文賦、鄭於潘翰)(注)潘曰、潘筆言義、象昭日。翰、筆也。輪曰、絲蠶離於潘翰。潘潘、潘筆。

〔潘輪〕[pan lun] 潘翰。(潘潘)

〔潘毛〕[pan mao] 毛の名。葉は樹色、草は真黒色で軟かく編つてもしっとりとする。(絵道記・月文山)

〔潘尾〕[pan wei] 獣色如樹。墨色如漆。細軟可[illegible]。

〔潘潘〕[pan pan] 潘潘。(潘翰)

〔潘潘〕[pan pan] 潘潘。(潘翰)

〔潘潘〕[pan pan] 潘潘。(潘翰)

潘 染大事 何無忌。

〔潘悅〕ㄆㄢˋ ㄩㄝˋ 柔和之容。（人物志・材理）遠至之輪，力不小，而潘悅而不蹶。

〔潘鼎〕ㄆㄢˋ ㄉㄧㄥˇ 潘鼎，謂潘鼎而不蹶。

〔潘鼎〕ㄆㄢˋ ㄉㄧㄥˇ 水中之鼎。（莊子・達生）孔子觀於呂梁，三仞之瀑，流沫四十里，黿鼉魚鱉之所不能游也，見丈人方欲涉而止之，丈人出而不入，從波而出，曰：「吾始以汝爲鬼，今視之汝人也。請問蹈水有道乎？」曰：「無以吾故入，而出焉，吾生於陵而安於故，此命也。」

〔潘髮〕ㄆㄢˋ ㄈㄚ 髮在頂上，性沮喪而能者。（史記・秦始皇本紀）

瀾 小 ❶くぐる。水が地下を流れるさま。漢語。もと漢(7－18666)に作る。正字通、本作瀾。(説文)漢、水脈行地中。漢聲。❷通じて漢(7－18130)に作る。(説文通訓定聲)漢、蜀都賦、漢以潛承、注、水潛行曰。漢、江賦、潛漢之所、注、潛流、以、漢爲之主。❸水を引く。又、水門。(廣韻)漢、水門。又引水也。❹水が地中をくぐり流れるさま。漢聲。(集韻)漢、漢漢、水脈行地中。

瀋 小 [一]チン (集韻)直荏切 [二]ジン (集韻)弦片切 [三]ジン (集韻)弦新切 [四]ヒン 文 ❶[一][二]❶川の名。源は河南省封縣の少室山、潁水に入る。(説文)瀋、水出潁川陽城少室山、東入潁、从水審聲。❷水、瀋(7－18717)、澋(7－17982)に作る。(説文通訓定聲)瀋、字亦作澋、作澋。(集韻)瀋、或从隱。❸汨瀋は、水の音。(司馬相如、上林賦)汨瀋、疾、(十二部)。司馬相如、汨瀋、水聲也。(慧琳音義)瀋、汨瀋、水聲也。(廣韻)瀋、河南省許昌縣の西。(集韻)瀋、(玄応)瀋、縣、(十七部)。(廣韻)瀋、陳、(十二部)。

澋 小 封縣の少室山、潁水に入る。(説文)澋、澋水、出潁川陽城少室山、東入潁、从水審聲。❷水、澋(7－18717)、瀋(7－17982)に作る。(説文通訓定聲)澋、字亦作瀋、作瀋。(集韻)澋、或从隱。❸汨澋は、水の音。(司馬相如、上林賦)汨澋、疾、(十二部)。司馬相如、汨澋、水聲也。(慧琳音義)澋、(玄応)澋、(十七部)。(廣韻)澋、陳、(十二部)。(廣韻)澋、(玄応)澋、水、(十七部)。

濟 18511 タイ (集韻)汎對切 ソイ カメ ❶[一]❶ひたすら。うるおす。(廣雅、釋詁二)濟、濟也。(集韻)對、浪也、(説文)濟、水脈行地中。

濟 18512 レウ (字彙)連條切 [一]❶水がすむ。(字彙)濟、水清也。

濟 18513 ザン 通濟、俗字。

濟 18514 サウ ザウ (集韻)莊郎切 [一]❶しずむ。(集韻)濟、沒也。

濟 18515 ノン (集韻)補之切 [一]❶川の名。四川省にある。或は滋(7－18021)に作る。(集韻)濟、水名、在三州、一曰則滋、或从茲。

濟 18516 [一]ハイ (集韻)廷按切 [二]ヨウ (字彙)庭洪切 ❶水流が早い。(集韻)濟、水流急也。[二]❶水の音。(字彙)濟、水聲。

濟 18517 [一]クワク (集韻)資郭切 [二]クワク (集韻)胡郭切 [三]クワク (集韻)胡伯切 [四]コク (集韻)胡故切 ❶[一][二]❶雨だれの落ちるさま。(説文)濟、雨流聲也。从水、从雚聲。(段注)克、本本無、非、聲、屋太流下也、今依各時、雚水皆下、曰、濟、乃雚也。❷にる。(廣韻)濟、(玉篇)濟、煮也。(詩、周南、葛覃、是刈是濩、(傳)濩、煮之也。❸けがれる。(集韻)濟、一曰、汙也。❹勢のさまま。(廣韻)(10－337 53－2)、(玄応)(7－18281 7－7)、(慧琳)(7－18666 7－1865 53－2)を見よ。❺殷の湯王の音楽の名。(集韻)濟、一曰、湯樂名、春秋傳、見舞一大濩者、(徐邈讀)。❻姓。(萬姓統譜)濟、見、姓苑。[四]❶濟澤は縣名。(集韻)濟、濟澤、縣名、在河東。❷流れ散る。しきひろめる。布濩。(集韻)濟、布濩、散也。(張衡、東京賦)、聲教布濩、(注)濩、五臣作、濩、輸曰、濩、散也、言布教溢、出區宇。❸殷の湯王の音楽の名。濩(10－36648)、濩(19－4332 7－2)を通ず。(説文通訓定聲)濩、殷借爲護、字亦作、護、(周禮、春官、大司樂)大濩、(注)大濩、湯樂也、(禮記、樂記)樂者樂其所自成、(注)、而作、護武、(釋文)護、本亦作濩、(徐又音白郭反)。

濩 18518 セイ (集韻)倉歴切 ❶川の名。(説文)濩、(注字)濩、(集韻)字之誤。

濩 18519 トウ (集韻)徒歴切 ❶川の名。(説文)濩、水出經石山、濩聲之水也。(集韻)濩、(玄応)濩、音尺、經之誤。

(説文)濩、水勢のはげしいこと。(慧琳)濩、大なる水のさま。(徐鍇、王逸、九思、疾世、望江濤、(傳)濩、大波也。(補注)濩、音穫、音、音若、大水也。(廣雅、釋詁二)濩、川の名。通作水、濩谷水ともいう。源は山西省最後縣東南方松巣山、黄河に合流。(水經、河水)濩谷水、出松巣山、(注)、濩谷、世示淳、呼之爲谷水、東北注于河、(北堂記所引)濩谷水者也。

山野で醸した酒をいう。なまなかな酒。(説文)濩、(段注)、山野之酒、(説文)、(段注)、(説文)、(段注)、(説文)、(段注)

【瀞】18520 セイ 瀞ヲ〈18520〉の俗字。〈正字通〉瀞に同じ。

【濕】18521

①ヲン 〈集韻〉濕畷切 〈集韻〉濕 〈同〉ヲン 〈集韻〉五舉切 〈集韻〉敢切 〈集韻〉古甘切 〈集韻〉胡甘切

②カン 〈集韻〉胡甘切

①はびこる。 ❶水のひろがる。 ❷水がひろがり、氾濫する。〈詩〉南山有臺 ❸物事が度を過ぎる。〈詩〉南山有臺 ❹水がふかい。〈楚辞〉九歌 ❺ひたす。〈楚辞〉九歌 ❻ぬれる。〈楚辞〉九歌 ❼ぬれる。〈楚辞〉九歌 ❽ぬれる。〈楚辞〉九歌 ❾ぬれる。〈楚辞〉九歌 ❿ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓫ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓬ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓭ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓮ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓯ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓰ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓱ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓲ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓳ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓴ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉑ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉒ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉓ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉔ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉕ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉖ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉗ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉘ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉙ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉚ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉛ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉜ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉝ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉞ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉟ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊱ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊲ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊳ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊴ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊵ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊶ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊷ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊸ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊹ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊺ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊻ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊼ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊽ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊾ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊿ぬれる。〈楚辞〉九歌 [illegible]

小目 ❶はびこる。 ❷水がひろがる。〈説文〉濕、氾也。从水監聲。〈増韻〉濕、水紙落也。〈孟子 滕文公下〉水逆行氾濫於中國。〈左氏、哀 五〉不憑不濕。〈注〉濕、濕也。〈水經、水注〉其水陽燥不利、陰濕有水監。❸みだ

【解】説文 氾濫。从水監聲。〈増韻〉濕、水紙落也。〈孟子 滕文公下〉水逆行氾濫於中國。〈左氏、哀 五〉不憑不濕。〈注〉濕、濕也。〈水經、水注〉其水陽燥不利、陰濕有水監。❸みだる。〈論語〉郷黨篇 ❹ふかい。〈楚辞〉九歌 ❺ひたす。〈楚辞〉九歌 ❻ぬれる。〈楚辞〉九歌 ❼ぬれる。〈楚辞〉九歌 ❽ぬれる。〈楚辞〉九歌 ❾ぬれる。〈楚辞〉九歌 ❿ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓫ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓬ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓭ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓮ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓯ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓰ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓱ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓲ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓳ぬれる。〈楚辞〉九歌 ⓴ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉑ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉒ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉓ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉔ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉕ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉖ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉗ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉘ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉙ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉚ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉛ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉜ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉝ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉞ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㉟ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊱ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊲ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊳ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊴ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊵ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊶ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊷ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊸ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊹ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊺ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊻ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊼ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊽ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊾ぬれる。〈楚辞〉九歌 ㊿ぬれる。〈楚辞〉九歌 [illegible]

也。〈論語、郷黨篇〉小人朝那濕矣。〈韓文〉詩以證也。詩小雅采薇、大雅瞻卬、皆曰、玁狁孔棘。〈詩〉小雅采薇、出車、杕杜、釋水、皆曰、出、正出、〈通出也。❹或は淺〈7－16324〉公濕。於黄河、清也。❺みだりがはしい。〈説文〉濕、一曰、清也。❻きよい。

音集 〈韓 柴記〉流邪邪散、狀流離也。〈郭璞注〉郭音好。〈説文〉濕、乾也。〈注〉濕、濕也。〈水經、水注〉其水陽燥不利、陰濕有水監

不与日縁。其行者。旨至過。

【盧鏗】[illegible]。むやみに薬獣を捕へる。

【盧官】[illegible]。むやみに官吏。元官。●官職。

【盧官】[illegible]。●必要のない官吏。元官。●官職。

【盧刑】[illegible]。過ぎた刑罰。[illegible]。

【盧刑】刑罰。刑律斷獄。経明受経。各奇骨無。除事闕。[illegible]。

【盧脇】[illegible]。音の調和しないこと。一般に上の琴の名。[illegible]。

【盧作】[illegible]。むやみに作ること。濫製。

【盧説】[illegible]。むやみに説くこと。[illegible]。

【盧説】[illegible]。[illegible]。

【盧説】[illegible]。[illegible]。

【盧説】[illegible]

沉物水中使冷也。

瀕 18523 ハン (集韻)蒲米切 [illegible]

水のさま。(集韻)瀕、水皃。

濬 18524 シュン (集韻)須閏切 [illegible]

●**さらふ。**川を深くして通ずる。 **容**(10・36 139)に同じく、古は濬字(7・26250)に作る。(說文)容、深通川也。從谷、睿聲。古文叡也。(爾雅)容、幽深也。(書・舜典)濬哲文明。(傳)濬、深。(詩・陳項長發)濬哲維商。(傳)濬、深。●通じて衡(4・10091)に作る。(史記・五帝紀)衡哲文明。(注)索隱曰、史記舊本、亦有作濬者。舊是古字段借衡字。(書・舜典)濬哲文明。(傳)濬、深。(詩・陳項長發)濬哲維商。(傳)濬、深。●通じて睿(4・10091)に作る。(史記・五帝紀)睿哲文明。(注)索隱曰、史記舊本、亦有作濬者。舊是古字段借衡字。(書・舜典)濬哲文明。(傳)濬、深。(詩・陳項長發)濬哲維商。(傳)濬、深。●通じて叡(4・10091)に作る。(史記・五帝紀)叡哲文明。(注)索隱曰、史記舊本、亦有作濬者。舊是古字段借衡字。(書・舜典)濬哲文明。(傳)濬、深。(詩・陳項長發)濬哲維商。(傳)濬、深。●通じて睿(4・10091)に作る。(史記・五帝紀)睿哲文明。(注)索隱曰、史記舊本、亦有作濬者。舊是古字段借衡字。(書・舜典)濬哲文明。(傳)濬、深。(詩・陳項長發)濬哲維商。(傳)濬、深。●通じて叡(4・10091)に作る。(史記・五帝紀)叡

聚公之時、終之晉、至於濮水之上、食、夜半時聞鬼神琴瑟之音、問師涓、涓曰、師曠之所作也、與、師曠林鍾、清徵、清角之音、不出、此亡國之聲、不可聽、上之音、見上。【漢上風】漢上、漢水。【漢上之音】漢上、漢水。【漢上風】漢上、漢水。【漢上之音】漢上、漢水。【漢上風】漢上、漢水。【漢上之音】漢上、漢水

ず。「周禮、春官、守祧」字、樂、掌守先王先公之廟祧。(注)故書、祧作灌。●貝の名。琉（マ＋20956）に通ず（『爾雅』、樂魚、蔡小者、友鎮『灌、見、風俗通』（風性紙）『灌輯』『古賢人。□水のさま。（集韻）『灌、水兒』。□かい又、かいを用ひて舟を行る。『楚辞』『九章』に通ず（『說文通訓定聲』）『灌、段借爲櫂』（『漢書、郊祭』）以『灌』給爲『灌行』給也。四あきらか。（集韻）『灌、明也』詩、韓擴『漢、江重讀』。

灌 衣を洗ふこと。又、洗濯した着物。（『後漢書、周勃傳』）『敘』彭城、『灌』衣、沛在、世俗、『灌』衣、沛在、世俗、『灌』衣、沛在、世俗

臨天中、計氏、計氏、圃圃、王賀天中、呼鈴、徹九、東榮、異人、呼氏、常陽、常名、圃氏、玉、郡、郡、郡

人入もうともにはまづらをまかる道に。（漢集）ゴ ㋐ 貝の名。蛤。形が楽に似るからいふ。（和漢）子産貝 介貝部 文蛤 拾 文蛤在。（清倉）ゴ ㋐ 未 呂清足（6—14459—7946）の字。●未 呂清足（6—12386—5）の一名。

【濱】18537 ヒン 濱（7—18523）の俗字。（正字通）濱 俗作 濱。

【濆】18538 ヒン 濆（7—18523）の俗字。（正字通）濆 俗作 濆。

【濠】18539 ヤク 濠（7—18709）に同じ。（正字通）濠 同 濠。

【濕】18540 ウウ 濕（7—18615）に同じ。（集韻）濕 或作 濕。

【濕】18541 コク 濕（7—18615）の誤字。（集韻）濕 不正字。考正。（餘）餘 案 凡 从 濕 得 聲 者 不 宜 省 作 濕 此 蓋 誤 文 字 誤。

【潛】18542 クン 潛（7—18434）に同じ。（正字通）潛 通 潛 或 潛 省 作 潛。

【潛】18543 セン 潛（7—18248）の誤字。（康熙字典）潛 正字 通 潛 字。潛 作 潛。

【濮】18544 バク ミャク 【集韻】莫白切 【圓】 ●なみ。（玉篇）濮 波也。●濮船は、こまかなさま。幟（4—8395）に同じ。（集韻）幟、幟 帕 密 兒 ・亦作 幟。●濮潦は 茂 のわきあがるさま。（篇海）錄 玉 篇 法 海 篇 海 潦 濮 瀾 濮。

【濤】18545 ヒン 濤（7—18525）に同じ。（字彙補）濤 與 濤 同。

【濤】18546 エン （字彙補）烏 硯切 【先】 ふかい。（字彙補）濤 深也。

【濤】18547 クワツ 濤（11—41429）の俗字。（正字通）濤 俗作 濤。

【濤】18548 ケウ 濤（7—18317）に同じ。（字彙補）濤 與 濤。

【濤】18549 コ 濤（7—18592）に同じ。（集韻）濤 通 池、水名。或作 濤。

【濤】18550 キ （集韻）以 酌 切 【圓】 ●簫筆の名。（集韻）濤、一日 簫 仲 名。●濤津は、漢の侯國の名。（集韻）濤、濤 津、漢 侯 國 名。

【濤】18551 クワウ 濤（7—17757）に同じ。（五音集韻）濤 同、淺。

【瀑】18552 ジフ 瀑（7—18311）に同じ。（集韻）手 瀑 瀑 同 瀑。

【瀑】18553 ヒウ ク 【集韻】許 尤 切 【尤】 面に汗する。或は 腹（8—29758）に作る。（廣韻）瀑、汗 面 或 作 腹。

【瀕】18554 カン 瀕（7—18453）の本字。（正字通）瀕、本 作 瀕。

【瀕】18555 ヒン ヒク 瀕（7—18453）の本字。（正字通）瀕、本 作 瀕。

【瀾】18556 ライ 【集韻】魯 盛 切 【瀾】 ㊀ルイ 【集韻】魯 水 切 【瀾】 ㊁ 川の名。漢書、淺（7—18742）に同じ。（集韻）瀾、水名。漢書、在北平、南至 無終（東入）。（集韻）瀾、或省。瀾書、瀾濤は、波の湧き起るさま。（集韻）瀾、瀾濤、水波通起兒。（郭璞、江賦）瀾濤 瀾濤。（注）善曰、皆波浪回旋、瀾涌起之兒也。

【瀦】18557 ㊀セン 【集韻】師 先 切 【先】 ㊁セン 【集韻】子 賤 切 【瀦】 ㊂サン 【集韻】則 旰 切 【瀦】 ㊀瀦瀦は、水の疾く流れるさま。（7—17697）。瀦（8—24280）に同じ。（集韻）瀦、瀦瀦、水疾流兒、或作 瀦、瀦 通 作 瀦。㊁瀦は ねる。水をはねかける。或は 瀦（7—17684）に作り、通じて 瀦（7—17683）に作る。（集韻）瀦、水激也、或省、通作、瀦。㊂そそぐ。けがしそそぐ。はねかける。（集韻）瀦、瀦 水 激 也。（玉篇）瀦、說文、汙 瀦 也。或作 瀦。（中華大字典）瀦 按、今 俗 猶 謂 汙 水 酒 水 污 水 為 瀦 按、今 俗 猶 謂 汙 水 酒 水 污 水 為 瀦 按、今 俗 猶 謂 汙 水 酒 水 污 水 為 瀦 音 賛。

【瀝】18558 レキ 瀝（7—18742）の俗字。（正字通）瀝 俗作 瀝。

【瀧】18559 ロウ 瀧（7—18742）の俗字。（正字通）瀧 俗作 瀧。

【瀘】18560 ロ 瀘（7—18742）の俗字。（正字通）瀘 俗作 瀘。

【瀛】18561 エイ 瀛（7—18742）の俗字。（正字通）瀛 俗作 瀛。

【瀟】18562 セウ 瀟（7—18742）の俗字。（正字通）瀟 俗作 瀟。

【瀑】18563 バク 瀑（7—18742）の俗字。（正字通）瀑 俗作 瀑。

即事詩」石梁琴屋有「繁碧、流水潺潺、南陔、南陔。●波の流れるさま。(『蘭雪詩』(東)別ノ編)憂手坂方潺潺。

潺泥[ゼンデイ]。ゼンニ。泥がはねる。

潺潺[ゼンゼン]。ゼンゼン。(『集韻』)逐ニ通ル。

上二字同ジ。石西賓『鶴賦』「憂絲潺潺、憂絲潺潺。」

潺潺[ゼンゼン]。飛び散るしぶき。とばしり。(『修道鑑』)「蹴ニ石碑、踐ニ碑、踐ニ碑、沙ニ碑、潺潺、九鯨、八蛟、山ヲ崩ス。岸布水、詩ニ潺潺ニ讃ニ行雲ニ。」

潺潺[ゼンゼン]。清、潺潺ニ行雲ニ。(『蘭雪詩』)「潺潺、飛散ルなり。」(『蘭雪詩』)「潺潺、飛散ルなり。」(『蘭雪詩』)「潺潺、飛散ルなり。」

水部 (十五畫) 瀚瀛瀩瀯瀱瀺瀹瀾瀿灁灅灉灊灋灌灌灌

の廣いさま。〔集韻〕瀎、瀏瀎、水廣皃。（木華海賦）瀎瀎陵陽、瀏瀎迅汗。（注）瀎、廣皃。瀏瀎迅汗、廣大皃。

【瀎】 18587

日エイ　（集韻）蒸切　ㄧㄥˊ yíng
日エイ　（集韻）烏莫切　ㄨㄛˋ wò
日キャウ　（集韻）訓魚切　ㄩˊ yú
日キャウ　（集韻）吉茶切　ㄐㄧㄚˊ jiá

川の名。〔集韻〕瀎、水名。

【瀕】 18588

クヮン　（集韻）新魏切　ㄍㄨㄢˋ guàn

①わかれる。水がわかれ流れる。〔説文〕瀕、水發出也。从水雙聲。〔集韻〕瀕、或从虢。（魏都賦）瀕瀕、瀕瀕、小水兒。亦作瀕。〔集韻〕瀕、水名。在襄陵。②**極めて小さい川**。〔集韻〕瀕、小瀕、極小水也。

【瀸】 18589

ヂイ　（集韻）七雞切　ㄑㄧ qī

①**水の音**。〔玉篇〕瀸、水聲。〔集韻〕瀸、或从虢。（魏都賦）瀸瀸、瀸瀸、小水兒。亦作瀸。〔集韻〕瀸、水名。在襄陵。②**激する水**。〔正字通〕瀸、方言、激水也。

【瀆】 18590

チツ　（集韻）徒谷切　ㄉㄨˊ dú
（集韻）直角切　ㄓㄨㄛˊ zhuó

〔説文〕瀆、水名。从水賣聲。〔玉篇〕瀆、水聲。（楚辭）瀆、瀆瀆、小水兒。亦作瀆。〔集韻〕瀆、或从虢。〔正字通〕瀆、水名。在襄陵。〔集韻〕瀆、水名。在襄陵

【瀆】[集韻]ｸﾞｳ ｹﾞｳ しみだすこと。[廣韻]「瀆、公唐、汗出皮膚間。」[說文通訓定聲]「瀆、[漢書]「[張宮]本世貴戚不學、[注]「[張]敞、字子高、[昭帝]時、[為]右扶風。[顧]命[敞]、[宣帝]時、[為]右扶風。[顧]命[敞]、[宣帝]時、[為]右扶風。[顧]命[敞]、[宣

紀安、山東、涇東都指揮使司）・潘陽中衛、高賀青州地・春秋戦国時屬燕・秦漢時屬・遼陽中衛、高賀青州地・春秋戦国時屬燕・秦漢時屬・其地屬・東安都護府・後晩・潘陽・拒要路・唐時・其地屬・東安都護府・後晩・潘陽・拒要路・唐時・其地屬・東安更名潘州・水曰・昭德軍・金因之・後更遼陽・顧徳軍・元因之・潘陽路・明洪武・十年・置・今衛。

潘水。㋐。川の名。一名・活水。・俗名・五里河。・舊名・小遼水・遼河に注ぐ。（清・統志）遼東郡大府・潘水の東。・遼河に注ぐ。（清・統志）遼東郡大府・潘水・・・

陽縣、陽城、長治郡、以沁源水為名。（清史稿地理志）湖南、長沙府、縣十一、湘鄉。●清康熙詞譜（10　35978・33）の號。

【潤滋】ハクジ　水の清らかでなさまる。指、賢西之濃。

【潤澤】ハクタク　風が林木を吹き動かすさま。（司馬相如・子虛賦）風吹、衆木之發榮。

【潤潤】ハクハク　●風の強いさま。（謝惠連・反二首詩）出、樓中、望月、望月、潤潤出、谷口。（注）西京賦、注、結結不絕貌。（漢志）蒼梧、始結、風潤潤而興。●（注）疾

【漢】18619 トツ チク (字彙補)丘匹切 質
行いてとどまらない。(字彙補)漢。行不止也。

【滋】18620 クワク (字彙補)古獲切 陌
川の名。(字彙補)滋。水名。

【調】18621 テキ チヤク (字彙補)同逆切 陌
うこく。うごかす。(字彙補)調。落也。

【海】18622 ヘイ (字彙補)五閉切 霽
水が散る。(字彙補)海。水流散也。

【淵】18623 ソク 補(7 - 17785)に同じ。(字彙補)淵。與測同。見溪。若故切。

【滯】18624 ジヤク 字(7 - 17698)に同じ。(字彙補)滯。與淨同。

【滅】18625 ヒツ 補(7 - 18674)に同じ。(字彙補)滅。同蔑。

【滯】18626 ノ 補(7 - 18621)に同じ。(字彙補)滯。同逆。

【潢】18627 クワウ (川篇)胡郎切 江宋
ほとり。みぎは。(川篇)潢。潢也

【淘】18628 ヒ (搜眞玉鏡)若沸
あふれる。(搜眞玉鏡)淘。溢也。

【淤】18629 エン 切 餘茶切。(篇韻)淤。行茶。

【淫】18630 テン 餘茶切。(篇韻)淫。行茶。

【滋】18631 クワン 滋(7 - 18598)の俗字。(宋元以來俗字譜)滋。金縄梅作。

【灌】18632 サイ 灌(7 - 18674)の俗字。(宋元以來俗字譜)灌。金縄梅作。

【瀧】18633 セツ 瀧(7 - 18660)の俗字。(宋元以來俗字譜)瀧。太平樂府作。

十一畫

【瀕】18634 ヒン 通(篇韻)平文。(集韻)平文。通。

瀕(7 - 18639)の異字。(正字通)瀕。與濱字之誤。(說文)有「濱無「瀕」。

生字通には、濱・瀕字を誤り、說文有「濱無「瀕」

【瀕】18635 キ 瀕(7 - 18639)の俗字。(正字通)瀕。俗字。

【瀕】18636 ヒン (集韻)平文切 眞
ヒン。pin。
ヒン。pin。
●みぎは。もと頻に作る。(正字通)瀕。本作「頻」。(說文)頻。水厓人所「賓附也。(篇韻)瀕。水厓。涉。●はま。瀕(7 - 18637)に同じ。(正字通)瀕。同。(漢書)地理志上「海瀕國斥。●そふ。せまる。のがむ。近づく。(漢書)成帝紀)行幸「瀕河之郡。(漢書)賈山傳)瀕海之邊。也。●頻(12 - 4351)に通ず。(集韻)瀕。或从水。(正字通)瀕。詩大雅作。頻。(詩)大雅。召旻)「不云自瀕。(傳)瀕。厓也。(箋)瀕。當爲濱。

【瀕死】會意。瀕(古の字)と頁(かお)とを合せて、人を涉らんとしてかねる意を表はす。しかるときは、その人の水厓に臨んで決しかねる意を表はす。說文)瀕。瀕。涉也。从頁。從水。涉頁。(說文)瀕。瀕。水厓。从水。賓聲。也。(篇)瀕。涉也

川の名。(集韻)潮、水名。

潮 18640 アツ アチ (集韻)阿鰐切 匿

●川の名。(集韻)潮、水名。(康熙字典)潮、水名國有之潮水。●金潮は、酒の酒損佳。(晉書)劉伶傳、酣歌竟、金潮盛。(集韻)潮、以作酒。

潤 18641 ジュン (集韻)若廉切 顫 ニエン (集韻)以冉切 臣

●けがす(說文)潤、浸潤也。(玉篇)潤、汚也。(廣韻)潤、汚也。(集韻)潤、汚也。(正字通)潤、同上。(集韻)潤、一曰、水溢也、或作濫。●沿(7—18640)に作る。(說文)潤別字實卽沿之別體。

潭 18642 ジュン 冉(7—18640)の古字。(集韻)潭、古作潤。

潭 18643 イン (集韻)巨在切 寅

潭澨は、ゆらぐ・なみだつ・水が動く。或は潭(7—18271)、淡(7—18246)に作る。(集韻)潭、潭澨、水動也、或作淡、潭。

潭 18644 ケン コン (集韻)許建切 顧

川の名。(集韻)潭、水名。

潭 18645 カク・ヨク (正字通)潭、同潭。

潭(7—18595)に同じ。

潭 18646 ロ (集韻)鑑郗切 カメ・ハ

川の名。(集韻)潭、水名。

潭 18647 ロン (集韻)鑑郗切 面

●川の名。(集韻)潭、水名。(玉篇)潭、水名。(廣韻)潭、水名。(正字通)潭、同潭。

潭(7—18595)に同じ。

●川の名。(集韻)潭、水名。(康熙字典)潭、同潭。

●川の名。(集韻)潭、水名。

五十里、蓋以名北水在金沙江東北、故銘之焉。(雲南通志)、金寧州、在州西一里、縣以上、西流水之正流也、明統志以孫水爲瀘水、誤。●設千戶所、(雲南通志)、洪武十四年、置所、隸越巂衛、屬四川都司、委百戶一人、領之、(明史)、衛所、洪武十四年、改爲千戶所、設指揮使、司、屬越巂衛、(明統志)、瀘州、在州西、源出雲南烏蒙山、(雲南通志)、瀘州、●州名。●姓、漢、(四川省瀘縣)、沱江、(四川省瀘縣)、春秋時巴國地、漢置瀘水縣、屬犍爲郡、(元和郡縣志)、瀘州、

瀉 18648 ヨウ（集韻）以主切 羊 yǎng

瀉（7—18416）の俗字。（正字通）瀉、俗瀉字。

潢 18649 ヒン（集韻）匹切 匿 pīn

潢小 ■■川の名。源は河南省淮陽縣の北の地の陽山。沙河の正源。無水を會して沙河となる。南汝河の上源。山海經は觀水といふ。（說文）潢、潢水、出南陽無陰中陽山入穎、从水横聲。（段注）潢陰、徐鉉作 無陽。今正。

潢 18650 ワウ（集韻）胡官切 厂 huán

ワウ（集韻）胡官切 厂 huán

潢小 ■■わたし。小さい渡場（漢〈7—18251〉）。様（6—13594）に通ず。（說文）潢、小津也、从水横聲。（段注）津、渡之水者也、小、作水、非（汪注）或借、漢字、亦省作横。●渡る。船で渡る。又、渡し舟（說文）潢、二曰、船渡也。「曰いか」だ。或は磺（9—20544）に作る。（廣雅）樣、水、潢、筏也（廣韻）潢、方舟也。二曰、荆州人呼淺津動爲潢、或作磺。

瀚 18651 ヨ 魚（集韻）水名。或作、

瀚小 ■■海。（集韻）瀚、大海。（集韻）瀚、水名。从水、翰聲。

瀚 18652 カン（集韻）侯肝切 厂 hàn

瀚小 ●沙漠の名。通じて翰（9—23780）に作る。

瀚（一）を見よ。（正字通）瀚、北海、漢書去病傳、瀚作翰海。●廣大なさま。瀚瀚（2—18362）に作る。（集韻）瀚、一曰、混瀚、水兒、或从鈴。

瀚大 ●人名。造瀚なことが海のやうであるから名づけられた。朝鮮に作る。又、又、野といふに作る。（漢書）去病傳、今外夷之地、瀚海、如言海、北海、瀚海、名義多以小海名之、瀚海、北海、名義多以小海名之、人馬相失、若此、蔚、瀚海、非、黃水、黑水、本、南、北、瀚海、北海、大風、則行者失、風相失、宋史、高麗三夫、不育、五義、山中生、皆名、蔚、以、又、山、名、歷代、朝鮮、府名、蔚、名の二字、漢以前、地を統、有、蔚、然、以、山、名、蔚、名、歷代、朝鮮、名、高句麗、府名、本

瀛 海名。[集韻]海名。[玉篇]海名。[廣韻]海名。[類篇]海名。[字彙]海名。[正韻]海名。[字彙補]海名。[康熙字典]海名。[漢語大詞典]海名。[漢語大字典]海名。[漢語大字典]海名。[漢語大字

【瀞】18659 セイ ジョウ

（集韻）正韻 **𣶒**

いきよい、いきさまよう。水のきよく澄んだ。**いきさまよう**ことの。或は清(7－17669)に作る。

（說文）瀞無垢濁也。清(7－17669)に作る。

瀞、或作清。通作淨。**閲**とも。河水の淡の極かな所。

【瀞八丁】ジョウハチテイ 紀伊国熊野川の上流。八町の間、水が深く流れるやうに見える谷から、絶壁を挟んで、南岸には谷所から、樹木茂り、猿が多く住み、天下に名高い。「鬼瀞」（瀞道人）ジョウドウジン 清、侍郎(1－589－95)の号。

【瀟】18660 セウ （集韻）羌韻切 **𣶒** 十二 ㄒㄧㄠ

●かんい。水が清く深い。**水**部。（説文）瀟、水清深也。●瀟瀟、風雨の激しげしいさま。（集韻）瀟瀟、風雨暴疾皃。

（楚辭）九歌、湘夫人 嫋嫋兮秋風、洞庭波兮木葉下。●瀟瀟、風雨の激しげしいさま。（集韻）瀟瀟、風雨暴疾皃。

（白居易、新豊店宿 瀟瀟、行止雖自由。

（蘇軾）、次韻子由 瀟瀟、暮雨洗林梢

□□□なめらか。(集韻)瀷、潛也。(禮)內則)滑瀷以滑之。(注)資入滑日瀷。

【遺】 18666

日キ (集韻)起水切 國
日タイ (集韻)任罪切 隊
日ダイ (集韻)徒外切 泰

□●魚のしたがひゆくさま。(玉篇)遺、魚行相隨皃。(廣韻)遺、魚盛謂之遺。一曰、水流皃。一曰、魚遶。●通。水流のさまを。又、魚の多いさまを。又、水流のさまを。又、魚遶、遺遺。(集韻)遺、遺遺、魚行相隨皃。一曰、魚盛謂之遺。一曰、水流皃。一曰、魚遶。●通。(玉篇)遺、通作。唯、亦作。(集韻)字典)遺、通作。唯、亦作。□□遺、□□遺、□□遺、

郎百首「瀧に絶え手苔なく瀧枕かな●瀧が多く枕にそそそそこと。「月清集、四」わがそばはたつるき寄なり。

【瀧殿】ﾘｮｳﾃﾞﾝ ●瀧に添つて作つた御殿。(源氏物語、藤袴「瀧どの」の心ばへなど心ばせおもしろき寄なり。

【瀧川】ﾀｷｶﾞﾜ ●ゥ ●ゥ ●ゥ

潯瀿瀣瀷瀷瀷

18469に同じ。〔集韻〕瀜、瀜瀜、水溶見。或省。●うかぶ 浮にうかぶ。〔郭璞、江賦〕浮泛瀜瀜。〔注〕善曰、字書曰、瀜、泛也。水流上及也。●みぎは なみうちぎは。瀜瀜、流貌。〔李密、陳情〕李密傳、瀜瀜、流貌也。●物のさま 瀜瀜、〔〕瀜瀜、物之見上。

【瀜】一 ●水の相連るさま 〔木華、海賦〕設文、瀜瀜、浮大無際。〔注、善曰、瀜瀜、相連之貌。〔〕浮大海、〔〕浮、〔〕郭璞、〔〕海賦、〔〕海外、〔〕影、〔〕平、〔〕瀜瀜、〔〕●高ちあがれるさま 〔集韻〕瀜瀜、力歌切、何故切、瀜瀜、〔〕〔〕〔〕

瀚 魯思彭彭聲。水と同。水と同じ。（あみ）とは酒をこす意を表はし、無は聲。字解を見よ。

【瀚】 18703 タク （集韻）吁角切 **鐸**

□ヨク 〔集韻〕遠蹟切 **職**
□ノキ 〔集韻〕呢力切 **職**
□チク 〔集韻〕著力切 **職**

瀛 小 □□●川の名。源は河南省密縣の馬鞍山から出る。（漢7－18695）に通ず。（説文）潢、潢水出河南密縣東入潁。（从水冀聲。（段文通訓定聲）潢、即潢之或體。俗謂之軟水。●魯陽で「はかに出来た流、落合つてできた流」（淮南子、覽冥訓）瀚受、（潢而無）源者。（注）潢、雨潢疾流者。（郭璞、江賦）（注）以「蒼潢」（注）蒼白、許慎曰、蒼瀚之流也。論曰、蒼瀚蒼海之水同流。（淮南子、本經訓）瀚流、（集韻）瀚、水名。在（注）瀚、水名。（集韻）

【瀚】 18704 ヨク 〔集韻〕況力切 **職**

瀛 小 □□●川の名。源は河南省密縣の馬鞍山から出る。（漢7－18695）に通ず。（説文）潢、潢水出河南密縣東入潁。（从水冀聲。（段文通訓定聲）潢、即潢之或體。俗謂之軟水。●魯陽で「はかに出来た流、落合つてできた流」（淮南子、覽冥訓）瀚受、（潢而無）源者。（注）潢、雨潢疾流者。（郭璞、江賦）（注）以「蒼潢」（注）蒼白、許慎曰、蒼瀚之流也。論曰、蒼瀚蒼海之水同流。（淮南子、本經訓）瀚流、（集韻）瀚、水名。在（注）瀚、水名。（集韻）

【瀚】 18705 カク 〔集韻〕滿鶴切 **藿**

セン 〔集韻〕滿鶴切 **藿** (chen)

瀚 小 □●ひたす。うるほす。水につけること。（漢7－18696）に通ず。（説文）瀚、漬也。从水歡聲。（段注篆）蓋以物置水中、而漚之。謂之瀚。（集韻）瀚、（説文通訓定聲）瀚、字亦作瀚。（淮南子、要略）瀚、（注）瀚、浦也。●あまねし。（呂覽、開春）瀚、於民心。（注）瀚、浦也。●或る時は満ち或る時は溢れる泉。（淮南、繆稱）水、泉一見一否。（管）瀚。●水がわづかにあるさま。（楊雄、反離騷）瀚、（淮南、繆稱、注）瀚、機有殘。（廣韻）瀚、又泉水出微兒。●しづむ。（廣韻）瀚、沒也。●ほろびる。ほろぼす。（漢6－16608）に通ず。（説文通訓定聲）瀚、段借爲殲。（公羊、莊十七）齊人殲于遂。●（漢7－18719）に作る。（左傳）瀚、通作澣。

（説文）ヒ。駁類の赤の清水をいふこと。（楊雄、甘泉賦）（注）瀚、清。（相如、子虛賦）（注）瀚、西足曰瀚。（説文）瀚、清。相如、子虛賦、（注）瀚、清。（集韻）瀚、（説文）ヒ。ひたしうるほす。（説文）瀚、漬也。（廣韻）瀚、沒也。（説文通訓定聲）瀚、段借爲澣。（説文）瀚、漬也。（説文通訓定聲）瀚、（説文）瀚、漬也。（説文通訓定聲）瀚、（説文）瀚、漬也。（説文通訓定聲）瀚、

【瀰】18712 ハン（集韻）平真切 **瓦**

●おほなみ。●あふれる。亦〔集〕(7—18713)に作る。(説文)瀰、大波也。—18713)に作る。(説文)瀰字、亦作〔集〕注論定瀰字、字亦作〔集〕注論定瀰字、亦作〔集〕注論定瀰字、亦作〔集〕注論定瀰字、

瀯 18719
ハク　通瀑。俗字。

瀇 18720
ヨウ　〔集韻〕古陽切　古ム　〔字彙〕

〔一〕●ます。小川の集って水がふえる。〔集韻〕瀇小水相聚。●水をもらうすあな。又、支流。境 13 5445 に同じ。〔正字通〕瀇同。境、左思、魏都賦、境流十二。同源異口。〔注〕境、魏都賦、境流十二。同源異口。〔注〕境曰、境、級水溝。水之處、曰有十二也。同源、同源水。異口、分流口。各別也。

瀾 18721
日ラン　〔集韻〕郎旦切
ランン　〔集韻〕郎胡切
ロン　〔集韻〕郎胡切

〔一〕●水が大いに至る。〔說文〕瀾、水大至也。从水闌聲。

瀜 18722
ラン　〔集韻〕郎可切　樂

〔一〕●大波。〔集韻〕瀜、大波。

瀜 小 18723
ハン　〔集韻〕芳袁切　元

〔一〕●大波。或は瀾。〔字彙〕瀜、同上。

瀚 18724
サウ　ソウ　〔字彙〕色莊切　蕭

●殺す。〔字彙〕瀚、殺物也。

瀛 18725
ハク　〔集韻〕或作瀛。

瀦 18726
レキ　〔集韻〕〔字彙〕〔正字通〕瀝、或作瀦。

〔瀜〕7 18719 ハク　通瀑。俗字。

〔瀇〕7 18720 ヨウ　〔集韻〕古陽切　古ム　〔字彙〕

〔一〕●ます。小川の集って水がふえる。〔集韻〕瀇小水相聚。●水をもらうすあな。又、支流。境 13 5445 に同じ。〔正字通〕瀇同。境、左思、魏都賦、境流十二。同源異口。〔注〕境曰、境、級水溝。水之處、曰有十二也。同源、同源水。異口、分流口。各別也。

〔瀾〕7 18721 日ラン　〔集韻〕郎旦切　ランン　〔集韻〕郎胡切　ロン　〔集韻〕郎胡切

〔一〕●水が大いに至る。〔說文〕瀾、水大至也。从水闌聲。〔玉篇〕瀾、大波。〔廣韻〕瀾、大波。〔集韻〕瀾、或作瀾。〔類篇〕瀾、或作瀾。〔字彙〕瀾、同上。●なみ。〔廣韻〕瀾、波也。〔集韻〕瀾、大波。〔類篇〕瀾、波也。〔字彙〕瀾、波也。●物のさまま。〔廣韻〕瀾、物也。〔集韻〕瀾、物也。〔類篇〕瀾、物也。〔字彙〕瀾、物也。●なみ。〔廣韻〕瀾、波也。〔集韻〕瀾、波也

瀯 18727
ジン
義未詳。(字彙補)瀯。句心切。
登陣出(金鑑)。

瀱 18728
音未詳
山名。(字彙補)瀱。音切未詳。(梭矢子傳四)至於瀱山之上。

瀷 18729
エン (字彙補)瀷同。
ふかい。(字彙補)瀷、深也。

瀸 18730
サク (字彙補)瀸同。
川の名。(字彙補)瀸、水也。

瀹 18731
キ (字彙補)瀹同。
川の名。(字彙補)瀹、水名。

瀺 18732
キ
邊6－6968の誤字。(字彙補)瀺、邊字之誤。

瀻 18733
リウ
瀏7－18607の本字。(正字通)瀻、本作瀏。

瀼 18734
エイ
瀛7－18556の本字。(正字通)瀼、本作瀛。

十八畫

瀾 18735
□サク
□サク
□ヨウ
(集韻)任角切 覺 ㄓㄨㄛˋ chuo⁴
(集韻)賣學切 覺 ㄓㄨㄛˋ chuo⁴
(集韻)子宵切 嘯 ㄗㄠˋ chiao⁴
水の音。もと瀾7－18821の小さい者。(說文)瀾、水之小聲也。从水爵聲。(司馬相如、上林賦)瀾瀾聲。(注)義曰、字林曰、瀾、小水聲。㊀大波の打ち合ふ音。(郭璞、江賦)瀾浪崇山。(李善曰、大波相激之聲。㊁物のさま。(處7－18714)。注(6－17281)に同じ。(集韻)注、處作、水落皃、或作瀞。㊂うるしぬり。車輪を漆で塗ること。(集韻)車轅漆也。(周禮、考工記)輪人、百輪瀾漬。(疏)瀾、謂。漆。くらむ。眩(6－23194)。第(8－23831)に通ず。(說文通訓定聲)瀾、假借爲眩。眩、(山海經、北山經)小侯之山、有鳥焉、名曰鵸、見人則眠、食人之不睫。(注)不、無。目也、或作瞑。(考證)ㄓㄨㄛˋ、水の落ちるさま。注作、。貫休、(題吏部蔡侍郎)風吼如雷、(雪成大、樂堂雜詠)時注作、瀾瀾、雪落有聲如雨。

瀾 18736
□ヤク
□ヤク
(集韻)聲激切 錢
(集韻)亟格切 陌
□□あわてる。怖れあわてるさま。瀾流、(方言、十二)瀾流任伝、遑遽也。江湘之間、凡震怖遑遽、謂之瀾流、或謂之瀾、或謂之瀾、怖慮也。㊁通じて怖。→1568

瀾 18737
□ソン
□サン
四セン
(集韻)式戍切 遇
(集韻)賣戍切 遇
(集韻)桓緩切 旰
□瀾會は水流の早いさま。(集韻)瀾、瀾會、水流疾皃。(郭璞、江賦)瀾瀾會(注)瀾、皆水流疾皃之貌。□水のさま。(集韻)瀾、瀾會、水流疾皃。□同じ。(集韻)瀾、水皃。(廣韻)瀾、日、果敢也。□瀾汎は、水に浮ぶさま。(漢7－18157)に同じ。(廣韻)瀾、瀾汎、水浮皃。(集韻)瀾、浮皃、或从魚。四流れるさま。(梵7－18031)に同じ。(集韻)瀾、流皃、或作瀾。

瀾 18738
コウ
(玉篇)戶工切 東
おほなみ。(玉篇)瀾、大波也。

灋 18739
フウ
(集韻)敷戈切 戈 ㄈㄨㄛ fuo
國ホウ
川の名。(說文)灋、水名。在成陽。(書、禹貢)厚在豫。(注)灋、一作鄗。(詩、大雅、文王有聲)豐水東注。(傳)灋、豐、古字。

灌 18740
リウ
瀏7－17943に同じ。(字彙補)瀏、同。

灌 18741
□セツ
□ヂツ
□ヂツ
(集韻)元沙切 薛 ㄕㄨㄚ shua
(集韻)直弓切 屋 ㄔㄨㄥˊ chung²
(集韻)既必切 質 ㄐㄧˋ chi⁴
灌7－18390は別字。(字彙、補)俗字。□□相似、(玉篇、補)俗字。(字彙、補)俗字。□□水名。(集韻)瀧、一名灌。(說文)瀧、水名。在臨淮。(漢書、地理志上)瀧水出、扶風。(續漢書、郡國志一)瀧水出、扶風。(水經、渭水注)瀧水出、扶風。(續史方輿紀要)瀧水、在鳳翔府寶雞縣東。(清、統志)水名。在鳳翔縣東南。(清、統志)水名。在鳳翔縣東南。(清、統志)瀧水、一名瀧水。(清、一

小舊切。以爲舟輿浮瀛（章樾注）瀛（浮棧）

【潟】 18741 ㄒㄧㄚˋ（集韻）胥水切 **鍋**

鐵の名。湖北省黃陂縣西南、漢水の口。平蕪鐵路に沿ふ。水經、江水注「江水東逕沔口。水道太白湖、又東合漢口。（讀史方輿紀要）湖廣、黃州府、黃陂縣）漢口城、胡氏云、漢口在武口之上、對岸即夏浦。

「潟水」ｺｳ。川の名。源あり、湖北省黃安縣。（讀史方輿紀要）黃陂縣、黃安縣）、流して黃陂縣に入る。（讀史方輿紀要）黃陂縣）潟水本流水分流、水經注、潟水七水、可水於安陸縣、故云、潟水、江之支流、蓋在黃陂縣、通陽縣、北台、淪、孟、孟、漢、陽、沔也、下流東經、通陽縣、黃陂縣、漢陽縣、（讀史方輿紀要）黃陂、黃陂縣、漢陽府、黃陂縣）潟水、

【瀹】18751 カン ケン 〔集韻〕賈緩切 〔潔〕

●ながす。〔説文〕瀹、漬也、从水从龠聲。〔廣韻〕瀹、洗米。●あらふ。〔廣雅、釋詁二〕瀹、洒也。

【𣶒】18752 ソウ 〔字彙〕洖切 〔東〕

水の音。〔玉篇〕𣶒、水聲。

【瀷】18753 サツ ザチ 〔集韻〕才達切 〔𠭯〕

雨の音。〔集韻〕瀷、雨聲。

【𣶒】18754 ヨ 〔集韻〕子一切 〔𠭯〕

通、同。〔集韻〕瀷、同𣶒。

【𣶒】18755 ハン ホン 〔集韻〕浮真切 〔顧〕

いづみから出る水。又、泉水がに はかにあふれる。又、𣶒に作る。〔説文〕𣶒、泉水也、从泉𣶒聲。讀若飯。〔段注〕泉水者、泉出之水也。淮南書云、昊、鑿於𣶒、而鑿於潛水。許注云、楚人謂水基𣶒爲𣶒。𣶒𣶒基𣶒曰𣶒也。

【濃】18757 ハク 〔集韻〕古玩切 〔翻〕

濃(7－17258)の古字。(王篇)濃、古文。

【𣶒】18758 ハク 〔集韻〕古玩切 〔翻〕

濃(7－18527)に同じ。(字彙補)𣶒、同濃。

【灌】18759 ①カワン 〔集韻〕古玩切 〔翻〕 ②メイ kuan

①そそぐ。②水をつぎかける。まきかける。〔説文〕灌、注也。从水雚聲。〔段注〕灌、謂以水灌之。〔玉篇〕灌、澆也。〔廣雅、釋詁三〕灌、注也。〔呂氏春秋、季夏紀、音初〕灌、注也。〔荀子、天論〕灌、注也。〔詩、毛氏傳〕灌、注也。〔詩、大雅、板〕老夫灌纏、今日之憂、〔箋〕灌、猶歎歎也。〔詩、行葦〕敦彼行葦、牛羊勿踐、〔箋〕敦、猶聚也。〔詩、大雅、皇矣〕其灌其栵、〔傳

攜、其の日は津書古文・石鼓辭・秦刻石・方寸地・鼎彝・朴不・可・鬲・石刻・陳同・大輪・車軸八・官掌・書原・秦・印・璽・石刻・天例・魏生・清平調詞・子・丘・清・論語・隋・唐・尚主・漢・唐・日本・蘇大子の西の鏡。

〔淮南先生〕淮南子。

〔淮南王〕淮南王。

〔淮南子〕淮南子。

〔淮南老聞〕淮南子。

〔淮河〕淮河。●河に注ぐ。●『荀子・秋水篇』水時至、百川灌河。●の名。江蘇省淮安縣の南。南北の流れ。

〔灌園〕園に灌ぐ。●『荀子・秋水篇』水時至、百川灌河。●の名。江蘇省淮安縣の南。南北の流れ。

〔灌叢〕叢に灌ぐ。●『後漢書・馮魴伝』魴、叢に灌ぐ。

〔灌田〕田畑に水をそそぎかける。作物の成長を助ける。●『後漢書・馮魴伝』魴、叢に灌ぐ。

〔灌溉〕田に灌ぐ。●『後漢書・馮魴伝』魴、叢に灌ぐ。

〔灌口〕灌口。●『後漢書・馮魴伝』魴、叢に灌ぐ。

〔灌口二郎〕灌口二郎。●『後漢書・馮魴伝』魴、叢に灌ぐ。

〔灌口神官〕灌口二郎。●『後漢書・馮魴伝』魴、叢に灌ぐ。

〔灌口二郎神〕灌口二郎。●『後漢書・馮魴伝』魴、叢に灌ぐ。

〔灌口神官〕灌口二郎。●『後漢書・馮魴伝』魴、叢に灌ぐ。

〔灌口二郎

【瀧】ロウ ryō 漢 呂 ●水の名。

【瀧】ロウ ryō 漢 呂 ●水の名。

【瀧】ロウ ryō 漢 呂 ●水の名。

【瀋】 18767
ヘン ホン 〔集韻〕孚袁切 元
米のしろみづ。瀋（マ＋18326）に同じ。〔集韻〕瀋、米瀋也、或作、瀋。

【瀸】 18768
エン 〔集韻〕〔類篇〕胡瓢切、與、瀸同。〔字彙〕瀸（マ＋18369）に同じ。〔類篇〕瀸、或書、與、瀸同。

【瀘】 18769
ロ 〔集韻〕〔類篇〕〔字彙〕力固切、與、瀝同。

【瀧】 18770
ハン 義未詳。〔搜真玉鏡〕蕃吉翔。

【瀛】 18771
フン 〔集韻〕〔類篇〕〔字彙〕〔字彙〕〔字彙

尾閭相通、遭汪濊地、白玉宮流(水經、河水注)竹木又東逕藪鼠洑、注海右池、云云。響象以

【灑】[illegible]。[illegible]、[illegible]、[illegible]、[illegible]。

【灑灑】[illegible]。

循化」縣の境。〔漢書・地理志下〕白石・離水出。西塞外。東至塞外。●通江をいう。潮水は廣西省興安縣の陽海山、湘水と同源。湘水と分れて西南流し、桂江となり、梧江となして西江とはなる。〔水經・漸水〕漸水出陽海山。〔水經注〕漸水東出陽海山。〔水經・湘水〕湘水出陽海山。〔水經注〕湘水東流、陽海山、西北流、陽海山、水本、水出陽海山、西北流、陽海山、水本、水出陽海山、西北流、陽海山、水本、水出

【澦】 18788 レイ ライ 【集韻】【正韻】 圖

みちる。ふさがる。 淦(8－17246)に同じ。
【集韻】【類篇】滿也。荘子、隆陽之氣有憑而生蜃。
説、【荘子、大宗師】隆陽之氣有淩而生蜃。
淦 注 澦 注云、滿也。

【澦】 18789 ヨク 【集韻】【類篇】【正韻】 澳(7－18532)に同じ。【説文】【集韻】【類篇】【正韻】水鳥名。
【説文】【集韻】【類篇】【正韻】水鳥名。
【説文】【集韻】【類篇】【正韻】水鳥名。

氣(俱)●通じて嘯。(9・22787)に作る。(康熙字典)「瀟」は、清嘯(近12・4589・28)の誤。

【瀑】 小 12812 □ロ・ル(集韻)倫迅切 □ロ・ル(集韻)奔水切 **瀑**

●景 小 ■ 定河といふ。源は西省代縣の紫銀山、海に注ぐ。漢(7・18169)・漢(7・18742)に同じ。(說文)「瀑、瀑水出弘農門陰館累頭山、東入海、从水暴聲、一曰、治水也。(段注)各本作「或曰、今依集韻・類篇作「一曰」。(集韻)「瀑、亦作「漂」。

【瀟】 12813 ヤク 讀(集韻)或作「瀟」。●漢(7・18769)に同じ。(集韻)「瀟、亦作「瀟」。

【瀟】 12814 ハ (集韻)芝切 □ハ、ワ、ヒ、ヒ

川の名。通じて霸(12・42390)に作る。「瀟水(2)」を見よ。(集韻)「瀟、水名。(康熙字典)「瀟、●瀟水、二水の名。(史記、封禪書)「瀟水・灃水、以奉(見)周室。(集解)(徐廣曰)「陝西省長安の東、灃水に流れ、渭に入る。此の瀟に至つて、梅枝を折り、愛別の意を表はしたり。●瀟水、霸陵折梅を見よ。(唐詩)「竹映・村邊(瀟)橋、(羅隱、集句)「春雨人不(來)、(瀟)橋往日煙。(羅隱、送)・滿州使君、詩)「瀟橋酒盞新、別(從)此江心南所思。

【瀟橋折柳】古、長安から東へ行くに人を送るに、皆、瀟橋に到り柳を折つて別れを告げた。(唐詩)「折柳折盡春、春來人不歸。(韓愈、送)・六歌)「瀟橋在長安東、跨水作橋、漢人送客至此、折柳贈別。(全唐詩)「瀟橋をゆく驢馬の背上、詩思を浮べるに絶好な所なり。(唐詩)「灞橋の背上、詩思を浮べること、いかに何ぞ、(唐詩)「詩興を浮べるのは、これに過ぎる場所の要なしとをいふ。或る人が唐の都長安に、近頃佳作があるかと問ふた時、詩思は灞橋驢背の中、驢子の背上にあると答へ、今のやうに俗事にうすきはつてみては、美しく詩興も起らぬとのつた故事。(全唐詩)「詩思は相國寺裏、詩云云、或曰、相國寺、新寺名、對曰、詩思在灞橋驢背上、此何以知之、答曰、今年生苦心也、北夢瑣言)「鄭綮曰、詩思在灞橋驢背上。

【灞】 12815 ショウ ソク 讀(集韻)米欲切 **灞**

●灞陽は、恭しきまま。(廣雅、釋詞)「灞、敬也。(集韻)「灞、博雅、灞灞、恭也。●灞陽は、形のないさま。(淮南子、天文訓)「洞洞灞灞、(注)「無形之貌。(集韻)「灞、目什。

【瀚】 12818 ビ (字彙)武移切 **瀚**

●瀚海は、地名。長安城の北。漢の文帝を禅つて後、瀚海と云ふ。(漢書、匈奴傳)「漢興、以冒頓之強、而高后時、冒頓書絕無禮、高后怒、將擊之、諸將皆言匈奴新得水草、畜滿、未可擊、上乃止。(史記、匈奴傳)「漢興、以來、冒頓最強、控弦之士、習於戰鬬、高后時、冒頓書絕無禮、高后怒、將擊之、諸將皆言匈奴新得水草、畜滿、未可擊、上乃止。(漢書

【灣】18823 ワン エン（集韻）烏關切 𠃊

●水のくま。入江。入海。水が陸地に入り込んでいる所。（集韻）灣、水曲也。（廣韻）灣、望江灣名。（字彙）灣、水曲也。（司馬光、西湖詩、湖如龍尾灣）沙如龍尾灣。（司馬光、西湖詩、湖如船歌欸拂者灣。●いりくむさま。灣灣然（ニ）と見よ。（現）の繁で、碇泊する。●曲げる。曲がる。

【灣臨】ワン ……。灣臨して出た岸。（王安石、初夏即事詩、石梁茅屋有山泉、灣臨空榭落花眠）

【灣崎】ワン ……。灣臨して出た岸。（王安石、初夏即事詩、石梁茅屋有山泉、灣臨空榭落花眠）

【灣機】ワン ……。入江の入れ。（王逢、江海、竹枝詞、西吹、李鮮風度、灣入情熱、白雲流樹）

【灣曲】ワン ……。曲がること。繁曲。

【灣洞】ワン ……。水のめぐった所のくま。（武陵、出郊、詩、客行鼎湖、灣洞、鳴泉、清流）

【灣頭】ワン ……。水のめぐった所のくま。（杜甫、馬嵬詩、馬嵬山下、灣頭、清渭、東流水）

【灣流】ワン ……。めぐって入り込んでいる。（白居易、既出水、詩、廣陵八月天、灣頭有、清流、（蘇軾、全唐、保中郎、建業構堂、西外水口、灣頭、陳侯、）

【灣子】ワン ……。手段、計略。

【灣尺】ワン ……。曲尺。大工尺。

【灣船】ワン ……。碇泊する。碇泊する。

【灣然】ワン ……。水が曲がりのやうに入りこんださま。（柳宗元、「永州八記」、袁家渴、「……灣然而止」）

（柳宗元、「……水州刺史使者、遊、……南也」）袁家渴、城南、環以、數里、近、山、林麓、其底、谷、之、袁、家、渴、紀、

【灣直】ワン ……。曲直。曲がったことと、まっすぐなこと。

【灣地】ワン ……。細長い、明、灣、旬、土、州、（灣、旬、土、州、）

【灣】ワン ……。（字彙）灣、水曲也。（字彙補）灣、字、林、旬、土、州、（灣、旬、土、州、）

（灣、旬、土、州、）

鴻。

【灤】18833 ラン（集韻）盧谷切 ガメ ガ luan

（集韻）灤水、出上都河。（集韻）灤、說文、渦流也。或从攣。

（集韻）灤、川の名。古の灤水、滦河の流れ。灤は内蒙古語源駱の馬尼圖湖の北、滿洲熱河省の境に入り灤河という。敦遠に分れて遼河（河）に純る。（漢書）灤水、出分而入海。（水經注）灤水、出上谷居庸縣東北、東流逕居庸縣西、又南逕軍都縣西、又南逕昌平縣西、又南逕潞縣西、又南逕安樂縣西、又南逕雍奴縣西、又南逕泉州縣西、又南逕雍奴縣西、又南逕泉州縣西、又南逕雍奴縣西、又南逕泉州

二十九畫

【欙】 18847
ウチ 〔集韻〕初刀切 〔廣韻〕初刀切 〔X〕

●欙清は、火水のさまを。〔集韻〕欙、欙清、大水皃。●欙欙は、高崎のさま。〔本草〕海獄、澎湃欙欙。〔注〕潮曰、欙欙、高崎貌。

三十畫

【爲】 18848
ヒウ 〔集韻〕必胸切 〔X〕

水の晉 〔集韻〕爲、水聲。

三十二畫

【爨】 18849
タン 義未詳。字彙補 〔試〕音揮。

火部

【火】 18850
クワ 〔集韻〕呼果切 〔廣韻〕呼果切 〔X〕

火 〔小篆〕

●ひ。①物が燃える時に生ずるもの。熱と光とを有する一種の氣體。〔說文〕火、燬也。炎上象形。〔段注〕燬、各本作「燬」今正。下文曰、燬、火也。〔篇海〕輔注。〔王篇〕火、燧人造。火於形。〔周禮〕夏官、司爟、司爟、掌行火之政令。〔注〕春取榆柳之火、夏取桃杏之火、季夏取桑柘之火、秋取柞楢之火、冬取槐檀之火。〔論語〕陽貨、鑽燧改火、〔疏〕鑽非字、五藏有聖人作、鑽燧取火、以化腥臊、而民受之。使士、天下、號之曰燧人氏。②燃える物。いたいつっともしびの類。〔南史〕羊侃傳〕乃令多擲火爲城以禦。其時、〔北史〕崔浩傳〕若夜蛾之投火。③光。あるもの。あかりを焚するもの。〔晉書〕車胤傳〕夏月則練囊盛數十螢火、以照書。④火災。火事。小さい火事。〔左氏、宣、十六〕人見火、天火曰災。〔左氏、昭、十八〕陳不一救火。〔公羊、襄、九〕大喜曰災、小喜曰火。⑤火の樣樣。十二章曰災、小喜曰火。⑥火の樣樣。十二章

傳、洪範五行傳、注、觀曰、火。⑦五臟では心。〔正字通〕心、火藏也。〔玉篇〕心、君火、炎上象。⑧五行の一。〔春秋繁露、五行之義、火居南方、而主夏。〔禮〕文王世子、南方之氣、以生長爲主。〔素問〕氣交論、時論、其日丙丁。〔注〕丙丁、火、南方。⑨天干の第三。〔儀禮、論語、〕五事の一。〔書、洪範〕五事、一曰貌、二曰言、三曰視、四曰聽、五曰思。〔疏〕火外光、故視屬火。〔尚書大傳〕五行傳、注、視曰火。⑩五臟では心。〔正字通〕心、火藏也。〔玉篇〕心、君火、炎上象。⑪心臟。⑫大火。然則心臟、火也。⑬いや。たく。〔禮〕王制〕已篇本禁、不以火用。〔禮記〕檀弓、⑭火をたく。〔禮〕王制〕已篇本禁、不以火用。〔禮記〕檀弓、⑮火にかかる。燒える。〔左氏、宣、十六〕成周宣榭火、人火之也。〔杜注〕人火、使用、⑯火を使用することの。〔禮〕王制〕有不火食者。●かへる、やぶる。變化する。〔釋名、釋天〕火、化也、消化物也、亦言、燬也、燬、火、火氣化也、隨也、隨物變隨也。●したがふ。委隨。〔白虎通〕五行、火之爲言、言、萬物所隨。●陽 太陽。〔白虎通〕五行、火者、陽也。〔風俗通、皇霸〕南書大傳說、達人以火、化也、火、太陽也、陽象、故氏。〔尚書、洪範〕五行傳、火、炎上、水、潤下、木、曲直、金、從革、土、稼穡。●しるし。〔禮記、樂記〕火、大火、火星、火、火、火

炎（杜甫三川觀水漲詩天雲出無時飛電
常欲炎上）〔紀纂〕三川觀水漲詩天雲出無時飛電
欲炎上〔紀纂〕〔紀纂〕〔紀纂〕

不等。〔清朝行政法論〕官吏懲戒科。條給。案據銀傳者。照地組織加減類。

火柱 名 ①火柱を燃やのたいまつ。火を燃やして照明する。

火柱を燃やのたいまつ。火を燃やして照明する。

火柱 名 ①同じ。「二六部敬地」「二六部敬地」「二六部敬地」

と一機・諸運三百斉先王云云未・有二火化・食・禁水之實・鳥獸之肉・飲其血・茹其毛・云云未・有二火化・食・方技上・趙月無傷・自是不・喜熟食・及火化者・未・聞如・此・後・世・以・現代・解・魯・三十・一・記・○『谷梁傳』・民・以火・修・百・種・民・火化之・說・起・○『書經』・洪範・五行・云・炎上・作苦・注・炎・上・熱・苦・焦・之・類・注・疏・炎・上・者・火・之・性・炎・上・而・作・苦・者・人・之・味・苦・焦・之・類・○『禮記』・月令・孟夏之月・其・帝・炎帝・其・神・祝融・其・蟲・羽・其・音・徵・其・數・七・其・味・苦・其・臭・焦・其・祀・竈・祭・先・肺・○『禮記』・祭義・祭・竈・之・日・祭・先・肺・○『禮記』・檀弓・上・君・之・喪・食・粥・三・日・而・後・食・菜・果・三・日・而・後・食・肉・三・日・而・後・飲・酒・三・日・而・後・聽・樂

こと。遺家の語（参同契注）古有二升煮造火候功夫、謂之火符。（八段錦不二門序）亦曰煉丹火候。（内篇玄珠）●擎間 餘業をふつ。（魏書外史）●擎間 餘業をふつ。（魏書外史）●擎間 餘業をふつ。（魏書外史）

●火候 ●火候 ●火候

上）推）

火遺 遺敗。

（唐書）

馬隨傳）

（志彌武）●東大

名。朝賀大火殿。又鑑遺書云、百官表出火精瑣碎。百戴刑、林鼎新火珠。陳唐書羅浮記、林鼎新火珠、狀如水精、云火精。於主家得多、火珠大如雀卵、圓白無數尺、日中以艾藥、輒火出。

●巫法の名。薯の代を以て、ことづくべし。後、齊隋に強行する。

（本草、垣下灰）

（本草、垣下灰）

（唐書）

（本草、垣下灰）

（本草、垣下灰）

（本草、垣下灰

火鋺 [illegible] 鐵鉢い。火鉢、又口、鉢焙。 [illegible]

火炙 [illegible] 煎焼きたものの二種。王溥、凡食果實煮後、君子、火熟者先君子。

火肉 [illegible] 火をうつかふ肉。[illegible]

火南 [illegible] 有火南、呉主孫権遣之。秋八月、火燒、九宮、至於[illegible]燈等を接続する術をいふ。和漢三才圖會、兵器部、流星、「[illegible]的火の[illegible]後則[illegible]戦、才過[illegible]黄東海相[illegible]、以[illegible]、[illegible]也、論九大[illegible]」

火[illegible] [illegible]たけのこの乾したもの。本草、竹[illegible]、[illegible]、[illegible]、

云火珠〔一名瑞鏡〕。名瑞鏡。

〔火精剣〕[illegible]。剣の名。〔海錄談事〕百七刀剣部〔鑑賞巻天〕。[illegible]火精剣。出ず。殺内に逢い。

〔火齊〕[illegible]。●火齊珠に同じ。〔錄非子〕喩老〕

〔火齊珠〕[illegible]。●火齊に同じ。〔錄非子〕喩老〕

〔火齊鏡

[illegible]我 武王曰、敵大樂吾左右、又樂吾前後、[illegible]

[illegible]太公云、武王問、[illegible]

[illegible]

[illegible]

也。[illegible]。[illegible]。[illegible]。

火場 [illegible]。[illegible]。[illegible]。火事場。

火定 [illegible]。[illegible]。[illegible]。[

[火伯]300 ［火］ 漢代、竈の王をいふ。一説は長老五人、大長一人拔ぶ。〔六合注、輿服〕漢制、長史五人、戸竈、置一伯。故曰伯亦曰火伯。〔水経注、渭水〕 ●也。〔史、祭祀書〕 ●を見よ。〔六合注、輿服〕漢制、長史五人、戸竈、置一伯。故曰伯亦曰火伯。〔水経注、渭水〕

[火葬]300 ［火］ 屍を焼く。〔和漢三才図会、人倫〕 ●を見よ。〔六合注、輿服〕漢制、長史五人、戸竈、置一伯。故曰伯亦曰火伯。〔水経注、渭水〕

[火鉢]300 ［火］ 灰を盛り、炭火を盛る皿。器。〔和漢三才図会、器用

名（本草、景天）釋名、懷火、戒火、拔火、燎火、火燕 [illegible]。火客。

●樂曲の名。（樂武舞降神）舞人降場、火鳳羽翼也。●佛風の一。（樂武舞降神）舞人降場、火鳳羽翼也。●佛風の一。（樂武舞降神）舞人鳳有凰求不得、夜鳴無伴轉空長。

火鳳 [illegible] 易枝の異名。（陶弘景、易枝注）赤封連、強無比、[illegible]、[illegible]、[illegible]

一小奥。

火燧 ①ひうち。火燧の歴道。（隋書・音樂志二）火德の王者の歴運。（唐・韓愈・送殷侍御・火燧歴陳・禁殿帝

火列 ①ひつ。（文列・文選陳・作・火燧歴陳・禁殿帝

火列 ①ひつ。（文列・並べて名ける大。四は列

炬列 ①ひつ。（文列・並べて名ける大。四は列

勢が盛んなこと。（後漢書・樊宏傳）②ひつ。火の

火盛 ①ひつ。（文盛・盛・周禮・鄭傳・注・北軍二軍

火盛 ①ひつ。（文盛・盛・周禮・鄭傳・注・北軍二軍

錄・同司馬・注・鄭・注・鄭・注・鄭

長く、宰は悔、胸は梨、半ばは絆皮を貼る。凜不似、和沙斯（元史、禮樂志五六木思、制如「琵琶」正子通、元左天樂部有、火不思、制似琵琶今山陝州彈、琵琶同、蓋火不思の轉語也。）

火苗 同上 huo miao, chia miao, ほのほ。火焰。

火葫蘆 同上 huo hu lu, yao hu lu, 火藥製造所。

火葫蘆 同上 huo hu lu, yao hu lu, 火藥庫。

火老鼠 同上 huo lao shu, 火事場におけるつつ。

火老鼠 同上 huo lao shu, 火事場の乞坊。

火落赤 同上 huo luo chi, 明、河套の、後客に隨つて、青海に據り、藩民を脅して跳に入寇し、西寧に逼近す。藩民を脅して出でて経略し、遂に帳を開き、洮・岷・臨・鞏・西川を陥して遂に破らる。明史二百一十七、三百二十七。

火光兒 同上 huo kuang erh, 火の粉、火花。

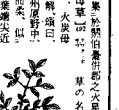
火藥庫 同上 huo yao ku, 硫黄末を炮製にまぜて食べさせ、交尾させずにおいて、千日間果た社稷の要品、（宋史、職官、四、兵部、公憲、唯、鹽鬼、膽粉、故事、脚食、用、硫黄末、攙、砒鉛、味、鹽鬼、不、攙、加、砒、鉛、故、絶、命。）

火上添油 同上 huo shang tien yu, 火上に油をかけるも、おだてる。尾押しする。けしかける。

火上澆油 同上 huo shang chiao yu, 火上に油に同じ。

火神廟 同上 huo shen miao, 河南の陝縣西北月七日を以て祭礼を為す。（明、衛光寶、鄭丘記、正月七日、宿僧、醉伯水正生日、男女車馬、香火、無、於、鄭州、郭、北、郭、外、火、神、廟、民、公、祭、之、日、）

火部 火八 〔一畫〕 炎



（圖典會清）思不火

火炭母草 同上 huo tan mu tsao, 草の名。おろいばな。

火草 同上 huo tsao, 草の名。

火焦鮮 同上 huo chiao hsien, 蒸黄鮮、頭目、鹽、醋、胡椒、胡荽、茴香、蔥、蒜、麻油、胡椒、胡荽、茴香、蔥、蒜、麻油、胡椒、胡荽、茴香、蔥、蒜、麻油

【灮】 18853 サツ さい cai

囲油であげる。炸(7－18879)に同じ。

【炗】 18854 クワウ 光(7－13590)の本字。(正字通)炗、光本字。

二 畫

【灯】 18855 ①テイ (集韻)丁聘切 ②チャウ ③トウ 鬬チン カム tang

①ひ。はげしい火。(集韻)灯、火也。(類篇)灯、燈火也。□燈(7－19402)の俗字。(正字通)灯、俗燈字。

【灸】 18856 タイ (五音集韻)江皮切 ㄊㄞ

す。灸(7－18957)に同じ。(五音集韻)灸、煤也、同、炱。

【灰】 18857 ①クワ (字彙補)果切 ②タイ (字彙)成雷切 灰

火部 (一畫) 灮 炗 灯 灸 灰

【灰】 18858 クワイ (集韻)呼回切 ㄏㄨㄟ hui

灰 小篆 灰 未狀の物質。もと炎(7－18968)に作る。(正字通)灰、俗作灰。

①はひ。灰の燃えた後に残る粉末狀の物質。もと炎(7－18968)に作る。(正字通)灰、俗作灰。(說文)炎、火也。灰、灰燼、可以執物。(周禮、地官、掌炭)掌炭、物炭、可以執物。(周禮、地官、掌炭)掌炭、物炭、可以執物。(禮、月令、季夏)燒灰、物之成命、以助時入之。以上、權量、受之。以灰。(注)火之滅者爲灰。(禮、內則)冠帶垢和、灰請濯、衣裳垢和、灰請澣。●灰にする。焼き盡くする。(後漢書、杜篤傳)燔廬居、珍奇。●灰になる。ほろびる。(謝惠連、祭古冢文)灰、(注)就曰、應、手卻破、如灰滅也。●浄罵がなくなるこのたもの又、しつかな魂。(荀子、天論)不一復然、手、(楊倞、注、史記、韓長孺傳)百餘自憐心未灰。●石灰の略。(本草、石灰)生無、煩日、所在近山處皆有之。燒青石爲灰也。●俗に灰(7－18958)に作る。●中華大字典)灰、灰俗字。●取るに足らないもの喩。ちりひちり。ちりあくた。⑪浸漬色。灰

【灰】 18858

①はひ。灰の燃えた後に残る粉末狀の物質。もと炎(7－18968)に作る。(正字通)灰、俗作灰。(說文)炎、火也。灰、灰燼、可以執物。(周禮、地官、掌炭)掌炭、物炭、可以執物。(禮、月令、季夏)燒灰、物之成命、以助時入之。以上、權量、受之。以灰。(注)火之滅者爲灰。(禮、內則)冠帶垢和、灰請澣、衣裳垢和、灰請澣。●灰にする。焼き盡くする。(後漢書、杜篤傳)燔廬居、珍奇。●灰になる。ほろびる。(謝惠連、祭古冢文)灰、(注)就曰、應、手卻破、如灰滅也。●浄罵がなくなるこのたもの又、しつかな魂。(荀子、天論)不一復然、手、(楊倞、注、史記、韓長孺傳)百餘自憐心未灰。●石灰の略。(本草、石灰)生無、煩日、所在近山處皆有之。燒青石爲灰也。●俗に灰(7－18958)に作る。●中華大字典)灰、灰俗字。●取るに足らないもの喩。ちりひちり。ちりあくた。⑪浸漬色。灰

【灰】 18858 クワイ (集韻)呼回切 ㄏㄨㄟ hui

①はひ。灰の燃えた後に残る粉末狀の物質。もと炎(7－18968)に作る。(正字通)灰、俗作灰。(說文)炎、火也。灰、灰燼、可以執物。(周禮、地官、掌炭)掌炭、物炭、可以執物。(禮、月令、季夏)燒灰、物之成命、以助時入之。以上、權量、受之。以灰。(注)火之滅者爲灰。(禮、內則)冠帶垢和、灰請澣、衣裳垢和、灰請澣。●灰にする。焼き盡くする。(後漢書、杜篤傳)燔廬居、珍奇。●灰になる。ほろびる。(謝惠連、祭古冢文)灰、(注)就曰、應、手卻破、如灰滅也。●浄罵がなくなるこのたもの又、しつかな魂。(荀子、天論)不一復然、手、(楊倞、注、史記、韓長孺傳)百餘自憐心未灰。●石灰の略。(本草、石灰)生無、煩日、所在近山處皆有之。燒青石爲灰也。●俗に灰(7－18958)に作る。●中華大字典)灰、灰俗字。●取るに足らないもの喩。ちりひちり。ちりあくた。⑪浸漬色。灰

【灰】 18858 クワイ (集韻)呼回切 ㄏㄨㄟ hui

①はひ。灰の燃えた後に残る粉末狀の物質。もと炎(7－18968)に作る。(正字通)灰、俗作灰。(說文)炎、火也。灰、灰燼、可以執物。(周禮、地官、掌炭)掌炭、物炭、可以執物。(禮、月令、季夏)燒灰、物之成命、以助時入之。以上、權量、受之。以灰。(注)火之滅者爲灰。(禮、內則)冠帶垢和、灰請澣、衣裳垢和、灰請澣。●灰にする。焼き盡くする。(後漢書、杜篤傳)燔廬居、珍奇。●灰になる。ほろびる。(謝惠連、祭古冢文)灰、(注)就曰、應、手卻破、如灰滅也。●浄罵がなくなるこのたもの又、しつかな魂。(荀子、天論)不一復然、手、(楊倞、注、史記、韓長孺傳)百餘自憐心未灰。●石灰の略。(本草、石灰)生無、煩日、所在近山處皆有之。燒青石爲灰也。●俗に灰(7－18958)に作る。●中華大字典)灰、灰俗字。●取るに足らないもの喩。ちりひちり。ちりあくた。⑪浸漬色。灰

【灰】 18858 クワイ (集韻)呼回切 ㄏㄨㄟ hui

①はひ。灰の燃えた後に残る粉末狀の物質。もと炎(7－18968)に作る。(正字通)灰、俗作灰。(說文)炎、火也。灰、灰燼、可以執物。(周禮、地官、掌炭)掌炭、物炭、可以執物。(禮、月令、季夏)燒灰、物之成命、以助時入之。以上、權量、受之。以灰。(注)火之滅者爲灰。(禮、內則)冠帶垢和、灰請澣、衣裳垢和、灰請澣。●灰にする。焼き盡くする。(後漢書、杜篤傳)燔廬居、珍奇。●灰になる。ほろびる。(謝惠連、祭古冢文)灰、(注)就曰、應、手卻破、如灰滅也。●浄罵がなくなるこのたもの又、しつかな魂。(荀子、天論)不一復然、手、(楊倞、注、史記、韓長孺傳)百餘自憐心未灰。●石灰の略。(本草、石灰)生無、煩日、所在近山處皆有之。燒青石爲灰也。●俗に灰(7－18958)に作る。●中華大字典)灰、灰俗字。●取るに足らないもの喩。ちりひちり。ちりあくた。⑪浸漬色。灰

驟往省之。聞以後事。貞曰。[illegible]將隨灰壞。〔梁簡文帝祭戰亡者文〕之間必都縣。校尉灰壞。〔梁簡文帝祭戰亡者文〕之間必都縣。無根灰壞。〔梁簡文帝祭戰亡者文〕之間必都縣。首尾之間。[illegible]灰壞。〔北齊文宣帝祭戰亡者文〕之間必都縣

【灰滅之答】[illegible] 殺されるべき。重い刑罰。(後漢書、袁紹傳上)「身被鼎鑊之誅、妻孥受灰滅之答。」

【灰鑊】[illegible] 竈。竈に入れる鑊。「灰鑊」[illegible]

【灰鑊】[illegible] やがては大の字。竈。竈に用いる鑊。(管輅傳)「朱之爲言、灰鑊之間、[illegible]」

【灰史】[illegible] 灰。[illegible]。時期以外に灰を焼く官吏。(晉書、刑法志)「[illegible]」

【灰吏】[illegible] 灰。[illegible]。時期以外に灰を焼く官吏。(晉書、刑法志)「[illegible]」

【灰吏】[illegible] 灰。[illegible]。時期以外に灰を焼く官吏。(晉書、刑法志)「[illegible]」

【灰令】[illegible] 灰。[illegible]。(三南新論、運動時期)劉[illegible]令。坐令廣成頌(蔡邕)、[illegible]。[illegible]。[illegible]。

羊、羊讀若粧、美、从羊聲、故古若在七部。今各書皆誤作、矣矣。❹かがり火。（玉篇）矣、燎也。❺懐（4－18800）に同じ。（詩、小雅、節南山、憂心如懐、釋文）懐、說文作、矣、❻やく（廣雅、釋詁一）矣、燒也。❼きらか。或は焮（7－18996）に作る。（廣雅、釋詁四）矣、明也。（集韻）矣、方言、明也、或作、矣。

𢍰 18871 小 セン（玉篇平先切）

❶もえさし。もと弈・7－1893に作る。（正字通）弈、筆作弈。（說文通訓定聲）弈、火種也、从火从廾、會意、與、炙同意。說文聲、此字ノ今據偏傍及玉篇、補。（玉篇）弈、火種也。（正字通）弈、蓋燼餘也。❷他（6－15817）に通ず。（說文通訓定聲）弈、按、管子弟子職、權之遠法、乃成、歐夫、餌食小補除生法引說苑曰、權、假借字、正作、弈、音燒。❸素（7－18997）に同じ。（正字通）弈、同素。

炙 18872 小 キウ（玉篇居又切）

『キウ（集韻）居又切 宥』

❶やいと。艾を肌に點じ之に火をつけて燒き、其の熱で療病する法。（說文）炙、灼也、从火久聲。（段注）今以灸灼、體日灸、

（玉篇）炙、燒也。（正字通）炙、灼、體療病。（史記、倉公傳）形勢者不當關炙鑱石、及飲毒藥也。❷つける。おし當て拒ぐ。（說文、炙、段注）按、久、當不拒、拒、當相拒之意。見古書相拒日久、用、久則日炙。❸よるべく。久（1－118）に通ず。（說文通訓定聲）炙、假借爲久。（攜囊、上長機、上長機、幕用、端布、久、之注）久、讀爲、炙、謂以蓋熊、爲口也。（儀禮、士喪禮、之注）久、讀爲、炙、謂以焦熊、爲口也。（儀禮、士喪禮、之注）久、讀爲、炙、謂以焦熊、爲口也。❹ささへる。（周禮、考工記、鳧人）諸侯以鈹其擁之均也。（注）炙、猶柱也。❺或は灸（7－18973）に作る。（集韻）灸、或書作、灸。❻姓。

解説 會意形聲。久、久（つ）ける。おしあてること。上の記に見えた當て病を拒ぐものの、やいとの意を表はし、且久は聲を兼ねる。字解を見た。（說文、炙、段注）事、形聲、包、會意、也。

【炙鞭】ケウ ベン 炙鞭。

【炙經】ケイ 書名。（炙法の醫書）。（卷、唐民傳（隋書、經籍志）醫民炙經、（卷、陳代、小傳（隋書、經籍志）醫民炙經、（卷、陳代、小傳（隋書、經籍志）醫民炙經、（卷、唐、醫、醫文志三、嶋仙炙經、（唐書、藝文志三、嶋仙炙經、（卷、

【炙痛】ケウ トウ 炙をすえた痛み。（本草、總論）主治、血病、鍼灸補瀉、洪血不可止者、傳之立已。（石室秘錄、痔瘻散）治久瘻止痛、炙の痛みを藥にもちいて、瘻みの上に痛みを藥にもちいて、瘻みの上に痛みを藥にもちいて、（通俗編、草木、炙痛藥上更著）（文）

【炙刺】ケウ シ 炙とはり。（急就篇、四、天和、刺、之注）。（本草、石部）、刺、以鍼、重工夫、石部、刺、以鍼、重工夫、石部、刺、以鍼、重工夫、石部

篆爲轉注〓楚辭、東方朔、七諫、世世」唐韻點灼而愛讀。(注)灼、炙也。●あぶる。やく。熱する。(注)灼、燒也。(國語、魯語下)如龜焦灼。灼其中、以文於外。(漢書、翟光傳、行爛炙者也。●あきらか。(7－19139)。爛炙者也。(注)師古曰、灼、明也。(漢書、翟光傳、行

〔傳〕災、害。〔周礼〕大宰、以九地之利、害物鳥兽。〔史記、龜策列傳〕以春秋觀天官、推陰陽所以相生、禍福所以相成、因四時五行、合於月晦日明、以定吉凶。〔漢書、揚雄傳上〕麗鳥兽、以爲天官。〔荀子、天論〕星坠木鳴、國皆震恐、曰、是何也、曰、是無以異於星之見、木之鳴也、是天地之變、陰陽之化、是物之罕至者也、怪之可以無怪、而畏之不祥也、若夫日月之食、雨之而雩、卜筮然後行之、是何也、曰、君之所疑也、曰、星之見也、雨之而雩、卜筮然後行之、是何也、曰、文之也、故雩而雨、猶不雨也、而雩之文也、故卜筮然後行之、是何也、曰、疑之也、故疑而卜、猶不卜也、而卜之文也、故雖不卜、猶卜也

八十七

【災殺】[ts]ㄗㄞ ㄕㄚˋ わざはひの殺は、殺陽の氣の相侵す妖氣。〔編墨全書、范仔節、詳文鑑部〕災殺・災殺見之

【災出】[ts]ㄗㄞ ㄔㄨ わざはひをなすたり。〔易林〕晉

【災害】[ts]ㄗㄞ ㄏㄞˋ 火を見て白から災害すること。〔公羊、僖五年〕「丁卯、大雨雪。是月、雨水。大雩。是月、雨水。何休注、雨水者、水災也。何以知其爲水災也。以其言是月、雨水。是月、雨水者、故曰、無災。何以知其爲雩者、故曰、大雩者也。」〔後漢書、安帝紀〕「是歲、災害。」

【災害】[ts]ㄗㄞ ㄏㄞˋ 火星、二相遇、二者相、災害、災災。〔易、復〕「天地之心、其有、災害、災災。」〔易、復〕「天地之心、其有、災害、災災。」

【災害】[ts]ㄗㄞ ㄏㄞˋ わざはひ。わざはひを誡む。〔文選、張衡、思玄賦〕「夏、大禹之遇、用有、災害。」

【災害】[ts]ㄗㄞ ㄏㄞˋ 災害。〔易、復〕「天地之心、其有、災害、災災。」〔易、遯〕「天地之心、其有、災害、災災。」〔易、遯〕「天地之心、其有、災害、災災。」〔易、遯

命主身主遇之、相生則吉、反剋則凶。

炯 18892 日ケイ キョウ (集韻)烱音切 日シュウ (集韻)烱音切 日チュウ (字彙)烱陳鴻切 東

日 ❶かがる。熱して蒸發する。(廣韻)炯、熱化也。❷たゆたう。熱にあてたてふれる。(集韻)炯、鴻仆也。❸よく煮た汁。(字彙)炯、熱汁。

炱 18893 日フン (集韻)焞分切 日ホン (集韻)溥魂切 魂

日やく。焼(8−19100)に同じ。(集韻)焚、火灼物也、或作炱。日火が起る。火が盛になる。(篇海7−19411)に同じ。(集韻)炱、火盛、或从貴。

炡 18894 シン (字彙)淫刃切 震

もえさし。もえのこり。(字彙)炡、燼餘也。

炡 18895 ギン (集韻)女久切 有

燃燼は、なまかわき、半ばかわく。赤、紐に作る。(集韻)炡、燃燼、欲乾。(字彙)燼、燃燼、欲乾。一曰、半乾、亦作燼。畴、畴二

炡 18896 日ケイ キャウ (集韻)咏逕切 国 chōgei

日ケイ キャウ (集韻)咏切 日ヨウ (篇海)於腎切 日ケイ (集韻)沼惠切 国 ケイ (ケイ) kei

炡、小 俗 日❶あらはれる。光があらはれひかる。❷ねつ。(説文)炡、見也、从火日。❸(素問)撃痛論)稱)炡則痛止。(注)炡、熱也。❹人身の元氣。炡炡、(正字通)炡、方舞、炡炡、人身元陽。無形眞火也、有形則爲三元陽、少火生氣、壯火食氣。字从日从火、大明不滅、其形、教取以況、眞火、(象は番(8−13800)に作る。(集韻)炡、或作炱。日ひかる、或は耿(8−23928)に作る。(篇海)炡、燈也、或作耿。日星の出るさま。(篇海)炡、燈出貌。国❺星の出るさま。炡(7−18917)に同じ。(玉篇)炡、燈出貌。炡、元炡、❻姓。(廣韻)桂、博雅、明。(集韻)桂、又姓、後漢太尉陳球碑、有、球陽炡棟、漢末被誅、有三四子、一字項基、姓炡、一子遜、離居徐州、姓、者、一子居幽州、姓、桂、一子居華陽、姓、炡、此四字皆九畫、古惠切。

解字 會意。日と火とを合せて光のあらはれる。(説文)炡、見也、从日从火。字解を見よ。(篇海)炡、明、郭武(11−39474−1586)の字。

炊 18898 ブン モン (集韻)無分切 文

あたたかい。(集韻)炊、温也。

炊 18899 ハク (篇海)炊、(7−18900)に同じ。(字彙)炊、同、後。

炊 18900 日ハク (集韻)在角切 日ホク (集韻)普木切 屋

火がはげしい。(集韻)炊、火烈。

炊 18901 エキ ヤク (集韻)昔歴切 陌

陶器を製する竈の窓。又、喪中の家の土かまど。投(8−4913)・焌(8−5099)に同じ。(玉篇)炊、陶竈也。(廣韻)炊、喪家燒竈、說文、陶竈窓也、或作焌。(集韻)炊、竈也、上同、焌、亦同。(集韻)、埃、說文、陶竈窓也、或作焌。

炊 18904 日スイ (集韻)昨鳩切 支 イスイ、(chuī) 日スイ (集韻)尺僞切 イスイ、(chuì)

羊・宜・十五)易し子而食べ、折・熊而炊ら之。(漢書)敍傳)「人炊ぐ」(注)師古曰、炊、謂、爨、火也。❷よく。吹(9−3303)に同じ。(説文通訓定聲)炊、假借爲吹。(荀子、仲尼)可ニ炊而使ニ也(注)炊、與吹同。❸飯の名。(史記)封禪書)先炊之屬。(注)正義曰、先炊之屬。(集韻)炊、米名。❹炊累、動升也。(集韻)炊、炊累、動升也。

炊 18903 クツ クチ (篇海)許勿切 物

火氣のさかんなさま。赤、欽(8−16099)に作る。(篇海)炊、火氣盛貌、亦作欽。

炉 18902 ロ (篇海)炉、(7−18583)の俗字。(篇海)炉、俗字。

炉 18905 日ロ (集韻)洛乎切 日ロ (集韻)力居切 日ロ (集韻)力固切 日ロ (集韻)盧谷切 日ロ (集韻)盧各切 日ロ (集韻)盧谷切 日ロ (集韻)盧各切 日ロ (集韻)盧各切 日ロ (集韻)盧各

妻矣。臼中炊。居無釜也。賓客至。家。妻亲己
鞔月。(書月令孟春。其祭戶。祭先脾。)炊臼之夢。
炊巾[ツイ]・・・しきぬのこしきの底に敷くもの。
炊奴[ツイ]・・・(和漢三才圖會。能野具。底に炊巾の之鞍
奴乃。
炊金[ツイ]・・・黄金をかしき。玉食。(駱賓王。帝京篇。)平
餐威里帝京事をいふ。玉食。(駱賓王。帝京篇。)平
炊金饌玉[ツイ]・・・黄金をかしき。玉玉を食
べる。(駱賓王。帝京篇。)平餐威里帝京
炊瑞。炊水金鍋玉。(唐行故事。鈴機類。)
謝人饋遺。仰家炊瑞。(唐行故事。鈴機類。)
炊具[ツイ]・・・炊事の道具。
炊飯[ツイ]・・・飯をたく。火の字。(蘇軾。)
打圍。鉤炊火。(蘇軾。)
炊爨[ツイ]・・・(黄黄。武力子。)蹈刺
(黄黄。武力子。)蹈刺
(黄黄。武力子。)蹈刺

(18910・1)——(18910・42)

華（恕間風）紀炎炎。（李善）熾也。❸さかる。なさま。（嵇康、琴賦）熾也。❹盛なさま。（嵇康、琴賦）炎炎千里（注）炎炎、盛貌也。（大招）南有炎火千里（注）炎炎、盛貌也。（大玄經、狩）弄炎于狩。（注）炎炎、盛大貌也。❺物のさま。（嵇康、琴賦）を見よ。❻輝く。炎は火、五行では火は南に常るからいふ。呂覽、有始）南方曰炎天。（注）火曰炎日、炎天、炎日。❼炎天。（嵇康、琴賦）を見よ。❽輝く。（集韻）炎、火光。❾ほのお。（集韻）炎、火光。（集韻）炎、焰通。（荀子、賦）蠶蛾、蠶蛾、蠶蛾、

六、他化自在天。

【炎鬼】ヱンキ　夏日熱氣の盛なこと。

【炎魔】ヱンマ　（梁傳文）「鬼案不色」三世熱惱。

【炎場】ヱンヂャウ　火が盛ともえさかること。（世説新、東晉時七賢觀天地之間、猶燈火之炎場、大塊之逆旅。）

【炎衡】（東京賦）「鬼魅潛爍、炎場、炎衡、炎高燈乎太。」

【炎鑊】ヱンクワク　（梁、王僧孺）「炎場、炎高燈乎太。」

【炎鑊】ヱンクワク　明かにかがやく。大火の燃えたかがつて盛なさま。（馬融、東京賦）「曜光四場、炎鑊連天。」

【炎鑊】ヱンクワク　（漢書、郊祀志）「世熱惱、炎鑊連天。」

【炎涼】ヱンリヤウ　あついことと、すずしいこと。氣候。（南齊書、樂志）「敬化愛、寒煖、布政司、炎涼、順時。」

【炎涼】ヱンリヤウ　榮枯盛衰。（梁、沈約、「八情」）「榮涼、冷暖の情。」（梁簡文帝、頌）「榮涼詩、吉凶史、」

【炎郎】（後漢書、酷吏、董宣傳）「江夏蔡子孝、良吏、詩、」別隅、千里、榮枯異、炎涼、「世花氣、餘札、」後天、黑流、夜、現的炎涼世態。（教授、解説）

【炎蒸】ヱンジヤウ　（後漢書、和帝紀、後天、昌炎孫、博故城、詩、「炎蒸、」創業、「炎蒸、」「炎蒸、」「炎蒸、」

切 ㊀●煙のさまを、或は烟（マ＋18973）に作る。（集韻）烘、燻煙、或作烟。●烟状は、火が始めて燃える。（集韻）烘、烟状、火始然也。

炕【炕】 18918

□カウ（集韻）口浪切 **漾**
□カウ（集韻）苦朗切 **荡**
□カウ（集韻）苦謗切 **宕**

炕 小 篆 □●かわかす。あぶる。火にかけて乾かす。（説文）炕、乾也。从火亢聲。（段注）謂以火乾之也。（玉篇）炕、炙也。（広雅、釋詁）燥、炙也。（文選、江淹、別賦）炕、物質以火而爲炙也。●●かわく。かれる。枯めて乾枯する。（玉篇）炕、乾極也。（韻會）炕、乾極也。中に坑聞而暴焦。（注）陳吉日、凡言、坑聞、者、林湖之意。●●たつ。たえる。（漢書、揚雄傳）上、甘泉賦、（注）師古曰、炕、絶也。●あげる。あがる。炕（6－11889）に同じ。（揚雄、甘泉賦、（注）晉灼曰、炕、舉也。炕、音伉。炕、與抗同。●●をんとる。朝鮮及び中國の北方で、床下に坑を穿ち、一方の焚口から焚き、その熱を坑に通して室内を暖めるもの。炕熱。●●通じて室内を暖めるもの。炕熱。（説文）、炕、北地榎鼠穴也。（北堂書鈔）、榎、爲上星熱、燒穴其下、相與寢食起居其上。調之炕埶。（北堂書鈔）、榎、榎鼠、穴居、地中

子光傳」著諸曰「何味所」甘、光曰「好嗜魚之炙」昭皇后名穉魚魚、皆所」嗜也。

【炙】ゼキ。炙輝に同じ。〔玄文〕橫、鑿鑿、鏡、鑿、貴鑿、從、大爲聲、讀若、過、云、無人讀、厚于、堅協、炙輝、讀其意長而有、味、如炙輝、讀久、而書不、能也。

【炙輝】ゼキ。車の輝をふれば油が長く流れ出ずして、軸は車の責を堅き器に、能く作る。轄にして、智慧、言動の明りなり。喻（史記、荀卿傳、孫卿書、孫卿、名況、字卿、趙人、年五十、來遊齊、齊人、尊爲祭酒、齊襄王時、復爲祭酒、齊人、讒而去、之楚、春申君、以爲蘭陵令、春申君死、廢、因家焉、著書、數萬言、而卒、蘭陵、今屬常州、）

【炙輝】ゼキ。車の輝をふれば油が長く流れ出ずして、軸は車の責を堅き器に、能く作る。轄にして、智慧、言動の明りなり。喻（史記、荀卿傳、孫卿書、孫卿、名況、字卿、趙人、年五十、來遊齊、齊人、尊爲祭酒、齊人、讒而去、之楚、春申君、以爲蘭陵令、春申君死、廢、因家焉、著書、數萬言、而卒、蘭陵、今屬常州、）

【炙輝】ゼキ。車の輝をふれば油が長く流れ出ずして、軸は車の責を堅き器に、能く作る。轄にして、智慧、言動の明りなり。喻（史記、荀卿傳、孫卿書、孫卿、名況、字卿、趙人、年五十、來遊齊、齊人、尊爲祭酒、齊人、讒而去、之楚、春申君、以爲蘭陵令、春申君死、廢、因家焉、著書、數萬言、而卒、蘭陵、今屬常州、）

【茂】ボウ。字書に、「茂、草名、出、蜀、」とあり。

【袞】ボウ。字書に、「袞、衣名、」とあり。

【祝】ボウ。字書に、「祝、祭名、」とあり。

【炎】ボウ。字書に、「炎、火名、」とあり。

【炊】ボウ。字書に、「炊、火名、」とあり。

【炯】ボウ。字書に、「炯、火名、」とあり。

【炅】ボウ。字書に、「炅、火名、」とあり。

【弁】ボウ。字書に、「弁、火名、」とあり。

【炟】ボウ。字書に、「炟、火名、」とあり。

【煒】ボウ。字書に、「煒、火名、」とあり。

【炷】ボウ。字書に、「炷、火

烋 18936 チュウ ヤコチ 〔集韻〕直律切 **質**

●あたたかい。〔玉篇〕烋、煖也。●煖が出る。〔廣韻〕烋、煖出。●けむり。〔集韻〕烋、煙也。

炷 18937 チョウ 〔集韻〕展呂切 **語**

ふすぶる。〔集韻〕炷、熏也。

炯 18938 カ 〔玉篇〕枯我切 **箇**

ひ。〔玉篇〕炯、火也。

炤 18939

曰セウ 〔集韻〕之笑切 **嘯**
曰セウ 〔集韻〕正少切 **篠**
曰セウ 〔集韻〕之遙切 **蕭**
曰ジャク 〔集韻〕職略切 **藥**

●てる。てらす。照(7‥19236)に同じ。〔集韻〕照、說文、明也。或从火、〔國語〕晉語二〕明燭以炤之。●炤炤は、明かに見るさま。〔荀子〕儒效〕炤炤兮其用知之明也。〔注〕炤炤、明見之貌。●炤は、蠟燭。〔疏〕蠟火、名卽炤。〔廣雅〕釋器〕蠟火、卽炤。●卽炤は、蠟燭。曰ひかる。〔集韻〕炤、光也。曰●あきらか。〔集韻〕炤、明也。或从火、〔淮南子〕俶眞訓〕是釋其炤炤而道其冥冥也。●姓。〔集韻〕炤、亦姓。四あきらか。通じて灼(7‥18376)に作る。〔集韻〕炤、明也。詩亦孔之炤、通作灼。〔廣韻〕炤、明也。詩亦孔之炤、通作灼。

炯 18940 曰フツ 〔集韻〕符勿切 **物**
曰ハツ 〔集韻〕百活切 **曷**
曰ヒ 〔集韻〕方末切 **末**

●火のさま。〔說文〕炯、火皃。●炯は、時に盜なきまま。〔集韻〕發、爆發、火不時出而滅、一曰、鬼火、一曰火盛皃、亦从炯。●鼎い鬲。〔集韻〕炯、一曰、熱氣。●亦曰。(6‥14177)に同。(6‥13868)に作る。〔說文通訓定聲〕炯、按、字亦作曰。又作曰。

炱 18941 フツ 〔集韻〕蒲沒切 **曷**

炱(7‥19346)に同じ。〔字彙〕補〕煙、同、煙。

炱 18942 曰ハツ 〔集韻〕蒲撥切 **曷**
曰ヘチ 〔集韻〕蒲撥切 **屑**

炱 18943 バツ マチ 〔集韻〕葉葉切 **葉**

火の色。〔集韻〕炱、火色。

炮 18944 ダ カメ ヒ 〔集韻〕待可切 **歌**

もえさし。他(7‥18375)に同じ。〔集韻〕炮、燭餘、或从也。

炮 18945 ダ 〔集韻〕待可切 **歌**

炮、同、炮。

炫 18948 曰ケン 〔集韻〕侯絢切 **霰**
曰ゲン 〔集韻〕胡犬切 **銑**

●ひかる。かがやく。光がある。〔說文〕炫、燿煒也、从火玄聲。●てらす。かがやかす。〔戰國策〕秦策〕炫燿子道(注)猶視光也。●かがやき。●あきらか。〔集韻〕炫、明也。●金をとる。〔玉篇〕炫、金也。●ほこる。〔集韻〕炫、明也。●通衢。〔張仲方、拔沙操金賦〕美價初炫、徹明內鮑。●眩。(8‥23254)に通ず。〔中華大字典〕炫、通眩。

炫燿〔一〕かがやく。光り かがやく。眩燿。〔楚辭〕遠遊〕五色雜而炫燿、〔史記〕田單傳〕田單乃收城中得千餘牛、牛皆衣畫龍文、而束兵刃於其角、而灌脂束葦於尾、燒其端、云云、夜縱牛、云云、牛尾熱、怒而奔燕軍、燕軍夜大驚、牛尾炬火、光明炫燿、燕軍視之皆龍文、所觸死傷、〔新語〕思務〕目不淫、炫耀之色、耳不亂於音、〔漢書〕揚雄傳〕不知、炫耀、〔司馬相如〕子虛賦〕光色炫燿、〔文選〕李善注〕炫、煌也、〔廣雅〕釋詁〕炫、明也、〔文選〕左思〕蜀都賦〕光輝

子 夜眞訓 書紫蔡 蔡 蔡 蔡 炫燿

【炫燿】ゲン ヨウ 光りかがやく。〔戰國策 秦策〕蔡澤 炫燿 [illegible]

【炫煜】ゲン イク 光のかがやくさま。〔東京賦 薛綜〕[illegible]

【炫然】ゲン ゼン 日がかがやくさま。〔東京賦 薛綜〕[illegible]

【炫惑】ゲン ワク 目がくらむ。〔國語 魯語下 孔晁〕[illegible]

【炫轉】ゲン テン まぶしめぐる。〔白居易 雜興〕[illegible]

【炫目】ゲン モク 目がくらむ。〔白居易 雜興〕[illegible]

【炫耀】ゲン ヨウ 光りかがやく。〔後漢書 任光傳〕[illegible]

【炫惑】ゲン ワク 目がくらむ。〔國語 魯語下 韋昭〕[illegible]

【炫然】ゲン ゼン 日がくらむまぶしい。又、くらましまどはす。〔玄感〕〔吳志 孫皓傳〕聲名大盛 衆庶炫惑。〔魏書 江式傳〕炫惑時尋 難以覺知。〔後漢書 張衡傳 天象賦〕[illegible]

【炫目】ゲン モク 目がくらむ。又、目をくらます。〔晉書 張華傳 天象賦〕[illegible]

【炫耀】ゲン ヨウ 光りかがやく。〔後漢書 任光傳〕[illegible]

【炫惑】ゲン ワク 目がくらむ。〔國語 魯語下 韋昭〕[illegible]

【炫然】ゲン ゼン 日がくらむまぶしい。又、くらましまどはす。〔玄感〕〔吳志 孫皓傳〕聲名大盛 衆庶炫惑。〔魏書 江式傳〕炫惑時尋 難以覺知。〔後漢書 張衡傳 天象賦〕[illegible]

【炫目】ゲン モク 目がくらむ。又、目をくらます。〔晉書 張華傳 天象賦〕[illegible]

【炫耀】ゲン ヨウ 光りかがやく。〔後漢書 任光傳〕[illegible]

【炫惑】ゲン ワク 目がくらむ。〔國語 魯語下 韋昭〕[illegible]

【炫然】ゲン ゼン 日がくらむまぶしい。又、くらましまどはす。〔玄感〕〔吳志 孫皓傳〕聲名大盛 衆庶炫惑。〔魏書 江式傳〕炫惑時尋 難以覺知。〔後漢書 張衡傳 天象賦〕[illegible]

炬 49

キョ 〔集韻〕白計切 去霽 ㊀

●たいまつ。かがり火。薪などを束ねて火を燃やして呼び照らす。松明。火把。

〔詩〕〔9・27・3〕〔詩6・25556〕に同じ。〔玉篇〕〔広韻〕〔集韻〕〔類篇〕〔説文〕束薪燒、或加火。从火竹。〔集韻〕巨、説文、束薪燒、或明炫燿。●ともし。〔李商隱 無題詩〕春蠶到死絲方盡、蠟炬成灰淚始乾。●かがり。たいまつ。〔杜牧 阿房宮賦〕楚人一炬、可憐焦土。

【炬目】キョ モク 炬火のやうな眼。物事を明かに眼目。

【炬火】キョ カ たいまつの火。たてあかしの火。〔明釣 敬強〕人情 炬火之下 [illegible] 在 [史記] 田単傳 [illegible] 火之下 [illegible] 任光傳 [illegible] 炬火 [illegible] 云夫天 [illegible] 加之 [illegible] 炬火 [illegible] 明天見 [illegible] 炬火 [illegible] 炬火 [illegible] 炬火

【炭取】[ｔａｎｄｏｒｉ] 炭を入れる小箱。炭箱。すびつ。炭斗。〔字会〕〔俗語類纂〕〔雑物類〕〔雑問〕地理志〕〔本草綱目〕〔雑問〕〔雑書〕〔雑問〕〔雑問〕〔雑問

白秋攘臂。左語「夜畫酒詩」）鑊來獻所、後、地煮宜膏粱天。

（鑊引三須、燥人氏有巢子也。生而聰睿、教人巢食、鑽木取火。）

炮烙 ㄆㄠˋ ㄌㄨㄛˋ。あぶることと煮ることと。物を焼き煮る。（『呂覽氏怪』火之利、以炮以烙、以煎以煮。）

炮製 ㄆㄠˋ ㄓˋ。藥を規矢の練つて調整性を去り精製を加えたるもの。（『韓紀』和二年、竹丈詩「詩」「功能」炮製取火辨薪菱。）

炮鼎 ㄆㄠˋ ㄉㄧㄥˇ。●炮製 ●花火などの爆發する器。（王安石、北客寓酒詩「山茂野素雲、鉛窓爆鼎。」）

炮烈 ㄆㄠˋ ㄌㄧㄝˋ。●炮烙 ●花火などの爆發する音。

炮烙 ㄆㄠˋ ㄌㄨㄛˋ。あぶることと煮ることと。物を焼き煮る。（『呂覽氏怪』火之利、以炮以烙、以煎以煮。）

炮製 ㄆㄠˋ ㄓˋ。藥を規矢の練つて調整性を去り精製を加えたるもの。（『韓紀』和二年、竹丈詩「詩」「功能」炮製取火辨薪菱。）

炮鼎 ㄆㄠˋ ㄉㄧㄥˇ。●炮製 ●花火などの爆發する器。（王安石、北客寓酒詩「山茂野素雲、鉛窓爆鼎。」）

炮烈 ㄆㄠˋ ㄌㄧㄝˋ。●炮烙 ●花火などの爆發する音。

炮竹 ㄆㄠˋ ㄓㄨˊ。瓦をいふ。周禮、秋官、薙涙氏「以炮竹、去鼠、」（注）「炮竹之類、瓦器」

炮肉 ㄆㄠˋ ㄖㄡˋ。肉をあぶること。（『比紀』、完者拜忠

炮烙 ㄆㄠˋ ㄌㄨㄛˋ。あぶることと煮ることと。物を焼き煮る。（『呂覽氏怪』火之利、以炮以烙、以煎以煮。）

炮烙之刑 ㄆㄠˋ ㄌㄨㄛˋ ㄓ ㄒㄧㄥˊ。●炮烙 ●炮烙を用ひる刑。（『韓詩外傳』、「殷紂、作炮烙之刑。」）

炮烙之法 ㄆㄠˋ ㄌㄨㄛˋ ㄓ ㄈㄚˇ。●炮烙之刑 ●炮烙を用ひる法。（『呂覽』、「殷紂、作炮烙之法。」）

炮烙之刑 ㄆㄠˋ ㄌㄨㄛˋ ㄓ ㄒㄧㄥˊ。●炮烙之刑 ●炮烙を用ひる刑。（『韓詩外傳』、「殷紂、作炮烙之刑。」）

炮烙刑 ㄆㄠˋ ㄌㄨㄛˋ ㄒㄧㄥˊ。●炮烙之刑 ●炮烙を用ひる刑。（『呂覽』、「殷紂、作炮烙之刑。」）

炮烙刑 ㄆㄠˋ ㄌㄨㄛˋ ㄒㄧㄥˊ。●炮烙之刑 ●炮烙を用ひる刑。（『呂覽』、「殷紂、作炮烙之刑。」）

炮烙 ㄆㄠˋ ㄌㄨㄛˋ。あぶることと煮ることと。物を焼き煮る。（『呂覽氏怪』火之利、以炮以烙、以煎以煮。

さま。光り輝くさま。『詩経』九日水之定風釋詩。
炯炯 炯炯寸映。『藝』孔百反。山中月皓。
我食山中月。 炯炯 掛・鏡。（藤井倬庵・香用樓
記）『後大明』。 炯炯 ・・・

(18960・32)―(18979・11)　火部（五畫）炳炱烽炷炻炯炷炷炷

【炸】 炸裂。「炸」は、爆裂する。

【炸丸子】 ジャ ワン ズ zhá wán zi. 豚肉をたたいて團子とし油で揚げたもの。

【炸三角】 ジャ サン ジョウ zhá sān jiǎo. 饅頭や薄皮を揚げ、それに豚肉・蒸粉・蝦等を包み油で揚げたもの。

【炸飛禽】 ジャ フェイ チン zhá fēi qín 油で揚げた禽。

【点】 18980 テン diǎn 点字典・点・俗。黠字。

【炎】 18981 チン tiǎn 天(7‥18870)の本字。(說文、炎、段注)今各書皆爲作。炎。

【為】 18981' 爲(7‥19846)の略字。

六畫

【烄】 18982 ①ケウ (集韻)五巧切 ②ケウ (集韻)居轎切 ③ケウ (集韻)斯教切 巧

【烙】 小 ①木を交へもやす。木を燃やして天を祭る。然(7‥19416)。教(7‥19136)に同じ。(說文、燒、交、木然也。从火交聲。(玉篇)燒、交、木然也。之以燎柴天。也。同。教。教。②いる。(集韻)燒、燒也。

編注 會意形聲。火と交とを合せて交へ燃やす意を表はし、月つ女に聲を兼ねる。(說文通訓定聲)燒、从火交聲。按交亦會。

【烟】 18983 キョク コク (集韻)烏谷切 屋 火のひかり。(集韻)燭、火光也。

【炷】 18984 カウ ギヤウ (字彙)何庚切 庚 たいまつ。(字彙)炬、火炬也。

【袞】 18985 ①オン (集韻)烏魂切 元 ②アウ オウ (集韻)於刀切 豪 ①あぶる。やく。ところ火で肉を温める。或は燻(7‥19374)・燻・杯(7‥18978)に作る。(說文)袞、炙也。一曰、微火、温。肉。从火衣聲。(集韻)袞、或作燻、燻、亦書作杯。②やく。燻(7‥19546)に同じ。(集韻)燻、燻也。或作袞。

【烇】 18986 セン (玉篇)七遍切 霰 火のさま。(玉篇)烇、火皃。

【烈】 18987 レツ レチ (集韻)力竭切 屑 カ一せ lièt ①はげしい。もと然(7‥19140)に作る。(集韻)烈、猛作。烈②火の勢がつよいさま。(說文)烈、火猛也。从火列聲。(孝子傳)烈、火猛也。而焚之。(集注)孟嘗君傳、注(7‥19140)。③きびしい。(史記)酷吏傳論贊)皆以酷烈爲(注)烈、酷也。④たけしい。(書)康誥)天威、遠德、于猛火。(戰國、楚策)開、弦者音烈而高飛。(注)烈、猛也。⑤あつい。(玉篇)烈、熱也。⑥おごそか。敬厳。(玉篇)烈、敬也。⑦あつい。(玉篇)烈、厚也。⑧氣象がつよくただしい。(韻會)烈、剛正曰烈。(史記、伯夷傳)烈士(徇)名。(史記、刺客、聶政傳)其姊亦烈女也。⑨きびしくはげしい氣。(漢書、司馬相如傳)憑風波、乘雲氣、揚旁世烈。(注)師古曰、烈、酷烈之氣也。⑩やく。(廣雅、釋詁二)烈、炙也。⑪あぶる。(詩、大雅、生民)載燔載烈。(傳)貫之加于火、曰烈。⑫あきらか。(爾雅、釋詁)烈、光也。(詩、閟頌、載見)。(注)烈、明也。⑬あらはれる。(左氏、哀二)烈龍廣視。(注)烈、顯也。⑭うつくしい。(詩、小雅、賓之初筵)烈、烈龍、(傳)烈、美。⑮てがら。功業。(爾雅、釋詁)烈、業也。(書、伊訓)伊尹乃明言烈風雨之成德。(傳)烈、有功烈之成德。(禮、祭法)此皆通定聲。(列、烈、民。(左氏、宣、十二)無、競維烈。(無)弱者、味。(注)烈、業也。(國語、晉語六)君驕奢而有烈。(注)烈、功也。⑯あきり。(爾雅、釋詁)烈、餘也。(注)烈、餘即餘閒曰烈。(詩、大雅、雲漢序)宣王承厲王之烈。(鄭注)烈、餘也。⑰そこなう。害。(韻會)烈、又傷也。(孟嘗君傳)若湯之旱。則禁之餘烈也。⑱つらなる。行列。列(18‥1901)に通ず。(說文通訓定聲)烈、段借爲列。(詩、郷風、大叔于田)火烈具張。(傳)烈、列。(箋列人持火具舉。音義同。心。⑲いたむ。(後漢書、馮衍傳)烈士利動之婚姻。(注)烈、憐也。

【烈】 18987' 烈(7‥19140)の俗字。

【烈】 18988 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 18989 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 18990 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 18991 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 18992 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 18993 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 18994 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 18995 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 18996 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 18997 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 18998 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 18999 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19000 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19001 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19002 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19003 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19004 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19005 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19006 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19007 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19008 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19009 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19010 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19011 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19012 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19013 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19014 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19015 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19016 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19017 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19018 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19019 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19020 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19021 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19022 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19023 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19024 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19025 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19026 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19027 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19028 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19029 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19030 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19031 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19032 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19033 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19034 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19035 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19036 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19037 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19038 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19039 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19040 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19041 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19042 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19043 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19044 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19045 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19046 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19047 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19048 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19049 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19050 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19051 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19052 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19053 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19054 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19055 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19056 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19057 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19058 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19059 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19060 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19061 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19062 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19063 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19064 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19065 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19066 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19067 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19068 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19069 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19070 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19071 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19072 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19073 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19074 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19075 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19076 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19077 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19078 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19079 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19080 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19081 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19082 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19083 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19084 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19085 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19086 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19087 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19088 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19089 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19090 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19091 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19092 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19093 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19094 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19095 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19096 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19097 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19098 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19099 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19100 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19101 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19102 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19103 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19104 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19105 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19106 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19107 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19108 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19109 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19110 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19111 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19112 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19113 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19114 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19115 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19116 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19117 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19118 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19119 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19120 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19121 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19122 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19123 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19124 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19125 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19126 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19127 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19128 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19129 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19130 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19131 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19132 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19133 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19134 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19135 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19136 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19137 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19138 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19139 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19140 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19141 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19142 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19143 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19144 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19145 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19146 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19147 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19148 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19149 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19150 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19151 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19152 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19153 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19154 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19155 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。②ともす。(玉篇)烈、火皃。

【烈】 19156 ①ケツ (集韻)力竭切 屑 ②ケツ (集韻)居列切 屑 ①ともす。(玉篇)烈、火皃。

烈風[名]ﾚｯﾌｳ はげしい氣象。つよい氣象。(後漢書 馬援傳)「馬援、字文淵、扶風茂陵人、……自幼、抗心遠略、……宋東傳、東曰、明明烈烈、……」

烈烈[形]ﾚｯﾚｯ はげしくかがやく。はげしい光。(博古・石鼓文)「……烈烈、……」●後漢書 宋東傳 東曰、明明烈烈、……

烈[名]ﾚｯ はげしい光。はげしい光。(荀子・正名篇)「……烈火、……」●……

烈焰[名]ﾚｯｴﾝ はげしい光。(後漢書 馬援傳)「……烈火、……」●……

烈火[名]ﾚｯｶ はげしい光。はげしい光。(後漢書 馬援傳)「……烈火、……」●……

烈[名]ﾚｯ

羸輜也。●詩經周頌、清廟之什の篇名。周の成王位に即き、諸侯が祭を助けるのを缺かなかった。詩、周頌、烈文序「烈文、成王即位、諸侯助祭也」烈しくて剛力なこと。「孟周、笠賓戲」以全、其賓、而發、其文、用納、于聖德。」烈士序後「烈士序、烈士序、種名、烈士、赤烈、厚反、重反。

【烈】 ①ハツ ②ハツ ③レツ ④レツ ⑤レツ

（本義）厚れ種名。烈士、赤烈、厚反、重反。

（引申義）①熱盛なさま。②はげしい。猛烈。③強烈なこと。猛烈。④強烈なこと。猛烈。⑤強烈なこと。猛烈。

（熟語）「熱烈」「烈風」「烈日」「烈火」「烈士」「烈女」「烈婦」「烈祖」「烈光」「烈士」「烈日」「烈火」「烈士」「烈女」「烈婦」「烈祖」「烈光」

（参考）「烈」は、「烈」の異体字。

（出典）①「詩、周頌、長發」「如火烈烈」「則莫我敢曷」「毛傳」「烈烈、猛盛貌」「詩、烈烈、烈烈、烈烈

傳へられるこゝからず。『說文』烏、孝鳥也。『說文』烏、日中有三足烏。『玉篇』烏、日中有三足烏。『廣韻』烏、俗謂黑色曰烏。『史記』匈奴傳「北方產烏驢馬。」**ああ**、嗚(8—4528)に通ず。(正字通)、與嗚同。『說文』烏、孔子曰、烏、亏呼也、取其助气、故曰烏呼。(段注)亏、各本作盱、今正、亏、於也。『說文』於、亏也。(段注)亏、各本作盱、今正、亏、於也。(段注)亏、各本作盱、今正、亏、於也。(段注)亏、各本作盱、今正、亏、於

人取鋼間毛」氏賀、以類下毛、今作「鋼形

「烏宝和銅元年」[illegible]　山名、浦無黑龍江

「烏書清、清、旗旗今言」[illegible]　書て清、烏、旗、

「烏書接」日明朝不如今日」[illegible]　黒書が接日明朝不如

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

落しから烏を抱いて鵜江と云から鵜鷀といふと、一説に、桑花の実は堅助のあるが、ついて飛ばず、其ちくるとき枝撓んで飛べず鵜いふと、〔史記、封禪書、黃帝〕黃帝乘龍上天、其小臣皆得上、乘龍下地、皆抱其弓而號、黃帝既已上天、乃抱其弓與胡髯、百姓仰望、黃帝既上天、乃抱其弓與胡髯、故後世因其弓號、故曰鳥號、〔淮南子、原道訓〕昔者其上處、日月運、其下生、萬物興、故攘臂而爭、〔荀子、天論〕其下生、萬物興、故攘臂而爭、〔呂氏春秋、慎大覽〕黃帝之前、〔注、烏號、弓名、烏不敢攘、號、所其上、代其攘、故以號名弓、〔烏號之弓〕〔文選、張衡、思玄賦〕、〔注、烏號之弓、烏號、弓名、烏不敢攘、故以號名弓、〔烏號弓〕〔文選、張衡、思玄賦〕、〔注

しるし。周の武王の時代。(史記「周紀」武王渡河中流白魚入王舟下王俯而取以祭魚既渡有火自上復于下至于王屋流爲烏其色赤其聲魂夜。(『論衡』先知篇)「武王渡河中流白魚入王舟下王俯而取以祭魚既渡有火自上復于下至于王屋流爲烏其色赤其聲魂夜」に基づく。)

烏王 ○。鳥王。**●**。(『爾雅』釋鳥)鳳皇。

烏王鳳 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)鳳皇。

烏王海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王鳳海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

烏王海鳥鳳海海海 ○。**●**。(『爾雅』釋鳥)海鳥。

**烏王海鳥鳳海

〔烏噂〕ﾕｳ　動意の解。嗚呼に同じ。〔漢書・五行志〕烏噂其子。（漢書・外戚傳贊）烏噂至拊行事。●虞西省に六人が死す。烏滸。（後漢書・郡國志）烏滸。

〔烏滸〕ﾕｳｺ　●虞西省の地名。在今虞州。〔後漢書・郡國志〕烏滸侯。（注）劉昭、烏滸侯、在今虞州。〔後漢書・馬援傳〕馬人過至、百子、餘戰而食之、遂平。〔後漢書・馬援傳〕烏滸、在今虞州。〔後漢書・馬援傳〕烏滸、地名也。在今虞州之南、交州之北。（異物志）烏滸、南海郡名。（太平御覽）烏滸、今虞州之北。（異物志）烏滸、南海郡名。●山名。〔呂覽・山水篇〕烏滸、山名。〔呂覽・山水篇〕烏滸之居、一夕而成。（注）劉昭、

【烏私】ⅠⅡⅢ 父母に侍奉すること。烏鳥私情に同じ。

【烏栖】ⅠⅡⅢ やどり。あまぼし。（本草 補）集解、時珍曰、日乾者謂之白干、大乾者謂之烏栖。

【烏師】ⅠⅡ 鳥類を教育する師匠。師匠（懷薩埵）。鳥類を教育する師匠。（法華 序品）。鳥類を教育する師匠。（法華 序品）。鳥類を教育する師匠。（法華 序品

多風也、去為木而巢、扶桑、大人遠之則禍、見則兵起、之則後其部、四方國遠無而至、近故令之設、懼也、鳥鵲之巢、

【烏鵲南飛】[illegible]　烏鵲が南方へ向って飛び去る。

【烏鵲南飛】[illegible]　烏鵲が南方へ向って飛び去る。

【烏鵲巢】[illegible]　烏鵲の巣。[illegible]　烏鵲が南方へ向って飛び去る。

【烏鵲巢】[illegible]　烏鵲の巣。

【烏鵲巢】[illegible]　烏鵲の巣。

【烏鵲巢】[illegible]　烏鵲の巣

隧烏鳥鳥獸蟲魚烏足、烏足、烏足、名鳥鳥、同
烏、烏足、烏足、烏足、烏足、烏足、烏足、烏足、烏足、烏足、
烏足

●に同じ。

【烏貪】[illegible]　烏がむさぼる。（杜甫、飼鶴）後漢書、馬援傳「烏貪食貪」●[illegible]（蘇軾、蘇軾城南雜草詩）

【烏食】[illegible]　烏の食べる。●[illegible]（蘇軾、蘇軾城南雜草詩）

【烏食旅鼎】[illegible]　國の名。新羅伝緑衣駅、漢書、地理志、玄菟郡に属す。[illegible]

【烏食鼎】[illegible]　烏の食べる鼎。●[illegible]（蘇軾、蘇軾城南雜草詩）

【烏鬼】[illegible]　竹の一種。くろちく。紫竹。

【烏鬼】[illegible]　印度の國の名。古東印度の一部。（唐書、西域傳

秦 秦王恩ノ無ナレ。不得ノ寵欲ノ時、秦王不聽。諫言ヲ、令ム無ノ罪。(中略)秦王ノ不ノ聽ノ

安家 距 龍和城 通訓 之西蕃烏蘭 自訓 頭鹿 升 嗩 二川 南主少頭 訓 之東烏蘭 烏蘭 (狂雨 秋日 號 野 精 烏 鳴 鳴 鳴

地勢、至第十一世孫烏蒙始強、號烏蒙部、宋時封阿阿得、爲烏蒙部、至元初歸附、至元間、烏蒙路、隸烏蒙烏蒙等、處立駐司、明改烏烏蒙

●俱、供武反、鄭、裴來集韻、詩反切、說文、鳥名、一曰、鳥、鳥、鳥

●充行代復旗の西南隅、康熙二十九年、準噶爾國開井を破壊した處、(清史稿、聖祖紀)二十九年八月乙未朔、外藩右翼の人、撫遠大將軍費揚古、全大敗、噶爾丹以遁、噶爾丹以遁、噶爾丹、準噶爾の人。

烏蘭木倫[illegible] 川の名。●康熙帝親征、遠者知林格爾河とする。●内蒙古地図、紫河(b-123231)の東方、烏蘭木倫の東流、屈折して、●内蒙古地図、紫河の北流、同修花尼羅山から出る。

烏蘭察布[illegible] 盟の名。●内蒙古の西二盟の一。盟地は烏蘭察布といふ。内蒙古所管、喀爾喀左翼に在り。西ノ部落、四ノ部落、貴盟の西部に在り。明の安台・喀喇・烏蘭察布盟といふ。元の太祖の弟、哈布圖哈薩爾の末裔に在て、明の嘉靖年間、相繼いで清に内附す。(清會典、理藩院)其内札薩克ノ盟六、五旗内、四子部落一旗、茂明安一旗、烏喇特三旗、内蒙古、内蒙古之行政區劃)烏蘭察布盟(Ulan Chabsodo)の東南、内蒙古の西部に、烏蘭察布盟、四子部落の西、相鄰す。(清會典、理藩院)其内札薩克ノ盟六、五旗内、四子部落一旗、茂明安一旗、烏喇特三旗、内蒙古、内蒙古之行政區劃)烏蘭察布盟(Ulan Chabsodo)の東南、内蒙古の西部に、烏蘭察布盟、四子部落の西、相鄰す。

烏機[illegible] 草の名。檄機の一種、(本草、檄機)蘇頌、時珍曰、惟烏機に最記大有、文。陸海(本草志)、烏機如檄機、青黑色、而大、(元大、(元年、新注)、(説文)、檄機、(青黑色)、(説文)、檄、(花字、(説文)、檄、(説文)、(説文)、(説文)

もと穢附郡の西境、新羅者に属す。其の地、烏蘇の門戸に在り。西は高麗と接を接し、[illegible]

烏蘇 [illegible] ●烏とさき。●黒と白。●苔石。

烏蘇鷹 [illegible] 蒼を倒むこと、圓者の中じ。

烏蘇[illegible] [illegible]。金の州宗元節傳(金一[illegible])もこの本名。

烏拔馬 [illegible] 金、経略の使ア、烏魯斉行の副。

烏魯 官は平章事。(松漠紀聞)

烏魯角 ●烏魯角。始約切。家人用、鏡得。

烏蘇鷹 [illegible] 烏魯角。始約切。家人用、鏡得。

烏蘇[illegible] [illegible]。[illegible]。[illegible]。[

なつ。」 蜀黍六作黍。子の造黍を造して庸に入納し、神龍元年、庸から慢盗部に属した。 唐書、同元年、唐將郭元振と突厥中に於て戰ふ。 唐書、同年、唐將郭元振と突厥中に於て戰ふ。 唐書、

【烏紙】 [illegible]。 紙の異名。 [illegible]

【烏紙蛇】 [illegible]。 蛇の一種。 [illegible]

【烏紙紙】 [illegible]。 紙の一種。 [illegible]

【烏紙蛇】 [illegible]。 蛇の一種。 [illegible]

【烏

水・東北流合於難水、其地小水皆匡注於難、東入于淺、又西北二日行有子居延澤、澤上有鹽。

【烏孫關】 ［illegible］ 烏孫國名。

【烏孫國】 ［illegible］ 漢代、烏孫、西域三十六國之一。

【烏孫山】 ［illegible］ 烏孫國名。

【烏孫公主】 ［illegible］ 烏孫國名。

【烏孫國】 ［illegible］ 烏孫國名。

【烏孫國】 ［illegible］ 烏孫國名。

【烏孫國

定也。《宋史、二四七》「達の人字は仲達。字名。徹重に使す。『大全徹定』（一七）」

【烏陵思謙】ウリョウシケン　達の人字は仲達。字名。徹重に使す。『大全徹定』（一七）

【烏勒西布】ウルシブ　清・清朝正白旗人。姓は托頼氏。諱は武欽。官は直隸総督・山東巡撫・甘肅の四庫を総して勉所す。

【烏郎瑪單子】ウロマシャンジ　清の匈奴・烏維單子の子。元封六年鋸立し、宣單子という。左大将・右大将・漢に降る。單子を殺して天山の北に逃げ、烏孫・烏桓を攻撃し、匈奴の勢力を盛んにした。

【烏生八九子】ウショウハクキュウシ　楽府詩篇。相和歌・瑟調。『烏生』は烏の名。『八九子』は人名。『烏生八九子』の略。

【烏生十五子】ウショウジュウゴシ　楽府相和歌・瑟調。『烏生』は烏の名。『十五子』は人名。『烏生十五子』の略。

【烏桓】ウカン　東夷族の一。判縣特勤の子。大業二・戴即位す。時に前王子・地葉護が殺され、抜忽部・阿波可汗が即位し、同朝・鳥維部等がこれを不満とし、即位を使して彼を内附せしめんとしたが、部下の抜忽部・阿波可汗の兵に殺される。《唐書、二百十五》

【烏迦恕侯單于】ウカジョコウゼンウ　呼韓邪單于より第八代の匈奴の単于。漢の元帝の建武二十二年即位し、同年死す。《後漢書、百十九》

【烏不一】ウフイツ　烏は毎日くろくなめらかな黒い。烏の黒いのは天性である。《荘子、天運》「夫れ日月出でて而日烏不一日黯而不一黑白之外、不足以験聰」

【烏累若鞮單于】ウルイジャクテイゼンウ　漢の匈奴・烏孫王。諱は烏名。名は碩。初、右賢王王となる。子を立てを誅し、殺して単于となる。旋って意を出でて天下中、卒す。《前漢書、九十四下》

【烏若鞮單于】ウジャクテイゼンウ　烏とは大反。嗣の孝がある。人に孝心あるべきをいう。烏嗣（注）を見よ。《前漢書、九十四下》

【烏珠留若鞮單于】ウシュリュウジャクテイゼンウ　漢の匈奴。呼韓邪単于の子。紀元前一四年、漢に入朝す。王莽が漢を奪わ・王莽の印文を改易するも、単于の名を改めず。新年建国中に卒す。《前漢書、九十四》

【烏孫】ウソン　漢代の南匈奴・単于種の名。紀元前一四年、立つ。時に鮮卑・烏桓・南部に次いだ。単于を恐れ、上言して朔方・西陵・雲・代・定襄・上谷・右北平・遼東・遼西・渤海・南陽

戚 19007

日ケツ 〔集韻〕鞨名切 屑
T一ㄑㄧ tsieh.
日ベツ 〔集韻〕莫列切 屑
ㄅㄧㄝˋ bieh.

小 ※ 戚と戚也。ふるまひる。〔說文〕

氣至戌而盡(授法)。火生於寅、盛於午、死於戌。〔詩、小雅、正月〕赫赫宗周、褒姒滅之。〔傳〕戚、滅也。〔正字通〕戚、同。

烖 19008

サイ 災〔7－18262〕の本字。〔正字通〕災本字。

烖 19009

日キ 〔集韻〕体必切 置
日ケツ

〔集韻〕戚、狂也。齊人語。●いかる。〔集韻〕戚、曰、怒也。日戚〔7－19007〕に同じ。〔集韻〕戚、火滅也。〔正字通〕烖、火滅也。日火が消える。滅〔7－18108〕に同じ。〔集韻〕戚、火滅也。〔六書正譌〕戚、誤字。

解説 會意。火と戌との合字。五行說で火陽氣は寅に生じ、午に盛になり、戌に死するからとから、戌は消滅する義に取り、火と戌とを合せて火が消える、ほろぼす意を表はす。字解を見よ。

烦 19011

日イ 〔集韻〕七之切 支
日キ 〔集韻〕居之切 支

日日 ●熙〔7－19198〕に同じ。〔正字通〕熙、同。

日日 ●もえる。もやす。〔玉篇〕熙、熱也。

さかん。〔廣韻〕烦、盛也。

烘 19012

日コウ 〔集韻〕胡公切 東
ㄏㄨㄥˋ hung.
日キョウ 〔集韻〕居容切 冬
日ク 〔集韻〕胡黃切 鍾

焙 小

日日 ●かがりび。もと烘に作る。〔正字通〕烘、篝作、焙。〔說文新、篆文也、从火共聲。〔爾雅、釋言〕烘、燎也。●たく。かがりびをたく。〔詩、小雅、白華〕樵彼桑薪、卬烘于煁。〔傳〕烘、燎也。●火をたいて暖を取る。〔中華大字典〕烘、暖也。〔楊萬里、詩〕暖手竹爐烘。●てらす。ふすべる。てらしあぶる。〔中華大字典〕烘、且氣蒸炙亦曰烘。〔楊萬里、水仙詩〕日暖翠蛤烘。〔貞奎、詩〕皎晚明月烘。●火のさま。〔廣韻〕烘、火兒。●或は紅〔7－18867〕に作る。〔集韻〕烘、或从工。日●火のさま。〔集韻〕烘、火乾物也。●火でかわかす。〔集韻〕烘、一曰、火乾。

烘 19013

クワウ 〔篇海〕元黃切 鍾

てる。てらす。〔篇海〕烘、照也。

烙 19014

日ラク 〔集韻〕鹿各切 鐸
カ×ㄛˋ lao.
日ラク 〔字彙〕各胡切 鐸
ㄌㄨㄛˋ lao.

小 ※ やきつける。鐵を熱して身體に文新附〕烙、灼也。从火各聲。〔集韻〕烙、燒也。〔史記、殷紀〕有炮烙之法。〔後漢、趙、勝山傳〕烙陷。〔前漢、王莽傳〕烙、灼也。●やきぼり。鐵の針を焼き思部に刺して刑を施す。〔增韻〕烙、火鍼曰烙。〔文同、弔伝馬詩〕鐵刑衰成、敷烙。

烙 19015

日ラク 〔集韻〕盧各切 鐸
カㄠˋ lao.
日ロウ 〔集韻〕郎到切 号
ㄌㄠˋ lao.

〔烘乾〕hung kan. 火で焙り乾かす。

〔烘稭〕hung kai. さらしかす。〔本草〕稭稭、時珍曰、烘稭、非謂之烘稭、也、即青稭之稭、牧、董器田錄、今唐州間多大稭、其初生、遠望如蒿、可食、土人謂之烘稭者、非用大、乃用小。

〔烘晒〕hung sai. 日光が焼やけに照らかがやく。〔唐子振、十八公賦〕或暫烘晒、之暫黑、或藏、凝霜之菊英。

〔烘染〕hung jan. ●乾かしてはまた染る。〔苕子、圖畫傳〕故此法不惜層層烘染以度金針。●うまくぼかし出す。〔紅樓夢、二十八回〕探春又道、倒底要、畫畫兒、秋無、師、夢自知、把個怪字、畫烘染出來了。

〔烘堂〕hung tang. 唐代、三院が堂に上れば昔家をやめる。〔侍御史の雅事を法めるに、諸錄碑、碑、碑、

焰 19015 ケン ゲン 【集韻】【韻會】古豔切 豔

火のさま。【集韻】焰、火兒。

炎 19016 ガイ 【集韻】【韻會】【正韻】五亥切 海

奚・奥・奚同。

【説文】炎、火光上也。从二火。【徐鍇】炎、火光上也。从二火。【玉篇】炎、火光上也。【廣韻】炎、火光上也。【類篇】炎、火光上也。【字彙】炎、火光上也。【正字通】炎、火光上也。【康熙字典】炎、火光上也。【漢語大詞典】炎、火光上也。【漢語大字典】炎、火光上也。【漢語大字典】炎、火光上也。【漢語大字

庶。(漢書、景十三王、中山靖王勝傳)一此の烝庶。之成風、増積之生。(後漢書、章帝紀)以烝庶。(後漢書、章帝紀)以烝庶。(後漢書、章帝紀)烝庶。(後漢書、章帝紀)烝庶。(後漢書、章帝紀)

火部 (六——七) 焦燒焦 燬 燹 燼 烝 烏 烤 爲 熄 烯 焜 烋 烟 烟 烟

【𤇾】19046 テイ ギヤウ (集韻)莖奥切 迥

火のさき。(集韻)𤇾、火皃。

【烷】19047 クワン グワン (集韻)胡官切 寒

火。(集韻)烷、大也。

【𤇾】19048 カイ (集韻)莘亥切 賄

かわく。かわかす。(集韻)𤇾、燥也。

【烹】19049 ハウ ホウ (集韻)拔芒切 陽 ㊀ほう

(集韻)烹、煑也。或は亨(1-1-203)・享(1-1-170)に作る。(廣韻)亨・享・烹・(集韻)亨・享・烹・(正韻)亨・享・烹・(字彙)亨・享・烹・(字汇)亨・享・烹・(字彙補)亨・享・烹・(字通)亨・享・烹・(字典)亨・享・烹・(字典)亨・享・烹・(字典

●火でかわかす。（集韻）燥。火乾也。●燥（7－19115）に同じ。（字彙）燥に同じ。

狼 19053 ラウ（集韻）里高切 ロウ（正韻）

●狼燧は、火のさま。（集韻）燧、煙燧、火光。●狼燧は、光輝の明かなさま。（御覽元、答）●皐中立（論）論衡、書虎因不ゑ弱・病狼狼、務（宋色）を。聲音上同以ゑ能也は●朗（6－14364）に通ず。（正字通）燧、與朗通。

焙 19054 ①テン（字彙）他全切 ②ガン（字彙）胡甘切 ③ケン（字彙）古銜切

①②火の光。（字彙）燄、火光也。

熉 19055 ①セン（集韻）孫延切 ②テン（集韻）孫延切 ③エン（集韻）延面切

①②ひかる、ひかり。（集韻）熉、光也。③さかる、光が盛におこる。（集韻）熉、光燃也。（注）善因、熉、光盛貌。

烽 19059 ①ホウ（集韻）敷容切 ②ヒン（玉篇）匹東切

①②火の光。（字彙）烽、火光也。

燄 19056 クツ（集韻）許勿切 物

●あたたかい。（玉篇）燄、温也。●かわく。かわかす。（廣雅、釋詁）燄、乾也。●さらす。日にさらす。（集韻）燄、曝也。●やく、火のもえおこるさま。（集韻）燄、燃也。（廣韻）燄、火燄起貌。●或は燄（7－19206）に作る。

熾 19057 サ（集韻）側下切 麌

●東ぬた魚。（字彙（7－19275）に同じ。（集韻）熾、或从象。

烽 19058 カイ 佳（7－19310）に同じ。（集韻）核鮭切 蟹也、或从戒。

●烽烟。●ろしの火。（正字通）烽、烽火。（漢信、移）齊河陽執事文）、緩場臥鼓、邊郡收烽。●烽首に冠らせるもの。（漢書）兎、官（注）管竹日、冠首日烽。●烽燧。●烽燧は、烽火。（後漢書、馬援傳）烽燧の明かなる

奄上曲)〔漢書十7 郊祀志〕「[illegible]」。[illegible]。[illegible]。[illegible]

焰 19071

㊀コク（集韻）祜玉切　㊁カク（集韻）口郭切

㊀●熱氣。旱氣。（說文）焰、熱氣。从火吉聲。（廣韻）焰、熱也。●かわかす。（稿7－19231）に同じ。（集韻）焰、烟也。或从吉。

焊 19072

ホウ　ホク　（集韻）薄浪切　フウ　ボウ

●煙の起るさま。或は燃（7－19202）に作る。（集韻）焊、煙起皃。或从孙。（正韻）焊、厭蛟焊、熱也。

焊 19073

ケツ　ケチ　（集韻）古穴切　（集韻）圭玄切　エン　（集韻）荒玄切

●煙のさま。炔（7－19817）に同じ。（說文）焊、焰焊、煙皃。从火肩聲。（集韻）炔、煙皃。或作焊。●もえそめる。火が始めて燃える。（類篇）焊、火始燃也。㊁あきらか。（集韻）焊、火光。或頭（彩軒譜、或頭）羅洋鄭。（注）向日、焊明也。㊂火のさま。（集韻）焊、火皃。

焊 19074

ヒツ　（集韻）悲必切　ヘン　（集韻）方沔切

●煙のさま。（集韻）焊、煙皃。或作焊。●かわかす。かわかす。また銷（11－4042）に作る。「玉篇」焊、乾也。亦作銷。●とろかす。銷（11－40423）に同じ。（廣韻）銷、鑠也。焊、上同。●さらす。（集韻）焊、曝也。㊁かわく。かわかす。（集韻）焊、乾也。

焉 19075

キ　（集韻）於連切　ヱン　（字彙）延知切

㊀エン　（集韻）於連切　㊁オン　（集韻）依言切

焉（7－19292）の古字。（集韻）焉、古作焉。

焉 19076

㊀エン　（集韻）於連切　㊁オン　（集韻）依言切

●間の辭。爲（6－14290）、安（3－7072）に通ず。（說文通訓定聲）焉、假借爲鳥、與安同。（ア）なんぞ。いづくんぞ。どうして。（廣雅、釋詁）焉、安也。（廣韻）焉、何也。（論語、爲政）人焉廋哉。（論語、子罕）焉知二子之不如顏回。（詩、衛風、伯兮）焉得諼草。言樹之背。（論語、公冶長）魯無君子者、斯焉取斯。（張衡、思玄賦、歸田）仁里、其焉定兮。（注）衡曰、焉、猶安也。●ここに於て。すなわち。上を承けて動辭。（經傳釋詞、二）焉、猶於也。乃也。則也。（イ）ここに於て。（經傳釋詞、二）焉、猶於也。（禮記、月令）孟春之月、命祭牧、搢舟、五覆五反、乃告舟備具于天子。天子焉始乘舟

夷、則行夫之法焉之介。玄謂焉熒聲。㊁❸ いづくんぞ。『論語』憲問 ❹鳥の名。黃色の鳳凰。『集韻』焉、一曰 鳥黃色出江淮。㊂言はない。『廣韻』焉、又不。『論語』

名義 コレ、ユキ。

解説 象形。焉鳥の形に象る。字解説の❶と見よ。

【焉】 ❶ 疑問代名詞。どこに。どこで。『論語』憲問 ❷ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ❸ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ❹ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ❺ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ❻ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ❼ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ❽ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ❾ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ❿ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ⓫ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ⓬ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ⓭ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ⓮ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ⓯ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ⓰ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ⓱ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ⓲ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ⓳ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ⓴ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㉑ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㉒ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㉓ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㉔ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㉕ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㉖ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㉗ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㉘ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㉙ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㉚ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㉛ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㉜ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㉝ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㉞ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㉟ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㊱ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㊲ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㊳ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㊴ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㊵ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㊶ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㊷ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㊸ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㊹ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㊺ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㊻ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㊼ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㊽ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㊾ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 ㊿ 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (1) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (2) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (3) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (4) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (5) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (6) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (7) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (8) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (9) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (10) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (11) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (12) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (13) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (14) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (15) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (16) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (17) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (18) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (19) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上 (20) 疑問代名詞。どこに。どこで。『孟子』梁惠王上

燒 19079

㊀シュン（集韻）經始切 圖
㊁ソン（集韻）祖寸切 圖
㊂ザン（集韻）組管切 圖
㊃シュツ（集韻）尼律切 圖

燒 〔篆〕 ㊀ショウ ㊁ジュツ

①火をやく。又、其の火。②火を用ひて物を燒くことの總稱。（說文）燒、燃、火也。从火堯聲。（段注）以火燒物曰燃。㊀卜占の龜甲を灼く。（說文）燒、周禮曰、遂龜。其燒、燒火在奇、目燒、燒龜。（周禮、春官、菫氏）凡以明火、燒燋、遂獻、其燒契、以授卜師。（注）燋、謂以明火燒柱也。（疏）燋、謂以支鍵、謂、燒柱也。（注）支鍵、謂、鍵、謂如支鍵、謂、燒柱也。而吹之也。燒槽、ショウ、酒肆の女。燒糟に同じ。燒糟、ショウ、市肆で客のために酒を飲ませる婦人を云ふ。東京夢華錄、卷二、飲食業条「更有街坊婦人、賣糕、賣花帕手巾、給在飲客、謂之酒客、換湯點茶、俗謂之燒糟。」

燿 19081

㊀ダイ（集韻）大計切 圖
㊁ディ（集韻）王矢切 圖

燹 19080

マン 黑(9・21539)の古字。（集韻）燹、風吉作、燹。

燬 〔篆〕 ㊀キ ㊁ケツ

黑(9・21539)の古字。（集韻）燬、風吉作、燹。

烧 19082

ショウ

燒(10・24689)の古字。（正字通）燒、俗燒字、古燒字。

烤 19083

サイ

烤(7・19086)の本字。（正字通）烤、本作、烝。

熄 19084

キク

燒(7・19459)に同じ。（玉篇）燒、燒也、熱也、燒、同上。

焜 19085

キク

燒(7・19459)の古字。（集韻）燒、古作、焜。

熨 19086

ケツ

熨、同、熨。

焙 19087

ショウ

補(7・19373)の古字。（字彙）焙、古文焙字。

熟 19088

キョウ ゴ

（龍龕手鏡）其呂切 圖

熨 19089

レウ

熨(7・19414)に同じ。（字彙補）熨、同、熨。

焠 19090

ゼツ ネチ

（龍龕手鏡）而列切 圖

熱 19091

タツ

熱(7・19523)に同じ。（龍龕手鏡）熱、同、熱。

乳 19092

キョク

乳(7・1292)に同じ。（龍龕手鏡）乳、同、乳。

黑 19093

テン

熱、同、熱。（龍龕手鏡）熱、除厭切。

熱 19094

ヒツ

熱、市熱切。（五音集韻）熱、市熱切。

熱 19095

ラウ

熱、熱、力告切。

熱 19096

シ

熱、熱、（搜眞玉鏡）熱、音視。

熱 19097

ケイ

熱(7・19217)に同じ。（廣韻）熱、不作、熱。

黑 19098

コク

黑(10・24639)の俗字。（玉篇）黑、俗、黑作、黑。

八畫

焙 19099

ハイ バイ

（集韻）薄味切 ㊀ヘ、ボイ

●あぶる。●ほうじる。火氣にあてて熱する。焙(7・19195)、炮(9・21154)に同じ。（集韻）焙、或作、炮。（廣韻）焙、同、炮。（廣韻）焙、福也

〔焙塔〕ほうたう 茶焙の平たい土舗。覆鼎・茶鼎・米三斗を焙る。焙塔。

〔焙篋〕ほうけう 焙篋に同じ。

〔焙篋〕ほうけう 焙を以て篋に蔽ひじて上に坐すといふ。之に用ひる茶は茶を焙る。之を焙すといふ。又、四何香を以て之に熏ずる。之を焙篋といふ。〔東野語・十七〕注〔爲酒王家雍女都夫人作〕已是、二鈴人、月日月日、至、二月終、日給焙竿焚五十斤、用、鏡竈、鑊竈、造於上、清以四和香、熏之、蓋云云、黄魔則字正而聲清越、故必用、鏡竈、焙竿、樂を熏焙とは、焙竿に同じ。

〔焙成炭〕ほうせいたん 樂を熏焙とは、〔東野語・五十四〕注〔爲酒王家雍女都夫人作〕已是、二鈴人、月日月日、至、二月終、日給焙竿焚五十斤、用、鏡竈、鑊竈、造於上、清以四和香、熏之、蓋云云、黄魔則字正而聲清越、故必用、鏡竈、焙竿、樂を熏焙とは、焙竿に同じ。

〔焙煤〕ほうばい 炭を焙して炭とするために作られた爐。反射爐。

〔焙石〕ほうせき 石を焙して炭とする。

〔焙石炭〕ほうせきたん 石炭を焙して炭とする。

燹 〔小篆〕 **燹** 〔籀文〕 **燹** 〔古本〕 ヘン・ヘン・ヘン・

有一車而使人不敢發情何以車焉　孟命篇之文

【焚灼】[fén zhuó]　火燒灼。【後漢書(范曄)三列傳　孤魂無歸　焚身之誠　嘯鳴長野　反側惟之　心苦　焚灼　鄉人　哀之　(注)　(謝承)　會稽郡　(注)　(謝承)　(謝承)　(謝承

【秣】19101 フン 補16 [illegible]笑(7—19100)の俗字。〔字彙補〕16 [illegible]字。

【閃】19102 リン 〔集韻〕良刃切 [illegible]

閃 小 ①のさま。〔説文〕閃、火兄、从火、兄省聲、讀若[illegible]。〔集韻〕閃、或不省。

【焜】19103 ①コン 〔集韻〕苦昆切 [illegible] ②コン 〔集韻〕公渾切 元 ㊇kun

[illegible] 小 ①かがやく。〔説文〕焜、煒也、从火昆聲。〔急就篇三〕斬蘭絳色焜煌。〔注〕色焜煌者、言其光采盛也。〔博載〕光。②あきらか、あきらかにする。〔左氏昭三〕焜[illegible]煌以明也。③草木の實ばえで喪べるさま。〔大樂賦、長笛賦〕焜蕊葉蕊。〔注〕蕊、色盛皃也。④或は燁(7—19174)に作る。〔集韻〕焜、或从[illegible]。⑤昆(5—13782)に通ず。〔揚雄、甘泉賦〕極美眩耀、焜[illegible]。〔注〕焜、善作[illegible]。〔李巡〕字[illegible]曰、焜、大貌。

〔説文〕[illegible]、光りかがやく。まばゆ。〔急就篇〕斬蘭絳色焜煌。〔注〕[illegible]、かがやく。〔文選〕[illegible]、かがやかす。明かす。〔左氏昭三〕[illegible]、不[illegible]光。〔博載〕[illegible]、[illegible]。〔文選、甘泉賦〕[illegible]。〔注〕[illegible]、[illegible]。〔文選、長笛賦〕[illegible]。〔注〕[illegible]。[illegible]、[illegible]。[illegible]、[illegible]。[illegible]、

【煤】19112 □クワイ（集韻・正韻切）𠀤 □クワン（集韻・古玩切）𠀤

□□火。（集韻・煤、楚人謂火爲煤。）

【無】19113 ブ（集韻・虞夫切）虞 メ ㄨˊ

𤇾 ❶ 𤇾 ❷ 𤇾 ❸ 𤇾 ❹ 𤇾 ❺ 𤇾 ❻ 𤇾 ❼ 𤇾 ❽ 𤇾 ❾ 𤇾 ❿ 𤇾 ⓫ 𤇾 ⓬ 𤇾 ⓭ 𤇾 ⓮ 𤇾 ⓯ 𤇾 ⓰ 𤇾 ⓱ 𤇾 ⓲ 𤇾 ⓳ 𤇾 ⓴ 𤇾 ㉑ 𤇾 ㉒ 𤇾 ㉓ 𤇾 ㉔ 𤇾 ㉕ 𤇾 ㉖ 𤇾 ㉗ 𤇾 ㉘ 𤇾 ㉙ 𤇾 ㉚ 𤇾 ㉛ 𤇾 ㉜ 𤇾 ㉝ 𤇾 ㉞ 𤇾 ㉟ 𤇾 ㊱ 𤇾 ㊲ 𤇾 ㊳ 𤇾 ㊴ 𤇾 ㊵ 𤇾 ㊶ 𤇾 ㊷ 𤇾 ㊸ 𤇾 ㊹ 𤇾 ㊺ 𤇾 ㊻ 𤇾 ㊼ 𤇾 ㊽ 𤇾 ㊾ 𤇾 ㊿ 𤇾 [illegible]

❶ ない。有(6－14332)の對。もと森聲。（段注）見所失者、所未、有者、皆如逃亡。然也、此有無字之正體。而俗作無。無乃森之緐變。森之訓、豐也、與無義正相反。然則謙變之時、昧於亡義。其義、森叚森爲其聲有聲無義、殊爲不得。云本無三字、漢隸多作。（論衡）無、不ム有也。（杜甫、花卿歌）李侯重有此節度、人道我卿絶世無。❷ むなしい。混然として區別のない屬物の相混となる道、虛無の道、道家の語。字もと元❹(1－13716)に作る。（說文）無、无、四十一）天子之所、生ず於有、有之道也。（老❸ なかれ。禁止の辭。母(6－16721)に同。❹ 之(2－31078)に同。❺ なし。（經傳釋詞、十）無、通作勿、又作毋、又作毋。（經傳釋詞、十）無、毋勿也。（詩・唐風・采苓）若亦無信。（書・堯典・釋文）若、音弁、本作亦。❻ ずの。ならず。未だ云云せずの。打消の辭（ズ）。不(1－19)に同じ。（經傳釋詞、十）無、不也、青、黑紀、無、無、墨子・兼愛篇、疾青谷水傳注、非引作、不、偏が、黨、呂刑、無衆無、不。如使、無辭之也。（注）杜注曰、無、無、墨子・尚賢篇引作、無衆、無、無、無

上士與聞焉。友、疑以天下讓之、乃自投于諸之洞、終身不反。見莊子。

解説 豫は恐懼、亡は逃亡。●**諸之洞**…諸は地名。●**終身不反**…見莊子。

無[名] 無は動詞。●**無**…「無」字は、「無」字の下に「無」字を重ねて、「無無」の形で用いられる。「無無」

〔無爲之論〕ｍｕ２ｗｅｉ２ｚｈｅｎ２ｌｕｎ４ 無爲の仕事・造化の主る所のもの。宇宙の本體である道の無名・列子、天瑞篇「生ノ所ノ生者未ダ嘗テ生ザル者、形ノ所ノ形ノ者未ダ嘗テ形ザル者、聲之所聞聲聞焉、而聲聲者未ダ嘗テ聲ザル者、色之所見色見焉、而色色者未ダ嘗テ色ザル者、味之所味味焉、而味味者未ダ嘗テ味ザル者、臭之所臭臭焉、而臭臭者未ダ嘗テ臭ザル者、皆有ル所ノ生ル者ニ非ズ、而ルニ生ル者ハ

【無雲】[illegible]。雲がない。〔陶潛・擬古詩〕日暮天無雲、春風徐來、衾枕襲幽人。〔張九齢・望月懷遠詩〕海上生明月、天涯共此時。情人怨遥夜、竟夜起相思。滅燭憐光滿、披衣覺露滋。不堪盈手贈、還寢夢佳期。〔李華・望遠賦〕[illegible]。

【無雲天】[illegible]。〔圓仁・唐五臺山巡禮行記・第四巻・開成五年・六月・十五日〕[illegible]。

【無雲】[illegible]。[illegible]。

【無爲】[illegible]。[illegible]。

【無爲】[illegible]。[illegible]。

【無

【無何】四〇一。いくばくもなく間もなく。少時。

【無何有】四〇一。史記、齊相國世家「齊侯辛、魯頃之卒。」索隱、之吉反。注、古者、無何有、猶言無名。○無何有、無名。○無何有、無名。○無何有、

鼓觀之無識聲之無識運日出東出入平西國（宗密）南部缺部水清澄、有望無識、録（顯）等和尚言是明地佛制者（改宮殿比擬佛）前法相無淨（『法苑』『法相』『唯識』『法華』『涅槃』『華嚴』『楞伽』『勝鬘』『維摩』『金剛』『般若

【無軌道】[ｍｕｋｉｄｏｕ]　道路がない。又レールがない。轉じて、定規なしの行動・生活をいふ。

【無紀綱】[ｍｕｋｉｋｉｎｏｕ]　無政治狀態。

【無紀】[ｍｕｋｉ]　萬有の根本となる紀がない。(荘子、至樂)　轉じ、無秩序・非法・無節・生活の無秩序・非法・無節・乱雑・無紀律。

【無氣力】[ｍｕｋｉｒｉｋｉ]　氣力がない。元氣がない。無氣力。(ｍｏｋｕｒｉｋｉ)

故其功列之霸、天下莫得而競（清淡黃老、仗法家刑名、以法治國、以儒飾君臣、清淡黃老、以無爲、儒、以仁義、法家、以

鈇）酒（度度也）（注無解。

無數 [illegible] 形がない。形を具へない。無形（維法）が無ければ以無數之者邪。（注）無實無形。

無同 [illegible] 疑しかを。

無格 [illegible] 無かの。

無惰 [illegible] ●いることなくない。（詩大雅、抑）「林漠漠」（注）無惰、勉無惰也。和無「九」（注）無、不行也。

無擬 [illegible] ●無、不行也。

無[illegible] [illegible]

無[illegible] [illegible]

無[illegible] [illegible]

少斎・裏・美陵・詩・無・計・同・軸・下・恋慈・遊・酒・鏡・〔五代史・唐三・清泰・後唐・無・同・〕・現代・部・鏡・無・民・国・欲・上・無・男・女・死・理・之・其・心・不・行・百・年・憂・化・愛・人・総・民・盲・不・行・百・年・而・化・愛・人・博・物・志

【無忌】270 ❶（左氏、成十八）周子有兄而無其不能、故曰無禁、吾所謂仁也。

【無礙】270 ❶ 古、北方の魂の名。暗・昏・昧・闇で、其体、鳥・人・無・行（王・弊・鬼・出・其人・欠・深・魚・土・無・無・行・人・鬼・出・其人・欠・深・魚・土・無・無・行・人・鬼・出・其人・欠・深・魚・土・無・無・行・人

小機、巧言、無罪無辜、亂如此極、[後漢書・張衡傳]夏官、大司馬、移無量伐、有罪、[後漢書・吳太子傳]王孫、[後漢書・馮衍傳]作、[作]思子吾、[後漢書・馮衍傳]弟子行示、[後漢書・馮衍傳]無人、[後漢書・馮衍傳]西征賦、[後漢書・馮衍傳]

【無量鳥】[説文]鳥名。[字林]毓鳥、[説文]鳥名。[字林]毓鳥、[説文]鳥名。[字林]毓鳥、

子人間於[illegible]淫[illegible]亦無罪。(荀子『儒效』)打二不必與義。(史記『海保『解特傳』)殺者亦意殺。[illegible]。[illegible]。[illegible]

目也。●默の名。名混沌無心。字無物異名孫。獸畜四足獸鱗蟲總。鳥禽鳥有獸。[白虎通]

〔無敗〕[漢書]・[後漢書]・[晉書]・[宋書]・[南齊書]・[梁書]・[陳書]・[魏書]・[北齊書]・[周書]・[隋書]・[南史]・[北史]・[唐書]・[五代史]・[宋史]・[遼史]・[金史]・[元史]・[明史]・[清史稿]・[新唐書]・[新五代史]・[新元史]・[新清史稿]・[新唐書]・[新五代史]・[新元史]・[新清史稿]・[新唐書]・[新五代史]・[新元史]・[新

諸民等ノ[illegible]無道大仏義。
【無道】[illegible]　道理ニ背キ道ニ違ヒ食料ニ乏シ。
【無道食】[illegible]　道理ニ背キ道ニ違ヒ食料ニ乏シ。
【無道心】[illegible]　道理ニ背キ道ニ違ヒ食料ニ乏シ。
【無道人】[illegible]　道理ニ背キ道ニ違ヒ食料ニ乏シ。
【無道人行】[illegible]　道理ニ背キ道ニ違ヒ食料ニ乏シ。
【無道人食】[illegible]　道理ニ背キ道ニ違ヒ食料ニ乏シ。
【無道人食行】[illegible]　道理ニ背キ道ニ違ヒ食料ニ乏シ。
【無道人食行法】[illegible]　道理ニ背キ道ニ違ヒ食料ニ乏シ。
【無道人食行法食】[illegible]　道理ニ背キ道ニ違ヒ食料ニ乏シ。
【無道人食行法食無道】[illegible]　道理ニ背キ道ニ違ヒ食料ニ乏シ。
【無道人食行法食無道大仏】[illegible]　道理ニ背キ道ニ違ヒ食料ニ乏シ。
【無道人食行法食無道大仏義

宥平塚越中〇公怒曰、如此無状漢、與其、撃爲快、不若留餘端、以愛人望者甚楚。不肯の子。

〔漢書、杜欽傳〕 故老話祈長、白髮無狀子、出

〔無狀之狀〕 ○かたちが無って而もかの狀況。

〔無狀之狀〕 ○〔老子、十四〕是謂無狀之狀、無象之象。〔呂覽、大樂〕有・知不知之狀、不知之聞、無狀之狀、其名曰精。

〔無常〕 ○●〔史記、秦本紀〕無常無いい。〔書、蔡仲之命〕民心無常、惟惠之懷。〔詩、小雅、都人士序〕〔詩〕無常、〔詩、小雅、都人士序〕〔詩〕無常、〔荀子、秋水〕分無常、終始無故、〔荀子、修身〕亟無無常、〔荀子、秋水〕〔荀子、修身〕亟無無常、〔荀子、秋水〕〔荀子、修身〕亟無無常、〔荀子、秋水〕

〔無所得〕佛教。得る所がないに収入がない。
〔無所依止菩薩〕宋、張敞『大般若経』9.9812‐9.987。
〔無所依止菩薩〕清、徐昭田『大般若経』4.9812‐9.987。
〔無所依止菩薩〕清、金福時『大般若経』11‐401。
〔無恙〕ぶよう。ぶじ。
〔無恙〕ぶよう。ぶじ。
〔無恙〕ぶよう。ぶじ

也。何故無無人。禁忌。[illegible]。[illegible]。其以子子乘之相。易洋變之機。必無人。故曰[illegible]。

【禁解離機】[illegible]。何無[illegible]。[illegible]。[illegible]。

慢〔若〕畫形於無象〔素〕發於無聲〔八社甫〕客從遠方來〔詩〕如雲如星〔詩〕如雲如月〔詩〕如雨如霧〔詩〕如雨如星〔詩〕如雨如霧〔詩〕如雨如星〔詩〕如雨如霧〔詩〕如雨如星

類。●骨種物門。魚類・硬骨亞綱中の一目。體輝長形で形態は多様。鱗鰭は硬骨亞綱中の一目。體射鰭は連續し尾鰭は原正形・前上類骨なし。生殖器官は原正形・前上類骨なし。生殖器官は輝長形で形態は多様。鱗鰭は硬骨亞綱中の一目。體射鰭は連續し尾鰭は原正形・前上類骨なし。生殖器官は輝長形で形態は多様。ウナギ・モエナメゴ・ウツボ・ウミヘビの五科を含む。別稱無鱗類。

【無則】30ﾌﾟﾗｽ　無・敗慣。無に無に無則なり。

【無損】30ﾌﾟﾗｽ　損無がなく。損耗しなく。（左氏傳・十年）無・敗慣。使を耀子爲に無・敗慣。

【無損】30ﾌﾟﾗｽ　●損無がなく。損耗しなく。（左氏傳・十年）無・敗慣。使を耀子爲に無・敗慣。

【無損】30ﾌﾟﾗｽ　●無傷。●いたづら。徒爾。

【無待】30ﾌﾟﾗｽ　●無傷。●いたづら。徒爾。

【無待】30ﾌﾟﾗｽ　●無傷。●いたづら。徒爾。

【無多事】30ﾌﾟﾗｽ　無多子に同じ。（隋書・常服）無・張

【無多】30ﾌﾟﾗｽ　●無多子に同じ。（隋書・常服）無・張

【無多】30ﾌﾟﾗｽ　●無多子に同じ。（隋書・常服）無・張

【無多子

(法言、吾子)。君子也無擇、趨也無淫、擇則亂淫時。●戰國、魏の田子方の名。(荀子、非十二子篇)。田子方傳、魏文侯師。段干木・李克以下、文侯に師事。(韓非子、難勢)。●魏、魏文侯。(韓非子、難勢)。●魏、魏文侯。(韓非子、難勢)。●魏、魏文侯

【無居居士】[illegible]。宋、孟氏の号。孟氏は字。[illegible]。

【無居居士】[illegible]。宋、孟氏の号。孟氏は字。[illegible]。授ふ。[illegible]。[illegible]。[illegible]

敬慎無「忌日」新其德(傳)知天下、闢於西園、敬發其充足謂(後漢書)百官志賞不

「無毒」(傳)○土を盛つた盛で保護の所。從に、くくりり穴をいつた盛で保護の所。從に、くくりり穴をいつた盛で保護の所。從に、くくりり穴をいつ

寇[無]能者無所不來。能食而遇沈若不聚之
飛。[無]而遇者者。
[無]況[700]ⓐ◎なみだ。〈楚辭、九歌、湘君〉
令沅湘兮無波、使江水兮安流。〈史記、文帝
紀〉[無]而[700]ⓐ◎況。使江水兮安流。〈史記、文帝紀〉
謝朝、賓客滿堂、徐庶水無波、來因〈[1]〉[1]篇
唐書、明皇紀〉八月辛巳、朝、[無]波無波。〈清、陳維崧
『湖海樓』〉
[無]波居士[1]ⓐ◎清、陳維崧[1]『[illegible]』[2]
[無][illegible]ⓐ◎[illegible]無。[illegible]無。[illegible]
之義。[illegible]。[illegible]。[illegible]
虞八卦、[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。

【無法無人】[ぶ] wu. [fa] wu. [ren] 法律や道徳を無視する。非常に、やたらに。不法の不埒の意を無視する。

【無法四達形】[ぶ] wu. [fa] si. [da] xing. 四達形を無視する。

【無法多角形】[ぶ] wu. [fa] duo. jiao. xing. 無法多角形。

【無法多邊形】[ぶ] wu. [fa] duo. bian. xing. 無法多角形。

【無法】[ぶ] wu. [fa] 法の効力がない。

【無命】[ぶ] wu. [ming] 命令がない。

【無頭】[ぶ] wu. [tou] 無頭。

【無】[ぶ] wu. 無。

【無】[ぶ] wu. 無。

【無】[ぶ] wu. 無

之服。故云「無服之喪」也。（孫希旦案解）無殺之喪。

〔無服之殤〕ｐｓ 「無服之殤」無待「於服」也。●特記諸殤之後。以為（機・檀弓上）孔子之喪，門人疑所以服。服子路，曾參主子之喪，服思。若喪子而無服，喪子路，亦無請喪夫子。若喪父子路，亦無請喪夫子。若喪父子路，亦無請喪夫子。若喪父

〔諸宿編〕数目〔無罵〕孩童嬉山碑・世無万数万餅馬字、今俗有・無鼻大千絶・天無・他無・他絶・三千大千。

無無 [illegible]。○あるがない。淡薄。・老子、○他絶・三千大千。

[illegible]。○無無・[illegible]。

五道の出口。・淡字其無・味。〔注〕言・他字常・[illegible]。

[illegible]。○無無・[illegible]。

〔鬼宿五〕書品〔行〕伝・無味・[illegible]。

内典碑集林〔序〕・[illegible]・[illegible]・[illegible]

達・時宜・與・無妨人・博・曲直」

「無絕忠臣」[illegible]・定・職業のない不良なわるものの不良少年。(本朝續初新話)「好諧隨機・酒・無錢・空少」

無法 [illegible] 摩する・ことば。「社会・天地」

大子園・去邪・無・落・吾・事・(伝記・手鑑)「以無」

無利 [illegible] 利益がない。(漢書・吾丘寛・上書)「以無」

見・知・法・計・略・之・也・(社会・人・歩・禮・上・詩・民・篇)「無利・本分・皇・年・時」

無理 [illegible] 道理・の・ない・こと・ない・根・拠・なく・(漢書・李・広・傳・贊・「李・広・数・奇・数・人・吏・数・而・其・数・奇・之・至・死・(上・・・

〔呂覽・樂成〕 鞭裝而舊、拔之無損、鞭而無裝、拔之無損。 ●裝を付ける。

無鈴 無鈴 ●害を受けない。 〔後漢書・馬援傳〕 援上書曰、「臣聞、「天地之性、人最爲貴」。故聖人以天地爲心、以人爲本。今以一人之故、而令天地不安、人物不遂、恐違天心、逆人情、非大臣之所當爲也。」

無冷 無冷 明、廉風氏 ●92768-1934の字。 〔玉篇〕 無冷、冷也。 〔後漢書・馬援傳〕 援上書曰、「臣聞、「天地之性、人最爲貴」。故聖人以天地爲心、以人爲本。今以一人之故、而令天地不安、人物不遂、恐違天心、逆人情、非大臣之所當爲也。」

無凌 無凌 ●凌辱しつけ、失礼、失敬、無礼、相侮、相凌。 〔呂覽・樂成〕 「今天下之所以不行無凌者、以有天子也。」 〔後漢書・馬援傳〕 援上書曰、「臣聞、「天地之性、人最爲貴」。故聖人以天地爲心、以人爲本。今以一人之故、而令天地不安、人物不遂、恐違天心、逆人情、非大臣之所當爲也。」

無鈴 無鈴 ●鈴りない。

鏡、地方官職、地方鎮守職、地方官廳、地方鎮守職、地方官廳、地方鎮守職、西方鎮守職、二字熟、二字熟、二字熟

於天天下無適無無所食無也。義疏注雷同引適莫無無所食無也。義疏注雷同引適莫無無所食無也。莫、不也。從也。無也。莫不也。（若義無適者、質論云、適可也、不也、無莫也。）雷義曰、莫定注、適、若也、切無無適義無偏倚義。

【無勤居】 漢、注、31818・注。●無獨有偶 ●無偶 ●無偶 ●無

學已成之後。家居すれば心平容を修め、身すから足るに心少しく惰らず、出でて以て接すれば、鄉ひは必ず體に中る。（宋元學案、士林雜記）

焦志　ショシ　名　焦竑（ショコウ）。明の人。字は弱侯。號は澹園。著書に『老子翼』『莊子翼』『易筆』『焦氏筆乘』『焦氏類林』『焦氏說林』『焦氏說林續』『獨語』『俗言』『玉堂叢語』『國史經籍志』『中原文獻』がある。〔明史二百八十八〕（萬曆間明史二百八十五）。〔明史稿二十八〕（萬曆間明史二百八十五）。〔明史稿二十九〕（萬曆間明史二百八十六）。〔明史稿三十一〕（萬曆間明史二百八十七）。〔明史稿三十二〕（萬曆間明史二百八十八）。〔明史稿三十三〕（萬曆間明史二百八十九）。〔明史稿三十四〕（萬曆間明史二百九十）。〔明史稿三十五〕（萬曆間明史二百九十一）。〔明史稿三十六〕（萬曆間明史二百九十二）。〔明史稿三十七〕（萬曆間明史二百九十三）。〔明史稿三十八〕（萬曆間明史二百九十四）。〔明史稿三十九〕（萬曆間明史二百九十五）。〔明史稿四十〕（萬曆間明史二百九十六）。〔明史稿四十一〕（萬曆間明史二百九十七）。〔明史稿四十二〕（萬曆間明史二百九十八）。〔明史稿四十三〕（萬曆間明史二百九十九）。〔明史稿四十四〕（萬曆間明史三百）。〔明史稿四十五〕（萬曆間明史三百一）。〔明史稿四十六〕（萬曆間明史三百二）。〔明史稿四十七〕（萬曆間明史三百三）。〔明史稿四十八〕（萬曆間明史三百四）。〔明史稿四十九〕（萬曆間明史三百五）。〔明史稿五十〕（萬曆間明史三百六）。〔明史稿五十一〕（萬曆間明史三百七）。〔明史稿五十二〕（萬曆間明史三百八）。〔明史稿五十三〕（萬曆間明史三百九）。〔明史稿五十四〕（萬曆間明史三百十）。〔明史稿五十五〕（萬曆間明史三百十一）。〔明史稿五十六〕（萬曆間明史三百十二）。〔明史稿五十七〕（萬曆間明史三百十三）。〔明史稿五十八〕（萬曆間明史三百十四）。〔明史稿五十九〕（萬曆間明史三百十五）。〔明史稿六十〕（萬曆間明史三百十六）。〔明史稿六十一〕（萬曆間明史三百十七）。〔明史稿六十二〕（萬曆間明史三百十八）。〔明史稿六十三〕（萬曆間明史三百十九）。〔明史稿六十四〕（萬曆間明史三百二十）。〔明史稿六十五〕（萬曆間明史三百二十一）。〔明史稿六十六〕（萬曆間明史三百二十二）。〔明史稿六十七〕（萬曆間明史三百二十三）。〔明史稿六十八〕（萬曆間明史三百二十四）。〔明史稿六十九〕（萬曆間明史三百二十五）。〔明史稿七十〕（萬曆間明史三百二十六）。〔明史稿七十一〕（萬曆間明史三百二十七）。〔明史稿七十二〕（萬曆間明史三百二十八）。〔明史稿七十三〕（萬曆間明史三百二十九）。〔明史稿七十四〕（萬曆間明史三百三十）。〔明史稿七十五〕（萬曆間明史三百三十一）。〔明史稿七十六〕（萬曆間明史三百三十二）。〔明史稿七十七〕（萬曆間明史三百三十三）。〔明史稿七十八〕（萬曆間明史三百三十四）。〔明史稿七十九〕（萬曆間明史三百三十五）。〔明史稿八十〕（萬曆間明史三百三十六）。〔明史稿八十一〕（萬曆間明史三百三十七）。〔明史稿八十二〕（萬曆間明史三百三十八）。〔明史稿八十三〕（萬曆間明史三百三十九）。〔明史稿八十四〕（萬曆間明史三百四十）。〔明史稿八十五〕（萬曆間明史三百四十一）。〔明史稿八十六〕（萬曆間明史三百四十二）。〔明史稿八十七〕（萬曆間明史三百四十三）。〔明史稿八十八〕（萬曆間明史三百四十四）。〔明史稿八十九〕（萬曆間明史三百四十五）。〔明史稿九十〕（萬曆間明史三百四十六）。〔明史稿九十一〕（萬曆間明史三百四十七）。〔明史稿九十二〕（萬曆間明史三百四十八）。〔明史稿九十三〕（萬曆間明史三百四十九）。〔明史稿九十四〕（萬曆間明史三百五十）。〔明史稿九十五〕（萬曆間明史三百五十一）。〔明史稿九十六〕（萬曆間明史三百五十二）。〔明史稿九十七〕（萬曆間明史三百五十三）。〔明史稿九十八〕（萬曆間明史三百五十四）。〔明史稿九十九〕（萬曆間明史三百五十五）。〔明史稿百〕（萬曆間明史三百五十六）。〔明史稿百一〕（萬曆間明史三百五十七）。〔明史稿百二〕（萬曆間明史三百五十八）。〔明史稿百三〕（萬曆間明史三百五十九）。〔明史稿百四〕（萬曆間明史三百六十）。〔明史稿百五〕（萬曆間明史三百六十一）。〔明史稿百六〕（萬曆間明史三百六十二）。〔明史稿百七〕（萬曆間明史三百六十三）。〔明史稿百八〕（萬曆間明史三百六十四）。〔明史稿百九〕（萬曆間明史三百六十五）。〔明史稿百十〕（萬曆間明史三百六十六）。〔明史稿百十一〕（萬曆間明史三百六十七）。〔明史稿百十二〕（萬曆間明史三百六十八）。〔明史稿百十三〕（萬曆間明史三百六十九）。〔明史稿百十四〕（萬曆間明史三百七十）。〔明史稿百十五〕（萬曆間明史三百七十一）。〔明史稿百十六〕（萬曆間明史三百七十二）。〔明史稿百十七〕（萬曆間明史三百七十三）。〔明史稿百十八〕（萬曆間明史三百七十四）。〔明史稿百十九〕（萬曆間明史三百七十五）。〔明史稿百二十〕（萬曆間明史三百七十六）。〔明史稿百二十一〕（萬曆間明史三百七十七）。〔明史稿百二十二〕（萬曆間明史三百七十八）。〔明史稿百二十三〕（萬曆間明史三百七十九）。〔明史稿百二十四〕（萬曆間明史三百八十）。〔明史稿百二十五〕（萬曆間明史三百八十一）。〔明史稿百二十六〕（萬曆間明史三百八十二）。〔明史稿百二十七〕（萬曆間明史三百八十三）。〔明史稿百二十八〕（萬曆間明史三百八十四）。〔明史稿百二十九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿百三十〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿百三十一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿百三十二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿百三十三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿百三十四〕（萬曆間明史三百九十）。〔明史稿百三十五〕（萬曆間明史三百九十一）。〔明史稿百三十六〕（萬曆間明史三百九十二）。〔明史稿百三十七〕（萬曆間明史三百九十三）。〔明史稿百三十八〕（萬曆間明史三百九十四）。〔明史稿百三十九〕（萬曆間明史三百九十五）。〔明史稿百四十〕（萬曆間明史三百九十六）。〔明史稿百四十一〕（萬曆間明史三百九十七）。〔明史稿百四十二〕（萬曆間明史三百九十八）。〔明史稿百四十三〕（萬曆間明史三百九十九）。〔明史稿百四十四〕（萬曆間明史三百十）。〔明史稿百四十五〕（萬曆間明史三百十一）。〔明史稿百四十六〕（萬曆間明史三百十二）。〔明史稿百四十七〕（萬曆間明史三百十三）。〔明史稿百四十八〕（萬曆間明史三百十四）。〔明史稿百四十九〕（萬曆間明史三百十五）。〔明史稿百五十〕（萬曆間明史三百十六）。〔明史稿百五十一〕（萬曆間明史三百十七）。〔明史稿百五十二〕（萬曆間明史三百十八）。〔明史稿百五十三〕（萬曆間明史三百十九）。〔明史稿百五十四〕（萬曆間明史三百二十）。〔明史稿百五十五〕（萬曆間明史三百二十一）。〔明史稿百五十六〕（萬曆間明史三百二十二）。〔明史稿百五十七〕（萬曆間明史三百二十三）。〔明史稿百五十八〕（萬曆間明史三百二十四）。〔明史稿百五十九〕（萬曆間明史三百二十五）。〔明史稿百六十〕（萬曆間明史三百二十六）。〔明史稿百六十一〕（萬曆間明史三百二十七）。〔明史稿百六十二〕（萬曆間明史三百二十八）。〔明史稿百六十三〕（萬曆間明史三百二十九）。〔明史稿百六十四〕（萬曆間明史三百三十）。〔明史稿百六十五〕（萬曆間明史三百三十一）。〔明史稿百六十六〕（萬曆間明史三百三十二）。〔明史稿百六十七〕（萬曆間明史三百三十三）。〔明史稿百六十八〕（萬曆間明史三百三十四）。〔明史稿百六十九〕（萬曆間明史三百三十五）。〔明史稿百七十〕（萬曆間明史三百三十六）。〔明史稿百七十一〕（萬曆間明史三百三十七）。〔明史稿百七十二〕（萬曆間明史三百三十八）。〔明史稿百七十三〕（萬曆間明史三百三十九）。〔明史稿百七十四〕（萬曆間明史三百四十）。〔明史稿百七十五〕（萬曆間明史三百四十一）。〔明史稿百七十六〕（萬曆間明史三百四十二）。〔明史稿百七十七〕（萬曆間明史三百四十三）。〔明史稿百七十八〕（萬曆間明史三百四十四）。〔明史稿百七十九〕（萬曆間明史三百四十五）。〔明史稿百八十〕（萬曆間明史三百四十六）。〔明史稿百八十一〕（萬曆間明史三百四十七）。〔明史稿百八十二〕（萬曆間明史三百四十八）。〔明史稿百八十三〕（萬曆間明史三百四十九）。〔明史稿百八十四〕（萬曆間明史三百五十）。〔明史稿百八十五〕（萬曆間明史三百五十一）。〔明史稿百八十六〕（萬曆間明史三百五十二）。〔明史稿百八十七〕（萬曆間明史三百五十三）。〔明史稿百八十八〕（萬曆間明史三百五十四）。〔明史稿百八十九〕（萬曆間明史三百五十五）。〔明史稿百九十〕（萬曆間明史三百五十六）。〔明史稿百九十一〕（萬曆間明史三百五十七）。〔明史稿百九十二〕（萬曆間明史三百五十八）。〔明史稿百九十三〕（萬曆間明史三百五十九）。〔明史稿百九十四〕（萬曆間明史三百六十）。〔明史稿百九十五〕（萬曆間明史三百六十一）。〔明史稿百九十六〕（萬曆間明史三百六十二）。〔明史稿百九十七〕（萬曆間明史三百六十三）。〔明史稿百九十八〕（萬曆間明史三百六十四）。〔明史稿百九十九〕（萬曆間明史三百六十五）。〔明史稿二百〕（萬曆間明史三百六十六）。〔明史稿二百一〕（萬曆間明史三百六十七）。〔明史稿二百二〕（萬曆間明史三百六十八）。〔明史稿二百三〕（萬曆間明史三百六十九）。〔明史稿二百四〕（萬曆間明史三百七十）。〔明史稿二百五〕（萬曆間明史三百七十一）。〔明史稿二百六〕（萬曆間明史三百七十二）。〔明史稿二百七〕（萬曆間明史三百七十三）。〔明史稿二百八〕（萬曆間明史三百七十四）。〔明史稿二百九〕（萬曆間明史三百七十五）。〔明史稿二百十〕（萬曆間明史三百七十六）。〔明史稿二百十一〕（萬曆間明史三百七十七）。〔明史稿二百十二〕（萬曆間明史三百七十八）。〔明史稿二百十三〕（萬曆間明史三百七十九）。〔明史稿二百十四〕（萬曆間明史三百八十）。〔明史稿二百十五〕（萬曆間明史三百八十一）。〔明史稿二百十六〕（萬曆間明史三百八十二）。〔明史稿二百十七〕（萬曆間明史三百八十三）。〔明史稿二百十八〕（萬曆間明史三百八十四）。〔明史稿二百十九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿二百二十〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿二百二十一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿二百二十二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿二百二十三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿二百二十四〕（萬曆間明史三百九十）。〔明史稿二百二十五〕（萬曆間明史三百九十一）。〔明史稿二百二十六〕（萬曆間明史三百九十二）。〔明史稿二百二十七〕（萬曆間明史三百九十三）。〔明史稿二百二十八〕（萬曆間明史三百九十四）。〔明史稿二百二十九〕（萬曆間明史三百九十五）。〔明史稿二百三十〕（萬曆間明史三百九十六）。〔明史稿二百三十一〕（萬曆間明史三百九十七）。〔明史稿二百三十二〕（萬曆間明史三百九十八）。〔明史稿二百三十三〕（萬曆間明史三百九十九）。〔明史稿二百三十四〕（萬曆間明史三百十）。〔明史稿二百三十五〕（萬曆間明史三百十一）。〔明史稿二百三十六〕（萬曆間明史三百十二）。〔明史稿二百三十七〕（萬曆間明史三百十三）。〔明史稿二百三十八〕（萬曆間明史三百十四）。〔明史稿二百三十九〕（萬曆間明史三百十五）。〔明史稿二百四十〕（萬曆間明史三百十六）。〔明史稿二百四十一〕（萬曆間明史三百十七）。〔明史稿二百四十二〕（萬曆間明史三百十八）。〔明史稿二百四十三〕（萬曆間明史三百十九）。〔明史稿二百四十四〕（萬曆間明史三百二十）。〔明史稿二百四十五〕（萬曆間明史三百二十一）。〔明史稿二百四十六〕（萬曆間明史三百二十二）。〔明史稿二百四十七〕（萬曆間明史三百二十三）。〔明史稿二百四十八〕（萬曆間明史三百二十四）。〔明史稿二百四十九〕（萬曆間明史三百二十五）。〔明史稿二百五十〕（萬曆間明史三百二十六）。〔明史稿二百五十一〕（萬曆間明史三百二十七）。〔明史稿二百五十二〕（萬曆間明史三百二十八）。〔明史稿二百五十三〕（萬曆間明史三百二十九）。〔明史稿二百五十四〕（萬曆間明史三百三十）。〔明史稿二百五十五〕（萬曆間明史三百三十一）。〔明史稿二百五十六〕（萬曆間明史三百三十二）。〔明史稿二百五十七〕（萬曆間明史三百三十三）。〔明史稿二百五十八〕（萬曆間明史三百三十四）。〔明史稿二百五十九〕（萬曆間明史三百三十五）。〔明史稿二百六十〕（萬曆間明史三百三十六）。〔明史稿二百六十一〕（萬曆間明史三百三十七）。〔明史稿二百六十二〕（萬曆間明史三百三十八）。〔明史稿二百六十三〕（萬曆間明史三百三十九）。〔明史稿二百六十四〕（萬曆間明史三百四十）。〔明史稿二百六十五〕（萬曆間明史三百四十一）。〔明史稿二百六十六〕（萬曆間明史三百四十二）。〔明史稿二百六十七〕（萬曆間明史三百四十三）。〔明史稿二百六十八〕（萬曆間明史三百四十四）。〔明史稿二百六十九〕（萬曆間明史三百四十五）。〔明史稿二百七十〕（萬曆間明史三百四十六）。〔明史稿二百七十一〕（萬曆間明史三百四十七）。〔明史稿二百七十二〕（萬曆間明史三百四十八）。〔明史稿二百七十三〕（萬曆間明史三百四十九）。〔明史稿二百七十四〕（萬曆間明史三百五十）。〔明史稿二百七十五〕（萬曆間明史三百五十一）。〔明史稿二百七十六〕（萬曆間明史三百五十二）。〔明史稿二百七十七〕（萬曆間明史三百五十三）。〔明史稿二百七十八〕（萬曆間明史三百五十四）。〔明史稿二百七十九〕（萬曆間明史三百五十五）。〔明史稿二百八十〕（萬曆間明史三百五十六）。〔明史稿二百八十一〕（萬曆間明史三百五十七）。〔明史稿二百八十二〕（萬曆間明史三百五十八）。〔明史稿二百八十三〕（萬曆間明史三百五十九）。〔明史稿二百八十四〕（萬曆間明史三百六十）。〔明史稿二百八十五〕（萬曆間明史三百六十一）。〔明史稿二百八十六〕（萬曆間明史三百六十二）。〔明史稿二百八十七〕（萬曆間明史三百六十三）。〔明史稿二百八十八〕（萬曆間明史三百六十四）。〔明史稿二百八十九〕（萬曆間明史三百六十五）。〔明史稿二百九十〕（萬曆間明史三百六十六）。〔明史稿二百九十一〕（萬曆間明史三百六十七）。〔明史稿二百九十二〕（萬曆間明史三百六十八）。〔明史稿二百九十三〕（萬曆間明史三百六十九）。〔明史稿二百九十四〕（萬曆間明史三百七十）。〔明史稿二百九十五〕（萬曆間明史三百七十一）。〔明史稿二百九十六〕（萬曆間明史三百七十二）。〔明史稿二百九十七〕（萬曆間明史三百七十三）。〔明史稿二百九十八〕（萬曆間明史三百七十四）。〔明史稿二百九十九〕（萬曆間明史三百七十五）。〔明史稿三百〕（萬曆間明史三百七十六）。〔明史稿三百一〕（萬曆間明史三百七十七）。〔明史稿三百二〕（萬曆間明史三百七十八）。〔明史稿三百三〕（萬曆間明史三百七十九）。〔明史稿三百四〕（萬曆間明史三百八十）。〔明史稿三百五〕（萬曆間明史三百八十一）。〔明史稿三百六〕（萬曆間明史三百八十二）。〔明史稿三百七〕（萬曆間明史三百八十三）。〔明史稿三百八〕（萬曆間明史三百八十四）。〔明史稿三百九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿三百十〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿三百十一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿三百十二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿三百十三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿三百十四〕（萬曆間明史三百九十）。〔明史稿三百十五〕（萬曆間明史三百九十一）。〔明史稿三百十六〕（萬曆間明史三百九十二）。〔明史稿三百十七〕（萬曆間明史三百九十三）。〔明史稿三百十八〕（萬曆間明史三百九十四）。〔明史稿三百十九〕（萬曆間明史三百九十五）。〔明史稿三百二十〕（萬曆間明史三百九十六）。〔明史稿三百二十一〕（萬曆間明史三百九十七）。〔明史稿三百二十二〕（萬曆間明史三百九十八）。〔明史稿三百二十三〕（萬曆間明史三百九十九）。〔明史稿三百二十四〕（萬曆間明史三百十）。〔明史稿三百二十五〕（萬曆間明史三百十一）。〔明史稿三百二十六〕（萬曆間明史三百十二）。〔明史稿三百二十七〕（萬曆間明史三百十三）。〔明史稿三百二十八〕（萬曆間明史三百十四）。〔明史稿三百二十九〕（萬曆間明史三百十五）。〔明史稿三百三十〕（萬曆間明史三百十六）。〔明史稿三百三十一〕（萬曆間明史三百十七）。〔明史稿三百三十二〕（萬曆間明史三百十八）。〔明史稿三百三十三〕（萬曆間明史三百十九）。〔明史稿三百三十四〕（萬曆間明史三百二十）。〔明史稿三百三十五〕（萬曆間明史三百二十一）。〔明史稿三百三十六〕（萬曆間明史三百二十二）。〔明史稿三百三十七〕（萬曆間明史三百二十三）。〔明史稿三百三十八〕（萬曆間明史三百二十四）。〔明史稿三百三十九〕（萬曆間明史三百二十五）。〔明史稿三百四十〕（萬曆間明史三百二十六）。〔明史稿三百四十一〕（萬曆間明史三百二十七）。〔明史稿三百四十二〕（萬曆間明史三百二十八）。〔明史稿三百四十三〕（萬曆間明史三百二十九）。〔明史稿三百四十四〕（萬曆間明史三百三十）。〔明史稿三百四十五〕（萬曆間明史三百三十一）。〔明史稿三百四十六〕（萬曆間明史三百三十二）。〔明史稿三百四十七〕（萬曆間明史三百三十三）。〔明史稿三百四十八〕（萬曆間明史三百三十四）。〔明史稿三百四十九〕（萬曆間明史三百三十五）。〔明史稿三百五十〕（萬曆間明史三百三十六）。〔明史稿三百五十一〕（萬曆間明史三百三十七）。〔明史稿三百五十二〕（萬曆間明史三百三十八）。〔明史稿三百五十三〕（萬曆間明史三百三十九）。〔明史稿三百五十四〕（萬曆間明史三百四十）。〔明史稿三百五十五〕（萬曆間明史三百四十一）。〔明史稿三百五十六〕（萬曆間明史三百四十二）。〔明史稿三百五十七〕（萬曆間明史三百四十三）。〔明史稿三百五十八〕（萬曆間明史三百四十四）。〔明史稿三百五十九〕（萬曆間明史三百四十五）。〔明史稿三百六十〕（萬曆間明史三百四十六）。〔明史稿三百六十一〕（萬曆間明史三百四十七）。〔明史稿三百六十二〕（萬曆間明史三百四十八）。〔明史稿三百六十三〕（萬曆間明史三百四十九）。〔明史稿三百六十四〕（萬曆間明史三百五十）。〔明史稿三百六十五〕（萬曆間明史三百五十一）。〔明史稿三百六十六〕（萬曆間明史三百五十二）。〔明史稿三百六十七〕（萬曆間明史三百五十三）。〔明史稿三百六十八〕（萬曆間明史三百五十四）。〔明史稿三百六十九〕（萬曆間明史三百五十五）。〔明史稿三百七十〕（萬曆間明史三百五十六）。〔明史稿三百七十一〕（萬曆間明史三百五十七）。〔明史稿三百七十二〕（萬曆間明史三百五十八）。〔明史稿三百七十三〕（萬曆間明史三百五十九）。〔明史稿三百七十四〕（萬曆間明史三百六十）。〔明史稿三百七十五〕（萬曆間明史三百六十一）。〔明史稿三百七十六〕（萬曆間明史三百六十二）。〔明史稿三百七十七〕（萬曆間明史三百六十三）。〔明史稿三百七十八〕（萬曆間明史三百六十四）。〔明史稿三百七十九〕（萬曆間明史三百六十五）。〔明史稿三百八十〕（萬曆間明史三百六十六）。〔明史稿三百八十一〕（萬曆間明史三百六十七）。〔明史稿三百八十二〕（萬曆間明史三百六十八）。〔明史稿三百八十三〕（萬曆間明史三百六十九）。〔明史稿三百八十四〕（萬曆間明史三百七十）。〔明史稿三百八十五〕（萬曆間明史三百七十一）。〔明史稿三百八十六〕（萬曆間明史三百七十二）。〔明史稿三百八十七〕（萬曆間明史三百七十三）。〔明史稿三百八十八〕（萬曆間明史三百七十四）。〔明史稿三百八十九〕（萬曆間明史三百七十五）。〔明史稿三百九十〕（萬曆間明史三百七十六）。〔明史稿三百九十一〕（萬曆間明史三百七十七）。〔明史稿三百九十二〕（萬曆間明史三百七十八）。〔明史稿三百九十三〕（萬曆間明史三百七十九）。〔明史稿三百九十四〕（萬曆間明史三百八十）。〔明史稿三百九十五〕（萬曆間明史三百八十一）。〔明史稿三百九十六〕（萬曆間明史三百八十二）。〔明史稿三百九十七〕（萬曆間明史三百八十三）。〔明史稿三百九十八〕（萬曆間明史三百八十四）。〔明史稿三百九十九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿四百〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿四百一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿四百二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿四百三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿四百四〕（萬曆間明史三百九十）。〔明史稿四百五〕（萬曆間明史三百九十一）。〔明史稿四百六〕（萬曆間明史三百九十二）。〔明史稿四百七〕（萬曆間明史三百九十三）。〔明史稿四百八〕（萬曆間明史三百九十四）。〔明史稿四百九〕（萬曆間明史三百九十五）。〔明史稿四百十〕（萬曆間明史三百九十六）。〔明史稿四百十一〕（萬曆間明史三百九十七）。〔明史稿四百十二〕（萬曆間明史三百九十八）。〔明史稿四百十三〕（萬曆間明史三百九十九）。〔明史稿四百十四〕（萬曆間明史三百十）。〔明史稿四百十五〕（萬曆間明史三百十一）。〔明史稿四百十六〕（萬曆間明史三百十二）。〔明史稿四百十七〕（萬曆間明史三百十三）。〔明史稿四百十八〕（萬曆間明史三百十四）。〔明史稿四百十九〕（萬曆間明史三百十五）。〔明史稿四百二十〕（萬曆間明史三百十六）。〔明史稿四百二十一〕（萬曆間明史三百十七）。〔明史稿四百二十二〕（萬曆間明史三百十八）。〔明史稿四百二十三〕（萬曆間明史三百十九）。〔明史稿四百二十四〕（萬曆間明史三百二十）。〔明史稿四百二十五〕（萬曆間明史三百二十一）。〔明史稿四百二十六〕（萬曆間明史三百二十二）。〔明史稿四百二十七〕（萬曆間明史三百二十三）。〔明史稿四百二十八〕（萬曆間明史三百二十四）。〔明史稿四百二十九〕（萬曆間明史三百二十五）。〔明史稿四百三十〕（萬曆間明史三百二十六）。〔明史稿四百三十一〕（萬曆間明史三百二十七）。〔明史稿四百三十二〕（萬曆間明史三百二十八）。〔明史稿四百三十三〕（萬曆間明史三百二十九）。〔明史稿四百三十四〕（萬曆間明史三百三十）。〔明史稿四百三十五〕（萬曆間明史三百三十一）。〔明史稿四百三十六〕（萬曆間明史三百三十二）。〔明史稿四百三十七〕（萬曆間明史三百三十三）。〔明史稿四百三十八〕（萬曆間明史三百三十四）。〔明史稿四百三十九〕（萬曆間明史三百三十五）。〔明史稿四百四十〕（萬曆間明史三百三十六）。〔明史稿四百四十一〕（萬曆間明史三百三十七）。〔明史稿四百四十二〕（萬曆間明史三百三十八）。〔明史稿四百四十三〕（萬曆間明史三百三十九）。〔明史稿四百四十四〕（萬曆間明史三百四十）。〔明史稿四百四十五〕（萬曆間明史三百四十一）。〔明史稿四百四十六〕（萬曆間明史三百四十二）。〔明史稿四百四十七〕（萬曆間明史三百四十三）。〔明史稿四百四十八〕（萬曆間明史三百四十四）。〔明史稿四百四十九〕（萬曆間明史三百四十五）。〔明史稿四百五十〕（萬曆間明史三百四十六）。〔明史稿四百五十一〕（萬曆間明史三百四十七）。〔明史稿四百五十二〕（萬曆間明史三百四十八）。〔明史稿四百五十三〕（萬曆間明史三百四十九）。〔明史稿四百五十四〕（萬曆間明史三百五十）。〔明史稿四百五十五〕（萬曆間明史三百五十一）。〔明史稿四百五十六〕（萬曆間明史三百五十二）。〔明史稿四百五十七〕（萬曆間明史三百五十三）。〔明史稿四百五十八〕（萬曆間明史三百五十四）。〔明史稿四百五十九〕（萬曆間明史三百五十五）。〔明史稿四百六十〕（萬曆間明史三百五十六）。〔明史稿四百六十一〕（萬曆間明史三百五十七）。〔明史稿四百六十二〕（萬曆間明史三百五十八）。〔明史稿四百六十三〕（萬曆間明史三百五十九）。〔明史稿四百六十四〕（萬曆間明史三百六十）。〔明史稿四百六十五〕（萬曆間明史三百六十一）。〔明史稿四百六十六〕（萬曆間明史三百六十二）。〔明史稿四百六十七〕（萬曆間明史三百六十三）。〔明史稿四百六十八〕（萬曆間明史三百六十四）。〔明史稿四百六十九〕（萬曆間明史三百六十五）。〔明史稿四百七十〕（萬曆間明史三百六十六）。〔明史稿四百七十一〕（萬曆間明史三百六十七）。〔明史稿四百七十二〕（萬曆間明史三百六十八）。〔明史稿四百七十三〕（萬曆間明史三百六十九）。〔明史稿四百七十四〕（萬曆間明史三百七十）。〔明史稿四百七十五〕（萬曆間明史三百七十一）。〔明史稿四百七十六〕（萬曆間明史三百七十二）。〔明史稿四百七十七〕（萬曆間明史三百七十三）。〔明史稿四百七十八〕（萬曆間明史三百七十四）。〔明史稿四百七十九〕（萬曆間明史三百七十五）。〔明史稿四百八十〕（萬曆間明史三百七十六）。〔明史稿四百八十一〕（萬曆間明史三百七十七）。〔明史稿四百八十二〕（萬曆間明史三百七十八）。〔明史稿四百八十三〕（萬曆間明史三百七十九）。〔明史稿四百八十四〕（萬曆間明史三百八十）。〔明史稿四百八十五〕（萬曆間明史三百八十一）。〔明史稿四百八十六〕（萬曆間明史三百八十二）。〔明史稿四百八十七〕（萬曆間明史三百八十三）。〔明史稿四百八十八〕（萬曆間明史三百八十四）。〔明史稿四百八十九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿四百九十〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿四百九十一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿四百九十二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿四百九十三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿四百九十四〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿四百九十五〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿四百九十六〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿四百九十七〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿四百九十八〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿四百九十九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百四〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百五〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百六〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百七〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百八〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百十〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百十一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百十二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百十三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百十四〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百十五〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百十六〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百十七〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百十八〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百十九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百二十〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百二十一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百二十二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百二十三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百二十四〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百二十五〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百二十六〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百二十七〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百二十八〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百二十九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百三十〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百三十一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百三十二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百三十三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百三十四〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百三十五〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百三十六〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百三十七〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百三十八〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百三十九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百四十〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百四十一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百四十二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百四十三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百四十四〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百四十五〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百四十六〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百四十七〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百四十八〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百四十九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百五十〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百五十一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百五十二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百五十三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百五十四〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百五十五〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百五十六〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百五十七〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百五十八〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百五十九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百六十〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百六十一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百六十二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百六十三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百六十四〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百六十五〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百六十六〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百六十七〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百六十八〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百六十九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百七十〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百七十一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百七十二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百七十三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百七十四〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百七十五〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百七十六〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百七十七〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百七十八〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百七十九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百八十〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百八十一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百八十二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百八十三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百八十四〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百八十五〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百八十六〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百八十七〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百八十八〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百八十九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百九十〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百九十一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百九十二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百九十三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百九十四〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿五百九十五〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿五百九十六〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿五百九十七〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿五百九十八〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿五百九十九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿六百〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿六百一〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿六百二〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿六百三〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿六百四〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明史稿六百五〕（萬曆間明史三百八十六）。〔明史稿六百六〕（萬曆間明史三百八十七）。〔明史稿六百七〕（萬曆間明史三百八十八）。〔明史稿六百八〕（萬曆間明史三百八十九）。〔明史稿六百九〕（萬曆間明史三百八十五）。〔明

〔焦子〕ﾃﾞｽ 世祀の一種。種核のないもの（本草、枇杷）果解。時珍曰、廣志云、枇杷葉、種、葉微似栗、云云。本條者、名「焦子」。こげ死ぬ。（墨子、非攻下）寒暑雖至、五穀無成。

〔焦心〕ﾃﾞｽ 氣をもむ。心をいためる。焦心。

〔焦思〕ﾃﾞｽ 氣をもむ。心をいためる。焦心。

〔焦勞〕ﾃﾞｽ 氣をもむ。心をいためる。焦心。

〔焦頭爛額〕ﾃﾞｽ 「史記、魏其・武安侯傳」「乃ち身焦頭、居外十二年、一起相國、封侯、一起御史大夫、本末、焦思苦身、死已百責」

〔焦獲〕ﾃﾞｽ 人名。中國の物理學者。（焦氏易林）の著。易の研究。（焦氏易林）に、本國に作る。（Jesus Franciscus）に、本國に作る。（Jesus Franciscus）と計る單位。（ニュートンが發見した付象に作る。）ジュールの發見した物理上の定律。電氣を通過に通ずる時、導線の一部に生ずる熱量はその部分の抵抗と電流の強さの二乘と電流を通じた時間との相乘積に正比例する。

〔焦城〕ﾃﾞｽ 地名。（山東省臨淄縣の南、青山の東、（墓誌銘）。）後漢、周武王封、神農之後於焦、卽此、今其地名焦城村。●南南省中牟縣の西南、（竹書紀年）述要、成王十六年、秦公孫枝伐鄭、圍焦城、不克。

〔焦雷〕ﾃﾞｽ ●やく、やける。燒灼。（神仙傳）焦先名知愚、魏、太祖聞、之、見、先生、先、知愚、遂下、不、動、大、過、庵、庵、先、方、徐、州、起、先、知愚、室、因、燒、仕、（後漢書、焦先）●七中、若、だしく、憂、苦、する。（史記、孟嘗君傳）孟嘗君、憂、苦、焦、思、久、之、（後漢書、馮衍傳）衍

蔚蔚大學士を累加せらる。學識・精神を矢無隠・到達と密迫し、故法を決し、揮神を矢無隠・揮神を矢無隠・揮致れるや、御史・彈劾せらるべし。職を免ぜ

【鄉史】魏、二百八十二〇(魏鄉獄錄、四百)

【焦白】ｊｉｎ 白、焦黄の人。字は任道。弟士誠の同僚として龍居す。心覚はしし、紙がせく(鮑照、請

【焦迫】ｊｉｎ 迫、焦黄の人。字は士誠。

【焦髮】ｊｉｎ 髮、焦髮(焦黄)の石。

【焦飯】ｊｉｎ 飯、こげた飯。姜夔歌、こがめし、世説新語、徳行。染肥瘠、高生身、母好食、錄瓜飯、通作鄭、恢姜、義母、食、食、螺殼、錄

【焦尾】ｊｉｎ 尾、焦尾を見よ。●後漢、蔡邕が桐を焼くこと。又、虎が焦げて化して人となること。尾を焼いて始めて人となる。虎尾を焼いて始めて人となる。(1943 0…2)

●●を見よ。

【焦尾琴】ｊｉｎ 琴、蔡邕が人の燒してこの桐の焦げ尾を聞いてその良材なることを知り、その桐を焼いて琴を作ったる故事。(後漢書、蔡邕傳、宋人有、燒桐以爲爨者、邕聞之、曰、是良材也、故請人乞而斫之、果有美音、號爲焦尾琴。)

【焦尾】ｊｉｎ 尾、焦尾琴。

【焦尾】ｊｉｎ 尾、焦尾琴。

【焦尾】ｊｉｎ 尾、焦尾琴。

の進士。崇嶺中、右僉都御史を以て直府を巡撫したが、属全左僉の守を欠くに坐して免官せられ、御史に遷る。崇嶺中、右僉都御史を以て直府を巡撫したが、属全左僉の守を欠くに坐して免官せられ、御史に遷る。

焦潤[清]人。明の人。海清の曾孫。字は誠一。嘉靖二百二十四年（一五四五）、明史二百二十四に見える。

焦潤[明]人。明の人。沙河の人。縣に歴知し、政績あり、御史に遷る。崇嶺中、右僉都御史に遷ぶたり、後、李自成に敗られ、囚せられて死す。（明史、一百五十一）

焦方順[清]人。陳の人。道士。明末に陳を奪ふ。

焦奉鳳[明]人。開府の時、雲に天子となるべしと相し、後、降陣する に及んで、開府を拜命す。（陳義、七十七）

焦思明[明]人。開府の人。字は士遠。弘治の進士。

焦守節[清]人。宋の人。嘉勲の子。字は秉真。蔭を以て正郎判通判を歴任し、後、知州に昇進し、開州通判を歴任し、後、降陣する に及んで、開府を拜命す。（陳義、七十七）

焦人[宮]は開州判官。字は士遠。弘治の進士。

焦茶色[清]色。茶褐色。

焦仲卿[清]人。建安中、建江の小吏。妻の劉氏、仲卿の母のために逐はれ、返る自ら髮で再嫁す。其の家、之に再嫁を迫り、水に投じて死す。仲卿も之を聞き、亦自ら縊死に臨む。時人、詩を作つて之を傷む。

焦氏仲卿妻[清]建江の小吏仲卿は劉氏を娶つて相和したが、劉氏が姑の逮得に堪えず、遂にかつて復た嫁せず、髮を剪つて死す。仲卿之を聞いて又自ら縊死す。

焦仲卿妻[清]人。仲卿の妻。（玉臺新詠、樂府詩集、古詩紀）

焦[明]人。字は輝正。官は鈴天監五官正。清末の人。字は輝正。官は鈴天監五官正。清末の人。字は輝正。官は鈴天監五官正。清末の

同じ。〔集韻〕槱、說文、大也、謂志大也、或作𣏟。字彙、大也。●おほい。〔廣韻〕𣏟、多也。●鮮を参照(19129)の俗字。〔正字通〕𣏟、俗字。

熇 19129

㊀キュウ（集韻）吉仲切 屋
㊁キュウ（集韻）五弓切 東
㊂コウ

㊀●つきる。つくす。〔玉篇〕熇、盡也。●かわかす。火で物をかわかす。〔集韻〕熇、火乾物。㊁●かわく。〔廣韻〕熇、乾也。●きらす。日にさらす。或は熇(7‥19236)に作る。〔集韻〕熇、曝也、或从宮。●もえのこり。〔集韻〕熇、燼也。㊂燈(7‥19114)の俗字。〔正字通〕熇、俗燈字。

熝 19130

（集韻）通合切 合

●うづみび。火をおほい埋める。又、其の火。〔集韻〕熝、藏火也。●うづみびをかきたてる。〔正字通〕今人謂藏火使復然、曰熝、讀若遏。

熝 19131

ゼツ（集韻）如劣切 月
ネチ
日XCL

文、燒也、或作𤇾。〔集韻〕熝、說文、燒也、或作𤇾。〔玉篇〕熝、後漢書、合二種藥。

煬 19132

㊀ショウ（集韻）羌約切 藥
㊁エキ
ヤク

（集韻）夷益切 陌

㊀わかくるまる。かわかすまる。〔集韻〕煬、乾兒。㊁火の光。煬(7‥19144)、或(7‥19142)に同じ。〔集韻〕煬、字林、火光也、或从三火、亦作𤇾。

煬 19133

クワ（集韻）烏禾切 歌
ワ

あたたかいさま。〔集韻〕煬、燒兒。

煢 19134

ケイ（集韻）戈韻、或作𤇾。●煢(4‥10655)に同じ。〔集韻〕煢、或作𤇾。●煢(7‥19217)に同じ。〔廣韻〕煢、光、上同。

敎 19136

㊀カウ（集韻）吉巧切 巧
㊁ケウ（集韻）居效切 效

㊀●もやす。水を交へて灼く。校(7‥19529)に同じ。〔說文〕敎、交灼木也、从火敎省聲、讀若絞。〔集韻〕敎、或作𤇾。〔正字通〕敎、同上。校、㊁に同じ。〔集韻〕敎、交灼木。

燃 19137

㊀キン（集韻）居新切 真
㊁コン
（集韻）古尊切 魂

●やく。あぶる。〔集韻〕燃、炙也、一曰、燃也。〔左氏、昭十八〕、司馬司寇、列、居火道、行、火所。燃。〔注〕

焯 19138

フツ（集韻）蒲勿切 物
フチ

●火の不時に燃え出して又消えること。燃滅。もと𤇾。燔(7‥19591)に作る。〔正字通〕焯、本字从正例、一或字不便于檢、今作焯。〔說文〕𤇾、燔燒也、从火發聲、發、撥文字子。〔集韻〕𤇾、燔燒、火不時出而滅。●おこにび。〔集韻〕𤇾、一曰、鬼火。●火の盛なるさま。〔集韻〕𤇾、一曰、火盛兒。●既は燃(7‥18940)に作る。〔廣韻〕𤇾、亦从沸。●既(7‥19199)に同じ。〔廣韻〕𤇾、亦作燃。

焯 19139

㊀シャク（集韻）蒲巧切 巧
㊁ヤク
（集韻）都嘉切 麻
（集韻）若角切 覺
チャク
ZAO

●あきらか。〔說文〕焯、明也、从火卓聲、周書曰、焯見三有俊心。●やく。灼(7‥18878)に通ず。〔廣雅釋詁〕二、焯、燒也。〔集韻〕焯、通作灼。●火氣。●或は炸(7‥18921)に作る。〔集韻〕炸、或省。●てらす。かがやく。〔杜甫、火詩〕光輝焯、洲渚。

焯 19140

（集韻）蒲巧切 巧

（集韻）夷益切 陌

●わかくるまる。かわかすまる。〔集韻〕焯、乾兒。●火の光。焯(7‥19144)、或は焯(7‥19142)に同じ。〔集韻〕焯、字林、火光也、或从三火、亦作𤇾。

焯 19141

エン

通塙、本作𤇾。

（説文）焯、火が燃え始めて、火の勢が盛でないさま。始焯(7‥19395)と見よ。

（説文）焯、火が燃えて、火の勢が盛なさま。始焯(7‥19395)と見よ。

（玉篇）焯、明らかなさま。（玉篇）焯、明らかなさま。（集韻）焯、明らかなさま。（廣韻）焯、明らかなさま。（集韻）焯、明らかなさま。（類篇）焯、明らかなさま。（類篇）焯、明らかなさま。（類篇

のはげしいことをいふ。(王奇、書王叔岷詩)

【焰目】鍾嶼、鍾、諸、焰、而火。

【焰口】鍾嶼、鍾、諸、焰、而口。一夜、阿難が獨り靜室に居るとき、三更に臨む。焰口といふ餓鬼を見る。身體は枯槁して、咽針のやうで、口から火燄を出いて居た。阿難に云ふには、今後三日、汝の命は盡きて餓鬼の中に生れる。阿難が恐れて、佛に救を求めた。佛は此の苦難を免れる法を教へた。(法句譬喻經)

【焰口會】鍾嶼、鍾、諸、焰、而會。佛教の儀禮。餓鬼に食物を施し、我の亡父の供養をする。(佛教辭典)

【焰口鬼】鍾嶼、鍾、諸、焰、而鬼。佛教の餓鬼。

【焰口法】鍾嶼、鍾、諸、焰、而法。一解の食物を施し、我の亡父の供養をする。(佛教辭典)

【焰口食】鍾嶼、鍾、諸、焰、而食。佛教の餓鬼。

【焰口會】鍾嶼、鍾、諸、焰、而會。佛教の儀禮。

【焰口法】鍾嶼、鍾、諸、焰、而法。一解の食物を施し、我の亡父の供養をする。(佛教辭典)

【焰口食】鍾嶼、鍾、諸、焰、而食。佛教の餓鬼。

【焰口鬼】鍾嶼、鍾、諸、焰、而鬼。佛教の餓鬼

後、而後也。乃也。然且、而且也。昭十二年、殺梁傳曰、失德不釋、怒不釋、滅國不釋。然且釋之。孟子公孫丑篇曰、識其不釋、然且送之。孟子公孫丑篇曰、識其必悉。於不忘。醫者、然而治國之宜、未必賢。於不忘。治國者、偶得其方、遭晚其病。⑩しかれども。しかれども。上を踏まえて下を起す。用ひる詞。然而といふも同じ。（經傳釋詞、七）然、詞の轉也。孟子公孫丑篇曰、夫子之勇、未知其比孟賁。然而孟賁古之勇士也、何以謂之未知其比孟賁。（注）孟賁、衛人、夫子之勇、未知其比孟賁。然而孟賁、

藏命見藏能之內，皆入鼻失，入鼻失已，得涅槃。論本
義云，鼻失聚然，然入失已，得涅槃。
（19149‧‧8）－（19149‧‧44）
論云，如經中說，如來入涅槃，得涅槃。論曰：
如經中說，如來入涅槃，得涅槃。論曰：
如經中說，如來入涅槃，得涅槃。論曰：

火 部 (八—九畫) 熱 煠 煉 煖 煢 煎 煩 煒 煓 煒 煙 煙 煙

火が燃え出す。〔玉篇〕煙、火始起。

煅 19172 タン 説文11 40625 に同じ。〔五子之歌〕同。

煆 19173 ㊀カ ㊁ケン ㊂カン ㊃ケン ㊄カウン
ア ケン ハ ケン
〔集韻〕虛訝切 〔廣韻〕許下切 〔集韻〕虛加切 〔廣韻〕

〔説文〕煆、火乾也。〔詩小雅巷伯〕緝緝翕翕、成是貝錦。〔傳〕翕、盛貌。〔注〕翕、翕然成文。〔廣韻〕翕、翕然、盛貌。〔玉篇〕翕、翕然、盛貌

まぜてこねる。藥を練る。

【煉香】〔ﾚﾝｺｳ〕 麝香・龍腦・沈香等の細末の香料に甲香を加へたもの。あはせたきもの。

【煉】〔ﾚﾝ〕 粘土を民力形に固めて燒いたもの。土木・建築に用ひる。

【煉瓦】〔ﾚﾝｸﾜ〕 煉瓦を使用して造つた家。

【煉坯】〔ﾚﾝﾋﾞ〕 瓦の一種。粘土を水でこねて型に入れて燒いたもの。土木建築用材。

【煉青】〔ﾚﾝｾｲ〕 經は生絲。緯は練絲に染つた紺色。

【煉絲】〔ﾚﾝｼ〕 練絲。練は練絲に染つた紺色。

【煉獄】〔ﾚﾝｺﾞｸ〕 教徒の純粹でない者が、天國より來る前に、必ず地獄の苦によつて其の罪障を煉獄の間、罹焚・偽教の說。〔Purgatory〕の譯。

【煉指】〔ﾚﾝｼ〕 〔經〕の中に、「佛法を修行し、金剛・初發心・轉輪・梵王・帝釋・魔王・沙門・婆羅門・居士・長者・國王・王子・人・非人・一切衆生、皆悉是佛」とあり

い。美しい。〔後漢書、班固傳下〕至至宗祀、煌煌

煌煌、注（煌煌、猶美也。

煌煌京洛行〕。〔文選〕　**崇煌**　**崇煌**　**崇煌**

(新書、船説)・太平商内、牛、而不敢賣鹽鹹。(南史、孫瑒傳)『若自無調不辦、動劾(…)』。『(…)』。『(…)』。『

時、取其美味者、收入。【素問・臣味甘美。】

【煮粥】ちゃかゆ　かゆをにる。【北史・王慶傳】……乃煮粥與諸士。

【煮茶】ちゃ　茶を煮る。【唐書・陸羽傳】……好飲茶、煮茶、……友愛の厚いを喩。【唐書・劉禹錫傳】……自爲詩曰、……煮茶、……煙の立ち昇るを見て、…………。

【煮粥】しゅく　粥を煮る。【唐書・李仲昇傳】…………。

【煮熟】じゅく　飲食物等を煮ること。【本草・……】

【煮染】しゃ　……。

【煮飯】はん　……。

【煮茶】ちゃ　茶を煮る。【……】

【煮泉】せん　泉の水をわかす。【……】

【煮沸】ふつ　……。

【煮糖】とう　……。

【煮蒸】じょう　……。

【煮婦】ふ　……。

【煮湯】とう　……。

【煮粥】しゅく　……。

【煮茶】ちゃ　……。

【煮沸】ふつ

之肉於湯也、或作𤇾。𤇾（集韻、鉄韻、説文）於湯中煮肉、或作𤇾（楚辭、大招）。馬鳥魚鼈鮮𤇾只。（注）鮮、煮也。●木の名（集韻）結、木名。似松可爲船。及作𣏟。（説文）結、木名。似松可爲船。及作𣏟。（説文）結、木名。似松可爲船。及作𣏟。（説文

の製造家の名。性は李、轟として、綠茶の名。

【熙春茶】[illegible] 明・茶經上(9・12585・3252)の字。

【熙】[illegible] 清・乾隆化百(6・10627・1542)の字。

【熙】[illegible] 宋・建炎二年(1128)の字。

【熙】[illegible] 清・乾隆化百(6・10627・1542)の字。

【熙】[illegible] 明・茶經上(9・12585・3252

煩前。夕、大家則唱數客、謂之煖費。

【煖衣】ノイ 。あたたかい衣服。煖服を著る。煖衣、(孟子、滕文公上)穿給煖衣。

【煖暖】ノノ 。暖衣。(孟子、離婁上)煖暖則淫。

【煖酒】ノ 。燗酒。(孟子、離婁上)煖酒。(後漢書、馮魴傳)魴既、素知(今方)以酒、酒、魴任事之。

【煖衣飽食】ノイ ハ 。衣服と十分な食物。衣食に不足のない生活の喩。(荀子、榮辱)是故、人之所以異於禽獸者、以其有知也、(孟子、滕文公上)食而不教、則近於禽獸。聖人有憂之、使契爲司徒、教以人倫、父子有親、君臣有義、夫婦有別、長幼有序、朋友有信。

【煖廉】ノ 。暖廉。(孟子、離婁上)煖廉。

【煖廉】ノ 。暖廉。(孟子、離婁上)煖廉。

【煖廉】ノ 。暖廉。(孟子、離婁上)煖廉。

【煖】ノ 。あたたかい。(孟子、滕文公上)煖

與氏同。(篇海)叢書、女家衆。(篇海)叢聚。(篇海)(字彙)女家或子子嗣與。移(字彙)移。(字彙)(字彙)

熾 19198 テン (五音集韻)喜豫切 **熾**

くびかせ。(五音集韻)熾、錯也。

熒 19199 フツ 熒(7・19138)の誤字。(字彙)

榮 19200 クワン 榮(7・19617)に同じ。(字彙)榮、同。

煙 19201 キ 煙、同。(字彙)

熌 19202 ホツ (集韻)溝況切 **月**

煙 の起るさま。熌(7・19072)に同じ。(集韻)熌、煙起兒、或从物。

煙 19203 小篆 エン (集韻)因堅切 **先** 一切 yen

煙 或 **𡊮** 古 **𡊮** 籀 **𡊮** 文 **𡊮** 俗 **煙** 本字 **煙** 俗 **煙** 俗 **煙** 俗

〔煙苑〕[illegible]。もやのかかってくるる庭園。（王元稹『[illegible]』）

〔煙花〕[illegible]。もやのかかってくるる花。かすみたなびく花。（[illegible]『[illegible]』）

〔煙起〕[illegible]。もやのたちのぼること。（[illegible]『[illegible]』）

〔煙迷〕[illegible]。もやのかすみ。（[illegible]『[illegible]』）

〔煙霞〕[illegible]。けむりとかすみ。もやとかすみ。（梁元帝『[illegible]』）

〔煙霧〕[illegible]。[illegible]。（[illegible]『[illegible]』）

〔煙蘿〕[illegible]。[illegible]。（[illegible]『[illegible]』）

〔煙蘿子

三千里。煙花。一萬里●たちかぐうるはしい輪繁華（桂林）。蘇詩。蓮城樓閣煙花裏。漢主山河錦繡中。（杭州）。蘇詩。蓮城樓閣煙花裏。漢主山河錦繡中。●鼓女・娘女・鼓妓・胡妓（武酒）。蘇詩。詩案上無。煙花。春恨。思。女加色（元曲・紅梅妓女）。花初你青・書來。要見。謝金蓮。（元曲・紅梅妓女）。我怕你迷・蝶煙花。別了你進京之志。是我分。（元張千・別說・謝金蓮・孫・了人。）。（遺魂記・詩）。病天天是煙花客。著我孤孤・招。●煙草と綿。

煙花客　ヤンファクヤ　煙花。煙草。（杜樓夢。同）。擇業。擇業。擇業。花花客。

煙花鬼　ヤンファクイ　妓女をいふ。（桃花扇・媚座）。笑他奇遇煙花鬼。好（同）。妓女に嫁（同）。

煙花集　ヤンファシウ　書名。（蘇軾・上梅直講書）。（蘇軾・上梅直講書）。其の主旨。幼知學問。聞文明有才思。尤好詩賦之作。（蘇軾・上梅直講書）。

煙花客　ヤンファクヤ　煙花客。（杜樓夢。同）。擇業。擇業。擇業。花花客。

煙花柳巷　ヤンファリウハン　妓女。（杜樓夢。同）。擇業。擇業。擇業。花花客。

煙花月　ヤンファユエ　妓女をいふ。（桃花扇・傳歌・煙花妙都・風月名場。子民義院之中。）。（桃花扇・傳歌・煙花柳巷。）。

煙花塞外　ヤンファサイワイ　畑の花の塞が（俗語）。（蘇軾・上梅直講書）。（蘇軾・上梅直講書）。

煙草　ヤンツオ　煙花（ニ）の意に同じ。（感鬼）。

煙筒　ヤンツン　煙花（ニ）の意に同じ。（感鬼）。

煙筒　ヤンツン　煙花（ニ）の意に同じ。（感鬼）。

煙筒　ヤンツン　煙花（ニ）の意に同じ。（感鬼）。

煙管　ヤンクワン　煙草を吸ふ。（感鬼）。

煙管　ヤンクワン　煙草の灰。（感鬼）。

煙管　ヤンクワン　煙草を吸ふ

〔燈草盆〕[illegible]。●火入れ・灰吹き等。燈草を吸ふ結び方。おたばこ。

〔燈草〕[illegible]。●灯心草。

〔燈籠〕[illegible]。●小女の髪結ひ方。おたばこ。

〔燈籠〕[illegible]。●[illegible]。

〔燈籠〕[illegible]。●[illegible]。

〔燈籠〕[illegible]。●[illegible]

了説、春日会、金葉観、詩山川風景、雪月花、種樹人、
〔煙霞〕〔名〕霞。霧。〔新撰字鏡〕「煙霞」。〔和名抄〕「霞」。
〔煙草〕〔名〕〔漢語抄〕「烟草」。〔倭名類聚抄〕「烟草」。
〔煙草の花〕〔連語〕〔和名

さま。

〔燈盞〕[ta]・[tsan]・[tsan]・燈皿の六面。

〔燈壁〕[ta]・[pi]・[pi]・字は燈を見よ。●燈壁すれば（天井に）星落星出。

〔燈壁所成〕[ta]・[pi]・[so]・[se]・[tsei]・[tsei]・[tsei

〔郭璞注賦〕氣者乎可爲勝載。(注)師古曰、煜電光狀如火。

煙 荷包切 yān, ān, hān 鑑韻 ①火絪而煙、民動如煙。

煙 煙俠切 yān, ān, hān 鑑韻 ①鶴片を吸ふ道具。

煙 邵氏曰、いまの煙草にがある。

煙 九月 yān, yān, yān, hān 陰曆正月十九日を云ふ。元の郎僧が行道した日と傳へられ、北京九月朔より、白雲觀に參詣する。故は毬九月、燕九朔より、白雲觀に參詣する。故は毬九月、燕九朔より、白雲觀に參詣する。故は毬九月、燕九

●光るさま。〔玉篇〕煟、光也。●火の光。〔集韻〕煟、火光也。●ゆるやかで明るいさま。煟煟。〔詩、小雅、斯干〕噦噦其笑。〔毛〕噦噦、猶煟煟也。〔文選、潘安仁、藉田賦〕解軒駕、鬱鬱煟煟。〔注〕劉曰、煟、疾貌。

煠 19213

□エフ □ヨウ □ヨウ

〔集韻〕〔正字通〕匿

〔集韻〕紙韻 □ヨウ 一セ 葉 □ヨウ 洽韻 ヒヤ chaʿ

□ヤく。〔廣雅、釋詁〕煠、煮也。●ゆでる。湯に入れて煮る。或は酒。(7－17865)に作る。〔廣雅、釋詁〕煠、湯瀹也。〔集韻〕煠、湯煠也。〔集韻〕煠、博雅、魯也。或作酒。●油で揚げる。〔集韻〕煠、或作煠。〔通俗編、雜字、煠〕按今以食物納之油及湯中、一湯而出曰煠。●妹(7－19150)に同じ。〔康熙字典〕煠、譌作妹。

煠餅〔一chaʿ bīng〕ゆでた餅。

煠粔籹〔一chaʿ kuò nǚ〕油で揚げた菓子。カステラの類。

煠熟〔一chaʿ shú〕ゆでて調理する。〔集韻、紙韻〕煠、或全書に炸。〔廣東、煠熟去、酸味、油鹽調食〕ゆでて食べる。〔草部、蔬部〕蔬菜部、詩疏曰、煠葉菜、油で煮る。

煠食〔一chaʿ shí〕煮の調理。

煠鱔〔一chaʿ shàn〕煮の調理。

煠〔一chaʿ〕ゆでる。

煠蠟〔一chaʿ là〕蠟のゆで物。

煠治〔一chaʿ zhì〕油であげて味をつけること。〔愛

烝 19214

カン ガン

〔集韻〕諫韻 甘諫 勘

〔玉篇〕烝、火行貌。〔集韻〕烝、火行貌、或作烝。●火のもえあがるさま。〔玉篇〕烝、火行皃。●火がもえ上る。〔玉篇〕烝、火上行。〔集韻〕烝、火上行、或作烝。

烝 19215

□ソウ ダ □ソウ

〔集韻〕董韻 動切 蕩 〔集韻〕蕩韻 徒朗 蕩

小 〔玉篇〕(7－19236)に作る。〔正字通〕燈、俗燈字。〔段玉裁、説文〕燈、然、燭基也、从火、鄧聲。段玉裁、説文〕燈、然、燭基也、从火、鄧聲。●麻がらを燃やす。もと燈。〔玉篇〕燈、然、燭基也、从火、鄧聲。●たいまつ。〔玉篇〕燈、(7－19176)に同じ。〔集韻〕燈、博雅、燈、炬也、或省。

燈 19216

キン

〔篇海類編〕〔字彙〕

健

ほのぼの。〔篇海〕健、昏餘也。

煢 19217

ケイ キョウ

〔集韻〕〔字彙〕〔正字通〕

□ひとり。(2)兄弟のない獨りもの。〔玉篇〕煢、單也、無兄弟也。〔書、洪範〕無虐煢獨。〔傳〕煢、單

煤 小 [二四] ●ためる。木を矢り柔かくし、曲げ伸して形を改める。〔說文〕煤、屈申也、从火屈。未曲聲。〔玉篇〕煤、以火屈木曲。〔廣韻〕煤、蒸。木使曲也。〔集韻・韻・火揉〕木也。●或は揉・16・12232。枝・6・15100）に作る。●或は揉・16・12232。枝・6・15100）に作る。〔集韻・韻・火揉〕或作揉・煤。

煤 19220 バイ 〔集韻〕莫杯切 ㄇㄟˊ mei²

●すす。煙が物に附着して凝った黒色のもの。煙塵。〔玉篇〕煤、炭煤。〔廣韻〕煤、炭灰。屋也。〔呂覽・任數〕鬱者煤入甑中、炊不糪。回復而飯之。〔注〕煤炭、煙塵也。●すみ。〔正字通〕煤、煙墨。〔韓偓・煤煙持贈紙爵煤古筆美〕●石炭。〔正字通〕石曰煤、脂曰膏。●すすける。すすがかかって黑くなる。よごれる。

〔煤印〕mei² yin³ 〔日本外史・新田氏前紀・檢氏〔東國詩章〕〕すす。煤印。其色白。

〔煤窰〕mei² yao² 〔宋史・食貨〕〕炭窰。

〔煤油〕mei² yu² ●すす・油煙。〔本草・水蛭〕〕珍曰、多用藥。於鐵鍋、如煤煙。

〔煤氣〕mei² qi⁴ 〔白居易・花紀〕〕夜は、煤氣。●mei², chi², chi³ 炭灰。

〔煤氣機〕mei² qi⁴ ji¹ 〔日本外史・新田氏前紀〕〕瓦斯機。

〔煤氣灯〕mei² qi⁴ deng¹ 〔日本外史・新田氏前紀〕〕瓦斯燈。

〔煤氣管〕mei² qi⁴ guan³ 〔日本外史・新田氏前紀〕〕瓦斯管。

〔煤炭〕mei² tan⁴ 〔呂覽・任數〕〕炭。

〔煤塵〕mei² chen² 〔呂覽・任數〕〕鬱者煤入甑中、炊不糪。回復而飯之。〔注〕煤炭、煙塵也。●すすやけしむ。ゆえん。〔白居易・花紀〕〕夜は、煤氣。●mei², chi², chi³ 炭灰。

〔煤氣〕mei² qi⁴ 〔白居易・花紀〕〕夜は、煤氣。●mei², chi², chi³ 炭灰。

〔煤氣灯〕mei² qi⁴ deng¹ 〔日本外史・新田氏前紀〕〕瓦斯燈。

〔煤氣管〕mei² qi⁴ guan³ 〔日本外史・新田氏前紀〕〕瓦斯管。

〔煤氣灯〕mei² qi⁴ deng¹ 〔日本外史・新田氏前紀〕〕瓦斯燈。

〔煤油〕mei² yu² 〔日本外史・新田氏前紀〕〕石油のわく井戸。油井。

〔煤氣灯〕mei² qi⁴ deng¹ 〔日本外史・新田氏前紀〕〕瓦斯燈。

〔煤瓦斯〕mei² wa³ si¹ 〔日本外史・新田氏前紀〕〕瓦斯。

〔煤瓦斯灯〕mei² wa³ si¹ deng¹ 〔日本外史・新田氏前紀〕〕瓦斯燈。

〔煤瓦斯管〕mei² wa³ si¹ guan³ 〔日本外史・新田氏前紀〕〕瓦斯管

也。說文通訓定聲「爲」段借爲「毘」。

解字 會意形聲。昔目が正しくないゆゑにみることえての合字。昔はくらい義に取つて大の一説には、煥は目に昔は聲を兼ねる。昔は聲を表はすといふ。字解を見よ。〔說文〕「火盛」。昭・故・火。

【煥】 19223 チン（玉篇）在沸切 **匿**

もえ錢り。〔玉篇〕煥、火燒殘也。

【煥】 19224 クワン（集韻）胡反切 **ｈｕａｎ**

燐小 **火のひかり**〔說文新附〕燐、火光也。从火粦聲。●**あきらか**。明かなさま。通じて煥。〔論語・泰伯〕煥乎其有文章。〔集注〕煥、光明之貌。発揮煥其滿字。〔中庸大全典〕煥、魯駿疏、煥然的。〔漢書・郊祀志〕宜有石煥〔玉形〕〔煥躍〕〔ｈｕａｎｙａｏ〕かがやき明かなこと。〔繁露・郊祀〕「石煥躍」。〔煥煥〕〔ｈｕａｎｈｕａｎ〕明るくかがやくさま。〔韓詩〕「明月皎皎、照我羽翼。明月照我、我心煥煥。」〔煥然〕〔ｈｕａｎｒａｎ〕かがやき明かなさま。〔漢書・武帝紀贊〕「煥然更始」。〔煥然冰釋〕〔ｈｕａｎｒａｎｂｉｎｓｈｉ〕氷の解けるごとく、あきらかになること。〔文心雕龍・序志〕「煥然冰釋、昭然雲開」。〔煥然大新〕〔ｈｕａｎｒａｎｄａｘｉｎ〕すっかりあたらしくなること。〔後漢書・馬援傳〕「光武謂援曰、……公孫述……自以……王、……今……煥然大新、……」。〔煥然有文〕〔ｈｕａｎｒａｎｙｏｕｗｅｎ〕文章のあるさま。〔後漢書・馬援傳〕「……煥然有文、……」。〔煥然自失〕〔ｈｕａｎｒａｎｊｉｓｈｉ〕あやあるさま。〔後漢書・武帝紀贊〕「……煥然自失

❶𤇾（ａ－５６６６）通ず。『詩小雅、巷伯』傳、𤇾不連同之女。轉文。𤇾、本字雅、巷伯、傳、同。

【𤇾】𤇾（ｂ－１３８２２）に同じ。『集韻』に、𤇾、俗作、𤇾。『𤇾、熱也、乾也』。吳越日𤇾𤇾。国𤇾𤇾𤇾𤇾。𤇾（ｃ－３５７０）に同じ。『集韻』に、𤇾、或作、𤇾。

【𤇾育】𤇾育。あたためてだそうる。めぐる育する。『𤇾育、𤇾育、𤇾育、

【照行仙】[illegible] 鑑需固に恐全し、その思念が眞潤に成就する者に、榜就經八部固恵念面に休恵恵慢闍成、名。照行仙。

【照校】[illegible] 照らし校べる。

【照述】[illegible] 照らし述べる。

〔淮南子・齊俗訓〕「無之所一用、而萬物之所一照」、注「述、猶言若」。

【照遣】[illegible] 遣は遣わす意。「輯慶全書」、智任部、「[illegible]照、[illegible]照、[illegible]遣、[illegible]」。

【照[illegible]】[illegible] 「[illegible]照」。

【照[illegible]】[illegible] 起行[illegible]。「輯慶全書」、智任部、「[illegible]照、[illegible]」。

【照[illegible]】[illegible] 「[illegible]」。

【照[illegible]】[illegible] 「[illegible]」。

【照[illegible]】[illegible] 「

〔照相鏡〕 chao1 xiang4 jing4, ching4. 寫眞鏡のレンズ。
〔照相館〕 chao1 xiang4 guan3. 寫眞館。
〔照相的〕 chao1 xiang4 de5. 寫眞師。
〔照相機〕 chao1 xiang4 ji1. 寫眞機。
〔照相紙〕 chao1 xiang4 zhi3. 寫眞紙。
〔照相術〕 chao1 xiang4 shu4. 寫眞術。
〔照相底版〕 chao1 xiang4 di3 ban3. 寫眞の原版。
〔照相鋼版〕 chao1 xiang4 gang1 ban3. 寫眞鋼版。
〔照相石版〕 chao1 xiang4 shi2 ban3. 寫眞石版。
〔照相銅版〕 chao1 xiang4 tong2 ban3. 寫眞銅版。
〔照相版〕 chao1 xiang4 ban3. 寫眞の上に腐蝕した印刷版。
〔照相鉛版〕 chao1 xiang4 qian1 ban3. 寫眞鉛版。
〔照相鋅版〕 chao1 xiang4 xin1 ban3. 寫眞鋅版。
〔照相鋼版〕 chao1 xiang4 gang1 ban3. 寫眞鋼版。
〔照相石版〕 chao1 xiang4 shi2 ban3. 寫眞石版。
〔照相銅版〕 chao1 xiang4 tong2 ban3. 寫眞銅版。
〔照相鉛版〕 chao1 xiang4 qian1 ban3. 寫眞鉛版。
〔照相鋅版〕 chao1 xiang4 xin1 ban3. 寫眞鋅版。
〔照相鋼版〕 chao1 xiang4 gang1 ban3. 寫眞鋼版。
〔照相版〕 chao1 xiang4 ban3. 寫眞の上に腐蝕した印刷

醢。(長生殿)**鬱鬱**又作**鬱**。**鬱**(**鬱**)**鬱**。

【**鬱**(**鬱**)**鬱**】

【照世林】[ibid.] ◎擬鳥兒字國に無はつたとい小林、光明あり。よく世事を明らかに出すとい。【照明】[ibid.] 明あり。よく世事を明らかに出すとい。【照明】[ibid.] 明あり。よく世事を明らかに出すとい。【照明】[ibid.]

黃霸傳)・未聞藩宮 初若」・煩鞅・然顧務力能推行於是有 煩手煩鞅・不好煩鞅」

〔煩懇〕[fán kěn] わづらはしいおもひ。(後漢書・孫程傳)・孟堅・班固・物・稽日感土成圖・林蔚集註・稽・此林・稽・清風・稽・稽・稽・(文選・班孟堅・西都賦・)・・・

揺陳書云云。此皆接擾有情者心。能擾理繁多不可盡論。

煩惱魔 ［名］ 煩惱魔の略。煩惱魔は、心を惱ますもの。煩惱は、煩惱魔の略。煩惱魔は、煩惱魔の略。大珠和尚云。起心是天魔。不起心是陰魔。或起或不起心是天魔。我云法中無如是魔。

煩雜 ［形］ ［名］ 煩雜な。面倒な。

煩惱 ［名］ 煩惱。煩惱。煩惱。

る。(方言一、十二)**煬**、暴也。(廣雅、釋詁)**燥**、曝也。(同上)**煬**、揚雄、甘泉賦、北旗、幽都、南煬、丹崖。(注)良曰、煬、燿、皆光照也。●火の盛なること。(方言十三、注)今江東呼火盛盛爲煬。(荀子、寓言)**煬者遊竈**。(釋文)煬、炊也。●**臨**。(逸周書、諡法解)去心、繼遠、兼日。**煬**、炊也。●**臨**。(逸周書、諡法解)去心、繼遠、兼日。**煬**、炊也。**臨金**をとかす。或は作て一(19996)に作る。(集韻)**煬**、(後漢書、馮衍傳下)光武屋而煬之。(楊雄、甘泉賦)**煬**、爍金也。或作、烊。(韓詩外傳)**煬**、(後漢書、馮衍傳下)**煬**、火也。(荀子、寓言)**煬者遊竈**。(釋文)**煬**、炊也。●**臨**。(逸周書、諡法解)去心、繼遠、兼日。**煬**、炊也。**臨金**をとかす。或は作て一(19996)に作る。(集韻)**煬**、(楊雄、甘泉賦)**煬**、爍金也。或作、烊。(韓詩外傳)**煬**、(後漢書、馮衍傳下)光武屋而煬之。(楊雄、甘泉賦)**煬**、爍金也。或作、烊。(韓詩外傳)**煬**、火也。(法言、學行篇下)**煬**、火也。(法言、學行篇下)**煬**、則潤燥與精、僅、海陽河、則玄冥矣。**煬竈**。(呂氏春秋、季冬紀)**煬**、竈也。(淮南子、時則訓)**煬竈**、**煬**、**竈**、**竈**、**竈

同じ。〔中華大字典〕煖、寰俗字。讀如：保去聲。以：緩火、爨、勉也。或讀、與、無同。●國案。

〔煖口〕：pao. k'ou。精嫩竈口。舊式鎮著者の語。
〔煖公〕：pao. kung。煖に同じ。

煳 19261 コ 厂メ hu

無げる。焦がす。
〔煳臭〕：hu. ch'ou。焦げ臭い。
〔煳焦〕：hu. chiao。焦げる。焦がす。

煜 19262 ウン

煜(7－19236)に同じ。〔正字通〕煜、俗作、暈。

熏 19263 クン

熏(7－19306)の略字。〔正字通〕熏、俗从田誤。

熉 19264 コウ ク

(集韻)居候切 **匿**

かがり火。のろし。〔集韻〕熉、擧火也。

熔 19265 タイ ツイ

(集韻)通回切 **灰**

なへ、ぐそく。

熔 19266 タイ

熔(7－19267)に同じ。〔字彙〕熔、同鎔。

熔 19267 小 ヨウ

(説文)熔、兵死及牛馬之血爲熔。熔、鬼火也。从炎熔。●熔(7－19417)に同じ。〔説文通訓定聲〕熔、字俗作、熔。●又、熔(8－26939)に作る。〔廣韻〕熔、今作、熔。●鄭(11－39656)に同じ。〔列子〕天瑞。馬血之爲、轉鄭也。釋文。〔説文通訓定聲〕熔、字俗作、熔。●又、熔(8－32468)に作る。〔説文通訓定聲〕熔、字俗作、熔。●又、熔(8－32468)に作る。〔説文通訓定聲〕熔、集韻、字俗作、熔。

熔 19268 ヒョウ

熔(7－19407)に同じ。〔字彙〕熔、同、熔。

熔 19269 タウ

(集韻)徒郎切 **陽**

●うづみび。熱い灰。〔集韻〕熔、熱灰謂之熔燒。〔六書故〕熔、灰火也。〔説文〕熔、段注〕今俗謂、以火温出多聞、花、曰、熔花、即熔花字。●あたためる。〔説文〕熔、熔漿也。在滬東北。有唐太宗烽火臺、五里間有池二十步。無三日細、蕓入池中。

熔 19270 サウ セウ

(集韻)蘇故切 **匿**

イム chao。

いる、やく、炒(7－19915)。〔集韻〕熔、炒、或作、熔、炒。

熔 19271 サウ

(集韻)蘇、或書作、熔。

熔 19272 小 ヨウ

(集韻)式戰切 **霰**

戸ヤ shan。

(集韻)戸連切 **先**

●あふる。㋑火をおこす。㋺火を盛にする。〔字彙〕熔、使、火盛也。〔新論、防慾〕熔、燥章華。〔説文〕熔、段注〕熔、火盛也。〔南齊書、陳顯達傳〕熔、火がさかんに。〔説文新附〕熔、燒盛也。从火扇聲。〔集韻〕熔、火盛也。詩、小雅、十月之交。〔廣韻〕熔、火盛也。〔唐書、薛登傳〕食暴滋熔。〔廣韻〕熔、燒也。〔唐書、薛登傳〕食暴滋熔。〔説文〕熔、段注〕小雅十月之交曰、聽妻熔焚、美色曰、聽、熔、燒也。按、詩本作、煽、後人以訓、燒之故、改、貶。〔説文〕熔、段注〕熔、古通作、扇、詩、間妻扇方處、方、助也、廣雅、熔、炎也。〔集韻〕熔、或从火。●あふる。㋑扇で風を起す。㋺酒を飲む。㋩戸などが風にゆれ動く。㋥馬上で馬をはやめる。●あふり。㋑あふる。〔説文〕熔、段注〕熔、風にふかれて動くこと。㋺馬の兩脇に乘れる泥よけ、障泥。

熔 19273 ケイ キャウ

(集韻)古迥切 **迥**

●目のおとろくさま。〔集韻、廣韻〕熔、目驚貌。●喫(7－19205)の誤字。〔正字通〕喫、喫字之譌。

熔 19274 オン

●長(7－19865)に同じ。〔集韻〕熔、長、或作、熔。●熔(7－19865)に同じ。〔集韻〕熔、或从恩。

熔 19275 小 サ

(玉篇)子和切 **歌**

ヨウ ヤウ

(玉篇)知遥切 **豪**

(集韻)祝哲切 **薬**

●たばねた炭。俗に美(7－19905

〔煖行〕：nan。おだててそそのかす。〔煖動〕：〔柳宗元、劉門銘〕群獸不制、妖獸煖行。
〔煖擊〕：nan。火炎の語があふりなでられてわざはひをとること。〔開宗元、消魔二記順牌〕：潛火の惑。〔蘇舜欽上集賢文相書〕遂煖遂說。
〔煖燬〕：nan。あふってさかんにする、又、さかんなこと。〔潘岳、馬汧督誄〕：聲勢凌雲、種落煖燬。〔注〕輪日、煖燬、盛也。
〔煖動〕：nan。すすめるそそのかして事を起させる。あふる。●おだてる。又、おだて、煽動。
〔煖陽〕：nan。そそのかす。又、あげる。煽揚。
〔煖惑〕：nan。そそのかす。又、おだてる。煽動する。おだてまどはす。煽惑。
〔煖風器〕：nan。扇風器。

煖 19275 小 ヨウ

(集韻)夏五切 **姥**

サ

(玉篇)子和切 **歌**

ヨウ ヤウ

(玉篇)知遥切 **豪**

(集韻)祝哲切 **薬**

〔ヨウ ヤウ〕〔サ〕〔ヨウ ヤウ〕〔サ〕〔ヨウ ヤウ〕〔サ〕

7）に作る。（集韻）奕、説文、東炭也。（正字通）奕、俗省作炎。●わかかす。（廣雅、釋詁）奕、乾也。●日にさらす。（集韻）奕、博雅、曝也。

【燁】 19276 セイ （集韻）奕切 **庚**
●あかい。（廣雅、釋器）燁、赤也。●燁（7－19485）に同じ。（玉篇）燁、同燁字。

【煿】 19277 ハク 陌 （7－19485）に同じ。（集韻）煿、或作煿。

【熹】 19278 サイ （集韻）宰切 **海**
●にる。（集韻）熹、亨也。

【穀】 19279 ●コク （集韻）呼木切 **屋**
●赤いさま。日の出の赤いさま。（説文10－37021）に同じ。（集韻）穀、説文、日出之赤、或从火。（集韻）穀、赤兒。●火の音。（集韻）穀、火聲。

【煖】 19280 ●エン （五音集韻）烏轅切 **元**
●火光の盛なさま。（廣韻）煖、火光盛貌。●明かなさま。（玉篇）煖、明也。（集韻）煖、明貌。●見（6－13691）の俗字。

【煬】 19281 ●ケツ （集韻）迄業切 **葉**
●ケン （集韻）康欠切 **豏**
（正字通）煬、俗見字。
（説文）煬、火氣盛也。（廣韻）煬、火氣上。●火がせまる。（集韻）煬、火迫也。●火でかわかす。（集韻）煬、火乾也。

【烴】 19282 ジョウ 蒸（7－19516）に同じ。（正字通）烴、同蒸。

【熉】 19283 ●ケツ 屑 ●キ 紙 ●ケイ （詩傳、文）歴刈切 **錫** ●ケツ チ （集韻）許竭切 **月**
●野火。草をやく火。（廣韻）熉、火焚山艸也。●喜を刈りてやく。（集韻）熉、艸燒之曰熉。（詩、大雅、旱麓、民所瞻、墳羊、箋）作熉之烈。（注）以茂盛者、乃人燔塘除、其旁草、養治之、使人無害也。（釋文）熉、草燒之曰熉。

【熉】 19284 ●ヨク （集韻）麦切 **屋**
はげしい火。熉（7－19038）・燠（7－19478）に同じ。（集韻）燠、火也、或作熉・燠。（字彙）熉、烈火也。

【熨】 19285 ブ （福海）武遇切 **遇**
火をつかさどる。（福海）熨、主火也。

【葬】 19286 ●エイ （集韻）烏邁切 **泰** ●ヨウ （集韻）康項切 **腫**
●ヨウ 腫 ●エイ 泰
●ヨウ 腫 ●エイ 泰
●ヨウ 腫 ●エイ 泰

【煙】ケン ケン 【熙】キ 【熊】ユウ ユウ ユウ

百五十九、二萬餘同明史一百八、二明史稿、二

【熊志】四〇〇。●熊名。道一、陽、二、滿洲源事省籍錄。

熊吉郡。西南、南滿鐵道に沿ふ（道史・地理志二）

熊吉郡。西南、南滿鐵道に沿ふ（道史・地理志二）

加內文衾の鍼、別に熊忌（8・5626・3・2）を見る。

【熊說】四〇〇。●熊所說。是野理吳郡（8・5626・3・2）を見る。

【熊旗】四〇〇。旗の名。「熊宿龍旗」、「熊宿龍旗」、「熊宿龍旗」、

【熊谷荔枝】ゆがやれいし　京都の人名は立聞、通稱は子竜、號は蕉雨・荔園・新菜軒・貞享中の人。大全・新增性理字義纂要・大觀圖定性理・小學句讀・蒙訓・孝経・孟子・魏書・大觀圖定性理・許氏

勝覽」龍慶山、青黛岩、登龍山、登卻山。（續史方輿紀要、湖南實錄、寶慶府、新化縣）熊嶺山、在、縣北。

【相」熊嶺」『廣』『寰』熊の嶺（嶺）。（唐、劉子、故洛郡洛陽縣、伊闕郡、熊嶺）

【熊嶺】『廣』熊の嶺（嶺）。（唐、劉子、故洛郡、伊闕郡、熊嶺）

【熊嶺】『廣』熊とみづち。轉じて、強弾を嶺（嶺）。（唐、劉子、故洛郡、伊闕郡、熊嶺）

【熊嶺】『廣』『寰』『寰』『寰

上御史を授けらる。寇準の真志を発き、廟堂を巡検し、謫を以る所、廉を挙げ、二十七年知府に遷り、任官後五日にして退職す。明史、物攷五十七、『簷曝雜談』十四）〔本朝分省人物攷五十七〕

熊賜履 1603 1693 周、楚の人。繁昌の人。（墓子、非攻下）

熊賜履 1635 1709 春秋懸の人。熊荒度（26）を見よ。（後漢書、張騫傳、熊賜之遺令、骨、悼、我を之鎖矣。）

熊賜履 1635 1709 明、進賢の人。字は孝思、号は愚山、官は翰林掌院学士、後、廣西布政司参政に至る。（熊文舉、『雪山集』）

熊兆 1623 1 箭の一種。鏃は大きく、秋冬に白い練が出る。（『周礼』、夏官、司弧）

熊兆 1623 1 漢の海昏侯劉賀が即位ふかさ（ず）て、冬、孝元帝を立て、改元して、元鳳と称す。（『漢書』、昭帝紀、海昏侯劉賀、『後漢書』、五行志、『資治通鑑』、昭帝、元鳳元年、『後漢書』、五行志、『資治通鑑』、宣帝、神爵元年、『後漢書』、五行志、『資治通鑑』、宣帝、五鳳元年、『後漢書』、五行志、『資治通鑑』、宣帝、黄龍元年、『後漢書』、五行志、『資治通鑑』、宣帝、初元元年、『後漢書』、五行志、『資治通鑑』、宣帝、永光元年、『後漢書』、五行志、『資治通鑑』、宣帝、建昭元年、『後漢書』、五行志、『資治通鑑』、宣帝、竟寧元年、『後漢書』、五行志、『資治通鑑』、宣帝、建始元年、『後漢書』、五行志、『資治通鑑』、成帝、鴻嘉元年、『後漢書』、五行志、『資治通鑑』、成帝、永始元年、『後漢書』、五行志、『資治通鑑』、成帝、元延元年、『後漢書』、五行志、『資治通鑑』、成帝、元延元年、『後漢書』、五行志、『資治通鑑』、成帝、元延

江西行省郎中に至る。至正の末、天下に盜起るや、守禦の計を力陳して用ひられず、官を棄て去る。明に入るも仕へず、豊を尊ぶ。著に貴山集がある。〔元史〕〔明一百三十八〕

【熊近仁】[illegible]字は飛百。馬麟の子。[illegible]。[illegible]。[illegible]

【焜】 19298　キュウ　クク

(集韻)居竹切　東

さらす。又、もえたさま。(字一19129)に同じ。(集韻)(類篇)(玉篇)焜、燈也、或从宮。

【焰】 19299　エン　(集韻)(韻會)(正韻)以冉切　琰

もえのこり。(集韻)燼、燼也。

【熏】 19300　①クン　(集韻)許云切　文

②クン　(集韻)呼運切　問

[illegible]

(注)薰、猶蕩也。⑤あつい。(玉篇)熏、熱。

熏氣　①ふすぼる。くすぶる。けむる。いぶる。燈が立ちのぼる。もと糞に作る。(正字通)熏、本作糞。(說文)糞、燔草出也。而煙外到、或从米。(說文)熏、段注)火燈上出也。从屮从黑。屮、黑煙象形。**ふすべる**。(イ)ふして燈を立たせる。燈を及ぼす。いぶす。(後漢書、趙熙傳、侍史二人、注)女侍史絮、被服、執香爐、燻熏、從人奉中。**②ふすぶり**。いぶつて燈の立ちのぼるもの。(陶弘景、許長史敬仲碑)金爐揚熏。**③ますます**。**④ますます**。**⑤しみる**。しみこむ。(韓愈、海中怕行詩)風熏燈欲却、南煙、(集韻)、(集韻)熏、燈也。(詩、大雅、雲漢)蒸之如熏。(集韻)熏、灼也。(詩、魯、閟宮)黍稷之熏。**⑥むす**。(正字通)熏、毛炙肉。熏茶炙茶。(詩、大雅、公劉)于時處處、于時廬旅、于時言言、于時言語。(毛傳)言言、大也。(注)言言、猶言言也。**⑦**熱。(集韻)熏、熱也。(詩、大雅、雲漢)蒸之如熏。(集韻)熏、灼也。(詩、魯、閟宮)黍稷之熏。**⑧**むす。(正字通)熏、毛炙肉。熏茶炙茶。(詩、大雅、公劉)于時處處、于時廬旅、于時言言、于時言語。(毛傳)言言、大也。(注)言言、猶言言也。**⑨**あつい。(玉篇)熏、熱。

熏火　くすぶつてゐる火。(墨子、備城門篇)熏火爲號矢。

熏蒸　①(集韻)熏、火氣盛。(呂覽、離謂)吸兒、**②うこう**かす。(呂覽、離謂)吸兒、石の一種。(後漢書111・4・1972・1・46)石黑、天。(注)熏、感動也。**③日くれ**。(韓愈、一・242224)に通ず。(正字通)熏、別作燻。(後漢書、趙壹傳)、**④ふる**。(韓愈111・極歡而去。**⑤ふる**。(韓愈111・40370)に通熏、說文作燻、云、酷也。**⑥うすあか**。(韓愈・39011)に通ず。(禮、聘禮)玄衣熏裳、(釋文)熏、字文作纁。**⑦ぬる**。香を身に塗る。(後漢書、趙壹傳)(注)以香塗身曰、熏。**⑧**浴之(注)以香塗身曰、熏。**⑨**物のさま。(集韻)(9)を見よ。**⑩**[illegible]。(韓愈、韓・323192)、(韓愈・1・1・1

燕 燕姞也。〔杜雨 遣興詩〕北里蕭燕天。高樓 疲吹。笛 〔玉篇〕ケン。くすべる。豚肉をくすべる。燻 燒にすること。燕鑊。

〔燕國〕ケン。男子の除部をくすべくさらす。宮刑を施すこと。宦官を云ふ。〔晉孔史、李密 〔燕國之銘〕ケン 宦官をいふ。〔後漢書、張讓傳〕 〔燕國之刑〕ケン 宦官をいふ。〔後漢書、張讓傳〕 〔燕國之刑〕ケン 宦官をいふ。〔後漢書、張讓傳〕 何能爲。

〔燕風〕ケン。家南の風。八風の一。〔後漢書、張讓傳〕 〔燕風〕呂覽、有始の風。八風云云。東方曰 燕風。〔注〕燕風、或作 景風。賢紀所生、二日 清明風。

〔燕麥〕ケン。香をたいて。〔後漢書、刑 名部、鑑誡〕 故物 柏香 燕麥。

〔燕火〕ケン。燕料を焚き 燕料を焚き。

〔燕藥〕ケン。香料を焚き 燕料を焚き。 身體 〔燕浴〕ケン。香をたいて 湯あがりをすること。〔國 語、齊語、三管三浴〕〔注〕以 香塗 身 日 暮 〔燕 或 爲 〕燕。 〔燕 爲 〕 燕 〔燕 爲 〕 燕 〔燕 爲 〕 燕

輝・主逸・九部、貴重。神光分騰曰、鬼火分焱。

〔注〕焱火・小火也。〔後漢書・王龔・王逡・袁紹・董卓・郭汜・李傕・張繡・馬騰・韓暹・楊奉・李樂・胡才・郭援・高幹・張燕・張郃・高覽・張南・馬延・張顗・張白騎・楊奴・郭大・劉石・左髆・郝度元・白波賊・黑山賊・青巾・黃巾・五斗米・天師・天公・地公・人公・大方・小方・大師・小師・大醫・小醫・大祭酒・小祭酒・大將軍・小將軍・大將・小將・大帥・小帥・大夫・小夫・大人・小人・大王・小王・大君・小君・大公・小公・大侯・小侯・大伯・小伯・大子・小子

ほのほ。基(9-30313)に同じ。(說文)熉、炎光也、从火奚聲。(段注)各本妄糅體作熉。

熉 19321 (圓) コウ 熉嚮。熉熉。大砲。(金薤琳琅)鐵鎗 鎗鎧。(杉田虎助)熉嚮用法。(大家庵)熉砲射撃表。

十一畫

熒 19322 (ヘウ) 熒(7－19236)の本字。(正字通)熒、熒本字。

熨 19323 (タイ) 熨(7－19236)に同じ。(集韻)熨、或从推。

熛 19324 (ヒツ) (集韻)匹吉切 (質) ❶熛熛は、火のさま。(說文)熛、熛熛、火兒、从火票聲。❷熛熛は、火の音。(玉篇)熛、熛熛、火聲也。

熠 19325 (ヘウ) (集韻)軍遙切 力一 (宵) ❶火がとぶ、とび火する。熒(7－19236)に同じ。もと熒(7－19219)に作る。(集韻)熒、或作熠。熠、火飛也。从火熒聲。(說文)熠、火飛也。从火熒聲。(說文通訓定聲)熠、按如熒之或體。从彡二火、信。❷火の粉、とび火、ほとばしる火。

熠 19326 (ヘウ) 熠(7－19215)の本字。(正字通)熠、俗熠字。

熠 19327 (ロク) (集韻)盧谷切 (屋) ねる。(集韻)熠、燠也。

熠 19328 (ケン) (集韻)經天切 (先) にらく。(集韻)熠、竹瀝洋之。

熒 19329 (ケイ キヤウ) (集韻)要妬切 (迥) あふり出す。(集韻)熒、火起出也。

熞 19330 (バク マク) (集韻)末各切 (鐸) 火のさま。或は熨に作る。(集韻)熞、火兒、或書作熨。熱。

熱 19331 (サウ セウ) (集韻)疋交切 (巧) もえる。或は燒(7－19551)に作る。(集韻)熱然也。或从矣。

熱 19332 (シユク ジユク) (集韻)舉六切 (屋) P.X. P.X. pure.

(說文)熉、段注)二音云、熉、温火也。記氏春秋云、突徙(熉、然)后竈。(淮南子)氾論訓、正月、竈之方揭(熉)、竈之方盛之時、炎熉熉怒。(史記)淮陰侯傳(漢書)蒯通傳、(後漢書)班固傳(漢書)風俗通起。❷光る。(後漢書)班固傳(漢書)風俗通起。❸赤い、赤色。(揚雄、甘泉賦)而後世門。(注)善曰、熉熉、赤色之貌也。❹はやい。はやて。早い風。(史記)淮陰侯傳(漢書)蒯通傳、(後漢書)班固傳、(注)正義曰、熉風、疾也。(史記)禮書、輕利剽速、卒如熉風。(注)正義曰、熉風、疾也。

熛 19333 (ヒウ) (集韻)必遙切 (宵) 熛(7－19236)の本字。(正字通)熛、熛本字。

熛 19334 (ヒツ) (集韻)匹吉切 (質) 熛(7－19236)に同じ。(集韻)熛、或从推。

熛 19335 (ヒツ) (集韻)匹吉切 (質) 熛(7－19236)に同じ。(集韻)熛、或从推。

熛 19336 (ヒツ) (集韻)匹吉切 (質) 熛(7－19236)に同じ。(集韻)熛、或从推。

熛 19337 (ヒツ) (集韻)匹吉切 (質) 熛(7－19236)に同じ。(集韻)熛、或从推。

熛 19338 (ヒツ) (集韻)匹吉切 (質) 熛(7－19236)に同じ。(集韻)熛、或从推。

熛 19339 (ヒツ) (集韻)匹吉切 (質) 熛(7－19236)に同じ。(集韻)熛、或从推。

熛

硯始也。圉に書き。修めた。精しい。やはらかの意の段字。

熟 熟語は熟の項を参照せよ。

熟 熟語は熟の項を参照せよ。

熟 熟語は熟の項を参照せよ

ふりをする。

【熟詩】じゅくし　よく知ってる詩。そらんじてる詩。『紅樓夢』十回「能記得幾首熟詩也政在老先生前賣弄」

【熟字】じゅくじ　二字以上を合成して一の意味をあらはすことば。熟語。

【熟識】じゅくしき　馴染。『晉書』公孫淵傳「淵兵皆不識面而反」

【熟識】じゅくしき　よく知る。親密な。『後漢書』列女部「詞訟」以熟識官府。『晉書』郗鑒傳「在郡數衝位所用多人。熟識官府。」『魏書』皇子部「慕容儁傳」「儁年十餘歲。熟識典故。」十分に知りつくす。よく知りぬく。詳知。悉知。『晉書』桓康傳「山巨源。嵇叔夜。阮嗣宗。皆熟識其人。」

【熟漆】じゅくしつ　ぬりたて。稽製した漆。

【熟車】じゅくしゃ　乘り慣れた車。

【熟手】じゅくしゅ　熟練した腕前。經驗ある人。『新語』知士篇「熟手之人。無所難。」

【熟詩】じゅくし　心をこめてよく讀む。『唐書』離騷傳「沿流而上。熟詩之。錄以勤勵。朱熹入蜀。熟詩之。」

【熟食】じゅくしょく　よく煮たり焼いたりした食物。『論語』鄉黨篇「食不厭精。脍不厭細。飯腐而餲。魚敗而肉敗。不食。色惡不食。臭惡不食。失飪不食。不時不食。割不正不食。不得其醬不食。肉雖多。不使勝食氣。唯酒無量。不及亂。沽酒市脯不食。不撤薑食。不多食。」

【熟食】じゅくしょく　冬至。寒食。『後漢書』周舉傳「舉上疏曰。今熟食過節。陰氣未盛。而令熱食。傷害氣和。故月令。冬至。寒食。」

【熟食店】じゅくしょくてん　はたこや。旅人宿。『水滸傳』第一回「天然道。俺這些個的。」

【熟身】じゅくしん　紫色。

【熟識】じゅくしき　よく知ってる人。親密。『後漢書』列女部「詞訟」

【熟人】じゅくじん　よく知ってる人。親密。なじみ。『後漢書』列女部「詞訟」

【熟水】じゅくすい　よくたつねて求める。『後漢書』列女部「詞訟」わかしたましの水。湯ざまし。

【熟睡】じゅくすい　十分にねむる。よく睡へる。熟睡。『後漢書』列女部「詞訟」

【熟睡】じゅくすい　十分にねむる。よく睡へる。熟睡。『後漢書』列女部「詞訟」

【熟睡】じゅくすい　十分に睡へる。『後漢書』列女部「詞訟」

【熟水】じゅくすい　十分に清い。『後漢書』列女部「詞訟」

【熟水曲流】じゅくすいきょくりゅう　十分に清い流れ。『後漢書』列女部「詞訟」

【熟睡】じゅくすい　十分に睡へる

●熟番[illegible] ●王化に睦服してる番族。●日番族。多く平地に住む蕃族に対し、山地に住む西部番族。多く平地に住む故平埔蕃ともいふ。熟蕃。

生番[illegible] ●[illegible]。くはしく見る。

種園[illegible] ●[illegible]。

(主)熟化[illegible] ●[illegible]。

(主)熟皮[illegible] ●[illegible]。なめし革師。

熟色[illegible] ●[illegible]。●[illegible]。なめし革師。

●鈍物・柔質なるものの。●[illegible]。

●事に慣れることと[illegible]。

●事に慣れることと[illegible]。

熟[illegible] ●[illegible]。

熟[illegible] ●[illegible]。

熟[illegible] ●

一名熒天。名爝爝。(詩‥櫟風)東山町疃鹿場。爝爝背行。(傳)爝爝‥燒也。(呂覽‥長見)長火。(淮南‥俶真)爝火之光。(文選‥長門賦)爝火照而徹夜。(漢書‥郊祀志)爝火。(後漢書‥馮衍傳)爝火

【鱢】ケツ 生皮字を引延したもの。繊維なし。

【鱢】ケツ yan, ｔｓｅｎ ｇｕｅ 魚の名。蚊の一種。

【鱢】ケツ ｔｓｅｎ ｇｕｅ 地名の謂い語幾。（昔昔物語）

【鱢】ケツ 蚊の名。良牛鱢。

【鱢】ケツ 蚊の名。のして焦したやうな石蚊のあるもの。（余慵閑林）

【鱢】ケツ 胡北省黄陂縣の池の名。一名紹熙中、発掘の末南の馬胡斗陵の名を魏の陽北に求め、応用の任家を造る。（宋史、鱢傳）又、赤山鎮、木鱢四会、可則・夜鱢。

【鱢】ケツ 清（ゲツ）延ばして乾かした鯉の肉。古は食用に供し、後世は延長の後で儀式又は贈物などに添へて用ひる。鱢は鮑（年治物語、鮮朝遠遠事）のしあはびを両方の手に押し握りて。

【鱢寸日】ケツ ●地が平で痛みのない鱢。桃花鱢（集韻）、朱雲付日（集韻）、鱢は鱢を鱢にも著する也。生鱢を腔に、鱢は鱢を鱢にして鱢り、腔の邊に為る所に鱢を鱢出し、他は無出にた鱢物者、武家で鱢鱢に仕立て、鱢士を下に使用した。

【鱢】ケツ 鱢鱢、鱢寸日（集韻）、鱢鱢、鱢鱢、鱢鱢用、他色（集韻）、鱢鱢、鱢鱢、鱢鱢

海無鱗魚（海鼠）熱海鼠，鮮者去鱗煮之則鹹汁自出熱焦黑，取出挽冷爆乾。

〔熱日月〕ねつじつ，ねつにち。久しく動勞を重ねて月日を費す。永年勤續する。

〔熱日子〕ねつじつ，ねつにち。日を遊ぶ。日を費す。

〔熱出來〕ねつしゅつ，ねつしゅつ。苦痛を脫して安樂になる。出世する。

〔熱天〕ねつてん。ねつてん。阿片を吸ふ前，阿片膏を阿片燈上であぶつて泡然にすること。

〔熱不堪〕ねつふかん。ねつふかん。耐へられない。

〔熱不得〕ねつふとく。ねつふとく。忍ぶことは出來ない。

〔熱不爛〕ねつふらん。ねつふらん。煮えとはならない。

〔熱煩不〕ねつはんふ。ねつはんふ。我慢が出來ない。忍び得ない。

爕 小 19353

ユイ（集韻）于筠切 ㊥ ㊥ㄧㄣˋ

ケイ（集韻）胡桂切 ㊥ ㊥ㄒㄧㄝˋ

エツ（集韻）王伐切 ㊥ ㊥ㄨㄟˋ

〔爕爕〕小 さらす。（說文）爕，暴乾也，从火从朁聲（段注）也上，大徐衍一字。（廣雅）釋詁二）爕，燥也。●或は爕（4－19537）篇詁二）爕，燥也。●或は爕（4－19537）篇詁二）爕，或作，爕，赤字典，爕，或作，朁。

爍 19354

リヤク（集韻）万力切 ㊥ ㊥ㄌㄧㄠˋ

リヤク（集韻）万弔切 ㊥ ㊥ㄌㄧㄠˋ

レキ（集韻）憐章切 ㊥ ㊥ㄌㄧㄤˊ

爆 小 19355

ヒヤク（集韻）忍善切 ㊥ ㊥ㄅㄧㄢˋ

ボン（集韻）許旱切 ㊥ ㊥ㄅㄢˋ

カン（集韻）遠盱切 ㊥ ㊥ㄏㄨㄢˋ

〔爆爆〕小 ●火の さま。（說文）爆，火皃，从火瀑聲。●やく。ただれる。やけどする。（玉篇）爆，燒也，爛也。（集韻）爆，一曰灼爆。●はげしい。烈（4－19967）。●喉（8－5524）に同じ。（說文）爆，逸周書曰，味辛而不爆。（段注）周書本味篇曰，辛而不爆，周書作，不爆，字異而義同。（說文通訓定聲）爆，段借爲暴。

爊 小 19356

ヒヤク（集韻）高侯切 ㊥ ㊥ㄅㄠˋ

オウ（集韻）烏鉄切 ㊥ ㊥ㄨㄟˋ

〔爊爊〕小 ●つつみやく。まるやきにする。（集韻）爊，燒也。（玉篇）爊，火炮爊。●喜び無い。早熟が著しい。（管子，侈靡，古之祭有，詩，而爊（注）爊，熟甚也，祭，謂早熟甚而祭。●あたたかい。或は爊（6－14128）篇（9－3178）に作る。（集韻）爊，煖也，或从日，亦作，暖。

爗 小 19357

ホツ（集韻）蒲侯切 ㊥ ㊥ㄅㄡˊ

〔爗爗〕小 ●けぶる。煙が立つて白くなる。（篇海）燉，煙起白也。

爲 19358

ヒ（集韻）祖知切 ㊥ ㊥ㄓˇ

リ（集韻）郎知切 ㊥ ㊥ㄌㄧˇ

〔爲爲〕小 ●火が燃えるかるる。（集韻）爲，火炙，已雖中の火。（集韻）爲，雖中之火日，爲。

爲 19359

ヒン（集韻）而列切 ㊥ ㊥ㄖㄣˋ

〔爲爲〕小 ●あつい。もと爕（7－19938）に作る。（正字通）爕，思也，从火鼎聲（段注）爕，名本作，爕，今正。（正字通）爕，思也，从火鼎聲（段注）爕，名本作，爕，今正。●あつい。（孟子，梁惠王，如火炎焉。●ほてる。やける。●熱の。（淮南子，氾論訓）天下熱然如焦熱。（廣韻林）鄭玄注，熱，手可熱。●あつさ。炎暑の時氣（二北史，齊紀）超都王叔傳，叔寶，熱。●物を温める又は燒く氣。温暖の感覺を與へる本源。（揚雄，解嘲）地藏其熱。●からだのあたたかさ。體温。生命の。（老子，四十五）靜勝，熱。（河上公注）熱者生之源。●温した體温。體温の高くなる病氣。熱病。（素問，熱論篇）（唐語林）鄭機段師，炙手可熱。（唐語林）鄭機段師，炙手可熱。●熱の。（素問，熱論篇）

火部　〔十一畫〕　熱

【熱飲】〔ノ八〕 熱酒の酒を飲む。熱い酒を飲む。

【熱鬱】〔ノ十一〕 熱鬱の意。発酵不い到熱。陳奉茂『本草原始』証部

【熱証】〔ノ一〕 発熱の時くきる。夏のたかがいくさきる。（『孔子家語』屈節解）民間説話伝説。

【熱】〔ノ十一〕 食べる。

（『神農本草経』巻一「薬治部」）

【熱】〔ノ十一〕 熱の意味。

【熱】〔ノ十一〕 ①熱の意。古の武列水。一名、西域国

【熱熱顓顓】[illegible]　宋、陳摹（11－4528）：三の神鏡始めは政を為すに資薬に擬いたが、其の晩年政治をしたから時人にかれた。（宋史、陳摹傳）時移り加、龍園閣侍制、知江寧府。云云（神傳）資薬而行與、氣遠稀年授政、秋之狀、好事自目為、熱熱顓顓。

【熱粥】[illegible]　熱粥なること。（牧業、牧業）

【熱炭】[illegible]　七段（衣裳則薄襲炭、[illegible]熱炭）

【熱汗】[illegible]　[illegible]　暑い。（暑熱）

【熱井】[illegible]　[illegible]　大井ヰ・アイロ。

【熱鍋】[illegible]　[illegible]　熱い食物。（飯類、[illegible]）

【熱心】[illegible]　物事に深く心を傾けること。一生懸命になること。誠ること。熱情。熱心鑄を見る。

【熱心鑄】[illegible]　物事に深く心を傾けること。

【熱心】（抱花清）聽書、熱心鑄早起、冰雪、遇、活潑。

【熱心不過】[illegible]　明代、（大学士）。熱心此の頃までの著い聞は、校軍以り各用を為すること、用、用明を任、所明を任、所明を任。（明史、[illegible]）

【熱心】（抱花清）熱心鑄早起、冰雪、遇、活潑。

【熱心鑄】[illegible]　物事に深く心を傾けること。一生懸命になること。誠ること。熱情。熱心鑄を見る。

【熱心】（抱花清）聽書、熱心鑄早起、冰雪、遇、活潑。

【熱心鑄】[illegible]　物事に深く心を傾けること。

【熱心】[illegible]　熱心鑄早起、冰雪、遇、活潑。

【熱心不過】[illegible]　明代、（大学士）。熱心此の頃までの著い聞は、校軍以り各用を為すること、用、用明を任、所明を任、所明を任。（明史、[illegible]）

【熱心】[illegible]　物事に深く心を傾けること。一生懸命になること。誠ること。熱情。熱心鑄を見る。

【熱心鑄】[illegible]　物事に深く心を傾けること。

【熱心】（抱花清）聽書、熱心鑄早起、冰雪、遇、活潑

熱 説文 [illegible] 火也。[illegible]。興味をもつ。熱心。
熱病 [illegible] 暑氣の地。熱気が鬱蒸して霧の如くなること。陳字「鳳州詩」。蟬鳴況秋風滅。
熱鬱 [illegible] 熱のためにくさくなること。
熱風 [illegible] 熱のためにくさくなること。
熱鬱 [illegible] 熱のためにくさくなること。
熱鬱 [illegible] 熱のためにくさくなること。
熱鬱

【燦】 19367 サン（五音篇海）食目切 **醫**
かがやく。（五音篇海）燦、輝也。

【燾】 19368 キョク（集韻）吾鹿
すみやか。（集韻）疾也、急也。

【熹】 19369 シキ（五音篇海）尺光切 **醫**
あきらか。（五音篇海）熹、明也。

【煽】 19370 ジャク 焯(7－19139)に同じ。（字彙補）與燁同。

【熨】 19371 レツ 烈(7－18867)に同じ。（集韻）同。

【熳】 19371' マン 漫(7－18166)の誤字。

【熒】 19372 サン 熒(7－19646)に同じ。（字彙補）熒、與營同。

【勳】 19372' クン 勳(8－24653)の略字。

【爋】 19373 ［一］ガン（集韻）魚讒切 ［二］ゲン（集韻）魚肝切 **醫**
爋小篆 火の色。（說文）爋、火色也、从火爋聲。讀若爛。（玉篇）爋、火爋也。●爋作雪ること。又、そのもの。に也。爋(13－6574)に通ず。（說文）爋、段注）韓子、青伏象、索讀漢、以三其稱、往、齊人曰、爋人曰、爋也、爋、蓋即爋之段借字、如今之作、爋古物、曰、燒殺字是也、俗作、爋字。●或は無(7－19374)に作る。（篇海）爋、或作、爋。

【爛】 19374 ガン 爋(7－19373)に同じ。（字彙）爋、同、爋。

【爛】 19375 ガン 爋(7－19374)に同じ。（字彙補）爋、與爋同。

【爐】 19376 サン ●爨(7－19646)に同じ。（篇海）爨、與爨同。●爨、或作、爐。（集韻）爨、或、書作、爐。

【爐】 19377 ［一］ソウ ［二］ジョウ（集韻）吾魔切 **醫**
爐小篆 入れてあぶる。爨(7－19439)に同じ。（集韻）爨、或、書作、爐。（集韻）爨、或、書作、爐。（說文）爨、置魚鼈中炙也、从火曾聲。（廣韻）爨、蜀人取生肉於竹中炙。

【爛】 19378 レツ 爛、俗爛字。

【爐】 19379 セン（集韻）鼎義切 **醫**
ㄒㄧㄢˋ xiàn
●きえる。火がきえる。（玉篇）爐、火滅也。（左氏、昭、十二、注）吳楚之間、謂、火滅、爲、爐。（左氏、昭二十二、注）楚師爐、（注）吳楚之間、謂、火滅、爲、爐。軍之重主喪亡、故其軍人、無、復鬱勢也。●ほろびる。勢がなくなる。（小爾雅、廣詁）爐、滅也。

【熹】 19380 キ（集韻）虛其切 **支**
熹小篆 ●あがる。熱する。もえ裏に作る。（說文）熹、說文、本作、熹。（廣熙字典）熹、說文、本作、熹。（說文）熹、从火、从、喜聲。（玉篇）熹、熱也、炙也。●むす。通じて新(10－33271)に作る。（玉篇）熹、蒸也。（廣韻）熹、蒸也。（集韻）熹、蒸也。●さかん。火が盛におこる。（廣韻）熹、盛也、燈也。●うるはしい。僖(1－1098)に通ず。（說文通訓定聲）熹、段借爲、僖、（廣雅、釋詁一）熹、美也。●ひろい。（廣韻）熹、博也。●かすかな光。ほのぼのと明るい。（正字通）熹、微陽也。（篇海）歸去來辭）恨、晨光之熹微。（注）良曰、熹微、日欲暮也。●ひかり。光明。毗(7－19190)に通ず。（玉篇）熹、亦作、曦。（篇海）歸去來辭）恨、晨光之熹微、（注）善曰、聲類曰、熹、亦熙字也。光明也。●たはむれる。嬉(3－6341)に通ず。說文通訓定聲）熹、段借爲、嫉（漢書叢錄）神龍。●よろこぶ。喜(8－9957)に通ず。（說文通訓定聲）熹、段借爲、喜、劉寬碑、河東聞熹。●かしぐ。鑄(12－14391)、燒(7－19381)に同じ。（廣韻）熹、或作、燒。（集韻）通南子、時則、滿燒炊。（注、燒、炊。（集解）桂馥云、燒借字、當爲、鑄、特牲饋食禮、王燒、（廣韻）熹、或作、燒。（集解）燒、鑄、特牲饋食禮、王燒、（注）吳楚之間、謂、火滅、爲、燒、左氏、昭二十二、楚師燒、（注）吳楚之間、謂、火滅、爲、燒、軍之重主喪亡、故其軍人、無、復鬱勢也。●ほろびる。勢がなくなる。（小爾雅、廣詁）燒、滅也。

【熹】 19381 キ 熹、亦書作、燒。（管子、侈靡）有、時而晨燒、（注）燒、星之明。

【熺】 19382 キフ コフ（集韻）迄及切 **屬**
●やく。（廣雅、釋詁）燒、熱也。●あつい。（玉篇）熺、熱也。

熒 19383 ヨク（集韻）逸職切 職

●火の光。（廣韻）燿、火光。●火のさま。（集韻）煜、火光。

爐 19384 セウ（集韻）足弔切 嘯

火がおこる。（集韻）爐、火燒。

熾 19385 シ（集韻）昌志切 寘

燬 小篆 **燾** 古文 **燾** 古文 **燾** 古文

●さかん。（集韻）昌志切 寘

火がかんにもえる。火勢がつよい。（說文）燾、盛也。从火敇聲。史史書紀論。勢がさかん。（詩・小雅・六月）玁狁孔熾。（傳）熾、盛也。●さかんにする。おこす。（文選・北山移文）熾以煙霞。（注）熾、炊也。（呂覽・仲冬）清廟必熾。（注）熾、炊也。（呂覽・季春）熾以薪。（注）熾、盛也。●赤い。（廣韻）熾、赤也。●鍾の地に突き入れる。（周禮・考工記・鍾氏）三日而熾。（注）熾、入地日熾。反。号。●うまる。（楚辭・九章・惜往日）熾、盛貌。（注）熾、猶鬱也。（文選・思玄賦）熾、詩載反。（說文通訓定聲）熾、段借爲幟。（詩載反。（集韻）熾、段借爲幟。（注）熾、炊也。（呂覽・仲冬）清廟必熾。（注）熾、炊也。（呂覽・季春）熾以薪。（注）熾、盛也

煒 19390 イ ヰ

（集韻）域戈切 **𤇾** 小文字 **𤇾** 小篆 **𤇾** 籀文 **𤇾** 或也。（集韻）于況切 **𤇾** 小篆 **𤇾** 籀文 **𤇾** 或也。

𤇾 ❶さかん。光が盛なさま。（玉篇）煒、光也。（廣韻）煒、盛也。从火䀠聲。詩曰、煒煒震電。（段注）按、凡光之盛曰煒。❷かがやく。火の光るさま。（玉篇）煒、火光皃。（對案）賓相者、（正字通）煒、同上。（說文）煒、盛也。从火䀠聲。詩曰、煒煒震電。（段注）按、凡光之盛曰煒。❸かがやく。火の光るさま。（玉篇）煒、火光皃。（對案）賓相者、（正字通）煒、同上。（說文）煒、盛也。从火䀠聲。詩曰、煒煒震電。（段注）按、凡光之盛曰煒。❹煒。（7—19437）：煒、同上。（集韻）煒、或作、煒。❺煒（7—19538）：煒、同上。（集韻）煒、或作、煒。❻煒（7—19609）：煒、同上。（正字通）煒、同上。（說文）煒、盛也。从火䀠聲。詩曰、煒煒震電。（段注）按、凡光之盛曰煒。❼かがやく。火の光るさま。（玉篇）煒、火光皃。（對案）賓相者、（正字通）煒、同上。（說文）煒、盛也。从火䀠聲。詩曰、煒煒震電。（段注）按、凡光之盛曰煒。❽煒（7—19437）：煒、同上。（集韻）煒、或作、煒。❾煒（7—14170）：煒、同上。（玉篇）煒、或作、煒。❿煒（7—14170）に通ず。（集韻）煒、火盛皃。❶ひかる。かがやく。煒（6—14169）に通ず。（集韻）煒、或作、煒。

〔參考〕煒・煒・光也。或作、煒。

〔煒煒〕…ぎょぎょ。盛んなさま。（詩經）大雅、韓奕、王錫韓侯、淑旂綏章、簟茀錯衡、玄袞及黻、赤舄金鳥、鞗革鞶厲、鞗革金厄、鞗革金厄、鞗革金厄

に燈火を掛けて燃す。佛教苦薩の法。（宋伯通公集上）「宋伯通」

燄 19395

□セン（集韻）沃先切 □セン（集韻）炎交切 □セン（集韻）以豫切

燄。（玄篇）燄、火行皃。（廣韻）燄、同上。（集韻）炎交切、同上。（集韻）以豫切、同上。

𤇾 小 [illegible]

□[illegible]火の少し燃えあがるさま。

（說文）燄、火行皃。徹燄也。从炎兼聲。

燄、火初然皃。（玄篇）燄、火行皃。（廣韻）燄、同上。

燄 小 [illegible]

燄、火の始めて燃えて火力の不だ盛んならざる。（廣韻）燄、同上。（集韻）燄、火光、或作「焰」。

ひかり。（集韻）燄、火行皃。（書・洛誥）燄燄

るさま。（玄篇）燄、火行皃。（書・洛誥）燄燄

燄。（傳）火始然。燄燄微。（釋文）燄、音豔。

勢の未だ盛ならざること。心の堅固でない。燄、炎（7－19310）に通ず。（說文通訓定聲）燄、段借為。炎。（左氏・莊十四）其氣炎以取之。（注）同書洛誥、無若火始燄燄、未盛而退之時也。以喻人心不堅固也。（書義・炎・未本作）。**⑥**燄（19141）の本字。（正字通）燄、燄本字。

燄 小 [illegible]

燄、光の始めて燃えて火力の未だ盛んならざるさま。（廣韻）燄、同上。

燄燄、光の始めて燃えて火力の不

注「燄」當作「爨」王篇、韵會作「滷」則俗用字也。爨者內、肉及菜湯中煮出之、滷、清也。●湯につけて毛を去る。（一切經音義、一以爨湯去毛曰燄。●あたためる。（玉篇、燄、温也。●炙は燔（7－19574）。燔（7－19430）。燒（燒7－19982）。燔（9－30023）。燔（7－19391）。燔（7－19566）に作る。「說文」燔、燒、或从朱作（集韻燔或作燔、燒、燒、燒、燔、燔（龍龕手鑑9430）。燔（7－19393）に同じ。●集韻、燔、火熟物、或作燔、（僧輪、有司徹、乃燔。（注）燔、或作燔。

解字　會意形聲。炎と柴の省形とを合せて、炎は燔を表はし、炎は燔を表はす。「說文」柴、燒也。从火从朱。會意。柴、柴燒燔、或从火从燔聲。

【燅】 19399　セン　燅（7－19398）に同じ。（字書）

【燒】 19400　ケウ（集韻豪幼切　蕭）

●火がひらめく。（集韻、燒、火行。●ほのほ。燒（7－19629）に同じ。「集韻」燒、炎氣也、或从燒。●むれる。●むれる。（國語、傳策、外不實內不反、則稿積相魔而不用、幣帛燒焦而不服矣。「正解」燒、氣熱也。燒焦、謂蒸熱而焦鈍。

【燈】 19401　ソン（集韻垂可切　灰）

●火（玉篇）燈、火也。●火をもやす。燈（7－19679）に同じ（集韻）燈、說文、然火也、或作燈。

【燈】 19402　トウ　カノ（ほの）

（集韻垂戀切　灰）

●ともしび。あかり。（玉篇、燈、灯火也、燈也。（正字通）燈、膏火也。（春明退朝錄）鉦、鐙（11－409 04）に同じ。「說文」鐙、樂器、錞、錞、鐙、錞、鐙、錞、鐙

生草根爾。

〔燈花 dēng huā 灯花〕 名 灯芯を燃やして出る炭化物。「燈花はアルコールランプ」

〔燈花報喜 dēng huā bào xǐ 灯花報喜〕 成 灯芯に炭化物が出ると吉兆とされ、灯芯を点じて前ぶれをするという。燈花を喜ぶ。「西湖記」張君瑞愛蒲團、鶯鶯小伴雖然可如道、許夜遊花報喜。

〔燈花之象 dēng huā zhī xiàng 灯花之象〕 名 灯芯に炭化物が出ること。「本草、燈花」燈芯、時珍曰、昔陶貞白、夢一人、長丈餘、黑衣、執青軍幢、陰、謂曰、君人者皆心受命於人云、有瑞象、燈火華得、燈則能驚魂而人至、如妖物則百日、人不見形、之、乾陰爾錄之、細細無則說、之、況天寶已、信、其、天寶後、非、天命、何以得之、故、場者、悪無、天命、無、實已、不可以力取、也。

〔燈心草 dēng xīn cǎo 灯心草〕 名 灯芯。「本草、燈花」蒲黄、注、燈心、草、蒲黄、注、燈、草、燈、花、注、燈、草、注、燈、草、注、燈、草

〔燈前夜話〕[illegible]　書名。一卷。我が國無名氏撰。上古より春秋戰國に至る時に歌詩人の事蹟を引用し、夜明の時を以て題する所以を說明する。假名交り文にて記す。

〔燈籠〕[illegible]　竹ひごを編まる籠。燈籠。

〔燈籠〕[illegible]　[illegible]　[illegible]　

の色。(集韻)燉・火色。❷むす。ふかす。(中華大字典)燉・穀紅之色。(俗講)隔湯熟物曰燉。❸おきる。(集韻)燉・又煌煌郎。燉・大・煌・盛也。❹煌(7‥19107)に通ず。

【燉煌】[ジョウコウ] 地名。甘粛省の西部。敦煌市。9‥122 16‥26を見よ。史記・匈奴傳・左方兵直上雲中。(漢書・地理志・敦煌郡)燉煌・鳴沙・出泉・置酒泉・張掖・以西北・至鹽澤・空地・廣袤千餘里・水草・多・人・民・畜・牧・田・官・置・都尉・候・士・卒・屯・田・以・衛・酒泉・武威・隔・絕・匈奴・右・臂・也。(後漢書・郡國志・敦煌郡)燉・煌・燉煌・(注・水經曰)燉・煌・者・言・盛・煌・煌・煌

【燋】 燋熱詩疏鳥自長鑊，垂翅不二雨鑊。

燋光士衡詩：枯荑出，斥澤泗州臨淮縣：燋光士衡詩：枯荑出，斥澤泗州臨淮縣。

【燋】 燋燋，憔悴。（左氏昭十八傳）

【燋】 燋燋，憔悴。（左氏昭十八傳）

【燋】 燋燋，憔悴。（左氏昭十八傳）

燎原[名]。火が野原をやく様にして、火が原野を焼くやうに盛にもえひろがる。[後漢書、馮衍傳]「天地一灯、燎原之火、[注]「燎、火の原野を焼くなり。」[不]。**燎**[動]。[説文]「燎、放火也。」[玉篇]「燎、火を放つなり。」[字彙]「燎、火を放つなり。」[文選、張衡、東京賦]「燎、火を放つなり。」[文選、張衡、東京賦]「燎、火を放つなり。」[文選、張衡、東京賦

紅；於燒（注成火，寒食詩）埃外新城綠，岡頭招燒紅。●狩；**燒**（雪字）、糧重甲，舊之在澤燒，火光照雪下。（注）漢而行，火曰燒，燒，熱也。隨●**やく**。（4）立ちはたらく。燒疑す る。世話をやく。（5）寶貴を焼き付ける。（6）丸光のために色がかはる。（衣服等の色が褪せる。（7）為かけしかける。指嗾する。（8）**やき**。刀物の鐵を熱して水につけて堅くする法。にらき。

燒夷（ショウイ）。（名）人面・家屋等に點火燒殺するミット等の燒夷彈。或は投下燒彈・焼軽にには燒ニテルもの。場印。（日本紀・延暦十一年七月）禁ス毒藥・焼薬（但薬香即所司・燒印用）之。

燒芋（ショウイモ）。（名）焼した薩摩芋。

燒窰（ショウヨウ）。（名）陶器を焼く窯。

燒煙（ショウエン）。（名）かがやく。（白居易、唐故河南長城縣令贈戶部侍郎楊公墓誌銘）詩詩

燒（ショウ）。（名）茶碗にした鑑（江記・宗論）やき

燒（ショウ）。（名）茶碗にした鑑（江記・宗論）やき 鑑二茶碗で下さいる。

燒印（ショウイン）。（名）金屬で造つた印。火に焼いて捺す。（日本紀・延暦十一年七月）禁ス毒藥・焼薬（但薬香即所司・燒印用）之。

燒（ショウ）。（名）焼した薩摩芋。

燒（ショウ）。（名）焼した薩摩芋。

燒（ショウ）。（名）茶碗にした鑑（江記・宗論）如 茶碗 燒印鑑（注）茶碗に西域の茶の一種。（後漢書、西域傳）燒印鑑（注）茶碗に西域の茶の一種。（後漢書、西域傳）燒印鑑（注）茶碗に西域の茶の一種。（後漢書、西域傳）

燒（ショウ）。（名）火燒。（日葡辞書）燒印鑑（注）茶碗に西域の茶の一種。（後漢書、西域傳）燒印鑑（注）茶碗に西域の茶の一種。（後漢書、西域傳）

燒（ショウ）。（名

の前に草束を焼くこと。行事略方。

焼華ショウカ 火葬。「北史」「高允傳」に「遺令焼華」とあり、「魏書」「世祖紀」「太平真君」「一切経略」

焼信ショウシン 「馬令新唐書」「昭意伝」「石工経遺」元宗取所「金剛経」「御註経」「香爐」「金剛」「経遺」元宗取所「金剛」「御註経」「香爐」「金剛」「経遺」「昭意伝」「石工

燒寸或以水出流れる。(吳志)『術論傳』燈炎張。

燒[說文]『ショウ』やきかすする。燒して授事する。

(史記)『張儀傳』秦得小國燒之。(漢書)『郊祀志』燒者。

隱曰。燒猶燔也。燒禽而祭。

燒[玉篇]『ショウ』燒禽獸。又、鐵をやく。(漢書)『廣川惠王越傳』今諸侯各持一燒鐵。其均一耳。(漢書)『王莽傳』上以莽爲燒鐵。其均一耳。

燒[廣韻]『ショウ』燒鐵。

燒[玉篇]『ショウ』燒汁。又、水を注ぎ入れた上に(((

の機馬を用外にやくこと。南京の風習。

燒泥 [illegible] 泥。

燒米所 [illegible] 役所の名。未置か。米を焼く所。

燒手 [illegible] 手物師。摩伝職師。燒米所に未朝倉。

燒太刀 [illegible] 鍛刀。萬葉集、六、「燒太刀」。

燒刀 [illegible] つけかぎにしか刀。

燒圓子 [illegible] 元日の夜、草を木の本に束ねて焼いて、明年の幸運を祈ること。

燒豆腐 [illegible] 豆腐を竹串に刺し、その両面を炭火にかけて焼いたもの。「東海道名所記」。

燒頭 [illegible] 神輿に載せるもの。

燒鳥 [illegible] 鳥を焼き、または、鳥を焼くこと。

燒年紙 [illegible] 其の歳の神を祀る。「燒の式」、浙江省の十二月の行事。「南江志」。

燒夕 [illegible] 五行紙、鶴、鬼、長之、掛、炒中老之、南日取、其餘、焚之。「日本民俗」。

燒替香 [illegible] 神に祭り者が臂に釣を貫いて香爐をかけ香を焚いて祈ること。

燒代香 [illegible] 代香。伏犬に線なかぶせ燒香に行くこと。長州地方の風習。

燒理銀 [illegible] 「書伴」刑法、人命関係。

燒[illegible] 明器が熟せられて結晶水を失う白色の粉末。ちゃのこ。

燒[illegible] 「鶴の初」。

燒[illegible] 年の初に上地の名前を唱り燒香すること。薩州の風習。

燒事御史 [illegible] 清の鳳梁の初、常時努力の為に初年の流れが主人の車に乗って出入りしたのを御史の期定が替見し、奴を車から下し、此の車は殿下の車なるに乗ってはいけ、いつて之を焼却したかで、燒車御史と嘲ってゐる。

燒[illegible] 「南朝の風習。

燒[illegible] 「[illegible]」。

燒[illegible] 「[illegible]」。

燒[illegible] 「[illegible]」

姑を以い火。（燒燒遠）夫燒之初、始諸飲食其燒。燒毒摩豚、注燒若飲、黃得而設、醫若可以燒。（燒燒）燒、燒、注燒、燒、燒、

公於北燕。〔史記燕召公世家〕燕召公奭、與周同姓、姬氏、文王武王之時、自陝以西召公主之、之燕、燕始通。〔漢書地理志〕燕、武王封召公之子於北燕、自召公以下九世至惠侯、傳惠侯云、云王、其九代也。

傳而燕侯、奔所、滅。(八)東皆の時、鮮卑、燕侯宣帝と稱して、國を建て號するもの五、前燕(10 34783 ㊁)・後燕(4 10098 ㊁)・西燕(10 34783 ㊁)・南燕(2 2750 ㊁)・北燕(2 25374 ㊁)の五代、業中、十谷人下頭技の建てた國。〔晉書、載記〕大業十一年、月、十谷人下頭技、自稱、燕王、國號燕。〔北史、高開道傳〕開道、武德元年、陷漁陽郡、有之、有、開道、自號燕王、(八)燕、(九)燕、(十)燕、(十一)燕、(十二)燕、(十三)燕、(十四)燕、(十五)燕、(十六)燕、(十七)燕、(十八)燕、(十九)燕、(二十)燕、(二十一)燕、(二十二)燕、(二十三)燕、(二十四)燕、(二十五)燕、(二十六)燕、(二十七)燕、(二十八)燕、(二十九)燕、(三十)燕、(三十一)燕、(三十二)燕、(三十三)燕、(三十四)燕、(三十五)燕、(三十六)燕、(三十七)燕、(三十八)燕、(三十九)燕、(四十)燕、(四十一)燕、(四十二)燕、(四十三)燕、(四十四)燕、(四十五)燕、(四十六)燕、(四十七)燕、(四十八)燕、(四十九)燕、(五十)燕、(五十一)燕、(五十二)燕、(五十三)燕、(五十四)燕、(五十五)燕、(五十六)燕、(五十七)燕、(五十八)燕、(五十九)燕、(六十)燕、(六十一)燕、(六十二)燕、(六十三)燕、(六十四)燕、(六十五)燕、(六十六)燕、(六十七)燕、(六十八)燕、(六十九)燕、(七十)燕、(七十一)燕、(七十二)燕、(七十三)燕、(七十四)燕、(七十五)燕、(七十六)燕、(七十七)燕、(七十八)燕、(七十九)燕、(八十)燕、(八十一)燕、(八十二)燕、(八十三)燕、(八十四)燕、(八十五)燕、(八十六)燕、(八十七)燕、(八十八)燕、(八十九)燕、(九十)燕、(九十一)燕、(九十二)燕、(九十三)燕、(九十四)燕、(九十五)燕、(九十六)燕、(九十七)燕、(九十八)燕、(九十九)燕、(一百)燕、(一百一)燕、(一百二)燕、(一百三)燕、(一百四)燕、(一百五)燕、(一百六)燕、(一百七)燕、(一百八)燕、(一百九)燕、(二百)燕、(二百一)燕、(二百二)燕、(二百三)燕、(二百四)燕、(二百五)燕、(二百六)燕、(二百七)燕、(二百八)燕、(二百九)燕、(三百)燕、(三百一)燕、(三百二)燕、(三百三)燕、(三百四)燕、(三百五)燕、(三百六)燕、(三百七)燕、(三百八)燕、(三百九)燕、(四百)燕、(四百一)燕、(四百二)燕、(四百三)燕、(四百四)燕、(四百五)燕、(四百六)燕、(四百七)燕、(四百八)燕、(四百九)燕、(五百)燕、(五百一)燕、(五百二)燕、(五百三)燕、(五百四)燕、(五百五)燕、(五百六)燕、(五百七)燕、(五百八)燕、(五百九)燕、(六百)燕、(六百一)燕、(六百二)燕、(六百三)燕、(六百四)燕、(六百五)燕、(六百六)燕、(六百七)燕、(六百八)燕、(六百九)燕、(七百)燕、(七百一)燕、(七百二)燕、(七百三)燕、(七百四)燕、(七百五)燕、(七百六)燕、(七百七)燕、(七百八)燕、(七百九)燕、(八百)燕、(八百一)燕、(八百二)燕、(八百三)燕、(八百四)燕、(八百五)燕、(八百六)燕、(八百七)燕、(八百八)燕、(八百九)燕、(九百)燕、(九百一)燕、(九百二)燕、(九百三)燕、(九百四)燕、(九百五)燕、(九百六)燕、(九百七)燕、(九百八)燕、(九百九)燕、(一千)燕、(一千一)燕、(一千二)燕、(一千三)燕、(一千四)燕、(一千五)燕、(一千六)燕、(一千七)燕、(一千八)燕、(一千九)燕、(二千)燕、(二千一)燕、(二千二)燕、(二千三)燕、(二千四)燕、(二千五)燕、(二千六)燕、(二千七)燕、(二千八)燕、(二千九)燕、(三千)燕、(三千一)燕、(三千二)燕、(三千三)燕、(三千四)燕、(三千五)燕、(三千六)燕、(三千七)燕、(三千八)燕、(三千九)燕、(四千)燕、(四千一)燕、(四千二)燕、(四千三)燕、(四千四)燕、(四千五)燕、(四千六)燕、(四千七)燕、(四千八)燕、(四千九)燕、(五千)燕、(五千一)燕、(五千二)燕、(五千三)燕、(五千四)燕、(五千五)燕、(五千六)燕、(五千七)燕、(五千八)燕、(五千九)燕、(六千)燕、(六千一)燕、(六千二)燕、(六千三)燕、(六千四)燕、(六千五)燕、(六千六)燕、(六千七)燕、(六千八)燕、(六千九)燕、(七千)燕、(七千一)燕、(七千二)燕、(七千三)燕、(七千四)燕、(七千五)燕、(七千六)燕、(七千七)燕、(七千八)燕、(七千九)燕、(八千)燕、(八千一)燕、(八千二)燕、(八千三)燕、(八千四)燕、(八千五)燕、(八千六)燕、(八千七)燕、(八千八)燕、(八千九)燕、(九千)燕、(九千一)燕、(九千二)燕、(九千三)燕、(九千四)燕、(九千五)燕、(九千六)燕、(九千七)燕、(九千八)燕、(九千九)燕、(一万)燕、(一万一)燕、(一万二)燕、(一万三)燕、(一万四)燕、(一万五)燕、(一万六)燕、(一万七)燕、(一万八)燕、(一万九)燕、(二万)燕、(二万一)燕、(二万二)燕、(二万三)燕、(二万四)燕、(二万五)燕、(二万六)燕、(二万七)燕、(二万八)燕、(二万九)燕、(三万)燕、(三万一)燕、(三万二)燕、(三万三)燕、(三万四)燕、(三万五)燕、(三万六)燕、(三万七)燕、(三万八)燕、(三万九)燕、(四万)燕、(四万一)燕、(四万二)燕、(四万三)燕、(四万四)燕、(四万五)燕、(四万六)燕、(四万七)燕、(四万八)燕、(四万九)燕、(五万)燕、(五万一)燕、(五万二)燕、(五万三)燕、(五万四)燕、(五万五)燕、(五万六)燕、(五万七)燕、(五万八)燕、(五万九)燕、(六万)燕、(六万一)燕、(六万二)燕、(六万三)燕、(六万四)燕、(六万五)燕、(六万六)燕、(六万七)燕、(六万八)燕、(六万九)燕、(七万)燕、(七万一)燕、(七万二)燕、(七万三)燕、(七万四)燕、(七万五)燕、(七万六)燕、(七万七)燕、(七万八)燕、(七万九)燕、(八万)燕、(八万一)燕、(八万二)燕、(八万三)燕、(八万四)燕、(八万五)燕、(八万六)燕、(八万七)燕、(八万八)燕、(八万九)燕、(九万)燕、(九万一)燕、(九万二)燕、(九万三)燕、(九万四)燕、(九万五)燕、(九万六)燕、(九万七)燕、(九万八)燕、(九万九)燕、(十万)燕、(十万一)燕、(十万二)燕、(十万三)燕、(十万四)燕、(十万五)燕、(十万六)燕、(十万七)燕、(十万八)燕、(十万九)燕、(二十万)燕、(二十万一)燕、(二十万二)燕、(二十万三)燕、(二十万四)燕、(二十万五)燕、(二十万六)燕、(二十万七)燕、(二十万八)燕、(二十万九)燕、(三十万)燕、(三十万一)燕、(三十万二)燕、(三十万三)燕、(三十万四)燕、(三十万五)燕、(三十万六)燕、(三十万七)燕、(三十万八)燕、(三十万九)燕、(四十万)燕、(四十万一)燕、(四十万二)燕、(四十万三)燕、(四十万四)燕、(四十万五)燕、(四十万六)燕、(四十万七)燕、(四十万八)燕、(四十万九)燕、(五十万)燕、(五十万一)燕、(五十万二)燕、(五十万三)燕、(五十万四)燕、(五十万五)燕、(五十万六)燕、(五十万七)燕、(五十万八)燕、(五十万九)燕、(六十万)燕、(六十万一)燕、(六十万二)燕、(六十万三)燕、(六十万四)燕、(六十万五)燕、(六十万六)燕、(六十万七)燕、(六十万八)燕、(六十万九)燕、(七十万)燕、(七十万一)燕、(七十万二)燕、(七十万三)燕、(七十万四)燕、(七十万五)燕、(七十万六)燕、(七十万七)燕、(七十万八)燕、(七十万九)燕、(八十万)燕、(八十万一)燕、(八十万二)燕、(八十万三)燕、(八十万四)燕、(八十万五)燕、(八十万六)燕、(八十万七)燕、(八十万八)燕、(八十万九)燕、(九十万)燕、(九十万一)燕、(九十万二)燕、(九十万三)燕、(九十万四)燕、(九十万五)燕、(九十万六)燕、(九十万七)燕、(九十万八)燕、(九十万九)燕、(一百万)燕、(一百万一)燕、(一百万二)燕、(一百万三)燕、(一百万四)燕、(一百万五)燕、(一百万六)燕、(一百万七)燕、(一百万八)燕、(一百万九)燕、(二百万)燕、(二百万一)燕、(二百万二)燕、(二百万三)燕、(二百万四)燕、(二百万五)燕、(二百万六)燕、(二百万七)燕、(二百万八)燕、(二百万九)燕、(三百万)燕、(三百万一)燕、(三百万二)燕、(三百万三)燕、(三百万四)燕、(三百万五)燕、(三百万六)燕、(三百万七)燕、(三百万八)燕、(三百万九)燕、(四百万)燕、(四百万一)燕、(四百万二)燕、(四百万三)燕、(四百万四)燕、(四百万五)燕、(四百万六)燕、(四百万七)燕、(四百万八)燕、(四百万九)燕、(五百万)燕、(五百万一)燕、(五百万二)燕、(五百万三)燕、(五百万四)燕、(五百万五)燕、(五百万六)燕、(五百万七)燕、(五百万八)燕、(五百万九)燕、(六百万)燕、(六百万一)燕、(六百万二)燕、(六百万三)燕、(六百万四)燕、(六百万五)燕、(六百万六)燕、(六百万七)燕、(六百万八)燕、(六百万九)燕、(七百万)燕、(七百万一)燕、(七百万二)燕、(七百万三)燕、(七百万四)燕、(七百万五)燕、(七百万六)燕、(七百万七)燕、(七百万八)燕、(七百万九)燕、(八百万)燕、(八百万一)燕、(八百万二)燕、(八百万三)燕、(八百万四)燕、(八百万五)燕、(八百万六)燕、(八百万七)燕、(八百万八)燕、(八百万九)燕、(九百万)燕、(九百万一)燕、(九百万二)燕、(九百万三)燕、(九百万四)燕、(九百万五)燕、(九百万六)燕、(九百万七)燕、(九百万八)燕、(九百万九)燕、(一千万)燕、(一千万一)燕、(一千万二)燕、(一千万三)燕、(一千万四)燕、(一千万五)燕、(一千万六)燕、(一千万七)燕、(一千万八)燕、(一千万九)燕、(二千万)燕、(二千万一)燕、(二千万二)燕、(二千万三)燕、(二千万四)燕、(二千万五)燕、(二千万六)燕、(二千万七)燕、(二千万八)燕、(二千万九)燕、(三千万)燕、(三千万一)燕、(三千万二)燕、(三千万三)燕、(三千万四)燕、(三千万五)燕、(三千万六)燕、(三千万七)燕、(三千万八)燕、(三千万九)燕、(四千万)燕、(四千万一)燕、(四千万二)燕、(四千万三)燕、(四千万四)燕、(四千万五)燕、(四千万六)燕、(四千万七)燕、(四千万八)燕、(四千万九)燕、(五千万)燕、(五千万一)燕、(五千万二)燕、(五千万三)燕、(五千万四)燕、(五千万五)燕、(五千万六)燕、(五千万七)燕、(五千万八)燕、(五千万九)燕、(六千万)燕、(六千万一)燕、(六千万二)燕、(六千万三)燕、(六千万四)燕、(六千万五)燕、(六千万六)燕、(六千万七)燕、(六千万八)燕、(六千万九)燕、(七千万)燕、(七千万一)燕、(七千万二)燕、(七千万三)燕、(七千万四)燕、(七千万五)燕、(七千万六)燕、(七千万七)燕、(七千万八)燕、(七千万九)燕、(八千万)燕、(八千万一)燕、(八千万二)燕、(八千万三)燕、(八千万四)燕、(八千万五)燕、(八千万六)燕、(八千万七)燕、(八千万八)燕、(八千万九)燕、(九千万)燕、(九千万一)燕、(九千万二)燕、(九千万三)燕、(九千万四)燕、(九千万五)燕、(九千万六)燕、(九千万七)燕、(九千万八)燕、(九千万九)燕、(一万万)燕、(一万万一)燕、(一万万二)燕、(一万万三)燕、(一万万四)燕、(一万万五)燕、(一万万六)燕、(一万万七)燕、(一万万八)燕、(一万万九)燕、(二万万)燕、(二万万一)燕、(二万万二)燕、(二万万三)燕、(二万万四)燕、(二万万五)燕、(二万万六)燕、(二万万七)燕、(二万万八)燕、(二万万九)燕、(三万万)燕、(三万万一)燕、(三万万二)燕、(三万万三)燕、(三万万四)燕、(三万万五)燕、(三万万六)燕、(三万万七)燕、(三万万八)燕、(三万万九)燕、(四万万)燕、(四万万一)燕、(四万万二)燕、(四万万三)燕、(四万万四)燕、(四万万五)燕、(四万万六)燕、(四万万七)燕、(四万万八)燕、(四万万九)燕、(五万万)燕、(五万万一)燕、(五万万二)燕、(五万万三)燕、(五万万四)燕、(五万万五)燕、(五万万六)燕、(五万万七)燕、(五万万八)燕、(五万万九)燕、(六万万)燕、(六万万一)燕、(六万万二)燕、(六万万三)燕、(六万万四)燕、(六万万五)燕、(六万万六)燕、(六万万七)燕、(六万万八)燕、(六万万九)燕、(七万万)燕、(七万万一)燕、(七万万二)燕、(七万万三)燕、(七万万四)燕、(七万万五)燕、(七万万六)燕、(七万万七)燕、(七万万八)燕、(七万万九)燕、(八万万)燕、(八万万一)燕、(八万万二)燕、(八万万三)燕、(八万万四)燕、(八万万五)燕、(八万万六)燕、(八万万七)燕、(八万万八)燕、(八万万九)燕、(九万万)燕、(九万万一)燕、(九万万二)燕、(九万万三)燕、(九万万四)燕、(九万万五)燕、(九万万六)燕、(九万万七)燕、(九万万八)燕、(九万万九)燕、(十万万)燕、(十万万一)燕、(十万万二)燕、(十万万三)燕、(十万万四)燕、(十万万五)燕、(十万万六)燕、(十万万七)燕、(十万万八)燕、(十万万九)燕、(二十万万)燕、(二十万万一)燕、(二十万万二)燕、(二十万万三)燕、(二十万万四)燕、(二十万万五)燕、(二十万万六)燕、(二十万万七)燕、(二十万万八)燕、(二十万万九)燕、(三十万万)燕、(三十万万一)燕、(三十万万二)燕、(三十万万三)燕、(三十万万四)燕、(三十万万五)燕、(三十万万六)燕、(三十万万七)燕、(三十万万八)燕、(三十万万九)燕、(四十万万)燕、(四十万万一)燕、(四十万万二)燕、(四十万万三)燕、(四十万万四)燕、(四十万万五)燕、(四十万万六)燕、(四十万万七)燕、(四十万万八)燕、(四十万万九)燕、(五十万万)燕、(五十万万一)燕、(五十万万二)燕、(五十万万三)燕、(五十万万四)燕、(五十万万五)燕、(五十万万六)燕、(五十万万七)燕、(五十万万八)燕、(五十万万九)燕、(六十万万)燕、(六十万万一)燕、(六十万万二)燕、(六十万万三)燕、(六十万万四)燕、(六十万万五)燕、(六十万万六)燕、(六十万万七)燕、(六十万万八)燕、(六十万万九)燕、(七十万万)燕、(七十万万一)燕、(七十万万二)燕、(七十万万三)燕、(七十万万四)燕、(七十万万五)燕、(七十万万六)燕、(七十万万七)燕、(七十万万八)燕、(七十万万九)燕、(八十万万)燕、(八十万万一)燕、(八十万万二)燕、(八十万万三)燕、(八十万万四)燕、(八十万万五)燕、(八十万万六)燕、(八十万万七)燕、(八十万万八)燕、(八十万万九)燕、(九十万万)燕、(九十万万一)燕、(九十万万二)燕、(九十万万三)燕、(九十万万四)燕、(九十万万五)燕、(九十万万六)燕、(九十万万七)燕、(九十万万八)燕、(九十万万九)燕、(一百万万)燕、(一百万万一)燕、(一百万万二)燕、(一百万万三)燕、(一百万万四)燕、(一百万万五)燕、(一百万万六)燕、(一百万万七)燕、(一百万万八)燕、(一百万万九)燕、(二百万万)燕、(二百万万一)燕、(二百万万二)燕、(二百万万三)燕、(二百万万四)燕、(二百万万五)燕、(二百万万六)燕、(二百万万七)燕、(二百万万八)燕、(二百万万九)燕、(三百万万)燕、(三百万万一)燕、(三百万万二)燕、(三百万万三)燕、(三百万万四)燕、(三百万万五)燕、(三百万万六)燕、(三百万万七)燕、(三百万万八)燕、(三百万万九)燕、(四百万万)燕、(四百万万一)燕、(四百万万二)燕、(四百万万三)燕、(四百万万四)燕、(四百万万五)燕、(四百万万六)燕、(四百万万七)燕、(四百万万八)燕、(四百万万九)燕、(五百万万)燕、(五百万万一)燕、(五百万万二)燕、(五百万万三)燕、(五百万万四)燕、(五百万万五)燕、(五百万万六)燕、(五百万万七)燕、(五百万万八)燕、(五百万万九)燕、(六百万万)燕、(六百万万一)燕、(六百万万二)燕、(六百万万三)燕、(六百万万四)燕、(六百万万五)燕、(六百万万六)燕、(六百万万七)燕、(六百万万八)燕、(六百万万九)燕、(七百万万)燕、(七百万万一)燕、(七百万万二)燕、(七百万万三)燕、(七百万万四)燕、(七百万万五)燕、(七百万万六)燕、(七百万万七)燕、(七百万万八)燕、(七百万万九)燕、(八百万万)燕、(八百万万一)燕、(八百万万二)燕、(八百万万三)燕、(八百万万四)燕、(八百万万五)燕、(八百万万六)燕、(八百万万七)燕、(八百万万八)燕、(八百万万九)燕、(九百万万)燕、(九百万万一)燕、(九百万万二)燕、(九百万万三)燕、(九百万万四)燕、(九百万万五)燕、(九百万万六)燕、(九百万万七)燕、(九百万万八)燕、(九百万万九)燕、(一千万万)燕、(一千万万一)燕、(一千万万二)燕、(一千万万三)燕、(一千万万四)燕、(一千万万五)燕、(一千万万六)燕、(一千万万七)燕、(一千万万八)燕、(一千万万九)燕、(二千万万)燕、(二千万万一)燕、(二千万万二)燕、(二千万万三)燕、(二千万万四)燕、(二千万万五)燕、(二千万万六)燕、(二千万万七)燕、(二千万万八)燕、(二千万万九)燕、(三千万万)燕、(三千万万一)燕、(三千万万二)燕、(三千万万三)燕、(三千万万四)燕、(三千万万五)燕、(三千万万六)燕、(三千万万七)燕、(三千万万八)燕、(三千万万九)燕、(四千万万)燕、(四千万万一)燕、(四千万万二)燕、(四千万万三)燕、(四千万万四)燕、(四千万万五)燕、(四千万万六)燕、(四千万万七)燕、(四千万万八)燕、(四千万万九)燕、(五千万万)燕、(五千万万一)燕、(五千万万二)燕、(五千万万三)燕、(五千万万四)燕、(五千万万五)燕、(五千万万六)燕、(五千万万七)燕、(五千万万八)燕、(五千万万九)燕、(六千万万)燕、(六千万万一)燕、(六千万万二)燕、(六千万万三)燕、(六千万万四)燕、(六千万万五)燕、(六千万万六)燕、(六千万万七)燕、(六千万万八)燕、(六千万万九)燕、(七千万万)燕、(七千万万一)燕、(七千万万二)燕、(七千万万三)燕、(七千万万四)燕、(七千万万五)燕、(七千万万六)燕、(七千万万七)燕、(七千万万八)燕、(七千万万九)燕、(八千万万)燕、(八千万万一)燕、(八千万万二)燕、(八千万万三)燕、(八千万万四)燕、(八千万万五)燕、(八千万万六)燕、(八千万万七)燕、(八千万万八)燕、(八千万万九)燕、(九千万万)燕、(九千万万一)燕、(九千万万二)燕、(九千万万三)燕、(九千万万四)燕、(九千万万五)燕、(九千万万六)燕、(九千万万七)燕、(九千万万八)燕、(九千万万九)燕、(一万万万)燕、(一万万万一)燕、(一万万万二)燕、(一万万万三)燕、(一万万万四)燕、(一万万万五)燕、(一万万万六)燕、(一万万万七)燕、(一万万万八)燕、(一万万万九)燕、(二万万万)燕、(二万万万一)燕、(二万万万二)燕、(二万万万三)燕、(二万万万四)燕、(二万万万五)燕、(二万万万六)燕、(二万万万七)燕、(二万万万八)燕、(二万万万九)燕、(三万万万)燕、(三万万万一)燕、(三万万万二)燕、(三万万万三)燕、(三万万万四)燕、(三万万万五)燕、(三万万万六)燕、(三万万万七)燕、(三万万万八)燕、(三万万万九)燕、(四万万万)燕、(四万万万一)燕、(四万万万二)燕、(四万万万三)燕、(四万万万四)燕、(四万万万五)燕、(四万万万六)燕、(四万万万七)燕、(四万万万八)燕、(四万万万九)燕、(五万万万)燕、(五万万万一)燕、(五万万万二)燕、(五万万万三)燕、(五万万万四)燕、(五万万万五)燕、(五万万万六)燕、(五万万万七)燕、(五万万万八)燕、(五万万万九)燕、(六万万万)燕、(六万万万一)燕、(六万万万二)燕、(六万万万三)燕、(六万万万四)燕、(六万万万五)燕、(六万万万六)燕、(六万万万七)燕、(六万万万八)燕、(六万万万九)燕、(七万万万)燕、(七万万万一)燕、(七万万万二)燕、(七万万万三)燕、(七万万万四)燕、(七万万万五)燕、(七万万万六)燕、(七万万万七)燕、(七万万万八)燕、(七万万万九)燕、(八万万万)燕、(八万万万一)燕、(八万万万二)燕、(八万万万三)燕、(八万万万四)燕、(八万万万五)燕、(八万万万六)燕、(八万万万七)燕、(八万万万八)燕、(八万万万九)燕、(九万万万)燕、(九万万万一)燕、(九万万万二)燕、(九万万万三)燕、(九万万万四)燕、(九万万万五)燕、(九万万万六)燕、(九万万万七)燕、(九万万万八)燕、(九万万万九)燕、(一億)燕、(一億一)燕、(一億二)燕、(一億三)燕、(一億四)燕、(一億五)燕、(一億六)燕、(一億七)燕、(一億八)燕、(一億九)燕、(二億)燕、(二億一)燕、(二億二)燕、(二億三)燕、(二億四)燕、(二億五)燕、(二億六)燕、(二億七)燕、(二億八)燕、(二億九)燕、(三億)燕、(三億一)燕、(三億二)燕、(三億三)燕、(三億四)燕、(三億五)燕、(三億六)燕、(三億七)燕、(三億八)燕、(三億九)燕、(四億)燕、(四億一)燕、(四億二)燕、(四億三)燕、(四億四)燕、(四億五)燕、(四億六)燕、(四億七)燕、(四億八)燕、(四億九)燕、(五億)燕、(五億一)燕、(五億二)燕、(五億三)燕、(五億四)燕、(五億五)燕、(五億六)燕、(五億七)燕、(五億八)燕、(五億九)燕、(六億)燕、(六億一)燕、(六億二)燕、(六億三)燕、(六億四)燕、(六億五)燕、(六億六)燕、(六億七)燕、(六億八)燕、(六億九)燕、(七億)燕、(七億一)燕、(七億二)燕、(七億三)燕、(七億四)燕、(七億五)燕、(七億六)燕、(七億七)燕、(七億八)燕、(七億九)燕、(八億)燕、(八億一)燕、(八億二)燕、(八億三)燕、(八億四)燕、(八億五)燕、(八億六)燕、(八億七)燕、(八億八)燕、(八億九)燕、(九億)燕、(九億一)燕、(九億二)燕、(九億三)燕、(九億四)燕、(九億五)燕、(九億六)燕、(九億七)燕、(九億八)燕、(九億九)燕、(一兆)燕、(一兆一)燕、(一兆二)燕、(一兆三)燕、(一兆四)燕、(一兆五)燕、(一兆六)燕、(一兆七)燕、(一兆八)燕、(一兆九)燕、(二兆)燕、(二兆一)燕、(二兆二)燕、(二兆三)燕、(二兆四)燕、(二兆五)燕、(二兆六)燕、(二兆七)燕、(二兆八)燕、(二兆九)燕、(三兆)燕、(三兆一)燕、(三兆二)燕、(三兆三)燕、(三兆四)燕、(三兆五)燕、(三兆六)燕、(三兆七)燕、(三兆八)燕、(三兆九)燕、(四兆)燕、(四兆一)燕、(四兆二)燕、(四兆三)燕、(四兆四)燕、(四兆五)燕、(四兆六)燕、(四兆七)燕、(四兆八)燕、(四兆九)燕、(五兆)燕、(五兆一)燕、(五兆二)燕、(五兆三)燕、(五兆四)燕、(五兆五)燕、(五兆六)燕、(五兆七)燕、(五兆八)燕、(五兆九)燕、(六兆)燕、(六兆一)燕、(六兆二)燕、(六兆三)燕、(六兆四)燕、(六兆五)燕、(六兆六)燕、(六兆七)燕、(六兆八)燕、(六兆九)燕、(七兆)燕、(七兆一)燕、(七兆二)燕、(七兆三)燕、(七兆四)燕、(七兆五)燕、(七兆六)燕、(七兆七)燕、(七兆八)燕、(七兆九)燕、(八兆)燕、(八兆一)燕、(八兆二)燕、(八兆三)燕、(八兆四)燕、(八兆五)燕、(八兆六)燕、(八兆七)燕、(八兆八)燕、(八兆九)燕、(九兆)燕、(九兆一)燕、(九兆二)燕、(九兆三)燕、(九兆四)燕、(九兆五)燕、(九兆六)燕、(九兆七)燕、(九兆八)燕、(九兆九)燕、(一京)燕、(一京一)燕、(一京二)燕、(一京三)燕、(一京四)燕、(一京五)燕、(一京六)燕、(一京七)燕、(一京八)燕、(一京九)燕、(二京)燕、(二京一)燕、(二京二)燕、(二京三)燕、(二京四)燕、(二京五)燕、(二京六)燕、(二京七)燕、(二京八)燕、(二京九)燕、(三京)燕、(三京一)燕、(三京二)燕、(三京三)燕、(三京四)燕、(三京五)燕、(三京六)燕、(三京七)燕、(三京八)燕、(三京九)燕、(四京)燕、(四京一)燕、(四京二)燕、(四京三)燕、(四京四)燕、(四京五)燕、(四京六)燕、(四京七)燕、(四京八)燕、(四京九)燕、(五京)燕、(五京一)燕、(五京二)燕、(五京三)燕、(五京四)燕、(五京五)燕、(五京六)燕、(五京七)燕、(五京八)燕、(五京九)燕、(六京)燕、(六京一)燕、(六京二)燕、(六京三)燕、(六京四)燕、(六京五)燕、(六京六)燕、(六京七)燕、(六京八)燕、(六京九)燕、(七京)燕、(七京一)燕、(七京二)燕、(七京三)燕、(七京四)燕、(七京五)燕、(七京六)燕、(七京七)燕、(七京八)燕、(七京九)燕、(八京)燕、(八京一)燕、(八京二)燕、(八京三)燕、(八京四)燕、(八京五)燕、(八京六)燕、(八京七)燕、(八京八)燕、(八京九)燕、(九京)燕、(九京一)燕、(九京二)燕、(九京三)燕、(九京四)燕、(九京五)燕、(九京六)燕、(九京七)燕、(九京八)燕、(九京九)燕、(一垓)燕、(一垓一)燕、(一垓二)燕、(一垓三)燕、(一垓四)燕、(一垓五)燕、(一垓六)燕、(一垓七)燕、(一垓八)燕、(一垓九)燕、(二垓)燕、(二垓一)燕、(二垓二)燕、(二垓三)燕、(二垓四)燕、(二垓五)燕、(二垓六)燕、(二垓七)燕、(二垓八)燕、(二垓九)燕、(三垓)燕、(三垓一)燕、(三垓二)燕、(三垓三)燕、(三垓四)燕、(三垓五)燕、(三垓六)燕、(三垓七)燕、(三垓八)燕、(三垓九)燕、(四垓)燕、(四垓一)燕、(四垓二)燕、(四垓三)燕、(四垓四)燕、(四垓五)燕、(四垓六)燕、(四垓七)燕、(四垓八)燕、(四垓九)燕、(五垓)燕、(五垓一)燕、(五垓二)燕、(五垓三)燕、(五垓四)燕、(五垓五)燕、(五垓六)燕、(五垓七)燕、(五垓八)燕、(五垓九)燕、(六垓)燕、(六垓一)燕、(六垓二)燕、(六垓三)燕、(六垓四)燕、(六垓五)燕、(六垓六)燕、(六垓七)燕、(六垓八)燕、(六垓九)燕、(七垓)燕、(七垓一)燕、(七垓二)燕、(七垓三)燕、(七垓四)燕、(七垓五)燕、(七垓六)燕、(七垓七)燕、(七垓八)燕、(七垓九)燕、(八垓)燕、(八垓一)燕、(八垓二)燕、(八垓三)燕、(八垓四)燕、(八垓五)燕、(八垓六)燕、(八垓七)燕、(八垓八)燕、(八垓九)燕、(九垓)燕、(九垓一)燕、(九垓二)燕、(九垓三)燕、(九垓四)燕、(九垓五)燕、(九垓六)燕、(九垓七)燕、(九垓八)燕、(九垓九)燕、(一秭)燕、(一秭一)燕、(一秭二)燕、(一秭三)燕、(一秭四)燕、(一秭五)燕、(一秭六)燕、(一秭七)燕、(一秭八)燕、(一秭九)燕、(二秭)燕、(二秭一)燕、(二秭二)燕、(二秭三)燕、(二秭四)燕、(二秭五)燕、(二秭六)燕、(二秭七)燕、(二秭八)燕、(二秭九)燕、(三秭)燕、(三秭一)燕、(三秭二)燕、(三秭三)燕、(三秭四)燕、(三秭五)燕、(三秭六)燕、(三秭七)燕、(三秭八)燕、(三秭九)燕、(四秭)燕、(四秭一)燕、(四秭二)燕、(四秭三)燕、(四秭四)燕、(四秭五)燕、(四秭六)燕、(四秭七)燕、(四秭八)燕、(四秭九)燕、(五秭)燕、(五秭一)燕、(五秭二)燕、(五秭三)燕、(五秭四)燕、(五秭五)燕、(五秭六)燕、(五秭七)燕、(五秭八)燕、(五秭九)燕、(六秭)燕、(六秭一)燕、(六秭二)燕、(六秭三)燕、(六秭四)燕、(六秭五)燕、(六秭六)燕、(六秭七)燕、(六秭八)燕、(六秭九)燕、(七秭)燕、(七秭一)燕、(七秭二)燕、(七秭三)燕、(七秭四)燕、(七秭五)燕、(七秭六)燕、(七秭七)燕、(七秭八)燕、(七秭九)燕、(八秭)燕、(八秭一)燕、(八秭二)燕、(八秭三)燕、(八秭四)燕、(八秭五)燕、(八秭六)燕、(八秭七)燕、(八秭八)燕、(八秭九)燕、(九秭)燕、(九秭一)燕、(九秭二)燕、(九秭三)燕、(九秭四)燕、(九秭五)燕、(九秭六)燕、(九秭七)燕、(九秭八)燕、(九秭九)燕、(一壤)燕、(一壤一)燕、(一壤二)燕、(一壤三)燕、(一壤四)燕、(一壤五)燕、(一壤六)燕、(一壤七)燕、(一壤八)燕、(一壤九)燕、(二壤)燕、(二壤一)燕、(二壤二)燕、(二壤三)燕、(二壤四)燕、(二壤五)燕、(二壤六)燕、(二壤七)燕、(二壤八)燕、(二壤九)燕、(三壤)燕、(三壤一)燕、(三壤二)燕、(三壤三)燕、(三壤四)燕、(三壤五)燕、(三壤六)燕、(三壤七)燕、(三壤八)燕、(三壤九)燕、(四壤)燕、(四壤一)燕、(四壤二)燕、(四壤三)燕、(四壤四)燕、(四壤五)燕、(四壤六)燕、(四壤七)燕、(四壤八)燕、(四壤九)燕、(五壤)燕、(五壤一)燕、(五壤二)燕、(五壤三)燕、(五壤四)燕、(五壤五)燕、(五壤六)燕、(五壤七)燕、(五壤八)燕、(五壤九)燕、(六壤)燕、(六壤一)燕、(六壤二)燕、(六壤三)燕、(六壤四)燕、(六壤五)燕、(六壤六)燕、(六壤七)燕、(六壤八)燕、(六壤九)燕、(七壤)燕、(七壤一)燕、(七壤二)燕、(七壤三)燕、(七壤四)燕、(七壤五)燕、(七壤六)燕、(七壤七)燕、(七壤八)燕、(七壤九)燕、(八壤)燕、(八壤一)燕、(八壤二)燕、(八壤三)燕、(八壤四)燕、(八壤五)燕、(八壤六)燕、(八壤七)燕、(八壤八)燕、(八壤九)燕、(九壤)燕、(九壤一)燕、(九壤二)燕、(九壤三)燕、(九壤四)燕、(九壤五)燕、(九壤六)燕、(九壤七)燕、(九壤八)燕、(九壤九)燕、(一溝)燕、(一溝一)燕、(一溝二)燕、(一溝三)燕、(一溝四)燕、(一溝五)燕、(一溝六)燕、(一溝七)燕、(一溝八)燕、(一溝九)燕、(二溝)燕、(二溝一)燕、(二溝二)燕、(二溝三)燕、(二溝四)燕、(二溝五)燕、(二溝六)燕、(二溝七)燕、(二溝八)燕、(二溝九)燕、(三溝)燕、(三溝一)燕、(三溝二)燕、(三溝三)燕、(三溝四)燕、(三溝五)燕、(三溝六)燕、(三溝七)燕、(三溝八)燕、(三溝九)燕、(四溝)燕、(四溝一)燕、(四溝二)燕、(四溝三)燕、(四溝四)燕、(四溝五)燕、(四溝六)燕、(四溝七)燕、(四溝八)燕、(四溝九)燕、(五溝)燕、(五溝一)燕、(五溝二)燕、(五溝三)燕、(五溝四)燕、(五溝五)燕、(五溝六)燕、(五溝七)燕、(五溝八)燕、(五溝九)燕、(六溝)燕、(六溝一)燕、(六溝二)燕、(六溝三)燕、(六溝四)燕、(六溝五)燕、(六溝六)燕、(六溝七)燕、(六溝八)燕、(六溝九)燕、(七溝)燕、(七溝一)燕、(七溝二)燕、(七溝三)燕、(七溝四)燕、(七溝五)燕、(七溝六)燕、(七溝七)燕、(七溝八)燕、(七溝九)燕、(八溝)燕、(八溝一)燕、(八溝二)燕、(八溝三)燕、(八溝四)燕、(八溝五)燕、(八溝六)燕、(八溝七)燕、(八溝八)燕、(八溝九)燕、(九溝)燕、(九溝一)燕、(九溝二)燕、(九溝三)燕、(九溝四)燕、(九溝五)燕、(九溝六)燕、(九溝七)燕、(九溝八)燕、(九溝九)燕、(一澗)燕、(一澗一)燕、(一澗二)燕、(一澗三)燕、(一澗四)燕、(一澗五)燕、(一澗六)燕、(一澗七)燕、(一澗八)燕、(一澗九)燕、(二澗)燕、(二澗一)燕、(二澗二)燕、(二澗三)燕、(二澗四)燕、(二澗五)燕、(二澗六)燕、(二澗七)燕、(二澗八)燕、(二澗九)燕、(三澗)燕、(三澗一)燕、(三澗二)燕、(三澗三)燕、(三澗四)燕、(三澗五)燕、(三澗六)燕、(三澗七)燕、(三澗八)燕、(三澗九)燕、(四澗)燕、(四澗一)燕、(四澗二)燕、(四澗三)燕、(四澗四)燕、(四澗五)燕、(四澗六)燕、(四澗七)燕、(四澗八)燕、(四澗九)燕、(五澗)燕、(五澗一)燕、(五澗二)燕、(五澗三)燕、(五澗四)燕、(五澗五)燕、(五澗六)燕、(五澗七)燕、(五澗八)燕、(五澗九)燕、(六澗)燕、(六澗一)燕、(六澗二)燕、(六澗三)燕、(六澗四)燕、(六澗五)燕、(六澗六)燕、(六澗七)燕、(六澗八)燕、(六澗九)燕、(七澗)燕、(七澗一)燕、(七澗二)燕、(七澗三)燕、(七澗四)燕、(七澗

ふ。燕は人家に巣くふ鳥。故にこれを家雀と云ふ。されば鶺鴒と同じく、自ら燕巣に居たるを家雀と云ふ歟。

【燕鈴】ｅｎｒｅｉ　燕王日之鈴。邸忌邸忌之王。（漢書、郊祀歌、天馬歌）

【燕好】ｅｋｏｕ　燕婉。燕婉。燕婉。

走馬、曰燕衆九。燕國の牛、字列女傳、珊瑚。22-22上妻傳〔傳〕燕、燕十之角、鍾乳、22-22上燕姑〔傳〕燕姑、春秋、鄭の人、父公子偃を殺す。鄭、燕姑の人、父公子偃を殺せられて後公を生み、鄭と名づく。左氏、宣二。春秋、衛の人、父を殺せられて後公を生む。左氏、宣二。は、史子思の孫子の弟子。史記、六十七。燕侯、春秋の人、燕侯の名。燕寧〔傳〕燕寧、25-7369（22）●燕に同じ。

〔燕敏〕〔傳〕燕敏、南晉仲嗣神、燕敏、燕の人、鄭。

〔燕雀〕〔傳〕燕雀、燕雀、燕の人、鄭。燕雀、燕の人、鄭。燕雀、燕の人、鄭。

〔燕屋〕ㄧㄢˋ ㄨㄛ 燕國に產する屋の茶の意。〔後漢・孔雀東南飛〕「紫羅繡被、蜀錦香囊、燕屋而雪寧、蜀道而日暖」〔遼史・地理志・南京・析津府〕「燕之武宗の時、神女が招仙閣に遊び、元鼎元年、起招仙閣於甘泉宮南偃、帝幸之、留連數日、寶惠、寶惠、神女留之、以一金盤、與神女相別、盤中有色如雀卵、雀卵、盤中有玉、玉中有字、字曰、天子萬歲

飾女御「燕於燕地」故名燕脂、燕脂、或作燕支、燕支、燕脂、燕脂、請其類也、(一説)燕脂、燕脂、燕脂、

【燕燕】詩 燕の小なる。『往我行』『燕燕』『燕燕于飛』『燕燕于飛』『燕燕于飛

六子與之。(鶡冠子、王鈇水泉別詩)此地別燕趙、壯士安能久留。今日水泉寒。

燕月子(周)。青名、三卷、撰者未詳、隋書經籍志、梁有燕月子、唐書藝文志、並不載、今者未見文選、其文見引、(四庫提要)子、小說家類。

燕女(漢)。●女也(姦女)安之、(漢書)、(燕)、燕起、(注)、(師古曰)、燕、燕王旦、安、燕王旦女子、燕王旦、(史記)、(燕王旦)、安、燕王旦女子、燕王旦、(史記)、(燕王旦)、安、燕王旦女子、燕王旦、(史記)、(燕王旦)

したもの。〔武陵本傳〕燕尾旗御尾旗傳 燕中鎮御之尾用之。〔武陵

封ぜられた後。(青標、求日録)表(日録不載)

燕敬王封(其功史也)

燕敬王[illegible]年、父は燕王を納れたことをいふ。庶の張侗書稿に張敬王[illegible]の記載。

燕相[illegible]。●うちつづく。(青標、元結碑)

燕[illegible]。燕の[illegible]。(青標、元結碑)

燕[illegible]。●燕國の子。(史記、燕世家)文公[illegible]年、太子立。是燕易王。易王初立、齊宣王因燕喪伐我取十城。蘇秦說燕曰、齊使燕無一城、燕必我取十城。燕王曰、奈何。蘇秦曰、子之與王相愛如兄弟、而齊大臣用事者鄒忌之子之與公孫衍皆惡蘇秦。蘇秦恐、請往齊。齊宣王聽之、還燕城。

燕[illegible]年、燕國の子。(史記、燕世家)文公[illegible]年、太子立。是燕易王。易王初立、齊宣王因燕喪伐我取十城。蘇秦說燕曰、齊使燕無一城、燕必我取十城。燕王曰、奈何。蘇秦曰、子之與王相愛如兄弟、而齊大臣用事者鄒忌之子之與公孫衍皆惡蘇秦。蘇秦恐、請往齊。齊宣王聽之、還燕城。

燕[illegible]年、燕の君。燕王の官称。(青標、元結碑)

燕[illegible]年、燕の君。文公の子。王。(史記、燕世家)文公[illegible]年、太子立。是燕易王。易王初立、齊宣王因燕喪伐我取十城。蘇秦說燕曰、齊使燕無一城、燕必我取十城。燕王曰、奈何。蘇秦曰、子之與王相愛如兄弟、而齊大臣用事者鄒忌之子之與公孫衍皆惡蘇秦。蘇秦恐、請往齊。齊宣王聽之、還燕城。

燕[illegible]年、燕の君。易王

燕 燕燕 燕燕 燕

【燔】 19444 セキ 〔篇海〕音昔

❶火でかわかす。〔篇海〕燔、火乾也。❷日にさらす。〔廣韻〕燔、曝也。

〔字考〕燔(7－19108)に同じ。

【煞】 19445 セン

煎(7－19184)に同じ。〔集韻〕煞、與煎同。

【煎】 19446 セン

煎(7－19184)に同じ。〔正字通〕煎、通作煞。

【爲】 19447 キ

敧(7－19448)に同じ。〔康熙字典〕爲、按、篇海九部有、敧字、音愧、義闕、當部此字。

【敧】 19448 キ

義未詳。〔龍龕手鑑〕敧、音愧。

【𤇾】 19449 ゲツ

葉(6－15770)の古字。〔集韻〕𤇾、亦作、𤇾。

【𤇾】 19450 ホツ ボチ 〔龍龕手鑑〕滿沒切

煙の起るさま。〔龍龕手鑑〕𤇾、煙起貌。

【𤇾】 19451 ブ

□？ 〔ㄈㄨˋ fù〕

□無(7－19113)に同じ。〔搜眞玉鏡〕𤇾、同ノ無。□こげる。こがす。〔湖(7－19261)〕同ノ上。

【燃】 19452 シン

義未詳。〔龍龕手鑑〕燃、生鉄切。

【𤇾】 19453 ダン

暖(6－14604)に同じ。〔龍龕手鑑〕𤇾、煖同。暖。

【燃】 19454 サツ

燠(7－19457)の俗字。〔字彙補〕燃、俗燠字。

【烟】 19455 モン

〔中華大字典〕讀若、問。

□？ 〔ㄨㄣˋ wèn〕

ところ火で氣をもらさぬようにして物を煮ること。〔中華大字典〕烟、俗以、微火、久煮、食物不使、洩、氣者曰、烟。

【燠】 19456 ワク

燠燠は、星の名。燠燠は、(4－10739)に同じ。〔鬼谷子、符言〕四方上下左右前後、燠燠之處安也。

十三畫

【營】 19457 〔集韻〕雄倩切 〔廣韻〕玄扇切 〔集韻〕玄扇切 〔廣韻〕玄扇切

□エイ ヨウ □ギヤウ □ㄧㄥˊ yíng

❶いとなむ。つくる。〔廣韻〕營、造也。〔詩、大雅、靈臺〕經之營之。〔毛傳〕營、度也。〔楚辭、羽獵賦〕營營、營、〔注〕善貌。〔楚辭、四諫〕營、讀、造作。❷史記、五帝紀、〔注〕營、度也。〔呂覽、孟冬〕營、左驂之小人。〔注〕營、度也。❸干犬。〔儀禮〕士喪禮〔家人〕營之。〔注〕營、猶、度也。❹をさめる。〔小爾雅、廣詁〕營、治也。〔詩、小雅、鴛鴦〕召伯營之。〔箋〕營、治也。❺なす。行ふ。〔易、繫辭上〕四營而成易。〔疏〕營、謂、經營。〔楚辭、九歌、湘君〕蓀、耕也。〔注〕營、謂、耕也。❻うつる。〔廣雅、釋詁二〕營、得也。〔楚辭、天問〕何任營、得也。〔注〕營、得也。❼つかさどる。〔淮南子、主術訓〕秋政營事。〔注〕營、典。❽いとなみ。いとなむこと。いとなむとこころ。〔詩、大雅、靈臺〕經之營之。❾めぐらす。めぐらす。〔公羊、莊、二十五〕朱絃營、社。〔釋文〕營、本亦作、繁、同。〔漢書、李尋傳〕爲妄設所、營。〔注〕師古曰、營、謂、繞也。❿まどふ。まどはす。みだれる。〔後漢書(8－23501)〕〔說文通定聲〕營、假借爲、營。〔荀子、君道〕百姓足、則、師、弼、營、環。〔注〕營、讀爲、熒、熒、惑、惑乘也。〔楚辭、文王篇〕煩、亂之、而志不、營。〔注〕營、猶、亂也。〔淮南子、原道訓〕精神亂、營、不、得、須臾、〔注〕營、惑。⓫めぐりすむ。又、すまひ。住居。〔說文〕營、市居也。从宮熒省聲。〔段注〕市、各本作、市。今依、宋本、及、韵會本、訂。〔廣韻〕營、市、放有、國語、韋昭、作、匝。〔孟子、本作、市、放有、國語、韋昭、作、匝。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。❷とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。❸とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。❹とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。❺とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。❻とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。❼とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。❽とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。❾とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。❿とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。⓫とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。⓬とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。⓭とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。⓮とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。⓯とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。⓰とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。⓱とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。⓲とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。⓳とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。⓴とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㉑とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㉒とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㉓とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㉔とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㉕とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㉖とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㉗とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㉘とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㉙とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㉚とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㉛とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㉜とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㉝とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㉞とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㉟とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㊱とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㊲とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㊳とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㊴とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㊵とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㊶とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㊷とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㊸とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㊹とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㊺とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㊻とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㊼とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㊽とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㊾とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。㊿とりで。ちかやまもり。軍營。〔周禮、夏官、大司馬〕凡、師、大、國、必、有、軍、營、〔注〕營、猶、壘、也。〔禮、禮運〕冬則居、營窟。

官制）京城南北左右、分設營、以合方位、至二國明圖駐紮之處、營名設營、中營、列司巡捕營之前、中南北左右營（㊁）清末、練軍、為新軍之編制、一小隊を哨といひ、三或は五哨を合して營と稱し、若干營を合して軍と號し、軍を合して、提督の指揮を附し、更に若干軍を合して、提督の指揮を統し、營の長を營官といひ、參將、中佐、遊擊、少佐、都司、大尉、守備、中尉、正佐、遊擊、少佐、都司、大尉、守備、中尉、正尉、營官自率、中哨兄五百人、哨官、隊官、正尉、營官自率、中哨兄五百人、哨官、隊官、正尉、三百六十人、營官統兵五十人、哨官、隊官、正尉、三百六十人、營官統兵五十人、哨官、隊官、正尉、十人、哨官世、口絡、營人、注、目教解不、暇也、

【營廬】ｙｉｎｇ　ｌｕ　●めぐらしかこむ。めぐらしかこんだ所。〈後漢書馬融傳〉於、時營廬依附、充斥川谷。

【營城】ｙｉｎｇ　ｃｈｅｎｇ　●めぐらしかこむ。〈後漢書馬融傳〉西京賦、六、在後圍圍之中、前後無有相、携、攜、離、鳥、獸、營城、蔡霧中、圍、宗師、鞭、馬、之、蔡城、〈後漢書馬融傳〉長安宮、殿、迥、相、之、比、●、拘、無、鞭、馬、之、蔡、注、蔡、城、不、內、拘、

【營員】ｙｉｎｇ　ｙｕａｎ　清代、綠營の武官。綠營（㊁）2252

【營兵】ｙｉｎｇ　ｂｉｎｇ　清代、綠營の兵。〈兵部、綠營處分例〉武職應參、〈副後除各省駐防營員（內

準、保、外、綠營武官。

【營官】ｙｉｎｇ　ｇｕａｎ　●居り場所、すまひ、〈淮南子、俶眞〉調、天、生、曦、深、無、天、之、經、、、

【營私舞弊】ㄧㄥˊ ㄙㄨ ㄨˇ ㄅㄧˋ　私利を謀つて惡事を出ず。

【營】ㄧㄥˊ　①ㄧㄥˊ 名 ①古十二祠の一。「禮、青州の東北逆東の地を分ち、以て營丘を爲す。」（周禮、青州）②營室者及び胡組（星名）。（周禮、時令）。（淮南、天文訓）。（後漢書、郡縣志）。②ㄧㄥˊ 動 ①營丘に都する。（周禮、時令）。（淮南、天文訓）。（後漢書、郡縣志）。②營室に居る。（淮南、天文訓）。③營室に居ること。又、居處を營營する。（後漢書、郡縣志）。④營室を出ず。

【營】ㄧㄥˊ　①ㄧㄥˊ 名 ①古十二祠の一。「禮、青州の東北逆東の地を分ち、以て營丘を爲す。」（周禮、時令）。（淮南、天文訓）。（後漢書、郡縣志）。②

永州府、通州、〔客道郡〕（令道城、道縣、豆来之城、
袋城郡、宋會因之、隋廢入登高縣、義熙郡改置
袋城郡、宋會因之、隋廢入登高縣、劉郡改置
于故城內、宋、登道縣、唐移登道于州郭內、因
置道縣、唐移登道于故城、唐移登道于州郭內、因
移治道故城、唐置道郡、〔令〕唐、宋、
元、明、清、〔令〕唐、宋、元、明、清

性為牡。而閹易於事。軍行營目送中在。閹、休進而爰爰諫。後漢書、樊宏傳「宏素貴戚。而謙柔下士。有營部。家富好施。賓客滿門。車馬填巷。」●營部。家富好施。賓客滿門。車馬填巷。「注引謝承書曰。樊宏字子翼。舞陽侯噲之孫。建武中為侍中。光武幸其第。宏迎帝。帝曰。卿何得如此。宏曰。臣聞天子之家。以天下為家。今陛下以天下為家。臣以家為天下。何為不可。帝大笑。」●營部。家富好施。賓客滿門。車馬填巷。「注引謝承書曰。樊宏字子翼。舞陽侯噲之孫。建武中為侍中。光武幸其第。宏迎帝。帝曰。卿何得如此。宏曰。臣聞天子之家。以天下為家。臣以家為天下。何為不可。帝大笑。」●營部

る。

【營林財産】國 國有森林の經營の目的に供するものと決したる財産。

□オク 集韻之六切 屋

□アウ オウ 集韻郭到切 號

□ヨク 集韻蔚遇切 遇

四イウ 集韻於求切 尤

五アウ 集韻烏浩切 皓

燠

19458

小篆

□□あたたかい。あつい。熱が籠る。(說文)燠、熱在中也。从火奧聲。(爾雅、釋言)燠、煖也。(書、洪範)曰燠、曰寒。(傳)燠、煖也。(詩、豳風、無衣)安且燠矣。●とる。室内に居て煖をとる。陳(21-41872)に通ず。(史記、五帝紀)其民燠。(注)集解曰、鄭玄曰、民人入室處。(書、堯典)厥民隩。●通じて奥(3-5981)に作る。(正字通、通作奥)。●通じて澳(3-5981)に同じ。(集韻)燠、或从日。●日、丙、旬(7-18874)、燠(7-19085)に作る。(集韻)燠、古作旬、燠。●□四燠休は、

(懷機)ヨク 暖かなさま。(韻府引、韋應物、詩)

(建邦論)日燠、燠燠無四時。

(說文)燠、煖也。(廣韻)燠、暖温。(玉篇)燠、暖也。

(論衡、寒溫篇)春行殺氣者、若燠、燠温、恒寒也。

(燠寒)ヨクカン あたたかさとさむさ。寒温。(書、洪範)天子曰、(中略)曰燠、曰寒、曰風、曰時。(疏)(燠)内部及所下氣伯(聲)問、衣燠寒。

(燠休)ヨク ヤウ 温かな聲。或は氣を以て温める。(左、昭三)民人病氣、而政燠休之。(注)燠休、猶念之聲。(疏)若小兒煖、父母以口就之也。燠休、代氣煖也。(韓愈、休沐詩)燠休、物性、物性氣温温之。(孟子、問下)民人病煖、或携幼扶老、(疏)(趙)岐、(注)魏志、(荀彧傳)天欲大興功之君、先料其民力而惠之、(注)(袁)宏、(後漢紀)天欲大興功之君、行有惠政、而遵和其調、詩(周頌)燠燠、稍稍相、(疏)相、稍、

(燠咻)ヨク キウ 燠休と同じ。又、燠咻に作る。(韓愈)

(燠館)ヨク あたためる。やどり宿る。(李白、望廬山瀑布詩)半横倚、(李)白、(廬)山、(中略)(李)白、(廬)山、(中略)(李)白、(廬)山、(中略)

或作「燥」。

燥燥 上皓 ㄙㄠˇ　[説文]燥、乾也。从火、喿聲。[段注]燥、乾也。[玉篇]燥、干也。[廣韻]燥、乾也。[廣韻]燥、無水也。[廣韻]燥、無水也。[廣韻]燥、無水

火　部　（十二畫）燧 熢 燧 燒 燕 燈 燈 燈

燉燒。[illegible]。やく。もやす。（集韻）燒、焚也。
燉焚。[illegible]。やく。もやす。（集韻）燒、焚也。
燉爆。[illegible]。かがりび。

熱 19479

ゲウ　熱（7－19280）の本字。（正字通）熱、熱本字。

燭 19480

ショク　（集韻）未欲切　屋X・沃去　（中華大字典）之欲切　ジョク

[illegible]

（会篇才三）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

詩四百七四)燭燭明月。觀我我輩笑。

(燭心)ショクシン。燈心。ともしびのしん。燭芯。(本草。

(燭)ショク。燈。ともしび。代。蠟燭。及作燭心。

(燭)ショク。燈。

(燭)ショク。ともしびがきえる。夜のふけること。

(燭)ショク。ともしびがつきる。夜のふけること。

(燭)ショク。燈臺上の火。(史記。孝武本紀。燕昭王之樂。若夢寐而反。(後漢書。馮衍傳。守歲爵。(後漢書。馮衍傳。夜更與燭爵。(後漢書。馮衍傳。(文選。杜審言。和蘇味道。正月十五夜。)月光照人。燭光照人。(白居易。隔簾)

(燭)ショク。燈。(史記。孝武本紀。燕昭王之樂。若夢寐而反。(後漢書。馮衍傳。守歲爵。(後漢書。馮衍傳。夜更與燭爵。(後漢書。馮衍傳。(文選。杜審言。和蘇味道。正月十五夜。)月光照人。燭光照人。(白居易。隔簾)

(燭)ショク。ともしびがつきて其の本(燭)を見(見)る。ともしびがつきて其の本(燭)を見(見)る。

(燭)ショク。燭の燃えるようをいう。又。燭の燃えること。(史記。呂后紀。燭)

(燭)ショク。(酒名)。(新語。書。)。(新語。燭燭夜有。數月。

(燭)ショク。ともしび。燈は其の影を燭に喩ふ。燭花。(酒成大。晚步。宜華殿。詩。)鮮氣東。)。(白居易。)

(燭)ショク。ともしびの心。燭の中心。

(燭)ショク。(人)。(人)。(人)

契。「閒續、春官、天府」、凡治因之事、則觀之中、沃型執、爌、「後漢書百官組綬中、沃型、典時、沃型者、謂、小配天大祭祀、沃型、典祭小日、大祭時、沃型者、謂、小配天大祭祀、沃型、典祭小日、大祭時、沃型者、謂、其若天日、官所、沃型、在、組綬、子、配天祭、爵、組綬事、則、不、與、執、俎、俎、（幾、少、鑑、凡、飲、酒、授人、「晉書、劉玄傳、功曹使都、嘗、子、不、與、史、使高密紀、軍中馬度、城內馬度、崇、執、俎、正、「漢書、郊祀志、赤、爌、（爌、爌、「爌、爌、爌、

爨 小篆 〔説文、炊部〕爨、大熟也、从卅又持炊竈、字各物熟義也。●爨(7・19561)に同じ。

爨 小篆 〔説文、炊部〕爨、大熟也、从卅又持炊竈、字各物熟義也。●爨(7・19561)に同じ。

爨 〔説文、炊部〕爨、大熟也、从卅又持炊竈、字各物熟義也。●爨(7・19561)に同じ。

熨 小篆 〔説文、火部〕熨、火熱也。●熨(7・19564)に同じ。

爲 小篆 〔説文、爪部〕爲、母猴也。●爲(7・19565

燹 19508

日セン　集韻 蒲典切 銑 tsian₃
日ヒキ　集韻 薛利切 屑 hiat₄
（ヘイヤク）
四フン　集韻 敷文切 文 hjuən₁

燹 小 ㊀火。（說文）燹、火也。从火、豕聲。●兵燹のために起る事。（正字通）燹、兵火日燹。（宋史、神宗紀）經、鬼章兵燹。●むかし燒く。（廣韻）燹、燔也。（玉篇）燹、燔也。（集韻）燹、燔也。同じ。（廣韻）燹、火也。三四火のさま。（集韻）燹、火也。

燼 19509

セン　集韻 同 燹。

燼 19510

カイ　集韻 丘蓋切 泰 kʰat₃

火。（集韻）燼、火也。

燧 19511

カク　集韻 苦沃切 屋 kʰuk₅

かわく。乾かす。燧（7・19291）に同じ。（廣韻）燧、火乾。（集韻）燥也 或省。

燦 19512

リン　燐（7・19367）の俗字。（正字通）燐、俗燐字。

燭 19513

クン　集韻 許云切 文 hjuən₁

燭 小 ㊀氣の盛なさま。（廣韻）燭、火氣盛皃。●ふすべる。燻（7・19300）の俗字。（集韻）燻、說文、火煙上出也。 燻、上同。●ふすべる。（說文）燻、火煙上出也。 燻、上同。●ふすべる。燻（7・19300）の俗字。（集韻）燻、說文、火煙上出也。

燬 19514

ヒ　集韻 呼毀切 紙 hʰiai₂
四ヘイ　集韻 匹切 霽 pʰiai₃

燬 小 ㊀火。（說文）燬、火也。从火、虫聲。●火が飛び、又、飛び火。燬（7・19325）・燹（7・19670）に同じ。（說文）燹、火飛也。从火、豕聲。燬、同意。（段注）亞聲、煙音皆同。（集韻）燬、或作燹。燬、●かるい。軽い。（說文）燬、段注）引申爲凡輕疾者。●或は燹（8・24694）に作る。（廣韻）燬、今作燹。

燮 19515

シン　集韻 徐刃切 震 siɪn₃

●もえのこり。又、ときぎ。（說文）燮、火餘也。一曰、薪也。或从盡。●いきのこり。（の災を經て殘つた民。災餘。（後漢書、桓帝紀）民、遭水旱、桑柔、民之燮。●有黎、其稲以燼（（後漢書）

𤇾 小 □□□ ❶てらす。普く覆ひ照す。(説文)燕、溥覆照也、从火𤇾聲。

𤇾 □□□ ❶おほふ。小爾雅、廣詁(燕、覆也)。公羊、文十三(因盛)、魚公燕(注)燕、猶言曾也。❷燕、7—19419)に同じ。廣雅、釋言、燕、敏也。琵琶賦、敏捷燕(注)燕、猶言曾也。(禮中庸、無不燕(注)燕、猶言曾也。❸燕、9—32197)に通ず。(方言、十二、燕、覆也。(注)燕、字或作燕。❹燕、7—18506)に通ず。(集韻)燕、或作燕。(公羊、文十三、13276)に通ず。(周禮、春官、司几筵、存敬、(7—19517)に作る。(集韻)燕、或書作燕。(禮記、玉藻、博識、(説文)燕、或書作燕。(説文)燕、或書作燕。❺或は誘。(説文)燕、或書作燕。(説文)燕、或書作燕。(説文)燕、或書作燕

【爽】 19530
㊀ヘウ 集韻 牢道切 [illegible]
㊁ノウ 集韻 諾道切 [illegible]
㊂ヘウ 集韻 匹妙切 [illegible]
四セイ 集韻 桓西切 [illegible]
[illegible]
(説文・十四下・四) 輕く柔かい。(集韻)爽、輕脆也。(周禮、地官、草人)輕爽用大。(疏)爽、卲脆也。

【燥】 19531
エイ (字彙補)于平切 [illegible]
人名。(字彙補)燥、朱日燥、崑山人、萬曆中營樋司具外郎。

【熏】 19532
音未詳
金明七寶、法字典。

【熙】 19533
エン 集韻 奥、慢同。
熙(1・820)に同じ。(五音篇補)熙、奥、慢同。

【戰】 19534
ネツ 義未詳。(搜眞玉緯)戰、音熱。
(字彙補)戰、(搜眞玉緯)戰、音熱。

【爆】 19535
タウ 楽(8・29506)の古字。(字彙補)爆、(説文)見古老子。

【爆】 19536
㊀レイ 集韻 力制切 [illegible]
㊁レツ 集韻 力騂切 [illegible]
㊂レオ
火を消す。(集韻)爆、上火。㊁火が消える。(集韻)爆、火熱也。

【鬱】 19537
エイ 熨(7・19553)に同じ。(集韻)熨、或作鬱。

【乾】 19538
ヤク (玉篇)以灼切 [illegible]
火の氣。(玉篇)乾、火氣也。

【爆】 19539
ボク モク (集韻)莫北切 [illegible]
火のさま。(集韻)爆、火皃。

【爆】 19540
㊀ホク (正字通)蒲木切 [illegible]
㊁ハウ 廣韻 正敎切 [illegible]
㊂ハク 集韻 弼角切 [illegible]
[illegible]
(説文・十四下・四) 火の粉が飛んで燒くこと。(廣韻)爆、火裂。●火のもえる音。(集韻)爆、一曰、火聲。●やく。(廣雅、釋詁二)爆、爇也。(玉篇)爆、灼也。(集韻)爆、爇也。(周禮、地官、鬼)爆、爇也。(注)爆、火烈也。●はじける。はぜる。火のために裂ける。(倭語類、二十、杭州佛月和尚)(合灰種有)一粒豆子、爆。●おちる。(玉篇)爆、落也。●爆音(4・14137)に通ず。(詩、大雅、桑柔、傳文)爆、本文作暴、同。●爆(7・19527)に同じ。(集韻)爆、迫、於火也。●かわかす。(倭語類、二十、杭州佛月和尚)(合灰種有)一粒豆子、爆。●はじける。はぜる。火のために裂ける。(倭語類、二十、杭州佛月和尚)(合灰種有)一粒豆子、爆。●おちる。(玉篇)爆、落也。●爆音(4・14137)に通ず。(詩、大雅、桑柔、傳文)爆、本文作暴、同。●爆(7・19527)に同じ。(集韻)爆、迫、於火也。●かわかす。(倭語類、二十、杭州佛月和尚)(合灰種有)一粒豆子、爆。●爆音(4・14137)に通ず。(詩、大雅、桑柔、傳文)爆、本文作暴、同。●爆(7・19527)に同じ。(集韻)爆、或从暴。㊁●火に近づく。(廣韻)、爆、迫、於火也。●熱する。(集韻)爆、火乾也、一曰、熱也、或作燥。
●爆音(7・19527)に同じ。(集韻)爆、或从暴。●爆音(7・19527)に同じ。(集韻)爆、或从暴。㊁●火に近づく。(廣韻)、爆、迫、於火也。●かわかす。(倭語類、二十、杭州佛月和尚)(合灰種有)一粒豆子、爆。●はじける。はぜる。火のために裂ける。(倭語類、二十、杭州佛月和尚)(合灰種有)一粒豆子、爆。●おちる。(玉篇)爆、落也。●爆音(4・14137)に通ず。(詩、大雅、桑柔、傳文)爆、本文作暴、同。●爆(7・19527)に同じ。(集韻)

で破壊する。〔爆裂弾〕…。〔爆裂弾〕…。物にあたって爆発するやつ。〔爆裂薬〕…。爆裂弾。爆薬。〔爆裂薬〕…。爆裂させる火薬。

熱 19541

□ゼツ（集韻・知若切）月 ネチ
□ネツ（集韻・正韻）ニ ネチ
□ゼイ（唐韻・正韻・知反切）月 ネイ
□ネツ

小 字 字通 字彙 字汇

□□●やく。もと熱に作る。〔正字通〕熱、本作熱。〔説文〕爇、燒也、从火執聲。〔方言〕、燒也。〔玉篇〕、明火。熱燒。〔方言〕、燒也。〔廣韻〕、氏〔注〕熱、或作爇。●熱（7－19131）に同じ。〔集韻〕熱、或作爇。●熱（7－19310）に誤り通ず。〔正字通〕熱、謂熱通作熱、不知熱熱と熱熱表別也。

〔熱客〕…。客の病の初から砂を焼って裏を自殺とする仙術を信ずる者をいう。〔稀譚錄〕、醫數、熱客、法駁說世以黃白之術、目說者名熱客。

〔熱毛〕…。たいまつを焼やす。〔任昉・齊・日光山記〕、低荒澤、則日夜、熱毛、記、爆聲、爲、專、說、熱。

〔熱機〕…。古、柏に焼つて傷る者を傷寒し、其の種を焼いて酒を絞すことを中注に云、機は樟、古、陰脂するものが柏に焼つて死若に相を豊を表とし、〔注〕、陳、陳公孫九鎖文、熱機以表、其全以、樟書以安、其反、鬱。

〔熱燒〕…。古、の鑑を灼つて木を燒いること。〔周禮・春官・菱氏〕、以明火、熱燒。〔注〕、杜子春〔注〕、燒、燒、明火燒、或曰、如、新機之燒、謂所、熱、灼、龜之木也。

〔熱燒〕…。やいること。〔詩・大雅・牛民〕、取蕭

爇 19542

ゼツ 熱（7－19541）の俗字。〔正字通〕、熱、俗熱字。

爇 19543

□リョ（集韻・宥切）魚
□ジョ（集韻・良韻切）魚

□□●やく。〔集韻〕、燒也。●山をやく。〔廣韻〕、火燒、山焚。●やまび、山がやける。又、其の火。〔集韻〕、山火曰。

爍 19544

□ラク（集韻・万表切）宕
□ジャク（集韻・新万表切）藥

□火のさま。〔集韻〕、火光。□火の盲。〔集韻〕、爍、火盲。

爍 19545

□セツ（集韻・子結切）屑
□ショク（集韻・新万切）職
□ジャク（集韻・子表切）藥

□□もえるこり。もえかす。〔集韻〕、燒、燒、〔集韻〕、燒、注詩、之燒。□もえるこり。〔集韻〕、燒、或曰、如、新機之燒、謂所、熱、灼、龜之木也。

〔爍燒〕…。やいること。〔詩・大雅・牛民〕、取蕭

地、或省、通作一蟹。

爐 19546

□アウ（集韻・於刀切）豪
□オウ（集韻・新刀切）豪

□□●あたためる。〔玉篇〕、爐、温也。●うづめやく。表（7－18985）に同じ。〔集韻〕、爐、也、或作表。●まるやきにする。獻を毛のままつつみ焼きにする。熟（7－18985）に通ず。〔集韻〕、爐、古曰、熟、毛炙、肉也、即今所謂燒也。●爐（7－19462）の誤字。〔正字通〕、爐、燒字之譌。□あぶる。とろ火で肉をやく。表（7－18985）に同じ。〔集韻〕表、說文、炮、肉、以微火、温、肉也、或作、爐。

爛 19548

□ラウ（集韻・洛晃切）
□ロウ（集韻・郎晃切）

□□あきらか。ひかり明るかこと。爛（5－14245）に同じ。〔玉篇〕、爛、光明。〔集韻〕、爛、明也、說文、从火、爛（1－1412）、爛（12－4794－3）に同じ。〔集韻〕、爛、寬明兒。〔集韻〕、爛、明兒、或作爛。爛（5－13892）に同じ。〔集韻〕、爛、說文、明也、或作、爛。〔漢書・揚雄傳上〕、北、爛、幽都。〔注〕、師古曰、爛、古光字。●火の光。〔廣韻〕、爛、又、火光。

〔爛爛〕…。寬、明かなさま。〔王延壽・魯靈光殿賦〕、爛爛以煌煌。〔注〕、臥龍曰、爛爛、猶明皆、寬明也。

〔爛朗〕…。寬、明かなさま。〔爛朗〕に同じ。〔寬

爛 19549

小 文新附 字通 字彙 字汇

□ヤク（集韻・祭各切）藥
□ラク（集韻・力角切）藥
□ロク（集韻・七約切）藥

□□●ひかる。かがやく。灼爍。光也、从火樂聲。〔詩・大雅・文王有聲〕、爍、〔詩・小雅・蓼蕭〕、爍、〔詩・大雅・文王有聲〕、爍、本又作、樂、或作、落。〔四火が飛ぶ。又、やく。〔論語・鄉黨〕、爍、〔注〕、爍、也、或作、爍。

〔爍金〕…。かねをとかす。金屬をとかす。〔周禮・考工記・總目・攝金之法〕、鳥、刮、爍、〔注〕、爍、猶、鑄、物、物、火不、銷、金、金不、成器、●人の目の閃るさま。〔古樂府・塘上行・蔡口雅

(19549・2)—(19566・14)
火部 (十五—十六畫) 爍爨爆爊爀爇爗爘爛爐爛爛爛

の異名（本草、蔡陰伯輝名）後多用。**爐底**。

爐條〔名〕〔ロ〕ストーブ用の鐵網。

爐頭〔名〕〔ロ〕ねんどりの意。家鴨・鷄・**爐**・時期種（第時期）・東都・云詩・爐頭・鎮・青林白玉・鎮・別時相・鎮・鎮・京師の發明・鎮・鎮の異稱・鎮・從來・鎮・鎮・鎮・鎮・見。

爐肉〔名〕〔ロ〕豚肉。

爐（爐）子〔名〕〔ロ〕各省の鹽商を總稱することを掌る。北京・天津・上海・漢口等の大商邸にある。高馬路・鎮・鎮・鎮・鎮

燔 19583 ハン（集韻）否袁切 元

❶ひもろぎ。祭肉。宗廟に供へる火熟の肉。（說文）燔、宗廟火熟肉、天子所以召諸侯以燔炙番釁、春秋傳曰、天子有事膰焉。❷膰（9―25883）、燔（7―19426）に同じ。（說文）燔、段注：今世經傳多作膰、惟詩書作燔。（集韻）燔、或从肉。（左氏、襄二十二、與、釁膰焉、釋文）燔、本又作膰、祭肉也。

爐 19584 ロウ（玉篇）各回切 東 カメ゛ㄨㄥˋ lu4

❶火のさま。（玉篇）爐、火兒。❷則火を焚く。（爐爐子）：（玉篇）、（ストーブ）を焚く。

爆 19585 ゲツ 葉 古作 𤇾。（集韻）葉8―15170の古字。（集韻）

爆 19586 スイ 韓安國傳、黃（漢書）牧馬（注）師古曰、爆、古焚字。

爆 19587 レン（集韻）力延切 霰

燃える。俗か燃える。（集韻）爆、小然謂之爆。

爆 19588 ハウ ヘウ（集韻）匹校切 効

火で裂く。爆（7―19540）に同じ。（集韻）爆、火裂。（康熙字典）爆、同爆。

爆 19589 ヤク（集韻）式灼切 藥

あふぐ。爆（12―48983）に同じ。（集韻）爆、仰也、或从肉。

難 19590 エウ 曜（6―14227）の古字。（字彙補）難、古文曜字。

爍 19591 フツ 熛（7―19135）に同じ。（集韻）爍、或省。

爍 19592 フツ フチ（字彙補）敷勿切 物

爆竹は、火のさま。（字彙補）爆、爆竹、火兒。（康熙）爆（7―19591）に同じ。

爆 19593 ヤク 義未詳。（字彙補）爆、義未詳、太上老君傳有爆、爆、爆二字、皆音藥。

爆 19594 タイ（字彙補）天來切 灰

ほこり。（字彙補）爆、塵也、石鼓文、種趙爆爆。

爆 19595 ハク 義未詳。（五音韻海）爆、音博。

爆 19596 クン（字彙）呼濃切 冬

火で物をかわかす。爆（7―19600）の俗字。（字彙）爆、火乾物也。（正字通）爆、俗爆字。

爆 19597 ラン（精海）盧郎切 陽

❶黃色に焦げる。（精海）爆、黃焦也。❷爆（7―19453）の誤字。（康熙字典）爆、按、爆當爲、爆字之誤。❸爆（7―19434）の俗字。（正字通）爆、俗爆字。

十七畫

爆 19598 レン 燐（7―19595）の誤字。（康熙字典）爆、燐字之誤。

爆 19599 キ（集韻）香義切 寘

やく。（集韻）爆、燒也。

爆 19600 アウ 燥（7―19487）の誤字。（字彙）燥、燥字之誤。

爆 19601 ジャウ ニャウ（集韻）女陳切 眞

爆 19602 レン 爆（7―19585）に同じ。（中華大字典）爆、按、康熙、集韻並作爆。

火。（集韻）爆、火也。

爆 19603 ヤク（集韻）式灼切 藥 ㄕㄨㄛˋ yuè

日ヤク（集韻）式灼切 藥 ㄕㄨㄛˋ yuè

回ヤク（集韻）式灼切 藥 ㄕㄨㄛˋ yuè

❶やく。（說文）爆、一曰、赫也。❷光、光のさま。（說文）爆、火光也。从火翟聲。段注：光、各本譌青、今依今選琴賦、景福殿賦注、玄應青卷九、正、（玉篇）爆、光也。（集韻）爆、燒爆、光兒。❸いなびかり。（玉篇）爆、光也。（集韻）爆、燒爆、電光也。❹ひかる。かがやく。（何晏、景福殿賦、光明爆爆、文彩璘斑。）班固、字指曰、爆爆、電光也。❺散る。とける。消え散る。（漢書、王莽傳、（地理志）、（說文通訓定聲）爆、段借爲、爍。（莊子、駢拇）外立其德、而以爆爆乎、（郭象、注、爆爆、光兒。）（釋文）爆爆、光明貌。（崔云、散也。）❻物のさま。爆爆（之）を見よ。❼或は爆（7―19520）に作る。（集韻）爆、或作爆。❽爆（7―19520）に通ず。（康熙正）爆、與爆通。

（爆輝）：：（爆爆、爆輝、（呂覽、明智）、今大倫、輝若、（高誘、注）、明、見也、（淮南子、原道）、（注）、明、見也、（集韻）：：

（爆爆）：：❶電光の明るさ（注）、西日、（漢書、王莽傳、（地理志）、（說文通訓定聲）、（說文通訓定聲）、（說文通訓定聲

史楊惲書而爛工僅舉本者。皆外立見圖而以爛。況天下書也。法之所無。用也。〔禪文〕爛。崔瑗。敬也。

爛 小 19604

①ラン 〔集韻〕郎切 ラン

②ラン 〔字彙〕難閑切 ラン

①だれる ⑦やけどする。火に燗して皮肉がやぶれる。〔左氏、定、二〕郤子自投于林。磨于爛炭。爛。燔。〔說山訓〕爛炊生糜。〔注〕爛。腐。㋐熟と過ぎる。煮え過ぎる。〔呂覽、本味〕熟而不爛。〔注〕爛。失飪也。㋑傷つき破れる。〔蜀志、常播傳〕而傷刖爛。〔注〕爛。〔南齊書、張敬兒傳〕爛。南齊書。**②ただれる。**

ただらす。ただらかす。〔孟子、盡心下〕慢。爛其民而戰之。**③ただれ。くされた。**

此紙辛脆于敗爛之中。**④あきらか。あざやか。**⑦あきらか。はっきりする。光明。〔呂覽、本味〕爛。明也。〔詩、鄘風、女曰雞鳴〕明星有爛。〔毛傳〕爛。光貌。〔昭明文木、吳、〔注〕爛。光貌。㋑はなやかな。鮮明なさま。〔詩、唐風、葛生〕錦衾爛兮。〔集傳〕衾爛。華美鮮明之被。**⑤**爛。もと〔爛〕(→19623)に作る。〔玉篇〕爛。說文作〔爛〕。〔大戰也〕從火爛聲。〔段注〕樣作〔爛〕。〔方言、七〕爛。熱也。〔又〕爛。熱也。**⑥**爛。〔詩、大雅、板〕爛。〔毛傳〕爛。熱也。〔又〕爛。〔詩、大雅、板〕爛。〔毛傳〕爛。爛然。鮮明。〔注箋多之〕爛。〔禮、檀弓下〕美哉奐焉。〔釋文〕

①ラン 〔集韻〕郎切 ラン

①だれる ⑦やけどする。火に燗して皮肉がやぶれる。〔左氏、定、二〕郤子自投于林。磨于爛炭。爛。燔。〔說山訓〕爛炊生糜。〔注〕爛。腐。㋐熟と過ぎる。煮え過ぎる。〔呂覽、本味〕熟而不爛。〔注〕爛。失飪也。㋑傷つき破れる。〔蜀志、常播傳〕而傷刖爛。〔注〕爛。〔南齊書、張敬兒傳〕爛。南齊書。**②ただれる。**

ただらす。ただらかす。〔孟子、盡心下〕慢。爛其民而戰之。**③ただれ。くされた。**

此紙辛脆于敗爛之中。**④あきらか。あざやか。**⑦あきらか。はっきりする。光明。〔呂覽、本味〕爛。明也。〔詩、鄘風、女曰雞鳴〕明星有爛。〔毛傳〕爛。光貌。〔昭明文木、吳、〔注〕爛。光貌。㋑はなやかな。鮮明なさま。〔詩、唐風、葛生〕錦衾爛兮。〔集傳〕衾爛。華美鮮明之被。**⑤**爛。もと〔爛〕(→19623)に作る。〔玉篇〕爛。說文作〔爛〕。〔大戰也〕從火爛聲。〔段注〕樣作〔爛〕。〔方言、七〕爛。熱也。**⑥**爛。〔詩、大雅、板〕爛。〔毛傳〕爛。爛然。鮮明。〔注箋多之〕爛。〔禮、檀弓下〕美哉奐焉。〔釋文〕

②ラン 〔字彙〕難閑切 ラン

①[illegible]。**②**[illegible]。**③**[illegible]。**④**[illegible]。**⑤**[illegible]。**⑥**[illegible]。**⑦**[illegible]。**⑧**[illegible]。**⑨**[illegible]。**⑩**[illegible]。**⑪**[illegible]。**⑫**[illegible]。**⑬**[illegible]。**⑭**[illegible]。**⑮**[illegible]。**⑯**[illegible]。**⑰**[illegible]。**⑱**[illegible]。**⑲**[illegible]。**⑳**[illegible]。**㉑**[illegible]。**㉒**[illegible]。**㉓**[illegible]。**㉔**[illegible]。**㉕**[illegible]。**㉖**[illegible]。**㉗**[illegible]。**㉘**[illegible]。**㉙**[illegible]。**㉚**[illegible]。**㉛**[illegible]。**㉜**[illegible]。**㉝**[illegible]。**㉞**[illegible]。**㉟**[illegible]。**㊱**[illegible]。**㊲**[illegible]。**㊳**[illegible]。**㊴**[illegible]。**㊵**[illegible]。**㊶**[illegible]。**㊷**[illegible]。**㊸**[illegible]。**㊹**[illegible]。**㊺**[illegible]。**㊻**[illegible]。**㊼**[illegible]。**㊽**[illegible]。**㊾**[illegible]。**㊿**[illegible]。

〔爛石〕ﾗﾝ　星の名。「ひきよせもの」（本草）馬光。
〔爛石草〕　馬矢蕩、練石草。（本草）馬光。
〔爛然〕ﾗﾝﾈﾝ　●明白。「はっきりとあきらかなさま」（史記）王世安賀天子書。「意思字義文辭爛然、甚可觀也」（漢書）王莽傳。
〔爛熟〕ﾗﾝｼｭｸ　●爛れ熟す。「ただれてくさる」（後漢書）馮魴伝。「爛熟有年」（注）同上。
〔爛漫〕ﾗﾝﾏﾝ　●散乱する。「ばらばらになる」（後漢書）馮魴伝。「爛漫有年」（注）同上。
〔爛糜〕ﾗﾝﾋﾞ　●ただれくさる。「ただれくさる」（後漢書）馮魴伝。「爛糜有年」（注）同上。
〔爛眼〕ﾗﾝｶﾞﾝ　●ただれた眼。「ただれた目」（後漢書）馮魴伝。「爛眼有年」（注）同上。
〔爛肉〕ﾗﾝﾆｸ　●ただれた肉。「ただれた肉」（後漢書）馮魴伝。「爛肉有年」（注）同上。
〔爛肉腐骨〕ﾗﾝﾆｸﾌｺﾂ　●ただれた肉と腐った骨。「ただれた肉と腐った骨」（後漢書）馮魴伝。「爛肉腐骨有年」（注）同上。
〔爛敗〕ﾗﾝﾊｲ　●ただれて敗れる。「腐敗」（後漢書）王充伝。「爛敗不能自全」（注）同上。
〔爛殺〕ﾗﾝｻﾂ　●ただれて死ぬ。「ただれて死ぬ」（後漢書）王充伝。「爛殺不能自全」（注）同上。
〔爛死〕ﾗﾝｼ　●ただれて死ぬ。「ただれて死ぬ」（後漢書）馮魴伝。「爛死有年」（注）同上。
〔爛目〕ﾗﾝﾓｸ　●ただれた目。「ただれた目」（後漢書）馮魴伝。「爛目有年」（注）同上。
〔爛目腐骨〕ﾗﾝﾓｸﾌｺﾂ　●ただれた目と腐った骨。「ただれた目と腐った骨」（後漢書）馮魴伝。「爛目腐骨有年」（注）同上。
〔爛目腐骨有年〕　●ただれた目と腐った骨。「ただれた目と腐った骨」（後漢書）馮魴伝。「爛目腐骨有年」（注）同上。
〔爛目有年〕　●ただれた目。「ただれた目」（後漢書）馮魴伝。「爛目有年」（注）同上。
〔爛目腐骨有年〕　●ただれた目と腐った骨。「ただれた目と腐った骨」（後漢書）馮魴伝。「爛目腐骨

【爝】19614 小 ジャク ショク 日セウ ショウ (集韻)節約切 藥 (集韻)子肖切 嘯

【爍】小 (集韻)式灼切 藥 日①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (集韻)子肖切 嘯

【爛】19615 (集韻)郎旦切 換 日①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (集韻)郎旦切 換

【爐】19616 (集韻)洛乎切 模 日①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (集韻)洛乎切 模

【爝】小 ショク 日セウ (集韻)節約切 藥 日①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (集韻)子肖切 嘯

【爛】19617 小 ラン 日ロウ (集韻)郎旦切 換 日①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (集韻)郎旦切 換

【爐】小 ロ 日①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ (集韻)洛乎切 模

【爝】19618 タウ (集韻)直教切 嘯

【爆】19619 ヘウ 日ヒウ (集韻)蒲交切 肴

【爆】19620 セイ (玉篇)補鳥切 (広韻)蒲鳥切 篠

【爆】19621 日タツ (集韻)五合切 月 日テツ (集韻)新刻切 屑 日タツ (集韻)昭達切 曷

【爆】19622 シャク 日ヒウ (集韻)蒲交切 肴

【爆】19623 ゼン 日ヒウ (集韻)蒲交切 肴

【爆】19624 ゼン 日ヒウ (集韻)蒲交切 肴

【爆】19625 ビ (集韻)匹交切 肴

火部 (十八画)―(十九画) 爛爐爝爝爆爆爆

定燄・曄・瞱借用。

【燮散】。くだけちる。燮碎・末生・粉末・粉散。

【燮敗】。敗而可止也。注『燮・碎也』

【燮滅】。やぶれほろぼされること。（敗・滅）

『荀子』「燮・亂・物之所惡・無不燮滅者。」

【爝】 19626　ショク　（集韻）式灼切　𤇾

燮7・19626）に同じ。（正字通）燮・雜・燮作。

【爆】 19627　ハク　（集韻）博木切　爆

燮7・19540）に同じ。（玉篇）爆・或从暴。

【燦】 19628　サン　（集韻）七亦切　燦

燮7・19106）に同じ。（集韻）燦・或作。

【爚】 19629　ケキ　（集韻）居月切　爚

義未詳。（五音集韻・海・韻・古歴）

【𤇾】 19630　カウ　（集韻）古見切　𤇾

耿8・19630）に同じ。（字彙）補・同・耿。

【𤇾】 19630　クワウ　（集韻）古見切　𤇾

光るさま。耿（6・13892）に同じ。（集韻）

耿・光兒・或作・耿。

二十一畫

【爨】 19632　ザウ　（集韻）徂亂切　爨

燮7・19340）の本字。（正字通）爨・俗本字。

【爛】 19633　ラン　（集韻）郎旦切　爛

燮7・19496）に同じ。（集韻）爛・或从爛。

【𤇾】 19634　ヒョク　（集韻）必益切　𤇾

燮7・19506）の異文。（正字通）𤇾・俗字。

【𤇾】 19635　ヒョク　（集韻）必益切　𤇾

燮7・19506）の異文。（中華大字典）𤇾・俗・𤇾文・見・說文。

【𤇾】 19636　ソク　（集韻）子狄切　𤇾

❶てらす。燭（6・14274）に同じ。（集韻）燭・照也・或作・燭。❷燮7・19480）に同じ。（正字通）燭・同・燭。

【燭燈】。てりかがやく。（班固『西都賦』若・燭・錦・布・燭・燈・傷・手其版。

【燭夜】。燈火のある部屋。（謝莊『月賦』）

【燭明】。月光。

【燭夜】。燈の異稱・燭夜に同じ。（韓非・解老）

【燭龍】。崑山の神。（淮南子・墬形訓）『日月朝・解・燭・夕・入・』（楚辭・天問）『崑山』（王逸・注）『燭龍・崑山神也。』

【爆】 19637　ヤク　（集韻）で杓切　爆

❶夏の祭。酌（8－24632）に同じ。（集韻）酌・說文・夏祭也・或作・爆・爆・赤从・火。❷燮7・19603）に同じ。（謝會・爆・赤作・爆。

【爆】 19638　キ　（海韻）古希　爆

火（海韻）爆・火也。

【𤇾】 19639　シャク　（集韻）蒲木切　𤇾

燮7・19614）の本字。（字彙）𤇾・俗字。

二十二畫

【𤇾】 19640　ソン　（集韻）蘇奔切　𤇾

𤇾𤇾は、鼎の沸かうとするさま。（集韻）

𤇾𤇾・事欲・沸皃。

【𤇾】 19641　サン　（集韻）蘇奔切　𤇾

燮7・19648）に同じ。（字彙）補・與・𤇾同。

【𤇾】 19642　セン　（集韻）義未詳（川韻）𤇾・先踐切。

二十三畫

【𤇾】 19643　チツ　（集韻）陳栗切　𤇾

𤇾の中の煙。（集韻）𤇾・𤇾中煙。

二十四畫

【𤇾】 19644　レイ　（集韻）郎計切　𤇾

火の光。燐（7・19483）に同じ。（集韻）燐・火光也・或从𤇾。

【𤇾】 19645　セウ　（集韻）子小切　𤇾

焦7・19119）に同じ。（集韻）焦・通𤇾・同。

【𤇾】 19646　セウ　（集韻）子小切　𤇾

焦7・19119）に同じ。（集韻）𤇾・或省。

【𤇾】 19647　スイ　（集韻）徒合切　𤇾

燮7・19489）に同じ。（集韻）𤇾・或作・𤇾・通作・𤇾。

二十五畫

【𤇾】 19648　①サン　（集韻）蘇亂切　𤇾

②セン　（集韻）七亂切　𤇾

③セン　（集韻）取相切　𤇾

【𤇾】（𤇾）ト　𤇾　ちゾ　Tsuo

①②③かしぐ。紙をた通𤇾・本作・𤇾。（說文）𤇾・𤇾・朗象・持・瓶・二・鳥・瓶口・井・推・林内・火・二段

汁〕各本誤下衍之字今正、云云、鍋、中似紙、曰持之、林、柴也、〔集雅、釋言〕爨、炊也。〔孟子、滕文公上〕爨、〔玉篇〕爨、炊也。〔詩、小雅、楚茨〕祝、爨祖祖、〔傳〕爨、饗食也。〔周禮、天官、亨人〕職、外內饔、爨、〔注〕爨、今之竈、〔注〕於其竈、爨、物、❹火の上、火を焚いたかまを上、〔後漢、十四卷、注〕爨、炊也。❺はかる、甘辛の味を調和する鹽、〔禮記、樂記〕爨、〔注〕、終度甘辛、調和之味、❻大代には行はれた演劇の一種、その諸義については諸説あるも、恐らく頗る筋のもので、問題的に上演せられたと推定される、陳旭爨等の題名が殘つてゐる、〔武林舊事、二、雜劇〕吳師賢以下、數、書、聖后宮爨、斷、送風爨、爨、〔輯錄、院本名目〕、國朝元本雜劇結構、爨、〔院本目五人、曰、調笑、古調、〔古調〕之等、二、曰、調、古調、之資、〔鮑、能擊、爨鳥、木可打、調淳、故云、一、曰、爨、一、曰、家、虎、二、曰、孤裝、又謂之五花爨、或曰、宋、裝、宋、卿如、宋、爨、裝、宋、卿、〔宋、裝、〕、〔注〕、爨、〔注〕、爨、〔注〕、爨

爪

19653

小 爪 ㊀ 鳥獸のもの。又 (2・3116)。(説文)爪、覆手爪也。(玉篇)爪、手足爪。(廣韻)爪、指爪。(集韻)爪、手足爪。(類篇)爪、指爪。(集韻)爪、手足爪。(説文)爪、覆手爪也。(玉篇)爪、手足爪。(廣韻)爪、指爪。(集韻)爪、手足爪。(類篇)爪、指爪。(集韻)爪、手足爪。

日ヤウ (集韻)側狡切 ショウ sǎo

ヨウ (集韻)臣鉉切 ジョウ zhǎo

ヨウ (集韻)臣鉉切 ジョウ zhǎo

爪 ㊀ 手足の指先に生ずるもの。爪甲。(説文)爪、覆手爪也。(玉篇)爪、手足爪。(廣韻)爪、指爪。(集韻)爪、手足爪。(類篇)爪、指爪。(集韻)爪、手足爪

轉じて、排斥・誅罰する。〔十佐日記〕つまは爪長をしてねる。

〔爪長〕ツメ ナガ 爪取りを十として稻場をして居る者。

〔爪枝〕ツメエダ 先端に指の爪に似た小さい形のくに用いる。〔本草〕「手のごとくないて作なりと雖物質の殊なり、故用・細宜・柱・如意者、去之爪枝、或骨有毒、慎手不到、用以能攪、如人之爪髮。」〔字彙〕つめとかみ。〔例子、天瑞〕皮膚爪髮。

〔爪鏡〕ツメカガミ 爪印(8)に同じ。

〔爪判〕ツメ ハン 爪印(8)に同じ。

〔爪木〕ツマ キ 爪先で折り取つた木の義。たきぎ。

〔爪蔡集〕ツメ ツ 爪先で折り取つた木の義。たきぎ。

〔爪髮〕ツメ ハツ つめとつばき。〔日本外史、德川氏記、德川氏〕「鎮・鎮馬之有五爪髮也、愛其爪髮」

〔爪馬〕ツメ ウマ 爪(2)に同じ。

〔爪毛〕ツメ ケ 爪先に植ゑる毛。爪髮也。愛其爪髮。

〔爪牙〕ツメ キバ 1 ぎる。武・敵。今人稱武勇之士爪牙。〔書、說命下〕「惟爾股肱・爪牙・惟予之腹心・惟爾股肱・爪牙・惟予之腹心。」〔詩、大雅、大明〕「爪牙爪牙、爪牙之士。」〔論語、季氏〕「爪牙爪牙、爪牙之士。」〔論語、季氏〕「爪牙爪牙、爪牙之士。」〔論語、季氏

書)編錄精緻、不足觀擇。 整理する。爬梳。「固爬梳」。 かきけづる。 整理する。爬梳。「固手爬梳」。 手でかきけづる。 墻にはりをする。 爬城 はつ。 城壁によりたる。 爬墻 はつ。 墻にはりたる。 爬城 はつ。 城壁によりたる。 爬手 はつ。 手を接く。 爬樹 はつ。 樹に上る。 爬梳 はつ。 かきけづる。 整理する。 爬痒 はつ。 痒を搔く。 爬蟲 はつ。 爬虫。 爬蟲類 はつ。 爬虫類。 爬蟲類 はつ。 爬虫類。 爬蟲類 はつ。 爬虫類

子、解紱以[illegible]爭、而不危辱國」者、[illegible]百乱及、今、未審有之也。〔史記〕[illegible]侯傳〕今欲[illegible]、[illegible]天下、皆非[illegible]。〔漢書〕張安世傳〕至位以爭、爭權、後[illegible]。〔文選〕[illegible]

爭權　あらそいふことより、爭権を、いう。剽の[illegible]四講讀爭相彼報、〔上〕爭語、讀音相、報復也。[illegible]爭語、爭相報怨而繁[illegible]也。一曰、爭語、謂交相譖毀也。

〔爭上〕[illegible]　爭角を、いう。剽の[illegible]の語。爭角[illegible]。

〔爭功〕[illegible]　[illegible]。

〔爭國〕[illegible]　くにをあらそふ。〔左氏、昭二十四傳〕「[illegible]子、[illegible]、[illegible]、爭國、[illegible]」

〔爭〕[illegible]　爭角を、いう。

〔爭〕[illegible]　爭角を、いう。

〔爭〕[illegible]　爭角を、いう。

〔爭〕[illegible]　[illegible]。

〔爭〕[illegible]　爭角を、いう。

〔爭〕[illegible]　爭角を、いう。

〔爭〕[illegible]　[illegible]。

〔爭〕[illegible]　[illegible]。

〔爭〕[illegible]　[illegible]

【爭點】[illegible] あらそうの要點。新公の中心點。【爭田】[illegible] 田地をあらそふ。〔書書〕蔡仲狩傳 [illegible]。【爭鬬】[illegible] 鬬はあらそふ。〔書書〕蔡仲狩傳 [illegible]。【爭鬼】[illegible] 鬼はあらそふたたかふ。〔韓非子〕解老。【爭鬼神】[illegible] 鬼神を爭ふ。〔論衡〕感虛篇。【爭歌】[illegible] 歌はあらそふ。〔後漢書〕竇憲紀。【爭相驅逐爭鬬】〔論衡〕感虛篇。【爭地】[illegible] 土地の境界を爭ふ。【爭地界】〔後漢書〕[illegible]。【爭肉】[illegible] 肉を取りうとあらそふ。〔北史〕長孫晟傳「有二鵰鶻飛而爭之者」注、鶻、鷹の屬。【爭肉】[illegible] 肉はあらそふ。〔北史〕長孫晟傳「有二鵰鶻飛而爭之者」注、鶻、鷹の屬。【爭年】[illegible] 年齡の多少をあらそふ。〔韓非子〕外儲說、左上「鄭人有相與爭年者、其一人曰、堯與汝孰賢乎、曰、堯之賢桀也、其一人曰、堯之賢桀也、若堯之賢桀也、決、以後者爲勝、其人曰、堯生載、堯生載、堯生載、堯與桀同」。【爭民】[illegible] 民をあらそひのこる。〔李商隱雜纂〕[illegible]。【爭門】[illegible] 門はあらそふ。〔後漢書〕袁紹傳「紹、與公孫瓚相攻、[illegible]、紹、[illegible]、瓚、[illegible]、[illegible]、[illegible]

爪 部 〔五畫〕采受爰爬爭爰

五畫

采 19667
フ
字彙 采ケ7－13568 の古文。字彙・字彙補・字相似〔采・古字字・采・古保字〕。

受 19668
タウ トウ 廣韻都導切
姓〔萬姓統譜〕受、見「直斉」「文見」「十姓編」。

爰 19669
レツ レチ 集韻龍獲切
つまむ。物をつまみ取る。〔説文〕
新附 爰、撮也。从爪从𠂤。〔注〕臣鉉等曰、「已」指事物也。又爪、撮取之、指事。爰、二つの手を上下から向け合せた形。「𠂤」物を「爪」で取る意を表わす。字解を見よ。
字彙 段玉裁は、徐鍇本に従って、小篆を末に改め、从𠂤之聲とする。爰（7－13568）を見よ。

爬 19670
ハウ ベウ 字彙・字彙補 切
女爪 ｐａｏ
爭 19671
ソウ 集韻・類篇・字彙・字彙補 切

爭 19671
ソウ 集韻・類篇・字彙・字彙補 切

爰 19672
ヨン エン 集韻・于元切
援 ｙｕａｎ
●ここに。發語の助辭。④手（一・一・一・一）。
傳説 説文 「爰」「爰」「爰」

(19672・1)―(19684)　爪部（五―七畫）　受 爬 爭 爸 爲 爲 爲

【爲】 19686

日本 (集韻平虞切) 國
日本 (集韻平虞切) 國

古 ❶(象手牽象鼻之形。)(甲骨文)(金文)(篆文)(隸書)(楷書)(行書)(草書)(簡化字)

しらへる。(説文解字)(玉篇)(廣韻)(集韻)(類篇)(韻會)(正韻)(字彙)(字彙補)(康熙字典)(字通)(字鑑)(字説)(字源)(字類)(字説)(字説)(字説

五帝德篇曰、夫寬而剛柔、友而以義、先生難言之。又四代篇、公孫龍子堅白篇、竹子、無以爲也。●體、曾子問、注、無用爲（死）。●爲、是助語。●爲（8－3223）通字。（段文通測定聲）爲（段借爲嬀）（論語、述而、不知其爲人也）

常」[illegible]　あたりまへの事となる。「左氏、昭十六」轉、因。是以爲、習慣爲。能無、軍手、遇行、勇。」[illegible]　大となる。●[illegible]とする。第一とする。「通俗編、交際」[illegible]　周禮、中日昃而市、百姓爲主、朝時而市、商爲主、主、日昃而市、農爲主、夕時而市、百姓爲主、朝市、朝時而市、商爲主、主、日昃者、按、今凡遷一事立一説、皆云以、何爲主。

[illegible]　[illegible]　[illegible]　

【鷄替平衡貢金制度】[illegible]。資本逃避。鷄替投機など正常な運政引以外の原因に本邦の鷄替動動を阻止し、且、通貨の統制を鷄替目的で設定せられた特別勘定制度、政府はこれ鷄替を實行せしめ、以て鷄替相場の調節を行はる。

【鷄體】[illegible]。[illegible]。ありまゝ。ありゆき。[illegible]た事。[illegible]が今の鷄體。「外家物語」七・木本鷄體書

【鷄鳳】[illegible]。利の二段。

【鷄鳳】[illegible]。仲間。同じ。[illegible]。[illegible]。未し信。信賴。[illegible]大惡。「鷄鳴」。[illegible]。時太宰大武[illegible]演[illegible]。[illegible]。[illegible]。義朝[illegible]。

【鷄道】[illegible]。●道案内を、[illegible]。●[illegible]。[illegible]。[illegible]。

19691 𤼈 アイ 補 𤼈同。見「𤼈」先生。

19692 𤼈 ラ 義未詳。（𤼈寅生綾）𤼈、力果切。

19693 𤼈 フク 幅 6－24738）に同じ。（𤼈𤼈手鑑）𤼈、同。

19694 𤼈 フン 義未詳。（𤼈𤼈手鑑）𤼈、吾字。

19695 𤼈 サク 通 𤼈、俗拯字。

19696 𤼈 ハク ボク （集韻）（演韻）切 𤼈 姓。（廣韻）𤼈、姓也。出、姓苑。

19697 𤼈 アイ 補 𤼈、古文愛字。

19698 𤼈 ゴ 21A 一二に同じ。（字彙補）

19699 𤼈 ハク 𤼈 6－13043）に同じ。（字彙補）𤼈、與、𤼈同。

19700 𤼈 サク 𤼈 海 𤼈、與、𤼈同。

19701 𤼈 ジ 𤼈（10－38671）の古字。（集韻）𤼈、古作、𤼈。

19702 𤼈 クワク 𤼈 6－13043）に同じ。（字彙補）𤼈、與、𤼈同。

19703 𤼈 クワク 𤼈（7－19703）に同じ。（篇海類編）𤼈、同、𤼈。

19704 𤼈 レン 𤼈（10－35943）の古字。（字彙補）𤼈、古文𤼈字。

19705 𤼈 レキ ニヤク （類篇）（跋韻）鴻 えらぶ。爪で物を搾ぶ。（類篇）歴、以、爪搾物。

19706 𤼈 サツ 殺 8－16636）の古字。（玉篇）𤼈、古文字。

19707 𤼈 ニヤウ 𤼈 6－35157）の篇文。（字彙補）𤼈、篇文。

19708 𤼈 トウ （集韻）（切）刀切 𤼈 **古の器。**（國語 8－29699）、與（9－30258）に同じ。（集韻）𤼈、說文、古器也、从曲省聲。

19709 𤼈 シ 補 𤼈、古文字。 ●司（8－32577）の古字。（字彙 7－1）の篇文。（集韻）（韻）篇 𤼈、同。 ●𤼈（10－32577）の篇文。（集韻）（韻）篇 𤼈、同。

19710 𤼈 タウ 義未詳。（搜眞玉鑑）𤼈、音當。

19711 爵 シヤク 𤼈（7－19711）に同じ。

19711 爵 小 無 古 ●さかづき。もと觀に作る。象形。爵（爵）の形に似た器酒を盛る器。金や木で作る。（說文）觀、禮器也。象爵之形。中有、巡酒入持之也。所以飲器。爵者、取其鳴節足足也。爵、爵、爵、

省。〈孟子、離婁上〉「爵政」爵政（爵名側也。〈集注〉爵、與雀同。❹古論爵・爵（6―1538）0・爵（8―1775）・爵（18―4566）に作る。〈説文〉爵、鬯器。古文爵如此。象形。〈集韻〉爵、古作爵。爵、鬷作爵。〈康熙字典〉爵、爵。

爵（爵）[名]　爵。〈説文〉爵、鬯器。象爵之形。爵、爵、爵、

紀・未・及・鄉・士・而・重・魚・逢・鳴。〔孔子家語・觀周〕生二周日、信聲・積功累・行、以有鄉・士。

【鄉等】同日に信聲・積功累・行、以有鄉・士。〔周禮・春官・家人〕

鄉に似て異なるから鄉には遠くの出た材・形・材・根・狀・出・人・日・鄉・鄉・形・鄉・鄉・出・尾・鄉・高・士・鄉・鄉・聯・愛・金・鄉・鄉・鄉

【𡢁】19713 ㄅㄧㄥ　（篇海）音義未詳。（篇海）𡢁，音義未詳。

【𡢁】19714 音義未詳。（字彙補）疑音未詳。

十六畫

さからふ。要素できへる。（篇海）𡢁、音也。

【𡢁】19715 ㄊㄧㄥ　（字彙補）疑音未詳。

【𡢁】19716 音義未詳。（篇海）𡢁、同上。

十七畫

【𡢁】19717 ㄅㄧㄥ　義未詳。（篇海）音義未詳。

【𡢁】19718 ㄅㄧㄥ　（字彙補）疑音未詳。

十九畫

【𡢁】19719 ㄅㄧㄥ　義未詳。（篇海）𡢁、音義未詳。

二十畫

【𡢁】19720 ㄅㄧㄥ　（篇海）音義未詳。（篇海）𡢁、音義未詳。

みだれる。（篇1　214）に同じ。（篇海）𡢁、不一理也。

父部

【父】19721 フ　（集韻）奉甫切　虞　ㄈㄨˋ　（廣韻）奉甫切　虞　ㄈㄨˋ

●ちち。てて。もとゐに作る。（正字通）父、「家作」字。④男性の稱。

家の長として、子弟普斂を教導保護する人。ちちおや。をとこおや。（說文）父、矩也。家長教者。从ニ又舉杖。（白虎通）父者、矩也。教長子弟。（禮記）父母命。（後漢書）高柴、魯人。（論語）父母在。（孟子）父母之喪。（荀子）父子。（孟子）父子有親。（禮記）父子之道。（孟子）父子之間。（孟子）父子有親。（禮記）父子之道。（孟子）父子有親。（禮記）父子之道。（孟子）父子有親。（禮記）父子之道

の父の敬稱。孝。
【父兮】…。父よ。兮は助辭。『詩・小雅・蓼莪』
父兮生我、母兮鞠我。【鄭箋】父母、皆我之親。
【父兮生我、母兮鞠我】…。父は我を生んでくれ、母は我を育てた。『詩・小雅・蓼莪』
【父兄】…。父兄。『論語』子罕「出則事公卿、入則孝父兄」『孟子』盡心下「親親、仁也。敬長、義也。無他、達之天下也。堯舜之道、孝弟而已矣。」『後漢書』「父兄」
【父子】…。父と子。『易』序卦「有父子、然後有夫婦。有夫婦、然後有君臣。有君臣、然後有上下。有上下、然後禮儀有所措。」『後漢書』「父子」
【父子之親】…。父と子の親。『孟子』滕文公上「人之所以異於禽獸者、幾希。庶人去之、君子存之。舜明於庶物、察於人倫、由仁義行、非行仁義者也。」『後漢書』「父子之親」
【父子之親、孝敬爲大】…。父子の親は、孝敬を大とする。『後漢書』「父子之親、孝敬爲大」
【父子之親、孝敬爲大、君臣之義、嚴而有別、故聖人以尊尊之義、加於親親之上、以臣事君、以子事父、其一也。故曰、事君、孝也。事父、孝也。其一也。』『後漢書』「父子之親、孝敬爲大、君臣之義、嚴而有別、故聖人以尊尊之義、加於親親之上、以臣事君、以子事父、其一也。故曰、事君、孝也。事父、孝也。其一也。

太祖壯而神之。

【父冢】弗與共戴天。子たる者は父の仇敵と共に此の世に戴かない。子は父の仇敵を殺す。「父冢」は「父の仇敵」。「父冢」は「父の仇敵」。「父冢」は「父の仇敵」

進めないので、徐で説く道理はない（不也、文天祥傳）。不知相接時、顧立二王（壺関・広王）、意何如焉。天祥曰、立者以存宗社、在一日、則盡臣子一日之職焉。曰、若二王不幸、則如之何。曰、既知其不可為、而為之、天祥曰、父母有疾、雖不可為、無不下藥之理、盡吾心焉、不可為、而不下藥之理、盡吾心焉、不可為、無不下藥之理、盡吾心焉、不可為、何必多言。

「父の命令。」●父の命令。稱父命。●父の命令を稱して使役する。

「稱父命」[illegible]　父の命令を稱して使役する。

「父命」[illegible]　父の命令。（黒要集、世）ちちのみのちちの命令。

「父命」[illegible]　父の命令を稱して使役する場合をいう。（呂覽・下賢傳・時君）南陽樂璵、鴈郡中正、頴川陳紀、汝南許訓、譙伯各稱父命、不就。

「父老」[illegible]　一村一郷のおもだった老者。有徳の老人。（公羊・宣十五年・行帰禮作矣、注）謂其長者高德者名曰父老。（管子、輕重戊）父老相與而論曰、（呂覽・高誘紀・下）高誘人の敬稱。長者。（史記・馮唐傳・開・唐曰）父老之何以爵之。（漢書・馮唐傳・開・唐曰）父老之父或讀之父老。

「父老」[illegible]　父を集めて同輩にする。（呂覽・慎大・覽）父老、無所恃無母何恃。

「父老何恃無母何恃」[illegible]　父母無所恃たのむべき者無きをいふ。父母を恃持といふは、共に本づく。（詩・小雅、蓼莪）無父何怙、無母何恃。

「父世賦」[illegible]　父世賦は父世代賦。（史記、秦始皇本紀・論）父世代賦、第元也。

「父子」[illegible]　父が父としての道を果さない。（論語・魯・哀公問、政於孔子、孔子對曰、君君、臣臣、父父、子子。）君臣有義、若不君、臣不臣、父不父、子不子、雖有粟、吾豈得而食諸。（荀子、子道）父既相子、則子不子。父既相子、則子子。（荀子、子道）子不子、雖有粟、吾豈得而食諸。（荀子、子道）

「父師」[illegible]　師父。（呂覽・仲春紀・上）父師、太師。（注）孟子曰、王、謂父師、太師

父部（五 十畫）姐 笭 爹 爺 爺 爸 爹 爺 爺 爸 爹 爺 爺 爸

十二畫

【𤔲】 19736 ㄅㄧㄥˋ 一曰宜鑄器者。從金。𤔲聲。

ひく 一説鑄器者。𤔲、糸也。

爻部

【爻】 19737 ㄧㄠˊ yáo

（集韻）胡茅切 爻

（集韻）直爪切 爪

（集韻）後教切 效

解字 指事。象爻之形。爻、爻也。爻、爻也。爻、爻也

五畫

【校】19740　カウ　(集韻)何交切　匣

すすむ。(集韻)校、拘也。

【竹】19741　チヨ　(集韻)王芻切　圖

進むさま。(集韻)竹、進兒。

六畫

【延】19742　ショ　(集韻)山於切　鹿

①とほる。遷する。(說文)延、延也。②延、通也。(玉篇)延、達也。③とほい。(集韻)延、一曰、遠也。④或は疎(7・22002)・疎(7・22002)・竹(7・19744)に作る。(集韻)延、或作・竹。疏・疏。●姓。(集韻)延、赤姓。

解字　會意形聲。爻(刻文の象形)と彳(足)とを合はせて遠く進む意を表はし、且、正は聲を兼ねる。字解を見よ。

【妥】19745　カウ　(集韻)所甫切　麌　アメ　huo

妥の俗字(20・2624)に同じ。(集韻)

七畫

【爽】19746　①ショウ　②サウ　(字書)師耿切　圖

爽 小篆　爽 文

①②③あきらか。④あきらか。⑤あきらかさまえる。(說文)爽、明也。从爻大。(段玉裁注)爽、明也。(玉篇)爽、明也。(廣韻)爽、明也。早旦。(大)高く明るい。(左氏、昭・三)夷・諸・爽堆者。(注)爽、明

なさまで。南史、文學、何子朗傳、子朗、字世明、早有子思風儁除等、與蔡、脫、玄精理、云云、世之師表。

〔爽約〕ソウヤク shuang yue (名) 愈快の。心地よい。爽快の意。

〔爽然〕ソウネン shuang ran (形) ●わかやかなさま。爽快なさま。●爽然自失、●爽然若失、●爽然若有所失、●爽然若有所亡、●爽然若有所喪、●爽然若有所忘、●爽然若有所思、●爽然若有所待、●爽然若有所期、●爽然若有所求、●爽然若有所得、●爽然若有所見、●爽然若有所聞、●爽然若有所知、●爽然若有所覚、●爽然若有所感、●爽然若有所動、●爽然若有所悲、●爽然若有所怒、●爽然若有所喜、●爽然若有所楽、●爽然若有所憂

甘誓篇「閷作」其。❺しかく。かくのごとし。「之」の字の略。「經傳閷詞、七閷、猶如此也、雜記曰、宦於大夫者之路之服也、自言管仲、始出、有「者命」焉閷也、焉猶「於」也、閷猶「如」也、「有」者命、焉閷也、焉猶「於」也、孟子告子篇曰、富歲子弟多賴、凶歲子弟多暴、非天之降才爾殊、才爾殊、乃其所以陷溺其心者然也、凡後人言閷、乃閷、閷、猶如此也、閷猶「如」也、閷猶「如」也、閷猶「如」

の。考『禮記』檀弓、鄭玄注、賈公彥疏、『四庫提要』、『經義述聞』、『經傳釋詞』、『新唐書』、『舊唐書』、『通典』、『太平御覽』、『冊府元龜』、『玉海』、『文獻通考』、『日知錄』、『十駕齋養新錄』、『古文尚書考異』、『尚書古文疏證』、『尚書古文考』、『尚書古文辨惑』、『尚書古文眞僞考』、『尚書古文眞僞考辨』、『尚書古文眞僞考定』、『尚書古文眞僞考證』、『尚書古文眞僞考實

1698・2212の字。汝の先祖。乃祖。【詩、大雅、文王】王之藩臣。無令公羞。●明、郭元釪111・395652・3682の字。

【殷紂】殷紂 ●清、趙紫宸10・44539・2279の字。

【殷孝】殷孝

【爾】19757 ジ 爾(7－19756)に同じ。(同文字鑑)、典・爾同。

爿部

【爿】19758 シャウ ザウ (篇海類編)

くぐ丸 ㄑㄨㄢˋ

小 ㄅㄢˋ 本 ㄅㄢˋ

●木きれ。木を二つに割った片。片の對。說文、爿、反片爲、讀若牆。(段注)各本無此、按、六書故云、唐本有爿部、蓋從其長以道說也、今不別立一部、依玄部終、於反才爲它之例、補焉。(六書正譌)爿、疾羊切、判木也、从半木、左半爲爿、右半爲片。●ほこ。(六典略)爿、女也。●ねだい。牀(7－19762)に同じ。(說文、牀、繫傳)臣銘曰、爿則牀。●しやうへん。漢字の偏の名。

解説 指事、木の字を二つに割って爿と片とした。左半を寫して、木きれの左片の意を示す。字解を見よ。 ワ爿(甲骨文)、象形、長い板を張った足のある寝台を横から見た形。

【爿】19759 シャウ 爿(7－19758)の古字。(六典略)爿、古作、臼。

二畫

【爿】19760 シャウ 終(9－24368)に同じ。(正字通)爿、同・終。

三畫

【牠】19761 イ 機(9－19568)に同じ。(集韻)機、或作、牠。

四畫

【牀】19762 ショウ 繕(7－19763)の古字。(集韻)繕、古作、牀、或作、繕。

【牀】19763 サウ ジャウ (集韻)在右切 イメㄤˋ ㄗㄞˋ

調 ジャウ

小 ●ねだい。こしかけ。身體を安置し坐臥する具。寢臺。(說文)牀、安身之几坐也、從、木、爿聲。(段注)銘本作、安身之坐者五字、非是。(釋名)牀、牀帳入所、坐臥曰、牀、裝也、所、以自裝飾也、(廣雅、釋器)(楚辭)、牀。(通俗文)(六尺曰)、牀。●ゆか。とこ。寝台の一部。床内に棧を設け板を張り、人の坐臥するところ。座板。(廣韻)牀、簀也。●臥具。●遺具を置けば置く簀、筆かけを筆牀という類。(中華大字典)、牀、凡安置器物者多名曰、牀、如、琴牀、棊牀、印牀、(徐陵、千字文新注)、鞍器筆牀、無、時醫手、(唐書、陸龜蒙傳)、書來壽、筆竈、筆牀、釣具、往來。●物の土臺。又、織物を含む碁石など、織ものを牙牀といふ類。(中華大字典)、凡簡篇掛以休息、俗稱爲、搭几、或用、牀几、字、牙之骨曰、牙牀、產、珠砂、之白石曰、砂牀、張華。

【牀】19764 ショウ 牀(7－19763)に同じ。(集韻)牀、或作、繕。

【牀】19765 ショウ 牀(7－19763)に同じ。(集韻)牀、或作、繕。

【牀】19766 ショウ 牀(7－19763)に同じ。(集韻)牀、或作、繕。

【牀】19767 ショウ 牀(7－19763)に同じ。(集韻)牀、或作、繕。

【牀】19768 ショウ 牀(7－19763)に同じ。(集韻)牀、或作、繕。

【牀】19769 ショウ 牀(7－19763)に同じ。(集韻)牀、或作、繕。

【牀】19770 ショウ 牀(7－19763)に同じ。(集韻)牀、或作、繕。

【牀】19771 ショウ 牀(7－19763)に同じ。(集韻)牀、或作、繕。

【牀】19772 ショウ 牀(7－19763)に同じ。(集韻)牀、或作、繕。

【牀】19773 ショウ 牀(7－19763)に同じ。(集韻)牀、或作、繕。

【牀】19774 ショウ 牀(7－19763)に同じ。(集韻)牀、或作、繕。

【牀】19775 ショウ 牀(7－19763)に同じ。(集韻)牀、或作、繕。

【牀】19776 ショウ 牀(7－19763)に同じ。(集韻)牀、或作、繕。

當有一人地。師古曰：杜甫，姓。[杜甫，姓。師古曰：杜甫，姓。]

牂 小篆 ❶めひつじ。(說文)牂、牝羊也。从羊爿聲。(段注)各本作、牡羊誤、今正。(爾雅、釋畜)羊、牡狀牂牂。(廣雅、釋畜)羊牝、或曰牂。(詩、小雅、苕之華、釋羊疏引、(傳)牂羊、牝羊也。❷怪しい。(釋言)(傳)牂羊、牝羊也。❸**怪しささま**。牂牂(c)羊。❹**ふなつなぎ**。舟をつなぎとめる。祥胴(7・197567)の❹を見よ。胴(6・115562)に同じ。(集韻)、胴、或作牂。❺**ほうこう**。(字彙)牂、同上。❻**ぬ**。(字彙)牂、同上。❼**ぬ**。(字彙)牂、同上。❽**ぬ**。(字彙)牂、同上。❾**ぬ**。(字彙)牂、同上。❿**ぬ**。(字彙)牂、同上。⓫**ぬ**。(字彙)牂、同上。⓬**ぬ**。(字彙)牂、同上。⓭**ぬ**。(字彙)牂、同上。⓮**ぬ**。(字彙)牂、同上。⓯**ぬ**。(字彙)牂、同上。⓰**ぬ**。(字彙)牂、同上。⓱**ぬ**。(字彙)牂、同上。⓲**ぬ**。(字彙)牂、同上。⓳**ぬ**。(字彙)牂、同上。⓴**ぬ**。(字彙)牂、同上。㉑**ぬ**。(字彙)牂、同上。㉒**ぬ**。(字彙)牂、同上。㉓**ぬ**。(字彙)牂、同上。㉔**ぬ**。(字彙)牂、同上。㉕**ぬ**。(字彙)牂、同上。㉖**ぬ**。(字彙)牂、同上。㉗**ぬ**。(字彙)牂、同上。㉘**ぬ**。(字彙)牂、同上。㉙**ぬ**。(字彙)牂、同上。㉚**ぬ**。(字彙)牂、同上。㉛**ぬ**。(字彙)牂、同上。㉜**ぬ**。(字彙)牂、同上。㉝**ぬ**。(字彙)牂、同上。㉞**ぬ**。(字彙)牂、同上。㉟**ぬ**。(字彙)牂、同上。㊱**ぬ**。(字彙)牂、同上。㊲**ぬ**。(字彙)牂、同上。㊳**ぬ**。(字彙)牂、同上。㊴**ぬ**。(字彙)牂、同上。㊵**ぬ**。(字彙)牂、同上。㊶**ぬ**。(字彙)牂、同上。㊷**ぬ**。(字彙)牂、同上。㊸**ぬ**。(字彙)牂、同上。㊹**ぬ**。(字彙)牂、同上。㊺**ぬ**。(字彙)牂、同上。㊻**ぬ**。(字彙)牂、同上。㊼**ぬ**。(字彙)牂、同上。㊽**ぬ**。(字彙)牂、同上。㊾**ぬ**。(字彙)牂、同上。㊿**ぬ**。(字彙)牂、同上。(51)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(52)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(53)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(54)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(55)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(56)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(57)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(58)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(59)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(60)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(61)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(62)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(63)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(64)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(65)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(66)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(67)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(68)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(69)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(70)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(71)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(72)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(73)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(74)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(75)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(76)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(77)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(78)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(79)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(80)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(81)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(82)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(83)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(84)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(85)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(86)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(87)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(88)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(89)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(90)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(91)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(92)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(93)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(94)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(95)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(96)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(97)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(98)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(99)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(100)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(101)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(102)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(103)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(104)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(105)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(106)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(107)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(108)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(109)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(110)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(111)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(112)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(113)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(114)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(115)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(116)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(117)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(118)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(119)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(120)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(121)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(122)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(123)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(124)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(125)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(126)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(127)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(128)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(129)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(130)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(131)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(132)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(133)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(134)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(135)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(136)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(137)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(138)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(139)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(140)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(141)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(142)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(143)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(144)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(145)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(146)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(147)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(148)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(149)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(150)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(151)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(152)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(153)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(154)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(155)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(156)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(157)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(158)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(159)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(160)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(161)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(162)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(163)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(164)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(165)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(166)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(167)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(168)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(169)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(170)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(171)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(172)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(173)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(174)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(175)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(176)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(177)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(178)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(179)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(180)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(181)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(182)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(183)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(184)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(185)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(186)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(187)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(188)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(189)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(190)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(191)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(192)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(193)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(194)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(195)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(196)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(197)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(198)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(199)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(200)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(201)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(202)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(203)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(204)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(205)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(206)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(207)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(208)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(209)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(210)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(211)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(212)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(213)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(214)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(215)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(216)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(217)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(218)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(219)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(220)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(221)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(222)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(223)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(224)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(225)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(226)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(227)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(228)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(229)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(230)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(231)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(232)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(233)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(234)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(235)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(236)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(237)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(238)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(239)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(240)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(241)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(242)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(243)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(244)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(245)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(246)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(247)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(248)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(249)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(250)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(251)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(252)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(253)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(254)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(255)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(256)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(257)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(258)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(259)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(260)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(261)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(262)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(263)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(264)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(265)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(266)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(267)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(268)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(269)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(270)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(271)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(272)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(273)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(274)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(275)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(276)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(277)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(278)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(279)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(280)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(281)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(282)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(283)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(284)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(285)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(286)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(287)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(288)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(289)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(290)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(291)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(292)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(293)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(294)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(295)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(296)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(297)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(298)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(299)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(300)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(301)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(302)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(303)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(304)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(305)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(306)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(307)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(308)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(309)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(310)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(311)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(312)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(313)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(314)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(315)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(316)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(317)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(318)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(319)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(320)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(321)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(322)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(323)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(324)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(325)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(326)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(327)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(328)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(329)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(330)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(331)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(332)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(333)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(334)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(335)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(336)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(337)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(338)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(339)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(340)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(341)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(342)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(343)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(344)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(345)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(346)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(347)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(348)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(349)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(350)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(351)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(352)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(353)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(354)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(355)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(356)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(357)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(358)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(359)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(360)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(361)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(362)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(363)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(364)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(365)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(366)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(367)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(368)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(369)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(370)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(371)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(372)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(373)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(374)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(375)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(376)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(377)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(378)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(379)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(380)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(381)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(382)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(383)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(384)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(385)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(386)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(387)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(388)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(389)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(390)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(391)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(392)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(393)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(394)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(395)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(396)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(397)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(398)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(399)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(400)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(401)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(402)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(403)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(404)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(405)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(406)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(407)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(408)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(409)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(410)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(411)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(412)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(413)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(414)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(415)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(416)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(417)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(418)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(419)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(420)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(421)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(422)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(423)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(424)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(425)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(426)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(427)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(428)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(429)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(430)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(431)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(432)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(433)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(434)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(435)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(436)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(437)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(438)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(439)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(440)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(441)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(442)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(443)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(444)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(445)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(446)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(447)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(448)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(449)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(450)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(451)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(452)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(453)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(454)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(455)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(456)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(457)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(458)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(459)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(460)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(461)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(462)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(463)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(464)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(465)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(466)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(467)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(468)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(469)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(470)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(471)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(472)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(473)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(474)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(475)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(476)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(477)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(478)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(479)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(480)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(481)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(482)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(483)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(484)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(485)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(486)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(487)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(488)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(489)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(490)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(491)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(492)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(493)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(494)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(495)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(496)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(497)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(498)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(499)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(500)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(501)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(502)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(503)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(504)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(505)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(506)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(507)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(508)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(509)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(510)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(511)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(512)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(513)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(514)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(515)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(516)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(517)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(518)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(519)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(520)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(521)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(522)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(523)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(524)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(525)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(526)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(527)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(528)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(529)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(530)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(531)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(532)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(533)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(534)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(535)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(536)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(537)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(538)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(539)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(540)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(541)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(542)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(543)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(544)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(545)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(546)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(547)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(548)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(549)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(550)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(551)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(552)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(553)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(554)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(555)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(556)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(557)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(558)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(559)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(560)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(561)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(562)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(563)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(564)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(565)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(566)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(567)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(568)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(569)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(570)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(571)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(572)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(573)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(574)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(575)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(576)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(577)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(578)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(579)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(580)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(581)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(582)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(583)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(584)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(585)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(586)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(587)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(588)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(589)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(590)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(591)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(592)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(593)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(594)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(595)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(596)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(597)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(598)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(599)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(600)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(601)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(602)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(603)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(604)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(605)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(606)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(607)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(608)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(609)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(610)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(611)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(612)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(613)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(614)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(615)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(616)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(617)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(618)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(619)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(620)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(621)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(622)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(623)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(624)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(625)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(626)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(627)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(628)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(629)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(630)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(631)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(632)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(633)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(634)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(635)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(636)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(637)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(638)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(639)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(640)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(641)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(642)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(643)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(644)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(645)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(646)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(647)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(648)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(649)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(650)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(651)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(652)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(653)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(654)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(655)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(656)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(657)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(658)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(659)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(660)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(661)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(662)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(663)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(664)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(665)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(666)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(667)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(668)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(669)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(670)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(671)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(672)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(673)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(674)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(675)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(676)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(677)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(678)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(679)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(680)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(681)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(682)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(683)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(684)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(685)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(686)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(687)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(688)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(689)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(690)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(691)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(692)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(693)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(694)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(695)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(696)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(697)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(698)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(699)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(700)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(701)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(702)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(703)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(704)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(705)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(706)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(707)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(708)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(709)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(710)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(711)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(712)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(713)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(714)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(715)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(716)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(717)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(718)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(719)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(720)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(721)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(722)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(723)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(724)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(725)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(726)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(727)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(728)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(729)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(730)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(731)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(732)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(733)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(734)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(735)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(736)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(737)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(738)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(739)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(740)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(741)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(742)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(743)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(744)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(745)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(746)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(747)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(748)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(749)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(750)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(751)**ぬ**。(字彙)牂、同上。(752)**ぬ**。(字彙)牂

𤅢 19795 チク 義未詳。(篇海類編)𤅢、音糕。

十一畫

𤅢 19796 サク 𤅢：𤅢(9－22419)に同じ。(集韻)𤅢、或从爿。

𤅢 19797 ヨウ 墻(9－5419)に同じ。(集韻)墻、或作𤅢。

𤅢 19798 クワウ (集韻)話黃切 陽 林下の積木。(集韻)𤅢、林下積木。

𤅢 19799 シヤ (集韻)色入切 緝 ほこの立つさま。(集韻)𤅢、父立兒。

𤅢 19800 ロン (集韻)苦今切 侵 ロン (集韻)文弗切 吻 文 𤅢𤅢𤅢

墻 詩(毛詩)鄭風 蘆葦、墻偶有蜚蠊。

墻外 儿ㄨㄞˋ 墻外、墻外之外。(左氏、莊、二十二)

閑人 儿ㄒㄧㄢˊ 自、墻外、與之飲。(劉氏、隱、令狐相公)

足 儿ㄗㄨˊ 墻外、墻垣、墻外、墻外之外。(左氏、襄、十四)

墻外 儿ㄨㄞˋ

【朕】19810　レイ　『集韻』郎一切　『廣韻』

[illegible]　[illegible]

二十四畫

【𩰫】19811　レイ　『集韻』郎一切　『廣韻』

ゆか。𩰫（一1572）、𩰫（一1603）に同じ。（『集韻』『類篇』林部、或从雩省。

【𩰫】19812　シャウ　『廣韻』息良切

𩰫（一1608）の俗文字。

【𩰫】19813　日ヘン　『集韻』匹見切　𩰫　又一13、𩰫（一1…）

片部

【片】19813　小　日ヘン　『集韻』匹見切

[illegible]

片部

[illegible]

[illegible]

[illegible]

〔片言九鞫〕ぁ ぉぉ 一方の言葉だけを聞いて裁判する。論語、顔淵篇に、子路、片言を以て人を折むべきは、其れ由なるかなと。孔安国の注に、子路、人を折むべきの言を聞くと、便ち以て人の是非を断ずべしと。〔後漢書、陳寔伝〕寔、性、平恕にして、人、之に依りて以て是非を断ず。〔晉書、王導伝〕導、性、恕にして、人、之に依りて以て是非を断ず。〔晉書、謝鯤伝〕鯤、性、恕にして、人、之に依りて以て是非を断ず。〔晉書、謝尚伝〕尚、性、恕にして、人、之に依りて以て是非を断ず。〔晉書、謝安伝〕安、性、恕にして、人、之に依りて以て是非を断ず。〔晉書、謝琰伝〕琰、性、恕にして、人、之に依りて以て是非を断ず。〔晉書、謝朗伝〕朗、性、恕にして、人、之に依りて以て是非を断ず。〔晉書、謝万伝〕万、性、恕にして、人、之に依りて以て是非を断ず。〔晉書、謝石伝〕石、性、恕にして、人、之に依りて以て是非を断ず。〔晉書、謝玄伝〕玄、性、恕にして、人、之に依りて以て是非を断ず。〔晉書、謝混伝〕混、性、恕にして、人、之に依りて以て是非を断ず。〔晉書、謝灵運伝〕灵運、性、恕にして、人、之に依りて以て是非を断ず。〔晉書、謝瞻伝〕瞻

【片紀】[illegible] 貨幣の一種。銀版を刻んだ片。
【片格】[illegible] ●かみきれ。片帙。紙片。(梁紀)
【片稭】[illegible] 書物雑徒法。(後書)。●書手不工。
【片官】[illegible] 漢官。(張衡、西都賦)。殺公米石時。(呉興章法)。天下人、片官、時、遂著。●[illegible]、[illegible]。
【片官】[illegible] 片官、小地方。(後書、鄭玄伝)。
【片官】[illegible] 片官、小地方。(後書、鄭玄伝)。
【片脚】[illegible] 脚脚[illegible]。●[illegible]。●[illegible]

解解矣、大學古義、中庸解解矣、中庸古義、禮記解、孟子正文類、孟子考證、孟子說、步詩正文類考、孟子類考、文選正文類、禮記正文類、毛詩類考、孟荀類考、荀子類、韓詩外傳、呂氏春秋

する犢行。差代種の意の稱。「具」

【版權面】14 pān kuán, pr-kuen. 書籍の奥付

【版尾】14 pān wěi, pr-mui. 書籍の奥付

【版元】14 pān yuán, pr-ŋuan. 出版者。

【版屋】14 pān wū, pr-ʔuk. 書籍。

【版官】14 pān guān 戶部の一職名。(1192・10)の●に同じ。

【版曹】14 pān cáo 戶部。(1192・10)の●に同じ。

【版籍】14 pān jí 戶籍。(書名)。「年を無縁」。「版籍」。「版籍」。「版籍

五畫

牒 19825 クワ（集韻）胡戈切 **戈**
棺の頭。或は和（8―3490）。林（6―14607）に作る。（廣韻）牒、棺頭。（集韻）牒、博雅、棺雷謂之牒。或从木。通作和。

牯 19826 コ 枯（8―14579）に同じ。（字彙）牯、同枯。

牓 19827 ハウ ヒャウ（字彙）匹妙切 **滂**
太を析く音。（字彙）音、析。木聲。

牒 19828 タク チヤク（集韻）駝格切 **定**
さく、ひらく。版（7―19864）、坼（3―5006）に同じ。（玉篇）版、今作坼。（集韻）牒、開也。或从帝。

牌 19829 ハン（集韻）蒲半切 **並**
（楚辭、九章、惜誦）形質枉以交痛兮。（注）牌、分也。❶なかば。或は片（7―19813）に作る。（集韻）牌、半也。字林、牌合、合、其夫婦料作也。或省。（儀禮、喪服傳）夫婦料作、牌、又、判（8―19223）に作る。（風俗通）、木、一曰判。

牖 19830 テウ チウ（字彙）直遥切 **澄**
❶つくゑ。（字彙）版、几也。❷妹の別名。（類篇）牖、妹別名。❸版（7―19766）に同じ。（康熙字典）版、同牖。

牧 19831 タク チヤク（字彙補）耳格切 **知**
しわ。（字彙補）牧、皺也。

六畫

牵 19832 コウ 義未詳。（搜神玉鏡）牵、同音旬。

牌 19833 シ（篇海）筆移切 **支**
かりごや。蓋舍。（篇海）牌、蓋舍也。

牒 19834 テウ 蔈（7―19773）に同じ。（集韻）牒、或作蔈。

牒 19835 レツ レチ（集韻）力蔑切 **來**
さく。通じて栵（6―14739）に作る。（集韻）牒、割也、通作栵。

牍 19836 ㊀テウ（集韻）亟遥切 **見**
㊁ケウ ゲウ（集韻）居夭切 **見**
（集韻）遥韻切 **見**

七畫

牍 19837 ハク ヒャク（集韻）匹麥切 **滂**
わかつ。さく。物を破る。或は劈（8―2223）に作り、通じて鏷（11―40338）に作る。（集韻）牍、破物也。（集韻）牍、分也、或作劈。（韻會）牍、通作鏷。

牵 19838 キャウ 向（8―3991）に同じ。（集韻）向、或从片。

牲 19839 シュ（集韻）擅朱切 **虞**
❶牲牒は、せき板。（集韻）牲、牲牒、遏水版。❷まるきばし。（集韻）牲、一曰、橫木渡水。

牍 19840 キャウ 牵（7―19838）に同じ。（龍龕手鑑）牵、同牍。

牍 19841 ヘキ 義未詳。（龍龕手鑑）牍、音覓

牍 19842 ラ（玉篇）力可切 **來**
舟のともの別名。（玉篇）牍、艣別名。

牍 19843 ショク ソク（廣韻）七玉切 **沃**
せまる。（廣韻）牍、迫也。

牌 19844 サウ 牌（7―19869）の俗字。（字彙）牌、俗牌字。

牍 19845 キウ 牍（7―19778）に同じ。（康熙字典）牍、（集韻）書作牍。

牍 19846 イン 胤（9―29405）に同じ。（玉篇）牍、與胤同。

牍 19847 ユ 義未詳。（搜眞玉鏡）牍、羊父切。

牍 19848 サウ 慶（7―19883）に同じ。（搜眞玉鏡）牍、與慶同。

牋 19849 セン（集韻）祥先切 **先**
ㄒㄧㄢˊ xiān
❶文體の名。君上に奏る文。上表。漢魏時代には天子・太子・諸王・大臣・上るものの總稱であつたが、後には天子に表、諸王に啓、皇后・太子に牋といふ。（玉篇）牋、表也。（文體明辯）牋、按劉勰云、牋者、表也、識表其情也、字亦作箋。古者君臣同書、至秦漢好用牋。記、公府奏、記部將奏牋。若、齊固之記、東平、黃香

之奏。江夏、所謂郡將奏牋者也。是時太子、諸王大臣、皆得稱「牋」。後世寡以上、奏后其他不得用矣。其詞有散文、有儷語、分爲六位。[註]而列之、今制奏事、太子、諸王稱「啓」、而臣下稱「牋」。後漢書、吳祭傳、「祭上書、稱「牋」云。「後漢書、吳祭傳」。蔡邕、奏議、凡五篇。●かきつけ　文書、手紙。〔啓書、石帖記、遠張遷、奉牋於劉琨。〕●かみ。ふだ。文書を書きつける紙。札。「侯鯖錄」に小簡牋。[類]8-261232に同じ。作る。〔集韻、元韻〕牋。

牋[類]8-261232 [集韻]牋 [篇]牋 [字彙]牋 [韻]牋 [字彙]牋 [韻]牋 [字彙]牋 [韻

京夢華錄、七、駕登寶津樓諸軍呈百戲〕各執雄尾振鷺牌木刀〔宋史、兵志〕多是弩牌、弩手兵器牌手。**牌**牌は、カルタ。骨牌。〔字彙〕牌、牙牌。今戲具、云云。今謂之骨牌。然皆博戲塞格之名也。

〔牌案〕〔一〕捕手に持たせやる訴狀。〔編纂〕書、淹任都、如有、牌案、無案、有、牌案無、被擒者重罰。

〔牌印〕〔一〕携帶印信の類。〔一〕牌の身分證明書。〔五代史、梁家人傳〕主建傳、令、在夜人、建事以、前度假牌印、授、建。

〔牌額〕〔一〕紙、片、板等に文字、種種書を書いて門や柱等などに掛ける額。〔伊勢物語〕書、書、書、和、牌、額、京、清、水、寺、在、在、在、在、後、如、前、掛、額、必、光、仕、而、後、書、云、云、今、如、先、書、而、後、掛、。

〔牌甲〕〔一〕急用の官文書を入れる嚢。千字文の類によって番號を附す（元史、兵史四）其文字數、云、稍長、云、左、右、牌、連、腰、急、遞、公、事、用、伸、了、封、袋、云、云、已、上、牌、匣、俱、係、常、牌、式、以、上、千、字、文、。

〔牌九〕〔一〕賭博の一種。

〔牌局〕〔一〕骨牌の一種。

〔牌子〕〔一〕ばっち、場。

〔牌手〕〔一〕役人をいう。〔水滸傳、一〕、二、只、恐、門、前、牌、手、、、、、。

〔牌號〕〔一〕官名あるの名。舊制、官設織物所を、遼から、唐、鄭、州、縣、に、設、る、文、。

〔牌券〕〔一〕官、文、書、の、名、稱、を、賜、と、を、道、は、織、物、所、に、於、て、、、、、。

〔牌面〕〔一〕牌、を、賜、と、を、道、は、織、物、所、に、於、て、、、、、。

〔牌刀〕〔一〕明史、兵志、に、、、、、

□さくゝわける 解6・15074)・祈6・146 53)に同じ。(集韻)析は或作。所・嘯一二ひらく。既7・19828)に同じ。(集韻)析・開也、或入海。

𢿱 19865

サク 入 陌 (集韻)(類篇)所陌切 𢿱

(集韻)析・或作。(類篇)析・或作。

𢿱 19866

ショク 入 職 (集韻)(類篇)蒔力切 𢿱

(集韻)蒔・或作。

𢿱 19867

レン 入 霰 (集韻)郎甸切 𢿱

木のすじめを解く。(集韻)練、析・木理。

𢿱 19868

ロク 入 屋 (集韻)(類篇)力玉切 𢿱

(集韻)(類篇)力玉切 𢿱

𢿱 19869

セフ 入 葉 (集韻)(類篇)苫葉切 𢿱

①城門を閉ちる具。(集韻)・(類篇)・(正字通)・(字彙)城門具。**②いたがこひ。**(集韻)・(類篇)・(正字通)・(字彙)城門具。**③**(集韻)・(類篇)・(正字通)・(字彙)城門也。(正字通)・(字彙)・(類篇)・(字彙)・(類篇)・(正字通)・(字彙)・(類篇)・(正字通)・(字彙)・(類篇)・(正字通

【牒】ハ 文書のうつたへ。孔稚珪、北山移文「敕行諸麾、勝符虎竹、銅章鳥爵、其牒一上」。同日、牒・文牒也。勝・勝符也。注、通牒、〔漢字源字鑑記、四、南都山門衆徒等事〕。【牒状】ハ 書状。主状、被・牒送。【牒】ハ 書代、在諸州から知府に、府縣庶民から府縣に、府・廳から諸州に、府・縣から諸州に送る文書。〔法令典、諸部、見在文書〕注、府・縣・諸州・知府・州縣庶民・府縣・諸州・縣から諸州に、府・縣から諸州に送る文書。〔

七）不、嬰）、牖以見二天道。❹南むきのまど。（廣韻）牖、向也。（論語・雍也）自牖、終、其子。（急就篇）、牖、南窓也。❺みちびく。（說文通訓定聲）、牖、段借爲誘。（廣雅・釋詁二）牖、導也。（詩・大雅・板）天之牖民、（疏）牖、誘也。（詩古字通用）牖、以爲導也。❻うしとら。北東。（易・坎）納約自牖、（虞注）牖、東北。❼ひとや。牢獄。（水經・濟水注）廣牖、牖、獄名也。（晉書・石勒載記上）茂麥、殷日牖、（注）牖、獄也。（晉書・石勒載記上）茂麥、殷日牖、（注）麥、牖、獄名

〔校勘記〕辨 閩本・監本・毛本辨改ム辨。〔正字通〕辨、與辨同。●塗中で切れた墓鞋。亦辨(10－3865)に作る。〔廣韻〕辨、辨墓革中絕。謂之辨。革、車轡勒也。本亦作辨。

【𩊚】 19904 タイ（集韻）丁安切 𩊚

逆しまに未をかげつる。（集韻）𩊚、吳人謂逆剡之木曰𩊚。

【𩊚】 19905 ヨシング（集韻）是酉切 𩊚 ヨシウ（集韻）大到切 𩊚

□□ひつぎ。棺(6－1573)・𩊚(8－5672)棺也。或从片。〔正字通〕𩊚、俗字。今俗謂棺爲𩊚、加片非。

【牘】 19906 トク（集韻）徒谷切 屋 カク

𩊚 小篆 簡、既に書したるを牘といひ、木だ書せざるを槧といふ。●ふだ。文字を書き記す札。木簡。〔後漢書〕荀悅傳 「𩊚多能誦記。●官の文案。公文書。〔正字通〕牘、官司文案曰。牘。●てがみ。よみ。〔荀信〕〔莊子〕

十五畫

【𩊚】 19907 レキ リヤク（集韻）强灼切 𩊚

ついたて。（集韻）𩊚、木障。

十六畫

【𩊚】 19908 サン ゼン（集韻）在儉切 𩊚

●いた。（玉篇）𩊚、版也。●水門。𩊚(6－1503)に同じ。（集韻）𩊚、字林、水門也。或作𩊚。

十七畫

牙部

【牙】 19909 ガ（集韻）五加切 麻 ヨウ（集韻）語駕切 禡

𠂇 小篆 古文 ●うすば。口の奥に在り、形大きく、力強く食物を噛み砕く用を爲すもの。これに對して前齒を齒といふ。（說文）牙、壯齒也。象上下相錯之形。（段注）壯、各本譌作士。壯、今本篇韻皆譌也。統言之、皆偁齒。析言之、則前齒、脣者偁齒、後在輔車者偁牙。（本草）牙齒、時珍曰、南呂曰牙、當中門。（韓愈、與崔羣書）左車第二牙、無故動搖脫去。（倭名類聚抄）形體部、鼻口類）牙、野王案、牙在齒後、最近輔車者也。（篆注）按、牙在齒後、近輔車者、其形橫出、與齒形奇不同。宜、訓字須波、今俗呼。於久波。（ロ）いときりと。前齒と齒との間にある鋭い齒。奇牙。犬齒。（楚辭、九辯）豪骨既已遠、奇牙宜笑而見。（倭名類聚抄）形體部、鼻口類、牙、（篆注）齒之最銳疏云、謂牙所齧最長者。又曰、奇牙、云云、是齒奇牙、齒牙、宜訓、峻波、今俗呼、鋭齒、但古者牙、奇牙並呼、峻波、無字須波言之、皆偁、齒偁牙。（ハ）動物の大齒。門齒の發達して長く口外に出るもの。猪・象などの類。（易、大畜、豶豕之牙。（本草、野豬、羆解、時珍曰、其形似鹿、而大牙出、口如出二兩牙、夾鼻、雄者長六七尺、雌者纔尺餘耳。（張揖曰、西域董、象牙、用飾牀座、中國貴之、以爲玩、象每脫牙自埋、蓋、云、寓言、孟嘗君問人以三木牙、書易取焉。（ホ）動物の鋭い齒。易林、恵祭辭、牙、以待、豚豬（李之、梁文、吟、喪論辭、牙、餘、人肉。（ヘ）人を害する器。兵器。（史記、項羽本紀、敗之、北、契丹之徒、切、齒拊、牙、常痛、其使。（ト）きばと。なつて助けまもるものの。（ヲ）鋸の齒。（ワ）象牙。（カ）鍾の撞木の鋸齒狀の形をしたもの。（タ）琴の中央の鋸齒狀の形。（レ）琴の鳴り板。（ソ）琴の柱。（ツ）琴の柱。（ネ）琴の柱。（ナ）琴の柱。（ラ）琴の柱。（ム）琴の柱。（ウ）琴の柱。（ヰ）琴の柱。（ノ）琴の柱。（オ）琴の柱。（ク）琴の柱。（ヤ）琴の柱。（マ）琴の柱。（ケ）琴の柱。（フ）琴の柱。（コ）琴の柱。（エ）琴の柱。（テ）琴の柱。（ア）琴の柱。（サ）琴の柱。（キ）琴の柱。（ユ）琴の柱。（メ）琴の柱。（ミ）琴の柱。（シ）琴の柱。（ヱ）琴の柱。（ヒ）琴の柱。（モ）琴の柱。（セ）琴の柱。（ス）琴の柱。（ン）琴の柱。

兵〉写鈞弦者曰牙、似、齒牙也。「廣雅・釋器」機、謂、之牙。②象形をきざんだ玉のわ（注）牙、環、玉、牙歯共象、故以、環、璫發兵。⑩かむ。「戰國策・秦策」投之一骨、羣犬爭之、（注）牙、音以牙相噬。❹はぶき。歯を噛みくやしがる。切齒（法言・淵騫）如馬牙欧（注）咀嚼用、牙、言其齒也。⑪くび。豚を繋ぐくくびし（「埤雅・釋獸・豕」）牙者、音故、豚豕之牙也。今東齊海岱之間、以、杙繫、豕、謂、之、牙。「方言」天子、又は將軍の建てる旗。「集韻」牙、一曰、旗名。（字鑑）牙、旗（字鑑）牙、軍旗。（唐韻正）中山詩話云、古稱、旗、牙、非也。劉道原云、本稱、互旗、七互有、唐人書、互旗、唐人、牙、旗、（字鑑）牙、旗（俗謂之牙）。❸めきす。めばえる。牙、ゲ、30747）に通ず。（集韻）金日磾傳）

（漢紀）金日磾傳）

❶きばへん。漢字の偏の名。❷姓。「通志氏族略」以、名、爲、氏」牙氏、風俗通」周穆王司徒君牙之後、以王父字、爲、氏、（二四）（字行）。❸。貴ト云ト同ジ。貴賓の尚おまれの。（集韻）牙、通、用、也。（唐韻）牙、通、用、也。（字鑑）牙、通、用、也。（字鑑）牙、通、用、也。（字鑑

馬也。瞻山講師。相伴不一致。觀字。曙不。我疑。
【注】普弓。列之。目。象形。古文。目。師曠。
【分】分。別也。切韻。分。古代。師曠。
【分】分。別也。切韻。分。古代。師曠。
【分】分。別也。切韻。分。古代

夜縛琴雑劇「不是学代野刃弊相送。

「牙色」[ya sei] 名 薄黄色。

「牙市」[ya ichi] 名 ●(相場)三月遅付・賒蛇部・蛇使・蛇役・足皮・蛇・牙・計留・庫・恐繁・縛見庭上・可・薄・蛇・蛇・牙・計留・庫・恐繁・縛

「牙人」[ya nin] 名 仲買人・牙郎・牙儈・牙侩[ya kai]・見人・(後山詩話)「相人・牙郎・銭貨物者・曰・牙人・(後山詩話)「相人・牙郎・銭貨物者・曰・牙人・折中貨」[ya nin, chichu kaihi]。

「牙行」[ya gyō] 名 歯数。

「牙婆」[ya ba] 名 大神の巫。

「牙郎」[ya rō] 名 ●(仏教)牙人・仲買人・牙郎・牙儈・牙侩[ya kai]・(後山詩話)「相人・牙郎・銭貨物者・曰・牙人・折中貨」[ya nin, chichu kaihi]。

「牙」[ya

代史、梁志、楊勝厚傳）牙兵盜死、戮數處。

【牙】19910 コ 互(1～126)の俗字。（集韻）互、俗作牙。

【牙】19911 ガ（集韻）ヲ加切 麻 一ヤ。 ゲ

牙は、あかい。（集韻）牙、呉人謂赤子一曰牙。

【牙】19912 ガ 義未詳。（字彙補）鞏、牛加切、音牙。

【牙】19913 タン 義未詳。（篇海類編）牙、竹成切、音鬍。

【牙】19914 カン（集韻）起限切 潸

牙は、かむ。齦(19～5648)に同じ。（集韻）齦、博雅、齧也、或从牙。

【吾】19915 ガ 牙(1～1959)の古字。（集韻）牙、古作吾。

【吾】19916 ガ 牙(1～1959)の古字。（類篇）牙、古作吾。

【牙】19917 イチイ 義未詳。（篇海類編）音夷、又音弟。

【牙】19918 キ（集韻）巨奇切 支

牙は、きば。前歯と口歯の間の鋭い歯。いときりば。奇牙。（説文）牙、齒也、从牙象形。（段注）虎、本作虎、古通也（六書故）牙、按猶、喜牙之巨虎牙、古通也（六書故）牙、按猶、喜牙之巨虎牙、古通也（六書故）牙、按猶、喜牙之巨虎牙

(19919)—(19922···14)

九畫

筝 19919
□タウ チャウ
□タウ チャウ
（集韻）徒郎切 𠀤
（集韻）直庚切 𠀤

□❶ささ ささ べばしら。つっかひぼう。椪(8—15440)。樘(8—15544)。樘(8—15543)。
□❷ささ ささ べ。さからふ。筝距(8)を見よ。
（後漢書）列女 蔡琰妻 ❸ささ ささ べ。はりあふ。抵抗。（漢書）（匈奴傳上）漢相筝能。顔師古曰、筝、謂支柱也。（馬融）長笛賦 夢而蹶若、相撐距以相撥觸。可謂奇怪。蔡邕 筝、（解釋）釋詞 蔡邕抵禦也。

犢 19920
ク（集韻）縣切 𠀤
（集韻）縣切 𠀤

小 ❶むしば。或は齲(18—45371)。
（說文）齒 ❷ 小 ❶ 也、从ノ虫聲。齲、齲或从齒。

十畫

犨 19921
□ガイ（集韻）魚閉切 𠀤
□ゴツ（集韻）五紇切 月

□❶くひちがへ歯。齸(18—45745)に同じ。（集韻）齸、齸字也。或从牙。

牛部

牛 19922
ギウ（集韻）魚求切 𠀤
ゴウ ゴウ

小 ❶うし。家畜の一。（說文）牛、事也。象形。（段注）事也者、謂人尾之下。（玉篇）牛、事也。像角頭三封尾之形。（廣韻）牛、事也。謂能事其事也。牛任耕、理也者、謂其文理可分析也。庖（曦、曲禮下）牛曰三元大武、（疏）元、頭大。武、迹也。牛肥則脚大、脚大則迹廣大。故云三元大武也。（本草 牛）釋名。時珍曰、按 許慎云、牛、件也、牛爲大牲、可以件事分理也。其文象角頭三封及尾之形。（周禮）牛人 牛、牽也。牛爲大牲、可牽。（周禮）之大牛、牽也。牛爲大牲、可牽。（周禮）之大牛、牽也。牛爲大牲、可牽。（周禮）之大

上貢云云。都國以牛役事變。鄙田多減。唐書張廷珪傳。開元初。廷珪上書曰。今兩廂牧場。十不二在。頗聞和市苦于相擾。

牛馬　牛羊　牛酒　牛犧　牛鼎　牛耳　牛羊　牛馬

馬櫪也。

牛鞅 ㊀ 牛鞅也。

牛鞦 ㊀ 牛鞦也。

牛𩞁 ㊀ 牛𩞁也。

牛𩞁 ㊀ 牛𩞁也。

牛𩞁 ㊀ 牛𩞁

[牛潘]ﾆｳﾊﾝ 潘の一種。其の興、蓬に似て細い。

[牛蒡]ｺﾞﾎﾞｳ 牛蒡。[説文]牛蒡、[爾雅]牛蒡。[本草]牛蒡子、一名、牛膝、[爾雅]牛蒡。[説文]牛蒡、木蒡也。[玄中記]牛蒡、[別録]牛蒡。[本草]牛蒡、[本草]牛蒡、[本草]牛蒡、

本草綱目巻一十一 獸部云、気味辛、平無毒、主治忌諱馬疫傳諸種長長別錄曰馬乳生 ●牛部 牛 牛 牛

星天官書謂以牛星爲牽牛故以何敞牽牛爲二星矣牽牛相月牛宿其秋如牛氣明星

【牛舌菜】[illegible] 草の名。ぎしぎし。羊蹄の異名。葉形、牛舌に似るからかくづく。（本草 羊蹄）東方朔、遠志陸、水黄芪、子名、金鶏樂、豆蔻日、樹名、牛舌菜、羊蹄、子名、金鶏樂、豆蔻日、牛舌菜 [illegible]。葉形、名。

【牛舌草】[illegible] 草の名。うしのしたなり。むらさき科。外来の植物。茎は一～五尺、葉は長楕円形、花は紫色で夏開き、実は小球。

【牛川】[illegible] 地名。今、山西省右玉県北邊の寨。[illegible]。

【牛山】[illegible] 地名。今、山西省右玉県北邊の寨。[illegible]。

【牛角】[illegible] 牛の角。[illegible]。

【牛蹄】[illegible] 牛の蹄。[illegible]。

【牛蹄涔】[illegible] 宋・河内の人。道士。字は全德愛。[illegible]。

【牛鼎】[illegible] 宋・河内の人。[illegible]。

【牛鳴】[illegible] 地名。[illegible]。

【牛鳴山】[illegible] 地名。[illegible]。

【牛鳴聾】[illegible] 地名。[illegible]。

【牛鳴聾】[illegible] 地名。[illegible]。

【牛鳴聾

黄姑牽牛也、猪鬱之轉、(註南 天河誘子女年年渡何曾風点、(續島 逸李按蘇註吉期詩)不同。七夜、是配風風牛、(曹松、七夕詩)牛能[illegible]、(組織の祭に用ふる犠牲の牛とぶた。(風記)凡五日朝、以牛蘇酒祭。(蘇面)

牛鼎[illegible]、●鼎の名。牛首で鼎の足を飾つてあるとい。(考古圖、牛鼎)(考古圖)

牛

(考古圖)

牛鼎[illegible]、(考古圖、牛鼎)(以)奏尺舊鼎、(段)。(楚)(ナ)(ア)(ア)(ア

雷國、二人奴卿、天下一、時日其業、馬牛頭同旁(言・如・鬼部忘可)。

【牛頭】ごず 山名。牛頭山に產する香料の名。所引後漢書に牽牛、織女、牛頭山に產する香料の名。所引後漢書に牽牛、織女、牛頭山に產する香料の名。所引後漢書に牽牛、織女、

知 蜩螗 [illegible] 蜀牛馬、牽羊 [illegible] 狀如 [illegible]、黃色、[illegible]、[illegible]、[illegible]

あゆみ。 【牧師】 羊飼ひ。 【牛毛】 牛の毛。●牛毛の一毛毛膚にたとへ

爲組是僧孺之壻。德裕本由於朋宗閔。此卻
爲德裕之黨。德裕在禮部。則僧孺德裕兩人。
持之甚厚。蓋可見牛李之爭。乃宗閔而非德
裕。若以牛李爲黨。德裕則僧孺德裕兩人。
又供奇待流士乎。通鑑。德裕出爲浙西觀察
使。六年不還。德裕出爲浙西。而別引牛僧孺
爲相。由是牛李之爭愈深。此李又指達吉。然
亦誅德裕之黨。

【王詡】 ⅷ 明。東平人。字士良。洪武
初。累官上林令。以能。明史。官上林令。洪武
六年。[illegible]。[illegible]。百七十五。[illegible]。
二十四。[illegible]。[illegible]。十五。[illegible]。
二。本傳名人物攷。九十五。[illegible]。
【牛領】 ⅷ 領。[illegible]。
【牛領藩】 ⅷ 藩。[illegible]。
【牛領藩】 ⅷ 藩。[illegible]。
【牛馬】 ⅷ 牛。[illegible]。
【牛馬】 ⅷ 牛。[illegible]。
【牛馬】 ⅷ 牛

母が小更牛金と通じて生んだ子であるからいふ。晉は司馬氏である。魏に、元魏の昭成帝が晉を稱して帝位を奪ふ。魏は元氏である。**晉書**、元帝紀、**載記**、**載記**、**宣帝紀**、**城陽恭王祉**、**公孫淵傳**、**魏略**、**魏帝紀**、**魏書**、**元帝紀**、**魏書**、**司馬叡傳**、**魏書**、**司馬叡傳**、**魏書**、**字集**、**小更牛氏**、**生**、**云云**、**魏書**、**司馬叡傳**、**魏書**、**字集**、**

ある。『海錄錄拳』島獸、走獸『易林』牛臨耳聰、蓋牛以無鼻孔、走獸『易林』牛臨耳聰、[illegible]。

【牛角】『[illegible]』[illegible]、[illegible]、[illegible]。

【牛角頭】『[illegible]』[illegible]、[illegible]、[illegible]。

【牛不出頭】『[illegible]』牛子の頭を出さないもの。『[illegible]』[illegible]、[illegible]、[illegible]。

【牛[illegible]】

牝 小 牛 **ヒン** **めす**。動物の女性。鳥には雌雄といひ、獸には牝牡といふのが普通のであるが、互に通じ用ひる。〔說文〕牝、畜母也。从牛匕聲。易曰、畜牝牛、吉。〔廣雅、釋獸〕牝、雌也。〔周禮、夏官、校人〕掌其名物、種別異雅、飛目雄雌、走目牝牡、亦是對文。〔楚辭、九章、涉江〕乱曰、鳳凰翔兮千仞、遠離濁世、自引而高翔、夫孰云其有雄雌。〔荀子、王霸〕雄雌、剛柔、合而萬物生焉。〔禮、曲禮、下〕牝畜、以左手牽之、牽牛者、以其繩、右手執其鼻。〔注〕牝、陰也。●易、牝馬之貞、〔疏〕牝、是牛馬之類、牝牡相對、牝牡、陰也。●牝牡、〔荀子、大略〕牝牡、雌雄也。〔周禮、夏官、校人〕掌其名物、種別異雅、飛目雄雌、走目牝牡、亦是對文。〔楚辭、九章、涉江〕乱曰、鳳凰翔兮千仞、遠離濁世、自引而高翔、夫孰云其有雄雌。〔荀子、王霸〕雄雌、剛柔、合而萬物生焉。〔禮、曲禮、下〕牝畜、以左手牽之、牽牛者、以其繩、右手執其鼻。〔注〕牝、陰也。●牝

奪ふ。（主篇）牢、取也。奪也。（廣書、食貨志）

牢、固也。窩熟大貫、亡所、牢大利。（注）如淳曰、牢、取也。❶すること。をかす。（一切經音義、二）牢、遮也。❷ひとしい。（牢、1537）に通ず。（說文通訓定聲）牢、段借爲師。（漢書、司馬相如傳下）德牢往初。（注）師古曰、牢、等也。❸ます。倍する。（廣雅、釋言）牢、倍也。（注）倍物爲牢、❹多い。（崔寔、政論）牢、多也。（注）牢、多。

❺大きい。（集韻）牢、大也。（33寶、諸韻）牢、大也。❻めでる。愛する。（1037b）に通ず。（說文通訓定聲）牢、段借爲愛。（1047b）に通ず。（說文通訓定聲）

牢、段借爲愛。（47774）に通ず。愛也。（注）牢、愛也。（廣雅、釋言）牢、愛也。❼牢獄。（廣雅、釋詁）牢、堂也。❽土牢。（禮、內則）數年居偃。（釋文）齊人呼十五爲偃。（注）齊人呼十五爲偃。❾牢、穀牛を養る牢。（廣雅、釋詁）牢、堂也。❿牢、閑也。（注）牢、閑也。（廣雅、釋詁）牢、堂也。（後漢書、禮儀志）臣八年八月。（注）鄭玄注、既夕、曰、牢、盛湯漿。⓫苗根を食み鳥、獸、昆虫、蛇、蛙、蟹、蟲、蟻、蛇、蛙、蟹、蟲、蟻、蛇、蛙、蟹、蟲、蟻

【牟都】[illegible] 自漢の王莽の天閣王をいふ。

【牟尼】[illegible] 梵語Muni の音譯。寂默、聖者、王者。●【牟尼尼】[illegible] 山東省東昌府の縣名。牟尼縣。

牡

19933

モボウ（集韻）莫侯切 𩞁

モ（集韻）莫胡切 𩞁

モ（集韻）茅胡切 𩞁

牡 小篆 𩞁 ●を牛。をん。動物の男性。通常、鳥に雄、獣に牡といふが、通じ用いて差なし。北〔7－19923〕之見雅よ。（說文）牡、畜父也。从牛土聲。（廣雅）釋獸）牡、雄也。（集韻）牡、象雄曰。牡。●鵰。凡で除に広がる物。（呂覽）慎大）言論、陽中之陽也。（注）、陰極曰。心爲牡。（太玄經）玄攡）北牡獸貞。（注）陽爲牡。●左。（國語）越語下）規模之道、設右以爲牡、位左以爲牡（注）在陽爲牡。●をか。（大戴禮）易本命）死陵、陽爲牡。●錠前のばねの用いてゐる插しゐみの部分。（正字通）牡、門關鍵。（戴月令）修鍵閉、注）鍵牡、閉牝也。（疏）凡鍵器入者謂之牡、受者謂之牝。若禽獸北牡然。（漢書、五行志中之七）長安章城門、門牡自亡。●（馬）マ（20129）に同じ。（集韻）

牡鹿 ●。をじか。牡鹿（廣雅）獸）牡

牡蒿 ●。草の名。をとこよもぎ。山野に自生する蒿科の多年草。根は互生で高さ約一尺。頭状で淡紫色。一名、青蒿。（詩、小雅、鹿鳴）呦呦鳴鹿、食野之蒿。（本草）牡蒿、蔞蒿、頭蒿、時珍曰、蒿、蒿之類、皆有雌雄。雄者、葉厚而多毛、色青、莖、紫、花黃、雌者、葉薄而多光、色白、莖、青、花、白。時珍曰、牡蒿、五月苗、長尺餘、葉如蒿、而細長、花黃、結子如粟、故名。（本草）牡蒿、味苦、寒、無毒。主治、明目、除熱、益氣、久服、輕身、不老、延年。（別錄）牡蒿、生、山谷、平澤、五月、採、陰乾。（名醫）牡蒿、生、田野、五月、採、陰乾。（本草）牡蒿、生田野、五月、採、陰乾。（別錄）蔞蒿、生、田野、五月、採、陰乾。（別錄）

牡蛎 ●。かきの異名。（本草）牡蛎、生海中。

牡丘 ●。地名。齊の桓公が諸侯と盟つた處。

牡丹 ●。草の名。牡蒿に同じ。（爾雅、釋草）牡蒿、蔞蒿。（郭璞）行義、蒿者、蒿屬。（詩、小雅、鹿鳴）呦呦鳴鹿、食野之蒿。（毛傳）蒿、青蒿。（本草）牡蒿、蔞蒿、頭蒿、時珍曰、蒿、蒿之類、皆有雌雄。雄者、葉厚而多毛、色青、莖、紫、花黃、雌者、葉薄而多光、色白、莖、青、花、白。時珍曰、牡蒿、五月苗、長尺餘、葉如蒿、而細長、花黃、結子如粟、故名。（本草）牡蒿、味苦、寒、無毒。主治、明目、除熱、益氣、久服、輕身、不老、延年。（別錄）牡蒿、生、山谷、平澤、五月、採、陰乾。（名醫）牡蒿、生、田野、五月、採、陰乾。（本草）牡蒿、生田野、五月、採、陰乾。（別錄）蔞蒿、生、田野、五月、採、陰乾。（別錄）

牡荆 ●。落葉喬木の名。牡荆科の一種。（本草）牡荆、一名、黃荆、小荆、黃荆、牡荆子、大荆、黃荆子、一名、荆子。（別錄

酔蕷、仙人掌掛白無也、王母核花小不一香、猪路經冠状、紫艶、朝顔照曜三紅紫、紅紫、芙蓉、西瓜、涼風、向葵、鳳凰、映美、秋海棠、鶴頂紫

記、平準書、因官、官名作)。黄盆、官奥、牢盆。(注)張晏曰、如淳曰、作。(後漢書、蔡邕傳)牢盆。(後漢書、竇憲賜斯嶠。(注)前書音義曰、牢盆、牢、廩賜斯嶠。(注)前書音義曰、牢、廩賜斯嶠。(注)前書音義曰、牢、廩賜斯嶠。❶ちんぎん。人を傭って其の働きに酬いるために出す金銭。(史記、平準書、官奥、牢盆。(注)張晏曰、牢、傭直也。如淳曰、牢盆、官奥、牢盆、屋子牢盆❷けにへ。又、御廐走。(ⓐ)生羊、豕の二つを具へたもの。太牢。(周禮、天官、宰夫の二)を具へたもの。太牢。(周禮、天官、宰夫の二)を具へたもの。太牢。(周禮、天官、宰夫の二)を

【牢死】ろうし 獄中で病死する。秦死。（唐書類）

【牢獄】ろうごく 閏月月牢死。付神人。何名。（唐書類）

【牢州】ろうしゅう 州名。唐。置く。開西省鎮遠縣。（續州）

【牢籠】ろうろう 懷州。懷州。懷州。（清流縣）。（唐書）。（唐書）。（唐書

牛部　(二)—(四書)　牢牣牠牧牲牯牴牻牽物牙初牠牠牠

牧

19950

小 牛馬を放牧する。牧畜。

日本 ボク 〔集韻・上聲・五・屋〕 ①ボク

日本 ボク 〔字彙・午集・牛部〕 ①ボク

日本 ボク 〔集韻・屋韻〕 ①ボク

三画 ❶うしかい。うまかい。❷牧する。❸まきばに作る。"正字通"牧、本作犆。犆之、羊人也。从牛、文工。詩曰、牧人乃夢。"左氏、昭七、馬有圉、牛有牧。❹まき。まきば。牛馬を放しがひする地。〔書・禹貢〕奚禹作。牧、傳、可以放牧。〔孟子、公孫丑下〕求牧與芻矣。〔集注〕牧、放牧之地。〔國語、周語中〕國有郊牧。〔注〕牧、放牧之地。❺放ちやしなふ。又、放して飼ふ。〔周禮、地官、牧人〕祭而牟、牲其物。❻町はづれ。郊外。まき場を設くべき地の意。〔爾雅、釋地〕郊外曰牧。〔義疏〕牧者、牧放之地。❼やしなふ。〔廣雅、釋詁二〕牧、養也。〔易、謙〕吾身卑以自牧也。〔注〕牧、養也。❽みる。〔方言、十二〕牧、察也。❾のぞむ。〔小爾雅、廣言〕牧、臨也。❿使ふ。〔廣雅、釋詁一〕牧、使也。⓫をさめる。〔詩・魯頌〕思乃馬、〔傳〕牧、治也。〔箋〕牧、治。❶つかさどる。〔方言、十二〕牧、主也。❷田畝の界を制する。〔周禮、地官、遂師〕田野之法、經界、井地、❸たがやす。〔荀子、王霸〕井地、❹たがやす。〔荀子、王霸〕井地、❺つかさ。〔周禮、地官、牧人〕牧人、掌六畜之種、❻ながし。〔荀子、王霸〕井地、❼古代、九州の長官。州牧。〔禮、立政〕宅乃牧。〔鄭玄注〕殷之州牧曰伯、虞夏及周曰牧。〔周禮、天官、大宰〕而治之。〔注〕以侯伯之功、德、善、加命作州長、謂之牧。〔周禮、春官、大宗伯〕八命作牧。〔注〕州之牧、王之三公、亦八命。〔禮、曲禮下〕九州之長、天子選諸侯之賢者以處之牧也。❽国を掌る官。井を司る。〔詩、邶風、靜女〕自牧歸荑。〔傳〕牧、田官也。〔箋〕荑者、牧官之所生。〔禮、月令、孟春〕命田官、〔注〕田官、主田之官也。❾臣。臣下。〔廣雅、釋詁二〕牧、臣也。❿のり。法度。〔逸周書、周祝解〕爲天下一者用牧。〔注〕牧、猶法也。⓫九夫の田。〔周禮、地官、小司徒〕乃經土地、九夫爲井、〔注〕井、其田野、〔注〕牧、猶井也。⓬牛の号。〔法牧〕法也。⓭九夫の田。〔周禮、地官、小司徒〕乃經土地、九夫爲井、〔注〕井、其田野、〔注〕牧、猶井也。⓮黄の黑い牛。〔爾雅、釋畜〕黑腹牧。〔注〕黄の名。〔繁鮮、天問〕中央共牧、后何以牧。〔注〕牧、草名也。有實。⓯埒（ユ-4993）に通ず。〔說文通訓定聲〕牧、段借爲埒。埒、詩、小雅、大田、牧、野字洋洋、水經注九、正作埒。〔詩、大雅、大明、牧野洋洋、〔傳〕牧、郊外也。〔釋文〕埒、本亦作牧。九夫爲井、井、九百畝、〔周禮、地官、小司徒〕乃經土地、九夫爲井、〔注〕井、其田野、〔注〕牧、猶井也。〔說文通訓定聲〕牧、段借爲埒。〔詩、大雅、大明、牧野洋洋、水經注九、正作埒。〔詩、大雅、大明、牧野洋洋、〔傳〕牧、郊外也。〔釋文〕埒、本亦作牧。⓰地名。春秋、衛の邑。今、可南省汲縣。〔左氏、隱、五〕鄭人侵二衛牧。❶蛙。〔集姓考、詩韻〕牧、弘慶商音、黄帝臣力牧之後。見、風俗通。

牧[illegible] 食牛と支秋でうつどを合はせて牛を養ふ。養ふ。〔字彙〕牧、本作犆。

牧[illegible] 〔牧鑑〕 ❶牧の長官。〔書、舜典、觀四岳羣牧〕〔傳〕、九州牧也。❷牧民。民を百姓、官、人に分ち、〔周禮、地官、牧人〕掌六畜之種、〔注〕牧、猶養也。〔注〕牧、猶養也。〔周禮、地官、牧人〕掌六畜之種、

[牧之]ﾏｷｼﾞ 牛牧。●唐、杜牧の一14477・2280)
宋、趙師秀(10・23717・2080)。●宋、劉敞(8・
宋、胡謙(8・23408・1780)。●宋、劉敞(8・
宋、王令(7・23853・1810)の字。

[牧]ﾏｷ 宋、張自牧(『錦繡』)。明、王逢

下曲。[後漢書]未・斷鞍[漢書]・牧羊・羈靮・遣歸・給馬・[史記]・[漢書]・[後漢書]・[晉書]・[魏書]・[北史]・[隋書]・[唐書]・[宋史]・[遼史]・[金史]・[元史]・[明史]・[清史稿]・[新唐書]・[新五代史]・[新唐書]・[新五代史]・[新唐書]・[新五代史

牡牛。〔説文〕牛。大社謂之牺。●犄〔7－1983〕の誤字。〔康熙字典〕犄、按、集韻書作〻犄、从〻犄聲。正。

牴 19953

〔説文〕カウ 〔集韻〕居郁切 觸
〔説文〕チン

〔一〕**水牛。**〔説文〕牴、水牛。●をうし。犅〔7－20056〕に同じ。〔集韻〕説文、特牛也、或从〻牛。〔二〕牴〔7－19955〕の誤字。正字通、或从〻牛、牴字之誤。

牴 19954

ヒ 〔篇海〕許歩切 鹵

牛を使う聲。牴〔7－19974〕に同じ。〔篇海〕牴、使〻牛聲。〔康熙字典〕牴、按、五音集韻、从〻牛作〻牴。

牴 19955

チン 〔集韻〕特林切 鹵

●水牛。〔玉篇〕牴、水牛。〔集韻〕牴、臭牛語之牴。**●**通じて沈〔6－17169〕に作る。〔集韻〕牴、通作〻沈。

牴 19956

ヒ 〔字彙〕匹智切 鹵

牛の匂ひ。牛くさい。〔字彙〕牛臭也。

〔説文〕牛臭也。主結に、牛、牛結、とあるが、共に結果の意か。

牴 19957

ヒン 牝同牝。

牌 19958

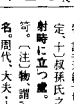
カイ 〔集韻〕居行切

四歳の牛。〔集韻〕牌、四歳牛。

物 19959

ブツ モチ 〔集韻〕文沸切 物 X MU

ものの。④大地間に存在する物。萬物。〔説文〕物、萬物也。牛部、大物、天地之數、起於牽牛、故从〻牛勿聲。〔周禮〕地官、縣師、辨其物。〔注〕物、謂地所有也。〔疏〕物、謂萬物也。⑤こと。〔集韻〕物、一曰、事也。〔周禮〕地官、大司徒、以鄉三物、教萬民而賓興之、鄉事也。〔疏〕鄉者物之終始、〔注〕物、亦事也。⑥人を養ふ所の食品。〔周禮〕天官、大宰、九曰、以賓、〔注〕物賓、雜物魚鱉橘柚。〔孟子〕盡心上〕君子之於物也、〔注〕物、謂凡物可以養人者也。⑦生殖するもの。〔禮記〕樂記〕物以類分、〔注〕物、謂殖生者也。〔後漢書〕馬援傳〕海水陸息、〔注〕海物、海魚也。張衡、東京賦〕不、罹物、〔注〕綜曰、物、謂禽獸也。〔家の財物。衣服・兵器など。〔周禮〕地官、一曰、以祭祀之物、〔注〕物、猶事也。〔周禮〕秋官、司寇、辨其物、掌其政令。〔注〕物、亦服兵器之屬。〔呂覽〕孟冬〕物勢工名。〔注〕物、器也。⑧佳へもの。牢鼎の實。〔周禮〕天官、膳夫、鼎十有二、皆以牲、〔注〕牢鼎之實。⑨色。〔周禮〕春官、保章氏〕以五色之物、〔注〕物、色也。〔國語〕楚語下〕毛以示物、〔注〕物、色也。⑩識業。〔左氏、哀、元〕不、識、旊。〔杜注〕物、識也。⑪類。〔周禮〕地官、縣師、辨其物、〔注〕物、類也。⑫數。〔國語〕周語上〕神之在也、〔韋昭注〕物、數也。⑬禮。〔禮記〕樂記〕物、謂禮也。⑭威。〔周禮〕大司馬、以六軍之士、和其側、以詰其衆、大白無節、則鼓、〔注〕物、權勢也。⑮威勢。〔左氏、昭七〕用、物精多、〔注〕物、權勢也。〔注〕如享日、物、猶神也。〔漢書〕武帝紀〕幸江淮物。〔注〕如享日、物、猶神也。〔漢書〕郊祀志上〕殺二人曰有、物曰、蛇見也、帝子。〔注〕師古曰、物、謂鬼神也。⑯外禍。〔禮記〕其本在人心之感於物也、〔注〕外境也。〔史記〕樂書〕物使之然也、〔注〕外境也。⑰食料。〔周禮〕秋官、司寇、以刑、〔注〕物、猶食料也。⑱射幟に立つ鹿。〔儀禮〕鄉射禮〕物長如、〔注〕物、謂射幟也。立鹿也。●**物の名。**周代、大夫・士の建てたもの。正幅を赤色、邊幅を白色の練で作る。一説に、正幅の半を赤練、他の半分を白練で作る。又、一説に、正幅を赤練、邊幅を雜色の練で作る。其の邊幅による物の數は大夫・士の命數によって異なる。物〔8－2502〕に通ず。〔説文〕通訓定聲〕物、叚借爲旂。〔周禮〕春官、司常〕雜帛爲物、以名其事、〔疏〕物、猶旗也。〔注〕物、色也。〔周禮〕春官、保章氏〕以五色之物、保章其位、〔注〕物、色也。〔國語〕楚語下〕毛以示物、



赤帛爲異、依、許說、雜帛爲、幅半異、同、周禮、依、鄭注、物、識也、物識、物識、物識

【物苦】ブツクル　物からおこる苦。又、罪に苦をいふ。
【物議】ブツギ　(仲麻呂伝)　物論をのがれ船も行く月見かな。
【物議】ブツギ　(周礼・夏官)　馬質(近省)有物色及寓産(注)寓者、馬質(近省)有物色及寓産(注)寓、馬刀及毛色共、寓産之等。●物議に同じ。
【物議】ブツギ　(孟子・万章上)　物議(大学衍義補)　二説編之力有段、而物議貴難無常、大学衍義補。
【物議指数】ブツギシスウ　(大学衍義補)　制国用、市糴之令(注)力役、謂被戚、平之物議。
【物議】ブツギ　(大学衍義)　すため、或る差等の標準準備を(○)のこと。●石と現在の物議と比較対照して得た数。
【物議騰貴】ブツギトウキ　物議の高くなること。(陳書、食貨志)　所在錢貨、逆与旧出物議騰貴。
【物議平準】ブツギヘイジュン　物議指数を以て表はされた経済生活の平均位置。
【物我】ブツガ　(荘子、駢拇)　外誘と内部客観と主観。(列子、楊朱)若是皆皆物我兼利、古之聖人、何以為之。
【物格】ブツカク　(大学)　物格而後知至。物我兼利、古之聖人、何以為之。
【物化】ブツカ　(荘子、斉物論)　物化(荘子、斉物論)　物化、自喚(荘子、斉物論)　物化、自喚(荘子、斉物論)　物化、自喚

牛部

【物見板】ぶつけんばん 牛車の物見につけた戸。(蛙抄 車奥)・綱代車 物見板 蒔絵 長物見 簾中如。

【物見簾】ぶつけんすだれ 牛車の物見にかける簾。(蛙抄 車奥)・牛車の物見にかける簾。(蛙抄 車奥)

【物權】ぶつけん 財産権の。直接に物の上に行はれ、相対に対抗し得る権利。(民法 物権)・物権 地上権・水小作権 地役権 留置権 先取特権 質権 抵当権。

【物言】ものいふこと。言葉。(狭衣 四)・上にしかりしかし大納言。(狭衣 四)・いひあり。論。●はさまりとりもてたる物言ども。(蜻蛉 上)・●物言ひさがしてくき世に。(蜻蛉 上)・●この上手などくがてくき世に。(蜻蛉 上)・●ものいふ人の

色 訪ノ之。(注)以其形類、求之。(管蠡)問答紀、於是使五物色道之術。(任昉)與蕭穎州作鵝上表。物色鵝天子委遇于上。(宋史)蔡襄傳)石揆奏、物色可用。(魏天子相)。則以物色、物物之月、命官。(通鑑)文帝、物色太子。(晉書)石勒傳)物色、物色、始見于此。本義謂、博求之。物相等、因訪僧名。(郝玄)、(水經)鄭注、物色、物色、(晉書)石勒傳)物色、物色、(宋史)蔡襄傳)物色、物色、(宋史)蔡襄傳)物色、物色、(宋史)蔡襄

度使制」「刺」物勢」議「調先」

物名 ●物の名。物事の名称。「となへ」

「中論」「論語」「孝経」「荘子」「礼記」「大戴礼」「大義」「春秋」「春秋左伝」「春秋公羊伝」「春秋穀梁伝」「詩」「書」「易」「礼」「楽」「孟子」「論語」「老子」「荘子」「韓非子」「呂氏春秋」「淮南子」「文選」「文心雕龍」「文選」「文心雕龍」「文選」「文心雕龍

の名は同じである。『荘子』逍遥遊篇冒頭に、「北冥に魚あり、其の名を鯤と為す。鯤の大きさ、其の長さ、幾千里なるを知らざるなり。化して鳥となるや、其の名を鵬と為す。鵬の背、其の長さ、幾千里なるを知らざるなり。怒して飛ぶや、其の翼、垂れて天の雲を掩うがごとし。是の鳥や、海の動くや、将に南冥に徙らんとす。南冥とは天池なり。……」

物 物産 物資 物産 物産 物産

【星】19966 コク 義未詳。(篇海)星、音解。

【牰】19967 ジュク 義未詳。(搜眞玉篇)牰、音走。

【牲】19968 チク 義未詳。(篇海)牲、音牝。

五畜

【牲】19969 ヒン (集韻)疑未切 (集韻)牝、牛之無角者。●角のない牛。(集韻)牝、或作牻。●或は牝10・35127に作る。(集韻)牝、或作牻。●或は牝10・35044に作る。(集韻)牝、或作牻。(集韻)牝、或作牝。

【牠】19970 タ 牠7・19969に同じ。(字彙)牠、同牝。

【牧】19971 タク (集韻)他月切 (集韻)牧、牛行也。●牛が歩くに行く。(説文)牧、牛行也。牛部曰、牧、牛也。(集韻)牧、或作牻。●牛が歩く。(説文)牧、牛行也。牛部曰、牧、牛也。(集韻)牧、或作牻。

【牧】19972 (集韻)莫利切 (集韻)牧、牛也。●牛が歩くに行く。(説文)牧、牛行也。牛部曰、牧、牛也。(集韻)牧、或作牻。

【牰】19973 サク (集韻)師各切 (集韻)牛の一種。長い毛を有し、旋毛を作るに適す。犛牛。(玉篇)犛、牛、肉重千斤。(集韻)犛、山牛。(山海經、西山經)小華之山、其獸多、牛・羊・麋・鹿・犛牛。(禮記、檀弓上)孔子之喪、魯人若曰、其如之何哉、泰山其頹乎、梁木其壞乎、哲人其萎乎。(注)犛牛、毛長。(疏)犛牛、牛・羊・麋・鹿・犛牛。(禮記、檀弓上)孔子之喪、魯人若曰、其如之何哉、泰山其頹乎、梁木其壞乎、哲人其萎乎。(注)犛牛、毛長。(疏)犛牛、牛・羊・麋・鹿・犛牛。時珍曰、犛牛、旋毛也。其體多長毛、面身角如犀、故曰毛犀。(説文)犛、旋毛也。其髦可旋毛也。其體多長毛、面身角如犀、故曰毛犀。(説文)犛、旋毛也。其髦可旋毛也。(玉篇)犛、牛名。(廣韻)犛、牛名。(集韻)犛、牛名。(類篇)犛、牛名。(字彙)犛、牛名。(正韻)犛、牛名。(字彙補

牲 小 19986 セイ シャウ 尸ㄥ shēng

〔集韻〕師庚切 庚

●いけにえ。體全へて神を祭るに用ひる牛。始、養ふ時には畜といひ、日をトして吉に用ひる牛。祭に用ひる牛は牲といひ、牢に入れて養ふ牛は牢といひ、共に全牲、從て神を祭に用ひる牛に供する牲類。〔說文〕牲、牛完全也。从牛生聲。〔段注〕引伸爲凡畜之稱。〔周禮、天官、甸人〕掌共二牢之禽。〔注〕六畜、六獸、六禽。〔疏〕六畜、牛羊豕犬雞雁也。始養之曰畜、將用之曰牲。〔左氏、僖三十一〕牛卜日曰牲。〔注〕既得吉日則牛改名曰牲也。〔穀梁、哀元〕全曰牲、傷曰牛。〔注〕已卜、日成牲、而傷之曰牛、未卜日未成牲之牛、一書不同（孝經、紀孝行章）。〔注〕牲、牛羊豕犬雞雁也。〔周禮、夏官、羊人〕掌共羊牲。〔注〕羊、牛羊豕犬雞雁也。始養之曰畜、將用之曰牲。〔左氏、僖三十一〕牛卜日曰牲。〔注〕既得吉日則牛改名曰牲也。〔穀梁、哀元〕全曰牲、傷曰牛。〔注〕已卜、日成牲、而傷之曰牛、未卜日未成牲之牛、一書不同（孝經、紀孝行章）。〔注〕牲

【牀】19991 ハイ 牌(7・19943)に同じ。(字彙補)牌、同、牌。

【犯】19992 ギ 你(1・472)に同じ。(篇海類編)犯、與你同。

【牴】19993 テイ 抵(7・19968)に同じ。(廣韻)牴、手觝切、與抵同。

【牐】19994 ハイ 義未詳。(搜眞玉鏡)牐、布外切。

【牧】19995 チク 義未詳。(篇海類編)牧、音牧。

【牚】19996 ゼン 掙(6・11968)の俗字。(搜眞玉鏡)牚、掙字之爲。

【牽】19997 カン 義未詳。(篇海類編)牽、音牽。

【牽】19998 キン 義未詳。(搜眞玉鏡)牽、輕近切。

【被】19999 タク 義未詳。(搜眞玉鏡)被、他角切。

六畫

【牮】20000 カン (集韻)居寸切 **國**

❶牛を車につける。(正字通)牮、以車統牛在一軛也。❷馬を車につける。(廣韻)牮、馬在車軛中也、犂、猶文駕。

【牽】20001 ケン クワン (集韻)區勉切 **顧**

はなづな。牛の鼻に通した縄。(玉篇)牽、牛鼻棬。(集韻)牽、牛繩、鼻、謂之牽。

【牷】20002 セン ゼン (集韻)疋緣切 **先** くしゅ、ぎ、いけにえ。

牷、牛純色。體、祭祀牲牲、从牛全聲。(段注)牷上脫一字。⑤體の全いもの。(書・微子)「膺懲厥之種牲牲」(傳)體完曰牲。⑥毛の一色で體の完全なもの。(左氏・桓六)「牲牲肥腯」(注)牲、純色全也。❶通して全(1・1424)に作る。(繫・表記)「牲牲、釋文)牲、本亦作」全。

【牲雅】ゼイ 雅樂歌の名。(梁・沈約作、隋書・樂志七)「魏・毛詩・宋元嘉・孝興・舊・舊及梁初亦同、至・是改爲牲雅、取・春秋左氏傳・牲牲肥腯」也。

【牷犧】ゼイ ぎ 毛色が一色で體の全いもの。(周禮・地官・牧人)「凡時祭之牲、必用牲物」(疏)此牲物者、非方非雜、純不雜方之色、是純一身之上其物色俱純、其體損完、不得雜也。

【牺】20003 ゲツ ゲツ (集韻)廣頓切 **風**

牛の僵かなもの。(集韻)牺、牛健謂之牺。

【牲】20004 キ (五音集韻)居淺切 **紙**

牛の鳴き聲。牲(7・19951)に同じ。(玉篇)牲、同、牛聲。(五音集韻)牲、牛聲也。

【牣】20005 アン エン (集韻)默閑切 **刪**

牛の尾の色。或は牣(7・20088)に作る。(集韻)牣、牛尾色謂之牣、或作牣。

【牽】20006 セイ ゼイ (玉篇)勢切 **霽**

牛の角の一本は上に立ち一本は下に曲つてゐるもの。牽(6・12277)・牽(10・3506・6)・犁(4・9617)・觸(10・3510・5)に同じ。(玉篇)犁、牛一角仰、或作牽。「易・睽、其牛犁」釋文)鄭作犁、說文作牽、云、角一仰一仰、子夏作犁、傳云、角仰也、荀作觸。

【牿】20007 トウ 牿(7・20172)に同じ。(集韻)牿、或从同。

【牮】20008 チウ ヂウ (字彙)直絡切 **屋**

姓(字彙)牮、人姓。

【牲】20009 ケツ クワイ (玉篇)呼恵切 **賄**

獸の名。(玉篇)牲、獸名。

【牲】20010 日オウ (集韻)於口切 **厚**
日コウ ク (集韻)古侯切 **面**

❶❷をうし。特牛。(廣韻)牲、特牛。❸牛の牛名。或は牲(7・20152)に作る。(集韻)牲、牛名、或作牲。❹牛の名。犅(7・19936)に同じ。(集韻)犅、牛名、或从后。❺こうけ。特(7・19980)に同じ。(集韻)特、郭璞偏高(廣韻)牲、特牛、或从后。❻犗牲は犗牲、偏馬。

【牲】20011 日キン (玉篇)呼今切 **侵**
日クワン (群海)諫若 **霰**

❶酔を呼びたがるなひ。(玉篇)牲、酔也。(集韻)牲、出・醉呪、或、同上。日(2・3378)に同じ。(群海)牲、亦作、詳。

【牲】20012 ジ (集韻)板覆切 **尤**

❶めです。めん。畜類の雌の總稱。(廣雅・釋獸)牲、雌也。(孔叢子・陳士義子欲遠黨、當畜五牲、二牸民要術、養牛羊雞豚・陶朱公曰、子欲遠黨、當畜五牲、(注)牛・馬・豬・羊・雞五者之牲。❷めうし。

【牲牛】ゼイ めうし。北牛。(說苑・政理)「臣故畜牲牛・牛子而大、賣之而買駒」

【牲犀】ゼイ めすのさい。(開寶眞)「牲犀之角、文理分明。」

【牲牝】ゼイ ヒン 一歲の牝牛。(說苑・權謀)「吳王杜蒲・一歲曰牲、三歲曰牝、其牝、歲曰牲、三

牛部 (五—六畫) 牽牮牷犧牺牲牣牽牿牮牲牮牲牲牿牲牲牲

「牸馬」ぼ。めうま。牝馬。（史記「平準書」）天下牸牝、不得乘牡馬。（後漢書）

「牸牝」ぼ。めうま。牝馬。（後漢書）

「牸牝」者、謂牸牝。（荀悅「漢紀」）孟康曰、皆無父馬。有牝無牡、其即別牸牸、故不出不得會同。師古曰、馬或無父、故牸牝不得會同。師古曰、馬或無父、故牸牝不必以其從牸也。（顧炎武「日知錄」）牸牝不足、牸牝入陣、故駒犢去就地也。

【特】 小篆 ㄊㄜˋ（案謂「獸名」の古文）

牲 小篆 ㄊㄜˋ（案謂「獸名」の古文）

●牛を牽いて、ゆく。有獸の道。（廣雅、釋詁）特、牲也。（字を）ひとりまた。特牛。

「特獸」特、特牛也。从牛牽聲。（段注）孫本氏引說文、特牛、牛父也。因也。詩小雅、我行其野。（毛氏詩居四之一。（注）「牝獸」獸四足特居四之一。（廣雅、注）又曰四歲爲特。（周禮、夏官、大司馬、大獸公之。小獸私之。（注）一歲爲犢、二歲爲駒、三歲爲特、四歲爲肩、五歲爲豜。一びきのいけにへ。（國語、晉語二）子其爲我、具特牲于廟。（注）特、也、凡牲、爲特、④匹の牛。（書、費誓）格于藝祖、用特。（傳、特、牛。）一定だけ。所れた家の子。（荀悅、釋獸）家生、豬、二歲、一特。（疏、其牛子、者爲特。）⑤ひとり。ただひとり。（廣雅、詁三）特、獨也。（戰國策、秦策）我特以二國城從之。（注）特、獨也。⑥ひとつびとつ。孤獨特相。（注）特、獨。（文選、官員、司徒）特相、（注）特、一、猶之、（文）物のつれあひの無いこと。（方言、六物無偶）偶、獸

牸 小篆 ㄊㄜˋ（案謂「獸名」の古文）

「牸獸」特、特牛也。从牛牸聲。（段注）孫本氏引說文、特牛、牛父也。因也。詩小雅、我行其野。（毛氏詩居四之一。（注）「牝獸」獸四足特居四之一。（廣雅、注）又曰四歲爲特。（周禮、夏官、大司馬、大獸公之。小獸私之。（注）一歲爲駒、二歲爲特、三歲爲肩、五歲爲豜。一びきのいけにへ。（國語、晉語二）子其爲我、具特牲于廟。（注）特、也、凡牲、爲特、④匹の牛。（書、費誓）格于藝祖、用特。（傳、特、牛。）一定だけ所れた家の子。（荀悅、釋獸）家生、豬、二歲、一特。（疏、其牛子、者爲特。）⑤ひとり。ただひとり。（廣雅、詁三）特、獨也。⑥ひとつびとつ。孤獨特相。（注）特、獨。（文選、官員、司徒）特相、（注）特、一、猶之、（文）物のつれあひの無いこと。（方言、六物無偶）偶、獸

曰特。●たくひ。つれあひ。（詩、鄘風、蝃蝀）乃如其人兄何、遠父母兄弟。（詩、小雅、我行其野）求爾新特。（傳、特、匹也。）●ぬきんでる。すぐれる。挺立する。（韻會）特、挺立曰特。（詩、小雅、大田）彼有不穫穉、此有不斂穧。（傳、穉、穉穧、穉穧、穉穧

〔特宮〕[illegible]　春秋、晉の大夫、里克に殺される。（左氏僖十二）

〔特牲〕[illegible]　[illegible]、[illegible]、[illegible]、

〔特秀〕ttxx 特別のおもむき。〔後漢書、陽行傳〕「特進」諸侯・諸侯・諸侯・

斻 斻 斻

の所領を進行する。行幸。行啓。行程。行方。行方不明。行方知れず。行方知れ。行方知れ。行方知れ

𤞷 20018 サ シャ (集韻)麻切 麻 牛の名。(集韻)𤞷、牛名。

𤞷 20019 ジ (集韻)麻史切 紙 ❶牛。(玉篇)𤞷、牛也。❷一歲の牛。(集韻)𤞷、牛一歲謂之𤞷。

𤞷 20020 バウ マウ (集韻)夏江切 江

𤞷 小 まだら。まだらうし。白黑雜毛。(説文)𤞷、白黑雜毛也。(段注)謂𤞷色不純。𤞷、𤞷、亦作駹。古文假借作龐。亦作𤞷。云云。𤞷謂𤞷。白黑襍毛。然則凡謂𤞷色不純。亦可用𤞷。𤞷字。

(𤞷牛見新字)(𤞷牛見苦字)(𤞷牛見科字)(𤞷牛見苦字)(𤞷牛見科字)。(説文)𤞷、𤞷也。(段注)𤞷、𤞷也。𤞷、𤞷也。𤞷、𤞷也。

坐法牽上有「牽」字而遺立下者」六字。[牽]字[牽]字。[牽]字[牽]字。[牽]字[牽]

志。而貴戚公侯。或牽車服牛。（注）魏曰。牽車。僕射令。君不使人。使君自牽車。加一人也。（後漢書）。袁紹遣顏良攻白馬。（注）魏略。紹遣顏良。出延津渡河。牽車渡河。

牽拘。〔名〕。國。魏。の人。字は子穆。樂儁の弟。袁紹に仕え、後、曹操に降す。白馬を征し、官は廷尉。太守。（國志。二十八）。

牽涉。〔名〕。かかわり。関係。

牽前。〔名〕。前方に引きつりつる人を応じ助ける。（隋書。劉炫傳。野鳥牽前。鉦譯相後。）

牽染。〔名〕。汚穢の事に引きつりつる人。（後漢書。張休上。臨儁傳。是時部隊令在長。在長。縣。縣令。是時。牽染。將相大臣。白有紘人。）

牽車。〔名〕。車輪を廻する。廻車。（白居易。醉田詩。何必守一方。牽車服牛。）

牽帥。〔名〕。ひっぱりたがる。。牽車。（左氏。襄十五年。帥老者以往。此。）

牽上。〔名〕。ひっぱりあげる。。かかり。（後漢書。孔融傳。面面牽上。）。（魏書。崔浩傳。牽上。）。（隋書。高熲傳。牽上。）。（唐書。崔日用傳。牽上。）。（白居易。遊二林寺詩。牽車登樹。）。（白居易。遊二林寺詩。牽車登樹。）。（王安石。石台石。）。（左氏。襄十八。溪人。水門。）。（白居易。）。（左氏。襄十八。溪人。水門。）。（白居易。）。（左氏。襄十八。溪人。水門。）。（白居易

尾幅（道元、宗教直上引書賢）

【牽衆算命】ki, ya-ma, ou-ino, gaku, mi-ino（南京で生産される牽牛子を持ちつつ吉凶を卜ふものをいふ。

【牽牛補屋】ki-ya-ma-ou-ino-ya（幕をひいてきて屋をつくろふ。轉じて、物事の間隙や缺陥を補ひつくろふこと。（塩鹽、山民獄、武、玄賢、馬、盤民、者、藤、麓、補、宮屋、仕用、佳人、詩、呼、持、貴、塩、遇、者、麓、補、宮屋。

牽 20026 ケン 牽 牽牛。（集韻）牽牛。牽牛。牽牛。

犀。**⑩額上の骨が髮の生え際に入って出てゐること**。食人の相。(岡語・鄭語)**②角**。角犀豐。(注)角犀。詳・論角有・伏犀。**ふがほのたね**。梜・G-14898)に通ず。(説文通訓定聲)**梜**。(集韻)**犀**。(集韻)**犀**。(玉篇)**犀**。(廣韻)**犀**。(集韻)**犀**。(廣韻)**犀**。(集韻)**犀**。(廣韻)**犀**。(集韻

〔20045‥39〕—〔20048‥3〕

【犀】[説文] 犀の角で作った者。『禮記』春官『周禮』掌皮職『管子』地員篇『後漢書』光武紀『後漢書』馬援傳『呉越春秋』『説苑』『説文』『玉篇』『廣韻』『集韻』『類篇』『字彙』『正字通』『康熙字典』『字彙補』『説文通訓定聲』『説文解字義証』『説文段注』『説文新附

敕用 犂耕。

【犂斷】[illegible]。豆腐。犂部10 47984 [illegible]に同じ。

【犂主】右。父。瓦廟碑[illegible]。詩傳也。

【犂犂】[illegible]。地名。犂犂地。山東省臨邑。

【犂犂】[illegible]。人民。[illegible]十二)[illegible]。

【犂牛】[illegible]。黄と[illegible]。

毛色の牛。〔山海經、東山經之首山〕犂牛。

為之山。[illegible]。其中多[illegible]。

〔注〕牛似虎文者。[illegible]。[illegible]。

郫(興)。玄[illegible]。[illegible]。[illegible]。

[illegible]。[illegible]。[illegible]。

[illegible]。[illegible]。[illegible]。

牛部（八畫）掉 犗 犓 犗 犗 犗

【犂】 20063 タウ トウ (龍書手鑑)荒刀切 **圖**
牛の歩のおそいさま。(龍書手鑑)犂、牛行遲牧。
参考 按(7－1987)の轉寫であろう。

【犂】 20064 シュ (篇海)音須
牛が言うことをきかない。(篇海)犂、牛很也。

【犂】 20065 テフ (篇海)音蝶
牛の名。(篇海)犂、牛也。

【牼】 20066 ホン 義未詳。(篇海類編)牼、音青。

【牼】 20067 ①ダ ②未詳。(篇海類編)牼、音情。①牼(7－201145)の俗字(正字通)牼、俗作牼。

【犗】 20068 シウ 掲6－12453に同じ。(篇海類編)犗、與擲同。

【犗】 20069 テイ 低(7－19986)に同じ。(篇海玉篇)犗、與低同。

【犗】 20070 ゼン 義未詳。(篇海)犗、音然。

【犗】 20071 サイ 義未詳。(篇海)犗、音采。

【犅】 20072 コウ 義未詳。(篇海)犅、音吼。

【犅】 20073 ボ 義未詳。(篇海)犅、音模。

【犅】 20074 シウ 掲6－12453に同じ。(龍書手鑑)犅、同上。

【犅】 20075 トク 犅(7－20196)の俗字。(敬文通定書)犅、通俗小說作犅。

九畫

【犍】 20076 ユ (集韻)音朱切 **虞**
黒い牛。(集韻)犍、黒牛也。

【犍】 20077 ケン ケン (集韻)居字切 **願**
欣犍は、力の強い牛。(篇海類編)犍、牛有力者。名。欣犍。

【犍】 20078 ①ケン (集韻)居奚切 **屑** コウ 4－17－3 U+5E2E
②ケン (集韻)紀偈切 **霽**
③ケン (集韻)巡鴛切 **元**
①●きんきりうし去勢した牛。(說文新附)犍、牲牛也。从牛建聲。●去勢する劇(8－22138)に同じ。正字通の戚は劇に作るとするは劇の誤(正字通の戚は劇に作るとするは劇の誤(正字通)。

【犍】 小篆 (說文新附)犍、牲牛也。从牛建聲。●去勢する劇(8－22138)に同じ。正字通の戚は劇に作るとするは劇の誤(正

宇通)犍、或作劇、以刀去勢也。●獣の名。約に似て長尾、人首一目牛耳。(玉篇)犍、獣似約、約人首一目牛耳。(太平廣記北山經)犍、獣似約、人首一目牛耳。(太平廣記)犍、獣似約、而牛耳一目、名曰。諸犍。●犍爲は、郡名。(集韻)犍、犍爲、郡名。●犍(7－201215)に掲載。(集韻)犍、或作犍。(7－200869)に同じ。(集韻)犍、掲載。●獣の名。牛に似て、人首一目牛耳。(集韻)犍、獣名。似牛。

参考 掲6－12453には別字、字未詳、神似一字和獣、音虔、以角擊物、音堅、牛名、犍者、堅、牛名、犍者、名、犍爲、郡名。

【犍爲】 ●●。●郡名。(漢書地理志上)蜀郡、犍爲、郡名。●高、蜀。(漢書)犍爲、蜀郡、犍爲、郡名。●蜀の地。地理志上)蜀郡、犍爲、郡名。(注)柔帝建元六年閏、蜀郡、犍爲、郡名。(後漢書)犍爲、蜀郡、犍爲、郡名。(後漢書)犍爲、蜀郡、犍爲、郡名。(後漢書)犍爲

【種】 20079 チュウ シュウ 〔篇海〕直隴切 **冬**

孕み牛。〔篇海〕種。牛有孕。

【犕】 20080 バウ メウ 〔篇海〕寒包切 **看**

●からうし。犗牛。〔篇海〕犕。犕牛。〔集韻〕犕。司馬相如上林賦、犕兕獲犗。注、師古曰、犗牛卽今之騸牛。按、犗牛當卽犕字。〔正字通〕犕牛。●犕10～25395に同字。〔正字通〕犕本作犕。〔篇海〕作、犕。

【犗】 20081 ソウ 〔集韻〕蘇奚切 **蘇**

去勢した牛。〔集韻〕犗、犗牛。〔篇海〕犗、牛有孕。

【犖】 20082 ソウ 〔集韻〕蘇奚切 **蘇**

犗、倫(正字通)犗、同。〔集韻〕犗、犗牛。

【犍】 20083 リヤウ 〔集韻〕力羊切 **良**

犗(7～20053)に同じ。(字彙)犗、同。

【犛】 20084 リ 〔字彙〕力支切 **支**

まだら牛。犛(7～20048)、犛(7～20154)の譌字。(字彙)犛、牛文。(正字通)犛、犛、犛之譌。

【犢】 20085 ロキ 〔集韻〕汗奉切 **獲**

〔二〕クワイ 〔字彙〕胡狗切 **灰**

●まだら牛の頭。〔玉篇〕犢、犛牛頭也。●牛の名。(集韻)犢、牛名。

【犧】 20086 ホウ フ 〔集韻〕方奇切 **冬**

●野牛。雌雄、安南地方に産す。頸上の肉が隆起して囊駝に似、一日三百支里を行くといふ。〔篇海〕犧牛。〔集韻〕犧、雌雄、犧牛。〔玉篇〕犧牛。〔字彙〕犧牛、牛名。〔正字通〕犧、犧牛。●(4～7426)に通ず。〔廣雅〕犧牛、雌牛。〔注〕卽犧牛也。頸上肉犧起、高二尺餘、狀如囊駝、肉峯一邊、健行者日三百餘里。今交州合浦徐聞縣出。此牛〔義疏〕按、犧、蓋作、封、封者、大也、背上隆起高大。〔漢書西域傳〕罽賓國出、封牛。正作、封字。〔玉篇〕犧、野牛也。〔集韻〕犧、牛名。領上肉犧起如囊駝。肉峯。●錄(4～8594)に通ず。〔廣韻〕犧、亦作、峰。〔後漢書、順帝紀〕疏勒國獻師子封牛。〔注〕封牛、其領上隆起若封然、因以名之。卽今之犧牛。●錄(7～20021)に同じ。〔集韻〕犧、或作、犧。

【犨】 20087 シウ ジウ 〔集韻〕疎侯切 **尤**

〔二〕丟(ジウ)した牛。犨(7～20078)、犨(7～20125)に同じ。〔集韻〕犨、牧牛、或作、犨、犨。〔二〕牛の名。(集韻)犨、牛名。

【犩】 20088 エン 〔集韻〕魚閉切 **元**

犗(7～20095)に同じ。(集韻)犩、或作、犩。

【犪】 20089 〔一〕ケン コン 〔集韻〕居言切 **元**

〔二〕カツ ガチ 〔集韻〕何葛切 **曷**

三歲の牛。犪(7～20143)に同じ。(集韻)犪、牛。歲也、或从參。

【犫】 20090 キヤク 〔集韻〕何葛切 **曷**

犗(7～20196)に同じ。(集韻)犫、或从桀。

【犫】 20091 ヘン 〔正字通〕匹寒切 **先**

●封牛。合則生、獨生、狀類、牦牛、偏氣使然、故謂之犫。●からうし。牦牛。(集韻)犫、牦牛。今所謂犫牛者、顔師古說。

【犫】 20092 クワ 〔集韻〕若木切 **藥**

●郭犫は、牛の一種、又、角のない牛。牦(7～13968)、牦(7～13952)、顔(10～35127)、犫(8～24968)、犫(8～12487)に通ず。〔集韻〕犫、博雅、郭犫、犫無角也、或作、牦、科、犫。〔淮南子〕說山訓、既捕以犫、集解、犫犫、當爲、科犫、後人從、牛作、犫犫、傳寫者又誤爲、犫犫耳。●犫犫は、醜い牛のさま。〔正字通〕犫、犫犫、醜牛狀。

【犫】 20093 ケキ キヤク 〔集韻〕居謁切 **鐵**

牛の一種。〔集韻〕、犫犫、犫犫、牛鬚。

【犫】 20094 シン 〔字彙補〕無新切 **眞**

犫犫は、さかんなさま。〔石鼓文〕犫犫犫犫古。〔字彙〕犫(7～20097)に同じ。

【犩】 20095 ビ 〔集韻〕普眉切 **支**

義未詳。〔篇海〕犩、音眉。

【犩】 20096 テイ 〔集韻〕徒禮切 **齊**

義未詳。〔篇海〕犩、音蹄。

【犩】 20097 シン 〔集韻〕徒禮切 **齊**

犫(6～12093)に同じ。(字彙補)犩、同、犫。

【犩】 20098 ド 〔集韻〕音度 **遇**

義未詳。〔篇海〕犩、音度。

【犩】 20099 タウ 切 **豪**

義未詳。(廣韻五韻)犩、徒豪

【犩】 20100 ドク 〔集韻〕徒禍切 **箇**

義未詳。〔篇海〕犩、音毒。

【犩】 20101 メン 〔集韻〕莫泉切 **寒**

義未詳。〔篇海〕犩、音綿。

【犩】 20102 クワウ 〔集韻〕胡光切 **唐**

義未詳。〔篇海〕犩、音皇。

【牲】20103 セイ 義未詳。(搜眞玉鏡)牲、活生。

【牠】20104 ダ (龍龕手鑑)音駝 牛の名。(龍龕手鑑)牠、牛也。

【牝】20105 ヒ (集韻)毗微切 獨 獣の名。牛に似て白首・目。(集韻)牝、獣名。如牛白首・目。

十畫

【犂】20106 チン (集韻)五民切 陛 牛ののろいこと。(集韻)犂、牛緩謂之犂。

参考 康熙字典は誤って九畫に入る。今、正す。

【犢】20107 トク (集韻)徳力切 職 ❶ひくくて小さい牛。(集韻)犢、牛名。(玉篇)犢、牛小而水牛大、犢牛有黃黑水牛二種。犢牛小而水牛大、犢牛有黃黑。

参考 康熙字典は誤って九畫に入る。今、正す。

【犥】20108 シン (集韻)延鄰切 眞 牛の名。小さくして雑色の牛。(集韻)犥、小牛。(玉篇)犥、牛有二種。犥牛小而水牛大、犥牛有黃黑。

【犦】20109 ヘイ (集韻)匹計切 霽 牛の名。(集韻)犦、牛名。

【犩】20110 タウ ダウ (集韻)延鄧切 隊 牛の名。犩(→20142)に同じ。(集韻)犩、牛名、或从童。

【犩】20111 サウ (集韻)丁雕切 豪 牛の名。(集韻)犩、牛名。

【犩】20112 ❶ゲン (集韻)魚衰切 元 ❷ヴン (集韻)吾貴切 魂 ❶牛に似て三足の獸。(集韻)犩、山海之獸。❷野牛。(集韻)犩、野牛名、角可、爲素材。

参考 (→20147)に同じ。(正字通)犩、獸名。如牛而二足、名曰犩。

【犩】20113 エウ (集韻)餘招切 蕭 牛の名。(集韻)犩、牛名。

【犩】20114 カウ コウ (集韻)口到切 豪 ラ Kao ❶ねぎらふ。飲食を贈って軍士の勞を慰問する。(韓詩18—44309)に同じ。(實雅、釋詁一)犩、勞也。(集韻)犩、餉也、或作犩。

(左氏、僖二十六)使人饋之、犩饋之師。(疏)犩者、以酒食餉、饋軍師之名也。(淮南子、氾論訓)猶以一牛一羊、(注)酒肉曰、饗、牛羊曰犩。❷馳走。おさらふための食物。(正字通)犩、凡役使餉其勞、有所、遣與、亦曰、犩。(公羊、莊四、注)牛酒曰、犩。(韓愈、鄭、士詩)、救死其八珍、不如一罇犩。

【犩】20115 ❶ガク ラク (集韻)逆角切 覺 ❷グワク コク (集韻)胡沃切 沃 ❶白い牛。(說文)犩、白牛也、从牛雚聲。❷犩(→201 93)に同じ。(集韻)犩、或作、犩。❸俗に犩(→20067)に作る。(正字通)犩、俗作犩。

傳所、華多市井子少、利、犩賣、往往捕農民、以協勞。協勞、兵士をいたはりねぎらふ。(呂覽、慎勢)使人足、犩勞以、怒、(注)犩、猶、慰也。(漢書、五行志)使人足、犩勞以、怒、(注)犩、猶、慰也。(呂覽、明君)、遣、使者、持、犩、勞、公卿、(後漢書、光武帝紀)、遣、使者、持、犩、勞、公卿、(後漢書、安帝紀)、遣、使者、犩、勞、

【犩】20116 スウ (集韻)蘇倉切 蒼 ❶まぐさかふ。まぐさを以て牛を養ふ。(說文)犩、以、芻、養、牛、也。(玉篇)犩、養、牛、(段玉裁注)今本、誤、芻、(呂覽、至忠)、犩、(高誘、注)、犩、芻、養、牛、(呂覽、慎勢)、犩、芻、(呂覽、慎大)、犩、芻、(呂覽、慎人)、犩、芻、(呂覽、慎人)、犩、芻、(呂覽、慎人

大夫牛の鬗。祭祀に用ひる。牛柴上手以得家散焉之祓。以為牛。『甘氏』の『開結』項。吳都賦に『祭祀牛』とあり。牛羊大夫牛の『開結』項。『説文』に『祭祀牛』とあり。『説文』、『説文』、『説文』、

槐 20133 キ

後(7－20185)の略字。〔字彙補〕槐、後字省文。

犗 20134 チク

義未詳。〔五音篇海〕犗、丑六切。

犗 20135 セイ

義未詳。〔五音篇海〕犗、音筏。

犗 20136 シン

振(6－12963)に同じ。〔字彙補〕犗、同。振。

犗 20137 トク

義未詳。〔五音篇海〕犗、音特。

犗 20137 シツ ジツ

〔集韻〕蟄夜切 圖

獸の名。蟄(18－47932)に同じ。〔集韻〕蟄、獸名。說文、如小鼠、穴居、食黍粟稻粱。或从牛。

十一畫

犗 20138 ラウ

〔集韻〕落合切 図

牛がつく。牛が觸れる。〔玉篇〕犗、牛抵也。〔集韻〕犗、牛抵。

犗 20139 ㊀サン セン ㊁セイ ジョウ

〔集韻〕所閒切 潸

〔集韻〕所擎切 敬

犗 20140 テキ ダイク

〔集韻〕杳歷切 錫

をうし。犗(7－20623)に同じ。廣雅、釋獸犗、雄也。〔玉篇〕犗、特牛。〔集韻〕犗、或从大。

犗 20141 バ メ

〔集韻〕厦加切 麻

からうし。鮮牛。〔爾雅、釋畜〕麾牛。(注)出巴中、重千斤。(正字通)麾、鮮牛別名。

犗 20142 タウ ダウ

〔集韻〕徒郎切 陽

牛の名。犗(7－20110)に同じ。〔集韻〕犗、牛名、或从堂。(正字通)犗、牛名。廣志云、出日南及漕州大喜銳、色黃黃、異蛇同穴、性清馴、人裹手撫、體取之、角如玉、可以爲器。

犗 20143 ㊀サン ㊁ジン ㊂カン コン

〔集韻〕蘇含切 覃

〔集韻〕瑞鳩切 尤

〔集韻〕結南切 覃

犗 20144 キ

〔集韻〕居胃切 未

黑い耳の牛。犗(7－20145)に同じ。〔爾雅、釋畜〕黑耳、駹。〔集韻〕駹、或書作。犗。

犗 20145 キ

駹(7－20144)に同じ。〔集韻〕駹、或書作。犗。

犗 20146 ㊀ルイ ㊁ルイ

〔玉篇〕力追切 灰

〔字彙補〕魯偉切 賄

㊀㊁●をうし。犗牛。通じて累(8－27343)。●累(8－28939)に作る。〔韓月令〕乃合。累牛騏馬。〔呂覽、季春〕乃合。累牛騏馬。(注)犗牛、特牛也。●子を求める牛。〔玉篇〕犗、求子牛也。●後(7－20183)に同じ。〔類篇〕犗、或作。後。

犗 20147 キン コン

〔集韻〕巧陣切 銜

●よい。(玉篇)犗、善也。●牛が馴れておとなしい。〔集韻〕犗、博雅、柔也。謂牛柔馴。

犗 20148 サイ

〔集韻〕所紺切 感

白色の牛。〔集韻〕犗、牛白色。

犗 20149 ㊀ビン ミン ㊁ビ

〔集韻〕美項切 勢

〔集韻〕母郎切 陽

㊀㊁獣の名。牛に似た獣。〔集韻〕犗、山牛。〔集韻〕犗、獣名、似牛。(山海經、西山經)黃山、有獸焉、其狀如牛、而蒼黑、大目、其名曰犗。

犗 20150 ソ

〔字彙〕采五切 國

牛を使う。〔字彙〕犗、使也。

犗 20151 ショウ ジュ

〔集韻〕常容切 冬

●渦瀾で舟をひく。犗(18－47935)に同じ。〔集韻〕犗、引船逆水中、或作犖。●革が乾く。〔通俗文〕犗、革乾也。

犗 20152 ㊀オウ ウ ㊁ク ㊂オウ ウ

〔集韻〕於口切 有

〔集韻〕匡遇切 遇

〔集韻〕烏侯切 尤

㊀㊁㊂●をうし。〔集韻〕犗、特牛也。●拒(7－20010)に同じ。〔集韻〕犗、或作。拒。

牛部 (十一—十二畫) 槐犗犗犗

犥 20153 ヨウ (集韻)餘封切 **冬**

野牛。くびに隆肉がある。犛牛。犛牛。犛牛。(10—36622)。犛(7—20631)。犛(4—9378)に通ず。(廣韻)犛、獸似牛、領有肉也、犛・犥・並上同。(集韻)犛牛名、領有隆肉。(正字通)犥、大月氏國封牛也、相如傳言、犥旄、爾雅有犛牛、師古曰、即牛、樓天子傳謂之物牛。(漢書、司馬相如傳上)廣旄犛牽。(注)師古曰、廣牛、即今之犛牛也。(司馬相如上林賦)犛旄犛牽。(注)良曰、郭璞曰、犥、似牛、領有肉堆、也。

犛 小篆 20154 ボウ (集韻)謨袍切 **豪** 四ボウ 四リ (集韻)陸之切 **支** 四ライ (集韻)郎才切 **灰** カイ

三四 からうしゃく。西藏語大きな小牛に似、角は長くて、大體圓筒狀をなし、肩の上方、背部は短く、體側下部及尾とには長く柔かで厚い絲毛があり、四肢は割合に短く各三一跨を具へ、體色は普通黑、產地は亞細亞の高原地方。產出家畜で、乳汁・肉・毛、みな有用である。殊に毛は毳に用ひる。昔は其の尾の毛で旒を作つたので旒牛ともいふ。犛(10—36958)。髦(8—13427)。旄(8—16952)。髦(13—45377)に通ず。(說文)犛、西南夷長髦牛也、从牛、釐聲。(集韻)犛、牛名、黑色。(集韻)犛、或作氂。氂・髦・髦、通作貓。(本草)、犛牛・野牛・犛牛・犛牛・犛牛・牛旄・牛・牛牛・時珍曰、犛者、髦也、其髦可施旄、也、其體多長毛、而身角如犀、故曰毛犀、及犛角作犀、山海經作犛牛、西山呼爲竹牛、因角理如竹也、或云、竹作音之轉也、而犛又作音之轉也、楊慎丹鉛錄云、毛犀即犛也、狀如犀而角小、籍神是矣。

(會意 才三)

犛 小篆 20155 タウ (集韻)徒刀切 **豪** 通 犛、本作、犛。

(正字通)犛(7—20192)の本字。

犛 20156 ヒ 犛(7—20192)に同じ。(字彙補)犛、與犛同。

犛 20157 シュク 義未詳。(龍龕手鑑)犛、所六切。

犛 20158 バク 義未詳。(搜眞玉鏡)犛、莫交切。

犛 20159 クワン 義未詳。(五音集韻)犛、呼關切。

犛 20160 テイ 義未詳。(搜眞玉鏡)犛、音頂。

犛 20161 キヤウ 義未詳。(搜眞玉鏡)犛、音姜。

犛 20162 タ ダ (新海)延城切 **歌**

牛に尾が無い。又、はげあるま。犛(8—15526)。犛(7—20127)を見よ。(淮南子、說山訓)駑牝牛、四掛以犛。(注)犛無尾。(集解)王念孫云、說文、玉篇、廣韻、並無掛字、掛犛、當爲科犛、後人從牛作掛、犛、傳寫者又誤爲掛、犛耳、科與犛、皆禿殺也。

十二畫

犛 20163 ルイ 犛(7—20146)に同じ。(字彙)犛、同、犛。

犛 20164 ジュウ ジョウ (集韻)程隆切 **冬**

牛の名。(集韻)犛、牛名。

犛 20165 シン (集韻)息利切 **寘**

●四歳の牛。犛(7—19972)に同じ。(說文)犛、四歳牛、从牛、辰聲。●歳の牛。(說文)犛、犛、段注)案翰不、詳。(集韻)犛、即犛字、而謂、犛乃二歳牛之正字也。

犛 20166 タツ ダツ (集韻)蔵点切 **忽**

ふれる。あたる。(集韻)犛、抵也。

犛 20167 サン 犛(7—20143)の俗字。(正字通)犛、俗犛字。

犛 20168 トン (集韻)都昆切 **元**

牛の名。(集韻)犛、牛名。

犛 20169 クワク クワツ (集韻)頑光切 **陸**

牛の名。(集韻)犛、牛名。

犛 20170 ケツ クワチ (字彙)居月切 **月**

牛の名。(字彙)犛、牛也。

犛 小篆 20171 トウ ヅ (集韻)徒東切 **東**

角のない牛。犛(7—20007)、僮(1—23775)に同じ。(說文新附)犛、無角牛也、从牛童聲、古通用、僮。(爾雅、釋畜)犛牛。(注)今無、角牛。(玉篇)犛、赤作、犛、(集韻)犛、或从、同、通作、寘。

【樸】20172 ハク（集韻）匹角切 覺

㊀をうし。（集韻）樸、特牛。㊁主鬱しない牛。

【𤛑】20173 ジン（集韻）徐心切 侵

ジン（集韻）徐心切 侵

牛の名。（集韻）𤛑、牛名。

【𤛑】20174 ゲウ（集韻）魚小切 篠

㊀獣の名。（集韻）𤛑、獣名。㊁牛馬がはねをとる。（集韻）𤛑、一曰、趙魏謂牛馬騰躍曰𤛑。

【𤛑】20175 音未詳 ほしし。（『倉頡篇』）以鹽（示唆鮮鱻之其）（『玉』）乾肉爲𤛑。

【𤛑】20176 ケン 義未詳。（『倉頡篇』）𤛑、音𤛑。

【𤛑】20177 セイ 駐（128－4479）に同じ。（字彙補）駐、同。

【𤛑】20178 ケキ 義未詳。（『五音集韻』海種）𤛑、キュウ。

十三畫

【𤛑】20179 トク 𤛑（7－20196）に同じ。（集韻）𤛑、或从𤛑。

【𤛑】20180 キャク カウ（集韻）居良切 陽

㊀𤛑の異。牛。𤛑（7－20056）に同じ。（說文）𤛑、牛長脊、从牛畺聲。（集韻）𤛑、或从𤛑。㊁白い𤛑の牛。（廣韻）𤛑、一曰、白脊牛。㊂白牛。（玉篇）𤛑、白牛也。

【𤛑】20181 クワン 𤛑（7－20182）に同じ。（『倉海』）𤛑、同。

【𤛑】20182 クワン（『倉海』）呼關切 刪

おとる。（『倉海』）𤛑、劣也。

【𤛑】20183 クワン 𤛑（10－36356）に同じ。（字彙補）𤛑、同。

【𤛑】20184 チツ チチ（字彙）直一切 質

姓。（字彙）𤛑、人姓。

【𤛑】20185 ㊀キ（集韻）羽鬼切 ㊁ギ（集韻）語摩切 ㊂ヒ（集韻）匪貴切 紙

㊀牛の名。（集韻）𤛑、牛名。㊁牛の一種。𤛑（7－20218）に同じ。（集韻）𤛑、獣名。如牛而大、肉數千斤、或作𤛑。

【𤛑】20186 カイ（集韻）下賈切 麻

獣の名。𤛑（7－20734）に同じ。（集韻）𤛑、獣名、或作𤛑。

【𤛑】20187 タウ 𤛑（7－20191）に同じ。（集韻）𤛑、或作𤛑。

【𤛑】20188 ㊀レイ（玉篇）力勢切 霽 ㊁ライ（玉篇）力大切 泰

㊀㊁脊の白い牛。𤛑（7－20195）に同じ。（玉篇）𤛑、白脊。（『康熙字典』）𤛑、廣韻・集韻・並作𤛑、从𤛑聲。正。

【𤛑】20189 ショク 義未詳。（『廣韻』）𤛑、色。

【𤛑】20190 アン 義未詳。（字彙補）𤛑、烏感切。音𤛑、見𤛑典。

【𤛑】20191 ㊀タウ ㊁ドウ（集韻）冨刀切 豪 ㊂タイ（集韻）當來切 咍 ㊃セウ（集韻）市招切 宵 ㊄ケウ（集韻）去久切 有 ㊅サイ（集韻）耳來切 咍 ㊆ジュウ（集韻）當周切 尤

十四畫

【𤛑】20192 ジュ ニュ（集韻）儒遇切 遇

㊀牛のはき。（字彙補）𤛑、牛糞。㊁牛の名。（集韻）𤛑、牛名。

𤛑 小 ㊀㊁㊂㊃㊄子のない牛羊。もと𤛑（7－20155）・𤛑（7－20187）に作る。（正字通）𤛑、本作𤛑。（說文）𤛑、牛羊無子也、从牛粤聲。讀若『穆穆之穆』。（集韻）𤛑、或作𤛑。

【𤛑】20193 ㊀ゴク（集韻）吾沃切 沃 ㊁ガク（集韻）逆角切 覺

㊀㊁白い牛。𤛑（7－20115）に同じ。（集韻）𤛑、牛白色、或从奎。

十五畫

【𤛑】20194 サウ（字彙）所鄙切 馬

牛がよい。（字彙）𤛑、牛善也。

【𤛑】20195 ㊀ライ（集韻）落蓋切 泰 ㊁レイ（集韻）力制切 霽

𤛑 小 ㊀㊁脊の白い牛。𤛑（7－20212）に同じ。（說文）𤛑、牛白脊也、从牛𤛑聲。（集韻）𤛑、或从𤛑。牛の名。（廣韻）𤛑、牛名。牛の病。（正字通）𤛑、牛病也。牛𤛑（7－20183）に同じ。（『康熙字典』）𤛑、牛名。牛の病。

牛部（十一——十五畫）樸𤛑𤛑𤛑

牛部（十五畫）犢犢犥犇犦犢犢犢

犗 20203

㊀ハウ（集韻）胡茅切 豪
㊁ハウ（集韻）補牢切 牢
㊂ホウ（集韻）薄刀切 豪
㊃ホウ（集韻）浮保切 皓
㊄ホウ（集韻）巨刀切 豪
㊅ホウ（集韻）巨牢切 豪

牛名。（集韻）犗、牛黃白色。从牛、胞聲。一曰、牛色不一。（説文）

犗 20204

ゼン 獮（同）犗。

（説文7・202219）に同じ。（玉篇）

犗 20205

㊀ハク（集韻）弼角切 覺
㊁ホク（集韻）通沃切 沃
㊂ホウ（集韻）伯各切 陌
㊃ハウ（集韻）巴好切 皓

牛名。（集韻）犗、牛色不一。美澤固牛の名。（説文）犗、牛色不一。美澤固牛の名。（集韻）犗、牛名。

犗 20206

㊀エイ（集韻）子歳切 霽
㊁ケイ（集韻）苦惠切 霽
㊂クワイ（集韻）溪壞切 皓

牛の一種。（説文）犗、牛名。（集韻）犗、牛名。（玉篇）犗、牛名。（廣韻）犗、牛名。（類篇）犗、牛名。（字彙）犗、牛名。（正韻）犗、牛名。（字彙補）犗、牛名。（説文）犗、牛名。（集韻）犗、牛名。（玉篇）犗、牛名。（廣韻）犗、牛名。（類篇）犗、牛名。（字彙）犗、牛名。（正韻）犗、牛名。（字彙補）犗、牛名。

犗 20207

ジュン 字通補 犗本字。

（説文7・202023）の本字。（正韻）犗、犗本字。

犗 20208

クワイ（集韻）溪乖切 皓

獸の名。牛に似て人目四角。（玉篇）犗、似牛四角人目四。（集韻）犗、牛名。人目面四角。

犗 20209

ヨキ（集韻）庫官切 寒
ヨキ（集韻）桑何切 歌

（説文）犗、宗廟に供へる牲。

犗 小 ㊀㊁ ●いけにへ。宗廟に供へる牲。（説文）犗、宗廟之牲也。（廣）犗、牲也。（玉篇）犗、牲也。（廣韻）犗、牲也。（類篇）犗、牲也。（字彙）犗、牲也。（正韻）犗、牲也。（字彙補）犗、牲也。（説文）犗、宗廟之牲也。（集韻

にへの木形を供へるのに、質はつまぬものを神へておいて、質の詞に大ぶさに言ひやうなぞをしてゐ、不信の者を用ひぬ。（左氏・哀十七）公曰、犧牲玉帛弗敢加也。必以信。（注）敢、辭。祝嘏（神祇）・祝官等の本。於明反。

【犧牲】ぎせい ぎせい いけにえの獣。「文」に犧牲。

【犧牲】ぎせい ぎせい いけにえ。犧牲を見れば、（犧）祭義（禮記）祭統（禮記）祭義（禮記）祭統（禮記）祭義（禮記）祭統（禮記

十七畫

【犖】 20212 ワ (篇海)爲猛切 麻

❶こうし。(篇海)犖、又犢也。❷牛が鳴く。又、その聲。(篇海)犖、一曰、牛鳴。❸牛の子を呼ぶ聲。(篇海)犖、喚牛子聲。❹犖(7－20201)の誤字。(正字通)犖、犖字之譌。

【犖】 20218 ヨギ (集韻)語韋切 魚 ヨギ (集韻)讀食切 昔

❶❷牛の一種。體大きく肉數千斤。犖牛。(注)犖牛也、如牛而大、肉數千斤、出駒山、山海經云、岷山多犖牛。(集韻)犖、或作犖。

【犖】 20219 ヨウ (集韻)頭紹切 蕭 ヨウ (集韻)初招切 蕭

犖、本 やはらぐ。(說文)犖、牛柔謹也、从牛夔聲。(玉篇)犖、從也、馴也、尙書、犖而毅。❷よい。(廣雅、釋詁二)犖、善也。❸やすし、やすらか。(玉篇)犖、安也。❹犖(7－20224)に同じ。(玉篇)犖、同犖。

【犖】 20220 ハク (篇海)博本切 模

犖、(7－20205)の本字。(正字通)犖、俗本字。

【犖】 20221 カン ガン (集韻)官雁切 刪

牛の角が曲る。(集韻)犖、牛角曲。

【犖】 20222 サウ (篇海)子郎切 陽

善い牛。(字彙補)犖、牛善也。

【犖】 20223 ライ (篇海)力代切 隊

犖(7－20195)に同じ。(字彙補)犖、同犖。

十九畫

【犖】 20224 ヒ (集韻)匹寄切 寘

犖、(7－20200)に同じ。(集韻)犖、或从熊。

【犖】 20225 ライ (集韻)郎紹切 篠

犖(7－20195)に同じ。(集韻)犖、或从蓋。

【犖】 20226 リヤク 義未詳。(搜眞玉鏡)犖、力紹切。

二十畫

【犖】 20227 キ (集韻)重鬼切 支

牛の一種。犗牛。犖(8－5747)に同じ。(爾雅、釋畜)犗牛、注)卽犖牛也、云云、山海經、岷山多犖牛。(山海經、中山經)岷山、其獸多犖犀象。多犖、犗。

【犖】 20228 キク (玉篇)巨六切 屋

牛の名。(玉篇)犖、牛也。

二十一畫

【犖】 20229 ハ 義未詳。(搜眞玉鏡)犖、百駒。

二十二畫

【犖】 20230 ルイ (集韻)倫追切 支

❶子を求める牛。(集韻)犖、求子牛。❷牡を追求めるもの。(集韻)犖、一曰、騭犖也。❸犖(7－20146)に同じ。(篇海)犖、同犖。❹犖(7－20163)、累(8－27243)に同じ。(集韻)犖、或作犖・累。

【犖】 20231 バン 義未詳。(篇海)駢、音樂。

二十一畫

【犖】 20232 シウ 犖(7－20210)に同じ。(玉篇)犖、同犖。

二十四畫

【犖】 20233 レイ リヤウ (集韻)郎丁切 青

牛の名。犖(7－19976)に同じ。(集韻)犖、牛名、或作、犖。

犬部

【犬】 20234 ケン (集韻)苦法切 ケン (集韻)苦法切 (くしけ) chi-kuei

大 小 犬 [illegible]

○いぬ。家畜の名。〔說文〕天、狗、觀大之獸者也。象形。孔子曰、狗、� 犬也。〔禮、曲禮上〕效犬者左牽之。〔疏〕狗、大通名。〔本草、狗〕之、則大者爲犬、大小者爲狗。〔本草、狗〕案解、時珍曰、狗類甚多、其用有二、一曰長嘴無腰、吠犬、短嘴善守、食犬、體肥供饌。○つまらぬものの喩。自己のものを卑下し或は他人をを輕蔑して言ふ。〔漢書、食貨志上〕後世、以金爲刀龜貝布帛爲財幣、流通天下、而錢布之屬、生于當世、利足以通財、寶足以藏身、民之所欲、雖千里而一往、犬馬之性、至愚而不易、故先王之制、使天下之用、必由于是、今民間或以金刀龜貝爲飾、是上之所禁、而下之所用也、其爲僭偪、不小矣。〔漢書、食貨志上〕錢、文如其刀、長二寸、重五銖、民間以爲寶、而龜貝金錢之屬、皆爲飾用、不可以爲幣、是上之所禁、而下之所用也、其爲僭偪、不小矣。〔後漢書、馬援傳〕建初七年、郡蠻夷、不堪其政、郡中都尉、皆以法繩之、蠻夷大小、數上書訴、帝遣援、因上書、陳其利害、援上書曰、臣聞、蠻夷之性、畏威而不懷恩、其來久矣、今郡縣以法繩之、一犯其禁、輒以千萬、是爲驅犬羊而入之於網羅、而不可復制、臣愚以爲、蠻夷之性、可以恩信、而難以威屈

は云云。倒多好む事ごとをばは、犬くひ田樂なを老蘇けける。無道のことをば、犬くひ田樂なをふさま〔謡曲摩耶〕いくらくひたりの事、うつひさきりなく、ちりをくひ、くひたりなるをいへ。

犬心 犬の心。犬の心。「犬心ハ、犬ノ心ハ、犬ノ心ハ、犬ノ

絶角死。〔注〕凡行軍下營、四面設一天鋒、以守之。獻策謂使、貴中知所、警備。

〔大才〕[ta]ダイ　古、西方の夷狄の名。大戎(S)に同じ。〔山海經、海內經〕西王母、西王母の東狄の名。大戎(S)に同じ。〔山海經、海內經〕西王母、西王母の東狄の名。大戎(S)に同じ。〔大戴禮記、五帝德〕大戎國曰、大戎國、狄如大。

〔大羊〕[ta]ダイ　いぬとひつじ。〔大戴禮記、五帝德〕大戎國曰、大戎國、狄如大。

〔大羊之質〕[ta]ダイ　犬の性質。〔後漢書、馬援傳〕援、上疏曰、「夫、人之性、大羊之質、而、以、一、羊、之、法、治、之、則、不、可、復、振、矣。」

〔大羊之皮〕[ta]ダイ　犬の皮。〔後漢書、馬援傳〕援、上疏曰、「夫、人之性、大羊之質、而、以、一、羊、之、法、治、之、則、不、可、復、振、矣。」

〔大羊之質〕[ta]ダイ　犬の性質。〔後漢書、馬援傳〕援、上疏曰、「夫、人之性、大羊之質、而、以、一、羊、之、法、治、之、則、不、可、復、振、矣。」

〔大官〕[ta]ダイ　官名。おほはだて。〔春官に屬する官職。起官、官名を開く。〔和漢三才圖會、酒部〕「大官、相伝、而、有、官、名、也。」

〔大官人〕[ta]ダイ　官名。〔周禮、天官〕「大官人、掌、王、之、膳、羞、」

〔大官令〕[ta]ダイ　官名。〔周禮、天官〕「大官令

犯

⑫詞曲の要語の名。「音音」音音を置き換へた曲。犯聲(ｳｾﾝ)犯調(ｳｾﾞ)を見よ。「中華大字典」「犯、詞曲移換音調。日犯、如關邦彥吉了犯、袁變慶流犯之類。(袁變、清涼犯)、孫惟善流犯之類。(孫惟善、雨風起)。注」仙呂調。

犯商調。**⑬**古妄(7-20238)。犯(4-1004)に作る。「古籍」犯、古犯字。(袁謝)犯、古犯字。

犯案(ﾊﾝｱﾝ) 犯した罪のしらべがき。

犯罪(ﾊﾝｻｲ) 罪をその責任。故意。

犯威(ﾊﾝｲ) 威嚴をおかす。君の威光を恐れず。

犯(ﾊﾝ) 罪を犯した人。(風俗通)性禮犯尉(ｲﾝ)下、史記、武帝紀、博士、賢良、諸侯、長吏、郡國、二千石、犯法者、(注)師古曰、犯、罪人也。

犯罰(ﾊﾝﾊﾞﾂ) 罪を犯した人。(風俗通)性禮犯尉(ｲﾝ)下、史記、武帝紀、博士、賢良、諸侯、長吏、郡國、二千石、犯法者、(注)師古曰、犯、罪人也。

犯闕(ﾊﾝｹﾂ) かこみを破る。(孟子、盡心下)孟子曰、天子之不肖、猶諸侯之不肖、諸侯之不肖、猶卿大夫之不肖、卿大夫之不肖、猶士之不肖、(後漢書、酷吏、董宣傳)董宣、字名、(中略)宣、(中略)、(中略)、(中略)

【犯】ハン 利也の犯 利益の犯 ハン。宮調の曲を藤調に變じ、商調の曲を宮調に變ずる類。『陳暘』樂書『樂府雜録』曲名不用

名。鬼が狐に似てゐるからいふ。〔本草 青高〕釋名〔保昇曰〕草高、江東人峰高。狐葉、鬼葉、鬼目鼠息狐が狐也。

狆 20245 ヨシ 〔集韻〕上紙切 紙 ヨシ 〔集韻〕時遮切 麻

獸の名。狼の一種。狐に似て白尾。〔集韻〕狼類、似狐白尾長、見則有兵。〔山海經、中山經〕蛇山「有獸焉、其狀如狐、而白尾長耳、名曰狆狼。

狄 20246 ケキ キヤク 〔集韻〕居逆切 陌

獸の名。狐(＝20395)に同じ。〔集韻〕狐、狐埋也、或作狄。

〔執谷〕[illegible]。能登國の地名。

狂 20247 タク チヤク 〔集韻〕陟格切 陌

托は、家畜の名。驢と牛との合の子。駝(18・4552)に同じ。〔廣韻〕托、托貊。〔集韻〕駝、駝貊、獸名。驢父牛母、或作托。

狂 20248 サイ 〔集韻〕祖賜切 [illegible]

狂(10・9550)に同じ。〔集韻〕狂、或作狂。

狂 20249 ヨウ 〔集韻〕伊堯切 [illegible]

獸の名。約に似た斑文のあるもの。一説に、約に似て斑文の無いもの。〔玉篇〕狗、獸約文。〔集韻〕狗、獸名。出陵山。狀如約而無文。〔山海經、西山經〕底陽之山「其獸多犀兕虎豹作牛、」[illegible]狗(10・9599)に同じ。〔正字通〕狗、狗即狗字。[illegible]に同じ。

狂 20250 ゲン 〔集韻〕魚群切 [illegible] ゲン 〔集韻〕魚怠切 [illegible] ウン 〔集韻〕居見切 [illegible]

●とびすの野犬。**狂**(10・9550)、干(＝0126)に同じ。〔說文〕干、胡也。胡地野狗、狂干、或从犬。〔集韻〕干、陰胡曰、黑喙者干、故字从犬。干、干、扞也。**●**ひとや。鄉亭に在るひとや、朝廷に在るを獄といふ。犴(＝9009)に通ず。〔說文〕犴、詩曰、宜犴宜獄。〔詩、小雅、小宛、宜岸宜獄、釋文、岸、韓詩作、犴、音同、云、鄉亭之獄曰、犴、朝廷曰、獄。〔荀子、宥坐〕獄不治、倍(注)犴、亦獄也。**●**姦。〔漢書、梁孝王傳〕元朔中、雖國人行反、人辱、其父、而與之姦、太守客、供出同車、行反、殺其仇車上、亡去、(注)師古曰、犴、姓、反、名也。**●**圉虎を蓋し大。犴(＝20388)、[illegible]、[illegible]、虎犬、或从犬。〔公羊傳、哀公十四年〕麟者何、[illegible]、[illegible]、[illegible]

大部（四畫）　狫 犺 犯 猷 狮 狮 犴 狐 狐 狐

屬出豹國（或省、亦从大）。

狃 20279

㊀ヂュウ（集韻）呼官切 寒
㊁ハン（集韻）方愼切 元
㊂ホン（集韻）雨遠切 阮

〔狃〕野豚、猪〔一〕。20280に同じ。〔集韻〕狃、野豚。狃、上同。●連狃は、相從ふさま。連狃は、相從ふさま。〔荘子、天下〕其書雖瑰瑋而連狃無傷也。〔釋文〕連狃、李云、皆宛轉貌。●連狃は、犬のまろびさま。〔集韻〕狃、連狃、宛轉貌。㊁〔一〕の●に同じ。㊂或は抃（5—1280）に作る。〔玉篇〕抃、戒作。抃。〔荘子、天下、釋文〕連狃、本亦作抃。

狀 20280

サウ、ジョウ ［集韻］助浪切 漾 chuang

●かたち。ありさま。④犬のかたち。〔説文〕狀、犬形也。从犬爿聲。爿、古文牆。〔朱駿聲〕狀、犬形。然而成文。〔注狀、類也。㊁のべる。陳述する。〔朝會狀、陳也。〔荘子、德充符〕

因之。僕未時狀元不必是第一名。第三、三人亦有此銘。〔韓愈、送孟東野序〕孟東野、性好苦思冥搜、其所爲詩、必出於人意表、而後已。其在唐、以詩鳴者、孟郊、賈島、最其所長。郊之詩、葬送哀思、窮愁感憤者之所爲也。其聲音節奏、有如此者、宜其不得於時、而一寓於物、以自見其所長也。今二人者、已死、其生平所爲、有可以傳者、郊之死、朋友門人謚之曰貞曜先生、其葬也、親戚故舊、相與哭之、而有其人。〔唐、李肇、唐國史補〕上、第、進士及第、又云、狀元、榜眼、探花、鼎、進士及第、又云、狀元、榜眼、探花、制所定、則以一甲第、人、鳴、狀元、前明已爲定制矣。

云、狀元、科舉時代、殿試、廷試に第一等で及第した者をいう。狀元とは秘書官が天子の旨を受けて答案を調べ、之を狀上する際、其の成績の首に名を列するの意。其の成績は、第一、唐の長安、武后の天授元年、親しく貢士を洛陽宮城に集めて、其の首席は解元（又は魁首）と呼ばれ、殿試は、元来、狀頭又は魁首と呼ばれた。同、解元の首に次ぐ二席は榜眼と呼ばれた。同、殿試の第三、二席は、探花と呼ばれた。同、元と称ふ。元、至つて第三席を探花と改めた。探花とは、探花郎に由来する。唐の時、清明の日、曲江の池に宴を張り、新進士、第一人、探花郎に、花を採らしめたことに、因る。

〔狀況〕ジャウキャウ 様子、模様。ありさま。〔特況〕

〔狀元〕ジャウグワン 科挙の第一位。〔狀況〕

〔狀元花〕ジャウグワンクワ 唐、長安、曲江の池に、宴を張り、新進士、第一人、探花郎に、花を採らしめたことに、因る。〔韓愈、送孟東野序〕孟東野、性好苦思冥搜、其所爲詩、必出於人意表、而後已。其在唐、以詩鳴者、孟郊、賈島、最其所長。郊之詩、葬送哀思、窮愁感憤者之所爲也。其聲音節奏、有如此者、宜其不得於時、而一寓於物、以自見其所長也。今二人者、已死、其生平所爲、有可以傳者、郊之死、朋友門人謚之曰貞曜先生、其葬也、親戚故舊、相與哭之、而有其人。〔唐、李肇、唐國史補〕上、第、進士及第、又云、狀元、榜眼、探花、鼎、進士及第、又云、狀元、榜眼、探花、制所定、則以一甲第、人、鳴、狀元、前明已爲定制矣。

〔狀元紅〕ジャウグワンコウ 紅、紅花。●紅花（5—2280）の異名。〔唐、段成式、酉陽雜俎、前集、卷九〕紅花、一名、狀元紅、花葉類紅藍、而小、出西域、今蜀中、亦有種者、因以、狀元、通、〔唐、段成式、酉陽雜俎、前集、卷九〕紅花、一名、狀元紅、花葉類紅藍、而小、出西域、今蜀中、亦有種者、因以、狀元、通、〔唐、段成式、酉陽雜俎、前集、卷九〕紅花、一名、狀元紅、花葉類紅藍、而小、出西域、今蜀中、亦有種者、因以、狀元、通、

〔狀元糕〕ジャウグワンカウ 唐、長安、曲江の池に、宴を張り、新進士、第一人、鳴、狀元、糕、

者好相人。見高祖狀貌因重敬之。「狀貌不及中人」[illegible]。猶かたちが普通の人よりも劣ってゐる。(史記、游俠傳贊)吾見郭解、狀貌不及中人、言無足採。「足」採者。

狀文 [illegible] 手紙。ふみ。書狀。

狀筥 [illegible] 書狀の箱。

狀貌 [illegible] 容貌の意。

【狋】 [illegible] 詩に巧者は、名狀しがい景色を目前に在るやうに寫し出す。詩人王昌齡、詩式に、詩之工者、寫一境如不思之意、見於言外。

【狋】 [illegible] 詩に巧者は、名狀しがい景色を目前に在るやうに寫し出す。詩人王昌齡、詩式に、詩之工者、寫一境如不思之意、見於言外。

【狋】 [illegible] 獸の名。狐に似てゐる。(字彙)狋、獸、似狐出則有兵。

【狋】 [illegible] 獸の名。狐に似てゐる。(字彙)狋、獸、似狐出則有兵。

【折】 [illegible]

【抉】 [illegible] 獸の名。(集韻)狄、獸名。●獸が走るがこゝに繪(マ-20729)に同じ。(集韻)繪、博雅、擾也、一曰、狡也、或作抉。

【狗】 [illegible] 獸の名。約に似て斑文が少ない。(集韻)狗、獸名、似約而少文。

【狗】 [illegible] 鈎(10-9268)に同じ。(廣韻字典)狗、與鈎同。

【狁】 [illegible] 獸名。(集韻)狁、獸名。

【狂】 [illegible] 亂する。狂がちがふ。(史記、宋世家)箕子乃被髮佯狂而爲奴。(淮南子、主術訓)狂而操、利劍。(注)狂、發亂也。●くるむ。ぼける。理非得失を辨へぬ愚者になる。(廣雅、釋詁二)狂、癡也。(莊子、遊遙遊)吾以是狂而不信也。(楊文昭、李云、癡也。(希現)を逸する。(左氏、昭二十二)幼而狂。(注)狂、天性也。(淮南子、人間訓)其敝也、狂也。●きちがひ。(論語、陽貨)其敝也、愚也。●きちがひ。もと狂マ-20458に作る。(正字通)狂、本作狂。④きちがひ犬。狂犬。(說文)狂、狗犬也。◎精神が錯亂する病。(實觀)狂、病也。(書、微子)我其發出狂。(韓非子、解老)心不能審得失之地、則謂之狂。⑤精神の錯亂した人。(詩、鄘風、山有扶蘇)乃見狂且。(傳)狂、狂人也。(呂覽、章句)其知不若狂。(注)亂行妄發、之謂狂。●むやみに人に接する やたらにいかる。(論語、陽貨)其敝也狂。中論、考績篇)(注)妄、怒也。(孟子、盡心下)無傷、蓍龜繁。(詩)狂夫瞿瞿。●とち狂。●まどふ。(集韻)狂、惑也。(同)犬の走るさま。狂狂。(集韻)狂、狂狂、犬走兒。●闘ごとをふ。くるひ。④戲れ遊ぶ。(詩、衛風、淇奥)善戲謔、不虐人。●はめを外れる。猥雑に流れ。あてが外れる。猥雑に流れ。「狂闘」[illegible]。おろかで道理にくらい。(孟子、盡心)唯、(集韻)狂、或作抉。同犬の爭ふこと。斷(集韻)斷、犬爭。(字彙)狂、或作抉。

日キョウ (集韻)巨王切 [illegible]

日キョウ (集韻)眞欣切 [illegible]

日キョウ (集韻)居縛切 [illegible]

日ケツ (集韻)古犬切 [illegible]

日クワイ (集韻)吾犬切 [illegible]

日ケツ (集韻)居縛切 [illegible]

日ゼン (集韻)樂玄切 [illegible]

日ゼン (集韻)胡清切 [illegible]

日ゼン (集韻)樂玄切 [illegible]

日ゼン (集韻)巨王切 [illegible]

日ゼン (集韻)樂玄切 [illegible]

日ゼン (集韻)樂玄切 [illegible]

日ゼン (集韻)樂玄

劉陶傳「臣事野狂聞，不逢大義。

「狂逃」ᵗᵒᵗᵒ くるひ走る。狂惑。〔史記司馬相義曰〕雄走。

「狂逸」ᵗᵒᵗᵒ くるつて逃げる。〔南史、魏書傳〕大會來歌風人南越所獻樂、忽於衆中、狂逸、衆皆驚散。

「狂淫」ᵗᵒᵗᵒ くるつてみだらなこと。〔後漢書、馮魴傳〕狂淫荒亂、内亂其情。

「狂飲」ᵗᵒᵗᵒ むやみに酒を飲む。狂ひのむ。〔蘇詩〕欲飲狂飲不知、月月日遇雨之作。

「狂信」ᵗᵒᵗᵒ 心が狂つて盲信する。〔朱熹、答呂子約書〕「近來在狂信中之人」。

「狂易」ᵗᵒᵗᵒ 心が狂つて性情が變ること。〔周禮、外祝下、掌元祝號傳〕掌有狂易之病。〔注〕鄭古曰、狂易、狂而無常其性也。〔白虎通、攷黜有狂易之病。

「狂鬼」ᵗᵒᵗᵒ 並はづれて美しい。非常にあでやかなこと。〔孟郊、蕭敬詩〕新紅不自力、狂鬼愛風正好。

不勝、狂鬼、目初斜。

「狂歌」ᵗᵒᵗᵒ 氣ちがひの歌。〔後漢書、申屠蟠傳〕陳大矣、被髮狂歌。氣ちがひしたる歌。〔古詩鳥、雉、被歌、蛇死歌〕狂歌。

「狂詩」（社稷、狂歌）狂歌行樂四兄、足行年秋。〔蘇詩〕

「狂樂」ᵗᵒᵗᵒ 客註書作「同是南陽人」。〔南史、張敷傳〕客註書作「同是南陽人」。酔中狂歌。〔情愛〕用語に諧謔の意を含めた和歌。酒樂を旨とした風歌。たはれうた。ざれうた。〔明月記、建久二年閏十二月四日、事業、有「常寂狂歌」。

「狂狡」ᵗᵒᵗᵒ 氣ちがひのやうな行為。

「狂狡」ᵗᵒᵗᵒ くるひ亂れる。又、氣ちがひ。〔漢書、王莽傳〕不令、或妄稱、或妄稱、或狂狡、或僭稱、大逆不道。

「狂樂」ᵗᵒᵗᵒ 大騒ぎ。〔後漢書、馮魴傳〕故設樂、大騒、狂樂、者狂惑也。〔後漢書、皇甫嵩傳〕「宋の大夫、都が宋を伐つた時、鄭人の使に騒がせる技を捜出して、狂樂、を、大夫に、もてなす。〔左傳、哀二〕

「狂慢」ᵗᵒᵗᵒ ものぐさ。ものぐさ。〔後漢書、馮魴傳〕「狂樂、者、狂惑也。」

「狂鬼」ᵗᵒᵗᵒ ものぐさ。ものぐさ。〔後漢書、馮魴傳〕「狂樂、者、狂惑也。」

「狂鬼」ᵗᵒᵗᵒ 氣ちがひのやうになつて泣き叫ぶ。〔蘇良、詩、鬼、狂鬼、泣、鬼、狂鬼、泣、鬼、狂鬼、泣

兵繫之。

【狂狷】[kyokken] ●きちがいぬ。氣の狂った犬。狷犬。蒯犬。瘋犬。(死韓。鳴鼠。狂犬之喜怒。其性知晩怒。●[Ｅ]Ｅｎｅｍｙ。Ｅｎｅｍｉｅｓ。敵者。

中にある病毒に感染して起る病。恐水病。

【狂犬不殺】[kyokenfusatsu] 狂犬の咬傷者が必ず捷殺。狂犬を殺し、後殺人の時は罪は四十に減ず。捷しなく故意に故意を殺傷した時は過失は論ぜず。(唐律)「疏議」盡殺人。有妖相者。狂犬不殺者。若因人。以故殺。減論殺傷一等。

【狂狷】[kyokken] 狂人。理想に理想に走る。狂は志が強すぎて遠取の氣味になること。狷は知識の未だ及ばぬ所はあるが、守る所は堅固で動かぬ。●[論語]子路篇。子曰。不得中行而與之。必也狂狷乎。狂者進取。狷者有所不爲也。(集解)孔曰。狂者進取。狷者有所不爲也。(注)狂者能進取。狷者以思之也。○集註。論語。進作行。康作狷。

【狂言】[kyogen] ●道理に戻ったことは。取り留めもない話。(荀子)無所知。知之。狂言。●[論語]陽貨篇。狂者。直而肆。愚者。直而無禮。(注)狂者。進取。

【狂言】[kyogen] 狂人の言。●[論語]陽貨篇。狂者。直而肆。愚者。直而無禮。(注)狂者。進取。愚者。直而無禮。(注)狂者能進取。愚者。直而無禮。●[論語]陽貨篇。狂者。直而肆。愚者。直而無禮。(注)狂者。進取。愚者。直而無禮。(注)狂者。

心ハ白居易ノ爲ノ人上等相書ニ伏ス相公方今公ニ白居易ノ如ク知己ノ人ハ天下ニ多シ

【狂人】ハ名。氣の小さい人。きちがひ。狂夫。

〔法言、重黎〕用狂人之言(從李大海)。

【狂解】ハ名。具しくあること(李中、獻溝侍郎詩)。

【狂能】ハ名。能のあること。天賦。

【狂生】ハ名。能のあると自ら恃み待する人。「如ク狂生ノ如ク知己ノ人ハ天下ニ多シ」(白居易、上等相書)。

【狂】ハ名。●狂妄ニシテ過ル。〔書、微子〕我其發出狂。〔疏〕狂、妄也。〔漢書、文帝紀〕狂惑。〔注〕如淳曰、狂惑、失心也。〔後漢書、安帝紀〕狂悖。〔注〕狂、迷惑也

顛而後狂狂惑奔走。（淮南、精神）雲雷道遠難期狂。（李白、古風）

狂[kuang] 進取不顧。（論語、子路）家貧

[illegible]狸狸也。(㉓なれもてあそぶなれて意を用ひない〔左氏、桓十二〕莫敖狃於漢隨之役。〔注〕狃、狃也。㊹ならふ。やつしかへしの行。習慣。〔書、君陳〕狃于姦宄。〔孔傳〕狃、習也。㊺むさぼる。〔國語、晉語〕狃利而忘害。〔注〕狃、貪也。㊻ただす。〔國語、晉語七〕使臣狃中軍。〔韋注〕狃、正也。㊼狐狸などの足跡。〔大戴禮、誥志〕狃狸之足。〔注〕狃、獸迹也。㊽ゆび。指也。(2-3263)に通ず。〔毅雅、釋獸〕〔廣韻〕狃、狸也。㊾狐狸。〔廣韻〕狃、又狐狸也。㊿默の名。〔廣韻〕狃、獸名。

【狸】[illegible]。〔玉篇〕狸、狐也。〔廣韻〕狸、狐也。〔毅雅、釋獸〕狸、獸名。

【狄】[illegible]。〔玉篇〕狄、北夷。〔廣韻〕狄、北夷。〔毅雅、釋獸〕狄、狐也。〔毅雅、釋獸〕狄、狐也。〔毅雅、釋獸〕狄、狐也

犬部（四畫）狄狋狆狁狄狄狄

犬部 〔四——五畫〕 狀犯狐狸猙狡狙狚狩狄狦狷狐狄狐狸猙狡狙狚狩狄狦狷狐狄狐狸猙狡狙狚狩狄狦狷狐狄

〔萬書地理志下氏郡、駱十八、氏氏。（注）孟康曰、氏、音柢。氏、音支。〕南氏の地伊氏ことか。〔萬書、東方朔傳、狂童、氏、南氏の地。（注）師古曰、氏、音五紙反。〕

狄 20322 ケン コフ （集韻）苦浹切 匳

犬 小 **犭** 小 **犬** 小 **犭** 小 **犬** 小 **犭** 小 **

名。蒐花、時珍曰、按含草木故作、末利、唐韻名圃記作、荻屬、傳從作、抹利利、王篇節葉作、沒利利、遇生、本艸、蕙本利、蕙本利、王篇節葉作、沒利利、遇生、本艸、蕙本利、蕙本、正字、韻入、會意而已、春君時珍、蕙之云、即今末利花也、[illegible]

狎(ハ) 狎敬、[illegible]、[illegible]、[illegible]

るたびに水のなない所を聞きながら腰をかがめ、そっと、説に紙は水のなない所を慎りなく慢ずかいい。「可」鼓舞、種類に、嫌疑の意。「狐」は、「狐」は、「狐」は、

【弧矢】名。弧矢。

【弧矢之志】名。弧矢之志。

【弧矢之事】名。弧矢之事。

【弧矢之用】名。弧矢之用。

【弧矢之利】名。弧矢之利。

【弧矢之業】名。弧矢之業。

【弧矢之用】名。弧矢之用。

【弧矢之利】名。弧矢之利。

【弧矢之業】名。弧矢之業。

【弧矢之志】名。弧矢之志。

【弧矢之事】名。弧矢之事

(遺魂記)『遺言可」窓本院有有物約何處爽酸故家鶴。

狐狼[名]『字』●狐狸(『法苑林』)『鶴狐鳴』『鶴狐』『狐狼』

今後之文所字雖記中、義稱火狐號、呼以大蛮無、陳勝上今皆蛮蛮。(補注)沈括韓曰史記作「蛮」、字林作「狐」、字林作「狐」、字林作「狐

編 熊字名或作狗。

狗子 名。英莉。英莉。(0-32641···二二〇)

種(本草、英莉條、時珍曰、有白似羊利、而擂、大其苦酒絕者、謂之狗子、亦名雞腰。●大の曲。

狗子 猪子。(0-32642···二二〇) 犬の字に似たへりとり様、中國國人間の間口につける逢様、中の形三角の連環したものの星を加へて飾つたもの。

狗戒 名。(圖解、本草、見解)(本草、見解)(圖解、本草、見解)(本草、見解)(圖解、本草、見解)(本草、見解)

【狗鷲】ｇｏｕ ｗａｓｈｉ 鳥の名。鷲の一種。大きさ三尺。尾は本白く末黑く、老いると全身に灰白と灰黑。【狗鷲】ｇｏｕ ｗａｓｈｉ 同上

狗馬病及狗馬心也見上。

狗馬病、犬病、馬病。本草云、狗馬心、馬心、牛心、羊心、猪心、鹿心、獐心、兎心、雞心、鴨心、雁心、鵝心、鳥心、雀心、鳩心、鴿心、鶴心、鶴心、鶴

る小犬人の神名。

【狗仗人勢】ジン kou, chang, jen, shih 犬が王

【狗徒尾草】ビ ……。草の名。葉状をなし、五瓣の花を開く。(和漢三才圖會、巻第百、草部、狗掙尾草)

【狗徒】ト 犬の名。葉状をなし、五瓣の花を開く。(和漢三才圖會、巻第百、草部、狗掙尾草)

犬部 (五十六畫) 狛 猷 狒 狖 狩 狡 狛 狄 狄 狄 狖 狖 狖

〔狠絕〕ケンゼツ 兼地恶い。不人情。〔惠子寓言・博論〕
叫（天）不應、天必戮絕。
〔狠打〕ケンタ ひどく打つ。〔雜花苑・依數〕前日
好好不聞、狠爱了五萬秀才。
〔狠戾〕ケンレイ はげしく戾る。〔教子藝・牧女〕打
狠戾、我兵大將。
〔狠戾〕ケンレイ 強暴。〔柳宗元・故故給事
中皇甫君墓表〕君之墓表、攻詆狠戾。
〔狠戾〕ケンレイ 心がもくろみ。かたくなな。
〔文心雕龍・程器〕陳琳・阮瑀、孔融・王粲、狠戾
諂諛、胡仁・任昉、封事・檄文、是非狠戾、自
負可知。
〔狠戾〕ケンレイ ねちねちとしつこい。
其性狠戾、不切世要。
〔狠如〕ケンジョ もとりねちけて聞従しな
い。〔北史・蔚敬傳〕性狠如羊、貪而好貨。
〔狠如羊〕ケンジョヨウ ねちねちけて聞従しな
いこと。〔北史・蔚敬傳〕性狠如羊、貪
而好貨。
〔狠如羊〕ケンジョヨウ 邪悪な母親。〔西廂
記・若冀賞後騰雀雖劇〕不則揀石尾的狠如
羊。

【狱】 20364

獄に、訟をなやめて行く。〔繕海・獄〕獄
無、訟、謂、聽、聽而自、出、稱典。〔樹提伽經音
義・聽受〕謂、聽、審、背、而行也。經文作、獄
非也。

【狡】 20365

カク カウ 〔集韻・巧巧切〕 四 ㄐㄧㄠˇ jiǎo

犬名。長身四足果。●獣の名。形は犬に似、牛角、約文がある。〔山海經・西山經〕玉山、其狀如人、大而約文、其角如牛、其名曰狡、其音如吹大。見則其國大穰。●犬が吠える。通じて獟（→1284）に作る。〔集韻〕狡、犬吠、通作獟。

（會圖オ 3）狡

〔狡思〕コウシ わるがしこい。又、わるがしこい者。〔晉夫人・交際・菊能寄意〕無稱、機機、狡思稱、
警之絲不見、非（王郎、身破絲表）仇敵忽
等。〔李光弼傳・狡惡〕狡惡、無稱、機機、狡思稱、
〔狡惡〕コウアク 狡猾な人。〔會稽王志・會新城
國觀〕眞目使狡惡無之以意思民、則其復
〔狡獪〕コウカイ 狡猾なさま。〔潘岳・閑居賦〕
〔狡獪〕コウカイ わるがしこくすること。〔新書・過秦〕
繁于雖有、狡獪之心、無難之心。
〔狡好〕コウコウ みめよい。容姿が美しい。〔詩・都
風・山有扶蘇〕見狡童、兮、狡童、謂、狡好之
人。號目、扶蘇、喬木、狡童、美好之人。
〔狡〕コウ わるがしこい。〔山海經・東山
經〕於山有杜衡、其狀如葵、而黑、其名曰杜
衡、見則其國有大喪。西山經、見則其國大
風。山有扶蘇、見則其國大旱。狡童、謂、狡好之
童。〔列女傳・母儀・齊安傳母傳〕左氏、而非公夫
人。號目、扶蘇、喬木、狡童、美好之人。
〔狡〕コウ わるがしこい。〔山海經・東山
經〕於山有杜衡、其狀如葵、而黑、其名曰杜
衡、見則其國有大喪。西山經、見則其國大
風。山有扶蘇、見則其國大旱。狡童、謂、狡好之
童。〔列女傳・母儀・齊安傳母傳〕左氏、而非公夫
人。號目、扶蘇、喬木、狡童、美好之人。
〔狡〕コウ わるがしこい。〔孟子・告子・離婁〕
〔狡〕コウ 心の善・以民・陸・狡行・惨・許以・狡・狡

【狡天】[illegible]　何以に在つたとい小犬。口が大きく大者長身四足等。(注)宿駅場有。狡犬百口而無[illegible]

【狡狐】[illegible]　わるがしこいやつめ。ずるいきつね。

【狡兎】[illegible]　わるがしこい兎。ずるいうさぎ。「狡兎死、良犬烹」(史記、淮陰侯伝)　敵吹曲　狡犬　狡鼠　狡猾

【狡獪】[illegible]　わるがしこいこと。(論衡、答佞篇)　狡獪　狡猾

【狡獪】[illegible]　わるがしこい。ずるがしこい。「[illegible]」

【狪】20367 タブ トウ (集韻)徳合切 合

犬が物を食ふ。猛(7－20382)の俗字。(集韻)狪、犬食。(正字通)狪、猛俗字。

【狣】20368 ①ヂウ ②ヂウ ③ヂウ (集韻)直胡切 (集韻)杜晤切 (集韻)勘遙切 麗

①②犬の名。(集韻)狣、獸名。(廣韻)狣、獸名。如牛、四首四角。(山海經、西山經)三危之山、有獸焉、其狀如牛、白身四角、其鳴如拔、其名曰狣、是食人。

【狣】20369 ①ヂエツ (集韻)一結切 ②ヂエン (集韻)因遙切 先

①②獫狁は、毛が白く、四本の角があって、牛に似た獸。(王篇)狣、獫狁、獸名。似牛。(廣韻)狣、獸名。如牛、四首四角。(山海經、西山經)三危之山、有獸焉、其狀如牛、白身四角、其鳴如拔、其名曰狣、是食人。

【狣】20370 イ (集韻)薬毛切 紙

蠻族の姓。(集韻)狣、獠姓。

【狣】20371 ゲン (集海)五見切 霰

虎を逐ふ犬。狣(7－20386)の誤字。(篇海)狣、虎犬。(正字通)狣、狣字之誤。

【狣】20372 カウ ガウ (集韻)胡江切 江

獲犬は、犬が引いても従はない。(集韻)狣、獲犬、犬不服。案也。

【狭】20373 ヘイ ハイ (集韻)通迷切 齊

●狭狩は、獸の名。(集韻)狭、狭狩、獸名。

●蠻族の名。(説文)狭人亦獸類、嗜殺過於狼。

【狩】20374 ①キツ ②キチ (集韻)薬切 ③キチ (集韻)吉逝切 ④フイ (集韻)吉逝切 卦

①●くるふ。(集韻)狩、狂也。●獵は、獸の名。(集韻)狩、一曰獵、獸名。出西域。嗽、馬陸香、身無毛。●狩は、獲狭の名。(結獲文)を見よ。②狩獵は、獸の名。(集韻)狩、獵狩、獸名。③狩なる。すばしい。猿(7－20729)に同じ。(集韻)獵、博雅、獲也、一曰、狡也、或作狩。

【狩獵】(ｷﾂﾚﾂ) 獸の名。西域に産す。猟に似て香を食ひ、毛は無し。舞上から背を通って尾に至るまで、廣さ一寸余の毛がある。字解の①を見よ。(説文)、獵、獸名。(本草、蜀椒)獵名、風母、風生獸、牛狭、狭、(西陸雜俎、廣動植、毛篇)狩獵、云云、狭似、獵、其頭尾皆長、毛蓬蓬、舞上(毫)、獵得者、斬刺至尾、有青毛、廣一寸、長二四分、獵得者、斬刺不傷、横斬、斬獵之、不死、乃大枝繁、之骨折乃死。(結獲)、狩、獵狭の名。(宋史、西域)胡拔獵傳

【狩】20375 シ (集韻)奥士切 紙

●獸の名。犬に似た獸。狭(10－36551)に同じ。(集韻)狭、獸名、似犬、或从豸。

●狭(10－36514)の誤字。(正字通)狭、狭字之誤。

【狩】20376 シュ (集韻)通輪切 虞

獸の名。通じて朱(9－14424)に作る。(集韻)狩、獸名、山海經、耿山有獸、狀如狐、而魚鱗有翼、名曰狩獵。(通作)朱。

【狗】20377 ジュン 徇(4－1099)の俗字。(字彙)狗、俗徇字。

【狂】20378 ヂ 犯(同)犯。

【狄】20379 エイ (集韻)以制切 霽

●の字。狄(10－36569)に同じ。(集韻)狄、獸名、狸子、或作獀。

【狪】20380 ①サン (集韻)所晏切 ②ゼン (集韻)鋒蓋切 ③ゼン (集韻)鋒相切 廉

①②犬が物を食ふ。猛(7－20559)・猛(7－20439)に同じ。(説文)猛、犬食也。从犬去。讀若比目魚鰈之鰈。(玉篇)猛、犬食也。(集韻)猛、或作獀。猛、正字通、猛俗字。(集韻)猛、或作獀。猛、正字通、猛俗字。●猛は、貪欲なさま。犬食のさま。(太玄經、符)癸対猛猛。(注)猛曰、猛猛、貪欲之意也。王曰、猛猛、大食貌。●冷猛は、犬が吠えずに吠而齧。

③犬が舌で物をとって食べる。(集韻)猛、犬以舌取、物。●舐(9－30283)・舐(9－30280)に通ず。(史記、呉王濞傳)舐、糠米。(注)師古曰、舐、古舐字。

【狪】20381 ①タブ ②ヂ (集韻)託合切 合 (集韻)甚余切 紙

①②犬が物を食ふ。猛(7－20560)に同じ。(説文)猛、犬食也。从犬去。讀若比目魚鰈之鰈。(玉篇)猛、犬食也。(集韻)猛、或作獀。猛、正字通、猛俗字。(集韻)猛、或作獀。猛、正字通、猛俗字。●猛は、犬が吠えずに吠而齧。

【狪】20382 イ (集韻)余支切 支

獸の名。或は貉(10－36541)・狐(7－20338)に同じ。(説文)狐、妖獸、鬼所乘也。狐、鬼之所乘也。(玉篇)狐、獸名。(廣韻)狐、獸名。(集韻)狐、獸名。(正字通)狐、獸名。(説文)狐、妖獸、鬼所乘也。狐、鬼之所乘也。(玉篇)狐、獸名。(廣韻)狐、獸名。(集韻)狐、獸名。(正字通)狐、獸名。

犬部 (六畫) 狪狭狩狩狭狩獀獀狪狪狪

2)に作る。〔集韻〕猿・獃名。獃・犬赤珍曰獃。

狛 20383 セイ 刷古作猩。

猿 20384 ジュウ ニュウ 〔集韻〕而陵切 〔廣〕日〇人 〔15〕

❶むくげ猿。猿の一種。毛は柔かくて長い。皮は敷物に用ひる。〔字7・2(5544)〕に同じ。〔集韻〕猿・獃名。馬鬼、其毛柔長、可・稽。〔埤雅・釋獸〕猿、善狡狡之屬。經穗善緣。大小類猿、長尾、尾作金色。今俗謂之金線猴。生川峽深山中、人以藥犬獵、射殺之。取其尾、鈴目鬱斷其尾、以藥犬、逐其鳴、深患、出猿、名。猿。〔本草・獸名・時珍曰、猿、毛柔長如絨、可以稀、可以褥、故謂之猿。而猩字亦從之。猿、生于西戎。故從戎也。❷細かい布。〔玉篇〕猿、細布。絨、上同。❸たどしい。〔康熙字典・絨、別本篇韻云、絨、猛也。〔字7・2(5544)〕に同じ。〔集韻〕絨、通作戎。〔15139〕に作る。〔集韻〕絨、通作戎。❹姓。〔萬姓統譜〕絨、出〔海籍直音〕。

猿（三才図会）

狙 20385 ショ ショウ 〔集韻〕其巨切 〔廣〕

❶猛獸の名。熊に似て黑白のまだらがある。猪(10・26539)に通ず。〔山海經・中山經〕、峚山、生狙・獸・熊而黑色、赤食・銅。〔後漢書・西南夷・哀牢傳・注〕狙、大如・鼠、狀似・熊、多力食・銅。❷家畜の名。騏馬に似て小・駟(12・24712)に同じ。〔廣韻〕狙、犬・名。〔集韻〕・駟、獸名。設文、・駟・駟、似・騏而小・或作・狙。

狛 20386 ケン 刷同・新。

猫 20387 ビョウ 〔集韻〕・獸・或作・貓。〔玉篇〕・獸・(10・26539)に同じ。〔字集〕・獸・或作・貓。

狸 20388 ボウ 〔集韻〕方老切 〔廣〕北のむじな。猫(7・20516)に同じ。〔篇海〕・獸・雌・狐也。〔字集〕・獸・同・猫。

猪 20389 チョウ 刷12・24336に同じ。〔集韻〕・獸・或作・貓。

狩 20390 シュウ シュ 〔集韻〕式救切 〔廣〕日〇〇〇かり。❷狩人を催して禽獸を狩り出して之を捕獲すること。〔周語〕、春蒐・田・狩・事也。〔注〕狩、順・守而取・禽也。❸冬季の獵。〔爾雅・釋天〕、冬獵・爲・狩。〔集韻〕狩、冬獵也。〔左氏、隱五〕春蒐、夏苗、秋獮、冬狩。❹次を故ら草を燒いて行う狩。火田也。〔孟子・滕文公・下〕、天下之大・惡・者・焉。〔後注〕火、各本作・犬・不・可・通。今依・詩會・正。〔爾雅・釋天〕、火田爲・狩。〔注〕放・火燒・草獵・取・獸也。〔公羊・莊・四年〕、其・重・于・其・與・警・也。〔注〕狩者・上・所以・共・承・祭祀・下所以・教・習・兵・行・義。❺かりする。かる。〔詩・鴇羽・傳〕、狩不・獲・穀・〔春秋・僖二十九〕、天子・狩・于・河陽。❻命を受けて守り治めるところ。任地。〔說文〕、冬・獵・王・下・巡狩・省・邑・所・守也。〔說苑・脩文・狩・省・守・留之〕、〔風俗通・山澤〕、狩者、守・也。❼やしなふ。牧する。〔日光通・巡狩・狩・牧也〕、〔易・明夷・于・南狩・注〕、狩・牧也。❽ひろ・い。〔周禮・考工記・輪人〕、狩・之・狩・也。❾獣の名。〔公羊・莊・四〕、冬日狩、獲・獸・焉。〔穀梁・莊・四〕、冬・獲・禽・曰・狩。❿けものの名。〔公羊・莊・四〕、冬・獲・禽・曰・狩。〔穀梁・莊・四〕、冬・獲・禽・曰・狩。〔春秋・僖二十八・釋文〕、狩、本・又作・守。

〔狩獵〕ショウ リョウ。狩と獵。狩は、獵は、獵で獲物を追い出すこと。〔詩・大雅・靈臺〕、王在・在・靈・囿・麀鹿攸伏。〔傳〕、麀・牝・鹿・也。〔疏〕、王・在・靈・囿・麀・鹿・攸・伏・

【狪】20391 トウ (集韻)他凍切 凍

❶狪狪は、獸の名。豕に似、體内に珠を藏すと。(玉篇)狪(10・36391)。狪(10・36555 2)に同じ。(集韻)狪、野彘、或从犬。(字林)獵獸狪狪、珠豚也。(山海經・東山經)狪狪、其狀如豚、而有珠、名曰狪狪。其肉自臥。(後漢)古本作狪、狪、或作、狪。(郭璞、山海經贊)狪狪、獸中之珠。默何不可、狪狪如豚、被以懷抱、患難無由、招之自我。❷畫族の名。(玉篇)狪(4・80 56)に同じ。(中華大字典)狪、(字本作)狪、以苗族、(山海經・海内經)郭璞、人以苗爲、姓、好、事鬼、殺、在、右、狪、胡、(後漢、南蠻傳)、(注)、(山海經)、(郭璞)、(山海經贊)、(郭璞)、(山海經贊)、(郭璞)、(山海經贊

□□●宋の臭犬の名。（集韻）逗、宋良犬名。●或は猛（7－20412）・逗（7－20595）に作る。（集韻）逗、或作猛。猛（19－4701A）に通ず。（廣雅字典）逗、廣韻・韓獵宋逗、（孔叢子、執節）申叔聞曰、大馬之名、皆因其形色・而名焉、唯韓盧宋鵠鶴否、何也。

猪 20412

□カク（集韻）逵交切 [illegible]
□カク（集韻）許教切 [illegible]

□豕が驚く。又、犬が驚く。或は猪（7－20595）に作る。（玉篇）猪、犬驚。（廣韻）猪、豕驚。（集韻）猪、或作・猪。猪（10－35398）に同じ。（集韻）猪、豕走皃、或从犬。

猶 20413

□バウ（廣韻）莫江切 [illegible]
□ボク（集韻）竹角切 [illegible]

□むくいぬ。毛の多い犬。尨（4－2554）に同じ。（廣韻）猪、犬多毛、亦作尨。尨、□墓の名。猪（10－35401）に同じ。（集韻）猪、龍尾、一曰、東方星名、或从犬。

猶 20414

□ジュ（集韻）延胡切 [illegible]
□ジュウ（集韻）五故切 [illegible]

□獣の名。猿に似て善く鳴く獣（7－20440）に同じ。（集韻）猶、獣名、如猿猶嘷、或从鳥。□猶の一種。大に似て髯あり、黄色。（集韻）猶、猿類、大而有髯、色黄。

猶 20415

ユウ（集韻）恵進切 [illegible]

きちがひ。（玉篇）猶、狂病。（集韻）猶、狂也。

猶 20416

□キ、（集韻）許豈切 [illegible]
□キ（集韻）居依切 [illegible]
□ケン（集韻）賓是切 [illegible]
□ケン（集韻）海運切 [illegible]
□ケイ（集韻）苦之切 [illegible]
□キ（集韻）達其切 [illegible]

□ふたたび・ふかし。字書、猶・犹人呼、猶聲。
□□ふたた。猶（10－35404）に同じ。（集韻）猶・犹、或从犬。□猶章は、太古の帝王の名。猶章（二）の●を見よ。□猶章は、官名。猶章（三）の●を見よ。□ふたた。（集韻）猶・豕也。

（猶章）（一）●上古、帝王の名。（皇覽）猶、猶章之、以製天地。（博物志）猶章氏・姓、古帝王號、李軌説、猶章氏、文子、利民篇、古帝王名。（後漢書）猶章氏、文子、利民篇、古帝王號。（荘子、外物）以猶章氏之流、觀之、今之世、猶因氏者也。●猶章氏の官名。（集韻）猶、猶章、因氏名官也。●猶章氏の官名。（集韻）猶、猶章、大史官名、李軌説。

（猶章）（二）●ふたの毛。（師宗元、招魂賦、文）託音猶獸虎豹皮。

（猶章軸）猶章は猶の脂、軸軸は軸木で造った車軸。猶の脂を軸の軸に塗れば車輪が至って清かになることをいふ。（史記、田敬仲完世家）淳于髡曰、猶章軸、所以爲清也、然而不能運方穿。（注）索隱曰、猶章、猶脂也、軸軸、以軸木爲車軸、至清而堅也。

猷 20417

キ　猷（7－20418）に同じ。（海篇）猷、同猶。

猷 20418

□サウ（集韻）在朗切 [illegible]
□ジャウ（集韻）慈良切 [illegible]
□シャウ（集韻）何光切 [illegible]

□□□ふだりにつよい犬。（説文）猷、妄猛犬也、从犬从壯、壯亦聲。
解字　會意形聲。壯と犬とを合して妄りに強い犬の意を表はし、且、壯は聲を兼ねる。字解を見よ。猷（9－3928）は別字。（字彙、辨似）二字相似。猷・猷（二字皆蔵上聲）猷・犬也、从犬、猷、健犬、从犬。

猶 20419

ハイ（集韻）補邪切 [illegible]

こだぬき。猶（7－20316）の俗字。（篇海）猶、狸子。（正字通）猶、俗猶字。

猴 20420

カウ
キ（字彙）古行切 [illegible]

●獣の名。（字彙）猴、獣名。●いぬ。（字彙）狗る。犬也。

猴 20421

□タイ（集韻）丈邁切 [illegible]
□チ（玉篇）雉

□解猪は、獣の名。（廣韻）解猪、獣也、或作猪。□足の無い獣。考（10－35435）の俗字。（玉篇）猪、俗考字。

猴 20422

□ヨク（集韻）倉玉切 [illegible]
□コク（集韻）古祿切 [illegible]

猶　小　篆　猶獣は、獣の名。（説文）猶、猶獣也、从犬谷聲。（廣韻）猶獣、獣也。□猶獣は、獣の名。（集韻）猶獣、一曰、豕毛、長尾。（山海經、北山經）北囂之山、有獣焉、其狀如虎而白身、犬首馬尾、麗鼠、名曰、□猶獣。

猶 20423

トウ（集韻）天達切 [illegible]

犬の吠えるこゑ。（玉篇）猶、犬吠聲。（集韻）猶、犬吠。

猶 20424

□サウ（集韻）初錯切 [illegible]
□ソウ

□水獣の名。（集韻）猶、水獣名。□鱢（7－20782）の俗字。（集韻通）猶、俗鱢字。

猶 20425

ケイ
ギヤウ（篇海）五郎切 [illegible]

狩る。かり。（篇海）猶、狩也。

犬部（七畫）

狷 20426

日ケン（集韻）規緣切 kyon
ロ山ケン（集韻）古玄切 gyon
日ゲン（集韻）王玄切 ɣon

小 ＊びしい。短慮。于忠。（敦文新附）狷 褊急也。从犬肙聲。（馬叢說）朝韻（廣韻）不準 狂狷之言。从犬肙聲。（注）師古曰、狷、急也。（後漢書、楊震傳）朱穆云傳贊、不得 中行、則思 狂狷。（注）師古曰、狷、介也。（後漢書、儒林上、楊倞傳）云才遠近、豐宗病急。（注）狷、疾也。●かたくな節義を守り、意を曲げては驚さぬこと。（集韻）狷、有所、不爲也。（集注）欲 語子路、狷者有所、不爲也。（集注）欲 得不所、不屈之士而與之。是狷也。（注）狷者、守分有所、不爲也。（注）狷者、守分有所、不爲也。●だめらふ。疑って 變強する。（後漢書、王龔、疑辭傳）也。●とく疑よ。（王字通）狷、疾疑也。●或は 狷（7－8212）に作る。（集韻）狷、或作獧。

「狷隘」ケン 氣みじかで心がせまい。（史記、藺相如傳）性甚狷隘、年又衰大、欲 事政事、每怒、迷所爲。

「狷介」ケン 自ら守る所が堅くて、他に同じない。（國語、晉語二）不心狷介、不敢行也。（後漢書、儒林上、楊倞傳）狷介、性剛直、而秀傳、墓許琪外之士、未 遠道、知立小節。（大節）（後漢書、王龔傳）

「狷急」ケン 心がせまく氣みじかなこと。せっかち。下急、褊急。（後漢書、荀行、荀爽傳）性 急、不能 從俗。（後漢書、陳寔傳）公主嬌妒、豐宗病急。（注）狷、疾也。●かたくな節義を守り、意を曲げては驚さぬこと。（集韻）狷、有所、不爲也。（集注）欲 語子路、狷者有所、不爲也。（集注）欲 得不所、不屈之士而與之。是狷也。（注）狷者、守分有所、不爲也。（注）狷者、守分有所、不爲也。●だめらふ。疑って 變強する。（後漢書、王龔、疑辭傳）也。●とく疑よ。（王字通）狷、疾疑也。●或は 狷（7－8212）に作る。（集韻）狷、或作獧。

「狷隘」ケン 氣みじかで心がせまい。（史記、藺相如傳）性甚狷隘、年又衰大、欲 事政事、每怒、迷所爲。

「狷介」ケン 自ら守る所が堅くて、他に同じない。（國語、晉語二）不心狷介、不敢行也。（後漢書、儒林上、楊倞傳）狷介、性剛直、而秀傳、墓許琪外之士、未 遠道、知立小節。（大節）（後漢書、王龔傳）

「狷急」ケン 心がせまく氣みじかなこと。せっかち。下急、褊急。（後漢書、荀行、荀爽傳）性 急、不能 從俗。（後漢書、陳寔傳）公主嬌妒、豐宗病急。（注）狷、疾也。

「狷潔」ケン 自ら守る所が堅くて、他に同じない。（國語、晉語二）不心狷介、不敢行也。（後漢書、儒林上、楊倞傳）狷介、性剛直、而秀傳、墓許琪外之士、未 遠道、知立小節。（大節）（後漢書、王龔傳）

「狷狹」ケン 心がせまく氣みじかなこと。せっかち。下急、褊急。（後漢書、荀行、荀爽傳）性 急、不能 從俗。（後漢書、陳寔傳）公主嬌妒、豐宗病急。（注）狷、疾也。

「狷潔」ケン 自ら守る所が堅くて、他に同じない。（國語、晉語二）不心狷介、不敢行也。（後漢書、儒林上、楊倞傳）狷介、性剛直、而秀傳、墓許琪外之士、未 遠道、知立小節。（大節）（後漢書、王龔傳）

狹 20428

20427 ケツ

ケツ（集韻）居狹切 kɛt
ケツ（集韻）古狹切 kɛt

●せまい。（玉篇）狹、今錢 簡狹。（史記、藺相國世家）長安地狹、宜所 欲者 案。

直の士の容れられる所の無いのを歌つたもの。〔海録碎事・文學・樂府〕樂府詩・有良安有狹邪行。言「狹邪」者、言其人世世如此。〔史記・滑稽傳・淳于髡〕狹邪之人也。〔古詩・青青河畔草〕狹邪子。

【狹邪】kyō jyā 狹邪子。妓居の人也。〔古詩・青青河畔草〕狹邪子。

【狹弱】kyō jyaku 弱小。〔呂覽・對縣令〕雖（狹弱）而使之以威。自強。

【狹長】kyō chō 細長い。〔管子・小匡〕狹長而遠。

【狹道】kyō dō せまい道路。ほそい路。

【狹人】kyō jin 狹小な人。〔管子・小匡〕狹人者、廣之。

【狹隘】kyō yaku せまくて狭い。〔呂覽・博山〕地狹隘而長。〔注〕狹、狹而長也。

【狹中】kyō chū ①心がせまくて他人と和合しない。〔後漢・吳祐傳〕絶交書云、吾性狹中、多所不容。〔注〕狹、狹中、謂不能容人也。②地名。浙江省富陽縣。〔史記・秦始皇紀〕始皇出游、云云。至錢唐、浙江水波惡、乃西百二十里、從狹中過。〔集解〕徐廣曰、徐廣曰、蓋在餘杭也。〔索隱〕狹中者、如今富陽縣、狹中、是也。〔正義〕按、餘杭、今杭州。餘杭、今杭州。此後、歌、登陽臺、至、會稽山。〔山・地表・狹道〕狹中、狹長之意也。

【狹中】kyō chū せまくて。狹小。〔呂覽・博山〕地狹而長。〔注〕狹、狹中、長之意也。

【狹人】kyō jin 狹小な人。〔呂覽・對縣令〕雖（狹人）而使之以威。

【狹道】kyō dō せまい道路。ほそい路。

【狹邪】kyō jyā 狹邪子。妓居の人也。〔古詩・青青河畔草〕狹邪子。

【狹邪子】kyō jyā 狹邪子。妓居の人也。〔古詩・青青河畔草〕狹邪子。

【狹邪】kyō jyā 度量がせまい。狹小な度量。

【狹路】kyō rō せまいみち。こみち。〔徳・六韜・軍用・武王問太師〕武王問太師曰、「吳子、有以一人當千、可乎。」太師曰、「吳子、有以一人當千、可乎。」太師曰、「吳子、有以一人當千、可乎。」

記、天官書）東有大星、曰狐、狼、狼角變色多、盜賊、下有二四星、曰孤、直狼。●姓。

大狼、狼星、齊有狼、漢書、地理志、琅邪、有大狼、狼、狼、

道上者謂「狼」狼在道，猶今言「狼狽」也。

狼莊[ㄌㄤˊ ㄓㄨㄤ]　地名。（胡氏家訓 雜藝）按蔡約是雍言之名。云云，乃有時年荒，狼莊多餓死。

狼顧[ㄌㄤˊ ㄍㄨˋ]　●狼性怯於前而恐後，故常回顧。又人之恐懼，則見卻而見前。（後漢書 馬援傳）狼狽，獸名。狼性前足短，後足長，常隨前足行走。（淮南子 地形訓）高誘注：「狼，狼屬，一名狼狽，一名狼顧，一名狼胡，一名狼牙，一名狼尾，一名狼毒，一名狼頭，一名狼腰，一名狼項，一名狼脊，一名狼腹，一名狼足，一名狼目，一名狼心，一名狼口，一名狼手，一名狼腳

犬部〔七畫〕狼

【狼瀾】[illegible] 川の名。今の[illegible]。[illegible]。

【狼狽】[illegible] ●基しく怨いること。[illegible]。[illegible]。

【狼狽】[illegible] 狼のはらだけ。[illegible]。

【狼毒】[illegible] 狼の[illegible]。[illegible]。

【狼毒草】[illegible] ●毒草の名。[illegible]。

【狼星】[illegible] 狼の[illegible]。[illegible]。

【狼狼】[illegible] 狼のやうにたけだけしいこと。[illegible]。

【狼煙】[illegible] 狼の[illegible]。[illegible]。

【狼狽】[illegible] 狼のはらだけ。[illegible]。

【狼】[illegible] 狼のやうにたけだけしいこと。[illegible]。

【狼】[illegible] 狼のやうにむさぼる。[illegible]。

【狼】[illegible] 狼のやうにたけだけしいこと

〔王篇〕讀給清費，謂大面獸也。狼猛絲絲。〔集韻〕陸美國の人名。

〔狼尿〕ㄌㄤˊ ㄋㄧㄠˋ lang² niao⁴ 狼の尿。●狼のように心がわるけて道理に〔集韻〕陸美國の人名。

もこるる。〔禮記〕檀弓下「狼瞫之勇，狼瞫之義，〔疏〕狼瞫，狼の尿と同義。〔戰國策〕秦策「天下王狼尿不仁，殺其骨肉，離其親戚，所為天下王狼尿不仁，殺其骨肉，離其親戚，所為天下貪而無厭，〔王充論衡〕之篇引。〔集韻〕狼尿，獸名。〔王充論衡〕之篇引。〔集韻〕狼尿，獸名。

〔狼尿河原〕ㄌㄤˊ ㄋㄧㄠˋ ㄏㄜˊ ㄩㄢˊ lang² niao⁴ he² yuan² 陸美國の地名。

〔狼尿山〕ㄌㄤˊ ㄋㄧㄠˋ ㄕㄢ lang² niao⁴ shan 山名。〔後漢書〕五原郡の西北の山。〔呼和浩特〕西北の山。〔水經注〕河水篇「山，狼尿山，〔水經注〕河水篇「山，狼尿山，〔水經注〕河水篇「山，狼尿山，

【猋】20445 タイ 義未詳。(五音韻海)猋、音豹。

【猊】20446 ヘウ 義未詳。(五音韻海)猊、音豹。

【貌】20447 バウ 貌(10-36556)に同じ。(韻海類編)貌、同貌。

【狩】20448 コ 狩(7-32436)に同じ。(龍龕手鑑)狩、同狩。

【猟】20449 ハウ 猟(11-780)に同じ。(龍龕手鑑)猟、同猟。

【猶】20450 サイ 義未詳。(五音韻海)猶、音在。

【狖】20451 サ (中華大字典)讀如沙。

蠻族の名。廣西地方に住む。(中華大字典)狖、蠻也、廣西有之。

【狻】20452 キウ (中華大字典)讀如求。

狻猊は蠻族の名。雲南西邊の野獣。又、曲虎と名づく。狻猊の西に在る。灘滄江大雪山の外に居る。(中華大字典)狻、蠻也、在雲南灘滄江大雪山外。

【猩】20453 (中華大字典)讀如利。

【猩】20454 カン 猩(8-12848)の俗字。(中華大字典)猩、猩俗字。

八書

【猩】20455 ケイ キヤウ (字彙)五耕切 庚

獣の名。(字彙)猩、獣名。

【猊】20456 ハイ バイ (集韻)蒲侍切 齊

首の短い犬。(集韻)猊、犬短首謂之猊。

【猊】20457 ヒ (廣韻)南微切 微

姓。(廣韻)猊、姓、左傳有猊豹。

【狹】20458 カウ キヤウ (集韻)居行切 庚

狡狹は、犬の名。(集韻)狹、狡狹、大名。

【猶】20459 タウ トウ (集韻)延合切 合

●犬が物をくふ。猶(7-20381)に同じ。(集韻)猶、說文、犬食也、或作猶。●猶猶は獸の名。(玉篇)猶、猶猶、獸也。

【猊】20460 サウ セウ (玉篇)猊申切 侵

●豕の母。(玉篇)猊、豕母。●猊(10-3641)の譌字。(正字通)猊、豕字之譌。

【猊】20461 ヨウ ユウ (集韻)于包切 肴

(集韻)何交切 肴

(集韻)子絞切 巧

(集韻)視遥切 宵

(集韻)魚周切 尤

一二三四五●虎が人をかまうとするうなり聲。(玉篇)猊、虎怒而人聲。(集韻)猊、虎聲。●犬のほえ聲。(集韻)猊、一曰、犬聲。●猊(9-32362)・猊(9-3756)に同じ。(集韻)猊、或从口、从犬。

猊縣 一・二・三・四・五 縣名。漢置。山東省章邱縣の北。(漢書・地理志上)濟南郡、縣十四、猊城。(讀史方輿紀要)山東濟南府章邱縣、猊城、亦在縣西。漢置、猊縣、屬濟南郡。武帝封趙敬肅王劉彭祖子劉偃爲猊侯、後漢省。蘇林曰、音鵝。有猊亭。是也。猊音鵝。

猊亭 地名。湖北省宜都縣の北、大江の沿岸。名、無爵城。今名は虎牙市。三國蜀の劉備が呉の陸遜に破られた地。(蜀志)、先主傳(章武二年、陸遜大破先主軍於猊亭。

【猊】20462 カウ (集韻)苦江切 江

からだ。羊のからだ。腔(9-26536)・腔(9-26536)に同じ。(廣韻)腔、羊體曰腔、或从羊、从犬。

【猟】20463 ハイ (集韻)部賀切 隊

ハイ (集韻)蒲侍切 佳

ヒヒ (集韻)蒲蟹切 支

ベン (集韻)蒲晚切 潸

ベン (集韻)蒲晚切 潸

一●腿の短い犬。(說文)猟、短綆狗、今止。●短い類の犬。(廣韻)猟、犬短類。●機の犬。(廣韻)猟、一曰、案下狗也。二●犬の一種。(集韻)猟、狗屬。●犬に同じ。(廣韻)猟、短頭狗也。三四に同じ。四人名。猟(8-26412)に同じ。(集韻)猟、春秋傳、楚有史猟、或作猟。猟(左氏、昭、十三)與史猟、先人。

【猟】20464 キ (集韻)更之切 支

犬の子。(集韻)猟、汝南謂犬子爲猟。

【猟】20465 ヲウ (集韻)烏禾切 歌

ヨウ (集韻)烏皓切 巧

一●こいぬ。猟(7-20528)に同じ。(集韻)猟、小犬、或作猟。二猟猟は、犬の一種。(集韻)猟、猟猟、犬屬。

【猟】20466 キク (集韻)居六切 屋

●石猟は、獸の名。猴を食ふ。(廣韻)猟、石猟、獸名、食猴。●獸の名。黄鼠。(字彙)

犬部 (七—八畫) 狡猊猊猶狖狻猊猊猊猊猊猊猊猟猟猟

獨、獸名、黃鼠也。

【猶】 20467 カン (集韻)呼雚切 **圈**

犬の聲。(集韻)猶、犬聲。

【猊】 20468 ゲイ (集韻)研奚切 **齊** ニ ni

●後狻猊、獸名。(後漢書)(後狻猊、師子賦、(一走五百里、麗、上同、猊、亦同。(集韻)麑、設坐之具。●(圖像の坐る者。轉して、高僧の坐る師子座。獅子座。轉して、高僧の坐席。猊座(ニ)を見よ。

(解説)(圖)猊座の略。猊座を見よ。高僧は獅子座に坐すと説法するので、高僧の敬稱となる。獅子座、(釋迦牟尼)、(後狻猊)師子賦、(一走五百里、麗、上同、猊、亦同。(集韻)麑、設坐之具。(釋迦牟尼)、(後狻猊)師子之賦、西方王者所、坐之座、(轉)中國佛法也。(後漢書)(後狻猊、(注)師子、(獅子)、(獅子)、(獅子)

狹 20476 エン (集韻)以冉切 琰

神人の名。東隅に處り、日月の出没短長を司る。(『山海經』大荒東經)有ノ女和月母ノ國(有ノ人、名曰)鞠、北方日月(鞠來ノ國)、日狹、是處ノ東極隅、以主ノ日月、使ノ無ノ相間出没ノ司ノ其短長。

狷 20477 キャウ 巧 (集韻)古鴛切 銑

羌(9・22432)に同じ。(集韻)羌、亦ノ犬ノ大。

狸 20478 トウ 晧 (9・22512)に同じ。(集韻)晧、犬ノ大。

獍 20479 コン (集韻)公寒切 元

●獸の名。(集韻)獍、獸名也。●おほいぬ。(集韻)獍、大犬也。●野馬。(後漢書、馬融傳)廐、獍、(注)獍、野馬也。

狶 20480 ガン 翰 音岸、今作ノ犴、獄名。

狶 20481 イウ (篇海)余救切 宥

●猿に似た獸の名。(篇海)狶、獸名、似ノ猿。●狶(7・20344)の誤字。(正字通)狶、犬部、(八畫)。猿猩、猿猩、猿猩、猿狸、狶、狶、狶

【猖狂】ショウキョウ。くるったもの。狂妄。『後漢書、馬援傳』「猖狂郡郡」文。猖・狂同義。

【猖獗】ショウケツ。●たけり狂ふ。はげしくあれ狂ふ。●はげしくにほしいままにふる舞ふ。『後漢書、馬援傳』「猖獗郡郡」文。猖・獗同義。

【猖披】ショウヒ。●髪をみだすこと。『後漢書、馬援傳』「猖獗郡郡」文。

【猖狷】ショウケン。●たけり狂ふ。『後漢書、馬援傳』「猖獗郡郡」文。

【猖獗】ショウケツ。（集韻）九切切 鐵

【猖狂】ショウキョウ。（集韻）巨支切 鑄

【猖披】ショウヒ。（集韻）奉支切 鑄

【猖】ショウ。（集韻）奉支切 鑄

【猖】ショウ。（集韻）奉支切 鑄

【猖】ショウ

志上河東郡・縣二十四。猗氏〔孔穎達〕・陳士義。猗頓 魯之猗頓也。猗頓、猗氏縣名。桑間之音 桑間、桑間濮水。桑、桑間濮水。桑間濮水、桑間濮水。桑間濮水、桑間濮水。桑間濮水

猥 小 [illegible] 20498

●たけいい大。(説文)猥、犬吠聲。(段注)也、廣韻作名。廣韻猥、説文云、鳥名。●(説文)猥、雌鵰有雄水。

[illegible]四(くもさる。猪の一種。或は蝟(ISO 10556)に作る。(集韻)猥、獄名。似狸、項長尾、或以小虫。

【猛】 20498 マウ ミャウ [illegible]

(集韻)亜梗切 [illegible]

猛 小 [illegible] 20498

●たけいい大。(説文)猛、健犬也。从犬孟聲。●たけい。●勇事。(廣雅、釋詁一)猛、健也。(玉篇)猛、勇猛。(礼、郊特牲、虎豹之皮、示能猛。(疏)猛、表示君臣之德。能服四方之威猛。(詩、大雅、皇矣)王赫斯怒、爰整其旅、以遏徂莒、以篤周祜、以按徂旅。(毛傳)猛、威也。(疏)猛、威也。(論語、泰伯)曾子曰、士不可以不弘毅、任重而道遠。(疏)猛、威也。(論語、顔淵)君子之過也、如日月之食焉、過也人皆仰之。(疏)猛、威也。(正字通)猛、威風。(左氏、昭二十年)有德者能以寛服民、其次莫如猛。(杜預、注)猛、殘酷。あしい。そこなう。(廣雅、釋詁三)猛、害也。(玉篇)猛、惡也。(礼、檀弓下)苛政猛于虎也。●たける。いかる。(張衡、西京賦、注)猛、怒也。●(説文)猛、怒也。●にはか。猛、急也。(玉篇)猛、卒也。(荀子、大略)猛、卒也。(荀子、成相)猛、卒也。(荀子、議兵)猛、卒也。●姓。(通志、氏族略)猛氏、宋有猛進。望出、城陽。

名 **【猛阿】** マウ ア

たけ。土司の名。雲南省思茅縣の西南、土把總がある。(思茅通志、職官、雲南省官、雲南)

【猛】 20498 [illegible]

(集韻)亜梗切 [illegible]

猛 小 [illegible] 20498

●たけいい大。(説文)猛、健犬也。●たけいくわるい。(風俗、秋官、序官)(呂氏、春秋、貴直)掌、攻驕獸、及除(猛獸)。(注

是何異與騶虞手而搏猛虎。●雲南土司之名。十二版納。(1・1・2・5・3・ふるさと)を見よ。

猛虎行 樂府、相和歌辭、平調曲の名。魏の文帝、魏の陳機、宋の謝惠連、唐の盧光業、李白、張籍の「猛虎行」は、樂府、清商三調の歌辞。

猛虎行 樂府、相和歌辞、平調曲。猛虎行に古辞、魏の文帝、陳の陳機、宋の謝惠連、唐の盧光業、李白、張籍の「猛虎行」は、樂府、清商三調の歌辞。

猛虎視眈眈 虎が獲物を狙うように、鋭く、厳しく、威圧的な様子。「眈眈」は、虎が鋭く獲物を見つめる様子。

猛虎伏櫪 虎が檻に伏せる。転じて、英雄が、志を得ないで、不遇な状態にあることの例。

猛虎在深山 虎が深山に居る。転じて、英雄が、志を得ないで、不遇な状態にあることの例。

猛虎在深山百獸震恐 虎が深山に居ると、百獣が震恐する。転じて、英雄が、志を得ないで、不遇な状態にあることの例。

猛虎為群 虎が、群れをなして、獲物を求める。

猛虎食人 虎が、人を食う。

猛虎出柙 虎が、檻から出る。転じて、英雄が、志を得ないで、不遇な状態にあることの例。

猛虎出柙龜玉毀櫝中 虎が檻から出ることもあるし、亀甲や玉が、箱の中で、傷つくこともある。(『論語』季氏篇)

猛虎行 樂府、相和歌辞、平調曲の名。魏の文帝、陳の陳機、宋の謝惠連、唐の盧光業、李白、張籍の「猛虎行」は、樂府、清商三調の歌辞。

猛虎視眈眈 虎が獲物を狙うように、鋭く、厳しく、威圧的な様子。「眈眈」は、虎が鋭く獲物を見つめる様子。

猛虎伏櫪 虎が檻に伏せる

【猛稱】[illegible] 鬼物の名。猛靖。【王延壽、夢賦】[illegible]
遊光・新序・[illegible]。
【猛女】[illegible] 後漢、郅后[illegible]。
【猛士】[illegible] 後漢、郅后[illegible]。
國で猛士に行政委員を置く。
【猛獸】[illegible] 獣物を寄するのやうな鳥。【新書、禮】
【猛烈】[illegible] 魔や惡なるのやうな鳥。【新書、禮】
【猛鳥】[illegible] 惡や惡なるのやうな鳥。【新書、禮】
【猛德】[illegible] 後漢、伊[illegible]。
【猛虎】[illegible] 後漢、伊[illegible]。
【猛虎之勢】[illegible] 後漢、伊[illegible]。
【猛虎之威】[illegible] 後漢、伊[illegible]。
【猛虎之力】[illegible] 後漢、伊[illegible]。
【猛虎之猛】[illegible] 後漢、伊[illegible]。
【猛虎之威】[illegible] 後漢、伊[illegible]。
【猛虎之勢

猜猜[ts'ai]ツァイ そねみ妬む。〔楚辭、惜誦〕人之昏以時兮、猜疑滿堂。〔漢書、王莽傳〕莽猜疑、多殺人。〔後漢書、馮魴傳〕魴以王莽猜忌、稱疾不仕。〔後漢書、馮魴傳〕魴謂莽曰、……今天下猜亂、……

猜害[ts'ai-hai]ツァイハイ そねみそこなう。猜疑。〔漢書、王莽傳〕莽猜害、……

猜忌[ts'ai-chi]ツァイチ そねみ妬む。〔後漢書、王莽傳〕莽猜忌、……

猜忌[ts'ai-chi]ツァイチ 人の才能や勢力などをそねみ憎む。〔後漢書、中行薛公伝〕……

猜嫌[ts'ai-hsien]ツァイシェン 疑い。〔後漢書、袁紹伝〕……

猜疑[ts'ai-i]ツァイイ 疑い深い。〔後漢書、袁紹伝〕……

猜[ts'ai]ツァイ 疑い深い。〔後漢書、袁紹伝〕……

猜[ts'ai]ツァイ うたがひおそれる。〔後漢書、袁紹伝〕……

猜[ts'ai]ツァイ 疑い深い

獃 20504 ゼン 補 獃、然（7—19149）に同じ。（字彙補）獃、然同。

獌 20505 エン 獌（7—20535）に同じ。手篇「獌」、與獌同。

獗 20506 ロク 義未詳。（字彙補）獗、音豹。

惣 20507 ダウ 惣（7—20544）に同じ。手篇「惣」同。（龍龕）

猻 20508 サイ 義未詳。（川篇）猻、音采。

獢 20509 ロク 義未詳。（搜眞玉鏡）獢、力谷切。

猶 20510 ショウ 猶（7—20583）に同じ。（五音篇海）猶、同。（五音集韻）

猘 20511 シヤ （中華大字典）讀如舍。

猶狸は、獸の名。蒙古の烏拉特山に產す。狸・狐との雜種。體に似て、其の毛皮は極めて珍重される。失利孤（中華大字典）。

猶狐は、獸の名。產烏拉諸山に產す。狐・狸・狐交所生、狀如貓而大、體經、善升木、其皮可以爲裘、極珍貴。（清一桃志、盛京志）失利孤、俗作「猶狐」。猶狐、亦作「失利一名土豹」。烏拉諸山皆有之。（黑龍江志）猶狐・狐出、索倫・著佳。

獄 20512 チヤウ 獄 猶（7—20584）の略字。

猶 20512′ レツ 猶（7—20788）の略字。

猪 20511′ チヨ 猪（7—20534）の略字。

獄 20513 ゴク （集韻）洪孤切 ㊀ 獄

獄獄は、獸の名。猿に似てゐる。（廣韻）

●獄獄、獸名。似猿。●さるの異名。（字彙）獄獄、獄獄。●獄（19—48461）に同じ。（集韻）獄、或作獄。

九畫

獄 20514 ゾウ （集韻）祖賣切 ㊀ 獄 ㊁ 獄

獄獄は、獸の一種。

獄獄は、獸類、胡猻。

獄獄散は、樹が倒れて獄が散ずることから、本が破れて枝葉の枯れ散ずる喩。（紅樓夢十八、本が破れて枝葉の枯倒、獄獄散的衆人詩、豈不

獄獄了一世的詩書表灰了。

獄獄草は、草の異名。たかさ（本草、蟲草）神名、墨子草、金陵草、墨櫛草、墨頭草、墨柔、獄獄頭、猪牙草、金陵草、地榆、地欲、地膚、夜光、水夜、草血、鬼見愁、血風草、馬蹄草、雀草、鼠草、蟲蟲草、獄獄頭草、草、時珍曰、赤莖布地、故曰地錦、事治血病、故俗稱爲血場、血見愁、馬蹄雀見喜欲、鼠見愁、獄獄草、象花葉形、故有馬蹄雀見喜之名。（本草）獄獄頭、象花葉形、故

獄獄王は、學校の教師、夏子を猿に、其の師を王に喩へる。獄獄王、近世の教師、夏子を猿に、其の師を王に喩へる。獄獄王、教孫王、（通俗編）教育、進孫王、不、敢、獄獄王、未來博之詩、來敢時、爲、學子師、仰、獄獄王、自、給、若、海、水、田、三、獄、獄、不、敢、獄獄王、切、後來以中王、教化、中、猴、獄、也、本陳出、爲詩、獄、さるが猿に入る。

獄獄人は、有猴。（通俗編）獄獄人、有猴。

獄獄人が、有猴、野人が、有猴、獄獄人、有猴。

獄獄人は、有猴。（通俗編）獄獄人、有猴。

獄獄人は、有猴。（通俗編）獄獄人、有猴。

獄獄人は、有猴。（通俗編）

集韻、三に獨、猶と總也、同也。漢書、蓋仲舒傳、科、別其條、分獨分、列。❷おはい。(一切經音義、慧琳)。❸獨、集韻、漢書、揚雄傳、獨盛則放溢。(注)師古曰、獨、多也。❹さかん。(漢書、賈山傳、獨盛)。有二説種。「不獨大。(注)師古曰、獨、盛也。❺つかれる。積つたもの。(説文、(6・2b・2b)に通ず。)説文、通説文解字、(注)師古曰、獨、積也。(漢書、董仲舒傳)。獨、積也。(注)師古曰、獨、積也。(漢書、五行志七、愛受、其獨、(注)師古曰、獨、積也。❻あつい。(漢書、王莽傳中、冬獨坡以大雨。(注)師古曰、獨、厚也。❼いやしい。蔑。(9・32b・4)に通ず。(説文、通説文解字、(注)師古曰、獨、賤也。❽凡。(潘岳、河陽縣作詩)。

借借。獨、(廣韻)、反。鄙也。(二)黄安自云、東漢、(注)善曰、言、以凡獨之才。

而荀彘、魏撃、(注)師古曰、獨、凡。❶にはか。(古書虫字集釋三)三蜀、猶、狶也、愛也、公羊傳、六年、秦伯、稱、獨、風、公羊傳、六年、秦伯、稱、獨、風、公羊傳、秦、獨、風、(注)何休、獨、猶、卒、與、狶同。獨、狶皆獨也、故十八年、公羊傳、秦伯

【猶】20524 クワ（集韻）爲未切 ㄨㄟˋ

ちん。犬の一種。猿(7‥20528)に同じ。(集韻)猿。小犬。或作猶。

【猶子】ッ ㄗˇ 兄弟に同じ。(晉書)王導傳。親子・猶子・兄弟。

名詩。駱賓王、西陽雜俎、上官昭容、(集韻)立于局前戰。(文選)潘岳、閑居賦。門外雀羅。(後漢書)袁紹傳。親子・猶子・兄弟。(史記)平原君傳。猶子・兄弟。上官昭容、名詩。(後漢書)袁紹傳。猶子・兄弟。(文選)潘岳、閑居賦。門外雀羅

獵今之兇、猟是無、獵是有、興、獵獵不一相遠云、如
輕清之野人、獵確獵、獵似手遠世所謂野女、
野蠻者也、宮部、（唐陶、宋論）注、（左
傳）注、（左傳）注、（左
傳）注、（左
傳）注、（左

大部（九畫）　攫　猣　猛　猶　猶　猴　猿　猨　獃　獃　獃

狀如狼、赤首而鬚目、其音如豨、名曰彙鼠。【集韻】彙、蝟屬。【類篇】蝟屬。【玉篇】彙、蝟屬。【廣韻】彙、蝟屬。【字彙】彙、蝟屬。【字彙補】彙、蝟屬。【正字通】彙、蝟屬。【康熙字典

居常、武居常犬信高雄也。時遊洛下、入鎮西。

猴 20554 コウ

猴類猴、以居常雄、有名於後鎮也。

猿 20555 イン・ソウ

猿、獼猴。可謂百獸長、故字從袁。明一統志：「猿嶺山、在一瓶縣西南北五十里。」

猿王 ｊｉｅｎｗａｎｇ きるのかしら〔史記・外戚五・蔡澤〕

夷門山下、猿人入市、人皆笑之。〔漢書・郊祀志〕

夜投以果實、則其大候、至平、上大悅、之猿上王。

猻 20556 ビン

猻、獼猴。〔説文・猴部〕

猶 20557 ユウ

日 イウ 〔集韻・尤韻〕 犹

国 ユウ 〔集韻・幽韻〕 猷

国 ユウ 〔集韻・宥韻〕 猷

国 ヨウ 〔集韻・篠韻〕 蕘

猴の俗字。〔康熙字典・猴・説文・猴字〕

猻の俗字。〔説文・猴部〕

猶の俗字。〔説文・猴部〕

猶 小 20557

日 イウ 〔集韻・尤韻〕 犹

国 ユウ 〔集韻・幽韻〕 猷

国 ヨウ 〔集韻・篠韻〕 蕘

かはなをその一種。

猶、獼猴、或は猶（マ一20758）に作る。〔説文〕猶、獼猴、从犬輶聲。猶、或从人。

〔集韻〕猶、獼猴、或从犬輶聲。猶、或从人。

猶、獼猴、或作猶。〔玉篇〕

猶、獼猴、或作猶。〔類聚名義抄〕

猶、獼猴、或作猶。〔字鏡集〕

猶、獼猴、或作猶。〔大広益会玉篇・詩・江賦・注

注)山多ス獵類。似狼而短足。好避人。麋樹。一獵百步。或三百丈。順在銅丸。爽在若。

飛。❷大きい犬。大犬。(『爾雅』釋獸。郭文)箭。尸子云。五尺犬大也。(『龍谷家訓』書誌)戸子曰。五尺犬為獒。❸犬の子。(『說文』猶一曰。隴西謂犬子為獒。)❹犬のように。方法。謀略。(詩・小雅・采芑)克壯其猶。(傳)猶。道也。(箋)猶。謀也。(詩)かりうこと。

犬の子。

犬の子。

犬の子

在人前、侍人、不多言、不得、又來迫秩、知此在蓋至于終日、終日撓之、故無、故無、猶豫、或以南推、曰、猶如狗、有五、故無、猶豫、關人、聲、故、此上下、故、猶、獸名也、既、【說文通訓定聲】猶、猶、豫聲通轉、故亦作、尤亦非。●時日至延緩すること。（唐志後錄）如欲、【猶相】ユウショウ　●鬼に似てゐる。孔子が老子の人ういに、人の智慧や聰明が疾患で其の心が底を窺見ゐることが出来ない。（史記・老子傳）孔子去謂弟子曰、鳥吾知、其能飛、魚吾知、其能泳、獸吾知、其能走、走者可以網、飛者可以矰、泳者可以釣、至龍、吾不能知、其乘風雲而上天、吾今日見老子、其猶龍邪、【猶豫】ユウヨ　●疑ひ。（史記・孝文帝紀）法、相思繁中、（S13112・4・5538）の字。（6）元代の詩、猶豆見、（西廂記・張若虛・相思・劉創新・猶古自愛公・日・去仲尼、猶吹毛耳。

【猶】ユウ　毛を吹き疵ばすやうで、（韓非子・內儲說下・備內）仲尼、（孔子）、（韓非子・難勢）、（韓非子・難勢）、（韓非子・難勢

青色而大、象形。頭與兔同、足與鹿同、與上同。●よわい。（顔延之、自陳表）息幾庸敝、過辜一近邑。

【猸】20561 ビ ミ（集韻）亡婢切 支

獸の名。（集韻）猸、獸名。

【猴】20562 カク キャク（字彙補）古客切 陌

人名。（字彙補）猴、人名。

【猿】20563 カン ケン（搜眞玉髓）古遠切 寒

るのこ。（字彙補）猿、豕也。

【猩】20564 セン 義未詳。（五音集韻海）徑、音菁。

【猪】20565 チイ 義未詳。（五音集韻海）猪、音瑞。

【猥】20566 ショク 猥7－20574の誤字。（字彙補）猥、猪字。

【猶】20567 サツ 義未詳。（龍書手鑑）猶、祖鶴切。

【猶】20568 クワウ 義未詳。（搜眞玉髓）猶、音切。

【猶】20569 サイ 義未詳。（搜眞玉髓）猶、音柴。

【猶】20570 シヤ 猶11－20639に同じ。（字彙補）猶、同猶。

十 畫

【猞】20571 エウ（集韻）猞招切 篠

●獸の名。（集韻）猞、獸名。●猞猁は、狗の一種。（集韻）猞、猞猁、狗種。●蠻族の名。（字彙補）猞、人名。

猞猁は、狗の一種。（集韻）猞、獸名。●猞猁は、狗の一種。（唐書、南蠻傳）猞猁、狗類、鑿鼻、鼻炊、花面、白衫、赤髦之類、強表海外者）之。

【猞錦】ニ。猞女の者を織物。（唐東新語、衣用）布或青或紅、猞花蕊草、名猞錦。

【猞柱】ヂウ 猞猁の住居する山谷内に産する肉桂。良質で其ら珍貴、俗に呼つて猞柱。

【猞臣】ヂン 胡南、賓家の理藩院同知に属する猞民。（唐書、百官志、四夷、内書侍郎職掌）戶部之別、云云。有、猞戶。（注）胡南賓家理藩院同知戶部之別、云云。

【猞公】ヂン 連山の猞猁の自稱。（廣東新語）連山有二猞猁、性最猛悍、其鬚長、肉尾、鱗皮厚寸許、飛行林間、自稱、猞公。西坪、連人、呼三百「猞公」。

【猞山】ヂン 山名。廣西省桂林に隣の南、黃崗山。

【猞族】ヂウ 獠族の名。南蠻、湖南、雲南に居り、其の大部は廣西省平南縣の北に在つて官治を受けず、字解の●を見よ。（寶慶府志）至正六年、猞族奚保等反。

【猞豆】ヂウ 猞族の住居する地方に産する豆。大きくて其の味は甘い。（廣東新語）凡倉田所生曰、大粒、石田所生曰、石粒、瓊人發東、無他處異種。猞豆、猞豆、絕大而甘、亦大粒也。

【猞】20572 ハン バン（集韻）浦官切 寒

●鯊狐は、尾の短い、犬の類。（集韻）鯊、鯊狐、犬短尾。●種族の名。（字彙補）猞、桂海虞衡志者）、盤瓠蠻、今辰州地即古溪蠻也、風俗通載、高辛之犬盤瓠、計、或云、高辛以少女、妻之、封、盤瓠氏、世稱、狗氏、一作、盤瓠、事雖誕不可、信、然足證、鯊狐之說、宜、斷。

【猴】20573 ソン（集韻）蘇昆切 元 ムメ suen

きる。（集韻）猴、猴類、獸名。

【猴】20574 ショク ソク（集韻）莫力切 職

犬のみつこ。（集韻）猴、犬生三子、曰、猴。

【猴】20575 ダウ 猴10－19649（猴10－20611）に同じ。（集韻）猴、獸名、似猿也、或作、猴、猴。

【猴】20576 タウ ダウ（集韻）歌蓋切 合

【猴】20577 リウ（集韻）力求切 尤

●教猿は、狗の名。（集韻）猴、教猿、狗名。言三清鈴、曰衆獸。●たけねずみ。師（28－34438）に同じ。（廣韻）猴、食竹根、鼠、猴。上同。

獸の走るさま。（集韻）猴、獸走皃。

【猴】20578 ハク ホク（集韻）匹沃切 沃

●犬の名。（廣韻）猴、犬名。●獸の名。人に似、鼠がある。猴（10－36823）に同じ。下博は、縣名。（集韻）猴、一曰、地名、信都縣。●ニ。同じ。（集韻）ニ。猴は、（集韻）尊、艸名。博猴、尊且、蘿荷也、或作、猴。「史記、司馬相如傳、諸蔗猴且。（注）集解曰、猴且、蘿荷也、索隱曰、漢書作、巴豆、文穎云、猴、猴且、ハク 獸の名。羊に似た。九尾西方、背に似たり。（山海經、南山經、基山）有獸焉、其狀如羊、九尾西方、其目在背、其名曰、猴猴、猴、猴、小豚也、或从犬。

【猴】20579 メイ ミヤウ（集韻）武經切 青

小さい豚。（師（10－36444）に同じ。（集韻）猴、小豚也、或从犬。

（圖）南山經 猴猴

犬部 （九—十畫）猴猴猿猩猥猶猞猞猴猴猴

獄 20580 日ゴク 中yù 【集韻】語玉切 遇

獄 小 【說文】❶獄を辨ずる官。敬判官。

【玉篇】獄、辨獄官也。【集韻】獄、獄官也。❷案する。うかがふ。司 (8・3237) 伺 (1・4b 2) 視 (10・3239) に同じ。【說文】獄、司空也。段注)此字所引者、今之伺字、以司釋獄、以❶釋❷。蓋調也。許書無伺字、獄、司空也。今作伺、視。【集韻】獄、一曰、辨獄相察。

獫 20581 シ 【集韻】泛雞切 紙

獫 (7・2958) の俗字。(字彙) 獫、同獫。俗字。

猴 20582 ケイ 【集韻】泛雞切 齊

東北の夷の名。通じて奚 (8・5936) に作る。【集韻】猴、東北夷名。通作奚。

猾 20583 クワツ 【集韻】戶八切 黠 匣 ゲチ ケチ ㄏㄨㄚˊ huá

❶みだる。みだす。【廣雅、釋詁四】猾、擾也。【集韻】猾、亂也。【書、冏命】猾夏。

又、その者。【玉篇】猾、點也。(一切經音義、一點、密也。)【史記、叔孫通傳】不能」進」猾。【後漢書、酷吏傳】大姦猾巧。【後漢書、馮魴傳】猾吏。

❷小兒の奸多こと。【方言、十一】凡小兒多詐而猾、或謂之猾。【王篇】猾、小兒多詐。❸もてあそぶ。【國語、晉語一】盛年

猿 20584 エン 【集韻】于元切 元 ユワン yuán

さる。ましら。猨 (7・20825)・蝯 (10・3331 5)・猿 (10・36597)・猨 (7・20294) に同じ。【集韻】蝯、說文、善援、與獼、猨、猿、猨、一物。【山海經、南山經】堂庭之山、多白猿。(注)今猿似獼猴、而大鼻、腦長便捷、

護種、在官求之、頓託故勢、威勢、低頭、謂寄通)猾、海獸名。猾無骨、入虎口、虎不能、噬、虎腹中、自內齧之。❹猾 (7・22729) に同じ。【集韻】猾、或作猭。

【猾惡】わるがしこい。猾擾。【後漢書、酷吏傳】黃安未嘗輸入賦稅、而郡怨自禁、人吏稱便。

【猾賊】わるがしこい。【晉、傅咸】蠻夷猾賊、四四、大海羅縛、閩江原以能食人、數百、擾亂、沒、守史嘯以、大臣、誘、案、猾、猾、猾、賊、殺、高、平、敗、敗、高、平、敗、敗、高、平、敗、敗

上下解顔。

【猿猴】ｊｉｎ ｋｏｕ。馬數の一。猿の林を隔てて、馬上を走り、或は輦、或は頭、或は馬尾に乗ること、『本朝世紀』寛治八年、猿猴を射て馬に乗ること、在物、或は広嗣、或は頭、或は馬尾に乗ること、『日本紀』、天平十年、医師、医師、紀朝臣、名猿、

【猿猴】ｓｅｋｉｋｏｕ。天鼠蝙蝠の別名。『倭名類聚抄』、蝙蝠、東国、蝙蝠、蝙蝠、後拾遺、和歌、

【猿沼】ｓａｒｕｎｕｍａ。奈良の名。千聞不利、紫鳶鷹の落葉、亦、観音用ニ、我祭ヲ生計、山、猿沼ノ原、

【猿】ｓａｒｕ。猿の食物を生計、山、猿沼ノ原の原物を食べて生活すること。『神楽』詩、食葉飲、清泉、猿計ヲ何猿。

【猿叫】ｅｋｉｋｙｏｕ。猿の叫び聲。猿の聲。『前漢書』、巴郡、巴郡、猿叫、蜀、蜀、蜀

羮十一樣）但心銅釵作敷、蓍烏物子、鏃（彩
夜翻）鼎上等、以銅鏡鼎之類、呼鏃、猿鏃。

【猿返】ゲンヘン　左右一下、四方、自由自在に
ふんどりかへること。（猿返笑）四下、雜役、猿
のかへるやうにいへば、左右前後自在に返るを
とりのべて。寛永發句帳に、さる返りみてや立つる

【猿掛】ゲンカケ　猿掛茶の別名。接鏃（後名類聚抄）
流止里。（笈）接鏃、此草六、接鏃と方八反、佐
登鳴ヨリ入所、接鏃、猿鏃、不能
猿木ゲンボク　載の馬を繋ぐ木。（徳川實紀）
馬繋にも載に母猴を飼へば馬の疫病を免れ
見た云ふ。（雍氏、十一、東晉太祥間、所載
云、馬起部、草類、猿鏃、此草有刺、鏃鏃、不能
猿鳴ゲンメイ　猿の鳴聲。（猿聲）（太經、江水注）遠
響重、從三斥望圓、絶、猿鳴、詩、其八、朝見、雲飛
夜夜聞、猿鳴、（杜甫、耳聲詩）猿鳴秋淚、蛩鳴
嘆、然空。
猿面ゲンメン　豊臣秀吉のあだな。顔が猿に似て
るからいふ。一説に中生れだからいふ。猿
面冠者（近古史談、徳川、實夜話）高木主
猿面冠者ゲンメンカンジャ　豊臣秀吉のあだな。草に
猿代ゲンダイ　猿をつないでおくくひ。（彫龍鏤、
猿捉ゲンソク　猿が水に映った月を取ろ
とすること。無智で計の亀墓な喩。（海鮮事山
市橋計柱人、苦輪）
猿智慧ゲンチエ　浅はかな智慧。小さかしいこと。
（生志心中、上）女の猿智慧。

【猿皮楓香ゲンピフウカ】　元田水産の別名。元田東野（A
—1340—7258）を見よ。　導引の法、鹿皮を以て
【猿經鏡面】ゲンケイキヤウメン　導引の法、鹿皮をきる。
君情、諸關節を、導引之術、作、猿經鏡面、引挽鞭鐙、
動、諸關節、以求、聽者。
猿穴場ゲンケツバ　猿の穴から山が壊れる。
小事を忽にすれば遂に大事を壞ぬる喩。
【猿蹴飛峰】ゲンシウヒホウ　猿が山頂から山が壊れる。
【猿蹴飛峰】ゲンシウヒホウ　猿や鹿の集場。（海鮮碎事、
隈、石觀、飛峰、）　段成式、冥報記、隋、無幼、猿蹴
【猿蹴飛峰】ゲンシウヒホウ　猿のやうな頭脳。わるがしこい頭。
【猿蹴柱鏡】ゲンシウチウキヤウ　白猿が弓の名手養由
基に遇つて、猿の一説に、前に已に死を免
れないのを覺り、柱を抱いて號して曰、汝、何
南子、說山、第三十六）白猿が、王目射之、則捨、矢
而解、使養由基射之、始開、弓、矢、未發而
猿通巫陽始斷陽ゲンツウフヨウシダンヨウ　巫陽に
猿通巫陽始斷陽ゲンツウフヨウシダンヨウ　巫陽に
しく、聞える、（古居易、送春處士遊、詩、詩）
江從巴蜀、始成、字、猿通、巫陽、始斷、陽
【猿押中】ゲンオウチウ　猿の
【猿押中】ゲンオウチウ　猿の
【猿】ゲンヒ　猿、一説に、猿、雄非子、說林上）
猿、賢者でも、寡を縛して其の才を用ひ、立場に
おけば、愚者と異ならぬ喩。（雄非子、說林上）
非所以謀能也、無所、縛、其能也、也、
則與、豚同、非不、巧、捷也、無所、縛、其能也、也、
惠子曰、蓋猿、於、神中、則與、豚同、故、惠子、使、
非所以謀能也、（淮南子、說山訓）蓋、猿、能中、
猿通巫陽始斷陽ゲンツウフヨウシダンヨウ　巫陽に
しく、聞える、（古居易、送春處士遊、詩、詩）
江從巴蜀、始成、字、猿通、巫陽、始斷、陽

【猿】ゲン　猿、（集韻）猿、俗字。

【猿】ゲン　猿、（集韻）猿、俗字。

【猿】ゲン　猿、（集韻）猿、俗字。

天水有一源道縣。應劭曰。鄭、夜邑。

【𤣥𤣥】テイ ヤヤ（集韻）唐子切 唐 𤣥𤣥 20597

𤣥𤣥は、さるの一種。𤣥（7・20436）に同じ。（集韻）𤣥、𤣥𤣥、𤣥𤣥、或从庭。

【𤣥】サ（玉篇）七何切 歌 𤣥 20598

大が狂う。（玉篇）𤣥、大狂也。

【獸】ガイ（集韻）古開切 灰 獸 20599 カラ（集韻）苦角切

（獸公子）n. gai. kosai. kaki. 元狩鼎に四角巾を冠り紅袍衣を著ること。（廣韻）おろかな。（獸頭獸腦）n. gai. ~ tō. gai. ~ nō. おろかなさま。ぼんやりするさま。

【𤣥】ヨク（集韻）呼木切 屋 𤣥 20600 ロク（集韻）居候切 𤣥 ロク（集韻）鹿角切 𤣥

❶獸の名。❷大犬屬。𤣥に上黃、蒼に下黑。食母猴（从大、殼聲。讀若構。）。❸祥羊に似た獸。（說文）𤣥、讀若構。❹𤣥、或曰、祥羊、出蜀北嶲山中。大者馬尾。（𤣥）𤣥、獸似祥羊、出蜀北嶲山中。大者馬尾。（𤣥）𤣥、獸名。（集韻）𤣥、或从𤣥。（𤣥）𤣥、獸名。（集韻）𤣥、或从𤣥。（𤣥）𤣥、獸名。（集韻）𤣥、獸名。（集韻）𤣥、獸名。（集韻

〔獄具〕ㄩˋ ㄐㄩˋ 名。刑具。梏、桎、鐐、鐐、杖的五種。用於刑史。梏、桎、鐐、鐐、杖的五種。用於刑史。刑法名。請鐐以桎梏

犬部（十畫）獻 猎 獵 猛 猿 獨 獠 獅

（後漢書、陳忠奏議）陳公奏理官、則讞獄緩死。

【讞獄緩死】ゲンゴクカンシ 誠慎を以て断定を判断し、情状を酌量して死を寛大に取扱ふ。（晉書、何曾伝）漢書、張釋之伝に、「廷尉、天下之平也。一人之命、繫於廷尉、一尉平、則天下用法輕重、民手足無所措。今陛下以一時之怒、而欲殺之、既已殺之、又欲其子繼之、是以一怒而絕二人之命、恐後世議陛下之用刑也。」とあり。

【獻神刷】ケンシンサツ 獄神祠に祀る。

【獻神廟】ケンシンビョウ 獄神祠に祀る。

【獄囚】ゴクシウ 刑獄を用ひて罪人を保護する。

【利用獄】リヨウゴク 刑獄を用ひて罪人を二度（裡種・裡種）裡を、利用獄、（裡種・裡種）裡を、同獄、（裡種・裡種）裡を、獄囚、（裡種・裡種）裡を、獄囚、（裡種・裡種）裡を、獄囚

常詩|瓠巵|師士宗可|倚、談|空說|有夜不|聽、
怨聞|河東郡士宗可|倚、杜甫|秦州雜詩|千首|寄|李|白|、注|瓠巵|
居士|指|司馬季主|也|、司馬季|子|列傳|、|宗|可|未|詳|、|有|士|規|
模|、|倚|、|倚|、|倚

大部 【十一畫】 獅獰猩猩猩

獲 20634

㊀ㄏㄨㄛˋ（集韻）胡珠切。匣。
㊁ㄏㄨㄛˋ（集韻）容朱切。匣。

㊀㊁手足被傷。獲（8－6283）。獲（10－36454）。獲（10－36620）に同じ。「集韻」獲、豕求子、謂ゥ獲、或从豕。（集韻）獲、豕求子、或从犬。（正字通）獲、左傳作獲。

獫 20635

ソク（集韻）蘇谷切。心。

（集韻）獫、山名。山海經、東山之首曰：獫蠱。

獫 小 ●するめ。もと獎（3－32458）に作獎。❹犬をけしかける。（說文）獎、大呰也。从犬、奬聲。㊁はげます。●けしかけるはげます。（方言一六）獎、欲也。自關而西、秦晉之間、相勸曰獎、或曰獎。（小爾雅、廣詁）獎、勸也。（廣雅、釋詁）獎、勸也。（呂覽、知士）獎、勸使也。❹とりもつ、推す。（南史、謝朓傳）朓好獎人才。❹たすける。（方言一六）獎、助也。（左氏、僖二十八）晉獎王室。無二相害也。（注）獎、助也。❹なす、成就する。（左氏、定四）以獎天衷。（注）獎、成也。（國語、周語中）而獎王室。（注）獎、成也。（說文通訓定聲）獎、假借爲、戕（方言一六）。

獲 20636

㊀ヨウ（集韻）行敎切。匣。
㊁ラウ（集韻）魯結切。

㊀西南夷の一種。孤（7－20268）に同じ。「集韻」獲、西南夷種、或从爪。㊁㊀西南夷の一種。獠（7－20692）獠（10－36630）僚（1－1106）に同じ。「集韻」獠、西南夷謂之獠。或从犬、从人、亦作獲。

（說文通訓定聲）獎、假借爲、戕（方言一六）。

（說文通訓定聲）獎、假借爲、牂。（集韻）獎、勸也。（左氏、僖二十八）晉獎王室。無二相害也。（注）獎、助也。❹なす、成就する。（左氏、定四）以獎天衷。（注）獎、成也。（國語、周語中）而獎王室。（注）獎、成也。

❹はめる。かざる。挾（9－6966）に通ず。（說文通訓定聲）獎、假借爲、挾。（方言一六）。

（集韻）獎、或作將。❹俗に獎（9－5932）に作る。（正字通）獎、既也。（正字通）獎、從也。（正字通）獎、從也。（廣雅、釋詁四）獎、從

【獍】20637 ケイ (集韻)古迥切、ｋｅｎｇ、獍勁部 青韻。
【獍目】。。。。。。見説みありとしてすすめ勧ます
【獍】。。。。。。

はる。狡（7－22255）に通ず。（集韻）狡、犬狡、通作。㊁あらはれる。「ばれる。」廣韻 獪、事露。

獑 20645 サン ゼン （集韻）鄭咸切 咸

獑獑は、彼の一種。腰から上は黒く、腰間には白毛あり。前肢は最も長い白毛がある。獑（10－33510）に同じ。（集韻）獑、獑獑。獸名。似猿、或从虫。（漢書、司馬相如傳上）漢胡毅紀。（注）張揖曰、獑胡、似猫、頭上有髮、髮以後黑。（張衡、西京賦）抄木末、獲獑獑。（注）綦曰、獑獑、後項而白、腰以前黑、在木表。

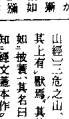
獒 20646 ガウ ゴウ （集韻）牛刀切 豪

❶いぬ。人心をよく察し役にたつ犬。（說文）獒、犬知人心可使者、从犬敖聲。❷たけ四尺ある大犬。（爾雅、釋畜）狗四尺爲獒。（書、旅獒）西旅底貢厥獒。（傳、大高四尺曰獒。）（注）猛犬。（左氏、宣二）公嗾夫獒焉。（注）獒、猛犬也。❸犬の名。（公羊、宣六）靈公有周狗、謂之獒。「嗾、獒」ソウ　犬に勢いを附けてけしかける。

高さ四尺以上の犬を獒という。（左氏、宣二）趙登月、拒倅者獒、過三顧、非禮也、兼跳以下。公嗾夫獒焉。明博而敏之、宿曰、獒、人犬、獒、猛何爲。（注）獒、猛也。（會箋）嗾、說文、使犬也、未詳引方言云、秦晉關東、謂使犬曰嗾、而獒、走犬、故急嗾、犬使、嗾之也、嗾、獒通、云云。爾雅、狗四尺爲獒。

獃 20647 ガウ ゴウ （集韻）牛刀切 豪

❶獃獃は、獸の名。牛に似て、白身四角。（集韻）獃、山海經に危之山有獸焉、云云、名曰獃獃、是食人。（山海經、西山經）三危之山、其上有獃獃、其狀如牛、白身四角、其毫如蝟、其名曰獃獃、其音如嬰兒、是食人。（郭璞、注）獃獃、如蝟、蓋本作獃。❷獒（7－20646）に同じ。（正字通）獃、同、獒。


（圖經海山）獃獃

獍 20648 カウ コウ （正字通）呼刀切 豪

むじなの類。白くて、尾は小さく、狗に似てゐる。（正字通）獍、狐類、色白尾小如狗、北人謂之皮狐子、亦曰獍子、讀若嘷、蓋本人讀、格之入聲轉而成嘷音也、見通雅。

獃 20651 サフ セフ （川篇）所甲切 洽

家の母。（川篇）獃、家母也。

獃 20652 クワン （五音集韻）音患

獸の名。（字彙補）獃、獸名。

猥 20653 ダウ ニヤウ （龍龕手鑑）女江切 江
ダウ ノウ （龍龕手鑑）乃刀切 豪
ダウ ネウ （龍龕手鑑）女交切 肴

毛の多い犬。（龍龕手鑑）猥、多毛犬也。

獻 20654 ケン

獻（7－22723）に同じ。（字彙補）獻、與獻同。

猶 20655 ザウ

義未詳。（字彙補）猶、前逸切、苦雪。

獝 20656 ヤ・ショ

義未詳。（龍龕手鑑）獝、羊毛切、又作獝切。

獝 20657 シウ

獝（7－22683）に同じ。（類編）獝、同、獝。（龍海）

獝 20658 サン

獝（7－22683）に同じ。（川篇）獝、同、獝。

獨 20659 ヨク

義未詳。（複廣玉篇）獨、虫獨切。

獵 20660 カン

獵（7－22689）に同じ。（字彙補）獵、與獵同。

獧 20661 ガン

義未詳。（複廣玉篇）獧、音顏。

獢 20662 フン

義未詳。（龍龕手鑑）獢、音昉。

獢 20663 セキ

義未詳。（海篇）獢、音赤。

獲 20664 カク

獲は、すばやいこと。獲（10－32823）の俗字。（正字通）獲、俗作獲。

十二畫

獲 20665 （ヘウ）

獲は、すばやいこと。獲（10－32824）に同じ。獲（7－22686）に同じ。獲、獲獲也。（玉篇）獲、王孫獲、性獲捷以疾疾、慧者、臣獲、敏捷也。（注）獲、創傳字。獲者、踊、獲捷、言、獲敏捷也。（史

獲 20666 セキ

獲は、すばやいこと。獲（10－32824）に同じ。獲（7－22686）に同じ。獲、獲獲也。

獲 20667 カウ ゴウ （集韻）平刀切 豪

犉 小 ❶ほえる。なく。**嘷**(2－4264)に作じ。(王篇)(玉篇)犉、牛名也。嗥也。咆也。(集韻)嗥、說文、咆也。讀長說。嗥从犬、或从豪。❷人名。(集韻)(類篇)犉、姓。(晉書)(劉聰載記)犉、鬲人。(山海經)(西山經)(中山經)犉、是食人。(山海經)(北山經)犉、其狀如牛、赤尾、名曰狍鴞、食人。(山海經)(中山經)犉、其狀如牛、赤尾、名曰狍鴞、食人。

𤞷 20668 キョ (集韻)(虞居切) 魚

駏驉は、獸の名。(玉篇)(2－41941)に同じ。(集韻)(類篇)駏驉、獸名。或从虍。

獂 20669 ①ブン (集韻)(文切) 汾 ②ガン (集韻)(都本切) 阮 ③ブン (集韻)(分兮切) 文

①❶羊の名。(玉篇)(類篇)羊名。羊は、土の子物。埴羊。(博物志)(羊)(羊は、土の子物。能岡集、木之怪也。(淮南子)(天文訓)(羊)、土之怪也。獂羊、大之怪也。(玉篇)獂は、犬の一種。(集韻)(類篇)博雅、狂狗、犬屬。②❷大の一種。(集韻)(類篇)博雅、犬屬。③❸大。(集韻)(類篇)去聲した家。類10－36567)に同じ。(集韻)(類篇)說文、瑰水也。或从大。

獄 20671 ケツ クワチ (字彙)(居月切) 月 ロロ ㄩㄝˋ

同じ。(集韻)(類篇)說文、犬怒也。或作獄。●備(7－20760)の俗字。(正字通)獄、俗嚙字。❷犬が食らふさま。(集韻)(類篇)獄、犬食兒。

獂 20670 ①ダウ (集韻)(皮刀切) 豪 ②ダフ (集韻)(話兮切) 泰

①❶犬の毛の黑いこと。(類7－20808)に同じ。(集韻)(類篇)說文、犬惡毛也。或作獂。②備(7－20760)の俗字。(正字通)獂、俗獂字。❷犬が食らふさま。(集韻)(類篇)獂、犬食兒。

獄 20672 ①ヘイ (集韻)(祕祭切) 霽 ②ヘツ (集韻)(蒲結切) 屑

①❶❷獸の名。(類7－20673)に同じ。(玉篇)(類篇)獄、獸名。(正字通)獄、作獘。●獘(4－9644)。獘(3－6010)の本字。(廣韻)獘、困也。(類篇)獄、說文曰、頓仆也。(俗作獘。說文通訓定聲)獘、字亦作獘。(說文)作、仆也。

考 熟語は獘(4－9644)を見よ。

獄 20673 ヘイ (集韻)(祕祭切) 霽

獄の名。(玉篇)獄は、狐の屬。獄(7－20672)に同じ。(正字通)獄、獸名。作獘。(山海經)(東山經)姑逢之山、有獄焉。其狀如狐。

猟 20674 ①ゲン (集韻)(平閑切) 刪 ②カン (集韻)(下賺切) 潸

而有翼、其音如。(淮南)(其名曰)獄獄。

猟 20675 ガン 槧 (7－20674)に同じ。(集韻)槧、或从閑。

猟 20676 クワウ ワウ (集韻)(胡光切) 陽

❶いぬ。(玉篇)(廣韻)獷、犬也。(廣韻)獷、大名。❷或は獷(7－20527)に作り、通じて黃(12－47926)に作る。(集韻)獷、或从皇。通作黃。

猟 20677 ①スイ (集韻)(姿季切) 寘 ②スイ (集韻)(蘇內切) 寘 ③カイ (集韻)(古介切) 霽 ④ザイ (集韻)(才悉切) 質

①②③④めすむしな。(集韻)(類篇)獷、獸名。雞猪也。

猟 20678 レン 獷(7－20781)の孫字。(正字通)獷、獸名。

猟 小 (11－40854)。❶すっぽかが大がつよい。(玉篇)(類篇)獷、大聲。(廣韻)獷、獷也。(集韻)獷、或从金。亦書作鈩。❷猟獷は、こえ。(字彙)獷、獷、聲也。(山海經)中山經)依軨之山、有獸焉。其狀如人、虎爪有甲、其名曰獷。善驟人、食者不風。

猟 20679 ホク (集韻)(博木切) 屋

猟給は、蠻族の名。(廣韻)獷、(7－18526)に通ず。(爾雅)(釋地)南至、於猟給。(廣韻)獷、獷給、南極之夷、尾長數寸、巢居山林、出山海經。

猟猟 ❶、蠻族の名。雲南省蒙自地方に居住する土人。(雲南通志)(雲南)(南夷傳)(漢夷傳)同、而語音不通。(蒙音蒙足、衣不完璞、臥以牛皮、雷用手拳鼓、(金雞鼎、法鼓、鐘鼓、存主者山、著石野州者、金雞鼎、法鼓、鐘鼓、存主者山、著、一名馬湖、首插、鶏羽、男子服紅經白繡衣、婦女衣曰、蠻、山多大樹、爲巢。

猟 20681 リン (集韻)(力珍切) 軫

獷(7－20680)に同じ。(集韻)獷、水聲作獷。

犬部（十二畫）獷猟獷獷獷

【猲】 20682 ㊀キ（集韻）許偈切 匣 ㊁ケツ（廣韻）呼交切 曉

㊀猲狚人肉の脯を食べ蠱人の名。（集韻）猲、猴類。出『古文餘』。食人脯、東方朔說。（神異經、西荒經）西荒之中有人焉、長短如一人、著三森毗衣、手虎爪、名曰『猲狚』。何一人獨行、輒食人脯。（廣韻）猲、獸名。出『音譜』。

【猶】 20683 ㊀スイ（集韻）直柔切 邪 ㊁キ（集韻）尹捲切 紙

㊀①ぬまた。類（7－20736）に同じ。（集韻）猶、怪獸、或作『玉篇』。（集韻）猶、說文、獸也、或作『獯』。（集韻）猶、說文、獸也、或作『獯』。類（10－36459）に同じ。

【猶】 20684 ㊀キツ（集韻）居必切 質 ㊁キツ（集韻）元律切 質

㊀①くるふ。（王篇）猶、狂也。●おどろき あわてるさま。驚き走るさま。斋18－2363に同じ。（廣韻）猶、驚皇、或作『猶』。（禮、禮運）風以爲『畜』、故鳥不高、（注）猶、飛走之類也。（釋文）猶、字又作『猶』。㊁①驚き走るさま。（集韻）猶、駭走。

【猶】 20685 ㊀レキ リャク（集韻）弦狀切 寘

獸の名。類（7－20738）、類（10－36560）に同じ。（集韻）猶、獸名、或作『猶』。猶、亦省。

【猶】 20686 ㊀ハン（集韻）符袁切 元 ㊁ベン（集韻）元袁切 願

犬の瘋癲する聲。（說文）猶、犬鬥聲、从犬番聲。㊁㊀に同じ。猶、亦作『猶』。類（7－20307）に同じ。（廣韻）猶、犬鬥聲。（集韻）猶、犬爭謂之猶、或从『弁』。

【獀】 20687 ㊀トウ（集韻）徒東切 東 ㊁ズン ちゅん chun

●犬の名。（集韻）獀、犬名。●雲族の名。湖南省湘鄂から出て、廣西・廣東に蔓延した民族で、生・熟の二種がある。（嶺外雜志）獀人、居三五燒之南、冬夏、鳥毛木葉爲衣、能用毒矢、中人者則骨立焦、雖猛人亦且斃之。（海錯百一錄）獀、廣西省慶遠府近で獀人の織る綿を（海錯百一錄）獀、廣西省慶遠府近で獀人の織る綿を

【獀】 20688 キ 類（10－36620）の俗字（正字通）、俗字。

【獄】 20689 ㊀カン（集韻）虎鑑切 鑑 ㊁カン（集韻）虎覽切 感 ㊂エン（集韻）乙減切 豏 ㊃カン（集韻）又鑑切 鑑 ㊄カン（集韻）下斬切 豏 ㊅カン（集韻）許鑒切 豏 ㊆ケン（集韻）虎覽切 豏 ㊇ケン（集韻）虎鑑切 豏 ㊈ケン（集韻）乙減切 豏 ㊉ケン（集韻）又鑑切 鑑 ㊊ケン（集韻）下斬切 豏 ㊋ケン（集韻）許鑒切 豏 ㊌ケン（集韻）虎覽切 豏 ㊍ケン（集韻）虎鑑切 豏 ㊎ケン（集韻）乙減切 豏 ㊏ケン（集韻）又鑑切 鑑 ㊐ケン（集韻）下斬切 豏 ㊑ケン（集韻）許鑒切 豏

㊀㊁㊂㊃㊄㊅㊆㊇㊈㊉㊊㊋㊌㊍㊎㊏㊐㊑①小犬の吠える聲。類（7－20550）に同じ。（字彙補）獀、與獀同。（說文）獀、小犬吠、从犬殷聲。（集韻）獀、犬聲。●獀鄉は、地名。河南省南陽縣。（說文）獀、南陽新野有獀鄉。（段注）野、各本作『亭』。今正。南陽郡新野縣見地理志。郡國志、今河南南陽府新野縣南、有漢新野故城。

【獆】 20690 ㊀ゲウ（集韻）倪弔切 嘯 ㊁ゲウ（集韻）魚教切 效 ㊂ゲウ（集韻）五教切 巧 ㊃ゲウ（集韻）魯教切 嘯

【獆】 20691 ㊀ヒャウ（集韻）疎橋切 庚 いぬ。（集韻）獆、犬也。

狂也、獆獆、猶言狂狂也。

【獆】 20692 ㊀レウ（集韻）力烏切 嘯 ㊁レウ（集韻）猶韋切 嘯 ㊂ラウ（集韻）魯晧切 皓 ㊃ラウ（集韻）許教切 巧

①かり。もと獠（7－20740）に類（10－36630）に同じ。（集韻）獠、西南夷謂之獠、或从犬、从虜。於蠻國、謂夜獵、獠相如、子虛賦）万相與獠於蠻國。（司馬相如、子虛賦）万相與獠。於蠻國。（廣韻）獠、夜獵也。（集韻）獠、或从『亦』作。獠。（廣韻）獠、夜獵也。（集韻）獠、或从『亦』作。獠。（廣韻）獠、夜獵也。（集韻）獠、西南夷謂之獠、或从犬、从虜。於蠻國、謂夜獵、獠相如、子虛賦）万相與獠。於蠻國。（司馬相如、子虛賦）万相與獠。於蠻國。（廣韻）獠、夜獵也。（集韻）獠、西南夷謂之獠、或从犬、从虜。於蠻國、謂夜獵、獠

【獐市】ゴ。獐地に立つ市。（張衡西京賦）夷人通商於獐市。（李善注）獐市、獐地名也。

【獐者】ゴ。獐する人。（漢書）（司馬相如列伝）獐者、（師古曰）獐、射也。獐者、擊禽獸者也。

【獐獐】ゴ。獐獐。（司馬相如）子虛賦。（郭璞注）獐、獐獐、（注）獐獐、（注）獐獐、（注）

獷 20714 カウ 獷(7 20550)に同じ。(廣韻)
チョウ 獸(7 20775)の略字。

獻 20715 チ (集韻)祁知切 支
●あらあらしい獣。獷(10 36641)・獷(7 20520)に同じ。(集韻)獷、獷獸、或从。多。(康熙字典)(類篇書作獷。廣(8 24868)の誤字。(正字通)獷、廣字之誤。

十三畫

獹 20716 タツ 獺(7 20782)に同じ。(集韻)獺、或从。

獫 20717 ズイ (集韻)遥切 篠
めよた。或は鏹(7 20583)に作る。(廣韻)獫、狩獵、或作鏹。

獪 20720 タン (字彙)音冒
獣の名。(字彙)獪、獣名。

獩 20721 ①ジキ (集韻)所狄切 錫 ②ケウ (集韻)堅堯切 蕭 ③ケウ (集韻)吉弔切 嘯
①②獩の子。(爾雅、釋獸)獩、狼、其子獩。(集韻)獩、狼子獩。(玉篇)獩、狼子獩。●めすの狼。(集韻)獩、一曰、牝狼。

獨 20722 ①ダウ (集韻)奴刀切 豪 ②ドク (集韻)奴李切 沃 ③ニュ (集韻)尼容切 冬 ④ダウ (玉篇)女江切 江 ⑤ダウ ネウ (集韻)尼交切 肴 ⑥ドウ メ (集韻)乃逢切 鍾
獩、小犬。又、長い毛の犬。毛の多い犬。(集韻)獨、犬毛長也。(玉篇)獨、多毛也。(廣韻)獨、長毛犬。●毛が長い。又、長い毛。(爾雅、釋獸)尨毛狗足、注)尨毛獨長。●毛族の名。苗族の一種。(中華大字典)獨、苗族之一種。見苗俗記。●或は獨(7 20576)に作る。(集韻)獨、或作、獨、通作、毒。(毛詩)獨、犬名。(毛詩、魯頌、駉)獨、多毛犬。

獷 20723 ①カツ カチ (集韻)居筠切 真 ②レフ (集韻)力涉切 葉
①獷は、大きい狼。獷(7 20550)に同じ。(玉篇)獷、狼狽。獷、獷狽、或从。●大がねる。(集韻)獷、大疾皃也。●はやい。(張衡、一二319)に通ず。(說文通訓定聲)獷、段借爲捷。(說文)獷、一曰、急也。(集韻)獷、疾也。●心がせまいが自ら守る所の堅いこと。(詩7 20426)に同じ。(孟子、盡心下)必也狂獷乎。(集注)論語、獷、作狷。
(獷)①ケン chiang わるがしこい。狡猾な奴隷。
(獷)①ケン chiang 「かち、猪急、根性。
(獷)①ケン 自ら守るのみかたいなか、心のせまい。(孟子、盡心下)狂者進取、獷者有所不爲也。(集注)論語、獷、作狷。

獩 20724 ①ケン (集韻)居縣切 霰 ②ケン (集韻)棒切 虎 (chiang)
①獩、獷狷。(集韻)百泫切 銑

獷 20725 トク (集韻)古切 屋 カメ ゴ
獷、小 ①②はやくはねをとる。獷(10 37918)に同じ。(說文)獷、疾跳也、从、大貴聲。(玉篇)獷、跳也。(集韻)獷、或从、足。●大がねる。(集韻)獷、大疾皃也。●はやい。(張衡、一二319)に通ず。(說文通訓定聲)獷、段借爲捷。(說文)獷、一曰、急也。(集韻)獷、疾也。●心がせまいが自ら守る所の堅いこと。(詩7 20426)に同じ。(孟子、盡心下)必也狂獷乎。(集注)論語、獷、作狷。

此字獨(傳)獨、單也。(廣雅、釋詁)若子獨其獨也。(孟子、梁惠王下)寡人獨好貨。(荀子、王霸)少也。(禮記、儒行)特立獨行。(b)人と異なる。(莊子、人間世)其行獨也。(c)人と異なる。(莊子、人間世)其行獨也。(荀子、君道)無、能相輔佐、任善、謂之獨。(d)ただ。寄ら。但(二 495)に同じ。(古書虛字集釋、六)獨、但也。(說苑、雜言)獨不遇時者衆矣。豈獨周哉。(易、晉)獨行正也。(疏)獨、猶專也。(孝、勝文公上)獨可、耕且爲、與。(e)老いて子の無い者。(禮記、禮運)老而無子曰獨。

獵 小 ①②はやくはねをとる。獷(10 37918)に同じ。(說文)獵、疾跳也。(集韻)獵、或从、足。●はやい。(張衡、一二319)に通ず。(說文通訓定聲)獵、段借爲捷。(說文)獵、一曰、急也。(集韻)獵、疾也。●心がせまいが自ら守る所の堅いこと。(詩7 20426)に同じ。(孟子、盡心下)必也狂獵乎。(集注)論語、獵、作狷。

獲、獲獲也、言」無所依也。[詩]小雅、自華」作「我獲」字。「獲」老而無」子曰」獲。[荀子]、[後漢書]、[周勃傳]、[楚則助]、[蓋象]、[注]、無」大曰」獲。②子孫無」嫡人、[後漢書]、[周勃傳]、[注]、無」子孫」曰」獲。③天子、[注]、無」子孫」曰」獲。[大司徒]、[邊近]、[博]、[注]、無」子孫」曰」獲。[禮記]、[檀弓]、[注]、[疏]、

集 詩云飛熊兆日 獨馬書月 霄 ◎人名。姓名。
は不詳。明に「がひとしてあるべからざるなり。
いまハ、法苑林に文選記曰 獨月書邑郡江人也、
平二郡長後侯伝 其名、頂上生一頂、故號之
獨角仙 ◎[名]。[仙]。[名]。[名]。
かぶとむし。昆虫類の昆蟲。體は頭と胸は一つ。
體黑色。雄には頭に角があるものもあり、
人工たべる。（本草、天牛・樗名、天水牛、八角
一角者名。獨角仙（倭名抄）、獨角仙人工獨
鶴 ◎[名]。[名]。[名]。[名]。[名]。[名]。
山名。東東省恩平縣の東北。（續史方輿紀要）、廣
東省、[名]。（恩平縣）、天森山（文獨鶴）、在 郡北
百里。峯嶺拔、絶地二千里、亦名 獨鶴去山。
獨學 ◎[名]。師友 に就かず自力で學問すること。
獨鶴 ◎[名]。[名]。[名]。[名]。[名]。[名]

廟。(注蕭目)。曾無固守之節。不能下爽也。

【獨固門】ﾄﾞｸｺﾓﾝ。地名。(注)。魏門。河北郡化縣の南。本趙。古河北。古水。又南出。幽、冀界。

【獨孤】ﾄﾞｸｺ。①。山名。山東省鄒縣東南。(漢書)。山名。東省鄒縣東南。(漢書)。山名。東省鄒縣東南。(漢書)。獨孤城。(南齊書)。獨孤城。山名。東北五十里。以孤峯獨立而名。●。複姓。

【獨孤信】ﾄﾞｸｺﾉﾌﾞ。(北史)。獨孤信。代人。字永安。(注)。獨孤信。代人。初以其部落民姓焉。(注)。獨孤信。代人。初以其部落民姓焉。(注)。獨孤信。代人。初以其部落民姓焉

食無憂慮也。●ただ一人で淋しくてゐる。〈字彙〉孤獨。

獨孤 唐書、李之芳傳 獨孤苦（玉篇、竹皇餘話）

獨坐 御覽、酒部 獨孤苦（玉篇、竹皇餘話）

獨坐鬱鬱 史記、二十五、孟嘗君傳 ●孟嘗君、獨坐鬱鬱、左右莫敢言。

獨坐鬱鬱 史記、二十五、孟嘗君傳 ●孟嘗の憂鬱が御史の耳に入り、御史は、獨坐鬱鬱、左右莫敢言。

獨坐 唐書、李之芳傳 ●之芳、獨坐、書不輟

酌業心去人的高志願。九新忘物我十二的忽後
音凌音異羽質征鈴得飄飄寧學世人酔
〔獨酌而遣懷〕[illegible]
〔獨酌而遣懷〕[illegible]
[illegible]
[illegible]

利ごとを右有すること。

〔獨行獨居〕[illegible]　逢ての狀況をいふ。狀況は宮中の如き「警護」の所まで出歩きかといふ。〔決定方〕詩經　「獨行獨居」狀況　獨占獨居　獨居　獨居　

獨傷況切 ●自ら傷てるると思ふ意。自分で傷いて思つて敵愾すること。（後漢書 陳蕃傳）獨特 仁性不群 ●その人の性格。（後漢書 陳蕃傳）獨特 同じ仲間の人のようなはなはだ優れてゐる意。（後漢書 左思 魏都賦）獨 後行之獨操 初行者の獨操。

獨 徐廣 江南の地名。（後漢書 郭躬傳）獨 ●ただ一つ。（後漢書 郭躬傳）獨 ●ひとりぼつち。（後漢書 郭躬傳）獨 ●その者だけが所存すり。（後漢書 郭躬傳）獨 ●その者だけ。（後漢書 郭躬傳）獨 ●ただ一人で。（後漢書 郭躬傳）獨 ●ただ一人で。（後漢書 郭躬傳）獨 ●ただ一人で

樂、非愚者所及也。若夫蛟鱗巢林、不過一枝、偃鼠飲河、不過滿腹。各量其所安之、而已足矣。故堯之治天下、猶無爵賞、而天下自化。堯、聖人、爵賞、者五千餘年。命之行、猶聖堯、迹更半世。化、猶聖堯、探、德堯之德、自未始有形之間、者舉之、未至、而已、何求於人、何待於外。堯、聖人、何求於人、何待於外。堯、聖人、何求於人、何待於外。故曰、無爵賞、而民自勸、無執勢、而民自從、無爵賞、而民自勸、無執勢、而民自從、無爵賞、而民自勸、無執勢、而民自從

●山名。河北省涿縣的西、下二縣澤的名。漢の武帝が北邊開を出た時、此澤を經たのは即ち此處である。[漢書、武帝紀]行幸雍・河・五畤・西河・朔方・北出蕭關、歷三原・甘泉・谷口・九嵕・北地・上郡・西河・上郡・鴈門・代而還幸河東、[注]張晏曰、獨鹿・山名也。鳴澤、澤名也。皆在涿郡。[漢書、地理志]

獨鹿 漢代の地名。[漢書、地理志]涿郡、獨鹿・山名也。鳴澤、澤名也。皆在涿郡。

獨往 一人で行くこと。自居易、[詩]獨往・與・微之・[注]獨往、獨遊。旬日、[白氏文集]

獨行 自己の主張を貫徹すること。[後漢書、[注]獨行、[列子、力命]

獨行 獨で人を見聞しない所に於てもの尾を無しとなりて、[大學、所謂誠其意者、毋自欺也。云云、注]獨行、故君子之慎、[荀子

大物（獨舊言）面不不、獨（獨恵巻作）面子耶。

獨天不生[illegible]　天だけでは物を生ずること。

獨不生[illegible]　獨だけでは物を生ずるということ。

獨[illegible]　獨だけ、孤立。

獨[illegible]　獨だけ、孤立。

獨[illegible]　獨だけ、孤立

相如上林賦、種稷穀、注、獮麦、(後漢書、劉服志下、獮多神羊、能別善惡、(後漢書、劉服志下、獮多神羊、能別善惡、(後漢書、劉服志下、獮多神羊、能別善惡

海狐、大鹿皮。(字彙)獵同。同、狐。

獨 20751 ヨ (集韻)辛韻切 魚

㊀なけくこゑ。(玉篇)獨、獸聲。㊁豚の子のこゑ。(玉篇)獨、豬聲。㊂獸の名。(集韻)獨、獸名。㊃猪獨は、犬の子。(集韻)獨、犬子。

獌 20752 カウ (集韻)旺高切 豪

豚の名。(集韻)獌、豚名。

獷 20754 クン (集韻)許云切 文

獷獷は(匈奴の別號。獷7－20532)。獷獷(2)を見よ。(集韻)獷獷、匈奴別號。或作獷。(集韻)獷獷(2)、南匈奴傳、注、匈奴傳、獷獷之蔽、中國、其所、由來。

獷獷(1)…… 蠻族の名。夏代、北方の蠻族。周には徐戎・淮夷・獷獷等に作る。(管子)小匡、(呂氏春秋)慎勢等に作る。(管子)小匡、(呂氏春秋)慎勢、(淮南子)人間訓、(呂氏春秋)慎大覽、(呂氏春秋)慎勢、(呂氏春秋)慎大覽、(呂氏春秋)慎勢、(呂氏春秋)慎大覽、(呂氏春秋)慎勢

る、〔宜韻〕獲、手取也。〔禮・曲禮上〕毋固獲。〔釋文〕獲、手取也。〔晉灼〕獲、圍也。〔爭〕獲、爭取日獲。〔詩〕獲、圍也。〔爭〕獲、爭取日獲。〔集韻〕獲、手取也。〔あ〕たる。〔ぶ〕たり。〔周禮・春官・司常〕見旧其旗物。〔釋文〕獲、胡郭切。

獲（ゑ）。〔ゑ〕。〔ゑ〕。〔ゑ〕

[illegible]

獵 20759 レフ

獵 7－20758の俗字。（字彙）

獵 20760 ロウ（集韻）力竦切 ロウ（集韻）寂候切 ロウ（集韻）洛侯切

獵 20761 ホウ（中華大字典）現獲切

獵獲は、獣の名。猴の一種。樂9－21555に通ず。「正字通」「獵、獵雄小者、紫黑色、能捕鼠」「正字通」「獵、與獵通。

獵 20762 リン

獵 7－20580の本字。（中華大字典）「獵、説文字見、説文。

獵 20763 ヤク

義未詳。（五音集韻）「獵、音羊。

獵 20764 ロウ レキ（集韻）沃約切 ロウ リャク（集韻）狄狄切

犬が人になつかぬ。又、おとろく。（字彙）

□ 7－20595に同じ。（集韻）「獵、説文、犬相衒」

獵 20765 ライ（集韻）落蓋切

くるふ。（集韻）「獵、狂也。

獵 20766 ゲン キュウ（集韻）渠巧切

虎に似てゐる獣の名。（集韻）「獵、獸名。似虎。

獵 20767 セン

獵 7－20792に同じ。（字彙）獵、同義。

獵 20768 レフ（集韻）力七切 力七切

かり。①禽獣を逐ひ捕へること。②獵師を総称する。獵者。③獵師の総名。（説文）「獵、放獵也。从犬、豔聲。（爾雅、釋天）「春獵爲蒐、夏獵爲苗、秋獵爲獮、冬獵爲狩。（廣韻）「獵、取獸、白虎通曰、四時之田、總名爲獵、田除害也。（禮、王制）「狩獵、獸也。後漢書、皇后紀）「夜の狩。（詩、魏風、伐檀）「不獵、雞鳴、伐檀不獵、雞鳴、伐檀。不獵、雞鳴、伐檀。**とらへる。**（大玄經、毅第所）「獵也。（注）「獵、捕也。**はさがす。**あさる。（大戴、禮）「本在上、人中、爲獵魚師。**ひしひしとせめる。**（爾雅、釋言）「獵、虐也。**おうこかす。**驚動せしめる。（國語、呉語）「獵、動也。

獵 20769 ロウ

獵 7－20792に同じ。（字彙）

獵 20770 ロウ

獵 7－20792に同じ。（字彙）

獵 20771 ロウ

獵 7－20792に同じ。（字彙）

獵 20772 ロウ

獵 7－20792に同じ。（字彙）

獵 20773 ロウ

獵 7－20792に同じ。（字彙）

獵 20774 ロウ

獵 7－20792に同じ。（字彙）

獵 20775 ロウ

獵 7－20792に同じ。（字彙）

獵 20776 ロウ

獵 7－20792に同じ。（字彙）

獵

これを以て祖先を祭ることといふ。(孟子、萬章下)孔子、魯を去り、下一孔子之仕於魯、仕於衛、仕於陳、孔子之仕於魯、曰魯道衰、禮義不行、由是而欲治者、世無賢君、無賢卿也、則魯之君、孰能與之爲政、是魯無君也、奚適而不可哉、孔子見魯君、魯君悅、孔子見季桓子、桓子悅、魯君悅、桓子悅、孔子行、(注)獵犬名。(荀子、大略篇)獵犬、所以逐禽也、(後漢書、馬援傳)援、上書曰、臣聞、獵犬、所以逐禽也、牧羊、所以守羊也、今陛下、以獵犬、牧羊、(後漢書、馬援傳)援、上書曰、臣聞、獵犬、所以逐禽也、牧羊、所以守羊也、今陛下、以獵犬、牧羊、

【獵艦】りょかん 獵船。(後漢書、馬援傳)援、上書曰、臣聞、獵犬、所以逐禽也、牧羊、所以守羊也、今陛下、以獵犬、牧羊、

【獵期】りょうき 獵の期。狩獵に適した時期。

【獵師】りょうし 獵をなりわとする人。

【獵場】りょうじょう ❶狩の場に使用されてゐる馬。(大槐殿集、詠史)獵場、馬、(詩、門外)獵場、馬、(詩、門外)獵場、馬、(詩、門外

大部（十五畫）獵獠獶獵獵獵

獸 20775

シウ ジュウ 尸又 shou

獸 ① 獸 獸 獸

貢政嚴學上部伊部郢文正部ホ神道神祇尻部鬼部

獷 20775 ㄍㄨㄤˇ kuang3 [集韻]古黃切 [廣韻]古黃切 [集韻]獷獷 [廣韻]獷獷 [集韻]獷獷 [廣韻]獷獷 [集韻]獷獷 [廣韻]獷獷

獵 20781

[一]レン [集韻]良延切 [元]
[二]ゲン [集韻]戈山切 [刪]
[三]ケン [集韻]古賢切 [眞]
[四]テン [集韻]徒結切 [先]
[五]チン [集韻]丑刃切 [震]

[一][二][三][四][五]獵 獵獵。獵獵。獵獵。

(四語)語語為齊侯來獻之。(注)獻、致。

獻　**①すむ**(定紀)本末、拾遺、紀、獻。**②たてまつる物**。(宗廟に供へる犬、牲物。(說文)宗廟人在宴獻犬獻。(周禮)大祭祀以獻。(儀禮)賓客に奉る物。獻上品。(孟子)獻、奉。**③**(孟子)天文(論)。(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**④**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑤よい**。(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑥ちかい**。(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑦**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑧**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑨**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑩**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑪**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑫**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑬**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑭**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑮**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑯**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑰**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑱**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑲**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**⑳**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㉑**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㉒**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㉓**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㉔**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㉕**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㉖**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㉗**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㉘**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㉙**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㉚**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㉛**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㉜**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㉝**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㉞**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㉟**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㊱**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㊲**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㊳**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㊴**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㊵**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㊶**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㊷**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㊸**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㊹**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㊺**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㊻**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㊼**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㊽**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㊾**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**㊿**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**51**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**52**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**53**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**54**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**55**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**56**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**57**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**58**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**59**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**60**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**61**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**62**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**63**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**64**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**65**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**66**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**67**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**68**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**69**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**70**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**71**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**72**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**73**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**74**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**75**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**76**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**77**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**78**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**79**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**80**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**81**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**82**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**83**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**84**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**85**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**86**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**87**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**88**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**89**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**90**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**91**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**92**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**93**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**94**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**95**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**96**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**97**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**98**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**99**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**100**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**101**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**102**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**103**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**104**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**105**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**106**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**107**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**108**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**109**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**110**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**111**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**112**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**113**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**114**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**115**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**116**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**117**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**118**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**119**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**120**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**121**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**122**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**123**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**124**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**125**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**126**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**127**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**128**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**129**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**130**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**131**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**132**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**133**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**134**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**135**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**136**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**137**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**138**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**139**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**140**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**141**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**142**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**143**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**144**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**145**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**146**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**147**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**148**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**149**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**150**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**151**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**152**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**153**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**154**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**155**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**156**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**157**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**158**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**159**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**160**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**161**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**162**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**163**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**164**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**165**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**166**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**167**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**168**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**169**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**170**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**171**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**172**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**173**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**174**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**175**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**176**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**177**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**178**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**179**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**180**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**181**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**182**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**183**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**184**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**185**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**186**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**187**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**188**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**189**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**190**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**191**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**192**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**193**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**194**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**195**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**196**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**197**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**198**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**199**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**200**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**201**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**202**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**203**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**204**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**205**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**206**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**207**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**208**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**209**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**210**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**211**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**212**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**213**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**214**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**215**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**216**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**217**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**218**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**219**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**220**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**221**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**222**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**223**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**224**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**225**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**226**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**227**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**228**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**229**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**230**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**231**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**232**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**233**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**234**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**235**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**236**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**237**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**238**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**239**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**240**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**241**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**242**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**243**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**244**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**245**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**246**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**247**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**248**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**249**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**250**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**251**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**252**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**253**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**254**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**255**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**256**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**257**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**258**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**259**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**260**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**261**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**262**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**263**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**264**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**265**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**266**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**267**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**268**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**269**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**270**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**271**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**272**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**273**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**274**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**275**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**276**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**277**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**278**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**279**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**280**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**281**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**282**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**283**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**284**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**285**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**286**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**287**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**288**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**289**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**290**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**291**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**292**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**293**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**294**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**295**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**296**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**297**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**298**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**299**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**300**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**301**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**302**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**303**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**304**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**305**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**306**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**307**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**308**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**309**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**310**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**311**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**312**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**313**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**314**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**315**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**316**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**317**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**318**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**319**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**320**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**321**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**322**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**323**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**324**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**325**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**326**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**327**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**328**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**329**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**330**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**331**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**332**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**333**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**334**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**335**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**336**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**337**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**338**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**339**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**340**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**341**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**342**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**343**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**344**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**345**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**346**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**347**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**348**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**349**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**350**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**351**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**352**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**353**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**354**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**355**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**356**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**357**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**358**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**359**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**360**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**361**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**362**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**363**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**364**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**365**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**366**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**367**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**368**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**369**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**370**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**371**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**372**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**373**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**374**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**375**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**376**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**377**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**378**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**379**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**380**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**381**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**382**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**383**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**384**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**385**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**386**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**387**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**388**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**389**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**390**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**391**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**392**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**393**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**394**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**395**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**396**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**397**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**398**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**399**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**400**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**401**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**402**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**403**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**404**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**405**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**406**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**407**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**408**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**409**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**410**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**411**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**412**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**413**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**414**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**415**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**416**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**417**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**418**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**419**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**420**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**421**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**422**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**423**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**424**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**425**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**426**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**427**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**428**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**429**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**430**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**431**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**432**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**433**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**434**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**435**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**436**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**437**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**438**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**439**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**440**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**441**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**442**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**443**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**444**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**445**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**446**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**447**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**448**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**449**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**450**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**451**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**452**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**453**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**454**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**455**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**456**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**457**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**458**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**459**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**460**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**461**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**462**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**463**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**464**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**465**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**466**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**467**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**468**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**469**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**470**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**471**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**472**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**473**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**474**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**475**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**476**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**477**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**478**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**479**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**480**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**481**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**482**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**483**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**484**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**485**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**486**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**487**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**488**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**489**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**490**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**491**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**492**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**493**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**494**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**495**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**496**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**497**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**498**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**499**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**500**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**501**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**502**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**503**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**504**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**505**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**506**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**507**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**508**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**509**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**510**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**511**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**512**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**513**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**514**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**515**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**516**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**517**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**518**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**519**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**520**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**521**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**522**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**523**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**524**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**525**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**526**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**527**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**528**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**529**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**530**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**531**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**532**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**533**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**534**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**535**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**536**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**537**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**538**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**539**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**540**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**541**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**542**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**543**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**544**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**545**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**546**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**547**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**548**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**549**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**550**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**551**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**552**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**553**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**554**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**555**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**556**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**557**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**558**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**559**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**560**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**561**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**562**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**563**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**564**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**565**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**566**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**567**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**568**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**569**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**570**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**571**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**572**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**573**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**574**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**575**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**576**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**577**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**578**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**579**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**580**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**581**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**582**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**583**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**584**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**585**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**586**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**587**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**588**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**589**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**590**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**591**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**592**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**593**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**594**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**595**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**596**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**597**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**598**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**599**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**600**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**601**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**602**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**603**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**604**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**605**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**606**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**607**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**608**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**609**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**610**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**611**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**612**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**613**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**614**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**615**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**616**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**617**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**618**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**619**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**620**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**621**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**622**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**623**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**624**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**625**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**626**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**627**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**628**(荀子)天文(論)。(禮記)獻、奉。**629**(荀子)

宮通引、古者引「奮舞」字無、今據類聚可・獻賦
因出、馭獻賦、帝從之、諸葛孝興、海之誤耶、又
按、禮記、天子親合諸侯、獻馬、獻龜、又
〔獻誠〕五字、獻を殺し、其の左耳を獻って獻ずる
こと。詩、鴛鴦、淮水、毛傳、燕燕、由此誠
(〔後〕誠、所格者之左耳、(漢書、地理志、鴛鴦
也、獻鴛鴦、死人之耳、以獻於君、
〔獻鄉〕〔獻〕、胡頤、(8・23505・5265)の字。
〔獻見〕〔獻〕、胡頤、(8・23505・5265)の字。
〔獻〕〔獻〕、(左氏、襄、十
四、「郎獻子」注、「獻」
〔獻見〕〔獻〕、(『記』、大
司馬、「諸侯獻、獻見之禮」(『漢書』、地理志、「
存、其國、名、其地、其人、口以多、獻物、
〔獻助〕〔獻〕、助力の意を申しあらわして、
〔獻〕〔獻〕、(『記』、「獻、
獻、獻、獻、

【獻春】ㄒㄧㄢˋ ㄔㄨㄣ 春の献上。孟春（陰元帝纂）孟春の日に獻春（王逸「從帝乙為太師」注）。孟春（陰元帝纂）

【獻書】ㄒㄧㄢˋ ㄕㄨ 書物を献ずる。（國語周語上）。獻書（陰元帝纂）書物を献ずる。（國語周語上）。獻書（陰元帝纂）

【獻功】ㄒㄧㄢˋ ㄍㄨㄥ 功績を献ずる。（國語周語上）。獻功（陰元帝纂）

【獻捷】ㄒㄧㄢˋ ㄐㄧㄝˊ 戦勝を献ずる。（國語周語上）。獻捷（陰元帝纂）

【獻馬】ㄒㄧㄢˋ ㄇㄚˇ 馬を献ずる。（國語周語上）。獻馬（陰元帝纂）

【獻俘】ㄒㄧㄢˋ ㄈㄨ 捕虜を献ずる。（國語周語上）。獻俘（陰元帝纂）

【獻俘馘于社】ㄒㄧㄢˋ ㄈㄨ ㄍㄨㄛˊ ㄩˊ ㄕㄜˋ 捕虜と馘を社に献ずる。（國語周語上）。獻俘馘于社（陰元帝纂）

【獻俘馘于學】ㄒㄧㄢˋ ㄈㄨ ㄍㄨㄛˊ ㄩˊ ㄒㄩㄝˊ 捕虜と馘を學に献ずる。（國語周語上）。獻俘馘于學（陰元帝纂）

【獻捷于社】ㄒㄧㄢˋ ㄐㄧㄝˊ ㄩˊ ㄕㄜˋ 戦勝を社に献ずる。（國語周語上）。獻捷于社（陰元帝纂）

【獻捷于學】ㄒㄧㄢˋ ㄐㄧㄝˊ ㄩˊ ㄒㄩㄝˊ 戦勝を學に献ずる。（國語周語上）。獻捷于學（陰元帝纂）

【獻功于社】ㄒㄧㄢˋ ㄍㄨㄥ ㄩˊ ㄕㄜˋ 功績を社に献ずる。（國語周語上）。獻功于社（陰元帝纂）

【獻功于學】ㄒㄧㄢˋ ㄍㄨㄥ ㄩˊ ㄒㄩㄝˊ 功績を學に献ずる。（國語周語上）。獻功于學（陰元帝纂）

【獻俘馘于周社】ㄒㄧㄢˋ ㄈㄨ ㄍㄨㄛˊ ㄩˊ ㄓㄡ ㄕㄜˋ 捕虜と馘を周社に献ずる。（國語周語上）。獻俘馘于周社（陰元帝纂）

【獻俘馘于周學】ㄒㄧㄢˋ ㄈㄨ ㄍㄨㄛˊ ㄩˊ ㄓㄡ ㄒㄩㄝˊ 捕虜と馘を周學に献ずる。（國語周語上）。獻俘馘于周學（陰元帝纂）

【獻捷于周社】ㄒㄧㄢˋ ㄐㄧㄝˊ ㄩˊ ㄓㄡ ㄕㄜˋ 戦勝を周社に献ずる。（國語周語上）。獻捷于周社（陰元帝纂）

【獻捷于周學】ㄒㄧㄢˋ ㄐㄧㄝˊ ㄩˊ ㄓㄡ ㄒㄩㄝˊ 戦勝を周學に献ずる。（國語周語上）。獻捷于周學（陰元帝纂）

【獻功于周社】ㄒㄧㄢˋ ㄍㄨㄥ ㄩˊ ㄓㄡ ㄕㄜˋ 功績を周社に献ずる。（國語周語上）。獻功于周社（陰元帝纂）

【獻功于周學】ㄒㄧㄢˋ ㄍㄨㄥ ㄩˊ ㄓㄡ ㄒㄩㄝˊ 功績を周學に献ずる。（國語周語上）。獻功于周學（陰元帝纂）

【獻】ㄒㄧㄢˋ 宜中京獻。獻捷。獻馘得也。（何晏、曹植獻馘因東海之獻捷。獻海琴之獻格。（任昉、秦瑞贈賈令正）天子天宗、神獻之則難。（法琳、著缺左氏傳）

【獻】ㄒㄧㄢˋ ㄅㄨˋ 獻物。（陸機、答賈謐）。獻物。（陸機、答賈謐）。獻物。（陸機、答賈謐）。

(一—1340)…ただの誤。●兀、弦弧鞭(4—6812…1)…ただの誤。●九、弦弧鞭(4—7283…13)の誤。●弦弧(6—14459…5)の字。●弦鞭(4—11958…5)の字。

【獻】(獻)…ケン。春秋、祭氏公(9—31918…1344)の人。

【獻物】(獻物)…ケンブツ。みつぎもの。(漢書、傅介傳)…新伯獻物。

【獻用】(獻用)…ケンヨウ。字解。●未、朝宗賦(10—37171…75)の字。●未、字解(7—19938…10)の字。●未、字解(6—14459…5)の字。●明、魔六歌(8—23050…229)の字。●明、魔六歌(8—23050…229)の字。●満、千恵賦(7—20623…23)の字。

【獻試】(獻試)…はかりごとを奉る。(周禮、春官)…大司馬之職、…大史之典、…以獻試法、…以詔王之失。(周禮、春官)…大師…以獻試事、…以詔王之失。(周禮、春官)…大師…以獻試事、…以詔王之失。(周禮、春官)…大師…以獻試事

犬部 (十七—十八畫) 猫猩獫獯獵獵獵

按廣韻・集韻並作𤞷。

【𤞷人】[ケン] 古の壁塗り巧な人。説に壁を塗る職人。左篇(廣雅)・博雅(廣)・説文(一)・則匠石視(呂・淮南)・注・顧虎臣。𤞷人之善塗也。疏・西京雜記・注・顧虎臣。𤞷人之善塗也。故謂塗者為𤞷人。

十九畫

𤞷 20801 レイ リャウ (集韻)郎丁切 青

𤞷の異 (通俗文)麤・𤞷(集韻)曰。𤞷。

𤞷 20802 イウ 幽(一・1251)に同じ。(字義總)略(集韻)同。

𤞷 20803 ラ (中華大字典)良何切 歌

●𤞷𤞷は、蠻族の名。𤞷蠻の一。雲貴・四川地方に住む。𤞷篇・羅篇。(天下郡國利病書・雲南種人)𤞷蠻、其切種類甚多、有、號鹿角蠻者、今謂鳥蠻、云云、其種類附・列於後(白蠻・黑蠻・蒙蠻・撒蠻・撒完蠻・鳥屋蠻・烏蠻・妙蠻・𤞷蠻。(六部成語・戶部・𤞷蠻・注)野人種名。●𤞷狄は、𤞷を(一)能・能手・𤞷・𤞷狄、謂(能)能而行也。

二十畫

𤞷 20804 ケン (集韻)遠協切 [illegible] T一ㄢ hiden?

𤞷は、北狄の名。唐・虞以前に山戎・𤞷・𤞷・殷に鬼方、周に𤞷・玁・秦・漢に匈奴という。通して後(7―207・30)に作る。匈奴(8―235・126・8)の●を見よ。(集韻)𤞷、周謂北夷、曰。𤞷狄、通作𤞷。詩・小雅・采薇・傳・室・傳)家、𤞷狄之故。(傳)𤞷狄・北狄也。

【𤞷狄】[ケン] 𤞷族の名。𤞷狄(7―207・30)・𤞷・𤞷(8―114・1)に同じ。字解を見よ。

𤞷 20805 イウ ユ (集韻)之救切 宥

獸の名 魚の一種。一に、さるの一種という。𤞷(10―365・27)・𤞷(7―203・4)・𤞷(7―207・36)に同じ。(集韻)𤞷、說文、鼠屬、善旋、一曰、禺屬、或作𤞷、𤞷、𤞷。

𤞷 20806 キ (集韻)居求切 虞

犬のひとつ子。 (擬編・博蒼)犬生三豵、二師、一𤞷。(王篇)𤞷、犬生二子。

獲 20807 小 日はぐくむ。 日ギク。 日ケキ。 日ヨク。 (集韻)厥縛切 (集韻)巷切 (集韻)巷切 (集韻)蒙切 ㊀ chuoh? 屋

獲 (10―35928)・獲(10―36654)・𤞷(10―35928)・獲(7―207・37)に同じ。(説文)獲、大逃走也。獲・持人・好逑各本無・大・今依・擬編・博蒼・説文・玄應・書・說文・補・(廣韻)獲、大逃也。(廣韻)獲、獲、上同。(集韻)獲・或从・虫・亦省。(新論・審名)・大・似獲、獲似狙、狙似人。㊀手でうつ。獲(6―13043)に作る。(説文)獲、捕也、或从大。㊁(集韻)獲、捕也。

獲 20808 ダウ 豪(7―207・32)の本字。(集韻)獲・或作・𤞷。

獲 20809 セン 獲(7―207・38)に同じ。(集韻)獲・或作・𤞷。

獲 20810 ラン (正字通)魯惑切 [illegible]

蠻族の名。 乾・𤞷の一。(正字通)獲、乾・𤞷之屬。

二十一畫

𤞷 20811 ケウ (集韻)直嬌切 [illegible]

黃白色の犬。 (集韻)𤞷・犬黃白色。

𤞷 20812 ケウ (玉篇)許切 [illegible]

黃色の犬。 (玉篇)𤞷、犬黃色。

二十四畫

𤞷 20813 レイ リャウ (集韻)郎丁切 青

臭い犬。 狩(7―20335)・𤞷(7―207・91)に同じ。(集韻)狩、犬大也、或作・𤞷・𤞷。

玄部

玄 20814 小 ケン (集韻)胡・九切 T一ㄩ hsuan? 先

文 赤黑い色。(説文)玄、黃而有赤色者。(爾雅・小雅・何草不黃)何草不玄。(箋)玄、赤黑色。㊁黑色。(小爾雅・廣詁)玄、黑也。(廣雅・釋器)玄、黑也。(書・禹貢)厥篚玄纖纊。(傳)玄、黑也。(楚辭・九章・懷沙)玄文處幽兮。(注)玄、黑也。(楚辭・卜居)九歌・惜誦)明月之玄珠。(注)黑光曰玄也。㊂深色の名。六度

大部 (十八―二十四畫) 𤞷・𤞷・𤞷・

そめた色。(両説、考工記、鍾氏、注)元玄色。❹天、天の色。(釋名、釋天、天文訓)之玄。(廣雅、釋言)玄、天也(易、坤、文言曰、天玄而地黄。(楚辭、宋玉、招魂、張本、注)太玄經、玄告天以不見爲、玄、天也。(太玄經、玄告)天以不見爲、玄。❺遠い。かすかで遠い。(選11・39947)(説文)玄、幽遠也。象幽而入微之也。(素問、天元紀大論)玄天爲、玄。(注)玄、遠也。❻深い。(説文)玄、黑而有赤色者。(廣雅、釋天)玄、深也。(玄、注)玄、黑也。❼神妙。(廣雅、釋天)九月爲、玄。❽ふしぎ。たえ。神妙。(後漢書、崔駰傳、同)師金之玄策。(注)玄策、鞭也。(張衡、東京賦)玄謀設而除行。(注)玄、神也。❾中庸。(後漢書、張衡傳、同)玄、玄之又玄、衆妙之門。(後漢書、張衡傳、常好玄虛。(注)玄、道也。(任昉、奏竟陵王宣王行狀)風化存仁動神之化也。(注)玄、道也。❿老子。(史記、老子傳)老子、聃、姓李氏、名耳。字伯陽、謚曰聃。(老子、正名)玄眞、(注)道之微妙者。⓫心。(黄庭經、心篇)玄者、心也。(黄庭經、心篇、太玄經、太玄告人以心心服)爲玄。⓬かがやく。炫(7・12586)に同じ。(正字通)玄、與炫同。(漢書、司馬相如傳下)采色玄耀。(注)師古曰、玄、讀曰炫。⓭くらむ。目くらめく。眩(6・2325)に同じ。(説文)眩、目無精光也。(玉篇)眩、目玄也。(廣雅、釋詁)眩、惑也。⓮黯(4・11482)に通ず。(張衡、東京賦)右黝左黈。(注)薛曰、玄、與黝古字通。⓯糸。糸(4・9191)に同じ。(説文)玄、幽也。古文、糸。(集韻)玄、古作糸。⓰姓。(姓苑)玄都、古諸侯國、子孫以國爲氏。

名解 クロ。ハルカ。

解字 會意。玄はかすかで上人の姿はふとどこかへ消滅の意。玄は糸の古字とされる。玄の会字で意味字は糸の黒く輝きつた色を示す。以下玄部の字は、すべて糸を部とする。

參考 清の張敦仁の論、玄傳を遡けて元の字を代用し、又、其の未書を缺いて玄に作り、弦・絃・炫・眩・衒・鉉・率等の字も亦糸點を缺いて用ひる。(説文解字、段注)弦、絃、炫、眩、衒、鉉、率、字亦缺點、惟鬱鬯鉶等字不缺點。(清儀閣、張敦仁、周禮、鬱鬯鉶等字不缺點)(清儀閣、段注)説文、玄、糸也。象幽而入微之意。玄、糸、玄、玄、玄

【玄英先生】[illegible]　唐、方子6・1・38820・83)

【玄鼎】[illegible]　黒い鼎。(博古、雑録)　玄鼎隆形、邁風流形、[illegible]鼎形、[illegible]形、[illegible]形、[illegible]

玄倒、母儀、知母、知儀、倒母、倒儀、於玄丘之次、謝廷、未孝武帝孝建元年、玄丘復置、孫書、孫、[illegible]、[illegible]、[illegible]

ついろ為る衣。玄貂に同じ。〔荀子、富国〕雑綾。
玄裘 [名] 一説、黒い貂の裘。〔礼記、玉藻〕之裘。
玄髮 [名] 黒い髪。美女の黒髪。〔白居易、青衫〕美人可以盛者、白髮分明、玄髮不多。〔白居易、光氏墓誌〕有有代氏之子、曰光氏、名曰玄髮。〔白居易、光氏墓誌〕玄髮故列女傳。
可憐人名曰玄髮。〔白居易、張籍・上郡・時聯句〕玄髮
〔宋史、103〕子、張籍・上郡・時聯句・玄髮
相録。〔宋史、103〕子、玄髮。
玄髮 [名] 同上。〔宋史、103〕子、玄髮。
玄髮 [名] 同上。〔宋史、103〕子、玄髮。
玄髮 [名] 同上

苞稱熊氏謂孫子玄者未 華 (音)胡 說世(注)輔
同 玄音 頭末 自而生 老也
玄酒 (注)水 酒 道 之 本體、即 上 道理 的
意思 自 指 子 程子 大 地 萬 萬 物 之 本 亦 之 本
原 平 說 萬 之 所 而 所 望 見 能 通 其 玄 珠 (禮 文)
玄 玉 玄 珠 玄 水 (二)良 日 玄 珠 、 玄 道 (宋 書
謝 惠 連 傳 謝 靈 運 論)
(玄 珠 宗 (禮 記 明 文 宗 伯 (6・124459・1232)
玄 酒 (禮 記 水 的 異名、 其 色 尚 黑 (見 玄 之 酒
之 名)又 又 , 克 水 , 酒 也 之 道 (二)玄 酒 , 酒 名
太 古 酒 的 名 (水 也 以 之 酒)古 代 人 尚 古 , 祭
祀 的 時 候 , 以 水 當 酒 , 故 稱 之 為 玄 酒 。 (禮
記 禮 運)玄 酒 在 戶 , 醴 在 戶 。 (注)玄 酒 , 謂
當 酒 所 用 , 故 謂 之 玄 酒 。 (孔 穎 達)此 水
體 質 也 , 水 明 水 質 謂 之 玄 酒 , 醴 酒 配 明 水 , 而
酒 稱 玄 酒 者 , 尚 質 也 。 (禮 記 郊 特 牲)玄 酒
在 室 , 醴 在 戶 , 醆 在 堂 , 澄 在 下 , 以 降 , 上 尊
也 。 (注)玄 酒 , 水 也 。 (孔 穎 達)此 明 水 , 故 又 謂
之 玄 酒 。 (禮 記 禮 器)大 饗 , 尚 玄 酒 。 (注)玄 酒
, 水 也 。 (孔 穎 達)玄 酒 , 水 也 。 (禮 記 郊 特 牲
)玄 酒 之 尊 , 貴 新 , 皆 鬱 金 香 , 故 謂 之 玄 酒 。
(注)玄 酒 , 泲 水 , 貴 新 故 , 皆 鬱 金 香 , 故 謂
之 玄 酒 。 (孔 穎 達)玄 酒 , 泲 水 , 貴 新 故 , 皆
鬱 金 香 , 故 謂 之 玄 酒 。 (禮 記 郊 特 牲)玄 酒
, 水 也 。 (孔 穎 達)玄 酒 , 水 也 。 (禮 記 郊 特
牲)玄 酒 , 水 也 。 (孔 穎 達)玄 酒 , 水 也 。 (禮
記 郊 特 牲)玄 酒 , 水 也 。 (孔 穎 達)玄 酒 , 水
也 。 (禮 記 郊 特 牲)玄 酒 , 水 也 。 (孔 穎 達)玄
酒 , 水 也 。 (禮 記 郊 特 牲)玄 酒 , 水 也 。 (孔
穎 達)玄 酒 , 水 也 。 (禮 記 郊 特 牲)玄 酒 , 水
也 。 (孔 穎 達)玄 酒 , 水 也 。 (禮 記 郊 特 牲
)玄 酒 , 水 也 。 (孔 穎 達)玄 酒 , 水 也 。 (禮
記 郊 特 牲)玄 酒 , 水 也 。 (孔 穎 達)玄 酒 , 水
也 。 (禮 記 郊 特 牲)玄 酒 , 水 也 。 (孔 穎 達)
玄 酒 , 水 也 。 (禮 記 郊 特 牲)玄 酒 , 水 也 。
(孔 穎 達)玄 酒 , 水 也 。 (禮 記 郊 特 牲)玄
酒 , 水 也 。 (孔 穎 達)玄 酒 , 水 也 。 (禮 記 郊
特 牲)玄 酒 , 水 也 。 (孔 穎 達)玄 酒 , 水 也 。
(

之觀三清、五帝、右右之帝、酒醴、宴玉、法酒、既往石室、請問石室、右右之石室、石室、石室、

授けたとい。神女六千運甲の建書は玄女の授け受ける所といい、「黄帝内傳」帝伐蚩尤に玄女爲帝師。黄帝傳玄授之三道。「王初寮元始天王授神符秘要」黄公授黄帝三圖。「帝王世紀」玄女授黄帝兵符。

〔玄通〕……●おくふかく、理に通ずる。道を體ずるに玄通に至る。「荀子」「天論」「玄通之士」「玄通之人」「玄通之心」「玄通之人」「玄通之心」「玄通之人」「玄通之心

【玄德】[illegible]：おくふかくしてかがくれた意。[illegible]。【玄妙】[illegible]：[illegible]。【玄道】[illegible]：[illegible]。【玄化】[illegible]：[illegible]。【玄鶴】[illegible]：[illegible]。【玄黓】[illegible]：[illegible]。【玄黓】[illegible]：[illegible]。【玄黓

乃立三神山於渤海中央改名玄武大池開水運興昆明池作樓船十丈名曰楼船將士樂習水戰漢書武帝紀元鼎六年作柏梁台高十丈用香木為柱瑞木為梁桷宛若自然成者以香油和泥塗壁椒風蘭氣芬馥聞數十里上若神仙居之[玄武池]漢書武帝紀太初元年作柏梁台高十丈用香木為柱瑞木為梁桷宛若自然成者以香油和泥塗壁椒風蘭氣芬馥聞數十里上若神仙居之[玄武門

民事有意焉。句芒・祝融・后土・蓐收・玄冥之官、如上所説。（注）句芒・后土・蓐收・玄冥之官、如上所説。前長離・使神・玄冥、各安本職。（注）使、使神。玄冥、水神。玄冥、[illegible]。[illegible]。[illegible]。

號。
【玄奏摸】[illegible]　明、陳治(11—41768・154)の
字名。
【玄同】[illegible]　明、陳治(11—41768・154)の
は道。(博遠・解題)　或明、趙宧光の字。白、道
解。『說文』解題に、玄道也、云云。『書
例白者、謂玄道未行也』。
【玄黃】[illegible]　明、華鼎(9—31453・185)の
字名。
【玄精石】[illegible]　鍾乳の別名。[illegible]
ること、微青を帶び、石英に似て、中に入り、
酸石(一名、玄精石)・雄精石・英石・時珍
曰、此石乃鍾乳・雄精・硫黃・赤石脂・
【玄纖論】[illegible]　黒色・白色との細い糸。(書
禹貢)『織・玄・黃・璗・璗・璗・璗・璗・璗
也。纖、在中・明・物・皆・細』。
【玄黃】[illegible]　悪をいう。(清異錄・文用、
香月・緑紙・紙・墨・命・巨・名・字・又名・鬱香・月・
明・梅鼎祚(9—16850・2374)の
字名。
【玄砥塔】[illegible]　唐禅の名。(書・禹貢)『玄・
の・もと・砥・柱・津・原・に・在・たり』の条。(後・西安府)に・は
の建る所、鉄山・分・後・西安府に・は
【玄微子】[illegible]　戰國、東海子の號。[illegible]
23・[illegible]・[illegible]・[illegible]

大禹謨、惟時有苗弗率。（傳）率、循。不循一善道。㉓おとなし。（釋詁）率、順。（注）氏、賓十六、率、義之謂。禹、注率、行也。㉔ならふ。（孟子、滕文公上）相率而爲偽者也。（注）率、效也。㉕さきだつ。みちびく。（注）11、39965）に通ず。（說文通訓定聲）率、假借爲率。（管子、輕重甲）衆率先。春秋元命苞）律之爲言、率也。（注）率、猶導也。㉖みなく。おほむね。（增韻）率、皆也。大略也。㉗すみやか。すばやく。あつかましい。（師道のさま。率然、率爾（ヨ）。心がすなはち指定せぬさま。（說文通訓定聲）率、假借爲率。（荀子、富國）將率不能制長輩（注）率、與。師同。㉘しばしば。あつかましい。（說文通訓定聲）率、假借爲率。（正韻）率、同。師同。（詩、旣醉、侯氏下、方伯連率之職。（釋文）率、所類反。（禮記、云、十國以爲連、連有長。（注）率、帥。（荀子、富國）將率不能制長輩（注）率、與。師同。㉙したがへる。（廣韻）率、鳥祝也。㉚ひかへる。かず。（集韻）率、計數之名。（周禮、天官、大宰、徐到官職。（漢書、高帝紀下）令吾以其山率（注）師古曰、率、猶小雅、率之初筵率如此也。（疏）非。（之解。（史記、莊子傳）大抵率寓言也。（集韻）率、約數也。（漢書、宣帝紀）率常在三日。（注）師古曰、率者、總計之言也。㉛わりあひ。標準、等差。（集韻）諸將多率中首、率、領。（後漢紀、宋均傳）刻漏爲詩、四刻則刻一寸、以此爲率。㉜きまり。法度、限度、律（4—1059）に通ず。（禮、祭義）其率用、以類。（疏）率、法也。（孟子、盡心上、要）其數率。（集韻、正韻）率、常也。㉝おほむね。（集韻）率、約數也。（漢書、宣帝紀）率常在三日。（注）師古曰、率者、總計之言也。㉞わりあひ。標準、等差。（集韻）諸將多率中首、率、領。（後漢紀、宋均傳）刻漏爲詩、四刻則刻一寸、以此爲率。㉟きまり。法度、限度、律（4—1059）に通ず。（禮、祭義）其率用、以類。（疏）率、法也。（孟子、盡心上、要）其數率。（集韻、正韻）率、常也。㊱ひとあし。（集韻）率、鳥祝也。㊲つづめたかや。物を比べ數へる基本的數。（晉書、天文志）以周率乘之。㊳ぬひつり。（說文通訓定聲）率、假借爲轉。（漢書、王莽）士練帛率、下辟（注）率、轉也。（說文通訓定聲）率、其帶用、鞶帛率、兩邊練而已、轉、謂練、樹也。固實の名、垂き、ひも。をさ。帥（4—8886）衝（10—34080）に通ず。

同じ。（說文通訓定聲）率、假借爲衝。（正韻）率、同。師同。（詩、旣醉、侯氏下、方伯連率之職。（釋文）率、所類反。（禮記、云、十國以爲連、連有長。（注）率、帥。（荀子、富國）將率不能制長輩（注）率、與。師同。㊴とあみ。（廣韻）率、鳥祝也。㊵ひかへる。かず。（集韻）率、計數之名。（周禮、天官、大宰、徐到官職。（漢書、高帝紀下）令吾以其山率（注）師古曰、率、猶小雅、率之初筵率如此也。（疏）非。（之解。（史記、莊子傳）大抵率寓言也。（集韻）率、約數也。（漢書、宣帝紀）率常在三日。（注）師古曰、率者、總計之言也。㊶わりあひ。標準、等差。（集韻）諸將多率中首、率、領。（後漢紀、宋均傳）刻漏爲詩、四刻則刻一寸、以此爲率。㊷きまり。法度、限度、律（4—1059）に通ず。（禮、祭義）其率用、以類。（疏）率、法也。（孟子、盡心上、要）其數率。（集韻、正韻）率、常也。㊸ひとあし。（集韻）率、鳥祝也。㊹つづめたかや。物を比べ數へる基本的數。（晉書、天文志）以周率乘之。㊺ぬひつり。（說文通訓定聲）率、假借爲轉。（漢書、王莽）士練帛率、下辟（注）率、轉也。（說文通訓定聲）率、其帶用、鞶帛率、兩邊練而已、轉、謂練、樹也。固實の名、垂き、ひも。をさ。帥（4—8886）衝（10—34080）に通ず。

同じ。（集韻）鈞、量名、或作率。（史記、周紀）其數百年、（注）集解引、徐廣曰、綏也。孔安國曰、六兩曰鍾、鍾、鍾、ひとそ。太宰府の長官。

ノ也。

名編 象形。鳥はあみの形に、上下のあみの上に象る。字解を見よ。

解字 象形。鳥はあみの形に、上下のあみの上に象る。字解を見よ。

率易（リツ）。あつさりしてゐて手軽なこと。（南史、駱騫傳）表已率易、不能自決。

率意（リツイ）。心にまかせること。意のままにすること。（晉書、陳寿傳）資時事而率意、（晉書、阮籍傳）率意而動。

率爾（リツジ）。率爾、猶爾爾。（論語、先進）率爾而對。（陸德明、釋文）或讀爲率爾。（荀子、富國）將率不能制長輩。（注）率爾、猶爾爾。（荀子、富國）將率不能制長輩。（注）率爾、與師同。

率由（リツユウ）。したがひよること。（詩、大雅、假樂）不愆不忘、率由舊章。（後漢書、馬融傳）率由舊章。（注）率、循也。（漢書、王莽傳）率由舊章。（注）率、循也。（漢書、王莽傳）率由舊章。（注）率、循也。（漢書、王莽

鴈・伊豫宗・道・補南風・風節・小野氏麦等、牽・乘

【牽位】名 相撲で服従する（書・文侯之命篇）小人相敵・周の不・牽位・（詩・魯頌・閟宮）奚不・牽位・敵侯之功。

【牽引】名 引き下げ・傳・牽・曳・徳・大法。

【牽下】名 引き下げ・傳・牽・曳・徳・大法。

【牽職】名 職に従事する・（書・文侯之命篇）惟・武・武・紀・夏・后・孝・勤・政・（詩・魯頌・閟宮）奚不・牽職・（詩・大雅・抑）

〔傳國璽、璽璽〕〔玉篇〕璽、印璽。璽、璽璽。

〔率〕〔說文〕率、率、引率也。ひきつれる。率領。〔郭璞注、山海經〕率、率、率領。率、率、率、

器は別字。(康熙字典、雄鈺、字相似)王、金玉、王氏、注釈、王王之鍾、

【王絃】ｷｮｳｹﾝ ●美しいすがた。(唐詩名氏、射中

【王絃】ｷｮｳｹﾝ ●琴。(通鑑注)

【王琴】ｷｮｳｷﾝ ●琴の美称。(唐詩名氏、射中

【玉髓】[illegible]

【玉璽】[illegible]

【玉璽】[illegible]

【玉璽

〔玉泉〕 Ro^{1} 玉をちりばめた物を載せる側。

〔玉詞〕 Ro^{1} 玉詞。『日本紀』『古事記』『万葉集』『続日本紀』『日本書紀』『日本霊異記』『日本三代実録』『日本文徳実録』『日本後紀』『日本逸史』『日本文粋

手動料。郎ち口錄の割屬しのこと。

【玉篇】■■■。●くずの葉稿（萬葉集二）玉葛（玉篇）■■■。●ちはやふる神がきしまいりくるもみぢ葉の錦ぬきたえに。●枕詞。葛は長く延びひろがるなり延びてとに

卷（後周）沈重〔一〕周禮劉氏音二卷（後魏）劉昌宗周禮周氏音二卷（後魏）周官音義周諦一卷（後魏）戴氏音一卷（後魏）周官音義周諦徐一卷（後魏）

禮統文（後漢）鄭玄〔一〕禮緯類第二十七冊，大觀復服變除（後漢）鄭玄〔一〕禮緯約制（後漢）何休〔一〕禮緯文（後漢）鄭玄〔一〕禮緯鄭氏注一卷（後漢）王肅〔一〕王肅禮記

[illegible]

[illegible]

[illegible]

狀如冢、所謂夜明、夜光珠、或名明月、或名靈珠、或名明璫、或名明璫、又名青丘行狀、珠徑、禹計珠十果、遠於蓋丘、百里、無所、禹計珠十果、遠於蓋丘、百里、無所、明、見、向東家人、家人問之、曰、夜明、明、見、向東家人、家人問之、曰、夜明、明、見、向東家人、家人問之、曰、夜明

【玉篇新語】 張論温公挽辭 弦斷氏家 鎮氣 離散 唯有一女云云 屬公覓壻 云云(公)

【玉篇】 玉 佳璋 如編 何如 公云云 公曰 公公 鎮 云云 (公) 云云 已覓得婿處云云 因下玉鎮妻 枚 姑大 真、既婚妻鎮 云云 手抽鈔 鎮、換 妻大 真、

【枕因話】 是老奴 果如所言、王鎮妻 公云云 劉 枕因話 是老奴 果如所言、王鎮妻 公云云 劉

【太平廣記】 元和末、王鎮妻 公云云 劉 元和末、王鎮妻 公云云 劉

【玉篇】 玉 [illegible] 玉 [illegible] 玉 [illegible]

之於紀譯天敕若經。涉四年。成六百卷。

【玉華宮】[名]唐の名宮名。貞觀十二年。太宗の造営。[地]鹿臺山王所。象馬為行。王玉驄。月陂。[宴]紫雲樓。峰峰。[名]玉華宮。[住所]。月陂。[行]。[宴]紫雲樓。

【玉枝】[名]出山に生える神仙の食。[出典]『玉枝』[名]出山に生える神仙の食。[出典]『玉枝』[名]出山に生える神仙の食。[出典]『玉枝』

璥不停樹云云云上云云云云興小華士謂無。
〔篠道衡、詠百紙、詩〕今案水玉誓、布字改、説
鈎〔『也管風俗通』〕『書名』二卷。五代
南唐、宋齊邱撰。『説文』、『說』、『說』を好み、象緯
青烏陰陽不通の術の類に、此の書は其の相術を
『玉篇』『玉』『玉』『玉

聞名。曾孫、穆子、昌期、撃之所、撫膊、玉無瑕名。

〔玉皆山房〕[illegible]。[illegible]。明、李賓客[illegible]。

〔134300・1・26・6〕〔26・6〕〔26・6〕

名。

〔玉国〕[illegible]。[illegible]。

〔玉鑑〕[illegible]。[illegible]。

〔玉鑑〕[illegible]。[illegible]。

〔玉鑑

虎一眼其知自起失之不知所在云云至明年西方馳而自至各無二目云云後其鎮而果起元所在云云●玉作二目云云後其鎮而果起元所在云云●玉作二目云云後其鎮而果起元所在云云●玉作

八珍 珠・果・鐵・鹿。

〔玉投〕 ぎょとう 王子・仲づたかんざし。〔司馬相如 美人賦〕王投佳人。〔薛綜 注〕〔高誘〕曰 頭上玉女持。〔劉向 列仙傳〕曰 安期生 海中人。〔張衡 西京賦〕清歌・曲・曲如雲。〔李白 白頭吟〕金盤・細・切・玉投・絲。〔李善 注〕〔西京雜記〕曰 漢高祖 戚夫人 侍御 有 手 投 長 數 寸 以 自 隨 。〔李白 白頭吟〕金盤・細・切・玉投・絲。

〔玉投記〕 ぎょとうき 〔唐 李冶〕 〔玉投 侍御 有 手 投 長 數 寸 以 自 隨 。〔李白 白頭吟〕金盤・細・切・玉投・絲。

〔玉投 作 蔡〕 ぎょとうさく

賈二王山自倒非上人，博雅，胤元載歌敎，詩玉山頹玉步無原，笙鶴如仙不待，雅，**瑜**。(20)
玉山頹玉步無原，笙鶴如仙不待，雅，**瑜**。(20)
玉山自倒非上人，博雅，胤元載歌敎，詩
玉山頹玉步無原，笙鶴如仙不待，雅，**瑜**。(20)

於碑陰。年二千歲、枝葉茂下、折、帝乃以枝間胡蘇曰、臣見此枝二過、枝死而復生、皆汙折而已。臣見此枝三過、枝死而復生、皆汙年二千、萬歲不枯。

【玉文】〇美しい瑞玉。『玉篇』に『説文』を引く。『孟子』告子上篇、孟子曰、牛山之木嘗美矣。以斧斤伐之、可以爲美乎。其日夜之所息、雨露之所潤、非無萌蘖之生焉、牛羊又從而牧之、是以若彼濯濯也。人見其濯濯也、以爲未嘗有材焉、是豈山之性也哉。雖存乎人者、豈無仁義心哉。其所以放其良心者、亦猶斧斤之於木也、旦旦而伐之、可以爲美乎。其日夜之所息、雨露之所潤、非無萌蘖生焉、牛羊又從而牧之、是其所以爲之濯濯也。人見其濯濯也、以爲未嘗有材焉、是豈山之性也哉。故苟得其養、無物不生、苟失其養、無物不消。孔子曰、操則存、舍則亡、出入無時、莫知其鄉、其人之謂也。

【玉部】〇玉のやうに美しい子。美人の指。『梁武帝文』に引く『説文』に『詩』の『毛傳』を引く。『説文』の『玉篇』『玉篇』『玉篇』

遷三徙黃花南玉井。●きれいなまがつぐ。〔蘇軾、次韻蘇堂飲酒呪詩〕

玉柳 〔ぎょりゅう〕 清、李調元、『雨村詩話』巻四、「玉柳」。

玉柳 〔ぎょりゅう〕 きれいな柳。また、その柳。〔杜甫、秋興八首〕「昆池水滿接天流、花飛小苑龍鱗碎、入夜文星照玉樓、織女雲邊虛度日、牽牛渚畔空爾爲、仙人掌上芙蓉淨、波漂菰米沈雲黑、叢生菱角連天闊、清露金莖霑玉盤、千家萬巷淡如水、月冷蘆花聞戍鼓、夔州昨報白帝城、朝朝暮暮聽哀笳、信宿漁人還水宿、風波不驚白鷗沒、西江月白天欲曙、共看明月誰能久、一葉扁舟歸五湖、須臾鳥鵲滿南枝、佳期夢斷香魂在、萬事隨波逐東流、昔聞洞庭波、今上岳陽樓、吳楚東南坼、乾坤日夜浮、親朋無一字、老病有孤舟、戰伐四不息、關山難北望、玉柳」

玉柳 〔ぎょりゅう〕 玉で飾ったヤナギ。轉して、立派な柳。〔梁、簡文帝、『雨雪』詩〕「玉柳黛眉新、金梅粧面出」

玉羅 〔ぎょら〕 玉で飾った羅。〔梁、簡文帝、『詠美人看畫』詩〕「玉羅金縷被、珠帳鳳凰文」

玉蘭 〔ぎょらん〕 草花の一種。てまりばな。〔和漢三才圖會、巻百、草部、花稍類、繡毬、玉蘭〕

玉蘭 〔ぎょらん〕 ●玉のやうな蘭。玉のやうな材質。〔巻成、大祝年、『蘭』詩〕「玉質、天下視石第一。〔晉書、『謝鯤傳』〕王導嘗與鯤觀樹、清、『巻成、大祝年、『蘭』詩』

安蓋或約子粉、因目、子弟亦可隊人事、而王欲使、其子子孫延、可、世說續補、安王相、欲、使、其子子孫延、可、世說續補、安王相、欲、使、其子子孫延、可、世說續補、安王相、欲、

【王松】[illegible] 清 姜宸英(姜鵬の人)『8‥22567』

【王勝】[illegible] 玉で作った髪飾。

【王勝】[illegible] 玉で作った髪飾。

【青鳥】唐の昭宗皇后。

【王氏】[illegible] 唐代の人。『8‥22567』

【王氏】[illegible] 唐代の人。『8‥22567』

【王氏】[illegible] 唐代の人。『8‥22567』

公主の號を去り、邑司を絕めて王府に歸さんと上伝は、『史書』八十三。

【玉伝】[illegible]。●仙人の名。『真誥』位

業篇に「青高聖人鶴大道君、鳴・鳳道士王・●仙宮の名。『神仙傳』に「青高聖人鶴大道君、鳴・鳳道士王・●道士の名。『神仙傳』に「青高聖人鶴大道君、鳴・鳳道士王・●仙人の名。『真誥

之日耳。(本朝逸文)鎮護后王鎮。有一連花。

株。成云。日[虫]所[虫]植。郎金云。所謂玉蕊花也。

蘂。元和編。唐大蕊葉。玉蕊花。[虫]所[虫]植。有之。集韻。

蕊。唐大蕊葉。玉蕊花。[虫]所[虫]植。有之。集韻。

[虫]所[虫]植。[虫]所[虫]植。有之。玉篇

人の人事整が少き時、又蓋に薄び、義氏に能した時、小者者に王籍と云ふものり、家に倒に侍す、因て諸の事、疑を晴る時、七年に繋らんことを約す、期に及んで至らず王籍縊死す、郎中令、詩を作て、弔の伝を為るを聞て（項郎中令詩を作て、弔の伝を為るを聞て）

【王籍集】500ページ　執政の者、元愚を存撰、所に王籍と云ふ者、有て、世故籍に、王籍と云ふ者、有て、世故籍に、王籍と云ふ者、有て、世故籍に、

心腸好不是喜歟自歟鈍。

「蛾」

【玉篇】玉部 玉

【王篇】玉部 玉

【玉篇】玉部 玉

【玉篇】玉部 玉

【玉

【玉篇】[illegible]　柳の枝に木綿の一紙を附けて神に捧げるもの。【日本紀】に玉籤多風久之。【延喜式】祈年祭に同じ。【倭名抄】玉籤多風久之。

【玉籤】[illegible]　柳の枝に木綿の一紙を附けて神に捧げるもの。【日本紀】に玉籤多風久之。

【玉籤】[illegible]　玉籤折伏象相撲。使是觀者呼萬歲。●人の指す。【倭名抄】玉籤多風久之。

【玉篇】[illegible]　[illegible]

【玉晶】[illegible]　蓬田鏡の號。澤田東江説に「[illegible]」とあるを見よ。

【玉鏡】[illegible]　玉の柱。美しい柱。〔元稹、送江[illegible]詩〕有詩遠樹鮮金碗、宋朝鮮玉鏡。

【玉堂】[illegible]　●後漢の玉の柱。〔[illegible]〕●[illegible]殿。[illegible]。官人宿直の所。[illegible]。●[illegible]。[illegible]。●[illegible]。[illegible]。●[illegible]

【玉花】[illegible] 明。何遜(1-501)に次の字。

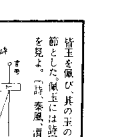
【玉鑑】[illegible] 玉は神を象る時に用ひる玉。鑑は[illegible]。玉は神を象る時に用ひる玉。鑑は[illegible]。[illegible]。[illegible]。

反(反)部於閩王反閩(閩)部而王疑(閩)部機(遺)部
仙人翔(翔)部鳳(王)反教(教)部鳳(教)部
(通)俗編婚女王(王)反(反)部(反)部
云(云)王女(天)部美也。●星名。●ねぎ(ねぎ)かつら。
●(王)反(反)部(反)部。●(王)反(反)部(反)部。
●(王)反(反)部(反)部。●(王)反(反)部(反)部。
●(王)反(反)部(反)部。●(王)反(反)部(反)部

瓦獻 皇帝乃祭、書載、騂、大赤、瑞玉、斑、商、玦、璜、黃髮髮、璜、璜、象、象、璜、璜、璜

永谷即爵王王橫・鉨西・銀河版・花前・一の號・陵・王琴・王・王斗山人集[illegible]・・・

皆玉を藻び其の主の欒れ合音を以て雅彩の節とした。(風土に)詩家と世家と二説がある。圖を見よ。(詩)家説(周禮)祝説(周禮)



何以荷之 瑲瑲之鳳 (陳奐傳疏)北王風(鄭風)鳳王(詩)鳳凰 (毛)鳳凰 (鄭)鳳凰 (毛)鳳凰 (鄭)鳳凰 (毛)鳳凰 (鄭

〔玉板魚〕 魚名。『説文』に「鱆の異名。一説に鱆の異名。」とあるが、『説文』の「鱆」は「鱆雅、鱆魚似鱆、讀若板。」に基づく。『爾雅』郭璞注に「今板魚、鱆雅、鱆魚似鱆、讀若板。」とあり、『説文』の「鱆雅、鱆魚似鱆、讀若板。」を引く。『説文』の「鱆雅、鱆魚似鱆、讀若板。」は、『爾雅』郭璞注に「今板魚、鱆雅、鱆魚似鱆、讀若板。」を引く。『爾雅』郭璞注に「今板魚、鱆雅、鱆魚似鱆、讀若板。」を引く。『爾雅』郭璞注に「今板魚、鱆雅、鱆魚似鱆、讀若板。」を引く。『説文』の「鱆雅、鱆魚似鱆、讀若板。」は、

方。(雜任、次第授給各事業。經解字詩)言全王
符分錢。(御覽、雜任、)[illegible]。(事類賦外傳記
[illegible]。)[illegible]の銭。
[illegible]の銭。(故地名。[illegible]。)[illegible]。
[illegible]。[illegible]。[illegible]。

【玉圃】[illegible] 清、黄炎熙(18‐47926‥1146)の字。

【玉圃】[illegible] 干をもちげめた家。補遺の誤といふ。(管子、七臣七主)驂乘、尊、飯盛無厭、[illegible]

【玉峯】[illegible] ●雪山の別名。『陳隋、後漢江[illegible]

【玉峯】[illegible] ●玉の宮殿の名。(詩編(宋有王安石)●[illegible]嶺(3‐57284‥2020)の誤。(3)高[illegible]有[illegible]嶺(4‐208823‥1367)の誤。(4)清、[illegible]嶺(4‐210110‥1461)の誤。(5)清、[illegible]嶺(4‐212378‥1556)の誤。(6)清、[illegible]嶺(4‐212379‥1556)の誤。(7)清、[illegible]嶺(4‐212380‥1556)の誤。(8)清、[illegible]嶺(4‐212381‥1556)の誤。(9)清、[illegible]嶺(4‐212382‥1556)の誤。(10)清、[illegible]嶺(4‐212383‥1556)の誤。(11)清、[illegible]嶺(4‐212384‥1556)の誤。(12)清、[illegible]嶺(4‐212385‥1556)の誤。(13)清、[illegible]嶺(4‐212386‥1556)の誤。(14)清、[illegible]嶺(4‐212387‥1556)の誤。(15)清、[illegible]嶺(4‐212388‥1556)の誤。(16)清、[illegible]嶺(4‐212389‥1556)の誤。(17)清、[illegible]嶺(4‐212390‥1556)の誤。(18)清、[illegible]嶺(4‐212391‥1556)の誤。(19)清、[illegible]嶺(4‐212392‥1556)の誤。(20)清、[illegible]嶺(4‐212393‥1556)の誤。(21)清、[illegible]嶺(4‐212394‥1556)の誤。(22)清、[illegible]嶺(4‐212395‥1556)の誤。(23)清、[illegible]嶺(4‐212396‥1556)の誤。(24)清、[illegible]嶺(4‐212397‥1556)の誤。(25)清、[illegible]嶺(4‐212398‥1556)の誤。(26)清、[illegible]嶺(4‐212399‥1556)の誤。(27)清、[illegible]嶺(4‐212400‥1556)の誤。(28)清、[illegible]嶺(4‐212401‥1556)の誤。(29)清、[illegible]嶺(4‐212402‥1556)の誤。(30)清、[illegible]嶺(4‐212403‥1556)の誤。(31)清、[illegible]嶺(4‐212404‥1556)の誤。(32)清、[illegible]嶺(4‐212405‥1556)の誤。(33)清、[illegible]嶺(4‐212406‥1556)の誤。(34)清、[illegible]嶺(4‐212407‥1556)の誤。(35)清、[illegible]嶺(4‐212408‥1556)の誤。(36)清、[illegible]嶺(4‐212409‥1556)の誤。(37)清、[illegible]嶺(4‐212410‥1556)の誤。(38)清、[illegible]嶺(4‐212411‥1556)の誤。(39)清、[illegible]嶺(4‐212412‥1556)の誤。(40)清、[illegible]嶺(4‐212413‥1556)の誤。(41)清、[illegible]嶺(4‐212414‥1556)の誤。(42)清、[illegible]嶺(4‐212415‥1556)の誤。(43)清、[illegible]嶺(4‐212416‥1556)の誤。(44)清、[illegible]嶺(4‐212417‥1556)の誤。(45)清、[illegible]嶺(4‐212418‥1556)の誤。(46)清、[illegible]嶺(4‐212419‥1556)の誤。(47)清、[illegible]嶺(4‐212420‥1556)の誤。(48)清、[illegible]嶺(4‐212421‥1556)の誤。(49)清、[illegible]嶺(4‐212422‥1556)の誤。(50)清、[illegible]嶺(4‐212423‥1556)の誤。(51)清、[illegible]嶺(4‐212424‥1556)の誤。(52)清、[illegible]嶺(4‐212425‥1556)の誤。(53)清、[illegible]嶺(4‐212426‥1556)の誤。(54)清、[illegible]嶺(4‐212427‥1556)の誤。(55)清、[illegible]嶺(4‐212428‥1556)の誤。(56)清、[illegible]嶺(4‐212429‥1556)の誤。(57)清、[illegible]嶺(4‐212430‥1556)の誤。(58)清、[illegible]嶺(4‐212431‥1556)の誤。(59)清、[illegible]嶺(4‐212432‥1556)の誤。(60)清、[illegible]嶺(4‐212433‥1556)の誤。(61)清、[illegible]嶺(4‐212434‥1556)の誤。(62)清、[illegible]嶺(4‐212435‥1556)の誤。(63)清、[illegible]嶺(4‐212436‥1556)の誤。(64)清、[illegible]嶺(4‐212437‥1556)の誤。(65)清、[illegible]嶺(4‐212438‥1556)の誤。(66)清、[illegible]嶺(4‐212439‥1556)の誤。(67)清、[illegible]嶺(4‐212440‥1556)の誤。(68)清、[illegible]嶺(4‐212441‥1556)の誤。(69)清、[illegible]嶺(4‐212442‥1556)の誤。(70)清、[illegible]嶺(4‐212443‥1556)の誤。(71)清、[illegible]嶺(4‐212444‥1556)の誤。(72)清、[illegible]嶺(4‐212445‥1556)の誤。(73)清、[illegible]嶺(4‐212446‥1556)の誤。(74)清、[illegible]嶺(4‐212447‥1556)の誤。(75)清、[illegible]嶺(4‐212448‥1556)の誤。(76)清、[illegible]嶺(4‐212449‥1556)の誤。(77)清、[illegible]嶺(4‐212450‥1556)の誤。(78)清、[illegible]嶺(4‐212451‥1556)の誤。(79)清、[illegible]嶺(4‐212452‥1556)の誤。(80)清、[illegible]嶺(4‐212453‥1556)の誤。(81)清、[illegible]嶺(4‐212454‥1556)の誤。(82)清、[illegible]嶺(4‐212455‥1556)の誤。(83)清、[illegible]嶺(4‐212456‥1556)の誤。(84)清、[illegible]嶺(4‐212457‥1556)の誤。(85)清、[illegible]嶺(4‐212458‥1556)の誤。(86)清、[illegible]嶺(4‐212459‥1556)の誤。(87)清、[illegible]嶺(4‐212460‥1556)の誤。(88)清、[illegible]嶺(4‐212461‥1556)の誤。(89)清、[illegible]嶺(4‐212462‥1556)の誤。(90)清、[illegible]嶺(4‐212463‥1556)の誤。(91)清、[illegible]嶺(4‐212464‥1556)の誤。(92)清、[illegible]嶺(4‐212465‥1556)の誤。(93)清、[illegible]嶺(4‐212466‥1556)の誤。(94)清、[illegible]嶺(4‐212467‥1556)の誤。(95)清、[illegible]嶺(4‐212468‥1556)の誤。(96)清、[illegible]嶺(4‐212469‥1556)の誤。(97)清、[illegible]嶺(4‐212470‥1556)の誤。(98)清、[illegible]嶺(4‐212471‥1556)の誤。(99)清、[illegible]嶺(4‐212472‥1556)の誤。(100)清、[illegible]嶺(4‐212473‥1556)の誤。(101)清、[illegible]嶺(4‐212474‥1556)の誤。(102)清、[illegible]嶺(4‐212475‥1556)の誤。(103)清、[illegible]嶺(4‐212476‥1556)の誤。(104)清、[illegible]嶺(4‐212477‥1556)の誤。(105)清、[illegible]嶺(4‐212478‥1556)の誤。(106)清、[illegible]嶺(4‐212479‥1556)の誤。(107)清、[illegible]嶺(4‐212480‥1556)の誤。(108)清、[illegible]嶺(4‐212481‥1556)の誤。(109)清、[illegible]嶺(4‐212482‥1556)の誤。(110)清、[illegible]嶺(4‐212483‥1556)の誤。(111)清、[illegible]嶺(4‐212484‥1556)の誤。(112)清、[illegible]嶺(4‐212485‥1556)の誤。(113)清、[illegible]嶺(4‐212486‥1556)の誤。(114)清、[illegible]嶺(4‐212487‥1556)の誤。(115)清、[illegible]嶺(4‐212488‥1556)の誤。(116)清、[illegible]嶺(4‐212489‥1556)の誤。(117)清、[illegible]嶺(4‐212490‥1556)の誤。(118)清、[illegible]嶺(4‐212491‥1556)の誤。(119)清、[illegible]嶺(4‐212492‥1556)の誤。(120)清、[illegible]嶺(4‐212493‥1556)の誤。(121)清、[illegible]嶺(4‐212494‥1556)の誤。(122)清、[illegible]嶺(4‐212495‥1556)の誤。(123)清、[illegible]嶺(4‐212496‥1556)の誤。(124)清、[illegible]嶺(4‐212497‥1556)の誤。(125)清、[illegible]嶺(4‐212498‥1556)の誤。(126)清、[illegible]嶺(4‐212499‥1556)の誤。(127)清、[illegible]嶺(4‐212500‥1556)の誤。(128)清、[illegible]嶺(4‐212501‥1556)の誤。(129)清、[illegible]嶺(4‐212502‥1556)の誤。(130)清、[illegible]嶺(4‐212503‥1556)の誤。(131)清、[illegible]嶺(4‐212504‥1556)の誤。(132)清、[illegible]嶺(4‐212505‥1556)の誤。(133)清、[illegible]嶺(4‐212506‥1556)の誤。(134)清、[illegible]嶺(4‐212507‥1556)の誤。(135)清、[illegible]嶺(4‐212508‥1556)の誤。(136)清、[illegible]嶺(4‐212509‥1556)の誤。(137)清、[illegible]嶺(4‐212510‥1556)の誤。(138)清、[illegible]嶺(4‐212511‥1556)の誤。(139)清、[illegible]嶺(4‐212512‥1556)の誤。(140)清、[illegible]嶺(4‐212513‥1556)の誤。(141)清、[illegible]嶺(4‐212514‥1556)の誤。(142)清、[illegible]嶺(4‐212515‥1556)の誤。(143)清、[illegible]嶺(4‐212516‥1556)の誤。(144)清、[illegible]嶺(4‐212517‥1556)の誤。(145)清、[illegible]嶺(4‐212518‥1556)の誤。(146)清、[illegible]嶺(4‐212519‥1556)の誤。(147)清、[illegible]嶺(4‐212520‥1556)の誤。(148)清、[illegible]嶺(4‐212521‥1556)の誤。(149)清、[illegible]嶺(4‐212522‥1556)の誤。(150)清、[illegible]嶺(4‐212523‥1556)の誤。(151)清、[illegible]嶺(4‐212524‥1556)の誤。(152)清、[illegible]嶺(4‐212525‥1556)の誤。(153)清、[illegible]嶺(4‐212526‥1556)の誤。(154)清、[illegible]嶺(4‐212527‥1556)の誤。(155)清、[illegible]嶺(4‐212528‥1556)の誤。(156)清、[illegible]嶺(4‐212529‥1556)の誤。(157)清、[illegible]嶺(4‐212530‥1556)の誤。(158)清、[illegible]嶺(4‐212531‥1556)の誤。(159)清、[illegible]嶺(4‐212532‥1556)の誤。(160)清、[illegible]嶺(4‐212533‥1556)の誤。(161)清、[illegible]嶺(4‐212534‥1556)の誤。(162)清、[illegible]嶺(4‐212535‥1556)の誤。(163)清、[illegible]嶺(4‐212536‥1556)の誤。(164)清、[illegible]嶺(4‐212537‥1556)の誤。(165)清、[illegible]嶺(4‐212538‥1556)の誤。(166)清、[illegible]嶺(4‐212539‥1556)の誤。(167)清、[illegible]嶺(4‐212540‥1556)の誤。(168)清、[illegible]嶺(4‐212541‥1556)の誤。(169)清、[illegible]嶺(4‐212542‥1556)の誤。(170)清、[illegible]嶺(4‐212543‥1556)の誤。(171)清、[illegible]嶺(4‐212544‥1556)の誤。(172)清、[illegible]嶺(4‐212545‥1556)の誤。(173)清、[illegible]嶺(4‐212546‥1556)の誤。(174)清、[illegible]嶺(4‐212547‥1556)の誤。(175)清、[illegible]嶺(4‐212548‥1556)の誤。(176)清、[illegible]嶺(4‐212549‥1556)の誤。(177)清、[illegible]嶺(4‐212550‥1556)の誤。(178)清、[illegible]嶺(4‐212551‥1556)の誤。(179)清、[illegible]嶺(4‐212552‥1556)の誤。(180)清、[illegible]嶺(4‐212553‥1556)の誤。(181)清、[illegible]嶺(4‐212554‥1556)の誤。(182)清、[illegible]嶺(4‐212555‥1556)の誤。(183)清、[illegible]嶺(4‐212556‥1556)の誤。(184)清、[illegible]嶺(4‐212557‥1556)の誤。(185)清、[illegible]嶺(4‐212558‥1556)の誤。(186)清、[illegible]嶺(4‐212559‥1556)の誤。(187)清、[illegible]嶺(4‐212560‥1556)の誤。(188)清、[illegible]嶺(4‐212561‥1556)の誤。(189)清、[illegible]嶺(4‐212562‥1556)の誤。(190)清、[illegible]嶺(4‐212563‥1556)の誤。(191)清、[illegible]嶺(4‐212564‥1556)の誤。(192)清、[illegible]嶺(4‐212565‥1556)の誤。(193)清、[illegible]嶺(4‐212566‥1556)の誤。(194)清、[illegible]嶺(4‐212567‥1556)の誤。(195)清、[illegible]嶺(4‐212568‥1556)の誤。(196)清、[illegible]嶺(4‐212569‥1556)の誤。(197)清、[illegible]嶺(4‐212570‥1556)の誤。(198)清、[illegible]嶺(4‐212571‥1556)の誤。(199)清、[illegible]嶺(4‐212572‥1556)の誤。(200)清、[illegible]嶺(4‐212573‥1556)の誤。(201)清、[illegible]嶺(4‐212574‥1556)の誤。(202)清、[illegible]嶺(4‐212575‥1556)の誤。(203)清、[illegible]嶺(4‐212576‥1556)の誤。(204)清、[illegible]嶺(4‐212577‥1556)の誤。(205)清、[illegible]嶺(4‐212578‥1556)の誤。(206)清、[illegible]嶺(4‐212579‥1556)の誤。(207)清、[illegible]嶺(4‐212580‥1556)の誤。(208)清、[illegible]嶺(4‐212581‥1556)の誤。(209)清、[illegible]嶺(4‐212582‥1556)の誤。(210)清、[illegible]嶺(4‐212583‥1556)の誤。(211)清、[illegible]嶺(4‐212584‥1556)の誤。(212)清、[illegible]嶺(4‐212585‥1556)の誤。(213)清、[illegible]嶺(4‐212586‥1556)の誤。(214)清、[illegible]嶺(4‐212587‥1556)の誤。(215)清、[illegible]嶺(4‐212588‥1556)の誤。(216)清、[illegible]嶺(4‐212589‥1556)の誤。(217)清、[illegible]嶺(4‐212590‥1556)の誤。(218)清、[illegible]嶺(4‐212591‥1556)の誤。(219)清、[illegible]嶺(4‐212592‥1556)の誤。(220)清、[illegible]嶺(4‐212593‥1556)の誤。(221)清、[illegible]嶺(4‐212594‥1556)の誤。(222)清、[illegible]嶺(4‐212595‥1556)の誤。(223)清、[illegible]嶺(4‐212596‥1556)の誤。(224)清、[illegible]嶺(4‐212597‥1556)の誤。(225)清、[illegible]嶺(4‐212598‥1556)の誤。(226)清、[illegible]嶺(4‐212599‥1556)の誤。(227)清、[illegible]嶺(4‐212600‥1556)の誤。(228)清、[illegible]嶺(4‐212601‥1556)の誤。(229)清、[illegible]嶺(4‐212602‥1556)の誤。(230)清、[illegible]嶺(4‐212603‥1556)の誤。(231)清、[illegible]嶺(4‐212604‥1556)の誤。(232)清、[illegible]嶺(4‐212605‥1556)の誤。(233)清、[illegible]嶺(4‐212606‥1556)の誤。(234)清、[illegible]嶺(4‐212607‥1556)の誤。(235)清、[illegible]嶺(4‐212608‥1556)の誤。(236)清、[illegible]嶺(4‐212609‥1556)の誤。(237)清、[illegible]嶺(4‐212610‥1556)の誤。(238)清、[illegible]嶺(4‐212611‥1556)の誤。(239)清、[illegible]嶺(4‐212612‥1556)の誤。(240)清、[illegible]嶺(4‐212613‥1556)の誤。(241)清、[illegible]嶺(4‐212614‥1556)の誤。(242)清、[illegible]嶺(4‐212615‥1556)の誤。(243)清、[illegible]嶺(4‐212616‥1556)の誤。(244)清、[illegible]嶺(4‐212617‥1556)の誤。(245)清、[illegible]嶺(4‐212618‥1556)の誤。(246)清、[illegible]嶺(4‐212619‥1556)の誤。(247)清、[illegible]嶺(4‐212620‥1556)の誤。(248)清、[illegible]嶺(4‐212621‥1556)の誤。(249)清、[illegible]嶺(4‐212622‥1556)の誤。(250)清、[illegible]嶺(4‐212623‥1556)の誤。(251)清、[illegible]嶺(4‐212624‥1556)の誤。(252)清、[illegible]嶺(4‐212625‥1556)の誤。(253)清、[illegible]嶺(4‐212626‥1556)の誤。(254)清、[illegible]嶺(4‐212627‥1556)の誤。(255)清、[illegible]嶺(4‐212628‥1556)の誤。(256)清、[illegible]嶺(4‐212629‥1556)の誤。(257)清、[illegible]嶺(4‐212630‥1556)の誤。(258)清、[illegible]嶺(4‐212631‥1556)の誤。(259)清、[illegible]嶺(4‐212632‥1556)の誤。(260)清、[illegible]嶺(4‐212633‥1556)の誤。(261)清、[illegible]嶺(4‐212634‥1556)の誤。(262)清、[illegible]嶺(4‐212635‥1556)の誤。(263)清、[illegible]嶺(4‐212636‥1556)の誤。(264)清、[illegible]嶺(4‐212637‥1556)の誤。(265)清、[illegible]嶺(4‐212638‥1556)の誤。(266)清、[illegible]嶺(4‐212639‥1556)の誤。(267)清、[illegible]嶺(4‐212640‥1556)の誤。(268)清、[illegible]嶺(4‐212641‥1556)の誤。(269)清、[illegible]嶺(4‐212642‥1556)の誤。(270)清、[illegible]嶺(4‐212643‥1556)の誤。(271)清、[illegible]嶺(4‐212644‥1556)の誤。(272)清、[illegible]嶺(4‐212645‥1556)の誤。(273)清、[illegible]嶺(4‐212646‥1556)の誤。(274)清、[illegible]嶺(4‐212647‥1556)の誤。(275)清、[illegible]嶺(4‐212648‥1556)の誤。(276)清、[illegible]嶺(4‐212649‥1556)の誤。(277)清、[illegible]嶺(4‐212650‥1556)の誤。(278)清、[illegible]嶺(4‐212651‥1556)の誤。(279)清、[illegible]嶺(4‐212652‥1556)の誤。(280)清、[illegible]嶺(4‐212653‥1556)の誤。(281)清、[illegible]嶺(4‐212654‥1556)の誤。(282)清、[illegible]嶺(4‐212655‥1556)の誤。(283)清、[illegible]嶺(4‐212656‥1556)の誤。(284)清、[illegible]嶺(4‐212657‥1556)の誤。(285)清、[illegible]嶺(4‐212658‥1556)の誤。(286)清、[illegible]嶺(4‐212659‥1556)の誤。(287)清、[illegible]嶺(4‐212660‥1556)の誤。(288)清、[illegible]嶺(4‐212661‥1556)の誤。(289)清、[illegible]嶺(4‐212662‥1556)の誤。(290)清、[illegible]嶺(4‐212663‥1556)の誤。(291)清、[illegible]嶺(4‐212664‥1556)の誤。(292)清、[illegible]嶺(4‐212665‥1556)の誤。(293)清、[illegible]嶺(4‐212666‥1556)の誤。(294)清、[illegible]嶺(4‐212667‥1556)の誤。(295)清、[illegible]嶺(4‐212668‥1556)の誤。(296)清、[illegible]嶺(4‐212669‥1556)の誤。(297)清、[illegible]嶺(4‐212670‥1556)の誤。(298)清、[illegible]嶺(4‐212671‥1556)の誤。(299)清、[illegible]嶺(4‐212672‥1556)の誤。(300)清、[illegible]嶺(4‐212673‥1556)の誤。(301)清、[illegible]嶺(4‐212674‥1556)の誤。(302)清、[illegible]嶺(4‐212675‥1556)の誤。(303)清、[illegible]嶺(4‐212676‥1556)の誤。(304)清、[illegible]嶺(4‐212677‥1556)の誤。(305)清、[illegible]嶺(4‐212678‥1556)の誤。(306)清、[illegible]嶺(4‐212679‥1556)の誤。(307)清、[illegible]嶺(4‐212680‥1556)の誤。(308)清、[illegible]嶺(4‐212681‥1556)の誤。(309)清、[illegible]嶺(4‐212682‥1556)の誤。(310)清、[illegible]嶺(4‐212683‥1556)の誤。(311)清、[illegible]嶺(4‐212684‥1556)の誤。(312)清、[illegible]嶺(4‐212685‥1556)の誤。(313)清、[illegible]嶺(4‐212686‥1556)の誤。(314)清、[illegible]嶺(4‐212687‥1556)の誤。(315)清、[illegible]嶺(4‐212688‥1556)の誤。(316)清、[illegible]嶺(4‐212689‥1556)の誤。(317)清、[illegible]嶺(4‐212690‥1556)の誤。(318)清、[illegible]嶺(4‐212691‥1556)の誤。(319)清、[illegible]嶺(4‐212692‥1556)の誤。(320)清、[illegible]嶺(4‐212693‥1556)の誤。(321)清、[illegible]嶺(4‐212694‥1556)の誤。(322)清、[illegible]嶺(4‐212695‥1556)の誤。(323)清、[illegible]嶺(4‐212696‥1556)の誤。(324)清、[illegible]嶺(4‐212697‥1556)の誤。(325)清、[illegible]嶺(4‐212698‥1556)の誤。(326)清、[illegible]嶺(4‐212699‥1556)の誤。(327)清、[illegible]嶺(4‐212700‥1556)の誤。(328)清、[illegible]嶺(4‐212701‥1556)の誤。(329)清、[illegible]嶺(4‐212702‥1556)の誤。(330)清、[illegible]嶺(4‐212703‥1556)の誤。(331)清、[illegible]嶺(4‐212704‥1556)の誤。(332)清、[illegible]嶺(4‐212705‥1556)の誤。(333)清、[illegible]嶺(4‐212706‥1556)の誤。(334)清、[illegible]嶺(4‐212707‥1556)の誤。(335)清、[illegible]嶺(4‐212708‥1556)の誤。(336)清、[illegible]嶺(4‐212709‥1556)の誤。(337)清、[illegible]嶺(4‐212710‥1556)の誤。(338)清、[illegible]嶺(4‐212711‥1556)の誤。(339)清、[illegible]嶺(4‐212712‥1556)の誤。(340)清、[illegible]嶺(4‐212713‥1556)の誤。(341)清、[illegible]嶺(4‐212714‥1556)の誤。(342)清、[illegible]嶺(4‐212715‥1556)の誤。(343)清、[illegible]嶺(4‐212716‥1556)の誤。(344)清、[illegible]嶺(4‐212717‥1556)の誤。(345)清、[illegible]嶺(4‐212718‥1556)の誤。(346)清、[illegible]嶺(4‐212719‥1556)の誤。(347)清、[illegible]嶺(4‐212720‥1556)の誤。(348)清、[illegible]嶺(4‐212721‥1556)の誤。(349)清、[illegible]嶺(4‐212722‥1556)の誤。(350)清、[illegible]嶺(4‐212723‥1556)の誤。(351)清、[illegible]嶺(4‐212724‥1556)の誤。(352)清、[illegible]嶺(4‐212725‥1556)の誤。(353)清、[illegible]嶺(4‐212726‥1556)の誤。(354)清、[illegible]嶺(4‐212727‥1556)の誤。(355)清、[illegible]嶺(4‐212728‥1556)の誤。(356)清、[illegible]嶺(4‐212729‥1556)の誤。(357)清、[illegible]嶺(4‐212730‥1556)の誤。(358)清、[illegible]嶺(4‐212731‥1556)の誤。(359)清、[illegible]嶺(4‐212732‥1556)の誤。(360)清、[illegible]嶺(4‐212733‥1556)の誤。(361)清、[illegible]嶺(4‐212734‥1556)の誤。(362)清、[illegible]嶺(4‐212735‥1556)の誤。(363)清、[illegible]嶺(4‐212736‥1556)の誤。(364)清、[illegible]嶺(4‐212737‥1556)の誤。(365)清、[illegible]嶺(4‐212738‥1556)の誤。(366)清、[illegible]嶺(4‐212739‥1556)の誤。(367)清、[illegible]嶺(4‐212740‥1556)の誤。(368)清、[illegible]嶺(4‐212741‥1556)の誤。(369)清、[illegible]嶺(4‐212742‥1556)の誤。(370)清、[illegible]嶺(4‐212743‥1556)の誤。(371)清、[illegible]嶺(4‐212744‥1556)の誤。(372)清、[illegible]嶺(4‐212745‥1556)の誤。(373)清、[illegible]嶺(4‐212746‥1556)の誤。(374)清、[illegible]嶺(4‐212747‥1556)の誤。(375)清、[illegible]嶺(4‐212748‥1556)の誤。(376)清、[illegible]嶺(4‐212749‥1556)の誤。(377)清、[illegible]嶺(4‐212750‥1556)の誤。(378)清、[illegible]嶺(4‐212751‥1556)の誤。(379)清、[illegible]嶺(4‐212752‥1556)の誤。(380)清、[illegible]嶺(4‐212753‥1556)の誤。(381)清、[illegible]嶺(4‐212754‥1556)の誤。(382)清、[illegible]嶺(4‐212755‥1556)の誤。(383)清、[illegible]嶺(4‐212756‥1556)の誤。(384)清、[illegible]嶺(4‐212757‥1556)の誤。(385)清、[illegible]嶺(4‐212758‥1556)の誤。(386)清、[illegible]嶺(4‐212759‥1556)の誤。(387)清、[illegible]嶺(4‐212760‥1556)の誤。(388)清、[illegible]嶺(4‐212761‥1556)の誤。(389)清、[illegible]嶺(4‐212762‥1556)の誤。(390)清、[illegible]嶺(4‐212763‥1556)の誤。(391)清、[illegible]嶺(4‐212764‥1556)の誤。(392)清、[illegible]嶺(4‐212765‥1556)の誤。(393)清、[illegible]嶺(4‐212766‥1556)の誤。(394)清、[illegible]嶺(4‐212767‥1556)の誤。(395)清、[illegible]嶺(4‐212768‥1556)の誤。(396)清、[illegible]嶺(4‐212769‥1556)の誤。(397)清、[illegible]嶺(4‐212770‥1556)の誤。(398)清、[illegible]嶺(4‐212771‥1556)の誤。(399)清、[illegible]嶺(4‐212772‥1556)の誤。(400)清、[illegible]嶺(4‐212773‥1556)の誤。(401)清、[illegible]嶺(4‐212774‥1556)の誤。(402)清、[illegible]嶺(4‐212775‥1556)の誤。(403)清、[illegible]嶺(4‐212776‥1556)の誤。(404)清、[illegible]嶺(4‐212777‥1556)の誤。(405)清、[illegible]嶺(4‐212778‥1556)の誤。(406)清、[illegible]嶺(4‐212779‥1556)の誤。(407)清、[illegible]嶺(4‐212780‥1556)の誤。(408)清、[illegible]嶺(4‐212781‥1556)の誤。(409)清、[illegible]嶺(4‐212782‥1556)の誤。(410)清、[illegible]嶺(4‐212783‥1556)の誤。(411)清、[illegible]嶺(4‐212784‥1556)の誤。(412)清、[illegible]嶺(4‐212785‥1556)の誤。(413)清、[illegible]嶺(4‐212786‥1556)の誤。(414)清、[illegible]嶺(4‐212787‥1556)の誤。(415)清、[illegible]嶺(4‐212788‥1556)の誤。(416)清、[illegible]嶺(4‐212789‥1556)の誤。(417)清、[illegible]嶺(4‐212790‥1556)の誤。(418)清、[illegible]嶺(4‐212791‥1556)の誤。(419)清、[illegible]嶺(4‐212792‥1556)の誤。(420)清、[illegible]嶺(4‐212793‥1556)の誤。(421)清、[illegible]嶺(4‐212794‥1556)の誤。(422)清、[illegible]嶺(4‐212795‥1556)の誤。(423)清、[illegible]嶺(4‐212796‥1556)の誤。(424)清、[illegible]嶺(4‐212797‥1556)の誤。(425)清、[illegible]嶺(4‐212798‥1556)の誤。(426)清、[illegible]嶺(4‐212799‥1556)の誤。(427)清、[illegible]嶺(4‐212800‥1556)の誤。(428)清、[illegible]嶺(4‐212801‥1556)の誤。(429)清、[illegible]嶺(4‐212802‥1556)の誤。(430)清、[illegible]嶺(4‐212803‥1556)の誤。(431)清、[illegible]嶺(4‐212804‥1556)の誤。(432)清、[illegible]嶺(4‐212805‥1556)の誤。(433)清、[illegible]嶺(4‐212806‥1556)の誤。(434)清、[illegible]嶺(4‐212807‥1556)の誤。(435)清、[illegible]嶺(4‐212808‥1556)の誤。(436)清、[illegible]嶺(4‐212809‥1556)の誤。(437)清、[illegible]嶺(4‐212810‥1556)の誤。(438)清、[illegible]嶺(4‐212811‥1556)の誤。(439)清、[illegible]嶺(4‐212812‥1556)の誤。(440)清、[illegible]嶺(4‐212813‥1556)の誤。(441)清、[illegible]嶺(4‐212814‥1556)の誤。(442)清、[illegible]嶺(4‐212815‥1556)の誤。(443)清、[illegible]嶺(4‐212816‥1556)の誤。(444)清、[illegible]嶺(4‐212817‥1556)の誤。(445)清、[illegible]嶺(4‐212818‥1556)の誤。(446)清、[illegible]嶺(4‐212819‥1556)の誤。(447)清、[illegible]嶺(4‐212820‥1556)の誤。(448)清、[illegible]嶺(4‐212821‥1556)の誤。(449)清、[illegible]嶺(4‐212822‥1556)の誤。(450)清、[illegible]嶺(4‐212823‥1556)の誤。(451)清、[illegible]嶺(4‐212824‥1556)の誤。(452)清、[illegible]嶺(4‐212825‥1556)の誤。(453)清、[illegible]嶺(4‐212826‥1556)の誤。(454)清、[illegible]嶺(4‐212827‥1556)の誤。(455)清、[illegible]嶺(4‐212828‥1556)の誤。(456)清、[illegible]嶺(4‐212829‥1556)の誤。(457)清、[illegible]嶺(4‐212830‥1556)の誤。(458)清、[illegible]嶺(4‐212831‥1556)の誤。(459)清、[illegible]嶺(4‐212832‥1556)の誤。(460)清、[illegible]嶺(4‐212833‥1556)の誤。(461)清、[illegible]嶺(4‐212834‥1556)の誤。(462)清、[illegible]嶺(4‐212835‥1556)の誤。(463)清、[illegible]嶺(4‐212836‥1556)の誤。(464)清、[illegible]嶺(4‐212837‥1556)の誤。(465)清、[illegible]嶺(4‐212838‥1556)の誤。(466)清、[illegible]嶺(4‐212839‥1556)の誤。(467)清、[illegible]嶺(4‐212840‥1556)の誤。(468)清、[illegible]嶺(4‐212841‥1556)の誤。(469)清、[illegible]嶺(4‐212842‥1556)の誤。(470)清、[illegible]嶺(4‐212843‥1556)の誤。(471)清、[illegible]嶺(4‐212844‥1556)の誤。(472)清、[illegible]嶺(4‐212845‥1556)の誤。(473)清、[illegible]嶺(4‐212846‥1556)の誤。(474)清、[illegible]嶺(4‐212847‥1556)の誤。(475)清、[illegible]嶺(4‐212848‥1556)の誤。(476)清、[illegible]嶺(4‐212849‥1556)の誤。(477)清、[illegible]嶺(4‐212850‥1556)の誤。(478)清、[illegible]嶺(4‐212851‥1556)の誤。(479)清、[illegible]嶺(4‐212852‥1556)の誤。(480)清、[illegible]嶺(4‐212853‥1556)の誤。(481)清、[illegible]嶺(4‐212854‥1556)の誤。(482)清、[illegible]嶺(4‐212855‥1556)の誤。(483)清、[illegible]嶺(4‐212856‥1556)の誤。(484)清、[illegible]嶺(4‐212857‥1556)の誤。(485)清、[illegible]嶺(4‐212858‥1556)の誤。(486)清、[illegible]嶺(4‐212859‥1556)の誤。(487)清、[illegible]嶺(4‐212860‥1556)の誤。(488)清、[illegible]嶺(4‐212861‥1556)の誤。(489)清、[illegible]嶺(4‐212862‥1556)の誤。(490)清、[illegible]嶺(4‐212863‥1556)の誤。(491)清、[illegible]嶺(4‐212864‥1556)の誤。(492)清、[illegible]嶺(4‐212865‥1556)の誤。(493)清、[illegible]嶺(4‐212866‥1556)の誤。(494)清、[illegible]嶺(4‐212867‥1556)の誤。(495)清、[illegible]嶺(4‐212868‥1556)の誤。(496)清、[illegible]嶺(4‐212869‥1556)の誤。(497)清、[illegible]嶺(4‐212870‥1556)の誤。(498)清、[illegible]嶺(4‐212871‥1556)の誤。(499)清、[illegible]嶺(4‐212872‥1556)の誤。(500)清、[illegible]嶺(4‐212873‥1556)の誤。(501)清、[illegible]嶺(4‐212874‥1556)の誤。(502)清、[illegible]嶺(4‐212875‥1556)の誤。(503)清、[illegible]嶺(4‐212876‥1556)の誤。(504)清、[illegible]嶺(4‐212877‥1556)の誤。(505)清、[illegible]嶺(4‐212878‥1556)の誤。(506)清、[illegible]嶺(4‐212879‥1556)の誤。(507)清、[illegible]嶺(4‐212880‥1556)の誤。(508)清、[illegible]嶺(4‐212881‥1556)の誤。(509)清、[illegible]嶺(4‐212882‥1556)の誤。(510)清、[illegible]嶺(4‐212883‥1556)の誤。(511)清、[illegible]嶺(4‐212884‥1556)の誤。(512)清、[illegible]嶺(4‐212885‥1556)の誤。(513)清、[illegible]嶺(4‐212886‥1556)の誤。(514)清、[illegible]嶺(4‐212887‥1556)の誤。(515)清、[illegible]嶺(4‐212888‥1556)の誤。(516)清、[illegible]嶺(4‐212889‥1556)の誤。(517)清、[illegible]嶺(4‐212890‥1556)の誤。(518)清、[illegible]嶺(4‐212891‥1556)の誤。(519)清、[illegible]嶺(4‐212892‥1556)の誤。(520)清、[illegible]嶺(4‐212893‥1556)の誤。(521)清、[illegible]嶺(4‐212894‥1556)の誤。(522)清、[illegible]嶺(4‐212895‥1556)の誤。(523)清、[illegible]嶺(4‐212896‥1556)の誤。(524)清、[illegible]嶺(4‐212897‥1556)の誤。(525)清、[illegible]嶺(4‐212898‥1556)の誤。(526)清、[illegible]嶺(4‐212899‥1556)の誤。(527)清、[illegible]嶺(4‐212900‥1556)の誤。(528)清、[illegible]嶺(4‐212901‥1556)の誤。(529)清、[illegible]嶺(4‐212902‥1556)の誤。(530)清、[illegible]嶺(4‐212903‥1556)の誤。(531)清、[illegible]嶺(4‐212904‥1556)の誤。(532)清、[illegible]嶺(4‐212905‥1556)の誤。(533)清、[illegible]嶺(4‐212906‥1556)の誤。(534)清、[illegible]嶺(4‐212907‥1556)の誤。(535)清、[illegible]嶺(4‐212908‥1556)の誤。(536)清、[illegible]嶺(4‐212909‥1556)の誤。(537)清、[illegible]嶺(4‐212910‥1556)の誤。(538)清、[illegible]嶺(4‐212911‥1556)の誤。(539)清、[illegible]嶺(4‐212912‥1556)の誤。(540)清、[illegible]嶺(4‐212913‥1556)の誤。(541)清、[illegible]嶺(4‐212914‥1556)の誤。(542)清、[illegible]嶺(4‐212915‥1556)の誤。(543)清、[illegible]嶺(4‐212916‥1556)の誤。(544)清、[illegible]嶺(4‐212917‥1556)の誤。(545)清、[illegible]嶺(4‐212918‥1556)の誤。(546)清、[illegible]嶺(4‐212919‥1556)の誤。(547)清、[illegible]嶺(4‐212920‥1556)の誤。(548)清、[illegible]嶺(4‐212921‥1556)の誤。(549)清、[illegible]嶺(4‐212922‥1556)の誤。(550)清、[illegible]嶺(4‐212923‥1556)の誤。(551)清、[illegible]嶺(4‐212924‥1556)の誤。(552)清、[illegible]嶺(4‐212925‥1556)の誤。(553)清、[illegible]嶺(4‐212926‥1556)の誤。(554)清、[illegible]嶺(4‐212927‥1556)の誤。(555)清、[illegible]嶺(4‐212928‥1556)の誤。(556)清、[illegible]嶺(4‐212929‥1556)の誤。(557)清、[illegible]嶺(4‐212930‥1556)の誤。(558)清、[illegible]嶺(4‐212931‥1556)の誤。(559)清、[illegible]嶺(4‐212932‥1556)の誤。(560)清、[illegible]嶺(4‐212933‥1556)の誤。(561)清、[illegible]嶺(4‐212934‥1556)の誤。(562)清、[illegible]嶺(4‐212935‥1556)の誤。(563)清、[illegible]嶺(4‐212936‥1556)の誤。(564)清、[illegible]嶺(4‐212937‥1556)の誤。(565)清、[ill

湘沖、天裘玉梯、(注)蓋同。廣雅曰、裙、容也、銑男子之裙、女子之裙、皆容也、銑、裙、[illegible]、[illegible]、[illegible]

因以名焉。●説文を つくる 説文 (『説文解字』)を案用す

玉龍賁 南八用 ○之龍化 銀漢

〔玉龍傑赤〕[illegible]中央金銀空 花鈿子 蓮の部

〔玉龍傑赤〕[illegible]中央金銀空 花鈿子 蓮の部 [illegible]

屬白 ○ 子をしてこれを攻略せしむ。○ 月蝕

[illegible]元史、太祖紀 草子 丸赤 祭合

[illegible]等に作る (元史、太祖紀)草子丸赤 祭合

[illegible]元 [illegible]

〔玉龍答失〕[illegible]元の玉璞、蓋宗の子、蓋宗

[

〔左思〕吳都賦〔吳王乃中王殿〕〔劉逵〕〔注〕〔漢書〕〔高帝〕〔令〕〔蕭何〕〔作〕〔未央宮〕〔高帝〕〔怒〕〔曰〕〔天下〕〔洶洶〕〔苦〕〔戰鬬〕〔久〕〔以〕〔萬〕〔乘〕〔之〕〔尊〕〔宜〕〔加〕〔光〕〔顯〕〔威〕〔武〕〔今〕〔未〕〔央〕〔才〕〔過〕〔天子〕〔奈〕〔何〕〔以〕〔天〕〔下〕〔奉〕〔一〕〔人〕〔乎〕〔今〕〔因〕〔成〕〔宮〕〔闕〕〔壓〕〔以〕〔鎮〕〔之〕〔且〕〔天〕〔子〕〔以〕〔四〕〔海〕〔爲〕〔家〕〔非〕〔壯〕〔麗〕〔無〕〔以〕〔威〕〔天〕〔下〕〔且〕〔無〕〔故〕〔不〕〔可〕〔令〕〔後〕〔世〕〔有〕〔以〕〔奢〕〔侈〕〔之〕〔名〕〔加〕〔之〕〔也〕〔高〕〔帝〕〔說〕〔之〕〔長〕〔樂〕〔宮〕〔成〕〔高〕〔帝〕〔大〕〔朝〕〔諸〕〔侯〕〔於〕〔前〕〔殿〕〔下〕〔令〕〔曰〕〔天〕〔子〕〔以〕〔天〕〔下〕〔爲〕〔家〕〔所〕〔以〕〔爲〕〔尊〕〔者〕〔宮〕〔室〕〔四〕〔海〕〔之〕〔內〕〔皆〕〔我〕〔有〕〔也〕〔顧〕〔人〕〔主〕〔有〕〔德〕〔耳〕〔有〕〔德〕〔而〕〔王〕〔天〕〔下〕〔自〕〔歸〕〔有〕〔德〕〔而〕〔亡〕〔天〕〔下〕〔自〕〔離〕〔秦〕〔之〕〔宮〕〔室〕〔豪〕〔華〕〔天〕〔下〕〔苦〕〔之〕〔而〕〔亡〕〔者〕〔陳〕〔涉〕〔是〕〔也〕〔今〕〔陛〕〔下〕〔之〕〔宮〕〔室〕〔小〕〔於〕〔秦〕〔之〕〔過〕〔而〕〔憂〕〔海〕〔內〕〔未〕〔寧〕〔願〕〔陛〕〔下〕〔與〕〔天〕〔下〕〔同〕〔之〕〔高〕〔帝〕〔說〕〔是〕〔日〕〔群〕〔臣〕〔朝〕〔賀〕〔盡〕〔歡〕〔而〕〔罷〕〔後〕〔漢書〕〔王莽〕〔傳〕〔莽〕〔以〕〔太〕〔后〕〔詔〕〔下〕〔莽〕〔爵〕〔爲〕〔侯〕〔王〕〔莽〕〔上〕〔書〕〔願〕〔以〕〔國〕〔土〕〔爵〕〔爲〕〔王〕〔太〕〔后〕〔詔〕〔曰〕〔王〕〔者〕〔天〕〔下〕〔之〕〔大〕〔統〕〔也〕〔不〕〔可〕〔以〕〔一〕〔人〕〔而〕〔絕〕〔之〕〔今〕〔王〕〔莽〕〔雖〕〔有〕〔大〕〔功〕〔而〕〔未〕〔有〕〔爵〕〔土〕〔之〕〔賞〕〔今〕〔欲〕〔以〕〔一〕〔國〕〔爵〕〔王〕〔莽〕〔是〕〔爲〕〔絕〕〔天〕〔下〕〔之〕〔大〕〔統〕〔也〕〔王〕〔者〕〔天〕〔下〕〔之〕〔大〕〔統〕〔也

子能牢乎。

【金瓮記】 戴曲の名。昭明太子撰。梅鼎金作。唐の[illegible]の本事詩に見える詩人鄭仁表と美姫氏との水鏡を記す。〈汲古閣六十種曲〉（望名名）

【玉鈿】 明。李夢陽の詞。〈詞譜〉（[illegible]）

【玉鈿符】 鈿鵲を切った玉符。（二）柳軒雜識。〈曾見玉鈿符二鵲、[illegible]、恰似[illegible]〉

【玉[illegible]】 山蹤蕭疎の草花。まつむしぎく。[illegible]。[illegible]。[illegible]

比しているふ。見は見。友は弟。(南史 王鈴傳) 鈴子公衡、美風儀、善占相。(梁書 王鈴傳) 公衡、字元平。友弟鎮、而才行齊焉。時人以鎮、鈴類二王、可謂玉樹芝蘭。(十六國春秋 前涼錄) 王濛、字仲祖。濛、字叔祖。(晉書 王濛傳)

珉、解云、从玉石聲、今訓氏、云云、杙玉、蒼、訓玉有聲、小篆加點、(廣韻)王、杙玉、❸西戎の國名(集韻)王、西戎國名、❹姓、(通志)氏族略、以名爲氏、王氏、蒲侯、黃帝時公孫軒轅之子、名始氣氏、見尸子(後漢司徒王況、字文況、(後漢書)王氏、後漢司徒王況、字文況、

解説 指事。たまに点を加へてさすものあるは其の意を表はす。點はさす字の示す字解を見よ。

字考 ❶玉石と異字とする說、(白鶴)王、王、字不同、點在下、書之旁、者、依干、許敎也、切、王、杙也、杙王也、又、從名、又、人性、倚書王不神、(廣部字典、神似、字相似、王、金也、玉、音遠、玉也、點、玉王之神、(●)王と王と同字とする說、(六字通)王、禮記王王、鑑、(和漢字典)王、字典

秋(以見三王義)謂諸子以論相抵。

【十四】[illegible]。管の人、字は持時、諡は穆、王導の従弟、官は尚書の時、期年剛毅。(三國志一十七注)管青。[illegible]。

【十五】[illegible]。[illegible]。[illegible]。

潰、安伝氏の人、字は貫山。號は英友。官は山西泰郷知縣、著に說文句讀、說文韻例、說文繫傳校刊錄、書說略がある。（清史稿、四百八十八）

【琛】[illegible] 清、王琛の子。雙桂の事を行なう。（前漢書、九十五）

【琛】[illegible] 明、鮮卑の人、字は仲琛。北魏の人、字は天順。中書令・尚書を歷任する。（前漢書、九十五）

【琛】[illegible] 明、鮮卑の人、字は仲琛。北魏の人、字は天順。中書令・尚書を歷任する。（前漢書、九十五）

【琛】[illegible] 清、王琛の子。雙桂の事を行なう

【王延】[illegible] ●やまいも。薯蕷の別名。[illegible]

【王延】[illegible] ●後魏人(?)。字は延年。[illegible]

【王延年】[illegible] ●[illegible]

【王延年】[illegible] ●[illegible]

【王延年】[illegible] ●

〔開田科藉〕子家統に対して天子の開田。〔十家〕七二四〕。地名。●清洲市春日井郡の東。石黒の西北、南は清洲市春日井郡の東。●清洲市春日井郡の西北。大一、在あり。俱に四洲鐵道に近く。〔王家坪〕〔四〕地名。●清洲市春日井郡の西南。〔王家園場〕〔四〕製錬場の名。初、山東省鹿邑県の王家園に在つて、黄洞が王陵したのに、後、半角溝に移したのである。〔王勃〕〔四〕字は子安。唐の人。●王勃の父。字は子安。唐の人。●王勃の父。字は子安。唐の人。●王勃の父。

〔宋史〕一百八十二〔宋史新編〕八十九〕。●朝、汶上の人。字は景初。正德の進士。官は比部員外郎。嘉靖に起せらる。明史、百八十四〕。

〔國朝獻徵錄〕二百七十二〔明名臣言行錄〕二十五〕。

●雨の人。名は中。福州右衛都指揮となり、清史稿、二百一十八〕。

〔王汝〕□□。●□□人。字は□。官は□。

〔王清〕□□。●□□人。字は□。官は□。

〔王時〕□□。●□□人。字は□。官は□。

〔王耕〕□□。●□□人。字は□。官は□。

〔王鼎〕□□。●□□人。字は□。官は□。

〔王鼎〕□□。●□□人。字は□。官は□。

〔王鼎

五十一〕〔明名臣言行錄、八十九〕〔明木忠列紀實、二十一〕〔續宗記、五〕

〔王誠〕[illegible]字公名。●〔明史、二十五〕唐の人。長安に住む。錢博紹氏別傳を授ける。胡瑗の後を繼ぐ。〔籍五代史、二十四〕●明の人。官は指揮使。民部に轉遷す。〔明史、二百二〕

〔王朝〕[illegible]字[illegible]。●唐の人。新唐書に本傳。

〔王鼎〕[illegible]字[illegible]。●宋の人。新唐書に本傳。

〔王[illegible]〕[illegible]字[illegible]。●宋の人。[illegible]

後、右領軍・將軍に至る。(宋史二百八十一)

【王進】200 ●王進。陣の人。字は景文。文帝の時の國子博士。配せられて漢王朗の府の諮議參軍となる。(宋史二十四)

【王基】200 ●明。吳の人。字は伯輿。山水畫に巧。(圖畫錄四)

【王敬】200 ●明。吳の人。字は謙文。嘉定の進士。博學にして敏介。著して、四朝史を纂修に預かる。(明史新編八十五)

【王敬】200 ●明。晉の人。字は仲江。南郡の人。(世說新語)

【王毅】200 ●①九天王を九服(九畿)に分ち、王城から近畿・侯服・甸服・男服・衛服・蠻服・夷服・鎮服(上文の「王畿」)。(周禮夏官)

●②九服(1 1657 3538)及び封畿(11 38310 ●)を見よ。(正字通)・戴。古者王國千里。(周禮)

●③王畿。(白虎通)・戴。(通典)

●④王畿。(正字通)・戴。

●⑤王畿。(白虎通)・戴。

●⑥王畿。(正字通)・戴。

●⑦王畿。(白虎通)・戴。

●⑧王畿。(正字通)・戴。

●⑨王畿。(白虎通)・戴。

●⑩王畿。(正字通)・戴。

●⑪王畿。(白虎通)・戴。

●⑫王畿。(正字通)・戴。

●⑬王畿。(白虎通)・戴。

●⑭王畿。(正字通)・戴。

●⑮王畿。(白虎通)・戴。

●⑯王畿。(正字通)・戴。

●⑰王畿。(白虎通)・戴。

●⑱王畿。(正字通)・戴。

●⑲王畿。(白虎通)・戴。

●⑳王畿。(正字通)・戴。

●㉑王畿。(白虎通)・戴。

●㉒王畿。(正字通)・戴。

●㉓王畿。(白虎通)・戴。

●㉔王畿。(正字通)・戴。

●㉕王畿。(白虎通)・戴。

●㉖王畿。(正字通)・戴。

●㉗王畿。(白虎通)・戴。

●㉘王畿。(正字通)・戴。

●㉙王畿。(白虎通)・戴。

●㉚王畿。(正字通)・戴。

●㉛王畿。(白虎通)・戴。

●㉜王畿。(正字通)・戴。

●㉝王畿。(白虎通)・戴。

●㉞王畿。(正字通)・戴。

●㉟王畿。(白虎通)・戴。

●㊱王畿。(正字通)・戴。

●㊲王畿。(白虎通)・戴。

●㊳王畿。(正字通)・戴。

●㊴王畿。(白虎通)・戴。

●㊵王畿。(正字通)・戴。

●㊶王畿。(白虎通)・戴。

●㊷王畿。(正字通)・戴。

●㊸王畿。(白虎通)・戴。

●㊹王畿。(正字通)・戴。

●㊺王畿。(白虎通)・戴。

●㊻王畿。(正字通)・戴。

●㊼王畿。(白虎通)・戴。

●㊽王畿。(正字通)・戴。

●㊾王畿。(白虎通)・戴。

●㊿王畿。(正字通)・戴。

●(51)王畿。(白虎通)・戴。

●(52)王畿。(正字通)・戴。

●(53)王畿。(白虎通)・戴。

●(54)王畿。(正字通)・戴。

●(55)王畿。(白虎通)・戴。

●(56)王畿。(正字通)・戴。

●(57)王畿。(白虎通)・戴。

●(58)王畿。(正字通)・戴。

●(59)王畿。(白虎通)・戴。

●(60)王畿。(正字通)・戴。

●(61)王畿。(白虎通)・戴。

●(62)王畿。(正字通)・戴。

●(63)王畿。(白虎通)・戴。

●(64)王畿。(正字通)・戴。

●(65)王畿。(白虎通)・戴。

●(66)王畿。(正字通)・戴。

●(67)王畿。(白虎通)・戴。

●(68)王畿。(正字通)・戴。

●(69)王畿。(白虎通)・戴。

●(70)王畿。(正字通)・戴。

●(71)王畿。(白虎通)・戴。

●(72)王畿。(正字通)・戴。

●(73)王畿。(白虎通)・戴。

●(74)王畿。(正字通)・戴。

●(75)王畿。(白虎通)・戴。

●(76)王畿。(正字通)・戴。

●(77)王畿。(白虎通)・戴。

●(78)王畿。(正字通)・戴。

●(79)王畿。(白虎通)・戴。

●(80)王畿。(正字通)・戴。

●(81)王畿。(白虎通)・戴。

●(82)王畿。(正字通)・戴。

●(83)王畿。(白虎通)・戴。

●(84)王畿。(正字通)・戴。

●(85)王畿。(白虎通)・戴。

●(86)王畿。(正字通)・戴。

●(87)王畿。(白虎通)・戴。

●(88)王畿。(正字通)・戴。

●(89)王畿。(白虎通)・戴。

●(90)王畿。(正字通)・戴。

宋、侯官の人、同の弟、字は徳輿。開元中、刺史・観察使の職を歴任。『宋史』四百三十一に『宋史新編』一百六十一に伝。

王中孚 王中孚 高麗の第十六、顕宗の大子。字は仁徳。『三国史記』顕宗世家に「仁徳、性仁恕、能文章、長于文。開元、外交の職に努む。在位十年、薨。」『高麗史』六〇『高麗史節要』四〇。

王況 王況 ●宋の人。王存の祖父の十男。識文を綜覈し、詩を能くす。『新唐書』九十八、八十九上。●後漢の人。字は文伯。陳留外黄の人。『後漢書』八十上に「況、性清白、不好交

【車金】[illegible] 明・鄭の人。大鏐新開寶となる。諸侯為を爲さに、徙に在まって逆に在りて、[illegible]せ、[illegible]殺れたり。死を免れて[illegible]民に逃げ[illegible]。

【車師】[illegible] 漢書・匈奴傳。[illegible]

【車師國】[illegible] 漢書・匈奴傳。[illegible]

【車鉅】[illegible] 高麗の使。[illegible]

【車親】[illegible] 上に親親すること。親は時を定めの[illegible]。

【車騎】[illegible] 賤長の人。官は車騎。

【車騎】[illegible] 乾隆の車人。官は車騎。[illegible]

【車理】[illegible] 明。交陵の人。初名は陵鷹。[illegible]

【車鏐】[illegible] 明・鄭の人。大鏐新開寶となる。諸侯為を爲さに、徙に在まって逆に在りて、[illegible]せ、[illegible]殺れたり。死を免れて[illegible]民に逃げ[illegible]。

【車師】[illegible] 漢書・匈奴傳。[illegible]

【車師國】[illegible] 漢書・匈奴傳。[illegible]

【車鉅】[illegible] 高麗の使。[illegible]

【車親】[illegible] 上に親親すること。親は時を定めの[illegible]。

【車騎】[illegible] 賤長の人。官は車騎。

【車騎】[illegible] 乾隆の車人。官は車騎。[illegible]

【車理】[illegible] 明。交陵の人。初名は陵鷹。[illegible]

【車谷】[illegible] 明・鄭の人。大鏐新開寶となる。諸侯為を爲さに、徙に在まって逆に在りて、[illegible]せ、[illegible]殺れたり。死を免れて[illegible]民に逃げ[illegible]。

【車師】[illegible] 漢書・匈奴傳。[illegible]

【車師國】[illegible] 漢書・匈奴傳。[illegible]

【車鉅】[illegible] 高麗の使。[illegible]

【車親】[illegible] 上に親親すること。親は時を定めの[illegible]。

【車騎】[illegible] 賤長の人。官は車騎。

【車騎】[illegible] 乾隆の車人。官は車騎。[illegible]

【車理】[illegible] 明。交陵の人。初名は陵鷹。[illegible]

【車谷】[illegible] 明・鄭の人。大鏐新開寶となる。諸侯為を爲さに、徙に在まって逆に在りて、[illegible]せ、[illegible]殺れたり。死を免れて[illegible]民に逃げ[illegible]。

【車師】[illegible] 漢書・匈奴傳。[illegible]

【車師國】[illegible] 漢書・匈奴傳。[illegible]

【車鉅】[illegible] 高麗の使。[illegible]

【車親】[illegible] 上に親親すること。親は時を定めの[illegible]。

【車騎】[illegible] 賤長の人。官は車騎。

【車騎】[illegible] 乾隆の車人。官は車騎。[illegible]

【車理】[illegible] 明。交陵の人。初名は陵鷹。[illegible]

【車谷】[illegible] 明・鄭の人。大鏐新開寶となる。諸侯為を爲さに、徙に在まって逆に在りて、[illegible]せ、[illegible]殺れたり。死を免れて[illegible]民に逃げ[illegible]。

【車師】[illegible] 漢書・匈奴傳。[illegible]

【車師國】[illegible] 漢書・匈奴傳。[illegible]

【車鉅】[illegible] 高麗の使。[illegible]

【車親】[illegible] 上に親親すること。親は時を定めの[illegible]。

【車騎】[illegible] 賤長の人。官は車騎。

【車騎】[illegible] 乾隆の車人。官は車騎。[illegible]

【車理】[illegible] 明。交陵の人。初名は陵鷹。[illegible]

【車谷】[illegible] 明・鄭の人。大鏐新開寶となる。諸侯為を爲さに、徙に在まって逆に在りて、[illegible]せ、[illegible]殺れたり。死を免れて[illegible]民に逃げ[illegible]。

【車師】[illegible] 漢書・匈奴傳。[illegible]

【車師國】[illegible] 漢書・匈奴傳。[illegible]

【車鉅】[illegible] 高麗の使。[illegible]

【車親】[illegible] 上に親親すること。親は時を定めの[illegible]。

【車騎】[illegible] 賤長の人。官は車騎。

【車騎】[illegible] 乾隆の車人。官は車騎。[illegible]

【車理】[illegible] 明。交陵の人。初名は陵鷹。[illegible]

五」。【王過】???宋、徳興の人。字は幼敏。撫寧先生と稱せらる。朱熹に學ぶ。(宋元學案、浙江九)。

【王固】???宋、徽宗の人。字は叔素。識は別、官は右正字。『宋史新編』、『宋史』卷四百二十二)。『後生案』十五)。(宋元學案、四十一)。●宋、『宋史新編』、『宋史』卷四百二十四)。『後生案』十五)。(宋元學案、四十一)。●宋、仙遊の人。字は豐民。『宋史』卷四百二十四)。『宋史新編』、『百十二)。(宋史新編、百十二)。

【王時】???宋、金、高平の人。字は子明。明員の進士。官は御林侍郎十二冠に終る。『元史』卷百十二)。●『宋史』卷百十二)。

【王會】???宋、『元史』卷百二)。●『宋史』卷百二)。

【王會稽】???逸周書の篇名。

【王會篇】???逸周書の篇名。『王會篇』、『南齊書』、『南齊書』、『南齊書

【干鏡】[illegible]●二國・魏の厚王の人。字は博秦。[illegible]

【干鏡】[illegible]●[illegible]

【干鏡】[illegible]●[illegible]

【干鏡】[illegible]●

に及第し、東閣大學士となる。著書を『後漢書』を『後漢書』と『後漢書』を『後漢書』と『後漢書』を『後漢書』と

に稽通す。宣帝紀して轉ろを探せしめ、天下に珉布あり、後、太常となるに、安くれて殺さる。〔晉書、九十二〕〔宋史、九十九〕●宋、開中興四年十月、遣は史部尚書・左仆射・同中書門下平章事・知・河陽・節度使・檢校太尉・兼侍中・行在行宮留守・行在八尉〔宋史新編、七十五〕●北宋、咸平二年、同知樞密院事・右諫議大夫・行在八尉〔宋史新編、七十五〕

【士部】　王

【王】　〔王〕〔王〕〔王〕

結字の后、謚は恭愍、昭宗を生む。『唐書』七十七。

❹古代、武の太祖の母、謚は孝明、宣の太祖の母、謚は文惠（五代史、十七）。❺宋の太祖の母、謚は孝惠（宋史、一百四十一）。❻宋の太祖の后、謚は順恭、欽宗及び高宗の母。謚は孝惠（宋史、一百六十四）。❼明の神宗の后、謚は孝靖（宋史、一百六十四）。

【王侯】王侯、王公。『荀子』王制篇「王侯、大夫、士、庶人、皆有分職」。『史記』秦本紀「公等遇雨、皆已失期、期皆斬」。『漢書』高帝紀「王侯將相寧有種乎」。『後漢書』光武帝紀「王侯、公等遇雨、皆已失期、期皆斬、趙憲、鄧禹、馮異、馬成、馬武、耿弇、賈復、馮魴、馬援、馬防、馬廖、馬光、馬武、馬援、馬防、馬廖、馬光、馬武、馬援、馬防、馬廖、馬光、馬武

商の人、字は故弼。正民中、郷に擢りて右司郎、郎武騎尉に至る。[隋書]

[王仁恭]王仁恭、字は[illegible]。[illegible]。[illegible]。

【王子高】[illegible] ●隠曲の名。(左今集録張水明君、三月、鶯啼曲、二月、大雅吟、二月、王明君、三月、鶯啼曲、二月、大雅吟、二月、王子高、四月、鶴鳴、四月、王子喬、王子喬、古姫時、直遠、子喬、子喬、子喬

【王綱】[illegible] 三國・蜀の宮中の人。字は承示。孝廉に舉げられ、蜀は攻山太守。後、蔡瑁に従って北征して戰死す。(三國志・蜀志・四十五)

【王逢】[illegible] 宋・泉州の人。字は季逢。大觀の時、太學に遊び、秘書が四庫を修するに、召ぜられて選ばれる。(『宋史』)

【王著】[illegible] 清・秀水の人。字は定保。仕官して詩歌に巧。著に『曝書亭集』がある。(『國朝書獻類徵』)

【王著】[illegible] 清・[illegible]の人。字は茂源。號は及峰。[illegible]。清・[illegible]の人。字は[illegible]。(『國朝書獻類徵』)

【王[illegible]】[illegible] 未・[illegible]の人。字は[illegible]。[illegible]。

王自鎬立、壯日王軾、孫希旦解「壯、王軾所在、書傳無文、疑云與大壯同義、崔氏云、壯、壯也、是也、壯與傷同、詩云、舍爾介爾、壯士爾也、王、天子之稱、帥、統內之王、神也。」

「王命」王の命令の時に、諸侯は、王の命令を受ける。(周禮、夏官、土方氏王巡守則側于王命之法)「爲」王命、(王命城)「爲」原名 Pan-ku-ch'eng、僧敦煌寫王命城、(王命城)「爲」王命城、(王命城)「爲」中印度摩伽陀國に在つて毛嘔婆羅羅王の上座城の首都から南方七哩ハ、現今のアラジギル(Rajagir)の南方七哩ハ、大唐西域記、九、摩伽陀國、以王命名、此故、故城王命城也。

「王命人」王の命令を受ける人。(王命人)「爲」明の王越(Ｊ)ゴビ砂漠の名、山海經、海內北經、王越之國、

「王命人莊」王の命令を受ける人莊。(王命人莊)「爲」明の王越(Ｊ)ゴビ砂漠の名、山海經、海內北經、王越之國、

「王者」王の人。(王者)「爲」天子、天下の人。(王者)「爲」王者、(王者)「爲」王者、(王者)「爲」王者、

は裁断。十二月として父を失い戸を閉ぢ博く群書を窮む。梁帝の時、能筆に徳と言葉となる。出身は呉郡の人。字は鶴子。

【王相】[illegible]（宋史・[illegible]）

【王相】[illegible]（宋史・[illegible]）

【王相】[illegible]（宋史・[illegible]）

位す。初め大いに治績があったが、後、元に罰つ[illegible]て誅す。在位五年にして、[illegible]。[illegible]

【王城】[illegible]。[illegible]。[illegible]。

朝別傳記、九十四二百二、百十二、百三十
【王彦】 ●後漢、字仲信、姓氏未詳。
【王彦賓】 ●宋城の人。字は厚載。隋末文人。遠古には侍講學士、著に隋書の王孝通、遠古には侍講學士、著に隋書の王孝通、遠古には侍講學士、著に隋書の王孝通、

て泣涕、許掌に知らる。州都二府の命に應ぜず、武陵・遊居、自ら終釣す。戴安に尚者に徵さ れ、朝列に就かず。『孟志』武帝紀。

【王浩】[illegible]　字は士元。益州の人。[illegible]官は撫軍大將軍（晉書、四十二）。

【王濬】[illegible]　蔡洪の弾劾、晉の王濬、[illegible]都の人。字となり て治績あり。成の後、三万の兵を以て、[illegible]の州の平、また二万を益州とし益州を得ん と、果して益州の刺史となる。故事（晉書、王濬傳）。王濬字は士治、広陵の人也。云云。時、廣漢太守、[illegible]恵布、[illegible]、[illegible]、[illegible]

輟、正統の進士、官は孝宗の時、吏部尚書、制
に在つて開元開寶、引徴して諸、皆、時の名
論、著に易傳、及見・石渠見・王儀疑案議十卷
華陽集・易傳・石渠見・石渠見・王儀疑案議十卷
（二）「萬斯同墓誌」「百二十八」「明史稿」「百
二」「明儒學案」九」「明儒言行錄」「

國の初、梅山の河畔を行き、文、籀川遠蓮華に使を奉じ、多く使立を奏す。官は紫川駐迦都監・雲陽郡の州の長官・都監・金州に駐ぜられて後、功績顕著なるを以て、遂に天長十四〇二宋史紀綱、七十八〇。

【王長】 ●未、太原の人、字は公元、亀城を撰にした功をもつて雄峰衛指揮使に補せられ、正順の反乱を鎮ずるに当り、執へて遼に送る。後、徳州都部署観察留後に至る。〔宋史二百三十八〇〕

【王長】 ●宋、開封の人、字は平仲。官は水部の人、字は武之、號は是齋、紹興の進士、假嘉祐間書を以て、後、刑部尚書に至る。著に是齋集、刺史、四百二十八〇。

【王長】 ●明、南郡の人、字は若異、刺史、

上。位三品。其科樑等中。連垣に橋ること十餘年。
「王部」[illegible]。[illegible]。[illegible]。

けて反対を解放すんとし、又、唐朝に倣つて科挙の三を定し、在位二十六年、好年五十一、〔唐書 雅史、二〕

〔王列傳〕 明・張溥 漢魏六朝百三家集 明刊本 王子信の弟子。諸年となつたが父を襲いで、專ら身心性命の學を求む。常に嘗のものを嘗てて傳はらざる。

〔王記〕 ❶唐の人。隋の子孫。唐書 藝文 王氏の家は、代々、隋朝の王子信の子孫。唐書、二百四十八、王子信傳 唐書、二百四十八、王子信傳 唐書、二百四十八、王子信傳

王都不朝。

【王敦】[illegible] 梁の人。錫の晩子。字は公弁。諡は武。[illegible]。梁は[illegible]。[illegible]。[illegible]。

業恢(及ビ)何右方所用壯麗皆爲紫象、後人所謂壯麗者、非紫象也、不可知不稱。⑭黃書12 53269 黃者、繕名、黃民、戴物、戴國、支財、百工、玉藻、時珍按、黃者、繕名、黃民、戴物、戴國、支財、百工、玉藻、氏民、十二、萬物、化育、穆子事、其物、以制、參、吳也、又、云、黃、繕、黃民、黃物、黃國、黃財、黃百工、玉藻、黃民、黃物、黃國、黃財、黃

【土議】[illegible]…宋、長安の人。字は正雨、其の著、唐語林は世説の模倣の典型故、省を存す。『四庫提要』、『四庫全書』。

【土龍】……、漢、都の人。字は敬則。敬則、太守、為に[illegible]を平らぐ。音は巳部。

【土道】……、漢の人。字は[illegible]。[illegible]。

【土[illegible]】…[illegible]、[illegible]。

【土[illegible]】…[illegible]、[illegible]。

【土[illegible]】…[illegible]、

思錄』ある。（國朝者舊録諸説、四百四二）國朝先正事略、二十二）清儒學案、二篇、八〇）

雒誦侯 字は秉和。武帝甚だこれを恭重し、御史に任ず。時、輔政霍光、これを疑忌し、遂に誅せらる。（宋書、五十二）

王誠 字は、[illegible]。（清史稿、二百十五）

王鏊 字は、[illegible]。（清史稿、二百十五）

王鍾 字は、[illegible]。（清史稿、二百十五）

王鍾 字は、[illegible]。（清史稿、二百十五）

王鍾

の時の謚都千戸。素より惡を疾み、要相阿合無汙を清し、之を殺ること可なり。（元史、二百五十二）●明、宣統の人、官は郎に按察司僉事。（明史、二百五十二）●明、宣統の人、字は知友、詩文に工。（明史列傳、七十二）●清、高郵の人、字は知友、詩文に工。（清

事」孔穎達疏、後、官名ヲ法ニシテ郡人ノ教化ニカ
ヒ。（明史、二百八十一、二百（國朝獻徵錄、八十七）
○又、傳、吳充、字、國材、○本朝分省敘、二十
二、○傳、吳充、字、國材、○本朝分省敘、○傳、
○又、傳、吳充、字、國材、○本朝分省敘、○傳、
○又、傳、吳充、字、國材、○本朝分省敘、○傳、
○又、

【上圖】『説』：明の人。西の弟。字は圖。『説』は文章・歴史・天文・地理・兵法・医・卜・相・音・律・算・書・画・琴・碁・射・御・馬術・武術・禅・道・仙・釣・酒・茶・花・香・蹴鞠・蹴踘・蹴毬・蹴圓・蹴圓・蹴圓

尤録冷少如三藏之名。而不知其實。近日方思得之。蓋謂之名者。自二念・三念・四念・五念・六念・七念・八念・九念・十念・十二念・十三念・十四念・十五念・十六念・十七念・十八念・十九念・二十念・二十一念・二十二念・二十三念・二十四念・二十五念・二十六念・二十七念・二十八念・二十九念・三十念・三十一念・三十二念・三十三念・三十四念・三十五念・三十六念・三十七念・三十八念・三十九念・四十念・四十一念・四十二念・四十三念・四十四念・四十五念・四十六念・四十七念・四十八念・四十九念・五十念・五十一念・五十二念・五十三念・五十四念・五十五念・五十六念・五十七念・五十八念・五十九念・六十念・六十一念・六十二念・六十三念・六十四念・六十五念・六十六念・六十七念・六十八念・六十九念・七十念・七十一念・七十二念・七十三念・七十四念・七十五念・七十六念・七十七念・七十八念・七十九念・八十念・八十一念・八十二念・八十三念・八十四念・八十五念・八十六念・八十七念・八十八念・八十九念・九十念・九十一念・九十二念・九十三念・九十四念・九十五念・九十六念・九十七念・九十八念・九十九念・百念・百一念・百二念・百三念・百四念・百五念・百六念・百七念・百八念・百九念・百十念・百十一念・百十二念・百十三念・百十四念・百十五念・百十六念・百十七念・百十八念・百十九念・百二十念・百二十一念・百二十二念・百二十三念・百二十四念・百二十五念・百二十六念・百二十七念・百二十八念・百二十九念・百三十念・百三十一念・百三十二念・百三十三念・百三十四念・百三十五念・百三十六念・百三十七念・百三十八念・百三十九念・百四十念・百四十一念・百四十二念・百四十三念・百四十四念・百四十五念・百四十六念・百四十七念・百四十八念・百四十九念・百五十念・百五十一念・百五十二念・百五十三念・百五十四念・百五十五念・百五十六念・百五十七念・百五十八念・百五十九念・百六十念・百六十一念・百六十二念・百六十三念・百六十四念・百六十五念・百六十六念・百六十七念・百六十八念・百六十九念・百七十念・百七十一念・百七十二念・百七十三念・百七十四念・百七十五念・百七十六念・百七十七念・百七十八念・百七十九念・百八十念・百八十一念・百八十二念・百八十三念・百八十四念・百八十五念・百八十六念・百八十七念・百八十八念・百八十九念・百九十念・百九十一念・百九十二念・百九十三念・百九十四念・百九十五念・百九十六念・百九十七念・百九十八念・百九十九念・二百念・二百一念・二百二念・二百三念・二百四念・二百五念・二百六念・二百七念・二百八念・二百九念・二百十念・二百十一念・二百十二念・二百十三念・二百十四念・二百十五念・二百十六念・二百十七念・二百十八念・二百十九念・二百二十念・二百二十一念・二百二十二念・二百二十三念・二百二十四念・二百二十五念・二百二十六念・二百二十七念・二百二十八念・二百二十九念・二百三十念・二百三十一念・二百三十二念・二百三十三念・二百三十四念・二百三十五念・二百三十六念・二百三十七念・二百三十八念・二百三十九念・二百四十念・二百四十一念・二百四十二念・二百四十三念・二百四十四念・二百四十五念・二百四十六念・二百四十七念・二百四十八念・二百四十九念・二百五十念・二百五十一念・二百五十二念・二百五十三念・二百五十四念・二百五十五念・二百五十六念・二百五十七念・二百五十八念・二百五十九念・二百六十念・二百六十一念・二百六十二念・二百六十三念・二百六十四念・二百六十五念・二百六十六念・二百六十七念・二百六十八念・二百六十九念・二百七十念・二百七十一念・二百七十二念・二百七十三念・二百七十四念・二百七十五念・二百七十六念・二百七十七念・二百七十八念・二百七十九念・二百八十念・二百八十一念・二百八十二念・二百八十三念・二百八十四念・二百八十五念・二百八十六念・二百八十七念・二百八十八念・二百八十九念・二百九十念・二百九十一念・二百九十二念・二百九十三念・二百九十四念・二百九十五念・二百九十六念・二百九十七念・二百九十八念・二百九十九念・三百念・三百一念・三百二念・三百三念・三百四念・三百五念・三百六念・三百七念・三百八念・三百九念・三百十念・三百十一念・三百十二念・三百十三念・三百十四念・三百十五念・三百十六念・三百十七念・三百十八念・三百十九念・三百二十念・三百二十一念・三百二十二念・三百二十三念・三百二十四念・三百二十五念・三百二十六念・三百二十七念・三百二十八念・三百二十九念・三百三十念・三百三十一念・三百三十二念・三百三十三念・三百三十四念・三百三十五念・三百三十六念・三百三十七念・三百三十八念・三百三十九念・三百四十念・三百四十一念・三百四十二念・三百四十三念・三百四十四念・三百四十五念・三百四十六念・三百四十七念・三百四十八念・三百四十九念・三百五十念・三百五十一念・三百五十二念・三百五十三念・三百五十四念・三百五十五念・三百五十六念・三百五十七念・三百五十八念・三百五十九念・三百六十念・三百六十一念・三百六十二念・三百六十三念・三百六十四念・三百六十五念・三百六十六念・三百六十七念・三百六十八念・三百六十九念・三百七十念・三百七十一念・三百七十二念・三百七十三念・三百七十四念・三百七十五念・三百七十六念・三百七十七念・三百七十八念・三百七十九念・三百八十念・三百八十一念・三百八十二念・三百八十三念・三百八十四念・三百八十五念・三百八十六念・三百八十七念・三百八十八念・三百八十九念・三百九十念・三百九十一念・三百九十二念・三百九十三念・三百九十四念・三百九十五念・三百九十六念・三百九十七念・三百九十八念・三百九十九念・四百念・四百一念・四百二念・四百三念・四百四念・四百五念・四百六念・四百七念・四百八念・四百九念・四百十念・四百十一念・四百十二念・四百十三念・四百十四念・四百十五念・四百十六念・四百十七念・四百十八念・四百十九念・四百二十念・四百二十一念・四百二十二念・四百二十三念・四百二十四念・四百二十五念・四百二十六念・四百二十七念・四百二十八念・四百二十九念・四百三十念・四百三十一念・四百三十二念・四百三十三念・四百三十四念・四百三十五念・四百三十六念・四百三十七念・四百三十八念・四百三十九念・四百四十念・四百四十一念・四百四十二念・四百四十三念・四百四十四念・四百四十五念・四百四十六念・四百四十七念・四百四十八念・四百四十九念・四百五十念・四百五十一念・四百五十二念・四百五十三念・四百五十四念・四百五十五念・四百五十六念・四百五十七念・四百五十八念・四百五十九念・四百六十念・四百六十一念・四百六十二念・四百六十三念・四百六十四念・四百六十五念・四百六十六念・四百六十七念・四百六十八念・四百六十九念・四百七十念・四百七十一念・四百七十二念・四百七十三念・四百七十四念・四百七十五念・四百七十六念・四百七十七念・四百七十八念・四百七十九念・四百八十念・四百八十一念・四百八十二念・四百八十三念・四百八十四念・四百八十五念・四百八十六念・四百八十七念・四百八十八念・四百八十九念・四百九十念・四百九十一念・四百九十二念・四百九十三念・四百九十四念・四百九十五念・四百九十六念・四百九十七念・四百九十八念・四百九十九念・五百念・五百一念・五百二念・五百三念・五百四念・五百五念・五百六念・五百七念・五百八念・五百九念・五百十念・五百十一念・五百十二念・五百十三念・五百十四念・五百十五念・五百十六念・五百十七念・五百十八念・五百十九念・五百二十念・五百二十一念・五百二十二念・五百二十三念・五百二十四念・五百二十五念・五百二十六念・五百二十七念・五百二十八念・五百二十九念・五百三十念・五百三十一念・五百三十二念・五百三十三念・五百三十四念・五百三十五念・五百三十六念・五百三十七念・五百三十八念・五百三十九念・五百四十念・五百四十一念・五百四十二念・五百四十三念・五百四十四念・五百四十五念・五百四十六念・五百四十七念・五百四十八念・五百四十九念・五百五十念・五百五十一念・五百五十二念・五百五十三念・五百五十四念・五百五十五念・五百五十六念・五百五十七念・五百五十八念・五百五十九念・五百六十念・五百六十一念・五百六十二念・五百六十三念・五百六十四念・五百六十五念・五百六十六念・五百六十七念・五百六十八念・五百六十九念・五百七十念・五百七十一念・五百七十二念・五百七十三念・五百七十四念・五百七十五念・五百七十六念・五百七十七念・五百七十八念・五百七十九念・五百八十念・五百八十一念・五百八十二念・五百八十三念・五百八十四念・五百八十五念・五百八十六念・五百八十七念・五百八十八念・五百八十九念・五百九十念・五百九十一念・五百九十二念・五百九十三念・五百九十四念・五百九十五念・五百九十六念・五百九十七念・五百九十八念・五百九十九念・六百念・六百一念・六百二念・六百三念・六百四念・六百五念・六百六念・六百七念・六百八念・六百九念・六百十念・六百十一念・六百十二念・六百十三念・六百十四念・六百十五念・六百十六念・六百十七念・六百十八念・六百十九念・六百二十念・六百二十一念・六百二十二念・六百二十三念・六百二十四念・六百二十五念・六百二十六念・六百二十七念・六百二十八念・六百二十九念・六百三十念・六百三十一念・六百三十二念・六百三十三念・六百三十四念・六百三十五念・六百三十六念・六百三十七念・六百三十八念・六百三十九念・六百四十念・六百四十一念・六百四十二念・六百四十三念・六百四十四念・六百四十五念・六百四十六念・六百四十七念・六百四十八念・六百四十九念・六百五十念・六百五十一念・六百五十二念・六百五十三念・六百五十四念・六百五十五念・六百五十六念・六百五十七念・六百五十八念・六百五十九念・六百六十念・六百六十一念・六百六十二念・六百六十三念・六百六十四念・六百六十五念・六百六十六念・六百六十七念・六百六十八念・六百六十九念・六百七十念・六百七十一念・六百七十二念・六百七十三念・六百七十四念・六百七十五念・六百七十六念・六百七十七念・六百七十八念・六百七十九念・六百八十念・六百八十一念・六百八十二念・六百八十三念・六百八十四念・六百八十五念・六百八十六念・六百八十七念・六百八十八念・六百八十九念・六百九十念・六百九十一念・六百九十二念・六百九十三念・六百九十四念・六百九十五念・六百九十六念・六百九十七念・六百九十八念・六百九十九念・七百念・七百一念・七百二念・七百三念・七百四念・七百五念・七百六念・七百七念・七百八念・七百九念・七百十念・七百十一念・七百十二念・七百十三念・七百十四念・七百十五念・七百十六念・七百十七念・七百十八念・七百十九念・七百二十念・七百二十一念・七百二十二念・七百二十三念・七百二十四念・七百二十五念・七百二十六念・七百二十七念・七百二十八念・七百二十九念・七百三十念・七百三十一念・七百三十二念・七百三十三念・七百三十四念・七百三十五念・七百三十六念・七百三十七念・七百三十八念・七百三十九念・七百四十念・七百四十一念・七百四十二念・七百四十三念・七百四十四念・七百四十五念・七百四十六念・七百四十七念・七百四十八念・七百四十九念・七百五十念・七百五十一念・七百五十二念・七百五十三念・七百五十四念・七百五十五念・七百五十六念・七百五十七念・七百五十八念・七百五十九念・七百六十念・七百六十一念・七百六十二念・七百六十三念・七百六十四念・七百六十五念・七百六十六念・七百六十七念・七百六十八念・七百六十九念・七百七十念・七百七十一念・七百七十二念・七百七十三念・七百七十四念・七百七十五念・七百七十六念・七百七十七念・七百七十八念・七百七十九念・七百八十念・七百八十一念・七百八十二念・七百八十三念・七百八十四念・七百八十五念・七百八十六念・七百八十七念・七百八十八念・七百八十九念・七百九十念・七百九十一念・七百九十二念・七百九十三念・七百九十四念・七百九十五念・七百九十六念・七百九十七念・七百九十八念・七百九十九念・八百念・八百一念・八百二念・八百三念・八百四念・八百五念・八百六念・八百七念・八百八念・八百九念・八百十念・八百十一念・八百十二念・八百十三念・八百十四念・八百十五念・八百十六念・八百十七念・八百十八念・八百十九念・八百二十念・八百二十一念・八百二十二念・八百二十三念・八百二十四念・八百二十五念・八百二十六念・八百二十七念・八百二十八念・八百二十九念・八百三十念・八百三十一念・八百三十二念・八百三十三念・八百三十四念・八百三十五念・八百三十六念・八百三十七念・八百三十八念・八百三十九念・八百四十念・八百四十一念・八百四十二念・八百四十三念・八百四十四念・八百四十五念・八百四十六念・八百四十七念・八百四十八念・八百四十九念・八百五十念・八百五十一念・八百五十二念・八百五十三念・八百五十四念・八百五十五念・八百五十六念・八百五十七念・八百五十八念・八百五十九念・八百六十念・八百六十一念・八百六十二念・八百六十三念・八百六十四念・八百六十五念・八百六十六念・八百六十七念・八百六十八念・八百六十九念・八百七十念・八百七十一念・八百七十二念・八百七十三念・八百七十四念・八百七十五念・八百七十六念・八百七十七念・八百七十八念・八百七十九念・八百八十念・八百八十一念・八百八十二念・八百八十三念・八百八十四念・八百八十五念・八百八十六念・八百八十七念・八百八十八念・八百八十九念・八百九十念・八百九十一念・八百九十二念・八百九十三念・八百九十四念・八百九十五念・八百九十六念・八百九十七念・八百九十八念・八百九十九念・九百念・九百一念・九百二念・九百三念・九百四念・九百五念・九百六念・九百七念・九百八念・九百九念・九百十念・九百十一念・九百十二念・九百十三念・九百十四念・九百十五念・九百十六念・九百十七念・九百十八念・九百十九念・九百二十念・九百二十一念・九百二十二念・九百二十三念・九百二十四念・九百二十五念・九百二十六念・九百二十七念・九百二十八念・九百二十九念・九百三十念・九百三十一念・九百三十二念・九百三十三念・九百三十四念・九百三十五念・九百三十六念・九百三十七念・九百三十八念・九百三十九念・九百四十念・九百四十一念・九百四十二念・九百四十三念・九百四十四念・九百四十五念・九百四十六念・九百四十七念・九百四十八念・九百四十九念・九百五十念・九百五十一念・九百五十二念・九百五十三念・九百五十四念・九百五十五念・九百五十六念・九百五十七念・九百五十八念・九百五十九念・九百六十念・九百六十一念・九百六十二念・九百六十三念・九百六十四念・九百六十五念・九百六十六念・九百六十七念・九百六十八念・九百六十九念・九百七十念・九百七十一念・九百七十二念・九百七十三念・九百七十四念・九百七十五念・九百七十六念・九百七十七念・九百七十八念・九百七十九念・九百八十念・九百八十一念・九百八十二念・九百八十三念・九百八十四念・九百八十五念・九百八十六念・九百八十七念・九百八十八念・九百八十九念・九百九十念・九百九十一念・九百九十二念・九百九十三念・九百九十四念・九百九十五念・九百九十六念・九百九十七念・九百九十八念・九百九十九念・千念・千一念・千二念・千三念・千四念・千五念・千六念・千七念・千八念・千九念・千十念・千十一念・千十二念・千十三念・千十四念・千十五念・千十六念・千十七念・千十八念・千十九念・千二十念・千二十一念・千二十二念・千二十三念・千二十四念・千二十五念・千二十六念・千二十七念・千二十八念・千二十九念・千三十念・千三十一念・千三十二念・千三十三念・千三十四念・千三十五念・千三十六念・千三十七念・千三十八念・千三十九念・千四十念・千四十一念・千四十二念・千四十三念・千四十四念・千四十五念・千四十六念・千四十七念・千四十八念・千四十九念・千五十念・千五十一念・千五十二念・千五十三念・千五十四念・千五十五念・千五十六念・千五十七念・千五十八念・千五十九念・千六十念・千六十一念・千六十二念・千六十三念・千六十四念・千六十五念・千六十六念・千六十七念・千六十八念・千六十九念・千七十念・千七十一念・千七十二念・千七十三念・千七十四念・千七十五念・千七十六念・千七十七念・千七十八念・千七十九念・千八十念・千八十一念・千八十二念・千八十三念・千八十四念・千八十五念・千八十六念・千八十七念・千八十八念・千八十九念・千九十念・千九十一念・千九十二念・千九十三念・千九十四念・千九十五念・千九十六念・千九十七念・千九十八念・千九十九念・千百念・千百一念・千百二念・千百三念・千百四念・千百五念・千百六念・千百七念・千百八念・千百九念・千百十念・千百十一念・千百十二念・千百十三念・千百十四念・千百十五念・千百十六念・千百十七念・千百十八念・千百十九念・千百二十念・千百二十一念・千百二十二念・千百二十三念・千百二十四念・千百二十五念・千百二十六念・千百二十七念・千百二十八念・千百二十九念・千百三十念・千百三十一念・千百三十二念・千百三十三念・千百三十四念・千百三十五念・千百三十六念・千百三十七念・千百三十八念・千百三十九念・千百四十念・千百四十一念・千百四十二念・千百四十三念・千百四十四念・千百四十五念・千百四十六念・千百四十七念・千百四十八念・千百四十九念・千百五十念・千百五十一念・千百五十二念・千百五十三念・千百五十四念・千百五十五念・千百五十六念・千百五十七念・千百五十八念・千百五十九念・千百六十念・千百六十一念・千百六十二念・千百六十三念・千百六十四念・千百六十五念・千百六十六念・千百六十七念・千百六十八念・千百六十九念・千百七十念・千百七十一念・千百七十二念・千百七十三念・千百七十四念・千百七十五念・千百七十六念・千百七十七念・千百七十八念・千百七十九念・千百八十念・千百八十一念・千百八十二念・千百八十三念・千百八十四念・千百八十五念・千百八十六念・千百八十七念・千百八十八念・千百八十九念・千百九十念・千百九十一念・千百九十二念・千百九十三念・千百九十四念・千百九十五念・千百九十六念・千百九十七念・千百九十八念・千百九十九念・千二百念・千二百一念・千二百二念・千二百三念・千二百四念・千二百五念・千二百六念・千二百七念・千二百八念・千二百九念・千二百十念・千二百十一念・千二百十二念・千二百十三念・千二百十四念・千二百十五念・千二百十六念・千二百十七念・千二百十八念・千二百十九念・千二百二十念・千二百二十一念・千二百二十二念・千二百二十三念・千二百二十四念・千二百二十五念・千二百二十六念・千二百二十七念・千二百二十八念・千二百二十九念・千二百三十念・千二百三十一念・千二百三十二念・千二百三十三念・千二百三十四念・千二百三十五念・千二百三十六念・千二百三十七念・千二百三十八念・千二百三十九念・千二百四十念・千二百四十一念・千二百四十二念・千二百四十三念・千二百四十四念・千二百四十五念・千二百四十六念・千二百四十七念・千二百四十八念・千二百四十九念・千二百五十念・千二百五十一念・千二百五十二念・千二百五十三念・千二百五十四念・千二百五十五念・千二百五十六念・千二百五十七念・千二百五十八念・千二百五十九念・千二百六十念・千二百六十一念・千二百六十二念・千二百六十三念・千二百六十四念・千二百六十五念・千二百六十六念・千二百六十七念・千二百六十八念・千二百六十九念・千二百七十念・千二百七十一念・千二百七十二念・千二百七十三念・千二百七十四念・千二百七十五念・千二百七十六念・千二百七十七念・千二百七十八念・千二百七十九念・千二百八十念・千二百八十一念・千二百八十二念・千二百八十三念・千二百八十四念・千二百八十五念・千二百八十六念・千二百八十七念・千二百八十八念・千二百八十九念・千二百九十念・千二百九十一念・千二百九十二念・千二百九十三念・千二百九十四念・千二百九十五念・千二百九十六念・千二百九十七念・千二百九十八念・千二百九十九念・千三百念・千三百一念・千三百二念・千三百三念・千三百四念・千三百五念・千三百六念・千三百七念・千三百八念・千三百九念・千三百十念・千三百十一念・千三百十二念・千三百十三念・千三百十四念・千三百十五念・千三百十六念・千三百十七念・千三百十八念・千三百十九念・千三百二十念・千三百二十一念・千三百二十二念・千三百二十三念・千三百二十四念・千三百二十五念・千三百二十六念・千三百二十七念・千三百二十八念・千三百二十九念・千三百三十念・千三百三十一念・千三百三十二念・千三百三十三念・千三百三十四念・千三百三十五念・千三百三十六念・千三百三十七念・千三百三十八念・千三百三十九念・千三百四十念・千三百四十一念・千三百四十二念・千三百四十三念・千三百四十四念・千三百四十五念・千三百四十六念・千三百四十七念・千三百四十八念・千三百四十九念・千三百五十念・千三百五十一念・千三百五十二念・千三百五十三念・千三百五十四念・千三百五十五念・千三百五十六念・千三百五十七念・千三百五十八念・千三百五十九念・千三百六十念・千三百六十一念・千三百六十二念・千三百六十三念・千三百六十四念・千三百六十五念・千三百六十六念・千三百六十七念・千三百六十八念・千三百六十九念・千三百七十念・千三百七十一念・千三百七十二念・千三百七十三念・千三百七十四念・千三百七十五念・千三百七十六念・千三百七十七念・千三百七十八念・千三百七十九念・千三百八十念・千三百八十一念・千三百八十二念・千三百八十三念・千三百八十四念・千三百八十五念・千三百八十六念・千三百八十七念・千三百八十八念・千三百八十九念・千三百九十念・千三百九十一念・千三百九十二念・千三百九十三念・千三百九十四念・千三百九十五念・千三百九十六念・千三百九十七念・千三百九十八念・千三百九十九念・千四百念・千四百一念・千四百二念・千四百三念・千四百四念・千四百五念・千四百六念・千四百七念・千四百八念・千四百九念・千四百十念・千四百十一念・千四百十二念・千四百十三念・千四百十四念・千四百十五念・千四百十六念・千四百十七念・千四百十八念・千四百十九念・千四百二十念・千四百二十一念・千四百二十二念・千四百二十三念・千四百二十四念・千四百二十五念・千四百二十六念・千四百二十七念・千四百二十八念・千四百二十九念・千四百三十念・千四百三十一念・千四百三十二念・千四百三十三念・千四百三十四念・千四百三十五念・千四百三十六念・千四百三十七念・千四百三十八念・千四百三十九念・千四百四十念・千四百四十一念・千四百四十二念・千四百四十三念・千四百四十四念・千四百四十五念・千四百四十六念・千四百四十七念・千四百四十八念・千四百四十九念・千四百五十念・千四百五十一念・千四百五十二念・千四百五十三念・千四百五十四念・千四百五十五念・千四百五十六念・千四百五十七念・千四百五十八念・千四百五十九念・千四百六十念・千四百六十一念・千四百六十二念・千四百六十三念・千四百六十四念・千四百六十五念・千四百六十六念・千四百六十七念・千四百六十八念・千四百六十九念・千四百七十念・千四百七十一念・千四百七十二念・千四百七十三念・千四百七十四念・千四百七十五念・千四百七十六念・千四百七十七念・千四百七十八念・千四百七十九念・千四百八十念・千四百八十一念・千四百八十二念・千四百八十三念・千四百八十四念・千四百八十五念・千四百八十六念・千四百八十七念・千四百八十八念・千四百八十九念・千四百九十念・千四百九十一念・千四百九十二念・千四百九十三念・千四百九十四念・千四百九十五念・千四百九十六念・千四百九十七念・千四百九十八念・千四百九十九念・千五百念・千五百一念・千五百二念・千五百三念・千五百四念・千五百五念・千五百六念・千五百七念・千五百八念・千五百九念・千五百十念・千五百十一念・千五百十二念・千五百十三念・千五百十四念・千五百十五念・千五百十六念・千五百十七念・千五百十八念・千五百十九念・千五百二十念・千五百二十一念・千五百二十二念・千五百二十三念・千五百二十四念・千五百二十五念・千五百二十六念・千五百二十七念・千五百二十八念・千五百二十九念・千五百三十念・千五百三十一念・千五百三十二念・千五百三十三念・千五百三十四念・千五百三十五念・千五百三十六念・千五百三十七念・千五百三十八念・千五百三十九念・千五百四十念・千五百四十一念・千五百四十二念・千五百四十三念・千五百四十四念・千五百四十五念・千五百四十六念・千五百四十七念・千五百四十八念・千五百四十九念・千五百五十念・千五百五十一念・千五百五十二念・千五百五十三念・千五百五十四念・千五百五十五念・千五百五十六念・千五百五十七念・千五百五十八念・千五百五十九念・千五百六十念・千五百六十一念・千五百六十二念・千五百六十三念・千五百六十四念・千五百六十五念・千五百六十六念・千五百六十七念・千五百六十八念・千五百六十九念・千五百七十念・千五百七十一念・千五百七十二念・千五百七十三念・千五百七十四念・千五百七十五念・千五百七十六念・千五百七十七念・千五百七十八念・千五百七十九念・千五百八十念・千五百八十一念・千五百八十二念・千五百八十三念・千五百八十四念・千五百八十五念・千五百八十六念・千五百八十七念・千五百八十八念・千五百八十九念・千五百九十念・千五百九十一念・千五百九十二念・千五百九十三念・千五百九十四念・千五百九十五念・千五百九十六念・千五百九十七念・千五百九十八念・千五百九十九念・六百念・六百一念・六百二念・六百三念・六百四念・六百五念・六百六念・六百七念・六百八念・六百九念・六百十念・六百十一念・六百十二念・六百十三念・六百十四念・六百十五念・六百十六念・六百十七念・六百十八念・六百十九念・六百二十念・六百二十一念・六百二十二念・六百二十三念・六百二十四念・六百二十五念・六百二十六念・六百二十七念・六百二十八念・六百二十九念・六百三十念・六百三十一念・六百三十二念・六百三十三念・六百三十四念・六百三十五念・六百三十六念・六百三十七念・六百三十八念・六百三十九念・六百四十念・六百四十一念・六百四十二念・六百四十三念・六百四十四念・六百四十五念・六百四十六念・六百四十七念・六百四十八念・六百四十九念・六百五十念・六百五十一念・六百五十二念・六百五十三念・六百五十四念・六百五十五念・六百五十六念・六百五十七念・六百五十八念・六百五十九念・六百六十念・六百六十一念・六百六十二念・六百六十三念・六百六十四念・六百六十五念・六百六十六念・六百六十七念・六百六十八念・六百六十九念・六百七十念・六百七十一念・六百七十二念・六百七十三念・六百七十四念・六百七十五念・六百七十六念・六百七十七念・六百七十八念・六百七十九念・六百八十念・六百八十一念・六百八十二念・六百八十三念・六百八十四念・六百八十五念・六百八十六念・六百八十七念・六百八十八念・六百八十九念・六百九十念・六百九十一念・六百九十二念・六百九十三念・六百九十四念・六百九十五念・六百九十六念・六百九十七念・六百九十八念・六百九十九念・七百念・七百一念・七百二念・七百三念・七百四念・七百五念・七百六念・七百七念・七百八念・七百九念・七百十念・七百十一念・七百十二念・七百十三念・七百十四念・七百十五念・七百十六念・七百十七念・七百十八念・七百十九念・七百二十念・七百二十一念・七百二十二念・七百二十三念・七百二十四念・七百二十五念・七百二十六念・七百二十七念・七百二十八念・七百二十九念・七百三十念・七百三十一念・七百三十二念・七百三十三念・七百三十四念・七百三十五念・七百三十六念・七百三十七念・七百三十八念・七百三十九念・七百四十念・七百四十一念・七百四十二念・七百四十三念・七百四十四念・七百四十五念・七百四十六念・七百四十七念・七百四十八念・七百四十九念・七百五十念・七百五十一念・七百五十二念・七百五十三念・七百五十四念・七百五十五念・七百五十六念・七百五十七念・七百五十八念・七百五十九念・七百六十念・七百六十一念・七百六十二念・七百六十三念・七百六十四念・七百六十五念・七百六十六念・七百六十七念・七百六十八念・七百六十九念・七百七十念・七百七十一念・七百七十二念・七百七十三念・七百七十四念・七百七十五念・七百七十六念・七百七十七念・七百七十八念・七百七十九念・七百八十念・七百八十一念・七百八十二念・七百八十三念・七百八十四念・七百八十五念・七百八十六念・七百八十七念・七百八十八念・七百八十九念・七百九十念・七百九十一念・七百九十二念・七百九十三念・七百九十四念・七百九十五念・七百九十六念・七百九十七念・七百九十八念・七百九十九念・八百念・八百一念・八百二念・八百三念・八百四念・八百五念・八百六念・八百七念・八百八念・八百九念・八百十念・八百十一念・八百十二念・八百十三念・八百十四念・八百十五念・八百十六念・八百十七念・八百十八念・八百十九念・八百二十念・八百二十一念・八百二十二念・八百二十三念・八百二十四念・八百二十五念・八百二十六念・八百二十七念・八百二十八念・八百二十九念・八百三十念・八百三十一念・八百三十二念・八百三十三念・八百三十四念・八百三十五念・八百三十六念・八百三十七念・八百三十八念・八百三十九念・八百四十念・八百四十一念・八百四十二念・八百四十三念・八百四十四念・八百四十五念・八百四十六念・八百四十七念・八百四十八念・八百四十九念・八百五十念・八百五十一念・八百五十二念・八百五十三念・八百五十四念・八百五十五念・八百五十六念・八百五十七念・八百五十八念・八百五十九念・八百六十念・八百六十一念・八百六十二念・八百六十三念・八百六十四念・八百六十五念・八百六十六念・八百六十七念・八百六十八念・八百六十九念・八百七十念・八百七十一念・八百七十二念・八百七十三念・八百七十四念・八百七十五念・八百七十六念・八百七十七念・八百七十八念・八百七十九念・八百八十念・八百八十一念・八百八十二念・八百八十三念・八百八十四念・八百八十五念・八百八十六念・八百八十七念・八百八十八念・八百八十九念・八百九十念・八百九十一念・八百九十二念・八百九十三念・八百九十四念・八百九十五念・八百九十六念・八百九十七念・八百九十八念・八百九十九念・九百念・九百一念・九百二念・九百三念・九百四念・九百五念・九百六念・九百七念・九百八念・九百九念・九百十念・九百十一念・九百十二念・九百十三念・九百十四念・九百十五念・九百十六念・九百十七念・九百十八念・九百十九念・九百二十念・九百二十一念・九百二十二念・九百二十三念・九百二十四念・九百二十五念・九百二十六念・九百二十七念・九百二十八念・九百二十九念・九百三十念・九百三十一念・九百三十二念・九百三十三念・九百三十四念・九百三十五念・九百三十六念・九百三十七念・九百三十八念・九百三十九念・九百四十念・九百四十一念・九百四十二念・九百四十三念・九百四十四念・九百四十五念・九百四十六念・九百四十七念・九百四十八念・九百四十九念・九百五十念・九百五十一念・九百五十二念・九百五十三念・九百五十四念・九百五十五念・九百五十六念・九百五十七念・九百五十八念・九百五十九念・九百六十念・九百六十一念・九百六十二念・九百六十三念・九百六十四念・九百六十五念・九百六十六念・九百六十七念・九百六十八念・九百六十九念・九百七十念・九百七十一念・九百七十二念・九百七十三念・九百七十四念・九百七十五念・九百七十六念・九百七十七念・九百七十八念・九百七十九念・九百八十念・九百八十一念・九百八十二念・九百八十三念・九百八十四念・九百八十五念・九百八十六念・九百八十七念・九百八十八念・九百八十九念・九百九十念・九百九十一念・九百九十二念・九百九十三念・九百九十四念・九百九十五念・九百九十六念・九百九十七念・九百九十八念・九百九十九念・千念・千一念・千二念・千三念・千四念・千五念・千六念・千七念・千八念・千九念・千十念・千十一念・千十二念・千十三念・千十四念・千十五念・千十六念・千十七念・千十八念・千十九念・千二十念・千二十一念・千二十二念・千二十三念・千二十四念・千二十五念・千二十六念・千二十七念・千二十八念・千二十九念・千三十念・千三十一念・千三十二念・千三十三念・千三十四念・千三十五念・千三十六念・千三十七念・千三十八念・千三十九念・千四十念・千四十一念・千四十二念・千四十三念・千四十四念・千四十五念・千四十六念・千四十七念・千四十八念・千四十九念・千五十念・千五十一念・千五十二念・千五十三念・千五十四念・千五十五念・千五十六念・千五十七念・千五十八念・千五十九念・千六十念・千六十一念・千六十二念・千六十三念・千六十四念・千六十五念・千六十六念・千六十七念・千六十八念・千六十九念・千七十念・千七十一念・千七十二念・千七十三念・千七十四念・千七十五念・千七十六念・千七十七念・千七十八念・千七十九念・千八十念・千八十一念・千八十二念・千八十三念・千八十四念・千八十五念・千八十六念・千八十七念・千八十八念・千八十九念・千九十念・千九十一念・千九十二念・千九十三念・千九十四念・千九十五念・千九十六念・千九十七念・千九十八念・千九十九念・百念・百一念・百二念・百三念・百四念・百五念・百六念・百七念・百八念・百九念・百十念・百十一念・百十二念・百十三念・百十四念・百十五念・百十六念・百十七念・百十八念・百十九念・百二十念・百二十一念・百二十二念・百二十三念・百二十四念・百二十五念・百二十六念・百二十七念・百二十八念・百二十九念・百三十念・百三十一念・百三十二念・百三十三念・百三十四念・百三十五念・百三十六念・百三十七念・百三十八念・百三十九念・百四十念・百四十一念・百四十二念・百四十三念・百四十四念・百四十五念・百四十六念・百四十七念・百四十八念・百四十九念・百五十念・百五十一念・百五十二念・百五十三念・百五十四念・百五十五念・百五十六念・百五十七念・百五十八念・百五十九念・百六十念・百六十一念・百六十二念・百六十三念・百六十四念・百六十五念・百六十六念・百六十七念・百六十八念・百六十九念・百七十念・百七十一念・百七十二念・百七十三念・百七十四念・百七十五念・百七十六念・百七十七念・百七十八念・百七十九念・百八十念・百八十一念・百八十二念・百八十三念・百八十四念・百八十五念・百八十六念・百八十七念・百八十八念・百八十九念・百九十念・百九十一念・百九十二念・百九十三念・百九十四念・百九十五念・百九十六念・百九十七念・百九十八念・百九十九念・二百念・二百一念・二百二念・二百三念・二百四念・二百五念・二百六念・二百七念・二百八念・二百九念・二百十念・二百十一念・二百十二念・二百十三念・二百十四念・二百十五念・二百十六念・二百十七念・二百十八念・二百十九念・二百二十念・二百二十一念・二百二十二念・二百二十三念・二百二十四念・二百二十五念・二百二十六念・二百二十七念・二百二十八念・二百二十九念・二百三十念・二百三十一念・二百三十二念・二百三十三念・二百三十四念・二百三十五念・二百三十六念・二百三十七念・二百三十八念・二百三十九念・二百四十念・二百四十一念・二百四十二念・二百四十三念・二百四十四念・二百四十五念・二百四十六念・二百四十七念・二百四十八念・二百四十九念・二百五十念・二百五十一念・二百五十二念・二百五十三念・二百五十四念・二百五十五念・二百五十六念・二百五十七念・二百五十八念・二百五十九念・二百六十念・二百六十一念・二百六十二念・二百六十三念・二百六十四念・二百六十五念・二百六十六念・二百六十七念・二百六十八念・二百六十九念・二百七十念・二百七十一念・二百七十二念・二百七十三念・二百七十四念・二百七十五念・二百七十六念・二百七十七念・二百七十八念・二百七十九念・二百八十念・二百八十一念・二百八十二念・二百八十三念・二百八十四念・二百八十五念・二百八十六念・二百八十七念・二百八十八念・二百八十九念・二百九十念・二百九十一念・二百九十二念・二百九十三念・二百九十四念・二百九十五念・二百九十六念・二百九十七念・二百九十八念・二百九十九念・三百念・三百一念・三百二念・三百三念・三百四念・三百五念・三百六念・三百七念・三百八念・三百九念・三百十念・三百十一念・三百十二念・三百十三念・三百十四念・三百十五念・三百十六念・三百十七念・三百十八念・三百十九念・三百二十念・三百二十一念・三百二十二念・三百二十三念・三百二十四念・三百二十五念・三百二十六念・三百二十七念・三百二十八念・三百二十九念・三百三十念・三百三十一念・三百三十二念・三百三十三念・三百三十四念・三百三十五念・三百三十六念・三百三十七念・三百三十八念・三百三十九念・三百四十念・三百四十一念・三百四十二念・三百四十三念・三百四十四念・三百四十五念・三百四十六念・三百四十七念・三百四十八念・三百四十九念・三百五十念・三百五十一念・三百五十二念・三百五十三念・三百五十四念・三百五十五念・三百五十六念・三百五十七念・三百五十八念・三百五十九念・三百六十念・三百六十一念・三百六十二念・三百六十三念・三百六十四念・三百六十五念・三百六十六念・三百六十七念・三百六十八念・三百六十九念・三百七十念・三百七十一念・三百七十二念・三百七十三念・三百七十四念・三百七十五念・三百七十六念・三百七十七念・三百七十八念・三百七十九念・三百八十念・三百八十一念・三百八十二念・三百八十三念・三百八十四念・三百八十五念・三百八十六念・三百八十七念・三百八十八念・三百八十九念・三百九十念・三百九十一念・三百九十二念・三百九十三念・三百九十四念・三百九十五念・三百九十六念・三百九十七念・三百九十八念・三百九十九念・四百念・四百一念・四百二念・四百三念・四百四念・四百五念・四百六念・四百七念・四百八念・四百九念・四百十念・四百十一念・四百十二念・四百十三念・四百十四念・四百十五念・四百十六念・四百十七念・四百十八念・四百十九念・四百二十念・四百二十一念・四百二十二念・四百二十三念・四百二十四念・四百二十五念・四百二十六念・四百二十七念・四百二十八念・四百二十九念・四百三十念・四百三十一念・四百三十二念・四百三十三念・四百三十四念・四百三十五念・四百三十六念・四百三十七念・四百三十八念・四百三十九念・四百四十念・四百四十一念・四百四十二念・四百四十三念・四百

而行博。〔漢書、張相傳〕田延年、上法必事於儀而後行。補筮、筮人別用。以偏、內矣。魏志、任城王彰傳〕補筮、筮人別用。以偏、北山經、招搖之山、其狀如牛、而白首、其音如擊鼓、其名曰鼓。〔後漢書、馮魴傳〕行機、騎將軍、臨發太祖廟、祝曰、蠻夷猾夏、文子、受命于天、以征不庭。〔左傳、閔元年〕機、弩牙。〔文選、西都賦、注〕機、弩牙。

王元 [illegible] 人名。〔左傳、僖二十四年〕王子帶、王子頹、王子朝、王子瑕、王子嬰。

王沛 [illegible] 人名。〔呂氏春秋、慎行論〕王沛、王子之傅

病を知る。官は祕書省正字・左領軍衛録事・著に王著作集がある。〔宋史〕巻二十四に〔皇朝道学名臣言行外録〕九〔伊洛淵源録〕十二)〔宋元学案〕二十九。

王拱 𤣥 ??? 唐の人。衡山に居り、太和年間先生と號す。佛教に沈潛し、玄宗に嘱食記を執下に嘱拝して道術を学ぶ。〔神仙伝〕

王琨 𤣥 ??? ●晉の人。殉の弟。子は季琨・小字は阿大。●晉陽に行幸して魏の博士と通じ、国語歌を作る。後、王敦之に代つて中書令となる。殉人五十。●東・王山の人。字は中玉。王導・王曠・王胥・王五。●東・王山の人。字は中玉。王導・王曠・王胥・王五。●東・王山の人。夢山道士に会い、呂祖謙等の師説を作る。後、王敦之に代つて中書令となる。殉人五十。●東・王山の人。字は中玉。王導・王曠・王胥・王五。●東・王山の人。夢山道士に会い、呂祖謙等の師説があるべき。〔宋仙郡志〕

王敏 𤣥 ??? 任国・金郷の人。字は待聞・道士。墨子敏に依り、軍鎮・漢初・蔡敏・郭敏に於て、敏・敏に師学則官として仕えられた。〔国語〕

王敏 𤣥 ??? 任国・金郷の人。字は待聞・道士。墨子敏に依り、軍鎮・漢初・蔡敏・郭敏に於て、敏・敏に師学則官として仕えられた。〔国語〕

王敏 𤣥 ??? 唐の人。字は敏・道士。●明の人。兼恵の時、御馬監となる。諸の傳奉官を寵のことを請びし司礼監・馬陵の責めの為、病を発して死す。〔遵徳実録〕巻四〔明史〕●明・寧海の人。字は遠思・氣剛にして人と故合を為さず。官は御史。〔國朝獻徵録〕四十七〔本朝分省人物攷〕五十五)〔明書〕一百十七〔王父 𤣥 ??? ●親父をいふ。〔留侯、神教〕父之

王父 𤣥 ??? ●親父をいふ。〔留侯、神教〕父之

王母 𤣥 ??? 母氏・母・母氏・母氏・王母・王母・母氏・母氏・母氏

六十七)。『國朝獻徵錄』(八十一)、『明人小傳』(『明紀事本末』)、『明人傳』(『明紀事』)、『明名臣言行錄』(『明名臣言行錄』)、『明名臣言行錄』(『明名臣言行錄』)、『明名臣言行錄』(『明名臣言行錄

乃奏下巡、舞姫暫憩、更伝宣和、行則国、其様如『論文』説、姫大全「入」、『本草』説、姫大全「入」、『倭名抄』、『和名抄』、『倭名抄』、『倭名抄』、『倭

俟其死而後死者也。堅一作堅。〔晉書〕一百十四「王敦傳」「敦之初起也、以王含爲丹楊尹、王邃爲侍中、王導爲中軍、王舒爲衛尉、王乂爲中護軍、王廙爲荆州刺史、王彬爲湘州刺史、王棠爲交州刺史、王澄爲荆州刺史、王敦自爲大將軍、領揚州刺史、以兄含爲武昌太守、弟導爲中書令、導固辭不受、敦乃止。導以敦既有兵權、恐其不利於王室、每以大義陳敦、敦不能奪、導亦以敦兄弟有大功於時、故敦雖有此言、而未有篡逆之心、導每以此自寧焉。」

〔王猛碑〕「碑」〔晉書〕「王猛傳」「猛字景略、北海郡人、……苻堅時、爲中書侍郎、……苻堅時、爲中書侍郎、……苻堅時、爲中書侍郎

獻・玉樂舞。（陸機、塞答内侯啟・詩王西所。以食・白・志多・信氏。）

【王門】史・記・秦紀・始皇本紀・詩王西所。

【王門鬼・魂】[1014 ?????] 王門と鬼門。『淮南子』俶真訓「王門を出でず、鬼門を入らず」。

【王鑑】[1014 ?????] 王鑑と書。『世説』賞譽篇、劉惔、國命不可于、師固不可于、師固不可為。王門、伶人。[1014 ?????] 人に使役されることを嫌う。『晉書』王導傳「惔、嘗て王導に謂いて曰く、卿、人を使役するに、卿、王門伶人と為るべし。王導、伶人は王家の樂人。管弦をつかさどる。王門、伶人は王家の樂人。管弦をつかさどる。王門、伶人は王家の樂人。管弦をつかさどる。王門

事ふ。仁に美して隣人に優を接られ、父、邪道に惑ふ。後、部下に殺さる。（『晉五代史』五十四下）

【二胡】1040 ●後魏の人。顧の孫子。字は士海。官は青州刺史。孝莊の初に全安王爾朱大夫となる。『魏書』六十三、『北史』三十四。●唐。『晉書』百六十五、『北史』百二十四。

【二邪】1040 ●後魏の人。顧の孫子。字は士海。官は青州刺史。孝莊の初に全安王爾朱大夫となる。『魏書』六十三、『北史』三十四。●唐。『晉書』百六十五、『北史』百二十四。

【二王】1040 ●三国魏の人。字は子真。『晉書』百六十五、『北史』百二十四。●唐。『晉書』百六十五、『北史』百二十四。

【二郭】1040 ●後魏の人。顧の孫子。字は士海。官は青州刺史。孝莊の初に全安王爾朱大夫となる。『魏書』六十三、『北史』三十四。●唐。『晉書』百六十五、『北史』百二十四。

良(晉書、天文志に曰く良は星在(ママ)北斗、河中、玄云、其四星の下、天廟(ママ)星曰く王良、赤曰く天馬。●郭無忌ないし、●晉書、晉の良は、●

鏡」官は廣東按察使、書畫を古雪堂・金西堂といふ。著に金雪堂文集がある。「四庫提要」、百八十五下。

【王鏡】1088 ❶大子の嫡。『後漢書』、馬援傳に「鏡、位尤四代之服器官、勢兼用之大臣、故援為王鏡也」(主)王鏡は、『後漢書』、馬援傳、故為鏡枚、鏡通、由以王鏡、鏡王鏡、鏡王、鏡陵の人。字は同じ。又、「鏡、鏡王、鏡陵の人、字は同じ。又に「鏡、大地元始陽陽、明に入り、鏡に入り、『四庫提要』、『文苑』、『文集』が、『四庫提要』、『文苑』、『文集』が、『四庫提要』、『文苑』、『文集』が

た。官は鎮遠都督使・陳州司馬。後、永州司戶參軍に遷る。『唐書』一百七十二）○『舊唐書』一百五十八。

［王以詠］[1]　宋、建安の人。字は水晶。進士。含山縣令を歷、法曹等を傳のられて、父事を治むること程家の如く、官物を惜しむこと自己の物の如し。（『閩中記』）

［王以衡］[2]　清、睢安の人。字は警水、號は河秦。乾隆の進士。字は士招。時に長樂者と稱せられた。（『福建通志』）

［王以旂］[3]　明、江寧の人。字は士招。『福州府志』正德の進士。官は世宗の時、兵部尚書。詩もとに、『遠を繼則』、遠を破るの功あり、議に在ること六歲、純學を修めず、著に『清水集』、『遠を繼則』、『遠を破るの功』、『純學を修めず』、

戰つて敗れ屈せずして死んだ。清史稿、民國列傳、四百

一〇ノ清史列傳、二十二、國朝先正事略、二十四、

〔王鼎定〕1755―1815 清・南昌の人。字は定夫、號は

谿山。乾隆の末、進士に及第。翰林を好み、

往を慕い、晚に東南浙東に居て、詩文及び書に巧

が過ぎて、書家を四川学政に任ずるに、詩文及び書に巧

なる者を以て、人を試す。（清史稿、列傳、七

十一、國朝先賢事略、四百一、二十三）

〔王紱〕1734―1802 清・漢軍鑲黃旗人。字は呈祥、

號は西園。乾隆の末、進士に及第。翰林に入り、

侍讀學士に至る。（清史稿、列傳、七十一、國朝先賢事略、二十一）

〔王紱書〕1735―1811 明・會稽の人。字は元恕、號は

月峰。嘉靖の末、進士に及第して、

刑部主事に至る。（明史、百五十

五、明史稿、百四十八、二、明名臣言行錄、

十一、國朝先賢事略、二十二）

〔王紱賢〕1734―1802 清・漢軍鑲黃旗人。字は呈祥、

號は西園。乾隆の末、進士に及第して、

翰林に入り、侍讀學士に至る。（清史稿、列傳、七

十一、國朝先賢事略、四百一、二十三）

〔王紱書〕1735―1811 明・會稽の人。字は元恕、號は

月峰。嘉靖の末、進士に及第して、

刑部主事に至る。（明史、百五十

五、明史稿、百四十八、二、明名臣言行錄、

十一、國朝先賢事略、二十二）

〔王紱賢〕1734―1802 清・漢軍鑲黃旗人。字は呈祥、

號は西園。乾隆の末、進士に及第して、

翰林に入り、侍讀學士に至る。（清史稿、列傳、七

十一、國朝先賢事略、四百一、二十三）

〔王敏〕1755―1815 清・南昌の人。字は定夫、號は

谿山。乾隆の末、進士に及第して、

翰林に入り、侍讀學士に至る。（清史稿、列傳、七

十一、國朝先賢事略、四百一、二十三）

〔王鼎定〕1755―1815 清・南昌の人。字は定夫、號は

谿山。乾隆の末、進士に及第して、

翰林に入り、侍讀學士に至る。（清史稿、列傳、七

十一、國朝先賢事略、四百一、二十三）

〔王鼎

水を駕御す。(王史二百八十六)

●王益之 1200 1275 宋。金華の人。字は行周。南溪先生。(王史二百八十七)

●王応麟 1223 1296 宋。金華の人。字は伯厚

[主可大]1255 ……明。南京錦衣衛の人。字は元簡。嘉靖の進士。官は刑部主事。著に『周恵案獄』がある。(明人小傳三)(明詩紀四十四)(二朝紀事)。

[主家鈴]1255 ……清。趙擎の人。字は申一。道光の時に活躍した。『小峴山人文集』がある。(清代人物傳稿)(清詩紀事)。

[主家啓]1255 ……清。趙擎の人。字は申一。道光の時に活躍した。『小峴山人文集』がある。(清代人物傳稿)(清詩紀事)。

[主家彦]1255 ……明。南京の人。字は興美。嘉靖の進士。官は刑部主事。著に『名香堂集』がある。(国朝献徵録)(明詩綜)(二朝紀事)。

[主家珍]1255 ……清。浙江城の人。順治の末年、官は刑部郎中。著に『二百二』がある。(国朝献徵録)(清詩紀事)。

[主家相]1255 ……清。常熟の人。字は敬齋。嘉慶の進士。官は刑部主事。著に『名香堂集』がある。(国朝献徵録)(清詩紀事)。

[主家相]1255 ……清。常熟の人。字は興美。嘉慶の進士。官は刑部郎中。著に『名香堂集』がある。(国朝献徵録)(清詩紀事)。

[主家鼎]1255 ……清。趙擎の人。字は鼎臣。嘉慶の進士。官は刑部郎中。著に『二百二』がある。(国朝献徵録)(清詩紀事)。

[主家樹]1255 ……清。趙擎の人。字は樹臣。嘉慶の進士。官は刑部郎中。著に『二百二』がある。(国朝献徵録)(清詩紀事)。

[主家樹]1255 ……明。長洲の人。字は樹臣。嘉慶の進士。官は刑部郎中。著に『二百二』がある。(国朝献徵録)(清詩紀事)。

[主家鈴]1255 ……清。趙擎の人。字は申一。道光の時に活躍した。『小峴山人文集』がある。(清代人物傳稿)(清詩紀事)。

[主家鈴]1255 ……清。趙擎の人。字は申一。道光の時に活躍した。『小峴山人文集』がある。(清代人物傳稿)(清詩紀事)。

[主家鼎]1255 ……清。趙擎の人。字は鼎臣。嘉慶の進士。官は刑部郎中。著に『二百二』がある。(国朝献徵録)(清詩紀事)。

[主家樹]1255 ……清。趙擎の人。字は樹臣。嘉慶の進士。官は刑部郎中。著に『二百二』がある。(国朝献徵録)(清詩紀事)。

[主家樹]1255 ……明。長洲の人。字は樹臣。嘉慶の進士。官は刑部郎中。著に『二百二』がある。(国朝献徵録

概略學國家關係。乾隆間舉人。詩書畫巧。著有[illegible]。著述は九七種である。嘉慶を山陽老屋易書軒、[illegible]に、清史稿、五百九十二、清史稿、[illegible]、[illegible]、[illegible]

軍を率す。青に長し、池に臨んで書を習ひ、池水盡く墨し、書に長じ、筆の工なり。酔辱手に樂毅・羲・献を作る。月夕に行ひ、酔辱手に樂毅・羲・献を作る。性、酒を愛す。都督、女を以てこれを妻とす。後、官を去りて、釣台に閑居し、『晉書』八十一。

王敦[0][0]　字は処仲。沛の人。弘敦第。襲は遠陵。弘治の進士。駙馬に尚じ、官、吏部郎中に拔擢されて、後、魯国郡に降る。人となり、聡敏にして、博学、文章を好む。武帝に長に、弘氏勢を恃むを、敦、之を抑損し、后に忤ひ、外に出でて、廣陵郡太守となる。『晉書』八十六。

王導[0]　字は茂弘。琅琊の人。敦・導・導・導

醫の博士士、官は尚書郎を歷任し、王守仁の學を傳ふ。著に講書要語がある。(同庫提要、二百八十九)

【王化泉】[illegible] 清、浦城の人。字は省菴、志を慨して學に嗜め、經史に通じ、其の心得を發揮し、年七十にして學館の講席に就く。(清史稿、四百八十六)〔(同治)浦城縣誌、三百九十九〕

【王化貞】[illegible] 明、成城の人、字は肖龍、萬曆中、官は右僉都御史、廣寧を守る。會、清兵入寇するや、閻鬼、廣寧を失ひ、逃潰し、此の時、化貞、右僉都御史を以て、遼東を巡撫し、又、廷弼と共に論戰せらるる。(萬曆邸報、三百四十七)〔明史稿、二百二十七〕

【王化臣】[illegible] 明、廣東の人、號は祇卿子。官は、官は主簿。著に眞如子解言がある。(四庫提要、二百一十五)　後漢、北海の人、道術を好む。

【王和順】[illegible] 宋の王石の弟。王安禮(二二〇)の父。

【王台卿】[illegible] 清、無錫の人、字は孟服、號は雲巖。官は大理寺卿。著に遼東詩がある。(國朝者獻類徵、八十二)〔(同治)無錫縣誌、十九〕

【王固文】[illegible] 宋、王博文(二八二)の祖父。

【王光祖】[illegible] 清、太倉州の人、字は鼎臣。官は、官は、著に眞如子解言がある。(四庫提要、二百一十五)

【王君平】[illegible] 後漢、北海の人、道術を好む。

【王君胡】[illegible] 清、無錫の人、字は孟服、號は雲巖。官は大理寺卿。著に遼東詩がある。(國朝者獻類徵、八十二)〔(同治)無錫縣誌、十九〕

【王光泰】[illegible] 清、松江華亭の人、字は玲右、號貴士、國學、詩文に巧、明末、屢、徵辟されたが就かず、第則を上海の新場鎮に居居し、躬耕して父を養ふ。著に練雲集がある。(國朝者獻類徵、四百七十二)〔(同治)華亭縣誌、十四〕

【王光祖】[illegible] ●宋の人、建の石、字は君胡、官は總管中、吉溪の陳創建、常州の陳、鎮を討つ、功を以て江西の常州總管に轉ず。著に陳常集がある。(國朝者獻類徵、四百七十二)〔(同治)常州府志、百四十四〕

【王光泗】[illegible] 清、江南華亭の人、字は鶴山、順治の進士、書畫に巧、著に蘭雪堂詩がある。(國朝者獻類徵、百二十八)〔(同治)華亭縣誌、四十一〕

【王家心】[illegible] 清、江南華亭の人、字は伊城、號は鶴山、順治の進士、書畫に巧、著に蘭雪堂詩がある。(國朝者獻類徵、百二十八)〔(同治)華亭縣誌、四十一〕

【王家賓】[illegible] 清、常熟の人、名は萬樹、字を以て稱せらる。號は鶴亭、南洲野人、乾隆の學者、詩畫の古調を手に入れ、書法に巧、著に鶴亭集がある。(國朝者獻類徵、百二十三)〔(同治)常熟縣誌、四十一〕

【王國材】[illegible] 清、江西南昌の人、字は天衢、號は鶴亭、乾隆の進士、官は湖南道監察御史、書畫を思菴堂といふ、著に思菴堂文集がある。(國朝者獻類徵、十二)〔(同治)南昌府志、四十一〕

【王國賓】[illegible] 明、臨川の人、字は仁王、天啓癸酉、百八十一。

【王士性】[illegible] 明、號は右轅、仁和の人、官は、著に廣志繹がある。(四庫提要、二百一十一)

【王士禎】[illegible] 清、山西太原の人、字は元美、號は鳳洲、嘉靖の進士、官は湖廣提學副使、著に弇州山人四部稿がある。(國朝者獻類徵、百二十一)〔(同治)太原縣誌、十二〕

【王士禎】[illegible] 清、山東新城の人、字は子真、號は漁洋、順治の進士、官は、著に漁洋山人集がある。(國朝者獻類徵、百二十一)〔(同治)新城縣誌、百八十一〕

【王士性】[illegible] 明、浙江の人、字は、著に廣志繹がある。(四庫提要、二百一十一)

【王士弘】[illegible] 清、太倉州の人、字は、著に眞如子解言がある。(四庫提要、二百一十五)

【王士元】[illegible] 清、無錫の人、字は、著に眞如子解言がある。(四庫提要、二百一十五)

【王士性】[illegible] 明、浙江の人、字は、著に廣志繹がある。(四庫提要、二百一十一)

【王士禎】[illegible] 清、山東新城の人、字は子真、號は漁洋、順治の進士、官は、著に漁洋山人集がある。(國朝者獻類徵、百二十一)〔(同治)新城縣誌、百八十一〕

公に封ぜられたからいう。〔宋元學案〕附公新學略 文公子陳山先生 公元元豐二年、改封到國公。

〔王朝公諱汪〕1373 王安石子。字余庸。臨川人。嘉祐進士。元豐二年、改封到國公。

〔王朝・四庫提要〕1373 字朝宗。臨川人。嘉祐進士。

〔王朝・道藏〕1373 清虛真人。字玉東白。號道人。

〔王朝・宋史〕1373 字朝宗。臨川人。嘉祐進士。

〔王朝・道藏〕1373 清虛真人。字玉東白。號道人。

〔王朝・宋史〕1373 字朝宗。臨川人。嘉祐進士

性理学義がある。「四庫提要」九十九・九十八・二百二十九。

【王建】[1406]……南唐、李建徳(在0・14439・123の一名。

【王建極】[1407]……明、胡濙の人。字は用五、国五五。詩書に巧。「明書録」五」「明朝詩集小傳」

【王建常】[1408]……清、長武の人。字は仲復、河南の人。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」を作つて「郷試録」に載せる。著に「農書録」がある。

【王敬臣】[1409]……清、長武の人。字は敬臣、河南の人。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬哲】[1410]……明、長武の人。字は敬哲。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬存】[1411]……清、長武の人。字は敬存。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬之】[1412]……明、長武の人。字は敬之。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬臣】[1413]……明、長武の人。字は敬臣。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬方】[1414]……明、長武の人。字は敬方。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬哲】[1415]……明、長武の人。字は敬哲。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬之】[1416]……明、長武の人。字は敬之。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬臣】[1417]……明、長武の人。字は敬臣。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬方】[1418]……明、長武の人。字は敬方。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬哲】[1419]……明、長武の人。字は敬哲。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬之】[1420]……明、長武の人。字は敬之。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬臣】[1421]……明、長武の人。字は敬臣。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬方】[1422]……明、長武の人。字は敬方。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬哲】[1423]……明、長武の人。字は敬哲。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬之】[1424]……明、長武の人。字は敬之。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬臣】[1425]……明、長武の人。字は敬臣。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬方】[1426]……明、長武の人。字は敬方。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬哲】[1427]……明、長武の人。字は敬哲。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬之】[1428]……明、長武の人。字は敬之。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬臣】[1429]……明、長武の人。字は敬臣。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬方】[1430]……明、長武の人。字は敬方。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬哲】[1431]……明、長武の人。字は敬哲。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬之】[1432]……明、長武の人。字は敬之。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬臣】[1433]……明、長武の人。字は敬臣。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬方】[1434]……明、長武の人。字は敬方。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬哲】[1435]……明、長武の人。字は敬哲。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬之】[1436]……明、長武の人。字は敬之。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬臣】[1437]……明、長武の人。字は敬臣。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬方】[1438]……明、長武の人。字は敬方。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬哲】[1439]……明、長武の人。字は敬哲。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬之】[1440]……明、長武の人。字は敬之。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬臣】[1441]……明、長武の人。字は敬臣。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬方】[1442]……明、長武の人。字は敬方。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬哲】[1443]……明、長武の人。字は敬哲。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬之】[1444]……明、長武の人。字は敬之。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬臣】[1445]……明、長武の人。字は敬臣。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬方】[1446]……明、長武の人。字は敬方。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬哲】[1447]……明、長武の人。字は敬哲。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬之】[1448]……明、長武の人。字は敬之。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬臣】[1449]……明、長武の人。字は敬臣。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬方】[1450]……明、長武の人。字は敬方。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

【王敬哲】[1451]……明、長武の人。字は敬哲。「郷試録」に名を載せる。著に「農書録」がある。

編（天二十五）（東都事略、二十九）（陳師道集、十九）

【王彦超】[1]1[2]2　（宋史）「王彦超、字、温和恭謹、質実、為人、性、温和恭謹、質実、為人、性、温和恭謹、質実、為人、性

義を尚ぶ。醫官に屬せし。後、鎮内科林に遷る。〔宋史、四百八十二〕〔宋史新編、一百十八〕

〔王國維 1916 ヴェイ〕 民國、浙江海寧の人。字は静安。一字は伯隅。號は觀堂・永觀軒等。雖は恕堂・長春・雪堂・觀堂・倉石等の別号。早年に羅振玉に從って考證学を研究し、實で我が國に留学した。帰国後、清朝の官僚を辞職し、學大に進む。羅振玉の『殷周時代研究法』を指導し、『殷虚書契考釋』を編纂した。『殷周制度論』・『觀堂集林』・『殷虚卜辭』・『殷虚文字考』等の著作を遺した。『殷周制度論』は、殷代の制度に関して、『殷虚卜辭』は、殷代の卜法を指導し、『殷虚文字考』は、殷代の文字を研究した。『觀堂集林』は、『殷虚卜辭』・『殷虚文字考』・『殷周制度論』・『殷虚書契考釋』・『殷虚書契後編』・『殷虚書契續編』・『殷虚書契菁華』・『殷虚書契前編

【王士元】1509 明の人。官は密雲総知。時に補海後備僉事となり、万民の故を以て奏聞し、無賦の徒、国ひて王民を多く引致した士弘詩を得た。〔明史・百四十二〕（萬曆明史・百九十一）〔明史稿・百三十七〕明史稿・九十一

【王士弘】1510 清の人。土城の族兄。字は芝石。号は太微、青ヶ巖。〔朝野雑記・二〕

【王士禎】1511 明の人。上海の弟。字は志平。號は太微、青ヶ巖。〔明詩綜・二〕

【王士性】1512 明の人。字は思仁。號は太微、青ヶ巖。〔明詩綜・二〕

【王士性】1513 明の人。字は思仁。號は太微、青ヶ巖。〔明詩綜・二〕

【王士性】1514 明の人。字は思仁。號は太微、青ヶ巖。〔明詩綜・二〕

【王士性】1515 明の人。字は思仁。號は太微、青ヶ巖。〔明詩綜・二〕

【王士性】1516 明の人。字は思仁。號は太微、青ヶ巖。〔明詩綜・二〕

【王士性】1517 明の人。字は思仁。號は太微、青ヶ巖。〔明詩綜・二〕

【王士性】1518 明の人。字は思仁。號は太微、青ヶ巖。〔明詩綜・二〕

【王士性】1519 明の人。字は思仁。號は太微、青ヶ巖。〔明詩綜・二〕

【王士性】1520 明の人。字は思仁。號は太微、青ヶ巖。〔明詩綜・二〕

【王士性】1521 明の人。字は思仁。號は太微、青ヶ巖。〔明詩綜・二〕

【王士性】1522 明の人。字は思仁。號は太微、青ヶ巖。〔明詩綜・二〕

【王士性】1523 明の人。字は思仁。號は太微、青ヶ巖。〔明詩綜・二〕

【王士性】1524 明の人。宋末の遺子。字は巨夙。萬曆の進士。官は刑科給事中。著に『青霞集』・『思齊集』・『広中行等』・『広東通志』・『広西通志』・『広東通志』・『広西通志』・『広東通志』・『広西通志

〔萬鄭同明史、三百十八・〇明史稿、二百四・〇皇明應襲名臣備録、九・〇名臣分考録、七十九〕

〔王之納1556〕　清、南京人。明末、官兵部尚書。明、福王時、力戰而死。〔明史稿、二百十一〕

〔王之寀1556〕　清、浙江人。官太僕寺卿。明、福王時、力戰而死。〔明史稿、二百十一〕

〔王之寀1556〕　清、新城人。官工部主事。張獻忠陷蜀、之寀與其子之鼎、之鼐、之鼎、之鼐、之鼎、之鼐、

を然りとす。官は止春夫人（元史、百六十一）

【主指揮】[元史]明、鎮遠の人。字は[illegible]。[illegible]文の時、典民と内講に戰いて、重傷を被るも活[illegible]す。[illegible]（元史、百四十二）

【王師道】[元史]宋、[illegible]の人。字は中一。人となり[illegible]。[illegible]（元史、百四十五）

【王師範】[元史]元、[illegible]の人。字は[illegible]。[illegible]（元史、百四十五）

【王師[illegible]

(明史稿二百十四)。

【王式升】1651 清、寧波人。字十方石。號樵村、樵村、樵村、倉頡、蛟氏(倉頡、蛟氏に擬)。性穆、性穆を授けるも、古を好み、仕進に淡に入らずして長ずる。著作に『倉頡別傳』七十卷、『倉頡別傳』七十卷、『倉頡別傳』七十卷、

と語を枕として様宗を立つて文宗立つに及んで死を賜はる。（唐書、二百八へ舊唐書、一百八十四）

〔王善慶〕1688 清上海の人。字は善之。號は一如。道園老人・雲濤道人と書き、巧、書家を稱海機・雲濤・雲園書家筆錄、二十二）

〔王善聰〕1689 宋。陳留の人。字は善翁。朝揮之の外甥。著書に『善詩』中。

〔王樹鈞〕1690 清。仁和の人。字は鈞雪・鈞雪。號は無拘・魚公・文命・春秋・宋詩・英光・玉樹竹君・玉屑・玉屑・『國朝書畫家筆錄』二十四）

〔王樹常〕1691 民國。夏邑省夏邑縣の人。字は廷宇。我が國の陸軍・官學校及び陸軍大學を卒業し、錦國後、奉天第二十七師參謀長・奉天軍公署總參議等を經て、朝鮮駐屯の陸軍大臣技官となり、民國成立後、奉天に歸り、陸軍總長・奉天督軍公署總參議等を經て、民國十二年、國民軍に入り、伊秉綬陸軍學校教官・國民軍第二軍第二師參謀長・奉天督軍公署總參議等を經て、民國十五年、國民軍第二軍第二師參謀長・奉天督軍公署總參議・奉天第二師師長・奉天督軍公署參議・奉天第二師師長・奉天督軍公署參議・奉天第二師師長・奉天督軍公署

著『法苑珠林』『高僧傳』『法華論』『省道觀文集』がある。（『續群書類從』七十二）

【王友敬】[illegible]　清。字は[illegible]。

【王安石】[illegible]　宋。字は[illegible]。[illegible]。[illegible]。

官は樹新中、河東郡管、(清史列傳、十二)〔清傳集、七十六〕(從政觀錄、十二)(滿洲名臣傳、三十二)

【王審琦】[1]……宋、皇西の人。字は仲寶、性厚重、朝廷清し。漢初、郭威の幄下に隸す。周の時、殿前都虞候となり、宋に入り、中正東節度となる。太祖を迎し、周を滅ぼし、宋に入り、中正東節度となる。太祖を迎し、周を滅ぼし、宋に入り、中正東節度となる。(宋史、二百五十二)〔宋史列傳、六十五〕〔東都事略、十九〕〔宋名臣言行錄、一〕

【王都】[1]……唐の人。朝の第、字は次都、隆州の人。開元、京兆尹となり、儒術を貴ぶ。公卿多く家を依し、書を、招賢院を作つつ之を禮し、(唐書、百九十二)

【王都知】[1]……五代、郡の人。梁の季期、字は商隱、後に、神策、都虞候となるや、都知を朝使と、唐、代つて、代つて、武勇を、封は琅琊王。(唐書、百九十二)

【王敦】[1]……晉の人。字は伯仁、琅琊の人。(晉書、百四十五)

【王敦禮】[1]……宋、陽武郡の人。字は禮、號は海鹿。(宋史、百九十二)

【王敦頤】[1]……清の人。字は長財、自号は梅巢。著に(梅巢集)がある。(英儒傳、數學、四)

【王敦復】[1]……宋の人。年十餘歳、太宗に若て、元和使を與る。(宋史、四百六十六)〔宋史新編、百九十四〕

【王敦復】[1]……唐の人。宏州の贈后の人。字は

【王部 王】

鳴鶴、隱は昭。官は開府儀同三司。封は都國公。(周書、二百六十二)(書史會要、二百八十二)

【王仁錦】[1]……宋、陽國の人。字は周仁。歴任し、(宋史)に編校大師を加へられ、性、清廉潔白。轉氏を無信す。(宋史、二百五十二)〔宋史光緒の進士。官は按察使、諸道府知。(清史稿、四十五)〔清史列傳、七十七〕〔國朝書畫家筆錄、四〕

【王仁恭】[1]……隋、上郡の人。字は元貴、文帝の時の開府、樓業に從つて征討、戦功あり。數、突厥を破る。官は浪郡、馬邑の大守。後、其の孫下劉武周に殺される。(隋書、六十五)〔北史、

【王仁德】[1]……宋、方城の人。字は子智。太宗の時、北使を接待され、計司を掌ること、殆ど十七年。(宋史、百四十七)〔東都事略、二十二〕

【王仁美】[1]……明、蘇州の人。字は安之、相衡を善くし、死生皆決するに奇驗多く、世人王電目と號す。(蘇州府志)

【王仁裕】[1]……五代、周の天水の人。字は簡之、蜀の兵部尚書となる。又、音律に通じ、詩を能くす。著に(紫微集)がある。(五代史、五十七)〔五代史、一百一十八〕

【王仁興】[1]……明、大興の人。字は聖不。天啟の進士、刑部を歴任、後、福建、福州、泉州、長蘆州を歴任、山中に遁る。明の福王、福州に立つ、(明史、二百七十二)〔明史列傳、十四〕〔二百四十二〕(明史紀事、十四)〔二百四十二〕(明史紀事、十四)〔二百四十二〕(明史紀事、十四)

書四十二(二史史、六十八)。

【王世則】[1]。宋、水軍小人。太平興國の時、進士に第す。今、合格。その父、勿逸に至り、爭訟及び山川の形勢を陳ず。復更始に進み、許して、水川の知となる。(宋史、四百六十一)。

【王世隆】[1]。清の人。字は寶樹。南京の學士。[1]。[1]。[1]

龍岡神祠（清源縣以下十數家に祭祀あり。皆の石碑、碑を作り、改めて土明君と云ふ。王明君の墓（之の墓は「無熙」之昭者の墓。精神、意・心理・魂・魄・作・鍾・鼓・鼎・鼎・鑄・鑄・鑄

十八)〔宋史列傳一百二十七〕。

〔王素愛〕1829 字仲儀。清源人。字は素翁。蘇道國詩人政略四 273 著に嶺峰稿がある。〔清代閩閩詩人政略四〕。

〔王麟勛〕1830 唐の人。字は巧。青州進士李で、樞密つとめる。〔全唐詩二十九〕。

〔王麟徳〕1830 清・新會の人。字は清哲。雙の始祖。學金詩鈔の人。〔清史列傳七十二〕。

〔王麟洲〕1830 清・新會の人。字は鳳翔。雙の始祖。學金詩鈔の人。〔清史列傳七十二〕。

〔王麟石〕1830 唐・蘇州の人。字は巧。青州刺史。〔全唐詩二十九〕。

〔王麟之〕1830 前蜀・成都

〔王太尉傳〕[1806/1/1] 未の王目を以ふ。官、太尉と為る。〔王氏家傳〕大業初、運京大保、爲全州大總管。〔王氏家傳〕[1806/1/2]

〔王氏家傳〕[1806/1/3] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏傳〕[1806/1/4] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏傳〕[1806/1/5] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏傳〕[1806/1/6] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏傳〕[1806/1/7] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏傳〕[1806/1/8] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏傳〕[1806/1/9] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/10] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/11] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/12] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/13] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/14] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/15] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/16] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/17] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/18] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/19] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/20] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/21] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/22] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/23] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/24] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/25] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/26] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/27] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/28] 隋、東宮舍人。字は露伸。

〔王氏家傳〕[1806/1/29] 隋、東宮舍人。字は露伸。

られて、嘉州圃練使に転ず。〔宋史、四百六十七〕〔宋史新編、百八十四〕〔東都事略、二百二十〕

王中立 [1]

宋、宗室の人、晩年、名を憲と改む。〔尚書郎、四十一〕〔明書錄、六〕

王仲丘 [1]

唐、瑯邪の人。開元中、起居舍人となる。直執、融奏、体を分し、長孫して並用せんことを請びて能許さる。禮部外郎に遷る。〔宋書、二百〕

王仲玉 [1]

明の人、洪武中、書に巧なる。

王仲興 [1]

後魏、南燕の人。宮氏に属任す。〔晉書、百九十二〕〔魏書、百九十六〕

王仲舒 [1]

唐、郃の人。字は中。謚は穆。宗の時、中書舍人・江西観察使。〔唐書、二百十四〕〔舊唐書、二百九十二〕

王仲寶 [1]

南齊の人。仁愛、〔宋書、百九十二〕

王仲寶 [1]

〔國朝畫學師承記、紀昀〕王子論、扶風郡、幽、明理正、識力在、王仲寶、院孝孫之子、可、謂、通、撰矣。◆宋、高密の人、字は登之。盜を捕獲せ功を以て江陵總管安陸副使を授けらる。泛尉、總管行軍の副を、之を授けて、其の圖を解く、後、北衡、特進に任ぜらる。〔宋史、二百十五〕〔舊唐書、百五十〕

王仲文 [1]

〔宋史、二百十五〕元、大都の人。〔東都事略、百五〕

王仲元 [1]

唐、郟の人。字は中。謚は穆。官は、中書令・江西観察使。〔唐書、二百十四〕〔舊唐書、二百九十二〕

王仲寶 [1]

南齊の人。仁愛、〔宋書、百九十二〕

王仲寶 [1]

〔國朝畫學師承記、紀昀〕王子論、扶風郡、幽、明理正、識力在、王仲寶、院孝孫之子、可、謂、通、撰矣。◆宋、高密の人、字は登之。盜を捕獲せ功を以て江陵總管安陸副使を授けらる。泛尉、總管行軍の副を、之を授けて、其の圖を解く、後、北衡、特進に任ぜらる。〔宋史、二百十五〕〔舊唐書、百五十〕

王仲文 [1]

〔宋史、二百十五〕元、大都の人。〔東都事略、百五〕

王仲元 [1]

唐、郟の人。字は中。謚は穆。官は、中書令・江西観察使。〔唐書、二百十四〕〔舊唐書、二百九十二〕

王仲舒

年、鈔酒・佃衆を統にす。著に夢潭集がある。(明史稿一百六十七)(明人小傳二二〇)(明詩紀事二百六十七)

王廷陸[1522]…清、蘇州の人。字は表良、順之と称せらる。民、内庫を掌つて記を隅西著に、珠崎草・空洞集等の著作あり。(明人小傳二二〇)(明詩紀事二百六十七)

王廷相[1474]…宋、敏学の人。字は子衡。初は号は浚川。嘗て、大学士に官は到翰の時、中書郎・同学摩事・文科一百十二)

王自儀[1503]…清、江蘇の人。字は徳昭・百城の弟

著に東洋史・中國史・中國民族史・民西旅行記・日本戯曲研究がある。(同現代中華民國滿洲帝國人名辭典)

【王特起】1884-1944 金・唐縣の進士。官は東定路轉運使・後に司竹監に歴進す。

【王得臣】1036-1116 宋・安陽の人。字は彦輔・號は廣平子・潁濱子。嘉祐の進士。郭軍・胡瑗・李定・呂惠卿・蔡確・蘇軾・蘇轍・蘇頌・蘇過・蘇籀・蘇遜・蘇叔黨・蘇伯固・蘇季明・蘇仲平・蘇季平・蘇叔平・蘇仲平・蘇季平・蘇叔平・蘇仲平・蘇季平・蘇叔平

斤を持す。朝射・輦略を奪ひて、寇が鵝鴨を殺し、[illegible]

朝議郎新平紀・開封行軍・王伯揚書丹、[illegible]撰、[illegible]

[illegible]

[illegible]

貴孝先生いふ、隱居之に學び、經史に淹貫す。

王文韓 20822 字は子元（天左學案 九十二）。

王文韓 20822 浙江山陰の人。字は司興。勵志方代、王守仁と交を結ぶ（萬斯同明史 三百八十四）「明儒學案」に傳あり。

王文誥 20823 清、仁和の人。字は見大。純嗜古の士。著に詩一卷を能くす。蘇文忠公集を注す。刻本に嘉慶本あり。著に鎮山樓集あるを知る。

王文郁 20824 清、湖南衡山の人。字は廷鼎。號は九溪、諱は衡。乾隆の初、三禮館に召されて、後、官は湖南巡撫。著に樸學齋集、三禮考異、九溪文集、諸子考異、九溪文鈔、九溪詩鈔、九溪詞鈔、九溪文鈔續編、九溪詩鈔續編、九溪詞鈔續編、九溪文鈔三編、九溪詩鈔三編、九溪詞鈔三編、九溪文鈔四編、九溪詩鈔四編、九溪詞鈔四編、九溪文鈔五編、九溪詩鈔五編、九溪詞鈔五編、九溪文鈔六編、九溪詩鈔六編、九溪詞鈔六編、九溪文鈔七編、九溪詩鈔七編、九溪詞鈔七編、九溪文鈔八編、九溪詩鈔八編、九溪詞鈔八編、九溪文鈔九編、九溪詩鈔九編、九溪詞鈔九編、九溪文鈔十編、九溪詩鈔十編、九溪詞鈔十編、九溪文鈔十一編、九溪詩鈔十一編、九溪詞鈔十一編、九溪文鈔十二編、九溪詩鈔十二編、九溪詞鈔十二編、九溪文鈔十三編、九溪詩鈔十三編、九溪詞鈔十三編、九溪文鈔十四編、九溪詩鈔十四編、九溪詞鈔十四編、九溪文鈔十五編、九溪詩鈔十五編、九溪詞鈔十五編、九溪文鈔十六編、九溪詩鈔十六編、九溪詞鈔十六編、九溪文鈔十七編、九溪詩鈔十七編、九溪詞鈔十七編、九溪文鈔十八編、九溪詩鈔十八編、九溪詞鈔十八編、九溪文鈔十九編、九溪詩鈔十九編、九溪詞鈔十九編、九溪文鈔二十編、九溪詩鈔二十編、九溪詞鈔二十編、九溪文鈔二十一編、九溪詩鈔二十一編、九溪詞鈔二十一編、九溪文鈔二十二編、九溪詩鈔二十二編、九溪詞鈔二十二編、九溪文鈔二十三編、九溪詩鈔二十三編、九溪詞鈔二十三編、九溪文鈔二十四編、九溪詩鈔二十四編、九溪詞鈔二十四編、九溪文鈔二十五編、九溪詩鈔二十五編、九溪詞鈔二十五編、九溪文鈔二十六編、九溪詩鈔二十六編、九溪詞鈔二十六編、九溪文鈔二十七編、九溪詩鈔二十七編、九溪詞鈔二十七編、九溪文鈔二十八編、九溪詩鈔二十八編、九溪詞鈔二十八編、九溪文鈔二十九編、九溪詩鈔二十九編、九溪詞鈔二十九編、九溪文鈔三十編、九溪詩鈔三十編、九溪詞鈔三十編、九溪文鈔三十一編、九溪詩鈔三十一編、九溪詞鈔三十一編、九溪文鈔三十二編、九溪詩鈔三十二編、九溪詞鈔三十二編、九溪文鈔三十三編、九溪詩鈔三十三編、九溪詞鈔三十三編、九溪文鈔三十四編、九溪詩鈔三十四編、九溪詞鈔三十四編、九溪文鈔三十五編、九溪詩鈔三十五編、九溪詞鈔三十五編、九溪文鈔三十六編、九溪詩鈔三十六編、九溪詞鈔三十六編、九溪文鈔三十七編、九溪詩鈔三十七編、九溪詞鈔三十七編、九溪文鈔三十八編、九溪詩鈔三十八編、九溪詞鈔三十八編、九溪文鈔三十九編、九溪詩鈔三十九編、九溪詞鈔三十九編、九溪文鈔四十編、九溪詩鈔四十編、九溪詞鈔四十編、九溪文鈔四十一編、九溪詩鈔四十一編、九溪詞鈔四十一編、九溪文鈔四十二編、九溪詩鈔四十二編、九溪詞鈔四十二編、九溪文鈔四十三編、九溪詩鈔四十三編、九溪詞鈔四十三編、九溪文鈔四十四編、九溪詩鈔四十四編、九溪詞鈔四十四編、九溪文鈔四十五編、九溪詩鈔四十五編、九溪詞鈔四十五編、九溪文鈔四十六編、九溪詩鈔四十六編、九溪詞鈔四十六編、九溪文鈔四十七編、九溪詩鈔四十七編、九溪詞鈔四十七編、九溪文鈔四十八編、九溪詩鈔四十八編、九溪詞鈔四十八編、九溪文鈔四十九編、九溪詩鈔四十九編、九溪詞鈔四十九編、九溪文鈔五十編、九溪詩鈔五十編、九溪詞鈔五十編、九溪文鈔五十一編、九溪詩鈔五十一編、九溪詞鈔五十一編、九溪文鈔五十二編、九溪詩鈔五十二編、九溪詞鈔五十二編、九溪文鈔五十三編、九溪詩鈔五十三編、九溪詞鈔五十三編、九溪文鈔五十四編、九溪詩鈔五十四編、九溪詞鈔五十四編、九溪文鈔五十五編、九溪詩鈔五十五編、九溪詞鈔五十五編、九溪文鈔五十六編、九溪詩鈔五十六編、九溪詞鈔五十六編、九溪文鈔五十七編、九溪詩鈔五十七編、九溪詞鈔五十七編、九溪文鈔五十八編、九溪詩鈔五十八編、九溪詞鈔五十八編、九溪文鈔五十九編、九溪詩鈔五十九編、九溪詞鈔五十九編、九溪文鈔六十編、九溪詩鈔六十編、九溪詞鈔六十編、九溪文鈔六十一編、九溪詩鈔六十一編、九溪詞鈔六十一編、九溪文鈔六十二編、九溪詩鈔六十二編、九溪詞鈔六十二編、九溪文鈔六十三編、九溪詩鈔六十三編、九溪詞鈔六十三編、九溪文鈔六十四編、九溪詩鈔六十四編、九溪詞鈔六十四編、九溪文鈔六十五編、九溪詩鈔六十五編、九溪詞鈔六十五編、九溪文鈔六十六編、九溪詩鈔六十六編、九溪詞鈔六十六編、九溪文鈔六十七編、九溪詩鈔六十七編、九溪詞鈔六十七編、九溪文鈔六十八編、九溪詩鈔六十八編、九溪詞鈔六十八編、九溪文鈔六十九編、九溪詩鈔六十九編、九溪詞鈔六十九編、九溪文鈔七十編、九溪詩鈔七十編、九溪詞鈔七十編、九溪文鈔七十一編、九溪詩鈔七十一編、九溪詞鈔七十一編、九溪文鈔七十二編、九溪詩鈔七十二編、九溪詞鈔七十二編、九溪文鈔七十三編、九溪詩鈔七十三編、九溪詞鈔七十三編、九溪文鈔七十四編、九溪詩鈔七十四編、九溪詞鈔七十四編、九溪文鈔七十五編、九溪詩鈔七十五編、九溪詞鈔七十五編、九溪文鈔七十六編、九溪詩鈔七十六編、九溪詞鈔七十六編、九溪文鈔七十七編、九溪詩鈔七十七編、九溪詞鈔七十七編、九溪文鈔七十八編、九溪詩鈔七十八編、九溪詞鈔七十八編、九溪文鈔七十九編、九溪詩鈔七十九編、九溪詞鈔七十九編、九溪文鈔八十編、九溪詩鈔八十編、九溪詞鈔八十編、九溪文鈔八十一編、九溪詩鈔八十一編、九溪詞鈔八十一編、九溪文鈔八十二編、九溪詩鈔八十二編、九溪詞鈔八十二編、九溪文鈔八十三編、九溪詩鈔八十三編、九溪詞鈔八十三編、九溪文鈔八十四編、九溪詩鈔八十四編、九溪詞鈔八十四編、九溪文鈔八十五編、九溪詩鈔八十五編、九溪詞鈔八十五編、九溪文鈔八十六編、九溪詩鈔八十六編、九溪詞鈔八十六編、九溪文鈔八十七編、九溪詩鈔八十七編、九溪詞鈔八十七編、九溪文鈔八十八編、九溪詩鈔八十八編、九溪詞鈔八十八編、九溪文鈔八十九編、九溪詩鈔八十九編、九溪詞鈔八十九編、九溪文鈔九十編、九溪詩鈔九十編、九溪詞鈔九十編、九溪文鈔九十一編、九溪詩鈔九十一編、九溪詞鈔九十一編、九溪文鈔九十二編、九溪詩鈔九十二編、九溪詞鈔九十二編、九溪文鈔九十三編、九溪詩鈔九十三編、九溪詞鈔九十三編、九溪文鈔九十四編、九溪詩鈔九十四編、九溪詞鈔九十四編、九溪文鈔九十五編、九溪詩鈔九十五編、九溪詞鈔九十五編、九溪文鈔九十六編、九溪詩鈔九十六編、九溪詞鈔九十六編、九溪文鈔九十七編、九溪詩鈔九十七編、九溪詞鈔九十七編、九溪文鈔九十八編、九溪詩鈔九十八編、九溪詞鈔九十八編、九溪文鈔九十九編、九溪詩鈔九十九編、九溪詞鈔九十九編、九溪文鈔百編、九溪詩鈔百編、九溪詞鈔百編、九溪文鈔百一編、九溪詩鈔百一編、九溪詞鈔百一編、九溪文鈔百二編、九溪詩鈔百二編、九溪詞鈔百二編、九溪文鈔百三編、九溪詩鈔百三編、九溪詞鈔百三編、九溪文鈔百四編、九溪詩鈔百四編、九溪詞鈔百四編、九溪文鈔百五編、九溪詩鈔百五編、九溪詞鈔百五編、九溪文鈔百六編、九溪詩鈔百六編、九溪詞鈔百六編、九溪文鈔百七編、九溪詩鈔百七編、九溪詞鈔百七編、九溪文鈔百八編、九溪詩鈔百八編、九溪詞鈔百八編、九溪文鈔百九編、九溪詩鈔百九編、九溪詞鈔百九編、九溪文鈔二百編、九溪詩鈔二百編、九溪詞鈔二百編、九溪文鈔二百一編、九溪詩鈔二百一編、九溪詞鈔二百一編、九溪文鈔二百二編、九溪詩鈔二百二編、九溪詞鈔二百二編、九溪文鈔二百三編、九溪詩鈔二百三編、九溪詞鈔二百三編、九溪文鈔二百四編、九溪詩鈔二百四編、九溪詞鈔二百四編、九溪文鈔二百五編、九溪詩鈔二百五編、九溪詞鈔二百五編、九溪文鈔二百六編、九溪詩鈔二百六編、九溪詞鈔二百六編、九溪文鈔二百七編、九溪詩鈔二百七編、九溪詞鈔二百七編、九溪文鈔二百八編、九溪詩鈔二百八編、九溪詞鈔二百八編、九溪文鈔二百九編、九溪詩鈔二百九編、九溪詞鈔二百九編、九溪文鈔三百編、九溪詩鈔三百編、九溪詞鈔三百編、九溪文鈔三百一編、九溪詩鈔三百一編、九溪詞鈔三百一編、九溪文鈔三百二編、九溪詩鈔三百二編、九溪詞鈔三百二編、九溪文鈔三百三編、九溪詩鈔三百三編、九溪詞鈔三百三編、九溪文鈔三百四編、九溪詩鈔三百四編、九溪詞鈔三百四編、九溪文鈔三百五編、九溪詩鈔三百五編、九溪詞鈔三百五編、九溪文鈔三百六編、九溪詩鈔三百六編、九溪詞鈔三百六編、九溪文鈔三百七編、九溪詩鈔三百七編、九溪詞鈔三百七編、九溪文鈔三百八編、九溪詩鈔三百八編、九溪詞鈔三百八編、九溪文鈔三百九編、九溪詩鈔三百九編、九溪詞鈔三百九編、九溪文鈔四百編、九溪詩鈔四百編、九溪詞鈔四百編、九溪文鈔四百一編、九溪詩鈔四百一編、九溪詞鈔四百一編、九溪文鈔四百二編、九溪詩鈔四百二編、九溪詞鈔四百二編、九溪文鈔四百三編、九溪詩鈔四百三編、九溪詞鈔四百三編、九溪文鈔四百四編、九溪詩鈔四百四編、九溪詞鈔四百四編、九溪文鈔四百五編、九溪詩鈔四百五編、九溪詞鈔四百五編、九溪文鈔四百六編、九溪詩鈔四百六編、九溪詞鈔四百六編、九溪文鈔四百七編、九溪詩鈔四百七編、九溪詞鈔四百七編、九溪文鈔四百八編、九溪詩鈔四百八編、九溪詞鈔四百八編、九溪文鈔四百九編、九溪詩鈔四百九編、九溪詞鈔四百九編、九溪文鈔五百編、九溪詩鈔五百編、九溪詞鈔五百編、九溪文鈔五百一編、九溪詩鈔五百一編、九溪詞鈔五百一編、九溪文鈔五百二編、九溪詩鈔五百二編、九溪詞鈔五百二編、九溪文鈔五百三編、九溪詩鈔五百三編、九溪詞鈔五百三編、九溪文鈔五百四編、九溪詩鈔五百四編、九溪詞鈔五百四編、九溪文鈔五百五編、九溪詩鈔五百五編、九溪詞鈔五百五編、九溪文鈔五百六編、九溪詩鈔五百六編、九溪詞鈔五百六編、九溪文鈔五百七編、九溪詩鈔五百七編、九溪詞鈔五百七編、九溪文鈔五百八編、九溪詩鈔五百八編、九溪詞鈔五百八編、九溪文鈔五百九編、九溪詩鈔五百九編、九溪詞鈔五百九編、九溪文鈔六百編、九溪詩鈔六百編、九溪詞鈔六百編、九溪文鈔六百一編、九溪詩鈔六百一編、九溪詞鈔六百一編、九溪文鈔六百二編、九溪詩鈔六百二編、九溪詞鈔六百二編、九溪文鈔六百三編、九溪詩鈔六百三編、九溪詞鈔六百三編、九溪文鈔六百四編、九溪詩鈔六百四編、九溪詞鈔六百四編、九溪文鈔六百五編、九溪詩鈔六百五編、九溪詞鈔六百五編、九溪文鈔六百六編、九溪詩鈔六百六編、九溪詞鈔六百六編、九溪文鈔六百七編、九溪詩鈔六百七編、九溪詞鈔六百七編、九溪文鈔六百八編、九溪詩鈔六百八編、九溪詞鈔六百八編、九溪文鈔六百九編、九溪詩鈔六百九編、九溪詞鈔六百九編、九溪文鈔七百編、九溪詩鈔七百編、九溪詞鈔七百編、九溪文鈔七百一編、九溪詩鈔七百一編、九溪詞鈔七百一編、九溪文鈔七百二編、九溪詩鈔七百二編、九溪詞鈔七百二編、九溪文鈔七百三編、九溪詩鈔七百三編、九溪詞鈔七百三編、九溪文鈔七百四編、九溪詩鈔七百四編、九溪詞鈔七百四編、九溪文鈔七百五編、九溪詩鈔七百五編、九溪詞鈔七百五編、九溪文鈔七百六編、九溪詩鈔七百六編、九溪詞鈔七百六編、九溪文鈔七百七編、九溪詩鈔七百七編、九溪詞鈔七百七編、九溪文鈔七百八編、九溪詩鈔七百八編、九溪詞鈔七百八編、九溪文鈔七百九編、九溪詩鈔七百九編、九溪詞鈔七百九編、九溪文鈔八百編、九溪詩鈔八百編、九溪詞鈔八百編、九溪文鈔八百一編、九溪詩鈔八百一編、九溪詞鈔八百一編、九溪文鈔八百二編、九溪詩鈔八百二編、九溪詞鈔八百二編、九溪文鈔八百三編、九溪詩鈔八百三編、九溪詞鈔八百三編、九溪文鈔八百四編、九溪詩鈔八百四編、九溪詞鈔八百四編、九溪文鈔八百五編、九溪詩鈔八百五編、九溪詞鈔八百五編、九溪文鈔八百六編、九溪詩鈔八百六編、九溪詞鈔八百六編、九溪文鈔八百七編、九溪詩鈔八百七編、九溪詞鈔八百七編、九溪文鈔八百八編、九溪詩鈔八百八編、九溪詞鈔八百八編、九溪文鈔八百九編、九溪詩鈔八百九編、九溪詞鈔八百九編、九溪文鈔九百編、九溪詩鈔九百編、九溪詞鈔九百編、九溪文鈔九百一編、九溪詩鈔九百一編、九溪詞鈔九百一編、九溪文鈔九百二編、九溪詩鈔九百二編、九溪詞鈔九百二編、九溪文鈔九百三編、九溪詩鈔九百三編、九溪詞鈔九百三編、九溪文鈔九百四編、九溪詩鈔九百四編、九溪詞鈔九百四編、九溪文鈔九百五編、九溪詩鈔九百五編、九溪詞鈔九百五編、九溪文鈔九百六編、九溪詩鈔九百六編、九溪詞鈔九百六編、九溪文鈔九百七編、九溪詩鈔九百七編、九溪詞鈔九百七編、九溪文鈔九百八編、九溪詩鈔九百八編、九溪詞鈔九百八編、九溪文鈔九百九編、九溪詩鈔九百九編、九溪詞鈔九百九編、九溪文鈔千編、九溪詩鈔千編、九溪詞鈔千編、九溪文鈔千一編、九溪詩鈔千一編、九溪詞鈔千一編、九溪文鈔千二編、九溪詩鈔千二編、九溪詞鈔千二編、九溪文鈔千三編、九溪詩鈔千三編、九溪詞鈔千三編、九溪文鈔千四編、九溪詩鈔千四編、九溪詞鈔千四編、九溪文鈔千五編、九溪詩鈔千五編、九溪詞鈔千五編、九溪文鈔千六編、九溪詩鈔千六編、九溪詞鈔千六編、九溪文鈔千七編、九溪詩鈔千七編、九溪詞鈔千七編、九溪文鈔千八編、九溪詩鈔千八編、九溪詞鈔千八編、九溪文鈔千九編、九溪詩鈔千九編、九溪詞鈔千九編、九溪文鈔千十編、九溪詩鈔千十編、九溪詞鈔千十編、九溪文鈔千十一編、九溪詩鈔千十一編、九溪詞鈔千十一編、九溪文鈔千十二編、九溪詩鈔千十二編、九溪詞鈔千十二編、九溪文鈔千十三編、九溪詩鈔千十三編、九溪詞鈔千十三編、九溪文鈔千十四編、九溪詩鈔千十四編、九溪詞鈔千十四編、九溪文鈔千十五編、九溪詩鈔千十五編、九溪詞鈔千十五編、九溪文鈔千十六編、九溪詩鈔千十六編、九溪詞鈔千十六編、九溪文鈔千十七編、九溪詩鈔千十七編、九溪詞鈔千十七編、九溪文鈔千十八編、九溪詩鈔千十八編、九溪詞鈔千十八編、九溪文鈔千十九編、九溪詩鈔千十九編、九溪詞鈔千十九編、九溪文鈔千二十編、九溪詩鈔千二十編、九溪詞鈔千二十編、九溪文鈔千二十一編、九溪詩鈔千二十一編、九溪詞鈔千二十一編、九溪文鈔千二十二編、九溪詩鈔千二十二編、九溪詞鈔千二十二編、九溪文鈔千二十三編、九溪詩鈔千二十三編、九溪詞鈔千二十三編、九溪文鈔千二十四編、九溪詩鈔千二十四編、九溪詞鈔千二十四編、九溪文鈔千二十五編、九溪詩鈔千二十五編、九溪詞鈔千二十五編、九溪文鈔千二十六編、九溪詩鈔千二十六編、九溪詞鈔千二十六編、九溪文鈔千二十七編、九溪詩鈔千二十七編、九溪詞鈔千二十七編、九溪文鈔千二十八編、九溪詩鈔千二十八編、九溪詞鈔千二十八編、九溪文鈔千二十九編、九溪詩鈔千二十九編、九溪詞鈔千二十九編、九溪文鈔千三十編、九溪詩鈔千三十編、九溪詞鈔千三十編、九溪文鈔千三十一編、九溪詩鈔千三十一編、九溪詞鈔千三十一編、九溪文鈔千三十二編、九溪詩鈔千三十二編、九溪詞鈔千三十二編、九溪文鈔千三十三編、九溪詩鈔千三十三編、九溪詞鈔千三十三編、九溪文鈔千三十四編、九溪詩鈔千三十四編、九溪詞鈔千三十四編、九溪文鈔千三十五編、九溪詩鈔千三十五編、九溪詞鈔千三十五編、九溪文鈔千三十六編、九溪詩鈔千三十六編、九溪詞鈔千三十六編、九溪文鈔千三十七編、九溪詩鈔千三十七編、九溪詞鈔千三十七編、九溪文鈔千三十八編、九溪詩鈔千三十八編、九溪詞鈔千三十八編、九溪文鈔千三十九編、九溪詩鈔千三十九編、九溪詞鈔千三十九編、九溪文鈔千四十編、九溪詩鈔千四十編、九溪詞鈔千四十編、九溪文鈔千四十一編、九溪詩鈔千四十一編、九溪詞鈔千四十一編、九溪文鈔千四十二編、九溪詩鈔千四十二編、九溪詞鈔千四十二編、九溪文鈔千四十三編、九溪詩鈔千四十三編、九溪詞鈔千四十三編、九溪文鈔千四十四編、九溪詩鈔千四十四編、九溪詞鈔千四十四編、九溪文鈔千四十五編、九溪詩鈔千四十五編、九溪詞鈔千四十五編、九溪文鈔千四十六編、九溪詩鈔千四十六編、九溪詞鈔千四十六編、九溪文鈔千四十七編、九溪詩鈔千四十七編、九溪詞鈔千四十七編、九溪文鈔千四十八編、九溪詩鈔千四十八編、九溪詞鈔千四十八編、九溪文鈔千四十九編、九溪詩鈔千四十九編、九溪詞鈔千四十九編、九溪文鈔千五十編、九溪詩鈔千五十編、九溪詞鈔千五十編、九溪文鈔千五十一編、九溪詩鈔千五十一編、九溪詞鈔千五十一編、九溪文鈔千五十二編、九溪詩鈔千五十二編、九溪詞鈔千五十二編、九溪文鈔千五十三編、九溪詩鈔千五十三編、九溪詞鈔千五十三編、九溪文鈔千五十四編、九溪詩鈔千五十四編、九溪詞鈔千五十四編、九溪文鈔千五十五編、九溪詩鈔千五十五編、九溪詞鈔千五十五編、九溪文鈔千五十六編、九溪詩鈔千五十六編、九溪詞鈔千五十六編、九溪文鈔千五十七編、九溪詩鈔千五十七編、九溪詞鈔千五十七編、九溪文鈔千五十八編、九溪詩鈔千五十八編、九溪詞鈔千五十八編、九溪文鈔千五十九編、九溪詩鈔千五十九編、九溪詞鈔千五十九編、九溪文鈔千六十編、九溪詩鈔千六十編、九溪詞鈔千六十編、九溪文鈔千六十一編、九溪詩鈔千六十一編、九溪詞鈔千六十一編、九溪文鈔千六十二編、九溪詩鈔千六十二編、九溪詞鈔千六十二編、九溪文鈔千六十三編、九溪詩鈔千六十三編、九溪詞鈔千六十三編、九溪文鈔千六十四編、九溪詩鈔千六十四編、九溪詞鈔千六十四編、九溪文鈔千六十五編、九溪詩鈔千六十五編、九溪詞鈔千六十五編、九溪文鈔千六十六編、九溪詩鈔千六十六編、九溪詞鈔千六十六編、九溪文鈔千六十七編、九溪詩鈔千六十七編、九溪詞鈔千六十七編、九溪文鈔千六十八編、九溪詩鈔千六十八編、九溪詞鈔千六十八編、九溪文鈔千六十九編、九溪詩鈔千六十九編、九溪詞鈔千六十九編、九溪文鈔千七十編、九溪詩鈔千七十編、九溪詞鈔千七十編、九溪文鈔千七十一編、九溪詩鈔千七十一編、九溪詞鈔千七十一編、九溪文鈔千七十二編、九溪詩鈔千七十二編、九溪詞鈔千七十二編、九溪文鈔千七十三編、九溪詩鈔千七十三編、九溪詞鈔千七十三編、九溪文鈔千七十四編、九溪詩鈔千七十四編、九溪詞鈔千七十四編、九溪文鈔千七十五編、九溪詩鈔千七十五編、九溪詞鈔千七十五編、九溪文鈔千七十六編、九溪詩鈔千七十六編、九溪詞鈔千七十六編、九溪文鈔千七十七編、九溪詩鈔千七十七編、九溪詞鈔千七十七編、九溪文鈔千七十八編、九溪詩鈔千七十八編、九溪詞鈔千七十八編、九溪文鈔千七十九編、九溪詩鈔千七十九編、九溪詞鈔千七十九編、九溪文鈔千八十編、九溪詩鈔千八十編、九溪詞鈔千八十編、九溪文鈔千八十一編、九溪詩鈔千八十一編、九溪詞鈔千八十一編、九溪文鈔千八十二編、九溪詩鈔千八十二編、九溪詞鈔千八十二編、九溪文鈔千八十三編、九溪詩鈔千八十三編、九溪詞鈔千八十三編、九溪文鈔千八十四編、九溪詩鈔千八十四編、九溪詞鈔千八十四編、九溪文鈔千八十五編、九溪詩鈔千八十五編、九溪詞鈔千八十五編、九溪文鈔千八十六編、九溪詩鈔千八十六編、九溪詞鈔千八十六編、九溪文鈔千八十七編、九溪詩鈔千八十七編、九溪詞鈔千八十七編、九溪文鈔千八十八編、九溪詩鈔千八十八編、九溪詞鈔千八十八編、九溪文鈔千八十九編、九溪詩鈔千八十九編、九溪詞鈔千八十九編、九溪文鈔千九十編、九溪詩鈔千九十編、九溪詞鈔千九十編、九溪文鈔千九十一編、九溪詩鈔千九十一編、九溪詞鈔千九十一編、九溪文鈔千九十二編、九溪詩鈔千九十二編、九溪詞鈔千九十二編、九溪文鈔千九十三編、九溪詩鈔千九十三編、九溪詞鈔千九十三編、九溪文鈔千九十四編、九溪詩鈔千九十四編、九溪詞鈔千九十四編、九溪文鈔千九十五編、九溪詩鈔千九十五編、九溪詞鈔千九十五編、九溪文鈔千九十六編、九溪詩鈔千九十六編、九溪詞鈔千九十六編、九溪文鈔千九十七編、九溪詩鈔千九十七編、九溪詞鈔千九十七編、九溪文鈔千九十八編、九溪詩鈔千九十八編、九溪詞鈔千九十八編、九溪文鈔千九十九編、九溪詩鈔千九十九編、九溪詞鈔千九十九編、九溪文鈔千百編、九溪詩鈔千百編、九溪詞鈔千百編、九溪文鈔千百一編、九溪詩鈔千百一編、九溪詞鈔千百一編、九溪文鈔千百二編、九溪詩鈔千百二編、九溪詞鈔千百二編、九溪文鈔千百三編、九溪詩鈔千百三編、九溪詞鈔千百三編、九溪文鈔千百四編、九溪詩鈔千百四編、九溪詞鈔千百四編、九溪文鈔千百五編、九溪詩鈔千百五編、九溪詞鈔千百五編、九溪文鈔千百六編、九溪詩鈔千百六編、九溪詞鈔千百六編、九溪文鈔千百七編、九溪詩鈔千百七編、九溪詞鈔千百七編、九溪文鈔千百八編、九溪詩鈔千百八編、九溪詞鈔千百八編、九溪文鈔千百九編、九溪詩鈔千百九編、九溪詞鈔千百九編、九溪文鈔二千編、九溪詩鈔二千編、九溪詞鈔二千編、九溪文鈔二千一編、九溪詩鈔二千一編、九溪詞鈔二千一編、九溪文鈔二千二編、九溪詩鈔二千二編、九溪詞鈔二千二編、九溪文鈔二千三編、九溪詩鈔二千三編、九溪詞鈔二千三編、九溪文鈔二千四編、九溪詩鈔二千四編、九溪詞鈔二千四編、九溪文鈔二千五編、九溪詩鈔二千五編、九溪詞鈔二千五編、九溪文鈔二千六編、九溪詩鈔二千六編、九溪詞鈔二千六編、九溪文鈔二千七編、九溪詩鈔二千七編、九溪詞鈔二千七編、九溪文鈔二千八編、九溪詩鈔二千八編、九溪詞鈔二千八編、九溪文鈔二千九編、九溪詩鈔二千九編、九溪詞鈔二千九編、九溪文鈔三千編、九溪詩鈔三千編、九溪詞鈔三千編、九溪文鈔三千一編、九溪詩鈔三千一編、九溪詞鈔三千一編、九溪文鈔三千二編、九溪詩鈔三千二編、九溪詞鈔三千二編、九溪文鈔三千三編、九溪詩鈔三千三編、九溪詞鈔三千三編、九溪文鈔三千四編、九溪詩鈔三千四編、九溪詞鈔三千四編、九溪文鈔三千五編、九溪詩鈔三千五編、九溪詞鈔三千五編、九溪文鈔三千六編、九溪詩鈔三千六編、九溪詞鈔三千六編、九溪文鈔三千七編、九溪詩鈔三千七編、九溪詞鈔三千七編、九溪文鈔三千八編、九溪詩鈔三千八編、九溪詞鈔三千八編、九溪文鈔三千九編、九溪詩鈔三千九編、九溪詞鈔三千九編、九溪文鈔四千編、九溪詩鈔四千編、九溪詞鈔四千編、九溪文鈔四千一編、九溪詩鈔四千一編、九溪詞鈔四千一編、九溪文鈔四千二編、九溪詩鈔四千二編、九溪詞鈔四千二編、九溪文鈔四千三編、九溪詩鈔四千三編、九溪詞鈔四千三編、九溪文鈔四千四編、九溪詩鈔四千四編、九溪詞鈔四千四編、九溪文鈔四千五編、九溪詩鈔四千五編、九溪詞鈔四千五編、九溪文鈔四千六編、九溪詩鈔四千六編、九溪詞鈔四千六編、九溪文鈔四千七編、九溪詩鈔四千七編、九溪詞鈔四千七編、九溪文鈔四千八編、九溪詩鈔四千八編、九溪詞鈔四千八編、九溪文鈔四千九編、九溪詩鈔四千九編、九溪詞鈔四千九編、九溪文鈔五千編、九溪詩鈔五千編、九溪詞鈔五千編、九溪文鈔五千一編、九溪詩鈔五千一編、九溪詞鈔五千一編、九溪文鈔五千二編、九溪詩鈔五千二編、九溪詞鈔五千二編、九溪文鈔五千三編、九溪詩鈔五千三編、九溪詞鈔五千三編、九溪文鈔五千四編、九溪詩鈔五千四編、九溪詞鈔五千四編、九溪文鈔五千五編、九溪詩鈔五千五編、九溪詞鈔五千五編、九溪文鈔五千六編、九溪詩鈔五千六編、九溪詞鈔五千六編、九溪文鈔五千七編、九溪詩鈔五千七編、九溪詞鈔五千七編、九溪文鈔五千八編、九溪詩鈔五千八編、九溪詞鈔五千八編、九溪文鈔五千九編、九溪詩鈔五千九編、九溪詞鈔五千九編、九溪文鈔六千編、九溪詩鈔六千編、九溪詞鈔六千編、九溪文鈔六千一編、九溪詩鈔六千一編、九溪詞鈔六千一編、九溪文鈔六千二編、九溪詩鈔六千二編、九溪詞鈔六千二編、九溪文鈔六千三編、九溪詩鈔六千三編、九溪詞鈔六千三編、九溪文鈔六千四編、九溪詩鈔六千四編、九溪詞鈔六千四編、九溪文鈔六千五編、九溪詩鈔六千五編、九溪詞鈔六千五編、九溪文鈔六千六編、九溪詩鈔六千六編、九溪詞鈔六千六編、九溪文鈔六千七編、九溪詩鈔六千七編、九溪詞鈔六千七編、九溪文鈔六千八編、九溪詩鈔六千八編、九溪詞鈔六千八編、九溪文鈔六千九編、九溪詩鈔六千九編、九溪詞鈔六千九編、九溪文鈔七千編、九溪詩鈔七千編、九溪詞鈔七千編、九溪文鈔七千一編、九溪詩鈔七千一編、九溪詞鈔七千一編、九溪文鈔七千二編、九溪詩鈔七千二編、九溪詞鈔七千二編、九溪文鈔七千三編、九溪詩鈔七千三編、九溪詞鈔七千三編、九溪文鈔七千四編、九溪詩鈔七千四編、九溪詞鈔七千四編、九溪文鈔七千五編、九溪詩鈔七千五編、九溪詞鈔七千五編、九溪文鈔七千六編、九溪詩鈔七千六編、九溪詞鈔七千六編、九溪文鈔七千七編、九溪詩鈔七千七編、九溪詞鈔七千七編、九溪文鈔七千八編、九溪詩鈔七千八編、九溪詞鈔七千八編、九溪文鈔七千九編、九溪詩鈔七千九編、九溪詞鈔七千九編、九溪文鈔八千編、九溪詩鈔八千編、九溪詞鈔八千編、九溪文鈔八千一編、九溪詩鈔八千一編、九溪詞鈔八千一編、九溪文鈔八千二編、九溪詩鈔八千二編、九溪詞鈔八千二編、九溪文鈔八千三編、九溪詩鈔八千三編、九溪詞鈔八千三編、九溪文鈔八千四編、九溪詩鈔八千四編、九溪詞鈔八千四編、九溪文鈔八千五編、九溪詩鈔八千五編、九溪詞鈔八千五編、九溪文鈔八千六編、九溪詩鈔八千六編、九溪詞鈔八千六編、九溪文鈔八千七編、九溪詩鈔八千七編、九溪詞鈔八千七編、九溪文鈔八千八編、九溪詩鈔八千八編、九溪詞鈔八千八編、九溪文鈔八千九編、九溪詩鈔八千九編、九溪詞鈔八千九編、九溪文鈔九千編、九溪詩鈔九千編、九溪詞鈔九千編、九溪文鈔九千一編、九溪詩鈔九千一編、九溪詞鈔九千一編、九溪文鈔九千二編、九溪詩鈔九千二編、九溪詞鈔九千二編、九溪文鈔九千三編、九溪詩鈔九千三編、九溪詞鈔九千三編、九溪文鈔九千四編、九溪詩鈔九千四編、九溪詞鈔九千四編、九溪文鈔九千五編、九溪詩鈔九千五編、九溪詞鈔九千五編、九溪文鈔九千六編、九溪詩鈔九千六編、九溪詞鈔九千六編、九溪文鈔九千七編、九溪詩鈔九千七編、九溪詞鈔九千七編、九溪文鈔九千八編、九溪詩鈔九千八編、九溪詞鈔九千八編、九溪文鈔九千九編、九溪詩鈔九千九編、九溪詞鈔九千九編、九溪文鈔千編、九溪詩鈔千編、九溪詞鈔千編、九溪文鈔千一編、九溪詩鈔千一編、九溪詞鈔千一編、九溪文鈔千二編、九溪詩鈔千二編、九溪詞鈔千二編、九溪文鈔千三編、九溪詩鈔千三編、九溪詞鈔千三編、九溪文鈔千四編、九溪詩鈔千四編、九溪詞鈔千四編、九溪文鈔千五編、九溪詩鈔千五編、九溪詞鈔千五編、九溪文鈔千六編、九溪詩鈔千六編、九溪詞鈔千六編、九溪文鈔千七編、九溪詩鈔千七編、九溪詞鈔千七編、九溪文鈔千八編、九溪詩鈔千八編、九溪詞鈔千八編、九溪文鈔千九編、九溪詩鈔千九編、九溪詞鈔千九編、九溪文鈔二千編、九溪詩鈔二千編、九溪詞鈔二千編、九溪文鈔二千一編、九溪詩鈔二千一編、九溪詞鈔二千一編、九溪文鈔二千二編、九溪詩鈔二千二編、九溪詞鈔二千二編、九溪文鈔二千三編、九溪詩鈔二千三編、九溪詞鈔二千三編、九溪文鈔二千四編、九溪詩鈔二千四編、九溪詞鈔二千四編、九溪文鈔二千五編、九溪詩鈔二千五編、九溪詞鈔二千五編、九溪文鈔二千六編、九溪詩鈔二千六編、九溪詞鈔二千六編、九溪文鈔二千七編、九溪詩鈔二千七編、九溪詞鈔二千七編、九溪文鈔二千八編、九溪詩鈔二千八編、九溪詞鈔二千八編、九溪文鈔二千九編、九溪詩鈔二千九編、九溪詞鈔二千九編、九溪文鈔三千編、九溪詩鈔三千編、九溪詞鈔三千編、九溪文鈔三千一編、九溪詩鈔三千一編、九溪詞鈔三千一編、九溪文鈔三千二編、九溪詩鈔三千二編、九溪詞鈔三千二編、九溪文鈔三千三編、九溪詩鈔三千三編、九溪詞鈔三千三編、九溪文鈔三千四編、九溪詩鈔三千四編、九溪詞鈔三千四編、九溪文鈔三千五編、九溪詩鈔三千五編、九溪詞鈔三千五編、九溪文鈔三千六編、九溪詩鈔三千六編、九溪詞鈔三千六編、九溪文鈔三千七編、九溪詩鈔三千七編、九溪詞鈔三千七編、九溪文鈔三千八編、九溪詩鈔三千八編、九溪詞鈔三千八編、九溪文鈔三千九編、九溪詩鈔三千九編、九溪詞鈔三千九編、九溪文鈔四千編、九溪詩鈔四千編、九溪詞鈔四千編、九溪文鈔四千一編、九溪詩鈔四千一編、九溪詞鈔四千一編、九溪文鈔四千二編、九溪詩鈔四千二編、九溪詞鈔四千二編、九溪文鈔四千三編、九溪詩鈔四千三編、九溪詞

理數大之究極地理の學に潛心し、醫術のことに渉る。
こゝの多く經史子集に於て、經史子集のことに渉る。
い著に書畫文集がある。（四庫提要、百八十
【王凱忠】[20822.2]　清、慈溪の人、號は竹嶼、官は
麻逸總管。畫を善くし、山水に長じ、著に浙
西水利圖說備考・河防策略・蘇江程・江東宣
防備考・學古錄・樂府・詩集等がある。（清史稿、三百九
十一）・續疇傳集、二百四。
【王夢篆】[20822.2]　清、錢塘の人、字は佑嘉。嘉慶
初年、幼時より、詩を能くし、著に鶴巢・詩
鈔・詩話・詩餘・四印齋・四庫全書・說文
發疑・說文段注撰要・說文段注訂・說文段
注訂補・說文段注訂補之補・說文段注訂補
之補之補・說文段注訂補之補之補・說文段
注訂補之補之補之補・說文段注訂補之補之
補之補之補・說文段注訂補之補之補之補・
說文段注訂補之補之補之補之補・說文段注
訂補之補之補之補之補之補・說文段注訂補
之補之補之補之補之補之補・說文段注訂補
之補之補之補之補之補之補之補・說文段注
訂補之補之補之補之補之補之補之補・說文
段注訂補之補之補之補之補之補之補之補之
補・說文段注訂補之補之補之補之補之補之
補之補之補・說文段注訂補之補之補之補之
補之補之補之補之補・說文段注訂補之補之
補之補之補之補之補之補之補之補之補之補
・說文段注訂補之補之補之補之補之補之補
之補之補之補之補之補之補之補之補之補之
補之補之補之

玦、緘同。西狩緘縛、止蛇。「夜又玦、緘遠醉

德馬。王夜又。

【王義修】[illegible]清、義修の人。字は[illegible]。

狂故であったが、李明性に遊んで聞いて学人に志

学を奪て拒かず、強暴なこと[illegible]、元まった義

の常職を戒む。〈大清詠朝鮮先賢傳、七〇〉〈顔

[illegible]〉

【王[illegible]】[illegible]明、[illegible]の人、字は[illegible]。

【王[illegible]】[illegible]清、[illegible]の人、字は[illegible]。

【王[illegible]】[illegible]明

の誤か。宮は鄭州路轉運使、利州路安撫使。後、寶章閣待制。百官表を参。

【王誠】1066 1101 字、脩齋の人。字は幼樂。父、巧。『水東漢書』に客となり、獄相徳の叔に承謁と共に雖に掌す。[国朝]

【王能孫】1067 1102 明の人。王鏡の子。[百官表]

【王能孫】1068 1103 唐の人。呂船（680）を いう。

【王陵】1069 1104 唐の人。字は[illegible]。[朱熹]

【王陵】1070 1105 唐の人。字は[illegible]。[朱熹]

【王陵】1071 1106 唐の人。[朱熹]

【王陵】1072 1107 唐の人。[朱熹]

【王陵】1073 1108 唐の人。[朱熹]

【王陵】1074 1109 唐の人。[朱熹]

【王陵】1075 1110 唐の人。[朱熹]

【王陵】1076 1111 唐の人。[朱熹]

【王陵】1077 1112 唐の人。[朱熹]

【王陵】1078 1113 唐の人。[朱熹]

【王陵】1079 1114 唐の人。[朱熹]

【王陵】1080 1115 唐の人。[朱熹]

【王陵】1081 1116 唐の人。[朱熹]

【王陵】1082 1117 唐の人。[朱熹]

【王陵】1083 1118 唐の人。[朱熹]

愷鼎都即盤銘也、苗子皆入類。

【王文忠集】[illegible]　書名、六卷。元、王結撰。

【王孟章柳】[illegible]　唐の詩人の王維・孟浩然。章應物・柳宗元の併稱。詩風相似て、皆平淡簡遠を旨とする。

【王陵樓】[illegible]　書名、三十卷。清、陳法撰。

【王陽義女】[illegible]　袈裟の標題。前漢の王吉、字は子陽。官は諫大夫に至る。潔廉で節を好み、自ら琴を彈ずることを称して無用であったが、全編詩篇は義女に過ぎず、餘篇を蔡ノ人のうたが、戴するが如しと。遷官して成を辭へるのに及び、[illegible]（漢書、王吉傳）[illegible]好琴馬名船、其日琴歌極妙、餘篇、義女、不、蔡、補鈔、玉、位家居、所、絶不、過、義女、不、蔡、補鈔、玉、位家居、所、絶不、過、義女、不、蔡、補鈔、玉、位家居、所、絶不、過

玉部（二―三畫）

二畫

玉 20828
ン（集韻）稻六切 支
玉に似た石。（說文）玉に石之似たる者。从と王と聲。讀與私同。

玗 20829
トンチン（玉篇）疎遙切 寘
ヨキ（玉篇）巨劫切 業
ヨギウ（玉篇）巨劫切 業
〔一〕玉の器。（玉篇）玗、玉器也。〔二〕見（7―209526）に同じ（正字通）玗、亦作し玗。

玎 20830
ヨテイ（集韻）當經切 青
ヨチヤウ（集韻）中華切 庚
玎 小 ✱ 〔一〕〔二〕玉の音。（說文）玎、玉聲。〔一〕（7―18）に過ず。（集韻）玎、玎玲、玉聲。〔二〕（說文）玎、齊大公子彼、謚曰玎公。（段注）齊世家、古今人表皆云、師尚父之子丁公。（說文通訓定聲）玎、假借字。

玎璫 小 ✱ 玉の耳の形容。丁寧。（蔡邕、秋胡內詩）、帶清風入審室、摛珠泣、蜂玎璫。
玎玲 小 ✱ 玉の音の形容。字解の〔一〕〔二〕を見よ。（文選）林鐘隆集春賦、石相玉溫玉玎玲。

玒 20831
ロク（集韻）厲遇切 遇
玒

三畫

玔 20832
ハク（集韻）匹角切 覺
未だなんかかぬ玉。璞（7―21248）に同じ。（玉篇）玔、玉未成器。（集韻）璞、玉素也、或作し玔。

玖 20833
ハツ（集韻）布拔切 黠
ハチ（集韻）布拔切 黠
〔一〕玉の音。（集韻）玖、玉聲。〔二〕玉の名。（五音集韻）玖、玉名。

玘 20834
キウ（集韻）居侯切 侯
玘 小 ✱ 玉の名。（說文）玘、玉也。（玉篇）玘、玉素也、或作し玔。（集韻）玘、或从公。

玕 20835
ヲ（集韻）（五音集韻）海、音湾。
義未詳。（五音集韻）海、音湾。

玩 20836
ヨキウ（集韻）古勇切 腫
ヨシン（玉篇）直進切 震
〔一〕たま。玩（7―209545）に同じ。（集韻）玩、玉名。
〔二〕玉の名。（玉篇）玩、玉名。

玉 20837
ヨコウ（集韻）胡公切 東
ヨカウ（集韻）古雙切 江
〔一〕〔二〕玉の名。（說文）玉、玉也。〔一〕从と王と聲。〔二〕玉（7―209545）に同じ。（集韻）玉、或从共。

玨 20838
シン（集韻）直質切 質
玉の名。（集韻）玨、玉名。

玞 20839
ギツ ゴチ（字彙）王乞切 物
〔一〕たかい。（字彙）玞、高也。〔二〕屹（4―7869）の譌字。（正字通）玞、舊註、昔乙、高也、按、高當作屹、从し王聲。

玕 20840
タク（集韻）厲各切 鐸
玉の名。（集韻）玕、玉名。

玓 20841
テキ チヤク（集韻）丁歷切 錫
ヒカル。珠が光る。一說に、珠の色。玓瓅 小 ✱ 玓瓅。（說文）玓、玓瓅、明珠光也、从と勺聲。（段注）光、各本作し色、今依〔今善所〕引史記司馬相傳曰明月珠子、玓瓅江靡。（玉篇）玓、玓瓅、明珠色。（史記司馬相如傳）明月珠子、玓瓅江靡。

玗 20842
ホ（玉篇）芳古切 麌
玉の器。（玉篇）玗、玉器。

玔 20843
シ（玉篇）面里切 紙
玉の名。（玉篇）玔、玉名。

玐 20844
セン（集韻）桓緝切 緝
玉の環。（集韻）玐、玉環。

玕 20845
カン（集韻）居寒切 寒
《ガン Kan》
玕 小 ✱ 文 古 〔一〕〔二〕玉に次ぐ美の美石。（說文）玕、石之次、玉色者、从と王聲。（玉篇）玕、石之次ぐ玉色者。（詩衛風、木瓜）投我以木瓜、報之以琼琚。（毛傳）琼、美石次玉者。（爾雅、釋地）西北之美者、有崑崙虛之璆琳琅玕。（郭璞注）璆琳、美玉。琅玕、石次玉者。（書、禹貢）厥貢惟球琳琅玕。
〔名〕タマ。

玖 20846
ヨキウ（集韻）巳有切 有
《ジウ Jiu》
ヨキウ（集韻）居又切 宥
玖 小 ✱ 〔一〕〔二〕玉に次ぐ黑色の美石。（說文）玖、石之次ぐ玉黑色者、从と王聲。（詩、王風、丘中有麻）彼留子國、將其來食、（毛傳）留、大夫字。（詩、衛風、木瓜）投我以木瓜、報之以琼玖。（毛傳）琼、美玉。玖、美石次玉者。（詩、衛風、木瓜）投我以木瓜、報之以琼琚。（毛傳）琼、美玉。琚、美石次玉者

李，叢之以璗玖。●數字の九。法令上，金錢上に用いて，字畫の變改を防ぐために用ひる。（六書故）。今惟財用出內之簿書，（古形記）下居以玖給行陌。

玖 小 20846 ク（集韻）舊救切 宥

●玉に似た美石。もと玖（7－2080）に作る。（正字通）汗，本作玖。（說文）玖，石之似玉者。从王，久聲。（玉篇）玖，玉屬。●人名。（7－21189）に作る。（說文通訓定聲）玖，字亦作瑰。

玖瑰 ●赤玉の屬をいう。（山海經，海內西經）開明北有玄圃，玄圃，赤玉屬也。（楚天子傳）四妃有玖瑰樹（注）玖瑰，玉屬。

玖琪 ●地名。（四川省西昌縣の西。（元史，地理志）者魚，川，路西北，與名牙甸，昔爲土酋爾之地，後爲蒙地居之。

玗 小 20847 ウ（集韻）雲俱切 虞

●玉に似た美石。もと玗（7－2080）に作る。（正字通）汗，本作玗。（說文）玗，石之似玉者。从王，于聲。（玉篇）玗，玉屬。●人名。（7－21189）に作る。（說文通訓定聲）玗，字亦作瑀。

玘 小 20848 キ（集韻）口已切 紙

●玉に似た美石。（說文新附）玘，玉也。从王，已聲。●佩玉。（集韻）玘，佩玉。（紀都賦注），賓客，元，西東河北，蒙古軍の大都路府に屬す。元史，百官志二）元都新昌路府，初隸都府，七年，至元，延祐三年，檢察院

玙 小 20849 ウ（集韻）雲俱切 虞

玗（7－20847）の本字。（正字通）汗，本作玗。

玢 小 20850 ハツ（集韻）音八

玉。（集韻）玢，玉也。

玲 小 20851 キン 義未詳。（五音篇海）音金。

玢 小 20852 ヒキ（篇海類編）己有切 有

□ヒン（字彙補）音私

●黑い玉。玢（7－20846）に同じ。（篇海類編）玢，同玢。□玉の名。（字彙補）玉。

四畫

玲 小 20853 ハフ（字彙）音法

玉の名。（字彙）玲，玉名。

玢 小 20855 □カン □クン（集韻）古紅切 江 東

玢 小 20854 サク 瑑（7－21172）に同じ。（集韻）瑑，或从爪。

玢 小 20856 ゴ（集韻）阮古切 麌

人名。（集韻）玢，人名，後蜀有李玢。

玢 小 20857 フ（集韻）風無切 虞

●琥珀は，王に次ぐ美石。琥珀，（廣韻）玢，琥珀，美石次ぐ玉。（集韻）玢，琥珀，石次ぐ玉，山海經，會稽之山下多玉，玢石。●玢（7－2085）に同じ。（正字通）玢，琥珀通作琥珀。通じて夫（3－6695）に作る。（集韻）玢，通作夫。

玢 小 20858 シ 瑑（7－21146）に同じ。（字彙）玢，同瑑。

玢 小 20860 □ビン □マイ（集韻）眉貫切 寒 □ブン（集韻）無分切 文 ㄨㄣˋ wen

●玫瑰は，石の名。火齊珠。又，美石の名。（說文）玫，玫瑰，火齊珠，日，石之美者。从王，文聲。（段注）云云，吳都賦注曰，火齊如雪，段，重沓而可隱，色黃赤似金，出日南，云云，石之美者名之，此字義之說也，云云，義古音音義讀如文，今音則前義如枚，後義讀如罔。●玉に似た石。璊（8－20232）に同じ。（字彙）璊，赤似玉，或作玫也。●人，欣（字彙）。（韓，玉篇）七亂。瑰玫（字彙）。（韓文）玫，文作瑰。●珉（7－20916）に同じ。（正字通）玫同珉。□玉のあや。或は瑛（7－20965）に作る。（集韻）玫，玉文。

玢 小 20859 ジョウ ニョウ（集韻）如蒸切 蒸

玉の名。（集韻）玢，玉名。

玢 小 20860 □ビン（集韻）眉貫切 寒 □バイ（集韻）謨秤切 灰 □ブン（集韻）無分切 文 ㄨㄣˋ wen

●玫瑰は，石の名。火齊珠。

玢瑰 美石の名。（字彙）玢，瑰，（廣韻）玢，美石。（集韻）玢，人王文聲。（段注）玢，玫瑰，火齊珠，日，石之美者。今依，韻會所，引玉云云，吳都賦注曰，火齊如雪，段，重沓而可隱，色黃赤似金，出日南，云云，石之美者名之，此字義之說也，云云，義古音音義讀如文，今音則前義如枚，後義讀如罔。●玉に似た石。璊（8－20232）に同じ。（字彙）璊，赤似玉，或作玫也。●人，欣（字彙）。（韓，玉篇）七亂。瑰玫（字彙）。（韓文）玫，文作瑰。●珉（7－20916）に同じ。（正字通）玫同珉。□玉のあや。或は瑛（7－20965）に作る。（集韻）玫，玉文。

玢 小 20861 カイ（集韻）居拜切 卦 ㄍㄞˋ gai

●古，雜綵を封するしるしに用う大圭也。（說文）玢，大圭也。从王，敢聲。周書曰，稱奉朱丰。（爾雅，釋器）圭大尺二寸，謂之玢。●介（1－359）に同じ。（爾雅，釋器，圭大尺二寸，謂之玢，注，謂日，錦，爾雅玢。（詩，大雅，崧高）錫爾介圭。●或は璊（7－21092）に作る。（集韻）玢，說文，大圭也，或从璊。

玢 小 20862 ガ（集韻）色駕切 禡

骨の玉に似たもの。（集韻）玢，骨似玉者。

玢

20863

㊀ヒン (集韻)布巾切 [illegible]
㊁ブン (集韻)万文切 文
㊂ヘン (集韻)通閑切 [illegible]

●あや。玉のあやあるさま。或は瑋(7－21392)に作る。(集韻)玢、玉文皮水紋也。(廣韻)玢、或从賓。司馬相如、上林賦。玢豳文鱗。(注)郭曰、玢豳、文理貌。(集韻)玢、玉文理皮、或从賓。司馬相如、上林賦。玢豳文鱗。(注)郭曰、玢豳、文理貌。(集韻)玢、玉文理皮、或从分。

名稱 チン。ニウ。

(玢岳)ヒン。地質學用語。火成岩の構造と成分は安山岩に同じ。緩岩。

(玢璞)ヒン。玉石なるもののあるさま。(司馬相如、上林賦)反燿靈琳、璵璠美玉、瑾瑜之光。(注)張曰、玢璞、文理貌也。

(玢璞)ヒン。あやがあって明かなさま。(孫綽、遊天台賦)攀高峯以眺海、臨絕壑以窺玢璞。

人名 (孫綽)字興公、太原中書郎、著天台賦。

地名 (玢璞)ヒン。北魏道臨淮郡西南の沿。

玢

20864

(ヘン)(集韻)定變切 [illegible]

●玉で飾った冠。玩(7－20908)に同じ。(集韻)玢、冠飾也。玢(4－5586)に同じ。左氏、僖二十八、楚子玉自爲瑩弁玉纓。釋文、玢、本又作玩。

玢

20865

㊀ホウ
㊁バウ
(集韻)補孔切 [illegible]
(集韻)都項切 [illegible]

玉部 (四畫) 玢玕珏玻玩玩玩

玕

20866

(ボツ)(集韻)莫勃切 月
モチ

●玉の一種。もと瑂(7－21020)に作る。(正字通)玕、本作、瑂。(說文)瑂、玉瑂也。从王更聲。讀若、漑。

珏

20867

ゲツ
ゲチチ
(集韻)魚厥切 月

神に供へる珠。(集韻)珏、神珠也。

玻

20868

ガウ
(集韻)古文切 [illegible]

銘(11－40228)に同じ。(集韻)玻、或从玉。

玩

20869

ケツ
ケチ
(集韻)古穴切 [illegible]
ㄐㄩㄝ chueh

●おびたまの一。形、環に似て、一部分缺けてゐるもの。決斷、或は絶緯の意を示す。もと玦(7－20825)に作る。(正字通)玩、本作、玦。(說文)玩、佩玉也。

玦琴台玉鉤環
(雲笈七籤)

玩

20870

㊀ガン (集韻)魚巾切 [illegible]
㊁エン (集韻)余專切 [illegible]
㊂モン (集韻)眉奔切 [illegible]

●みみ玉。耳をふさぐ玉。(集韻)玩、環也。(集韻)玩、充塞、塞夷充耳。●赤色の玉。瑀(7－21208)に同じ。(說文)瑀、玉石色也。玩、瑀或从允。

玩

20871

ケク
玩(7－22936)の古字。(說文)玩、二玉爲一玩。

玩

20872

ガワン
(集韻)五換切 [illegible]
XP, KEST.

琓 小篆 琓 小篆段 [illegible] 玩 或體 [illegible] 玩 或體段 [illegible]

●もてあそぶ。たはれる。おもちやにする。(說文)玩、弄也。从王、元聲。(玉篇)玩、戲也。(書、旅獒)玩人喪德、玩物喪志。(禮)以人爲戲弄。●なれる。ならす。なつける。(易、繫辭上)所樂而翫爲者、爻之辭也。(疏)言聖人樂而翫爲爻辭也。(荀子、勸學)玩、其文也久矣。(釋文)玩、習也。●むさぼる。(呂覽、上農)民傳(7－22365)に通ず。(說文)玩、弱傳爲玩。(易、繫辭上)求無、既、疏(宿本作、服、服玩辭注云、復服偏、音其以協去者而無未、絕也疏)二謙不從、在地得敗、得反則遷、得、玩則去、如此者、謂之過去者。

玩 食也。〔校勘記〕諸本作「規」、石經記處缺、段玉裁校本作「玩」。●けがす 〔國語〕周語上〕觀則玩 玩則無觀。〔注〕玩、慢也。●ほめる 〔墨子〕贈陰徳出無、染玉部の項。〔注〕玩、愛也。●ものもの 〔詩〕玩、珍しい物。〔韓詩〕玩、好女也。〔注〕玩、珍しい物。〔韓詩〕玩、好女也。〔注〕玩、珍しい物。〔韓詩〕玩、好女也。〔注

玩物喪志（傳以善物爲喪人）。玩物喪人（出思修錄學問道先生以記傳錄）。玩物喪志（『書』旅獒云、玩人喪德、玩物喪志。『孟子』盡心下云、君子之於物也、愛之而弗仁。『禮』學記云、玩物喪志。『後漢』馬援傳、『新唐書』李泌傳、『宋史』王安石傳、『後漢』中平中、錄古人書行列作、『新唐書』李泌傳、『宋史』王安石傳、『後漢』馬援

【玳珠】[illegible]珠の名。[illegible]昔のものるもの。蘇頌（説文に玳瑁は海中出玳瑁珠。玳瑁珠の有り無り。[illegible]）

【玳瑁】[illegible]。[illegible]。[illegible]。

【琉】20890 ヒツ（集韻）ビツ（集韻）ヒツ（集韻）ビツ（集韻）ヒツ（集韻）ビツ（集韻）

【琥珀大鏡】[illegible]。すがた見ず。虹樓夢 十七。

【琥珀】[illegible]。ガラス。琥珀(3)の●同じ。(玉篇)

【琥璃】[illegible]。ガラス。琥璃(3)の●同じ。(玉篇)

【琥璃】[illegible]。玉也。(集韻 [illegible]) 西國寶。(本草 琥璃 [illegible]) 釋名 頒琴 水玉 時珍曰 本作 頒琴 [illegible] 頒名之。其色如水 玉 [illegible] 水晶 [illegible] 玉 [illegible] 水晶 [illegible] 玉 [illegible] 琥璃 [illegible] 琥璃 [illegible] 琥璃

ザ。〔説文新附〕ザ。他人の郷里の意。現郷。鳴現里。18 8873・2。「15」を見よ。

【珺】20907 ゼン ヌン 〔字彙而琰切〕 〔説文〕 王の名。〔字彙〕珺、王也。

【珩】20908 ヘン 〔集韻莊愛切〕 〔説文〕 ●王の名。〔廣韻〕珩、王名。●王で飾った冠。或は玨。7 20964）に作る。〔集韻〕珩、玉飾弁也。或作玨。

【珧】20909 サウ シヤウ 〔集韻所交切〕 〔説文〕 金の色。〔廣韻〕珧、金色。

【珤】20910 ハウ 〔集韻平人切〕 〔説文〕 玉の名。〔集韻〕珤、王名。

【珥】20911 ヒ ヨウ 〔字彙貝母切〕 〔字彙〕 玉のうてわ。〔字彙〕珥、玉也。

【珦】20912 ヒ イ 〔集韻莫之切〕 〔説文〕 ●日王に似た石。又、玉色の王。玉部7 2995 ●日、玉色王、或从石。●璃石と同じ。〔集韻〕瓏、說文、石之似王者。日、玉色王、或从石。●璃石は龍のもやうのある玉。〔集韻〕珦、龍文之玉曰璃。●王の名。〔玉篇〕珦、王名。

【珡】20913 ハツ ヘチ 〔字彙百結切〕 〔類〕 玉の名。〔字彙〕珡、王名。

【珣】20914 ヒツ ジヨウ 〔集韻綺方切〕 〔集韻〕在弓切 〔語〕 ●あげぼ。玉璧に施すすちまつて雛型を分ける。〔通じて筋（8－25950）に作る。〔説文新附〕珣、雛人首飾、从玉、殷聲。〔集韻〕珣、通作筋。〔詩経〕衛風、碩人、巻手如柔荑、膚如凝脂、領如蝤蠐、齒如瓠犀、螓首蛾眉、巧笑倩兮、美目盼兮。〔毛傳〕蝤蠐、蟲名、所以別尊卑六等。珣之言、加也。

何可以爲人。[玉篇]珊瑚、[集韻]珊瑚、有紅色者。[廣韻]珊瑚、[玉篇]珊瑚、海中蟲名

之屬。即周禮八珍之類。❹たつとぶ。重んずる。(廣雅釋詁二)珍、重也。(玉篇)珍、貴也。(廣韻)珍、國名。書曰公子遂、珍也。(注)珍、貴也。❺樣・11　45744　珍に通ず。(周禮)春官、典瑞、珍圭注)珍、當以玉。(玄注)珍、古文珍字。❻或は珍・11　40　15242に作る。(集韻)珍、或从金。❼倒・11　2　15921に作る。(集韻)珍、倒作。❽姓。(萬姓統譜)珍、倒作。見、世代不詳。

【珍愛】[名][動]たいせつにすること。(晉書、王導傳)導、嘗在揚州、與人書、(中略)珍愛、(中略)[名]たいせつなもの。

【珍玩】[名]めずらしいもてあそびもの。(後漢書、馮魴傳)魴、(中略)珍玩、(中略)[動]たいせつにもてあそぶ。(晉書、王導傳)導、(中略)珍玩、(中略)[名]たいせつなもの。

【珍貨】[名]めずらしい財貨。(後漢書、馮魴傳)魴、(中略)珍貨、(中略)[名]たいせつなもの。

【珍客】[名]めずらしい客。たいせつな客。(後漢書、馮魴傳)魴、(中略)珍客、(中略)[名]たいせつなもの。

【珍奇】[名]めずらしくすぐれていること。(後漢書、馮魴傳)魴、(中略)珍奇、(中略)[名]めずらしくすぐれたもの。

【珍羞】[名]めずらしくすぐれたもの。(後漢書、馮魴傳)魴、(中略)珍羞、(中略)[名]めずらしくすぐれたもの。

【珍重】[名]めずらしくすぐれていること。(後漢書、馮魴傳)魴、(中略)珍重、(中略)[名]めずらしくすぐれたもの。

【珍膳】[名]めずらしくすぐれたもの。(後漢書、馮魴傳)魴、(中略)珍膳、(中略)[名]めずらしくすぐれたもの。

【珍味】[名]めずらしくすぐれたもの。(後漢書、馮魴傳)魴、(中略)珍味、(中略)[名]めずらしくすぐれたもの。

【珍物】[名]めずらしくすぐれたもの。(後漢書、馮魴傳)魴、(中略)珍物、(中略)[名]めずらしくすぐれたもの。

【珍寶】[名]めずらしくすぐれたもの。(後漢書、馮魴傳)魴、(中略)珍寶

充種（繁捷制之皃）其華侈。

珍君 ㄓㄣ ㄐㄩㄣ 唐・薛令之《19 2823・15》。人名。

珍奇 ㄓㄣ ㄑㄧˊ 唐・薛令之《19 2823・15》。人名。

珍玉 ㄓㄣ ㄩˋ 王使珍玉聘秦。《周禮・春官・典瑞》注引《國語》。

珍怪 ㄓㄣ ㄍㄨㄞˋ 《注》珍怪猶言奇異。《周禮・春官・典瑞》注引《國語》。

珍寶 ㄓㄣ ㄅㄠˇ 《注》珍寶，寶者，以象君所瑑俟。《周禮・春官・典瑞》注。

珍璧 ㄓㄣ ㄅㄧˋ 《注》璧者，以象君所執。《周禮・春官・典瑞》注。

珍璜 ㄓㄣ ㄏㄨㄤˊ 《注》璜者，以象君所執。《周禮・春官・典瑞》注。

珍璋 ㄓㄣ ㄓㄤ 《注》璋者，以象君所執。《周禮・春官・典瑞》注。

珍祥 ㄓㄣ ㄒㄧㄤˊ 《注》珍祥，瑞物。《周禮・春官・典瑞》注。

珍羞 ㄓㄣ ㄒㄧㄡ 《注》珍羞，美味

表於君臣、德愛於珍瑜兮、惠夫美玉。

珍相切 ●愛惜する。珍重する。〔吳志、孫皓〕諸葛恪、……珍相之。〔白居易、琵琶行〕……

珍惜切 ●愛惜する。珍重する。〔郭璞、遊仙詩〕……

珍膳切 ●美味。〔後漢書、皇后紀〕……

珍味切 ●美味。〔後漢書、皇后紀〕……

珍羞切 ●美味。〔後漢書、皇后紀〕……

珍奇切 ●珍味。〔後漢書、皇后紀〕……

珍饈切 ●珍味。〔後漢書、皇后紀〕……

珍饌切 ●珍味。〔後漢書、皇后紀〕……

珍羞切 ●珍味。〔後漢書、皇后紀〕……

珍味

無珍産産者。以家・内方遮蔽之義。〔珍常故說切〕〔集韻〕〔廣韻〕〔説文〕〔玉篇〕〔類篇〕〔字彙〕〔正字通〕〔康熙字典

【珗】20943　セン（集韻）薛前切　匠

石の玉に次ぐもの。琄(8－2416)に同じ。（集韻）琄、石次。玉也、或作珠。

【璃】20944　リ（集韻）之由切　匠

玉の名。（集韻）琉、玉也。

【珙】20945　キョウ（集韻）居勇切　匠　ク（集韻）居公切　匠

璃 小 ［□］□□王の名。（説文新附）珙、上也、从王共聲。●大きい玉。（集韻）琉、玉也。

【珊】20946　サン（集韻）蒲回切　灰

みがく。手を示める。道(11－38516)に同じ。（集韻）道、治也、或从玉。

【珊】20947　エン（集韻）因通切　匠

王の名。（集韻）琨、玉名。（山海經、中山經）傅山、穀水出焉、其中多珊玉。（注）珊玉名。

【琛】20948　タン（字彙）徒臥切　圖

王の名。（字彙）琛、玉名。

【琦】20949　キ（集韻）渠紀切　匣　キョク（集韻）巨玉切　匠

琛 小 ［□］□□朽ちてくだけ易い玉。（説文新附）琦、朽玉也、从玉奇聲。（廣韻）琦、玉名。●朽敗也。

【珞】20953　ラク（集韻）盧各切　來　レキ（集韻）狄切　來　ロウ（集韻）力玉切　來　カメオ lɔɡ

琦 ［□］□□瑤珞は、珠をつないで作った瓔珞。（集韻）珞、瓔珞、頸飾。□小石、又、石のさま。碑(8－2452)に同じ。（集韻）碑、説文、小石也、一曰、石皃、或作珞。

珞 小 ［□］□□小石の多い喩。波に石の堅いさま。河上公注本は落落に作る。（老子三十九）不求珠玉、珞珞如石。（王注）珠玉、美珍也。珞珞、河上公本作落落。（注疏）河上公注、珠玉、喻、聖人、法、命、聖人、多、有、聖、人、（老子）解、師、解機、詩、記、者、相、法、言、聞、（注疏）河上公本、解、師、珞、珞

黃典、蔡安傳、親以、珠蠹、〔注〕珠、與、朱同。

〔珠玉〕ゴ。星の名。『漢書』天官書、「其中、大星、曰、策、間一星、曰、捷、捷、得、則、用兵、星、主、陽、均、遠、近之節。」『晉書』天文志下、「其、中、大星、曰、策、間一星、曰、捷、捷、得、則、用兵、星、主、陽、均、遠、近之節。」

〔珠映〕ゴ。目の神の名。（本草綱目、神異部）

〔珠月〕ゴ。月の名。『月令廣義』、「十月、孟、冬、月、月、令、珠、月、」

〔珠光〕ゴ。木槿。（『本草綱目』、木、部、）

〔珠光如夜〕ゴ。『李杜詩話』、「珠、光、如、夜、」

〔珠花〕ゴ。木槿。（『本草綱目』、木、部、）

〔珠蠹〕ゴ。『本草綱目』、「珠、蠹、」

〔珠蠹〕ゴ。たまで作りの冠の紐。（右紫、玉、冠、紐、）

編脂類錄珠花で綾・樗名の錄類云・華・象・秋木之華也・鍾鈴之名・臣瓦・茱萸己久・其以ル珠實・穿ル・珠花有ル・珠花有ル・所謂錄類著行步搖鈴・他ル部步搖之所以名也。

〔説文〕・玉部・珠・蚌・出海・水・中・陰・之・精・生・者・也・从・玉・朱・聲・殊・俱・切・

〔説文〕・玉部・璣・不圓・珠・也・从・玉・幾・聲・

〔説文〕・玉部・璫・璫・璫

品）若諸經金剛摩訶衍義。一名須彌。●數手。

珠琴　琴名。●琴名。

珠琴　〔唐〕。●琴名。多心雙琴。●琴名。

珠　〔唐〕。●琴名。●琴名。

珠　〔唐〕。●琴名。

珠　〔唐〕。●琴名。

珠　〔唐〕

康熙字典。

【珠皮】[正韻] 子合切。[集韻] 子答切。[廣韻] 子合切。[玉篇] 子合切。[類篇] 子合切。[字彙] 子合切。[正字通] 子合切。[字彙補] 子合切。[康熙字典] 子合切。[漢語大詞典] 子合切。[漢語大字典] 子合切。[漢語大字典] 子合切。[漢語大字

王部　(六畫)　珠琓瑰瑋琨琣琠

土以西。製。銀珠以鳴。

【琣】龍出切 ㄌㄨㄥˊ 。頭也。〈字林〉。

【琠】徒年切 ㄊㄧㄢˋ 。地名。名。出洞庭。分爲大龜。〈廣韻〉。

【琓】烏貫切 ㄨ

秋考異郵）蘿瑣絲。（注）淮南子（覽冥訓）蘿唎絲（注）唎、或作瑣。❶**佳を割いて血ぬ**蛸（10－23984）に過ず。周禮、春官、肆師以、歳時、序其祭祀及其新瑣。（注）玄謂、瑣、當為唎、唎、蛸者、蠶繭之事。❷**鉤**（10－24146）に過ず。周禮、春官、肆師以、歳時、序其祭祀及其新瑣。（注）杜子春、讀瑣、為唎、瑣、為鉤。□**血ぬ**（集韻）瑣、割也、性以蠶繭、血ぬ也。（集韻）瑣、割也、性以蠶繭、血ぬ也。周禮、瑣、字新説。

解説 合形聲。ミと貝とを合せて耳に飾る玉の意を表わし、耳にかざりとかんざしの意味を表わす。

瑣闥（集韻）瑣闥、門名。

瑣蛾（集韻）瑣蛾、蛾名。

瑣月（集韻）瑣月、月名。

瑣瑣（集韻）瑣瑣、小貌。（説文）瑣、細也。（玉篇）瑣、小也。（詩、小雅、巧言）巧言如流、俾躬處休。（毛傳）瑣瑣、猶言小人。（疏）瑣瑣、猶言小人、是、瑣瑣、猶言小人、是、瑣瑣、猶言小人、是、

衝牙、左右相之宋、其玉曰璜、而環珠琥璥則胥于珩之下、雙璜與衝牙之上。●張衡、東京賦：珩琥蟠。（注）薛綜、東京賦：珩、杜預曰、珩、佩玉也。

珩（維・持冠者。●通して衡（10・34078）。

蔡、合雷鼓嘲哳。（注）衡、佩玉之衝也。（漢・玉紀・桓二）衡紘紘、（張衡、東京賦）珩紘紘。

【説文】 衝、佩玉也。從玉、行聲。●行、行止を節する、字解を見よ。

【説文】 珩、佩玉上組、長二尺四寸、尊者以玉、卑者以瓀玟、而雜以瑀珠、一曰、珩、平也、所以平衡者也。

【説文】 璜、半璧、以象天也。從玉、黃聲。

【説文】 璲、瑞玉、剡上寸、有鋒芒、以利剛柔、從玉、從出、出亦聲。

【説文】 璱、玉石之美、有五德、潤澤以溫、仁之方也、鰳理自外、可以見中、義之方也、堅而不屈、以剛斷、智之方也、廉而不劌、有棱角、而不傷人、行之方也、鮮潔而不暴、見人所佩、如有所授、絜之方也、瑕不掩瑜、瑜不掩瑕、忠之方也、孚尹旁達、信之方也、氣如虹、天地之間、不敢當之、大神之所降、山川之精、諸侯以聘、天子以決疑、從玉、從靈、靈亦聲。

【説文】 璱、瑟也。從玉、必聲。

【説文】 璲、以玉飾劍也。從玉、遂聲。

【説文】 璱、玉也。從玉、瑟聲。

【説文】 璱、玉也。從玉、必

班 ⑦**藝人、又下級の小吏。**(中華大字典)班、如「音班」・「教班」及地方官署之班、皆快二班。**⑧ひとしい。**(広韻)公孫甚切。是班。(注)班、齊等也。**⑨あまねし。**(國語)等語四、軍班外內、(韋注)班、徧也。**⑩つげる。**(呂覽、仲夏)(書、大禹謨)班師振旅(左氏、桓六上)(書、大禹謨)班師振旅(左氏、桓六上)(書、大禹謨)班師振旅(左氏、桓六上

からいふ。(薛元超傳)論量才幾(伎之誤)授官。(敬播傳)論情理無所(無幾改)。

班司 班司。官職をいふ。(柳郎)相強華詩)

班司 班司。官職をいふ。(柳郎)相強華詩)

班宣 班宣。(等差)(宣)(論語)(注)疏(日書)連宣、今宣室。(詩)

班 班。(詩)(大雅)(文王)(文王)(文王

〔班注〕師古曰、あまねく治める。〔荀子〕君道篇、君道者何也曰、能使人者何也曰、善生養人者也。再班注、人を生養する者也。

班固曰、後漢の時の弟。機、二に擬に作る。方面の人、少しくして漢の時、王莽が政を授けられ、長安の時、廣平相に遷る。王莽が政を授けられ、其の身を修る。後漢書、七十二

〔班昭〕班固の妹。

〔班彪〕班固の父。官位は彪〔唐書、彪を固の誤〕今大者の初、内侍郎、蒲亭長、徐令、北地太守、徐令、北地太守、徐令、北地太守

蓋聖班聯、珠花鬧、闌于列、班璊、砍陣、南雍輝、天。

班錄 ●●●

日西注石、敕屋而白中國所製、別無舊而色徹若玻璃、漢書西域傳、罽賓有珠璣琉璃、師古曰、璃者、本石之類、其質甚美、青黃黑白皆有之、[illegible]、[illegible]十種琉璃、出紫磨黃金、紫色自然之物、非製造、[illegible]、[illegible]、[illegible]

也、相王表言、瑶、大六寸、其璽自照。●**おび玉の部分の名**。垢をいふ。〔集韻〕瑶、圓玉也。垢謂之瑶。〔瑶〕(7－21001)に同じ。〔集韻〕瑶、設文、大圭、長二尺、抒上、終葵首、或作瑶。〔樊文〕瑶、本文作瑶。

【瑶美】ヨウビ 王の美しいものをいう。〔楚辭、離騷〕覽察草木、其猶未得、豈珪美之能當。〔補注〕瑶美、猶九章言瑶美也。

瑞 20989

日テイ 〔集韻〕田製切 霽

□デイ 〔集韻〕天計切 霽

□玉の名。瑶(7－21100)に同じ。〔集韻〕瑶、瑞、玉名、或从弟。〔集韻〕瑶、玉名。〔曹植、洛神賦〕流瑶、以和、字号。

瑊 20990

プ 〔集韻〕兩甫切 麌

瑊は、玉に似た石。碱(7－20996)に同じ。〔集韻〕碱、瑊、石似玉、或作瑊。

【瑊玟】 碱は、武夫に同じ。●石の名。玉に次ぐもの。〔二字〕、四字、講德論〕故美玉藏於碱瑊。〔注〕薛曰、戰國策曰、宮闕、瑊瑊、武夫類、玉强瑊、漢書注曰、武夫、石名、師曰、碱、玉强、瑊、武夫、次玉者、師曰、碱、瑊、石、强、瑊、武夫、次玉者、師曰、碱、瑊、石、强、瑊、武夫、次玉者、師曰、碱、瑊、石、

【現】 21004

ヨ ケン （業部・影母・霰韻）
ヨ ケン （業部・匣母・霰韻・平聲）

あらはれる。あらはす。 見。10－24739 hiaen

①あらはれる。あらはす。 見。露地。現。俗。（抱朴門）有・形則影現。有・智則響應。（大蔵法数）能現・色像。**②あきらか。**（新譯名義集）現。在。通じて見。10－24739 6）に作る。「正字通」現。通作見。（金剛經）現在心可得。**④此の世。**（華厳経）立・神明。成・佛義。記・生平現境。**⑤顕む。**（新譯名義集）現。親也。**⑥玉の光。**（集韻）現。玉光。**⑦石の玉に次ぐもの。**（集韻）現。石之次。玉也。**⑧山名。又、小さくて險しい山。又、嶺上の平らな山。**嶮。8810 同じく（集韻）現。山名。一曰、山上嶮平。或作・峴。（西域記）うつつ。④死に対し、世に現在してあること。⑥夢に対し、心の正氣であること。（孫子）十二）現にも悉に我は思はざり、ふりたる君に此處、會はむとは。（③のはつきりせぬ意。まばろし。

参考 「現」・「見」・「示」・「今」・「現在」・「金剛経」・「現在」・「通作見」・「金剛経」・「現在心可得」・「立・神明」・「成・佛義」・「記・生平現境」・「顕む」・「玉光」・「石之次」・「玉也」・「山名」・「小さくて險しい山」・「嶮平」・「或作・峴」・「うつつ」・「死」・「心の正氣」・「孫子」・「十二」・

●人の知識は現象界以内に限られ、本體の真相は知り得ないとする論。●知識は現れた現象か本體で、知識を離れた本體は存在しないとする。

【現状】 現在のありさま。現在の状態。

【現状維持】 現状を現在の状態に維持すること。

【現情】 現在の情勢。

【現世】 現世。現在の世界。現世界。

【現世貨幣】 現世貨幣の略。

【現出】 現ずること。現れること。現出すること。あらはれること。「象徴傳遊録」第一「最初の象徴は、第二の象徴を現出する」

【現成】 現成の意味。現成の意味。現成。第二「現成の意味は、現在の意味」

【現成公案】 道元の語。「現成公案」は、「正法眼蔵」の巻名。「現成」は、「現在の意味」。「公案」は、「公の定めたもの」。「現成公案」は、「正法眼蔵」の巻名。「現成」は、「現在の意味」。「公案」は、「公の定めたもの」。

【現代】 現代。現在。現代。

【現代思想】 現代の思想。現代の思想。

【現代人】 現代人。現代の人。

【現代的】 現代的。現代的。

【現代文】 現代文。現代の文。

【現代文明】 現代文明。現代の文明。

【現代史】 現代史。現代の歴史。

【現代主義】 現代主義。現代の主義

【琨】21006 ㊀シュク（集韻）初八切 屋 ㊁サク（集韻）測角切 覺 ㊂ひとしい（集韻）逵、等倉也。

【琀】21007 ㊀ケン（集韻）胡甲切 霰 ㊁ゴン（集韻）胡甲切 霰 ㊂ふくみだま。死者の口中に含ませ、又は左右のおとがいをさきこべる玉。（説文）琀、送死口中玉也。

【琀】ケン 〔説文〕琀、送死口中玉也。从玉含聲。

喪に贈る珠玉。（字彙）

案琀、鋪・鋪・琀。

案琀、鋪・鋪・琀。

案琀、鋪・鋪・琀。

大圓の弧に接まれた面をいう。

【球面鏡】ﾀｷｭｳﾒﾝｷｮｳ 光を反射する面が球面の部をなす凹鏡の稱。球の内面を反射面とした物を凹面鏡、外面を反射面とした物を凸面鏡という。

【球面角】ﾀｷｭｳﾒﾝｶｸ 球面の曲率を測定するために用ひる器械。

【球面幾何学】ﾀｷｭｳﾒﾝｷｶｶﾞｸ 球面上の圖形を研究する幾何學。●空間に於ける圖形中、球面の集まりと見做し得るものに就いて研究する幾何學。

【球面多角形】ﾀｷｭｳﾒﾝﾀｶｸｹｲ 球面上の大圓の弧によつて圍まれた球面の一部。大西洋の例、一つの場合。

【球面三角法】ﾀｷｭｳﾒﾝｻﾝｶｸﾎｳ 球面上の三角を利用して球面上に於ける天體の位置及び運動を論ずる學。

【球門】ﾀｷｭｳﾓﾝ 蹴球のゴールをいふ。

【球美】ﾀｷｭｳﾋﾞ ●美玉をいふ。

【球璋】ﾀｷｭｳｼｮｳ 蹴球のゴールをいふ。

【球文】ﾀｷｭｳﾌﾞﾝ 球面に彫を利用して文字を彫りつけた文鎮。

【球文学】ﾀｷｭｳﾌﾞﾝｶﾞｸ 球面に彫を利用して文字を彫りつけた文鎮及び運動を論ずる學。

【球璋】ﾀｷｭｳｼｮｳ 蹴球のゴールをいふ。

【球琳】ﾀｷｭｳﾘﾝ ●美玉をいふ。

【球琳】ﾀｷｭｳﾘﾝ ●琳（説文）球璋也。●琳璋。球琳。美玉也。●雷雨子。雷形。周西方之美者。有寬裕之球琳焉。（注）球。美玉也。●孫愐。玉石帥容。與孫晴。書。球琳重鍊。於碎璽。●傅才の嘆（李白、送楊少府赴蜀詩）文子有寶。球子有琳。球琳。

琅 21013

ﾛｳ（集韻）（漢韻）郎古切 郎

ﾛｳ（字彙補）力居切 廊

ﾛｳ（集韻）古郎切 琅

ﾛｳ（集韻）呂郎切 琅

琨 21012

ｺﾝ（集韻）古魂切 琨

ｺﾝ（集韻）呂魂切 琨

□ 王のさま。（集韻）琨、玉名。●佩玉のさま。（集韻）琨、佩玉。●琨は、功才無くして位に在り、玉佩をゆひびるをそなへる。（説文）琨、玉名。●琨雅 琨訓。琨刺。表食也。（注）瀾。無功德。「●寵琨。釋文。琨。字或作琨。正義引「東氏云、鞙鞙、無德而佩、然則佩以表德、無德而佩、亦偽。空食矣。

【琨琨】ｺﾝｺﾝ 琨は玉に似た石。又、玉の名。（説文）琨、琨玉。似珠者。（急就篇）編音琨玉。（注）琨玉、大石次玉者也。（日）石の似珠者也。琨璋。（注）琨璋、大石次玉者也。（日）石の似珠者。琨璋。（注）琨璋、石而似珠。（注）琨璋。（荀子、禮論）琨玉瑤瑾。（荀子、禮論）琨玉瑤瑾。（荀子、禮論）琨玉瑤瑾

驛。在後漢縣。唐明皇幸蜀。至此聞鈴聲。元右丞詩。行三部樂。[唐書]地理志。

[現鶯]ｹﾝｲﾝ 白鳥。○山海經。大荒北經。東北海內有天吠。郭璞注。吠有二說。一曰。吠犬也。

[現邪]ｹﾝﾔ 郡名。[漢書]地理志。琅邪郡。故秦置。屬青州。[後漢書]郡國志。琅邪郡。本屬徐州。[晉書]地理志。琅邪郡。屬揚州。[後漢書]郡國志。琅邪國。[晉書]地理志。琅邪國

理也。(注)正義曰：璥位也。⑨つかひ。使者。(左氏昭十三)行璥之命。(注)行使人。聘問者。(會箋)理，又作，季。皆更之假借。⑩ならべる。(蘇海)理，猶之謂習也如十俗稱，謂書曰，理書。

❶さとる。理會する。(呂氏童蒙訓)後世初學，日須讀，會玩索，(戴敏)理其文。❷かまふ。關係する。(中華大字典)理，俗謂西方語，理。❸星の名。(漢書，天文志)房南北宿，曰騎官，左角理，右角將。❹李(6 14459)に通ず。(管子，法法)象陽鳴，不理，慕結李理。❺黄(10－36805)に通ず。(史記，殷紀)子其理，女。(注)集解曰，周書曰，理字作黄。(索隱)黄，姓氏族系譜。理氏，商末有理徵，故姓李氏。(路史，後紀七)皐陶後，思成之世，世稱名聲。ヨシ，タダ，アヤ，マサ，ヲサ。

【理宏】リクワウ　山名。浙江省桐鄉の九溪の東北所。

【理地】リチ　漢，班安史(10 37177－1)の銘。わけ，すきち。理地を以てはくく(史記，文帝紀)。

【理不一能】リフイツノウ　詩名。(毛詩)文帝紀。

【理法】リホフ　詩名。(毛詩)文帝紀。

【理正】リセイ　正理。理を以てはくく(史記，文帝紀)。

【理解】リカイ　理會する。(呂氏童蒙訓)。

【理會】リクワイ　理解する。(呂氏童蒙訓)。

【理書】リシヨ　すちすちを立て修める。(呂氏童蒙訓)。

【理學】リガク　理會する。(呂氏童蒙訓)。

【理學家】リガクカ　理會する。(呂氏童蒙訓)。

【理學者】リガクシヤ

と教化・治化（『管書』刑法志『天曆以前』他）所法（『天曆以前』他）所法（『天曆以前』他）

（後漢書・陳宋・呉書・魏・蜀書・晉書・宋書・斉書・梁書・陳書・魏書・北斉書・周書・隋書・唐書・五代史・宋史・遼史・金史・元史・明史・清史・民国・清・西康・満洲・蒙古・新疆・西域・南海・南洋・海外・外国・国・国家・国民・国体・国情・国運・国風・国防・国交・国債・国庫・国家主義・国家社会主義・国家学・国家学説・国家学説・国家学説

在成曲●をさまつた世。太平の世。（白居易、琴詩詩）若非理世、安得知聞。

【理】動 ●をさめ正す。治める。（易）繫辞、君子以治歴明時。

【理】動 ●をさめ正す。（易）繫辞、民咸用之、謂之神。

【理】動 ●理を正す。（荀子）天論、星隊木鳴、国人皆以為怪、曰、是何足怪也、是天地之変、陰陽之化、物之罕至者也、怪之可以理、而不足畏也。

【理】動 ●理を明らかにする。（荀子）正名、名有固実、辞有所至、而止於是矣、是名之枢要、足以治万物、兼利天下、而已矣。

【理】動 ●理を正しくする。（荀子）正名、名有共名、有別名、……名之同異、……名之大共者、……名之大別者、……名之共名、……名之別名、……名之共名、……名之別名、……名之共名、……名之別名

[墓誌銘]『漢夫人而合相與、遇理命也。

[理問]『ⅰ』官名。元の行政に理問所あり。理問所の官がこれに屬する。刑獄を勘核することを司る。明以後、布政司に屬す。[元史、百官志]五品、知事一員。提控案牘一員。[明史、職官志]四方元宜布政司、云云。理問所、正五品。[同書、百官志]品、副理問、八。從七品。[同書、典刑]、吏部、官問、八。[唐大典]、人。[紀聞]、人。

[理亂]『ⅰ』[荀子、王霸]「故禮義、臣道之極也。[注]、[楊倞]、臣道、謂[注]、[楊倞]、臣道、謂[注]、[楊倞]、臣道、謂

瑯 21018 ヤ（字彙）余遮切 [麻] 一セ yeə

琅琊は、地名。邪（11－33019）に通ず。（字彙）琅、琅琊、卽琅邪、地名。

琨 21019 キン 琨（7－20961）の本字。（康熙）字典）琨、或文、琨本字。

瓊 21020 ボツ 瓊（7－20966）の本字。（康熙）字典）瓊、或文、瓊本字。

琣 21021 キ（字彙補）渠旨切 [支]

人名。（字彙補）琣、人名。晉天福十年、遼太宗以劉孫、爲西京留守。

瑷 21022 音義未詳（字彙補）瑷、音未詳。以奚尚今、摩理使以魏年（新飲、遼史）天祐朔

瑕 21023 音未詳 玉の名。（字彙補）瑕、音四、瑕瑗玗。（注）沉玉名。

琉 21024 リュウ 陸（11－41104）に同じ。（字彙補）琉、鬼卽陸字。

琉 21025 ゼン（龍龕手鑑）音全

玉に似て美しい石。（龍龕手鑑）琉、石似。

琉 21026 リン 琉（7－21236）に同じ。（篇海類編）琉、與瑞同。

玷 21027 シュ 義未詳。（慶長玉篇）玷、實來切。

琍 21028 リ 義未詳。（篇海類編）琍、音利。

琣 21029 セン 琣（7－21096）に同じ。（字彙補）琣、與琁同。

琨 21030 ベツ メツ 義未詳。（篇海類編）琨、莫約切。

八畫

琁 21031 チン デン（集韻）宜佳切 [霽]

玉の色。（集韻）琁、玉色、或从駿。

琴 21033 キ（集韻）居悸切 [寘]

玉の名。（集韻）琴、玉名。

琨 21034 ㊀ゴン（集韻）牛尹切 [軫] [阮]
㊁ゴン（集韻）牛倫切 [軫] [阮]
㊂ギン（集韻）言隕切 [軫]

㊀㊁㊂●ひとし。（廣雅、釋詁）琨、砥石。（廣雅、釋詁）琨、齊也。（集韻）琨、琨砥、齊也。●玉の名。（廣雅、釋地）琨、玉。（集韻）琨、一曰玉名。

琡 21035 シヤ シュ（集韻）章允切 [元]

玉のあや。（集韻）琡、玉文。

璐 21036 ソウ 璐（7－21194）に同じ。（字彙）璐、同瑲。

瑯 21037 ヨ オ（集韻）丈儒切 [魚]

玉の名。（集韻）瑯、玉名。

琛 21038 キョ ゴ（字彙）求於切 [魚]

みゐわ。（字彙）琛、耳環。

琛 21039 エキ ヤク（集韻）夷益切 [陌]

玉のあや。（集韻）琛、玉采。

琟 21040 サン セン（集韻）相限切 [潸] 出ㄢ chan

琟 小篆 さかづきの名。盞（8－23020）、琟（10－35092）、瀍（7－17833）、琟（9－2815 6）、琟（11－39906）に同じ。（說文新附）琟、玉斝也。夏曰琟、殷曰斝、周曰爵、从王戔聲。（廣韻）琟、玉角、从广、亦作瀍。

（圖馬會清）琟

琟 21041 ㊀シチ（集韻）苦懼切 [遇]
㊁スイ（集韻）取內切 [隊]
㊂シン（集韻）思晉切 [震]

㊀㊁玉のあやのあざやかなこと。（文選）琟、如翠鬆於或作琟。㊂玉の光。（集韻）琟、玉光。●まだら。玉の文采のまじること。（郭璞、江賦）琟珠怪石、琟、其表。（注）善曰、琟、謂文采相雜也。㊃珠玉の光。（集韻）琟、珠玉光。

【瑨】21042 ビン（字彙）武巾切 【瓆】

玉に似た石。珉(7・209916)・玟(7・2206 0)・瑋(7・211004)に同じ。（字彙）瑨、美石次ノ玉（正字通）瑨、珉同。（禮）聘義）瓋附君子貴玉而賤瑨者何也。（注）瑨、石似玉、或作玟也。（釋文）瑨、字亦作璊。

【瑛】21043 コク キキ（集韻）越韻切 【虢】

人名。（集韻）瑛、闕、人名、（漢書）公孫瑛。

【瑩】21044 コク 西B・47326の古字。（集韻）冏、古作瑩。

【瑾】21045 タ（字彙）都火切 【瑆】

玉の名。（字彙）瑾、玉名。

【璀】21046 クツ ゲキ（集韻）渠勿切 【璃】

玉の名。（集韻）璀、玉名。

【璨】21047 キツ（集韻）居妙切 【璨】

ヒ chu

璨 小 ●佩玉の名。珩と璜との中間にあるもの。璨(7・212292)に同じ。（説文）璨、佩玉也。从玉居聲。詩曰、雜。之以瓊璨。（説文通訓定聲）璨、瓊璨、从玉居聲。詩釋文引說文、佩玉名。按、與璜略同、納諸牙珩璜之間。（集韻）璨、或作璊。

【璞】21048 ミ（集韻）民卓切 【玄】

玉の名。璞(7・21349)に同じ。（集韻）璞、玉名、或作瓆。

【璟】21049 ケイ（集韻）疑林切 【璟】

ケン（集韻）武針切 【璟】

璟 小 ●だから物。もと璜(7・21 145)に作る。（正字通）璟、省作。（説文新附）璟、寶也。从玉褧省聲。（爾雅釋言）璟、寶也。（疏）寶曰璟。（詩）魯頌泮水、來獻其璟。（傳）璟、寶也。（木華、海賦）天璟水怪。（注）薛曰、天璟、自然之寶也。●王天（張衡）思玄賦、獻璟璞、璟網。

【璘】21050 ライ（集韻）郎才切 【璘】

玉の名。璘(7・21051)に同じ。（集韻）璘、或書作、瑋。

【璕】21051 ライ（集韻）郎才切 【璕】

璕 小 柔璕は、五采の玉。璕(7・21050)に同じ。（説文）璕、柔璕、玉也。从玉來聲。（廣雅釋地）作璕、云、騾蕃、蕃、作五采璕玉也。（集韻）璕、或書作璘。

【璉】21052 ビン（字彙）武巾切 【璉】

●玉に似た石。（字彙）璉、石似玉。●玟(7・20860)の俗字。（正字通）璉、俗玟字。

【璋】21053 □セイ □バク（字彙補）璋、古聲字。□（正字通）璋、同、望、望(8・14368)に同じ。（正字通）璋、也、朱有、璋儀、明有璋本。

【璚】21054 タイ（集韻）汚戴切 【璚】

ダイ

玉の名。（集韻）璚、玉名。

【璜】21055 □オイ（集韻）夷隹切 【璜】

□ギョク（集韻）魚欲切 【璜】

璜 小 □玉に似た石。（説文）璜、石之似玉者、从玉隹聲。讀若維。□璜璀は、鳥の名。瑀(18・46718)に同じ。（集韻）璜、鶯璜、鳥名、或从隹。

【璞】21056 □テン（集韻）多稔切 【璞】

□テン（集韻）徒叨切 【璞】

璞 小 □玉の名。璞(7・21167)・瓆(7・21285)に同じ。（説文）璞、玉也、或从瓆。□みがだま。璞(7・21167)に同じ。（集韻）璞、說文、以玉充耳也、亦作璞。

【璕】21057 ソウク（集韻）芝六切 【璕】

琢 小 ㊀ 21058

①玉の名。(説文新附)琢、玉也。(爾雅、釋器)琢大寸、詩之琢(注)琢、半圭也。(埤雅)琢、大寸。詩之琢(注)琢、琢本作璪。(埤雅)琢、璪同。

琢 小 ㊁ 21059

タク (集韻)丁角切 覺 ㊀ 沃 ㊁ 覺

①みがく。(説文)琢、石之美者。(詩、小雅、鶴鳴)他山之石、可以攻錯。(陳石巨)琢、玉名。(周禮、天官)大宰、作八材(注)琢、玉名。(周禮、天官)玉人、琢玉。(禮記、學記)玉不琢、不成器。(荀子、勸學)琢而不已、金石可鏤。(荀子、王霸)琢、玉之有瑕者。(呂氏春秋、審應覽)琢而成器、(淮南子、説林訓)琢玉之工、(呂氏春秋、審應覽)琢而不成器。(淮南子、説林訓)琢玉之工、(呂氏春秋、審應覽)琢而

故謂爵乃通。

【琥珀】[illegible]。古代の樹脂類が水と地中に埋没して變化したもの。琥珀の色が多くあるが、黄色で透明なものを珍品とする。これを摩擦すれば電氣を生じて吸物を引きつけるので、古代から用ひられた。琥魄・虎魄・虎珀・虎魄・虎珀・琥珀・虎魄・虎魄・虎魄・虎魄・琥珀・虎魄・虎魄・虎魄・虎魄

宮城南樓詩)『面鎖井蘭路鎖』(蘭鎖)等。瑣端。

【琩】 21066

シャク（笑韻）・セキ（錫韻）

みみだま。樂への耳。(廣韻)項・耳環。(集韻)項・璫。(類篇)耳。

【琪】 21067

キ（紙韻）・ギ（支韻）

●王の一種。(爾雅・釋地)(廣雅)美玉。有。**●**無聞の海内珍物。(集韻)琪・玉鬘。**●**瑤。〈21198〉に同じ。(『康熙字典』)琪・集韻或作璂。

【璂】 21068

ホウ（董韻）・ヒン（軫韻）

●刀の飾④(鞘)にある飾。つかにあるのを璂、ことりにあるのを璜。小璜。(『説文』)璂・佩刀飾也。(『玉篇』)璂・刀鼻。(『廣韻』)璂・刀上飾。(『集韻』)璂・刀鼻。(『類篇』)璂・刀上飾。(『正字通』)璂・刀鼻。(『康熙字典

琮、璠玉、大八寸、似車釭、从人玉宗聲。繁傳）象車釭者、謂其狀、外圜而中空也。④天地四方之神。以黃琮禮地。以蒼璧禮天。以黃琮禮地。⑤諸侯之玉。享時用琮。享后用璧。夫人用璋。享用璋。享時用琮。享后用璧。享時用璋。享時用琮。享時用璧。夫人用璋。享用璋。天地配合之象。●**半分の璧**。〔集韻〕琮、半璧也。●**えびすのみさま**。琮神（之を見よ）。●**姓**。〔通志、氏族略〕宋金科、琮師古、開封人。

【琮花】〔宋韻〕琮花。琮師古、開封人。

【琮琮】〔集韻〕琮琮、玉聲。

【琮璜】〔集韻〕琮璜、玉聲。

【琮琮】〔集韻〕琮琮、玉聲。

【琮琮】〔集韻〕琮琮、玉聲。

【琮琮】〔集韻〕琮琮

略は類書類に入れてある。(古逸叢書、第三十二冊)

【琲】21075

㊀ハイ（集韻）都回切 匯
㊁ハイ（集韻）蒲回切 隊

琲 ❶ 珠を貫いて作った飾。(集韻)琲、珠百枚を貫いたもの。(説文新附)琲、珠五百枚也。从玉非聲。(玉篇)琲、珠一貫爲之。琲。(左思、吳都賦)琲、珠璣屬。(注)引曰、琲十貫爲之。琲。❷ つらなく。(左思、吳都賦)琲、珠璣屬。(注)引曰、琲、或書作蕾。

【琲】21076

ハイ　琲 或書作蕾。

【琳】21077

リン（集韻）力尋切 侵

琳 ❶ 美玉の名。(説文)琳、美玉也。从玉林聲。(廣韻)琳、美玉也。(書、禹貢)厥貢惟球琳琅玕。(傳)球、琳、皆玉名。(漢書、司馬相如傳上)琳碧昆吾。(注)張揖曰、琳、美玉也。(説文)琳、桂(注)上林賦、玫瑰碧琳、西都賦、琳珉青雘、鹽賦、琳、色青似蒼也。❷ 玉の鳴る音。(荀爽、記一)琳鳴、去(長安)九千里、生之玉樂李、色如三碧王。❸ 古、玲(7－25872)に作る。(集韻)琳、古作玲。

【琳】21077

リン（集韻）郎針切 侵

琳 ❶ 美玉の名。(説文)琳、美玉也。从玉林聲。(廣韻)琳、美玉也。(書、禹貢)厥貢惟球琳琅玕。(傳)球、琳、皆玉名。(漢書、司馬相如傳上)琳碧昆吾。(注)張揖曰、琳、美玉也。(説文)琳、桂(注)上林賦、玫瑰碧琳、西都賦、琳珉青雘、鹽賦、琳、色青似蒼也。❷ 玉の鳴る音。(荀爽、記一)琳鳴、去(長安)九千里、生之玉樂李、色如三碧王。❸ 古、玲(7－25872)に作る。

【琳枝】21077　清、袁枚先(6－14459－15254)の字。清、李森先(6－14459－15254)の字。(清、周夢顏、昭斉元年)元年、穿琳池、琳池、池の名。(三輔黃圖)四池沼)琳池、昭斉元年、穿琳池、廣十步、池南起、桂臺以望遠。

【琳宇】21077　中、華帖式より盛京將軍となり、嘉慶中、協辦大學士、總部尚書に至る。(國朝宮史續編)徵、三十三)(國史列傳、第十二)。

【琳琅】21077　美しい石。琳、琅。(司馬相如、子虛賦)其石則礝玟瑰、琳珉昆吾。(注)郭璞曰、琳、琅、皆美石名。(注)晉曰、張揖曰、琳、琅、珉、瑾者、石之次、玉也。

【琳瑾】21077　美しい石。琳、琅。(司馬相如、子虛賦)其石則礝玟瑰、琳珉昆吾。(注)郭璞曰、琳、琅、皆美石名。(注)晉曰、張揖曰、琳、琅、珉、瑾者、石之次、玉也。

【琳璆】21077　美しい石。琳、琅。(司馬相如、子虛賦)其石則礝玟瑰、琳珉昆吾。(注)郭璞曰、琳、琅、皆美石名。(注)晉曰、張揖曰、琳、琅、珉、璆者、石之次、玉也。

【琳瑯】21077　美しい石。琳、琅。(司馬相如、子虛賦)其石則礝玟瑰、琳珉昆吾。(注)郭璞曰、琳、琅、皆美石名。(注)晉曰、張揖曰、琳、琅、珉、瑯者、石之次、玉也。

【琳宮】21077　清、袁枚先(6－14459－15254)の字。(清、周夢顏、昭斉元年)元年、穿琳池、琳池、池の名。(三輔黃圖)四池沼)琳池、昭斉元年、穿琳池、廣十步、池南起、桂臺以望遠。

【琳宮】21077　中、華帖式より盛京將軍となり、嘉慶中、協辦大學士、總部尚書に至る。(國朝宮史續編)徵、三十三)(國史列傳、第十二)。

【琳琳】21077　美しい石。琳、琅。(司馬相如、子虛賦)其石則礝玟瑰、琳珉昆吾。(注)郭璞曰、琳、琅、皆美石名。(注)晉曰、張揖曰、琳、琅、珉、瑯者、石之次、玉也。

【琳瑯】21077　美しい石。琳、琅。(司馬相如、子虛賦)其石則礝玟瑰、琳珉昆吾。(注)郭璞曰、琳、琅、皆美石名。(注)晉曰、張揖曰、琳、琅、珉、瑯者、石之次、玉也。

【琳瑯宮】21077　清、胡季堂の字。(清、胡季堂、乾隆)三十六年、(清、李)、(清、胡季堂、乾隆)三十六年、(清、李)、(清、胡季堂、乾隆)三十六年、(清、李)、

三尺六寸、廣六六寸、上圓、下方、內部は空虛、四隅、短い脚を附し、龍池・鳳沼の二孔を穿つ。上古は五絃、其の他、胴の長短・形狀・絃数等に種々の別がある。(→琴)

琴（部分）

【字義】琴。『正字通』琴。『說文』琴。琴の字。

【琴作】琴作。『說文』琴。

【琴制】琴制。『後漢書』馬融傳、『文選』琴賦。

【琴瑟】琴瑟。『詩』周南、關雎。『書』益稷。『周禮』大司樂。『論語』陽貨。『後漢書』馬融傳。

【琴操】琴操。『後漢書』馬融傳。

【琴弦】琴弦。『後漢書』馬融傳。

【琴徽】琴徽。『後漢書』馬融傳。

【琴柱】琴柱。『後漢書』馬融傳。

【琴軫】琴軫。『後漢書』馬融傳。

【琴鳳】琴鳳。『後漢書』馬融傳。

【琴龍】琴龍。『後漢書』馬融傳。

【琴瑟】琴瑟。『後漢書』馬融傳。

【琴書】琴書。『後漢書』馬融傳。

【琴心】琴心。『後漢書』馬融傳。

【琴操】琴操

玉部（八畫）琴

赤縣、而見、其弟子既之。

【琴鶴】[illegible]。琴鶴、其古岡少士の號。[illegible]。

【琴瑟】[illegible]。琴瑟、[illegible]。

【琴棋】[illegible]。琴棋、[illegible]。

【琴書】[illegible]。琴書、[illegible]。

【琴】[illegible]。琴、[illegible]。

【琴】[illegible]。琴、[illegible]。

【琴】[illegible]。琴

不聞。

【琴駕】㋐琴の名手。師曠をいう。(『淮南子』俶真)

【琴瑟】琴。琴は最背秋涉冬、瑟は春鼓夏歌。(『淮南子』天文訓)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周南・関雎)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・鹿鳴)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・常棣)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・伐木)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・湛露)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・彤弓)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・鼓鐘)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・巧言)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・巷伯)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・白駒)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・何人斯)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・楚茨)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・信南山)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・甫田)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・大田)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・瞻彼洛矣)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・裳裳者華)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・桑扈)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・鴛鴦)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・頍弁)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・車舝)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・瓠葉)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・采綠)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・黍苗)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・隰桑)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・白華)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・綿蠻)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・瓠葉)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・渐渐之石)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・苕之華)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』小雅・何草不黄)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・文王)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・大明)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・緜)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・棫樸)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・旱麓)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・思齊)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・皇矣)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・靈臺)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・下武)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・文王有聲)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・生民)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・行葦)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・既醉)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・鳧鷖)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・假樂)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・公劉)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・泂酌)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・卷阿)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・板)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・桑柔)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・雲漢)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・崧高)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・烝民)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・韓奕)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・江漢)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・常武)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・瞻卬)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』大雅・召旻)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・清廟)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・維天之命)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・維清)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・烈文)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・天作)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・昊天有成命)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・我將)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・時邁)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・執競)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・思文)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・臣工)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・噫嘻)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・振鷺)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・豐年)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・有瞽)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・潛)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・雝)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・載見)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・有客)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・武)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・閔予小子)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・訪落)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・敬之)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・小毖)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・載芟)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・良耜)

【琴瑟】琴。琴は琴と瑟。(『詩』周頌・丰年

ふ。(高麗、琴賢)。宅子錢。出草父。彈唱琴。身不下。(宋書、琴心)。高道。宮子琴。(李白、雜從軍戰)。邦伯德。(後漢書、馬援傳)。琴堂。(李白、雜從軍戰)。周琴。(後漢書、馬援傳)。琴瑟。(東周物。(宋書、周府起居注)。琴水。詩、到此安。(魏徳)。琴堂。(唐書、唐故太師、琴水。詩、到此安。(魏徳)。琴堂。

【琴】(未。韓愈10・4・3159・1262)の號。琴。(宋、郭知達、彭祖頤編、元豐改補。經史の故事の出典に関するものを採り、傍らに由来を示して下典を開導したもの。(四庫提要、子、雜家)。

【琴道】(ゴン・ダウ)。琴で樂を奏する。(ゴン)。琴の道。(唐、成玄英、莊子、齊物論、注)。

【琴瑟】(ゴン・シツ)。琴と瑟。琴と瑟とが音を合わせる。(詩、小雅、鹿鳴)。琴の音に喩えて、夫婦の和合をいう。(「琴の和合」)。(「琴の和合」)。(「琴の和合」)

く桷の木を刻つて作り、桷は茹子形、柱は平らに作り、面を彫り、四柱四柱、全長十四尺、八尺を立て、柱を彫り、人物を彫り、鳥獣を彫り、四柱、時に五柱、八尺ノ丈至

琵琶 正倉院

か、西域を経て、伎楽は、奈良時代に来た。現郷代前期、奈二十七弾法の既見の、種名、樂楽器、批琵、長六尺寸、法天地人興、五行四音、琵琶、長六尺寸、琵琶、全長行五尺

其形似琵琶。

【琵琶】ピ ハ（集韻）蒲巴切 ㊀ 奇の名。江西省九江縣の西、大江の東、唐の白樂天が琵琶行を作った古蹟。因つてなづくるなり。

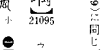
【琵琶】ピ ハ（集韻）蒲巴切 ㊀ 樂器の名。琵琶弾、卵ち鎖骨を用ゆ。江南浜州、海歌日、開元天宝樂舞、琵琶弾始に江南浜州に出づ。（長恨歌）張愛愛弾始に江南浜州に出づ。（琵琶行）琵琶弾、卵ち鎖骨を用ゆ。同行新司馬

【璃】21094 ラツ ラチ (集韻)郎達切 圖

玉の名。(説文)璃、玉也。从王、栗聲。●琢(7・20998)に璃(7・21339)に同じ。(集韻)璃、或省。亦从糾。

【瑀】21095 ウ (集韻)王矜切 麌 ユウ

●石の玉に次ぐもの。(説文)瑀、石之次、玉者。从王禹聲。●および玉の一。形と衝牙との中間にあるもの。傳[1・538]を見よ。(説文)瑀、段注、鄭風傳曰、云云、佩者瑀璜所以納間者。納間、上珩下璜衝牙之中也。(後漢書)輿服志下、王者明堂祭、乃爲大佩。衝牙雙璜璜、皆以白玉。



【瑁】21096 ボウ モク (集韻)莫報切 號 ボウ マイ (集韻)莫代切 代

●瑞玉の名。天子が諸侯の來朝した時に其のさし出す主の上に刻して合せて見る玉。方四寸、下部を斜に刻して、其の瑞與長短總べて主の上部の如くし、其の凹みが主の上部の失った所に合ふやうに作る。(説文)瑁、諸侯執主朝見、以冒之。(儀禮)覲禮、諸侯執圭、天子執璋、(説文)璋、天子天子執瑁、四寸、从王冒、冒亦聲。(段注)冒者、冒也、冒、德能覆、蓋天下也。故書大傳曰、古者圭必有冒、不敢專達也。天子天子執瑁以朝、諸侯、見則覆之、故冒、主者、天子所執、諸侯、爲瑞也。諸侯執瑁注作、瑁、(正字通)瑁、體、諸侯執瑁、所以象主、以朝、秩天子、云云、禁冠、瑁、(説文)瑁、冒也、从王、冒聲。瑁、冒、(集韻)瑁、或省。●瑞璋は、瑞の方四寸、其下亦邪刻之。(周禮)典瑞、如圭、諸侯執瑞

如龜生海中、大者如蓋、年百有一換、鱗鬣、能知風雨、故其所作、能知風雨。璆琳璆琳、璆琳、鈴つたむしろ。唐太宗希意篇、「璆琳鈴珮、芬芳相聞。」（白居易、酒詩）

待・刻璥。●璥(7－21326)に同じ。(集韻)璥、或从鬲。(字鑑)璥、文飾のある玉の名。玉に時する時用ひる。(周禮・考工記・玉人)璥未達、璥八寸、璧・琮八寸、以規・璜。(注)璥、文飾也。(疏)此謂上公之臣執以規・璜用。寸・璥・琮各不及后也。(禮記・玉藻)天子以玉・璜・琮・璜・璜・璜

壽〉列張不列瑕〉【瑕】玉色也。

【瑕蠙】ㄒㄧㄚˊ ㄆㄧˊ 玉色。〈左氏〉十五、山海經西山經注瑕蠙〉郭〈注〉〈圖〉赤蛇也。雌美之名。〈左氏〉瑕蠙、〈後漢書〉宣酒賦〉瑕蠙鏤金之觴。〈論衡〉自紀〉通人遠舊、文無瑕蠙。〈漢書〉〈郊祀志〉如玉、瑕〉其心性溫潤其如玉、無〉有瑕惡之〉

【瑕尤】ㄒㄧㄚˊ ㄧㄡˊ 缺點〉ㄅㄧㄢˋ 過錯〉ㄅㄧㄢˋ 罪惡〉ㄅㄧㄢˋ 過失〉ㄅㄧㄢˋ 錯誤〉ㄅㄧㄢˋ 錯誤〉ㄅㄧㄢˋ 錯誤

環 [小] 〔二三〕●璧の一。孔の直径が邊肉ひとし。(説文)環、大璧。人君上除陛以相引。从ひ王。爰聲。(爾雅)肉倍好謂之璧。好倍肉謂之環。肉好若一謂之瑗。好若一、肉外若一、大瑗。●玉の名。〔玉篇〕環、玉名。●および玉の名。〔爾雅、釋器〕肉倍好謂之環。(郭璞注)璧、玉名。●璧の一種。〔周禮、玉人〕環、肉好若一。(鄭玄注)璧、肉好若一。

瑗 21125 タン 〔集韻〕況老切 [換] ㄏㄨㄢˋ huàn

環の倍。〔集韻〕環、或作瑗。

瑯 21124 ヤ 環の同字。

環(7・2109B)に同じ。(字鑑)

璨 21123 キョ 〔集韻〕下於切 [魚] ㄒㄩˋ xù

えびすの可わ 環の一種。環(7・21271)に通ず。〔集韻〕環、玩貴耳、或作璨。環。

瑚 21126 ゴ 〔集韻〕洪切 [虞] ㄏㄨˋ hù

●瑪瑙は、寶石の名。めなう。〔詩、會風〕瑚一日、此寶色如三脣、因以爲名。(正字通)瑪、瑙、瑪瑙、增韻、玉屬。文理交錯似馬腦、因以名之。●瑚(7・20979)に同じ。(集韻)瑚、或作瑚。〔集韻〕瑚、亦作瑚。●瑚(8・24350)に同じ。(集韻)瑚、或作瑚。〔後漢書、南蠻西南夷傳〕(永平)十年、(哀牢)王柳貴、(哀牢)王唐菆、(哀牢)王類牧、(哀牢)王賞等、(哀牢)王雲、(哀牢)王唐喜、(哀牢)王唐闓、(哀牢)王唐菆、(哀牢)王唐鬼、(哀牢)王唐

瑛 21127

ヨウ（集韻）羊朱切　ヨウ（集韻）羊益切

テル。アキラ。美しい。玉のやうに美しい德を具た人の號。（晉傳）平陽公主謂。於後終主。

瑛瑩 玉質。

瑛瑩 水晶の作つた佩玉。（古鑑歌）冠纓垂一明璫。敬夜珍瑛瑩。

瑛瑩 ［清］清潔。正色

【瑞雨】ずいう　めでたい雨。(南史・梁西園)「人同中書雖雨、殿前往有雙色寶珠(武武殿)之異、喜雨詩」昭陽殿賛上、皇帝(張九齢・和・張説)「瑞雨詩」

【瑞雲】ずいうん　(宋書・礼志)「瑞雲、(宋書・礼志)「瑞雲、(宋書・礼志)「瑞雲、

地理志）江西郡吉陳州、縣二（地名）。

〔瑞金叙〕[illegible]。果實の名。金根。

〔瑞金叙〕[illegible]。果實の名。金根。

〔瑞〕[illegible]。同上。〔周官・典瑞〕瑞鳥（G8）に同じ。〔周官・典瑞〕瑞節（相符の瑞節）。〔周官・典瑞〕瑞璧（玉璧）。〔周官・典瑞〕瑞玉（玉璧）。〔周官・典瑞〕瑞圭（玉璧）。〔周官・典瑞〕瑞璋（玉璧）。〔周官・典瑞〕瑞璜（玉璧）。〔周官・典瑞〕瑞璧（玉璧）。〔周官・典瑞〕瑞琮

瑞 瑞璽國印 ●（漢書）武帝紀、我が國の異稱。（日本書紀、神代紀下）數日、是若子孫之王、宜御豆葉瑞穂國。是若子孫可王之地也。宜御豆葉瑞穂而治焉。行矣。寶祚之隆、當與天壤無窮者矣。

瑞生 ●（漢書）天文志、瑞生、（注）師古曰、瑞、祥也。

瑞西 ●（清、劉鶚撰）（老殘遊記）第二回、（注）師古曰、瑞、祥也。

瑞典 ●（清、劉鶚撰）（老殘遊記）第二回、（注）師古曰、瑞、祥也。

瑞國 ●（清、劉鶚撰）（老殘遊記）第二回、（注）師古曰、瑞、祥也。

瑞士 ●（清、劉鶚撰）（老殘遊記）第二回

產瑞美。◎四川省簡州西南二三鎮間の内。銅はしと鼎氏の故地で、鼎紋が二個を鑄つて、多く植またが其の西池は後漢瑞産を産ずる。

瑞（ジュイ）[ㄖㄨㄟˋ] [ruei4] [jui] [ruei] [ruei] [ruei

瑟箱。●ナシ。字鏡。●清。朝鮮雅(3・62032・147)。

瑟汨 ナシ。風の聲。●『説文』。

瑟瑟 ナシ。風の聲。●『説文』。

瑟瑟 ナシ。瑟は同じく「才勃」を刺。

瑟瑟 ナシ。瑟の音は瑟の「瑟瑟」

の後漢書が初唐までに失われたのであるから、[illegible]同
[illegible]瑒[illegible]字は、[illegible]の[illegible]
の様な者、[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

さま。斯鮮 釋訓 俎豆 瑣瑣 小也。(注)砦才器 細屑。易 旅 初六 旅瑣瑣 斯其所 取災 (釋 詁 瑣 瑣 瑣

【瑤】ようゆ　美しい玉。瑤美に同じ。花瑤集北氏（注）陳沙後峰、侯枝神、補説、（説文）玉部。（奥全前、（後玉印）詩瑤美家對誠、瑤、瑤帶宜

【瑤圃】ようほ　清（徐陵）4・100/10・2130の子。人興（徐陵）詩、瑤華玉樹如年（左氏、昭・七）参照

【瑤階】ようかい　瑤華玉樹如年（左氏、昭・七）参照美しい階段。王をもりばめた階段。以前（劉勰）詩、以振花光（詩集、広説、七夕詩）西（梁）陳沙後峰、侯枝神、補説、（説文）玉部。（奥全前、（後玉印）詩瑤美家、（説文）玉部。（説文）玉部。（説文）玉部。

【瑤圃】ようほ　珍しい手紙。美しい手紙。又、他詩（注）瑤山真珠在、妖姿絶倫、

【瑤函】ようかん　書物を納める函。（説文）函、（説文）函、（説文）函、

義 廻・辛・遠・上・沓・合・百・詩・西・至・江・山・林・陵・陪・陸・陽・陰・陛・陟・陵・陶・陳・陳・陳

【瑤】ヨウ　清・戴侗『六書故』(7-1188B・2212)の字。
【瑤】ヨウ　玉のやうに美しいむしろ。瑤瑟。
【瑤】ヨウ　道教語。天霞宮。『楊慎詞品』瑤瑟。小知。
【瑤】ヨウ　巫をいふ。『楊慎詞品』瑤瑟。小知。
【瑤】ヨウ　瑤玉で飾った風相。『瑤琴をいふ。
【瑤】ヨウ　『説文』瑤玉。『後漢書』(注)司馬彪『瑤琴をいふ。
【瑤】ヨウ　『説文』瑤玉。『後漢書』(注)司馬彪『瑤琴をいふ。
【瑤】ヨウ　美しい玉。『後漢書』日出東南隅行。
【瑤】ヨウ　金金瑤。『後漢書』『瑤琴をいふ。
【瑤】ヨウ　玉で飾ったとびら。『書』旋璣。『詩』『瑤琴をいふ。
【瑤】ヨウ　玉の袍。『後漢書』『瑤琴をいふ。
【瑤】ヨウ　『説文』『瑤琴をいふ。
【瑤】ヨウ　『説文』『瑤琴をいふ。
【瑤】ヨウ　明・『駢語』仁和の人。(11-1[illegible]5647・4)
【瑤】ヨウ　明・『駢語』仁和の人。(11-1[illegible]5647・4)
【瑤】ヨウ　玉のかめ。(王叔水『詩』)
【瑤】ヨウ　●玉の類。(山海經『大荒經』有沃民。『後漢書』『瑤琴をいふ。
【瑤】ヨウ　●玉の袍。(

寶說閣。

【瑩況】ㄧㄥˊ ㄎㄨㄤˋ。●ㄅㄧㄥˋ ㄎㄨㄤˋ。光潤。唐韻。瑩況。●ㄅㄧㄥˋ ㄎㄨㄤˋ。光潤。唐韻。瑩況。

【瑩徑】ㄧㄥˊ ㄐㄧㄥˋ。●ㄅㄧㄥˋ ㄐㄧㄥˋ。光潤。唐韻。瑩徑。

【瑩明】ㄧㄥˊ ㄇㄧㄥˊ。●ㄅㄧㄥˋ ㄇㄧㄥˊ。光潤。唐韻。瑩明。

【瑩潤】ㄧㄥˊ ㄖㄨㄣˋ。●ㄅㄧㄥˋ ㄖㄨㄣˋ。光潤。唐韻。瑩潤。

【瑩潤如脩】ㄧㄥˊ ㄖㄨㄣˋ ㄖㄨˊ ㄒㄧㄡ。五色花紋。

【瑩潤如脩】ㄧㄥˊ ㄖㄨㄣˋ ㄖㄨˊ ㄒㄧㄡ。清。清洲人。南唐畫院學生。性嗜學。詩思敏。字仲郢。著有瑩潤集。大足。代。

【瑩瑩】ㄧㄥˊ ㄧㄥˊ。●ㄅㄧㄥˋ ㄧㄥˋ。瑩瑩。●ㄅㄧㄥˋ ㄧㄥˋ。瑩瑩

瑢 21157 タウ（集韻）徒刀切 豪

●美玉の名。（廣韻）瑢、玉名。（集韻）瑢、美玉。●玉で飾った劍（集韻）瑢、一曰、玉飾劍。●或は璧（7－21158）に作る。（川篇）璧、同。瑢。

璧 21158 ヒキ（集韻）蒲逼切 職 ヒキ（集韻）蒲逼切 職

曰璧（7－21309）に同じ。曰タウ（龍龕手鏡）璧、曰瑢（7－21157）に同じ。（川篇）璧、同。瑢。

璜 21159 ハウ バウ（集韻）運光切 陽

瑢璜は、玉の名。（集韻）璜、瑢璜、玉名。

璙 21160 リウ ル（集韻）力光切 无

●冠の左かざり。冕の前後に垂れ下げる珠玉飾。（說文）璙、冕玉也、冕の上、从王流聲。●はたあし。旗の幅身に垂れ下げる飾。「正字通」璙、旗之垂者。（呂覽、總忠五）魂車、鸞輅朱羽蓋、翼四馬、旗九璙。●美しい金。又、餘 111－407 参。●通して旒（6－13675）に作る。（說文、璙、段注）按、弁部作「旒、玉藻八璙」、旒、皆璙之假借字。（集韻）璙、通作旒。●通して旒（6－17431）に作る。（說文、璙、上注）又案、襄十四年傳、君若以羈紲、釋文、一本作鞶旒、是借、旒爲璙也。

参考 此の字、正しくは璙に作りも書、康熙字典璙に作り玉部に入れるは非。今、姑らく舊に仍つて此處に入れる。（正字通）璙、譌作璙、附十一畫非。

瑭 21161 タウ（集韻）徒郎切 陽 タウ（集韻）徒郎切 陽

瑭瑭は、玉の名。（集韻）瑭、博雅、瑭瑭、玉也。（廣韻）瑭、玉名。

璃 21162 リウ（集韻）力久切 有 リチ

璃小 玉の列なって美しいさま。もと璃、本作、璃。（說文）璃、玉英華離列秩秩、从王彖聲、逸論語曰、玉粲之瑳兮、其璃猛也。

瑯 21163 ラウ（集韻）魯當切 陽

●瑯琊は、郡名。（玉篇）瑯琊、郡名。●瑯琊は、地名。其の事は不詳。（廣韻）瑯琊、琅邪、郡名。（谷作）瑯琊。（正作）琅琊。（說文）瑯、琅邪、郡名。（谷作）瑯琊。

参考 熱鞏は瑯（7－21013）を倒せば見よ。瑯琊は瑯（7－21013）の俗字。（玉篇）瑯、正作琅。

瑯琊 瑯琊は、地名。其の事は不詳。（廣韻）瑯琊、琅邪、地名。（谷作）瑯琊

因之所感發也(注)而已。瑰、大。璘、美也。

【瑰偉】ｸｲｲ すぐれて大きい。珍奇。偉は、に瑰を作る。(史記)司馬相如傳(服虔注)瑰偉、異方殊類。(漢書)揚雄傳(顔師古注)瑰偉、奇異也。(文選)上林賦(郭璞注)瑰偉、奇異也。

【瑰瑋】ｸｲｲ ●すぐれて珍奇なこと。瑰瑋、瑋は、玉の美しい。(荀子)天論篇、瑰瑋而不用。(管子)君臣篇、瑰瑋也。(楚辭)九章、懷沙篇(王逸注)瑰瑋、美好也。(呂氏春秋)知士篇(高誘注)瑰瑋、奇也。(後漢書)馬融傳(李賢注)瑰瑋、奇異也。(文選)西京賦(薛綜注)瑰瑋、奇異也。(後漢書)張衡傳(李賢注)瑰瑋、奇異也。(文選)東京賦(薛綜注)瑰瑋、奇異也。(後漢書)馬融傳(李賢注)瑰瑋、奇異也。(後漢書)張衡傳(李賢

ま。璋(8－23355)に通ず。〔說文通訓定聲〕其費。(注)璞。(郭璞、江賦)金精玉英璞。璞段借爲璋。(郭璞、江賦)金精玉英璞。他見反、蓋目、璞聲、讀。文(不相稱)也。❹いしずえ。柱下の石。礎。(8－23236)に通ず。(後漢書、班固傳)應、王以居礎、蔡、金壁以歸璋。(注)廣雅曰、璋、礎也。與礎通。❺或は顯(9－291 44)。顯(12－24528)。(集韻)曉に作る。(說文)璋、顯、瑾或从耳、从頁、亦作璞、鏧。〔集韻〕璋、于の軌。瑾王の名。六璋の一。もと鏞王に作る。(鏞王11－30144－3)を見よ。(周禮、秋官、小行人)璋、瑾王用(璋王)。(禮記、郊特牲)玉者、瑾王用(璋王)。(禮記、郊特牲)璋、瑾宜作鏞。

璋 21167 [二]ショウ [集韻]平平切 [國]くし たに ちゃ。

[三]サウ [集韻]蕭韻 [國]ショウ

[集韻]平聞切 [國]

璋 小 21168 [二]ショウ [集韻]蕭韻 [國]ショウ

[三]サウ [集韻]平聞切 [國]

[二]❶玉の鳴る音。[集韻]平聞切。(說文)璋、玉聲也。从王、音聲。詩曰、鞞琫有璋。(集韻)璋、聲也。(詩、小雅、采芑)有瑲蔽膝。(傳)璋、切聲也。❷樂の音。[集韻]璋、一曰、樂聲。(荀子、富國)管磬瑲瑲。●鈴の音。璋瑲。(詩、小雅、采芑)八鸞瑲瑲。(傳)瑲瑲、鞞聲也。(疏)瑲、鈴(11－40799)。鈴(8－21127)。鞞(11－40802)に作る。〔集韻〕璋、或作鞞。鈴、鈴、鈴、

【璫】21182 ジャウ 〔集韻〕辰羊切 陽

玉の名。〔集韻〕璫、玉名。

【瓊】21183 コン 〔集韻〕公凍切 元

美しい石。 瑆(7-21055)に同じ。〔說文〕瑆、石之美者。璟、瑆或从貧。〔書〕禹貢、璆、琳、琅玕。〔釋文〕璆、音巨。美石也。馬本作球。

（活動）玉方・璟鐵書上古

【瑾】21187 キン 〔集韻〕几隱切 欣 キン 〔集韻〕渠吝切 震 キン 〔集韻〕巨斯切 臣

璟 小 作る。正字通、璟、本作瑾。〔說文〕瑾、美玉也。从王堇聲。〔集韻〕璟、美玉。楚辭、九章、懷沙、懷瑾、握瑜兮。(注)瑾、美玉也。〔玉篇〕赤玉。

〔補〕我が國では瑾と璟とをきまぐれに用ひるか、元來、瑾にはその意はない。

〔瑾瑜〕〔左氏、哀十五年〕、〔說文〕瑾、瑾瑜、美玉也。〔左氏、哀十五年〕、山海經、西山經、西山經、而投之鍾山之陽。瑾瑜之玉爲上。堅者、精美者、光者、〔晉書〕、路温舒傳、桂者、懷瑾握瑜。〔顏氏家訓、省事〕、懷瑾握瑜、而擯棄德。〔懷瑾握瑜〕、……。瑾、瑜、共に美玉。美德を抱持する喩。〔楚辭、九章、懷沙〕、懷瑾握瑜兮、穆眩以自鬻。〔王逸、注〕、懷、持美玉之德、無聞於世、以自鬻、賣也。〔補〕、無聞、通也。〔史記、屈原傳〕何故懷瑾握瑜而自令見。〔見〕、是脫。

【璱】21188 エイ 〔集韻〕璞美切 霽

●黒色の美石 〔警8-24442〕に同じ。〔集韻〕璱、美石黑色。或从生。●黒こはくの子。今を縊、瑛珉、璞珉、瑛石に見よ。(正字通)璱、黑玉。本草、珉珉、璱、狀如玄玉。李時、珉石、大如中指、水晶有、平玉鏡。郎璱也。

【瑤】21189 ヨウ 〔集韻〕遥都切 豪

〔補〕●玉の名。〔集韻〕瑤、玉名。〔山海經、西山經、不華之山、其陽多璿瑤之玉。(注)璿瑤、玉名。●縛(7-21210)に同じ。〔集韻〕瑤、或作璆。

【璩】21190 ト 編 瑴、同瑴。

【環】21191 クワン 環(7-21237)の俗字。(字鑑)環、俗瑴字。

【璨】21192 シツ 瑟(7-21288)に同じ。〔集韻〕瑟、或作璨。

【璀】21193 サイ 〔集韻〕取結切 ツメ ts'uei 賄

●璀璨は、玉の光。玉のつや。〔說文新附〕璀、璀璨、玉光也。从、玉崔聲。●物のさま。璀璨の子。〔玉篇〕璀、璀璨、玉光也。〔廣韻〕璀、玉名。〔集韻〕璀、美玉。〔楚辭、九章、懷沙〕、重華不可遭、孰知余之所臧。〔王逸、注〕、臧、藏也。〔補〕、臧、善也。〔文選、潘岳、西征賦〕、璀璨、玉名。〔文選、潘岳、西征賦〕、璀璨、玉名。〔文選、潘岳、西征賦〕、璀璨、玉名

【堪】21195 キ（集韻）渠之切 支 ギ

皮弁の飾り玉。皮弁の左右の結目に結び貫いた十二（廣韻）五采の飾り玉環（7・21303）に同じ。（玉篇）玉也。璂・璫・弁飾也。（注）行冠。玉也。璂・璫・蔽从基（周禮、夏官、弁師）王之皮弁、會五采玉璂、（注）玄謂、璂、讀如「海清基之基」。基、結也。皮弁之縫中、每縫、結五采玉十二、以爲「飾」。璂之基。

【璃】21196 リ（集韻）郎切 支 力

●琉璃は、珠の名。離（11・42140）に通ず。（集韻・韻會・博雅・玄應）璃、珠也。（正字通）璃、琉璃、西域傳作「流離」。（漢書、西域傳上、罽賓）（注）孟康曰、流離、青色如玉。師古曰、魏略云、大秦國出「赤白黑黃黃綠紺紅紫十種流離」。孟言「青色」、不「博通」也。●琉璃は、ガラス。（12・47994）に通ず。（廣韻）璃、又琉璃、亦西國寶、此云「水玉」。千年冰化、亦變爲璃。

【瑪】21197 ロク（集韻）莫卷切 獨

●玉に次いで美しい石。玲瑪も也。（玉篇）瑪、玲瑪也。（說文）瑪、玲瑪也。从王勉聲。（廣韻）瑪、美石次玉。●王の名。（玉篇）瑪、王名。●助（7・20831）に通じ、（玉篇）瑪、同・助。●勉（8・2386）に通ず。（說文）勉、柱注（或省作勉）山海經中山經、蔦山、其多玉瑪石。郭注、瑪石、勉石似玉也。

【璦】21198 ロク 獨 瑪（7・21197）に同じ。（集韻）璦、或書作瑪。

【璀】21199 エイ（集韻）於獨切 獨

玉の光。璀（7・21246）に同じ。（玉篇）璀、玉光彩。（集韻）璀、玉光也、或从竟。

【璨】21200 サン 璀（7・21270）の俗字。（正字通）璨、通俗字。

【璱】21201 ヨウ（集韻）羊朱切 魚 ユ

●玉に似た石。もと「璱（7・21300）」の俗字。（正字通）璱、本作璱。（說文）璱、石似玉者。从王敝聲。（注）璱、璱、或从竟。

【璩】21202 キ（集韻）渠朱切 魚 ク

玉の鳴る音。（說文）璩、玉聲也。●門に「璩」を設けて、君を敬するに直接にはいたらずして、君を敬するに直接にはいたらずして、君を敬するに直接にはいたらずして

璈 21203

璥 21204

璀 21205

璉 21206

璃 21207

【璊】21208 ボン 日 ボン 日 ブン （集韻）眞韻切 元 （集韻）模元切 元

璊 小篆 玟 或 日日 あかい。玉の赤い色。又、其の玉。或は玟。（7-20710）。玟（7-20695）に作る。（說文）璊、玉赤色也。从王薰聲。禾之赤苗、謂之穦。璊、玉赤色如之。玟、璊或从允。（集韻）璊、或从免。（詩、王風、大車）大車哼哼。毳衣如璊。（傳）璊、赤也。（集傳）璊、玉赤色。五色備則有赤。

【瓣】21209 ハン （集韻）通眞切 刪

まだら。ぶち。斑（5-13470）。辨（6-13485）に同じ。（集韻、韓、說文、駁文也、或作瓣。（正字通）璊、本作辨、亦作斑。

【璩】21210 ト （集韻）通魚切 魚

玉の名。璋（7-21190）に同じ。（集韻）璋、玉名、或作璩。

【璋】21211 シャウ （集韻）通良切 陽上 ZHANG

璋 ㊀璋玉の名。上端の一角から他つり尖らした玉器。三分した形にけひる時によって異なる。（說文）璋、剡上爲圭、半圭爲璋、璋、从王章聲。禮、六幣、圭以馬、璋以皮、璧以帛、琮以錦、璋以繢、繢璋以繡。（詩、小雅、斯干）載弄之璋。璋を以て柄としたりつて、祓の祭に用ひる。（詩、魯頌、閟宮）秬鬯一卣、告于文王、舉爾大白、以酒爲名、以秬爲鬯、白牡騂剛、以享以祀、周公之德、烝民之所。（傳）秬鬯、秬米之鬯也。王祭以圭璋、禮、王制、諸侯之祭、宗廟之中、以圭璋、諸侯之祭、宗伯、以玉作六器、以禮天地四方、云云、以赤璋、禮南方。（周禮、春官、大宗伯）以玉作六器、以禮天地四方、云云、以赤璋、禮南方。（周禮、春官、典瑞）凡祭、大神、則奉玉以涉、大祭、則奉玉以升、大喪、則奉玉以斂、大會、則奉玉以起、大朝覲、則奉玉以行、大軍、則奉玉以涖、大田、則奉玉以耕、大丧、則奉玉以下、大賓客、則奉玉以將、大祭、則奉玉以授、凡祭、玉有大小、各則其用、若有事于上公、則奉桓圭、若有事于侯伯、則奉信圭、若有事于子男、則奉穀璧、若有事于諸侯、則奉躬圭、若有事于天子、則奉鎮圭、若有事于大神、則奉大圭、若有事于大鬼、則奉致鬼之玉、若有事于大祟、則奉大圭、若有事于大丧、則奉大圭、若有事于大賓客、則奉大圭、若有事于大會、則奉大圭、若有事于大朝覲、則奉大圭、若有事于大軍、則奉大圭、若有事于大田

【璂】21223 ㊀シュウ（集韻）直尤切 𤣥 ㊁ユウ（集韻）以九切 𤣥

璂 小篆 璂 小篆 璂 古文 璂 籀文 璂 或从人 璂 或从玉

玉名。从上尋聲。（詩・小雅・都人士）充耳璂實。（傳）璂、美石也。●美しい。（廣雅・釋詁）璂、美也。●璂（7・21015）に同じ。（集韻）璂、或从人。

十二畫

【璗】21224 ㊀ディ（集韻）直禮切 𤣥 ㊁チョウ（集韻）直尤切 𤣥 ㊂エイ（集韻）于歲切 𤣥

璗 小篆 璗 古文 璗 籀文 璗 或从玉 璗 或从人

がしらの玉かざり。●鼎のつか。（説文）璗、鼎耳也。从玉尋聲。（段注）各本妄文皆無。今正。●衛（10・34074）に通す。（漢書・匈奴傳下）陛以冠帶、云云、玉具劍。（注）孟康曰、帶首鐶衝、盡用玉爲之也。師古曰、鐶、劍口旁橫出者也。衝、劍鼻也。（衛）字本作璗。●璗（7・21113）に通す。（漢書・許傳上）美玉可以滅惡、欲取其璗、璗、疑無用。（師）晉曰、璗、字本作璗、從王尋聲。轉寫者誤也。

【璐】21225 ㊀ロ（集韻）落故切 𤣥 カメ lu

璐 小篆 璐 籀文

美しい玉。（説文）璐、玉也。从王路聲。（玉篇・璐）美玉也。（楚辭・九章・涉江）被明月兮佩寶璐。（注）寶璐、美玉也。（謝惠連・雪賦）透似璐。（注）璐、美也。（荀子・法行）詩曰、惟仁者之行曰、璐、美也。（廣雅・釋地）璐瑛、玉也。（注）璐、美玉之名。（廣雅・釋詁）璐、美也。

【璃】21226 ㊀ブ（集韻）液夫切 𤣥

璃 小篆

●石の玉に次ぐもの。（説文）璃、石之美玉也。从王無聲。（段注）周禮故書璃玉三采、注曰、璃、惡玉名。杜子春、璃、惡玉者。亞次之玉也。古璃、亞字通。（廣雅）、玉類有璃、玉蔽筱、天子純玉、公四玉、石、侯二玉、二石。故書作璃、新書作珌、皆謂石之次、玉者。●璃（7・21104）に通す。（周禮・夏官・弁師）璂玉三采、注、故書、璂作璃。

【璂】21227 ㊀トウ（集韻）都穆切 𤣥

璂 小篆

玉に似た石。（説文）璂、石之似玉者。从王登聲。

璂（7・20917）の俗字。（説文）璂、通俗文無字。

【璥】21229 ㊀ソウ（集韻）苦鍾切 𤣥

璥 小篆

玉のさま。（集韻）璥、玉皃。

【璥】21230 ㊀ソウ（集韻）苦鍾切 𤣥

璥 小篆

玉に次ぐ美石。（字彙・心集）璥、美石次玉。

【璕】21231 ㊀ゾン（字彙・心集）𤣥

璕 小篆

玉名。（集韻）璕、玉名。

【璝】21232 ㊀サン（集韻）在禮切 𤣥

璝 小篆

玉の名。（集韻）璝、玉名。

【璞】21233 ㊀キョ（集韻）𤣥

璞 小篆

璞（7・21271）に同じ。（集韻）璞、或作璞。

【璋】21234 ㊀ヒツ ヒキ（集韻）逼密切 𤣥

璋 小篆

青白色の玉の笏。（玉篇・璋）青白玉皆也。（集韻）璋、玉笏。

【璨】21235 ㊀タウ ダウ（集韻）待朗切 𤣥

璨 小篆

●こがね。②金の色が殊に美しく、玉の色に似たもの。刀の飾色に用ひる。（説文）璨、金之美者、與玉同色、从玉粲聲。（禮記・檀弓）諸侯璨而環珌。（注）璨、飾刀。（周禮・考工記・鳧氏）璨之道、云云。（注）金之別名。●通して璀（7・21111）に作る。（集韻）璨、通作璀。

（説文）璨、黃金一作。（段注）璨、金之美者。（詩・小雅・瞻彼洛矣）韎韐有璨。（傳）璨、赤色也。（詩・魯頌・閟宮）朱英綠縢、二矛重弓。（箋）朱英、赤色。綠縢、所以縢弓。（疏）璨、赤色。（廣雅・釋器）璨、赤也。（楚辭・九歌・東君）瑤席兮玉瑱、盛不advertent兮璆鐘。（注）璨、赤也。（文選・張衡・西京賦）璨璀璨、璀璨璀璨。（注）綦曰、璨璀璨、璀璨璀璨。（注）綦曰、璨璀璨、璀璨璀璨。（注）綦曰、

璚 小 [□□□] ❶璚玉の名。[説文] 璚、玉也。从王瓊聲。[玄応] 璚、[正字通] 璚、案作璚。[説文] 璚、玉也。从王瓊聲。[段注] 璚、玉名。也。❷しろがね [説文] 銀、白金也。从王艮聲。[段注] 銀、白金也。[小雅] 白金、[釋名] 銀、有垠堮、傳、大夫錫璚瑰、[疏] 璚、[玉篇] 璚、好見。

璚 [説文] 璚、玉也。璚、璚或从瓊。❷老龍の角中に生ずる玉。[説文] 璚、老龍角中生玉、名曰龍璚。[

の（荘子、天下、天可以弱羊、釋文）周人謂、鼠腊者、亦曰璞、（後漢書、廉范傳）普鄭人以、鼠璞、為、璞、（後漢書、廉范傳）普

璞 21246 ①エイ ②ヨウ ③ヒツ ④ケイ（集韻）於璞切 ⑤ㄧㄥˋ ⑥ㄧㄥˋ

璟 21247 ハン（集韻）古岳切 ㄍㄨㄥˋ

璠 小 璠 璠與、魯之寶玉、（説文）璠、玉名、（字彙）孔子曰、美玉若璠、遠而望之、奐若也、近而視之、望若也、則理勝、二、則子勝、（陳雲、答顧秀才詩）有、愛若子、如、珪如、璠、璠、（文選、陸機、答賈長沙詩）孔子曰、美玉若璠、遠而望之、奐若也、近而視之、望若也、則理勝、二、則子勝、（後漢書、馮衍傳）孔子曰、美玉若璠、遠而望之、奐若也、近而視之、望若也、則理勝、二、則子勝、（後注、又名本作璠、璠、今依、太平御覽所引作、璠、法言作璠、璠、璠、

己鈺。採(圖解)韓(遊)璣(鈺)璣(鈺)志旨氏(沈)。

軸八經。

【璣】21254 レキ リキ (集韻)琰狄切 璣

●玉の名。(集韻)璣、玉名。●璣(7・21279)の俗字。(正字通)璣、璣俗字。

【璨】21255 セン 璨(7・21311)の古字。(正字通)璨、古文璨。

【璨】21256 クワン 璨(7・21109)に同じ。(字彙補)璨、與璨同。

【璩】21257 シュク 璩(7・21304)の本字。(康熙字典)璩、說文璩本字。

【璫】21258 シュク 璫(7・21304)の古字。(篇海)璫、古文作璫。

【璫】21259 シュク 璫(7・21304)に同じ。(集韻)璫、璫作璫。

【璫】21260 音未詳 人名。(字彙補)璫、音未詳。(宋史新編)璫、開祖時、授西南蠻龍漢英等進奉官、封蜀化王。

【璫】21261 セン 璫(7・21311)の古字。(集韻)璫、古作璫。

(編考) 字形、正しくは璫に作るべきである。(集韻)考正璫、璫當作璫。

【璘】21262 カン カン (字彙補)戶般切 璘

玉の色。(字彙補)璘、玉色也。

【瑛】21263 ケウ (川篇)吉曉切 瑛

玉の名。(字彙補)瑛、玉也。

【瑠】21264 キン 琴(7・21079)に同じ。(玉篇)瑛、同琴。

【璃】21265 イウ 璃(7・21314)に同じ。(集韻)璃、或从鹵。

【瑰】21268 クワイ ヒヤク (集韻)必至切 クヮイ pi.

瑰(7・21336)に同じ。(字彙)瑰、同瑰。

【璧】21269 ヘキ ヒヤク (集韻)必至切 ヘキ pi.

●璧玉の名。形平圓で中央に圓孔あり。外邊の幅が内孔の半徑の倍あるもの。(說文)璧、瑞玉、圜也、从玉辟聲。(爾雅・釋器)肉倍、好謂之璧。(周禮・春官、大宗伯)以蒼璧禮天。注璧、圓象天。(爾雅・釋器)璧、天。注璧圓象天。◎長方形の玉。長さ八寸、幅八寸。天子が執つて尺度の基本とするもの。璧羨(3a)を見よ。(周禮・春官・典瑞)璧羨以起。度。(注)玄謂、羨、不圓之稱、蓋度徑八寸者。(同)璧羨之度、一尺。(注)璧本徑九寸、今言一尺、以益之上下。(同)璧羨度尺、好三寸。以鎮。度。(注)玄謂、羨、猶延、其表一尺而廣狹焉。◎諸侯が天子を享する時に用ひるもの。周禮、秋官、小行人。璧以帛。(注)五等諸侯享天子、各以方色帛。(同)璧、來帛加璧。(儀禮・聘禮)束帛加璧。(注)若享用璧。◎諸侯。(儀禮・聘禮)束帛加璧。(注)若享用璧。◎子男の諸侯が執るもの。大きさ中國の尺六寸。(爾雅・釋器)璧大六寸。(禮記・郊特牲)子男所執者也。◎貴しい玉。(班固、西都賦)義、金璧、以飾、周禮、秋官、小行人。璧以帛。(注)五等諸侯享天子、各以方色帛。(同)束帛加璧。(注)若享用璧。◎玉のやうな。美しいものの喩。(世說新語、容止、注)玠別傳曰、云云。璧、美白羊車於洛陽市上。誠曰、誰家璧人。◎璧む。(白虎通、文質)璧之爲言、積也。◎ひむ。(白虎通、文質)璧之爲言、積也。◎璧。(說文通訓定聲)璧、假借爲辟。(注南子、覽冥訓)璧無辟。◎かべ。璧(8a・5516)に通ず。(說文通訓定聲)璧、假借爲壁。(後漢書、光武十王、項羽孝王京傳)駿館璧帶。(注)璧帶、璧中横木也。◎むねうつ。璧(6a・12834)に通ず。(說文通訓定聲)璧、假借爲鏡。

【璧】22269 小篆

(圖解)璧

【璘】21266 ロウイ キヤウ (集韻)軍影切 ロウイ キヤウ (集韻)居慶切

日璘 王敬璧。(集韻)璘、玉名。

十三畫

【瑗】21267 アイ (集韻)必代切 アイ pi.

●美しい玉。(集韻)瑗、美玉。●璧環は、地名。瑗(4a・10547)に通ず。(中華大字典)

解同力反。璧謂珠玉之一。〔注〕瑗、珪也。
璧、瑞玉名。〔注〕璧、瑞玉名。〔疏〕璧、瑞玉名。
璧、瑞玉名。〔疏〕璧、瑞玉名。
璧、瑞玉名。〔疏〕璧、瑞玉名。

【璧璨】[illegible] 明 寶金19・2373・(58)の略。
【璧璠】[illegible] 璧で飾った門。漢の武帝が築造し、[illegible]の正門をいう。
【璧門】[illegible] 璧で飾った門。漢の武帝が築造し、[illegible]の正門をいう。
【璧璘】[illegible] 璧で飾った門。漢の武帝が築造し、[illegible]の正門をいう。
【璧璪】[illegible] 璧で飾った門。漢の武帝が築造し、[illegible]の正門をいう。
【璧璫

璊 21275 スイ（王篇似睡切）㊀ ゼン（集韻旬官切）㊁

㊀玉の名。（玉篇）璊、玉名。㊁美玉の名。璊（7－21008）。璊（7－21311）に同じ。（集韻）璊、美玉也、或作璊。（正字通）璊、與璊同。●璊（7－21008）。璊（7－21328）の誤字。（正字通）

璥 21276 タウ（集韻都切）㊀

●みづだま。みづの。耳飾。（釋名、釋首飾）穿耳施珠曰璥。（釋名）璥、小名。釋首飾）。璥、此本出於蠻夷所為也。蠻蠻婦女、輕浮好淫、故以此璥、耳珠、生女也。（集韻）璥、作耳也。（玄詩、陽中唱妻、作）脫若、流鈴、流水、國璥、（集韻）璥、耳飾。

璩 21277 ケウ（集韻苦丁切）㊀

●玉のおびもの。（說文）璩、玉佩也。（集韻）璩、佩玉。●白色の玉石。璩、白石之白。（說文、璩、段注）璩之言、璩也、玉石之白曰璩。

璵 21278 コン（集韻元閑切）㊀

金玉をみがいて光らす。璵（7－21072）に同じ。（集韻）璵、治金玉使、璵曰璵、或从憲。

璧 21279 レキ リャク（集韻頑狄切）㊀

玉の名。もと、璧に作る。（正字通）璧、小篆作璧。（說文）璧、玉也、从王、璧聲、讀若璧。

璽 21280 レキ（集韻）璽（7－21279）に同じ。（正字通）璽、同璧。

瓊 21281 ヨウ（集韻）瓊（7－21356）に同じ。（集韻）瓊、或从璧。

璱 21282 タン（集韻）璱早切

玉の名。（集韻）璱、玉名。

璋 21283 リツ（集韻）璋本字。

璋（7－21062）の本字。（正字通）璋、璋本字。

璱 21284 ㊀クワイ（集韻）賣外切 ㊁エツ ㊂クワイ（集韻）苦夬切

㊀冠の縫目につける玉のかざり。（集韻）璱、玉飾、冠縫。㊁姓。（通志、氏族略）漢有璱錢。（廣韻）璱、姓也。

璱 21285 ケン（集韻）堂練切 ㊁テン（集韻）他典切

㊀玉の色。璇（7－21031）に同じ。（集韻）璇、玉色、或从縣。●或は瓛に作る。（正字通）璱、或作瓛。●みづだま。璹（7－21162）に同じ。（集韻）璹、說文、以一毛孔耳也、亦作瓛。㊁玉の名。璹（7－21056）に同じ。（集韻）璹、玉也、或从瓛。

璩 21286 カツ カチ（集韻）居曷切 ㊀

玉に似た石。（集韻）璩、石似玉。

環 21287 ㊀クワン（集韻）胡關切 ㊁ゲン ㊂クワン（集韻）胡慣切

㊀●たまき。瑞玉の名。圓形で中に圓孔あり、孔の半径と邊の幅との等しいもの。圓くて廻り無い意。又、轉るの意に象る。字もと環に作る。（正字通）環、本通作環。（說文）環、璧、肉好若一之瑗、从王、瞏聲。（段注）古者、瑗人以瑗、環、瑑玉也、郊注、經解曰、環、取其無窮也。（禮記、樂器）、肉孔若一、謂之環。（注）邊孔通等。（禮王藻）環

環尼家鎮車南指玉古
（讀圖玉古）

五寸。(注)環、取可佩而無齕。(補注)環、取可佩而無齕。(補注)環、取可佩而無齕。(補

一部分缺損之玉王環上佩珠（蕙蕙）無不疑璜。（又）（漢書賦）鉤、佩、環、珠、璣、瑰、琦、瑋、蕙、蘭之類。（注）璜、玉名。

【環璧】 ㄏㄨㄢˊ ㄅㄧˋ 環と璧。（史記）（呂后本紀）（漢書）（高后紀）（後漢書）（張衡傳）（後漢書）（馮魴傳）（後漢書）（馮魴傳）（後漢書）（馮魴

郎翼傳）涉歷典兆、環（緩軒録）（衛史、雄逸）、阮孝緒傳）所居以二畿林爲稱含以（掛環）、（魏書）、（陸機傳）陳州東郊手植竹掛環、（魏書）、（陸機傳）、（魏書）、（陸機傳）、（魏書）、（陸機傳）

環 [集韻]環，[類篇]環，[字彙]環，[正韻]環，[玉篇]環，[廣韻]環，[

玉部（十四書）璵璠璸璫璬璱璲璵璠璸璫璬璱璲璵璠璸璫璬璱璲

【璽書】ジショ 大夫・諸侯に封印を施した書類。秦漢以後、封じて朱の印を用いた。

【璽印】ジイン 天子の御印をおした天子の命令。又、天子の御印をおした文書。又、其の文様。

【璽綬】ジジュ 璽印を結ぶ紐。

【璽紀】ジキ 璽印。

【璽節】ジセツ 天子の御印をおした詔書。『唐書、

【璽節】ジセツ 天子の御印をおした詔書。『唐書、

【璽節】ジセツ 天子の御印をおした詔書。『唐書、

佩。璠玫。而組綬。(孫)璠玫、石次。玉者、殘、故士佩之。(集韻)璠、或从瓦。●璠(7－21108)に同じ。

【璠】 石ハン 玉ハン (集韻)元韻 (正字通)璠、璠・碩・碩同

英瓊瑩・瓊瑤・瓊琚・瓊玖・楷瓊・玉色之美。瓊瑰・瓊・非玉之名。詩・秦風・渭陽・瓊瑰玉佩。瓊・瓊者、玉之美名。非玉之名。(注)

(漢書・揚雄傳上)精瓊靡屑與秋菊・兮。(注)應劭曰・瓊・瓊玉華也。(博・注)蛇床・蛇床經曰・用十二・英・八月・六月・六月・所・擢頭・謂・先・發・鼓・瑾市皇・投・瓊。●方士が藥を作る材料。(黃庭經・惟行・九轉八環丹・(注)八環者・朱砂・雄黃・空青・硫黃・雲母・戎鹽・硝石・雄黃也。●井中の鬼の名。(西陽雜俎・諸草記上・井鬼名・瓊。●或は瑀(7・21239)・瑀(7・21355)に作る。(說文)・瑀・瓊或从禹。璵・瓊或从嶼。●或は琁(7・21208)・璇(7・21209)・璇(7・21311)に同じ。(集韻)・璇・說文・美玉也。或作・琁・璇。

(集韻)・瓊・瓜をいう。(詩・衛・木瓜)・投我以木瓜・報之以瓊琚・投・投・瓊・瓊琚・投・瓊・瓜・瓊・(詩・齊風・著)・瓊・瓜・瓊・(詩・齊風・著)・瓊・瓜・瓊・(詩・齊風・著)

瓊瑰玉佩。(傳)瓊瑰。石而次。玉者。(左氏)成。十七。初摯伯摯。迹。或與己瓊瑰食之。注而我以瓊瑰。摯伯摯。瓊瑰食之。(淮)淮南子。(注)瓊瑰。美玉。(高誘)瓊瑰。美玉。(淮)淮南子。瓊者言其美也。云云。杜云。瓊。玉也。瑰。珠也。形赤而石。(注)瓊瑰。美玉。(淮)淮南子。(注)瓊瑰。美玉。(淮)淮南子。(注)瓊瑰。美玉。(淮)淮南子

琥珀新伝説天変。**瓊**（ケイ）酒の名。李商隱、隋宮の蓮詩：「天香聚作瓊漿酒」（李商隱、隋宮の蓮詩）「天香聚作瓊漿酒」。**瓊**（ケイ）玉液瓊漿伝。書林（仙）。**瓊**（ケイ）仙人の食物。（『抱朴子』内篇、仙薬）「瓊液金漿、玉英琳液、是仙人之食也。」（『抱朴子』内篇、仙薬）**瓊**（ケイ）美玉。（『説文』）「瓊、亦美玉也。」（『説文』）**瓊**（ケイ）●星名の一。（『晉書』天文志）「瓊、一曰、天倉。」（『晉書』天文志）●玉のような美しい。杜甫、冬至の日、曲江に遊ぶ詩：「瓊蕊金盤俗眼花。」（杜甫、冬至の日、曲江に遊ぶ詩）**瓊**（ケイ）●美しいこと。（『拾遺記』後漢）「有人、年十五、…容貌美麗、…瓊姿玉質、…」（『拾遺記』後漢）**瓊**（ケイ）●美しいこと。

(21331)——(21340・3)
王部（十五—十六畫）璜 璧 璫 璩 璪 璪 璪

皇窓已有、識人知。

璀璨（ツイサン）。金玉の其、璀然（ツイゼン）。璀璨（ツイサン）。（法言、五百）璀璨（ツイサン）。其質者、其質玉手。（禰宗元、李紀）。冥有意水美者、璀璨無。（璀璨無）。

璀璨（ツイサン）。●乾燥するさま。（韓愈、感春詩）。

璀璨新繁（ツイサン）。●美しいさま。（孔衍、詩學、和得東・敦煌詩）。雪聲飛舞、車響輪（ツイサン）。●金玉の鳴れあい響。（閻尚、詩、詩、詩

瓘 小 21357 クワン（集韻）古玩切 𤦺

〈メヲ、kuan。

❶玉の名。（說文）瓘、玉也、从王雚聲。❷若敖氏、瓘王の名。（左氏、昭十七）若敖氏、瓘王環、鄢必不火。（注）瓘、玉也。

【瓘環】名詞 要求の環。（管子）瓘環の環は、索幾が供に齊郎を殺くしたので、時人が問答の「妙」と稱した故事。（呂覽）瓘環傳、瓘環問管仲、明智之愛、與尚書郎管仲、瓘環問供善集書、時人謂之「妙」。

瓘 小 21358 クワン（集韻）延鈞切 𤦺

玉の名。（玉篇）瓘、玉名。

瓔 21359 ヨウ ユウ（集韻）而由切 无

ヨウ（集韻）如招切 瓔

ゼウ（集韻）如招切 瓔

瓔 小 21360 ヨウ ノウ（五音集韻）奴刀切 瓔

玉の名。（五音集韻）瓔、玉名。

璀 21361 サン（集韻）子贊切 璀

サン（集韻）在思切 璀

〈ヲ、tsan。

璀 小 ❶璀瓚の名。溝のある圭、或は璋を柄とした柄杓で、五分の二が玉、五分の二が石である雜石を用ひて作る。祼祭の時、鬱鬯の酒を灌ぐに用ひてゐるものを圭璋、璋が圭の形になつてゐるものを璋といふ。（說文）璀、三石也。从王贊聲。璀、天子用全純玉也。上公用駁。四玉一石、侯用瑋、伯用琦。玉石半相雜也。（繫傳）璀、亦圭也。圭之狀、刻上頭銳之。于其首、爲句形。謂之璋。于其柄中、爲注水道。所以灌鬯酒云云。璋之言、贊也。贊、進也。以進于神也。（集韻）璀、贊也。贊、進也。以進于神也。（周禮）典瑞、（書、文侯之命序）王賜魯侯伯秬鬯一卣、（傳）以圭璋、柄杓、謂之圭璋。（疏）王義曰、祭之初、酌鬱鬯之酒、以灌尸、主璋者、酌鬱鬯之柄、柄下有璋、故即祭之名也。（詩、大雅、旱麓）瑲玉璋。（傳）玉璋、圭璋也。（疏）正義曰、璋者器名、以圭爲柄、圭、以玉爲之、指其體謂之圭璋、據成器謂之圭璋、云云。（集韻）璋瓚大五升、口徑八寸、下有璋、口徑一尺、則璋如勺、爲祭日祭之也。天子之璋、其柄之圭長尺有二寸、其瓚、諸侯、蓋九寸以下。

（鄭器）璋 玉

璘 21362 ケイ キ（集韻）奚禮切 璘

義未詳。（龍龕手鏡）璘、昔所佩、又音奚、又音禮。

瓚 21363 チン 義未詳。（龍龕手鏡）瓚、昔用、又音個。

瓛 21364 ヲウ ヲウン（集韻）胡官切 瓛

ヒウン（集韻）許緣切 瓛

ヲウ ヲウチ（正韻）魚列切 瓛

❶❷瓛玉の名。圭の一。瓛邊に綫の模樣を彫刻し、周代、公爵天子に朝する時に執つたもの。桓圭。（說文）瓛、桓圭、公所執、从王獻聲。（段注）瓛植謂之桓、桓、宮室之象。所以安其上、桓圭、蓋亦以桓爲飾。❷通じて桓。（6—1474）に作る。（集韻）瓛、通作桓。（同）馬の〈つわ。（正韻）瓛、馬銜也。

璥 21365 ケン（集韻）語惠切 璥

玉のこしき。（集韻）璥、玉甑。

璥 21366 ルイ（集韻）盧追切 璥

璥 21367 ライ（集韻）盧回切 璥

玉の器。璥（7—21319）に同じ。（集韻）璥、玉器、或作璥。

璥 21368 カウ 義未詳。（搜眞玉鏡）璥、昔好。

璥 21369 シン（集韻）徐心切 璥

玉に似た石。（集韻）璥、石似玉。

璥 21370 レイ 玲（7—20868）に同じ。（紀傳）璥、與、鈴同。

瓜 21371 クワ（集韻）古華切 瓜

ケ〈メイ、kua。

瓜部

瓜 小 ●うり。（説文）瓜、瓠也。象形。

（説文）瓜、瓠也。外曲也。（段注）瓠、瓠瓜也。瓜實也。外曲也。（段注）瓠、瓠瓜也。在木曰瓜果。在地曰瓠。瓜者睽生布地者也。（詩）瓜瓞唐瓞。七月、七月食瓜。（魏・曹植）七步之詩「煮豆燃豆萁、豆在釜中泣。本同根生、相煎何太急。」

儀仗の具。（周禮・下）凡喪事、皆設金鼓。（象形）瓜はうりの蔓に、ふくらんだ実のなる形を見る。

（瓜・瓠）…国の名。（瓜・瓠）…瓜は蔓に象る。字解。

（瓜・瓠）…瓜は蔓に成る。（瓜・瓠）…瓜は蔓に成る。（瓜・瓠）…瓜は蔓に成る。

【瓜生】ウリウ 錢氏の子弟が瓜中の種の數をあてて勝負した故事。(清異錄)味果、瓜類。蔡襄『荔枝譜』「瓜生」「瓜戰」

瓜部佳衡、又章宗納、和卓之妻瓜爾佳氏、交趾教

瓜實顏 [illegible] 中高で中央長い顔。(丹波頭作、中一瓜實顏の目鼻眼歯東寺から出た人とうな。

瓜皮 [illegible] 青瓜。瓜蔓に巻いて瓜を逐つて作刷し、瓜蔓に巻いて瓜を逐つて作刷し。(唐書)

瓜皮船 [illegible] 小船の種。(北史書鈔)上書奏云、瓜皮船本邪用之耳、事可深入場敷也矣。

瓜皮艇 [illegible] 小船の種。(唐書)

瓜皮舟 [illegible] 小船の種。(北史書鈔)上書奏云、瓜皮船本邪用之耳、事可深入場敷也矣。

瓜皮舟 [illegible] 小船の種。(唐書)

瓜皮舟 [illegible] 小船の種。(唐書)

瓜皮舟 [illegible] 小船の種。(唐書)

【瓞】21380 チツ（集韻）陳結切 ヂチ カツ ヂチ

小さい瓜。もとなりの小さい瓜。または、（字彙）瓞、（正韻）瓞、（7－21399）・瓞（7－21419）に作る。（說文）瓞、瓜也。从瓜、失聲。瓞、瓜之小者。（集韻）瓞、瓜也。从瓜、弗聲。（字彙）瓞、瓜之小者。（正韻）瓞、瓜之小者。（廣韻）瓞、瓜也。从瓜、弗聲。（集韻）瓞、瓜也。从瓜、弗聲。（集韻）瓞、瓜之小者。（廣韻）瓞、瓜也。从瓜、弗聲。（集韻）瓞、瓜也。从瓜、弗聲。（集韻）瓞、瓜也。从瓜、弗聲。（集

瓷縣。瓷器法。[字林]瓢。瓷器法。[字林]瓢。[字林]瓢。[字林]瓢

(21397)——(21419)　瓜部〔七——十一畫〕瓠瓢瓣瓤瓢瓢瓢

〔說文〕瓢也。从瓠省。樂聲。（莊子）逍遙游「以瓠爲瓢」。瓢㊀瓢の中身をぬいて酒等を入れ、又、浮袋とするもの。（庄子）逍遙游、消息、後漢書、馮魴傳、浮水。㊁ひしゃく。ひとしゃくの總稱。（說文）瓢、柱也。（楊慎曰、今關・陝之地、以瓢爲瓢、瓢、江・淮之間、或用瓠。）（文選、魚弋賦、爲

(21425・1)——(21438)
瓜部 (十四・二十四畫) 瓣瓤瓣瓢瓣瓢瓣瓢

の譯。

甑[甲] 字解を見よ。

瓦[説文] 𤰈 瓦器の總名。[後漢書、逸民、逢萌傳]百錢瓦器買于市。[韓詩、鴻雁三章、毛詩序]瓦器者、民之所用。[説文]瓦器者、皆以土爲之。[後漢書、禮儀志下]瓦案、九瓦、大瓦、小瓦。[同]瓦杯、瓦盤。[同]瓦甌、瓦瓶。[同]瓦盆、瓦甕、瓦罐、瓦罌、瓦罍、瓦缶、瓦瓮、瓦甑、瓦鼎、瓦鍑、瓦鐺、瓦鍪、瓦鍾、瓦鍑、瓦鐺、瓦鍪、瓦鍾、瓦鍑、瓦鐺、瓦鍪、瓦鍾

蕃故瓶仰見受 覆之瓦所謂瓦搏也 馬饗燕衆 泥封 鬲瓶 鬲不見東家蕎麥明嗜嗜 他發瓦清白 草魂 嬉根 稗 ●瓶瓶 ●瓶瓶 ●蕃瓦清 白草魂 嬉根 稗

瓦部 瓦 [ka] 名 瓦を作って勝負を争ふこと。 [例] 以 瓦 為 勝者 [引] 義 [解] 瓦 [ka] 名 陶器の総称。 [例] 土器 [ka] 名 土器の総称。 [例] 瓦 [ka] 名 瓦葺の家。 [例] 瓦 [ka] 名 瓦葺の家。 [例] 瓦 [ka] 名 瓦葺の家

仝書、瓦竇周說、瓦竇、井水器也、又名、由管、以瓦陰出清水、相接、若於堂上中、時放田水、須臾如小孔、相接、若瓦陰、非他瓦、於窒塞、仰示衆、令知、不令瓦陰、必有此竇、貝資切。

【瓦特】[illegible]。●虎九力の異位。「ヴォルト」アンペアの電流が流れる時、仕事が流れる電圧。

【瓦房】[illegible]。地名。●高州窓寧省風城縣の東。長大鐵路に沿う。●高州窓寧省風城縣の南。

【瓦缺】[illegible]。素焼きの缺。固書、慣林、雷光傳。

【瓦盤】[illegible]。「瓦製の水盤。(●度大反)沐用、瓦缺、[illegible]、[illegible]、[illegible]

昔有「像嫌」（武黃之酒）名，上書聞之，召像至以狀孟反問。各問飲人，聞曰：酒佳乎。對曰：佳。孟曰：何佳乎。瓦解若佳乎。對曰：皆佳乎。孟曰：何佳。孟曰：瓦解若佳乎。對曰：皆佳乎。則無「嫌」於文實之酒矣。像法，是歟。其實，像法，是歟。其實。」（中略）「瓦格涅」（1837）十九世紀に於ける獨逸の作曲家。ヴァグナー。Wilhelm Richard Wagner.

【瓦官閣】（1777）瓦官寺にある閣の名。李白、懷古詩。「風」（百韻）「白居易作。於瓦官閣」（注）「金陵志。瓦閣改名仁祐寺。古詩云。昔有僧謂法華經以瓦棺藏于此。棺生生滿瓦官。又云。瓦官時建。以陶官地名。金並北。故名瓦官。瓦官閣。瓦官寺中有。瓦官閣。高十五丈。故而爲稱。寺中有。瓦官閣。高十五丈。」

【瓦官寺】（1777）寺の名。金陵の鳳凰臺にあるという。昔の東晉の創立に係り、又、瓦棺寺・瓦罐寺・瓦官閣・瓦官閣ともいう。「水經注」「（淮）淮水又北逕瓦官閣。閣內有四面金堂。都皆丹雘。雲氣罐轉。土間以鉛錫。明代、長官司を置いた。清の康熙の時、改名。上元に改し。

【瓦關塘】（1777）清、清朝の緑旗人。姓は武氏、顯遠。順治中、四川雲南を平げるに從い、雲南中、西安將軍となる。後、吳三桂を征して軍功に殁す。後、遠を削られ、「清史稿」二百六十四「二清列傳」「八」（滿洲名臣傳）「百七十八」（滿洲名臣傳）上「二」。

【瓦房坡】（1777）鐵の名。江蘇省南陽縣の西北。明の鐵場の開。後、廢のあった時、五歲を積んで收をなしたる。

【瓦當文】（1777）古代の瓦葺に使用した筒瓦の端に刻した文字。筒瓦は半截の瓦の磁目を覆ふ半圓形の瓦で、その端を覆ふものを「瓦當」という。「水經注」「（渭）渭水於長安城西北逕故城北。秦始皇二年造。其城東西二里。南北三里。其城東面有三門。其中門上有三層。高三丈。其中門上有三層。高三丈。其中門上有三層。高三丈

瓦部 (三一四畫) 甀甒甃甕甑甄甈甈甈

瓦部〔四—五畫〕瓮甑甀甁甂甄甑甀甁甂甄甑甀甁甂甄

【瓶】21481 ㊀ハウ ㊁ハウヤク ㊂ハウヤク 〔集韻〕蒲五切 〔集韻〕蒲浩切 ●かめの一種。〔集韻〕瓶、罌。

【甁】21482 ヒヤク 〔集韻〕蒲浩切 ●耳屋根の泥をぬらぬもの。〔集韻〕甁、瓦屋不泥也。●たたみがはら。井に施した石だたみ。甁(7-21487)の過字。〔廣韻〕甁、甎、井甃。(正字通)甁、井甃、云云、即甁字譌省。

【甄】21483 タ 〔集韻〕唐何切 ●瓦で作ったわん。〔廣韻〕甄、瓦器。●ほとぎ。〔集韻〕甄、缶也。

六八 畫

【粧】21484 シヨウ 〔集韻〕魚大切 小さいかめ。(方言五)甕、陳魏宋楚之間曰甈、或曰粧。〔廣雅〕釋器〕粧、甈也。〔廣韻〕粧、小甕。

【甌】21485 イ 〔集韻〕烏之切 ●かめの名。(方言五)甌、甈也。●ほとぎ。〔廣韻〕甌、甈甌、甈也。

【甈】21486 イ 〔集韻〕烏之切 甌(7-21537)の俗字。(正字通)甈、俗甌字。

【甎】21487 ハク ヒヤク 〔集韻〕博陌切 ●かめ。〔廣韻〕甎、甎也。●或は塼(8-2814)に作り、俗に甃(7-21574)・甎(7-21575)に作る。(正字通)甎、俗改作甃・甎。●井に施した石だたみ。たたみ瓦。〔集韻〕甎、甎甃也。

【甑】21488 ダ 〔集韻〕徒案切 ●ダ 〔集韻〕徒案切 甑、長沙呼鼎也。〔集韻〕甑、甑也。〔廣韻〕甑、長沙呼鼎也。〔集韻〕甑、甑也。(正字通)甑、俗作甗・甑。

【甄】21489 ㊀ケツ ㊁ケツ 〔集韻〕苦結切 ㊀ケツ 〔集韻〕苦結切 ㊀㊁かめ。〔集韻〕甄、器受二斗、北燕謂甄爲甄。

【甄】21490 ㊀ケイ 〔集韻〕古畦切 ㊁ケイ 〔集韻〕苦圭切 ㊀㊁しきりの底の孔。(字彙)甄、食器下也。〔集韻〕甄(8-25490)・甄(7-21535)・甄(12-45605)に同じ。〔集韻〕室、甄也。或作甄・甄・甄。

【瓷】21491 ジ 〔集韻〕才資切 ●いしやき。質の細かく堅いやきもの。磁器。(說文新附)瓷、瓦器、从瓦次聲。〔集韻〕瓷、陶器之緻堅者。●かめ。〔德利〕(通岳・笠鼎)傾、繰瓷、以的。

【甃】注〕著曰、瓷、瓶也。●或は瓷(8-2814)に作り、俗に甃(7-21574)・甎(7-21575)に作る。(正字通)瓷、俗改作甃・甎。●(字彙)瓷、或从缶。(正字通)瓷、俗改作甃・甎。●(字彙)瓷、俗作甃・甎。●(字彙)瓷、俗作甃・甎。●(字彙)瓷、俗

瓶 21498
日クワク（篇海手鑑）古獲切　麻
□ウ（篇海手鑑）烏耕切　庚
□□瓦器。（篇海手鑑）瓶、瓦器。

甑 21499
字鑑　ヘクトグラム。重量の単位。
（新撰西語）Hectogramme の縮。瓦ヘクの百倍。甑。

七書

甑 21500
日ケン（集韻）居験切
□ゲン（集韻）主妄切　霰
□かめの底の孔。酒を出すところ。（玉篇）瓶、瓮底孔。下取酒也。（廣韻）瓶、瓮底孔。（集韻）瓶、盎下鼓。□やきもの。すえもの。（集韻）瓶、陶器。

甑 21501
テイ（集韻）田聚切　齊
●瓶獣は、かめ。はとと。甑（7－21552）に同じ。（集韻）甑、博雅。甑、瓶也。或从弟。●いしやき。磁器。（玉篇）瓶、瓷也。

頓 21502
ハン（字彙）扶汎切　陷
●瓶のさま。（字彙）頓、瓶貌。●瓦。（字彙）頓、瓦也。

甑 21503
トウ（集韻）徒案切　豪

甑 21504
ブ
甑（7－21504）に同じ。（集韻）甑、或从武。

甑 21505
カン（集韻）胡南切　覃
□ヲン　hon
●瓶獣は、取手のある小さいかめ。（廣韻）瓶、似。瓶有耳。（集韻）甑、小缾有耳者。□□瓶。●口のすぼんだ陶器。（集韻）瓶、器敞口者。

甑 21506
テキ　チヤク（集韻）玉赤切　陌
かめ。酒をいれる器。甑（7－21513）に同じ。（廣韻）甑、瓶也。（集韻）甑、盛酒器。或作缶。

甑 21507
□セイ　ジヤウ（集韻）詩征切　庚
□ジヤウ（集韻）詩正切　敬
□□かめ。（集韻）甑、甑也。●うつは。堰（8－5474）に同じ。（集韻）堰、器也。或作甑。●屋根のむながはら。（字彙）甑、瓦也。●窯（6－23605）の俗字。（正字通）甑、俗盛字。

甑 21508
マウ　ミヤウ（集韻）謨耕切　庚
いらか。屋根のむねの瓦。甍（7－21587）に同じ。（方言、十三）甑、謂之甍。（注）即屋棟也。今字作甍。

甑 21509
日チヤウ　ジヤウ（集韻）仲良切　陽
□チヤウ　ジヤウ（集韻）直亮切　漾
□□かめ。みか。（方言、五）秦・燕之東北、朝鮮洌水之間、謂之瓶。（廣雅、釋器）瓶、瓶也。

甑 21510
ゴ（集韻）況胡切　虞
かめ。はとと。（集韻）甑、瓶也。

甑 21511
ラウ（集韻）盧富切　屋
うつはの名。（集韻）甑、器名。

甑 21512
ケイ　瓶（7－21459）・鉼（11－4690）に同じ。（集韻）鉼、或作甑。

甑 21513
日チ
□テキ　ヂヤク（集韻）直柔切　陌
（集韻）持柔切　支
イ　ヒ　ヒ
甑（7－21513）に同じ。（集韻）甑、或作缶。

甑 21514
日□イ　ヤウ（字彙）補明切　庚
□セン
日かめ。壁の屬。（字彙）甑、壁屬。□□甑（7－21589）の誤字。（正字通）甑、甑或作甑。

甑 21515
セフ（集韻）師協切　葉
●屋根の半分が瓦で敷はれるをいふ。半瓦。（集韻）甑、半瓦。謂之甑。●瓦が崩れぼふ。（集韻）甑、一瓦相接也。

甑 21516
クワウ（集韻）呼光切　陽
うつは。甑（7－21568）に同じ。（集韻）甑、器也。或从荒。

甑 小篆　□□□かめ。酒をいれるかめ。昔は、これに酒を入れて、賣物の貸借の料としたといふ。（段文新附）甑、酒器。从瓦稀省聲。（廣韻）甑、酒器。大者一石、小者五斗。古之借書者、盛酒瓶。（集韻）甑、畜甑、瓶也。□□盛酒器。古以供書。（通）甑、通作鐏。●甑（11－46805）に作る。（説文）甑、通作鐏。（説文新附）甑、酒器。从瓦稀省聲。（廣韻）甑、大者一石、小者五斗。古之借書者、盛酒瓶。（集韻）甑、畜甑、瓶也。□□盛酒器。古以供書。（通）甑、通作鐏。●甑（7－22591）に誤り通ず。（聞見錄）甑、書與人爲一甑、還、書爲二甑。書疑、借書還、書理也、何疑之云。後見王樂道與、錄穆四書云、出師頌最絶妙。古語借書二甑、還書一瓶。乃知今人訛以藝爲甑也。●或は瓶（7－21568）に作る。（集韻）甑、或作瓶。

瓦部 〔七—八畫〕 甌 甄 甑 甄 甄 甄

甑 甀 甄 甁

【甑】 ㊀ 甑 ㊁ 甀 ㊂ 甄 ㊃ 甁

(集韻)(廣韻)(類篇)(集韻)(廣韻)(類篇)(集韻)(廣韻)(類篇)(集韻)(廣韻)(類篇)

甑 21534・1 甀 21534・2 甄 21534・3 甁 21534・4

(集韻)(廣韻)(類篇)(集韻)(廣韻)(類篇)(集韻)(廣韻)(類篇)(集韻)(廣韻)(類篇)

有人。

【甑缶】 ソウフ 〔集韻〕 帶家の食器。瓶と鉢の総称。〔梁書〕 傭人〔字林〕時時…傭林…傭林…傭…傭…傭

【秋】21554　ハイ　ハイ　（集韻）輩枝切　出文 chou

甃 小

①煉瓦を積みかさねて作ったかめ。久、煉瓦を積みかさねる。（説文）井、甃也。（玉篇）甃、井壁也。（廣韻）甃、井甃。（正字通）甃、井壁。（周禮）考工記、匠人、井、九軌、軌、八尺、……井、……甃、……（注）甃者、修屋壞、……井、……甃、……（疏）甃、……井、……甃、……（注）……甃、……（疏）……甃、……（注）……甃、……（疏）……甃、……（注）……甃、……（疏）

署、令從六品、令從七品、直長正八品、掌動石及瑞錫之事。（云云）石瑞錫、（後漢書、祭祀志、）瑞錫、（後漢書、祭祀志、）

【甄】甄、（後漢書、）甄、（後漢書、）甄、（後漢書、）

〔甄補〕$_{50}$ 明・姚平の人。洪武の間の挙人。永樂中、倒吏となり、出して廣西を巡り、工部右侍郎・南京兵部尚書を歴任す。『國朝獻徵錄』五十一）

〔國朝列卿紀〕四十九—十三—六十四）〔明名人傳九二〕本朝分省人物考。

〔甄鸞〕$_{50}$ 北周の人。妙算に精しく、周鮮等の冒統を糾す。又、經史に於て發明する所多く、考證の學に功あり。著に五經算術・數數記遺・孫子算術・甄鸞重述・等。『周書』

〔甄詳〕$_{50}$ 明かに考へる。明・顧起元『說郛』

〔甄鸞傳〕$_{50}$ 『周書』

〔甄琛〕$_{50}$ 北魏の人。字は思平。『魏書』

〔甄琛〕$_{50}$ 北魏の人。字は敬仲。『魏書』

〔甄逸〕$_{50}$ 唐の人。字は仲矩

也、(注)故書、瓿爲甁、杜子春云、甁當爲缾、●既往録(7・21576)・録(7・21528)に作る。(說文)甁、瓶、缶、缾、(集韻)甁、或作瓶、亦省。

【甑】 21571
ニ ゲン (集韻)軍甑切 **戫**
ロ ケン (集韻)下斬切 **𦉢**
ハ サン (集韻)胡陷切 **𦉢**
甑(7・21572)に同じ。(正字通)甑、布、瓦於屋也。●瓦をふく。(集韻)甑、布、瓦於屋也。

【甑】 21572
タウ ダウ (集韻)延郎切 **甑**
●いしやき。磁器。(玉篇)甑、瓷也。●瓶類は、取手のある小さいかめ。(集韻)甑、小罐有耳者曰甑。

【甕】 21573
バウ
甕(7・21587)に同じ。(字彙補)甕、同、瓮。

【甕】 21574
ン
(說文)缶、(正字通)甕、通、瓮、俗作甕。

【甕】 21575
ン
甕(7・21491)の俗字。(正字通)甕、俗作甕。

【甕】 21576
ウ
甕(7・21570)に同じ。(正字通)甕、同、甕。

十一畫

【甑】 21578
ヨウ
甕(7・21589)に同じ。(集韻)甕、或作甑。

【甕】 21579
ケツ ケチ (字彙)吉結切 **甕**
●かめ。(字彙)甕、瓶也。●未だ焼かぬ瓦のしたち。甕9・5586に同じ。(正字通)甕、瓦坯未燒、與甕同。

【甕】 21580
ニ サウ (集韻)逗江切 **甕**
ホ ズウ (集韻)逗宗切 **甕**
●かめ。もたび。(方言、五)甕、甑也、江淮之間謂之甕。(廣雅、釋器)甕、瓶也。(集韻)甕、甑屬。

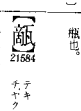
【甕】 21581
ルイ (集韻)力傷切 **甕**
かはら。(廣雅、釋器)甕、甑也。

【甕】 21582
ヘウ
甕(7・21419)の俗字。(正字通)甕、通、甕、俗甕字。

【甕】 21583
ロウ ルウ (集韻)郎口切 **甕**
●瓶類は、小さいかめ。又、中位のかめ。(廣雅、釋器)甕、瓶、缶、(注)瓶類、小甕、(方言、五)瓶類、甕也、門、關西西秦之間謂之甕、河冶之間、其大者謂之瓶、其中者謂之甕瓶。●かめ。(廣雅、釋器)甕、瓶也。

【甕】 21585
サウ シヤウ (集韻)蒼朗切 **甕**
●器をみがく瓦石。又、瓦のかけ璆。垢瓦石也、从瓦、與聲。(繫傳)以、辞瓦石、瓦、去瓶內垢。(段注)璆、俗作、磟、今依、本書、亦段借字耳、其字當用、甓、瓴石也。●瓦のかけら。(玉篇)瓶、甓、璆、●みがく。(廣雅、釋詁三)甕、磨也。●或は磟(8・24437)に作る。(韻會)甕、或作、磟、●は璆(8・21549)に同じ。(玉篇)甕、同、瓶。

【甕】 21586
ヨウ (集韻)烏侯切 **甕**
ヨウ (集韻)郎切 **甕**
●さい鉢。(說文)甕、小缶也、从瓦、翁聲。(方言、五)瓷、甕、(注)謂之瓷、(日)關西西秦、或謂之瓷、或謂之甕、其小者謂之井甕、(才)關會、器用、甕、許慎說文曰、瓦小甕、揚雄方言曰、甕、甕、雄、慎博漢人、凡所記非、戰國、即秦制度、


(合圖才二) 甕

(合圖才三) 甕

蓋三代飯、燕之具、俱俎豆之類故也。●こいいわん。(正)(集韻)盤、俗謂、盤、深者、爲甕。●口の大きくその低い皿。(正字通)甕、瓦盂大口而庳、●茶碗。(正字通)甕、俗謂、茶杯、爲甕、●かめ。(集韻)甕、器、(廣雅、釋器)甕、瓶、缶、●樂器十二の磁製のかめに水を満たして、箸で叩いて十二律の音を出させるもの。(詩、陳風)宛丘、坎其擊缶、(說文)缶、缶是瓦器、可以節樂、若今擊缶、(文獻通考、樂考、十之部)瓶、扣瓶、初、天興縣金野道源、取、邢瓶、扣瓶十、酌、水作、調、以節擊之、其音妙於方鼓、成湯中、吳嫁水精、於此、到安口、齊鄉之社、扣、瓶、相和而樂、以爲、樂、豈亦擊瓶類歟、墨子、農夫惰於耕、缶之樂、亦此類。●地名。東甕(8・14499・46)の●。(史)(地理志)、(注)、(師古曰)、(晉灼曰)、(如淳曰)、(孟康曰)、(臣瓚曰

作甌、東甌、甌冶子後也。甌越、甌駱、甌人、甌人、甌劍。西甌は一種族の名。駱越の別種。（集韻）西甌、西瞿、駱越別種。

【甌】ウ　ohu　（集韻）烏侯切　侯

①地名。今の浙江省永嘉地の地。甌越に同じ。陸龜蒙、甌越先生吳中古賢。（唐書）甌越、東海郡名。故甌越地。（集韻）甌、東海郡名。甌越、東海郡名。●南方者永嘉郡。帶の地名。●南方者永嘉郡。帶の地名。●南方者永嘉郡。帶の地

甎 21589 セン（集韻）先堅切　ㄒㄧㄢ（集韻）ㄒㄧㄢˋ　chuan

（集韻）先堅切　甎

（集韻）先堅切　甎

（集韻）先堅切　甎

瓶、鼎屬也、實五穀斗二升曰鬴、鬴、滿合、商人瓦器聲（廣韻）度、瓦器。（集韻）爲、說文、鼎屬、或作甗、甗。

甑 21600 ㊀ウワ（集韻）胡官切 匣 ㊁ウク（集韻）家朔切 溪

甒 21601 サブ（集韻）邕合切 匣

㊀こしき。土燒きの器。（集韻）甑、器破。●字金に合する瓦（正字通）甑、一說、从翁有云完合義。

甗 21602 ㊀ショウ（集韻）子宇切 ㊁ショウ（集韻）祖陵切 ㊁

甌 小篆 文 ㊀㊁こしき。土燒きの器。（集韻）甑、从瓦聲。段注、考工記、陶人爲甑、實二鬴、厚半寸、脣寸、七穿、按、甑所以炊蒸米、爲甑者、其底七穿、故必以筆敝甑底、而加米於上、而鬴之、鬴所以受蒸氣、故上有蓋、說文、甗、甑也、从甑、从鬲、鬲者、鼎屬、或作甗、甗、甗之、甗、甗、甗

甄 21607 キ (五音集韻)許羈切 支

音羈 茶酒などを盛る器。字彙 茶酒などを盛る器。字彙 [説文]甄、瓦也。[通俗文]瓦器曰甄。[集韻]甄、瓦器。[廣韻]甄、瓦器。[玉篇]甄、瓦器。[正字通]甄、瓦器。[集韻]甄、瓦器。[類篇]甄、瓦器。[字彙

【甕】yōng かめのようなもの。又、其の形をしたもの。『荀子』勸学篇「瓠瓜待ッ煮而後爛ル」『説文』「甕、缶ノ大ナル者ナリ。」『玉篇』「甕、大腹器ナリ。」『字鏡』「甕、大腹器。」『倭名抄』「甕、阿加倍」。『説文』「缶、瓦器ナリ。」『玉篇』「缶、器ナリ。」『字鏡』「缶、器。」『倭名抄』「缶、阿加倍」。『説文』「甕、大腹器ナリ。」『玉篇』「甕、大腹器

瓷さ、かつがさはかわく。きつぱりと何もなく竟。

【甕】21618　ゲン　(集韻)甕、瓶・罌・缶・瓦器。

【甕】21619　ヨウ　(字彙補)甕、同。

瓦部（十二～十六畫）

【甕】21620　十四畫

□アウ　(集韻)蒿切　豪
□ヤウ　(集韻)於亮切　漾
□エイ　(集韻)烏定切　霰

❶かめ。もたひ。とくり。酒や醯(ひしお)などを入れるかめの通稱。(方言、五)瓶・甕・瓮・罌・甀・甖・甈・甈・甈

韻、敦、甕名。或作甑。

甕 21629 小篆 ㊀㊁㊂㊃㊄かはばかま 襠の時袴、从瓮瓮聲。●甕（10－34515）・甕（7－2558）に同じ。（廣韻）襠、襠之倉袴。甕上同。（集韻）或作甕。

ロウ（集韻）孔勇切 ㊀
レン（集韻）子喻切 ㊁
ヨウ（集韻）乳充切 ㊂
ニン（集韻）乳尹切 ㊃

甑 21630 チョ 篆（8－2817）に同じ。（集韻）同、嶋。

甑 21631 セフ（集韻）蓋協切 ㊀

●瓦の破れる音。（玉篇）瓦破聲。●質が細かくて固い瓦。（正字通）甑、瓦質堅厚。

サン（集韻）叉鑑切 ㊀
サン（集韻）叉馬切 ㊁

甑 21632 ソイ（集韻）配内切 ㊀

甕 21633 レイ 甑（7－21471）に同じ。（集韻）或、作甕。

甑 21634 ケイ（五音集韻）吾優切 ㊀

まど。天まど。（五音集韻）甑、字下空也。

甑 21635 ケイ（集韻）涓畔切 ㊀
ケイ（集韻）玄圭切 ㊁
エイ（集韻）涓畔切 ㊂

甑 21636 セフ（集韻）妥協切 ㊀

はち。塙（8－5613）に同じ。（集韻）甑、盎屋、或从土。

甕 21637 篆（7－21511）の本字。（正字通）甕、俗本字。

ヨウ

甕 21638 セン（字彙補）窄切 ㊀

歩き方が正しくない。（字彙補）甕、行不正。

甕 21639 ラ（字彙）力華切 ㊀

●瓦の名。（字彙）甕、瓦名。●かはらけ。（字彙）甕、瓦器。●圓い煙突用の瓦。（正字通）甕、竅瓦。曰、倫、鈴窗也、取圓穿相連之義。今竈突煙囪、具瓦如竹筒、不析開者是也。故俗名之曰甕。

甕 21640 ルウ（集韻）力救切 ㊀

むね。いらか。（玉篇）甕、屋穩名。（集韻）甕、博雅、棟謂之甕。

甕 21641 ライ（五音集韻）重固切 ㊀

むね。むながはら。（五音集韻）甕、屋棟瓦也、又、屋棟也。

甕 21642 レイ 甕（7－21471）に同じ。（集韻）或、作甕。

甕 21626 タイ（集韻）配内切 ㊀

食料を盛る皿。敦（6－13276）に同じ。（集韻）

甕 21627 ルウ（集韻）重東切 ㊀

すりうす。竹・木で周圍を作り、中を土・瓦で塡めて磨り合せを施し、穀のもみを去る具。甕（8－25586）に同じ。（玉篇）甕、土磨。今作、轉。（集韻）甕、穀、土以磨。穀、日、瓦器物。

甕 21628 タイ（集韻）配内切 ㊀

甕 21643 ルウ（集韻）重東切 ㊀

甕 21644 ルウ（集韻）力救切 ㊀

甕 21645 ライ（五音集韻）重固切 ㊀

甕 21646 レイ 甕（7－21471）に同じ。（集韻）或、作甕。

甘 21643

音カン（集韻）古暫切 覃

甘 小 [illegible] 甘 [illegible] 甘 [illegible] 甘

る。塞ぐ石戻を蓋ぐ。轉榱蓋。

【甘瓮】名詞 ［説文］甘瓮蓋。方術に用ひ、採藥例に準ぜよ。宜酒甘香、盈一缸凡中。

【甘草】名詞 ［本草、甘草］甘草、味甘平。無毒。主五臟六腑寒熱邪氣、堅筋骨、長肉、補益精氣、久服輕身延年。生川谷。

【甘瓠】名詞 ［説文］甘瓠。瓠の一種。

【甘瓠】名詞 ［説文］甘瓠。瓠の一種。

【甘蔗】名詞 ［説文］甘蔗。石蜜を作るものが殿。味甘汁出る。［説文］甘蔗。［本草、甘蔗］甘蔗、味甘寒。無毒。主益氣和中、止煩渴、利大腸、消胸膈熱、令人多食。

【甘蔗】名詞

いう。草草・白及・種々。遠志草・甘根・白蜜。海蛇・海外柳・樹の名。甘棠に同じ。山海經、海外柳・甘棠・甘草・〔王其御抜粹方〕赤・黄蘗白葉黒実。

甘茶[名]ツル。●あまちゃ。〔李成用、和漢薬土産〕ツル。●あまちゃ。〔李成用、和漢薬土産〕ツル。●あまちゃ。〔李成用、和漢薬土産〕

等撰。甘肅の史乘、凡て三十六門。古・陝・西と合した理・制度等・風西志と云見するものが多し。**甘**（同）**鹿**（同）**堤**（同）**甘**（同）**鹿**（同）**堤**（同）**甘**（同）**鹿**（同）**堤**（同）

七、官は陳州測事、易理に従い、(両友錄十四)〜(甘石指掌)二、石棺の下に、(本草、安石榴)甘石榴、未詳。多食神曲令黑。(甘獻)〜(甘石)

園苑、天、(甘獻)、天、(甘獻)、天、(甘獻)

の自由獲得運動を展開して、印度の民族運動を組織し、国民会議派を指導して、印度の独立運動に大進歩を与えた。インドの民族主義者。ガンディーの後継者。印度の組織に反抗し、第一九、二次世界大戦の後、印度の組織に反抗し、第一九、四八年、印度の独立運動と民族運動を指導した。大聖の意でマハトマと呼ばれている。

甘 甘部 甘 [甘]

[甘] 甘部 甘 [甘]

[甘] 甘部 甘 [甘]

[甘]

甘油 [名] (glycerin) 一八〇〇 ●脂肪の名称グリセリンとグリコールとリスリン。各種の脂肪油から製する無色の粘稠液で、甘味がある。種用品及び爆薬の原料となる。

[甘油エーテル] [名] 化 グリセリンを原料とする。

[甘縄] [名] 上戸の人、酒を飲まずして酔ひ酔ひ人の人、酒を飲まずして酔ひ酔ひ人の人、酒を飲まずして酔ひ酔ひ人

【甘露乳】[illegible]　如菴羅をいう。（説法）[illegible]

【甘露】[illegible]　此西方の甘露門、涼無諸苦、[illegible]

【甘露門】[illegible]　[illegible]

【甘露鼓】[illegible]　[illegible]

【甘露法雨】[illegible]　[illegible]

【甘露王】[illegible]　[illegible]

【甘露味】[illegible]　[illegible]

【甘露門】[illegible]　[illegible]

【甘露】[illegible]　[illegible]

【甘露法雨】[illegible]　[illegible]

【甘露】[illegible]　[illegible]

【甘露】[illegible]　[illegible]

【甘露

❶うまい。甜美。(廣韻)甘。甘也。(集韻)辛、甜雅、甜美、甘也。❷ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。❸ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。❹ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。❺ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。❻ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。❼ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。❽ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。❾ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。❿ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。⓫ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。⓬ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。⓭ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。⓮ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。⓯ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。⓰ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。⓱ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。⓲ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。⓳ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。⓴ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㉑ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㉒ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㉓ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㉔ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㉕ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㉖ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㉗ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㉘ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㉙ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㉚ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㉛ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㉜ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㉝ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㉞ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㉟ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㊱ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㊲ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㊳ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㊴ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㊵ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㊶ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㊷ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㊸ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㊹ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㊺ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㊻ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㊼ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㊽ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㊾ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。㊿ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(51)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(52)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(53)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(54)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(55)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(56)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(57)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(58)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(59)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(60)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(61)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(62)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(63)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(64)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(65)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(66)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(67)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(68)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(69)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(70)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(71)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(72)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(73)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(74)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(75)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(76)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(77)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(78)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(79)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(80)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(81)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(82)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(83)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(84)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(85)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(86)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(87)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(88)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(89)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(90)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(91)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(92)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(93)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(94)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(95)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(96)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(97)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(98)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(99)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(100)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(101)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(102)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(103)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(104)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(105)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(106)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(107)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(108)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(109)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(110)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(111)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(112)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(113)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(114)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(115)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(116)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(117)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(118)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(119)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(120)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(121)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(122)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(123)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(124)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(125)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(126)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(127)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(128)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(129)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(130)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(131)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(132)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(133)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(134)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(135)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(136)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(137)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(138)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(139)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(140)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(141)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(142)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(143)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(144)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(145)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(146)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(147)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(148)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(149)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(150)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(151)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(152)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(153)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(154)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(155)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(156)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(157)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(158)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(159)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(160)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(161)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(162)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(163)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(164)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(165)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(166)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(167)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(168)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(169)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(170)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(171)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(172)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(173)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(174)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(175)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(176)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(177)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(178)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(179)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(180)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(181)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(182)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(183)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(184)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(185)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(186)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(187)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(188)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(189)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(190)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(191)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(192)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(193)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(194)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(195)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(196)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(197)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(198)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(199)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(200)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(201)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(202)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(203)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(204)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(205)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(206)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(207)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(208)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(209)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(210)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(211)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(212)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(213)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(214)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(215)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(216)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(217)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(218)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(219)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(220)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(221)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(222)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(223)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(224)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(225)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(226)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(227)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(228)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(229)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(230)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(231)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(232)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(233)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(234)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(235)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(236)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(237)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(238)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(239)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(240)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(241)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(242)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(243)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(244)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(245)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(246)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(247)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(248)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(249)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(250)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(251)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(252)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(253)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(254)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(255)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(256)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(257)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(258)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(259)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(260)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(261)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(262)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(263)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(264)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(265)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(266)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(267)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(268)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(269)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(270)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(271)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(272)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(273)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(274)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(275)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(276)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(277)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(278)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(279)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(280)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(281)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(282)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(283)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(284)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(285)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(286)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(287)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(288)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(289)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(290)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(291)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(292)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(293)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(294)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(295)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(296)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(297)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(298)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(299)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(300)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(301)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(302)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(303)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(304)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(305)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(306)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(307)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(308)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(309)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(310)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(311)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(312)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(313)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(314)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(315)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(316)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(317)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(318)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(319)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(320)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(321)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(322)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(323)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(324)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(325)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(326)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(327)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(328)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(329)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(330)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(331)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(332)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(333)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(334)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(335)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(336)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(337)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(338)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(339)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(340)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(341)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(342)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(343)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(344)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(345)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(346)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(347)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(348)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(349)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(350)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(351)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(352)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(353)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(354)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(355)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(356)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(357)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(358)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(359)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(360)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(361)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(362)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(363)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(364)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(365)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(366)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(367)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(368)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(369)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(370)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(371)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(372)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(373)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(374)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(375)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(376)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(377)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(378)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(379)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(380)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(381)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(382)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(383)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(384)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(385)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(386)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(387)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(388)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(389)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(390)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(391)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(392)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(393)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(394)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(395)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(396)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(397)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(398)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(399)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(400)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(401)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(402)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(403)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(404)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(405)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(406)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(407)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(408)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(409)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(410)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(411)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(412)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(413)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(414)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(415)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(416)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(417)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(418)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(419)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(420)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(421)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(422)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(423)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(424)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(425)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(426)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(427)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(428)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(429)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(430)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(431)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(432)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(433)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(434)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(435)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(436)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(437)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(438)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(439)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(440)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(441)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(442)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(443)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(444)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(445)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(446)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(447)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(448)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(449)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(450)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(451)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(452)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(453)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(454)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(455)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(456)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(457)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(458)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(459)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(460)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(461)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(462)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(463)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(464)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(465)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(466)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(467)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(468)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(469)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(470)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(471)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(472)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(473)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(474)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(475)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(476)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(477)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(478)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(479)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(480)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(481)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(482)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(483)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(484)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(485)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(486)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(487)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(488)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(489)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(490)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(491)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(492)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(493)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(494)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(495)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(496)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(497)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(498)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(499)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(500)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(501)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(502)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(503)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(504)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(505)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(506)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(507)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(508)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(509)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(510)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(511)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(512)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(513)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(514)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(515)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(516)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(517)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(518)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(519)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(520)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(521)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(522)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(523)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(524)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(525)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(526)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(527)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(528)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(529)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(530)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(531)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(532)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(533)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(534)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(535)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(536)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(537)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(538)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(539)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(540)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(541)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(542)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(543)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(544)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(545)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(546)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(547)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(548)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(549)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜美、甘也。(550)ほどよい。一説。(廣韻)甘、甜

に(不定または限定)。
【甚麼的】ㄕㄣˊ ㄇㄛ ㄉㄜ　何ら何ら。
【甚麼都】ㄕㄣˊ ㄇㄛ ㄉㄡ　衣服の神の名(西陽雜俎、語皇記)。
【甚麼】ㄕㄣˊ ㄇㄛ　(呼名)。
【甚有文理】ㄕㄣˊ ㄧㄡˇ ㄨㄣˊ ㄌㄧˇ　大いにすぐれた文つ居る。(晉書、高密王泰傳)。
【甚深】ㄕㄣˊ ㄕㄣ　(賢聖)。
【甚】ㄕㄣˊ　(呉語)。
【甚】ㄕㄣˊ　(呉語)。

甚 21651

ジン

義未詳。(字彙補)甚、林自切。

甚 21650

クワツ

甚 ㄍㄨㄚˋ 2245 古字。(字彙補)甚、古八切。

甚 21649

ゴ

呉 ㄍㄨˋ 12565 の古字。(字彙補)甚、古字。

甚 21653

ジン

義未詳。(字彙補)甚、食枕切。

甚 21654

タイ

(字彙補同索切)

甚

うまい。(字彙補)甚、甘也。

六畫

甜 21656

テン

(集韻)延倉切　ㄊㄧㄢˊ

甜 小

●あまい。うまい。甜(7—21656)に同じ。(正字通)甜、俗作甜。

【說文】甜、美也。从甘舌。舌知甘苦。(廣雅、釋詁)甜、甘也。(左傳)、南都賦、醯酒海酸、百種千名。●よく。よくねむる。(蘇軾、詩)三杯軟抱後、一枕熟甜鄉。(肖注)(俗謂睡鄉甜)。(稽萬里、夜雨不寐、詩)重長酒力短、睡甜詩思苦。●餡 128—44 128)に同じ。(集韻)甜、或从食。

甜 21655

テン

甜(7—21656)に同じ。(正字通)甜、俗作甜。

甜 21652

カン

(集韻)苦甘切　ㄎㄢˇ

甜

かめ。とくり。甜 43—4975 に同じ。(集韻)甜、土器也、或从瓦。(字彙)甜、甘瓶也。

甜甘 ㄊㄧㄢˊ ㄍㄢ　●あまくうまい。(管輅、張天錫傳)及陣朝、長樂、郡主以其周姻分屬、多其毀之、自謂是上道子、書間其西上所作、其錢塘聲目、桑麥甜甘、調與草、蜀乳精實、性、人無所忘。(ㄊㄧㄢˊ ㄍㄢ)、巧なこと。

甜性 ㄊㄧㄢˊ ㄒㄧㄥˋ　果物の名。密相に似、果實は扁圓で甘く、多い(本草綱、時珍曰)甜性、酒論、五味相拌。●(ㄊㄧㄢˊ ㄒㄧㄥˋ)、世間の

甜瓜 ㄊㄧㄢˊ ㄍㄨㄚ　(本草、蔓草)、甜瓜子、故稱得、甘甜之稱。

甜甘 ㄊㄧㄢˊ ㄍㄢ　甘てすぎて、甘すぎる。(仕損、酒論)。

甜蜜 ㄊㄧㄢˊ ㄇㄧˋ　(本草、蜜)、甜蜜、甘甜之味。

甜 ㄊㄧㄢˊ　(本草、蜜)、甜、時珍曰、甜、甘之味。

甜 ㄊㄧㄢˊ　(本草、蜜)、甜、時珍曰、俗作甜、甜蜜、以刺之、(本草、蜜)、甜、時珍曰、俗作甜、甜蜜、以刺之。

甜 ㄊㄧㄢˊ　あまもの。(和漢三才圖會、草部)。

甜菜 ㄊㄧㄢˊ ㄘㄞˋ　(和漢三才圖會、菜部)。

甜菜 ㄊㄧㄢˊ ㄘㄞˋ　(和漢三才圖會、菜部)。

甜 ㄊㄧㄢˊ

〔本草〕拘蒙 陶弘景 蒙物子、甜櫻子。

〔甜如蜜〕〔ti4 ru2 mi4〕 蜜物のやうにあまい。〈孔子家語〉欲思〔楚辭〕復辟 汪 得海寶 大如斗、赤如日、剖而食之、甚甘美。

〔甜苦〕〔tian2 ku3〕 草の名。茅慮の一種。いぬなづな の別名。〔本草〕茅慮 茅慮 味甘、即甜苦 茅慮 珍曰、茅慮有二種、拘蒙味微甘、即甜苦茅慮也。

〔甜言美語〕〔tian2 yan2 mei3 yu3〕 うまい話。甜言蜜語。

〔甜言蜜語〕〔tian2 yan2 mi4 yu3〕 耳に聞きよい言葉、人を誘ふための言。〔白氏長慶集〕甜言蜜語多成性、骨肉親疎不相半。

〔甜酸苦辣〕〔tian2 suan1 ku3 la4〕 甘味と酸味と苦味と辛味。世の辛酸をいふ。

〔甜絲絲的〕〔tian2 si1 si1 de5〕 非常に甘たるい様子。

〔甜言蜜語〕〔tian2 yan2 mi4 yu3〕 耳に聞きよい言葉、人を誘ふための言。〔白氏長慶集〕甜言蜜語多成性、骨肉親疎不相半。

〔甜言蜜語的騙着〕〔tian2 yan2 mi4 yu3 de5 pian4 zhe5〕 言ってうまくだますこと。

〔甜言蜜語的說話〕〔tian2 yan2 mi4 yu3 de5 shuo1 hua4〕 非常に時しげに語ること。

八畫

甞 21659 シャウ 〔集韻〕〔廣韻〕市掌切 〔漾〕 日タン 〔集韻〕〔廣韻〕他含切 〔覃〕 日トン 〔集韻〕〔廣韻〕他感切 〔感〕 日コン 〔集韻〕〔廣韻〕古暗切 〔勘〕

客(8－4235)に同じ。〔集韻〕甞、或作甞。

甚 21660 日タン 〔集韻〕〔廣韻〕他含切 〔覃〕 日トン 〔集韻〕〔廣韻〕他感切 〔感〕 日コン 〔集韻〕〔廣韻〕古暗切 〔勘〕

日甚甚は室の奥深いさま。〔集韻〕甚、甚甚、室の奥深いさま。〔集韻〕甚、博雅、甚甚、盛也。日甚甚は、盛なさま。〔集韻〕甚、火盛也。日火の盛なさま。〔李華、含元殿賦〕上棟青熒、卻視甚甚。

甚 21661 シャ 麻(8－3179)に同じ。〔集韻〕麻、或作甚。

八畫

甛 21662 ケン 〔集韻〕〔廣韻〕古銜切 〔銜〕

かんばしい。〔廣韻〕甛(8－4554)に同じ。〔廣韻〕甛、香美。〔集韻〕甛、博雅、甛甛、香也、或省。

甛 21663 タン 〔集韻〕〔廣韻〕他含切 〔覃〕 日ケン 〔集韻〕〔廣韻〕古銜切 〔銜〕

甛(8－3954)の古字。〔字彙〕甛、同甛字。

十畫

甛 21664 シャ 麻(8－3179)に同じ。〔集韻〕麻、或作甛。

甛 21665 日カン 〔集韻〕〔廣韻〕古銜切 〔銜〕 日ドン 〔集韻〕〔廣韻〕他感切 〔感〕 日カフ 〔集韻〕〔廣韻〕古合切 〔合〕

日甛甛は味を調へる。〔廣韻〕甛(8－21667)に同じ。〔中華大字典〕甛、按、段玉裁本作甛、〔說文〕甛、和也、从甘麻、麻調也、甘亦聲、讀若函、〔段注〕和當作盉、寫者亂之耳、皿部曰、盉、調味也。〔說文繫傳〕甛、和也、麻調也、从甘麻、甘亦聲、讀若函、臣鍇曰、麻、音歷、稀疏勻調也、會意、鬲亦聲。甘と麻或は麻との合字。甘は甘美な味、麻はとろのへる意、之を合して味をとろのへる義を表はし、且甘は聲を兼ねる。字解を見よ。

十一畫

甛 21666 日タン 〔集韻〕〔廣韻〕徒南切 〔覃〕 日ドン 〔集韻〕〔廣韻〕他感切 〔感〕

日甛甛うまい。あまい。〔廣雅、釋詁〕甛、甘也。〔字彙〕甛、長反也。

甛 21667 カン 〔集韻〕〔廣韻〕古咸切 〔銜〕

曆(7－21663)に同じ。〔說文〕曆、王注、曆、書依、〔繫傳〕作甛。

十三畫

曆 21668 カン 〔集韻〕〔廣韻〕古咸切 〔銜〕

曆(7－21663)に同じ。〔字彙〕曆、同曆。

十六畫

甛 21669 エン 〔集韻〕〔不載〕 〔鹽〕

うまい。〔集韻〕甛、味甘。

生部

生 21670 小篆 日セイ 〔集韻〕〔廣韻〕所庚切 〔庚〕 日シャウ 〔集韻〕〔廣韻〕所敬切 〔敬〕 日セイ シャウ 〔集韻〕〔廣韻〕所景切 〔梗〕

日生生生。〔詩、小雅、斯干〕乃生男子、載寢之牀、〔疏、內則、妻將生子、及月於居側室。〔廣雅、釋親〕人十月而生。〔書、舜典〕舜生三十徵庸。〔毛傳〕〔說文〕生、進也、獨陽不生、獨陰不生、獨天不生、三合然後生。〔史記、孔

甘部 (六一～十六畫) 甜 甛 甞 甚 甛 甛 甛

子世家)孔子生魯昌平鄉陬邑。(12)生れ乍らうまれけり。(中庸)生而知之。●いきる。④存活する。生きてゐる。(左氏、僖三十二)狄人歸其元面如生。(13)いきながらへる。(孟子、告子上)生乎今之世、反古之道。●いのち。(呂覽、慎龍)能生死一人。(注)生、活也。●いきい、死の對。(詩會)生、死之對也。(4)いきながらへること。(易、繫辞上)故知死生之說。(注)死生者、終始之數也。(論語、顔淵)死有命。(孟子、告子上)生亦我所欲也。(荀子、至樂)生者、性也。假也之而生、生吾所恥也。死生、死者、盡也。(淮南子、精神訓)生者、精也。(蒼書、文帝紀)咸篤生而器。(国語)生、成也。(韋昭注)生、猶言、東京賦)帝生、生、猶言、生、猶言、天下為生。(史記、項羽紀)興二生產焉。(3)新しい。(荀子、禮論)(己死)神之生、(4)なれない。不馴れ又見知らない。(致富奇書)不可、容生人入。(内文子、道訓)文子曾辛南頭於圃、辛柱者好、鬬、每遇生人、則逐而觸之。(5)うれない果物。又、たべぬ蔬物。生菜(注)生、猶言、生菜。又、●おひる。おやす。はえる。はやす(老子、草木有生而無知。(6)なまの。そだてる。(老子、王弼)生、凡手師之所造、刺繡、皆生。(7)生、長。(史記、孟嘗君傳)其母大きくする。生長。(史記、孟嘗君傳)其母●養育する。生長。(荀子、天論)大宰以生、(注)謂養也。●養育。(周禮、天官、大宰)以生、(注)謂養也。●たみ。人民。(史、出師頌)吾生更始。(注)生、猶、黎百、(詩、邶風、谷風)既生既育。(篇)生、謂財業也。(史記、絳侯周勃世家)勃以織薄曲為生業也。(注)生、謂財業也。(史記、秦隋紀)謂勃以織薄曲為生業也。(蒼書、蔚傳)民生未復。(注)謂古日、生、謂生業。●みち。義理。(左氏、僖二十七)民懷生矣。●ほだし。(荀子、禮論)生者、謂有情義之心。(4)さが。性。(4—10478)由之道、(蒼書、之性教厚、因所見所習之物、有、遷變之道。(周禮、地官、大司徒)辨五地之物生。(注)杜子春讀為性。(呂覽、本生)立官者以全生也。(注)生、性也。●きずがない。(論語、述而)講、(注)生、謂無傷、(注)生、謂無傷、●なる。なす。造る。(中庸)天之生物、必因其材。(公羊、桓八、凌雪例、生事也。(注)生、猶造也。●出る。出す。(周雅、釋詁二)生、出也。(易、觀工九、觀)其生、君子無咎。(荀子、勸學)出、猶出也。(注)生、猶造也。●生産する。(荀子、禮論)生者、謂有情義之心。●さが。性。(4—10478)由之道、(蒼書、之性教厚、因所見所習之物、有、遷變之道。(周禮、地官、大司徒)辨五地之物生。(注)杜子春讀為性。(呂覽、本生)立官者以全生也。(注)生、性也。●きずがない。(論語、述而)講、(注)生、謂無傷、(注)生、謂無傷、●なる。なす。造る。(中庸)天之生物、必因其材。(公羊、桓八、凌雪例、生事也。(注)生、猶造也。●出る。出す。(周雅、釋詁二)生、出也。(易、觀工九、觀)其生、君子無咎。(荀子、勸學)出、猶出也。(注)生、猶造也。●生産する。(荀子、禮論)生者、謂有情義之心。●生まれる。(荀子、禮論)生者、謂有情義之心。●生まれる。(荀子、禮論)生者、謂有情義之心。●生まれる

ケル。ウブメ。

牚 牚 牛名。牛の生れて未だ生に成長に成長して土たに出にくる。ウブメ。牛の生れて土たに出る意。牛の成長して土たに出る意。牛これの字。牛の字。牛の字。牛の

新語。臣案。案道孝。案韓愈相如雖千載上死人。爛燦如新。生鮮。●故僕久矣。生平。又。●樹之。●紀を發する。「國語」管蔡閔叛。●生。●生を發する。「國語」管蔡閔叛。

「管紀傳方書。義例。開」五行傳曰。生氣者。強輪。強輪者。其氣直。其氣不。「後漢書」。「開」。

「管紀傳方書。義例。開」五行傳曰。生氣者。強輪。強輪者。其氣直。其氣不。「後漢書」。「開」。

生部　生　生　生

耕料、雷業使用、按、以段足爲生活、耐種所見（以即蓋反足也）、田耕衡衡種得墾恐活爲、活足活、水蟲、不得作、僞、直心加、酷、而生活爲、活足活、ビタミンをいふ、活力素。

生活素 ｾｲｶｿ 生活に欠かせない成分。

生活費 ｾｲｶﾂﾋﾞ 生活に要する費用。

生活模式 ｾｲｶﾂﾓｼｷ 生活の仕方。生活のしかた。

生活費 ｾｲｶﾂﾋﾞ 扇幼案で、高い官を司どる有星。（張衡賦、西京賦）、生官、生官爲、月生官、

生活費 ｾｲｶﾂﾋﾞ 生活のために必要な費用。

金を儲けるに必要な資財。商店の設備等。

●生爪 ㊀ 指に生えてる爪。「堀川遺聞」中

●生木 ㊀ 立ち枯れになる。生木を裂く。

●生草 ㊀ なまの草。「荘子・刻意篇」

●生姜 ㊀ 薑。「本草」

●生蒲 ㊀ 菖蒲。「荘子・刻意篇」

●生蚕 ㊀ 蚕。「本草」

●生産 ㊀ 産業。「荘子・刻意篇」「生産」の項参照。

●生産神 ㊀ 産神。「荘子・刻意篇」

●生産力 ㊀ 生産に必要な産業。土地・資本・労力などの。

●生産組合 ㊀ 産業組合の一。生産に必要な機具を購入して組合員に利用させ、或は組合員の生産した物品に加工する目的とする組合。

●生産物 ㊀ 生産した物品。

●生産要素 ㊀ 生産に必要な産業。土地・資本・労力などの。

●生産費 ㊀ 生産に要する費用。

●生産物 ㊀ 生産した物品。

●生産力 ㊀ 生産に必要な産業。土地・資本・労力などの。

●生産組合 ㊀ 産業組合の一。生産に必要な機具を購入して組合員に利用させ、或は組合員の生産した物品に加工する目的とする組合。

●生産者 ㊀ 生産に従事する者。

●生産費 ㊀ 生産に要する費用。

●生産物 ㊀ 生産した物品。

●生産力 ㊀ 生産に必要な産業。土地・資本・労力などの。

●生産要素 ㊀ 生産に必要な産業。土地・資本・労力などの

千秋節・山王・是代饗餐典。〔日知録・雑論・生日〕生日之義、古人所無。〔蘇詳・種民日、以日為吉者、官宦・士庶・

〔生人〕[illegible]　●人民。生民。〔後漢書 和熹鄧皇后紀〕頃者以來，天保堯恩，生人獲福。〔後漢書 張衡 思玄賦〕[illegible]

〔生人髮〕[illegible]　●生人髮。〔後漢書 方術 費長房

とる名づけたり。魚類・貝類などの新らしいこと。〈後漢書・方術下・左慈傳〉鱻魚・活魚・活殺・生蛸可食。

生産 名詞 ①生命を救助すること。〈後漢書・郭躬傳〉解命・解命。

生全 名詞 ①生命を救助すること。〈後漢書・郭躬傳〉

生前 名詞 ①生きて居た時。存生中。〈晉書・束晳傳・此者無情・生前相遇且死・錢純・哭〉

生前酒 名詞 ①生前に行なった法律行為。〈晉書・束晳傳・生前酒・生前酒・生前酒

廣は又女京に作る。「金史・世紀序五代略」契丹蕃語。[illegible]。[illegible]。[illegible]

孫生[illegible]字之注[illegible]取也。

【生魂】[illegible]字之注[illegible]十日をいふ。一説に明と望との中間の夜といふ。魂は光のないところ。死魂の中間の夜といふ。魂は光のないところ。死魂[illegible]35595.0を見よ。(神武紀)。[illegible]月、故魂。(神武紀)[illegible]。三日始生魂、月十六日明而魂生。(尚書今古文注疏、注)。魂、月のかけて生じ、(尚書今古文注疏、注)。魂、病人の[illegible]。(神保[illegible]詩)。身病長在魂[illegible]。(白居易、[illegible]詩)。[illegible]。

【生姿】[illegible]なまめき。なまめかし。(和漢三才図会)。[illegible]。

【生鍾】[illegible]。[illegible]。(史記、太史公自序、下文、鍾、[illegible]字、[illegible]。

【生鼓】[illegible]。[illegible]。(白居易、西湖鼓、詩)。

【生蕃】[illegible]。[illegible]。(日本外史、徳川氏正記、[illegible]、[illegible]。

【生部】[illegible]。[illegible]。(日本外史、徳川氏正記、[illegible]、[illegible]。

【生[illegible]

(21670…369)……(21670…407)

る語(藤貴本説草、七世月の公民所家、各被警

【生理】[illegible]、民譜生身魂、産物、生産。

【生理】[illegible]、いうるめ。人を地中に埋の終す、[illegible]氏記録、徳川氏記録、[illegible]

【生】[illegible]、生民をいう。[illegible]、[illegible]、[illegible]

【生】[illegible]、生民の本義なり。[illegible]

(荀子、禁等、持[illegible]、[illegible]、[illegible]、

●生擎 [illegible] ●あをひとぐさ。生民。擎民。●未詳。

●生鏡 [illegible] ●たみ。生民。人民。〔管書〕鮑容 [illegible]

[illegible] 生鏡 [illegible] 〔管書〕鮑容 [illegible] 生鏡 [illegible] 〔管書〕鮑容 [illegible] 生鏡 [illegible] 〔管書〕鮑容 [

食所貢江淵之生無」民而府庫之財有限、興其搖物、不如養民、且繫生之徒、惟利所奪、觀殺殷用、不如養民、朝聚之百倍、若回所輸之貨、故万民之生、其多矣。

「不聞」五所輸之貨、故万民之生、其多矣。

「不聞」生産、『史記』主父偃傳引于長樂、甲、丁女轅、『漢書』同。

「生産」、法言が政治に関して死産を生産と表現する。『史記』孟子荀卿列伝、田駢、『漢書』同。

「生産」、『漢書』同。

「生産」、『漢書』同。

「生産」

〔不い生者能生い生〕[illegible]無といふものが能く萬物を生ずる。（列子天瑞）不い生者能生い生。（注）不い生者、固生物之宗。

〔生同い死所當同傳〕[illegible]生きて居る時は同じく同傳に收められたい。（而已聞見錄司馬君實・答范仁二公相得書）〔生同志・所當同傳・天下人亦不敢像者〕。

〔生母・相見死母・相見〕[illegible]生母に相會ることもいふ。（字彙）〔宜死・綏公主・釋子生母・相見死母・相見〕（通俗編・生母）生母子生母・相見死母・相見（通俗編・生母）見面死不離・說・即期。

〔知二生之樂・未知二生之苦〕[illegible]人は生きてゐることの樂しみを知つて、知つて死の苦しみを知らない。（列子天瑞）人間知二生之樂・未知二生之苦・知二老之樂・未知二老之苦・知二死之苦・未知死之苦。（孔子・太宗帝天人環載我以形・勞我以生・佚我以老・息我以死。）

〔生鳩・士杜國・死作・附羅士〕[illegible]士杜國は國家に技能の動功あるは技能の功を樹てて士杜國となり、死しては加賀大夫となつて[illegible]の罪を贖かうの意。（陳青・解撰虎傳）生鳩・士杜國・死作・附羅士・鄭亦尾矣。

〔生不二五穀食・死則五穀亨耳〕[illegible]生の間は人間世界に居て穀食を身分とすることが出來ないならば、客と知つて大夫の食祿を示したものの、（漢書・王吉傳）〔五穀・五穀祭・五穀祭・五穀・五穀食・五穀食・五穀・五穀・五穀

有二恤心。無憂也。【集韻】恤心。又憐貴 [四部] 紀不一事。家。生產作業 ❶畜牲。牲(マ1-2 0139)に通ず。【說文通訓定聲】產 隊借韻。 牲。左傳 (傳)。以犧牲。屈產之乘。【周禮】 染鍛。爲名。產 8-18426)に同じ。【爾雅、釋樂】大籥謂之產。【釋文】產、字亦作「匽」。【集韻】產 大籥。通作。 ❷山の出ふ。 ❸產産 峠(ま 8269)に通ず。【洪熙字典】產、 產 典 疑同。 ❹產峠 九產 (哀部)思 產產 ❺川の名。(產 7-13005)に通ず。【康熙字典】產、水名。與 產同。【廣韻】郊祀志以 [集韻] 產 產 ❻姓。【萬姓統譜】國語注云、彭城 有、產氏。【ぼくぐ】【集韻】產、生育。

【肉部】

【產表】ﾆｮｳｻﾞﾋｮｳ。うぶ毛。 生れたばかりのすがたに初めて產まれる表。小兒產生等。必用之。

【產月】ｳﾏﾚﾂｷ。生れてからの月。【說文】產、 天地。 吾說 地之性 產 [別子] 機木 輒 株方 典 說 生 吉 未 知 自 根 [別子] 機木 輒 株方 【雜纂續】 輕 輒 產 育 【產育寶慶方】ｻﾝｲｸﾎｳｹｲﾎﾞｳ。書名。一卷。 撰者未詳。出產に關しての方をのこす。別、見て二十 鶴、後 繁 產 效 育 等 がそれぞれ增補した。【四庫提要】 製家 [別] 。

【產乳】ｻﾝﾆｭｳ。生じそだてる。產育。【禮記、祭統】 詳細、其 [別] 上 產 [別] 。

【產後】ｻﾝｺﾞ。子が生れた時、父祖の身に かかる 三月 [別] 產育、人倫 [別] 。【後漢書、文七 [別] 母 [別] 。 [別] 如在 [別] 。【禮記、文七 [別] 母 【產兒】ｻﾝﾆ。 [別] 。 [別] 。 [別]

佛。是世尊生於閻浮城、時、天施捧產洗之衆。

●人の牛れ出た土地。●物の生じ産出の場所。●家系を人に（史記、韓長孺傳）匈奴傳、略子孫、産業。

産出 産出 ●人の牛れ出た土地。●牛れ出た土地。本土。

産地 産地（平）（和語雅）。

産業 産業（平）（和語雅）。

産子 産子（平）（和語物語）。●産土神。八幡の宮所。

産土神 産土神 人が牛れたときに土地を守護する神。産神。氏神。其の土地に牛れる人を氏子といいやすくなること。産神（本草）に同じ。

産奴 産奴（平）（和語）。奴隷の牛んだ奴。産子（人）に同じ。

産母 産母（平）（和語）。産婦。産子（人）を産む母。

産毛 産毛（平）（和語）。子の牛れた時に牛えてくるも毛（連歌）。

産門 産門（平）（和語）。婦人の陰門。産戸。

産婦 産婦（平）（和語）。婦人の産門。産戸。

産戸 産戸（平）（和語）。婦人の産門。産門。

産前 産前（平）（和語）。産門に同じ。

産卵管 産卵管（平）（和語）。雌雄ともに産卵する管。相手を呼び寄せる。

産生 産生（平）（和語）。産出。

産出 産出（平）（和語）。産生に同じ。

産物 産物（平）（和語）。産出する。分娩する。

産婆 産婆（平）（和語）。うみつきの婦人。又、出産して間もない婦人。産婦（産母）に同じ。（本草、水銀）皮毛、主治、産母産子難、（母子建十産論）産母、主治、産母産難、（母子建十産論）産母、主治、産難、（母子建十産論）産母、主治、産難、（和語）。

産難 産難（平）（和語）。産婆に同じ。（本草、水銀）皮毛、主治、産母産子難、（母子建十産論）産母、主治、産難、（和語）。

産科 産科（平）（和語）。産婆に同じ。

産科 産科（平）（和語）。産婆に同じ。

産 産（平）（和語）。産婆に同じ。

産 産（平）（和語）。産婆に同じ。

産 産

館甥于貳室」の見える。

【甥孫】ｿﾝ　姊妹の孫をいう。（稱謂錄、姊妹之孫）

【孫甥】ｿﾝｾｲ　姊妹の孫をいう。（稱謂錄、姊妹之孫）

【甥女】ｾｲﾆｮ　姊妹の女兒。めひ。（稱宗元、祭崔氏外甥女文）「叔翼宗元祭十二十六嫂十之文」

【甥姪】ｾｲﾃﾂ　をひとめひ。（李商隱、疑見詩）「青春相和、月明鵲滿甥姪。」

【賓甥】ﾋﾝｾｲ　むこを貴稱する。（字彙、殷浩傳）「浩甥韓伯、浩素貴愛之（韓伯、殷浩故事讀本上、外戚）殷浩賓甥于韓康」

【館甥于貳室】ｶﾝｾｲｳｼﾞﾂｼﾂ　桑が實姪を以て己の女壻の客を副宮に舍した故事。（孟子、萬章下）「舜尚見帝、帝館甥于貳室、亦饗舜、迭賓主、是天下之大倫也。（繁注）館、舍也。甥、壻也。貳、副也。舜、我舅也。吾謂之女妻舜、故謂之甥。貳室、副宮也。堯舍舜於副宮而就饗其食。」

甦 21692　セイ　姓（9－6173）の古字。（集韻）姓、古作甦。

甡 21693　ケツ　蚍同。切。（字彙）

甤 21694　セイ　姓（9－6178）に同じ。（字彙補、與甦同。）

甾 21695　ドン　甾（9－6286）に同じ。（甄鼎手鑑、甾、同。）

甿 21696　リョウ　陳（11－4746）の本字。（字彙、陳本字。）

畱 21697　ソ　甦（7－2689）に同じ。（字彙）

畺 21698　ソン　（字彙補）所昔切。

おほいい。

畽 21699　クワウ　（集韻）胡光切　（字彙補）耳、衆也。

畾 21700　ボウ　モウ　切。　義未詳。（熊鼎手鑑、畾、其孔

畿 21701　クワウ　畿（7－2689）の古字。（集韻、古作畿。）

畺 21702　ジャウ　義未詳。（熊海藏編、畺、音攘、又音壤。）

疆 21703　ヨウ　（集韻）余傍切　（字彙補）余傍切　ユ　yung

十二畫

十四畫

十五畫

十七畫

用部

用 小篆　古 ●もちひる。もと甬に作用。（文通）用、「篆作」（正字通）用、「篆作」（說文）用、可ふ施行也。从卜中。衝突說。（段注）卜中則可施行。故取以會意。（易、乾）初九、潛龍勿用。（疏）勿、猶無。使也。（左氏、襄二十六）雖勿用。梁。（注）猶勿用也。（史記、孟子荀卿列傳）「孟軻、魏人。嘗遊梁。梁惠王不能用軻。」●登庸する。（漢書、賈誼傳）「賈誼、雒陽人。年十八、能誦詩書屬文。聞吳有吳起、李悝、申子之學、亦頗習之。文帝聞其名、召以爲博士。是時誼最年少、通諸家之書。文帝說之、數月之間、超遷太中大夫。」●はたらき。功用。能力。（易、繫辭上）「顯諸仁、藏諸用。」（莊子、逍遙遊）「若夫乘天地之正、而御六氣之辯、以遊無窮者、彼且惡乎待哉。故曰、至人無己、神人無功、聖人無名。」●つかひみち。用途。（莊子、逍遙遊）「吾有大瓠之種、而樹之成、而實五石、以盛水漿、其堅不能自舉也。剖之以爲瓢、則無所容。非不呺然大也、吾爲其無用而掊之。」●まちがひ。（國語、鄭語）「時至而求、用、不逢。」（注）用、謂國用。（韋昭）用、猶過也。（史記、平準書）「猶、猶省用。」●たから。もとで。（廣韻）用、財也。（周禮、天官、宰夫）「凡國用、賓用、祭用。」（注）用、財用也。（國語、周語中）「以備百官百姓共用。」（韋昭）用、猶費也。（戰國、魏策）「吾用多。」（注）用、資用也。●道具。（左氏、襄二十五、利）器用。（禮、樂記）「器用、資、微子乃獲、竊神祇之犧牲以傳器實曰用。」●もつて。（說文）用、可ふ施行也。（段注）用、猶以也。（易、繫辭上）「以一、以一、以用、一擊之轉、孔春秋公

羊傳之釋經、皆言何以、穀梁獨或言何用其實一也、書舉陶虞曰、侯以明之、雖以記之、書用歲時、亦以也、(7―21734)に同じ。

よる。中(7―21734)に同じ。(經傳轉詞、一)用、詞之由也、詩君子陶陶傳曰、由用也、可、詞爲用、用、亦可、詞爲傳曰、由用、聲之轉也、禮記檀弓曰、故謂用、是作、而共由此起用、亦由也、互文耳。❹なす。何用傳轉詞、一用、詞之爲也、詩雄雉曰、不忮不求、何用不臧、言何爲不臧也、云云、(2)用、以皆爲、聲之轉、❺通ずる。廣韻、用通也、(毋字、務物論)用也者、通也。❻言葉。(荀子、大略、文致情用、相爲用、(注)用、謂、譜言。❼つかがね。鎮(11―140―808)に通ず。(六書正譌用、古韻字、鎮也、(2)借爲、施用字。❽玉(1―1―1)(注)古文、用爲、(3)轉注、非命篇、雖喪、旅師、(爾詩)雖、用音同。❾或は利。8―1932)に作る。(易、升、用)見、大人六字、釋文本或作、利。❿鏞(4―9378)に通ず。(禮、皇陶謨)五刑五用哉。(後漢書、梁統傳)五刑五用哉。(說文)用、用、古文用。(字彙補)用、古文用字。⓫姓。(氏姓統譜)古有、用國。見、毛敦料、用鼎。⓬食べる。

用部 用部

用 ユウ モチイル

解字 會意。上中と口の合字。者が上にすれば必ず施れ上たから、下中を合せて用ひる義と、又、用を見ると、▽用(甲骨文)の略形。柄で持ちあげることから、とりもちひる也。

用部 用部

用 [用部] 7画 [JIS] 3121 [U] 7用 [Unicode] U+7用

明、官職條(8―2107―1426)の字。

用憲 [yuyu, yuyu] ❶心をこころ。(爾雅、釋詁)、夫鼎、尖心爲容、說義作、容、

38)の字。●明。未多僅(6－14424・3822)の字。●明。賺鄉(4－13276・1343)の字。●清。邑開復(9－23586・2328)の字。

【用】yòng, yōng 用いる。

●王建(7－20823・613)の字。●明。徐武武(4－10110・6982)の字。●明。徐武基(4－10110・6983)の字。●明。徐武基(4－10110・6983)の字。

【用別】yòng kuang 入質。質目。質金。

【用刑】yòng xíng 刑罰を行う。刑罰を用いる。「易、旅(易経)」山に火旅、君子以明慎用刑、而不留獄。

【用敬】yòng jìng 計略を用いる。又、謀計で、計策で。

字統。●明。王敬(7－20823・613)の字。●明。徐武武(4－10110・6982)の字。

【用件】yòng jiàn 用途。用事。

●賢者を用いる。

【用今】yòng jīn 用事。

●明。王建(7－20823・613)の字。

【用法】yòng fǎ 明。王建(7－20823・613)の字。

【用言】yòng yán 明。程伊(7－20823・613)の字。

●文法で語尾の変化する語。動詞、形容詞、形容動詞、動動詞等をいう。體言(12－45239・32)の對。●明。陳綽(11－41598・38)の字。

【用戶】yòng hù 使用者。加入者。衆戶家。

【用五】yòng wǔ 王建(6－20823・4473)の字。

【用語】yòng yǔ もちいることば。使用の字句。

【用工】yòng gōng 勉強する。努力する。功一工。

【用功】yòng gōng, kung 勉強する。努力する。成功。

【用功不到】yòng gōng bù dào 勉強が足らない。努力が徹底しない。

【用獄】yòng yù 刑獄を用ひる。刑罰を用ひる。

【用才】yòng cái 才能ある人を用ひる。賢者を用ひる。「陶潛、讀山海經」詩、觀鼎鑊、朝市、帝者憑。

【用材】yòng cái 用ひる材料。使用の木材。「用才」の字。

【用財】yòng cái 財を用ひる。又、使用の財。(管子、版法)「善用財、慎強兵、以明慎用刑、而不留獄。」

【用出】yòng chū 用紙。字統。

【用紙】yòng zhǐ 用紙。字統。●明。陳綽(11－41598・38)の字。

【用秀】yòng xiù 明。鍾離(11－45923・68)の字。

【用修】yòng xiū 明。鍾離(11－45923・68)の字。

【用修】yòng xiū 明。楊慎(6－15113・2232)の字。

【用文】yòng wén 明。程伊(7－20823・613)の字。

【用武】yòng wǔ 明。王建(6－20823・4473)の字。

【用之】yòng zhī 明。陳綽(11－41598・38)の字。

【用之】yòng zhī 明。陳綽(11－41598・38)の字。

【用之】yòng zhī 明。陳綽(11－41598・38

之則弗中、正差在薛數之間。◎韓非子の篇名。◎強于之國、十君に侵略して極愛の事に強いる。武家の篇名。十君に侵略して極愛の事に強いる。◎食民家、食民の家。◎民間の式に倣し、出納を掌る進職。◎教類篇 [illegible]、五一）京保元年六月十八日、竹腰宮様御用人。

用水 [illegible] ◎水を使う。又、すなわち用水。（用、禮記）用、水火金木土穀。◎水を使う。又、すなわち用水。（用、禮記）用、水火金木土穀。◎建穀、穀類等のために貯蓄し、水、（東篇、八）文道同年、二月十九日、於雲岡所頭、今下人等用水。

用水桶 [illegible] ◎用水をおく桶。多、水火、（無）。◎用水をおく桶。多、水火、（無）。◎用水をおく桶。多、水火、（無）。

用止 [illegible] 明、元史卷0－[illegible]－1530の字。

用止 [illegible] 明、毛王16－16772－4230の字。

用精 [illegible] 精神を用ひる。（論衡、遭遇）用精、不一種、無他於事也。

用斉 [illegible] 明、王恂7－20823－5723の字。

用清 [illegible] 明、劉璉8－32224－1650の字。

用昭 [illegible] 明、元史卷0－13450－1108の字。◎明、元史卷0－1380の字。

用節 [illegible] 明、陳玠11－41708－4470の字。

用先 [illegible] 明、馬彪10－44579－1139の字。

用幾 [illegible] 明、武粒16－16723－4430の字。◎李かんがえ、（義、食貨志下、除）計開書新年秋之初、[illegible]、字、鍾千五十、（[illegible]）用、[illegible]、（二、部成語、別部、取、意用後、寸解）代人柳、事、[illegible]。

用[illegible] [illegible]、[illegible]、食事をする。

用[illegible] [illegible]、元、[illegible]18－47926－4820の字。

用[illegible] [illegible]、元、[illegible]8－3709－3277の字。

用[illegible] [illegible]、元、[illegible]を指用する時、[illegible]指揮をして後の[illegible]能者を特別任用させること。（[illegible]食

用何事而無才事、往往而見[illegible]。

用頭 [illegible] [illegible]、用ひるもの、使用の目的。

用特 [illegible] [illegible]、特に、殊更に。

用徳 [illegible] [illegible]、明、夏宗8－37520－3830の字。

用力 [illegible] [illegible]、[illegible]、[illegible]、[

字。●第三千一代の帝嚳。

【用費】[illegible] 明・林年（●4—15501—2528）の字。

【用意】[illegible] 明・林年（●4—15501—2528）の字。

【用例】[illegible] 明・張居正（●4—19110—2923）の字。

【用甩】[illegible] 明・張居正（●4—19110—2923）の字。

【用部】[illegible] 明・張居正（●4—19110—2923）の字。

【用法】[illegible] 清・徐眞（●4—19110—2923）の字。

【用】[illegible] 明・林年（●4—15501—2528）の字。

者。然、得良策則活人、得惡策則殺人。（後漢書・劉陶傳）

（韓紙ノ校）正義曰、用、猶以也。（周禮・劉殺人、

者之用。●嚳・嚳部・逸・紙部・[illegible]・[illegible]・[illegible]

[…詩、齊風、甫田]無田…甫田。[傳]甫、大。[釋詩]甫、美也。[廣雅、釋詩]甫甫、衆也。[廣韻]甫、美也。[説文通訓定聲]甫、段借爲輔。[自虎通定聲]甫、假借爲輔。[…]輔、車輔也、輔、大也之重、而行之也。

われ、[爾雅、釋詩]甫、我也 ⑤文(7・1972)。[説文]甫、男子美稱。[釋文]甫、本又作父。[…]13539に通ず。[…]…、章甫。[…]…、甫侯之後。[…]…、…。[…]…、…。[…]…、…

子、本經謂「俗名猛雷」、南道飛鼠、注:「南道、飛鼠、鼯鼠也。」●郡中の中道。

吳子、不經謂「俗名猛雷」、南道飛鼠、注:「南道、飛鼠、鼯鼠也。」●郡中の中道。

の海中の洲。(『古文』、哀、二十二)「越滅吳、鎮海、海中洲也。(『後漢』、郡國志、三十二)「越滅吳、鎮海、海中洲也。(『後漢』、郡國志、三十二)「會稽句章縣、鎮海、海中洲也。(『後漢』、郡國志)句章、今浙江寧波府慈谿縣、鎮海、縣地、海中洲、郡治也。今之定海縣也。縣東二十里有、翁山、一名、翁洲、郡春秋之甬東。

「甬東山人」。ヨウトウ サンジン 明、明時代 (8-3386…84)。

【甬】(甬部) 甬 (7-21703) の古字。(『篇海類編』用、古文用字。)

【角】(角部) 角 (7-21703) に同じ。(字彙補)

【斛】(斗部) 斛 (7-21703) に同じ。(字彙補)

【坩】(土部) 坩 (7-21703) に同じ。(字彙補)

【缶】(缶部) 缶 (7-21703) の古字。(『篇海類編』用、古文用字。)

【甭】(甭部) 甭 (7-21703) の古字。(『篇海類編』用、古文用字。)

【蒲】(艸部) 蒲 (7-21703) の古字。(『篇海類編』用、古文用字。)

【胡】(月部) 胡 (7-21703) の古字。(『篇海類編』用、古文用字。)

【葡】(艸部) 葡 (7-21703) の古字。(『篇海類編』用、古文用字。)

【甫】(甫部) 甫 (7-21703) の古字。(『篇海類編』用、古文用字。)

三畫

【角】(角部) 角 (7-21708) の古字。(『集韻』)

カク (字彙) 胡江切 江

具はる。 具へる。(『廣韻』)「角、具也。(『正字通』)角、獨字之譌。」

四畫

【角】(角部) 角 (7-21712) に同じ。(字彙補)

ビ 角同、備 (1-98) に同じ。(字彙補)

【胡】(月部) 胡 (7-21713) に同じ。(字彙補)

ホウ ゴ 月同、胡。

用ひない。 役に立たない。(『解海』)「甭、讀如不用。(字彙讀之合音、卽不用之義。今北語通用之。」

五畫

【葡】(艸部) 葡 (7-21714) に同じ。(字彙補)

ビ (『玉篇』皮匏切 眞)

具はる。 具へる。(『集韻』)「葡、具也。今作、備。(『廣韻』)葡、蒲、古文、(『字彙』)葡、俗蒲字。」

六畫

【胡】(月部) 胡 (7-21715) に同じ。(『玉篇』)「胡、具也。今作、備。(『廣韻』)葡、蒲、古文、(『字彙』)葡、俗蒲字。」

ホウ 寶 (8-25949) に同じ。(『集韻』)

具はる。 具へる。(『集韻』)

七畫

【甫】(甫部) 甫 (7-21716) の誤字。(『字彙』)

ヨウ 用、古字、同。

【甫】(甫部) 甫 (7-21717) そなへる、そなはる。葡 (7-21716) に同じ。(『說文』)「葡、具也。」(『段注』)「葡、備、通作。」

ビ (『集韻』『韻會』)

そなへる、そなはる。 葡 (7-21716) に同じ。(『說文』)「葡、具也。」(『段注』)「具、供置也。人部曰、備、也。然則備字當作、葡、義同而略有別。今則專用、備而葡廢矣。(『集韻』)「葡、隸作、備、通作。」

解説 會意。用と苟いまもるとの略字とを合せて、そなへる意を表はす。(『說文』)「苟、自急也。敕誡也。此會意。ワ、苟、甲骨文、象形。犬を入れ、そなへる形に象る。」

【甫】(甫部) 甫 (7-21717) 小篆 ニヨウ ニヤウ ヨウ ヨウ

(『集韻』『韻會』)

ねがひ。 (『說文』)「甫、所願也。从用屮。屮、番番也。●そやすい。むしろ。」(『字彙』)「甫、與、寧、通。」(『正字通』)「甫、俗作、寧。●姓名。春秋、晉の邑。南南省。」(『廣韻』)「甫、(『玉篇

【甫法】[illegible] 清・郝懿行の人。字は季鞠、又、怕鞠。號は蘭皋。明の諸生。古を好み、考證に巧。因襲を疑難し、名も後輩に[illegible]。著に『爾雅郭注補正』[illegible]。

【甫堅】[illegible] 明・張鼎の人。字は

田

21723

日テン（集韻）亭年切　去一ノ一　霰

日テン（集韻）地因切　因

日テン（字彙）落蒙切　蒙

田 小篆

田 地。(說文)田。敵也。樹穀曰田。陳。今正。敵者列也。(段注)各本作「敵也」。十、十千有之胤也。(段注)各本作「敵也」。十、十千有之胤也。(段注)各本作「敵也」。十、十千有之胤

田園詩人 デンエンシジン 田園の詩人。田園生活の自然美を うたった詩人。

田園詩 デンエンシ 田園の詩。郷里の田畠が荒廃しようとした頃の詩。陶潛が官を解して郷に帰る時作った詩。(陶潛・歸去來辭)辞宗家 デンシ 田舎。郷里。田宅。

田舎 デンシ 田園を離れた田園の間に住み、農業などをして生活する。

田園都市 デンエントシ 田園の生活と都会生活の利便とを併せて享受しうるやうに建設せられた都會。

田翁 デンオウ 田舎老翁(杜甫・同谷亂後詩)貼子 デンシ 客舎員外貼子梁知字贈詩(昭和祥雖曲・田翁號・唐詩化・杜甫)和尚 ショウ 雖曲・田翁號・常言化育詩。

田何 デンカ 姓氏(姓名錄)字 ジ 子莊。魯人。後、杜陵に徙る。字は子莊。魯人。後、杜陵に徙る。

田蚡 デンフン 漢・清川の人。後、杜陵に徙る。字は子莊。魯人。後、杜陵に徙る。字は子莊。魯人。後、杜陵に徙る。字は子莊。魯

して死罪に處し、其の資を没収す。（明史、三百六〇「明史稿、二百八十七」）

【田況】『宋史』。字は方平。其の先は蜀州信都の人、少にして文章を好む。進士科に舉げられ、正陵推官に補せられ、夏竦の知る所となり、竦、之を薦めて、召されて判官を授けらる。保州の役に、竦、之を奏して、朝廷に、之を用ひ、竦、之を薦めて、後、戰文殿學士に陞進す。著に奏議、儒宗論ありて、都事略、七十一「況平章」十一）。

【田居】『唐書』。●唐、曹州鄄城人。（『唐書』、百七十二「居平章」十一）。

【田漁】『宋史』。かりとすなどり。（『列子』、湯問）或は、田漁の間に殺けた溝、（『史記』、蘇秦列傳、注）田漁、田畝也。●明、陽信の人、字は希白。一に龍襄、十初子。嘗て、明、未淡の人、字は希白。一に龍襄、十初子。嘗て、明、未淡の人、字は希白。一に龍襄、十初子。嘗て、明、未淡

芥抄」。

田公 [illegible]　●農夫を〜ふ。『孫子』『孫子』。

朝野群載 [illegible]　見三二四」田公英雄。●[illegible]氏。姓名詳抄。

田公[illegible]　[illegible]の名。『[illegible]』。

[illegible]　[illegible]。『[illegible]』。

[illegible]　[illegible]。

田部 [illegible]　[illegible]。

[illegible]　[illegible]。

[illegible]　[illegible]。

[

計錄田土晚歲常爲田舍翁。

【田金歌】[illegible]　田金に行はる歌。借歌。ひなうた。「[illegible]」の[illegible]。

【田金】[illegible]　田金の[illegible]。[illegible]。

【田金人】[illegible]　田金に行はる人。[illegible]。

【田金女】[illegible]　田金に行はる女。[illegible]。

【田金流】[illegible]　[illegible]。

【田金部】[illegible]　みなかものの。農夫。田金部。

夢部を著に曰く。[illegible]。

【田金部】[illegible]　みなかものの。農夫。[illegible]。

話太宗紀。[illegible]。[illegible]。[illegible]。

【田金人】[illegible]　みなかものの。農夫。[illegible]。

【田金子】[illegible]　みなかものの。農夫。[illegible]。

【田金子】[illegible]　みなかものの。農夫。[illegible]。

【田金女】[illegible]　みなかものの。農夫。[illegible]。

【田金】[illegible]　みなかものの。農夫。[illegible]。

【田金】[illegible]　みなかものの。農夫。[illegible]。

【田金

[田臣]102ウ 明・侯剛(1・2939・5)の字。
[田信]102ウ 陪の人。式の子。式・陪名せられて民となり、自殺せんとす。信は時に儀同の官に在り、遽に帰せんとす。信は時に儀同の官に在り、遽に帰せんとす。信は時に儀同の官に在り、遽に帰

し、種に播いられて辛し。(明史二百八十二)

(新唐書)『唐書』(唐書)『明史』(明史)『二百二十二』(同)『明史』(明史)『二百二十二』(同)『明史』(明史)『二百二十二』(同

著に經史名解・叢說・未定一・向達天文解・魯頌儀闡・大觀遺稿・大觀文觀筆・天經或問・天學初函・名山藏・王文成全書・天文大觀・天學初函・天文略・天文大觀・天學初函・天文大觀・天學初函・天文大觀・天學初函

馬光傳）月居（洛陽十五年、天下以鑑、國語韋昭、
興・田夫野老、皆以法法田間。（宋史、蘇軾傳）蘇
軾、字子瞻、眉州眉山人。（宋史、蘇軾傳）蘇軾
字子瞻、眉州眉山人。（宋史、蘇軾傳）蘇軾
羽紀・項王不能除、項王、道、路不、作、田父（蜀志、
張飛傳）君遊必有、所、適、路不、作、田父（蜀志、
里也（蜀志、杜襲傳）杜襲、字子緒、南陽淯陽
人、襲、田父、杜鴻、淯陽、朱虎之孫、而氏上機
鋒

畝、收二穀是獻稅（史記、律書）得一息、穀於田畝。●田の面積。田の歩数。事物名原、農業門 畝。●田畝、通典曰、秦始皇歩、歩制以六尺爲歩、是用以計、起、百、軒轅也、周法、以六尺爲歩、歩歩爲畝、今又、百四十歩也、黄帝法、以二百二十歩爲畝、今又、百四十歩也、黄帝法、以二百二十歩爲畝、今又、百六十歩也、一人畝云、●官懸法を定めたかつ人口で事を案ずるなり。官懸法、官懸法を定めたかつ人口で事を案ずるなり。後漢、鄧禹の人、字は孟卿、建武の初、徵されて司徒となり、侯に封ぜられ、鄧侯と号す。後漢、馮魴の人、字は仲孫、建武の初、徵されて司徒となり、侯に封ぜられ、馮侯と号す。後漢、馮魴の人、字は仲孫、建武の初、徵されて司徒となり、侯に封ぜられ、馮侯と号す。

【田部】 田 ⑤ 田 ⑤ 田 ⑤

其所」始。

【田部】[illegible]　明、清苑の人。字は世駿。正德の進士。例吏に出家遵程所に於て任じたが、到任に忤ひ、家居を為る。時いて大理寺卿に陞じ、疏を上して、「本朝分省人物攷」五。

【田宅】[illegible]　●周に宅毛、自畝の宅と五畝の宅。●秦に田制、百畝の田、里耦、戶一頃、田四頃、百畝之田、里二頃、五十畝之宅、百畝之宅、皆有溝洫、[illegible]。●漢に田制、[illegible]。●魏に田制、[illegible]。●晉に田制、[illegible]。●隋に田制、[illegible]。●唐に田制、[illegible]。●宋に田制、[illegible]。●元に田制、[illegible]。●明に田制、[illegible]。

【田部】[illegible]　●周に[illegible]。●秦に[illegible]。●漢に[illegible]。●魏に[illegible]。●晉に[illegible]。●隋に[illegible]。●唐に[illegible]。●宋に[illegible]。●元に[illegible]。●明に

ら後、節度使同書門下平章事に補任す。〔舊唐書 昭宗紀〕○同、鄭宗の眞妃。種玗の人。件、唐書、紀略

師せむ。後、員携准謀者の部座使に至り、同中書門下平章事を加られ、雁門郡王に封ぜら れ、侍中に遷る。天祐元年、卒す。（『旧唐書』二百四十一、『新唐書』百四十一）

田紀端 ⁷⁸⁷⁻⁸⁰⁴ 唐、南昌の人。字は本末。天宝の末、縣令となる。代宗朝、信都郡王に封ぜられ、洪業を授けられる。（『唐書』百四十一）

田紀仙 ⁷⁸⁷⁻⁸⁰⁴ 唐、長安の人。謹ん厚、制挙に推ぶられ、左衛胄曹参軍となり、殿中侍御史に遷る。やがて、これに従う。（『唐書』百四十一）

田紀文 ⁷⁸⁷⁻⁸⁰⁴ 唐、長安の人。謹ん厚、制挙に推ぶられ、左衛胄曹参軍となり、殿中侍御史に遷る。やがて、これに従う。（『唐書』百四十一）

田紀暢 ⁷⁸⁷⁻⁸⁰⁴ 唐、長安の人。謹ん厚、制挙に推ぶられ、左衛胄曹参軍となり、殿中侍御史に遷る。やがて、これに従う。（『唐書』百四十一）

田紀鳳 ⁷⁸⁷⁻⁸⁰⁴ 唐、昭応縣（→0010）の人。五（『宋史新編』七十八）。

田紀鳳 ⁷⁸⁷⁻⁸⁰⁴ 唐、昭応縣（→0010）の人。字は元卿。謹ん厚、制挙に推ぶられ、左衛胄曹参軍となり、殿中侍御史に遷る。やがて、これに従う。（『唐書』百四十一）

【田鼎芳】[illegible] 清・維県の人。字は梁素。號は晉山・蘭溪子・湖石・湖石子・湖石老人・湖石居士・湖石山人・湖石主人・湖石主人・湖石主

夫、長孫無忌・褚遂良・韓山・未・朝鮫・至人無心・何厚薄・我自愉・私欲・所以・聞・自欲・而知欲・晴・去得・愚風・來者・恕・若使・人人・飄・遂・遠・物・慢・得・行・因・報・信不・惡・海・到有・茨・神・水・惟・退・之・蓋・去・百只・清・觀・所・餐今・換・不・嫌・俗・去・子・秋・二・霜山・遠・海・

由 21724

（二）イウ（集韻）羊茂切 尤 ユウ

（三）エウ（正字通）直妖 ヨウ

由 古文 **由** 籀文 **由**

●**よる。**（広韻）由、因也。（礼記、表記）子曰、小雅、小弁、君子無小過、無大罪、人之有是、由、親親之恩也。（荀子、賦）由、用、（注）用也。（楚辞、九章、涉江）乱曰、鳳凰既已在笯兮、又何以爲此春秋。（注）言、鳳凰、以喻、君子、遭、讒、而、放、棄、又、何、以、爲、此、春、秋、之、時、也。（論語、衛霊公）子曰、由、知、德、者、鮮、矣。（注）由、用、也。（礼記、中庸）子曰、由、是、觀、之、（注）由、用、也。（荀子、王制）由、是、觀、之、（注）由、用、也。（荀子、成相）由、是、觀、之、（注）由、用、也。（荀子、賦

[11 21726] 〔説文〕この字。

由 [illegible] 〔説文〕ひょうたん。由は古文省。[illegible]て木が枝を生ずること。蔓は傍らをさいふ。[illegible]鳥木生ず。[illegible]。

由 [illegible] 〔説文〕[illegible]。[illegible]。[illegible]。

甲 小篆 甲 古文 甲 籀文 甲 古文

きのえ 名 十干の第一位。④東方。〔説文〕甲、東方之孟、物之始動、从木戴孚甲之象。〔周礼、考工記〕旊氏、甲白鬲達。〔易、離〕先甲三日。〔注〕甲在東方。⑤日を數へる始。〔易、蠱〕先甲三日後甲三日。〔疏〕甲、謂十日之首。〔礼、郊特牲〕日用甲。〔疏〕甲、是日月之初。⑥五行の一。〔注〕甲、木也。⑦五音では角。〔正字通〕甲、音闌角。一**かふ**。亀のからの。〔呂氏春秋、慎大覽〕[illegible]。〔注〕言、體有[illegible]甲、[illegible]字爲甲之本義。大戴禮易本命篇、有甲之蟲形王作[illegible]。[illegible]同中作[illegible]。象其[illegible]引申之、草木之皮及人之城以自衛者、亦謂之甲。**三さや** 草木の初めて生え出た鞘葉に若いてゐる種の皮。〔正字通〕甲、草木萌芽皮裂曰甲。〔易、解〕雷雨作、而百果草木皆甲坼。〔疏〕百果草木、皆孚甲開坼、莫不解散也。〔後漢書、章帝紀〕方一春生養萬物孚甲。**四よろひ** 鎧。〔易、說卦〕離爲甲冑。〔書、說命〕惟甲冑起戎。〔傳〕甲、鎧。〔左氏、襄、二〕組甲三百。〔注〕組甲、漆甲成組文。**五よろひ武者** 武裝の兵。〔戰國、趙策〕秦下[illegible]。〔史記、張儀傳〕秦武裝の兵。**六**[illegible]。〔正字通〕甲、鎧[illegible]。**七ころも** 衣服。〔正字通〕甲、衣亦曰甲。[illegible]。**八つめ** 爪甲。手足に生ずるつめ。爪の形に作ったもの。〔管子、四時篇〕[illegible]。〔杜甫、陪鄭公秋日宴[illegible]〕銀甲彈箏用金無。**九**[illegible]。**十まさる** 勝れる。〔史記、張儀傳〕秦[illegible]。**十一**[illegible]。**十二**[illegible]。**十三**[illegible]。**十四**[illegible]。**十五**[illegible]。**十六**[illegible]。**十七**[illegible]。**十八**[illegible]。**十九**[illegible]。**二十**[illegible]。**二十一**[illegible]。**二十二**[illegible]。**二十三**[illegible]。**二十四**[illegible]。**二十五**[illegible]。**二十六**[illegible]。**二十七**[illegible]。**二十八**[illegible]。**二十九**[illegible]。**三十**[illegible]。**三十一**[illegible]。**三十二**[illegible]。**三十三**[illegible]。**三十四**[illegible]。**三十五**[illegible]。**三十六**[illegible]。**三十七**[illegible]。**三十八**[illegible]。**三十九**[illegible]。**四十**[illegible]。**四十一**[illegible]。**四十二**[illegible]。**四十三**[illegible]。**四十四**[illegible]。**四十五**[illegible]。**四十六**[illegible]。**四十七**[illegible]。**四十八**[illegible]。**四十九**[illegible]。**五十**[illegible]。**五十一**[illegible]。**五十二**[illegible]。**五十三**[illegible]。**五十四**[illegible]。**五十五**[illegible]。**五十六**[illegible]。**五十七**[illegible]。**五十八**[illegible]。**五十九**[illegible]。**六十**[illegible]。**六十一**[illegible]。**六十二**[illegible]。**六十三**[illegible]。**六十四**[illegible]。**六十五**[illegible]。**六十六**[illegible]。**六十七**[illegible]。**六十八**[illegible]。**六十九**[illegible]。**七十**[illegible]。**七十一**[illegible]。**七十二**[illegible]。**七十三**[illegible]。**七十四**[illegible]。**七十五**[illegible]。**七十六**[illegible]。**七十七**[illegible]。**七十八**[illegible]。**七十九**[illegible]。**八十**[illegible]。**八十一**[illegible]。**八十二**[illegible]。**八十三**[illegible]。**八十四**[illegible]。**八十五**[illegible]。**八十六**[illegible]。**八十七**[illegible]。**八十八**[illegible]。**八十九**[illegible]。**九十**[illegible]。**九十一**[illegible]。**九十二**[illegible]。**九十三**[illegible]。**九十四**[illegible]。**九十五**[illegible]。**九十六**[illegible]。**九十七**[illegible]。**九十八**[illegible]。**九十九**[illegible]。**百**[illegible]。**百一**[illegible]。**百二**[illegible]。**百三**[illegible]。**百四**[illegible]。**百五**[illegible]。**百六**[illegible]。**百七**[illegible]。**百八**[illegible]。**百九**[illegible]。**千**[illegible]。**千一**[illegible]。**千二**[illegible]。**千三**[illegible]。**千四**[illegible]。**千五**[illegible]。**千六**[illegible]。**千七**[illegible]。**千八**[illegible]。**千九**[illegible]。**万**[illegible]。**万一**[illegible]。**万二**[illegible]。**万三**[illegible]。**万四**[illegible]。**万五**[illegible]。**万六**[illegible]。**万七**[illegible]。**万八**[illegible]。**万九**[illegible]。**億**[illegible]。**億一**[illegible]。**億二**[illegible]。**億三**[illegible]。**億四**[illegible]。**億五**[illegible]。**億六**[illegible]。**億七**[illegible]。**億八**[illegible]。**億九**[illegible]。**兆**[illegible]。**兆一**[illegible]。**兆二**[illegible]。**兆三**[illegible]。**兆四**[illegible]。**兆五**[illegible]。**兆六**[illegible]。**兆七**[illegible]。**兆八**[illegible]。**兆九**[illegible]。**京**[illegible]。**京一**[illegible]。**京二**[illegible]。**京三**[illegible]。**京四**[illegible]。**京五**[illegible]。**京六**[illegible]。**京七**[illegible]。**京八**[illegible]。**京九**[illegible]。**垓**[illegible]。**垓一**[illegible]。**垓二**[illegible]。**垓三**[illegible]。**垓四**[illegible]。**垓五**[illegible]。**垓六**[illegible]。**垓七**[illegible]。**垓八**[illegible]。**垓九**[illegible]。**秭**[illegible]。**秭一**[illegible]。**秭二**[illegible]。**秭三**[illegible]。**秭四**[illegible]。**秭五**[illegible]。**秭六**[illegible]。**秭七**[illegible]。**秭八**[illegible]。**秭九**[illegible]。**穰**[illegible]。**穰一**[illegible]。**穰二**[illegible]。**穰三**[illegible]。**穰四**[illegible]。**穰五**[illegible]。**穰六**[illegible]。**穰七**[illegible]。**穰八**[illegible]。**穰九**[illegible]。**溝**[illegible]。**溝一**[illegible]。**溝二**[illegible]。**溝三**[illegible]。**溝四**[illegible]。**溝五**[illegible]。**溝六**[illegible]。**溝七**[illegible]。**溝八**[illegible]。**溝九**[illegible]。**澗**[illegible]。**澗一**[illegible]。**澗二**[illegible]。**澗三**[illegible]。**澗四**[illegible]。**澗五**[illegible]。**澗六**[illegible]。**澗七**[illegible]。**澗八**[illegible]。**澗九**[illegible]。**正**[illegible]。**正一**[illegible]。**正二**[illegible]。**正三**[illegible]。**正四**[illegible]。**正五**[illegible]。**正六**[illegible]。**正七**[illegible]。**正八**[illegible]。**正九**[illegible]。**載**[illegible]。**載一**[illegible]。**載二**[illegible]。**載三**[illegible]。**載四**[illegible]。**載五**[illegible]。**載六**[illegible]。**載七**[illegible]。**載八**[illegible]。**載九**[illegible]。**極**[illegible]。**極一**[illegible]。**極二**[illegible]。**極三**[illegible]。**極四**[illegible]。**極五**[illegible]。**極六**[illegible]。**極七**[illegible]。**極八**[illegible]。**極九**[illegible]。**恒**[illegible]。**恒一**[illegible]。**恒二**[illegible]。**恒三**[illegible]。**恒四**[illegible]。**恒五**[illegible]。**恒六**[illegible]。**恒七**[illegible]。**恒八**[illegible]。**恒九**[illegible]。**阿**[illegible]。**阿一**[illegible]。**阿二**[illegible]。**阿三**[illegible]。**阿四**[illegible]。**阿五**[illegible]。**阿六**[illegible]。**阿七**[illegible]。**阿八**[illegible]。**阿九**[illegible]。**僧**[illegible]。**僧一**[illegible]。**僧二**[illegible]。**僧三**[illegible]。**僧四**[illegible]。**僧五**[illegible]。**僧六**[illegible]。**僧七**[illegible]。**僧八**[illegible]。**僧九**[illegible]。**祇**[illegible]。**祇一**[illegible]。**祇二**[illegible]。**祇三**[illegible]。**祇四**[illegible]。**祇五**[illegible]。**祇六**[illegible]。**祇七**[illegible]。**祇八**[illegible]。**祇九**[illegible]。**劫**[illegible]。**劫一**[illegible]。**劫二**[illegible]。**劫三**[illegible]。**劫四**[illegible]。**劫五**[illegible]。**劫六**[illegible]。**劫七**[illegible]。**劫八**[illegible]。**劫九**[illegible]。**無**[illegible]。**無一**[illegible]。**無二**[illegible]。**無三**[illegible]。**無四**[illegible]。**無五**[illegible]。**無六**[illegible]。**無七**[illegible]。**無八**[illegible]。**無九**[illegible]。**量**[illegible]。**量一**[illegible]。**量二**[illegible]。**量三**[illegible]。**量四**[illegible]。**量五**[illegible]。**量六**[illegible]。**量七**[illegible]。**量八**[illegible]。**量九**[illegible]。**不**[illegible]。**不一**[illegible]。**不二**[illegible]。**不三**[illegible]。**不四**[illegible]。**不五**[illegible]。**不六**[illegible]。**不七**[illegible]。**不八**[illegible]。**不九**[illegible]。**可**[illegible]。**可一**[illegible]。**可二**[illegible]。**可三**[illegible]。**可四**[illegible]。**可五**[illegible]。**可六**[illegible]。**可七**[illegible]。**可八**[illegible]。**可九**[illegible]。**思**[illegible]。**思一**[illegible]。**思二**[illegible]。**思三**[illegible]。**思四**[illegible]。**思五**[illegible]。**思六**[illegible]。**思七**[illegible]。**思八**[illegible]。**思九**[illegible]。**議**[illegible]。**議一**[illegible]。**議二**[illegible]。**議三**[illegible]。**議四**[illegible]。**議五**[illegible]。**議六**[illegible]。**議七**[illegible]。**議八**[illegible]。**議九**[illegible]。**小**[illegible]。**小一**[illegible]。**小二**[illegible]。**小三**[illegible]。**小四**[illegible]。**小五**[illegible]。**小六**[illegible]。**小七**[illegible]。**小八**[illegible]。**小九**[illegible]。**劫**[illegible]。**劫一**[illegible]。**劫二**[illegible]。**劫三**[illegible]。**劫四**[illegible]。**劫五**[illegible]。**劫六**[illegible]。**劫七**[illegible]。**劫八**[illegible]。**劫九**[illegible]。**三**[illegible]。**三一**[illegible]。**三二**[illegible]。**三三**[illegible]。**三四**[illegible]。**三五**[illegible]。**三六**[illegible]。**三七**[illegible]。**三八**[illegible]。**三九**[illegible]。**四**[illegible]。**四一**[illegible]。**四二**[illegible]。**四三**[illegible]。**四四**[illegible]。**四五**[illegible]。**四六**[illegible]。**四七**[illegible]。**四八**[illegible]。**四九**[illegible]。**五**[illegible]。**五一**[illegible]。**五二**[illegible]。**五三**[illegible]。**五四**[illegible]。**五五**[illegible]。**五六**[illegible]。**五七**[illegible]。**五八**[illegible]。**五九**[illegible]。**六**[illegible]。**六一**[illegible]。**六二**[illegible]。**六三**[illegible]。**六四**[illegible]。**六五**[illegible]。**六六**[illegible]。**六七**[illegible]。**六八**[illegible]。**六九**[illegible]。**七**[illegible]。**七一**[illegible]。**七二**[illegible]。**七三**[illegible]。**七四**[illegible]。**七五**[illegible]。**七六**[illegible]。**七七**[illegible]。**七八**[illegible]。**七九**[illegible]。**八**[illegible]。**八一**[illegible]。**八二**[illegible]。**八三**[illegible]。**八四**[illegible]。**八五**[illegible]。**八六**[illegible]。**八七**[illegible]。**八八**[illegible]。**八九**[illegible]。**九**[illegible]。**九一**[illegible]。**九二**[illegible]。**九三**[illegible]。**九四**[illegible]。**九五**[illegible]。**九六**[illegible]。**九七**[illegible]。**九八**[illegible]。**九九**[illegible]。**十**

[甲基槍] [illegible] 一種の色紫、メ[illegible]ルチルヴィンが結晶し難い水溶液は黄色を帯び酸に変じ赤小色になり、アルカリに変ずれば紫色になり、指示薬として用ひる。(Methylviolin) の音譯。

[甲鶏] 鶏の一種。馬に乗りた兵士。(史記、[illegible]) 甲騎 上方の騎士。甲冑の騎。(観書、章珍傳) 鎧を着、馬に乗りた兵士。(史記、[illegible]) 甲騎 [illegible]

[甲機] [illegible] 鎧を以て之を[illegible]。([illegible]) 甲鼓 [illegible]

[甲吉] [illegible] 氏名の姓名。([illegible]) 甲[illegible] 人名。甲[illegible]。(史記、[illegible]) 甲[illegible] [illegible]

[甲魚] [illegible] 人名。甲[illegible]。(史記、[illegible]) 甲[illegible] [illegible]

[甲堀] [illegible] 人名。甲[illegible]。(史記、[illegible]) 甲[illegible] [illegible]

[甲[illegible]

紀甲十四年五十九。〔史記自紀元前傾年空桑公十二年表〕〔帝王世紀〕〔帝王編年記〕〔路史後紀十五前帝紀〕〔竹書紀年〕〔太平御覽八十四〕〔水經濟水注

殺、故設上有招文。照事中、對外事事項集 則云、第二、[漢書音義曰]、有甲之第次故故 奏、後徒乏見文有 開元字、便謂甲即是開元事

甲[前]ㄐㄧㄚˇ 香の名。甲香ともいふ。 蠡蠡類の殼を採つて製し、焚くときは、[本草]に、[甲香]、[甲]、[甲]、[甲

是歟若用甲九月名、實起四年、文天祥祥共六百餘人、甲一百十二人、甲四十人、謝枋得鴻、智恢秀等、甲一百十二人、甲七十三人、四月一百四十人、五月甲一百十二人。

甲板 [甲部]　船の上部の二重板又は鐵板を敷いたところ。デッキ（英語 deck）。「清史稿」近世大砲甲板、船之要件、故宜設甲板、不可少留。

甲子 [甲部]　干支の第一。「後漢書」光武帝紀、建武十五年、甲子、大赦。

甲斐 [甲部]　東海道十五國の一。「名」甲州今國名。「甲斐國」甲斐國、甲州、今國名。「甲斐國」甲斐國、甲州、今國名。「甲斐國」甲斐國、甲州、

形の器官で、喉頭の直下に位置し、気管の前面に横たわる。甲状軟骨は新鮮状態では黄色透明で、弾性に富む。神経系統の障害を除く効果がある。

甲状腺 名 喉の前面、第二・第三軟骨輪の前面を覆う。甲状腺ホルモンを分泌する。

甲状腺腫 名 甲状腺の腫大。

甲状腺炎 名 甲状腺の炎症。

甲状腺ホルモン 名 甲状腺の分泌する物質。代謝を調節する。

甲状腺ホルモン剤 名 甲状腺ホルモンを含む薬剤。

甲状腺機能亢進症 名 甲状腺ホルモンの過剰分泌により、代謝が亢進し、頻脈・発汗・眼球突出・甲状腺腫などを生じる。

甲状腺機能低下症 名 甲状腺ホルモンの分泌不全により、代謝が低下し、徐脈・発汗・眼球陥没・甲状腺腫などを生じる。

甲状腺刺激ホルモン 名 甲状腺の機能を調節するホルモン。

甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン 名 甲状腺刺激ホルモンの分泌を調節するホルモン

後。称秋、楚に従ふ。敵城は今の可南省南陽縣の北。詩、注疏、玉篇、場〔ノ水〕不〔ノ與〕我郊武公、髦に於ける國。〔左氏、隱元〕●上海の俗名。もと蘇浦江を春申江といふによる。〔松江府志〕嘉靖時、楚黄歇墾田之支流（後述）合、江中に入れ申橋鎮、黄浦、又以て欲故、或稱。春申浦。●姓（通志）氏族略、〔以國爲氏〕申氏、伯爵、姜姓、炎帝四后之後、封ぜられ申伯。周宣王之臣。●國（金史）地理の誤で、實際炎帝の際に割增金を出すこと、申（炎）を見よ〔同〕●伸びる。〔集韻〕申、伸也。●引く。〔集韻〕申、引也。

解字　象形。陰氣がのびちぢみて意で一は其ののびる体り、臼は其のちぢまるに象る。說に、身をしめて意で、指事字一はかつ、臼は両手でものをつかむ持つ意を示す。又說に、身をしめて意で電に象形を示す。又形を見よ。〔ロ字、〔申字文〕象形。いなづまの走形。ノブ。モチ。

名義　申（申）ノ。のべぬる。心を寛大にしてゆる容。〔唐書、侯君集傳〕雖下真中宥若君集、伸（進）朝列、以勤有功。

略　〔明史〕申、巻川の人。字は英鍾、進士。官は四川道僉事。〔巻川の人、字は敬叔、號は鶴山。〔百六十三〕〔明史稿、百六十七〕〔萬歷府志〕巻三十二〕〔明史稿、百八十一〕〔明巻史〕巻四〕

申詠　ノ。詠代も詩讃する。嘆息して、〔大中〕〔伊予〕〔巻川〕〔巻川〕〔巻川

[申氏] 漢 漢 [申氏] 漢 [申氏] 漢 [申氏]

【申析】ｓｈｅｎ　申開く。申解。(南史、劉穆傳)「駁丟弩、申析以答之。」

【申答】ｓｈｅｎ　のべる。(左思、魏都賦)「未若申錢樂之氏、遠也。」●明、唐州の人。先天末、極諫書を上る。(唐書、列子)「明史、二百九十五」(唐稽、二百七十六)「小稽紀年、四」●字號、字元未、稽叡(0・1・1・1・1・1)。

【申雪】ｓｈｅｎｓｕｅｔｓｕ　申し開いて雪がれる。「蒙罪者皇帝、之、使神祀、二、使身物安、申、表解、申雪、我冤死、(後漢書、馮魴伝、注)」●字、公、徳、民、(正記)「徳州民、二、賢人、故の長官

巢聚為丘。集古印章のある。『史記』、百七十二。

視竹、中使二〇〇の●に同じ。又、倍郡に作る。（巻第春秋。

中國[illegible]。大九州の中の中東端州をいう。『淮南子』、時訓。

中上[illegible]。『淮南子』、天文。『史記』、中庸。

中埒[illegible]。『淮南子』、説林。『呂氏春秋』、慎大覽。

中埒公[illegible]。『淮南子』、説林。『呂氏春秋』、慎大覽。

中埒[illegible]。『淮南子』、説林。『呂氏春秋』、慎大覽。

朝廷に申請する文書。『楚辞』、九章。

中文[illegible]。文。うれえ。がみなくれる。『楚辞』、九章。

中[illegible]。『淮南子』、説林。『呂氏春秋』、慎大覽

(申一琴)[illegible]　明、屈蔡の人、家貧、母に事へて至孝であった。[illegible]明史一百十八)

(申一琴)[illegible]　明、水利の人、字は孟敏、嘉靖三年の人。明史一百十八)

(申一鶴)[illegible]　清の人、字は[illegible]、[illegible]の人。[illegible]の進士。[illegible]に作る。字は孔寛、嘉靖三年の人。[illegible]に作る。字は孔寛、嘉靖三年の人。[illegible]に作る。字は孔寛、嘉靖三年の人

由 21728

日ノウチ

小 由 由 由 由 鬼の頭。(説文)由、鬼頭也。

篆 象形。

解説 象形。鬼の頭を象る。字解を見よ。

卯 21729

エン 切

義未詳。(五音韻海)卯、一田

二 畫

男 21730

グン (集韻)呼合切 (廣韻)

男 おとこ。丈夫。女の対。(説文)男、丈夫也。从田力。言田男力。(段玉裁注)男、古者作動。(易、繫辞上)乾道成男。(同、繫辞下)男子。(史記、陸賈傳)賈有五男。(漢書、張敞傳)敞子一男。(韓愈、考功員外郎張籍墓表)男三人。云云。此皆稱子曰男也。②子 父母に対する自稱。(戰国策、趙策)潤岡許云。男、種誠保衛之謂。(戰国策、秦策)秦士云云。俯表。③わかもの。壯丁。(史記、商君傳)民無二業、則農事勤。(賈誼、陳政事疏)。(同、治安策)。(左氏、昭二十二)鄭伯男也。④貴 (漢書、食貨志)男子、一田。(荀子、王制)。(孟子、滕文公上)。(同、公孫丑下)。(同、盡心下)。(同、離婁下)。(同、告子下)。(同、梁惠王下)。(同、公孫丑下)。(同、滕文公上)。(同、盡心

也。

【男事】ナンジ　男子の職すべき征役等のこと。又、王制「王制之作也、…」注「男事、（疑、内脱）二字衍文。始謂「男事者、二十七出受、其田三供給役、始理其男事」。

【男兒】ナンジ　◎男の子。「陶潛、責子詩」雖有五男兒、總不好紙筆。◎「後漢書、馬援傳」男兒要當死於邊野、以馬革裹屍還葬耳。「錄敘、後漢紀」南八男兒死、何可爲不義、鳥人社稷、出死以救民、不可期也。番忠、亂起男兒、「程頤、秋日偶成詩」當責不一世責難集、男兒別出是書雄。

「盧肇、上」おのこの男兒の意ではなく、假借。

【男兒志氣】チカラ　◎「韓山寺、蘇軾」男兒志氣、要大丈夫。「白居易、計」計者、計者、計者、大丈夫。「白居易、計」計者、計者、計者、大丈夫。

【男兒氣】チカラ　◎「韓山寺、蘇軾」男兒志氣、要大丈夫。「白居易、計」計者、計者、計者、大丈夫。

【男兒氣】チカラ　◎「韓山寺、蘇軾」男兒志氣、要大丈夫。「白居易、計」計者、計者、計者、大丈夫。

【男子】ナンシ　◎男の子。「漢書、張安世傳」安世子彭祖、…。◎男子子。「漢書、張安世傳」安世子彭祖、…。◎男子の人の子。「法苑珠林」男同、男兒。

【男女】ナンジ　◎「國語、晉語」史蘇曰、天夫、日、夫有、男女、必有夫女。「左傳」「左傳」、必有夫女。「左傳」「左傳」、必有夫女。

【男色】ナンシキ　かげまの男色。「孝子傳、閔子騫」騫事繼母、…。◎男女。「後漢書、張安世傳」安世子彭祖、…。◎男女。「後漢書、張安世傳」安世子彭祖、…。

【男子】ナンシ　◎男の子。「漢書、張安世傳」安世子彭祖、…。◎男子子。「

[男女貴賤]如[illegible]。男と女と貴と賤とは、異つた任務を負はされてゐるとかいふあふ。(孔子子冉問篇)

[男女無別]男女間の交はりの亂れ。(孔子子子冉問篇)

[男女無別]男女間の反別。(孔子子子冉問篇)

[男女授受]授と受。男女無別。同席而坐、民絕相犯。(孔子子子冉問篇)

[男子]男子。男子の名は閑男・王弟・男子・男子・男子

男分女服[illegible]男子女子の服装をする。

男子女子の服装をする。

男子を牛もは民族学上女好[illegible]男子を牛も女婚姻[illegible]男子を牛も[illegible]女子を牛は[illegible]男子を牛は[illegible]男子を牛は[illegible]男

在 説部之外。

【甸】 ●甸服の僕ではない。 甸甸 (古韻、侵部)

任 (他甸) 也。他甸 轉義 五侯 陳 陳 何甸 (田獵を

【甸】 ●甸 (説文) 甸 (田獵) 也。 (古韻、侵部)

町警者]ケイ 古、御殿警をとど野して、坊間夜間警戒する者の稱。「欲使後」勤番慰屋敷」[屋敷]ヤシキ ●町奉行。手の支配所。町奉行屋敷の管轄内にある屋敷。町屋敷抱屋敷の詳。町奉行。手の支配所。町屋敷と唱へ、中世、寺院の現内にあつて、その所有に屬し、町役のみを出だす屋敷（寺社を問上、文化七年在、中世出）。百町役計り者出し、樂の町屋敷と唱へし候。

[町奉行]ヂャウブギャウ 徳川時代の職名。町奉行に屬し、名主の上に在つて、一町内の争論・救恤を掌る。江戸（京都・長崎など、幕府直轄の地に置いた。（『徳川禁令考』二）門、家、町年寄・庄屋・町奉行]ヂャウブギャウ 徳川時代、江戸・京都・大阪・駿府に設けて、各中支配の下に市中の行政・租稅・訴訟・消防・土木、其の他一切の事を掌らしめた職。（『職制聞』）町奉行二人、掌て東都所内人民之戶口數・名籍及風俗・産物・人物之出入・弾劾民之犯法・捕盜之職也。人別銭・夫力二十五人・同心五人。也。

[町奉行所]ヂャウブギャウ 町奉行が其の事務を執る所。「町奉行年表」町御奉行所、南小北と在、三所。「徳川禁令考、三十二」町奉行所、前、蔵斯を逃げらるべく候。

[町]ヂャウ 田部（二—三畫）

[甿] 21737 リウ 慣編 ①同。信原字。

[勧] 21736 リウ 慣編 ①同（7—21862）の俗字。 ②ダン 慣編 ①同。信原字。 ③男（7—21736）の正字。（集韻）男、古書作勧。

[畓] 21738 シン 殺未詳。（字彙補）畑、詩義切、音申。

[畑] 21739 クワウ 畫（7—21659）に同じ。（字彙）同、與畫同。

[畠] 21739 クワウ 畫（7—21659）の略字。

[畓] 21740 ①ケン （集韻）古弦切 ②ジュン （集韻）松倫切 ③ジュン （集韻）莫閏切

[田]●ゑだ。田の中のみぞ。畎（7—21777）の籀文。（說文）、水小流也。畎、古文、从田川田川田川。（段注）古文、疑當作籀文。籀〈〈皆古文也。按、鄭注、攷考記、曰、畎、畎也。謂、畎、畎古今字。畎、郎今之畎字也。●田のみぞを作る。（漢書、食貨志上）后稷始教民、田以二耜爲、耦、廣尺深尺也。●田のみぞ。（中庸）、樂也、曰山上一梅三畎。（注）師古曰、畎、田畝之間。●うね。田畑のうね。（漢書、食貨志上）一梅三畎。（注）師古曰、畎、田畝之間。曰山の麓の小みぞ。（呼名、稱山）山下根之受、霤處曰、畎、吮、吮、得山之肥潤。（集韻）畎、山下受霤處。曰みぞ。（集韻）畎、清也。

[解]熟語は畎（7—21777）を見よ。

[解]會意。田と川とを合せて田の中のみぞの意を表はす。字解を見よ。

[畎] 21741 ケン 畎（7—21777）に同じ。（字彙）畎、同。

[畝] 21742 ①ヨン （集韻）莊詳切 ②ヨン （集韻）淺切 ③ヨン （集韻）田一畝曰畝。

[解]四畫の畝（7—21761）は別字。字彙が畝をおけはひとしく誤に、畝に同じとする説、集韻が畝を畝に作り、はとさと調ずるも同じく、疑、正字、通雅、蓋本陸佃埤雅、引、秦紀、倍畝、爲、畝、畝、爲、畝、同、注、注、疑、畝、不、知、說文、秦紀本作、畝、非、小、作、畝、也、（中華大字典）、集韻、畝、同、畝、同、注、疑、畝、

[畝]●ほとさ。かめ、古、田。（7—1808）に作る。（集韻）、說文、東楚名、缶曰、田、古作、田。●川の名。（7—17918）に同じ。（韻會）、淵、水名、出、秦山云云、亦作、畝。（漢書、地理志上）、惟、畝其道、[ゆ]あらた。開墾一年の田。（集韻）、田一歲曰畝。

[解]四畫の畝（7—21761）は別字。字彙が畝をおけはひとしく誤に、畝に同じとする説、集韻が畝を畝に作り、はとさと調ずるも同じく、疑、正字、通雅、蓋本陸佃埤雅、引、秦紀、倍畝、爲、畝、畝、爲、畝、同、注、疑、畝、不、知、說文、秦紀本作、畝、非、小、作、畝、也、（中華大字典）、集韻、畝、同、畝、同、注、疑、畝、

[畠] 21743 ①マウ （集韻）莫浩切 ②ボウ （集韻）莫報切 ③ボウ （集韻）莫報切 ④マウ （集韻）頭郎切

[田]①畠、畝、畝、畝、故城は安陵者宿、畝の東北、（漢書、地理志下）、畝、畝、七、畝、在、畝、（漢書、地理志上）、山陽國、畝、十二、縣、畝、（注）、師古、

[解]畠、畝、畝、畝、畝、故城は安陵者宿、畝の東北、（漢書、地理志下）、畝、畝、七、畝、在、畝、（漢書、地理志上）、山陽國、畝、十二、縣、畝、

[解]畠、畝、畝、畝、畝、故城は南海者、畝、畝、畝、畝

すき。(玉篇)畢、田器。

畀 21748
ヒ (集韻)必至切 ㊀ ㊁
畀 小 畀 ㊀ 賜ふ。與へる。(爾雅、釋詁)
畢 畢、賜也。(書、洛誥)不、畢供範。畢、供範。(傳)畢、與也。(詩、鄘風、干旄)彼姝者子、何以畀之。(傳)畢、予也。❷あたへる物、下賜品。(説文)畀、相付与。(集韻)畀、古作畢。(説文)畀、相付与。約在(開)上也、从丌由聲。(段注)約、莒作物、言莒物相与、必有節、(段注)開也。❸

畀 21749
ヒ 畀(21748)の古字。(集韻)畢、古作畀。

畎 21750
㊀ ㊁ リウ (集韻)力救切 ㊀ ㊁
㊂ キウ (集韻)居救切 ㊀ ㊁
㊀ ❶田の廣さで、百歩をいふ。(字彙、歌、百畝也。❷畝(7-21816)の通字。(玉篇、畝、古文畎。❸畝(7-21816)の通字。(玉篇)畝、畎字之譌。㊁たがやす。畎(8-5093)に同じ。(集韻)畎、耕川上、或作畝。

畇 21751
シュン (字彙補)居筠切 ㊀ ㊁
いひつけ。命令。(字彙補)畇、令也。

畔 21752
ヒキ (集韻)居記切 ㊀ ㊁
㊂ キ (集韻)居之切 支
畔 小 畔 ㊀ 畔 ㊁ ❶あげる。あげさせる。もち出す。春秋傳曰、晉人或以虞、虞隙、楚人畔之。義顯説、廣車船、楚人畔拏之。❷をしる。(説文)畔、田界也。从田聲。春秋傳曰、晉人或以虞隙、楚人畔之。義顯説、廣車船、楚人畔拏之。(段注)今傳畔作叛、云云

測畇畇田也。〔注〕言土整辟也。●〔集韻〕畇墾田也。〔六書故〕畇、原田、往平均也。〔詩、小雅、信南山〕畇畇原隰。〔傳〕畇畇、墾辟貌。●〔廣韻〕畇畇原隰。〔傳〕畇畇、墾辟貌。〔左傳、僖廿四〕隱、隱、辟、墾、田、畇畇、墾辟貌。〔後漢書、馮異傳〕隱、隱、辟、墾、田、畇畇、墾辟貌。〔左傳、僖廿四

【畀】畀 ㊀畀 ㊁畀 ㊂畀 ㊃畀 ㊄畀 ㊅畀 ㊆畀 ㊇畀 ㊈畀 ㊉畀 ㊊畀 ㊋畀 ㊌畀 ㊍畀 ㊎畀 ㊏畀 ㊐畀 ㊑畀 ㊒畀 ㊓畀 ㊔畀 ㊕畀 ㊖畀 ㊗畀 ㊘畀 ㊙畀 ㊚畀 ㊛畀 ㊜畀 ㊝畀 ㊞畀 ㊟畀 ㊠畀 ㊡畀 ㊢畀 ㊣畀 ㊤畀 ㊥畀 ㊦畀 ㊧畀 ㊨畀 ㊩畀 ㊪畀 ㊫畀 ㊬畀 ㊭畀 ㊮畀 ㊯畀 ㊰畀 ㊱畀 ㊲畀 ㊳畀 ㊴畀 ㊵畀 ㊶畀 ㊷畀 ㊸畀 ㊹畀 ㊺畀 ㊻畀 ㊼畀 ㊽畀 ㊾畀 ㊿畀 [illegible]

【畀】畀 ㊀畀 ㊁畀 ㊂畀 ㊃畀 ㊄畀 ㊅畀 ㊆畀 ㊇畀 ㊈畀 ㊉畀 ㊊畀 ㊋畀 ㊌畀 ㊍畀 ㊎畀 ㊏畀 ㊐畀 ㊑畀 ㊒畀 ㊓畀 ㊔畀 ㊕畀 ㊖畀 ㊗畀 ㊘畀 ㊙畀 ㊚畀 ㊛畀 ㊜畀 ㊝畀 ㊞畀 ㊟畀 ㊠畀 ㊡畀 ㊢畀 ㊣畀 ㊤畀 ㊥畀 ㊦畀 ㊧畀 ㊨畀 ㊩畀 ㊪畀 ㊫畀 ㊬畀 ㊭畀 ㊮畀 ㊯畀 ㊰畀 ㊱畀 ㊲畀 ㊳畀 ㊴畀 ㊵畀 ㊶畀 ㊷畀 ㊸畀 ㊹畀 ㊺畀 ㊻畀 ㊼畀 ㊽畀 ㊾畀 ㊿畀 [illegible]

【畔】畔 ㊀畔 ㊁畔 ㊂畔 ㊃畔 ㊄畔 ㊅畔 ㊆畔 ㊇畔 ㊈畔 ㊉畔 ㊊畔 ㊋畔 ㊌畔 ㊍畔 ㊎畔 ㊏畔 ㊐畔 ㊑畔 ㊒畔 ㊓畔 ㊔畔 ㊕畔 ㊖畔 ㊗畔 ㊘畔 ㊙畔 ㊚畔 ㊛畔 ㊜畔 ㊝畔 ㊞畔 ㊟畔 ㊠畔 ㊡畔 ㊢畔 ㊣畔 ㊤畔 ㊥畔 ㊦畔 ㊧畔 ㊨畔 ㊩畔 ㊪畔 ㊫畔 ㊬畔 ㊭畔 ㊮畔 ㊯畔 ㊰畔 ㊱畔 ㊲畔 ㊳畔 ㊴畔 ㊵畔 ㊶畔 ㊷畔 ㊸畔 ㊹畔 ㊺畔 ㊻畔 ㊼畔 ㊽畔 ㊾畔 ㊿畔 [illegible]

【畎】畎 ㊀畎 ㊁畎 ㊂畎 ㊃畎 ㊄畎 ㊅畎 ㊆畎 ㊇畎 ㊈畎 ㊉畎 ㊊畎 ㊋畎 ㊌畎 ㊍畎 ㊎畎 ㊏畎 ㊐畎 ㊑畎 ㊒畎 ㊓畎 ㊔畎 ㊕畎 ㊖畎 ㊗畎 ㊘畎 ㊙畎 ㊚畎 ㊛畎 ㊜畎 ㊝畎 ㊞畎 ㊟畎 ㊠畎 ㊡畎 ㊢畎 ㊣畎 ㊤畎 ㊥畎 ㊦畎 ㊧畎 ㊨畎 ㊩畎 ㊪畎 ㊫畎 ㊬畎 ㊭畎 ㊮畎 ㊯畎 ㊰畎 ㊱畎 ㊲畎 ㊳畎 ㊴畎 ㊵畎 ㊶畎 ㊷畎 ㊸畎 ㊹畎 ㊺畎 ㊻畎 ㊼畎 ㊽畎 ㊾畎 ㊿畎 [illegible]

【畛】畛 ㊀畛 ㊁畛 ㊂畛 ㊃畛 ㊄畛 ㊅畛 ㊆畛 ㊇畛 ㊈畛 ㊉畛 ㊊畛 ㊋畛 ㊌畛 ㊍畛 ㊎畛 ㊏畛 ㊐畛 ㊑畛 ㊒畛 ㊓畛 ㊔畛 ㊕畛 ㊖畛 ㊗畛 ㊘畛 ㊙畛 ㊚畛 ㊛畛 ㊜畛 ㊝畛 ㊞畛 ㊟畛 ㊠畛 ㊡畛 ㊢畛 ㊣畛 ㊤畛 ㊥畛 ㊦畛 ㊧畛 ㊨畛 ㊩畛 ㊪畛 ㊫畛 ㊬畛 ㊭畛 ㊮畛 ㊯畛 ㊰畛 ㊱畛 ㊲畛 ㊳畛 ㊴畛 ㊵畛 ㊶畛 ㊷畛 ㊸畛 ㊹畛 ㊺畛 ㊻畛 ㊼畛 ㊽畛 ㊾畛 ㊿畛 [illegible]

【畜】畜 ㊀畜 ㊁畜 ㊂畜 ㊃畜 ㊄畜 ㊅畜 ㊆畜 ㊇畜 ㊈畜 ㊉畜 ㊊畜 ㊋畜 ㊌畜 ㊍畜 ㊎畜 ㊏畜 ㊐畜 ㊑畜 ㊒畜 ㊓畜 ㊔畜 ㊕畜 ㊖畜 ㊗畜 ㊘畜 ㊙畜 ㊚畜 ㊛畜 ㊜畜 ㊝畜 ㊞畜 ㊟畜 ㊠畜 ㊡畜 ㊢畜 ㊣畜 ㊤畜 ㊥畜 ㊦畜 ㊧畜 ㊨畜 ㊩畜 ㊪畜 ㊫畜 ㊬畜 ㊭畜 ㊮畜 ㊯畜 ㊰畜 ㊱畜 ㊲畜 ㊳畜 ㊴畜 ㊵畜 ㊶畜 ㊷畜 ㊸畜 ㊹畜 ㊺畜 ㊻畜 ㊼畜 ㊽畜 ㊾畜 ㊿畜 [illegible]

【畝】畝 ㊀畝 ㊁畝 ㊂畝 ㊃畝 ㊄畝 ㊅畝 ㊆畝 ㊇畝 ㊈畝 ㊉畝 ㊊畝 ㊋畝 ㊌畝 ㊍畝 ㊎畝 ㊏畝 ㊐畝 ㊑畝 ㊒畝 ㊓畝 ㊔畝 ㊕畝 ㊖畝 ㊗畝 ㊘畝 ㊙畝 ㊚畝 ㊛畝 ㊜畝 ㊝畝 ㊞畝 ㊟畝 ㊠畝 ㊡畝 ㊢畝 ㊣畝 ㊤畝 ㊥畝 ㊦畝 ㊧畝 ㊨畝 ㊩畝 ㊪畝 ㊫畝 ㊬畝 ㊭畝 ㊮畝 ㊯畝 ㊰畝 ㊱畝 ㊲畝 ㊳畝 ㊴畝 ㊵畝 ㊶畝 ㊷畝 ㊸畝 ㊹畝 ㊺畝 ㊻畝 ㊼畝 ㊽畝 ㊾畝 ㊿畝 [illegible]

【畯】畯 ㊀畯 ㊁畯 ㊂畯 ㊃畯 ㊄畯 ㊅畯 ㊆畯 ㊇畯 ㊈畯 ㊉畯 ㊊畯 ㊋畯 ㊌畯 ㊍畯 ㊎畯 ㊏畯 ㊐畯 ㊑畯 ㊒畯 ㊓畯 ㊔畯 ㊕畯 ㊖畯 ㊗畯 ㊘畯 ㊙畯 ㊚畯 ㊛畯 ㊜畯 ㊝畯 ㊞畯 ㊟畯 ㊠畯 ㊡畯 ㊢畯 ㊣畯 ㊤畯 ㊥畯 ㊦畯 ㊧畯 ㊨畯 ㊩畯 ㊪畯 ㊫畯 ㊬畯 ㊭畯 ㊮畯 ㊯畯 ㊰畯 ㊱畯 ㊲畯 ㊳畯 ㊴畯 ㊵畯 ㊶畯 ㊷畯 ㊸畯 ㊹畯 ㊺畯 ㊻畯 ㊼畯 ㊽畯 ㊾畯 ㊿畯 [illegible]

【畹】畹 ㊀畹 ㊁畹 ㊂畹 ㊃畹 ㊄畹 ㊅畹 ㊆畹 ㊇畹 ㊈畹 ㊉畹 ㊊畹 ㊋畹 ㊌畹 ㊍畹 ㊎畹 ㊏畹 ㊐畹 ㊑畹 ㊒畹 ㊓畹 ㊔畹 ㊕畹 ㊖畹 ㊗畹 ㊘畹 ㊙畹 ㊚畹 ㊛畹 ㊜畹 ㊝畹 ㊞畹 ㊟畹 ㊠畹 ㊡畹 ㊢畹 ㊣畹 ㊤畹 ㊥畹 ㊦畹 ㊧畹 ㊨畹 ㊩畹 ㊪畹 ㊫畹 ㊬畹 ㊭畹 ㊮畹 ㊯畹 ㊰畹 ㊱畹 ㊲畹 ㊳畹 ㊴畹 ㊵畹 ㊶畹 ㊷畹 ㊸畹 ㊹畹 ㊺畹 ㊻畹 ㊼畹 ㊽畹 ㊾畹 ㊿畹 [illegible]

【畿】畿 ㊀畿 ㊁畿 ㊂畿 ㊃畿 ㊄畿 ㊅畿 ㊆畿 ㊇畿 ㊈畿 ㊉畿 ㊊畿 ㊋畿 ㊌畿 ㊍畿 ㊎畿 ㊏畿 ㊐畿 ㊑畿 ㊒畿 ㊓畿 ㊔畿 ㊕畿 ㊖畿 ㊗畿 ㊘畿 ㊙畿 ㊚畿 ㊛畿 ㊜畿 ㊝畿 ㊞畿 ㊟畿 ㊠畿 ㊡畿 ㊢畿 ㊣畿 ㊤畿 ㊥畿 ㊦畿 ㊧畿 ㊨畿 ㊩畿 ㊪畿 ㊫畿 ㊬畿 ㊭畿 ㊮畿 ㊯畿 ㊰畿 ㊱畿 ㊲畿 ㊳畿 ㊴畿 ㊵畿 ㊶畿 ㊷畿 ㊸畿 ㊹畿 ㊺畿 ㊻畿 ㊼畿 ㊽畿 ㊾畿 ㊿畿 [illegible]

【畾】畾 ㊀畾 ㊁畾 ㊂畾 ㊃畾 ㊄畾 ㊅畾 ㊆畾 ㊇畾 ㊈畾 ㊉畾 ㊊畾 ㊋畾 ㊌畾 ㊍畾 ㊎畾 ㊏畾 ㊐畾 ㊑畾 ㊒畾 ㊓畾 ㊔畾 ㊕畾 ㊖畾 ㊗畾 ㊘畾 ㊙畾 ㊚畾 ㊛畾 ㊜畾 ㊝畾 ㊞畾 ㊟畾 ㊠畾 ㊡畾 ㊢畾 ㊣畾 ㊤畾 ㊥畾 ㊦畾 ㊧畾 ㊨畾 ㊩畾 ㊪畾 ㊫畾 ㊬畾 ㊭畾 ㊮畾 ㊯畾 ㊰畾 ㊱畾 ㊲畾 ㊳畾 ㊴畾 ㊵畾 ㊶畾 ㊷畾 ㊸畾 ㊹畾 ㊺畾 ㊻畾 ㊼畾 ㊽畾 ㊾畾 ㊿畾 [illegible]

【畿】畿 ㊀畿 ㊁畿 ㊂畿 ㊃畿 ㊄畿 ㊅畿 ㊆畿 ㊇畿 ㊈畿 ㊉畿 ㊊畿 ㊋畿 ㊌畿 ㊍畿 ㊎畿 ㊏畿 ㊐畿 ㊑畿 ㊒畿 ㊓畿 ㊔畿 ㊕畿 ㊖畿 ㊗畿 ㊘畿 ㊙畿 ㊚畿 ㊛畿 ㊜畿 ㊝畿 ㊞畿 ㊟畿 ㊠畿 ㊡畿 ㊢畿 ㊣畿 ㊤畿 ㊥畿 ㊦畿 ㊧畿 ㊨畿 ㊩畿 ㊪畿 ㊫畿 ㊬畿 ㊭畿 ㊮畿 ㊯畿 ㊰畿 ㊱畿 ㊲畿 ㊳畿 ㊴畿 ㊵畿 ㊶畿 ㊷畿 ㊸畿 ㊹畿 ㊺畿 ㊻畿 ㊼畿 ㊽畿 ㊾畿 ㊿畿

傳「畏偪」注「畏、威也。」「畏、敬也。」「畏、恐也。」書「呂刑」「永畏」「惟刑」傳「畏長民」「罰惟畏」「天所罰」。⑤忌む。にくむ。おちきらん。〈說文〉「畏、惡也。从田虎聲。烏賄切。」

（增訓）畏、心厥也。禮、曲禮上「畏而不諱」。畏也。（易、繫辭下）「畏以終始其要也」。（易、繫辭下）「畏以中虛」。（孟子、公孫丑上）「畏人之言」。（注）心服曰畏。（孟子、公孫丑上）「畏人之言」。（注）心服曰畏。⑥敬しむ。威める。用心する。（廣雅、釋詁一）「畏、敬也。」（易、震）「億喪貝。」（注）「億、億度。」（孟子、盡心下）「威以力服人者、非心服也。」（注）「威、威也。」（書、皋陶謨）「天明畏、自我民明威。」（孟子、盡心上）「畏人者、人恒愛之。」（注）「畏、敬也。」（孟子、公孫丑上）「畏人者、人恒愛之。」（注）「畏、敬也。」（易、震）「億喪貝。」（注）「億、億度。」（孟子、盡心下）「威以力服人者、非心服也。」（注）「威、威也。」（書、皋陶謨）「天明畏、自我民明威。」（孟子、盡心

矜（傳寄）簒（簒）簒也。

【畏敬】13 ・・・ おそれおそれ。（論衡）「君篤」初

【畏御】16 ・・・ おそれ畏れおそれ。「是」を「是」に作り、又、畏敬。

【畏敬】16 ・・・ おそれ畏れ敬ぶこと。又、はばかられ

其然。則孫武子謂（漢書）孫武傳）「兵法者、利人而人畏之、則孫武子謂之能」。「能」は「能」。「能」は「能」。「能」は「

【畏偉】 [illegible] 大いにおそれる。(蔡邕、太尉胡廣碑文)「隆偉畏市、地平靜意。」(李陵、答蘇武書)「上、漢帝青年是臣畏、市場、爲竟紹。」(後漢書、胡廣傳)「[illegible]、[illegible]、[illegible]、

【畱】21798 字圖 あっぱり。田を新に開き作る ことゝ。

五畫

【畦】21799 〔字彙〕畦田。〔廣韻〕畦田也。

【畷】21800 〔集韻〕或作畷。〔廣韻〕畷田也。

【畕】21801 〔集韻〕〔韻會〕〔正韻〕〔字彙〕〔廣韻〕〔類篇〕〔玉篇〕〔廣韻〕

田者、南田田定也。

畩 畩 會意。田を二つ重ねて近く相接んだ田の意を表はす。字解を見よ。

畩 21803 ヒ（集韻）蠻切　支 ㊀ハ（集韻）補火切　麌

❶耕す。被（9－29913）に同じ。（集韻）被、博雅、耕也。或从田。㊁畩畩は、小高いさま。（集韻）畩、畩畩、小高皃。

畹 21804 イウ（集韻）於利切　寘

風い土。（集韻）畹、黑壤。

畹 21805 ワン（集韻）烏瓜切　麌

畹田は、地名。（集韻）畹、畹田地名、在綺。

畺 21806 ㊀ヒツ（集韻）呼合切　合 ㊁フク（集韻）房六切　屋

㊀畜る。畜る。答（8－26906）の古字。（集韻）畜、或从畺。（字彙）畜、古韻字。（7－21767）の本字。（中華大字典）畜、本作。畜、（集韻）畜、滿也。

畷 21807 ダン ナン（集韻）奈合切　覃

❶畝の田。（字彙）畷、田一畝也。畷、田也。❷或は畷。（7－21769）に作る。（字彙）畷、集成作畷。

畺 21808 ㊀リウ（集韻）力支切　支 ㊁リウ（集韻）力切　有 ㊂ルウ（集韻）力久切　有

❶とどまる。正字通、留、止也、从田亦聲。（史記、秦紀）知、使者不用、臣、臣誠私利、願留、且留。㊁ある。のこる。（漢書、文帝、登霸上詩）蒼蒼周春麗。高名不朝、留、㊂とどこほる。（呂覽、圜道）不、欲留。（注）留、滯。㊃守って動らぬ。止まって移らぬ。（管子、正世不）慕、古、不留今。（注）留、謂、保也。㊄常不變。㊅遅い。おくれる。（國語、吳語）日傷、一日留。（注）留、除也。（邊鄙書、武順解）均佐和九欲、消君、憂謀留、守中洲。（注）留、待也。（注）留、不、至也。❷とどめる。㊀去らせないようにする。（呂覽、知士）留、不、至也。㊁去るを引きとめる。（孟子、公孫丑下）有、欲爲王留行者。其人處に、とどまらしめる。（司空圖、贈范金華詩）留、留、舌示。山東、（文天祥、過零丁洋詩）留、取丹心照汗青。㊂とどめる。こはらせる。（易、旅）旅于巽。巽、入也。無所、入、則失、其所、以、邑焚、而欲、留、無、所、入、也。（戰國、秦策、使秦而欲、留、趙不、趙、二子、以留、計。（注）留、不、決也。❸久しい。（爾雅、釋詁）留、久也。（疏、儒行、悉數之、方留、更、集、未、可、終也。（注）留、久也。❹つきる。つくす。（邊鄙書、大臣將、英不、留、日（注）盡也。❺周書、大臣將、英不、留、日（注）盡也。❻うかがう。使を伺ふ。（荘子、山木、孰、彌而留之。（釋文）司馬云、宿留伺、其使也。❼こやす。留（7－22408）に通ず。（說文通訓定聲）留、假借爲、留、（左思、魏都賦）留而無機、（注）劉曰、土地多、都賦、不、載石、留、無、人物之有、留、精也。❽矢が的に届かなくこと。（儀禮、大射禮、天射正立于左、以矢、反告于公、三日留、上日、揚、左右日、方、（注）留、不、至也。❾鶴（18－4798）に通ず。（爾雅、釋鳥、鳥少美長、鶴、鶴、（注）鶴、鶴、鶴、

那律道隆(9・22822・128)の字。【留連】連・連漢数(9・22823・210)の字。

【留客】[illegible]客の意。【留餞】[illegible]。【留蕃山館】[illegible]。【留住】[illegible]。【留連】[illegible]。【留連漢】[illegible]。【留客】[illegible]。【留[illegible]】[illegible]。【留[illegible]】[illegible]。【留[illegible]

元十五年十月、難波宮、同四年、二十六年正月、
李枝郎誄、聖武天皇誄、同御二、薬師寺鐘銘、
北斉書、武成紀、遠近以奉弥勒菩薩、正倉院、留位、
神護景雲元年、法華寺、金光明最勝王経、
【留後】[名]、後門。留を取って留守の役を始すること。鶴林寺誄、趙元淵誄、
【留候】[名]、ひかへ。陸、留候。
【留侯】[名]、戦国、張の諸子。黥ポ、王に入って留を相。
【留侯】[名]、漢の高祖の功臣。（史記）留侯世家、同封建侯表、同封諸侯表、同表、留侯世家、
【留侯】[名]、同上。留侯世家、
【留侯】[名]、同上。
【留侯】[名]、同上。
【留侯】[名]、同上。

ませ給へ。

【留守】[名] 留守。留守。

【留守官】[名] 留守官。

【留守所】[名] 留守所。

【留年】[名] 留年。

【留任】[名] 留任。

【留住】[名] 留住。

【留宿】[名] 留宿。

【留所】[名] 留所。

【留書】[名] 留書。

【留置】[名] 留置。

【留置人】[名] 留置人。

【留置場】[名] 留置場。

【留置所】[名] 留置所。

【留置場】[名] 留置場。

【留置人】[名] 留置人。

【留置】[名] 留置。

【留置】[名] 留置。

【留置】[名] 留置

〔留餘〕1/1/1/1 流れ動く。流動（地子・天地・貨幣）。
西生物・物・物成生理（稗文）留動・留・或作・流。
〔留牘〕1/1/1/1 公文書・文書・書類・留の置こと。事務の遂滯。（魏朝漢學部・秦紀・武帝）巡無
留牘。（補・南部）。
〔留牘〕1/1/1/1 任地につれて行つた牛の生んだ小
牛を殘しとること。（牛の生んだ小牛を殘しとること。（注）時留字・繁字。（注）時留字・繁字。
注）時留字・繁字。（注）時留字・繁字。（注）時留字・繁字。
〔留牘〕1/1/1/1 留置。（前漢・王莽・王莽傳）

參政となり、隱を築いて穀百頃の田を守り、民歌謡公民と呼ぶ。後、漢江布政使となる。『國朝獻徵錄』六十四、『明名臣言行錄』八、『明史』一六八、『東名臣言行錄』一、『東名臣言行錄』一、『東名臣言行錄』一

周頌、載芟篇「播厥百穀」。【釋】畛、謂播田有徑路者。❶**數**。（爾雅、釋言）畛、蚊也。（爾雅、釋蟲）畛、蚊。❷**治**。（爾雅、釋詁）畛、苦也。❸**盡**。（爾雅、釋詁）畛、苦也。❹**告**。（爾雅、釋詁）畛、苦也。（說文通訓定聲）畛、段借爲殄。（詩、小雅、巧言）畛、殄也。（注）謂、殄絕。❺**根**、**もと**。根（6…47745）に同じ。（說文通訓定聲）畛、段借爲根。（太玄經、儆）畛純于禁、不見其畛。（注）畛、根也。❻**界**（7…21764）に同じ。（7…21862）に同じ。（集韻）畛、或从辰。❼**畝**（7…21830）に作る。（集韻）畛、古作畝。❽**俗**に畝（7…21811）に作る。（集韻）畛、俗作畝、非是。

【畋】21811 シン

畛（7…21809）の俗字。（正字通）畛、同じ。俗省。

【畋】21812 ソ

畝（7…22800）の俗字。（正字通）畝、畝字之譌。

【畱】21813 ヨク

エン

畛（7…21894）に同じ。（集韻）畛、或作畱。

【畜】21814

□〔チク〕（集韻）敕六切 屋

□〔キク〕（集韻）許六切 ㄒㄩˋ

□〔チウ〕（集韻）直救切 ㄓㄡˋ

□〔チク〕（集韻）敕六切 ㄔㄨˋ

富 小篆

古文

古文 本注

□❶**たくはう**。**たくはへる**。❹**積**。あつめる。（易、小畜、釋文）畜、積也。聚也。（注）畜、謂、畜積也。（禮、月令）毋聚衆以妨農事。（注）畜、聚也。（禮、月令）毋聚衆、（注）畜、聚也。（禮、月令）毋聚衆、（注）畜、聚也。（禮、月令）毋聚衆、

へたうつる。『説苑』(二説)「(経籍訓)『畜』也而無患者、古今未之有也。(史記、商君傳)『畜国』之教、在于愛而有威。」

畜狗 …… かひいぬ。犬の一。後漢書、南蛮傳「時渠有一畜狗、名曰其毛五采。(注)『風俗通』曰、『狗者、孝子。』(史記、孟嘗君傳)『狗』以盜聞。」

畜官 …… ●官名。漢、置く。右風のごとき庠序・時祭を掌る。(漢書、百官公卿表)「(注)『師古曰』、『畜、養也。』(後漢書、舞動傳)『(注)『畜官、主養牛羊』。」

畜産 …… 飼ひしてあるもの。(本草、蠶蛾)「附録、時祀時、時日、出、巴蜀・陝西・山中、人多畜産。」

畜犬 …… ●犬を飼養する。「趙孟、畜犬、而不善吠。」(史記、滑稽傳)「(注)『索隱』曰、『畜犬、謂人家畜之。』」

畜産 …… 家畜。(後漢書、百官志)「(注)『蔡邕』曰、『畜産、牛羊。』」

畜積 …… ●たくはへ。●たくはへ。「(史記、平準書)「民家財貨有千萬者、則有司以法繩之、(注)『如淳』曰、『畜積、財物。』」

畜産 …… 家畜。(後漢書、百官志)「(注)『蔡邕』曰、『畜産、牛羊

【畜民】ク　畜は畜る。部下の民。〔書、盤庚中〕
【畜主】シュ　畜をやしなう。又、飼養して居る者。〔史記、平準書〕「牛車以千乘、…畜主、…」
【畜物】ブツ　畜産物。〔管子、乘馬〕
【畜生】ショウ　①飼ひやしなひ。畜養と云ふ。畜は畜る。養は養ふ。〔漢書、五行志〕「…畜生…」
【畜養】ヨウ　①飼ひやしなひ。畜養と云ふ。畜は畜る。養は養ふ。〔漢書、五行志〕「…畜養…」
【畜産】サン　畜養。〔漢書、食貨志〕「…畜産…」
【畜積】セキ　畜養と積聚。〔漢書、食貨志〕「…畜積…」
【畜産】サン　畜養。〔漢書、食貨志〕「…畜産…」
【畜牧】ボク　畜養。〔漢書、食貨志〕「…畜牧…」
【畜産】サン　畜養。〔漢書、食貨志〕「…畜産

【胛】 21820 ダン ナン 〔字彙補〕都含切 〔廣韻〕

鼎の甲。〔字彙補〕胛、鼎有甲。

【昭】 21821 ショウ 〔集韻〕市招切。

義未詳。〔搜眞毛説〕眺、時招切。

【皛】 21822 カウ 義未詳。〔五音篇海〕皛、古皓切。

【眹】 21823 チン 義未詳。〔搜眞子説〕眹、子寸切。

【番】 21824 義未詳。〔五音篇海〕番、音收。

【眊】 21825 モウ 〔集韻〕莫報切。〔廣韻〕莫教切。〔7・21774〕に同じ。〔搜眞子説〕眊、眊、眊、

畳博 ㊀ 唐、張師の人。文を能くし、鎮冠に
して至上に至れば、人、之を敬して右者と為る。
たまたま、武、思に召されて左者と為る。公の約、日部
畳に至る。（唐書）――十八人。

畳調 ㊀ 唐調の人。字は曾。筵、馬籍、殿
中侍御史。上、北庭に入り、調、之に羽檄を授く。
時に、北庭、久しく、陥没せられ、時人、出塞の
勢を以て、調、曾の、壁絶と稱せり。時人、出塞の
勢を以て、調、曾の、壁絶と稱せり。（唐書）

畳遜 ㊀ 唐、太宗の時、人。太宗、嘗て、公卿
に、問ふ、朱雀門、高、幾、何、と。遜、曰く、高、九
尺、三寸、と。（唐書）――百二十七。

畳記 ㊀ 唐、地理志に、見る。――百二十七。

畳鈴 ㊀ 唐、地理志に、見る。――百二十七。

畳鈴 ㊀ 唐、地理志に、見る。――百二十七。

（西京、地理志に、見る。――百二十七。

畳鈴 ㊀ 唐、地理志に、見る。――百二十七。

（西京、地理志に、見る。――百二十七。

畳鈴 ㊀ 唐

剖石。

畢節 [illegible] 駱名。清。漢。[illegible]。[illegible]。

畢戰 [illegible] 戰國。燕人。文公。[illegible]。[illegible]。

畢陳 [illegible] 畢。[illegible]。

畢沅 [illegible] 清。[illegible]。[illegible]。

畢[illegible] [illegible]。[illegible]。

畢[illegible] [illegible]。[illegible]。

畢[illegible] [

に林邑通ず。後定の王、官は國子博士・父彬の超州の刺史を拜す。後に、隋の大業中、[illegible]

【擧】(引)(字)(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)(25)(26)(27)(28)(29)(30)(31)(32)(33)(34)(35)(36)(37)(38)(39)(40)(41)(42)(43)(44)(45)(46)(47)(48)(49)(50)(51)(52)(53)(54)(55)(56)(57)(58)(59)(60)(61)(62)(63)(64)(65)(66)(67)(68)(69)(70)(71)(72)(73)(74)(75)(76)(77)(78)(79)(80)(81)(82)(83)(84)(85)(86)(87)(88)(89)(90)(91)(92)(93)(94)(95)(96)(97)(98)(99)(100)(101)(102)(103)(104)(105)(106)(107)(108)(109)(110)(111)(112)(113)(114)(115)(116)(117)(118)(119)(120)

【擧】(引)(字)(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)(25)(26)(27)(28)(29)(30)(31)(32)(33)(34)(35)(36)(37)(38)(39)(40)(41)(42)(43)(44)(45)(46)(47)(48)(49)(50)(51)(52)(53)(54)(55)(56)(57)(58)(59)(60)(61)(62)(63)(64)(65)(66)(67)(68)(69)(70)(71)(72)(73)(74)(75)(76)(77)(78)(79)(80)(81)(82)(83)(84)(85)(86)(87)(88)(89)(90)(91)(92)(93)(94)(95)(96)(97)(98)(99)(100)(101)(102)(103)(104)(105)(106)(107)(108)(109)(110)(111)(112)(113)(114)(115)(116)(117)(118)(119)(120)

【擧】(引)(字)(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)(25)(26)(27)(28)(29)(30)(31)(32)(33)(34)(35)(36)(37)(38)(39)(40)(41)(42)(43)(44)(45)(46)(47)(48)(49)(50)(51)(52)(53)(54)(55)(56)(57)(58)(59)(60)(61)(62)(63)(64)(65)(66)(67)(68)(69)(70)(71)(72)(73)(74)(75)(76)(77)(78)(79)(80)(81)(82)(83)(84)(85)(86)(87)(88)(89)(90)(91)(92)(93)(94)(95)(96)(97)(98)(99)(100)(101)(102)(103)(104)(105)(106)(107)(108)(109)(110)(111)(112)(113)(114)(115)(116)(117)(118)(119)(120)

【擧】(引)(字)(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)(25)(26)(27)(28)(29)(30)(31)(32)(33)(34)(35)(36)(37)(38)(39)(40)(41)(42)(43)(44)(45)(46)(47)(48)(49)(50)(51)(52)(53)(54)(55)(56)(57)(58)(59)(60)(61)(62)(63)(64)(65)(66)(67)(68)(69)(70)(71)(72)(73)(74)(75)(76)(77)(78)(79)(80)(81)(82)(83)(84)(85)(86)(87)(88)(89)(90)(91)(92)(93)(94)(95)(96)(97)(98)(99)(100)(101)(102)(103)(104)(105)(106)(107)(108)(109)(110)(111)(112)(113)(114)(115)(116)(117)(118)(119)(120)

【擧】(引)(字)(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)(25)(26)(27)(28)(29)(30)(31)(32)(33)(34)(35)(36)(37)(38)(39)(40)(41)(42)(43)(44)(45)(46)(47)(48)(49)(50)(51)(52)(53)(54)(55)(56)(57)(58)(59)(60)(61)(62)(63)(64)(65)(66)(67)(68)(69)(70)(71)(72)(73)(74)(75)(76)(77)(78)(79)(80)(81)(82)(83)(84)(85)(86)(87)(88)(89)(90)(91)(92)(93)(94)(95)(96)(97)(98)(99)(100)(101)(102)(103)(104)(105)(106)(107)(108)(109)(110)(111)(112)(113)(114)(115)(116)(117)(118)(119)(120)

滑加練名。旭陽句子。墓解。時珍曰。海南語番語。

【擧足相隣】(引)(字)(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)(25)(26)(27)(28)(29)(30)(31)(32)(33)(34)(35)(36)(37)(38)(39)(40)(41)(42)(43)(44)(45)(46)(47)(48)(49)(50)(51)(52)(53)(54)(55)(56)(57)(58)(59)(60)(61)(62)(63)(64)(65)(66)(67)(68)(69)(70)(71)(72)(73)(74)(75)(76)(77)(78)(79)(80)(81)(82)(83)(84)(85)(86)(87)(88)(89)(90)(91)(92)(93)(94)(95)(96)(97)(98)(99)(100)(101)(102)(103)(104)(105)(106)(107)(108)(109)(110)(111)(112)(113)(114)(115)(116)(117)(118)(119)(120)

【擧】(引)(字)(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)(25)(26)(27)(28)(29)(30)(31)(32)(33)(34)(35)(36)(37)(38)(39)(40)(41)(42)(43)(44)(45)(46)(47)(48)(49)(50)(51)(52)(53)(54)(55)(56)(57)(58)(59)(60)(61)(62)(63)(64)(65)(66)(67)(68)(69)(70)(71)(72)(73)(74)(75)(76)(77)(78)(79)(80)(81)(82)(83)(84)(85)(86)(87)(88)(89)(90)(91)(92)(93)(94)(95)(96)(97)(98)(99)(100)(101)(102)(103)(104)(105)(106)(107)(108)(109)(110)(111)(112)(113)(114)(115)(116)(117)(118)(119)(120)

【擧】(引)(字)(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)(25)(26)(27)(28)(29)(30)(31)(32)(33)(34)(35)(36)(37)(38)(39)(40)(41)(42)(43)(44)(45)(46)(47)(48)(49)(50)(51)(52)(53)(54)(55)(56)(57)(58)(59)(60)(61)(62)(63)(64)(65)(66)(67)(68)(69)(70)(71)(72)(73)(74)(75)(76)(77)(78)(79)(80)(81)(82)(83)(84)(85)(86)(87)(88)(89)(90)(91)(92)(93)(94)(95)(96)(97)(98)(99)(100)(101)(102)(103)(104)(105)(106)(107)(108)(109)(110)(111)(112)(113)(114)(115)(116)(117)(118)(119)(120)

【擧】(引)(字)(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)(25)(26)(27)(28)(29)(30)(31)(32)(33)(34)(35)(36)(37)(38)(39)(40)(41)(42)(43)(44)(45)(46)(47)(48)(49)(50)(51)(52)(53)(54)(55)(56)(57)(58)(59)(60)(61)(62)(63)(64)(65)(66)(67)(68)(69)(70)(71)(72)(73)(74)(75)(76)(77)(78)(79)(80)(81)(82)(83)(84)(85)(86)(87)(88)(89)(90)(91)(92)(93)(94)(95)(96)(97)(98)(99)(100)(101)(102)(103)(104)(105)(106)(107)(108)(109)(110)(111)(112)(113)(114)(115)(116)(117)(118)(119)(120)

て頒餘に遊び、占卜の書を閲して、貴人の間に出入したので、常時之を事情といつた。後、車騎將軍となり、吉凶書を探求して、在に達す。高宗大いに喜び、京兆に改めたので、八宋史鑑、二十七・二・宋人軼事彙編、七百八十一

【壁摩伽】ヘキマカ 英伯の名。いちご。獨金子の名。筆・筆・筆・

〔注〕師古曰、略、皆略也。〔枚乘七發〕雜、略紛紜、〔漢書、揚雄傳〕略、略也。〔注〕略、略也。〔漢書、揚雄傳〕略、略也。〔注〕略、略也。〔漢書、揚雄傳〕略、略也。〔注〕略、略也。

貧民入略賞(『南史』柳欣傳)/相墓形術(『晉書』)/相法(『正字通』)/略賞人(『唐律疏』)/略賞(『六朝故語』)/略賞人(『唐律疏』)/略賞人(『唐律疏』)/略賞人(『唐律疏

田部（六一—七畫）畦畎畋畜畜畜

に通ず。水經、浪水注、蕃禹、山海經讃之賛国。番也。❹蕃(7-18236)に同じ。(詩、小雅、十月之交篇、蕃、非此疾病。❺姓。古今姓氏辨證)番、出自姓姓、(作)番、蕃安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12046)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12047)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12048)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12049)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12050)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12051)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12052)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12053)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12054)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12055)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12056)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12057)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12058)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12059)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12060)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12061)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12062)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12063)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12064)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12065)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12066)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12067)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12068)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12069)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12070)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12071)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12072)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12073)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12074)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12075)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12076)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12077)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12078)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12079)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12080)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12081)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12082)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12083)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12084)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12085)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12086)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12087)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12088)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12089)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12090)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12091)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12092)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12093)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12094)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12095)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12096)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12097)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12098)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12099)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12100)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12101)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12102)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12103)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12104)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12105)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12106)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12107)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12108)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12109)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12110)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12111)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12112)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12113)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12114)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12115)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12116)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12117)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12118)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12119)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12120)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12121)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12122)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12123)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12124)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12125)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12126)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12127)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12128)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12129)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12130)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12131)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12132)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12133)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12134)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12135)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12136)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12137)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12138)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12139)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12140)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12141)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12142)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12143)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12144)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12145)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12146)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12147)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12148)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12149)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12150)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12151)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12152)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12153)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12154)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12155)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12156)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12157)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12158)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12159)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12160)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12161)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12162)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12163)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12164)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12165)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12166)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12167)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12168)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12169)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12170)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12171)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12172)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12173)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12174)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12175)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12176)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12177)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12178)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12179)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12180)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12181)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12182)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12183)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12184)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12185)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12186)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12187)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12188)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12189)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12190)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12191)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12192)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12193)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12194)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12195)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12196)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12197)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12198)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12199)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12200)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12201)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12202)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12203)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12204)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12205)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12206)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12207)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12208)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12209)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12210)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12211)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12212)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12213)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12214)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12215)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12216)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12217)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12218)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12219)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12220)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12221)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12222)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12223)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12224)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12225)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12226)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12227)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12228)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12229)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12230)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12231)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12232)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12233)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12234)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12235)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12236)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12237)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12238)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12239)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12240)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12241)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12242)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12243)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12244)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12245)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12246)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12247)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12248)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12249)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12250)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12251)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12252)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12253)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12254)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12255)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12256)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12257)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12258)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12259)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12260)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12261)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12262)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12263)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12264)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12265)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12266)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12267)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12268)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12269)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12270)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12271)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12272)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12273)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12274)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12275)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12276)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12277)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12278)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12279)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12280)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12281)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12282)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12283)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12284)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12285)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12286)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12287)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12288)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12289)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12290)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12291)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12292)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12293)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12294)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12295)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12296)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12297)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12298)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12299)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12300)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12301)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12302)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12303)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12304)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12305)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12306)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12307)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12308)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12309)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12310)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12311)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12312)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12313)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12314)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12315)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12316)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12317)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12318)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12319)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12320)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12321)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12322)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12323)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12324)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12325)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12326)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12327)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12328)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12329)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12330)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12331)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12332)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12333)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12334)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12335)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12336)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12337)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12338)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12339)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12340)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12341)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12342)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12343)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12344)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12345)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12346)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12347)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12348)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12349)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12350)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12351)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12352)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12353)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12354)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12355)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12356)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12357)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12358)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12359)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12360)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12361)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12362)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12363)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12364)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12365)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12366)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12367)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12368)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12369)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12370)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12371)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12372)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12373)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12374)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12375)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12376)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12377)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12378)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12379)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12380)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12381)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12382)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12383)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12384)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12385)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12386)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12387)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12388)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12389)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12390)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12391)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12392)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12393)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12394)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12395)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12396)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12397)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12398)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12399)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12400)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12401)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12402)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12403)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12404)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12405)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12406)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12407)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12408)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12409)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12410)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12411)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12412)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12413)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12414)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12415)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12416)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12417)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12418)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12419)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12420)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12421)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12422)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12423)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12424)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12425)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12426)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12427)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12428)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12429)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12430)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12431)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12432)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12433)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12434)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12435)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12436)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12437)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12438)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12439)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12440)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12441)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12442)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12443)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12444)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12445)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12446)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12447)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12448)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12449)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12450)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12451)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12452)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12453)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12454)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12455)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12456)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12457)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12458)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12459)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12460)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12461)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12462)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12463)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12464)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12465)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12466)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12467)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12468)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12469)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12470)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12471)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12472)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12473)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12474)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12475)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12476)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12477)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12478)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12479)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12480)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12481)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12482)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12483)に同じ。(集韻)番、要安切。国かはるがはる。かはる。駄(7-12484)に同じ。(集韻)番、要安切。国か

題刑部、番役起駕、家筌交役日番役、又名子番。●Ｎ.Ｔ.Ｏ.Ｔ.Ｏ.Ｔ.Ｏ

【番舞】名ヲ 雅楽で左方と右方とつづけて奏する舞曲。左右、各一曲づつ奏するを一番という。一番二番皆同じ。〔紫家踏二十六番〕舞楽有り。番舞也。

【番馬】名 ●国の民。〔令集解〕兵部省。

【番馬】名 ●国の民。〔令集解〕兵部省。

【番馬】名 ●番をする兵隊。〔令集解〕兵部省。

【番番】名 ●番をする兵隊。〔令集解〕兵部省。

【番番】名 ●番をする兵隊。〔令集解〕兵部省。

【番番

傳妙畫通鑑、❷姓（萬物統譜）畫見二姓、字列。

❸地名（正德中置縣、屬順慶州。）

解詁 畫畫、畫畫、畫畫、

【畫閣】ｗｈｕａｇｅ 彩色を施した美しいたかどの。〈後漢書・馮衍伝〉「遂令詩・歌・舞・絃・管・舞・雜出于林。（鍾光・鼓・鐘・南・江・東・陽・馬・後・詩）・故人・詩・閣・人出・光・高・金・華・外・真。」

【畫卵】ｈｕａｎｌｕａｎ ①蓮華。〈法華経・譬喩品〉「如・是・諸・等・無・量・無・辺・阿・僧・祇・劫・説・法・華・用・大・方・法・神・試・四・花・雨・天・龍・人・非・人・皆・以・佛・力・故・見・此・世・界・六・種・震・動・」 ②仏教語。仏・菩・薩・の・説・法・の・比・喩・。

【畫壁】ｈｕａｂｉ 元の夏文彦は書を二品に分ち、氣韻が生動するものを神品、予筆の超絶なるを妙品、能く工・巧・品・位・を・備・えたるを能品と・す。〈圖繪寶鑑・八法二品〉品位論生動出於天成、韓非子・喻老・篇・「扁鵲曰・君之疾在肌膚・若不・治・將・益・深・」

【畫壁】ｈｕａｂｉ 畫を壁に・用・事・上の二・字・は・動・詞・。畫・を・壁・に・用・事・上・の・二・字・は・動・詞・。

【畫壁】ｈｕａｂｉ 天・の・邪・を・遠・ざ・け・る・ま・じ・な・い・。

【畫壁】ｈｕａｂｉ 壁に畫いた・絵

ら、輪をいう。（皆貴）主名物。（皆貴）主名物。（皆貴）主名物

かく、室に色彩なくを他して美しくかぐる、又、長者なくを、「後漢書」江革傳、「謙武」官箴の「漢の門に畫を多く巧、謙武」

【後漢書】四百字、「後漢書」袁安傳七字等、

【畫匠】四二二　ふかき畫匠（ゑ）に同じ、「韓偓、格架の詩」「畫匠」、「畫匠」、「畫匠」、

だ御像況が生きかつて廣長舌と結婚することを願う。

【畫中有詩】[illegible]　繪畫の中に詩趣を帶びてゐる。〔東坡左林〕・明・厚語之跋。詩中有畫。

【畫中九友】[illegible]　九友とは其昌・明の詩人董梅村が文敏（王鑑）・文沫（王時敏）・仁翁（惲向）・仁翁（惲格）・仁翁（惲壽平）・文端（王原祁）・文肅（王翬）・文恭

畜分萬國。立諸侯國君。[前紀]華云 段文云。

【書屏】[illegible] 繪畫の書いてある衝立。[江後 空 [illegible]]。[illegible]。[illegible]。[illegible

注三〈各本作三、今正。開雒、釋地〉田歲曰畬。二歲曰新田。三歲曰畬。易、无妄、虞注〈二歲曰畬。詩、周頌、臣工〉「嗟、坊記」不一菑畬。〈注〉田、歲曰菑、二歲曰新田。畬、猶二歲曰畬。〈集韻〉畬、治田也。〈玉篇〉畬、臣妾、種也。〈集韻〉畬、火種田。〈廣東通志〉潮州府有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。❹**畦**（畦畝、畦畦）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」❺**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」❻**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」❼**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」❽**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」❾**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」❿**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」⓫**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」⓬**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」⓭**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」⓮**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」⓯**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」⓰**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」⓱**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」⓲**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」⓳**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」⓴**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㉑**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㉒**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㉓**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㉔**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㉕**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㉖**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㉗**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㉘**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㉙**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㉚**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㉛**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㉜**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㉝**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㉞**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㉟**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㊱**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㊲**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㊳**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㊴**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㊵**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㊶**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㊷**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㊸**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㊹**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㊺**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㊻**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㊼**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㊽**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㊾**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」㊿**畬**（畬田）。田の畦を焼き掃って種を播く。〈詩、豳風、七月〉「禾麻菽麥、代食者、我稼既成、令我婦子、饁彼南畝、田畯至喜。」〈傳〉「田一歲曰菑、二歲曰畬、三歲曰新田。」〈集韻〉畬、火種田。〈廣東省舊潮州府志〉「廣東省舊潮州府、有畬、猺、一說、閩有、畬健、流入潮州、非畬民、後人誤合爲一。」

畛 小 畛 畛 畛

田部

畺 畺ヨリ。

解字 會意。界のあたらえて二所手ことを合せ田畑の物を界にあたらえたる形に象る。説文、畺、界也。从二田。象形。徽、古文畺。

畾 畾ルヒ。

畿 畿ルヒ。

畺 畺ルヒ

千乏反。也。使品第之字、各目反銖、其父故須分也、云云。若兄弟同在一宮、則尊、陳諫父之長、不敢違人。

【異虛】□□：異虛の縁名。

【異色】□□：異色の縁名。

【異鼎】□□：鼎、周禮、樹鼎、鼎、鼎、

老稚筆法超絕、異於俗筆。

異栄 四ノ めっらしい。●拾遺記、晉時事、國家四年子金墟城東、多種異樹、名異栄。

異財 四ノ 財産を異にする。財産を共有しないこと。(白虎通、封公侯篇)子受父、兄受弟、子長父子手足、無分異財之義。

異人 四ノ 他人。(孝経援神契)人有二種、孝弟者、是人。無分異財之義。

異相 四ノ 人相。(孝経援神契)人有二種、孝弟者、是人。有所異相。●人相が其の名目相をことにする。(摩訶経)一異相名各見同。

異草 四ノ 異草。●(後漢書、馬援傳)援、上書、(光武帝)比聞、西方有異草、生於道旁、不是天仙、到來。

異鼠 四ノ ちがった鼠の類。(蜀志、董和傳)(明帝、泰始中)有人獲異鼠、以獻。●(後漢書、宋紀)地、有二、物、理之異、異鼠。

異鳥 四ノ 守護の鳥。(搜神記、逸篇)孫、貝小合葬、樹事、大蛇、卵、孔雀、此異、樹同、事、明、相、無、異、鳥、紀。

異学 四ノ 異学。●(後漢書、儒林傳)綦毋、子、明、(注)、(晉、書)、(曰)、(十)、月之時、草木、花、物、皆、異、鳥、鳴、(注)、(晉、書)、陳、忠、傳、(云)、(十)、月之時、草木、花、物、皆、異、鳥、鳴、(注)、(晉、書)、(曰

【異執認】[illegible]　【異報障】業報障。[illegible]。

【異熟】[illegible]　【異熟障】業報障。[illegible]。

【異熟因】[illegible]　【異熟果】[illegible]。

【異熟識】[illegible]　【異熟生】[illegible]。

【異熟性】[illegible]　【異熟因】[illegible]。

【異熟果】[illegible]　【異熟識】[illegible]。

【異熟生】[illegible]　【異熟性】[illegible]。

【異熟因】[illegible]　【異熟識】[illegible]。

【異熟果】[illegible]　【異熟生】[illegible]。

【異熟識】[illegible]　【異熟性】[illegible]。

【異熟因】[illegible]　【異熟果】[illegible]。

【異熟識】[illegible]　【異熟生】[illegible]。

【異熟性】[illegible]　【異熟因】[illegible]。

【異熟果】[illegible]　【異熟識】[illegible]。

【異熟生

播・新長・政有異議

【異說】100ウ　●逢笑を說。『晉書』劉聰傳「去言語、其逢笑、則以異說、好變怪、非常之事、者之所聞、之所見、則以異說、好變怪、非常之事、者之所聞、之所見、則以異說、好變怪、非常之事、者之所聞、之所見

〔異説〕20ウ　めつらしいはなし。奇話。異伝。〔五倫書三〕拓植吐・異話。

〔異珠〕20ウ　異真。異土。〔後漢書、梁冀傳〕珠璣。異方珍味。九・積蔵室〔李陵答蘇武書〕蔵武。

〔異裔〕20ウ　とつくに。外国。異國。〔論語、季氏〕裔内之小人。

〔異邦〕20ウ　日有大人・隣・諸邦・邦・異・小国・集・邦人・隣之日・異・珍寶〔宋史、外戚〕周八・于闐国・遠・国・珍寶〔宋史、外戚〕周八・于闐国・遠・年五十八・異・国・北・北・鞍山・駅・異寶・以奉・皇帝・〔宮氏春秋〕孟嘗君・異寶・

〔異宅〕20ウ　異なるのすみ。

〔異子〕20ウ　別の人を欲する。

〔異士〕20ウ　異なるのすぐれた人。〔左氏、昭十二・注〕先君公・孤・姫・公・之・子九人・唯文公・相・詩・時何以代・父・子・〔注〕獻公之子九人・唯文公・不・殺・父・子・〔王伝・注〕獻公・孤・姫・諸・国・文・国・無・異・言・国・無・異・望・

〔異視〕20ウ　めつらしい・ちがう・あやしい・ちがった・奇怪・異・〔後漢書、馬援傳〕・高・異・・・

楯側、迮二合三音異目視、此兒矣。

異樣 [illegible] 普通ではないこと。かはったさまか。異樣切線 [illegible] 官名。元、漢ヶ。

錄後切・紗羅等を織る。[illegible]百百志四、異樣切線 [illegible]。

總管府、鉄正、[illegible]中統二年置。[illegible]、至元六年改為。總管府、總管、異樣校練提舉司、云云。紗羅提舉司、云云。紗羅提舉司、云云。

異用 [illegible] ●用法を異にする。用法が異なる。異用の功也。●色氏者、[illegible]。異用の功也。●色氏者、[illegible]。

異容 [illegible] 普通と異つた容子(弗九餘・晩節)。王少府東園、詩「霜雪生[illegible]、[illegible]」。異容の[illegible]。

異流 [illegible] 異なつたながれ。異なつた流派。又、流を異にする。流派を異にする。[illegible]、江東、古鼎、[illegible]。功書、詩[illegible]、[illegible]、[illegible]、

田部（七―八畫）畧畸畺畾畿畹畻畽畿畹畻畽畿畹畻畽

田部（六畫）當

㋑おほふ。〔増訓〕當、蔽也。〔左氏、昭〕。
㋒使・例・意・責・支・決・申・勘・問・答・ひとのるる。宿直。〔禮、内則〕妻不在、奚御英・敢當之。㋓然り。そのはず。〔史記、馬遷、自序〕因當。㋔然り。〔史記、馬遷、自序〕因曰、當、言・使・罪法相當の〔史記、張釋之傳〕正法案。當。〔注〕索隱曰、當、謂・案・考・罪也。〔漢書、賈誼傳〕但見當以重法者。〔注〕如淳曰、法當㋕罹れる。〔宋史、風俗〕有風流然而至于十月扶樂而當之。㋖つく・あたる。〔増訓、當、卽也〕❶あたひ。〔史記、齊世家〕〔漢書、匈奴傳上〕匈奴終不敢取。當。〔注〕如淳曰、當者、報其向。❷むねあて。矢を射る時に胸と背にあてる皮衣。〔儀禮、鄉射禮、摩當。〔注〕衣上背。衣上當。以斗革・爲之。❸まさに云云なり。まさしく・まさに・まさしくと・まさしくとよべし。まさにと先づ讀み、すべしと返り讀む。〔史記、齊世家〕〔漢書、匈奴傳〕〔史記、商君傳〕當、斷不斷、〔史記、商君傳〕當、殺。〔史記、齊世家〕〔漢書、匈奴傳〕當、猶・定也。〔注〕如淳曰、當者、報其向。❹まさに云云なり

田部（八畫）畜

〔常家的〕[pu] [pu]。[ta] [ta]。●家が夫をいふ俗稱。辛主。●手の住職の俗稱。

〔常家理〕[pu] [pu]。[ta] [ta]。能く世帶を持つこと。

〔常街〕[pu] [pu]。[ga] [ga]。町で。市街で。

〔常談〕[pu] [pu]。[dan] [dan]。日の出の時。●其の時に於ては。

〔常行〕[pu] [pu]。[gyō] [gyō]。●其の日。●あるひとは。●其の樣。●いつもの樣。●あるひとは。●いつもの樣。●常行不通（慣用語）。

〔常時〕[pu] [pu]。[ji] [ji]。●常に。●其の時。●此の時。●此の季節。●常時の。●常時の。●常時の

「當日」[ta tsuki] [ta tsu ki]　時を分ち了度其の時。

「當國」[tō kuni]　國政の權柄を握る。一説に、君の事を攝行する。〈左氏、襄二〉「於是子孚當國」。

國子[kokushi]・國子[kokushi]　前馬。〈左氏襄十四〉「子國子國爲前驅」。

「當時」[tō ji]　①〈論語〉「君子當時」。②〈後漢書、馬援傳〉「君子當時」。

「當年」[tō nen]　①〈後漢書、馬援傳〉「當年之世、非獨攻城野戰而已」。②〈史記、魯仲連傳〉「當今之世、非獨攻城野戰而已」。

「當今」[tō kon]　①いまの時。現時。現今。〈左氏、襄九〉「當今天下無能與當子者」。〈孟子、公孫丑上〉「當今之時、萬乘之國行仁政、民之悅之、猶倒懸也」。〈史記、淮南衡山傳〉「當今諸侯無異心」。〈史記、魯仲連傳〉「當今之世、非獨攻城野戰而已」。②〈後漢書、馬援傳〉「當今之世、非獨攻城野戰而已」。

「當今」[tō kin]　①〈後漢書、馬援傳〉「當今之世、非獨攻城野戰而已」。②〈後漢書、馬援傳〉「當今之世、非獨攻城野戰而已」。

「當今」[tō kyō]　現今。現代。〈左氏、襄九〉「當今天下無能與當子者」。

「當今」[tō ima]　①いまの時。現時。現今。〈左氏、襄九〉「當今天下無能與當子者」。〈孟子、公孫丑上〉「當今之時、萬乘之國行仁政、民之悅之、猶倒懸也」。〈史記、淮南衡山傳〉「當今諸侯無異心」。〈史記、魯仲連傳〉「當今之世、非獨攻城野戰而已」。②〈後漢書、馬援傳〉「當今之世、非獨攻城野戰而已」。

「當今」[tō kyō]　現今。現代。〈左氏、襄九〉「當今天下無能與當子者」。

「當今」[tō ima]　①いまの時。現時。現今。〈左氏、襄九〉「當今天下無能與當子者」。〈孟子、公孫丑上〉「當今之時、萬乘之國行仁政、民之悅之、猶倒懸也」。〈史記、淮南衡山傳〉「當今諸侯無異心」。〈史記、魯仲連傳〉「當今之世、非獨攻城野戰而已」。②〈後漢書、馬援傳〉「當今之世、非獨攻城野戰而已」。

「當今」[tō kin]　①〈後漢書、馬援

●當鑄 [illegible] ●鑄錢を擅常する。鑄錢を行ふ。
●當歸 [illegible] 當歸。本草綱目引書。當歸。
●當部 [illegible] 當部。
●當心 [illegible] ●物を當て心に接者持つこと。
（轉）曲盡す。百本者當心接者持。（白居易）
●當心 [illegible] 心に當たる。
●當心 [illegible] 心中に入れたる。
●當心 [illegible] 心中に。
●當心 [illegible] 心中に。
●當心 [illegible] 心中に

（略）曲轅（ながえ）天子當ヲ面立、諸公東面、諸侯西面、曰ヲ朝（政ヲ行ス）、聖堂ノ門、謂ノ之ニ（郊）、郊ノ之ニ（郊）、入ル者、例ニ、所ニ立ル、宇立ル、以ヲ待ツ侯ヲ、入ル者、門外ノ之朝ヲ、外門外宇立、以ヲ待ツ諸侯ヲ、宇動ク色、謂ヲ詩色ヲ也（今按、聖堂、西学ニ改称、詳細ハ、[illegible]）

（常直）[illegible]　●まりばし。とのゐ。宿直の番。●今の御殿・夢ノ弧撃ヲ、男子ノ出ル時ノ番ヲ、尺ノ、毒頭敷故常直（[illegible]）●[illegible]、[illegible]、家来

（常朝）[illegible]　●常代又、今の朝廷（[illegible]）。●[illegible]、[illegible]、[illegible]、

而人。所拜皆敬。

〔當塗〕297.1.1 ●●貴官。貴屋。『淳曾無事何』『白部』

『晉書』297.1.1 ●●縣。郡行當縣。『晉紀』二年。魏王曹叡。當縣每年納。銀五兩。大約。『魏書』二年。魏王曹叡。當縣。每年。徵。與五兩。『魏書』全書。『白部』『晉書』『晉紀』

〔當塗〕297.1.1 ●●。秋。『晉書』

[illegible]判温酒火盞夫其養矣。

當墉 [illegible] 〔説文〕墉、城垣也。〔後漢書・光武帝紀〕[illegible]

當墉壁 [illegible] 〔後漢書・馮衍傳〕[illegible]

當墉壁 [illegible] 劇曲の題名。清、黄燕清作。[illegible]

當墉 [illegible] 次に同じ。〔説文〕[illegible]

當墉 [illegible] 〔荀子・[illegible]〕[illegible]

當墉 [illegible] 〔荀子・[illegible]〕[illegible]

當墉 [illegible] 同じ。

當墉 [illegible] 〔史記・司馬相如傳〕相如與卓文君[illegible]

集解引、韋昭曰、[illegible]

當鋪 [illegible] 馬の油脂。當膏の。[illegible]

當鋪 [illegible] 同じ。[illegible]

當鋪 [illegible] 〔[illegible]〕[illegible]

[illegible] 〔[illegible]〕[illegible]

[illegible] 〔[illegible]〕[illegible]

[

田部（八—九畫）畸畹畿畽畾畺畷畹畸畷畹畸畷畹畸

畺 21913 クワク 畫(7・21959)の古字。〔集韻〕畫、古作畺。畫・劃・繪省。

墓 21914 フン 畫(8・27102)に同じ。〔搜眞玉篇〕畫、同畫。

朋 21915 ①デン ①〔説文〕畫、補。〔玉篇〕同。②ゲン 畫(8・6831)に同じ。〔字彙〕畫、同。〔集韻〕野、同。〔字彙〕畫、或从二男。

畤 21916 ギ 畤(4・9310)に同じ。〔集韻〕陳、或从田。

十畫

畟 21917 ①ジュン ②ユン ③チン ④ゼン ①〔集韻〕松倫切 ②〔集韻〕胡大切 ③〔集韻〕視倫切 ④〔集韻〕當練切 ①〔集韻〕舒均切 ①眞 ②銑 ③眞 ④霰

畱 21918 ショク 畱(8・25325)の古字。〔五音集韻〕畱、古文種字。

畱 21919 ①ヂク ②ヂン ①〔集韻〕直六切 ②〔集韻〕或从鉞。①昵(7・21814)に同じ。②昵(7・21920)に同じ。〔集韻〕昵、或書作畱。

畱 21920 シ 〔集韻〕才之切 ①支

畱 21921 チツ 昵(7・21892)の俗字。〔正字通〕昵、俗昵字。

畱 21922 ケイ 地名。畱(7・21919)に同じ。〔集韻〕昵、地名、或書作畱。

畱 21923 ①サ ②ジャ ①〔集韻〕才何切 ②〔集韻〕古雅切 ①麻 ②馬

畱 21924 ①ライ ②ルイ ①〔集韻〕盧回切 ②〔集韻〕魯水切 ①灰 ②紙

畱(10・37747)に同じ。〔集韻〕畱、或从田。

畱(7・21795)に作る。〔正字通〕畱、本作畱。〔説文〕畱、猶麤田也。从田畱聲。(段注)猶而且蕪之田也。是曰畱。❷なやむ。病也。畱(7・22412)に通ず。〔集韻〕畱、爾雅、畱、病也。通作畱。〔説文〕畱、詩曰、天方艱畱。(段注)詩小雅、節南山、天方艱畱。

畱(8・25535)の古字。〔五音集韻〕畱、古文種字。

畱(8・25535)の古字。〔五音集韻〕畱、古文種字。

畱 21925 キ 〔集韻〕直希切 ①支

畱(7・21814)に同じ。

畱(7・21814)に同じ。

畱(7・21814)に同じ。

中國、其外史官子、夷、蠻、戎、狄、王畿四面所有、九畿、相去各五百里。**田國**、地方、一、六、小、閒、遠、字、作、鄉、許、郊、任、指、鬼服、注、北出、奉、畿。**田野**（豪、愉、交、帝、樵、蜀、秦

田部 (十一一二畫) 畿畺畾畹畺畹畺畹畺

【嶋】 21934
シャウ　塲（9－2386）に同じ。（集韻）場、或作嶋。

【嶲】 21935
□カン（集韻）直正切　蟹
□カン（集韻）許玄切　屋
一説●麥ばたけ。（字彙補）嶲、耕麥地。●また耕嶲、耕也、或从禾。

【嶢】 21936
□リウ（集韻）力条切　尤
□キク（集韻）許鞠切　屋
□コク（集韻）呼酷切　沃
嶢小　嶲　又、其の田、やきはたを種を蒔く。地種也。从田麥聲。（漢律曰、嶲田採艸。）（段注）謂ゆ焚草木而下種、蓋治田之法爲然。●姓。（正字通）嶲、姓也。嶲子耕。（宋人、號蕭閒居士著蕭閒詩。巻。）【嶲田】ハタ　●田の草をやいて種を蒔く。やきはた。字彙の説。以焚草誠（海錄碎事）農田、西嶲田、千畝霜鎌嶲田業。（蘇詩）蜀、江周切　田、耕麥地也。●書、蘇東坡（11－4056 3－4634）の號。

【嶠】 21937
□ケウ（集韻）亟廟切　嘯
□キウ（集韻）必勇切　腫
●嶠　（集韻）嶠、（21878）を見よ。（正字通）嶠、俗字。●嶠（7－21878）を見よ。（正字通）嶠、俗字。●嶠（7－21965）に同じ。（集韻）嶠、或从幵。□4ケン。（集韻）嶠、耕也。

【嶠】 21945
シュウ　巻（3－5323）の古字。（毛詩）嶠、古文巻。

【嶲】 21940
ヘイ　大字典（嶲）同じ。（中華字海）嶲（7－21837）に同じ。

【嶲】 21939
ショウ（廣韻）章恕切　御
ふり。（廣韻）嶲、蓋也。

【嶲】 21938
ショウ　嶲（9－4653）の古字。（集韻）嶲、古作嶲。

【嶲】 21941
ヒキ　吾種。
義未詳。（字彙補）嶲、足昔切。

十二畫

【嶲】 21942
タン　（集韻）王縁切　寒
ムカデ　tuan
□獣のふむあと。（説文）嶲、禽獸小　嶲　獣所踐處也。（詩日、町畽鹿場。）（段注）獣足跡也。从田嶲聲。（段注）獣足跡也。（字彙）嶲、其所踐之處也。（集韻）嶲、或作嶲。（7－21907）。嶲（8－5466）。畽（7－21908）。嶲（10－37946）に作る。（集韻）嶲、或作嶲、埴、畽、嶲。

【嶲】 21946
サク　（集韻）全六切　屋
ものの生える田。（廣韻）穀、生田。

【嶲】 21947
□リン（集韻）良力切　蒸
□リン（集韻）離玲切　眞
□リン（集韻）里弘切　耕
嶲小　嶲　□ふみにじる。田に車をひいて踏み荒す。もと嶲（7－21962）に作る。（正字通）嶲、蒙本字。（説文）嶲、轢田也。从田粦聲。（段注）轢、車所踐也。●轢（10－38542）に同じ。（正字通）嶲、同轢。●躪（10－37882）。躪（10－37983）に通ず。（正字通）嶲、轢、躪通。●田のうね。（廣韻）嶲、田壠。□●野菜ばたけ。（集韻）壠、蔬畦同。壠（8－5607）に同じ。（集韻）壠、蔬畦同。壠、或作嶲。嶲。□●の●に同じ。□高いうね。（集韻）嶲、高壠謂之嶲。

【嶲】 21950
ソウ　（集韻）子等切　迥
みづた。（集韻）嶲、水田。
（説文）田、陳詩曰、嶲田嶲、東出、合川等處。（廣韻）嶲、蓋田嶲、東出、合川等處。無平田、農夫之山耕起伏而田、淤而水持、雀而後稻、謂之嶲田。（後魏書）嶲田、蓋言田墾、嶲田、嶲、嶲、嶲

に同じ。(集韻)壁、塞也。或从雉。亦作「褘」。

【𨻰】 21956 キヤウ カウ 〔集韻〕居良切 𨻰

さかひ。壁。〔7－21895〕に同じ。〔集韻〕環、界也。或作「疆」。

【𨻰】 21957 ①フウ 二聿韻 敷勿切 𨻰 ②ヒヨク 〔集韻〕平力切 𨻰

①そふ。そひ。副。〔8－2097〕に同じ。〔集韻〕副、貳也。或从二。后。②おほいに。〔廣韻〕鼎、多也。②こまか。〔廣韻〕鼎、密也。

【𨻰】 21958 ケイ 〔集韻〕孝韻切 𨻰

蹊蹊。いひつづつ。飯をいれるもの。〔廣韻〕蹊、小義。〔集韻〕蹊、蹊蹊、管旅也。

【𨻰】 21959 キ 義未詳。〔龍龕手鏡〕眞、音希。

【𨻰】 21960 〔ヘキ〕 義未詳。〔字彙補〕壁、杜弼切。

十四畫

【𨻰】 21961 ①キヤウ カウ ②ヒヨク 〔集韻〕居良切 𨻰 〔集韻〕直南切 𨻰

①〔集韻〕居良切 𨻰 ②〔集韻〕直南切 𨻰

①さかひ。〔7－21895〕に同じ。〔說文〕疆、界也。疆、疆或从土彊聲。〔段注〕不利

疆行而罔解解矣。〔晉、泰誓中〕我武惟揚、侵于之疆。〔周頌、地官、大司徒〕制其疆界。〔注〕疆、猶界也。〔廣雅、釋詁四〕疆、封也。〔詩、豳風、七月〕萬壽無疆。〔傳〕疆、竟也。〔禮、中庸〕衣衾之疆。〔注〕疆、猶界也。〔穀梁、昭元〕疆之爲言、猶竟也。種天子爲一、二、三得獲無疆。〔注〕無疆、無限也。②かぎる。〔詩、大雅、緜〕迺疆迺理。〔集傳〕疆、謂畫其大界。〔左氏、宣八〕楚子疆之。〔注〕正其界。③あぜくろ。〔東京賦、勸農〕於疆埸。〔注〕埸、田畔也。④はて。邊地。〔周雅、祥詩、緜〕垂也。**⑤行政區劃の名。**周之、王城を去る百里を王畿に至る區域。即ち千畿千里の最外側の地。三公、親王の子母弟の采邑に當てる。〔周禮、地官、載師〕以大都之田任畿。〔注〕畿、各受一百里不地、一百里曰甸、二百里曰稍、三百里曰縣、四百里曰都、五百里曰畿。〔疏〕三公及親王子母弟、五百里、王畿第也。〔疏〕王子母弟、各受一百里不地、一百里曰甸、二百里曰稍、三百里曰縣、四百里曰都、五百里曰畿。〔注〕畿、猶疆、疆、界也。〔疏〕疆、界也。〔禮、王制〕畿內、千里。〔注〕畿、猶疆、疆、界也。〔疏〕畿、界也。〔禮、中庸〕衣衾之疆。〔注〕疆、猶界也。〔穀梁、昭元〕疆之爲言、猶竟也。種天子爲一、二、三得獲無疆。〔注〕無疆、無限也。

【𨻰】 21962 ①キヤウ カウ ②ヒヨク 〔集韻〕居良切 𨻰 〔集韻〕直南切 𨻰

①〔集韻〕居良切 𨻰 ②〔集韻〕直南切 𨻰

①さかひ。〔7－21895〕に同じ。〔說文〕疆、界也。疆、疆或从土彊聲。〔段注〕不利

疆行而罔解解矣。〔晉、泰誓中〕我武惟揚、侵于之疆。〔周頌、地官、大司徒〕制其疆界。〔注〕疆、猶界也。〔廣雅、釋詁四〕疆、封也。〔詩、豳風、七月〕萬壽無疆。〔傳〕疆、竟也。〔禮、中庸〕衣衾之疆。〔注〕疆、猶界也。〔穀梁、昭元〕疆之爲言、猶竟也。種天子爲一、二、三得獲無疆。〔注〕無疆、無限也。②かぎる。〔詩、大雅、緜〕迺疆迺理。〔集傳〕疆、謂畫其大界。〔左氏、宣八〕楚子疆之。〔注〕正其界。③あぜくろ。〔東京賦、勸農〕於疆埸。〔注〕埸、田畔也。④はて。邊地。〔周雅、祥詩、緜〕垂也。**⑤行政區劃の名。**周之、王城を去る百里を王畿に至る區域。即ち千畿千里の最外側の地。三公、親王の子母弟の采邑に當てる。〔周禮、地官、載師〕以大都之田任畿。〔注〕畿、各受一百里不地、一百里曰甸、二百里曰稍、三百里曰縣、四百里曰都、五百里曰畿。〔疏〕三公及親王子母弟、五百里、王畿第也。〔疏〕王子母弟、各受一百里不地、一百里曰甸、二百里曰稍、三百里曰縣、四百里曰都、五百里曰畿。〔注〕畿、猶疆、疆、界也。〔疏〕畿、界也。〔禮、王制〕畿內、千里。〔注〕畿、猶疆、疆、界也。〔疏〕畿、界也。〔禮、中庸〕衣衾之疆。〔注〕疆、猶界也。〔穀梁、昭元〕疆之爲言、猶竟也。種天子爲一、二、三得獲無疆。〔注〕無疆、無限也。

【𨻰】 21963 ①ケン ②ケン 〔集韻〕居延切 𨻰 〔集韻〕居延切 𨻰

①〔集韻〕居延切 𨻰 ②〔集韻〕居延切 𨻰

①②さかひ。〔7－21896〕に同じ。〔說文〕𨻰、界也。𨻰、疆或从土𨻰聲。〔段注〕不利

疆行而罔解解矣。〔晉、泰誓中〕我武惟揚、侵于之疆。〔周頌、地官、大司徒〕制其疆界。〔注〕疆、猶界也。〔廣雅、釋詁四〕疆、封也。〔詩、豳風、七月〕萬壽無疆。〔傳〕疆、竟也。〔禮、中庸〕衣衾之疆。〔注〕疆、猶界也。〔穀梁、昭元〕疆之爲言、猶竟也。種天子爲一、二、三得獲無疆。〔注〕無疆、無限也。②かぎる。〔詩、大雅、緜〕迺疆迺理。〔集傳〕疆、謂畫其大界。〔左氏、宣八〕楚子疆之。〔注〕正其界。③あぜくろ。〔東京賦、勸農〕於疆埸。〔注〕埸、田畔也。④はて。邊地。〔周雅、祥詩、緜〕垂也。**⑤行政區劃の名。**周之、王城を去る百里を王畿に至る區域。即ち千畿千里の最外側の地。三公、親王の子母弟の采邑に當てる。〔周禮、地官、載師〕以大都之田任畿。〔注〕畿、各受一百里不地、一百里曰甸、二百里曰稍、三百里曰縣、四百里曰都、五百里曰畿。〔疏〕三公及親王子母弟、五百里、王畿第也。〔疏〕王子母弟、各受一百里不地、一百里曰甸、二百里曰稍、三百里曰縣、四百里曰都、五百里曰畿。〔注〕畿、猶疆、疆、界也。〔疏〕畿、界也。〔禮、王制〕畿內、千里。〔注〕畿、猶疆、疆、界也。〔疏〕畿、界也。〔禮、中庸〕衣衾之疆。〔注〕疆、猶界也。〔穀梁、昭元〕疆之爲言、猶竟也。種天子爲一、二、三得獲無疆。〔注〕無疆、無限也。

【𨻰】 21964 ①ケン ②ケン 〔集韻〕居延切 𨻰 〔集韻〕居延切 𨻰

①〔集韻〕居延切 𨻰 ②〔集韻〕居延切 𨻰

①②さかひ。〔7－21896〕に同じ。〔說文〕𨻰、界也。𨻰、疆或从土𨻰聲。〔段注〕不利

疆行而罔解解矣。〔晉、泰誓中〕我武惟揚、侵于之疆。〔周頌、地官、大司徒〕制其疆界。〔注〕疆、猶界也。〔廣雅、釋詁四〕疆、封也。〔詩、豳風、七月〕萬壽無疆。〔傳〕疆、竟也。〔禮、中庸〕衣衾之疆。〔注〕疆、猶界也。〔穀梁、昭元〕疆之爲言、猶竟也。種天子爲一、二、三得獲無疆。〔注〕無疆、無限也。②かぎる。〔詩、大雅、緜〕迺疆迺理。〔集傳〕疆、謂畫其大界。〔左氏、宣八〕楚子疆之。〔注〕正其界。③あぜくろ。〔東京賦、勸農〕於疆埸。〔注〕埸、田畔也。④はて。邊地。〔周雅、祥詩、緜〕垂也。**⑤行政區劃の名。**周之、王城を去る百里を王畿に至る區域。即ち千畿千里の最外側の地。三公、親王の子母弟の采邑に當てる。〔周禮、地官、載師〕以大都之田任畿。〔注〕畿、各受一百里不地、一百里曰甸、二百里曰稍、三百里曰縣、四百里曰都、五百里曰畿。〔疏〕三公及親王子母弟、五百里、王畿第也。〔疏〕王子母弟、各受一百里不地、一百里曰甸、二百里曰稍、三百里曰縣、四百里曰都、五百里曰畿。〔注〕畿、猶疆、疆、界也。〔疏〕畿、界也。〔禮、王制〕畿內、千里。〔注〕畿、猶疆、疆、界也。〔疏〕畿、界也。〔禮、中庸〕衣衾之疆。〔注〕疆、猶界也。〔穀梁、昭元〕疆之爲言、猶竟也。種天子爲一、二、三得獲無疆。〔注〕無疆、無限也。

【𨻰】 21965 ①ケン ②ケン 〔集韻〕居延切 𨻰 〔集韻〕居延切 𨻰

①〔集韻〕居延切 𨻰 ②〔集韻〕居延切 𨻰

①②さかひ。〔7－21896〕に同じ。〔說文〕𨻰、界也。𨻰、疆或从土𨻰聲。〔段注〕不利

疆行而罔解解矣。〔晉、泰誓中〕我武惟揚、侵于之疆。〔周頌、地官、大司徒〕制其疆界。〔注〕疆、猶界也。〔廣雅、釋詁四〕疆、封也。〔詩、豳風、七月〕萬壽無疆。〔傳〕疆、竟也。〔禮、中庸〕衣衾之疆。〔注〕疆、猶界也。〔穀梁、昭元〕疆之爲言、猶竟也。種天子爲一、二、三得獲無疆。〔注〕無疆、無限也。②かぎる。〔詩、大雅、緜〕迺疆迺理。〔集傳〕疆、謂畫其大界。〔左氏、宣八〕楚子疆之。〔注〕正其界。③あぜくろ。〔東京賦、勸農〕於疆埸。〔注〕埸、田畔也。④はて。邊地。〔周雅、祥詩、緜〕垂也。**⑤行政區劃の名。**周之、王城を去る百里を王畿に至る區域。即ち千畿千里の最外側の地。三公、親王の子母弟の采邑に當てる。〔周禮、地官、載師〕以大都之田任畿。〔注〕畿、各受一百里不地、一百里曰甸、二百里曰稍、三百里曰縣、四百里曰都、五百里曰畿。〔疏〕三公及親王子母弟、五百里、王畿第也。〔疏〕王子母弟、各受一百里不地、一百里曰甸、二百里曰稍、三百里曰縣、四百里曰都、五百里曰畿。〔注〕畿、猶疆、疆、界也。〔疏〕畿、界也。〔禮、王制〕畿內、千里。〔注〕畿、猶疆、疆、界也。〔疏〕畿、界也。〔禮、中庸〕衣衾之疆。〔注〕疆、猶界也。〔穀梁、昭元〕疆之爲言、猶竟也。種天子爲一、二、三得獲無疆。〔注〕無疆、無限也。

【𨻰】 21966 ①ケン ②ケン 〔集韻〕居延切 𨻰 〔集韻〕居延切 𨻰

①〔集韻〕居延切 𨻰 ②〔集韻〕居延切 𨻰

①②さかひ。〔7－21896〕に同じ。〔說文〕𨻰、界也。𨻰、疆或从土𨻰聲。〔段注〕不利

疆行而罔解解矣。〔晉、泰誓中〕我武惟揚、侵于之疆。〔周頌、地官、大司徒〕制其疆界。〔注〕疆、猶界也。〔廣雅、釋詁四〕疆、封也。〔詩、豳風、七月〕萬壽無疆。〔傳〕疆、竟也。〔禮、中庸〕衣衾之疆。〔注〕疆、猶界也。〔穀梁、昭元〕疆之爲言、猶竟也。種天子爲一、二、三得獲無疆。〔注〕無疆、無限也。②かぎる。〔詩、大雅、緜〕迺疆迺理。〔集傳〕疆、謂畫其大界。〔左氏、宣八〕楚子疆之。〔注〕正其界。③あぜくろ。〔東京賦、勸農〕於疆埸。〔注〕埸、田畔也。④はて。邊地。〔周雅、祥詩、緜〕垂也。**⑤行政區劃の名。**周之、王城を去る百里を王畿に至る區域。即ち千畿千里の最外側の地。三公、親王の子母弟の采邑に當てる。〔周禮、地官、載師〕以大都之田任畿。〔注〕畿、各受一百里不地、一百里曰甸、二百里曰稍、三百里曰縣、四百里曰都、五百里曰畿。〔疏〕三公及親王子母弟、五百里、王畿第也。〔疏〕王子母弟、各受一百里不地、一百里曰甸、二百里曰稍、三百里曰縣、四百里曰都、五百里曰畿。〔注〕畿、猶疆、疆、界也。〔疏〕畿、界也。〔禮、王制〕畿內、千里。〔注〕畿、猶疆、疆、界也。〔疏〕畿、界也。〔禮、中庸〕衣衾之疆。〔注〕疆、猶界也。〔穀梁、昭元〕疆之爲言、猶竟也。種天子爲一、二、三得獲無疆。〔注〕無疆、無限也。

【𨻰】 21967 ①ケン ②ケン 〔集韻〕居延切 𨻰 〔集韻〕居延切 𨻰

①〔集韻〕居延切 𨻰 ②〔集韻〕居延切 𨻰

①②さかひ。〔7－21896〕に同じ。〔說文〕𨻰、界也。𨻰、疆或从土𨻰聲。〔段注〕不利

疆行而罔解解矣。〔晉、泰誓中〕我武惟揚、侵于之疆。〔周頌、地官、大司徒〕制其疆界。〔注〕疆、猶界也。〔廣雅、釋詁四〕疆、封也。〔詩、豳風、七月〕萬壽無疆。〔傳〕疆、竟也。〔禮、中庸〕衣衾之疆。〔注〕疆、猶界也。〔穀梁、昭元〕疆之爲言、猶竟也。種天子爲一、二、三得獲無疆。〔注〕無疆、無限也。②かぎる。〔詩、大雅、緜〕迺疆迺理。〔集傳〕疆、謂畫其大界。〔左氏、宣八〕楚子疆之。〔注〕正其界。③あぜくろ。〔東京賦、勸農〕於疆埸。〔注〕埸、田畔也。④はて。邊地。〔周雅、祥詩、緜〕垂也。**⑤行政區劃の名。**周之、王城を去る百里を王畿に至る區域。即ち千畿千里の最外側の地。三公、親王の子母弟の采邑に當てる。〔周禮、地官、載師〕以大都之田任畿。〔注〕畿、各受一百里不地、一百里曰甸、二百里曰稍、三百里曰縣、四百里曰都、五百里曰畿。〔疏〕三公及親王子母弟、五百里、王畿第也。〔疏〕王子母弟、各受一百里不地、一百里曰甸、二百里曰稍、三百里曰縣、四百里曰都、五百里曰畿。〔注〕畿、猶疆、疆、界也。〔疏〕畿、界也。〔禮、王制〕畿內、千里。〔注〕畿、猶疆、疆、界也。〔疏〕畿、界也。〔禮、中庸〕衣衾之疆。〔注〕疆、猶界也。〔穀梁、昭元〕疆之爲言、猶竟也。種天子爲一、二、三得獲無疆。〔注〕無疆、無限也。

【疆民】jī jiāng, jiàng 新疆省の人。【疆涛】jī jiāng 疆涛の略。（左氏、襄・二十九）

【疆埸】jī yì 國境。境界。

【疆吏】jī lì 國境を守る官吏。

【疆理】jī lǐ 境界を定め、田地を区分する。「詩・小雅・信南山」「我疆我埸、彼此疆理。」（詩・小雅・信南山）「我疆我埸、瓜瓞唪唪。」（詩・大雅・緜）「疆理天下、周知其利。」（荀子・王霸）「疆理天下、兼利天下。」（荀子・王霸）「疆理天下、至於海隅。」（荀子・王霸）「疆理天下、至於海隅、莫不平正。」（荀子・王霸）「疆理天下、至於海隅、莫不平正。」（荀子・王霸）「疆理天下、至於海隅、莫不平正

嘻諮〔ヒシ〕 嘻咨に同じ。〔説心、容家傳〕嘻諮

嘻吁〔ヒク〕 嘻吁と通じ、〔雅音〕、外儲説左上〔補遺〕「用のうねと通じ、〔雅音〕、外儲説左上〔補遺〕「嘻吁と

【畾】 21978 ルイ

累(8・22243)に同じ。〔僰音手纂〕畾、與累同。

【𤰈】 21979 ロ

𤰈(9・32931)の異文。〔中華大字典〕𤰈、説文文。

十七畫

【畺】 21980 ダン

疆(7・21942)に同じ。〔字彙〕畺、與疆同。

【畿】 21981 ヨク・ウ（字彙）・ヨク（字彙）・ウ（字彙）

〔字彙〕ヨク・ウ。

【畹】 21982 テン（集韻・正韻）・ヒン（集韻・正韻）・ヒツ（集韻・正韻）

【畺】

【畹】 〔集韻・正韻〕力ゼ tiet?

●たたえる。かさなる。つもる。〔玉篇〕畹、重也。累也。〔切經音義九〕畹、積也。〔左思、吳都賦〕畹、累若鱗次。

●たたむ。かさねる。〔宋史、文同傳〕旺、其舌三、畹之。**●たたみ。**たたむこと。かさなること。〔許渾、雖峨山清〕畹、重疊。〔廣雅、釋詁四〕畹、動也。**●**應する。〔説文、畹、段注〕詩疏、不、畹、畹、韓詩作傳、畹、應也。**●**おそれる。〔説文通訓定聲、段借畹、畹、〔詩、周頌、時邁〕莫、不、畹、畹、〔廣雅、釋詁三〕畹、恐也。**●**

【畹】 21982 テン（集韻・正韻）・ヒン（集韻・正韻）・ヒツ（集韻・正韻）

●たたえる。かさなる。つもる。〔玉篇〕畹、重也。累也。〔切經音義九〕畹、積也。〔左思、吳都賦〕畹、累若鱗次。**●たたむ。**かさねる。〔宋史、文同傳〕旺、其舌三、畹之。**●たたみ。**たたむこと。かさなること。〔許渾、雖峨山清〕畹、重疊。〔廣雅、釋詁四〕畹、動也。**●**應する。〔説文、畹、段注〕詩疏、不、畹、畹、韓詩作傳、畹、應也。**●**おそれる。〔説文通訓定聲、段借畹、畹、〔詩、周頌、時邁〕莫、不、畹、畹、〔廣雅、釋詁三〕畹、恐也。**●**

ちちひむ。ひだ。衣服にひだを作る。又、其のひだ。〔説文通訓定聲、畹、按語〕衣襞積、畹也。〔廣雅、釋詁四〕畹、動也。〔素問、精神論、注〕襞、畹衣也。**●はらむ。**〔説文通訓定聲〕畹、〔廣雅、釋言〕畹、懷也、按語〕畹、孕重身也。〔廣雅、釋言〕畹、懷也、按語〕畹、孕重身也。〔説文通訓定聲、畹、段借畹、畹、〔廣雅、釋詁二〕畹、嗟也。**●よる。**〔注〕到日、畹、振也。**●**布、木綿。〔史記、貨殖傳、稱布皮革、注〕集解引、漢書音義曰、稱布、白疊也、注、木綿所織、非中國有也、〔南史、高昌國傳〕有、草、實如繭、繭中絲如、細繭、名曰、白疊子、國人織、繭中絲如、細繭、名曰、白疊子、國人織布、布疊軟白、交市用焉。**●毛織物**。〔9・17023〕に同じ。〔説文通訓定聲〕畹、〔東志、晉、毛織也、字亦作、氣〕。**●獸をくらかへすこと。**〔説文、畹、段注〕畹、樂、樂有、奏、詩、如、裳衣、畹、陽關、畹、是、〔白居易、何酒子詩〕一曲、四調、歌、八畹。**●**詩を作に**重ねて前韻を用ひること。**〔中華大字典、畹、作、詩後、用、前韻、亦、曰、畹、**●**鼓を**うつ。**〔9・18・45934〕に通ず。〔説文通訓定聲、畹、段借畹、畹、〔謝脁、鼓吹曲、〕畹、鼓、〔梅賾、傳、〕畹、〔注、薄、曰、畹、畹、〔唐、李、樂、字、今、作、磾、〕畹、〔北史、祖珽傳、〕至、隱相、制、史、司馬世、奏、鼓、酒、〔李、畹、〔演、〕畹、〔劉、孫

以去貫州、置。魯淥左于戶所、陳・茂州獠一、十五年、改。魯淥于巴東郡、長于戶所、陳・四川郡指揮使州、領・長官。

魯境 [illegible] 宮殿名。宋代、汴京に在ったもの。

魯決 [illegible] 再三決定する。

魯法 [illegible] かきあわるる。「碩鼠」

魯喜 治任郡、疏・賛殺。災殺魯災之誤。

魯[illegible] [illegible]。「注釈」九歌、[illegible]東皇太一、[illegible]。「注釈」[illegible]。

魯[illegible] [illegible]。「注釈」[illegible]。

魯[illegible] [illegible]。「注釈」[illegible]。

魯[illegible] [

十八畫

【𤰈】 21984
ケイ　畦（7・21942）に同じ。（集韻）
叫（或作𤰈）

十九畫

【𤰈】 21985
ロ　畜（8・22125）の古字。（集韻）

二十畫

【𤰈】 21986
ケイ　畦（8・22126）に同じ。（管子、乎一）注「蓋即畛之字。」

【𤰈】 21987
ルイ　累（8・22343）に同じ。（五音集韻）

【𤰈】 21988
テン　義未詳。（五音集韻）

二十一畫

【𤰈】 21989
タン　疃（7・21942）に同じ。（正字通）疃・疃・疃・同。

【𤰈】 21990
タン　疃（7・21942）に同じ。（字彙補）疃・疃・見石経文。

二十二畫

【𤰈】 21991
ライ　雷（13・42345）に同じ。（玉篇）𤰈・同。

二十八畫

【𤰈】 21992
ライ　雷（13・42345）の古字。（集韻）古文作𤰈。

二十八畫

【𤰈】 21993
ライ　雷（13・42345）の古字。（字彙補）𤰈・古文雷字。

疋部

【疋】 21994
日ショ　（集韻）宜於切
日ショ　（集韻）寘與切
日ショ　（集韻）所據切
四ショク　（集韻）蹙主切
因ガ　（集韻）語下切
因ヒチ　（五音集韻）豐吉切

【疋】 21995
日セイ　（字彙補）足・古文正字。
日ショ　（字彙補）足・古文正字。
因ガ　（字彙補）足・古文正字。因ヒチ　（字彙補）足・古文正字。亦假借作「足」。

疋部の圓形はふくらはぎに乗り、下部の止は土部の直壁を支える部分。即ちあしのひらに乗る。字解を見よ。

字彙　疋・正相似・足・音雅・正也・詩大足・正・音義・足也。

字彙補　疋・正・足・（字彙）疋・古文正字。

【疋】　ならびあふ。匹合。（太平御覽、地水上）漢書曰、云云、所謂一善・天・疋・合於天下者・云云。（漢書、郊祀志）

【疋】　ひき。匹也。（古今注、姓名篇）

【疋】　ひき。匹也。（古今注、姓名篇）

【疋】　ひき。匹也。（古今注、姓名篇

【疋】21996

ソク 足(10-37383)の古字(字彙補)。古文尻字。

一畫

【疌】21997

セツ ショウ ニュウ ヒキ ヒツ ヒチ ヒヨウ ヒヨク ヒヨウ ヒヨク

(字彙)尼輒切 (集韻)所利切 (集韻)所乙切

ほたのふみどころ。機の下の、足でふむところ。もと象(7-2198)に作る。(正字通)疌、蔡作。象(説文)機下足所履者。从人从疋。疌、疌、疌、

日、接一の日の晩に続く。『史記』天官書「相(8−2528)」に注す。(説文通訓定聲)疏、限出門戶相。(集韻)疏、出也。郭璞曰、機目疏。(爾雅)疏、通也。(廣雅)疏、疏也。(玉篇)疏、疏通也。(廣雅)疏、疏也。(玉篇)疏、博雅、條疏也。(廣雅)疏、初宗切。子時軍官九十。(集韻)疏、疏通也。(廣雅)疏、疏也。(玉篇)疏、疏也。(廣雅)疏、疏也。(玉篇)疏、疏也。(廣雅)疏、疏也。(玉篇)疏、疏

ける無地の布。疏布 ○周礼、天官、籌人、祭祀に、疏布巾、籌人、喪に、素布巾、籌人、凶に、疏衰布巾、籌人、賓客に、疏布手巾、疏布巾、疏布巾、疏衰布、文布手、疏布巾、疏布巾、疏布巾

氣譯語人徒字者之語。數孔者之形。

疏矢[ㄕˇ]名。失鵠。相相。清會與華州刑部尚書公式式制度出門。疏。疏會與華州部院御史門生行程禮。之處。

疏引[ㄧㄣˇ]名。發令之語。（注）疏。疏。

疏[ㄕㄨ]動。通。疏。疏。疏。

疏[ㄕㄨ]動。通。疏。疏。疏

【疏朴】[?] あらくて飾りけがない。疎朴。（江淹『遊山採銅詩序』）『南斉書』野製疏朴。（顔氏家訓『文章』）

【疏鈔】[?] 同じ内容の注釈。（『法華玄論』）

【疏密】[?] 疎の一種。（『楚辞』九歌『東君

る。「說文」疑、段注「从ノ者疑の文に基づく説」。足部相連也。（部首）曰、止、擿行疑、在屋下。（説）曾意矣。由ノ象形。義、正讀門戶刻文如、閣閣也。

【疎】 22002 ソ

（正字通）疏（字彙）所切 魚

疏（7、22000）に同じ。「正字通」通。疏、同。疏。

【脈】 22003 ソ

ソ（字彙）所切 魚

清める。のぞく。「字彙」脈、清鎔也。

【樾】 22004 ソ

（説文）五甘切 覃

海、樾、同。梳。

【寁】 22005 チ

寁（7、22306）に同じ。（篇韻）寁、同。寁。

八畫

九畫

【寁】 22006 ソン

（正韻）支義切 寘

チ

（集韻）一切切 霽

（集韻）陟利切 霽

（正韻）支義切 寘

【疑】 22007

（集韻）魚其切 支

（説文）一 ヲ

（説文）語辭也。从疋、从匕。匕、亡、人、皆、疑、之、意。疑、止、而、不、決、也。（段）疑、止、也。有、礙、止、之、意。（徐）疑、止、也。有、礙、止、之、意。（徐）疑、止、也。有、礙、止、之、意。（徐

「疑問」い うたがひ隔てる〔宋史、彭鼎傳〕
至 疑問之根、豁然不去、皆無一語及之。
「疑問」い うたがひをたずねる。「疑問そねむ」〔魏志、劉表傳〕表雖外寛恕傳、而心多疑忌、皆此類也。
類也〔李衡公詩〕事不精有、疑問公傳。
疑、張中孝傳後敍〔宋本注、後之疑問、間隙
「疑議」い 議論する。〔宋子、注〕〔漢書、
「疑議」い 議論する。〔宋子、注〕〔漢書、
出者、而疑議、疑議、子之圖、況出
疑議、子之圖、況出
「疑義」い 疑問。〔後漢書、郭太傳〕太答
以 意、疑義、郭太傳〕太答
疑義、〔後漢書、
「疑義傳」い 同上。〔後漢書、
「疑義」い 疑問。〔後漢書、
「疑義」い 疑問。〔後漢書、
「疑義」い 疑問

詳用疑。（補注）疑無補注。疑同。疑公羊昭二詳疑。

疑・詳同意。何休云詳疑。疑・詳同。（傳）公羊昭傳是其訓。

疑汎。疑。疑・汎同。（傳）公羊昭傳是其訓。

疑阻。疑。疑・阻同。（傳）公羊昭傳是其訓。

皇帝謨。魏の皇帝。帝王紀魏謨。世祖武大权刻。事世祖謨。八機。疑用。

疑兆。疑。「疑兆」。「疑兆」。「疑兆」

發明相反。非一類人所為。云云。不雜於醫經。沒傳本事。（經事故）醫學傳聞雜代。其說皆出不知。孔子作。經教萬世之師。不知。（孔子作。經教萬世之師。）不知。（孔子作。經教萬世之師。）不知。（孔子作。經教萬世之師。）

疔 22021
□ケウ □キウ □ニウ（集韻）居丁切 □（集韻）尼紙切 □（集韻）尼紙切 □

疔 22022
ク（集韻）居九切 □

疕 22023
□ヒ □ヒ（集韻）匹夷切 □（集韻）匹夷切 □

疕 22024
□イウ □イウ（集韻）于救切 □（集韻）云九切 □

疕 22025
ク（龍龕手鏡）居勝切 □

疕 22026
ソク（龍龕手鏡）子力切 □

疕 22027
キウ（龍龕手鏡）巨力切 □

疕 22028
ダク（龍龕手鏡）□

疕 22029
コウ（集韻）古紅切 □

疕 22030
ク（集韻）苟子切 □

疕 22031
ク（龍龕手鏡）□

疕 22032
□キ □ケ □コチ（集韻）居氣切 □ □（集韻）戟乙切 □

疕 22033
クウ（集韻）居尤切 □

【疚病】こびょう。（集韻）同上。

【疗】22034 □チウ チャウ（集韻）陟柳切 有 □チウ（集韻）直誥切 直 □チク（集韻）直六切 竺

病。（集韻）同上。（集韻）疚、或作疹。疹。

【疣】22035 クワン（集韻）苦丸切 丸

腹痛。（集韻）同上。（集韻）疣、或作疹。疹。

【疏】22036 チャウ チャウ（集韻）陟柳切 養

やむ。やまひ。（集韻）同上。

【疟】22037 ゴツ

病。或从瓦。

【疟】22038 ソト（集韻）都故切 遇

乳のできもの。（玉篇）疟、乳瘡也。（集韻）疟、乳病曰疟。

【疟】22039 ウ（集韻）爲鬼切 寘

はらくだし。下痢。（集韻）疟、利疾。

【疟】22040 □サン（集韻）所姜切 □セン（集韻）師閑切 刪

●できもの。（廣韻）疟、瘡腫也。**●かきぶす。**映。8‥29256）に、（集韻）映、（集韻）疟、或作疹。疹。▶（7‥22835）に同じ。（類聚）疟、或作。

【疟】22041 シャウ（集韻）疟、俗作疟。

氣。

【疟】22042 □ダク □ヨン（字彙補）疟、論文字。（集韻）疟、俗作疟。（字彙補）疟、論文字。（集韻）疟、俗作疟。（字彙補）疟、論文字。（集韻）疟、俗作疟。

【疣】 22048 ジン 疣(7・12949)の誤字。(正字通)疣、正字之譌。

【疣】 22049 ジン 疣に同じ。

集韻(7・22329)に同じ。(字彙)

【疣】 22050 ウ ユウ 一又 ヨウ 集韻 于救切 尤

集韻 表切 篠

●いぼ。(玄篇)疣、瘤結病。(廣韻)疣、結病也。瘤字曰、疣、丘也。出皮上。聚高如丘地之名。(荀子・大略篇)彼以人。(集韻)肌、或作疣。(□)ふるふ頭をふるはせる。(玉篇)疣、振頭。(廣韻)疣、振頭皮。(集韻)疣、振頭病。(□)ふるふ頭をふるはせる。(玉篇)疣、振頭皮。(廣韻)疣、振頭皮。(集韻)疣、振頭病。

【疣】 22051 ヘイ 集韻 毘加切 麻

●すぢ。ふしのやまひ。(集韻)疤、筋節病。●かさのあと。解(7・22405)に同じ。(正字通)疤、俗呼瘡痕曰疤、本作痕。

【疫】 22052 ヨク 集韻 于縛切 藥

集韻 于月切 月

●はきけ。気持悪くなって吐く病。(字彙)疫、心惡甘疾也。●おろか。(集韻)疫、愚嗤也。□わるい。人をにくみののしる語。(万言・十)疫、惡也、南楚、凡人殘罵謂之鉗、又謂之疫。

【疾】 22053 タウ ドウ (五音集韻)徒刀切 豪

集韻 徒刀切 豪

やむ。やまひ。(五音集韻)疾、疾也。

【疾】 22054 ケツ コツ 集韻 乞筆切 質

集韻 津私切 支

□あくび。欠(6・15991)の俗字。(集韻)疾、欠氣也。(正字通)疾、俗欠字。□具疾(9・30696)に通ず。(6・15992)。□決(6・17394)、芡在、発疏、或作芡疾。(集韻)次、具次、山名、或作疾。

【疾】 22055 ヒツ 小 集韻 疾正切 勁

集韻 キフ コフ 集韻 疾正切 勁

●病みつかれる。(説文)疾、病也、从疒从矢。●病んでもやふい。(説文)疾、病劣也。段注)劣、猶危也。●病にかからうとする。(正字通)疾、或曰、病且至也。ここをる。(字彙)疾、寒也。さむい。

【疥】 22056 キン (字彙)居竹切 侵

【疥】 22057 カイ 集韻 居拜切 皆 ガイ 集韻 古拜切 怪

小 ●ひぜん。疥癬蟲の寄生によって起る傳染性皮膚病。指間、肘窩、陰部、乳房等に好んで寄生し、其の分泌物によって皮膚に炎症を起し、極めて痒い。(段注)疥、搔也。(廣韻)疥、搔皮。(説文新附)疥、搔也。(玉篇)疥、搔也。(字彙)疥、搔也。(字彙)疥、搔也。(字彙

〔疿騷〕…… 痒疹。疿瘙（管子・地員）註眞人堅固內，以著表，痤化為膿血也。内字从用（〔集韻〕騷・好疿。疿瘙、疿疹也。

〔疿瘙〕……（文選・江賦）註小人為惡，疿瘙，疹疾也。

〔疿癢〕……（文選・江賦）註小人為惡，疿瘙，疹疾也。

〔疿癢〕……人體（形容）強側なる皮膚の湿物。（説文）疿、疹也。（段注）疿、如氏（氏）部。且部。曰部。疿、疹也

【疫】22069 □エキ (集韻)營切 喻 □ヤク 一一 囚 オ 曰 (集韻)以解切 寒

瘟 小 [ウン] ●えやみ。えきびやう。はやり病。流行病。又、悪い病氣が流行する。(説文)疫、民皆病也。从广役省聲。(釋名)釋天)疫、役也。言有鬼行役也。(廣雅)釋詁三)諸人欲後之、利在於人死也。(注)師古曰。疫、厲病也。●やくびやう神。病氣を起すものの。瘟鬼。(周禮)春官、占夢)姑雞鼓疫(注)疫、厲鬼也。●又、庆(7-2323)に作る。(詩)小雅)節南山天方薦瘥、寰亟以疫病。(毛傳)疫、本又作庆。●疫(7-22329)に同じ。(集韻)疫、或作瘟。

【疫鬼】ヨウキ えやみとびやう。疫病と悪鬼。(玩珠)疫、書云(作書)孫撮)書)疫鬼並行、人兵俱病。(流行病。はやり病。(玩珠)疫、書公作書)孫撮)書)疫鬼並行、人兵水惡病。書鬼。居若水惡病。魍魎鬼。

【疫気】ヨウキ 疫病の元氣。(後漢書)周行、李南傳)運中、疫氣相接。(説文)疫、民皆病也。从广役聲。(釋名)釋天)疫、役也。言有鬼行役也。(廣雅)釋詁三)疫、病也。(注)疫、疾也。(詩)小雅)節南山)憂心如酒、(毛傳)疫、病也。(注)師古曰。疫、厲病也。●やくびやう神。病氣を起すものの。瘟鬼。(周禮)春官、占夢)姑雞鼓疫(注)疫、厲鬼也。●又、庆(7-2323)に作る。(詩)小雅)節南山)天方薦瘥、寰亟以疫病。(毛傳)疫、本又作庆。●疫(7-22329)に同じ。(集韻)疫、或作瘟。

【疫疠】ヨウレイ 疫病。(後漢書)周行、李南傳)運中、疫氣相接。(説文)疫、民皆病也。从广役聲。(釋名)釋天)疫、役也。言有鬼行役也。(廣雅)釋詁三)疫、病也。(注)疫、疾也。(詩)小雅)節南山)憂心如酒、(毛傳)疫、病也。(注)師古曰。疫、厲病也。●やくびやう。

力や財力がなくて苦しむ。『国語』楚語「疲敝」。韋昭注。疲、困也。『荘子』齊物論「罷疲役役」。釋文引簡文云。疲、病困之狀。『論語』先進篇「後出師表」「疲馬」。『孟子』公孫丑下「疲敝」。『淮南子』人間訓「疲馬」。『淮南子』説林訓「疲牛」。『文選』「疲馬」。『文選』「疲牛」。

⑩老い衰へる。『論語』季氏「血氣既衰。戒之在得」。『荘子』齊物論「昔者十日並出、萬物皆照、而況德之不如日者乎。其心之勞、日夜不休、而未嘗一見其成功、可謂形固形枯、而心固心枯、若此者可謂至人乎」。『文選』「疲敝」。『文選』「疲敝」。『文選』「疲敝

【疲弊】ひへい。つかれによわる。疲弊に同じ。墨子、非攻下「其虐馬之疲弊」幣之疲弊」。「幣」は「弊」の誤。五分の損。「其」は「弊」字誤。「幣」は「弊」字誤。「幣」は「弊」字誤。「幣

韻・疵、通作・枝。(漢書・賈誼傳・國知・我讀・枝、枝、使民不安。(注)師古曰、枝、讀與疵同。(後漢書・銚期・之・疵。(注)師古曰、疵與疵同。❹又・班・7 20879)。(一說)・疵、亦作・玭。(ウラみみる。・班・8 23355)に通ず。(集韻・疵、疵・瑕・病也。❷そしる。(康熙字典・疵・短也。❸疵疵・うらむ。(集韻・疵・疵疵・恨也。(集韻)そしる。・班・10 25344)に作る。(集韻)・疵也・通作・疵。(荀子・不苟)非・疵疵・也。(注)・疵、讀・醫

疵【疵】ツ　(集韻・疵・疵・疵

の瘡を生ずる病。〔玉篇〕疹、痘疹、皮外小起也。〔醫宗金鑑〕疹非一類、有痘疹、痦疹、蕁麻疹諸非一正疹。惟風疹、惟風疹、惟風疹、惟風疹、正疹。❶はうさう。短瘡。〔正字通〕疹、俗呼痘瘡。❷むし。〔張衡、思玄賦〕惠、白餐以自疹。〔注〕疹、猶病也。❸ながわづらひ。久しい病。〔釋名〕釋疾病、疹、內極奇疾而制志因、無損、不足益有餘、以放其疹、上止、疹、謂久病、即此疹字之盲。人久疾病、其精病之處、必有部分、可以診見、故云然。〔素問、奇病論〕無根不足、益有餘、以放其疹、〔注〕疹、謂久病。❹おこし。〔詩、小雅、小宛、哀我塡寡、釋文〕塡、韓詩作疹、疹、苦也。〔同〕塡、病。

疢 22101 ケン（集韻）直刃切 ケン（集韻）直刃切 ケン（集韻）直刃切

【瘏腫】とし。悪性のふきでもの。(左氏、襄十九、同)【瘏腫】病名。腫物。【瘏】ふきでもの。できもの。(後漢書、馬援傳)【瘏食】とし。できもの。(後漢書、馬援傳)【瘏食】とし。できもの。肉をそこなう。(後漢書、馬援傳)【瘏】とし。悪心。(玉篇)

梅。(論語、衛靈公)【瘏】とし。悪心を多記載。写同。(左氏、子)【瘏】とし。何如。(左氏、子)【瘏】とし。(玉篇)【瘏】とし。(玉篇)【瘏】とし。(玉篇

【疾疫】[illegible] はやりやまひ。流行病。疾風。(禮記月令)季春之月。行夏令。則多雨水。時雨不降。蚤霜。(管子小問)民不疾疫。(呂氏春秋)[illegible]

【疾恕】[illegible] にくみうらむ。(禮記內則)不敢疾怨。起敬。(管子權修)使民疾怨。則百姓怨怨。(荀子)[illegible]

【疾怨】[illegible] にくみうらむ。(禮記內則)不敢疾怨。起敬。(管子權修)使民疾怨。則百姓怨怨。(荀子)[illegible]

【疾速】[illegible] 急いで。(呂氏春秋)[illegible]

【疾騙】[illegible] 車馬を早くかけさせる。(呂覽貴[illegible]

【疾官】[illegible] 官立の病院。(管子)[illegible]

【疾鳩】[illegible] 毒鳥。(管子)[illegible]

【疾鳩】[illegible] 毒鳥。(管子)[illegible]

【疾鳩】[illegible] 毒鳥

𨻰 𨻰述。而不可述以其舟。〔虎苑、欲擊、資始終述。無以先人。〔自樹鬼、或說云〕人生百歲。〔漢書、郊祀歌〕

𨻰 𨻰。すみやか。〔重耳子、長韓國〕

𨻰 𨻰。〔宋書、解之者、以水、爆之如火、欲燒其舟。〕

𨻰 𨻰。いたる。〔呂覽、知士〕

𨻰 𨻰。〔呂覽、知士〕

𨻰 𨻰。〔呂覽、知士〕

𨻰 𨻰

目、疾不可治也。

〔渡〕（集韻）渡、ドウ。やまひを保護して悪気を近づけない。

〔忘心〕（集韻）忘、ボウ。心にある者が忠孝を忘れる。

〔過養〕（字彙）過、カ。養の過ぎにある者が忠孝を忘れる。

〔通者〕（字彙）通、ツウ。人病人現。

疾病総説。

痏 22113 ボク モク

（集韻）莫六切、麌。

やむ。やまひ。（集韻）痏、病也。

疢 22114 チン ゴン

（字彙）言禁切、平。

牛の舌のやまひ。（字彙）疢、牛舌病。

瘦 22115 タク ドウ

（集韻）徒刀切、豪。

やむ。やまひ。（集韻）瘦、疾也。

痏 22116 ロウ ラウ

（集韻）匠又切、豪。

（集韻）馬無、遠。

●やせる。（**22118**～**13746**）に同じ。（廣韻）〔病優〕疲也、病、上同。**●つかれやむ。**（集韻）瘠、疲病。

痏 22117 シイ ヤ

（集韻）郎一切、置。

痏 22118 レツ ヤ

（集韻）磨麻切、麻。

やむ。やまひ。（集韻）痏、疾也。

痏 22119 ヒ

（集韻）方不切、

あせも。熱によって皮膚に生ずる小さい痘。（玉篇）痏、熱生皮膚。（集韻）痏、熱瘡也。（正字通）痏、今俗以髓如痛疹如、沸有、曰痏子。素問、生氣通天論、汗出見、甚、巧生痏。

痏 22120 ロウ ラウ

（集韻）盧侯切、侯。

（集韻）委羽切、

（集韻）郁羽切、

●せむし。くぐせ。脊骨の曲る病。（説文）痏、曲脊也、从疒、婁聲。（別字）痏、黄帝内経、痏者系、鍼。偏 **U** 1020に同じ。（集韻）偏、或文、僂也、或作痏。**●**通じて病 **U** 403139に作る。（説文）痏、桂注）痏、通作。鈎 **U** 18 32234）に通ず。（中華大字典）痏、通。句、（説文）改、讀若人句脊之句。

〔痏僂〕（説文）痏、せむし。くぐせ。痏僂、痏子、僂、（通俗文）、痏僂、痏子。（別字）、黄帝内経、痏者系、鍼。

〔痏僂者系鍼〕黄帝内経、痏者系、鍼。

痏 22121 ロウ ラウ

（集韻）都念切、

（集韻）力一ㄢ、

（韻會）舒陽切、

●おこり。わらはやみ。間日なく続けて久しく病む慢病。（説文）痏、有無無、寒之疾也。（玉篇）痏、瘧疾、有無無、寒也。（方言）、有単熱、有一日一日至三十日、瘧、日日、有、多日之瘧日、痏。（左氏、昭二十）齊侯疥、遂痏。顏延之、陶徵士誄、年在中身、疢痏纏疾。（注）善曰、痏、瘧疾也。**●むしやまず。**痏、虫の名を見よ。

〔痏虫〕…、虫害になやむ、また、なやます。

〔痏會子間〕且君子行、樹、不以人之義、痏、農、之虫、痏、病也、孫奇注、顏延之、陶徴士誄、年在中身、疢痏纏疾、（注）善曰、痏、瘧疾也。

〔痏虫〕…、おこりと下病。（陳元、唐故尉氏令費府君墓誌）天和十二年七月廿、痏虫、遂、而行、而病、於斯、痏、之、也。

痏 22122 カ ケ

（集韻）居寸切、

●ひぜん。（説文）痏、痏也、从疒、叚聲。**●加聲。**

●かさぶた。（説文）痏、痏、疥也、从疒、加聲。今謂、痏、為、痏、（急就篇）、痏、四、痏、疥、痏、疥、痏、（集韻）、痏、疥、痏、（集韻）、痏、疥、痏、（集韻）

【病】 22127 （イ）ビョウ（集韻）皮命切 ⓑ（ヘイ）（集韻）皮命切 ⓒ（ヘイ）（集韻）皮命切

病 〈ヘイ〉 ❶やまひ。やみ。④身體に國害を生じて健かでないこと。病氣。（荀子、公孫丑下）注）疾病甘。（史記、魏其傳）病者感。資氣而不神也。（史記、魏其傳）謝病辭官。（說文）病、疾加也。从疒丙聲（王筠）病、疾加甚也（段玉裁）。（玉篇）病、疾加也。从疒丙聲（王筠）病、疾加甚也（段玉裁）。（玉篇）病、疾也。（禮、喪大記）。缺點。瑕疵。（史記、公孫弘傳）誠由弘之時病（宋史、陳彭傳）彭病二年、時可少於時病（⑤）うれへ（廣韻）病、憂也。（戰國、周策）臣甚病也。（⑥）なやむ。（柳宗元、文、好生賦）甘嶺病也。❷やむ。なやむ。（荀子、修身）人之所不能免也。（注）病、患也。（後漢書、賈逵傳）母病。（⑤）やまひの度が甚だしく、きくこと。（禮、檀弓上）曾子疾病。（後漢書、賈逵傳）疾病。（注）病、猶重也。（論語、衛靈公）君子病無能焉。（皇疏）病、猶困也。（論語、衛靈公）君子病無能焉。（集解）包氏曰。疾甚曰病也。（注）病、猶困也。（論語、衛靈公）君子病無能焉。（集解）包氏曰。疾甚曰病也。（注）病、猶困也。（論語、衛靈公）君子病無能焉。（皇疏）病、困也。（論語、衛靈公）君子病無能焉。（集解）包氏曰。疾甚曰病也。（注）病、困也。（論語、衛靈公）君子病無能焉。（皇疏）病、困也。（論語、衛靈公）君子病無能焉。（集解）孔曰。病困

與山巨源絕交書若吾多病固欲遺事自
以保餘年(嵇康集全日録作輔政論鉢病因(世說新語規諫)殷浩病困
下著化信傳)有感(世說新語)

病根 40 ●病のもと。病源。(孫綽遊天台賦)
深疴膏肓(後漢書方術
傳)疾根(宋書何承天傳)根深蒂固(三國志)
根株(宋書)

病況 40 ●病の状態。(李白、春日野望)
詩)疑是醫師(新語)危醫(伝日)

病魔 40 ●病のくせ。(李中、春日野望)
よもぎ。艾。熱灸に用ふ。(資治通鑑)

病邪 40 ●病気の原因。(日本政記、順德
天皇)承久元年)

病鬼 40 ●病気の原因。(日本政記、順德
天皇)承久元年)

病死 40 ●やまひで死ぬ。(史記、秦始皇)
(後漢書光武紀)元年春正月陵園令云云
(三國志)

病思 40 ●病の原因。(後漢書光武紀)元年春正月陵園令云云

病根 40 ●病の原因。(後漢書光武紀)元年春正月陵園令云云

病林 40 ●病人。(李白、春日野望)
詩)

病人 40 ●病人。(李白、春日野望)
詩)

病氣 40 ●病のこと。病毒。病疾。

病人 40 ●病人。(李白、春日野望)
詩)

病症 40 ●病氣の徴候。又、やまひ。和漢
才圖會)

病症 40 ●病の状態。(李白、春日野望)
詩)

病人 40 ●病人。(李白、春日野望)
詩)

病狀 40 ●病の状態。(李白、春日野望)
詩)

病人 40 ●病人。(李白、春日野望)
詩)

病人 40 ●病人。(李白、春日野望)
詩)

病人 40 ●病人

相類不可知。

病兇[illegible]　やまひで官をやめる。〈漢書、司馬遷傳〉

病目[illegible]　目をやむ。病眼。〈漢書、五行志中〉

病日[illegible]　日をやむ。病眼。〈漢書、五行志中〉

病[illegible]　[illegible]。〈漢書、郊祀志上〉

[illegible]　[illegible]。

[illegible]　[illegible]。

[illegible]　[illegible]。

【疾】 22137 クワイ 義未詳。(川篇)疾、背也。

【疲】 22138 ン 義未詳。(川篇)疲、背也。

【疒】 22139 ギン 義未詳。(搜真玉鏡)疒、魚刀切、背也。

【症】 22140 シンヤウ (経源)通知。正 [illegible] 生ム [illegible]。

病氣の徴候。病氣。證(10－35946)の俗字。(経源)症、俗字。病之徵驗也。古作作。證。(五補紐十二)苏敬注、性太熱、補除、人有三除後寒熱者、取七枚、煎湯飲之、汗出便差、亦治血氣。(温疫論)陶氏黄龍湯云、此症、下與不下皆死、用此湯可回生。(証義)[illegible]、病氣、病氣の徴候。(本草傳、六十回)李固又遇小人近日有一些腳氣的症候。(症狀)[illegible]、病氣の性質狀態。

六 畫

【痊】 22141 セン (集韻)淺枕切 [illegible]。

いえる。いやす。(玉篇)痊、病可。(廣雅)也。(集韻)痊、病除也。(謝靈運、辨宗論)藥輪者、疾易痊。

痊可。[illegible]、病がなおる。快復。(通鑑記、拾遺)直得陳友知醫調理痊可。

痊愈。[illegible]、病がなおる。快復。(顔氏家訓、勉學)有俄頃痊愈、遂殺醫。

【痕】 22142 ヨウ (集韻)直良切 [illegible]。

ヨウ (集韻)巨良切 [illegible]。

ヨウ (集韻)七羊切 [illegible]。

やせる。(説文)瘦也。(玉篇)瘠、瘦也。(廣雅)瘠、瘦也。(集韻)瘠、瘦也。(集韻)瘠、瘦也。(集韻

【疣】22153 カウ (集韻)(正韻)古巧切 江

腫肌。(集韻)肌、博雅、腫肌、腫也、或作瘣。

【痏】22154 ヰ (集韻)羽軌切 紙 ヰ

ユウ (集韻)充救切 宥 ユウ

ヨク (集韻)于六切 屋

小篆 重く、きずがつき血の流れるを言ふ。(說文)痏、小ずれば傷よりいふ。(段注)急就篇注云、殿人皮膚輒起目痏、殿傷曰痏、(呂覽、至忠)齊王疾、(注)痏、病也。(漢書、薛宣傳)遇人不以義而見侮者、與痏人之罪、鈞惡不直也。(段注)據文選詩注、補此五字。(張衡、西京賦)所惡成瘡痏。(注)綜曰、瘡痏、謂瘢痕也。●傷む時に出る聲。(一—594)に通ず。(一)切經音義、十五)痏、諸書作痏、案、通俗文、痏聲曰痏。●韓(ヰ—8993)は籀文(一)切經音義、十五)痏、籀文作痏。按(7—22024)に同じ。(集韻)改、說文、顫也、或作痏。□やむ。やまひ。(集韻)痏、病也。

【痛】22155 ナイ (集韻)奈來切 灰 ナイ (集韻)泥來切 灰

【病】22156 シヤウ (集韻)式亮切 漾 シヤウ (集韻)戶羊切 陽

□うれへる。傷(ヰ—11233)に同じ。(集韻)傷、說文、憂也、或作痏。●いたむ。(集韻)傷、一曰、痛也、或作痏。□氣ふさぎ。うれへやむ。病(7—22346)に同じ。(集韻)病、憂疾、或从商。

【痼】22157 クワイ (集韻)胡官切 ㄏㄨㄢ ㄍㄨㄟ

●くわいちやゆう。腹の中の長い蟲。蚘(10—32876)。蛔(10—32991)。蛔(10—32990)に同じ。(集韻)蛔、說文、腹中長蟲、或作蚘、蛔、痼。●むしけ。蛔蟲から起る疾。(正字通)痼、腹蟲而成疾也。

【痾】22158 アフ (集韻)乙洽切 洽

●よわる。病みつかれる。(集韻)痾、江淮之間謂病劣、曰痾。●発痾の低く窘んださま。(正字通)痾、柔痾下注視。

【疫】22160 カイ (集韻)古芝切 齊

えやみ。流行病。(魏(7—22350)に同じ。(廣韻)疫、疫病。(集韻)疫、病也、或作瘧。

【疾】22161 ケ (集韻)居陵切 蒸 ヂ (集韻)直住切 遇 ケイ (集韻)所鯉切 紙

□やむ。やまひ。(集韻)疾、病也。□□

おろかなさま。(集韻)疾、癡完。

【痏】22162 タ (集韻)抽加切 麻

おろかなさま。(集韻)痏、癡完。

【痒】22163 シヤウ (集韻)徐羊切 陽 ヤウ (集韻)以商切 養 ヤウ (集韻)弋亮切 漾

四ヤウ (集韻)弋亮切 漾

小篆 □□□□

酬公素學士見招之作請病腰膝將實匙刮痒背偷得山杯。【痒癢】ようよう。むずがゆい。むずむずする。【痒子蟲】ようすむし。ベスト。疥癬病。

【痊】 22164 ン (集韻)充至切 **寘**

➡のひきつり。【廣雅・釋詁三】痊、惡也。➡手足のひきつり。風病。(集韻)痙、一曰、風病。(素問・氣厥論)肺移、熱於腎、傳爲、柔痙。(注)柔、謂筋柔而無力、痙、謂骨痙而不。隨氣、骨脩熱、髓不內充、故骨痙強而不屈、筋柔緩而無力也。

【痢】 22165 レイ (集韻)五割切 **霽**

➡えやみ。流行病。(集韻)病、疾疫也。(公羊・莊二十八年春何・休也(注)痢者、民疾疫也。(陳立義疏)經義雜記、痢俗字。(説文)痢、腸病也。(段玉裁注)痢、俗字。(説文)腸、腸鳴也。(呂覽・仲夏紀)腸、腸鳴。(集韻)云、痢或作、腸、可證、説文、腸、疫疾也、(呂覽本)此、➡或は誤(6…1652…2)、腸(7…22556)、腸(7…22557)に作り、通じて(萬9…3041)に作る。(集韻)痢、或作、痢、腸、通作、腸。

【痼】 22166 カン (集韻)吏切 **霰**

編(7…22468)の俗字。(正字通)痼、俗字。

【痔】 22167 チ (集韻)吏切 **紙** chi

ぢ。しもがき。肛門の痛み出血する病。(説文)痔、後病也、从疒、寺聲。(千金方、五痔論)夫五痔者、一曰、牡痔、二曰、牝痔、三曰、脈痔、四曰、腸痔、五曰、血痔。

【痔瘡】ちそう。肛門が内熱ふて腫れ膿が病。ぢ。(素問・風論)風論云、痔瘡、(王冰)痔瘡、謂、下部生瘡、(千金方・痔瘡論)痔瘡、(説文)痔、後病也、从疒、寺聲。(千金方、五痔論)夫五痔者、一曰、牡痔、二曰、牝痔、三曰、脈痔、四曰、腸痔、五曰、血痔。

【痔瘡】ぢそう。肛門が内熱ふて腫れ膿が病。ぢ。(素問・風論)風論云、痔瘡、(王冰)痔瘡、謂、下部生瘡、(千金方・痔瘡論)痔瘡、(説文)痔、後病也、从疒、寺聲。(千金方、五痔論)夫五痔者、一曰、牡痔、二曰、牝痔、三曰、脈痔、四曰、腸痔、五曰、血痔。

【痔瘡】ぢそう。肛門が内熱ふて腫れ膿が病。ぢ。(素問・風論)風論云、痔瘡、(王冰)痔瘡、謂、下部生瘡、(千金方・痔瘡論)痔瘡、(説文)痔、後病也、从疒、寺聲。(千金方、五痔論)夫五痔者、一曰、牡痔、二曰、牝痔、三曰、脈痔、四曰、腸痔、五曰、血痔。

【痔瘡】ぢそう。肛門が内熱ふて腫れ膿が病。ぢ。(素問・風論)風論云、痔瘡、(王冰)痔瘡、謂、下部生瘡、(千金方・痔瘡論)痔瘡、(説文)痔、後病也、从疒、寺聲。(千金方、五痔論)夫五痔者、一曰、牡痔、二曰、牝痔、三曰、脈痔、四曰、腸痔、五曰、血痔。

【痔瘡】ぢそう。肛門が内熱ふて腫れ膿が病。ぢ。(素問・風論)風論云、痔瘡、(王冰)痔瘡、謂、下部生瘡、(千金方・痔瘡論)痔瘡、(説文)痔、後病也、从疒、寺聲。(千金方、五痔論)夫五痔者、一曰、牡痔、二曰、牝痔、三曰、脈痔、四曰、腸痔、五曰、血痔。

【痔瘡】ぢそう。肛門が内熱ふて腫れ膿が病。ぢ。(素問・風論)風論云、痔瘡、(王冰)痔瘡、謂、下部生瘡、(千金方・痔瘡論)痔瘡、(説文)痔、後病也、从疒、寺聲。(千金方、五痔論)夫五痔者、一曰、牡痔、二曰、牝痔、三曰、脈痔、四曰、腸痔、五曰、血痔。

【痔】 22168 カウ 同(7…22321)に同じ。(集韻)同、或作、痔。

【痞】 22169 タフ (集韻)通合切 **合**

ゴフ (集韻)郭合切 **合**

➡肥えたさま。(集韻)痞、字林、肥皃。➡さむけ。寒病。(集韻)痞、寒病。

【痞】 22170 ラウ (集韻)魯皓切 **皓** ロウ カン

ひぜん。(集韻)痞、癘疵、疥疾。

【痕】 22171 ゴン (集韻)胡恩切 **元** ゴン (集韻)五戈切 **歌** コン (集韻)古恩切 **魂**

【痕】小 **寘** (正字通)痕、本作、瘕、(説文)瘕、胝穀也、从疒、艮聲。(説文通訓定聲)痕、通、俗字。釘痂曰痕。(楚辭、胡歌十八拍)沙場白骨兮、刀痕箭疏。●あと。あとかたもなく。すべての物の迹。(宋參・長門恐)痕跡復覆跡。(紅拾遺・哈痕)●眼(9…29438)に同じ。(説文通訓定聲)痕、字亦作、眼。【言】はれる。(廣雅・釋詁二)痕、腫也。

【痕垢】こうこう。けがれた跡。けがれ。(陶拓及、買鈍表を洗(藤拓)、或使一能新。

【痕跡】こうせき。あと。あとかた。痕跡に同じ。(説文)痕、迹也。あと。あとかた。痕跡に同じ。(説文)痕、迹也。(周官・司市)、要劵方式、(鄭注)、(賈公彥之錄)、認取痕跡法。

【痕跡】こうせき。あと。あとかた。痕跡(無青)。

【痕跡】こうせき。きずあと。(列子・黃帝篇)而體無痕跡。(呂覽・適音篇)而體無痕跡。(呂覽・適音篇)痕跡也。

【疾】 22172 シツ 疾(7…22112)の古字。(廣韻字典)疾、古文疾字。

【痲】 22173 ヨウ (集韻)入合切 **盍** ヨウ (集韻)如僅切 **銑**

➡ひやむ。やまひ。(集韻)痲、病也。➡おろか。痴癡。(集韻)痲、痴癡、不達也。

【痲】 22174 ダウ 癆、或作、痼。

【痣】 22175 シ (集海類編)音旨

編痣なやまひ。(集海類編)痣、小疾。

【痣】 22176 キウ (龍龕手鑑)音救

やむ。やまひ。(龍龕手鑑)痣、病也。

【痣】 22177 イン 編(7…22128)の誤字。(字彙補)痣、痣字之誤。

痸 22178 セイ 義未詳。(説文)痸、目西。

痺 22179 ヒ 痺(7-22138)に同じ。(九経字様)痺、同。痺。

痵 22180 シウ 痵(7-22136)に同じ。(集韻)痵、手痵。痵、同。

痘 22181 ハク 義未詳。(搜真玉鏡)痘、目痛。

痠 22182 シウ 痠(7-22140)に同じ。(搜真玉鏡)痠、同。

痛 22183 小(本字段) エン (集韻)琴去切 元

●うづく。骨節がいたむ。(廣韻)痛、骨節痛也。(集韻)痛、骨節痛也。(素問、陰陽別論)陽鳴而病、發寒熱、不治、離經、及鬲。(楊倞注)痛、痠痛也。●つかれる。(玉篇)痛、倦也。(説文)痛、疲也。从广冒聲。(注)按、名本無、今依(謝靈運)發臨海嶠詩善注引説文、補。(篇韻)皆云、痛、骨節痛也。今俗謂病酸。●むすぼれる。ふさがる。ふさぐ。いかる。(字彙)痛、同、悶也。悲也。(正字通)痛、憤鬱也。(列子、楊朱)心痛體煩。

痺 22184 ヒ 痺(7-22138)に同じ。(集韻)痺、手痺。痺、同。痺。

痵 22185 ツトウ (字彙)之遂切 **置** 力又 tsue.

痘 22186 ケイ ギヤウ (集韻)五井切 **梗** 上一人 ciaeng

痙 22187 リョ (集韻)陳魯切 **呂**

●かさ。(字彙)痙、瘡痙。●久しく病む。

痟 22188 ヨウ (集韻)羊朱切 **尤** ソン (集韻)蘇鳩切 **蹤** ソン (集韻)蘇本切 **元**

●きむ。(字彙)痟、寒慄也。(説文)痟、寒也。从疒宋聲。(徐鍇注)字書、寒慄也。(正字通)痟、今惑。寒慄戰日痟。●或は瘍(7-22440)に作る。(説文)瘍、瘍也。从疒昜聲。(徐鍇)瘍、瘍也。(廣韻)瘍、瘍疾。(集韻)瘍、瘍疾。

痒 22189 ヨウ (集韻)居月切 **月** ヨウ (集韻)羊朱切 **尤** ヨウ (集韻)羊本切 **元**

●ふさぎやまひ。心にうれへて氣のむすぼれる病。(説文)痒、病也。(廣韻)痒、病也。(集韻)痒、目病也。或作痒。

痔 22190 リヤウ (集韻)力讃切 **漾**

目の病。眼(8-22369)に同じ。(集韻)眼、説文、目病也。或作痔。

痗 22191 ヒ (集韻)虎猥切 **賄**

●やむ。なやむ。(説文)痗、病也。从疒每聲。(集韻)痗、病也。(詩、衛風、伯兮)使我心痗。(傳)痗、病也。(毎4-10559)に通ず。(詩、小雅、十月之交)亦孔之痗。(釋文)痗、本又作、悔。

痤 22192 ツ (集韻)徒果切 **果** 力丸 lue.

はうさう。もがき。天然痘。豌豆狀の水疱を生ずる熱性の傳染病。聖瘡、天瘡、天花、百歳瘡、豌豆瘡ともいふ。(説文)痤、瘡也。从疒坐聲。(方言)痤、胎毒也。有一終身不出者。(神農本草經)痤、呼吸即出。(廣韻)痤、長長痤。

痙 22193 ケイ (集韻)琴去切 **寒** 上一人 ciaeng

●うづく。骨節がいたむ。(廣韻)痙、骨節痛也。(集韻)痙、骨節痛也。(素問、陰陽別論)陽鳴而病、發寒熱、不治、離經、及鬲。(楊倞注)痙、痠痛也。●つかれる。(玉篇)痙、倦也。(説文)痙、疲也。从疒冒聲。(注)按、名本無、今依(謝靈運)發臨海嶠詩善注引説文、補。(篇韻)皆云、痙、骨節痛也。今俗謂病酸。●むすぼれる。ふさぐ。いかる。(字彙)痙、同、悶也。悲也。(正字通)痙、憤鬱也。(列子、楊朱)心痙體煩。

痟 22194 ヨウ (集韻)羊朱切 **尤** ソン (集韻)蘇鳩切 **蹤** ソン (集韻)蘇本切 **元**

●きむ。(字彙)痟、寒慄也。(説文)痟、寒也。从疒宋聲。(徐鍇注)字書、寒慄也。(正字通)痟、今惑。寒慄戰日痟。●或は瘍(7-22440)に作る。(説文)瘍、瘍也。从疒昜聲。(徐鍇)瘍、瘍也。(廣韻)瘍、瘍疾。(集韻)瘍、瘍疾。

痒 22195 ヨウ (集韻)羊朱切 **尤** ヨウ (集韻)羊本切 **元**

●ふさぎやまひ。心にうれへて氣のむすぼれる病。(説文)痒、病也。(廣韻)痒、病也。(集韻)痒、目病也。或作痒。

痔 22196 リヤウ (集韻)力讃切 **漾**

目の病。眼(8-22369)に同じ。(集韻)眼、説文、目病也。或作痔。

痗 22197 ヒ (集韻)虎猥切 **賄**

●やむ。なやむ。(説文)痗、病也。从疒每聲。(集韻)痗、病也。(詩、衛風、伯兮)使我心痗。(傳)痗、病也。(毎4-10559)に通ず。(詩、小雅、十月之交)亦孔之痗。(釋文)痗、本又作、悔。

七畫

痸 22178 セイ 義未詳。(説文)痸、目西。

痺 22179 ヒ 痺(7-22138)に同じ。(九経字様)痺、同。痺。

痵 22180 シウ 痵(7-22136)に同じ。(集韻)痵、手痵。痵、同。痵。

痘 22181 ハク 義未詳。(搜真玉鏡)痘、目痛。

痠 22182 シウ 痠(7-22140)に同じ。(搜真玉鏡)痠、同。

痛 22183 小(本字段) エン (集韻)琴去切 **元**

●うづく。骨節がいたむ。(廣韻)痛、骨節痛也。(集韻)痛、骨節痛也。(素問、陰陽別論)陽鳴而病、發寒熱、不治、離經、及鬲。(楊倞注)痛、痠痛也。●つかれる。(玉篇)痛、倦也。(説文)痛、疲也。从疒冒聲。(注)按、名本無、今依(謝靈運)發臨海嶠詩善注引説文、補。(篇韻)皆云、痛、骨節痛也。今俗謂病酸。●むすぼれる。ふさぐ。いかる。(字彙)痛、同、悶也。悲也。(正字通)痛、憤鬱也。(列子、楊朱)心痛體煩。

痵 22185 ツトウ (字彙)之遂切 **置** 力又 tsue.

はうさう。もがき。天然痘。豌豆狀の水疱を生ずる熱性の傳染病。聖瘡、天瘡、天花、百歳瘡、豌豆瘡ともいふ。(説文)痵、瘡也。从疒坐聲。(方言)痵、胎毒也。有一終身不出者。(神農本草經)痵、呼吸即出。(廣韻)痵、長長痵。

痙 22186 ケイ ギヤウ (集韻)五井切 **梗** 上一人 ciaeng

痙 22187 リョ (集韻)陳魯切 **呂**

●かさ。(字彙)痙、瘡痙。●久しく病む。

痟 22188 ヨウ (集韻)羊朱切 **尤** ソン (集韻)蘇鳩切 **蹤** ソン (集韻)蘇本切 **元**

●きむ。(字彙)痟、寒慄也。(説文)痟、寒也。从疒宋聲。(徐鍇注)字書、寒慄也。(正字通)痟、今惑。寒慄戰日痟。●或は瘍(7-22440)に作る。(説文)瘍、瘍也。从疒昜聲。(徐鍇)瘍、瘍也。(廣韻)瘍、瘍疾。(集韻)瘍、瘍疾。

痒 22189 ヨウ (集韻)居月切 **月** ヨウ (集韻)羊朱切 **尤** ヨウ (集韻)羊本切 **元**

●ふさぎやまひ。心にうれへて氣のむすぼれる病。(説文)痒、病也。(廣韻)痒、病也。(集韻)痒、目病也。或作痒。

痔 22190 リヤウ (集韻)力讃切 **漾**

目の病。眼(8-22369)に同じ。(集韻)眼、説文、目病也。或作痔。

痗 22191 ヒ (集韻)虎猥切 **賄**

●やむ。なやむ。(説文)痗、病也。从疒每聲。(集韻)痗、病也。(詩、衛風、伯兮)使我心痗。(傳)痗、病也。(毎4-10559)に通ず。(詩、小雅、十月之交)亦孔之痗。(釋文)痗、本又作、悔。

【痞】 22191 トン (集韻)花恨切 **頓**

病んで養く食ふこと。(集韻)痞、病食貪也、或中塞痞。

【痒】 22192 カウ ケウ (集韻)虞交切 **蓊**

痒疾は咳の病、ぜんそく。呼2 3659)に通ず。(集韻)痒、狂瘋、痒瘍、疫病、引、挙縛有、苦者。俗名爲、痒病。

【痒】 22193 フウ (集韻)房尤切 **尤**

やけど。(集韻)痒、火病。

【疾】 22194 ㊀ゲイ (集韻)魚閉切 **医**

㊁ゲイ (集韻)語駟切 **医**

㊀既(3 3 3589)に同じ。(集韻)疾、癡也、一曰、獲飲、失志兒、或作、疾。㊁**やむ**。**やまひ**。(集韻)疾、病也。**㊂おろか**。(集韻)疾、癡也。

【痛】 22195 ツウ (集韻)他貢切 **送** 去X人 (ㄊㄨㄥˋ)

腫 ㊀**いたむ**。㊁病む。うづく。説文)痛、痛也、从疒、甬聲。(桂馥)痛、痛疾也。(玉篇)痛、病也。㊂なやむ。常痛、悲心。㊃なげく。悲しむ。(史記、秦紀)

【痛】 22196 ツウ (集韻)他貢切 **送** 去X人 (ㄊㄨㄥˋ)

腫 ㊀**いたむ**。㊁病む。うづく。説文)痛、痛也、从疒、甬聲。(桂馥)痛、痛疾也。(玉篇)痛、病也。㊂なやむ。常痛、悲心。㊃なげく。悲しむ。(史記、秦紀)

疒部 (七画、九画)痒疾痛

道傳痛可、甚痛痛。㊄借しむ。(晏仲之、日比矣詩)伊、新聞試誇、擊搏、風俗移、人可、深痛。**㊅たまま**。なぜまり。くるしむ。

(説文)痛、痛也、从疒、甬聲。(桂馥)痛、痛疾也。(玉篇)痛、病也。(玉篇)痛、痛疾也。(玉篇)痛、痛也。(玉篇)痛、痛也。(玉篇)痛、痛

疒部（七畫）痛 痡 瘖 瘖 瘖

篇〕痞、腹内結病。〔廣韻〕痞、腹内結病。●痍（7－22471）に同じ。〔集韻〕痍、或作〔痞〕。●つかへ、痛などして胸がふさがる。〔俗に〕胸に作る。〔轉名〕轉筋病。結否也。氣否結也。〔疏證補〕〔醫、俗字。說文作〕痞。●〔説文〕痞、胸滿。〔字彙〕痞、胸滿。〔集韻〕痞、胸也。●ひきつり。〔集韻〕痞、弦病。

【痞】 22207 チン 〔字彙〕直忍切 〔鉦〕

病む。やまひ。〔字彙〕痞、病也。

【痟】 22208 セウ 〔集韻〕風邀切 〔瀟〕

●つづう。〔說文〕痟、酸痛、頭痛病。●消渴。通じて消（8－17538）に作る。〔玉篇〕痟、消渴。〔廣韻〕痟、通作消渴。〔集韻〕痟、或作消渴。

【痡】 22209 シン 〔集韻〕七稔切 〔寑〕

●あたくいく。ちたない。容貌の醜いこと。〔廣韻〕痡、又兇醜也。〔集韻〕痡、醜貌也。●いたみ。〔廣韻〕痡、或作侵。●侵（1－646）に通ず。〔韻會〕痡、或作侵。●侵（8－1349）に同じ。〔集韻〕痡、或从貞。●通じて寢（3－7289）に作る。〔韻會〕痡、通作寢。〔玉篇〕痡、かゆい病。〔集韻〕痡、痠痛、痒病。

【痡】 22210 ケフ 〔集韻〕詰叶切 〔瀸〕

●病人のいき。〔說文〕痡、病息也。〔段注〕病息、謂病之息息也。从疒炎聲。〔段注〕病息、謂病之息息也。从疒炎聲。〔段注〕病息、謂病之息息也。从疒炎聲

細疵。黑子也。或从虫。❹通にて読む10－3560）に作る。「正字通」疵、或作「誌」。

【瘀】 22219 ヨダ（集韻遇加切）麗 ヨヨ（集韻麌如切）麗

□□きずあと。かさのあと。疤（7－2240 9）。張10－29858）。陣（9－29858）に同じ。（集韻）瘀、瘢痕。瘡痕。（集韻）瘀、黄雅瘀。瘀、瘢也。或从虫。（集韻）瘀、或作「瘡」。

【瘢】 22220 チン（集韻）痕也。

瘢（7－22223）の俗字。（正字通）瘢、俗字。

【痤】 22221 ザ（集韻）須末切 麗

痤 小 ❹腫也。从疒聲。（梓玉）小癰也。

注、乗、痤脚也。足少陽脈盛、人多病。乗、疾。

鮮（説文）痤、一曰、族茶病。（左氏、相、六）不疾、義義。（注）皮毛無疥癬。❹おぶと。（集韻）痤、素問、生気通天論）汗出見痤、乃生痤癰。（王注）陽氣發、寒邪（「陰定脾注」）痤、小癰也。❹よう。（廣雅、釋詁二）痤、癰也。（山海經、中山經）金星之山、多天椒、其狀如雞膏、可以已痤（注）痤、疽也。（記鑑行鑒疏、注疑當）痤、座疽也。❹果物の名。梓（梓椒？）を見よ。（説文）痤、病名。ねぶと。（五音集韻）痤、疾名。癰也。

【瘡】 22222 ダ（集韻）法苦切 麗 ヂ（集韻）佗苦切 麗

□□❶馬の腰のはれもの。（説文）瘡、馬腰傷也、从疒皇聲。❹❹馬の腰のきず。（廣韻）瘡、馬腰傷也。❹❹とりやぶる。用ひやぶる。（説文）瘡、目、名。癰也。

【疾】 22229 シツ（集韻）疾（7－22112）の簡文。（康熙字典）疾、俗字。

【瘦】 22238 ソウ（集韻）瘦（7－22238）の簡文。（康熙字典）瘦、俗字。

【瘡】 22230 ワウ（搜真玉鏡）瘡、瘡也。

やせる。（搜真玉鏡）瘡、瘡也。

【瘡】 22231 ハイ（五音集韻）補回切 麗

腹にかたまりが出来る病。（五音集韻）瘡、結瘡也。

【瘡】 22232 ナイ 義未詳。（龍龕手鏡）瘡、音奈。

【瘡】 22233 ハイ 切音瘡。

義未詳。（龍龕手鏡）瘡、音林。

【瘡】 22234 ワウ 瘡（7－22230）に同じ。（搜真玉鏡）瘡、與瘡同。

【瘡】 22235 サウ 瘡（7－22404）に同じ。（龍龕手鏡）瘡、同瘡。

義未詳。（五音集韻）瘡、巨呈切 音彭。

【瘡】 22236 ケイ 義未詳。（五音集韻）瘡、音瘡。

【瘡】 22237 ト 義未詳。（五音集韻）瘡、音瘡。

【瘡】 22238 ソウ 義未詳。（龍龕手鏡）瘡、吾瘡。

瘍 22239 シン

義未詳。〔龍龕手鑑〕瘍、於身。

痞 22240 カク

義未詳。〔龍龕手鑑〕痞、音鳥。

瘻 22241 ノウ

義未詳。〔龍龕手鑑〕瘻、音儀。

痧 22242 サ

〔中華大字典〕讀如沙 ㄕㄚ sha。

●コレラ。傳染病の一。〔中華大字典〕痧、病名。約分三種、伝謂一般腸炎、中腸痧者、蓋即當亂病之狀態、西醫所謂虎列拉是也。●四はしか。痧子(二)を見よ。

瘵 22243 キツ

疾(7·22032)の俗字。〔龍龕手鑑〕瘵、俗作。

㾓 22244 キツ・シツ

脉(9·22500)に同じ。一説に(7·22033)の誤字。〔廣雅、釋詁下〕瘵、疲也。〔玉篇〕瘵、字林云、沈氏云、

【痰火病】tán huǒ bìng. 痰飲病。

【痰鍵】tán jiàn. 痰核。

【痰症】tán zhèng. 痰核。

【痰癖】tán pǐ. 痰飲。

【痰喘】tán chuǎn. 喘鳴。

【痰嗽】tán sòu. 痰咳。

【痰迷】tán mí. 痰飲。

【痰迷狂】tán mí kuáng. 癲狂。

【痰迷狂之症】tán mí kuáng zhī zhèng. 癲狂。

【痰迷狂之症之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī. 癲狂。

【痰迷狂之症之一之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī zhī yī. 癲狂。

【痰迷狂之症之一之一之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī zhī yī zhī yī. 癲狂。

【痰迷狂之症之一之一之一之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī. 癲狂。

【痰迷狂之症之一之一之一之一之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī. 癲狂。

【痰迷狂之症之一之一之一之一之一之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī. 癲狂。

【痰迷狂之症之一之一之一之一之一之一之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī. 癲狂。

【痰迷狂之症之一之一之一之一之一之一之一之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī. 癲狂。

【痰迷狂之症之一之一之一之一之一之一之一之一之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī. 癲狂。

【痰迷狂之症之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī. 癲狂。

【痰迷狂之症之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī. 癲狂。

【痰迷狂之症之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī. 癲狂。

【痰迷狂之症之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī. 癲狂。

【痰迷狂之症之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī. 癲狂。

【痰迷狂之症之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī. 癲狂。

【痰迷狂之症之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一之一】tán mí kuáng zhī zhèng zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī zhī yī. 癲狂。

痱 22252

(集韻)符北切 ㄅㄟˋ bèi

(集韻)蒲蓋切 ㄅㄟˋ bèi

(集韻)蒲沸切 ㄅㄟˋ bèi

(集韻)匹愛切 ㄆㄟˋ pèi

痲 22253

と　痲 (7・22258) に同じ。(集韻)

痲成人聖。

痲 22254

バ　(集韻)虞加切 ㄅㄚˋ bà

(集韻)模加切 ㄅㄚˋ bà

●しびれる。又、しびれる病。中風。痲 (12・47587) に通ず。(集韻)痲、風病。(玉篇)痲、風痺。(玉篇)痲、通痲。風熱病。本作痲。(集韻)痲、通痲。風痺。(玉篇)痲、通痲。風痺。(玉篇)痲、通痲。風痺。(玉篇

疒部（八畫）痴 痒 痛 痍 痘 痢 痣 痕 痙 痞 痢 痣 痕 痙 痞 痢 痣 痕 痙 痞

疒部 (八畫) 痢瘴痒痟瘋瘡瘖瘖瘖

【椎】22287 タイ ツイ （字彙子回切 灰）

●はれる。嫌〈7・22273〉に同じ。（正字通）

痺同項 ●病が多い。（字彙）痺・病多。

【瘵】22288 サイ （集韻此宰切 賄）

病む。やまひ。（説文）瘵、病也。

【痾】22289 ア （集韻於何切 歌）

亡 ●（集韻・河小切 箇）

ふ神經系統の病。骨痿・痿風の類。病の表にあつて痛いのを痺と、内にあつて痛くないのを痿といふ。（説文）痿、痺也。从疒委聲。（集韻）一曰、雨足不一相及。

【醫學入門】痺證・痺者、氣閉塞不通流也、或痛痒、或無痛、或手足痿弱、與痿相類。

【痿】22290 イ （集韻・篇韻 紙）

□ イ （集韻・篇韻 紙）

□ ヰ （集韻・於偽切 寘）

□ ヰ （集韻・於偽切 寘）

□ ヰ （集韻・於偽切 寘

上身腫瘜腫。鋼未有。證也。

【瘜】(22293) 音息 ショク 去職 (廣韻)相逼切 (集韻)(類篇)(正字通)息逼切 (集韻)(類篇)(正字通)息逼切 (集韻)(類篇)(正字通)息

狂犬、斯(7－20434)に通ず。〔集韻〕狭、說文、狂犬也、或作〔獗〕。(8)獗(7－22380)・獗(7－22272)に同じ。〔集韻〕獗、或从刷、亦作〔瘈〕。

〔瘈瘲〕ショウ　狂犬(二足代、長十七尺両人之力を張り、両面に毒虫有り、一人之を張り、一人之を獗)。〔集韻〕瘈、或从制、亦作〔瘈〕。

【𤸫】 22318

ヒツ　〔集韻〕況本切　𤸫

ヒツ　〔集韻〕況本切　𤸫

四ヨク　〔正韻〕王菊切　𤸫

小子、小兒のひとりの子。〔集韻〕𤸫、或作𤸫。

【𤸫】 小文 〔集韻〕〔類篇〕〔正韻〕〔字彙〕〔字彙補〕

一〔集韻〕況本切　𤸫

二〔集韻〕況本切　𤸫

三〔集韻〕況本切　𤸫

四〔正韻〕王菊切　𤸫

一 **いえる**。〔集韻〕𤸫、或作𤸫、通作𤸫。

二 **病む**。〔集韻〕𤸫、或作𤸫、通作𤸫。

【𤸫】 小文 〔集韻〕〔類篇〕〔字彙〕〔字彙補〕

一〔集韻〕況本切　𤸫

二〔集韻〕況本切　𤸫

三〔集韻〕況本切　𤸫

四〔正韻〕王菊切　𤸫

一 **いえる**。〔集韻〕𤸫、或作𤸫、通作𤸫。

二 **病む**。〔說文〕𤸫、病也。一曰、愈也。〔廣韻〕𤸫、病也。〔類篇〕𤸫、病也。〔字彙〕𤸫、病也。〔字彙補〕𤸫、病也。

【𤸫】 小文 〔集韻〕〔類篇〕〔字彙〕〔字彙補〕

一〔集韻〕況本切　𤸫

二〔集韻〕況本切　𤸫

一 **いえる**。〔集韻〕𤸫、或作𤸫、通作𤸫。

二 **病む**。〔集韻〕𤸫、或作𤸫、通作𤸫

𤸫 小 ●できもの。(ア)頭のかさ。(『說文』)𤸫頭部也。从疒易聲。(『說文』)苟僅痤狼、生瘡於頭。(『玉篇』)𤸫、瘡頭創也。(『玉篇』)周禮、天官、醫師、冬耨之有疾病者、作醫者送焉。(『注』)身有傷曰瘍。(『疏』)云、身傷曰瘍者、曲禮云、曰創瘍也。●『集韻』瘍、或作。(『集韻』)瘍、腹內故病。(『集韻』)瘍、腹病曰瘍。(『集韻』)瘍、或从七。

瘍 小 ●瘍。(『集韻』)瘍、或曰瘍。秦曰瘍。(『廣韻』)瘍、腹內故病。(『集韻』)瘍、腹病曰瘍。(『集韻』)瘍、或从七。

瘍 22333 ヨウ（集韻）所教切 陽

ショウ（集韻）羊堂切 陽

ジョウ（集韻）羊堂切 陽

□□●やせる。瘦(7－22415)、腹(8－29758)に同じ。(『說文』)瘍、腹也。从疒爰聲。(段注)今字作瘦。(『集韻』)瘦、或作、瘦。

瘦 22334 クワン 換 瘓(7－22394)の俗字。(字彙)瘓、俗字。

瘍 22335 カイ 佳 瘢(7－22152)に同じ。(正字通)瘍、同瘢。

瘏 22336 □□（集韻）第七切 □□ yu

□□（集韻）容朱切 虞

□□●やむ。うれえなやむ。瘏、瘏。(『爾雅』、釋訓)瘏瘏、病也。(『注』)賢人失志、憤懣愛病也。●四人が飢寒のために病死する。(『集韻』)瘏、瘏、因以飢寒而死曰瘏。●寒死する。ひきする。臾(8－30178)に通ず。(『丹鉛總錄』)記、瘏、死獄中。(『注』)不、明、瘏、義、說文、未載、字、但、臾、瘏、古字通也。●瘏は瘏(7－22318)に作る。(『集韻』)瘏、或作、瘏。

(字彙補)瘏(7－22415)は別字。(字彙、辨似、)字相似。瘏、昔與、因以、飢寒、死、瘏、冒、瘏、瘏、瘏

【痲】22341 シウ シュウ 〔集韻〕側救切 〔通〕
ちちむ。〔廣雅〕釋詁〕痲、癰也。

【瘸】22342 ユ ユウ 〔字彙〕于求切 〔尤〕
わるいつき肉。苛生の惡肉。〔字彙〕瘸、惡肉。

【瘵】22343 クイ ツイ 〔字彙〕日回切 〔灰〕
陰部の病。〔字彙〕瘵、陰病。

【疫】22344 タイ ダイ 〔集韻〕直炙切 〔霽〕
病む。やまひ。〔集韻〕疫、病也。

【瘍】22345 ヨウ 疥〔7・22367〕に同じ。〔集韻〕疥、或从羊。

【瘻】22346 クワウ ワウ 〔集韻〕胡光切 〔陽〕
わうたん。皮病。瘻〔7・22493〕に同じ。〔集韻〕瘻、皮病也、或从皇。

【瘤】22347 イン オン 〔集韻〕於禁切 〔沁〕
腸の病。瘖〔7・22340〕に同じ。〔集韻〕瘖、字林、心病、亦省。

【瘡】22348 ゴン 〔集韻〕五昆切 〔元〕
おろか。〔集韻〕瘡、癡也。

【瘢】22349 サイ 瘵〔7・22359〕の過字。正字。

【瘕】22350 ㊀カツ 〔集韻〕丘葛切 〔月〕 ㊁エツ オチ 〔集韻〕於歇切 〔月〕 ㊂カイ 〔集韻〕蓮支切 〔佳〕
㊀㊁●あつけ。驚きに中たる。又、その病。㊂●あつけ。〔集韻〕瘕、內熱病。〔正字通〕瘕、僅熱、又內熱病、本作疝。●疝。〔7・14047〕に同じ。〔集韻〕瘕、內熱病。

【瘕】22351 タン 〔集韻〕五綰切 〔旱〕 ㊀ヤク ㊁ヤク 〔集韻〕羊朱切 〔麌〕
やむ。㊀に同じ。㊁病む。〔集韻〕瘕、或作瘕。

【瘕】22352 ダツ 〔集韻〕瘕、或从奈。●瘕〔7・22329〕に同じ。〔集韻〕瘕、同、瘕。〔字彙〕瘕、同、瘕。

【瘕】22353 コ 〔集韻〕苦故切 〔遇〕
●くるしむ。苦〔8・30797〕に同じ。〔集韻〕苦、困也、或从广。●あそ。舟や車に酔ふこと。苦〔8・30797〕に同じ。〔集韻〕苦、今人病不ゝ善、乘日苦車、或从广。

【瘕】22354 ヨウ 〔集韻〕何加切 〔麻〕 ㊁ケツ ケチ ㊂ケツ ケチ 〔集韻〕居末切 〔月〕
㊀●瘕の病。瘕〔7・22363〕に同じ。〔集韻〕瘕、瘕病、或从牙。●腹の病。㊁㊂に同じ。㊁●腹の病。〔玉篇〕瘕、腹中病也。〔集韻〕瘕、腹病。④女の腹に出來ること。腹中に惡血がたまり、又、肉の塊、髮の塊りなどが出來て妊娠の狀を呈するもの。異狀妊娠。〔說文〕瘕、女子病也。从疒叚聲。〔桂王〕素問、任脈篇、病、生於胞中。寒氣客於子門、子門閉塞、氣不能通、惡血當瘕、不寫、衄以留止、小腹以盛大、狀如懷子、月事不以時下、皆生子女子、又別有癥瘕、肉瘕、髮瘕之種種、中藏經、瘕論云、瘕者系子氣也、瘕者系子血也。⑤不消化、熱などによって中積塊、堅著日癥、有物形日瘕。〔方書〕腹中雜、硬、忽聚忽散、無、有常準、謂之瘕、音假。病、瘕、經日、小腸移、熱手腸、內、化瘕。〔注〕小腸熱、移入腸、內熱相博、故血溢而內、化瘕也。⑥蟲のさわり。腹中の蟲に痛められること。〔史記、倉公傳〕臣意診其脈、曰、蟲瘕。〔注〕正義曰、人腹中短蟲。●きず。瑕〔7・21120〕に通ず。〔都敬、讀書通〕、〔唐書韋〕、又、明皇開元、十七年、大赦諸色、瘕、假人、成從洗滌、瘕、音假、與、假同。●姦。〔漢紀、諸侯王表〕、瘕、見、姦、〔注〕、師古曰、瘕、姦也。●瘕、姦、音假、〔晉書〕、瘕、姦、〔注〕、師古曰、瘕、假、姦、〔注〕、師古曰、瘕、假、姦、〔注〕、師古曰、瘕、假

疒部 (九畫) 瘖瘎瘠瘋瘍瘓瘓瘍瘓瘍瘓瘍

【癰】 22375

音未詳。水の源泉。(字彙補)癰(俗)。

【瘍】 22376

セン 義未詳。(篇海類編)瘍、上連切。

【瘍】 22377

ダン 馬4 —16609に同じ。(篇海)手瘍、蟲同。

【瘍】 22378

ハイ 馬7 22529の略字。

十一畫

【瘍】 22379

フク (集韻)吉切 屑。

ひさのやまひ。 馬4 —7608に同じ。(集韻)馬、鄙病、或从广。

【瘍】 22380

①セイ (集韻)尺列切 霽 ②セチ (集韻)尺列切 屑

瘍 小 馬 —12277に通ず。(説文)瘍、引縛曰瘍、从广、手部省聲。(段注)瘍、謂空遠而引之使近、近之使遠皆瘍。差擊也。(俗作)瘍。(集韻)瘍、或从制、亦作瘍。

①やむ。(新7—22272)に同じ。(集韻)瘍、瘍、病也、或作瘍。

【瘍】 22381

①ウン (集韻)王問切 問 ②ウン (集韻)羽粉切 吻 ③ウン (集韻)羽敏切 軫

【瘍】 22382

①セイ (集韻)先齊切 齊 ②ヨン (集韻)相支切 支

瘍 小 馬 —12277に通ず。(説文)瘍、頭痛也。(段注)瘍、病也、从疒、其聲。(桂注)頭眩痛也。

【瘍】 22383

①ショウ (集韻)先到切 號 ②サウ (集韻)蘇遭切 豪

①②かさ。(新7—22353)に同じ。(廣雅)瘍、或从蕭。

(集韻)瘍、瘍、病也。(説文)瘍、瘍、病也。(本草)瘍瘡、瘍名。(瘡)瘍、瘍、木名。(大観)。

【瘍】 22384

①セイ (集韻)初危切 支 ②サ (集韻)蘇禾切 歌

①②おとろへる。病勢が衰へる。(説文)瘍、減也。从疒、衰聲。(段注)減、亦謂病減、於常也。●へる。つひえる。(説文)瘍、一曰、秏也。(廣韻)瘍、病也。●病む。(集韻)瘍、疾也。●衰(10—34127)に同じ。(王篇)瘍、今作衰。

【瘍】 22385

カウ (集韻)古老切 巧

瘍 小 馬 —12277に通ず。(説文)瘍、瘍、瘍也。(俗作)瘍。(集韻)瘍、瘍、病也。

【瘍】 22386

ケツ クワツ (集韻)屋月切 月 ヨロセ cuset

①のぼせ。氣の逆ふやまひ。(説文)瘍、逆氣也。从疒、从屰。(段注)瘍、从疒、从屰、屰、逆也。(桂注)瘍、者、矢、从屰矢。(急就篇、四)瘍瘍。(注)瘍、瘍、瘍。(新7—22972)に作る。(正字通)瘍、通作瘍。●瘍、或体瘍。(新8—16064)に作る。(説文)瘍、氣瘍、瘍、或省。●通じて癥(10—3360)に作る。(中華大字典)瘍、通癥。(史記、倉公傳)齊相王病、召臣意診脈、曰、癥上、(注)王義曰、癥、逆氣也。

【瘍】 22387

ソウ (字彙)胡郡切 麌

●病む。やまひ。(字彙)瘍、病也。●つかれる。(新7—22330)の俗字。(正字通)瘍、俗瘍。

【瘍】 22388

①セイ (集韻)尺列切 霽 ②セチ (集韻)尺列切 屑 ③ケイ (集韻)胡計切 霽

瘍 小 馬 —12277に通ず。(説文)瘍、小兒瘍瘍也。从疒、翌聲。(徐鉉)臣鉉等曰、説文無翌字、疑从广从心、心翌省聲。(急就篇、四)瘍瘍瘍瘍瘍。(注)瘍瘍、小兒之病、即今癇病也。(素問、玉機眞藏論)筋脈相引而急病、名曰瘍。●解く。(新8—21112)に通ず。(説文)瘍、瘍、解也。(方言、十二)瘍、解也。●癇(7—22272)に同じ。(集韻)瘍、瘍、或作瘍。●或は瘍(7—22326)、(新7—22217)に作る。(集韻)瘍、或作瘍、瘍。

【瘍】 22389

ソツ (集韻)蘇沒切 月

おろかなるさま。 馬4 —7608に同じ。(集韻)瘍、瘍瘍、瘍瘍、瘍

癰 小 **瘾** 22392

ヨウ（集韻）於陵切 **鷹**

たか、もと雁に作り、籀文は癰に作る。癰19・4737〔説文新附〕に同じ。

〔説文〕癰、鳥也。从隹雁聲。籀文癰、从鳥。（集韻）雁、説文、鳥也。从隹省聲。或作癰。或从人、从亻。或从鳥。或从人、从亻。或从鳥。或作癰。或从人、从亻。或从鳥。或作癰。

瘾 小 **瘾** 22393

ヨウ（集韻）於陵切 **鷹**

□ベン（集韻）莫袁切 **鷹**

□タン（集韻）徒袁切 **鷹**

瘾 小 **瘾** 22394

ヨウ（集韻）於陵切 **鷹**

□ベン（集韻）莫袁切 **鷹**

□タン（集韻）徒袁切 **鷹**

病。（集韻）癰、病也。（書、康誥）惟民之命。

一 **病む**。（集韻）癰、病也。（書、康誥）惟民之命。

二 **目の病**。（説文）瘾、目病也。（集韻）瘾、目病也。

三 **悪い氣が身につく**。（説文）瘾、目病也。（集韻）瘾、目病也。

四 **くされがさ**。（説文）瘾、目病也。（集韻）瘾、目病也。

五 **馬の病**。（集韻）瘾、馬病也。

瘵 22395

クワン（集韻）古玩切 **鷹**

（集韻）姑玩切 **鷹**

一 **病む**。（集韻）瘵、病也。（書、康誥）惟民之命。

乃身。（説文）瘵、病也。

二 **むなしくする**。（書、周官）官聯不相統、職官不相因、官聯不相統、其人之過、而位以官聯、官聯、官聯、

瘟 22397 ウン 問 ウン 問 エン 問 〔集韻〕於袁切 **寃** 〔集韻〕於袁切 **菀** 〔集韻〕於袁切 **寃** 〔集韻〕乙袁切

瘟 小一 **ウン** 〔集韻〕於袁切 **あしなえ**。〔集韻〕瘟、足病也。又、手足不仁。〔正字通〕瘟、本作寃。〔玉篇〕寃、足病也。从寸、盆聲。一曰、手足不仁。

瘟 22398 ソウ 〔集韻〕倉甲切 **早いいき**。病んで呼吸の頻く早いこと。〔字彙〕瘟、呼吸頻速。〔集韻〕瘟、一切、喘息。〔玉篇〕瘟、一切、喘息。〔集韻〕瘟、一切、喘息。〔集韻〕瘟、一切、喘息。

瘟 22399 ヨウ 〔集韻〕於堯切 **やむ**。〔集韻〕瘟、病也。

瘟 22400 ヨウ 〔集韻〕色堯切 **やむ**。〔集韻〕瘟、病也。

瘟 22401 セキ 〔集韻〕倉甲切 **ひ**。

ひやせる。〔集韻〕瘟、瘦也。或作瘠。〔晉書〕瘟、況文休瘠、況文無瘠。〔周禮〕地官、大司徒、其民皆而庶。〔杜注〕瘠、瘦也。〔左氏、襄二十二〕瘠則易矣。〔杜注〕瘠、瘦也。〔史記、刺客傳〕嚴仲子瘠。〔索隱〕瘠、瘦也。**ひ**、瘦也。**ひ**、瘦也。**ひ**

〔瘡家〕……。外科症候群類（本草、黄芩）腎虚。
〔瘡口〕……。……。……。

肉が塊狀に高くなるもの。●ふすべ。しひ也。〔王篇〕瘤、疣肉也。〔廣韻〕瘤、肉起疾也。〔一切經音義、十八〕肉内曰瘤。〔六〕すべて物の表面に出來る塊狀の凸起。〔類聚名義抄〕瘤、疣。〔倭名類聚抄〕瘤、肉起。〔古文苑〕注、嚢瘤、枯樹脉。〔一切經音義、十八〕瘤、疣。〔古文苑〕注、嚢瘤、枯樹脉。〔集韻〕或作瘤。〔字彙〕瘤、樹老瘤。者、同。〔類聚〕之有文。●瘤（9・29787）に同じ。

〔集韻〕瘤、或从肉。●通じて統（6－1367 ね）に同じ。〔集韻〕瘤、通作統。●**瘻**（7－4252）に同じ。〔集韻〕瘻、或作瘻。

瘤瘻 リュウロウ 名詞 皮膚の表面に出来る塊状の腫瘍。

瘤瘻 ヒツ

【瘦貧】『Chou Pin』 稍益の少ない意味。
【瘦筋】『Chou Kin』 やせ細つた筋。陣解・山園書・嘱
【瘦形】『Chou Kei』 やせた姿。
【瘦骨】『Chou Kotsu』 やせこけた骨。
【瘦馬】『Chou Ba』 やせた馬。
【瘦軀】『Chou Ku』 やせた軀。●【陣軀集】
【瘦弱】『Chou Jaku』 やせ弱つてゐる。
【瘦身】『Chou Shin』 やせた身。
【瘦人】『Chou Jin』 やせた人。
【瘦軀】『Chou Ku』 やせた軀。●【陣軀集】
【瘦馬】『Chou Ba』 やせた馬。
【瘦骨】『Chou Kotsu』 やせこけた骨。
【瘦筋】『Chou Kin』 やせ細つた筋。陣解・山園書・嘱
【瘦形】『Chou Kei』 やせた姿。
【瘦身】『Chou Shin』 やせた身。
【瘦人】『Chou Jin』 やせた人。
【瘦弱】『Chou Jaku』 やせ弱つてゐる。
【瘦身】『Chou Shin』 やせた身。
【瘦人】『Chou Jin』 やせた人。
【瘦馬】『Chou Ba』 やせた馬。
【瘦骨】『Chou Kotsu』 やせこけた骨。
【瘦筋】『Chou Kin』 やせ細つた筋。陣解・山園書・嘱
【瘦形】『Chou Kei』 やせた姿。
【瘦身】『Chou Shin』 やせた身。
【瘦人】『Chou Jin』 やせた人。
【瘦軀】『Chou Ku』 やせた軀。●【陣軀集】

瘻（癆解矣、一）瘻法師の酢ごのみ。
山名。●山西省の地名。陝西・湖北両県の南。●湖北省恩施県の西。陝西・雲南・四川県の南。●
瘻鑑（百正）瘻鑑編 百。陝西・雲南・四川県の南。●
瘻鑑（百正）瘻鑑編 百。
瘻鑑（百正）瘻鑑編 百。
瘻鑑（百正）瘻鑑編 百。

疒部 〔十一—十二畫〕 痲 瘻 瘢 瘕 瘋 瘍 瘖 瘧 瘡 瘧 瘡 瘧 瘡

きふさぎ。うれへやむ 病〈7・22156〉に同じ。〔集韻〕瘸・疲疾・或从・商。

【瘰】 22447

□ラ 〔集韻〕魯果切 ㊀ luǒ.
□ライ 〔集韻〕落猥切 ㊀ luǐ.
□ライ 〔集韻〕鴻猥切 ㊀ luǐ.

〔□〕〔□〕●瘰癧は、病名。多く頸に生ずる結核性のはれもの。「正字通」瘰癧・瘰癧・頸項・頸瘰也。〔急就篇・顔注〕自間・瘰癧・張氏云、小兒忽核若乳風熱・毒氣與血氣相傳・結成項核・生於項頸・遇風寒所折不消・結成・腫靈・久而潰・及升麻・連翹・連氏陷・忽核・瘰癧・各有・砂方・千金速効・見醫略・得皆可服。●皮が重なり厚くなること。〔玉篇〕〔説文〕に通ず。〔集韻〕蠃・蠃蠃・皮肥也・或作・瘰。〔左氏・桓六〕謂其不疾・蠃蠃也。〔釋文・蠃・説文作・瘰・瘰・皮肥也〕。●びせんかさ。〔集韻〕蠃・蠃蠃・曰・疥・或作・瘰。〔説文・7・22605〕に同じ。〔集韻〕蠃・或从・累。

【瘢】 22448

□ヘイ 〔集韻〕烏鄭切 ㊀ bì.
□ヒイ 〔集韻〕於其切 ㊀ yì.

〔□〕●病重くうめく聲。〔説文〕瘺・病甚也・从疒・殷聲。〔段注〕劇者・病甚也・殷者・病甚吟之聲。●つかれる。〔集韻〕瘺・日・羸也。

【瘡】 22449

エイ 〔集韻〕烏計切 ㊀ yì.

●やすらか・しづか。〔説文〕瘞・安也・从疒・殹聲。〔段注〕解・當用月・瘞・安也・〔漢書・外戚下・中山衛姬傳〕瘞・謚作・穢。〔漢書・外戚下・中山衛姬傳〕姬瘞有・御操。〔注〕師古曰・瘞・解也。●つまびらか。〔方言・六〕瘞・盡・審也。●おぼかい・かくれる。〔集韻〕瘞・〔曰〕匿也。〔字彙〕瘞・密也。〔王・洞簫賦・其妙聲則清厲瘞也。〔注〕善曰・賈大家列女傳注曰・瘞・深遠也。●うやうやしい。〔正字通〕瘞・恭也。●或は瘞・8・6832〕に作る。〔集韻〕瘞・或作・瘞。●瘞〔8・6836〕に同じ。〔正字通〕瘞・同・嬰。

【瘢】 22450

ヘン 〔集韻〕巨支切 ㊀ qí.

●びせん。瘢〈7・22629〉に同じ。〔集韻〕瘢・説文・乾瘡也・或作・瘢。〔史記・越世家〕齊與・臭疥瘢也。

【瘢】 22451

□ヨウ 〔集韻〕足用切 ㊀ tsung.
□ショウ 〔集韻〕將容切 ㊀ zōng.

□●●瘡は、きやうふう。小兒病。〔集韻〕瘡・痘瘡・風病。〔集韻・藝文志〕本創瘡痘方・十卷。〔注〕師古曰・小兒病也。●やむ・やまひ。〔説文〕瘡・病也・从疒・悤聲。〔集韻〕瘡・説文・病也。

【瘡】 22452

セキ 〔字彙〕所亦切 ㊀ shì.

やせる。瘠〈7・22401〉の譌字。〔字彙〕瘠・瘦病。〔正字通〕瘠・瘠字之譌。瘠・瘠・瘠・

广部 (十一畫) 瘵癘瘠瘢瘢瘢

(傳)病也。(陳藥傳説)大猷久未、瘓、此下日、瘓同、方言云、瘓、敗也、郭璞注云、瘓敗也、(集韻)瘓、(説文)瘓、(説文)瘓、(説文

【瘢】 22495 ヒン（集韻）未茶切 [illegible]
こぶ。通して鉄10．36908に作る。（集韻）瘡瘢、通作。

【瘨】 22496 ヨク イキ（字彙）所力切 [illegible]
かゆい。又、淫りがはしい。（字彙）癢、痒俗字、又、淫瘨。

【瘺】 22497 ヘン（字彙）毗面切 [illegible]
半身のしびれること。瘺（7－22324）の譌字。（字彙）瘺、肉瘺。（正字通）瘺、瘺字之譌。

【療】 22500 ロウ ロウ（集韻）力召切 [illegible]
□レウ □ランク（集韻）力到切 [illegible]
❶いやす。なほす。（方言、十一）療、治也。江淮之間曰療。（淮南子、説林訓）醫治之日、慈、或曰療。（周禮、天官、瘍醫）醫治之日、慈、或曰療。（周禮、天官、瘍醫）以五毒攻之。（注）止病曰療。（左氏、襄二十二年）不可療。（注）療、治也。❷癒（7－22604）に同じ。（説文）癒、治也。从疒、尞聲。讀若僚。（玉篇）療、或从癒。（千祿、水明、十一年、家秀才文）療、飢不期於酒食。（注）古曰、云、癒、音義與療同。□病む。癒（7－22605）に同じ。（集韻）療、病也。或作、療。

【療治】 ［ロウ］ ［ヂ］ ［ヂ］ ［ヂ

𤸷 22506 リュウ リュウ カメノ[illegible]ニシテ死

(集韻)良中切 (廣韻)力中切

𤸷 ①つかれる。やむ。疲力 ②衰へて弱人となる。(說文)癃、罷病也、从疒隆聲。(漢書、高帝紀下)高年鰥寡孤獨及癃病、(師古曰)癃、罷也。(後漢書、光武紀下)高年鰥寡孤獨及癃病、(注)癃、病也。②おとろへる。(說文)衰、衰也。(漢書、王莽傳)莽既篡位、(注)師古曰、癃、罷也。(說文)癃、罷病也。

癃 22507 ロウ ロウ ロウ

(集韻)慈焦切 (集韻)宇角切 (集韻)居教切

□□□やせる。やつれる。(廣韻)癃、瘠也。(集韻)癃、瘠也。

癄 22508 カン 通)蔽 俗)4-11244の俗字。(正字通)癄、俗蔽字。

瘍 22509 ヤン (集韻)巨堵切 (集韻)瘍、瘡也。

癢 22510 ヤン (集韻)餘亮切 (集韻)瘍、瘡也。

癌 22511 ハン (集韻)諦官切 ①病んで死ぬ。(集韻)癌、病死也。

癘 22512 リウ 通)癘 字音作癘。

(集韻)郎到切 (集韻)博勤切 (集韻)郎刀切

□□□□かぶれ。薬に中毒して いたむこと。(說文)癆、朝鮮謂藥毒曰癆。从疒勞聲。(方言、三)凡飲藥傳藥而毒、北燕朝鮮之間、謂之癆。(廣雅、釋詁二)癆、痛也。①いたむ。いためる。又、その病。(玉篇)癆、今俗以積勞疲倦爲癆病。②おとろへ 衰せる。(廣韻)癆、勞疲。

癆 22513 ゲツ ゴチ (集韻)五乾切 月

癆傷は、おろかなさま。(集韻)癆、癆傷、疑兒。

瘵 22514 シン 通)瘵 俗)癆字。

瘵(7-22441)の俗字。(正字通)瘵、俗癆字。

癟 22515 シン

癟(10-32544)に同じ。(集韻)癟、或从广。

癤 22516 ヘツ (字彙)古列切 ツセ tsie

腫れて皮が裂ける。字彙)癤、瘡高閎而皮裂、開こうとへる。 病悪する。

癩 22517 ライ ジャ (集韻)神夜切 麗

病が多い。(玉篇)癩、病多。(集韻)癩、病也。

癲 22518 カン ゲン (集韻)何閒切 T ㄧㄢ tsien

①癲癇。(段注)方言、小兒有五癲、王行食忠篇云、哺乳多則生癲癇、玄應引聲類云、今謂小兒癲、曰癲也、(王篇)癲、小兒癲病。 ②てんかん。不意にひきつけて氣絶し、口から泡を出し、暫くして蘇生する病。(正字通)癲、癲有風熱有驚邪、皆兼虛與熱、心癲其聲如羊、肝癲其聲如犬、脾癲其聲如牛、肺癲其聲如雞、腎癲其聲如豬、羸弱卒然倒仆、口眼相引、手足搐搦、口吐涎沫、食頃方醒。 ③癲(6-16570)に同じ。(集韻)癲、或从歹。

(集韻)癲、惟倖、惟倖、惟癲也、或从疒。(漢書、禮樂志)惟倖、惟癲、惟倖、惟癲、惟倖、惟癲、

瘤中し。ﾘｭｳ。瘤と中氣と同紐に併發した病。

瘤病。ﾘｭｳﾋｮｳ。小兒の筋肉の引きつる病。（後漢書上符傳）是歟常病則多瘤病。於是也、常嬴瘤（瘤病）於雖也、時多則生。瘤病。富貴底部致藥疾。

瘤癰。ﾘｭｳﾖｳ。かんしゃくもち。癇癪。

瘻 25519 ビ （集韻）文沸切 **玉**

❶瘻病は、熱のためにもだえる。（集韻）瘻、瘻病。熱悶。❷羸れの盛なさま。（集韻）瘻、曰。（正字通）瘻（俗字）。

廢 25520 ハイ （集韻）廢切 ﾊｲ fei

❶病部がなにからでに固まって、そこが役に立たなくなるもの。又、その疾の人。かたは。廢人。（說文）廢、固病也、从疒發聲。（段注）按、此當云廢固病也、廢固病。短、淺人刪。廢字、其下文病不同。廢猶廢、固猶猥、如癈孽、跛、躄、聾、盲、瘖、啞、皆是。（字彙）廢、固疾。不。復可用者。❷すたる。廢（本草 9492）に通ず。（說文）廢、段注）廢字、正字。廢假借字。亦作廢。（玉篇）廢、無腐字。者上。

癈 25521 ハイ （集韻）廢切 ﾊｲ fei

日タン （集韻）海峯切 ｶﾗﾀﾝ kan

日タン （集韻）無可切 ｶﾗﾀﾝ

日タン （集韻）直尤切 ﾄｳﾖｳ

日タン （集韻）直尤切 ﾄｳﾖｳ

日タン （集韻）直尤切 ﾄｳﾖｳ

❶病む。なやむ。やまい。（詩、大雅、板）下民辜なやます。（詩、大雅、板）下民辜癈。（傳）癈、病也。（書、畢命）彰善癈惡。（傳）明、其善善、病其惡惡。❷つかれる。つかれやむ。（說文）癈、勞病也、从疒發聲。（段注）癈、勞也。❸苦しむ。（廣韻）癈、勞也。❹悪いかた。（廣韻）癈、惡也。❺わずらう。黄疸病。（漢書、敍傳上）師古曰、癈、黃病。❻おこり。夏疫病。（注）師古曰、癈、黃病。❼おこりの病。（東氏病原論）癈候、但熱不ならぬおこり。（東氏病原論）癈候、但熱不。（東、命日）癈癈。（爾雅、釋詁）勤・勞・癈・瘏。（釋文）癈、本或作廢。（爾雅、釋詁）勤・勞・癈・瘏。（釋文）癈、本或作廢。（詩、大雅、板）下民辜癈。（釋文）癈、本又作廢。（詩、大雅、板）下民辜癈。（傳）癈、病也。（書、畢命）彰善癈惡。（傳）明、其善善、病其惡惡

【癥】 22529 ケク ガク 〔字彙補〕何名切 麼

胸の病氣。〔字彙補〕癥、心病。

〔癥見〕…。能面の一に目を強く結び、口をしかめたもの。天狗・地獄の鬼などをべしめん。〔壓面〕

【瘍】 22530 タク 瘍（7—22395）の古字。〔集韻〕瘍、或从羊。

【痺】 22531 キョク 〔類篇〕〔集韻〕居檄 病む。〔篇海類編〕癡、病也。

【瘡】 22532 ワイ 〔龍龕手鑑〕烏對切 病名。りうまちの類。〔龍龕手鑑〕瘡、楊也。

【瘡】 22533 フ 瘡（8—29229）に同じ。〔搜眞毛孩〕瘡、同。瘡。

【瘡】 22534 エイ 瘡（7—22395）に同じ。〔龍龕手鑑〕瘡、同。瘡。

【瘉】 22535 サウ 〔類篇〕〔集韻〕同。瘡。瘡（7—22404）に同じ。〔篇海類編〕

【瘉】 22536 セウ 義未詳。〔搜眞玉鏡〕瘡、音朔。

瘡（7—22372）の誤字。〔字彙補〕瘡、字之譌。

【瘍】 22537 ヤウ

【癌】 22538 ガン 〔中華大字典〕讀若岩 國

がん。最も惡性で治療し難い腫物。胃癌、乳癌、舌癌、子宮癌の類。〔中華大字典〕癌、癰膿所生毒瘡也。凹凸不平、且硬固而疼痛。如胃癌、脾癌、腎癌、膀癌、肝癌、腸癌、膀胱癌、乳癌等證是。

〔癌腫〕…。がんのできもの。

【癢】 22539 音未詳 〔中華大字典〕

擺階癢は秋千の遊戯をいう。角山樓類聚引玉篇詩〔惟有二年寒食第節一女兒相喚擺階癢〕（注）癢字、玉篇廣韻諸字書不載。惟見此詩。唐人呼秋千爲擺階癢。

十三畫

【癨】 22540 クワン 癨（7—22394）に同じ。〔字彙〕癨、同。

【癯】 22541 ヨク 〔集韻〕〔類篇〕〔集韻〕〔類篇〕居玉切 ㊀タン 〔集韻〕〔類篇〕力弓切 ㊁クン 〔集韻〕〔類篇〕四案切 ㊂クン 〔集韻〕居手切 ㊃ダン 〔集韻〕居手切 疾

㊀㊁㊂㊃ 病む。やせる。なやます。なやまします。〔集韻〕癯、病。〔禮記〕檀弓、有國者、章甫絇屨、以示民厚。（注）癯、病也。㊀中風。

【癯】 22542 ㊀ケワイ 〔集韻〕古外切 ㊁キ 〔字彙補〕居愧切 支

㊀㊁ やむ。やまひ。〔集韻〕癯、病也。㊀危の聲。〔戰國策〕秦策、齊王建、於臨陣之際、齊聲大喊、阿癯癯、以助軍威。按、朝野僉載、武后時、濱州南皮縣水郭勝靜、每巡鄉、喚三百姓遮、而森之、其夫至、縛之、勝靜、棰數十、主簿李懋往數解之、勝靜素其事、低、首答云、忍痛不得口喝、阿癯癯、勝靜不被打、阿癯癯、諫此乃有所本。

【癮】 22543 ㊀ドウ 〔集韻〕乃凍切 ㊁ヌウ 〔集韻〕奴凍切 ㊂ドウ 〔集韻〕奴冬切 ㊃ドウ 〔集韻〕奴宋切 宋

㊀㊁㊂㊃ 痛む。うづく。もと癮に作る。〔正字通〕癮、本作癭。〔說文〕癭、痛也、从疒聲。㊀できものがつぶれる。〔集韻〕癮、曰、瘡潰。㊁うみ。うみしる。蟲に同じ。〔集韻〕蟲、說文、極血也、或作癮。㊃うみを持つ病。〔集韻〕癮、病也。

【癮】 22544 ㊀セン 〔集韻〕粗兗切 ㊁ジュン 〔集韻〕ナヨ切 珍

㊀㊁ 大いにかゆい。〔廣雅〕癮、大痒。

〔廣雅〕…。かゆい。〔廣雅釋〕…、癮、鈍也。〔說文〕…、大癮也、或小癮也、與鈍通、亦通作癮、作癮。

【癮】 22545 ユ 〔集韻〕勇主切 ㊁ yu

病がいえる。癮（7—22318）に同じ。〔集韻〕癮、說文、病愈也、或作癮。

【癮】 22546 リク 〔集韻〕力竹切 屋

病む。〔集韻〕癮、病也。

【癮】 22547 ビ 〔集韻〕無非切 微

足のかき。通じて微（4—10203）に作る。〔集韻〕癮、足瘡也、通作微。〔詩小雅、巧言〕既微且瘣、〔傳〕肝瘣餘、微。

【癮】 22548 ヨク オク 〔集韻〕乙力切 職

心の病。〔集韻〕癮、病也。〔字彙〕癮、心意病也。

【癮】 22549 ヨウ 癮（7—22638）に同じ。〔字彙〕癮、同。癮。

癖 22550 ヘキ ヒキ 〔集韻〕匹詳切 ㊀ 〔集韻〕匹眠切 ㊁

㊀ ❶食物が消化せず腹中にかたまってをる病。消化不良。〔玉篇〕癖、食不消。〔廣韻〕癖、胸病。水穀之海、食不消、偏餡一邊、故謂之癖。❷腹の病。〔後漢書〕馮緄傳〔注〕〔外戚恵帝紀〕、水穀停滯不散、遇寒氣積聚、而成癖、在於兩脇之間、有時而痛、或名寒癖、或名痃癖、或名癖癖、其因一也。❸くせ。嗜好の偏つた性質。習慣。〔正字通〕癖、嗜好之病。〔荀子、結構〕〔注〕有左癖。❹或は壁。〔29946〕に作る。〔集韻〕癖、積病、或从肉。

㊁ 〔集韻〕〔玉篇〕〔廣韻〕〔類聚〕〔字彙〕〔正字通〕〔康熙字典〕〔篇海類編〕〔字彙補〕〔説文〕〔段注〕〔説文解字詁林〕〔説文通訓定聲〕〔説文新附〕〔説文長箋〕〔説文段注撰要〕〔説文句讀〕〔説文解字義證〕〔説文解字注箋〕〔説文解字約注〕〔説文解字注〕〔説文解字注〕〔説文解字

も烈しい傳染の媒介をする黒死病・風疫。【腹憂】ヅ 病みつれる。〔詩・小雅・正月〕哀我小心、腹憂以煢。〔傳〕腹、猶病也。〔箋〕腹憂、幽憂也。【腹疫】ヅ ペスト。鼠疫。

【癙】 22562 ショ 〔集韻〕賈呂切 語

憂きあたり。〔集韻〕癙、鳴疾。

【瘻】 22563 スイ 〔集韻〕經邃切 寘

中風。風病。〔集韻〕瘻、風病。

【瘡】 22564 クン 〔集韻〕鄭亂切 諫

おろかなさま。〔集韻〕瘡、疑兒。

【瘻】 22565 日リン 〔集韻〕力銑切 寢 ロルン 〔集韻〕呂金切 寢 ロヒン 〔集韻〕事錦切 寢

日ロ ●さむけ。さむけする。〔廣韻〕瘻、寒。〔集韻〕瘻、寒病。●瘻瘻(22―1717)に通ず。〔字彙〕後人有正瘻、此淺淺之瘻、俗作、瘻非、然近時俱用。瘻矣。 ロ 病むやまひ。〔集韻〕瘻、疾也。

【癖】 22566 ケー 疥(7―22057)の俗字。〔正字通〕癬、俗作疥。

【瘻】 22567 ワイ 〔字彙〕高對切 隊

しびれる。なえる。〔字彙〕瘻、瘻瘻也。

【瘻】 22568 グワン 〔集韻〕五緩切 翰

しびれる病。〔集韻〕瘻、瘻病。

【瘻】 22569 ソ ショ 〔集韻〕觀所切 語

いたむ。憂(4―11297)に同じ。〔集韻〕瘻、痛也、或从心。

【瘢】 22570 チン 〔正字通〕都見切 刀ヵ ●

なまず。肌に白又は紫の斑點ができる病。〔正字通〕瘢、瘢風斑也、有紫白二種。〔瘢風〕ヅ 瘢風菌の寄生によつて生ずる皮膚病。なまづは、灰白又は褐色の斑點を生じて痒い。

【瘻】 22571 日ブン 〔集韻〕布問切 問 ロフン 〔集韻〕文沛切 吻 ロフン 〔集韻〕符分切 文

日ロ ●痛む。痛の苦しみ。〔廣韻〕瘻、痛。〔集韻〕瘻、痛也。●瘻瘻、熱に病る。〔集韻〕瘻、瘻瘻、熱緩也。●瘻瘻は、すれへなさま。〔集韻〕瘻、瘻瘻、愛兒。●瘻瘻は、體のこえたつやつやしく熱し辣いこと。〔集韻〕瘻、瘻瘻、熱也。〔字彙〕瘻、瘻瘻、熱辣、或从瘻。

【瘻】 22572 ヤウ 〔集韻〕以周切 尤

瘻(7―22327)に同じ。〔集韻〕瘻、瘻瘻作、瘻。

【瘻】 22573 ガン 〔集韻〕魚檢切 琰

補(補)瘻、與瘻同、案衆方、瘻、瘻門太守作、瘻門。

【瘻】 22574 シウ 〔集韻〕所鳩切 尤

瘻(7―22430)に同じ。〔字彙補〕瘻、同、瘻。

【瘻】 22575 グワン・クン ビ 〔集韻〕胡官切 桓

瘻(7―22406)に同じ。〔篇海類編〕瘻、同瘻。

【瘻】 22576 グワ・キ 〔集韻〕古臥切 過

義未詳。〔篇海類編〕瘻、吾臥、又音瘻。

【瘻】 22577 ユ 〔集韻〕羊朱切 虞

瘻(6―12320)の俗字。〔字彙補〕瘻、瘻字。

十四畫

【瘻】 22578 ヨウ 〔集韻〕以周切 尤

瘻(7―22638)の俗字。〔正字通〕瘻、瘻字之譌。

【瘻】 22579 ビ 〔集韻〕毗至切 寘

●病むやまひ。〔集韻〕瘻、病也。●しびれ。〔集韻〕瘻、瘻也。●瘻瘻は、手冷える。〔玉篇〕瘻、病手冷。●瘻瘻(7―22279)に同じ。〔集韻〕瘻、或从瘻。

【瘻】 22580 ラ 〔字彙〕力次切 寘

るゐれき。〔字彙〕瘻、瘻也。

【瘻】 22581 イン オン 〔集韻〕衣謹切 吻

●かさぶほろし。瘻(7―22631)に同じ。〔集韻〕瘻、瘻瘻、皮小起兒、或不省。●瘻瘻は、むちのあと。〔一切經音義・十二〕瘻瘻、捶痕也。

【瘻】 22582 クワク ワク 〔集韻〕袁勢切 霽

瘻瘻は、喉につかへる。〔集韻〕瘻、瘻瘻、物在喉。

【瘻】 22583 ヤク 〔集韻〕弋灼切 藥

瘻瘻は、病名。〔集韻〕瘻、淫瘻、病也。

【瘻】 22584 ハイ 〔字彙〕蒲拜切 卦

つかれる。瘻(7―22403)の俗字。〔字彙〕瘻、疲極也。〔正字通〕瘻、俗瘻字。

【瘻】 22585 日タウ 〔集韻〕複老切 皓 ロチウ 〔集韻〕直帖切 怙 ロチウ 〔集韻〕陟帖切 怙 四チユ 〔集韻〕疎留切 尤

日ロ ●瘻瘻、痛。〔集韻〕瘻、瘻瘻、熱也。●瘻瘻は、手足の冷えること。〔集韻〕瘻、瘻瘻、熱作、熱。

疒部 (十三―十四畫) 瘻瘻瘻

□病む、やまひ。癢（7—22530）に同じ。〔集韻〕癢、病也。或从書。□□□やまひ。下腹の間に病腹の病。疒（7—22534）に同じ。〔集韻〕疒、博雅、病也。一曰、心腹病也。或从尋。□□□なまわざ。〔集韻〕疒、說文、小夜病。或从尋。□□□なまわざ。〔集韻〕疒、心悸。

癆 22586 ケフ（集韻）法治切 ㊀㊁ ●病む。やまひ。（廣雅、釋詁）癆、病也。●かさ。（集韻）癆、創也。●蓋類の諸の病。（玉篇）癆、若蹉閉疾。（集韻）癆、曰、獸足病。詳しく癆。

癩 22587 セフ（集韻）法切 ㊀㊁ 癆（7—22530）に同じ。〔正字通〕癆、勉同。

癘 22588 ベツ（集韻）蔑切 ㊀㊁ ●飛べど足病。癘、不能飛。●身體の不自由な病。中風の類。（玉篇）癘、枯病。（集韻）癘、枯病。●しなびる。（七修類稿）癘、夜鬼風起癘、蜜度說文外編）說文無者、俗語世俗。是也、本集增切。重、建也。變、別解。癘字、俗語俗字也。●疾癘は、注能滴の反。對しきれない。究明。（日本紀）癘、のか問むこと。（天）しまる。

【癘疾】ベツシツ ベツシツ しまるべた疾。【癘疾】ベツシツ ベツシツ 同上。病名。剽悍な傳染病。コレラの類。蓋疫の俗稱。

癢 22589 ヨウ（集韻）于請切 ㊀㊁ ヨウ（集韻）在樣切 ㊀㊁ ヨウ（集韻）餘西切 ㊀㊁ ●病む。やまひ。（廣雅、釋詁）癢、病也。（禮、玉藻）視癢色容不盛。（注）癢、病也。（禮後、說文外編）說文無。（注）癢、傳莊十年、何休注、癢、病也。彼釋文曰、癢、本或作、痒、謙、此別異即痒字、說文作、痒。●短い。（廣雅、釋詁二）癢、短。●小さい。（方言、十二）江湘之會凡物生不、長大、亦謂之癢。又曰、痒、（7—22433）。今俗呼小爲痒。（古）痒（7—22433）に作る。（集韻）痒、隸作、癢。

瘡 22590 □セイ（字彙）蒼回 □オフ（字彙）烏合切 ㊀㊁ □せき。喉の病。（字彙）瘡、喉病。（正字通）瘡、喉、軟骨近。□猛いき。（字彙）瘡、短氣。

癡 22591 チ（集韻）延之切 ㊀㊁ ●おろかばかし。（說文）癡、不慧。（廣雅、釋詁）癡、愚也。（論語）癡、大愚。（禮、學記）癡、大小、時。（禮、學記）癡、大小、時。（禮、學記）癡、大小、時

瞰中嵌鬚鮮今。詠曰 疑子疑面苦、任生貧日生、可憐鬼魅愛、學學無聲。

【疑初】[illegible]。色情に迷ふこと。

【疑情】[illegible]。[illegible]。

【疑惑】[illegible]。おうが者のたぶ。『越絶書』越絶計 [illegible]。

【疑思】[illegible]。[illegible]。

【疑沒】[illegible]。[illegible]。

【疑沒】[illegible]。[illegible]。

【疑沒】[illegible]。[illegible]。

【疑心】[illegible]。[illegible]。

【疑心】[illegible]。[illegible]。

【疑心

(22594 ― 22614)
ず部 (十四―十六畫) 癮 癭 癰 癤 癧 癩 癬 癲 癱 癮 癭 癰 癤 癧 癩 癬 癲 癱 癮 癭 癰 癤 癧 癩 癬 癲 癱

癩 22615 タイ 〔集韻〕徒亥切 〔医〕
陰部の病。主として男子にいう。癩(7・22594)に同じ。〔集韻〕癩・陰病。或作癩。〔玉篇〕癩・疝瘕。言大陰陰連少腹急痛也。

癬 22616 ソ 〔集韻〕琴祖切 〔医〕
病む。やまひ。〔集韻〕癬・病也。

癡 22617 シキ リキク 力 〔集韻〕弦抗切 〔鍾〕
るゐれい。或は癡(7・22540)に作る。〔集韻〕癡・或作癡。

癰 22618 クワク 〔集韻〕忽郭切 〔麻〕
風癰。癰風。癰疽に中って甚だしく叫き下しする病。癰疽腸加苦見=疾列切・疫列切・疫風・癰風・疝瘕・腸癰・疝病の類。〔玉篇〕癰・疝瘕・腸癰・疝病の正字。〔集韻〕癰・癰風・吐病。疫・疫列切・疫風・癰風・吐病。疫・疫列切・疫風・癰風・吐病。疫・疫列切・疫風

【癰疽】ヨウショ　癰の一つ。疽は癰の一種。

【癰腫】ヨウシュ　癰。

【癰毒】ヨウドク　癰。

【癰発】ヨウハツ　癰。

【癰瘡】ヨウソウ　癰。

【癰疽】ヨウショ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

130232に作る。〔集韻〕に「病髓拘曲也」或作「癤」。「癤」、通作「瘻」。

瘻 22647 クイ 瘻(7・22556)に同じ。〔説文〕通訓定聲「字亦作瘻」。

癢 22648 エン 義未詳。〔篇海類編〕「癢、伊瑛切」に同じ。

二十一畫

癰 22649 ヒ・ハイ 瘺(10・33508)・瘺(10・33509)に同じ。〔集韻〕「瘺或作癰」。

二十二畫

癲 22650 ヒ 瘺(7・22556)に同じ。〔集韻〕「瘺或从癲」。

癩 22651 ラ 瘰(7・22447)に同じ。〔集韻〕「瘰或作癩」。

二十三畫

癱 22652 クワン 〔集韻〕「火晉切」「癱」。「癱」、「瘓」。「集韻」「瘓」、「瘓」、「瘓」、

京の変をいう。❹干支の組み合わせの一。みづのと。

【癸卯】ケイボウ 名 ❶干支の組み合わせの一。みづのとう。

【癸未】ケイビ 名 ❶癸酉。癸酉の年。❷癸未。[春秋、隱三]癸未、葬宋穆公。[の筑]

【癸未人】ジンビ 名 [説文]癸、揆也。揆度、[呂覽、[呂氏春秋]]癸巫女、[呂覽、[呂氏春秋]]

【癸未庚午】ケイビコウゴ 名 [説文]癸、[呂覽、[呂氏春秋]]

【癸酉】ケイユウ 名 [説文]癸、[呂覽、[呂氏春秋]]

【癸】 22661 ハツ（慣用）普活切 圏 ハチ

❶足で草をふみにじる。撥(10－37875)・撥(8－12727)に通ず。[説文]癸、戹足踏夷也。[呂覽、[呂氏春秋]]癸、戹足踏夷也。[呂覽、[呂氏春秋]]癸、戹足踏夷也。[呂覽、[呂氏春秋]]癸、戹足踏夷也。[呂覽、[呂氏春秋]]

【発】 22662 ハツ 通 発 俗字

発(7－22661)の俗字。[正字通]

【発】 22662 ハツ 通 発 俗字

発(7－22661)の俗字。

癶部 [四—七畫] 癸登発発癸発癸登登

【癸】 22663 キ

癸(7－22660)の異文。[正字通]

【癸】 22664 トウ

登(7－22668)の古字。[字彙補]登、古文登字。

【癸】 22665 ハン

班(7－22976)の古字。[字彙補]

【癸】 22666 ケイ

義未詳。[字彙補]登、音未。

【癸】 22667 ハツ 通 発(7－22661)の誤字。[正字通]

【登】 22668 ❶トウ 名 [集韻]都隆切 [説文]登、上車也。从癶豆。象登車形。[爾雅、釋詁]登、陞也。

❷チョウ 名 [字彙補]東風切 [説文]登、上車也。从癶豆。象登車形。[爾雅、釋詁]登、陞也。

❶❶のぼる。あがる。[説文]登、上車也。从癶豆。象登車形。[爾雅、釋詁]登、陞也。[小爾雅、廣言]登、升也。[易、明夷]初登于天。[中庸]登高必自卑。[詩、衛、東京賦]西登少華。[後漢書、馮衍傳]西登。❷のせる。あげる。[書、堯典]疇咨若予[注]登、升也。❸上駕する。記入する。[左襄、[左傳]]登、上也。[周禮、秋官、司民]掌登萬民之數。[注]登、上也。❹すすめる。[玉篇]登、進也。[禮記、月令]農乃登黍。[注]登、進。❺たかい。國語、晉語九]不以衰年之不[注]登。[注]登、高也。❻ふる。[雅南子、修務]得[注]登、加也。❼[左氏、昭三]既登[注]登、加也。❽取る。取る。[呂覽、[呂氏春秋]]登、取也。[孟子、滕文公上]五穀不登。[集注]登、成熟也。❾なる。できる。成(6－115)に通ず。[説文通訓定聲]登、段借爲成。[爾雅、釋詁]登、成也。[呂覽、[呂氏春秋]]登、成也。[呂覽、[呂氏春秋]]登、成也。[呂覽、[呂氏春秋]

十行相違者、降官罰銅、餘皆無罪。【登下ㄗ】、張逸、紀人、[illegible]、[illegible]、[illegible]

科名記常起於高宗時補授。

〔登科府〕四六。府名。考異。西京宗師判。

〔登科時〕通用。一題。十二月。（考試機構。地理志）四月。

〔登科記〕同書。子子。紫水多得第。江東。袁敬。袁公。

〔登科錄〕同書。子子。袁敬。袁公。

〔登科錄〕同書。子子。袁敬。袁公。

〔登科錄〕同書。子子

如淳曰、無聞立君化而登仙。

登僊 ㊀ 仙（漢書）上谷郡に成る。黄帝時、建華蓋以登仙。

登陵 ㊀ のぼりふる。（漢書、郊祀志）時、病篤、登陵望祭、遂時陵亂。（于咸、曰、山川之魂。

登鼎 ㊀ 天に昇る。（後漢書、張衡伝）上、以衡之博物、徵拜太史令。衡上言、…（張衡、論渾天儀）…（張衡、論渾天儀）…（張衡、論渾天儀）

【登望】[150] のはつてのぞむこと。戰國・楚策北遊。目於高丘望來。而登望於故宮乎。樂府。此

【登攀】[150] 攀登。扶手持足。[唐書]李密傳。[王]世充[唐]高祖。[李]淵。[竇]建德。[劉]黑闥。[徒]步[唐]太宗。[竇]建德。[劉]黑闥。[徒]步[唐]太宗。[竇]建德。[劉]黑闥。[徒]步[唐]太宗

折桂、此謂卻倒折桂、桂林、桂也、自唐以來用、[説文]桂、以月中有桂、桂林、桂也、[周解]桂、又有、故、故、桂馬、嗅以、骨科、鈴、登、[説文]桂、[説文]桂、朝廷に鈴を動かす置き、臣民が上を進めまた其の情を述べようとする時、之を打つ意に細部とめるの。[記]晉武紀、[南史]齊高帝、[南史]、[南史]、[南史]

【發意】[illegible]。[illegible]意思捷心をおこす。發心。〔無量壽經、上〕發無上菩提意。〔[illegible]〕[illegible]。

【發威】威を示す。大公怒羅野[illegible]。威を示す。〔[illegible]〕威嚴保[illegible]。威を[illegible]。〔晉書、[illegible]〕[illegible]。

【發狂】[illegible]。〔[illegible]〕[illegible]。

【發[illegible]】[illegible]。[illegible]。

【發[illegible]】[illegible]。[illegible]。

【發[illegible]】[illegible]。

次部（十畫）發

【發甲】ho'。兵を出すこと。出兵。（史記、秦本紀）秦人入函谷関。諸侯相因、秦攻魏、魏云云。田駢説齊宣王曰、秦攻魏、魏不能支、齊必救魏。今秦攻魏、魏不能支、齊不救、是秦之利、魏之敝也。秦攻魏、魏不能支、齊必救魏。今秦攻魏、魏不能支、齊不救、是秦之利、魏之敝也。

【發子】ho'tsi。（漢書、地理志下）秦、地廣人衆、……（顔師古曰、……）秦、……（顔師古曰、……）

【發起】ho'ki。（漢書、高帝紀）……（顔師古曰、……）

【發令】ho'rei。（漢書、高帝紀）……（顔師古曰、……）

【發兵】ho'pei。（漢書、高帝紀）……（顔師古曰、……）

【發明】ho'mei。（漢書、高帝紀）……（顔師古曰、……）

【發動】ho'dō。（漢書、高帝紀）……（顔師古曰、……）

【發出】ho'shutsu。（漢書、高帝紀）……（顔師古曰、……）

【發見】ho'ken。（漢書、高帝紀）……（顔師古曰、……）

【發行】ho'kō

【發會式】[illegible] 發會の初めに行ふ儀式。

【發端】[illegible] はじめ。はじまりはじまること。〔論衡、龍虎篇〕

【發光】[illegible] 電電閃光。磁石。〔孟子、盡心上〕

【發丸】[illegible] 弾丸。

【發生】[illegible] 生まれること。生まれること。又、發せられた光。〔孟子、盡心上〕日日夜夜、發光如日出。

【發光體】[illegible] 太陽のやうに自ら光を發する物體。

【發光顯料】[illegible] 常温に於て自ら發光する顔料。

【發皇】[illegible] ひらき明かにする。〔枚乘、七發〕分流激疾、發皇其目。注、薛綜曰、謂法目明者。〔呂也、風賦〕發明耳目也。

【發黄】[illegible] 黄色になる。黄ばむ。

【發榮】[illegible] [illegible] 花が開くこと。

【發榮】[illegible] [illegible] 花が開くこと。あがること。

【發榮】[illegible] [illegible] 花が開くこと。

【發榮】[illegible] [illegible] 花が開くこと。

【發明】[illegible] 文節をあらはすこと。〔詩、敬平、蒙〕

【發明】[illegible] 文節をあらはすこと。〔詩、敬平、蒙〕

【發明】[illegible] 新たに考へ出すこと。〔後漢書、馬援傳〕

【發明】[illegible] 明白にすること。

【發明】[illegible] 明白にすること。

【發明】[illegible] 明白にすること。

更家發著「有」字條元結諸臣，講授行禮尚可。

【發敝】[illegible]，ㄅㄧㄢˋ。ㄅㄧㄢˋ，ㄅㄧㄢˋ。ㄅㄧㄢˋ，ㄅㄧㄢˋ。ㄅㄧㄢˋ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

發髯 [illegible] 性氏。〔性氏錄抄〕。

發送 [illegible] 發して送ふこと。班固、西都賦に「送百蠻賦」（注）銭曰、[illegible]天子、蠻夷の[illegible]。

發振 [illegible] あらはれ出ること。〔曹子、四時篇〕「[illegible]出也。[illegible]元田東野、明治天皇勅撰、近代文和歌集」。

發散 [illegible] 出發と到着。

發業 [illegible] つかをあがること。發端。〔荀子〕「[illegible]」。

發業 [illegible] つかをあがること。發端。〔荀子〕「[illegible]」。

發明 [illegible] 明らかにすること。〔[illegible]〕「[illegible]」。

發揚 [illegible] あらはれ出ること。〔曹子、四時篇〕「[illegible]」。

發師 [illegible] 出發と到着。

發紹 [illegible] 出發と到着。

發[illegible] 出發と到着。

發[illegible] 出發と到着。〔[illegible]〕

發[illegible] 出發と到着。

發[illegible] 出發と到着。

發[illegible] 出發と到着。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

弘下之。如發簫[illegible]、注曾竹曰：如發去物上之發。[illegible]、注曾竹曰：如發去物上之發。[illegible]、注曾竹曰：如發去物上之發。

人に よつて金を儲ける。●大成金になる。

【發利者】[ta. ni. ni. ni

大漢和辞典　巻七　終り